愛知県埋蔵文化財センター調査報告書　第109集

鶯（うぐいす）　窯　跡

本 文 篇

2005

財団法人愛知県教育サービスセンター

愛 知 県 埋 蔵 文 化 財 セ ン タ ー

カラー図版 1

調査前　遠景（西より）　'98年11月

99A区　遠景（西より）　'99年10月

カラー図版 2

98区　遠景（南より）　'99年 5 月

98区　遠景（南より）　'99年 5 月

99A区　遠景（東より）　'99年10月

99A区　遠景（東より）　'99年10月

01区　窯体　全景（南より）

01区　窯体周辺　遠景（南より）

カラー図版 5

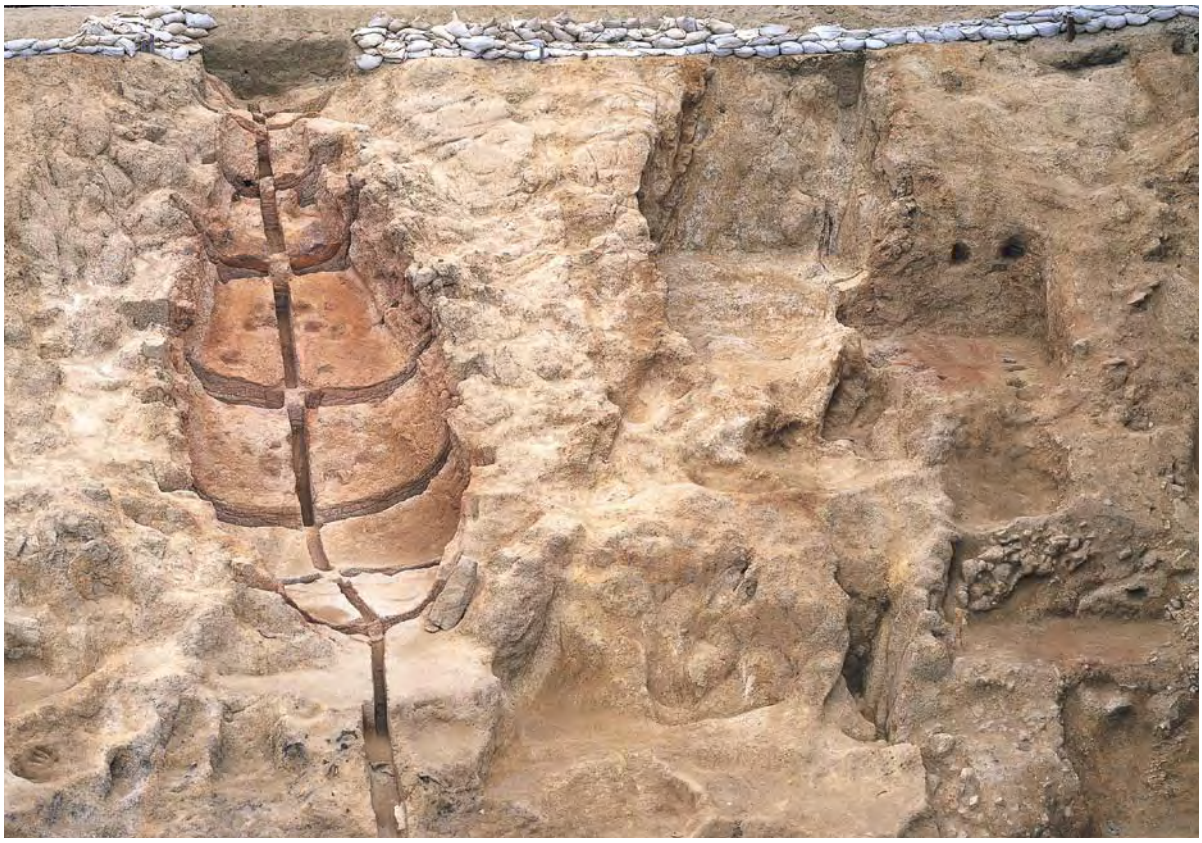
01区　窯体周辺　遠景（南より）

01区と工事用道路（南より）

01区　窯体断ち割り　近景（南より）

01区　窯体断ち割り　近景（西より）

カラー図版 7



01区　窯体と工房跡　近景（南より）

01区　窯体周辺　遠景（南より）

98区　遠景（南より）

98区　灰原とシューター（南より）

カラー図版 9

99A区　SX01B　全景（南より）

99A区　SX01　全景（北より）

99A区　SX01B　未焼成碗と未焼成天目茶碗出土状況（南より）

99A区　SX01B　未焼成天目茶碗出土状況（南より）

カラー図版11

人面陶板
4948

灰釉馬文中鉢　1849

カラー図版12

灰釉鉄彩七宝文八稜皿　1431

鉄彩七宝文

カラー図版13

ミニチュア下臼　4881

陶製茶臼：上臼　4876　下臼　4882

カラー図版14

碗・皿

仏　具

カラー図版15

花盆・筒形容器・羽釜・風呂

瓶子・四耳壺・茶壺・甕・水注

カラー図版16

CGによる鴛窯周辺の景観復元（中央右側が窯体）

序　　文

瀬戸市は愛知県の中央北部、岐阜県との県境に位置し、北は岐阜県多治見市、土岐市などに接し、西は春日井市、名古屋市、尾張旭市に隣接します。

瀬戸市岩屋町・鳥原町地内に所在する鷲窯跡、その東には曹洞宗の名刹として知られる浄源寺があり、鳥原川を上流へ進むと紅葉の季節はとくに観光客で賑わう愛知高原国定公園岩屋堂が近くにあります。

東海環状自動車道建設のため、その事前調査として平成10・11・13年度に発掘調査を実施しましたところ、窯とその周りに展開する作業場、工房跡が見つかり、工房跡からは未焼成の天目茶碗が重なった状態で出土しました。

また、膨大な出土遺物の中でも、未焼成天目茶碗、茶臼、人面陶板、灰釉馬文鉢など、全国で初めての出土例となる製品が出土しました。

遺跡が斜度32度から38度の急斜面に立地するため、調査員や作業員の苦労は並々ではなかったが、熱心な作業員のご協力と、国土交通省愛知国道事務所はじめ瀬戸市教育委員会などの関係諸機関の暖かいご理解と多大なるご協力で発掘調査を遂行することができました。

今回の調査により、鷲窯の全貌がより一層明らかになり、古瀬戸後期窯式の生産動向の解明と、今日に至る瀬戸の窯業生産の歴史を探るうえで貴重な資料を新たに得ることができました。この成果が今後の地域研究あるいは窯業史研究の一助になることを願っています。

最後になりましたが、発掘調査から報告書刊行に至るまで、ご理解、ご指導、ご協力をいただきました関係者の皆様方に厚くお礼申し上げます。

平成17年８月

財団法人　愛知県教育サービスセンター

理事長　古　池　庸　男

例　　言

1、本書は愛知県瀬戸市岩屋町・鳥原町地内に所在する鶯窯跡（愛知県遺跡番号415）の調査報告書である。

2、本調査報告書は本文篇・遺物図版篇・写真図版篇の三分冊構成である。

3、発掘調査は東海環状自動車道建設に伴う事前調査として、国土交通省愛知国道事務所より愛知県教育委員会を通じた委託事業として、財団法人愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センターが実施した。

4、調査は平成10年度が平成11年１月から３月、平成11年度が４月から12月、平成13年度が平成13年11月から平成14年３月までの３次の調査を実施した。調査面積は1400㎡である。

5、調査において次の関係機関のご協力を得た。

愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室、愛知県埋蔵文化財調査センター、
国土交通省愛知国道事務所、瀬戸市教育委員会、財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター。

6、発掘調査、報告書の作成においては以下の方々のご協力を得た。

青木　修、赤羽一郎、井上喜久男、伊藤嘉章、伊藤秀紀、遠藤才文、江崎　武、
岡本直久、荻野繁春、尾野喜裕、加藤真司、加藤安信、金子健一、河合君近、
桐山秀穂、齋藤孝正、佐野　元、澤村雄一郎、柴垣勇夫、鈴木裕子、住田誠二、
高橋健太郎、寺島孝一、中川佳三、中嶌　茂、仲野泰裕、永田信一、楢崎彰一、
橋口定志、林　順一、服部　郁、服部敬史、福田健二、藤澤良祐、増田一美、
町田義哉、三澤壮太、宮塚義人、水野正好、吉岡康暢、米澤要一、渡辺博人。

7、発掘調査において、平成10・11年度の遺構の空中撮影、測量・図化は株式会社玉野コンサルタントが行い、平成13年度の発掘調査は株式会社パスコに支援を委託した。

8、遺物整理および報告書作成に際して作業の一部を委託した。

遺物データー整理　株式会社四門。
遺物保存・復元　株式会社東都文化財保存研究所、住田誠二。
遺物の写真撮影　深川　進、福岡　栄（スタジオピア）、金子知久（写真工房遊）。
遺物の実測　アイシン精機株式会社、国際航業株式会社。
デジタルトレース　アイシン精機株式会社。
景観復元CG　宮塚文化財研究所。
自然科学分析　パリノ・サーヴェイ株式会社、株式会社パレオ・ラボ。
編　集　株式会社ぎょうせい。

9、本書の執筆は以下の通りである。なお編集は小澤一弘が担当した。

織部匡久　第1章

川添和暁　第2章　第2節、第3節の一部

宇佐見守　第2章　第3節

小澤一弘　第2章　第1節、第4節、第5節、第3章、
第5章　第2節　第4節～第8節

パリノ・サーヴェイ株式会社　第4章　第1節、第5節

藤根　久　第4章　第2節、第3節、第7節、第8節

小村美代子　第4章　第4節

植田弥生　第4章　第6節

山形秀樹　第4章　第7節

Zauri Lomtatize　第4章　第8節

荻野繁春　第4章　第9節

伊藤秀紀　第5章　第1節

三澤壮太　第5章　第3節

10、発掘調査及び本書で使用した方位は、国土座標第Ⅶ系、基準高は東京湾平均海面（T.P.）に基づく。ただし表記は「日本測地系」とした。

11、出土遺物の登録番号は遺物実測図の通し番号をこれに当て、出土遺物は愛知県埋蔵文化財調査センターに保管している。

12、発掘調査の記録（遺構実測図･写真など）は愛知県埋蔵文化財センターに保管している。

目　　次

カラー図版
序文 i
例言 ii

第１章　立地と調査経過 001
　第１節　環境と立地 001
　　１、遺跡の位置　　２、地理的環境　　３、歴史的環境
　第２節　調査の経緯と経過 003
　　１、調査にいたる経緯　　３、調査の手順と方法
　　２、調査の経過　　４、整理・報告書作成

第２章　遺 構 012
　第１節　遺構の概要 012
　第２節　窯体SY01 013
　第３節　工房跡 022
　　１、SX01　　５、SX05　　９、SX09
　　２、SX02　　６、SX06　　10、SX10
　　３、SX03　　７、SX07　　11、SX11
　　４、SX04　　８、SX08
　第４節　土坑・その他 037
　第５節　灰原 039

第３章　出土遺物 044
　第１節　SY01出土遺物 044
　第２節　工房跡出土遺物 044
　　１、SX01
　　２、SX01B下層出土の未焼成天目茶碗と粘土塊
　　３、SX01B上層出土の粘土塊
　　４、SX02
　　５、SX04
　　６、SX06
　　７、SX07
　　８、SX08
　　９、SX09
　　10、SX09・10
　　11、SX10
　　12、SX11

第３節　土坑出土遺物 ＿＿＿＿＿ 049

１、SK01　４、SK05　７、SK09　10、SK14
２、SK02　５、SK06　８、SK12　11、SD01
３、SK04　６、SK08　９、SK13

第４節　灰原出土遺物 ＿＿＿＿＿ 051

１、天目茶碗
２、灰釉天目茶碗
３、平碗
４、浅碗
５、平底浅碗
６、平底末広碗
７、小天目茶碗
８、小碗
９、縁釉小皿
10、折縁小皿
11、直縁襞皿
12、折縁中鉢
13、八稜皿
14、卸目付大皿
15、卸皿
16、直縁大皿
17、折縁襞皿
18、折縁直縁皿
19、折縁深皿
20、折縁中皿
21、底卸目皿
22、中鉢
23、小鉢
24、柄付片口
25、片口小鉢
26、調理用片口鉢
27、碗形鉢
28、片口鉢
29、把手付小鉢
30、擂鉢形小鉢
31、擂鉢
32、鉢
33、内耳鍋
34、銚子鍋
35、手付鍋
36、羽釜
37、三耳壺
38、四耳壺
39、甕
40、茶壺
41、広口壺
42、口広有耳壺
43、口広壺
44、筒形短頚壺
45、花瓶
46、袴腰形香炉
47、筒形香炉
48、筒形香炉段付
49、仏供
50、燭台
51、瓶子
52、広口瓶子
53、片口広口瓶
54、土瓶
55、片口小瓶
56、水注
57、双耳小壺
58、筒形容器
59、桶
60、受け付き桶
61、風呂
62、花盆
63、茶入
64、合子
65、合子蓋
66、蓋
67、鳥形水滴
68、水滴
69、茶臼
70、ミニュチュア下臼
71、狛犬
72、器種の不明のもの
73、小杯
74、鉄鉢形小鉢
75、合子
76、灯明皿
77、短頚壺
78、四耳壺
79、調理鉢
80、折縁襞鉢
81、直縁襞鉢
82、折縁深皿
83、人面陶板
84、硯
85、ミニュチュア天目茶碗
86、ミニュチュア皿・小鉢
87、陶丸
88、文様の見られる小皿・鉢
89、鳥文卸皿
90、各製品の焼成方法
91、山茶碗と小皿

第５節　窯道具 129
１、匣鉢　３、その他の窯道具
２、匣鉢蓋　４、焼台
第６節　その他の遺物 132
１、その他の遺物　２、源吉屋敷関連遺物

第４章　自然科学などの分析 133
第１節　出土陶器の胎土分析 133
第２節　天目茶碗の蛍光Ｘ線分析 171
第３節　未焼成天目茶碗胎土の材料分析 176
第４節　製品付着青色物質の蛍光Ｘ線分析 189
第５節　花粉分析 193
第６節　灰原および工房跡から出土した炭化材の樹種同定 198
第７節　放射性炭素年代測定 210
第８節　熱残留磁化測定による焼成年代推定 213
第９節　製品の容量と重量 217

第５章　総括 222
第１節　南北朝・室町前期の科野郷の領有形態 222
第２節　遺構の変遷について 232
第３節　出土遺物のデータベース化の方法 240
第４節　統計処理から見た出土遺物について 244
第５節　焼台について 258
第６節　使用された粘土量 269
第７節　主要器種について 275
第８節　まとめ 290

参考・引用文献目録 313
遺構出土破片数・個体数一覧表 316
遺物一覧表 318
報告書抄録 380

カラー図版 目次

図版１　調査前遺跡遠景、99A区遠景
図版２　98区　遠景
図版３　99A区　遠景
図版４　01区　窯体、窯体周辺
図版５　01区　窯体周辺、遠景
図版６　01区　窯体断ち割り
図版７　01区　窯体と工房跡、窯体周辺
図版８　98区　遠景、灰原とシューター
図版９　99A区
　SX01B　未焼成天目茶碗出土状況
　SX01　全景
図版10　99A区
　SX01B
　未焼成碗と未焼成天目茶碗出土状況、
　未焼成天目茶碗出土状況
図版11　人面陶板、灰釉馬文中鉢
図版12　灰釉鉄彩七宝文八稜皿
図版13　ミニチュア下臼、陶製茶臼:上臼・下臼
図版14　碗・皿、仏具
図版15　花盆・筒形容器・羽釜・風呂、
　瓶子・四耳壷・茶壷・甕・水注
図版16　ＣＧによる鷲窯周辺の景観復元

挿　図　目次

第１図　瀬戸市位置図 001
第２図　瀬戸市の地質概要図 002
第３図　鷲窯跡の周辺遺跡図 004
第４図　周辺地形図 005
第５図　調査区位置図 006
第６図　98区グリッド図 007
第７図　99A・B区、01区グリッド図 007
第８図　調査前地形測量図 008
第９図　調査後地形測量図 009
第10図　遺構と調査後地形測量図（１）：西部分 014
第11図　遺構と調査後地形測量図（２）：東部分 015
第12図　遺構位置図（１） 016
第13図　遺構位置図（２） 017
第14図　SY01窯体平面図と壁見通し図 018
第15図　SY01窯体平面図と断面図 019
第16図　SY01窯体断面（西東）実測図 020
第17図　SY01窯体断面（北南）実測図 021
第18図　SY01窯体かさ上げ部分、滅失部分位置図 021
第19図　SX01上面出土状態図 022
第20図　SX01断面図 024
第21図　SX01A断面図 025
第22図　SX01B・D断面図 026
第23図　SX01B未焼成天目茶碗出土状態図 027
第24図　SX01D断面図 028
第25図　SX02断面図 030
第26図　SX03断面図 031
第27図　SX04断面図 031
第28図　SX05断面図 032
第29図　SX06・09・SK02断面図（１） 033
第30図　SX06・09・SK02断面図（２） 034
第31図　SX08・11・SK09断面図 035
第32図　SX11遺物出土状態図 036
第33図　SK05断面図 038
第34図　SK10断面図 038
第35図　98区土層断面位置図 040
第36図　98区東西AB・CD・EF土層図 041
第37図　98区南北GH・IJ土層図 042

第38図　98区南北KL土層図 043
第39図　SX01B未焼成天目茶碗出土状態図 045
第40図　天目茶碗ⅠA～ⅠH類実測図 052
第41図　天目茶碗ⅡA～ⅡH類実測図 053
第42図　灰釉天目茶碗ⅠA～ⅠF類実測図 054
第43図　灰釉天目茶碗ⅡA～ⅡL類実測図 055
第44図　灰釉天目茶碗ⅡL・ⅡN類実測図 056
第45図　平碗１～８類実測図 058
第46図　平碗９～11類実測図 059
第47図　浅碗、平底浅碗、平底末広碗、
小天目茶碗、小碗実測図 060
第48図　縁釉小皿、折縁小皿、直縁鍔鉢、
折縁中鉢、八稜皿実測図 062
第49図　卸目付大皿実測図 063
第50図　卸皿A類実測図 064
第51図　卸皿B～E類実測図 065
第52図　直縁大皿A・B類、折縁鍔皿A類実測図
067
第53図　折縁鍔皿B・C類、折縁中皿、
底卸目皿実測図 068
第54図　折縁深皿Ⅰa・Ⅰb類実測図 070
第55図　折縁深皿ⅡA～ⅡC類実測図 071
第56図　中鉢実測図 073
第57図　小鉢a～e類実測図 074
第58図　柄付片口実測図 075
第59図　片口小鉢、調理用片口鉢実測図 076
第60図　碗形鉢、片口鉢実測図 077
第61図　把手付小鉢、擂鉢形小鉢実測図 078
第62図　擂鉢a・b類実測図 079
第63図　擂鉢c類実測図（１） 080
第64図　擂鉢c類実測図（２） 081
第65図　内耳鍋実測図 082
第66図　銚子鍋、手付鍋実測図 083
第67図　羽釜実測図 084
第68図　三耳壺、四耳壺a・b類実測図 085
第69図　四耳壺c類実測図 087
第70図　甕実測図（１） 088
第71図　甕実測図（２） 089
第72図　茶壺実測図 090
第73図　広口壺、口広有耳壺、筒形短頸壺実測図
091
第74図　花瓶Ⅰ～Ⅲ類実測図 092
第75図　花瓶ⅡA類実測図 093
第76図　花瓶ⅡA～ⅡC類実測図 094
第77図　花瓶ⅢA～ⅢC類実測図 095
第78図　袴腰形香炉ⅠA～ⅠC類、
ⅡA～ⅡD類実測図 097
第79図　筒形香炉A～D類、
筒形香炉段付A～C類実測図 099
第80図　瓶子Ⅰ～Ⅲ類実測図 102
第81図　仏供、燭台、片口広口壺、土瓶、
片口小壺実測図 103
第82図　水注Ⅰ～Ⅳ類実測図 105
第83図　双耳小壺実測図 106
第84図　筒形容器Ⅰ・Ⅱ類実測図 107
第85図　桶実測図 108
第86図　受け付き桶実測図 109
第87図　風炉実測図 110
第88図　花盆A類実測図 111
第89図　花盆B類実測図 112
第90図　花盆C類実測図 113
第91図　茶入、合子A～C類実測図 115
第92図　各種蓋実測図 116
第93図　合子蓋Ⅰa・Ⅰb類、Ⅱ類、鳥形水滴、
水滴実測図 117
第94図　茶臼：上臼実測図 119
第95図　茶臼：下臼、ミニチュア下臼実測図
120
第96図　狛犬実測図 122
第97図　器種不明品実測図 124
第98図　灯明皿、硯、ミニチュア天目茶碗、
ミニチュア小鉢、陶丸実測図 127

第99図　分析資料実測図 136
第100図　各粒度度階における鉱物・岩石出現頻度（1） 156
第101図　各粒度度階における鉱物・岩石出現頻度（2） 157
第102図　各粒度度階における鉱物・岩石出現頻度（3） 158
第103図　孔隙・砂粒・基質の割合 159
第104図　胎土中の砂の粒径組成（1） 160
第105図　胎土中の砂の粒径組成（2） 161
第106図　胎土中の砂の粒径組成（3） 162
第107図　胎土中の砂の粒径組成（4） 163
第108図　胎土中の砂の粒径組成（5） 164
第109図　胎土中の砂の粒径組成（6） 165
第110図　胎土中の砂の粒径組成（7） 166
第111図　胎土中の砂の粒径組成（8） 167
第112図　胎土中の砂の粒径組成（9） 168
第113図　胎土中の砂の粒径組成（10） 169
第114図　胎土中の砂の粒径組成（11） 170
第115図　胎土中の砂の粒径組成（12） 155
第116図　各元素分布図 175
第117図　天目茶碗胎土中の粒子組成図 181
第118図　青色部から検出された元素マッピング画像とポイント分析結果（1） 191
第119図　青色部から検出された元素マッピング画像とポイント分析結果（2） 192
第120図　Ⅳ H14g東壁における花粉化石群集の層位分布 194
第121図　暦年較正図と複数表示図 211
第122図　広岡・藤澤による東海地方の考古地磁気永年変化曲線 214
第123図　窯跡床面焼土の残留磁化方向と広岡・藤澤の考古地磁気永年変化曲線の一部 215
第124図　構成画面 218
第125図　遺物ⅰ～ⅳ実測図 219
第126図　暁窯跡遺構位置図 233
第127図　小長曽陶器窯跡遺構位置図 233
第128図　下石西山窯跡遺構位置図 234
第129図　鷲窯跡遺構位置図 234
第130図　遺構変遷図（1） 236
第131図　遺構変遷図（2） 237
第132図　各窯跡窯体実測図 239
第133図　データーシート構成画面図 240
第134図　各窯別破片数による組成グラフ 255
第135図　各窯別個体数による組成グラフ 256
第136図　鷲窯跡出土破片数・個体数組成グラフ 257
第137図　種類別焼台実測図 259
第138図　鷲窯跡立地立面図 260
第139図　焼台分類別グラフ 262
第140図　平成10・11年度角度別出土グラフ 261
第141図　窯内角度別出土グラフ 261
第142図　その他角度別出土グラフ 261
第143図　鷲窯跡角度別焼台出土グラフ 264
第144図　窯体平面図 266
第145図　焼台設置復原図 266
第146図　瀬戸市内中世集落の存続期間 273
第147図　瀬戸市地質概念図 274
第148図　鷲窯跡と中世集落遺跡 274
第149図　「八月六」・「金」銘実測図 275
第150図　灰釉鉄彩七宝文八稜皿実測図 275
第151図　重ね焼き実測図（1） 277
第152図　重ね焼き実測図（2） 278
第153図　重ね焼き実測図（3） 279
第154図　陶製茶臼実測図 282
第155図　遺跡出土茶臼実測図 282
第156図　ミニチュア下臼実測図 283
第157図　灰釉馬文中鉢実測図・拓影 284
第158図　古瀬戸編年表と日本中世の旱魃・水損・飢饉・疫病年表棒グラフ 286
第159図　窯跡出土人面等実測図 287

第160図　鳥文卸皿実測図 288
第161図　貼付文瓶子実測図 289
第162図　「至徳四年」墨書銘直縁大皿実測図 292
第163図　中期様式窯跡分布図 293
第164図　後期様式窯跡分布図（1） 294
第165図　後期様式窯跡分布図（2） 295
第166図　山茶碗（第9型式）焼成窯分布図 296
第167図　山茶碗（第10・11型式）焼成窯分布図 299
第168図　器種別出土状況図（1） 300
第169図　器種別出土状況図（2） 301
第170図　器種別出土状況図（3） 302
第171図　器種別出土状況図（4） 303
第172図　器種別出土状況図（5） 304
第173図　器種別出土状況図（6） 305
第174図　器種別出土状況図（7） 306
第175図　器種別出土状況図（8） 307
第176図　器種別出土状況図（9） 308
第177図　器種別出土状況図（10） 309
第178図　器種別出土状況図（11） 310
第179図　器種別出土状況図（12） 311
第180図　天目茶碗分類別グラフ 312

付　表　目次

第1表　鷲窯跡の周辺遺跡概要一覧 004
第2表　調査体制表 006
第3表　胎土重鉱物･蛍光X線分析資料一覧（1） 141
第4表　胎土重鉱物･蛍光X線分析資料一覧（2） 142
第5表　胎土分類結果表（1） 143
第6表　胎土分類結果表（2） 144
第7表　胎土分類結果表（3） 145
第8表　胎土分類結果表（4） 146
第9表　胎土分類結果表（5） 179
第10表　胎土分類結果表（6） 148
第11表　釉薬の化学組成 149
第12表　薄片観察結果（1） 150
第13表　薄片観察結果（2） 151
第14表　薄片観察結果（3） 152
第15表　薄片観察結果（4） 153
第16表　薄片観察結果（5） 154
第17表　薄片観察結果（6） 155
第18表　分析した天目茶碗とその詳細 173
第19表　蛍光X線による主成分元素と微量元素 174
第20表　未焼成天目茶碗試料一覧 177
第21表　未焼成天目茶碗胎土中の粒子組成 180
第22表　未焼成天目茶碗と粘土試料の特徴 184
第23表　胎土中の岩石片の分類と組み合わせ 185
第24表　呉須試料一覧 189
第25表　花粉分析試料一覧 193
第26表　花粉分析結果 195
第27表　炭化材の樹種同定結果一覧 199
第28表　各遺構・トレンチから検出された分類群の比較 200
第29表　放射性炭素年代測定及び暦年較正の結果 210
第30表　窯跡焼土の残留磁化測定と統計計算結果 215
第31表　窯跡焼土の焼成年代推定値 216
第32表　実測図から計算した容器の容量・粘土量・重量（1） 220
第33表　実測図から計算した容器の容量・粘土量・重量（2） 221

第34表　科野郷領有者変遷表 229
第35表　第壱分類表 241
第36表　鶯窯跡出土遺物破片数表 245
第37表　鶯窯跡出土遺物個体数表 246
第38表　五葉窯跡出土遺物破片数表 249
第39表　小長曽陶器窯跡出土遺物破片数表 249
第40表　椿窯跡出土（後半）破片数表 250
第41表　下石西山窯跡出土遺物破片数表 250
第42表　五葉窯跡出土遺物個体数表 251
第43表　暁窯跡出土遺物個体数表 251
第44表　小長曽陶器窯跡出土遺物個体数表 252
第45表　下石西山窯跡出土遺物個体数 252
第46表　五葉窯跡出土破片数組成表 253
第47表　小長曽陶器窯跡出土破片数組成表 253
第48表　椿窯跡出土（後半）破片数組成表 253
第49表　下石西山窯跡出土破片数組成表 253
第50表　五葉窯跡出土個体数組成表 254
第51表　暁窯跡出土個体数組成表 254
第52表　小長曽陶器窯跡出土個体数組成表 254
第53表　下石西山窯跡出土個体数組成表 254
第54表　平成10・11年度角度別出土点数表 261
第55表　窯内角度別出土点数表 261
第56表　その他角度別出土点数表 261
第57表　焼台分類別出土点数表 262
第58表　鶯窯跡角度別焼台出土点数表 264
第59表　各器種の粘土量・成形時粘土量・重量 270
第60表　古瀬戸製品の編年基準資料年表 291
第61表　山茶碗・古瀬戸編年対比表 299

遺物図版篇　目次

第１図　調査区位置図 v
第２図　グリッド図 vi
第３図　遺構位置図（１） vii
第４図　遺構位置図（２） viii
図１　SY01出土遺物実測図（１）*1-28*
図２　SY01出土遺物実測図（２）*29-42*
図３　SY01出土遺物実測図（３）*43-54*
図４　SY01出土遺物実測図（４）*55-64*
図５　SY01出土遺物実測図（５）*65-72*
図６　各遺構出土遺物実測図（１）*73-96*
図７　各遺構出土遺物実測図（２）*97-118*
図８　各遺構出土遺物実測図（３）*119-132*
図９　SX01Ｂ出土未焼成天目茶碗実測図（１）*133-138*
図10　SX01Ｂ出土未焼成天目茶碗実測図（２）*139-145*
図11　天目茶碗実測図（１）*153-184*
図12　天目茶碗実測図（２）*185-212*
図13　天目茶碗実測図（３）*213-244*
図14　天目茶碗実測図（４）*245-274*
図15　天目茶碗実測図（５）*275-302*
図16　天目茶碗実測図（６）*303-340*
図17　天目茶碗実測図（７）：拓影 *341-350*
図18　灰釉天目茶碗実測図（１）*351-382*
図19　灰釉天目茶碗実測図（２）*383-412*
図20　灰釉天目茶碗実測図（３）*413-442*
図21　平碗実測図（１）*443-466*
図22　平碗実測図（２）*467-490*
図23　平碗実測図（３）*491-514*
図24　平碗実測図（４）*515-538*
図25　平碗実測図（５）*539-562*
図26　平碗実測図（６）*563-586*
図27　平碗実測図（７）*587-612*
図28　平碗実測図（８）*613-638*
図29　平碗実測図（９）*639-664*
図30　平碗実測図（10）*665-692*
図31　浅碗・平底浅碗実測図 *693-728*
図32　平底末広碗実測図 *729-760*
図33　小天目茶碗実測図 *761-810*
図34　小碗実測図 *811-846*
図35　縁釉小皿実測図（１）*847-898*
図36　縁釉小皿実測図（２）*899-950*
図37　縁釉小皿実測図（３）*951-1006*
図38　縁釉小皿実測図（４）*1007-1066*
図39　縁釉小皿実測図（５）*1067-1126*
図40　縁釉小皿実測図（６）*1127-1190*
図41　縁釉小皿実測図（７）*1191-1256*
図42　折縁小皿実測図（１）*1257-1316*
図43　折縁小皿実測図（２）*1317-1376*
図44　折縁小皿実測図（３）*1377-1412*
図45　直縁鬢鉢・折縁中鉢・八稜皿実測図（１）*1413-1428*
図46　八稜皿実測図（２）*1429-1438*
図47　卸目付大皿実測図 *1439-1450*
図48　卸皿実測図（１）*1451-1456*
図49　卸皿実測図（２）*1457-1462*
図50　卸皿実測図（３）*1463-1470*
図51　卸皿実測図（４）*1471-1476*
図52　卸皿実測図（５）*1477-1488*
図53　卸皿実測図（６）*1489-1500*
図54　卸皿実測図（７）*1501-1512*
図55　卸皿実測図（８）*1513-1524*
図56　卸皿実測図（９）*1525-1538*
図57　卸皿実測図（10）*1539-1558*
図58　卸皿実測図（11）*1559-1588*
図59　直縁大皿実測図（１）*1589-1594*
図60　直縁大皿実測図（２）*1595-1600*
図61　直縁大皿実測図（３）*1601-1608*

図62　直縁大皿実測図（４）*1609-1616*
図63　直縁大皿実測図（５）*1617-1624*
図64　直縁大皿実測図（６）*1625-1636*
図65　直縁大皿実測図（７）*1637-1652*
図66　直縁大皿実測図（８）*1653-1668*
図67　折縁鬢鉢実測図（１）*1669-1682*
図68　折縁鬢鉢実測図（２）*1683-1696*
図69　折縁鬢鉢実測図（３）*1697-1718*
図70　折縁直縁皿実測図 *1719-1730*
図71　折縁深皿実測図（１）*1731-1740*
図72　折縁深皿実測図（２）*1741-1746*
図73　折縁深皿実測図（３）*1747-1752*
図74　折縁深皿実測図（４）*1753-1758*
図75　折縁深皿実測図（５）*1759-1766*
図76　折縁深皿実測図（６）*1767-1774*
図77　折縁深皿実測図（７）*1775-1786*
図78　折縁深皿実測図（８）*1787-1802*
図79　折縁中皿実測図（１）*1803-1826*
図80　折縁中皿実測図（２）・底卸目皿実測図 *1827-1848*
図81　中鉢実測図（１）*1849-1864*
図82　中鉢実測図（２）*1865-1892*
図83　中鉢実測図（３）*1893-1920*
図84　小鉢実測図（１）*1921-1958*
図85　小鉢実測図（２）*1959-2006*
図86　小鉢実測図（３）*2007-2052*
図87　小鉢実測図（４）*2053-2102*
図88　小鉢実測図（５）*2103-2150*
図89　小鉢実測図（６）*2151-2206*
図90　小鉢実測図（７）*2207-2264*
図91　柄付片口実測図（１）*2265-2276*
図92　柄付片口実測図（２）*2277-2294*
図93　柄付片口実測図（３）*2295-2312*
図94　柄付片口実測図（４）*2313-2330*
図95　柄付片口実測図（５）*2331-2354*
図96　柄付片口実測図（６）*2355-2382*
図97　片口小鉢実測図（１）*2383-2406*
図98　片口小鉢実測図（２）・調理鉢実測図 *2407-2418*
図99　碗形鉢実測図（１）*2419-2432*
図100　碗形鉢実測図（２）*2433-2450*
図101　片口鉢実測図（１）*2451-2460*
図102　片口鉢実測図（２）*2461-2470*
図103　片口鉢実測図（３）*2471-2488*
図104　擂鉢実測図（１）*2489-2498*
図105　擂鉢実測図（２）*2499-2508*
図106　擂鉢実測図（３）*2509-2520*
図107　擂鉢実測図（４）*2521-2524*
図108　擂鉢実測図（５）・鉢実測図（１）*2525-2532*
図109　鉢実測図（２）*2533-2542*
図110　内耳鍋実測図（１）*2543-2554*
図111　内耳鍋実測図（２）*2555-2564*
図112　内耳鍋実測図（３）*2565-2580*
図113　手付鍋実測図（１）*2581-2594*
図114　手付鍋実測図（２）*2595-2610*
図115　手付鍋実測図（３）*2611-2634*
図116　羽釜実測図（１）*2635-2646*
図117　羽釜実測図（２）*2647-2660*
図118　四（三）耳壷実測図（１）*2661-2682*
図119　四（三）耳壷実測図（２）*2683-2696*
図120　四（三）耳壷実測図（３）*2697-2708*
図121　四（三）耳壷実測図（４）*2709-2720*
図122　四（三）耳壷実測図（５）*2721-2728*
図123　四（三）耳壷実測図（６）*2729-2740*
図124　四（三）耳壷実測図（７）*2741-2748*
図125　四（三）耳壷実測図（８）*2749-2760*
図126　四（三）耳壷実測図（９）*2761-2770*
図127　甕実測図（１）*2771-2782*
図128　甕実測図（２）*2783-2792*
図129　甕実測図（３）・茶壷実測図（１）*2793-2800*

図130　茶壷実測図（２）*2801-2814*
図131　茶壷実測図（３）・広口壷実測図（１）
2815-2827, 2837-2841
図132　広口壷実測図（２）・
口広有耳壷実測図（１）*2842-2851*
図133　口広有耳壷実測図（２）*2852-2887*
図134　口広壷実測図 *2888-2905*
図135　筒形短頸壷実測図 *2906-2923*
図136　花瓶実測図（１）*2924-2955*
図137　花瓶実測図（２）*2956-2993*
図138　花瓶実測図（３）*2994-3013*
図139　花瓶実測図（４）*3014-3043*
図140　花瓶実測図（５）*3044-3055*
図141　花瓶実測図（６）*3056-3077*
図142　花瓶実測図（７）*3078-3093*
図143　花瓶実測図（８）*3094-3111*
図144　花瓶実測図（９）*3112-3133*
図145　花瓶実測図（10）*3134-3157*
図146　花瓶実測図（11）*3158-3169*
図147　花瓶実測図（12）*3170-3187*
図148　花瓶実測図（13）*3188-3207*
図149　花瓶実測図（14）*3208-3233*
図150　花瓶実測図（15）*3234-3259*
図151　花瓶実測図（16）*3260-3291*
図152　花瓶実測図（17）*3292-3307*
図153　袴腰形香炉実測図（１）*3308-3331*
図154　袴腰形香炉実測図（２）*3332-3363*
図155　袴腰形香炉実測図（３）*3364-3403*
図156　袴腰形香炉実測図（４）*3404-3465*
図157　筒形香炉実測図（１）*3466-3497*
図158　筒形香炉実測図（２）*3498-3531*
図159　筒形香炉実測図（３）*3532-3565*
図160　筒形香炉実測図（４）*3566-3601*
図161　筒形香炉実測図（５）*3602-3647*
図162　筒形香炉実測図（６）*3648-3697*
図163　筒形香炉実測図（７）*3698-3759*
図164　筒形香炉実測図（８）*3760-3829*
図165　筒形段香炉実測図（１）*3830-3859*
図166　筒形段香炉実測図（２）*3860-3889*
図167　筒形段香炉実測図（３）*3890-3923*
図168　仏供実測図 *3924-3973*
図169　燭台実測図（１）*3974-4005*
図170　燭台実測図（２）*4006-4025*
図171　燭台実測図（３）*4026-4045*
図172　瓶子Ⅰ・Ⅱ実測図（１）*4046-4067*
図173　瓶子Ⅱ実測図（２）*4068-4083*
図174　瓶子Ⅱ実測図（３）*4084-4101*
図175　瓶子Ⅱ実測図（４）*4102-4119*
図176　瓶子Ⅱ実測図（５）*4120-4131*
図177　瓶子Ⅲ実測図（６）*4132-4155*
図178　瓶子Ⅲ実測図（７）*4156-4169*
図179　瓶子Ⅲ実測図（８）*4170-4183*
図180　片口・広口瓶実測図 *4184-4209*
図181　土瓶実測図（１）*4210-4225*
図182　土瓶実測図（２）*4226-4245*
図183　片口小瓶実測図（１）*4246-4269*
図184　片口小瓶実測図（２）*4270-4295*
図185　水注実測図（１）*4296-4311*
図186　水注実測図（２）*4312-4335*
図187　水注実測図（３）*4336-4357*
図188　水注実測図（４）*4358-4387*
図189　双耳小壺実測図 *4388-4417*
図190　筒形容器実測図（１）*4418-4439*
図191　筒形容器実測図（２）*4440-4455*
図192　筒形容器実測図（３）*4456-4471*
図193　桶実測図（１）*4472-4479*
図194　桶実測図（２）*4480-4491*
図195　桶実測図（３）*4492-4505*
図196　風炉実測図（１）*4506・4507*
図197　風炉実測図（２）*4508・4509*
図198　花盆実測図（１）*4510-4513*
図199　花盆実測図（２）*4514-4517*

図200　花盆実測図（３）*4518-4525*
図201　花盆実測図（４）*4526-4531*
図202　花盆実測図（５）*4532-4539*
図203　花盆実測図（６）*4540-4557*
図204　茶入実測図（１）*4558-4595*
図205　茶入実測図（２）*4596-4627*
図206　合子実測図（１）*4628-4651*
図207　合子実測図（２）*4652-4681*
図208　合子蓋実測図（１）*4682-4727*
図209　合子蓋実測図（２）*4728-4785*
図210　蓋実測図 *4786-4813*
図211　水滴実測図（１）*4814-4823*
図212　水滴実測図（２）*4824-4843*
図213　水滴実測図（３）*4844-4875*
図214　茶臼：上臼実測図 *4876-4880*
図215　茶臼：下臼・ミニチュア下臼実測図 *4881-4886*
図216　狛犬実測図（１）*4887-4889*
図217　狛犬実測図（２）*4890-4893*
図218　狛犬実測図（３）*4894-4901*
図219　器種不明実測図 *4902-4931*
図220　その他実測図 *4932-4947*
図221　人面陶板・硯・ミニチュア天目茶碗実測図 *4948-4985*
図222　ミニチュア皿・須恵器・灰釉陶器・石棒実測図 *4986-5012, S-1*
図223　陶丸実測図（１）*5013-5074*
図224　陶丸実測図（２）*5075-5138*
図225　山茶碗実測図（１）*5139-5180*
図226　山茶碗実測図（２）*5181-5226*
図227　転用山茶碗実測図 *5227-5254*
図228　小皿・鉢実測図：文様拓影 *5255-5268*
図229　鳥文卸目付匣鉢蓋実測図 *5269*
図230　重ね焼き資料実測図（１）*275, 5270-5282*
図231　重ね焼き資料実測図（２）*182, 184, 253, 274, 5283-5294*
図232　重ね焼き資料実測図（３）*5295-5314*
図233　重ね焼き資料実測図（４）*5315-5332*
図234　重ね焼き資料実測図（５）*5333-5350*
図235　重ね焼き資料実測図（６）*5351-5364*
図236　重ね焼き資料実測図（７）*5365-5371*
図237　重ね焼き資料実測図（８）*5372-5389*
図238　重ね焼き資料実測図（９）*5390-5399*
図239　重ね焼き資料実測図（10）*5400-5405*
図240　平底匣鉢実測図 *5406-5415*
図241　平底匣鉢・匣蓋実測図（１）*5416-5433*
図242　平底匣鉢・匣蓋実測図（２）*5434-5449*
図243　卸目付匣蓋実測図 *5450-5467*
図244　窯道具実測図 *5468-5479*
図245　焼台実測図（１）*5480-5483*
図246　焼台実測図（２）*5484-5491*
図247　焼台実測図（３）*5492-5503*
図248　分析資料実測図 *5504-5529*
図249　源吉屋敷出土遺物実測図（１）*5538-5569*
図250　源吉屋敷出土遺物実測図（２）*5570-5587*
図251　源吉屋敷出土遺物実測図（３）*5588-5609*
図252　源吉屋敷出土遺物実測図（４）*5610-5621*
図253　源吉屋敷出土遺物実測図（５）*5622-5641*
図254　源吉屋敷出土遺物実測図（６）*5642-5651*
図255　源吉屋敷出土遺物実測図：瀬戸埋文セ蔵
図256　源吉屋敷出土遺物実測図：瀬戸埋文セ蔵
図257　源吉屋敷出土遺物実測図：瀬戸埋文セ蔵

写真図版篇　目次

第１図　調査区位置図 iv
第２図　グリッド図 v
第３図　遺構位置図（１） vi
第４図　遺構位置図（２） vii
図版１　98区調査区全景
図版２　98区・99Ａ区調査区全景
図版３　01区SY01
図版４　01区SY01
図版５　01区SY01
図版６　01区SY01
図版７　01区SY01
図版８　01区SY01
図版９　99Ａ区SX01
図版10　99Ａ区SX01Ｂ
図版11　99Ａ区SX01Ｂ
　未焼成碗・未焼成天目茶碗出土状況
図版12　99Ａ区SX01Ｂ
　未焼成碗・未焼成天目茶碗出土状況
図版13　99Ａ区SX01Ｂ未焼成天目茶碗出土状況
図版14　99Ａ区SX01
図版15　99Ａ区SX02
図版16　99Ａ区SX04・05、01区SX06
図版17　01区SX07・08
図版18　01区SX06・09
図版19　01区SX11
図版20　99Ａ区SD01、01区SK12
図版21　98区調査区全景
図版22　98区調査区土層
図版23　発掘調査風景
図版24　発掘調査風景
図版25　SY01出土遺物
図版26　遺構出土遺物
図版27　遺構出土遺物
図版28　遺構出土遺物　天目茶碗
図版29　SX01Ｂ出土未焼成天目茶碗　粘土塊
図版30　SX01Ｂ出土未焼成天目茶碗・碗
　粘土塊
図版31　SX01Ｂ出土未焼成天目茶碗・碗・皿
図版32　SX01Ｂ出土未焼成天目茶碗　天目茶碗
図版33　SX01Ｂ出土未焼成天目茶碗　天目茶碗
図版34　SX01Ｂ出土未焼成天目茶碗　天目茶碗
図版35　SX01Ｂ出土未焼成天目茶碗　天目茶碗
図版36　天目茶碗
図版37　天目茶碗
図版38　天目茶碗
図版39　天目茶碗
図版40　天目茶碗
図版41　天目茶碗　灰釉天目茶碗
図版42　灰釉天目茶碗
図版43　灰釉天目茶碗　平碗
図版44　平碗
図版45　平碗　浅碗
図版46　浅碗　平底浅碗
図版47　小天目茶碗　小碗
図版48　縁釉小皿
図版49　縁釉小皿
図版50　縁釉小皿
図版51　折縁小皿
図版52　折縁小皿
図版53　折縁小皿
図版54　折縁小皿
図版55　八稜皿
図版56　八稜皿　卸皿Ａ
図版57　卸目付大皿　卸皿Ａ
図版58　卸皿Ａ　卸皿Ｂ
図版59　卸皿Ｂ　卸皿Ｅ　直縁大皿Ａ
図版60　直縁大皿Ａ　折縁鬢鉢Ａ　折縁鬢鉢Ｂ
図版61　折縁鬢鉢Ｂ　折縁直縁　折縁深皿

図版62　折縁深皿
図版63　折縁深皿　折縁中皿
図版64　折縁中皿　中鉢
図版65　中鉢　小鉢
図版66　小鉢
図版67　小鉢　柄付片口
図版68　柄付片口
図版69　柄付片口　片口小鉢　手付鉢
図版70　柄付片口　片口小鉢　碗形鉢　片口鉢
　　擂鉢形小鉢
図版71　片口鉢　擂鉢
図版72　鉢　内耳鍋
図版73　内耳鍋　手付鍋　羽釜
図版74　羽釜　四耳壺　三耳壺
図版75　四耳壺　三耳壺
図版76　四耳壺
図版77　四耳壺
図版78　四耳壺
図版79　四耳壺
図版80　四耳壺
図版81　四耳壺　甕
図版82　四耳壺　甕　茶壺
図版83　甕　茶壺
図版84　茶壺
図版85　広口壺
図版86　口広有耳壺　筒形短頚壺　花瓶
図版87　花瓶
図版88　花瓶
図版89　花瓶
図版90　花瓶
図版91　花瓶
図版92　花瓶
図版93　花瓶
図版94　花瓶
図版95　花瓶
図版96　花瓶
図版97　花瓶
図版98　花瓶
図版99　花瓶
図版100 花瓶
図版101 花瓶
図版102 花瓶
図版103 花瓶　襞袴腰形香炉　袴腰形香炉A
　　袴腰形香炉B
図版104 袴腰形香炉A　袴腰形香炉B
図版105 袴腰形香炉A　袴腰形香炉B
図版106 袴腰形香炉A　袴腰形香炉B
図版107 袴腰形香炉B　袴腰形香炉C
図版108 袴腰形香炉C　袴腰形香炉D
　　筒形香炉A
図版109 筒形香炉A
図版110 筒形香炉A
図版111 筒形香炉A　筒形香炉B
図版112 筒形香炉B　筒形香炉C
図版113 筒形香炉B　筒形香炉C
図版114 筒形香炉C
図版115 筒形香炉C　筒形香炉D
図版116 筒形香炉D
図版117 筒形香炉D　仏供
図版118 仏供　燭台
図版119 燭台
図版120 燭台
図版121 燭台
図版122 燭台
図版123 燭台　瓶子Ⅰ　瓶子Ⅱ
図版124 瓶子Ⅱ
図版125 瓶子Ⅱ　瓶子
図版126 瓶子Ⅱ　瓶子Ⅲ
図版127 瓶子Ⅲ
図版128 瓶子Ⅲ　片口瓶　土瓶
図版129 土瓶　片口小瓶　水柱Ⅰ
図版130 水柱Ⅰ　水柱Ⅱ

図版131 水柱Ⅰ　水柱Ⅱ　水柱Ａ
図版132 水柱Ａ　双耳小壺
図版133 双耳小壺　筒形容器
図版134 筒形容器
図版135 筒形容器　桶　風炉　花盆
図版136 風炉　花盆
図版137 花盆
図版138 花盆
図版139 茶入
図版140 茶入　合子
図版141 合子　　合子蓋
図版142 合子蓋
図版143 合子蓋　蓋
図版144 蓋
図版145 蓋　水滴
図版146 水滴
図版147 水滴　茶臼：上臼
図版148 ミニチュア下臼　茶臼：下臼
図版149 狛犬
図版150 花生　小杯　灯明皿　人面陶板
図版151 硯　ミニチュア天目茶碗
図版152 ミニチュア天目茶碗　ミニチュア皿
匣鉢蓋　重ね焼き資料（天目茶碗）
図版153 重ね焼き資料
図版154 重ね焼き資料
図版155 重ね焼き資料
図版156 重ね焼き資料
図版157 重ね焼き資料
図版158 重ね焼き資料
図版159 重ね焼き資料
図版160 重ね焼き資料
図版161 重ね焼き資料
図版162 重ね焼き資料
図版163 重ね焼き資料
図版164 重ね焼き資料
図版165 重ね焼き資料
図版166 重ね焼き資料
図版167 重ね焼き資料
図版168 重ね焼き資料
図版169 重ね焼き資料
図版170 重ね焼き資料
図版171 重ね焼き資料
図版172 重ね焼き資料
図版173 重ね焼き資料　団子トチ
図版174 卸目付匣鉢蓋　焼台
図版175 焼台　天目茶碗　灰釉天目茶碗
縁釉小皿　端反皿　卸皿Ａ　卸皿Ｃ
卸皿Ｄ

第１章　立地と調査経過

第１節　環境と立地

１．遺跡の位置

鷲窯跡は、瀬戸市岩屋町及び鳥原町地内に所在する。瀬戸市は愛知県の中央北部、岐阜県との県境に位置し、旧尾張国の北東端にあたる。北は岐阜県多治見市、土岐市等に接し、西は春日井市、名古屋市、尾張旭市に隣接する。東及び南方は旧三河国に属する西加茂郡藤岡町や愛知郡長久手町、自動車産業の町として世界的に著名な豊田市に接している。

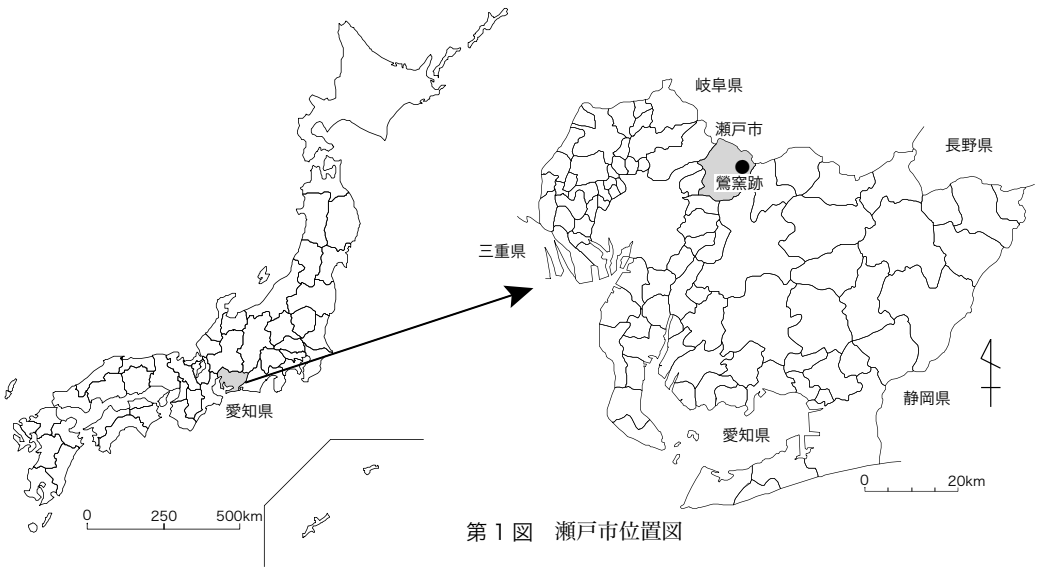
瀬戸市は「セトモノ」の名前で知られるように古来より窯業生産の一大中心地として繁栄したところである。現在は名古屋市、豊田市の近郊という地の利から市の南西部を中心に宅地造成が進行しつつある。市域は東西12.8㎞、南北13.6㎞で、周囲約50㎞の楕円形を呈している。

２．地理的環境

瀬戸市は名古屋市の東に展開する尾張丘陵地帯の一部に位置し、木曽山脈の最南端にあたる。その大部分の標高は100ｍから600ｍの丘陵地で占められている。中でも市域西側には100ｍから200ｍの低位丘陵が展開しており、市街地や耕作地を形成している。

それらの低位丘陵帯は市内を流れる河川によっていくつかに区分されている。市境北東に沿って庄内川が南流し、その支流である蛇ヶ洞川が市域北部、水野川が市域中部を東から西へと流れている。また市域中南部には矢田川（山口川）とその支流である瀬戸川が東から西へと流れている。

水野川の北側を穴田丘陵、水野川と瀬戸川に挟まれた地域を水野丘陵と呼んでいる。また瀬戸川と矢田川に挟まれた部分を菱野丘陵、矢田川以南を幡山丘陵と呼称している。菱野、幡山丘陵地は近年、宅地造



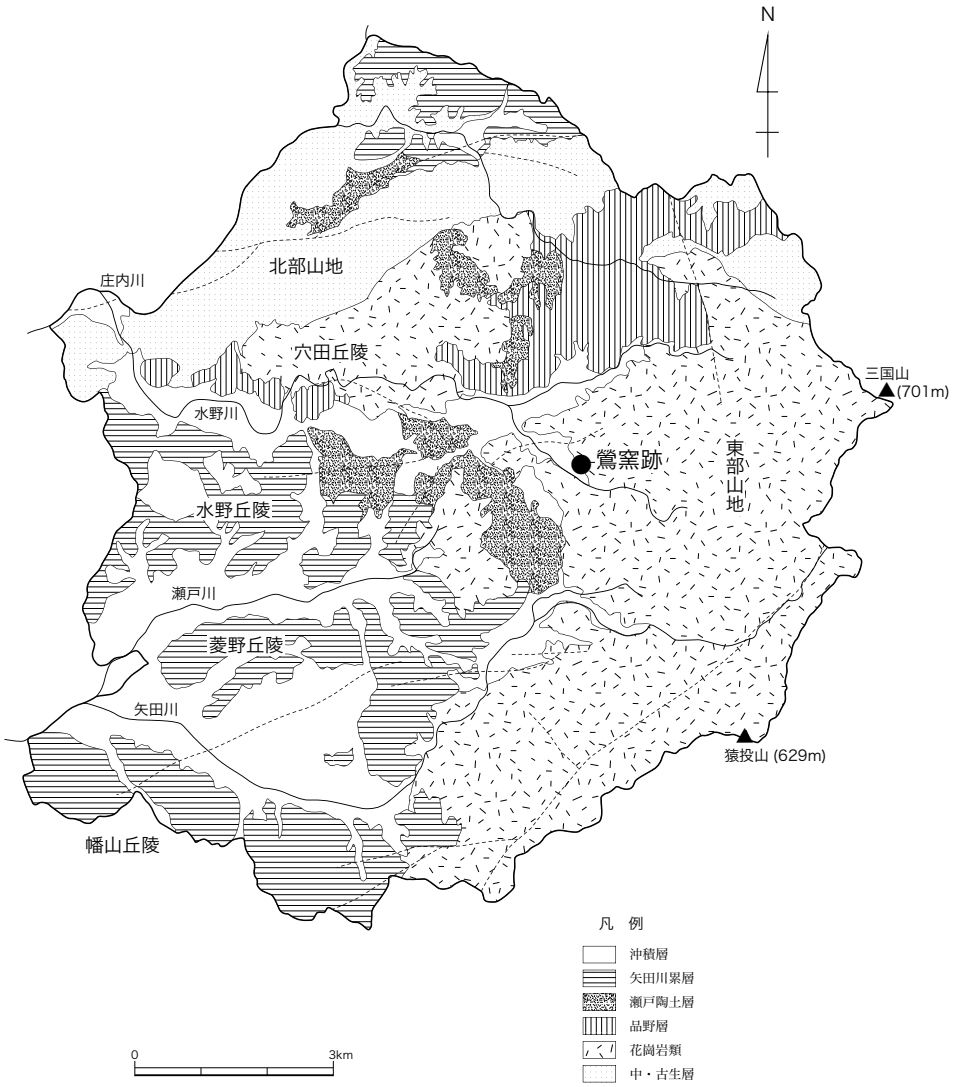
第１図　瀬戸市位置図

成が進み、平地同様住宅地が増加している。

さらに河川沿いには狭い沖積地が盆地状に広がっており、蛇ヶ洞川沿いには上半田川盆地、下半田川盆地、水野川沿いには上流に品野盆地、下流に水野盆地が形成され、矢田川上流（赤津川）には赤津盆地がある。また、矢田川と瀬戸川沿いには西方にむかって平地が広がっており、名古屋市北東部の沖積地へとつながっている。北部及び東部山地は国有林と県有林が広がり、土砂採集場以外は自然の多く残る丘陵地帯となっている。

瀬戸市における地質的特徴は、伝統的な窯業地であることからも分かるように、市域中央部に良好な陶土層（瀬戸陶土層）がみられることである。

この陶土層は、その基盤である中・古生層及び花崗岩層の上に厚く堆積しており、その由来は第三紀鮮新世から第四紀更新世初めにかけて伊勢湾を中心に広がっていたとされる東海湖の堆積物である。また、市域中部に広がる水野砂礫層、蛇ヶ洞川北部に広がる土岐砂礫層（いずれも矢田川累層）中にも砂礫層に



第２図　瀬戸市の地質概要図
『瀬戸市史』自然編をもとに作成

挟まれて粘土層がみられる。一方市域北部には中・古生層、東部には花崗岩類が広がっており、この部分では粘土層はみられない。

3．歴史的環境

瀬戸市は豊富な陶土と燃料の薪、築窯に適した地形や技術、さらには生産品の搬路や水利などの諸条件を満たし、古くから窯業地帯として発達してきた。

鷲窯跡は瀬戸市岩屋町及び鳥原町に所在する14世紀後半から15世紀前半の窯業遺跡で、この時期の瀬戸窯を代表する窯である。また古瀬戸（陶器）後期の編年資料の標識遺跡としても知られている。

本遺跡は品野盆地から水野川支流の鳥原川沿いに南東奥へ細長くのびた谷状地形の北側段丘に立地している。窯体は丘陵の南斜面、標高227ｍから231ｍに築造され、窯直下から標高約200ｍの斜面末端まで灰原が濃密に広がっている。

周辺の史跡としては遺跡東側に隣接して、境内南東の丘陵末端に遺物散布がみられる曹洞宗の浄源寺が、また鳥原川を上流へ進むと観光地としても著名な愛知高原国定公園岩屋堂の由来にもなっている岩屋山薬師堂がある。

遺跡としては縄文時代早期・前期の鳥原縄文遺跡や岩屋堂遺跡、古墳時代以降の鳥原遺跡などがある。また平成10年度調査区の南端平坦部分は19世紀の屋敷跡、浄源寺遺跡（別名源吉屋敷跡）を一部含むと考えられる。

第２節　調査の経緯と経過

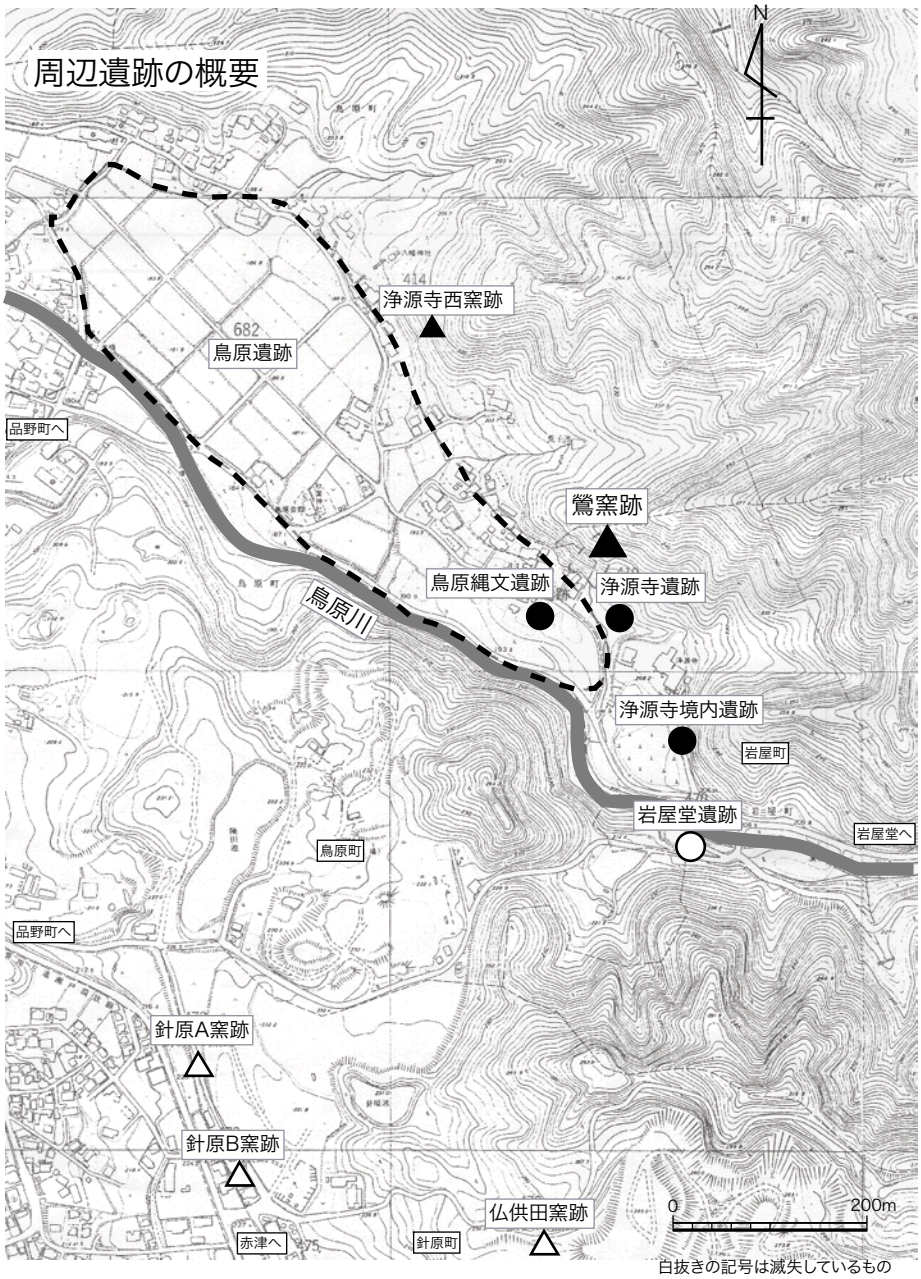
1．調査にいたる経緯

国土交通省は中部地方の高速道路網整備の一つとして愛知、岐阜、三重の東海三県を環状に結ぶ東海環状自動車道建設を計画した。瀬戸市東部を南北に縦断する形で、岐阜県関市と豊田市を結ぶ道路が計画され、瀬戸市内の尾根を結ぶ橋脚部分に本遺跡の範囲が該当し、平成７年度に財団法人瀬戸市埋蔵文化財センターが試掘調査を実施し、窯体及び灰原が存在することが確認されたため、平成10年度より当センターが調査に入った。

2．調査の経過

鷲窯跡の発掘調査は東海環状自動車道建設の事前調査として、国土交通省愛知国道工事事務所より愛知県教育委員会を通じた委託事業として行った。発掘調査は、平成10年12月から始まり平成10年度、平成11年度、平成13年度と３年度に亙る調査となった。

平成10年度は斜面の中腹から灰原末端までと灰原直下の平坦部の調査900㎡を、平成11年度は尾根から窯体にかけての工房跡が展開する調査区Ａ区と10年度調査区の北側灰原の調査区Ｂ区と工事用モノレールの脚部のトレンチＣ区からＬ区の200㎡を実施した。平成11年７月にはＡ区で応用地質株式会社により磁気探査実験を実施した。範囲は11gから14g、11kから14kラインの315㎡、その結果窯体の一部が確認さ

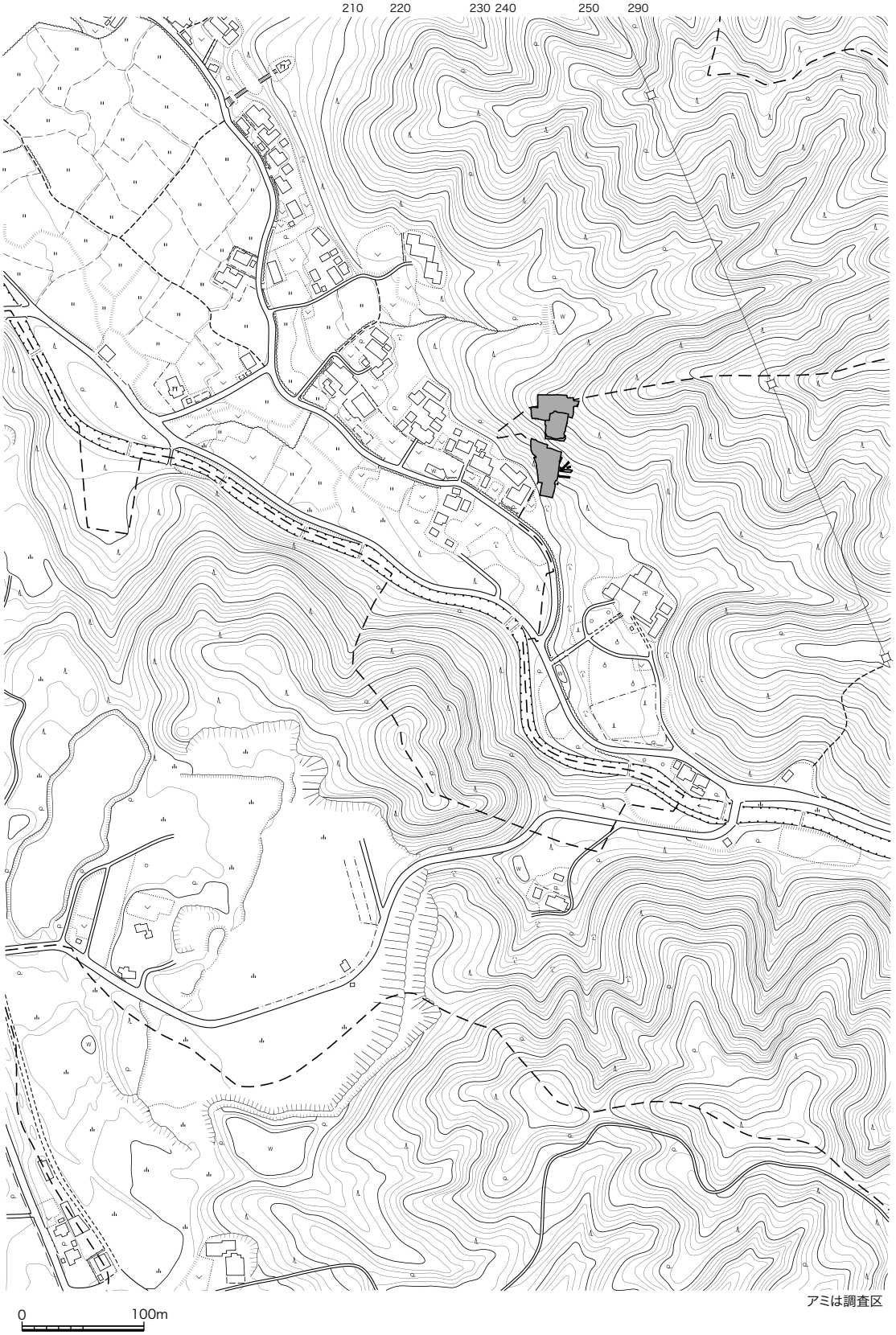


第3図　鷺窯跡の周辺遺跡図（1:8000）

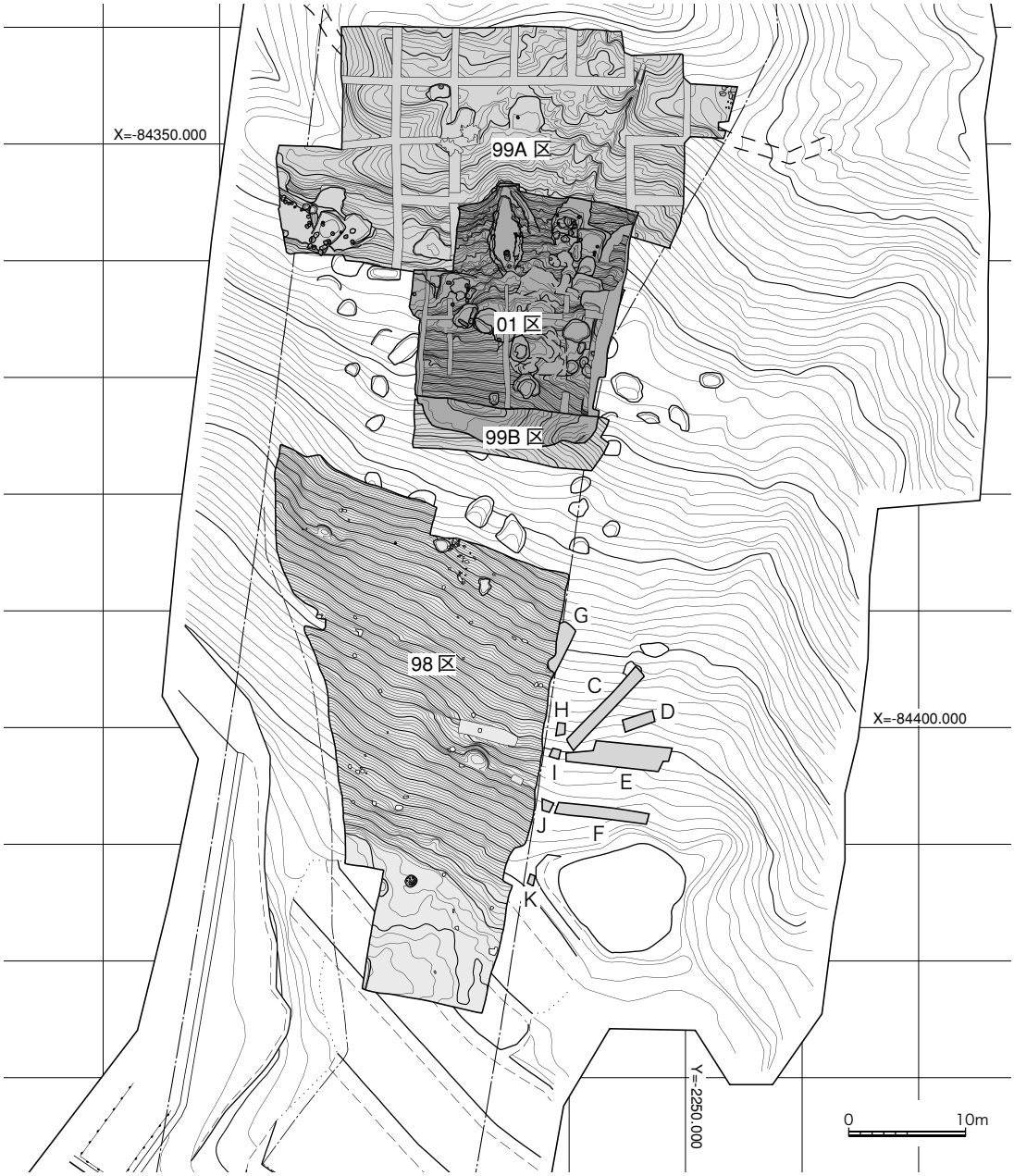
遺跡名	所在地	種別	時代	内容
浄源寺西窯跡	鳥原町	窯跡	近代	連房式登窯が4～5房程度残存している。 灰原は斜面下の民家裏崖面に露出している。
鳥原縄文遺跡	鳥原町	散布地	縄文	縄文土器・石器などが採集された。
鷺窯跡	岩屋町	窯跡	14～15世紀	浄源寺北西の丘陵に所在し、窯本体と前庭部と 考えられる平坦面がある。灰原は斜面末端まで 広がっている。
浄源寺遺跡	岩屋町	集落跡	19世紀	近代初頭の陶磁器が散布しており、源吉屋敷跡と いわれる近世の屋敷跡と思われる。
岩屋堂遺跡	岩屋町	散布地	縄文	石鏃などが採集されたが現在は滅失している。
針原A窯跡	針原町	窯跡	13世紀	山茶碗等が採集されたが現在は滅失している。
針原B窯跡	針原町	窯跡	14世紀	山茶碗等が採集されたが現在は滅失している。
仏供田窯跡	針原町	窯跡	13～14世紀	土砂採集に伴う事前調査として平成2年に調査された。 山茶碗・施釉陶器が出土した。
鳥原遺跡	鳥原町	集落跡	古代～近世	鳥原川沿いの沖積地に広がる散布地で、昭和62年に 試掘調査を実施した。土師器・須恵器・山茶碗・施釉陶 器等が出土した。
浄源寺境内遺跡	岩屋町	集落跡	19世紀	浄源寺境内南側の墓地から東側丘陵の末端に磁器・ 施釉陶器などの散布がみられる。

『瀬戸市内遺跡詳細分布調査報告書』より

第1表　鷺窯跡の周辺遺跡概要一覧



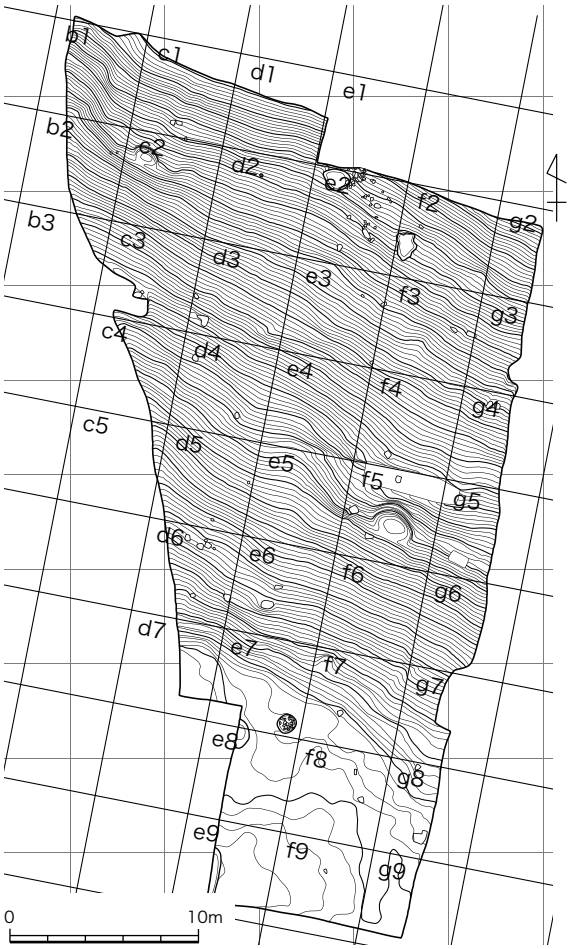
第4図　周辺地形図（1:5000）



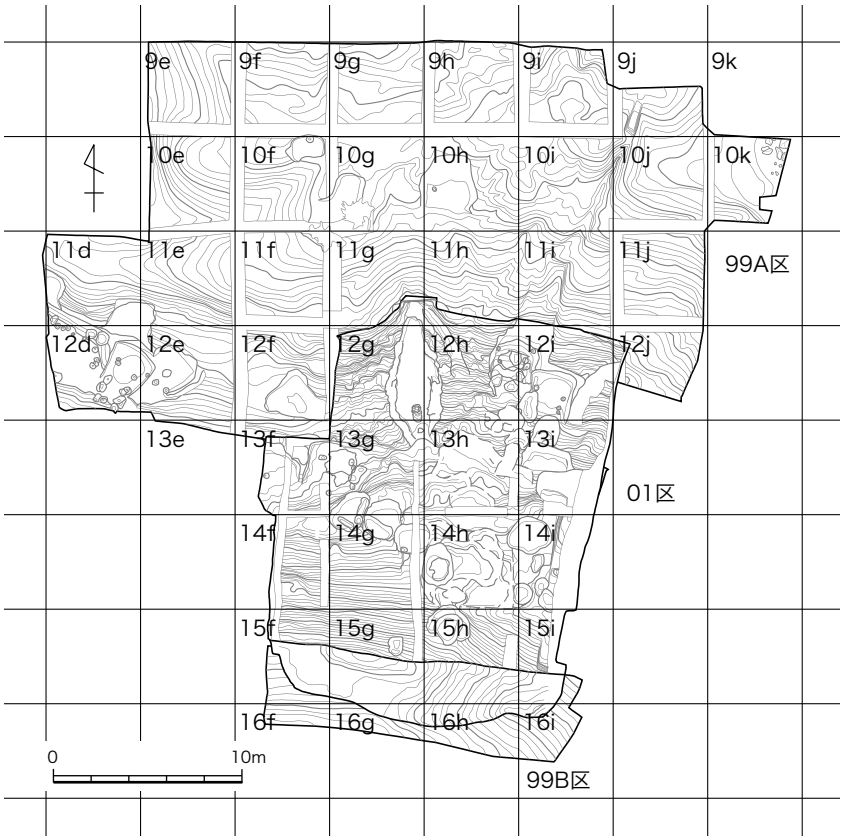
第5図　調査区位置図　(1:600)

	年度	調査区	調査面積	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	調査整理担当者
発掘調査	平成10年	98区	900㎡													黒田 小澤 川添
	平成11年	99A区〜99K区	200㎡													北村 小澤 宇佐見 織部
																北村 小澤 宇佐見 織部
	平成13年	01区	300㎡													服部 川添 織部
整理	平成13年	二次整理 報告書作成														小澤
	平成14年															小澤
	平成15年															小澤
	平成16年															小澤

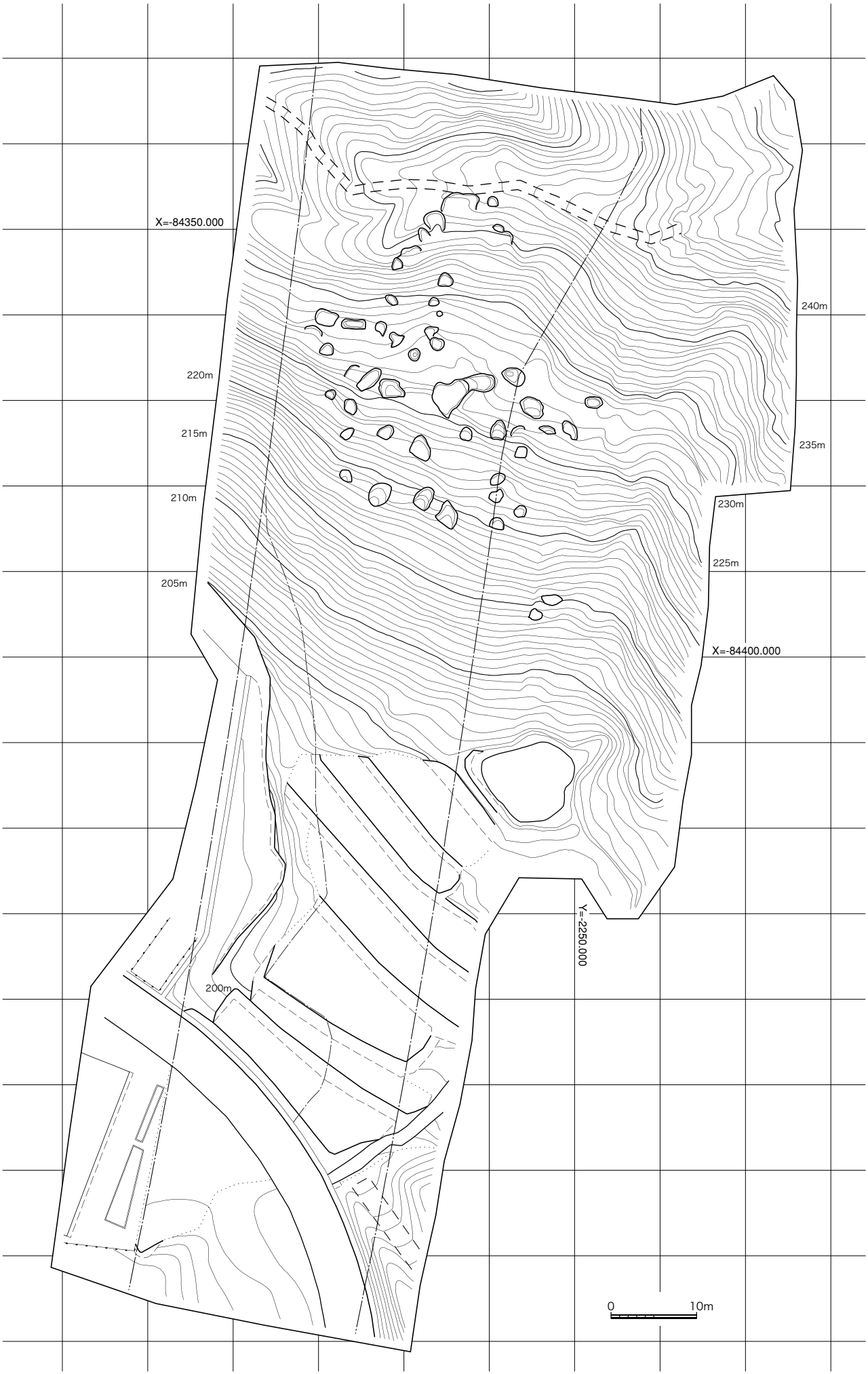
第２表　調査体制表



第６図　98 区グリッド図　(1:400)



第７図　99A・B区　01 区グリッド図（1:400）



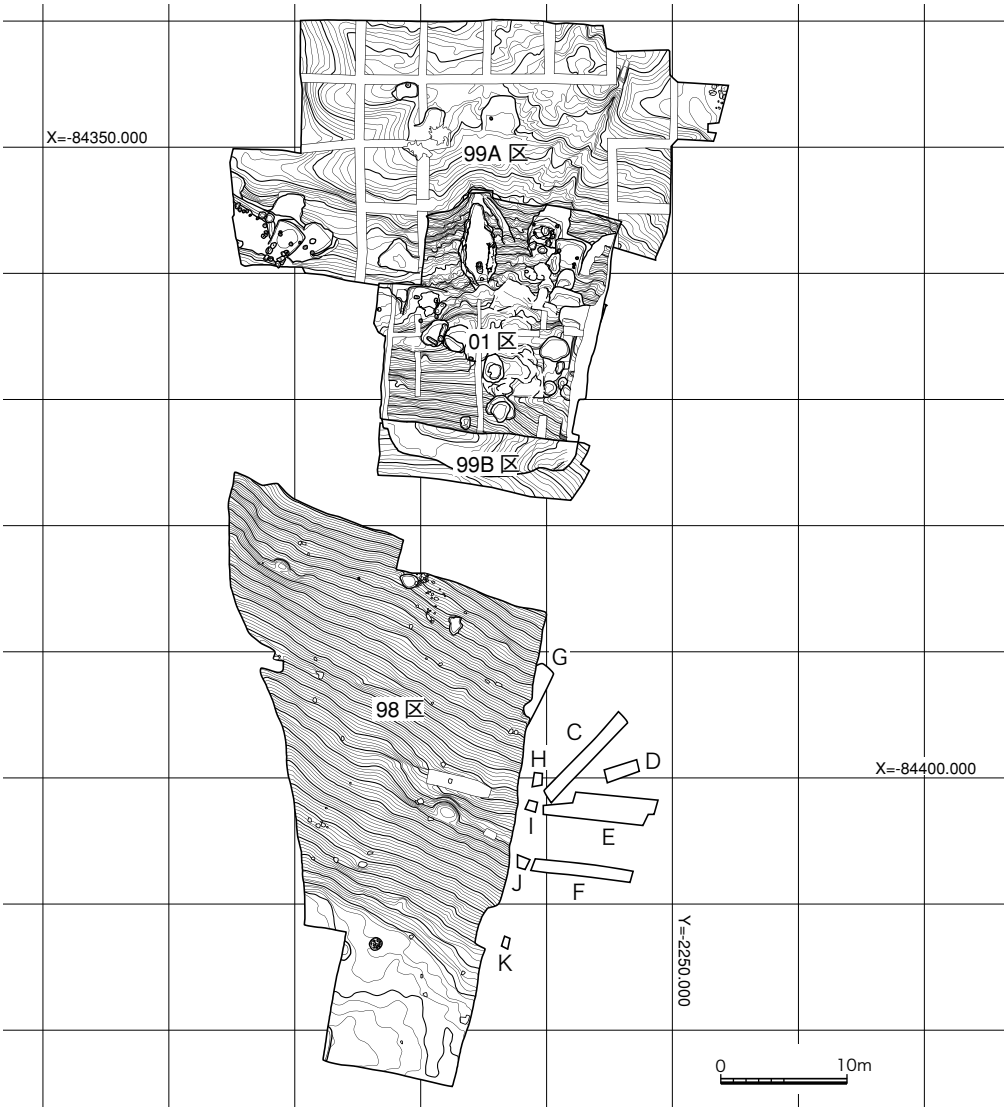
第8図　調査前地形測量図　(1:600)

れていたSY01は窯体全体が磁気異常として現れ、他には窯の東側に２ヶ所の磁気異常が見られたが、窯体の形と磁気異常分布が一致せず窯ではないことが判明した。平成13年度の調査は窯周辺とその直下の灰原を300㎡調査した。なお平成13年度の調査については株式会社パスコの支援を受けて調査を行った。

３．調査の手順と方法

調査は本遺跡の傾斜等地理的条件により、伐採等を除き、表土剥ぎ・排土運搬のほとんどを人力に頼ることとなった。斜度32～38度の斜面にベルトコンベアのかわりに簡易シューターを設置し、作業の効率化を図ることも行った。

作業工程としては表土剥ぎの後、平成10年度は灰原の傾斜面に合わせた任意の５ｍグリッドを、平成11年度と13年度は国土座標による５ｍグリッドを設定し、北壁・東壁を土層観察用のベルトとして残しながら掘削をすすめていった。



第9図　調査後地形測量図　（1:600）

平成10年度の98区では先行調査として、ボーリング調査用のモノレールの脚部分をｆ２の調査区内北側に幅２ｍの北トレンチ、ｇ２の調査区内東側に幅２ｍの東トレンチを設定し進めた。

平成11年度では工事用道路に伴う橋脚部分をトレンチＣ区からＫ区として設定し進めた。

平成13年度調査では窯体については横断面と縦断面の土層観察のため縦横の順に掘削し、光学測量機器を使用しながら測量作業をすすめ、また掘削の過程で各面ごとに高所作業車及びラジコンヘリ等で写真撮影、測量を行った。

発掘調査担当者（現職名）

平成10年〔1998〕度

主　　査　　黒田　哲男（愛知県立海南・海翔高等学校教諭）

主　　任　　小澤　一弘

調査研究員　　川添　和暁

平成11年〔1999〕度

課長補佐　　北村　和宏（愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室）

専門員　　小澤　一弘

調査研究員　　宇佐見　守（愛知県立春日井西高等学校教諭）

織部　匡久（愛知県立尾西高等学校教諭）

平成13年〔2001〕度

課長補佐　　服部　信博（愛知県立一宮興道高等学校教諭）

調査研究員　　織部　匡久

川添　和暁

発掘調査作業協力者一覧（敬称略）

平成10年〔1998〕度

浅見久江・稲垣冴子・稲葉芳美・大江裕美・太田重明・岡田靖子・加藤和枝・久保田敬男・後藤久美子・斎場きみ子・佐々木淑子・杉野幹男・杉原千速・諏澤仙一・谷川正治・太刀川美和子・塚本　博・長江典子・中根千恵子・中野啓子・丹羽美佐江・野牧　励・平田多助・深田美智子・町田義哉・宮石千津子・宮本勢津子・元木保美・森　優子・森川敏子・山下洋子・山本里美

平成11年〔1999〕度

浅見久江・跡部広子・市来仁子・稲垣冴子・大江裕美・太田重明・岡田靖子・加藤和枝・後藤久美子・斎場きみ子・佐々木淑子・塩見早智代・杉野幹男・杉原千速・諏澤仙一・塚本　博・塚本芳子・長江典子・中根千恵子・西脇佐和子・丹羽美佐江・野牧　励・平田多助・深田美智子・町田義哉・宮石千津子・宮本勢津子・元木保美・森　優子・山下洋子・山本里美

平成13年〔2001〕度

株式会社パスコ　葛西博美・中村聡史・小畑直樹。

大江裕美・太田重明・岡田靖子・加藤和枝・加藤光二・亀谷　浩・北島みち子・後藤久美子・

塩見早智代・杉原千速・鈴木　肇・田中秀夫・長江典子・中根千恵子・平田多助・森　優子・
山下洋子

4．整理・報告書作成

平成13年（2001）度より平成16年（2004）度までの４年間に亙り二次整理と報告書作成作業を実施した。

膨大な量の遺物はP27のコンテナに3,873箱、総重量は約22.8トンであった。

整理作業の中でも膨大な量の出土陶器片の１点づつの器種分類と口縁片、胴部片、底部片に分けてのカウント作業に多くの時間を費やした。１点の陶器片についてできる限りデータ化する、言い換えれば数値化することを目標にカウントし、最終的には773,955点を数えている。

そしてカウントしたデータのデータベース作成については株式会社四門の支援を一部受けた。また遺物図作成に関してアイシン精機株式会社と国際航業株式会社の支援を一部受けた。

整理担当者

平成13年〔2001〕度～平成16年〔2004〕度

主　　査　　小澤　一弘

整理作業協力者一覧（敬称略）

平成13年〔2001〕度

伊藤弘江・大塚みゆき・加賀良子・亀井好美・河合明美・木全淑子・小島洋子・須田かつみ・
祖父江久江・平野昌子・穂波由枝

平成14年〔2002〕度

株式会社四門　米澤容一・三澤壮太・津田武徳・塩路和宏・鈴木裕子。

伊藤弘江・牛田長子・加藤美和子・加賀良子・亀井好美・木全淑子・吉柳敦子・小島洋子・
桜井乃布香・須田かつみ・時田典子・外山豊子・土井由美子・野中栄子・美濃羽浩美・穂波由枝

平成15年〔2003〕度

伊藤弘江・牛田長子・小川あかね・加藤美和子・加賀良子・木全淑子・吉柳敦子・小島洋子・
桜井乃布香・佐藤洋子・須田かつみ・鈴木加代子・鈴木早百合・時田典子・中山佳代・野中栄子・
美濃羽浩美・横川尚美

平成16年〔2004〕度

安達崇子・伊藤弘江・今田清美・小川あかね・神谷巳佳・小森奈菜枝・佐藤美弥子・鈴木早百合・
時田典子・中山佳代・水野多栄・堀田春美

第2章　遺　構

第1節　遺構の概要

鴬窯跡は遺跡分布調査等から、当初は14世紀後葉から15世紀前半の窖窯が尾根直下の南斜面に3基程度存在するものと考えられていた。窯体が想定される場所より下方の斜面には灰原が斜面末端まで広範囲に広がっていた。そして、窯体が想定された尾根直下から中腹にかけては盗掘穴が目立ち、そのまわりには陶器片が散乱する状況であった。調査の結果、尾根直下から窯（SY01）1基と工房跡8ヶ所（SX01～08）を検出した。

窯体SY01は2時期の窯が重なって見られた。初期操業期の窯体（SY01-1）と最終操業期の窯体（SY01-2）である。

最終操業期の窯体は南斜面の尾根直下に煙道が見られ現存長7m50cmを測る。窯体最大幅は焼成室で3mを測る。標高は煙道部で231m、焼成室部分で227mを測り、窯体の比高差はおよそ4mである。燃焼室の左右窯壁には焼台や粘土を用いた改修痕が認められ、左窯壁では少なくとも3度の改修が見られ、最終段階の窯壁間は1m80cmを測り、築窯当初の2m70cmからおよそ60％程度にまで縮小されていた。分焔柱はほとんどが失われておりかろうじて基部のみが確認できた。残存部は隅丸長方形を呈し長軸は50cm短軸は48cmを測り床面よりの残存高は15cmである。床面傾斜は約40度から50度を測った。初期操業期の窯体はこの床面の下から検出した。

初期操業期の窯体は焼成室から煙道部までの掘り方の残存と考えられ、残存長3m50cm最大幅2m、床面の傾斜は30度から40度を測った。

窯体を取り囲むように工房跡8ヶ所（SX01～08）を検出した。いずれも花崗岩の岩盤を掘削し谷側（南）が開口部となっている。SX01・Bからは未焼成の5枚重ねの天目茶碗が13個出土した。構築された位置から大きく3群に分けることができ、SX01・02・08・11はSY01の西側の南向き斜面を削平して、SX06・07・09・10はSY01の東側の南向き斜面を削平して、SX03・04・05はSY01の北側の尾根または尾根直下の南向き斜面を削平して構築されている。

この他に土坑（SK01・02・04・05・08～10・12）も検出した。

灰原は、斜度32度から38度の斜度を測る急斜面であった。予想以上の厚い堆積層で98区の北壁では現地表下2m40cmの厚さを測った。灰原の範囲はほぼ98区内に収まり、窯に近い北側で東へ5～6m、西へ3～4m程広がり、下るほど（南側）灰原は薄くなっていた。

第２節　窯体SY01

SY01（カラー図版4～7／図版3～8）

調査区北端部、丘陵の稜線より若干下部に存在している。この窯体には、以前同じ場所に操業していた窯体に再掘削および改修が行われたと考えられ、再掘削の前後により大きく２時期に分けられる。

再掘削以前の窯体をSY01-2、以降の窯体をSY01-1とする。

SY01-1（第14図～第17図）は、真北から西に約２度振れているもののほぼ真北を主軸として築かれており、標高は煙道部で231m、分焔柱部分で227mを測り、窯体の比高差はおよそ４mである。

天井の残存は見られなかったものの煙道部から焚口まで残存しており、窯体の残存長７m50cmを測る。窯体最大幅は焼成室で３mを測る。窯体検出時、焼成室全体に硬化面が残存し、焼台の配列が確認できた。

燃焼室の左右窯壁には焼台や粘土を用いた改修痕が認められ、窯本来の掘り方以外に壁は２面確認できる。各段階の窯壁はそれぞれがよく被熱している様子が確認でき、最終操業時の最大幅、窯壁間は１m80cmである。築窯当初の２m70cmからおよそ60％程度にまで縮小されている。また、燃焼室床面下の風化花崗岩には、帯状に赤色化した部分が２面確認できた。床面の最大傾斜は約50度と非常に急勾配であり、これがSY01-1の最大の特徴である。

分焔柱はほとんど失われており、かろうじて基部のみが確認でき、残存部は隅丸長方形を呈し長軸は50cmほどまで確認でき、短軸は48cm測る。床面よりの残存高は15cmである。燃焼室の埋土は赤色土が中心であり、一部に陶片、焼台、窯壁片などを含み粗い浅黄色の土層が混じる。燃焼室の床面は被熱し５cmから10cmの厚さで赤色硬化していた。

煙道部は、先端は削平されているもののほぼ確認することができ、床面傾斜は約45度から50度、そして段をなし約10度から15度の傾斜で先端まで続く。

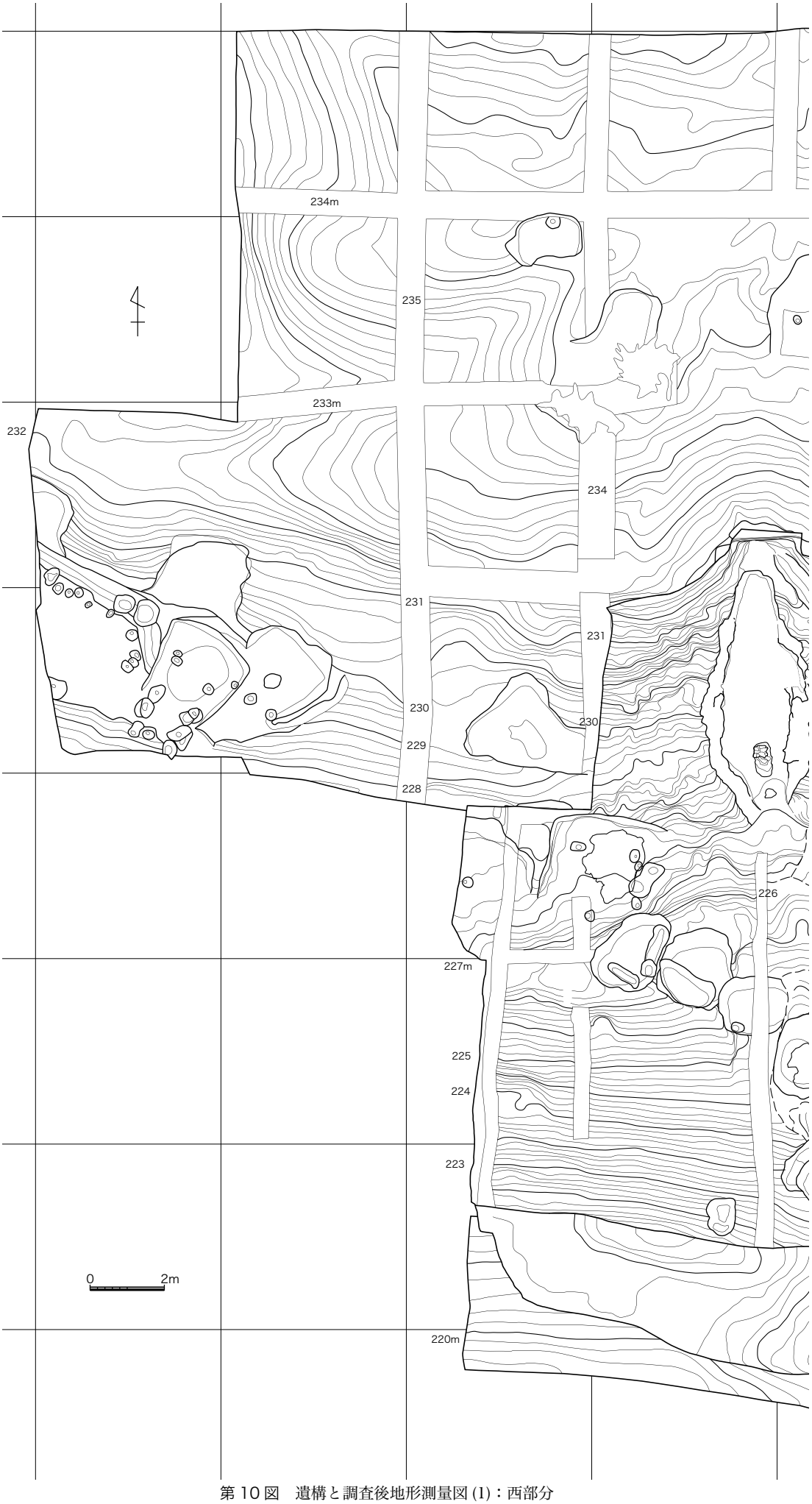
煙道部の東側には排水のための溝が一条検出された。

さらにこの窯体の特筆すべきことは、SY01-1が以前同じ場所に操業していた窯体SY01-2を再掘削および改修して築窯されたと考えられることである。

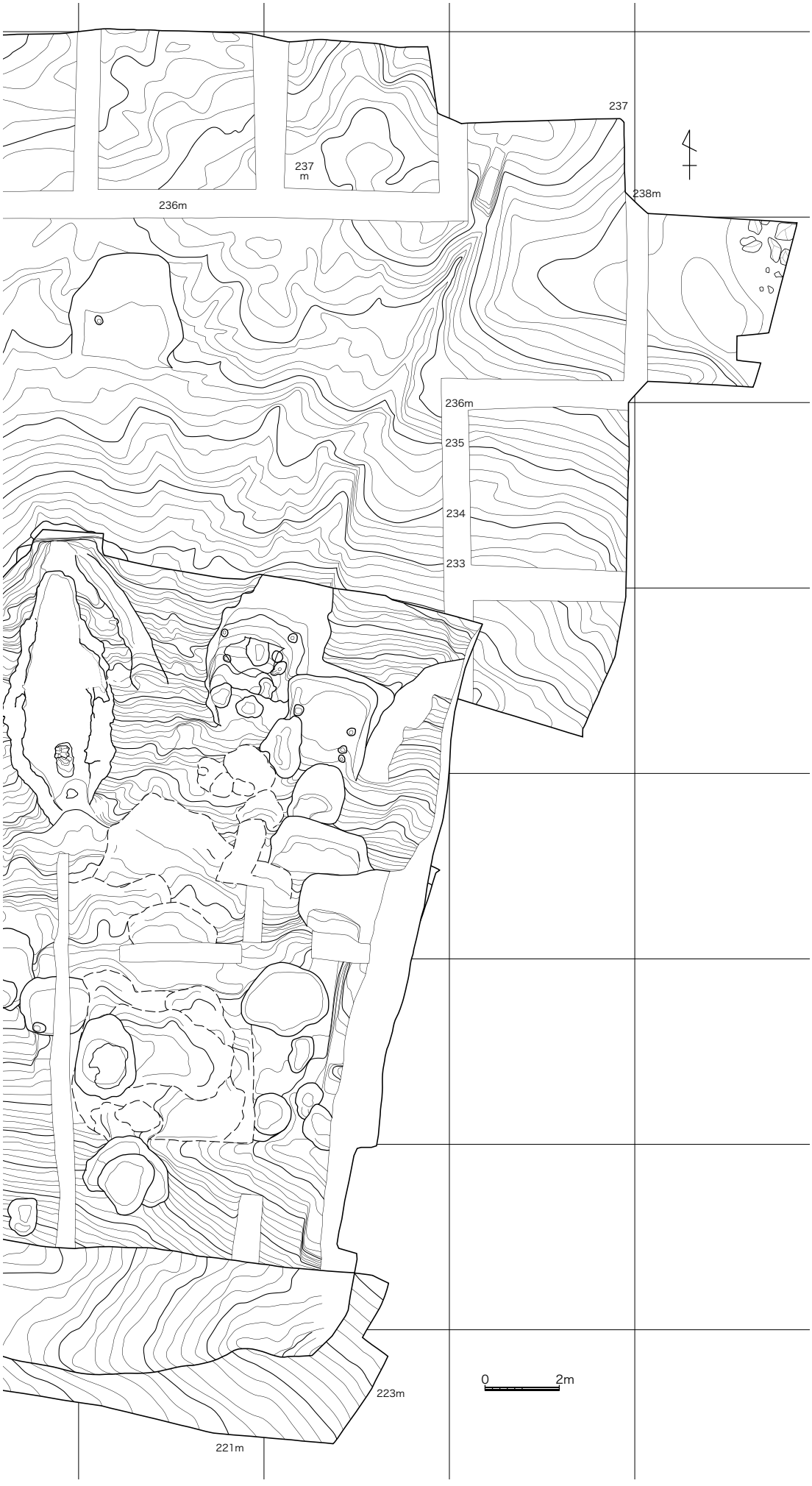
SY01-2（第18図）の痕跡はSY01-1の焼成室上半で検出された。

SY01-2の焼成室から煙道部までの掘り方の残存と考えられ、残存長約３m50cm、最大幅約２mである。SY01-1のダンパー付近の貼り付け部分を除去したところ皿状の凹みが検出され、それがSY01-2の煙道部の末端と考えられる。

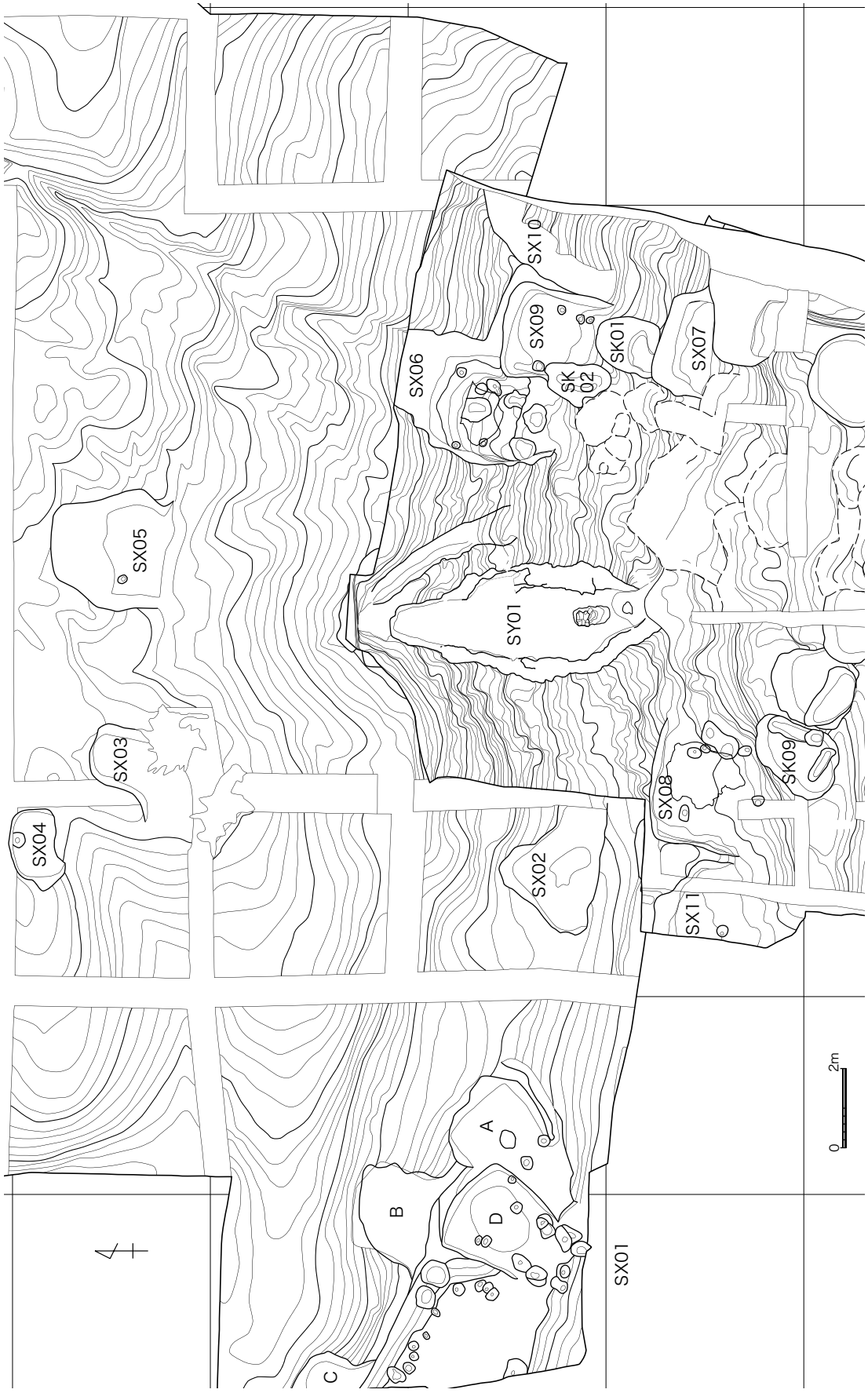
SY01-2の壁および底面の風化花崗岩部分には赤色及び黄褐色を呈し、若干の被熱の痕跡が全面に見られた。床面の傾斜は30度から40度と、SY01-1に比べて緩やかである。以上のことからSY01-2の操業終了後、焼成室・前庭部側を深く掘り下げ、焼成室上半には砂を入れその上に床を貼り付けることによって、床面傾斜50度を測るSY01-1を意識的に築窯したものと考えられる。



第 10 図　遺構と調査後地形測量図 (1)：西部分

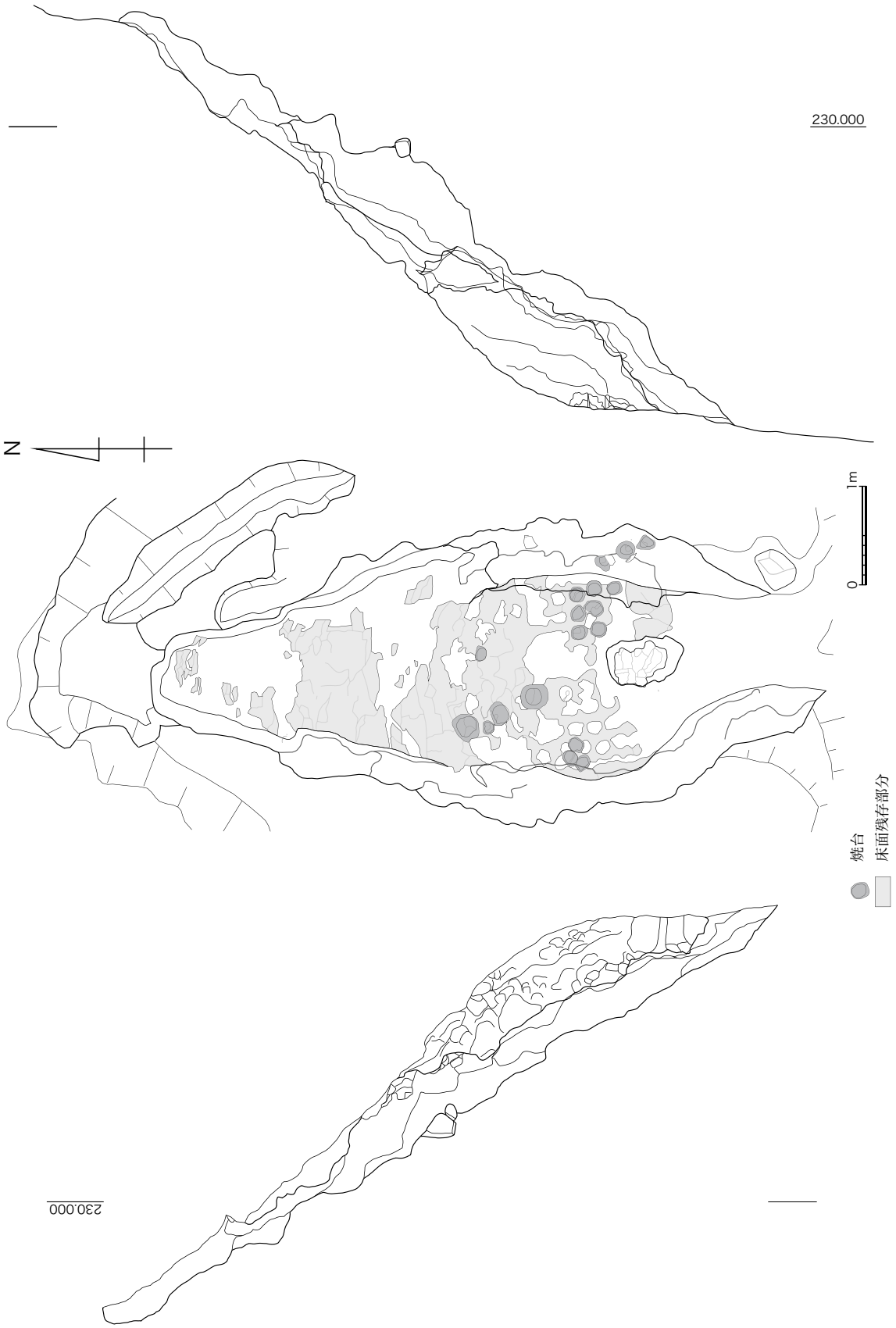


第 11 図　遺構と調査後地形測量図 (2)：東部分

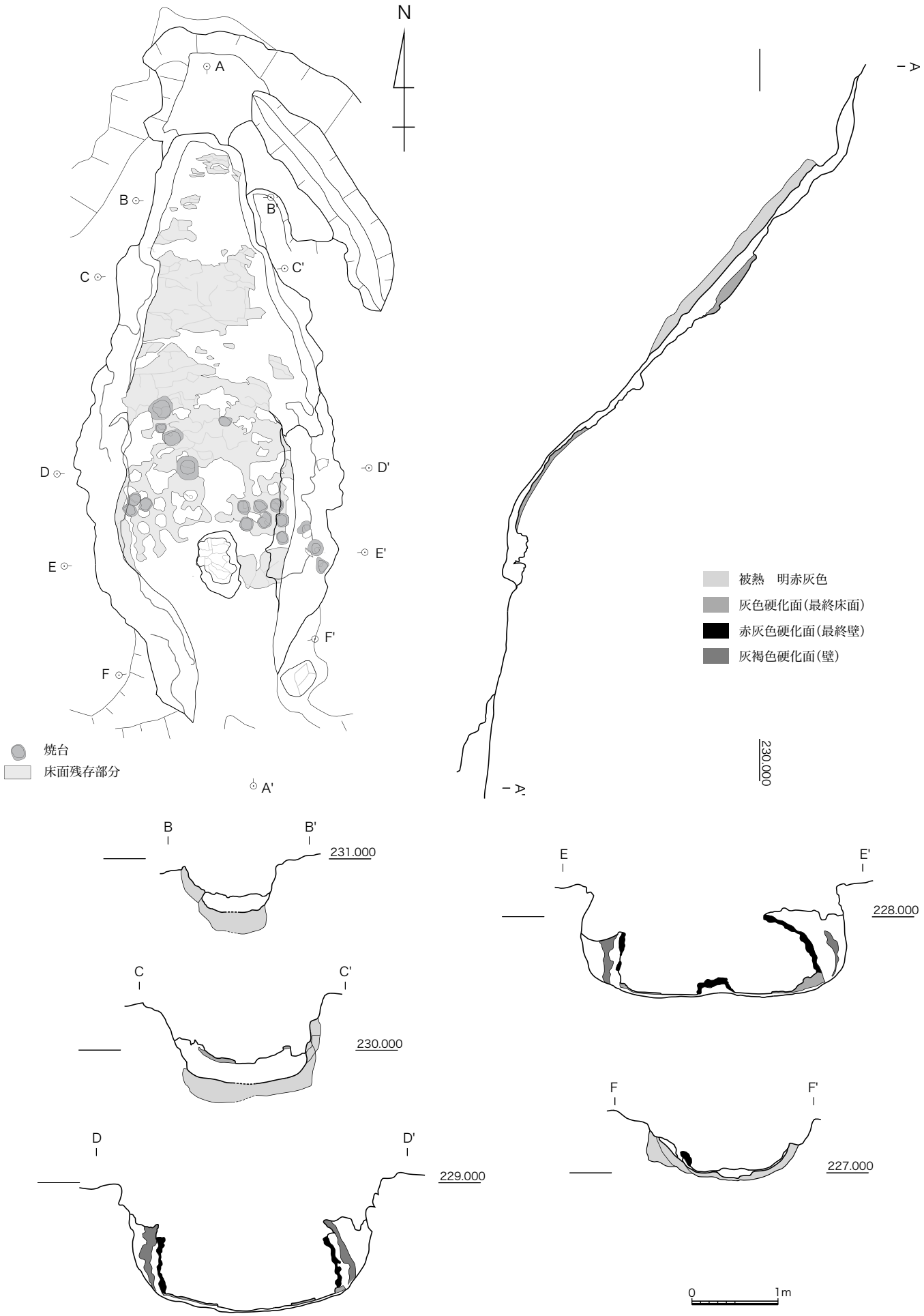


第 12 図　遺構位置図 (1)：北部分

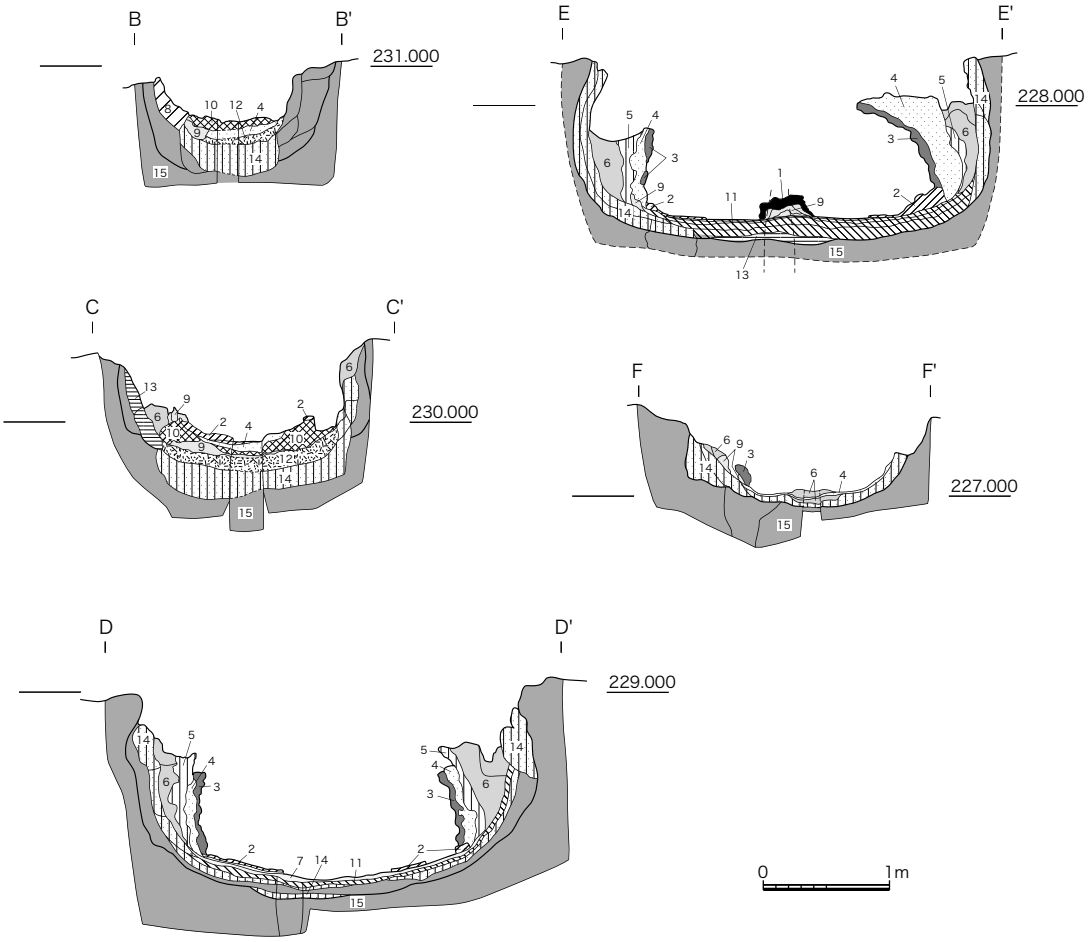
第 13 図　遺構位置図 (2)：南部分



第 14 図　SY01 窯体平面図と壁見通し図 （1：60）

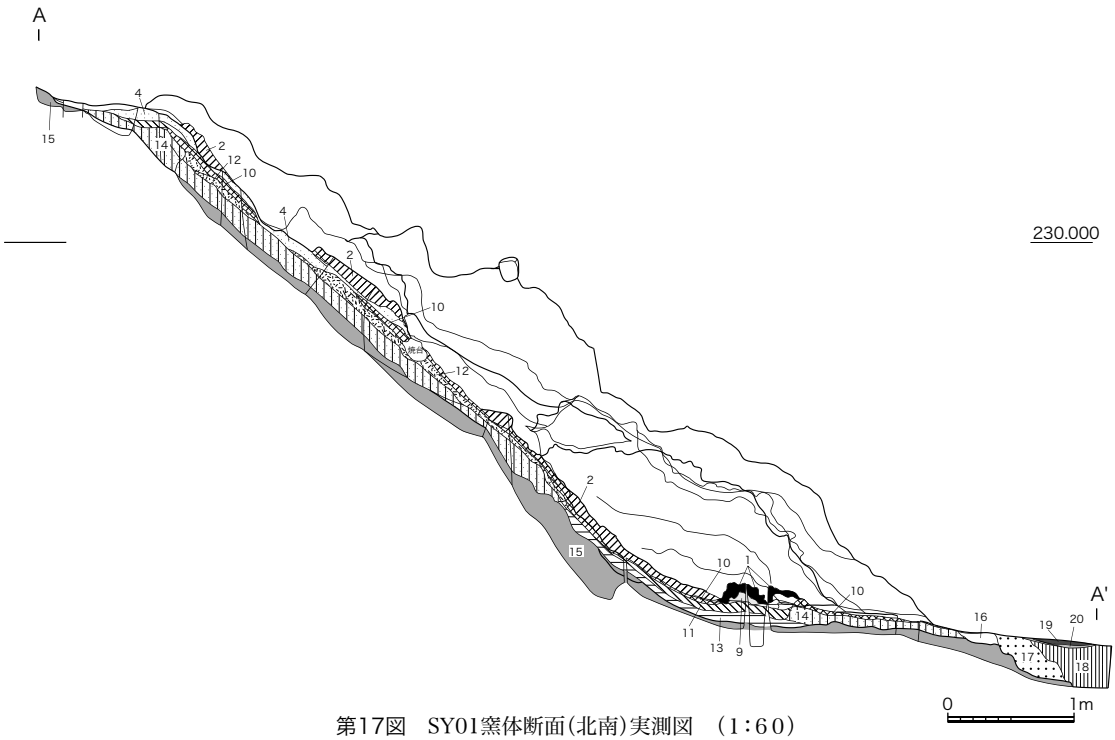


第15図　SY01窯体平面図と断面図　(1:60)

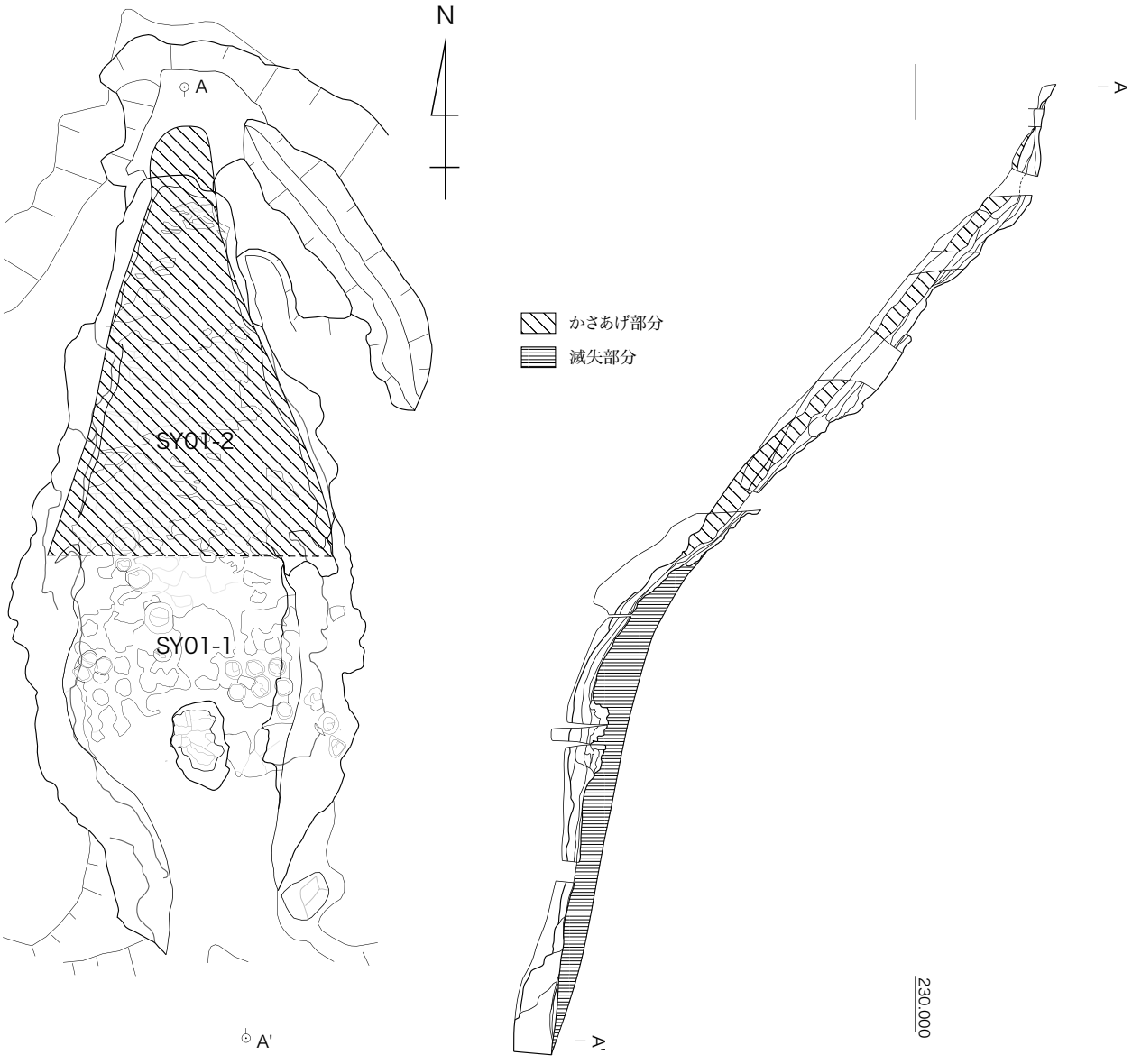


1.2.5YR6/1 赤灰色　硬化部分、風化花崗岩出自の粗粒砂が熱変性しているのが多く観察される
2.5Y6/1 灰色硬化面　最終操業時の床面　粗粒砂を含む　硬化が著しい
3.7.5R5/1 赤灰色硬化面　壁、被熱により硬化
4.5YR5/8 明赤褐色粘質土　粗粒砂多く含む　炭化物若干含む
　5YR5/6 明赤褐色粘質土　被熱により硬くしまる　粗粒砂多く含む
5.5YR6/2 灰褐色硬化面　壁、硬化
6.5YR5/6 明赤褐色粘質土　中粒砂多く含む　焼土塊多量に含む
7.7.5YR6/6 橙色砂層　粗粒砂多く含む　焼土塊多く含む
8.10YR6/3 にぶい黄橙色砂質土　粗粒砂多く含む　しまりが弱い
9.5YR4/4 にぶい赤褐色粘質土　粗粒砂多く含む　焼土多く含む　炭化物若干含む
10.7.5YR5/1 褐灰色砂質土　焼土塊炭化物を多く含む
11.2.5Y6/2 灰黄色砂層　極細粒砂主体　焼土塊のごく若干含む
12.2.5YR4/6 赤褐色砂質土　焼土　焼台の充填を多くみる　粗粒砂を多く含む
13.7.5YR8/2 灰白色風化花崗岩
14.2.5YR4/4 にぶい赤褐色風化花崗岩　被熱などにより赤色化
15.10YR7/4 にぶい黄橙色風化花崗岩
16.2.5YR3/4 暗赤褐色粘質土　焼土塊・炭化物を含む
17.10YR5/2 灰黄褐色砂質土　焼土塊・炭化物を少量含む　粗粒砂多く含む
18.7.5YR6/6 橙色粘質土
19.10YR4/2 灰黄褐色粘質土　焼土塊・炭化物を若干含む　粗粒砂多く含む
20.10YR2/1 黒色粘質土　炭化物を多量に含む(灰層)

第16図　SY01窯体断面(西東)実測図　(1:60)



第17図　SY01窯体断面(北南)実測図　(1:60)



第18図　SY01窯体かさ上げ部分、滅失部分位置図　(1:60)

第３節　工房跡

鶯窯跡からは、工房跡と考えられる平坦面を８ヶ所確認した。構築された位置から大きく３群に分けることができ、SX01・02・08・11はSY01の西側の南向き斜面を削平して、SX06・07・09・10はSY01の東側の南向き斜面を削平して、SX03・04・05はSY01の北側の尾根または尾根直下の南向き斜面を削平して構築されている。なお、標高は、工房跡の平坦面中央付近の数値である。

１．SX01（カラー図版9・10／図版9～14）

SX01はSY01の10m程西にある。西側と南側が調査区外に続くため全容を明らかにすることはできないが、花崗岩の岩盤を掘削し、確認しただけでも４ヶ所（A・B・C・D）の平坦面を構築している。

SX01・A（第20図．第21図）

SX01・AはSY01に一番近い平坦面で、標高は228.8mを計測する。南西部分がSX01・Dにより削平されているもののほぼ全容を明らかにすることができた。岩盤を谷側に高まりを残すように掘削し、東西約1.9m、南北約3.4mの平坦面を構築している。平坦面の中央北寄りで東西約0.4m、南北約0.5mの楕円形をした焼土面とそれに続く中央南寄りで東西約0.75m、南北約1.3mの楕円形をした炭化物の広がりを確認した。平坦面内の遺構としては谷側に掘り残した高まりの南端すぐ横で建物の柱穴と考えられるピット１基と、平坦面のほぼ中央、炭化物層の下からピット１基を検出した。

SX01・B（第22図．第23図）

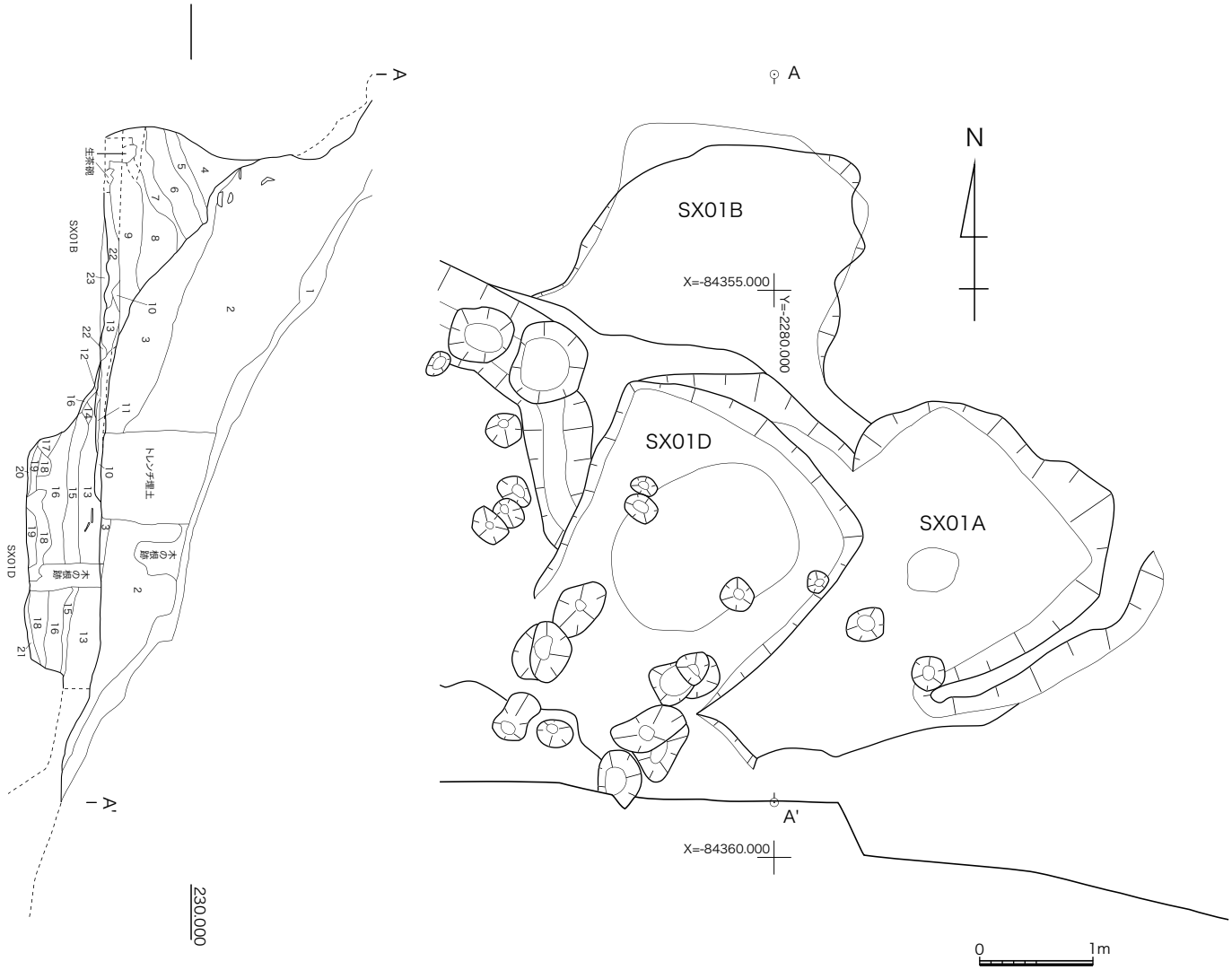
SX01・BはSX01・Aの北西にある標高229.2mの平坦地で、SX01・Aより一段高い位置にある。当初は岩盤を洞窟状に掘り抜いて平坦面を構築したと考えられるが、天井部分は崩落のため一部しか残っていない。平坦面は東西約2.1m、南北約2.0m、高さは現存するところで約1.3mを計測する。平坦面の中央南側で粘土の広がりとその下から焼土を確認した。

出土遺物として、北壁に添うように並べられた成形後の未焼成品と思われる粘土群と５枚重ねの未焼成天目茶碗群を検出した。これらは上下二層に別れており、埋土の状態から埋没した時期に差があることが確認された。上層の粘土群は、残りが良くないが、碗を重ねて置いた状態のものが22個出土した。下層の天目茶碗は風化した花崗岩層に埋没していたため良好な状態で保存され出土したものと思われ、平坦面の北壁中央に添って天目茶碗を５枚重ねたものが前列８個、後列５個置かれた状態で出土した。この粘土群は粘土を成形、乾燥させた後、施釉するまでの間陰干ししていたものがそのまま埋没したものではないかと考えられる。

SX01・C

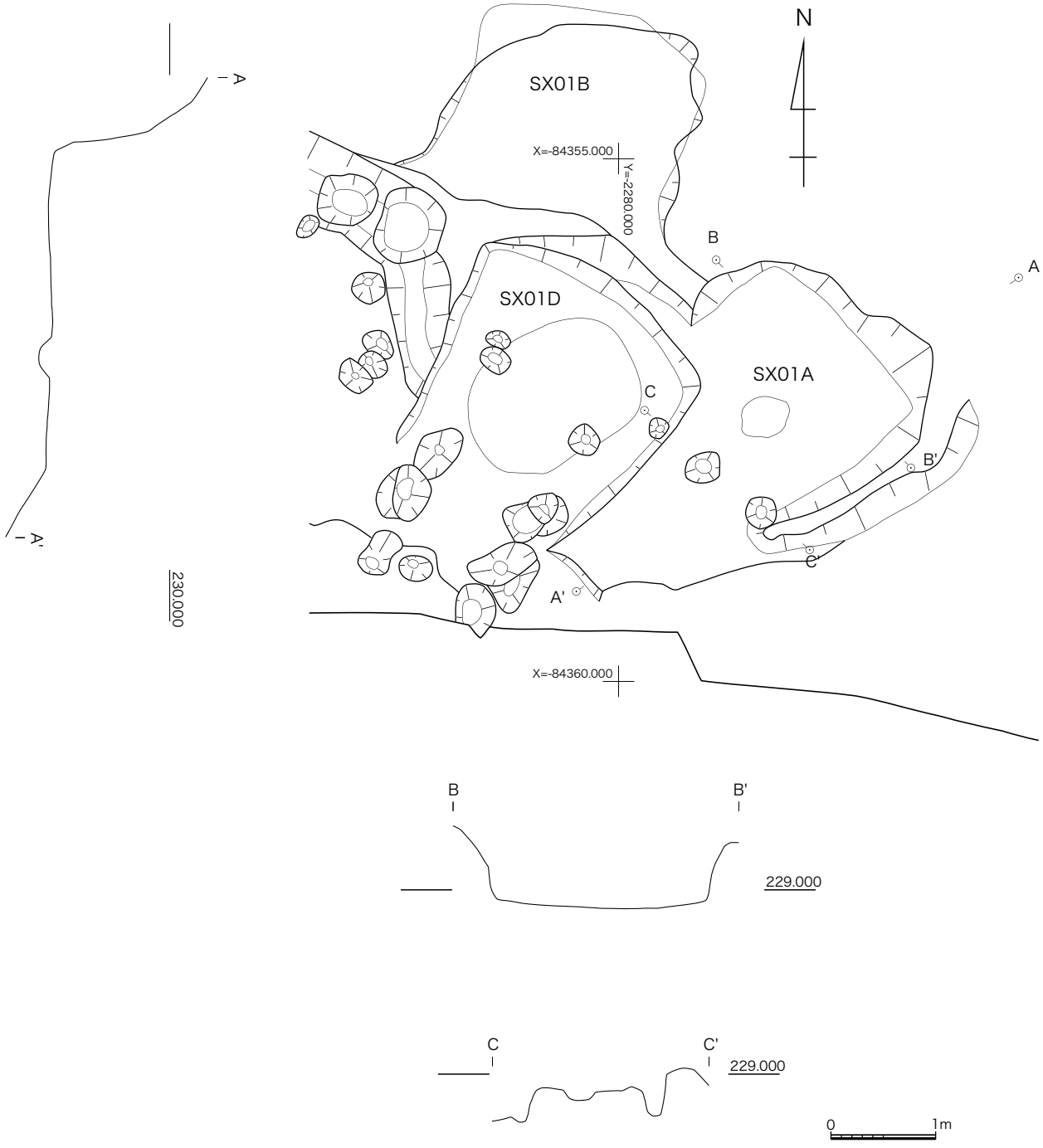
SX01・CはSX01・Bの3.0m程西にあり、標高は230.0mを計測する。西側の大部分が調査区外のため、

第19図　SX01上面　出土状態図



1.5GY4/1 暗オリーブ灰色土層(表土層)　径1～5mmの砂利混じる　木の根多い　しまりは弱い
2.10YR5/6 黄褐色土層　径1～5mmの砂利混じる　木の根含む　しまりは弱い
3.10YR6/6 明黄褐色土層　径1～5mmの砂利多く混じる　木の根わずかに含む　しまりはやや弱い
4.10YR5/4 にぶい黄褐色土層　木の根わずかに含む　径1～10mmの砂利混じる　しまりは弱い
5.10YR4/3 にぶい黄褐色土層　木の根わずかに含む　径1～5mmの砂利混じる　しまりは弱い
6.花崗岩の風化層　木の根わずかに含む　しまりは弱い
7.10YR4/3 にぶい黄褐色土層　木の根わずかに含む　径1～5mmの砂利混じる　しまりは弱い
8.10YR4/6 褐色土層　木の根わずかに含む　径1～5mmの砂利混じる　しまりはやや強い
9.花崗岩の風化層　10YR7/1 灰白色粘土混じる　しまりはやや弱い
10.7.5GY7/1 明緑灰色粘土層　しまりは強い
11.7.5YR7/8 黄橙色土層　花崗岩の風化物層　下層との間に粘土層(薄い)あり　しまりは強い
12.7.5GY7/1 明緑灰色粘土層　花崗岩の風化物混じる　しまりは強い
13.10YR6/6 明黄褐色土層　径1mm程度の砂利､極粗粒砂混じる　しまりは弱い
14.5GY8/1 灰白色粘土層　径1～2mmの砂利混じる　しまりはやや強い
15.2.5Y5/4 黄褐色極粗粒砂層　花崗岩の風化物混じる　しまりはやや強い
16.10YR6/6 明黄褐色土層　花崗岩の風化物多く混じる　しまりはやや強い
17.7.5YR7/1 明褐灰色極粗粒砂層　しまりは弱い
18.7.5YR4/6 褐色土層　木の根含む　径1mm程度の砂利混じる　しまりは強い
19.7.5YR5/4 にぶい褐色土層　木の根わずかに含む　径1mm程度の砂利混じる　しまりは強い
20.7.5YR4/2 灰褐色土層　炭混じる　しまりは強い
21.2.5Y3/1 黒褐色土層　木の根含む　炭混じる　極粗粒砂混じる　しまりはやや弱い
22.7.5YR8/2 灰白色土層　花崗岩の風化物層(粗い粒)
23.7.5YR8/2 灰白色土層　花崗岩の風化物層(細かい粒)

第20図　SX01断面図　(1:60)

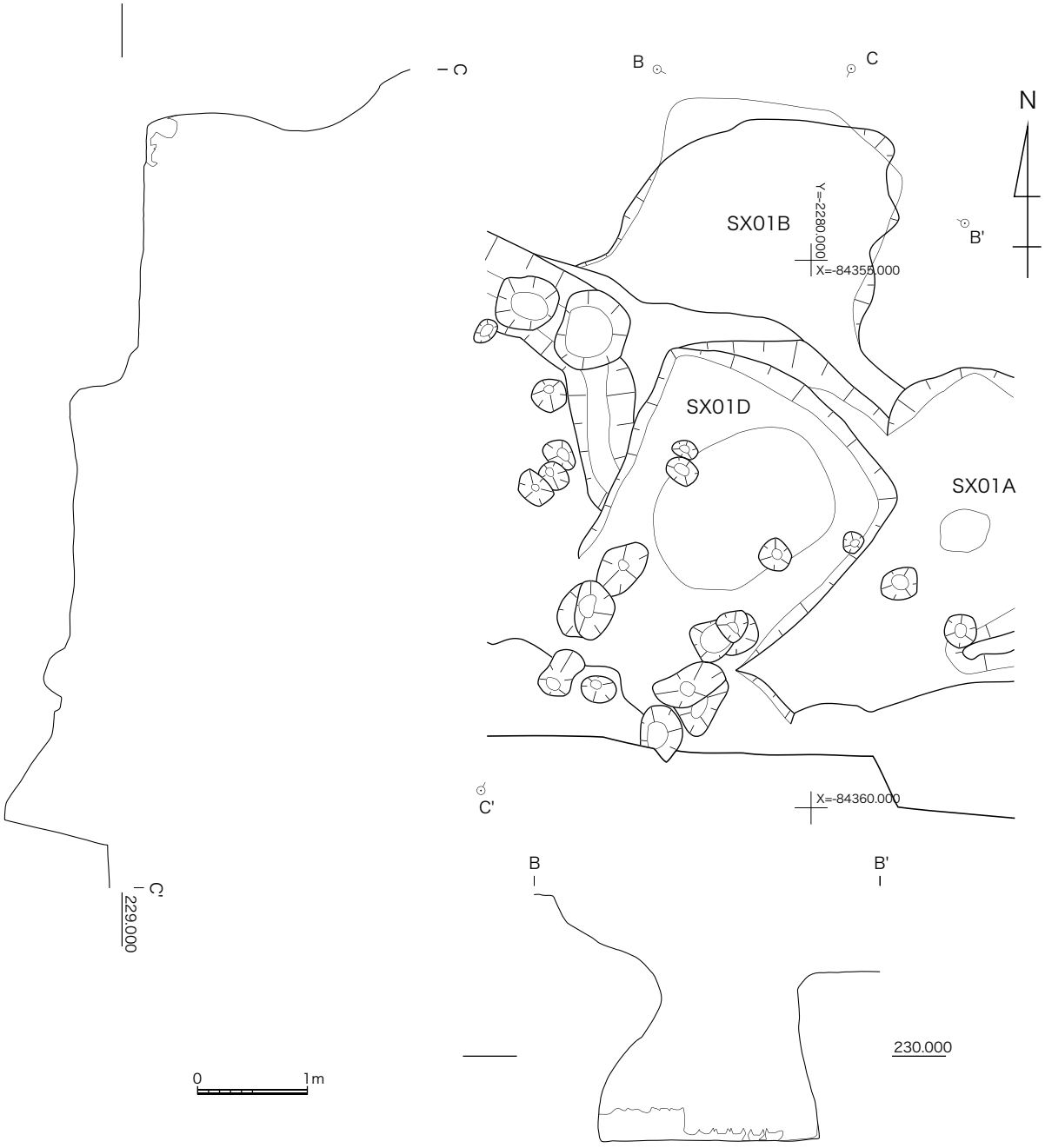


第21図　SX01A断面図　（1:60）

全容は明らかではないが、岩盤を掘削し平坦地を構築している。平坦面は確認できるところで東西約0.85m、南北約1.0mを計測する。

SX01・D（第24図）

SX01・DはSX01・Bの南にある標高228.4mの平坦地で、SX01・Bより一段低い位置にある。遺構の残りは大変良い。岩盤を南側を開くように掘り下げ、残りの三方に高さ約0.25mの壁を作っている。平坦面

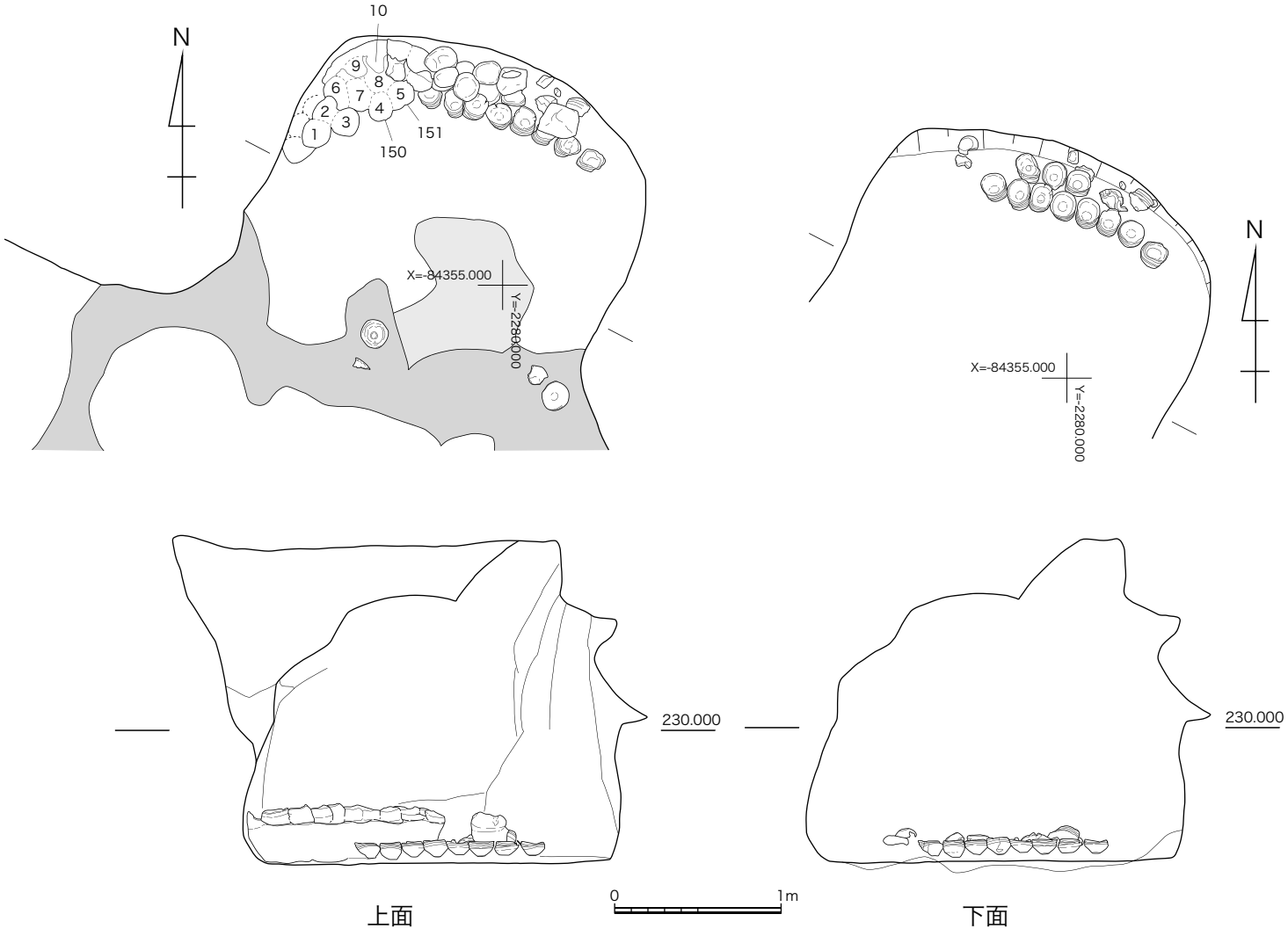


第22図　SX01B･D断面図　（1:60）

は東西約2.2m、南北は約3.0mを計測する。平坦面で土坑6基とピット4基を検出した。土坑は平坦面南側で左右対称に検出され、建物の柱穴と考えられる。また平坦面のほぼ全域で、炭化物の広がりを確認し、さらにその下層の壁に囲まれた範囲から東西約1.2m、南北約1.6mの楕円形をした焼土を確認した。

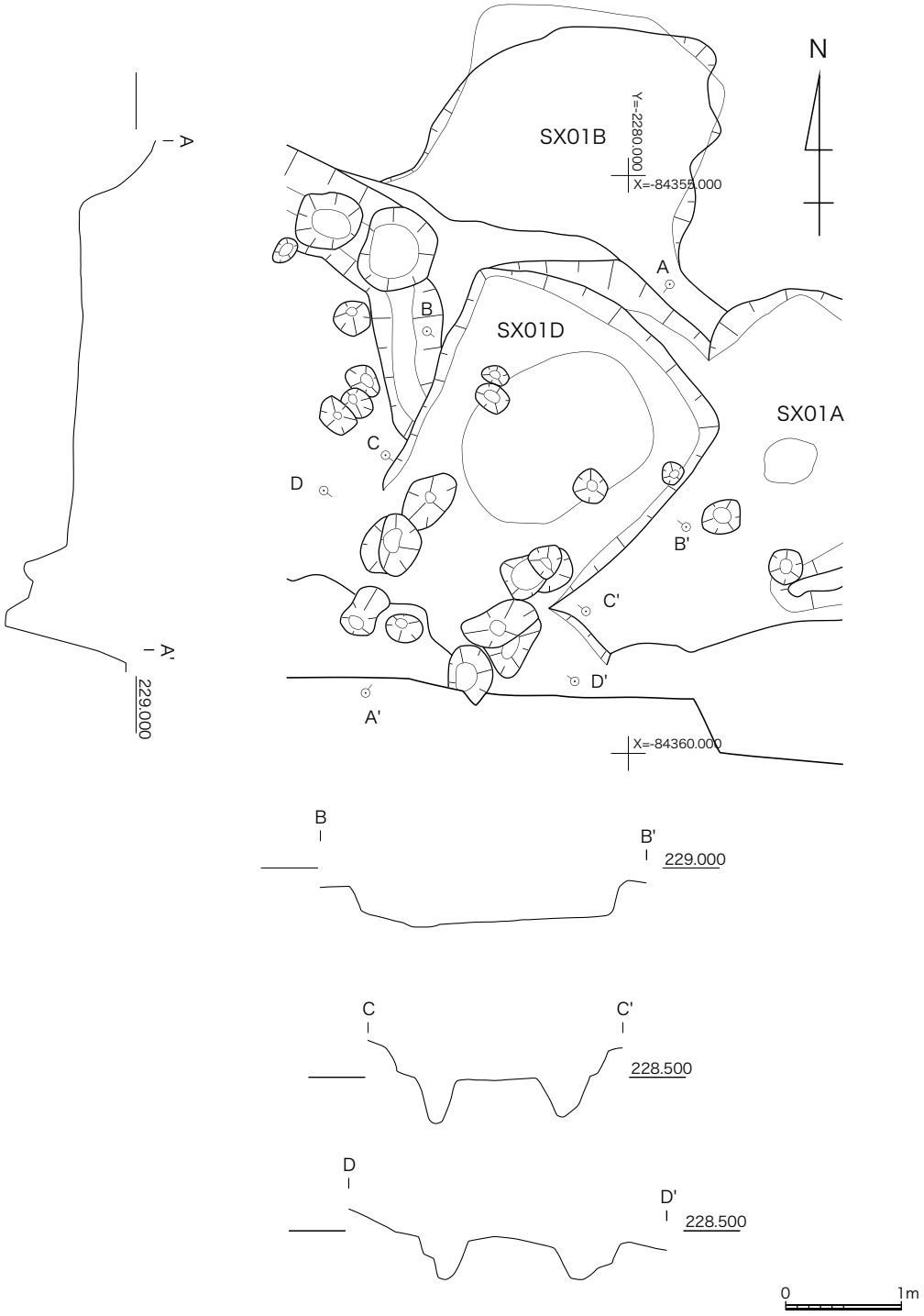
その他にはSX01・Dの西で平坦地を確認した。標高は228.8mを計測し、SX01・Dより一段高くなっている。西側が調査区外へ続くため、全容は明らかではないが、南北約2.7m、東西は確認できるところで約3.0mを計測する。遺構としては平坦地北側で溝とそれに添うような形でピットを10基、さらに溝を切る土坑を2基検出した。

それぞれの平坦面は同時期に構築されたのではなく、埋土の状態から少なくとも3時期の使用が確認できる。上面は標高229.1mの高さでSX01のほぼ全域から粘土の広がりを確認し、粘土層の下からは、



第23図　SX01B未焼成天目茶碗出土状態図　（1:40）

SX01・Dの西壁にあたる位置で直径約1.0mの円形をした焼土と、その周囲からは整地に利用されたと考えられる夥しい量の焼台と陶片を検出した。中面は上面の下約0.2mで西側を中心とした粘土の広がりと焼土を確認した。下面はSX01・Dの岩盤直上から南斜面に続く炭化物の広がりと焼土を確認した。



第24図　SX01D断面図　（1:60）

2．SX02（第25図／図版15）

SX02はSY01の焼成室から５ｍ程西にあり、標高は228.8ｍを計測する。南側と東側が削平されているため全容を明らかにすることはできないが、岩盤を谷側に高まりを残すように掘削し平坦面を構築しいている。平坦面は南北約2.3m、東西は現存するところで約1.9ｍを計測し、北隅と西隅が丸い形をしている。平坦面の中央で東西約1.0m、南北約0.5ｍのほぼ楕円形をした炭化物の広がりを確認した。

3．SX03（第26図）

SX03はSY01の北西の尾根上にあり、標高は235.3ｍを計測する。大きな切り株があり完掘することができなかったが、南北約1.15m、東西約2.2ｍの範囲に岩盤に粘土が貼られたかのように広がる平坦面を確認した。

4．SX04（第27図／図版16）

SX04はSX03の北２ｍ程の尾根上にあり、標高は235.1ｍを計測する。南東部分が自然流失しているものの、岩盤を深いところで0.4m程掘削し東西約1.65m、南北約1.25ｍの隅丸方形の平坦面を構築している。北壁沿い中央でピット１基を検出した。

5．SX05（第28図／図版16）

SX05はSY01の煙道部から５ｍ程北の尾根直下の南向き斜面に構築されている。標高は234.6ｍを計測する。斜面は自然流失をかなり受けているが、東西約2.2m、南北は現存するところで約1.5ｍの平坦地を確認した。北壁沿い西側で建物の柱穴と考えられるピット１基を検出した。

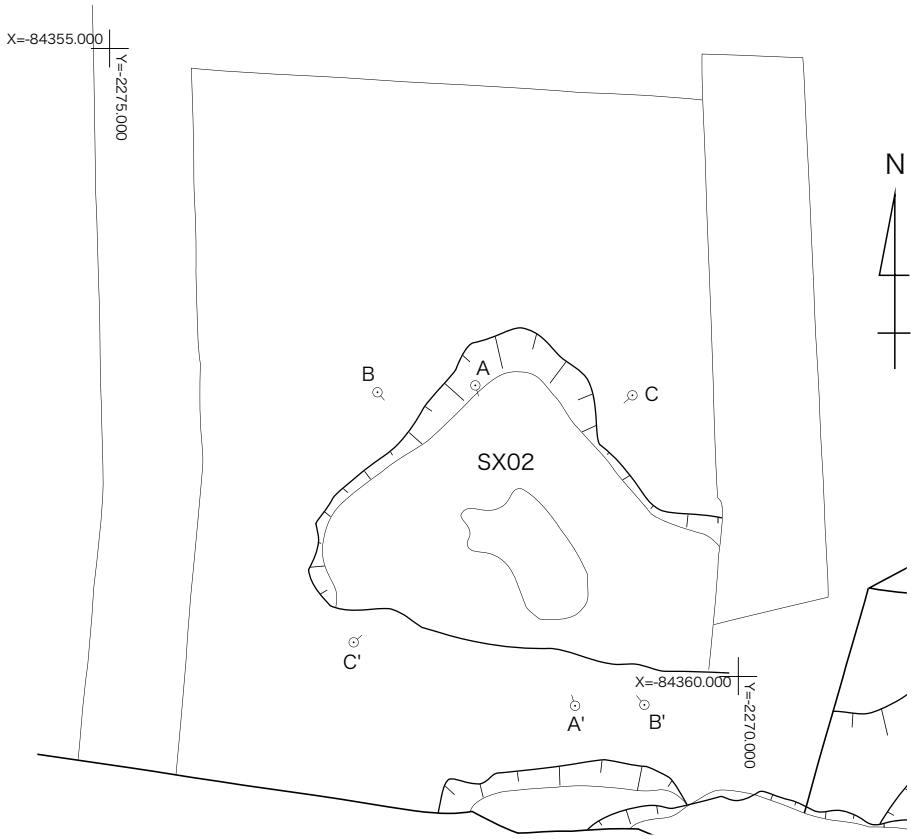
6．SX06（第29図．第30図／図版16）

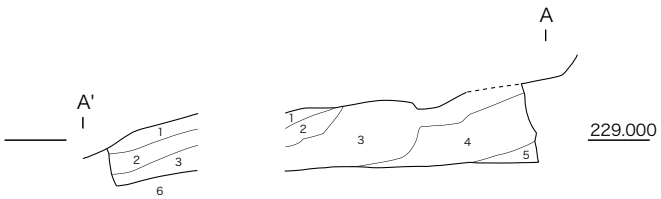
SX06はSY01の煙道部から５ｍ程東にあり、標高は下面で229.4ｍを計測する。長軸３ｍ50㎝短軸２ｍ90㎝深さ２ｍを測る。風化花崗岩を竪穴状に掘った長方形を呈している。

検出面より深さ１ｍ80㎝から１ｍ90㎝のレベルで黄褐色土による硬化面が見られ、さらに下層からは３層にわたり、炭化物・焼土・粘土を多く含む層が確認できた。繰り返し被熱している部分は80㎝×60㎝ほどの範囲である。

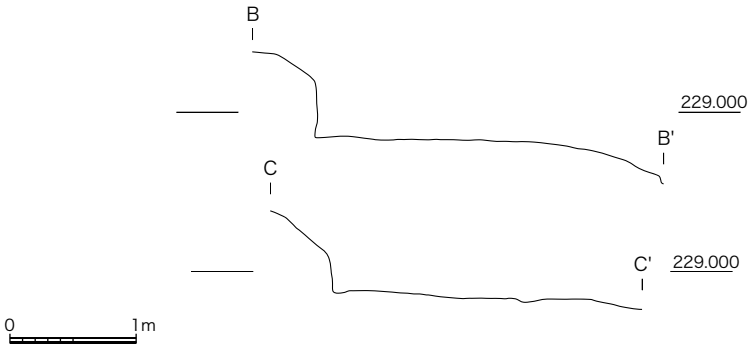
調査区をほぼ南北に走る地割れ（SD01）の下端が、北側近くまで見られる。埋土の状態から２時期の使用が確認できる。上面は現地表から約1.6m下で炭化物の広がりを確認した。下面は現地表から約1.8m下で炭化物と焼土の広がりを確認した。炭化物は一部密に分布するものの平坦面のほぼ全域にまばらに広がっていた。炭化物層の下から平坦面中央に広がる焼土を確認した。焼土は直径約1.3ｍの円形状になる。

これ以外の遺構としては、下面の炭化物検出面でピット１基、焼土を取り除いた後ピットを２基検出した。（川添）

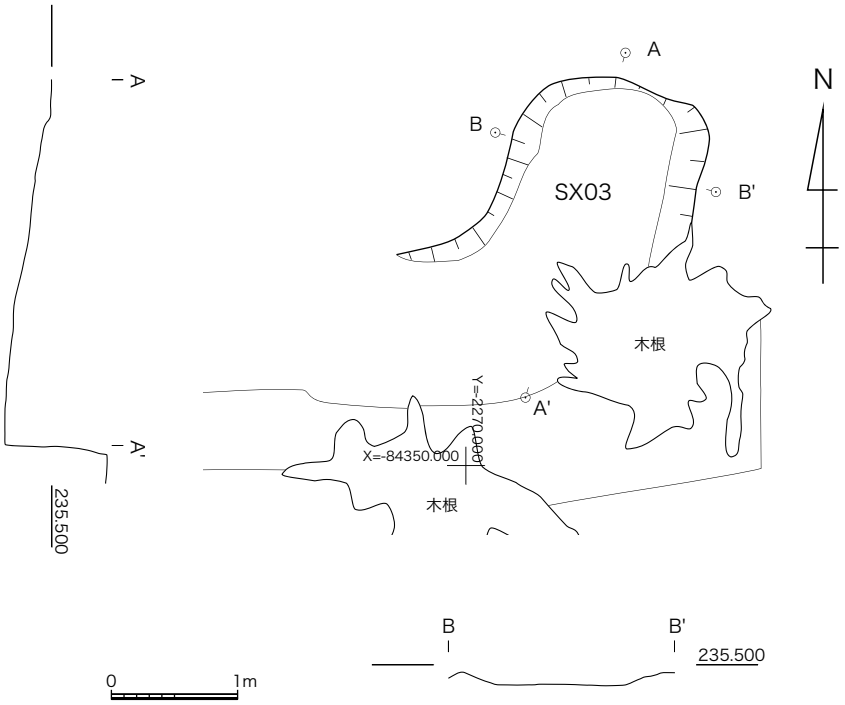




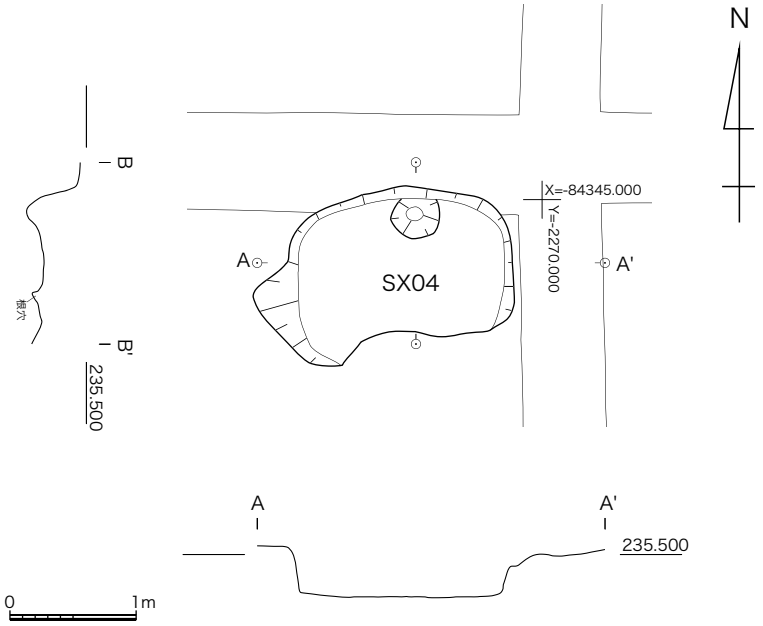
1.10YR5/6 黄褐色土層　10YR4/1 褐灰色土混じる　木の根含む　径1～10mmの砂利混じる　しまりはやや弱い
2.10YR4/1 褐灰色土層(表土層)　木の根多い　径1～10mmの砂利混じる　しまりは弱い
3.10YR5/6 黄褐色土層　木の根含む　径1～10mmの砂利混じる　しまりはやや弱い
4.7.5YR5/6 明褐色土層　木の根含む　径1～10mmの砂利混じる　しまりはやや強い
5.花崗岩の風化層　木の根含む　しまりはやや強い
6.花崗岩の岩盤(地山層)



第25図　SX02断面図　(1:60)



第26図　SX03断面図　（1:60）



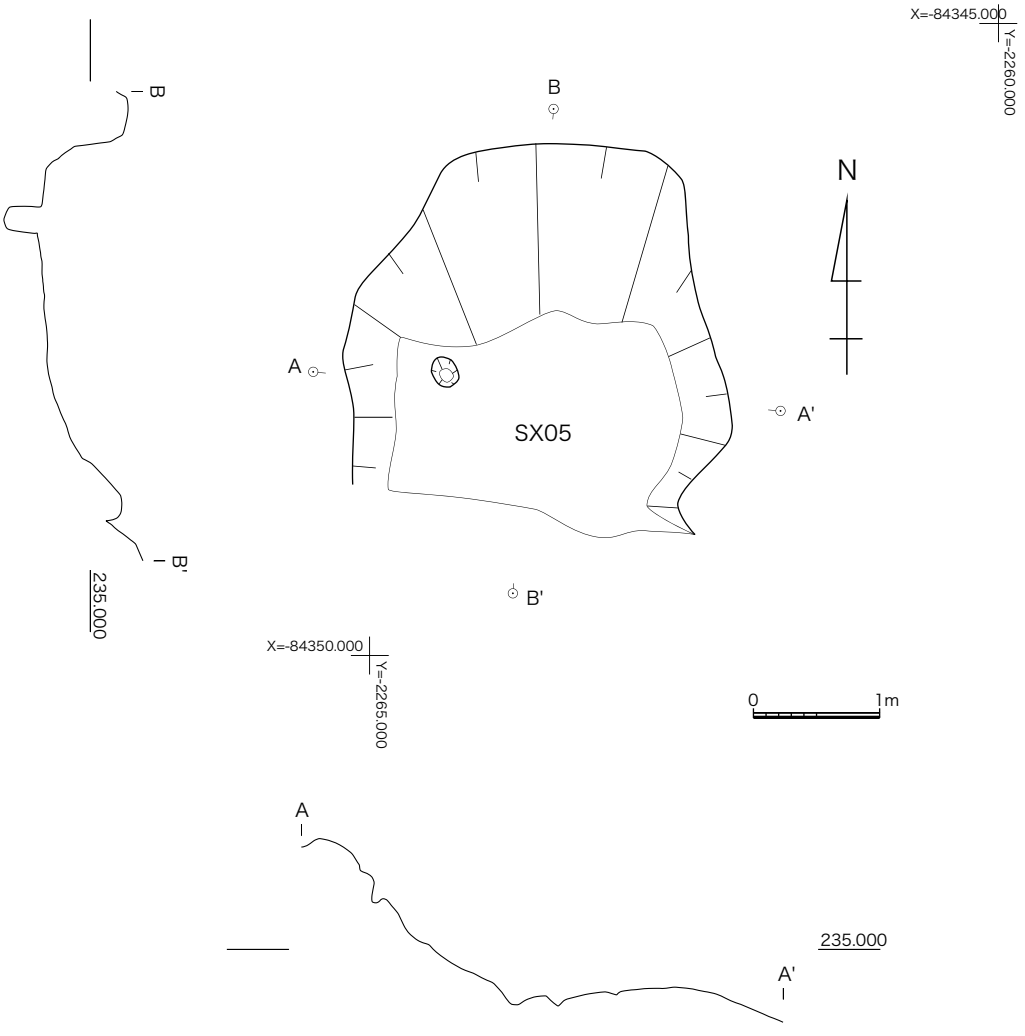
第27図　SX04断面図　（1:60）

7．SX07（図版17）

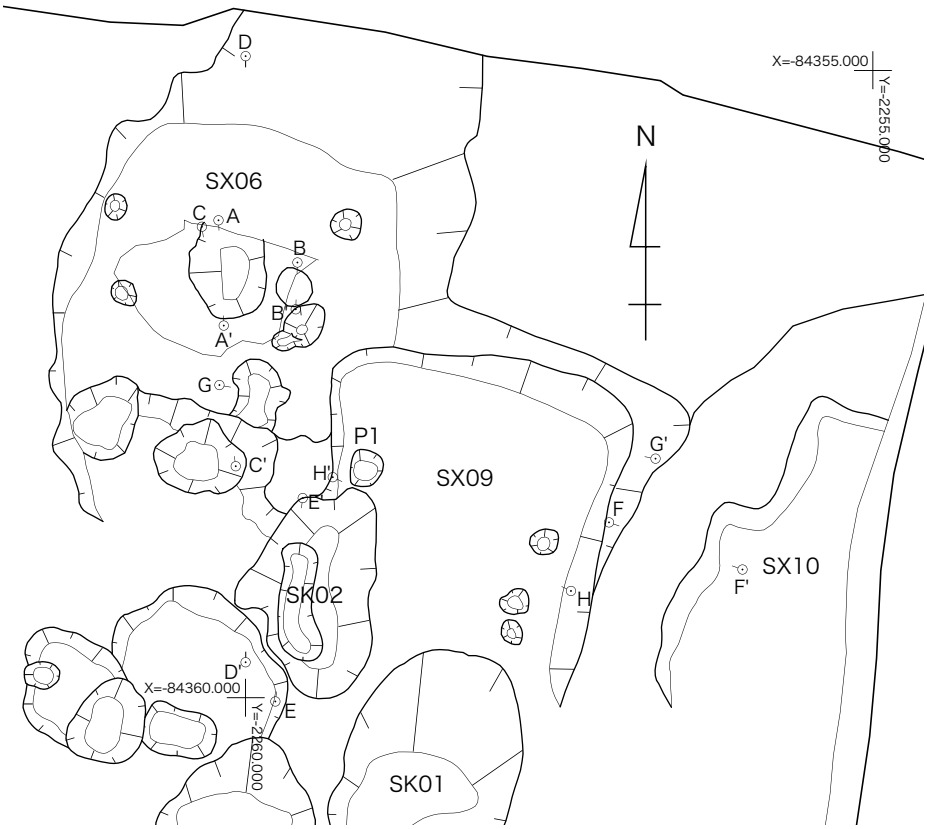
SX07はSY01の燃焼室から７ｍ程東にあり、標高は226.8ｍを計測する。南側が盗掘による削平のため、全容を明らかにすることはできないが、南向きの急斜面を掘削して平坦面を構築している。平坦面は、東西約1.9m、南北は現存するところで約1.0ｍを計測する。平坦面の中央で東西約1.4m、南北は現存するところで約0.9ｍのほぼ円形をした焼土面を確認した。

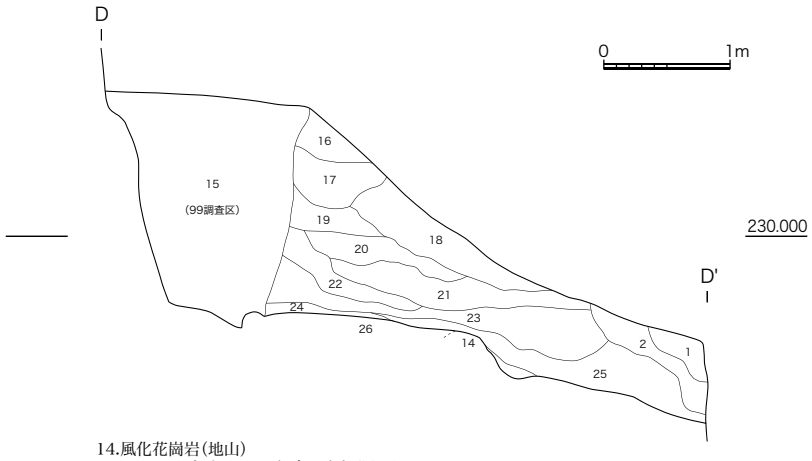
8．SX08（第31図／図版17）

SX08はSY01の燃焼室から５ｍ程西にあり、標高は227.0ｍを計測し、SX02の一段下の平坦地にあたる。風化花崗岩を竪穴状に掘った長方形状の遺構で、深さ80㎝を測る。底面には炭化物・焼土粘土を多く含む層を確認した。（川添）



第28図　SX05断面図　（1:60）



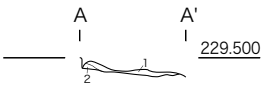


14.風化花崗岩(地山)
15.10YR4/4 褐色土　99年度調査部分埋土
16.10R3/1 暗赤灰色粘質土　焼土・炭を多く含む　極粗粒砂多い　しまりはやや強い
17.10R3/2 暗赤褐色粘質土　2.5Y3/1 黒褐色土をブロック状に含む　植物の根による変色部分
18.10R3/3 暗赤褐色粘質土　16層と同一
19.10R3/4 暗赤色粘質土　17層と類似するが植物の根による撹乱を含まない
20.10R4/6 赤色粘質土　上層(18,19層)に比べ色調やや暗い　23層Bを多く含む
21.10R4/6 赤色粘質土　18,19層に比べ色調暗く部分的に植物の根による撹乱をうけている
22.10R4/6 赤色粘質土　21層に類似するが植物の根による撹乱を含まない
23.2.5Y7/2 灰黄色粘質土　1～2cm程の礫を多く含む
24.2.5Y7/3 浅黄色粘質土　部分的に炭化物をブロック状に含む
25.2.5Y7/4 浅黄色粘質土　焼土主体で24層Bを含む
26.10R5/8 赤色粘質土　焼土主体で25層B､黒褐色Bを含む　硬化している
27.10YR5/4 にぶい黄褐色粘質土　粗粒砂多く含む　しまりが弱い

第29図　SX06･09･SK02断面図(1)

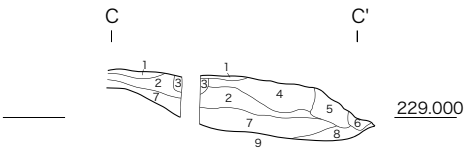
9．SX09（第29図．第30図／図版18）

SX09は長軸２ｍ40㎝、短軸２ｍ10㎝、深さ１ｍ60㎝、標高228ｍ85㎝を測り、風化花崗岩を竪穴状に掘った長方形状の遺構で、SX06使用後にSX09が作られており、SX06側に土盛りで壁を作った状況が観察できた。床面上十数㎝のレベルで黄褐色土の硬化面が一部見られ、さらに床直上には１ｍ50㎝×80㎝の範囲にわたり炭化物、焼土、粘土を多く含む部分が確認できた。（川添）

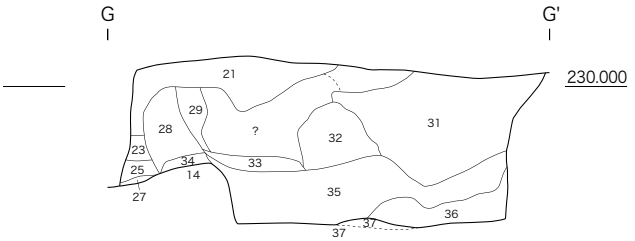


1.2.5YR5/6 明赤褐色粘質土　炭化物多量に含む　焼土塊・粘土塊多い
2.2.5YR5/4 にぶい赤褐色粘質土　焼土

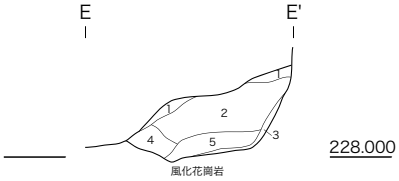
1.2.5Y8/4 淡黄色粘土　しまりが強く硬い　粗粒砂を多く含む
2.2.5Y8/2 灰白色粘土　粗粒砂を多く含む
3.5Y4/4 暗オリーブ色粘土質シルト　炭化物・焼土を多く含む
4.5Y5/6 オリーブ色粘土質シルト　炭化物・焼土を多く含む



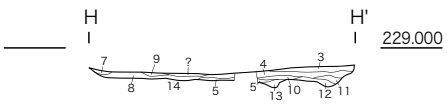
1.2.5YR4/6 赤褐色砂質土　極粗粒砂多量　焼土多く含む　炭化物若干含む　しまりは強い
2.10YR6/4 にぶい黄橙色砂質土　極粗粒砂多量に含む　炭化物・焼土塊を含む
3.10YR8/3 浅黄橙色砂質土　焼土塊・炭化物を若干含む　しまりは強い
4.10YR8/2 灰白色砂質土　粗粒砂多量に含む　しまりはやわらかい
5.7.5YR5/4 にぶい褐色粘質土　粗粒砂多く含む　焼土塊・炭化物を若干含む　しまりは強い
6.5YR4/6 赤褐色粘質土　焼土塊を多く含む　炭化物若干含む　極粗粒砂含む
7.10YR6/3 にぶい黄橙色砂質土　粗粒砂を多く含む　炭化物若干含む
8.10YR5/4 にぶい黄褐色砂質土　炭化物若干含む



28.7.5YR5/6 明褐色粘質土　粗粒砂多く含む　焼台若干含む
29.5YR5/8 明赤褐色粘質土　粗粒砂多い　焼土片含む
30.10YR4/6 褐色粘質土　植物の根・黒色土多く含む
31.7.5YR6/6 橙色粘質土　10YR4/6 赤色土をブロック状に含む　植物の根含む
32.10YR6/4 にぶい黄橙色砂質土　粗粒砂多く含む　しまりは弱い
33.10YR5/3 にぶい黄褐色粘質土　炭化物・焼土若干含む
34.5YR5/6 明赤褐色粘質土　粗粒砂多く含む　焼土・炭化物若干含む　しまりはやや強い
35.2.5YR3/6 暗赤褐色粘質土　焼土塊・炭化物・焼台片多く含む　粗粒砂多く含む　礫含む
36.10YR6/4 にぶい黄橙色粘質土　焼土塊・炭化物を若干含む　粗粒砂多く含む　礫含む　13層の流出土か?
37.5YR4/4 にぶい赤褐色粘質土　焼土塊・炭化物多く含む(SK01埋土)

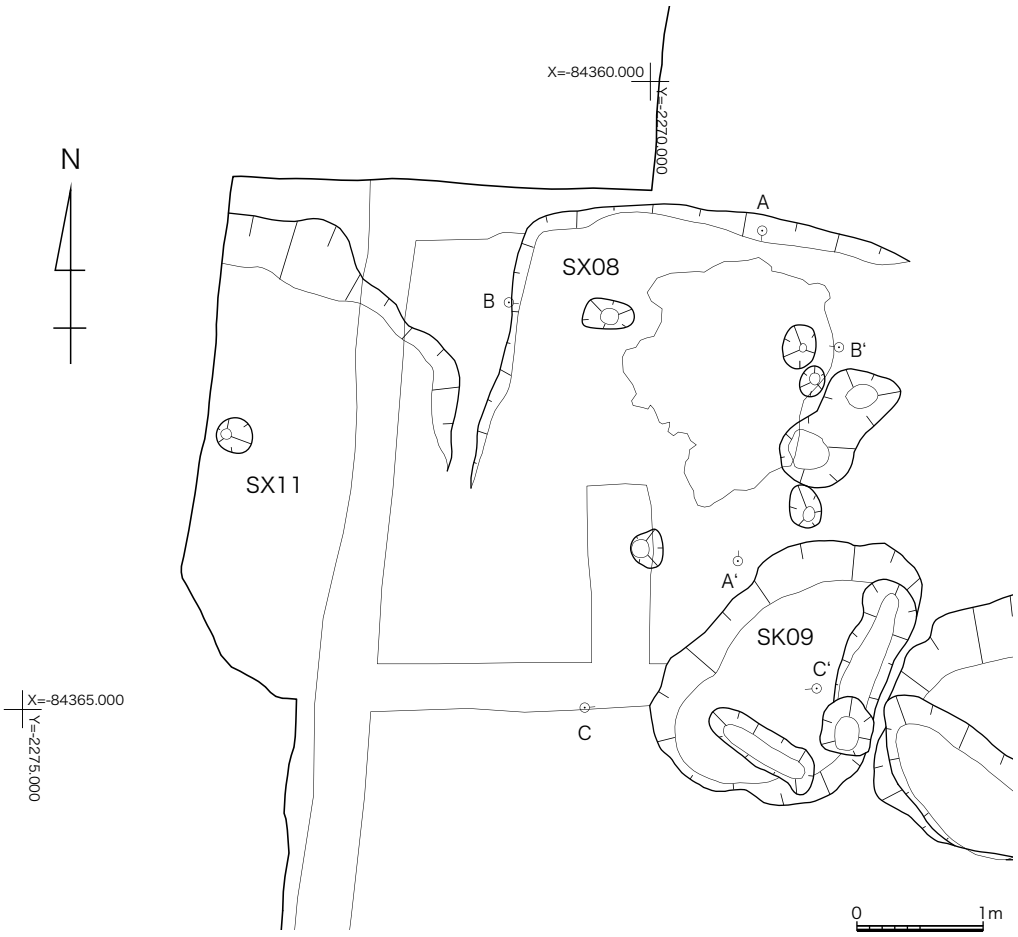


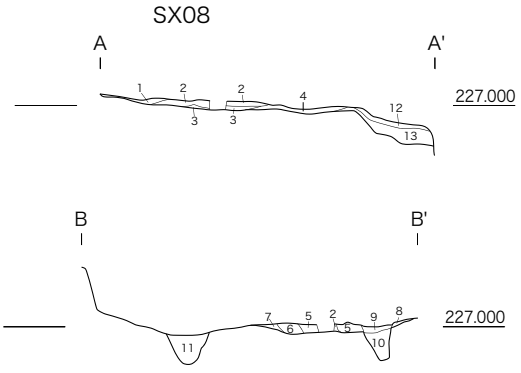
1.5YR4/4 にぶい赤褐色粘質土　焼土塊・炭化物多く含む　粗粒砂多く含む
2.10YR5/4 にぶい黄褐色砂層　粗粒砂主体　焼土塊・炭化物若干含む
3.5YR5/6 明赤褐色粘質土　遺構床面に炭化物多く含む
4.2.5YR4/6 赤褐色粘質土　粗粒砂多く含む　焼土塊・炭化物若干含む
5.2.5YR4/8 赤褐色粘質土　粗粒砂多く含む　焼土塊・焼土・炭化物多く含む

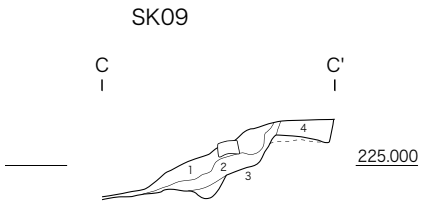


3.5YR4/6 赤褐色粘質土　極粗粒砂多く含む　焼土塊多く含む
4.2.5YR5/8 明赤褐色粘質土　極粗粒砂多く含む　焼土塊・炭化物を多く含む
5.10YR3/2 黒褐色粘質土　炭化物を多量に含む　焼土塊若干含む
7.7.5YR4/2 灰褐色粘質土　粗粒砂多く含む　炭化物多く含む
8.10YR3/2 黒褐色粘質土　炭化物多く含む
9.10YR4/3 にぶい黄褐色粘質土　炭化物含む　粗粒砂若干含む
10.10YR4/6 褐色粘質土　粗粒砂多く含む
11.5YR5/8 明赤褐色粘質土　粗粒砂多く含む　炭化物・焼土塊を若干含む
12.2.5Y3/1 黒褐色粘質土　炭化物多く含む
13.2.5YR4/8 赤褐色粘質土　粗粒砂多く含む　粘質強い
14.風化花崗岩

第30図　SX06・09・SK02断面図(2)







1.10YR5/4 にぶい黄褐色粘質土　粗粒砂多く含む　炭化物多く含む　焼土塊若干含む
2.10YR5/4 にぶい黄褐色粘質土　粗粒砂多く含む　焼台片若干含む　炭化物少量　粘土若干含む
3.風化花崗岩
4.灰層119層

1.5YR5/6 明赤褐色粘質土　風化花崗岩内にある粘質部分　被熱
2.2.5YR4/6 赤褐色風化花崗岩　被熱部分　しまりが強い
3.5YR7/3 にぶい橙色風化花崗岩　若干の被熱　しまりが強い
4.5YR6/6 橙色風化花崗岩　粘質土多く含む　しまりはやや強い
5.2.5YR6/3 にぶい橙色風化花崗岩　被熱部分　しまりが特に強い
6.2.5YR3/6 暗赤褐色粘質土　風化花崗岩内にある粘質部分　粗粒砂多く含む　被熱部分
7.2.5YR6/8 橙色風化花崗岩　被熱部分　しまりが強い
8.5YR6/8 橙色風化花崗岩　被熱部分　しまりが強い
9.5YR5/6 明赤褐色粘質土　粗粒砂多く含む　焼土塊多く含む　炭化物少量含む
10.2.5YR6/3 にぶい橙色粘質土　粗粒砂多く含む　炭化物若干含む
11.2.5YR6/3 にぶい橙色砂質土　焼土・炭化物を含む　しまりは弱い
12.2.5Y5/3 黄褐色粘質土　炭化物・焼土塊を少量含む　粗粒砂多く含む
13.7.5YR4/4 褐色粘質土　粗粒砂多く含む　しまりは若干強い(無遺物層)

第31図　SX08・11・SK09断面図　(1:60)

10. SX10（第29図. 第30図）

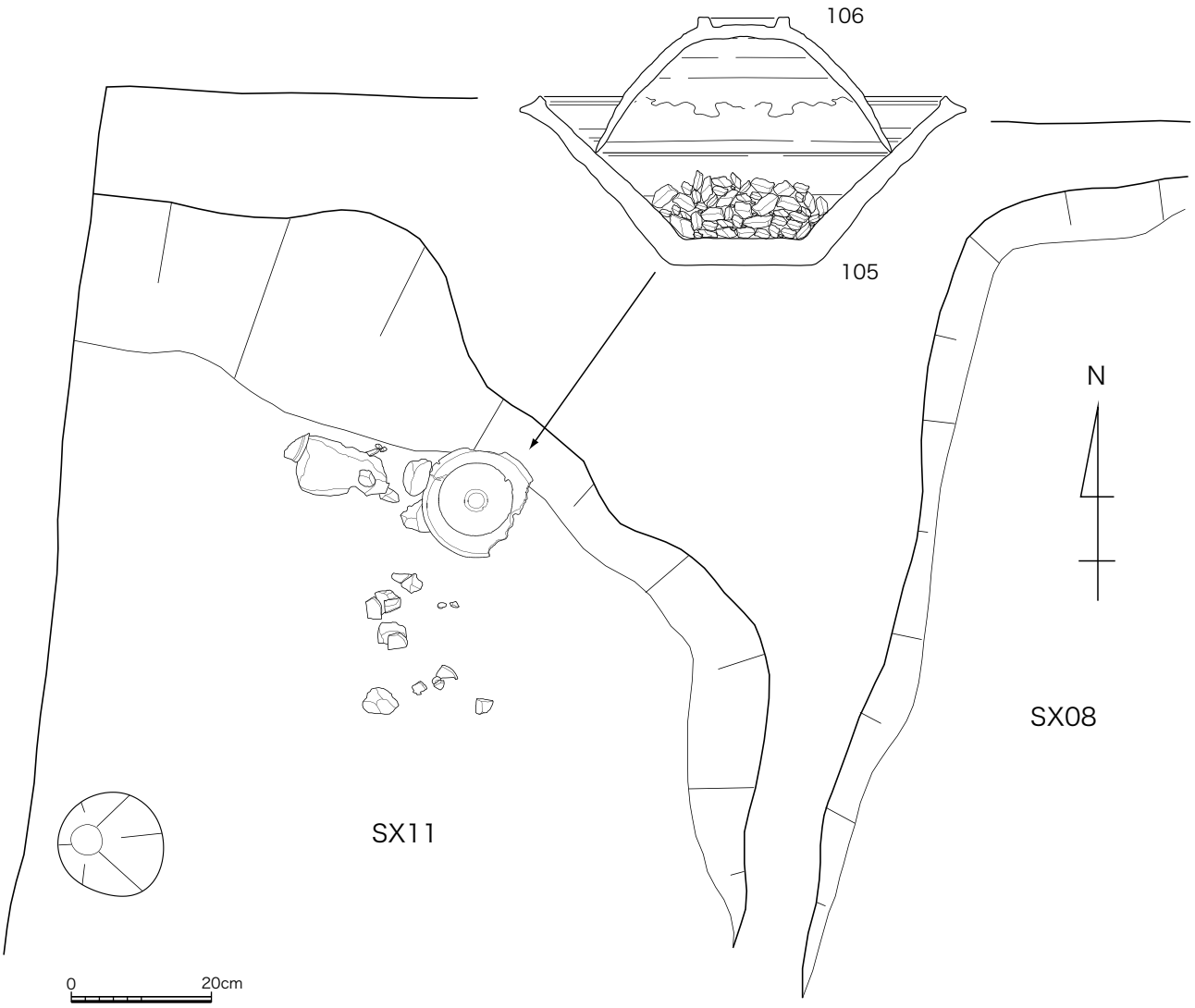
SX10は調査区の北東隅で風化花崗岩を竪穴状に掘った長方形状の遺構で東半分程が調査区外となる。長軸３ｍ20㎝、短軸は調査区内計測可能な部分２ｍ10㎝、標高229m20㎝を測る。

11. SX11（第31図. 第32図／図版19）

SX11は長軸・短軸が約２ｍを測り、風化花崗岩を竪穴状に掘った長方形状の遺構で標高227m34㎝である。

遺構の北東端近くでは、石組の上に片口鉢（105）が据えられ、その上に平碗（106）が被せられた状態で出土した。片口鉢の中には総重量1231.2gの砂利（小石）が詰められていた。砂利（小石）は比較的円いものがチャート、アプライトで、角のある四角いものが、長石、花崗岩であった。

この遺構の床直上に、粘土の広がりが検出された。そのうちの一ヶ所の下からは粘土除去後にピットが検出された。このピットの埋土は単層であるものの遺構の掘り方には中段がみられロクロピットの可能性が考えられる。（川添）



第32図　SX11遺物出土状態図

第４節　土坑・その他

窯体の東側から前庭部にかけて、楕円形や円形を呈した土坑が見られた。また尾根に溝状の地山の亀裂を検出した。窯体周辺は盗掘などによる攪乱坑が多く、天地返しとなり、土坑か攪乱坑かの区別が難しい土坑も見られた。

SK01は、長軸１m50cm短軸１m30cmを測り、窯体の東側で標高227m63cm、SX09の南側に位置する。遺物は５点４器種出土している。

SK02（第29図．第30図）は、長軸１m70cm短軸85cmを測り、窯体の東側で標高228m３cm、SX09を切る形でSX09の南西側に位置する。遺物は16点８器種出土している。

SK04は、長軸１m80cm短軸１m60cmを測る。窯体の前方で標高224m87cm、分焔柱から約５m程南側に位置する。遺物が一番多く出土した土坑で779点38器種出土。

SK05（第33図）は、長軸１m20cm短軸90cmを測る。SX07から南側に約６m程に位置し、標高は224m82cmである。遺物は67点14器種出土している。

SK08は、長軸１m60cm短軸１m20cmを測る。SY01から一番離れた前庭部に位置する土坑である。遺物は142点23器種出土している。

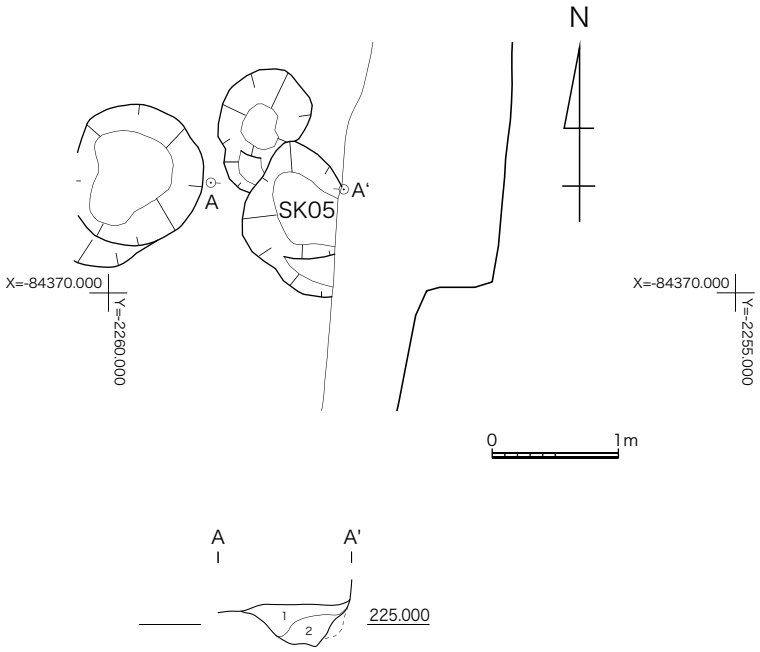
SK09（第31図）は、長軸２m40cm短軸１m60cmを測る。SX08の南側で標高は226m10cmである。遺物は20点12器種出土している。

SK10（第34図）は、長軸１m短軸80cmを測る。SK04から４m50cm程南側で標高222m15cmである。前庭部の南端に位置する。窯体から一番南側に所在する土坑で、これより南側が灰原となる。

SK12（図版20）は、長軸２m35cm短軸２mを測る。SX07から２m50cm程南側で標高224m85cmである。遺物は55点16器種出土している。

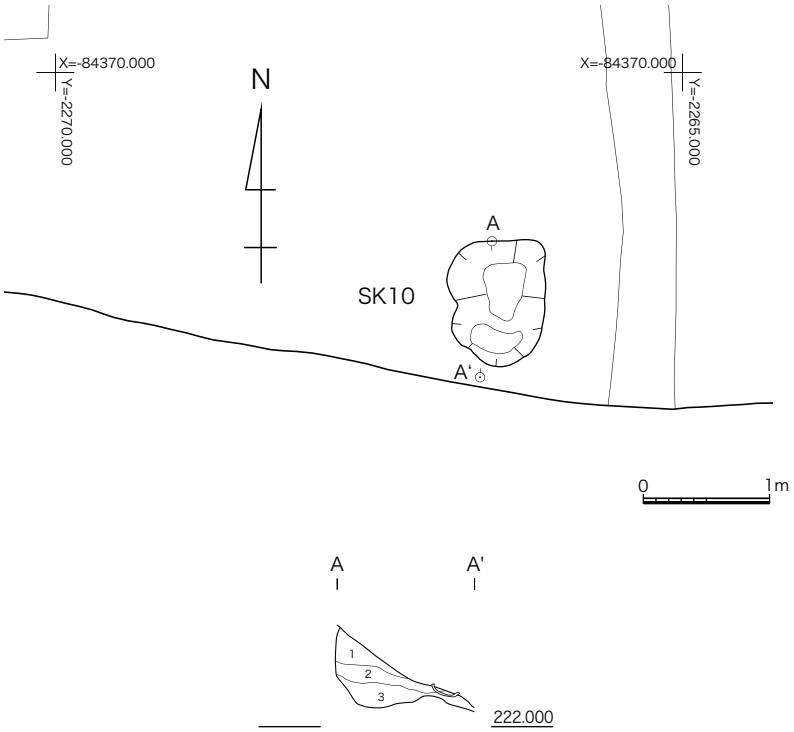
SD01（図版20）は、尾根から下に斜面をほぼまっすぐに途中からやや西に振れSX06の上部付近に下端が見られる。当初溝としたが、その後自然の地割れであることが判明し、遺構として記載するのが不適切ではあるが、尾根部分の底（標高236m５cm）や尾根よりやや下った場所（標高236m10cm）から良好な遺物（119～125）が出土したことから、遺構番号はそのままにして掲載した。

鬼頭　剛氏によれば「山の斜面上に溝状の窪地が連続する点、尾根線に対し垂直に（胴切り型）に切る形態は、地滑りや大規模崩壊の発生に先立って形成される亀裂（クラック）地形そのもので岩盤すべりの頭部クラックに当たる。特に山腹斜面の地割れは地震などの急激な応力が作用しなくても、重力の影響で岩盤が斜面下方にクリープ（すべり）変形するときに発生し山の尾根部が尾根部先端に向かってクリープした結果が溝状になったものと判断でき、地震によるものではなく地滑りの産物である」との指摘を受けた。



1.2.5Y5/2 暗灰黄色粘質土　粗粒砂多く含む　炭化物・粘土塊・焼土・焼台片を多く含む
2.10YR5/4 にぶい黄褐色粘質土　中粒砂多く含む　炭化物・粘土塊を若干含む

第33図　SK05断面図　（1：60）



1.10YR4/3 にぶい黄褐色粘質土　炭化物若干混じる　焼台片若干混じる　しまりは強い
2.10YR5/4 にぶい黄褐色粘質土　炭化物・焼土塊・焼台片を多く含む　しまりが強い
3.2.5Y5/1 黄灰色砂　極粗粒砂主体　焼土塊・炭化物を若干含む

第34図　SK10断面図　（1：60）

第５節　灰原

調査前の地形測量図からも明らかなように、尾根筋から下（南）へ40m横幅（東西）30mの範囲で盗掘などによる攪乱坑が見られた。窯体から前庭部、前庭部寄りの灰原で、盗掘などによる攪乱坑の分布が密で、攪乱坑と掘り出された廃土でまわりの起伏は旧地形が変化するほどの箇所もみられた。

灰原（カラー図版2／第35図～第38図／図版1・2・21・22）

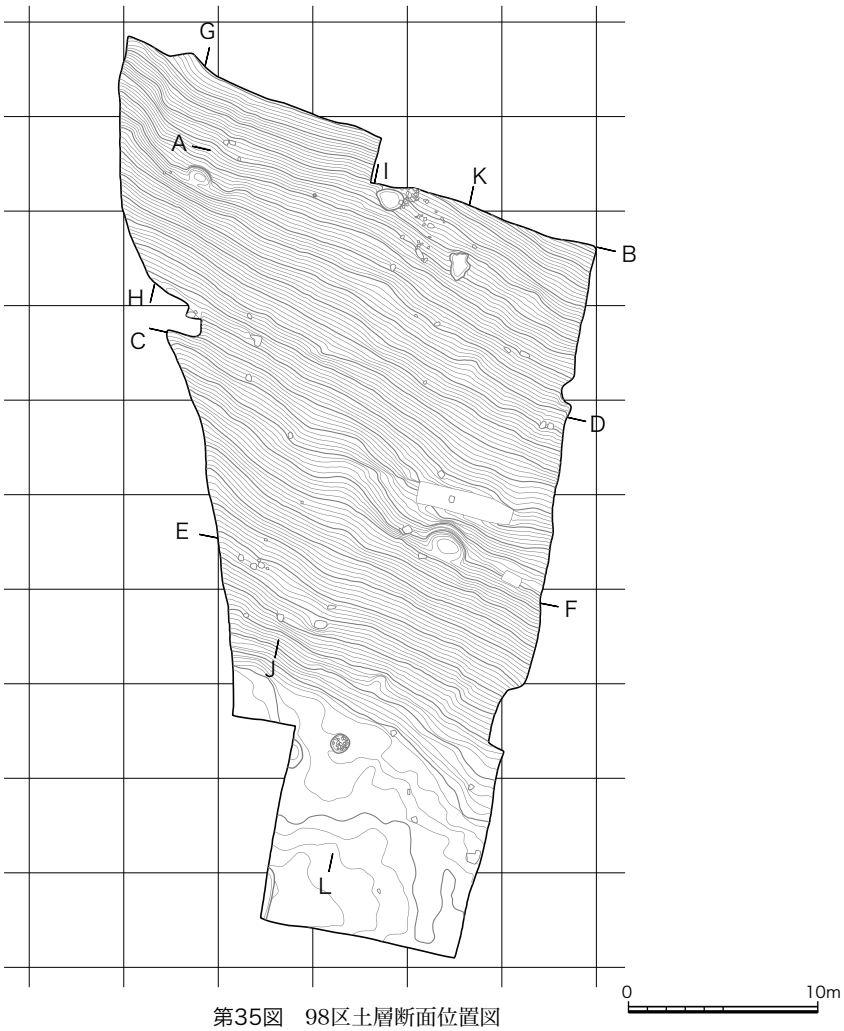
灰原は調査区01区の南半分から下へ99B区、98区の斜面に濃厚に分布していた。灰原の範囲は調査区外にも広がっており、東側は99B区の東付近から下に調査区より東に５mから６m程度の範囲で、下方は南側の溜め池付近まで、西側は98区の北西隅の上方付近から下方にかけての範囲と思われる。灰原の末端は７ライン付近までと思われる。

基本層序は、上層から表土、赤黒色土、黒褐色土、黒褐色灰土、褐色土、地山となる。遺物は黒褐色土と黒褐色灰土と褐色土から出土したが黒褐色土からの出土が多い。99B区の地山直上からは片口鉢が多く出土した。

東西土層セクションのABラインとCDラインでは、厚い堆積層にもかかわらず、盗掘などによる天地返しによって本来上層にあるべき土層（２層）が地山直上に見られるなど、窯が廃絶してから何度も何度も繰り返し盗掘が行われていたようである。但し灰原末端付近では盗掘もなく安定した当時の堆積を示していた。EFラインでは、表土（１層）、黒褐色灰土（６層）、褐色土と黒色が混じる土（７層）の三層の堆積を示していた。

調査当初は窯体前庭部より南側の広範囲に渡り、灰層と整地層が互層堆積をなしている状況を確認できたとしたが、整地層と見ていた層を含め土層の検討により、地山直上より上面の層位は操業時の自然堆積を残した部分がほとんど見られず、盗掘などによる掘り返しの二次堆積が大部分を占めることが判明した。

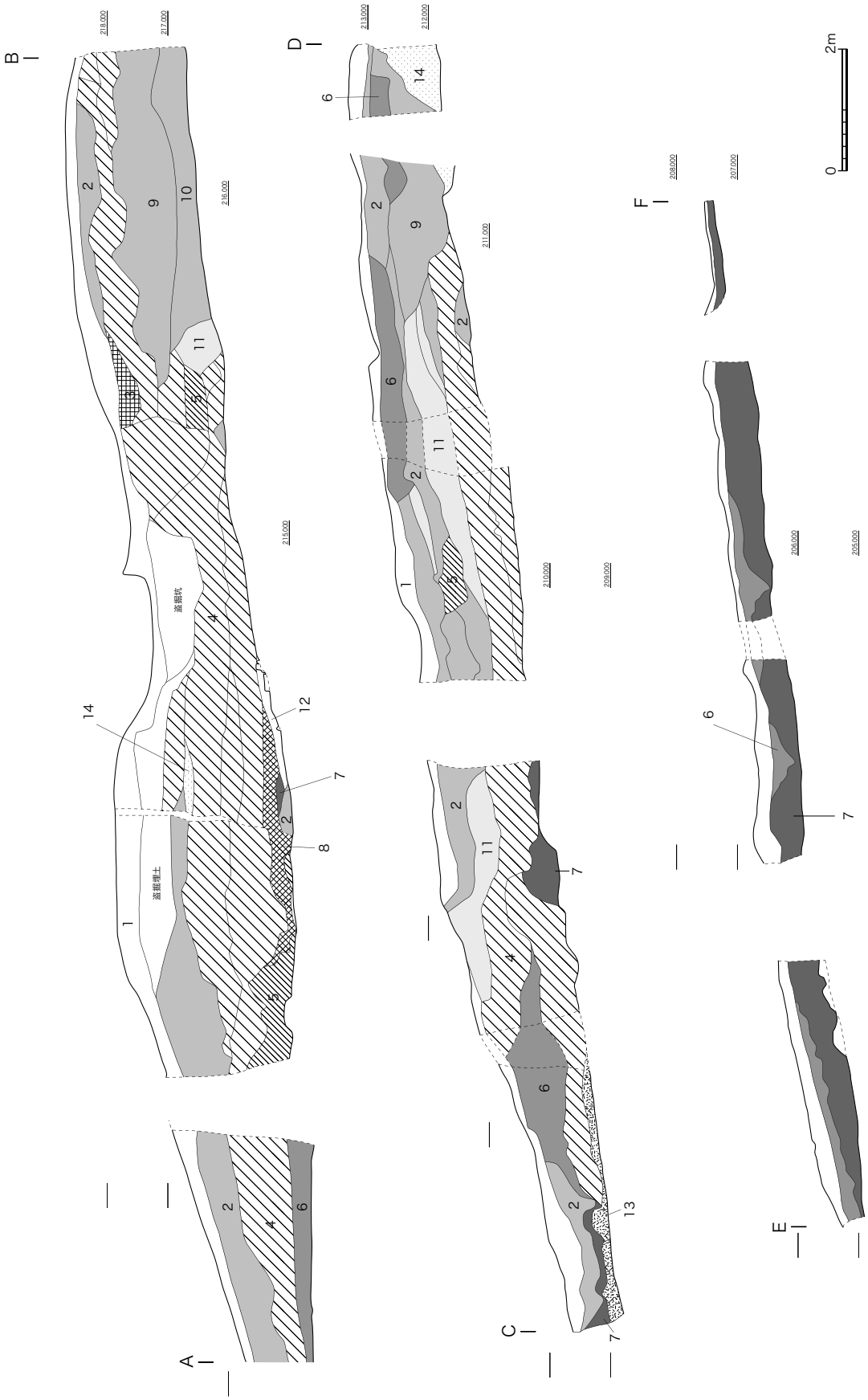
01区g列東壁セクションなどでは、攪乱層と二次堆積層がほとんどで、盗掘による攪乱が三回確認でき、いずれも地山まで到達していた。前庭部では３mの深さの地山直上からドリンク瓶のアルミキャップが見られるなど、想像以上の規模と範囲で天地返しが見られた。



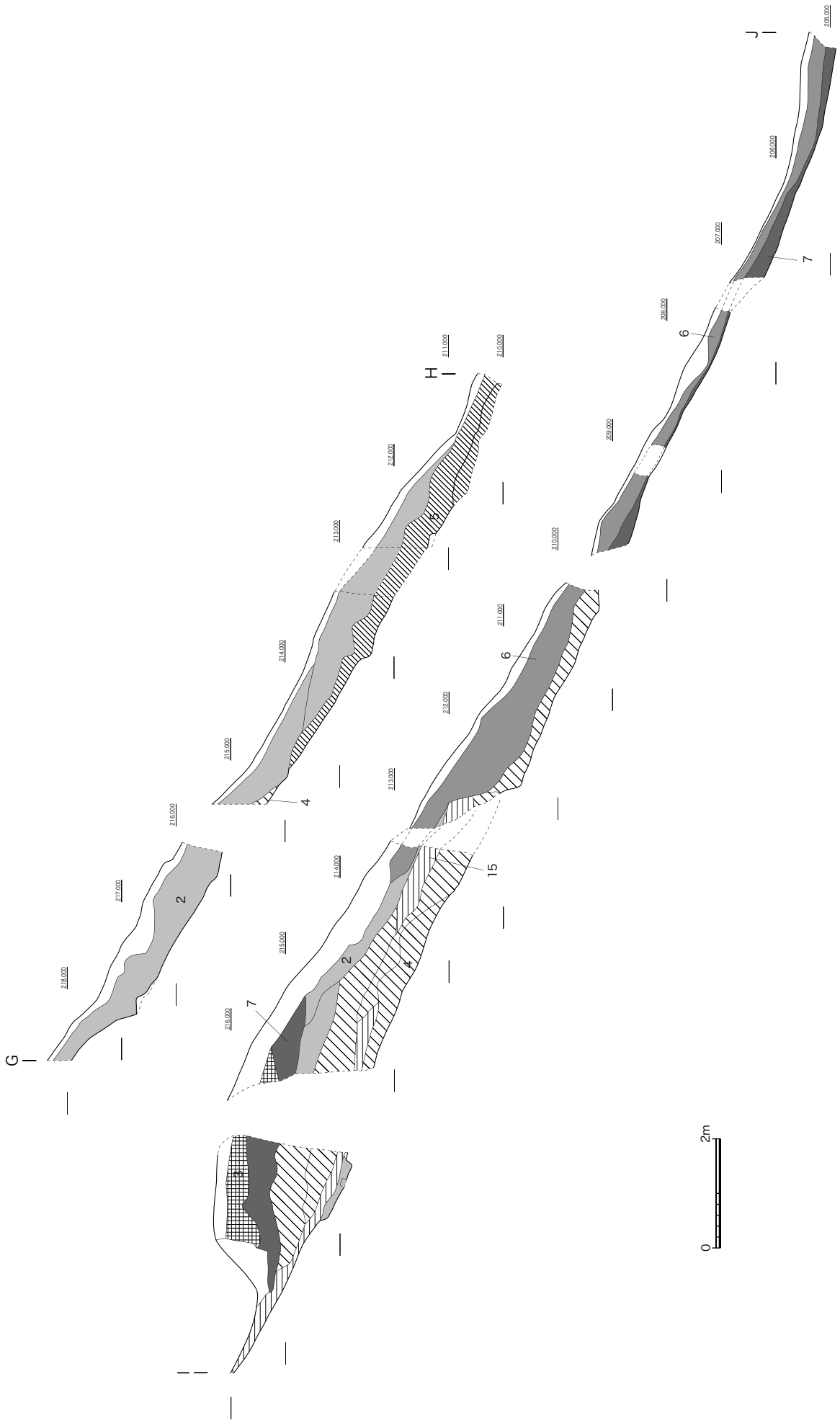
第35図　98区土層断面位置図

土層説明

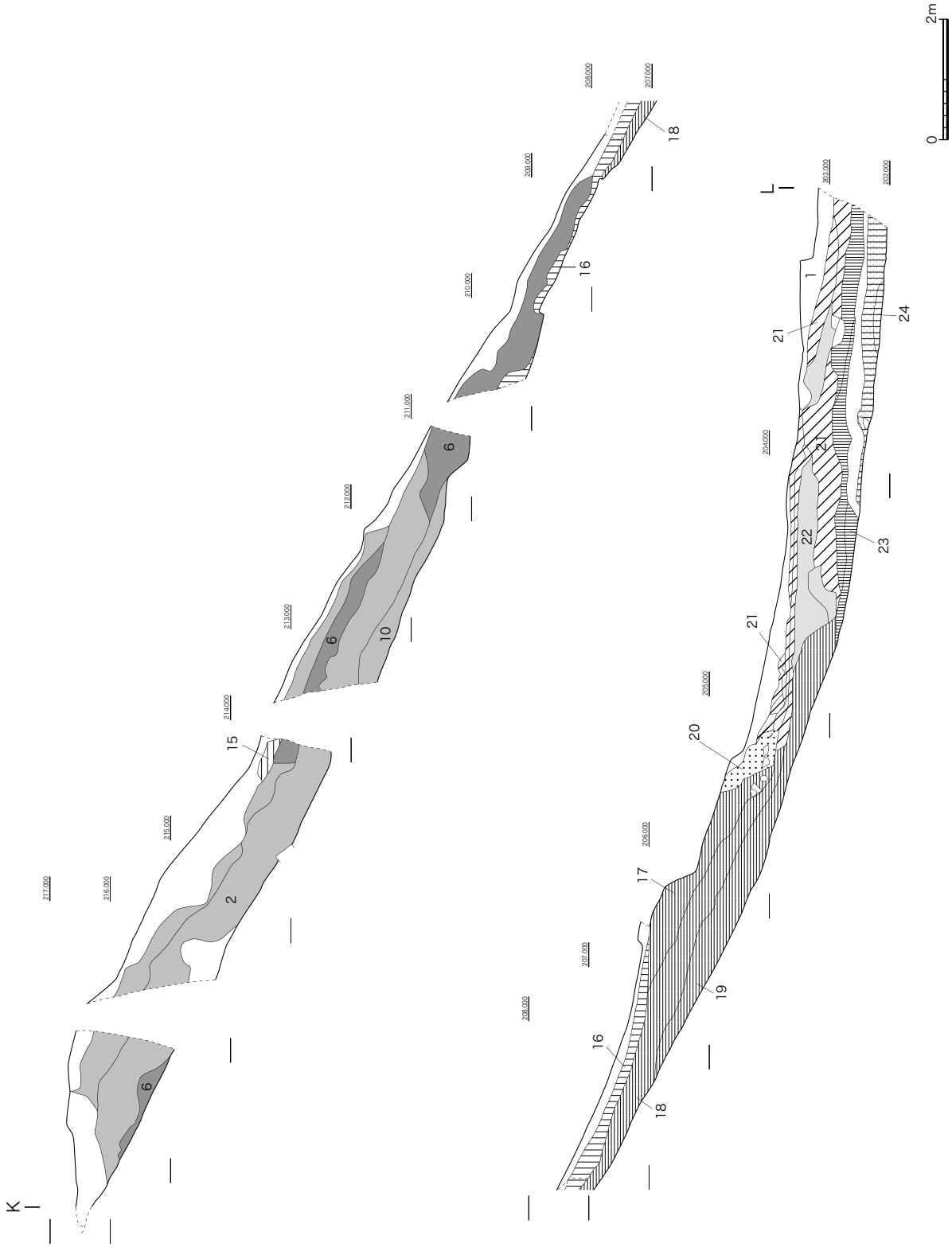
1. 表土　褐色 10YR4/4 と灰褐色 7.5YR4/2 混じり　草・竹の根多い
2. 赤黒色土 2.5YR2/1　炭多く含む
3. にぶい褐色土 7.5YR5/4　焼台多い
4. 黒褐色土 10YR3/1～3/2　炭・焼台片含む
5. 褐色土 10YR4/6 焼台片含む
6. 黒褐色灰土 5YR3/1　焼台多い
7. 褐色土 7.5YR4/3 と黒色 10YR2/1 が混じる　焼台多い
8. にぶい黄褐色土 10YR4/3　焼台・陶片多い
9. 黒褐色灰土 7.5YR3/1　炭多く含む
10. 黒褐色灰土 7.5YR3/2　粗粒砂含　炭多く含む
11. にぶい黄褐色土 10YR5/3　極粗粒砂含　炭少量含む
12. にぶい黄褐色土 10YR4/3　砂利・焼台多く含む
13. にぶい黄褐色土 10YR4/3　焼台多く含む
14. 暗赤灰色土 2.5YR3/1　焼台多く含む　炭混じる
15. 暗灰黄色 2.5Y4/2 と黒褐色 2.5Y3/2 の斑土　径 5mm の砂利・極粗粒砂混じる
16. 明褐色土 7.5YR5/6　石・焼台・陶片含む
17. 褐色土 10YR4/6　小石・径 1～2mm の砂利混じる
18. 褐色土 7.5YR4/4 と暗褐色土 7.5YR3/3 混じる
19. にぶい黄色土 2.5Y6/3 と明褐色土 7.5YR5/6 混じる
20. 黒褐色シルト 10YR2/2（田床土）
21. 暗オリーブ灰色土 5GY4/1　沈鉄斑土状に混じる　径 1～2mm の砂利・極粗粒砂混じる
22. 青灰色粗粒砂 10BG6/1　沈鉄斑土状に混じる　径 1～2mm の砂利混じる
23. オリーブ黒色土 5Y3/2　石・径 1～2mm の砂利混じる
24. 灰色極粗粒砂 N5/ と灰色極粗粒砂 N6/ の互層



第 36 図　98 区東西 AB・CD・EF 土層図



第 37 図　98 区南北 GH・IJ 土層図



第 38 図　98 区南北 KL 土層図

第３章　出土遺物

第１節　SY01出土遺物

SYO1（図1～5：1～72／図版25）

窯内埋土を含み窯体からは総破片数609点が出土した。片口鉢・無釉278点（54～68）、折縁・直縁皿49点（35. 36）、平碗40点（６～10）、内耳鍋35点（48～53）、折縁深皿34点（38～47）、縁釉小皿29点（12～18）、擂鉢23点（69～72）、卸皿20点（24～26）、鉢釉有17点、四耳壺13点（29. 30）、直縁大皿11点（21. 33. 34. 37）、瓶子13点（31. 32）、花瓶７点（28）、折縁中皿６点（22）、天目茶碗５点（1. 2. 4. 5）、小鉢４点、口広壺３点、浅碗３点（11）、片口鉢３点、筒形容器３点、碗形鉢２点、灰釉天目２点（３）、以下は１点のみの出土で袴腰香炉、筒形香炉（27）、小皿（20）、折縁小皿（19）、中皿、片口小鉢（23）、柄付片口、水注、茶壺である。なお（　）の数字は遺物登録番号である。

出土点数は比較的多いが、細片で図化できる器種が限られてしまう状況であった。

床面などからは、窯壁や裏込め粘土や焼台と同様の粘土等が付着した片口鉢無釉粗の細かい破片が多く見られた。これらの粘土等が付着した片口鉢の破片は窯道具として再利用されたものと思われる。

第２節　工房跡出土遺物

出土した遺物の多くが細片で、図化できるものが少なかった。そのため遺物が出土しているものの掲載できなかった遺構、SX02、SX04、SX08、SX10については点数のみの記述となった。また遺物が出土していない遺構としてSX03とSX05がある。なお（　）の数字は遺物登録番号である。

１．SXO1（第39図／図６・８・９・10：73～92, 126～128, 133～145／図版26・27・29～35）

Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄの独立した小屋と小屋前の作業場を含め遺構範囲が広い。Ｃは調査区外に広がるため全貌は不明である。遺物の多くは小屋前の作業場と思われる広い平らな場所からの出土で、各器種ともに細片が多い。焼台と礫に混じって細かな遺物が出土した状況であった。

遺物としてすべて取り上げはしなかったが礫も多く出土している。窯詰めの際に焼台の上、製品と焼台の間や製品と製品の間に挟んで使用される礫と思われる。

Ｂより未焼成天目茶碗が５枚重ねたもの（133～144）と未焼成皿（145）が出土している。

総破片数1, 274点が出土した。ただしＢより出土の未焼成製品は総破片数には含んでいない。

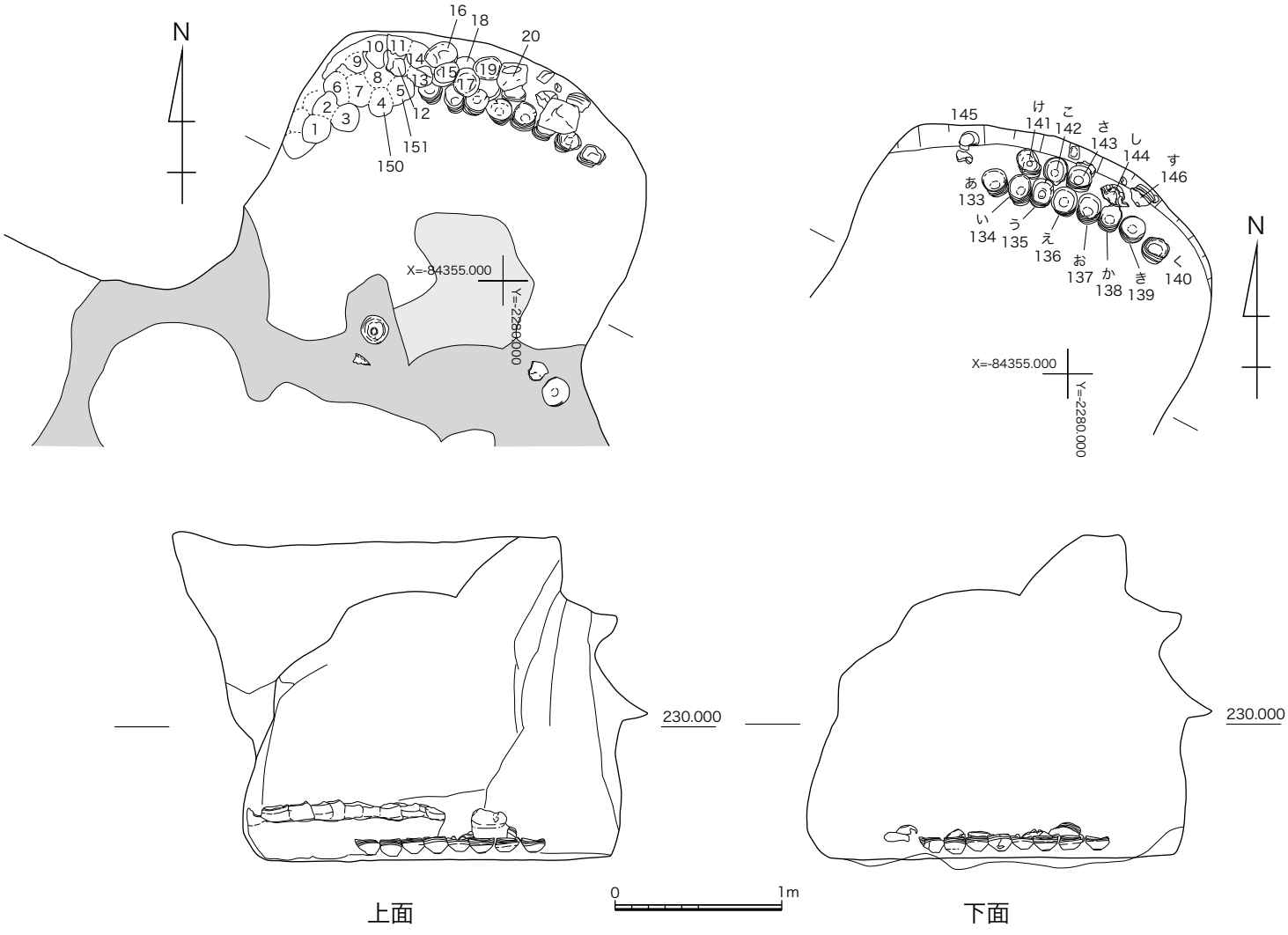
平碗761点（73～80. 91. 92）、縁釉皿145点（82～88. 127）、折縁中皿80点（126）、卸皿77点（81）、折縁・直縁皿33点、天目茶碗32点、直縁大皿29点、筒形容器16点、瓶子15点、四耳壺13点、花瓶13点、柄付片口７点、小鉢７点（89）、灰釉天目７点、茶壺３点、壺３点、浅碗３点、小碗２点、口広壺２点、筒形香炉大２点、燭台２点、内耳鍋２点、鉢釉無２点、以下は１点のみの出土で陶丸（128）、折縁小皿、腰折

皿、鉢、鉢釉有、擂鉢（90）、小壺、平底末広碗である。

２．SX01-B　下層出土の未焼成天目茶碗と粘土塊（第39図／図９・10：133～144／図版29～35．図版29：147～149）

Bの下層より未焼成天目茶碗（133～144）と粘土塊（147～149）が出土した。内反の高台と高台脇の水平な削り、体部の形状は下半に若干丸みを帯びほぼ直線的に立ち上がり、口縁下弱く屈曲し、端部が若干くびれるものが大半である。いづれも５点ずつ重ねられ、整然と並べられていた。片側に崩れるか、斜めにずれた状態で、片側が内湾状況の、133、134、137、141、143、144、146（図版35のみ）もみられる。出土当初は、割れ口を観察すれば、５点の重なり具合がはっきりすると思われたが、割れ口からは重なり具合は思っていた程明瞭ではなかった。外面は口縁部によって５枚重ねが理解できるが、割れ口では５枚が同化した粘土塊となっていた。割れ口を観察すると、重なり合った天目茶碗と天目茶碗の間には粘土塊やピンといった窯道具類は全く見られず、水平に密着した状態で、間に砂も咬んでいなかった。器表面は轆轤成形の痕や高台付近の調整痕が認められる。

重なりの最長径とは口縁が重なり片側にずれているため１番上の口縁端と１番下の口縁端を上面から計



第39図　SX01B未焼成天目茶碗出土状態図　（1：40）

測した全体巾の数値である。したがって１番上の天目茶碗の口径ではない。最大高台径と最大高台高は１番下になっている天目茶碗よりの計測で上の重みによって高台が埋もれるような状態となっている。

器厚は１番上の天目茶碗の口縁直下のくびれ部周辺の厚み。いずれも新版標準土色帖の土色名はHue7.5Y　8／１灰白であった。

（133）はHue7.5Y　8／１灰白　５点重なっている。片側に押し付けられた状態で口縁が楕円形に歪み、重なりの最長径14.5cm、器高9.2cm、1175g。内反り高台。高台径3.8cm×4.5cm、高台高さ３㎜から４㎜。割れ口からどうにか５点の重なり点が確認できる。口縁端部は丸くやや外反、口縁部は４／12程残る。４㎜の器厚。大きく５片に割れる。

（134）はHue7.5Y　8／１灰白　５点重なっている。重なりの最長径14.1cm、器高11.4cm、1150g。１番上の口径13.1cm、口縁端部はやや尖り外反し4.5㎜の器厚を測り、口縁部は10／12程残る。大きく４片に割れる。高台高４㎜、高台径4.4㎜を測り、内反りの高台には指による凹みが片側に残る。

（135）はHue7.5Y　8／１灰白　５点重なっている。重なりの最長径14.8cm、器高9.7cm、1150g。１番上の口径13cm、口縁端部はやや尖り外反し口縁部は10／12程残り、４㎜の器厚を測る。大きく５片に割れる。高台高3.5㎜、高台径4.6㎜×4.3㎜を測る。

（136）はHue7.5Y　8／１灰白　５点重なっている。口縁はほぼ円形で、重なりの最長径14.5cm、器高9.8cm、1170g。１番上の口径13.5cm、口縁端部はやや丸く外反し、口縁部は９／12程残る。４㎜の器厚を測る。１番下の高台径4.4cm、高台高５㎜、大きく４片に割れる。

（137）はHue7.5Y　8／１灰白　５点重なっている。重なりの最長径15cm、1150g。１番上の口縁部は３／12程残るのみで端部は丸くやや外反し器厚４㎜を測る。大きく３片に割れる。片側に押し付けられた状態で口縁がやや楕円形になり２番目の口径短13cm長14cm、器高8.8cm、高台は押しつぶされているが、高台径4.6cm、高台高1.5㎜から２㎜を測る。

（138）はHue7.5Y　8／１灰白　５点重なっている。重なりの最長径16cm、器高9.7cm、1150g。１番上の口径13cm、口縁端部はやや尖り外反し4.5㎜の器厚を測り、口縁部は８／12程残る。大きく３片に割れる。高台高５㎜、高台径4.5㎜×4.2㎜、高台脇の削り巾が２㎜から４㎜を測る。

（139）はHue7.5Y　8／１灰白　５点重なっている。重なりの最長径14.5cm、器高10.9cm、1110g。１番上の口径13cm、口縁端部はやや尖り外反し、口縁部は７／12程残る。４㎜の器厚を測る。大きく３片に割れる。高台高２㎜から４㎜、高台径4.3㎜×4.7㎜を測る。

（140）はHue7.5Y　8／１灰白　５点重なっている。重なりの最長径14.3cm、器高9.6cm、1070g。１番上の口径13.5cm、口縁端部はつぶれ丸く平らになり口縁部は８／12程残る。４㎜の器厚を測る。大きく２片に割れる。高台高５㎜、高台径4.3㎜×4.5㎜を測る。

（141）はHue7.5Y　8／１灰白　５点重なっている。重なりの最長径14.5cm、器高14.2cm、1195g。１番上の口径12.5cm、口縁端部はやや尖り外反し4.5㎜の器厚を測り、口縁部の片側半分が２枚目の口縁に覆いかぶさられ埋もれたような状態で、口縁部は10／12程残る。口縁部が３片に割れるがほぼ全体が割れずに残る。高台高６㎜、高台径4.3㎜を測る。

（142）はHue7.5Y　8／１灰白　５点重なっている。重なりの最長径15cm、器高10cm、1145g。１番上の口径14.1cm、口縁端部はやや尖り外反し４㎜の器厚を測り、口縁部は７／12程残る。大きく２片に割れる。

高台高3.5㎜、高台径4.5㎜×4.7㎜を測る。

(143) はHue7.5Y　8／1灰白　5点重なっている。重なりの最長径14.8cm、器高12.3cm、1250g。1番上の口径14cm、口縁端部はやや尖り外反し4.5㎜の器厚を測り、口縁部は9／12程残り、口縁部片側が内傾する。口縁部のみが割れている。高台高6㎜、高台径4.4㎜を測る。

(144) はHue7.5Y　8／1灰白　口縁が大きく「く」の字状に内湾し、5点重なっている。重なりの最長径14.5cm、器高11.6cm、1195g。1番上の口径14cm、口縁端部はやや丸く外反し4.5㎜の器厚を測り、口縁部は10／12程残る。口縁と胴部の3片に割れる。高台高6㎜、高台径4.2㎜×4.5㎜を測る。天目茶碗の形状を1番よく残している。

(146) は未実測の未焼成天目茶碗で写真のみである。　Hue7.5Y　8／1灰白　5点重なっている。1番ひどく「く」の字状態に重なっている。重なりの最長径17.4cm×10.5cm、器高13.6cm、1195g。1番上の口径15.2cm×9.2cm、口縁端部はやや尖り外反し4.5㎜の器厚を測り、口縁部は3／12程残る。口縁のみが細かく割れている。高台高4㎜、高台径4.8㎜×3.2㎜を測る。外面器表に粘土塊（5㎜から1cm）が多く付着している。

未焼成皿（145）Hue7.5Y　8／1灰白　口径9.6cm×10.4cm、器高2.7cm、2.50g、轆轤成形で、底部外面には糸切り痕がかすかに認められる。体部が丸みをもって立ち上がり、口縁端部が丸く調整されている。全体が楕円形状に歪んでいる。口縁部は3／12程残る。

粘土塊は3点で、147～149は未実測である。B以外の小屋前の作業場からは粘土塊が多く見られた。

粘土塊（147）はHue7.5Y　8／1灰白　の楕円形の円錐状を呈し、9.6cm×7.4cm、高さ4.5cm、7.33gを測る。小さな粘土塊を重ねたもの。

粘土塊（148）はHue7.5Y　8／1灰白　の楕円形の円錐状を呈し、11cm×9.8cm、高さ6.2cm、1441gを測る。粘土塊を重ねたもの。

粘土塊（図版29：149）はHue7.5Y　8／1灰白　の粘土紐状のものがとぐろを巻くようになったり、小粘土塊が重なっている。7cm×5cm、高さ5.1cm、3.29gを測る。

3．SX01-B　上層出土の粘土塊（第39図／図版30：150，図版31：151）

下面出土の未焼成天目茶碗と同様な状況で出土したが、風化が激しく一つ一つの真ん中が凹んだ粘土塊となり、碗であることは確認できたが以下の2点を含め、すべてについて器種までは特定できない状態であった。一つ一つが繋がり粘土置き場かと思ったほどである。

粘土塊（150）で未実測である。Hue7.5Y　8／1灰白。器高9.5cm、碗が重なり、最長径13.8cm、1245gを測る。1番上の口径12cm、部分的に四枚は確認できたが、全体が粘土と砂の塊の状態で全体の枚数は不明。碗の形状は不明。

粘土塊（151）で未実測である。Hue7.5Y　8／1灰白。碗の重なりが5枚は確認できるが、全体の枚数は不明。砂や細かな粘土が全体を覆うため、碗の形状は不明。器高13.2cm、重なりの最長径14.5cm、1790gを測る。1番上の口径13cm。

4．SX02

総破片数19点が出土した。平碗７点、水注３点、折縁深皿２点、直縁大皿２点、以下は１点の出土で小皿、瓶子、四耳壺、片口鉢無釉粗、小鉢である。

5．SX04

１点のみの出土で、柄付片口の口縁破片である。

6．SX06（図６・８：９，94，96，129）

総破片数435点が出土した。平碗95点、折縁・直縁69点、鉢釉無36点、擂鉢34点、折縁深皿27点、四耳壺26点、内耳鍋23点（93．94）、縁釉小皿23点、花瓶15点、瓶子11点、卸皿11点、筒形香炉８点（96）、片口鉢無釉粗８点、筒形容器７点、直縁大皿７点（129）、天目茶碗６点、擂鉢形小鉢５点、茶壺４点、折縁中皿４点、灰釉天目茶碗３点、折縁小皿３点、水注２点、以下は１点のみの出土で小皿、小鉢、卸目付大皿、口広有耳壺、口広壺、浅碗である。

7．SX07（図６・７：95，97～99）

総破片数25点が出土した。縁釉小皿６点（98．99）、平碗６点、直縁大皿３点、以下は１点のみの出土で折縁・直縁、中皿、小皿、卸皿、内耳鍋、四耳壺、甕、燭台、花盆（97）、筒形香炉（95）である。

8．SX08

総破片数99点が出土した。折縁･直縁68点、折縁深皿17点。平碗４点、片口鉢無釉粗４点、四耳壺２点、筒形香炉２点、以下は１点のみの出土で天目茶碗、卸皿である。

9．SX09（図７：100，101／図版27）

総破片数258点が出土した。平碗66点、折縁・直縁33点、折縁深皿16点、四耳壺16点、縁釉小皿14点、筒形香炉14点（100）、花瓶10点、瓶子９点、卸皿９点、内耳鍋８点、鉢釉有７点、茶壺７点、直縁大皿６点、天目茶碗６点、折縁中皿４点、鉢４点、擂鉢４点、折縁小皿３点、中皿３点、花盆２点、小鉢２点、柄付片口２点、口広壺２点、小壺２点、以下は１点のみの出土で浅碗、小天目、擂鉢形小鉢、調理鉢、片口小鉢、小皿、筒形容器、広口壺蓋（101）である。

10．SX09・10（図７：102，103）

二つの遺構が接した場所で出土した遺物で内耳鍋（102）と鉄釉が施された花瓶（103）が見られる。帰属する遺構は、出土遺物の多さからSX09と思われ、SX09の出土総点数中に含むものとして取り扱った。SX09の総破片数258点はすでに含んだ点数である。

11．SX10

総破片数５点、小鉢３点、平碗２点が出土した。

12. SX11（図７・８：104～107，130～132）

総破片数150点が出土した。卸皿23点、片口鉢無釉粗20点（105．130）、平碗17点、筒形香炉16点（104）、折縁･直縁10点、花瓶９点、瓶子８点、水注８点、折縁深皿７点、折縁中皿５点（132）、陶丸３点（131）、折縁小皿２点、柄付片口２点、小碗２点、以下は１点の出土で、平底末広碗、四耳壷、鉢、片口のみ、小鉢、碗形鉢（106）、直縁大皿、花盆（107）、小皿、内耳鍋、手付鍋、燭台である。

第３節　土坑出土遺物

出土した遺物の多くが細片で、図化できるものが少なかった。そのため遺物が出土しているものの掲載できなかった遺構SK02、SK06、SK08、SK13、SK14については点数のみの記述となった。なお（　）の数字は遺物登録番号である。

出土遺物の多くが細片であったのは、窯体の周辺が度重なる盗掘によって何度も掘り返され、その度に残存状態の良好な陶片が持ち去られたためと思われる。01区が窯体を中心とする遺構群であるにしても、98区、99A区、99B区に比べると細片が多く、残存状態が良好な大きな陶片は非常に少なく、01区全体の出土量も他の調査区より少なかった。

１．SK01（図７：108）

総破片数６点が出土した。折縁・直縁２点、卸皿１点、瓶子１点、仏供１点（108）、陶丸１点である。

２．SK02

総破片数16点が出土した。直縁大皿８点、折直・直縁２点、以下は１点のみの出土で、平碗、小天目、卸皿、片口鉢無釉粗、筒形香炉、狛犬である。

３．SK04（図７：109～114）

総破片数779点が出土した。平碗187点（111）、折縁・直縁122点、卸皿93点、縁釉小皿84点（110）、花瓶35点（114）、折縁深皿34点、筒形香炉25点（112．113）、柄付片口19点、折縁小皿18点、折縁中皿17点、四耳壷17点、片口鉢無釉粗16点、瓶子16点、天目茶碗13点、鉢釉有９点、水注８点、小天目７点（109）、筒形容器５点、小鉢５点、茶壺４点、花盆４点、小皿４点、内耳鍋３点、片口小鉢３点、甕３点、蓋２点、燭台２点、中皿２点、片口のみ２点、擂鉢形小鉢２点、以下は１点のみの出土で、折縁襞中皿、碗形鉢、鉢釉無、擂鉢、水滴、合子、小壷、浅碗である。

４．SK05（図７：115）

総破片数67点が出土した。平碗16点、縁釉小皿13点、折縁・直縁12点、四耳壷３点、折縁小皿２点、柄付片口２点、小鉢２点、以下は１点のみの出土で、筒形香炉（115）、折縁深皿、擂鉢、口広壷である。

5．SK06

1点のみの出土で卸皿の口縁片である。

6．SK08

総破片数142点が出土した。平碗39点、片口鉢無釉粗16点、卸皿15点、天目茶碗11点、縁釉小皿11点、折縁・直縁7点、折縁深皿6点、花瓶5点、瓶子5点、柄付片口5点、折縁小皿3点、水注3点（長頸2点）、四耳壺3点、小皿2点、筒形香炉2点、筒形容器2点、以下は1点のみの出土で、小天目、小碗、中皿、茶入、擂鉢、内耳鍋、陶丸である。

7．SK09（図7：116，117／図版27）

総破片数20点が出土した。平碗7点（116）、天目茶碗2点、瓶子2点、以下は1点のみの出土で、筒形香炉、腰折皿、中皿、折縁・直縁、折縁中皿、小鉢、柄付片口（117）、片口鉢無釉粗、花瓶である。

8．SK12（図7：118／図版28）

総破片数55点が出土した。折縁・直縁10点、卸皿8点、縁釉小皿7点、平碗7点、折縁深皿4点、柄付片口4点、片口鉢無釉粗3点、筒形香炉3点、瓶子2点（118）、以下は1点のみの出土で、鍋、小皿、碗形鉢、片口小鉢、水注、花瓶、天目茶碗である。

9．SK13

2点のみの出土で、縁釉小皿の口縁片と片口鉢無釉粗の胴部片である。

10．SK14

総破片数17点が出土した。平碗6点、鉢釉有5点、以下は1点のみの出土で、卸皿、縁釉小皿、折縁小皿、折縁・直縁、柄付片口、筒形香炉である。

11．SD01（図8：119～125／図版28）

遺構番号がついているが、遺構ではなくSY01の北東側で、尾根を切断したような状況で見られた断層である。尾根の部分の深さは地表下1m80㎝程の深いものであった。溝状に凹んだ中から天目茶碗(119)、平碗（120～122)、卸皿（123)、瓶子（124)、折縁深皿ⅡA（125）等の遺物が出土した。

第４節　灰原出土遺物

１．天目茶碗（第40図．第41図／図11～16：153～340／図版28・29・32～41）

高台の形状によって大きく２つに分類し、さらに全体あるいは口縁や高台の器形・形状によってそれぞれを小分類した。出土器種のなかで占める割合は3.75％で23,732点出土（灰釉天目茶碗も含む）。

Ⅰ類は削り出し輪高台（153～244）で、高台周辺は露胎である。破片数9126点、個体数では口縁669個体、底部1019個体。

Ⅱ類は内反り高台（245～340）で、高台周辺が露胎のものと薄い錆釉の化粧掛けが施されたものがある。破片数6943点、個体数では口縁441個体、底部1139個体。Ⅱ類のなかでは露胎は5406点、個体数で口縁359個体、底部645個体、錆釉の化粧掛けは1537点、個体数で口縁81個体、底部493個体。Ⅱ類のなかでは、高台周辺に薄い錆釉の化粧掛けが施されたものは22％、露胎のものが78％と錆釉の化粧掛けは少ない。

天目茶碗の高台に窯印の認められるもの（310．341～350）が11点ある。Ⅰ類とした削り出し輪高台が７点、Ⅱ類とした内反高台が３点、高台脇に窯印のある（350）蛇の目高台が１点である。

Ⅰ類をさらに８分類（第40図）した。図中の登録番号の前のＡ～Ｈは分類を示す。

Ａ類（153～174）体部が丸みを帯び、直線的に立ち上がった口縁端部がくびれて尖り、外反気味である。全体に器厚は厚い。轆轤整形が雑で高台脇の削りも少ない。

Ｂ類（175～184）体部が丸みを帯び、直線的に立ち上がった口縁端部が丸みを帯びる。口縁下のくびれはみられない。全体に器厚は厚い。

Ｃ類（185～197）体部が丸みを帯び、直線的に立ち上がった口縁端部が薄くやや外反気味となる。高台脇の削りが少し現れ、内底面の見込みがやや平になる。

Ｄ類（198～209）体部が直線的に立ち上がり、口縁は内湾気味で、端部は尖っている。口縁直下内面の稜線が顕著である。高台脇の削りも浅く、器高がやや高く深く感じられる。

Ｅ類（210～212）口縁端部は外反し口縁の引きが強く口唇部が平気味である。

Ｆ－１類（213～234）やや丸みを帯びた体部と外反気味で尖った口縁で口縁直下内面の稜線も顕著でＤ類に近いが、器厚が薄く全体に轆轤の引き上げが強い。

Ｆ－２類（235～240）口縁は外反気味で腰部の丸みが少なく真っ直ぐに引き上げたかのようで器厚が全体に厚いが、腰部では斜め削り調整が見られ腰部の器厚が薄くなっている。

Ｆ－３類（241～244）直線的な体部と端部がやや丸みを帯び外反した口縁で、全体に大振りである。高台脇の削りも浅く、器厚が薄い。

Ⅱ類をさらに８分類（第41図）した。

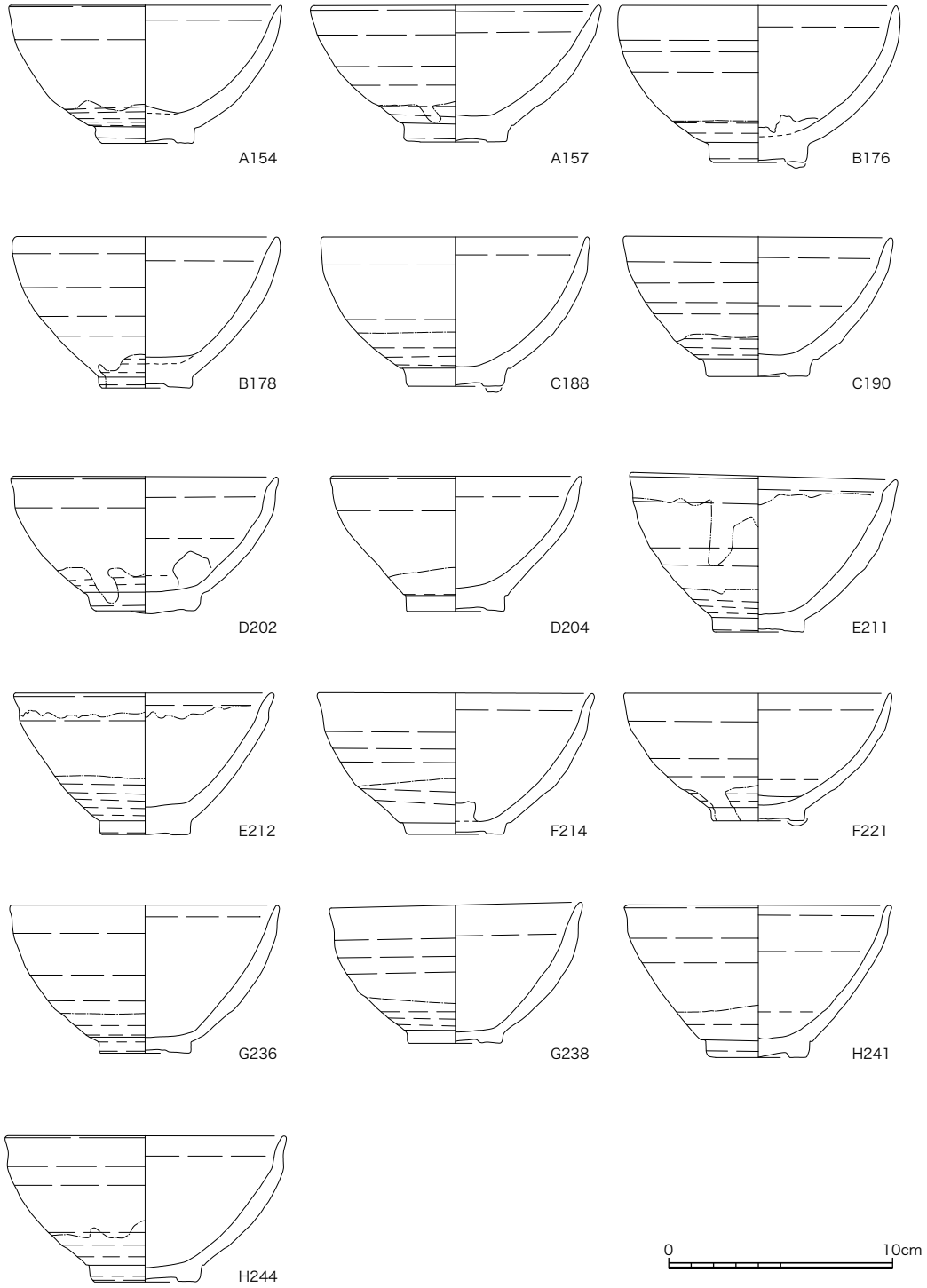
Ａ類（８）（245～274）体部が直線的に立ち上がり、口縁がやや内湾気味に外反し、器厚は薄く、高台周辺に錆釉の化粧掛けが施される。高台脇の削りも斜めが多い。

Ｂ類（275～284）８（９）体部が直線的に立ち上がり、口縁は外反し、高台脇の削りが斜めもあるが平

も増えている。高台周辺に錆釉の化粧掛けが施される。

C類（285～294）9（10）体部が直線的に立ち上がり、口縁は外反し口唇部が鋭角で全体に大振りとなる。高台周辺に錆釉の化粧掛けが施される。

D類（295～302）10（11．12）体部が直線的に立ち上がり、口縁は外反し口唇部は丸みを帯びる。腰部の化粧掛けがなくなり始める。焼き締まりの緻密さが無くなってきている。

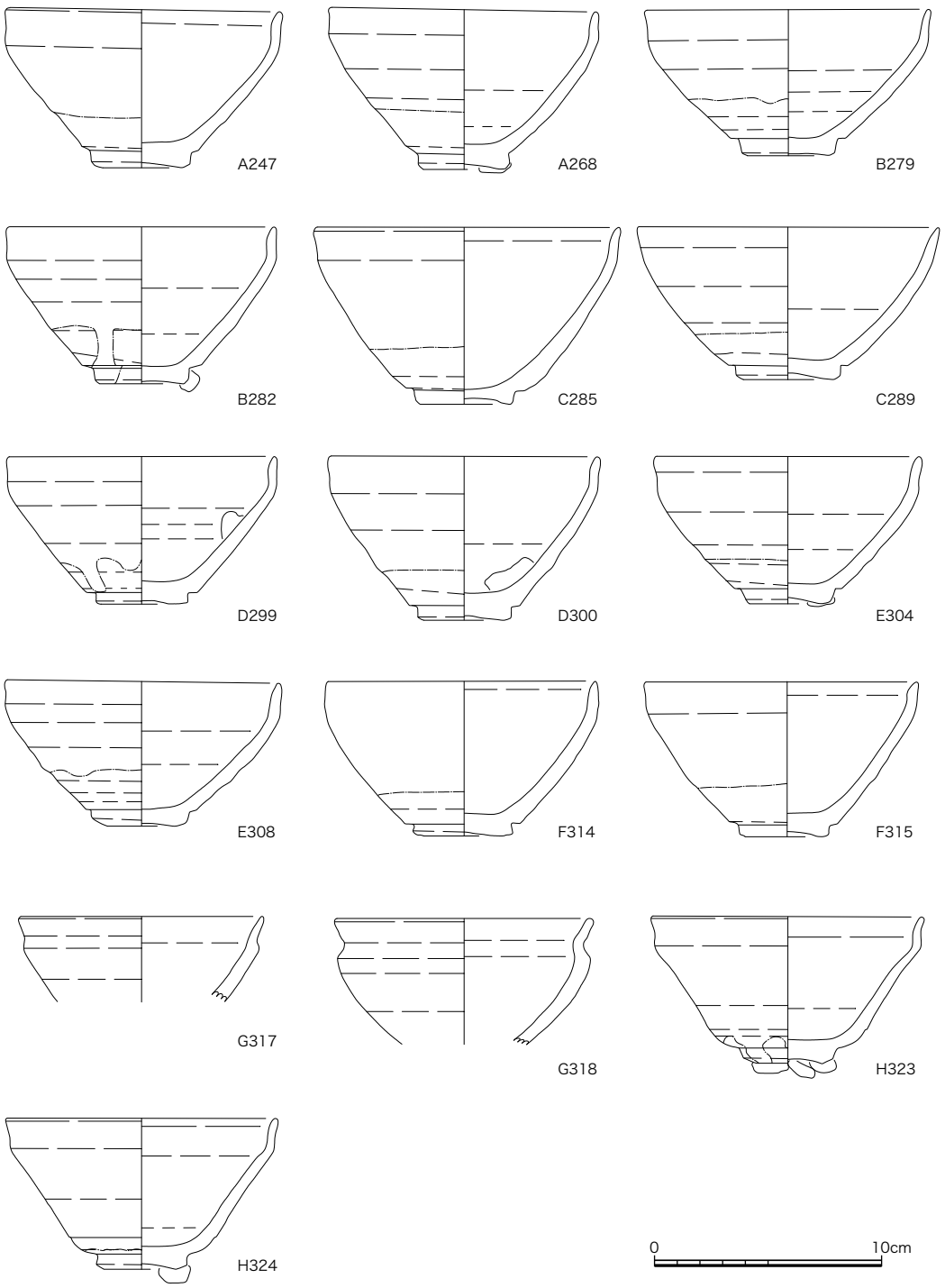


第 40 図　天目茶碗ＩA～ＩH類実測図

E類（303～313）11（16. 17）口縁が外反気味で口唇部は鋭角である。化粧掛けがなくなり露胎となる。高台脇の削りも水平が多い。高台に篦による×の窯印（310）がある。

F類（314～316）12（13. 14）口縁部がやや内湾気味で、口唇部は鋭角で、高台脇の削りは水平から内側がくぼんだような深い削りとなる。

G類（317. 318）13　腰部から口縁にかけての破片であるが、口唇部が直線的で口縁直下のくぼみが段



第 41 図　天目茶碗ⅡA～ⅡH 類実測図

状となる。外面の鉄釉がラスターとなるもの（317）もある。

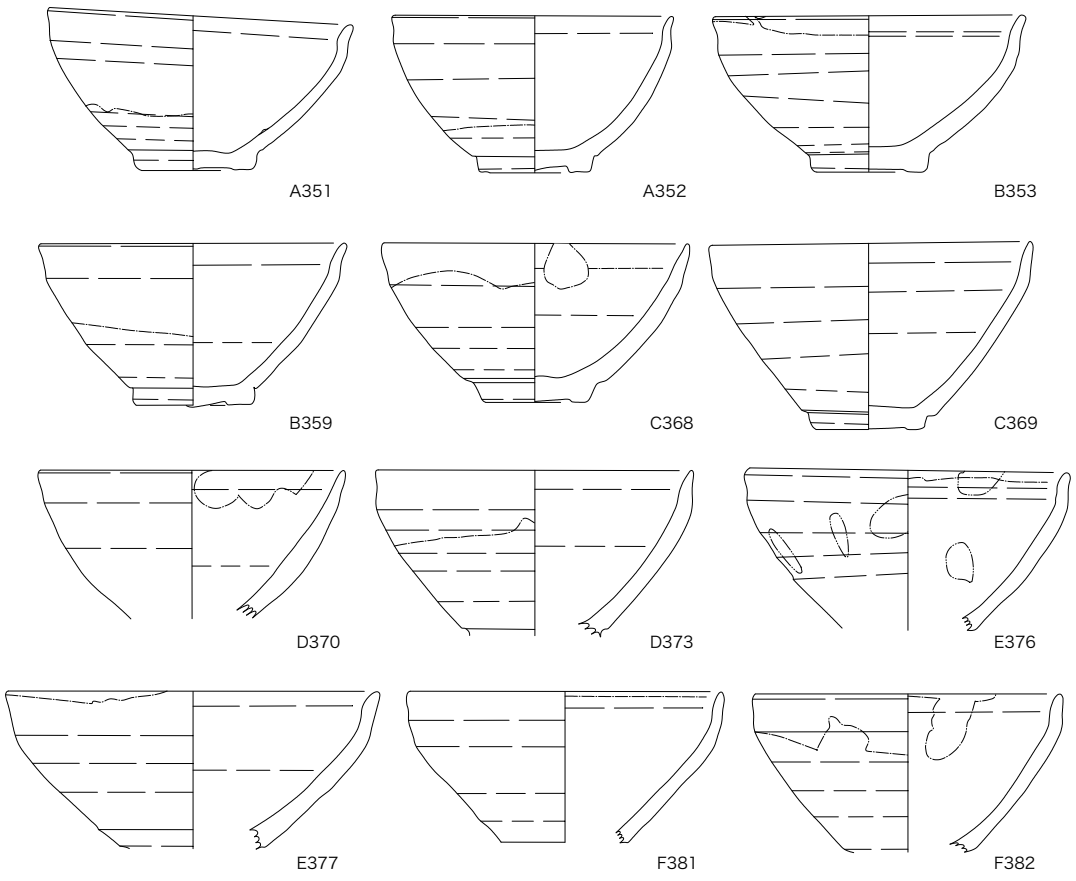
H類（319～340）14漆器の碗の写しとも思えるような腰部に段をもつ段付き天目茶碗である。高台周辺は鉄釉の化粧掛けが施されているのがほとんどであるが、僅かではあるが露胎のもの（319．321．322）も３点ある。段部は釉溜まりとなり、段がかくれてしまったものが多い。段より下の腰部の削りが細かいものが丸みを帯びている。段付き天目はわずかに47点出土したのみで個体数では口縁２、93個体、底部10、65個体となる。

２．灰釉天目茶碗（第42図～第44図／図18～20：351～442／図版41～43）

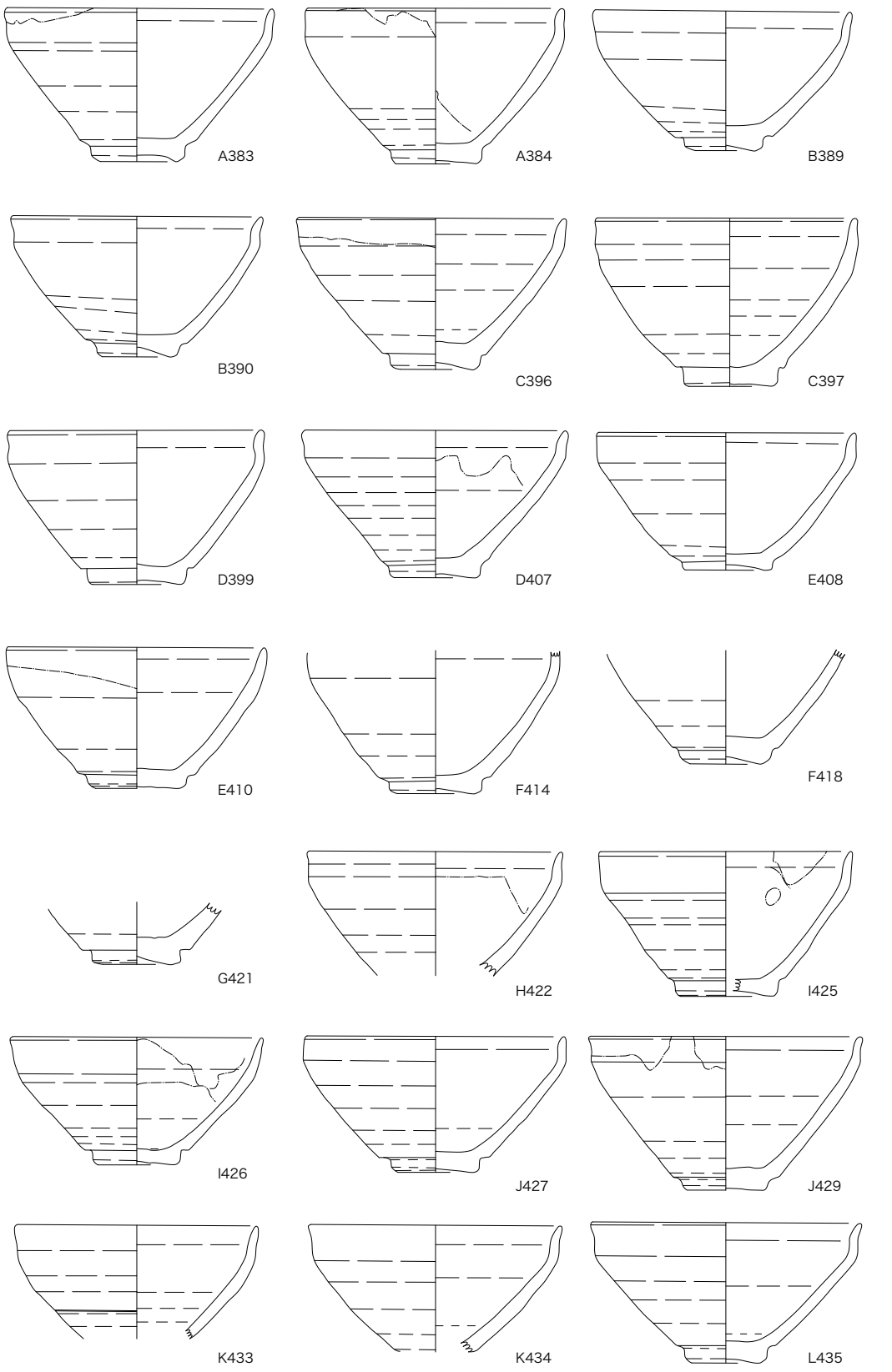
天目茶碗と同様な形態で釉が灰釉である。高台の形状によって大きく二つに分類し、さらに全体あるいは口縁や高台の器形・形状によってそれぞれを小分類した。破片数1776点出土。

Ⅰ類は削り出し輪高台（351～369）で、内外面に濃緑色の灰釉が施釉され高台周辺が露胎のもの（351．352．355．358～366）と緋色が顕著な内面露胎で高台を含め外面全体に濃緑色や黄色を帯びた緑色の灰釉が施釉されたもの（353．354．356．357．367～369）がある。

Ⅱ類は内反り高台（383～427．429．435．441．442）で、緋色が顕著な内面露胎で高台を含め外面全体に濃緑色や黄色味を帯びた緑色の灰釉が施釉され、その多くが白濁し白くなった釉調が多い。



第 42 図　灰釉天目茶碗ⅠA～ⅠF類実測図



第 43 図　灰釉天目茶碗ⅡA～ⅡL 類実測図

緋色が顕著な内面露胎の製品は総じて白濁気味で剥落部分が多く、腰部の削りが上方の、口縁のくぼみ直下付近まで見られる。一部に錆釉を化粧掛け後、灰釉を刷毛塗りしたもの（387．404．409）も見られる。

釉の流れ具合を観察すると高台から口縁に向かって流れている、口縁周辺が露胎、高台脇の深い削りの部分までも釉が厚く施釉される、などから施釉は外側を釉に浸け掛けあるいは刷毛塗りを施し、逆さにして、口縁を下にして焼いたものと推測されるが、一部に内面露胎部分に降灰、灰釉や鉄釉が流れることから、口縁を上にした普通の状態のものもあったようである。

Ⅰ類をさらに６分類（第42図）した。

ⅠＡ類（351，352）やや丸みを帯びた体部と、内面口唇部が平らで、口縁はくびれて外反気味で端部はやや尖っている。高台脇の削りが深い。高台周辺は露胎。灰釉は白濁し剥落気味である。

ⅠＢ類（353～366）やや丸みを帯びた体部と、直線的に立ち上がり、口縁端部が丸みを帯びる。口縁下のくびれはＡ類より広くなる。高台脇の削りも浅い。濃緑色の灰釉で高台周辺が露胎のもの（355．358～366）と緋色が顕著な内面露胎で高台を含め外面全体が施釉されたもの（353．354．356．357）がある。高台幅が2.5㎝～3.5㎝と細い高台のもの（364）、高台に粘土ピンが1.6㎝×1.3㎝、 1.5㎝×1.2㎝、 1.5㎝×1.5㎝の３点付着したもの（364）などがある。

ⅠＣ類（367～369）体部が丸みを帯び、直線的に立ち上がった口縁端部が尖っている。全体に大振りとなる。外面全体は白濁化し剥落している。内面に降灰（368）、高台の削りが浅く糸切り痕がほぼ全体に残ったもの（369）がある。

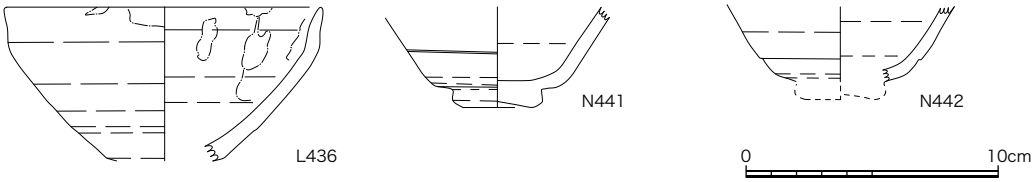
高台が欠損しておりＤ類、Ｅ類、Ｆ類はⅠ類Ⅱ類の区別が難しいが口縁の形状などでⅠ類に分類したが、あるいはⅡ類にはいるものかもしれない。

ⅠＤ類（370～375）体部が直線的に立ち上がり、口縁端部が尖り全体に大振りで器厚が厚く、口縁下のくびれが少なく、口縁直下内面の稜線が口縁に近い。灰釉が白く白濁化し剥落部分が多く、飴色の鉄釉（370）の可能性のあるものや口縁端部に釉溜まりがあり逆さに置いたと思われるもの（374）がある。

ⅠＥ類（376～379）体部が直線的に立ち上がり、口縁端部はやや丸みを帯びる。口縁直下内面の稜線が口縁に近い。

ⅠＦ類（380～382）やや丸みを帯びた体部と外反気味で尖った口縁で口縁直下内面の稜線も顕著でＤ類に近いが、器厚が薄く全体に轆轤の引き上げが強い。

Ⅱ類をさらに10分類（第43図、第44図）した。



第 44 図　灰釉天目茶碗ⅡＬ・ⅡＮ類実測図

ⅡA類（383～387）口縁は外反気味で、腰部は直線的に引き上げられ、口縁直下の稜線が顕著で口縁端に近く、端部は尖っている。器厚は薄い。錆釉を化粧掛け後灰釉を施釉したもの（387）は口縁が内湾し、高台脇の削りも水平で角がしっかりしている。

ⅡB類（388～393）直線的な体部で端部は尖り外反した口縁で、高台径が小さく、器厚が厚くなる。

ⅡC類（394～398）体部が直線的に立ち上がり、口縁端部がやや丸みを帯びる。高台の一部に糸切り痕が残るもの（396）がある。

ⅡD類（399～407）体部が直線的に立ち上がり口縁が内湾し、端部は丸い。錆釉の化粧掛け後施釉したもの（404）や内面の口縁に鉄釉の指痕が見られるもの（407）がある。

ⅡE類（408～413）体部が直線的に立ち上がり口縁は外反気味で、口縁直下の稜線は口縁端に近く、端部は尖っている。器厚は厚い。

ⅡF類（414～420）口縁が欠損したものばかりで全体が不明であるが、内反の削りが深く、高台径も小さい。

ⅡG類（421）内反りの削りが深く、高台脇の削りも水平で、器厚も厚い。内底面に滴となった鉄釉が付着している。

ⅡH類（422）体部が直線的に立ち上がり、口縁は外反し口唇部が尖っている。内面に飴色の鉄釉が流れ、口縁内側のくぼみに釉が溜まっている。

ⅡI類（423～426）体部が直線的に立ち上がり、口縁は外反し口唇部はやや丸みを帯びる。内面に茶色の鉄釉が点々と付着（423）している。

ⅡJ類（427～432）口縁が外反気味で口唇部は尖っている。内面に降灰（427）や鉄釉の指痕（432）が見られる。

ⅡK類（433，434）口縁部がやや外反し口唇部は尖り、内側の稜線が少し下る。器厚も薄くなる。

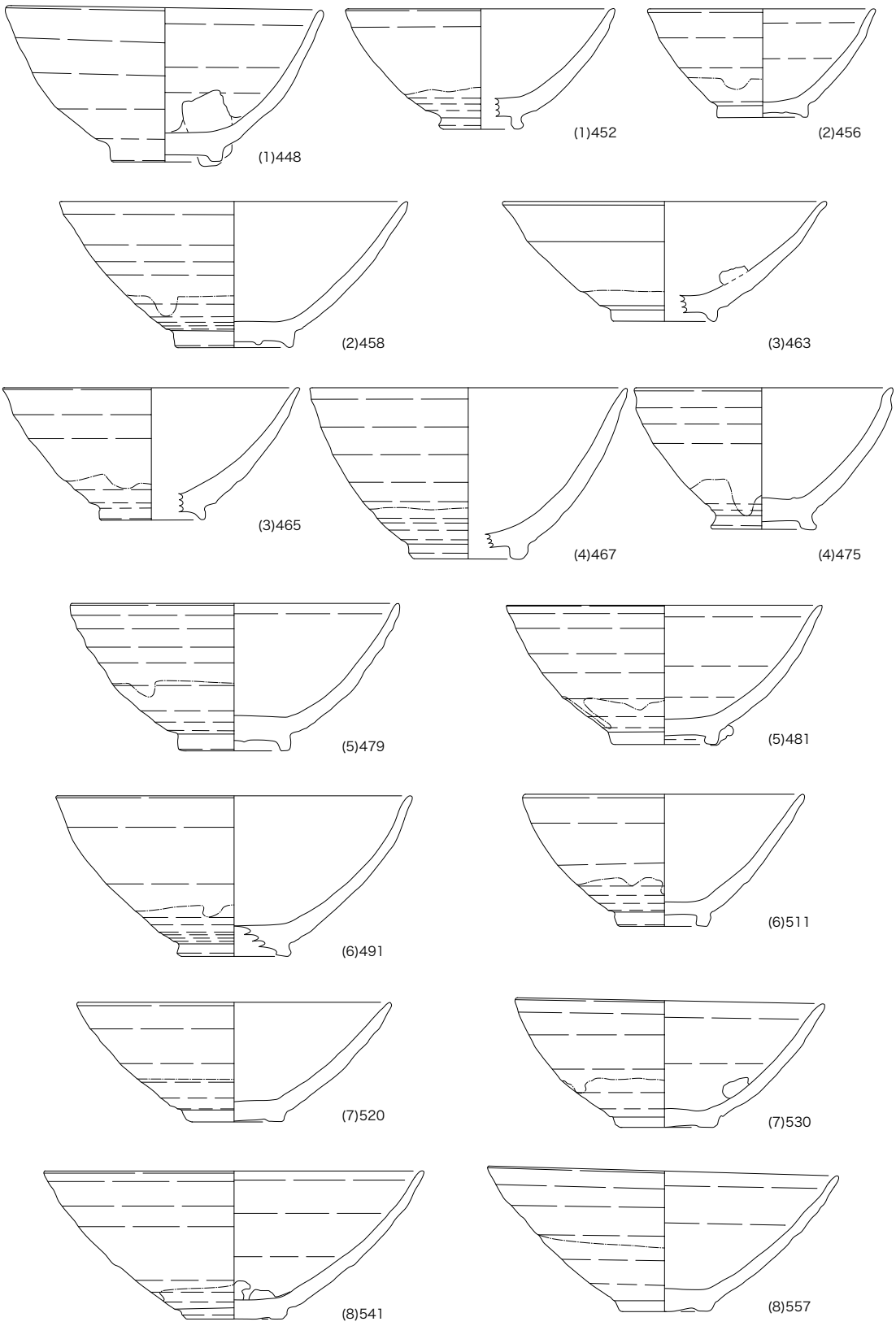
ⅡL類（435～440）口縁部がやや内湾気味となり、全体的に小振りとなる。

ⅡN類（441，442）漆器の碗の写しと思えるような、腰部に丸みをもつもので、段のあるもの（442）もある。

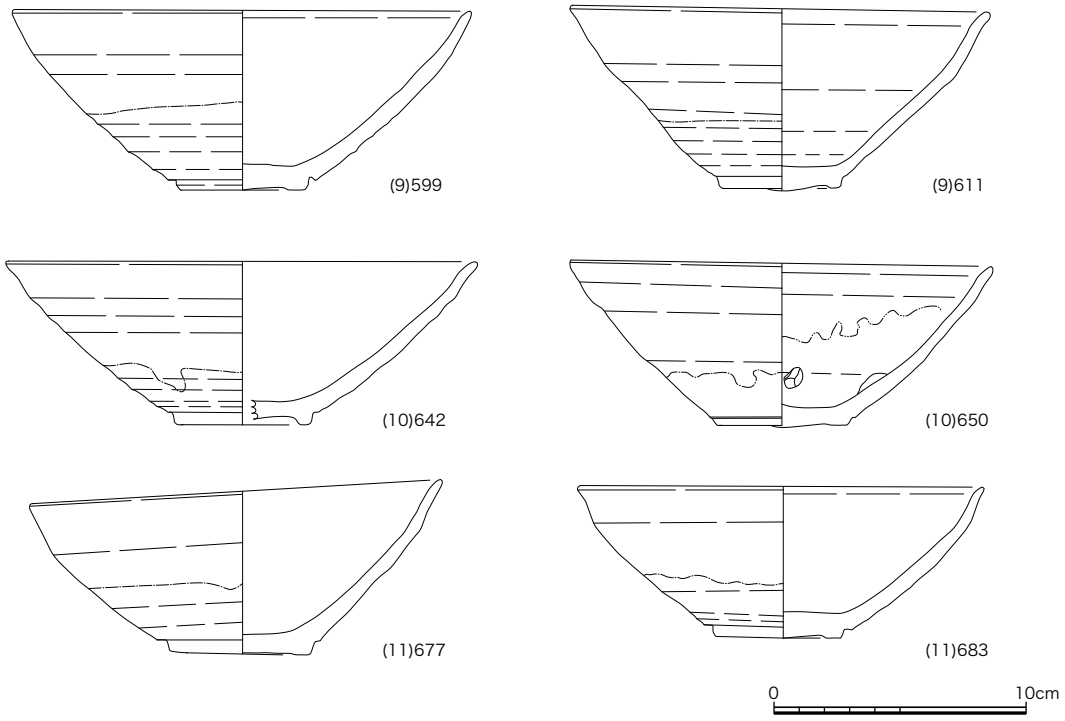
3．平碗（第45図．第46図／図21～30：443～692／図版43～45）

付け高台（443～514）と削り出し輪高台（515～692）があり、付け高台には底裏に糸切り痕がそのまま残っている。出土器種のなかでは一番多く182,938点出土、点数では全体の28.9％を占める。付け高台の平碗の法量は口径17.6㎝～10.8㎝、高台径6.3㎝～4.1㎝を測る。破片数は1,782点出土。削り出し高台の平碗の法量は口径18.8㎝～13.2㎝、高台径６㎝～3.9㎝を測る。破片数は79,205点出土。削り出し高台のなかに46点ではあるが蛇の目高台も見られた。体部は直線的に開き口縁部へ、体部下半は回転篦削り調整が行われる。高台周辺は露体であるが一部鉄釉の化粧掛けを施すものもある。内面の見込み周辺には重ね焼き用のトチ痕が４箇所認められ、トチは小石の場合が多い。釉調は深みのある光沢を有し淡緑色を呈する。

全体、口縁、高台の器形・形状によって11分類（第45図．第46図）した．



第 45 図　平碗 1〜8 類実測図



第 46 図　平碗 9〜11 類実測図

1 類（443〜454）体部は直線的立ち上がり、内底面の見込み部分は平らなものが多く、小振りのもの（451〜454）もある。腰部には丁寧な細かい篦削り調整が施され、角のしっかりした高台が付いている。

2 類（455〜462）体部は直線的に立ち上がり、内底面も平らであるが、高台幅が狭く、高台内側がくぼみ三日月状を呈し、高台角が丸みを帯びる。小振りのもの（456）もある。腰部の篦削り調整は細かい。

3 類（463〜466）体部は直線的に立ち上がり、腰部の器厚が厚い。高台幅は狭く、高台端部がやや尖っている。腰部の篦削り調整は細かい。

4 類（467〜475）体部は直線的に立ち上がり、口縁端部は尖っている。底部の器厚が厚く、高台は角のしっかりしたやや幅広の高台である。小振りのもの（474. 475）があり、口縁端部が外反したもの（475）もある。腰部の篦削り調整は細かく、内底面の見込みから立ち上がる部分が丸みをおびたもの（467. 468）もある。

5 類（476〜490）体部は直線的に立ち上がり、口縁端部は尖っている。器厚はほぼ一定化する。腰部の篦削り調整は細かい。高台はやや開きぎみとなる。底部の器厚が1.2㎝を測る厚いもの（479）もある。

6 類（491〜514）体部は直線的に立ち上がり、器厚はほぼ一定化し、口縁端部がやや丸みを帯びる。高台は開き気味で、腰部の篦削り調整は細かい。

7 類（515〜538）体部は直線的に立ち上がり、口縁端部は尖っている。器厚はほぼ一定化し細く薄く感じられ、高台脇の削りが見られるようになる。

8 類（539〜598）体部は直線的に立ち上がり、内面口唇部の稜線が明瞭になり、口縁が外反気味となる。高台周辺が削り込まれ底部外面の削りが浅く、底部中心外面が高台と同じ高さになったものも見られ高台脇の削り幅も 1 ㎜と浅い。

9類（599～641）体部は直線的に立ち上がり、内面口唇部の稜線幅が狭くなり、口縁がやや外反気味となる。高台まわりのみ削り込まれ底部外面の削りが浅く、底部中心外面が高台より高い、逆円錐上になったものが見られるようになる。高台脇の削り幅も1㎜以上のものも見られる。

10類（642～664）体部は直線的に立ち上がり、内面口唇部の稜線は明瞭、口縁が外反し端部が尖り気味となる。高台まわりのみ削り込まれ底部外面の削りが浅い。

11類（665～692）体部は直線的に口縁まで立ち上がり、内面口唇部の稜線も明瞭で、丸みを帯びた口縁端部はやや外反気味である。

4．浅碗（第47図／図31：693～725／図版45・46）

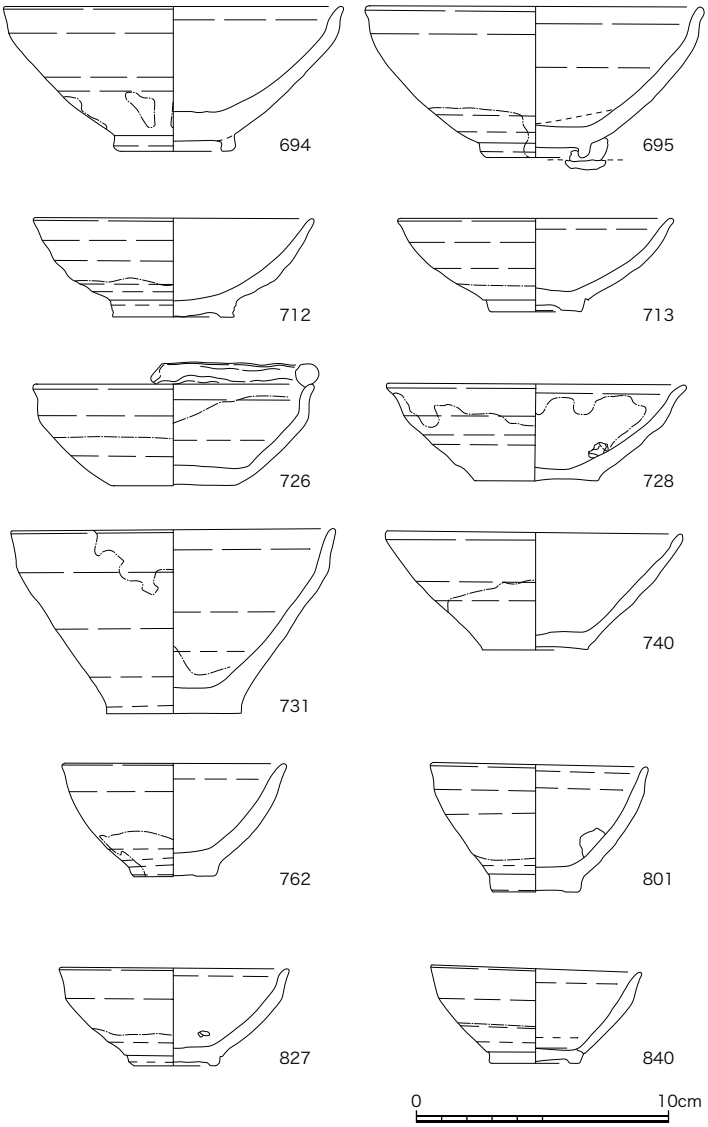
体部が丸みを帯び立ち上がり、口縁端部が外反し、付け高台の1類としたもの（693～700．706．707．720．721）と削り出し高台の2類（705．708～719．722～725）がある。2類では直線的に立ち上がる体部を持つものが多いが丸みを帯びた体部と口縁端部が外反気味の1類に近いもの（708～712）も見られる。碁笥底高台も1例（725）ある。法量は口径14.2cm～8.8cm、底径5cm～3.2cmを測る。

5．平底浅碗（第47図／図31：726～728／図版46）

浅碗の形状を呈するが高台はなく平底のものである。体部が丸みを帯びたもの（726）と直線的に立ち上がる体部をもつもの（727．728）があり、いずれも口縁端部が外反する。施釉部分が浅碗より口縁に近い部分となる。法量は口径12cm～11cm、底径5cm～3.6cmを測る。

6．平底末広碗（第47図／図32：729～760／図版46）

高台のない、糸切り痕のある底部をもち、直線的に立ち上がった体部をもつ碗で口縁部が外反気味のもの（729．731）もある。法量



第47図　浅碗、平底浅碗、平底末広碗、小天目茶碗、小碗実測図

は口径13㎝～8.6㎝、底径5.6㎝～3.7㎝、器高5.6㎝～3.7㎝であるが7.3㎝を測るもの（731）もある。

7．小天目茶碗（第47図／図33：761～810／図版47）

浅い削り出し高台で、高台脇の削りがあり、体部が丸みを帯びて立ち上がり、口縁が外反し端部は尖っている。器厚も２㎜前後と比較的薄い。体部が丸いものが大部分であるが、体部が直線的で器厚が３㎜と厚手のもの（761～765）もある。法量は口径9.6㎝～6.8㎝、底径3.8㎝～2.4㎝、器高5.2㎝～3.2㎝を測る。

8．小碗（第47図／図34：811～846／図版47）

浅い削り出し高台で体部が丸みを帯びて立ち上がり口縁は外反するもの（811～828）と体部が直線的に立ち上がったもの（829～846）で施釉は灰釉が基本あるが、鉄釉も（821．828．829．837．844）見られる。法量は口径11.1㎝～7.7㎝、底径４㎝～2.6㎝、器高5.9㎝～3.2㎝を測る。

9．縁釉小皿（第48図／図35～41：847～1256／図版48～50）

出土器種の中では２番目に多い出土で76,590点12.1％を占める。法量は口径13.6㎝～7.8㎝、底径7.6㎝～3.5㎝、器高3.9㎝～1.3㎝を測る。口縁の内外面に灰釉、鉄釉が施され、内底面は刷毛塗りと露胎とがあり、底部は平底で糸切痕が残る。３分類したが、１類（847～898）は底部より丸みを帯び立ち上がり口縁端部がやや端反気味となる。内底面は刷毛塗りが施される。２類（899～1080）は底部より直に立ち上がり口縁端部がやや端反り気味となる。内底面は刷毛塗りが施される。３類（1081～1256）は底部より直に立ち上がり、やや小振りとなり器高も浅くなる。内底面が露胎となり、灰釉のみでなく鉄釉が見られるようになる。

10．折縁小皿（第48図／図42～44：1257～1412／図版51～54）

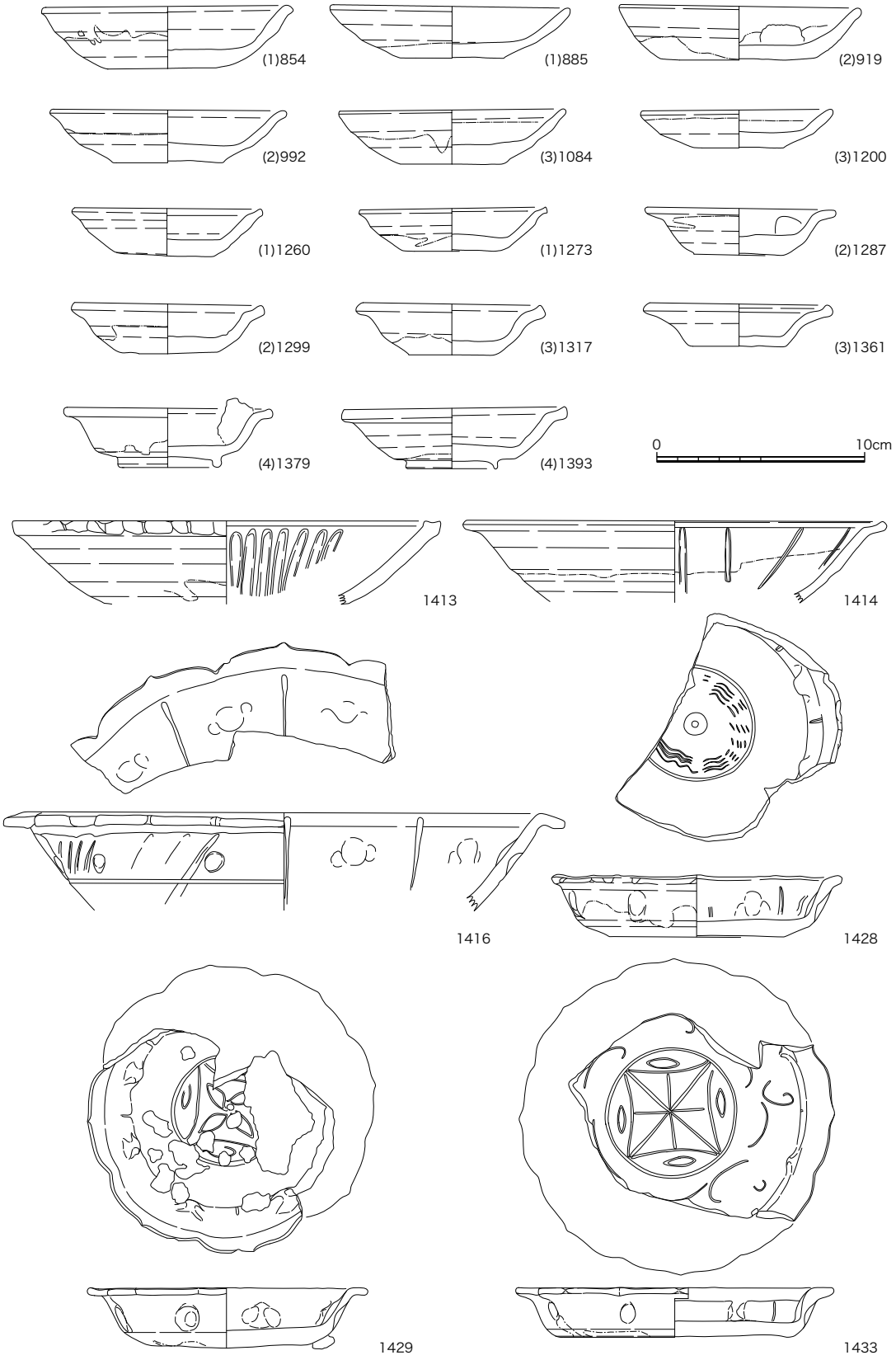
受け口状の折縁になる口縁を持った小皿で、高台のない糸切り痕が残る平底のもの（1257～1376）と高台の見られる（1377～1412）ものがあり、法量は口径10.6ｍ～5.5㎝、底径5.5㎝～2.9㎝、器高3.3㎝～1.1㎝を測る。４分類したが、高台を持たない糸切り痕が残る平底では、１類が直線的な体部に、口縁が外反気味に屈曲し口縁端部がやや尖り、折縁幅は短いもの（1257～1281）、２類が丸みを帯び立ち上がった体部と外反した口縁端部が丸みを帯びたもの（1286～1316）、３類が外反した口縁がはっきりとした折り縁となり、端部は尖ったものと丸いものが混在するもの（1317～1376）である。高台の見られる４類は付け高台で丸みを帯びて立ち上がり、外反した口縁端部は丸いものが多く折縁幅はやや長い。

11．直縁襞鉢（第48図／図45：1413）

口縁端部に篦による襞が不規則に削られ、内側面は丸ノミによる鏨文が巡っている。器厚は４㎜と厚い。

12．折縁中鉢（第48図／図45：1414，1415）

やや外反した折縁の中鉢で、内側面には数条の沈線が巡る。



第 48 図　緑釉小皿、折縁小皿、直縁甕鉢、折縁中鉢、八稜皿実測図

13. 八稜皿（カラー図版12／第48図／図45・46：1416～1438／図版55・56）

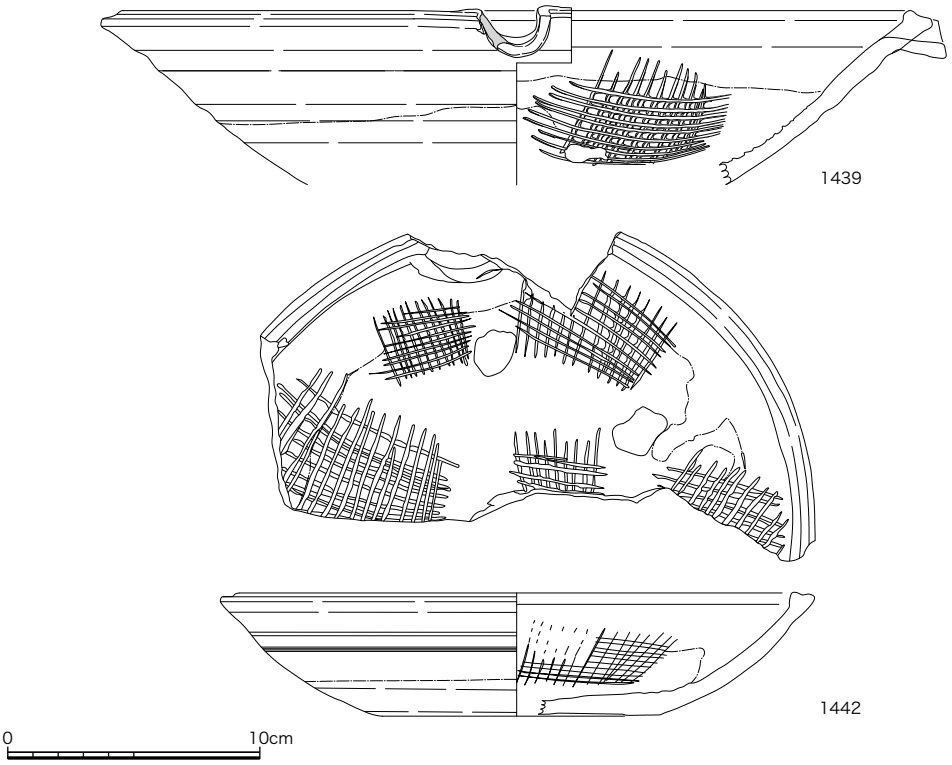
口縁部を八稜形に切り込みを入れて成形し、切り込み部の外側面から指圧が施されている。内底面中央には線彫りの七宝文や幾何学的に変化した文様が見られる。底部は篦削り整形が施されているが、大形の器種（1416. 1417）については高台端部が丸みを帯びた貼り付け高台（1417. 1418）となるようである。七宝文（1418. 1419. 1429～1432）、幾何学的に変化した文様（1433. 1434）のほかに、篦により円の中に波状を描いたもの（1428）もある。灰釉鉄彩七宝文八稜皿（1431）は七宝文の線彫りにそって鉄彩が施され、鉄彩はにじんだようなやや黒味を帯びた釉調となっている。

14. 卸目付大皿（第49図／図47：1439～1450／図版57）

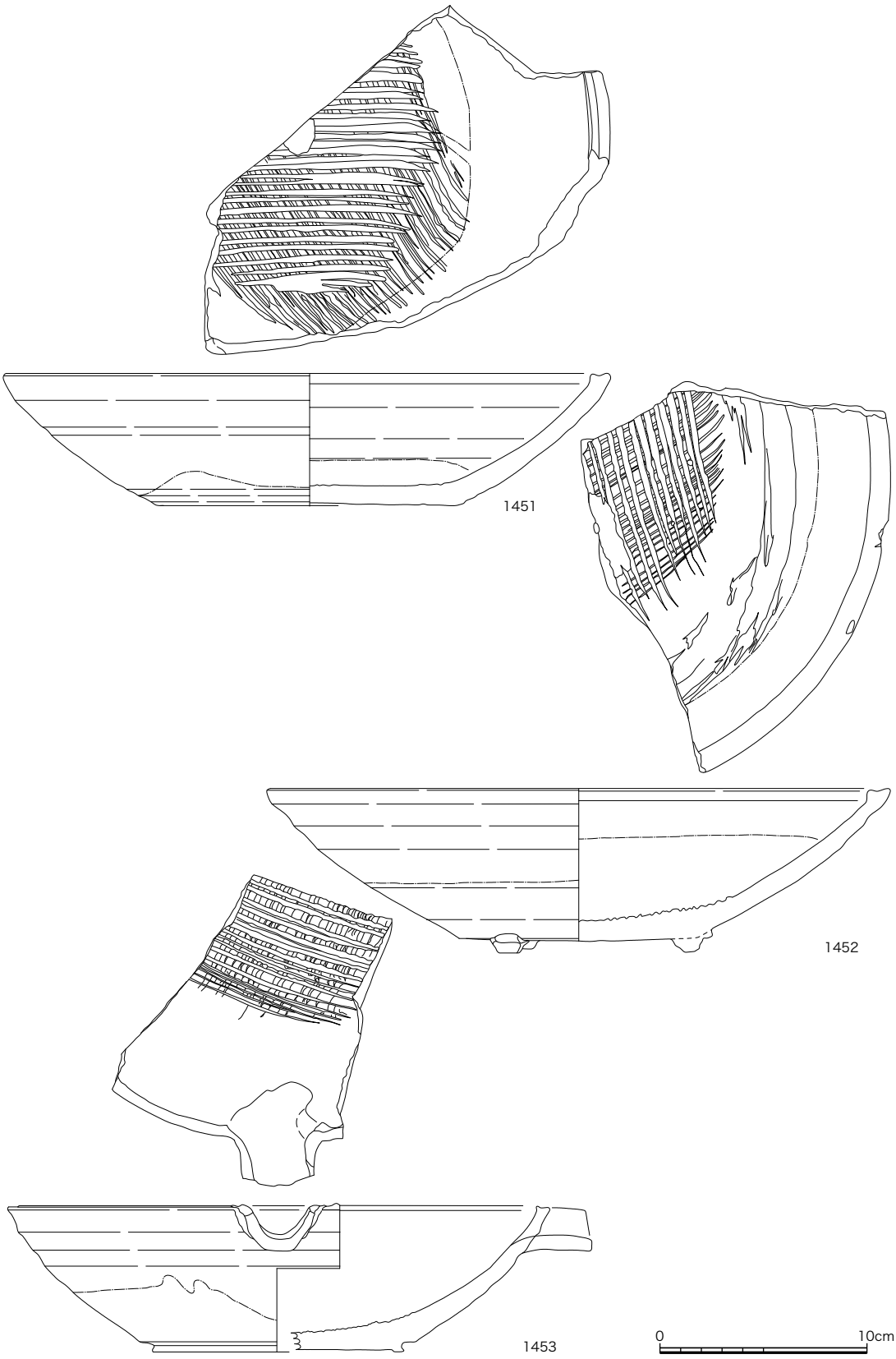
片口が付き、口縁端部の両端をつまみ出し、両端の間が窪んだ口縁で、底部は篦削り整形が施され、底部外面には三足が付くようである。卸目は内側側面に施され、内底面には卸目は施されないが、卸目のあるものも１例（1442）見られる。内底面に刷毛塗りされるもの（1447～1449）もある。法量は口径33㎝～22㎝、底径15.7㎝～11㎝を測る。

15. 卸皿（第50図. 第51図／図48～58：1451～1588／図版56～59）

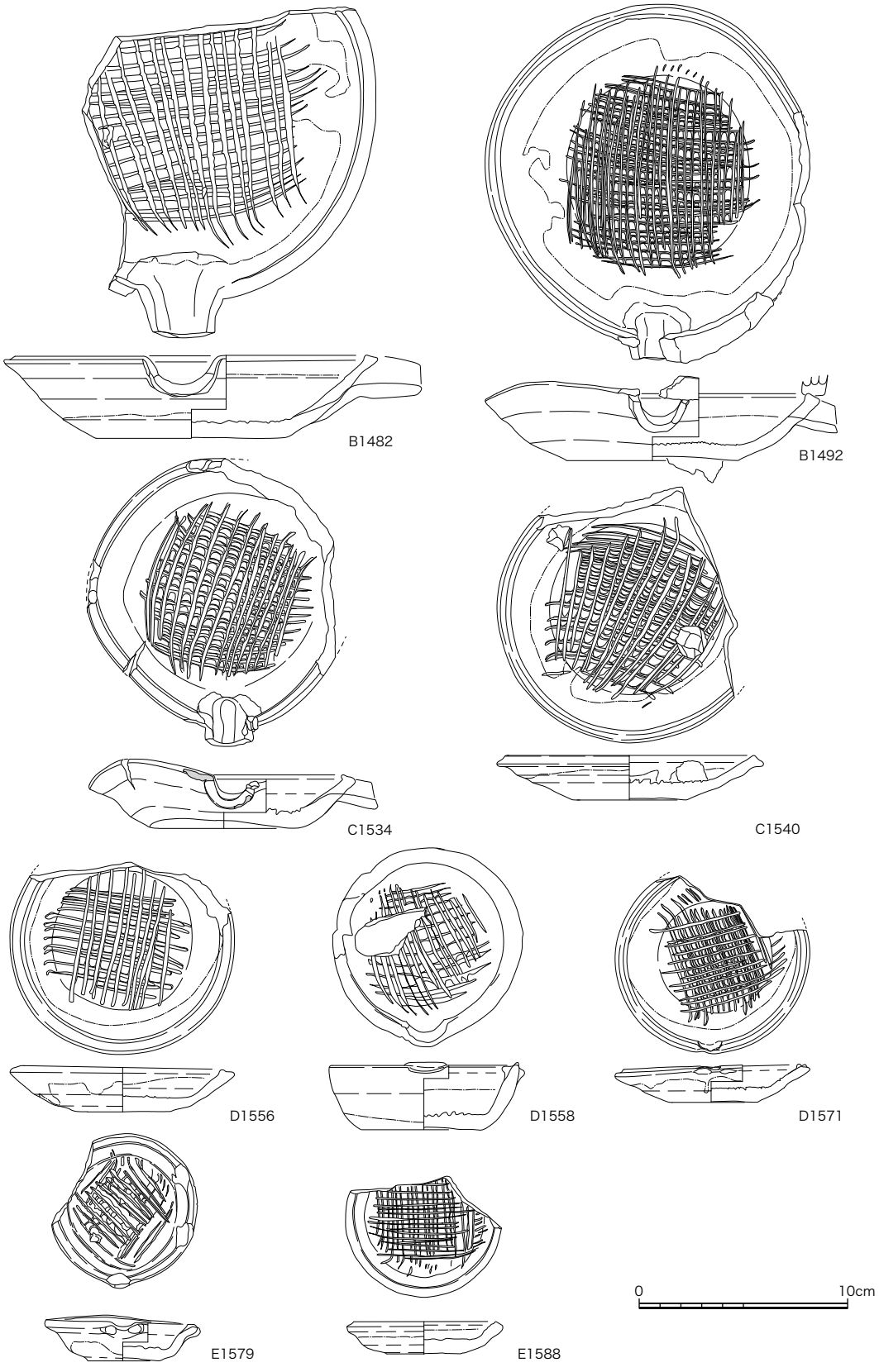
口縁端部は両端をつまみ出したものと内側に強くつまみ出したものとが見られ、口縁部の１ヶ所に片口が付いている。内面底部の平面に篦による条線を１本づつ平行に刻み、直行する方向に向きを変え、条線をまた平行に刻み、格子目条になった卸目を刻んでいる。条線の刻み方も鋭利に細く刻まれたものや太い



第 49 図　卸目付大皿実測図



第 50 図　卸皿 A 類実測図



第 51 図　卸皿 B～E 類実測図

ものがあり、刻まれた本数の中では横（旧）30条、縦（新）29条（1492）が一番多い。底部は平底であるが、高台が付いたもの（1453. 1454. 1457. 1458. 1463. 1474. 1476）や、卸目付大皿と同様に底部外則面に三足が付くもの（1456）がA類に見られる。

口縁の大きさによってA類からE類に５分類（第50図. 第51図）した。

卸皿A類（第50図／1451～1481）法量は口径29. 9㎝～17㎝、底径19. 8㎝～7. 8㎝、器高8. 2㎝～3. 4㎝を測る。口縁端部の両端をつまみ出し、両端の間が窪んだ口縁で、底部より丸みを帯びて立ち上がるものと直線的に立ち上がるものが見られ、底部は篦削り整形が施される。底部は平底だけでなく、高台と三足が見られるのはこのA類のみである。器高が8. 2㎝と高いものは三足付き（1452）のみで、他は７㎝前後が器高の高い部類となる。底部より丸みを帯びて立ち上がったものに器高の高いものが多く見られる。

卸皿B類（第51図／1482～1531）法量は口径17. 5㎝～13. 3㎝、底径9. 3㎝～6. 1㎝、器高4. 4㎝～2. 7㎝を測る。底部より直線的に立ち上がり口縁端部が内側につまみ出したものが多い。刻まれた条線も少ないもの（1487）は横（旧）18条、縦（新）15条である。片口も指で押さえた程度の浅いもの（1513. 1518. 1519）もある。底部には糸切り痕が残る。

卸皿C類（第51図／1532～1555）法量は口径13㎝～10㎝、底径7. 3㎝～4. 4㎝、器高3. 3㎝～1. 6㎝を測る。口径が小さくなるに従い、器高も低くなり卸目の条線も少なくなる。糸切り痕のある底部より直線的に立ち上がったものが多い。

卸皿D類（第51図／1556～1578）法量は口径10. 1㎝～7. 6㎝、底径6. 7㎝～3. 6㎝、器高3. 1㎝～1. 7㎝を測る。底部からの立ち上がりが急角度となった小鉢の形状のもの（1558～1560）や口縁が折縁となったもの（1575）も見られる。底部には糸切り痕が残る。

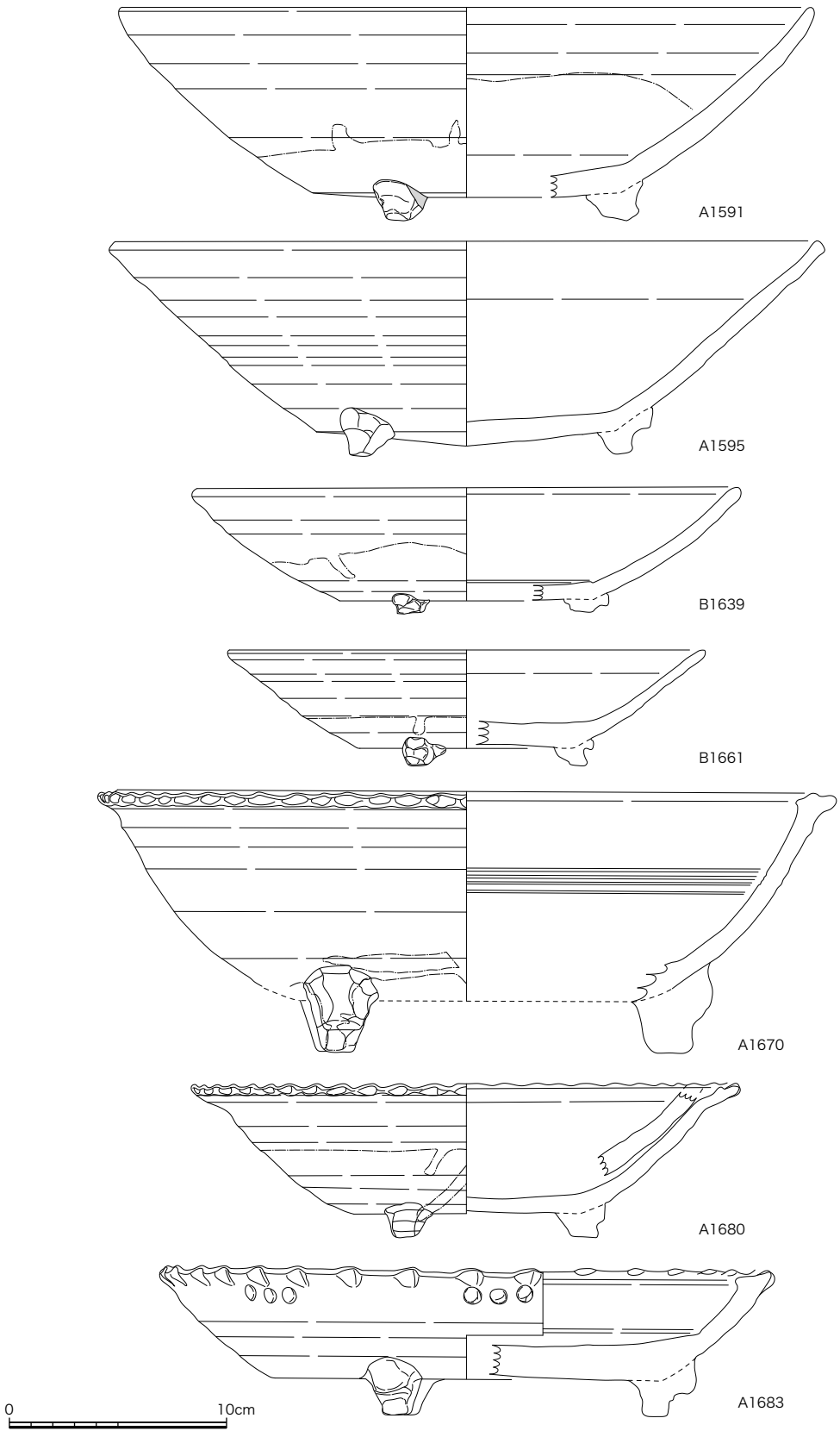
卸皿E類（第51図／1579～1588）法量は口径7. 8㎝～６㎝、底径４㎝～2. 9㎝、器高2. 2㎝～1. 5㎝を測る。口縁が折縁となったものが多く見られる。底部には糸切り痕が残る。

16. 直縁大皿（第52図／図59～66：1589～1668／図版59・60）

口縁端部が角張ったものと丸みを帯びたものがあり、角張ったものの外側面は轆轤目が多く残る。平底の底部より直線的に立ち上がり、やや深めに立ち上がるものも見られる。底部から腰部にかけて篦削り整形が施され、底部外面には三足がつく。口径の大きさでA類とB類とした。

直縁大皿A類（第52図／1589～1637）法量は口径41. 8㎝～32㎝、底径18. 4㎝～10. 8㎝、器高14. 5㎝～5. 6㎝を測る。平底の底部より直線的に立ち上がり、やや深めに立ち上がるもの（1589～1600）も見られる。法量の最大のもの（1594）の底部は碁笥底となる唯一の例である。底部内面の腰部に一条の沈線が巡ったもの（1590. 1610. 1633. 1637）や、段状になったもの（1594. 1617）が見られる。

直縁大皿B類（第52図／1638～1668）法量は口径27. 6㎝～16. 9㎝、底径14. 6㎝～７㎝、器高7. 2㎝～3. 4㎝を測る。平底の底部より直線的に立ち上がり、やや深めのもの（1644～1649. 1656～1659）も見られ、底部内面の腰部に１条の沈線が巡ったもの（1639. 1640. 1646. 1648. 1649. 1657. 1667）が比較的多く見られる。胴部上半部外面に４条（1660）と５条（1665）の沈線が巡るものも見られる。

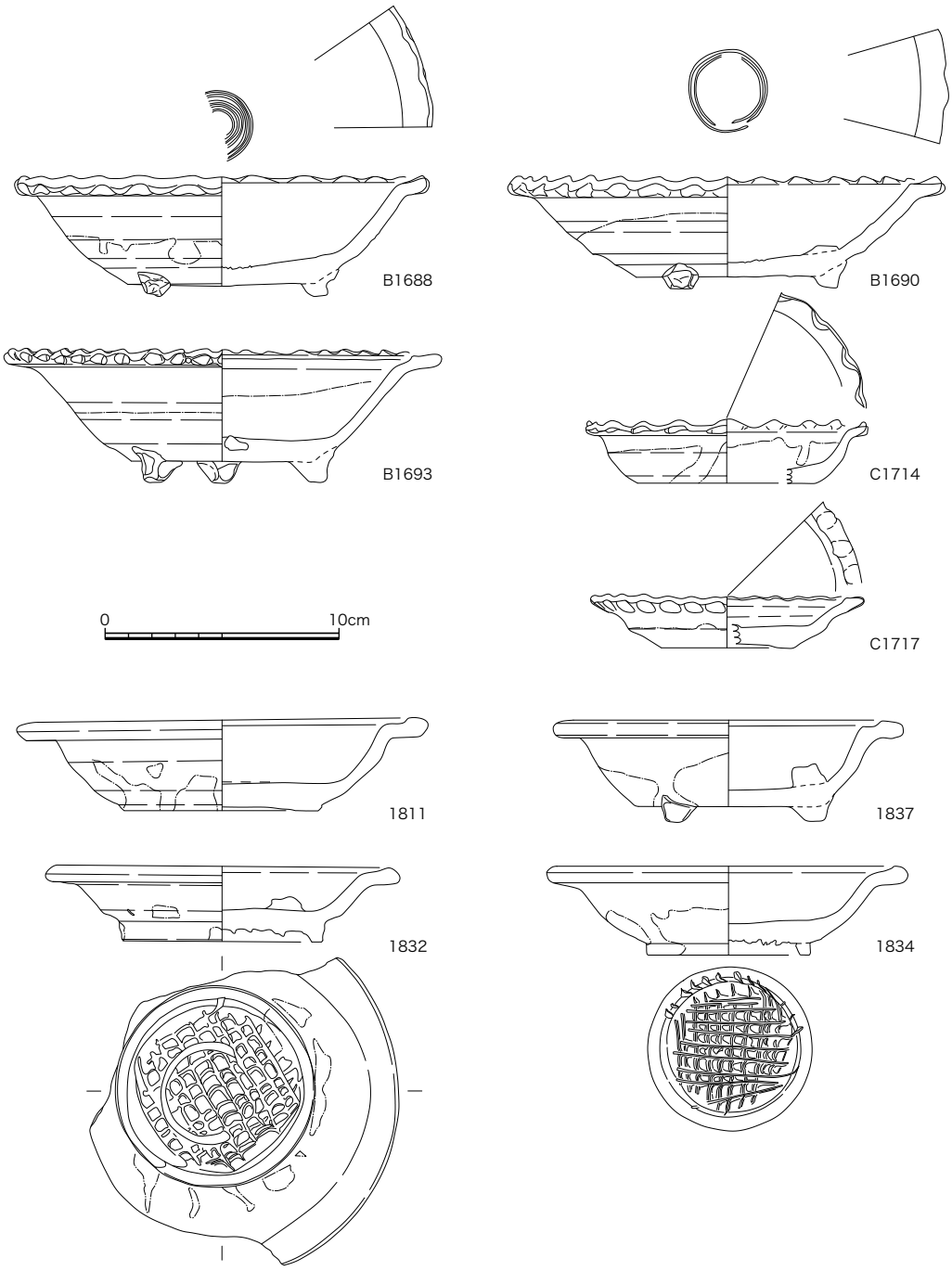


第 52 図　直縁大皿 A・B 類、折縁襞皿 A 類実測図

17. 折縁襞皿（第52図．第53図／図67～69：1669～1717／図版60・61）

口縁部が折縁で端部を輪花状に襞を摘んだもので、底部より直線的に立ち上がり、底部から腰部にかけて篦削り整形が施され、平底の底部外面には高台が付いているのに三足が付いたもの（1676．1677．1709～1713）も見られる。口径の大きさでＡ類Ｂ類Ｃ類に３分類した。

折縁襞皿Ａ類（第52図／1669～1683）法量は口径36㎝～22㎝、底径18㎝～9.1㎝、器高8.8㎝～５㎝を測



第 53 図　折縁襞皿Ｂ・Ｃ類、折縁中皿、底卸目皿実測図

る。平底の底部より直線的に立ち上がるが、やや丸みを帯びて立ち上がった深めのもの（1670～1672. 1676. 1677）があり、内側面には、４条（1670）５条（1671）の沈線が巡る。櫛目による茎と葉の草花文が描かれたもの（1676）や、外側面に２条の沈線の巡るもの（1678）が見られる。円形の粘土を３点貼り付け１組として口縁下を巡った擂座のもの（1683）は器厚が厚く、襞の間隔もまばらで盤状を呈する。

折縁襞皿Ｂ類（第53図／1684～1713, 1718）法量は口径21.5cm～13.2cm、底径11.7cm～５cm、器高6.4cm～3.5cmを測る。内底面に沈線による捲線のあるもの（1687. 1688. 1689. 1690）、内側面に沈線による文様が描かれたもの（1691）、七宝文に似た文様が内面底部に描かれたもの（1697. 1698）、円形の粘土を３点貼り付けこれを１組とした擂座のもの（1718）などが見られる。外面底部には三足が付くものが多いが、高台の付くもの（1709～1713）も見られる。

折縁襞皿Ｃ類（第53図／1714～1717）法量は口径11.7cm～11.3cm、底径7.5cm～5.6cm、器高2.7cm～2.2cmを測る。器高が2.7cm以下と低く底部から腰部にかけて篦削り整形が見られる。

18. 折縁直縁皿（図70・71：1719～1730, 1739, 1740／図版61）

内底面、見込み部分に特徴的な文様のあるもので、折縁か直縁になるのかは不明である。波間に泳ぐ横位置からの魚文（1719）、菊花文（1724）、３条の沈線による同心円文（1721）、櫛目波状文（1725）、草葉文（1739. 1740）など、大形のものには三足が付くが、高台付き（1720. 1721）や碁笥底の底部となったもの（1728～1730）なども見られる。

19. 折縁深皿（第54図. 第55図／図71～79：1731～1738, 1741～1803／図版61～63）

受口状口縁の折縁で底部より直線状に立ち上がるものとやや丸みを帯びて立ち上がったものが見られ、一部に文様のあるものⅠ類も見られる。文様のないものⅡ類を口径や器高によりＡ類、Ｂ類、Ｃ類とした。平底の外面底部に三足が付くものが基本であるが削り出し高台（1795）も見られる。

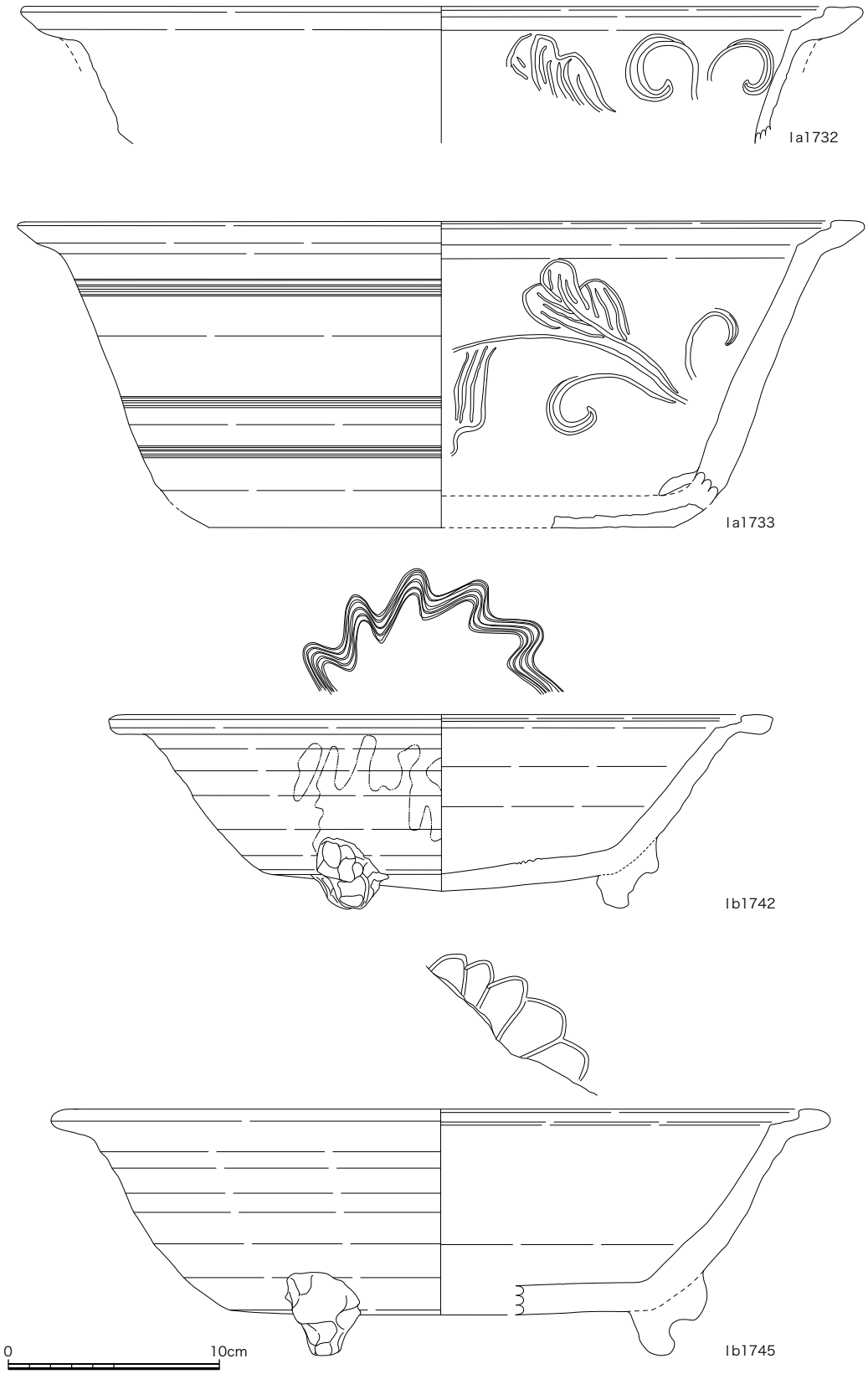
文様のあるⅠ類で、牡丹文の一群をⅠａ類、櫛目文と菊花文をⅠｂ類とした。

折縁深皿Ⅰａ類（第54図／1731～1738）内面に文様のあるもので、底部より直線的に立ち上がった器高14.4cmを測る一番大形の深皿（1733）で、外側面には口縁直下に４条、胴部下に３条、４条の沈線が巡り、内側面には草葉文が描かれている。内底面（1734）や内側面（1727）に牡丹文があり、草葉文は牡丹の葉と見て牡丹文の一群とした。

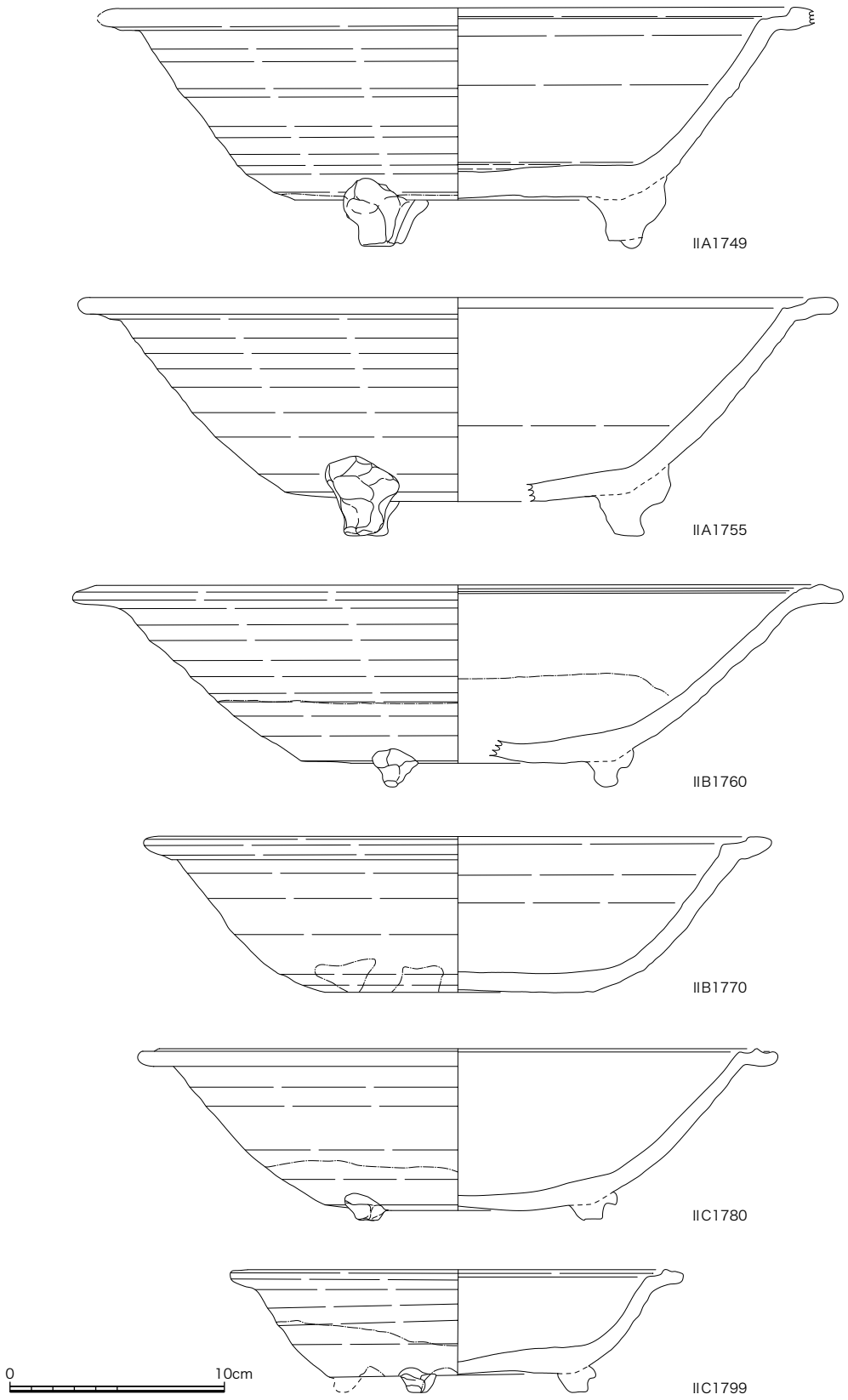
折縁深皿Ⅰｂ類（第54図／1741～1746）内面に文様のあるもので、内面に櫛目文と菊花文の文様が見られ、底部には三足が付く。櫛目波状文が内側面（1741. 1743. 1744）と内底面（1742. 1744）に、菊花文は内底面（1745. 1746）に見られる。

文様のないⅡ類で、Ａ類、Ｂ類、Ｃ類のそれぞれに、器高の高い（深い）ものと低い（浅い）ものとが見られた。

折縁深皿ⅡＡ類（第55図／1747～1758）法量は口径50.6cm～32.8cm、底径27.6cm～14.8cm、三足からではなく皿の底部からの器高が10cm～９cmを測る。一番大形のもの（1747）は11cmと器高が高く、推定ではあるが口径50.6cm、底径27.6cmを測る。口径は35cm前後からそれ以上の大きな口径のものである。口縁が受口状の折縁で、底部より直線状に立ち上がった大形のもの（1747～1751）と底部よりやや丸みを帯びて



第 54 図　折縁深皿Ⅰa・Ⅰb類実測図



第 55 図　折縁深皿ⅡA～ⅡC 類実測図

立ち上がった大形のもの（1752～1758）が見られる。

折縁深皿ⅡB類（第55図／1759～1774）法量は口径37.8cm～29cm、底径19.1cm～12cm、三足からではなく皿の底部からの器高が7.8cm～5.8cmを測り、７cmの器高のものが多くみられる。受口状の折縁で、底部より直線状に立ち上がったもの（1759～1762．1764～1766．1768．1771～1774）と底部よりやや丸みを帯びて立ち上がったもの（1763．1767．1769．1770）が見られる。

折縁深皿ⅡC類（第55図／1775～1802）法量は口径31cm～21cm、底径17.6cm～8.6cm、皿の底部からの器高が9.6cm～５cmを測る。内側面に草葉文のあるもの（1788）と丸鑿による上下の沈線が巡るもの（1795）が見られる。但し、口縁の形状が受口状の折縁とは違い、折縁（1795）である。

20．折縁中皿（第53図／図79・80：1803～1831，1835～1841／図版63・64）

受口状口縁の折縁で底部より直線状に立ち上がるものとやや丸みを帯びて立ち上がるものとが見られ、基本的には平底であるが、底部に三足が付くもの（1835～1841）も見られる。法量は口径20cm～13.1cm、底径10.8cm～5.6cm、器高5.1cm～2.6cmを測る。

21．底卸目皿（第53図／図80：1832～1834，1842～1848）

底部外面の高台内に卸目が施されたもので、出土点数は少なく75点である。口縁が折縁で折縁中皿とした３点（1829～1831）は底部が欠損し不明ではあるが、底卸目皿の口縁の形状に似ている。法量は口径17.2cm～13.1cm、底径8.6cm～5.6cm、器高5.1cm～3.2cmを測る。

22．中鉢（カラー図版11／第56図／図81～83：1849～1920／図版64・65）

直縁の口縁で高台の付いたもので、高台より丸みを帯びて立ち上がるものと高台より直線的に立ち上がるものが見られる。法量は口径19.9cm～7.2cm、底径11.4cm～3.6cmを測る。

平底（1849．1915）や三足（1850．1851．1873．1911．1913）の付くものは直縁中皿、折縁中皿に近い形状であるが口径、器高ともに小さく低い。口縁端部も端反気味のもの（1879～1881．1883～1892）も見られる。文様は内面底部がほとんどであるが、外側面に篦による草葉文が描かれたもの（1852～1854）もある。写実的な馬を描いたもの（1849）は、口縁が欠損し、直縁か折縁か不明である。櫛描きの同心円文（1850．1856．1911．1913．1914）や櫛描き同心円文の中に、櫛描き波状文を円形に施したもの（1858．1859～1861．1866．1867）、同心円の外に櫛描き波状文が巡るもの（1862．1863）、櫛描き波状文のもの（1857．1865）、１条の沈線による同心円文（1911）、１条の沈線による同心円の中に菊花の印花が施されたもの（1915）等が見られる。

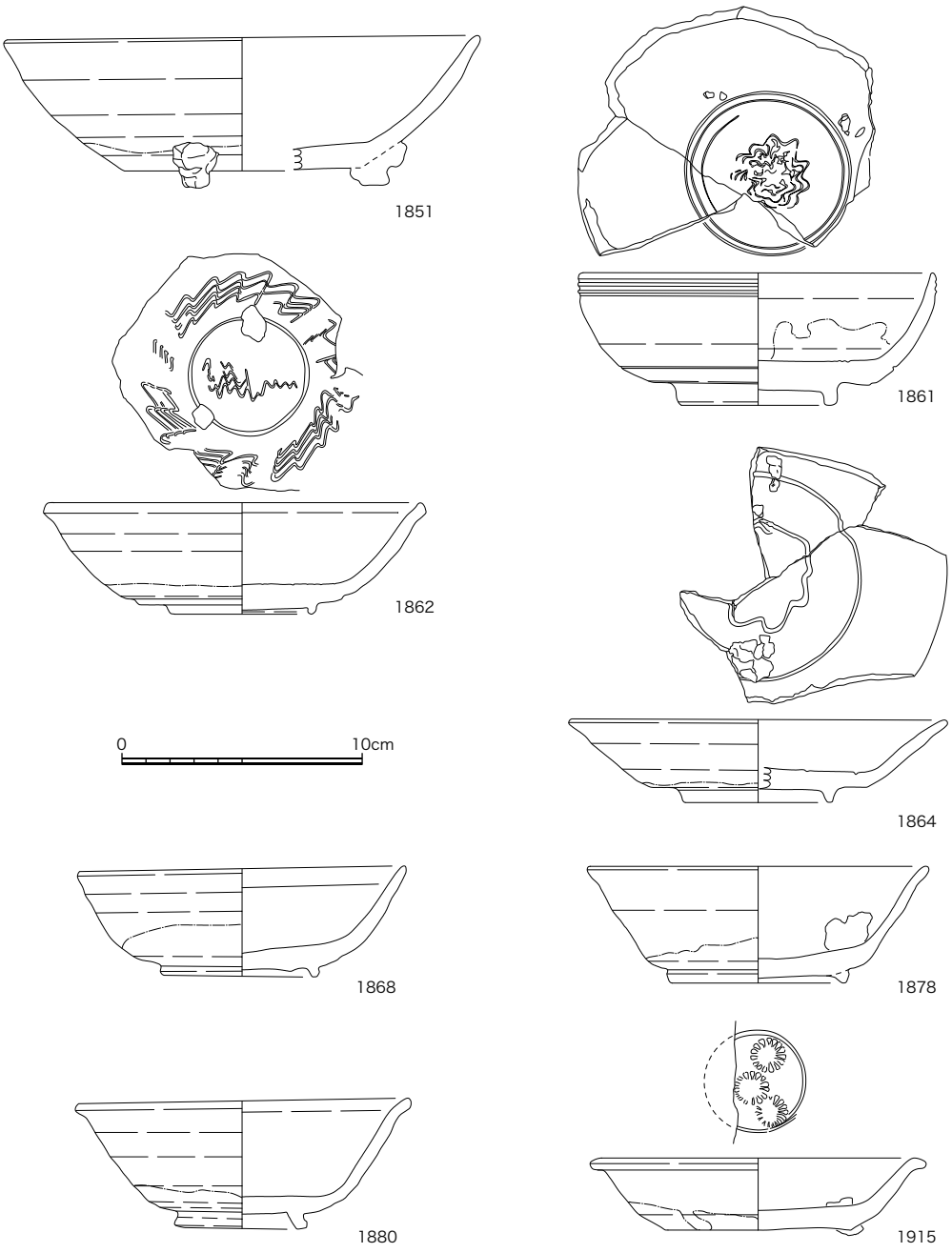
23．小鉢（第57図／図84～90：1921～2264／図版65～67）

体部下半に丸みを持って立ち上がり、口縁がやや外反気味のものと、高台脇体部下半に角を持ち直線的に立ち上がったものが見られ、底部は貼り付け高台、削り出し高台の高台の有るものと高台の無い平底や、碁笥底が見られる。器形を小鉢としたが、皿形か鉢形か杯形か等、不明瞭なものもこの中に含めた。

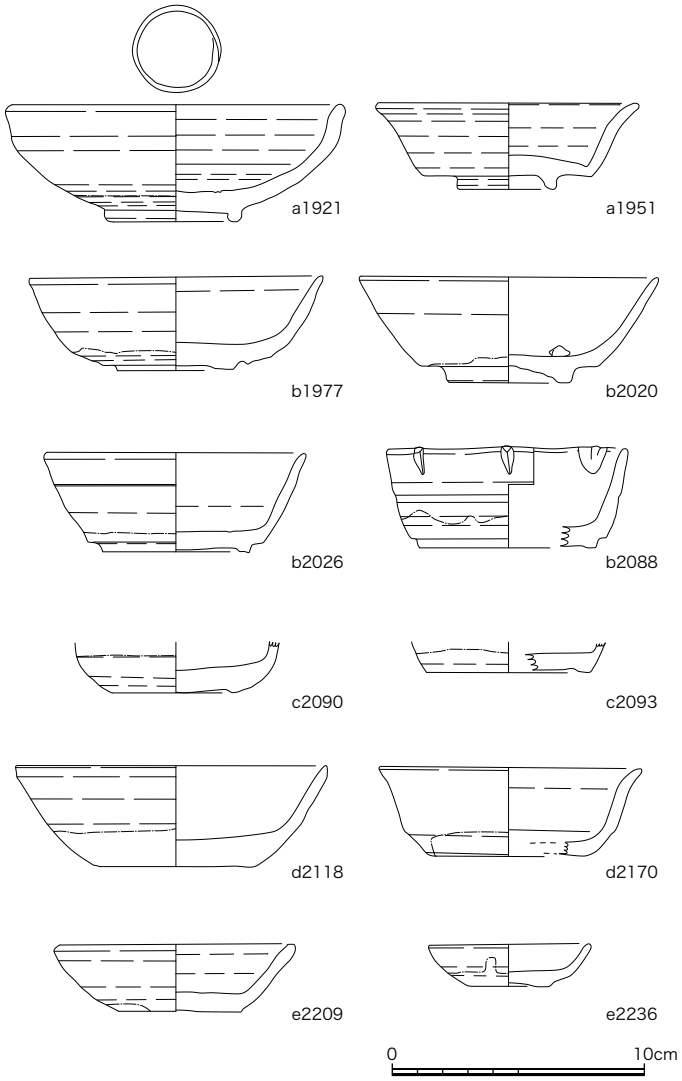
a類からe類に５分類した。

小鉢a類（第57図／1921～1967，1969～1976，2074，2075，2195～2206）は付け高台である。体部下半が丸みを持って立ち上がったもの（1921～1931）と体部下半に角を持ち直線的に立ち上がり、口径に比べ底径が小さいもの（1941～1951．1953～1958）が見られる。内底面には1条の沈線による同心円が描かれたもの（1921．1922．1975）や『八月六』と銘の刻まれたもの（1976）も見られる。体部外面の中央部（1944）と下半部（1934）には1条、上半部には3条（1943）の沈線が巡っているものもある。

小鉢b類（第57図／1977～2071，2073，2076～2083，2085～2088，2094，2095，2097，2099，2100，



第56図　中鉢実測図



第 57 図　小鉢 a〜e 類実測図

2192〜2194）は削り出し高台である。体部下半が丸みを持って立ち上がったもの（1977〜2019）と体部下半に角を持ち直線的に立ち上がったもの（2020〜2061．2064〜2073）と、輪花（2081〜2089）になったものがある。内底面に菊の印花（2080）が、底部外面の高台の内側には窯印のあるもの（1981）が、体部外面に 1 条（2024．2026〜2030．2032．2033．2035．2036．2039）、2 条（2034．2037）、3 条（2038）の沈線が巡るものもある。高台の削りの途中で内側の削りが施されなかったような平らな高台のもの（2061〜2063）も見られる。

小鉢c類（第57図／2090〜2093，2096，2098）碁笥底の底部のみで上半部から口縁部は不明である。

小鉢d類（第57図／2101〜2191）平底で体部下半が丸みを持って立ち上がったもの（2101〜2166）と口縁部がやや外反気味のもの（2167〜2174）が見られる。内底面に 1 条の沈線による同心円が描かれたもの（2103．2165）と菊の印花があるもの（2114）が見られる。

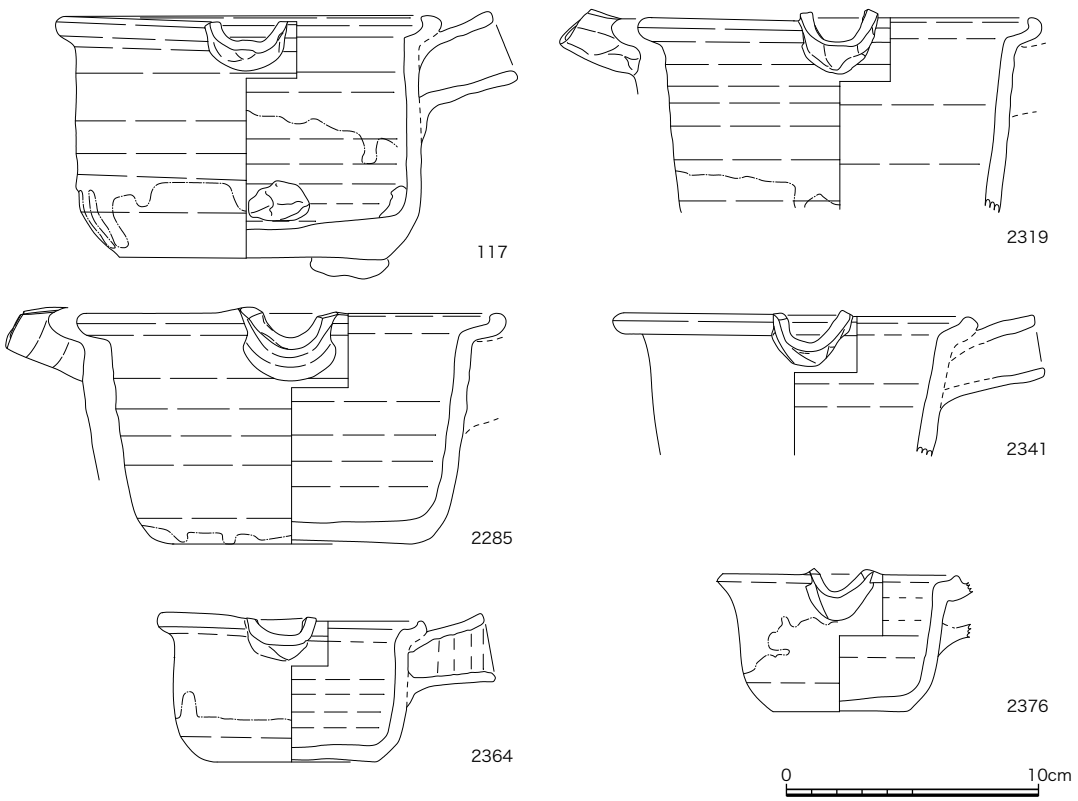
小鉢e類（第57図／2207〜2264）口径が 9 ㎝以下で小型になり縁釉小皿より全体的に小さい。平底の底部から直線的に立ち上がり、口縁端部は尖っている。口径が 5 ㎝前後のものも見られる。

24. 柄付片口（第58図／図91～96：2265～2382／図版67～70）

受口状の折縁口縁を持ち、平底からほぼ垂直の筒状に立ち上がり口縁になるものと平底から直線的であるがやや外反しながら立ち上がり口縁になるものとが見られる。口縁部の一ヶ所にU字形の切り込みを入れ、板状の粘土を貼り付け片口とし、片口から90度右手の位置に短い円筒状の把手がある。片口から90度に把手があり、把手の位置も片口の右手が基本であるが、左に把手が付くもの（2270）、あるいは片口から90度以内に把手のあるもの（2274. 2278. 2322. 2342. 2354）が見られる。把手に円孔が穿たれたもの（2267. 2268. 2281）もある。また内底面に、篦描きの沈線が数条描かれたもの（2294）もある。出土点数24,455点の内、鉄釉は88点のみである。内底面の施釉方法の観察から刷毛塗が22,514点、露体が577点で、刷毛塗がほとんどを占めていた。口径は21cmを測るもの（2275）が最大で、8.5cmを測るもの（2381）が最小である。口径から大きく4類に分類が可能でA類が17cm以上、B類が14cm以上、C類が11cm以上、D類が10cm以下である。

25. 片口小鉢（第59図／図97・98：2384～2416／図版69・70）

底部より内湾気味に立ち上がり、口縁部に片口の付いたもので、高台の付いたもの（2387. 2391. 2408. 2410. 2411）や三足の付いたもの（2406）も見られる。外側面には1条の沈線が中央より上半（2390）と口縁下（2407. 2409. 2410）に巡っており、草葉文（2407～2411）の文様と円形の粘土を貼り付けた擂座（2412～2416）も見られる。内底面に卸目のあるもの（2398）、外底面に卸目のある三足付底卸目のもの（2406）も見られる。



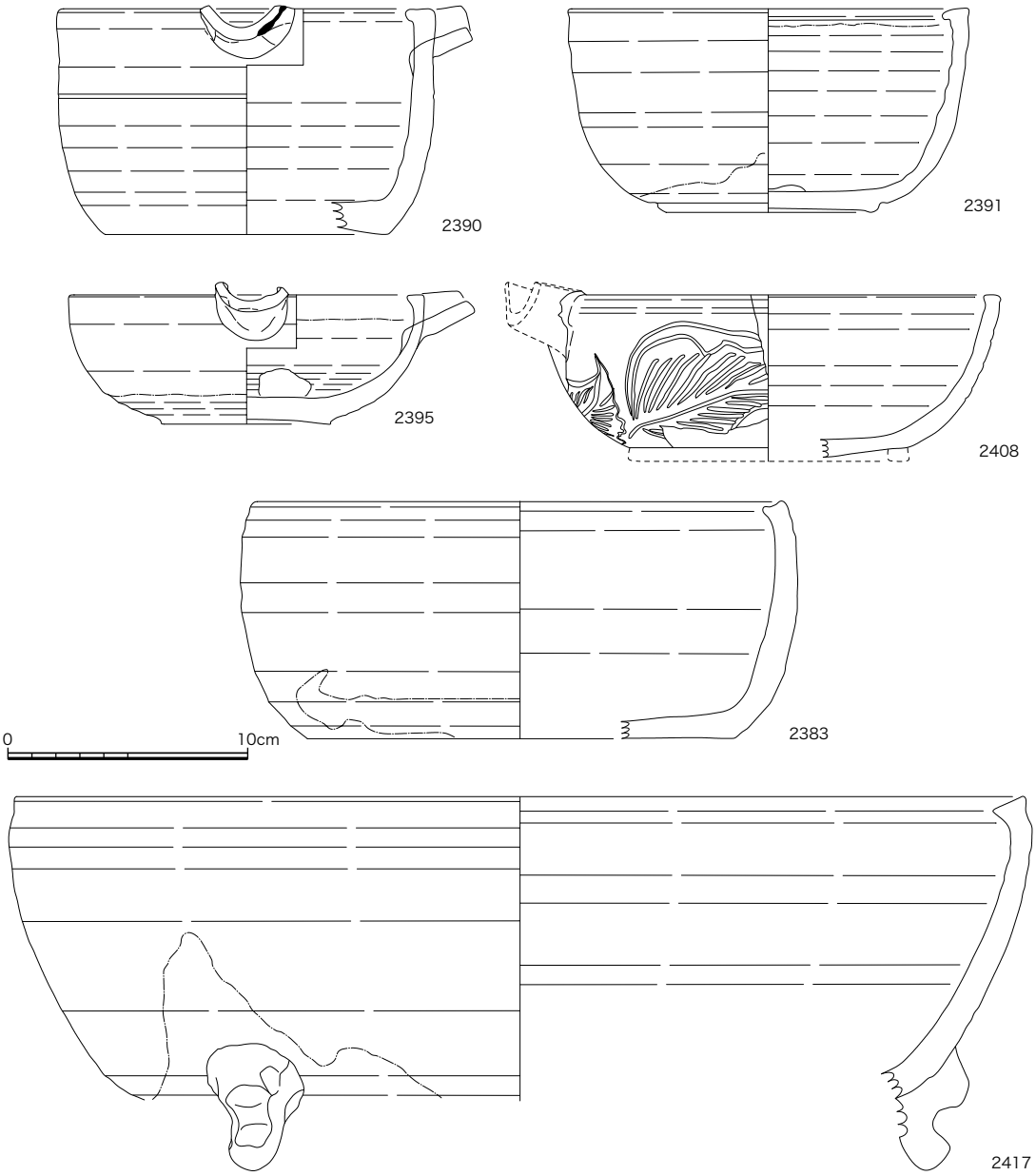
第58図　柄付片口実測図

26. 調理用片口鉢（第59図／図97・98：2383，2417，2418）

片口小鉢に比べ器厚が1㎝以上あり大形である。内湾気味に立ち上がり、口唇部は平らなもの（2417）とややくぼんだもので三足が付くもの（2383．2418）が見られる。

27. 碗形鉢（第60図／図99・100：2419～2450／図版70）

付け高台で平碗に類似する形状である。底部から口縁にかけて直線的に開き口縁部が若干くびれ、口縁端部は細く尖り気味で、底部外面の高台内には、糸切り痕が残る。高台は丸みのある高台（2420．2424．2443．2445）と角のある方形状の高台が見られる。外側面には沈線が4条（2423）と2条（2438）巡るも

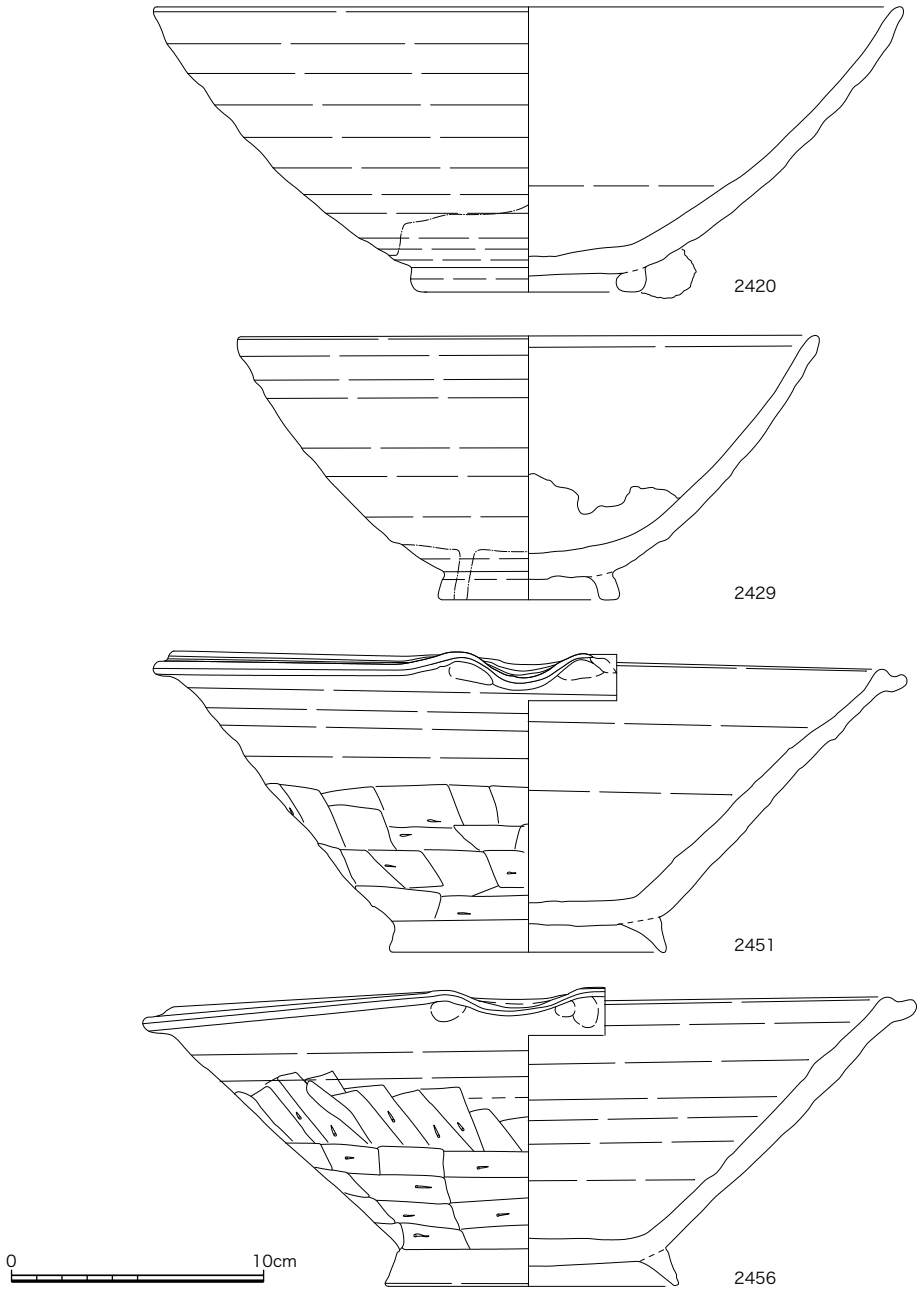


第59図　片口小鉢、調理用片口鉢実測図

のも見られる。内面に重ね焼きの粘土紐が付着したもの（2432）や窯塵が付着したもの（2429）がある。つまんだような三角形状の高台（2435～2437）と削り出し高台（2449）は平碗としたほうが妥当かもしれない。

28. 片口鉢（第60図／図101～103：2451～2473／図版70）

折縁口縁で片口の付いた無釉の平鉢である。折縁口縁の口唇部がくぼみU字形になり、端部が上方に上がったものと下がり気味のものが見られる。長石粒の混入した粗い胎土で青灰色を呈する。貼り付け高台で外側面には面取状の篦削り整形が見られる。多くが地山直上から出土。片口鉢無釉粗とした。



第 60 図　碗形鉢、片口鉢実測図

29. 把手付小鉢（第61図／図103：2474，2475／図版69）

高台に近い腰部に把手の付いた鉢である。短冊状に面取した把手が下向きに付き、貼り付け高台で、赤褐色を呈した厚手の無釉のもの（2474）と、折縁口縁で口唇部が若干くぼみ、粘土をつまんで貼り付けた把手が下向きに付き、削り出し高台で錆釉が施釉されたもの（2475）が見られる。

30. 擂鉢形小鉢（第61図／図103：2476～2488／図版70）

底部から口縁部まで直線的に開き、口唇部の内側に折返した小突起が顕著なものと丸みを帯びたものとが見られる。指でつまんだ片口の付くもの（2476．2483．2486）が見られるが、基本的には片口が付くものと思われる。小突起の顕著なもの（2477～2484）は端部が尖っている。内外面共に錆釉が口縁付近に施釉され、下方は内外面ともに露胎である。底部外面には糸切り痕が残る。

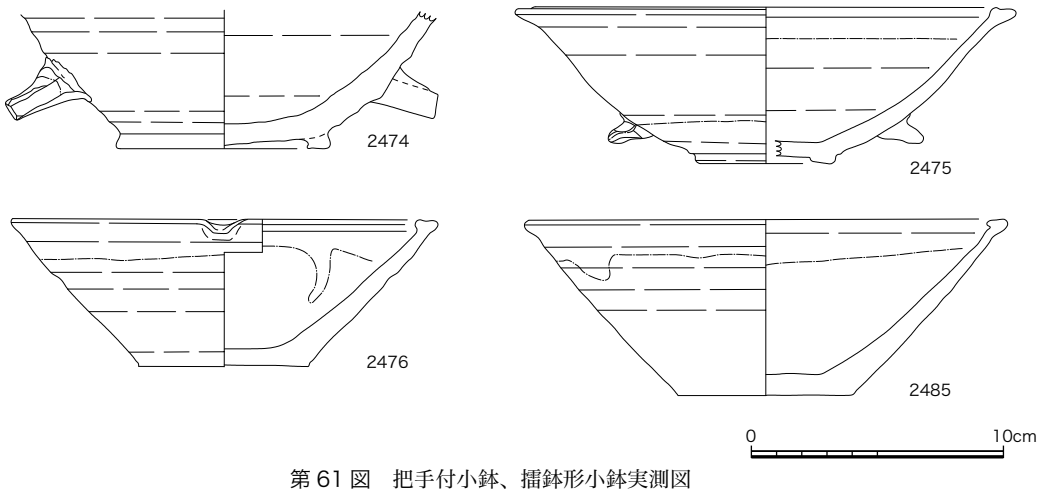
31. 擂鉢（第62図～第64図／図104～108：2489～2527／図版71）

底部から口縁部まで直線的に開き、体部外面は轆轤目が顕著で、底部外面には糸切り痕が残る。基本的には平底であるが、角張った貼り付け高台のもの（2498．2504．2525）も見られる。口縁部の形態も口唇部の内側の突起が丸いもの、尖ったもの、外側の端部が丸く調整されるもの、角張るものが見られる。口縁の内面に施釉時の指痕が残るもの（2515）も見られる。

櫛あるいは篦による擂り目の間隔の粗密等によりａ類ｂ類ｃ類に３分類した。

擂鉢ａ類（第62図／2489～2493，2505）擂り目となる櫛の間隔が密で、口縁付近（2489～2493）と底部内底面（2505）に波状文の見られるものである。極めの細かい緻密な胎土である。

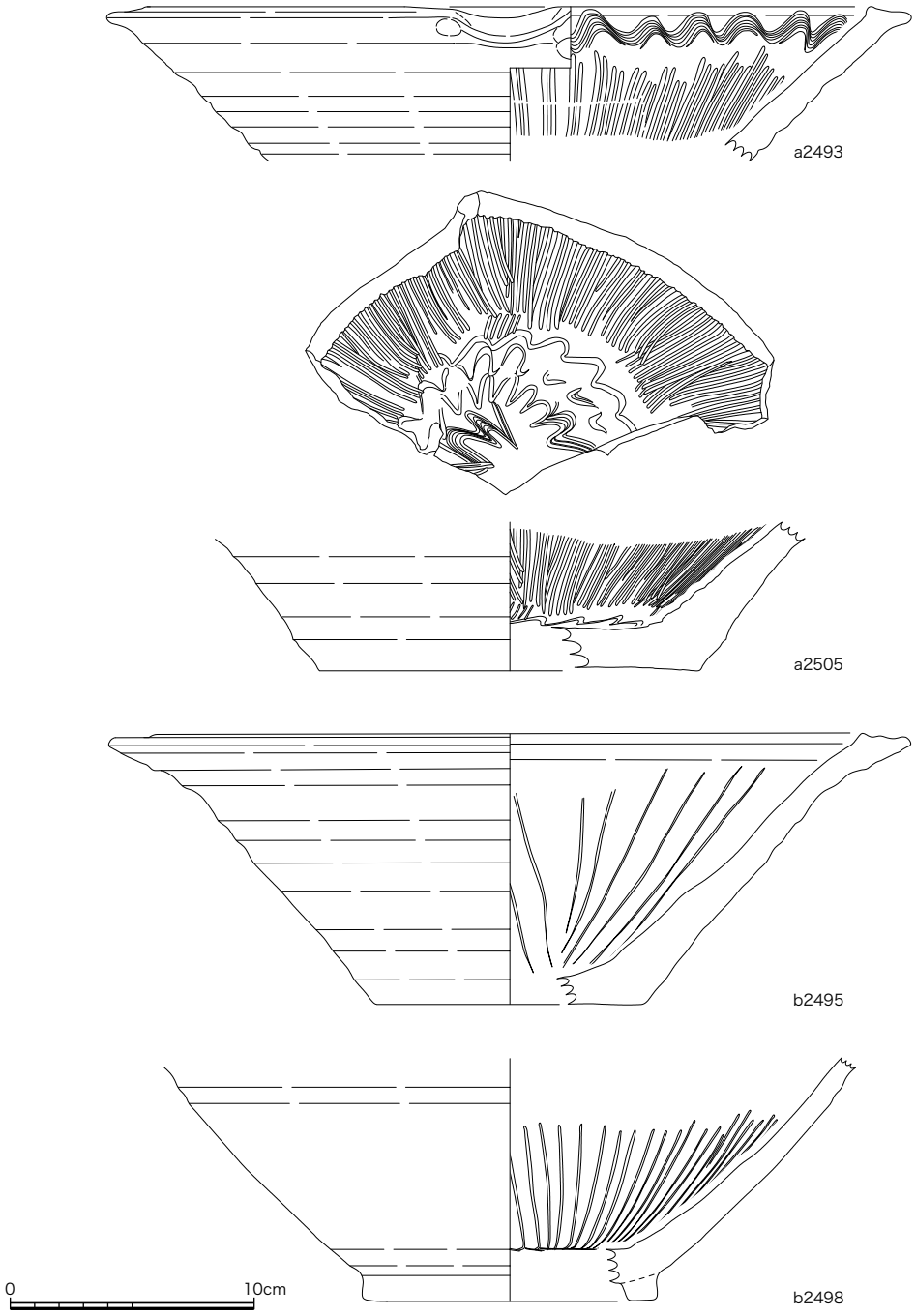
擂鉢ｂ類（第62図／2494，2495，2498）擂り目の間隔がまばらで篦により１条づつ沈線をひいたものである。擂り目の内面には口縁から底部にかけての一部に灰釉が流し掛けられ白く発色しているもの(2494．2495）も見られる。鉄分を含んだ祖母懐土で、外面底部は篦削り整形による平底（2495）や角張った貼り付け高台のもの（2498）が見られる。貼り付け高台（2498）では、胎土は極めて細かく緻密な胎土で、外面からは全く観察できないが、底部と高台の間に別の土、窯道具の粘土紐状のものと同じ土、１～２㎜粒



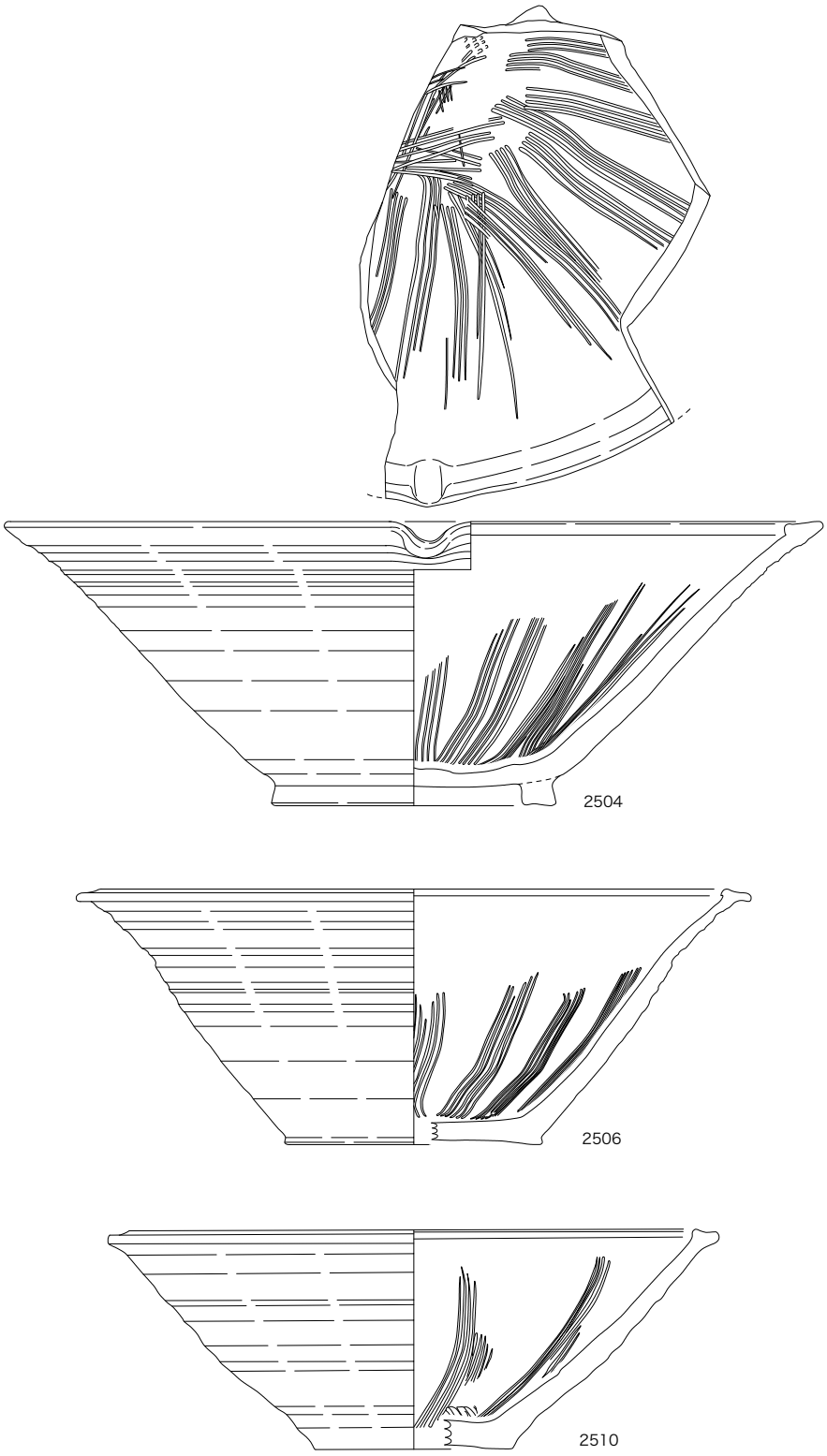
第 61 図　把手付小鉢、擂鉢形小鉢実測図

の石英小石を多く含む砂の多い白味を帯びた粘土を間に敷き、その後に高台を貼り付けており、サンドイッチ状となり、外からは土の違いが見られない状態である。図示はできなかったが、底部が碁笥底状になっており、この凹んだ部分を違う土で埋めたものと思われる。

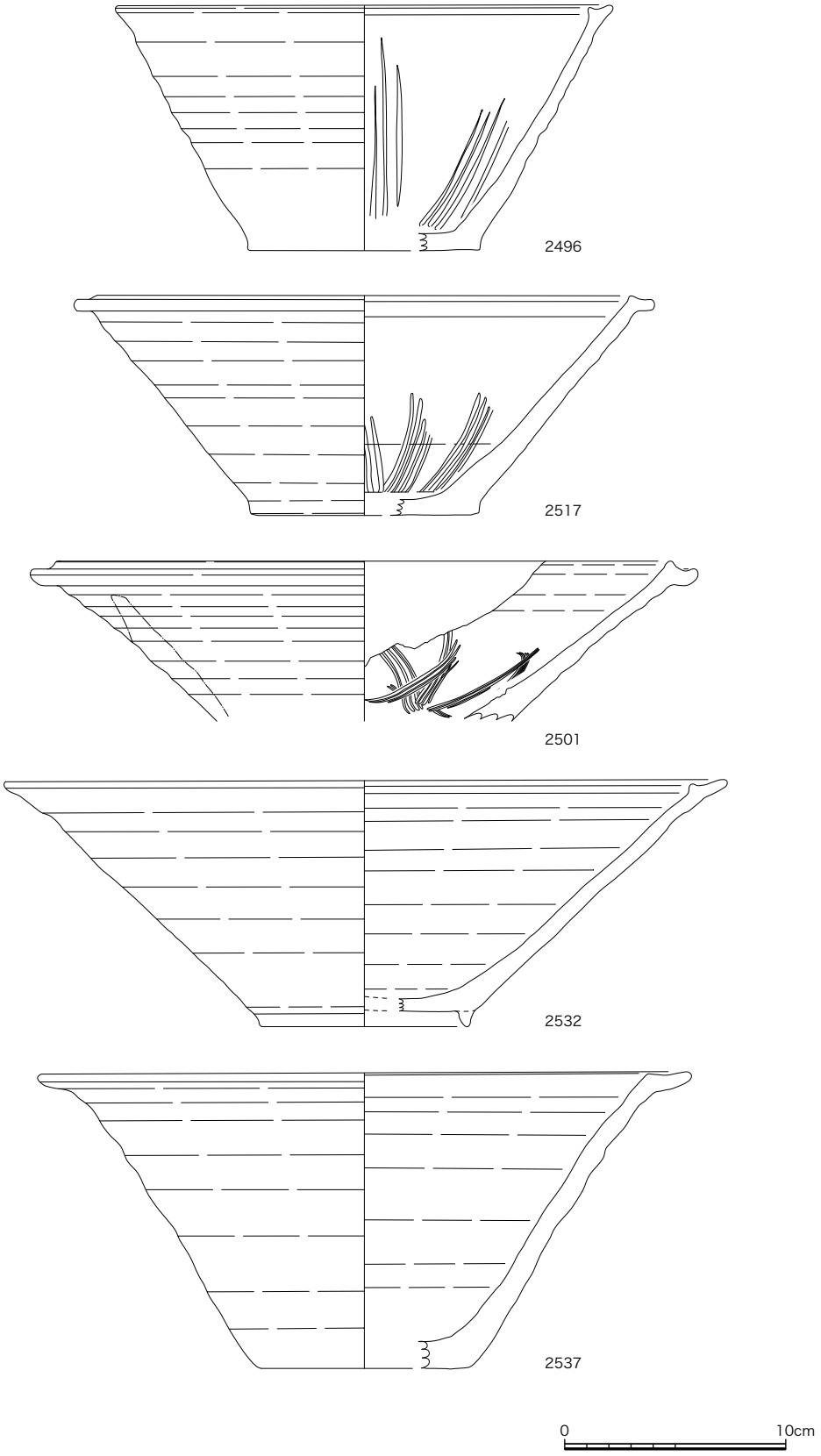
擂鉢c類（第63図／2496，2497，2499，2501～2523，2526，2527）2条から7条を一単位とする櫛による擂り目が等間隔で見られる一般的なものである。鉄釉が底部外面も含め全面に施釉されるが、一部に無



第62図　擂鉢a・b類実測図



第 63 図　擂鉢 c 類実測図（1）

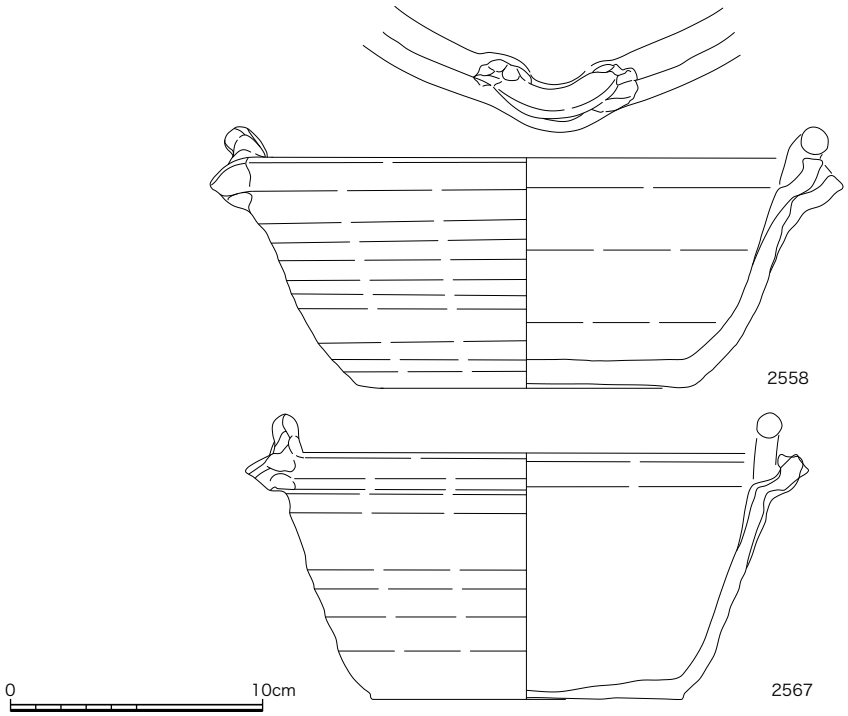


第 64 図　擂鉢 c 類実測図（2）

釉のもの（2504. 2525. 2526）もある。2条を一単位とする櫛による擂り目が見られるもの（2497）では、内面底部以外は鉄釉が施釉され、露胎した内面底部には、判別しにくい文様なのか、『一』の字か、が見られ、外面底部には篦調整が施されている。4条を一単位とする櫛による擂り目が見られるもの（2496. 2499. 2501. 2504. 2506. 2507. 2510. 2517. 2518. 2520. 2522. 2525. 2526）が多い。口径が22.4cmと小さく、底部外面には糸切り痕が残り、鉄釉は底部を含め全面に施され、緻密な胎土のもの（2496）と、角張った高台が貼り付けられ、外面の胴部上半まで篦削り調整された無釉のもの（2504. 2525）が見られる。4条を一単位とする櫛による擂り目がx状に重なったもの（2501）もある。5条を一単位とする櫛による擂り目が見られるもの（2511. 2512. 2513. 2521）、6条を一単位とする櫛による擂り目が見られるもの（2506. 2519. 2523）、7条を一単位とする櫛による擂り目が見られるもの（2516. 2524）があり、7条一単位が15単位巡っているもの（2516）と櫛が引かれる位置が底部から長いものと、それより上からの位置の短いものの二つが一組となり二段となったもの（2524）では、外面は口縁直下まで篦削り調整が見られる。

32. 鉢（第64図／図108・109：2528～2542／図版72）

底部から口縁まで直線的に開き、体部外面は轆轤目が顕著で擂鉢と同様な形状であるが、内面に擂り目はない。赤褐色で緻密な胎土である。口縁部が折縁にはならず、端部が丸くなったもの（2528. 2529）もある。平底の底部外面には糸切り痕が残るもの（2536. 2537. 2539. 2540）と平底となったもの（2533. 2535. 2538. 2542）、貼り付け高台のもの（2530. 2532）が見られる。平底では外面底部が剥がれたよう

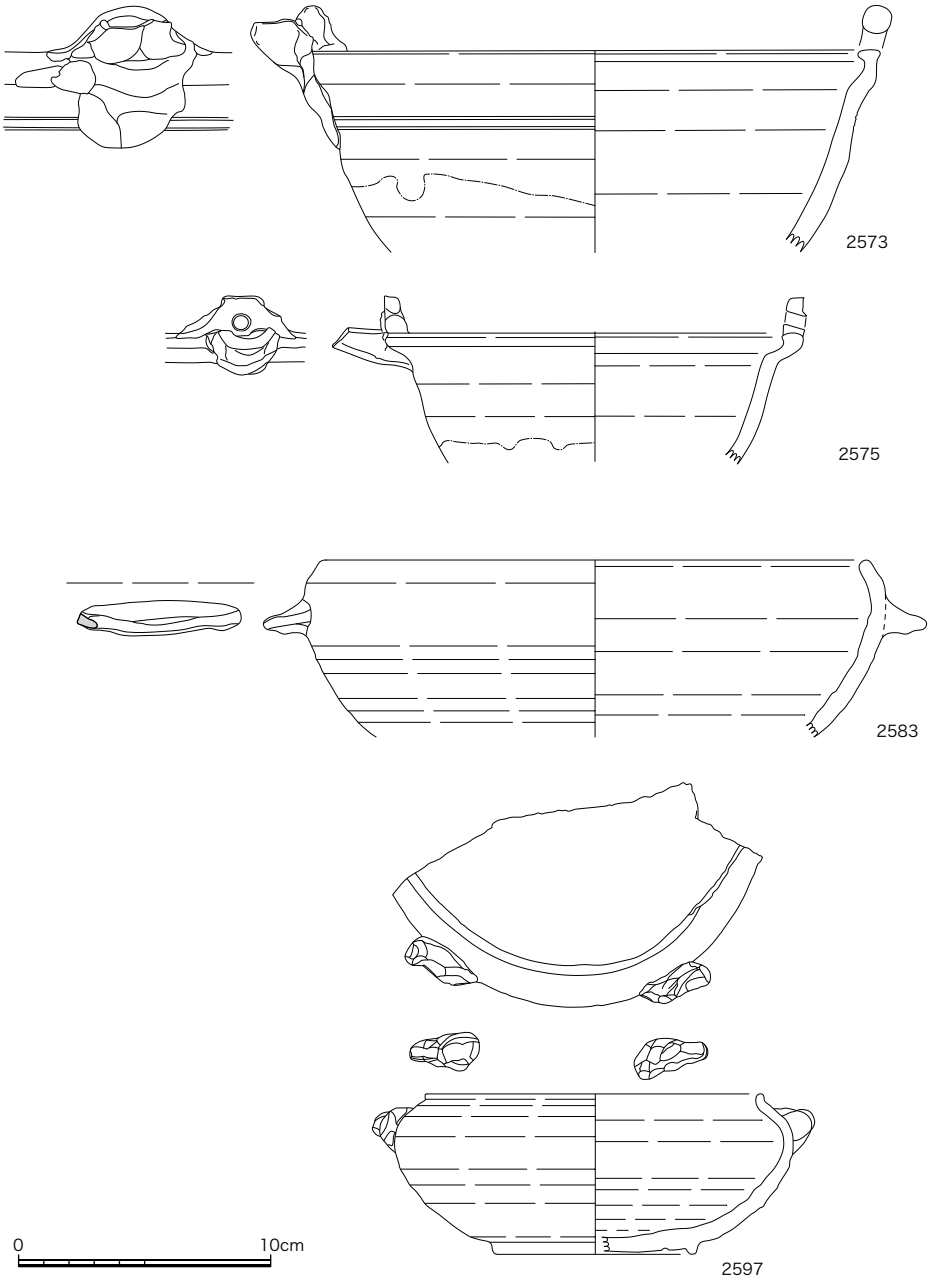


第65図　内耳鍋実測図

な状態で、表面が白く、あたかも灰釉を塗ったかのように見えたり、別の胎土の跡にも見える。このような状況は擂鉢bの貼り付け高台（2498）と似ており、平底ではなく貼り付け高台であったのかもしれない。

33. 内耳鍋（第65図／図110～112：2543～2571／図版72・73）

受口状の口縁で口縁部の２ヶ所に火除けのための片口を設け、その内側に粘土紐で作った吊り手用の横耳を貼り付けている。横耳の貼り付け位置は受口の部分のみ（2558）と内側に入り込んだもの（2556）が見られる。平底で底部から直線的に立ち上がったものが多いが、胴部下半に丸みを帯びたもの（2555.



第 66 図　銚子鍋、手付鍋実測図

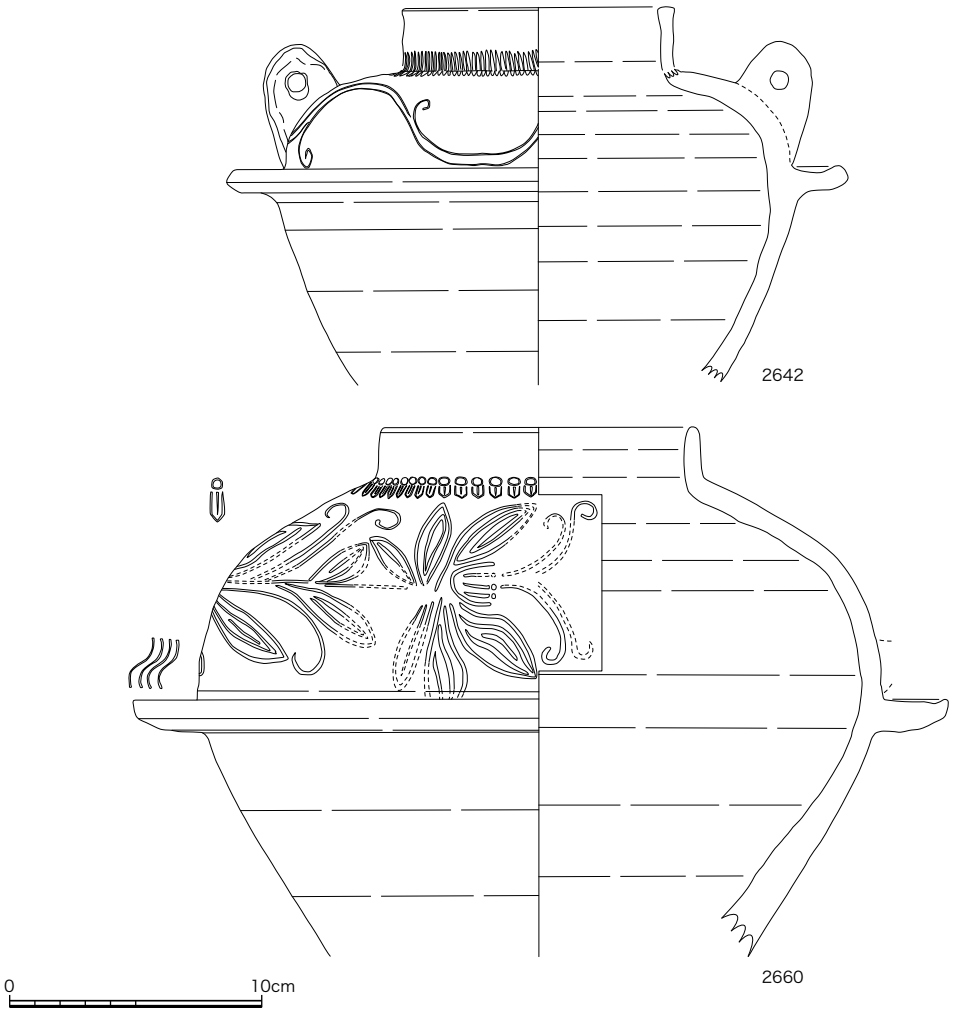
2564）もある。底部外面には糸切り痕が残る。

34. 銚子鍋（第66図／図112：2572～2580）

受口状の口縁に、U字形の樋状となった注ぎ口を吊り手の一方につけ、注ぎ口は篦で整形しているもの（2574. 2575）と手づくねのもの（2572. 2573. 2578）がある。吊り手も内耳鍋と同様の紐状の横耳（2572～2574. 2578）と板状のもの（2575～2577）が見られ、吊り手の貼り付けられた位置は口唇部である。

35. 手付鍋（第66図／図113～115：2581～2634／図版73）

内湾した胴部上半の外面に把手が付いたものである。口縁端部が、内湾のままのものと、外反気味で玉縁状になるものがある。把手の形状も板状（2581. 2583. 2585. 2587. 2602～2604. 2608. 2613～2616. 2633）のものと、紐状（2584～2586. 2590. 2595～2601. 2607. 2610～2612. 2617. 2622～2624. 2629～2631）のもの、粘土塊状（2593. 2594. 2618～2621. 2625. 2628. 2632）のものが見られる。把手は双耳

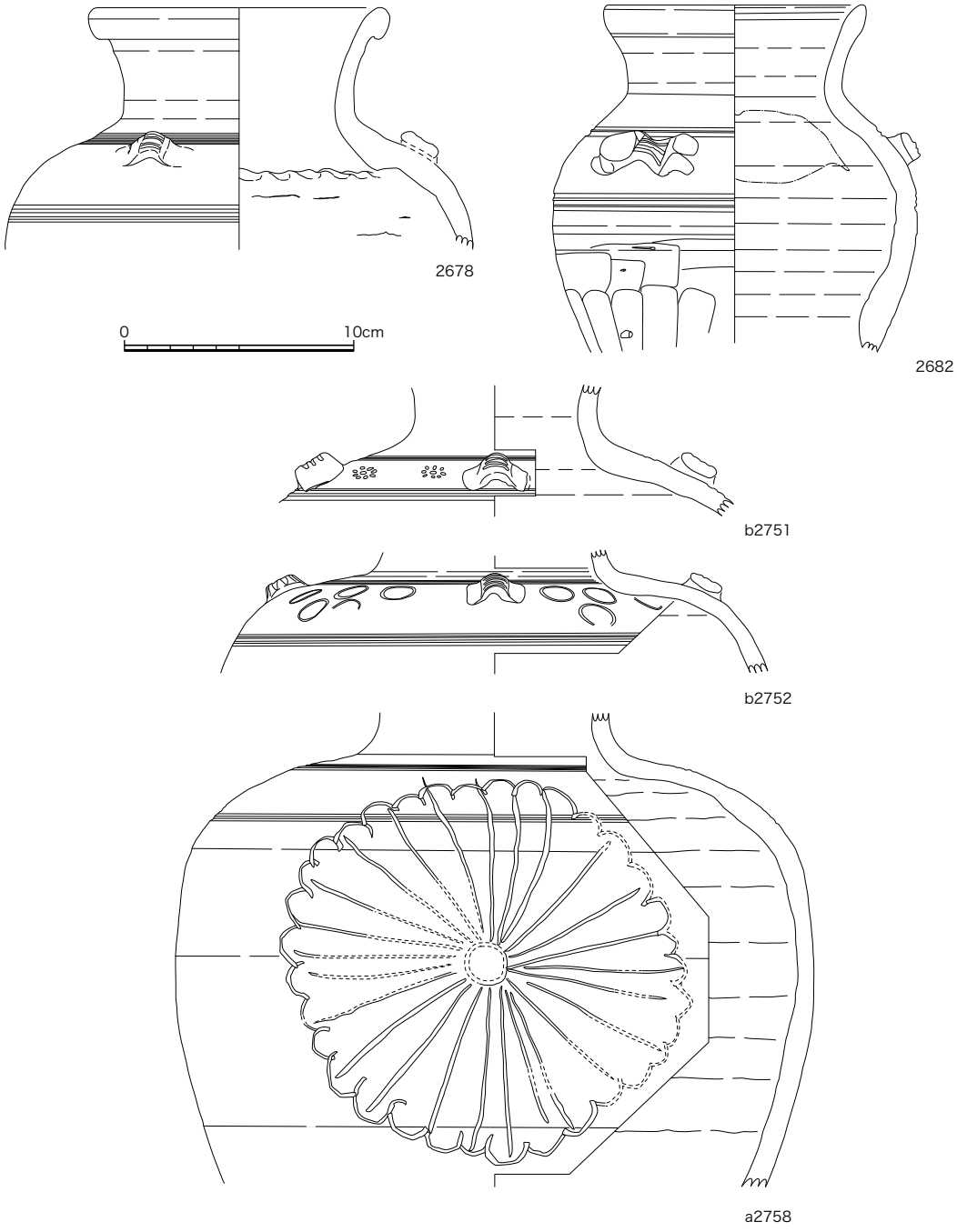


第 67 図　羽釜実測図

と四耳の場合が見られ、四耳の把手を持つもの（2595. 2597. 2598）は把手の位置や形状が木製の角盥によく似ている。底部も削りだし高台（2591. 2593. 2595. 2597. 2611～2614）と貼付け高台（2618. 2619. 2628. 2632）が見られる。内底面に1条の沈線による円のあるもの（2591）も見られる。

36. 羽釜（第67図／図116・117：2635～2660／図版73・74）

直立の口縁を持つ茶釜型の羽釜で、肩部には縦位置の耳が付き双耳となり、口縁はやや外反気味のもの



第68図　三耳壺、四耳壺a・b類実測図

が多い。釉は灰釉が多いが鉄釉（2655～2660）も見られる。文様が描かれたものがある。直立する口縁の下半部に櫛描が巡り（2641）、鍔より上半の肩部に蕨生手状の文様が描かれ灰釉が施釉されたもの（2642）で同一個体と考えられる。直立する口縁部がやや短く口縁と肩部の境に丸と先の尖った剣刀紋が組合わさった印が巡り、鍔の上面にも波状の印が巡り、鍔より上半の肩部には、篦による沈線で横位置の牡丹紋が描かれ、鉄釉が施されたもの（2660）である。

37. 三耳壺（第68図／図118：2678～2682／図版75）

口縁は口縁部の外側に肥厚した部分が、玉縁状のもの（2678）、下端につまみ出しのあるもの（2681）、縁帯状で端部が尖ったもの（2682）があり胴部上半には櫛目沈線が巡り型作りの耳が貼付けられる。

38. 四耳壺（第68図、第69図／図118～126・220：2661～2677，2683～2770，4940，4941／図版74～82）

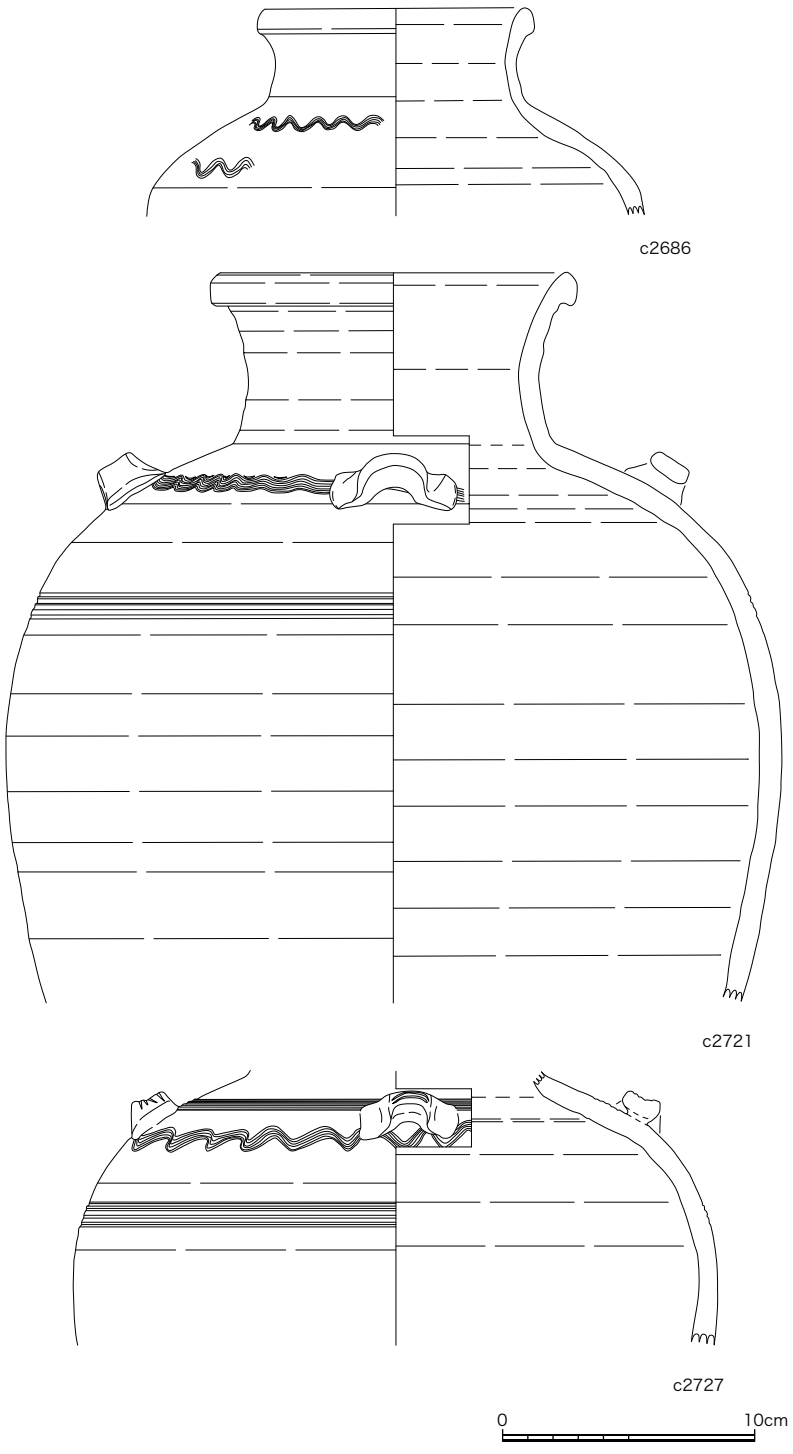
口縁から底部まで残存した個体は１例（2717）のみである。各部位の特徴を含めた全体的な分類は非常に困難であり、三耳壺と四耳壺の違いも、明らかに三耳と四耳とわかるものとわからないもの、耳の付いていない部位の胴部片、胴部から底部片、口縁片、等問題もあるが、四耳壺としてまとめた。胴部上半に櫛目沈線や波状文、篦描き沈線による画花文や押印による印花文が施文されている。口縁では、口縁部の外側に肥厚した部分が玉縁状になるもの、下端につまみ出しのあるもの、縁帯状になるもの、が見られる。底部では、高台は接地面が凹んだものと平になったものがあり、やや高いものと低いものが見られる。高台の外面（脚部の内側）にも刷毛塗りが施されるものが多い。耳は、横耳で３条４条の沈線のあるものとないもので型造りの耳である。縦耳が２例見られた。丸い紐状のもの（2761）と紐状の外側に20条の刻みを施し、上と下の貼り付け部分に径１㎝を測る円板を貼付けたもの（4941）は内面に飴色の鉄釉が施釉される。文様によりａ類ｂ類ｃ類に３分類した。

四耳壺ａ類（第68図／2754～2759）篦描沈線による菊花文が胴部中央部に描かれ、菊花が大きなもの（2758．2759）と、中ぐらいのもの（2754．2755）と、小さいもの（2756．2757）とが見られる。菊花が大きいものは紐輪積み轆轤成形であり、菊花の間隔が約8.5㎝で３カ所に描かれ、内面にも薄く施釉されたもの（2759）も見られる。他は轆轤水挽き成形で内面の轆轤目が細かい。

四耳壺ｂ類（第68図／2751，2752）押印による印花文も菊花（2751）と円形の単線丸文（2752）が櫛目沈線の間の耳の付いた肩部に見られ、轆轤水挽き成形で器厚も薄くなる。

四耳壺ｃ類（第69図／2685～2687，2721～2728，2749，4940，4941）波状文が、耳の付いた肩部に見られ、櫛目波状文が１段巡るものがほとんどであるが２段のもの（2686）もあり、篦描き沈線による１条の波状文（2687）も見られる。波状文が櫛目沈線との間にあるもの（2687．2727．4940）と波状文の下方に櫛目沈線が巡るもの（2721～2724．2726．2728．2749）とが見られる。波状文のみのもの（2725．4941）も見られるが波状文の下に櫛目沈線があるものの可能性もある。

四耳壺ｄ類　櫛目沈線が巡ったもので四耳壺の中では一番多くａ類ｂ類ｃ類以外はすべてｄ類である。内面全体、内面の肩部まで、胴部上半まで、のそれぞれの位置まで施釉されたものが見られる。



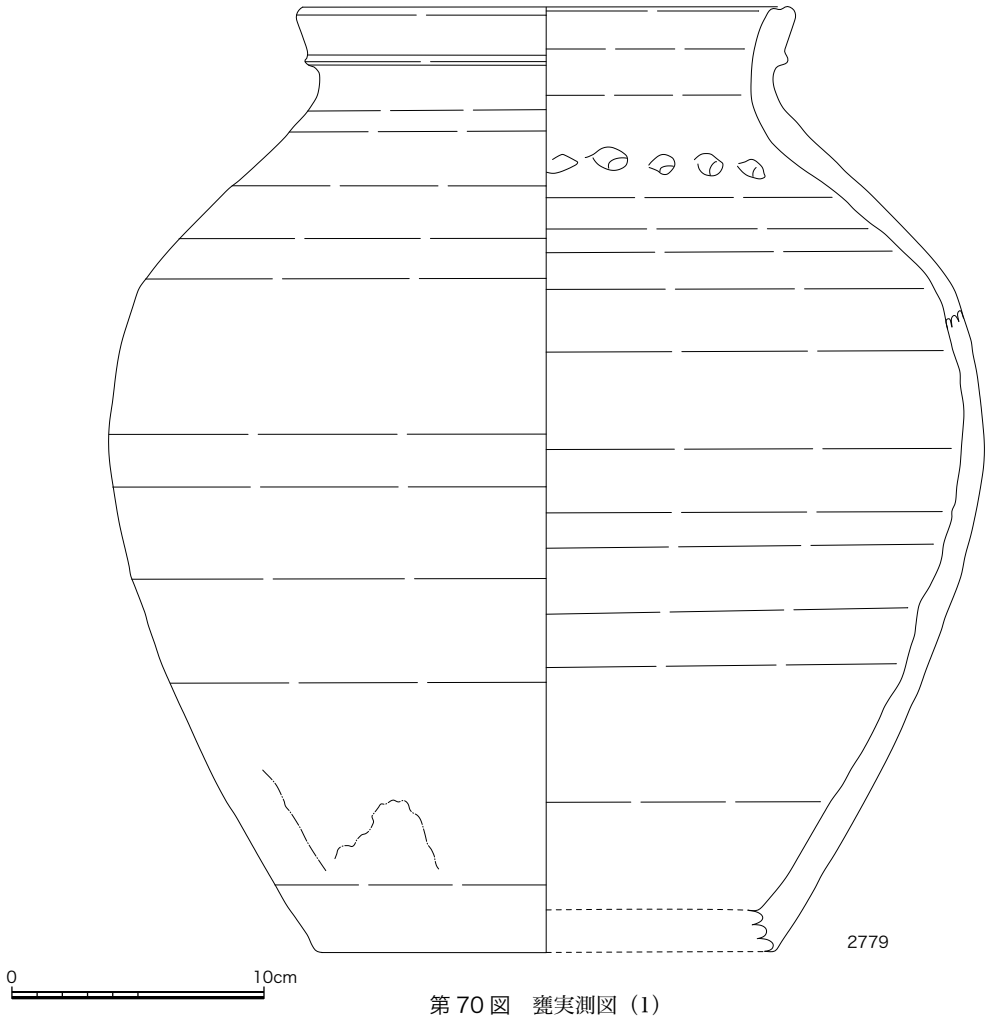
第 69 図　四耳壺 c 類実測図

39. 甕（第70図、第71図／図127～129：2771～2794／図版81～83）

やや外反した口縁で、折り曲げられた口縁が縁帯状となり、下端につまみ出しがありつまみ出しの顕著なものと少ないものが見られ、常滑の甕のN字状口縁に似ている。縁帯幅が狭いもの（2792～2794）もある。肩部に2条を単位とする沈線が巡るもの（2775. 2789. 2793）、口縁下に篦描きによる『金』の銘が見られるもの（2787）もある。法量は口径22cm～13.6cm、底径18.4cm～14.4cm、器高38cm～37.5cmを測る。

40. 茶壺（第72図／図129～131：2795～2827／図版82～84：2828～2836）

祖母懐土による鉄釉四耳壺である。口縁は玉縁となるものが多いが、受口状の口縁（2795. 2796）も見られる。胴部の形状が、長胴形のものと肩の張った通用のものとがあり、長胴形（2797～2802）には18条（2799）と27条（2800）の沈線が巡ったものと無文のもの（2797. 2798. 2801. 2802）が見られる。耳は横耳と縦耳が見られるが、横耳で無文のものがほとんどであるが、図示できなかったが捻り耳（2834）もある。縦耳では、頸部から口縁にかけて縦耳を貼付けたもの（2796）と図示できなかったが僅かではあるが、無文（2828）のもの、沈線のあるもの（2830～2832）、竹の節を写したもの（2829）などが見られる。



第70図　甕実測図（1）

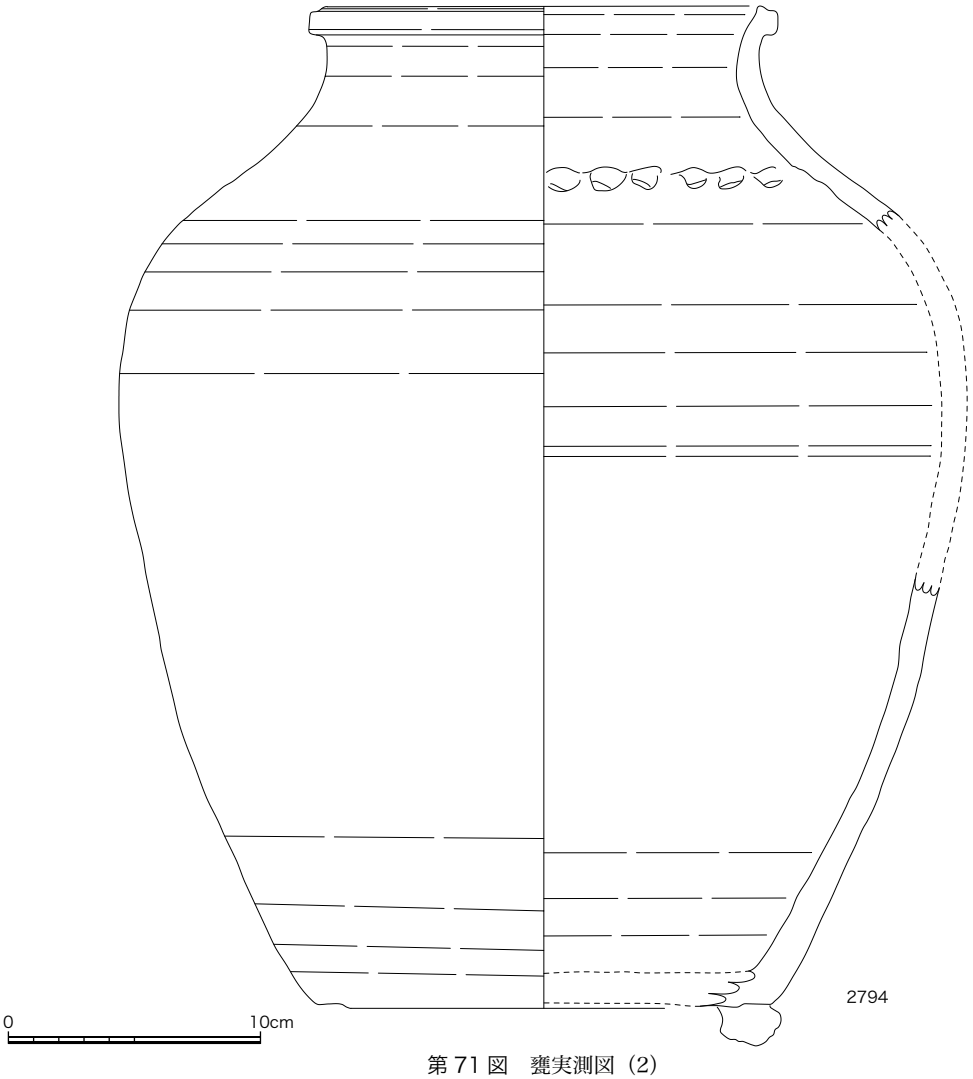
内面肩部に施釉中に付いたと思われる指痕の見られるもの（2823）や焼成の際に他の器種が付着し、その部分のみ変色したもの（2814）がある。

41. 広口壷（第73図／図131・132：2837～2849／図版85）

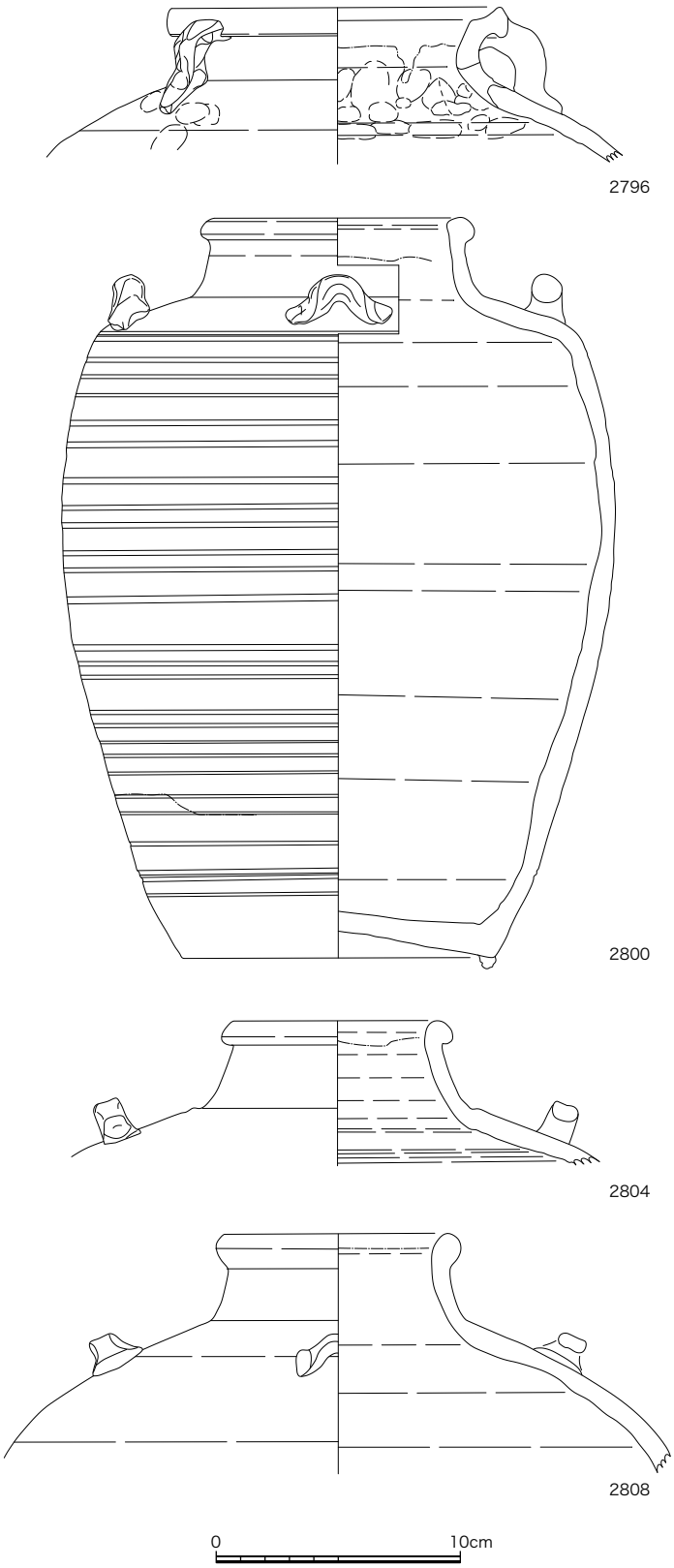
直立する口縁で肩部が丸みを帯びた半球状を呈した壺で、胴部外面が無文のもの（2837～2842）、櫛目沈線が巡るもの（2843～2848）、丸彫りの鎬文が巡るもの（2849）がある。口唇部の中央が凹み、内側と外側の端部がやや太く飛び出した幅広となるものが多く見られ、断面幅７㎝を測るもの（2837）が最大幅広のものとなる。

42. 口広有耳壷（第73図／図132・133：2850～2883／図版86）

小型の有耳壷で、直立する口縁が外反気味になるものと内斜気味になるものが見られ、口縁端部が丸みを帯びた玉縁状となる。双耳が多いが、四耳（2856）もある。耳は頸部直下の肩部に貼付けられている。



第 71 図　甕実測図（2）

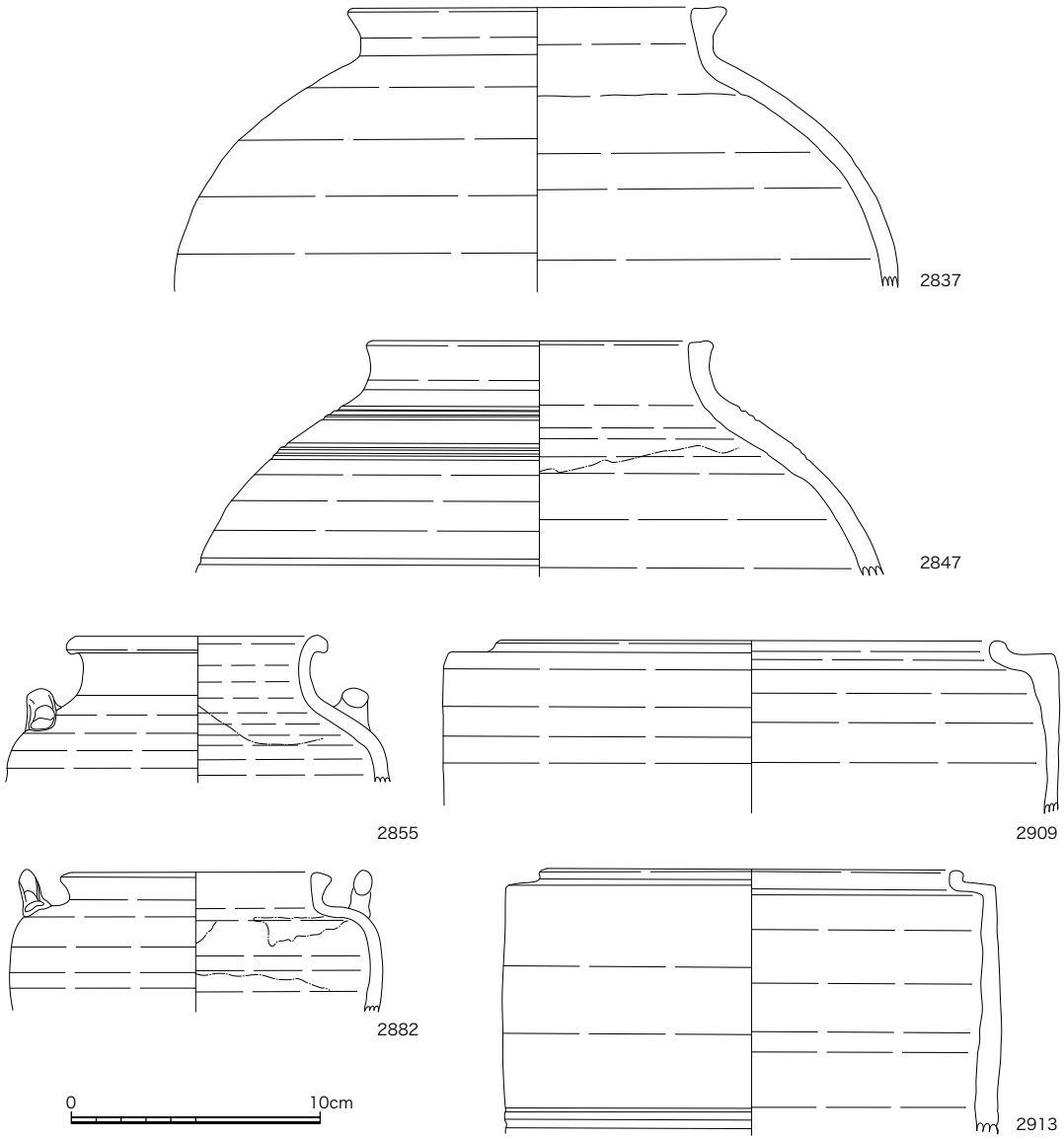


第 72 図　茶壺実測図

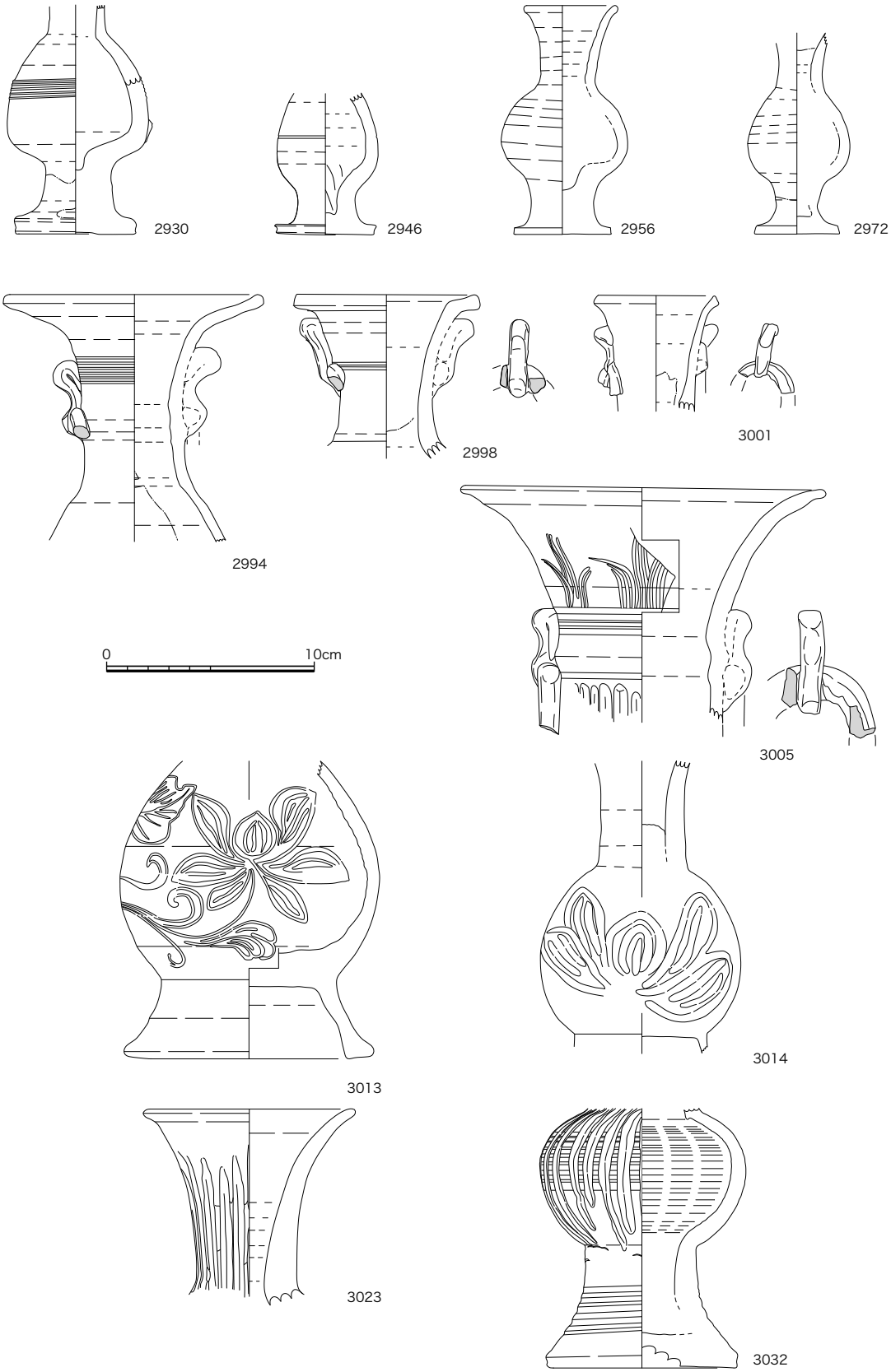
胴部上半が丸みを帯びたもの（2850～2854. 2885）と胴部上半が角張り長胴となるもの（2856～2884）が見られる。内斜した口縁外面に丸く平な擂座が付いたもの（2885）と胴部上半の肩部に櫛描沈線が巡るもの（2863）がある。

43. 口広壺（図133・134：2884～2905／図版86）

口広有耳壺の胴部下半と思われるが、上半が欠損のため口広壺とした。底部外面には糸切り痕が残る。胴部上半で2条の沈線が巡るもの（2884）も耳が不明のため口広壺とした。胴部上半の丸みを帯びたものの下半と思われるもので、底部から丸みを帯びて立ち上がったもの（2886～2894）と胴部上半が角張った長胴の下半と思われるもの(2895～2905)がある。胴部に沈線が巡るものが見られ、胴部中央に1条(2890.



第73図　広口壺、口広有耳壺、筒形短頸壺実測図



第 74 図　花瓶Ⅰ～Ⅱ類実測図

2897)、胴部下方に１条（2891）と２条（2888. 2897）の沈線が巡る。

44. 筒形短頸壺（第73図／図135：2906～2923／図版86）

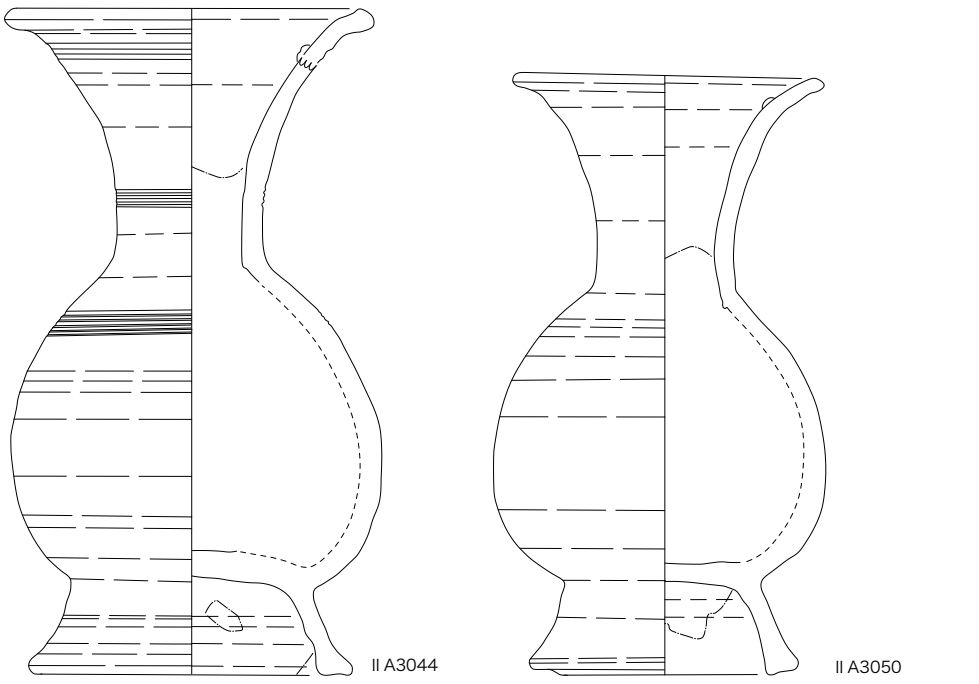
底部からほぼ直立に立ち上がり、肩部で直角に内側に曲がり、すぐに立ち上がり口縁となった器形で頸部がほとんどなく、口縁端部が丸くなった筒形を呈する。平底の底部外面には篦削り調整が施され、三足が付くもの（2918. 2919）がある。胴部中央に沈線が巡るもの（2913）と、胴部に丸彫りの鏑文が見られるもの（2920. 2921）もある。筒型容器や桶とは成形や大きさ、器厚があきらかに違うものである。胴部が浅鉢状の斜めのもの（2922. 2923）が見られ、胴部下方には沈線が巡っている。面取りの施された把手の付くもの（2923）と肩部上面に何を付けたか不明であるが、付けるための刻みと思われる篦による沈線が付いたもの（2922）がある。

45. 花瓶（第74図～第77図／図136～152：2924～3307／図版86～103）

形状から花瓶Ⅰ、花瓶Ⅱ、花瓶Ⅲに分類したが口縁から脚部まで計測できる資料が少なく、口縁部の形状がはっきりする資料（3292～3307）も少なかった。花瓶Ⅰ類はａ・ｂ・ｃの３分類、花瓶ⅡはＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄの４分類、花瓶ⅢはＡ・Ｂ・Ｃの３分類である。

花瓶Ⅰ類（第74図／2924～3043）

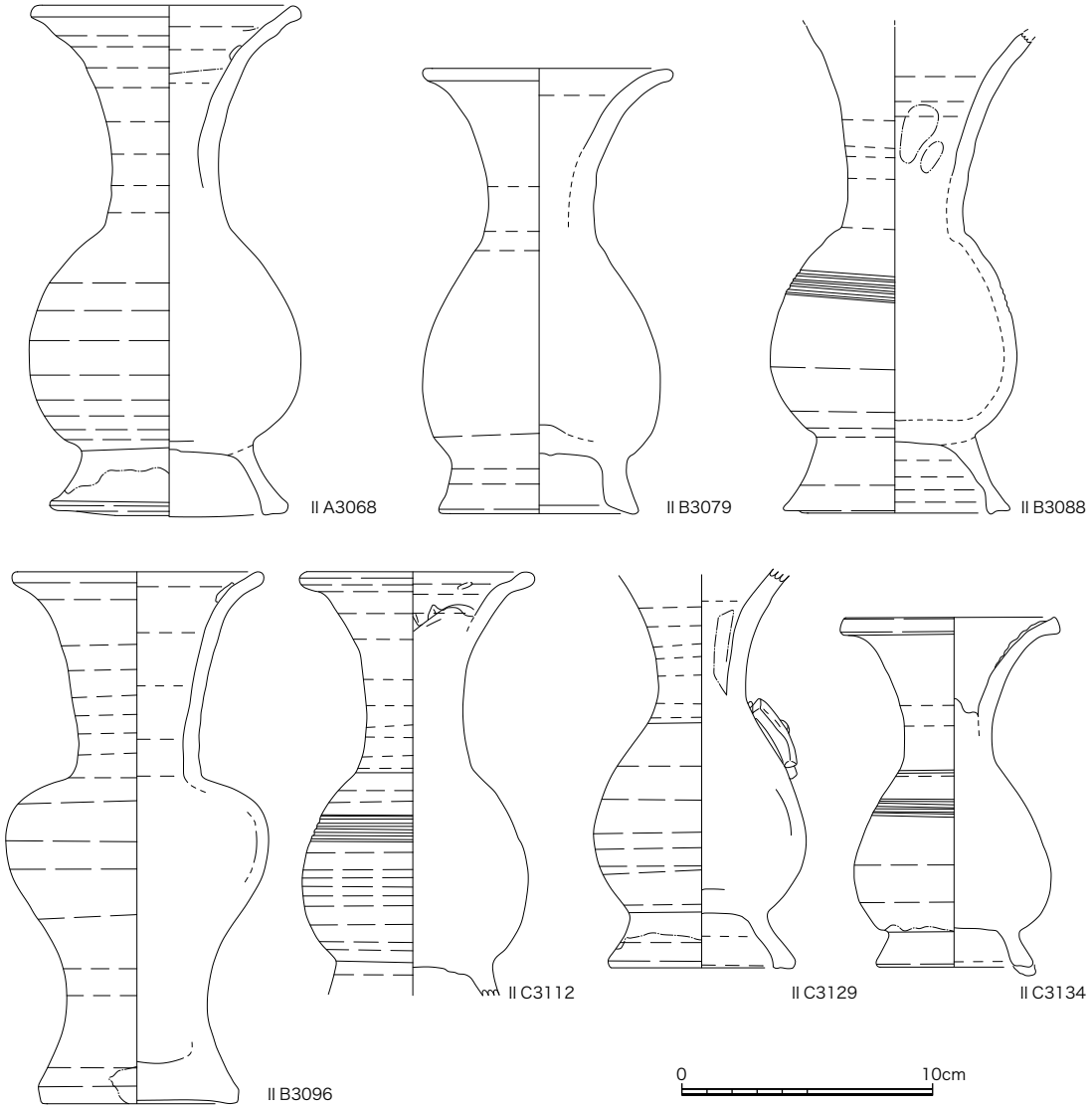
花瓶Ⅰａ類（第74図／2924～2993）小型の仏花瓶で193点出土し、鉄釉が６点、灰釉が187点である。脚部には、円板底部の柱状脚台のものと中空脚台があり、底部外面には糸切り痕が残る。胴部の最大径が下



第 75 図　花瓶ⅡＡ類実測図

方にあり下膨らみで球形になるもの（2928～2932．2936～2943．2956～2968）、胴長の下膨らみになるもの（2944～2953．2973．2974）、球形になるもの（2934．2935．2975～2983）、が見られる。細長い頸部は外反気味に開き、口縁部は外反し端部は丸い。折縁状の口縁になつたもの（2949）も見られる。胴部は、無文となるものが多く見られるが、櫛描き沈線（2928～2932．2993）と、１条の沈線（2944～2947．2970）、２条の沈線（2926．2927）が見られ、胴部と頚部の境には、丸いスタンプ文（2926）と１条の沈線（2938．2939．2969）が巡っている。

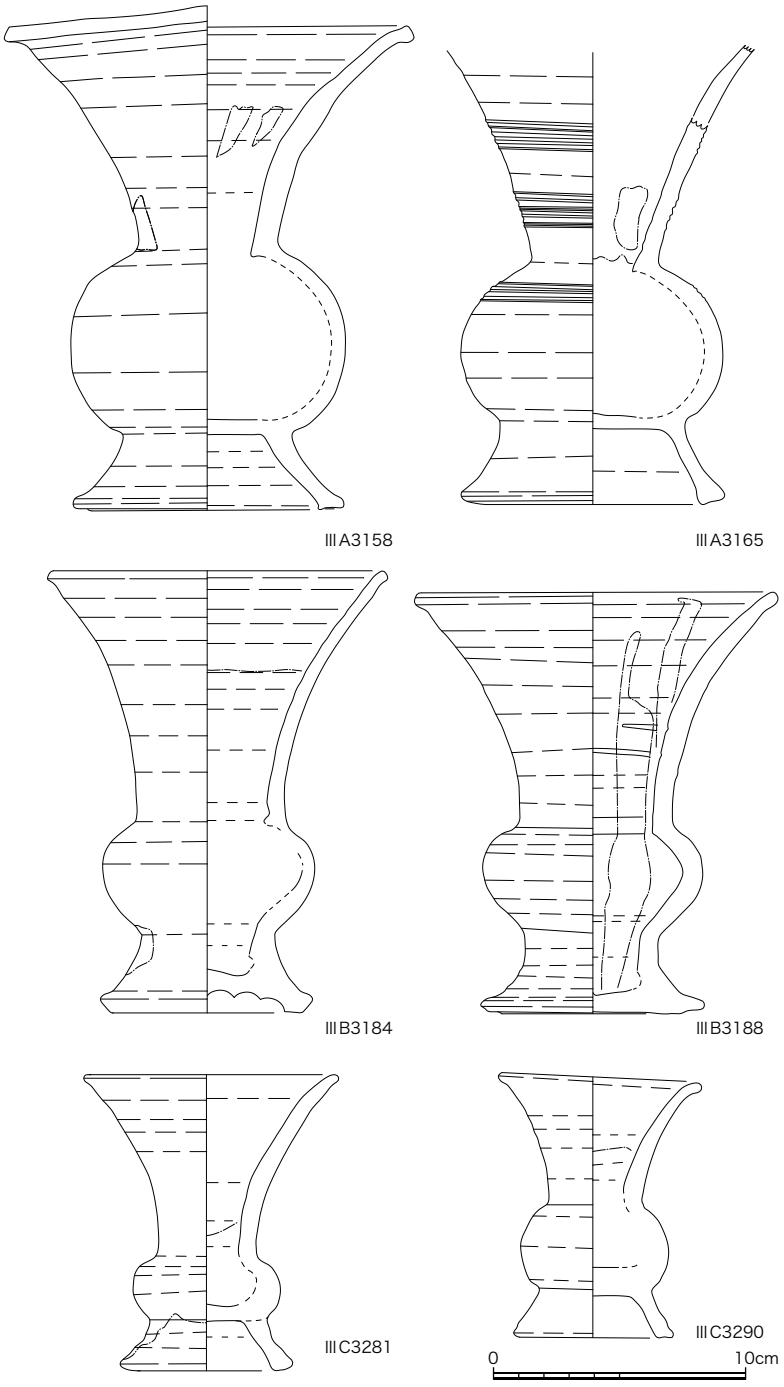
花瓶Ｉｂ類（第74図／2994～3009）口頚部の左右に丸紐の環耳がついたものである。口縁部から脚部まで残存する資料はない。口頚部中程に突帯の見られるもの（2997．2999．3003～3005）もある。口縁部が大きく外反するもの（2994．3005．3007～3009）と外反気味のもの（3001）、外反し端部がやや立ち上がった受口気味のもの（2998．3006）などが見られる。口頚部には文様が見られ、櫛描沈線や沈線の巡るも



第 76 図　花瓶ⅡA～ⅡC 類実測図

の（2994. 2995. 2998. 3005. 3006）、櫛描草文が上半に下半には丸彫りの鏑文が施されたもの（3005）、画花文（3008. 3009）が見られる。

花瓶Ⅰc類（第74図／3023～3043）丸彫りによる鏑文が頚部、胴部、脚部に施された一群である。口縁部が大きく外反し開き、口縁端部は丸い。胴部は球状を呈する。口縁部から脚部まで残存する資料はない。脚台は4条から脚台全面に沈線が巡った糸切り痕の残る平底（3029～3039）と鏑文の脚台（3040～3043）とが見られる。



第77図　花瓶ⅢA～ⅢC類実測図

花瓶Ⅱ類（第74図～第76図／3010～3022，3044～3157）

ⅡA類（第75図、第76図／3044～3077）大形のもので、口頸部が大きく外反して開いたラッパ口で、胴部の最大径が下方にある下膨らみの球形で、脚部も円筒形で裾広がりの脚台である。口頸部と胴部を別々に轆轤水挽き成形し、接合している。胴部の最大径が14.8㎝を測るもの（3044）が一番大きいが、これを含めて、最大径が11㎝以上を測るものを大形とした。口縁端部が丸くなったものが多いが、やや折縁状をしたもの（3044．3046．3047）も見られる。胴部の上半、肩部と口頸部に、櫛描沈線が巡るもの（3044～3047．3051．3074．3075）や、口頸部の内側に4条の沈線が巡るもの（3052）や、胴部と頸部の境に1条の沈線が巡るもの（3065）等が見られる。胴部がほぼ球形をしたもの（3068～3073）も一部見られ、胴部下半に沈線が巡るもの（3071）や、蕨手の文様が胴部中央に巡ったもの（3070）が見られる。

ⅡB類（第76図／3078～3111）中形のもので、胴部の最大径が10㎝前後を測る。口頸部が大きく外反したラッパ口である。胴部の最大径が下方にある下膨らみの球形で、脚部が円筒形のもの（3078～3093．3106．3107．3109～3111）と平底のもの（3103．3104）がある。脚部が円筒形を呈した中には脚台の低いもの（3109）も見られる。胴部の最大径が上方の肩部にあるもの（3094～3102．3108）では、裾広がりの平底となった脚部のもの（3094～3096）と普遍的に見られる円筒形の脚台（高い）より低い脚台のもの（3100～3108）も見られる。

ⅡC類（第76図／3112～3157）小形のもので、胴部の最大径が9㎝以下を測る。口縁の残った資料が少ないが、口頸部が外反するラッパ口で、やや受け口状となった口縁となるもの（3112．3134．3157）も見られる。胴部の最大径が下方にある下膨らみの球形で、脚部が円筒形の裾広がりの脚台である。胴部上半から頚部にかけて、櫛描沈線（3112．3113．3134～3136．3139．3155）、1条（3117．3118．3137）、2条（3114～3116．3138）の沈線、菊花文を2条に貼付けたもの（3119）等が見られるが、無文が多い。

ⅡD類（第74図／3010～3022）胴部の最大径が下方にある下膨らみの球形で、画花文と貼花文による牡丹文が胴部に描かれた一群である。口縁部から脚部まで残存する資料はない。裾開きの筒状の脚台が付いたもの（3010．3013．3014）があり、他の胴部片も裾開きの筒状の脚台が付くものと思われる。脚台の下部は器厚が広く、端部は丸みを帯びる。

花瓶Ⅲ類（第77図／3158～3291）

尊式花瓶である。口頸部が大きく外反したラッパ口で、偏平な球形をした胴部で、脚部が円筒形の裾広がりの脚台（3158～3182．3221．3273～3291）と、糸切り痕の残る裾広がりの平底の脚台（3183～3220．3222～3272）が見られる。

ⅢA類（第77図／3158～3166，3169）大形のもので、最大胴径が10㎝以上を測るもので、最大のもの（3169）は胴径15.6㎝、口径24.1㎝を測る。口頸部のみであるが大形のもの（3305～3307）も見られる。櫛描沈線が口頸部の2カ所と、胴部上半の1カ所に巡り、三筋となるもの（3164～3166）が見られる。

ⅢB類（第77図／3167，3168，3170～3265，3270，3271，3274～3277）中形のもので、最大胴径10㎝以下8㎝前後を測るものである。胴部中程に2条の沈線の巡るもの（3167）、貼付け菊花文が巡るもの（3168）、裾広がりの脚台の内側、つまり胴部の底に卸目の付いた底卸目花瓶（3181．3182）もある。

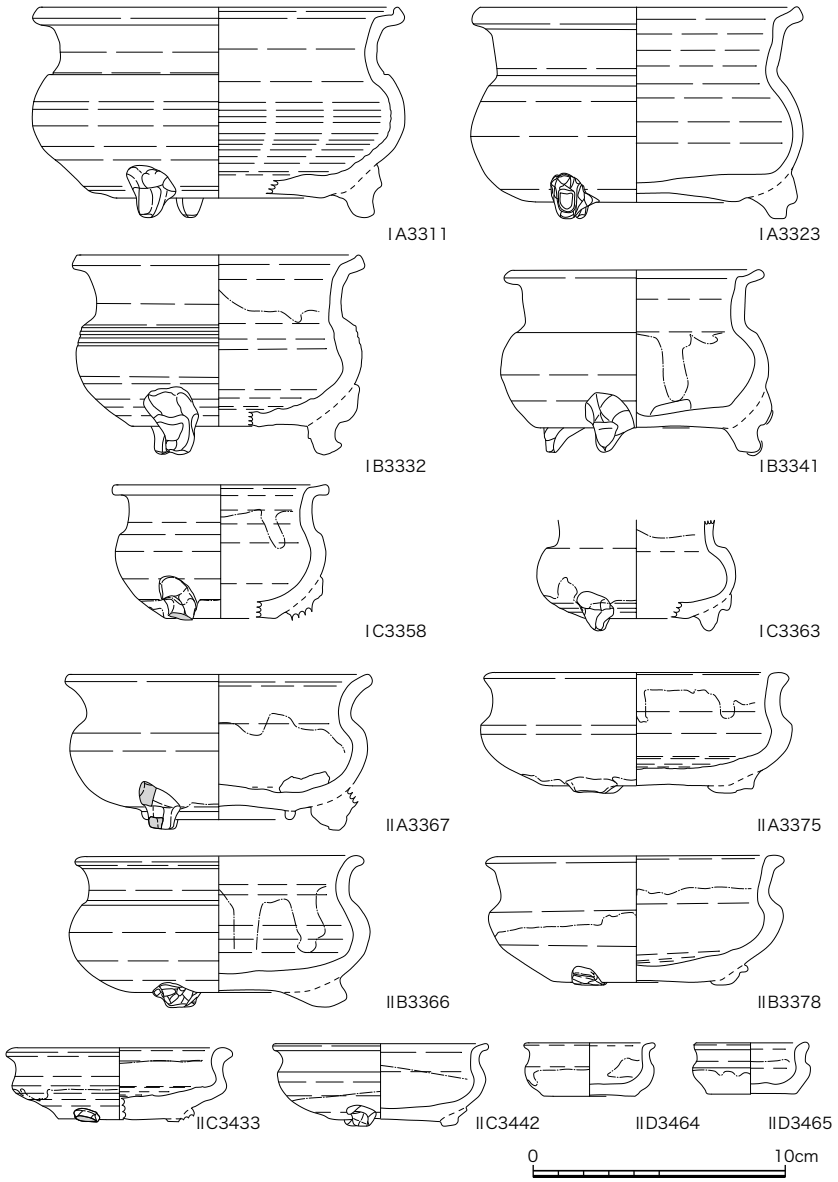
ⅢC類（第77図／3266～3269，3272，3273，3278～3291）小形のもので、最大胴径7㎝以下を測るもの

である。平底の脚台になるもの（3266～3269）も見られるが、多くは円筒形の裾広がりの脚台である。胴部が角張った形状を呈するもの（3273）もある。

46. 袴腰形香炉（第78図／図153～156：3308～3465／図版103～108）

体部下半が丸みを帯び膨らんだ深いもののⅠ類と、体部が偏平化し低くなったもののⅡ類が見られる。Ⅰ類とⅡ類を更に大きさにより、A、B、C、Dに4分類した。轆轤水挽き成形され、底部には回転糸切り痕が残り、三足が付く。三足の足の大きさも体部が偏平化し低くなったⅡ類は小形になる。一部に文様が施されているが、基本的には無文である。

Ⅰ類とした体部下半が丸みを帯び膨らんだ深い袴腰形香炉である。灰釉の施釉がほとんどである。



第78図　袴腰形香炉ⅠA～ⅠC類、ⅡA～ⅡD類実測図

ＩＡ類（第78図／3308～3325，3327～3329）大形のものは、口径が12cm以上を測るものである。体部下半が丸みを帯び深く、口頚部は外反気味に立ち上がり、折縁状の口縁となる。受け口状の口縁がほぼ水平で端部断面が三角を呈した隆帯となったもの（3311．3312）が見られる。口径の最大のもの（3308）は18.4cmを測り、体部と口頚部の外面には画花文が描かれ、口縁は細かい鬚となる。口径が違うが同様のもの（3309）もある。体部に三個一組の菊花文を貼付けたもの（3310）、１条の沈線が巡るもの（3320．3327．3328）などが見られる。

ＩＢ類（第78図／3326，3330～3351，3353～3357）中形のものは、口径が９cm以上を測るものである。受け口状でやや外反する口縁で端部断面が三角形を呈するもの（3332～3334．3336．3337．3342～3345）が見られる。体部上半の肩部に４から５条の沈線が巡るもの（3332～3335）と体部中央に２条の沈線が巡るもの（3331）がある。文様では菊花の印花が体部中央に見られるもの（3349）がある。底部に高台が付いたもの（3330．3331）、鉄釉が施釉されたもの（3340）が見られる。

ＩＣ類（第78図／3352，3358～3363）小形のものは、９cm以下を測るものである。

Ⅱ類とした体部が偏平化し低くなった袴腰形香炉で、頚部の幅が狭くなっている。灰釉が多いが鉄釉の施釉されたものも見られる。

ⅡＡ類（第78図／3367～3376，3380，3381）大形のものは、口径が12cm以上を測るもので、体部と頸部の境が明瞭な段となるもの（3372）も見られる。

ⅡＢ類（第78図／3364～3366，3373，3377～3379，3382～3416，3418，3420～3424，3426，3427）中形のものは口径が９cm以上を測るものである。体部と頸部の境が明瞭な段となり、底部も碁笥底となったもの（3388）も見られる。

ⅡＣ類（第78図／3417，3419，3425～3462）小形のものは口径が６cm以上を測るものである。

ⅡＤ類（第78図／3463～3465）極小形のものは口径が６cm以下を測るもので、三足が付かないもの（3464．3465）も見られる。

47．筒形香炉（第79図／図157～164：3466～3829／図版108～115）

体部がほぼ直立し、口縁端部が内側に挽きだしたような内湾する形状で、上面が平な口唇部となる。轆轤水挽き成形され底部には回転糸切り痕が残り、三足が付く。底部に高台の付くものも一部に見られる。大きさによりＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄに４分類した。

Ａ類（第79図／3466～3611，3625，3626，3628～3630，3633）

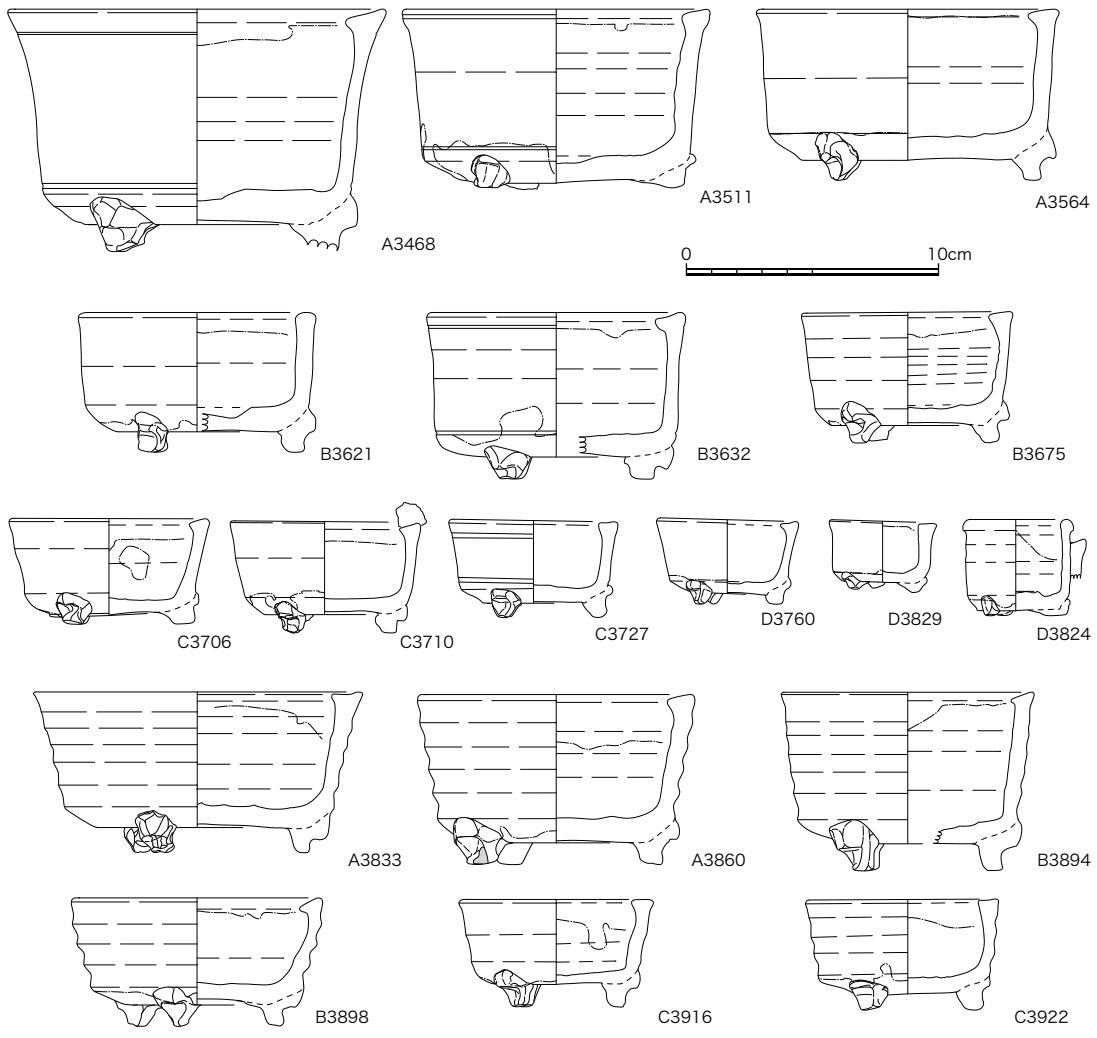
大形のものは、口径が10cm以上を測るもので三足の内側に高台が付いたもの（3466．3492．3510．3602～3611）と五足のもの（3593）も見られる。口縁直下と体部下端の、上下に１条づつの２条の沈線が巡るものがほとんどであるが、片方だけ口縁直下の１条のみのもの（3479．3577．3626）と、体部下端の１条のみのもの（3588．3569．3573．3594）があり、体部に３条の沈線が巡った（3505）もの４条の沈線が巡ったもの（3625）も見られる。この他に、体部に草文（3466）、蕨手文（3498．3499）、鏑文（3500～3502）、菊文の印花文（3503．3504）等の文様を施したものが見られる。また沈線を含め文様が全く施されない無文のものも比較的多く見られた。

Ｂ類（第79図／3612～3663，3665～3669，3672～3679，3681，3684～3686，3689，3690，3694，3698）

中形のものは、口径が8㎝以上を測るもので、沈線を含め文様が全く施されない無文のものがほとんどである。口縁直下と体部下端の上下に1条づつの2条の沈線が巡るもの（3632．3635．3644．3660．3698）や、片方だけの口縁直下の一条のみのもの（3627．3635．3636．3641．3651）が見られ、体部に鏑文（3614）と菊花文があり、菊花を口縁直下に貼付け、体部中央に菊花を5個集め五弁花とし、五弁花を3カ所?に貼付けたもの（3615～3617）がある。菊花文は内底面中央に、一つの印花が施されたもの（3618．3619）で筒形香炉の中でも内底面に文様の見られるものはこの2例のみである。

C類（第79図／3664，3670，3671，3680，3682，3683，3687，3688，3691～3693，3695～3697，3699～3741，3744，3745，3752，3754，3755，3758，3759）

小形のものは、口径が6㎝以上を測るもので、沈線を含め文様が全く施されない無文のものがほとんどである。口縁直下と体部下端の、上下に1条づつの2条の沈線が巡るもの（3699．3727）と菊花文があり、菊花を口縁直下に貼付け、体部中央に菊花を5個集め五弁花とし、五弁花を3カ所?に貼付けたもの（3700）がある。



第79図　筒形香炉A～D類、筒形香炉段付A～C類実測図

D類（第79図／3742，3743，3746～3751，3753，3756，3757，3760～3829）

極小形のものは、口径が6㎝以下を測るもので、最小の口径は3.7㎝（3824）を測る。香炉ではなく線香立てと言ってもいい大きさである。

48．筒形香炉段付（第79図／図165～167：3830～3923／図版115～117）

轆轤水挽きが強調されたもので、体部外面に段々が顕著な筒形香炉である。段々も密なものは六段、粗いものは三段で、文様が少ない筒形香炉のなかでは目立った一群である。

体部がほぼ直立し、口縁端部が内側に挽きだしたような内湾する形状で、上面が平な口唇部となる。底部には回転糸切り痕が残り、三足が付く。底部に高台の付くものも一部に見られる。

筒形香炉と同様に大きさによりA、B、Cに3分類した。

A類（第79図／3830～3893）大形のものは、口径が10㎝以上を測るもので底部に高台の付くもの（3835．3836）もある。口縁直下と体部下端の、上下に1条づつの2条の沈線が巡るもの（3847．3848）が見られるが、段々が顕著で筒形香炉のAに分類してもいいものでもある。

B類（第79図／3894～3915，3919～3921）中形のものは、口径が8㎝以上を測るものである。

C類（第79図／3916～3918，3922，3923）小形のものは、口径が6㎝以上を測るものである。

49．仏供（第81図／図168：3924～3973／図版117・118）

小杯に裾広がりの短い脚台がつけられた仏餉器で、轆轤水挽き成形され、小杯部は底部から直線的に立ち上がり、口縁端部が尖ったもの（3924～3927）と底部から丸みを持ち垂直気味に立ち上がり、口縁端部が平になる、裾広がりの脚部の底径が5.9㎝以上を測るもの（3958～3966）である。ほとんどが灰釉を施す製品であるが鉄釉製品も見られる。最小のもの（3973）は口径5.1㎝、底径3.2㎝、器高2.6㎝を測る。

50．燭台（第81図／図169～171：3974～4045／図版118～123）

全体の形のわかるものはなく、小皿と受け皿のついた上半部と高い脚部の下半部が見られる。頂部の小皿（3974．3975．3982～3988）の内面底部中央には上から下への孔が穿たれ、小皿の口縁が欠損したもの（3998～4002）にも同様な孔が見られることから、頂部の小皿の部分と思われる。小皿中央を支柱の筒が貫通しているもの（3974～3981．3989～3997．4003～4017）は受け皿の部分である。高い裾広がりの脚部のもの（4019～4025．4037～4040）と碗を伏せたような丸みを帯びた裾広がりの脚部のもの（4004．4005．4028．4034～4036．4041～4045）がある。文様は小皿と受け皿の間の中空の支柱や脚部に見られ、沈線が多いが、櫛描波状文（4029．4041）や、沈線による格子目文と刻みのある隆帯が組合わさったもの（4034）、丸彫りの鎬文（4026～4028）等が見られる。小皿と受け皿の間に1条づつ（3993．3996．3998．3999．4007．）と2条を一単位とする（4009．4010．4030）沈線が、受け皿下の脚部にも1条（4005．4015．4044）と2条を一単位とする沈線（3994．4009～4013．4017．4020．4037～4039．4042．4043）が見られ、3条以上の沈線（4035．4036．4040）もある。受け皿の内面に支柱を巡る1条の沈線による波状文が見られるもの（3991）もある。丸彫りの鎬文の脚台（4028）は灰釉に鉄釉が施された二重掛けとなっている。

51．瓶子（第80図／図172～179：4046～4183／図版123～128）

Ⅰ類、Ⅱ類、Ⅲ類の３類に分類した。やや裾広がりの底部の締腰型瓶子のⅠ類と、直腰型の梅瓶の瓶子Ⅱ類と、締腰型の瓶子で裾広がりの高脚となつた根来型瓶子のⅢ類が見られる。

Ⅰ類（第80図／4046～4049）は、締腰型瓶子で丸い胴部から腰部でくびれ、やや裾広がりの底部を持つ。丸みを帯びた胴部には、櫛描沈線が巡るもの（4046．4047）が見られ、上段、中段、下段に櫛描沈線が巡ったもの（4046）もある。

Ⅱ類（第80図／4050～4131）は、直腰型瓶子で、口頚部が直立したもの（4053～4060．4063～4066．4073～4075．4082．4084．4086．4087．4090）と内傾したもの（4051．4052．4061．4062．4067）が見られ、口頚部外面中央に突帯のある梅瓶である。胴部上半には、櫛描沈線が巡っており、櫛描波状文（4051～4053．4055．4101～4107．4115.）、箆描の葉文（4093）・貼付の牡丹文（4097～4100）、印花文の菊花（4094～4096）・梅花（4096）と組合わさっている。他に魚文（4092）・『～』を縦にし７列巡ったもの（4091）等の文様が巡っている。口頸部と胴部の接合部分が突帯となり、突帯に沈線（4107）、格子（4108）の文様が刻まれている。口縁端部が三角状になったもの（4050）や胴部が細く紐輪積み整形のもの（4125）も見られる。紐輪積み整形は内面のでこぼこが顕著であるのに対し、轆轤水挽き整形はでこぼこも少なくなだらかで器厚も一定している。

Ⅲ類（第80図／4132～4183）は、締腰型瓶子で裾広がりの高脚となつた根来型瓶子のⅢ類が見られる。口縁端部が玉縁状になったものが多く見られるが、玉縁状にならないもの（4138．4146．4147．4155）もある。胴部上半には２条（4132．4135．4139．4143．4144）等の沈線が巡り、口頸部と胴部の接合部分の突帯に沈線が刻まれたもの（4138）や、菊花の印花文が肩部に見られるもの（4149）、胴部全体に沈線が巡る千条文が見られるもの（4158．4159）がある。裾広がりの高脚ばかりではなく、脚部が低いもの（4181～4183）もある。

52．広口瓶子（図180：4188～4190，4209／図版128）

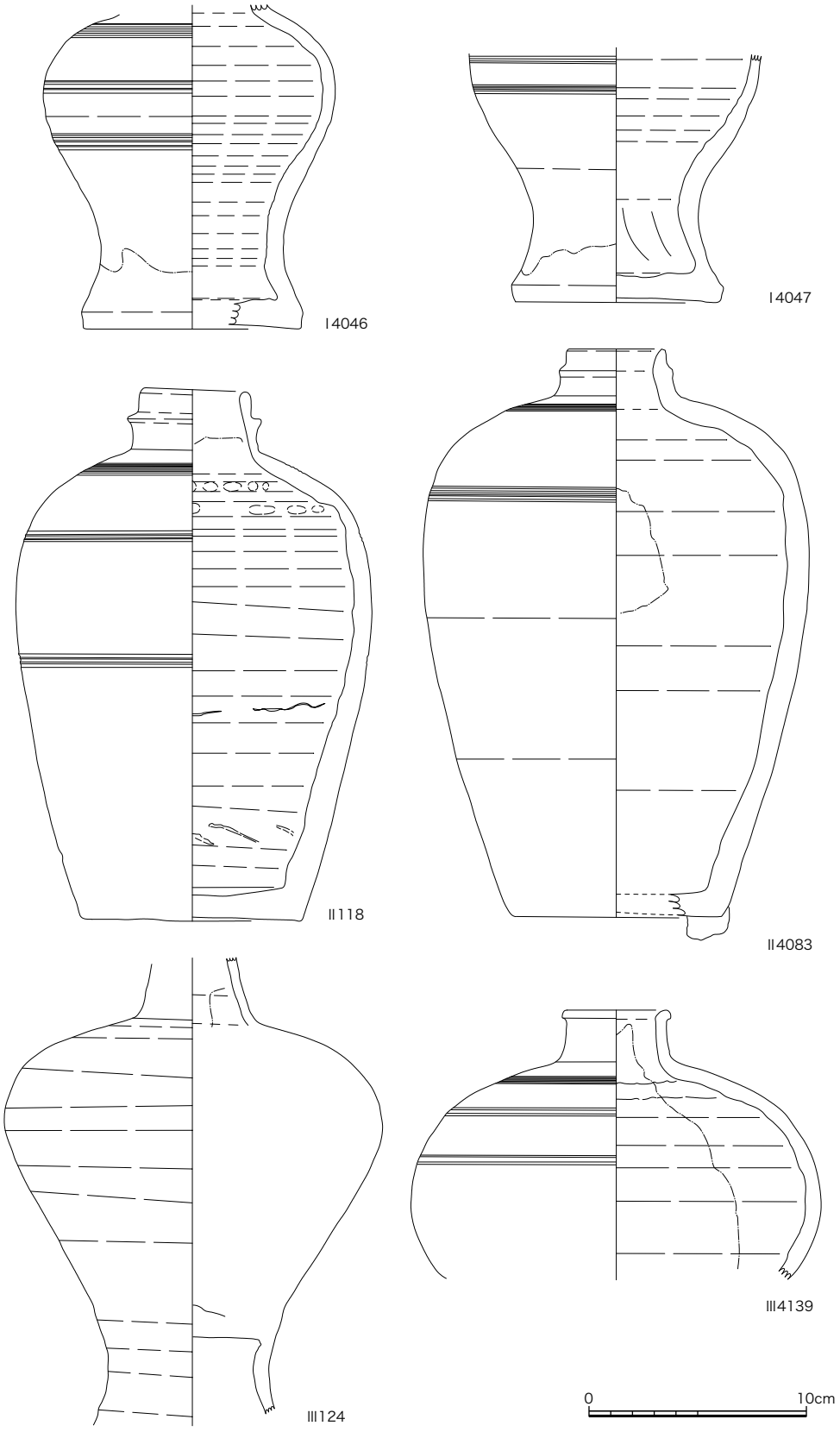
口縁が受け口状にならず片口が付かないことから瓶子とした。口縁が外反し櫛描沈線が巡るもの（4188）、口縁端部上面が平になるもの（4189）、口縁が幅広い玉縁状となったもの（4190）、肩部に櫛描沈線が巡り内斜した口縁のもの（4209）が見られる。

53．片口広口壺（第81図／図180：4184～4187，4191～4208／図版128）

四耳壺の口縁によく似た、玉縁状の口縁に、片口の付いたもの（4184～4187）と受け口状口縁に片口の付いたもの（4191～4206）である。一部に櫛描き沈線が巡るもの（4184～4186．4188．4208．4209）や１条と２条の沈線（4191～4193）、波状文（4187）が巡ったものが見られる。

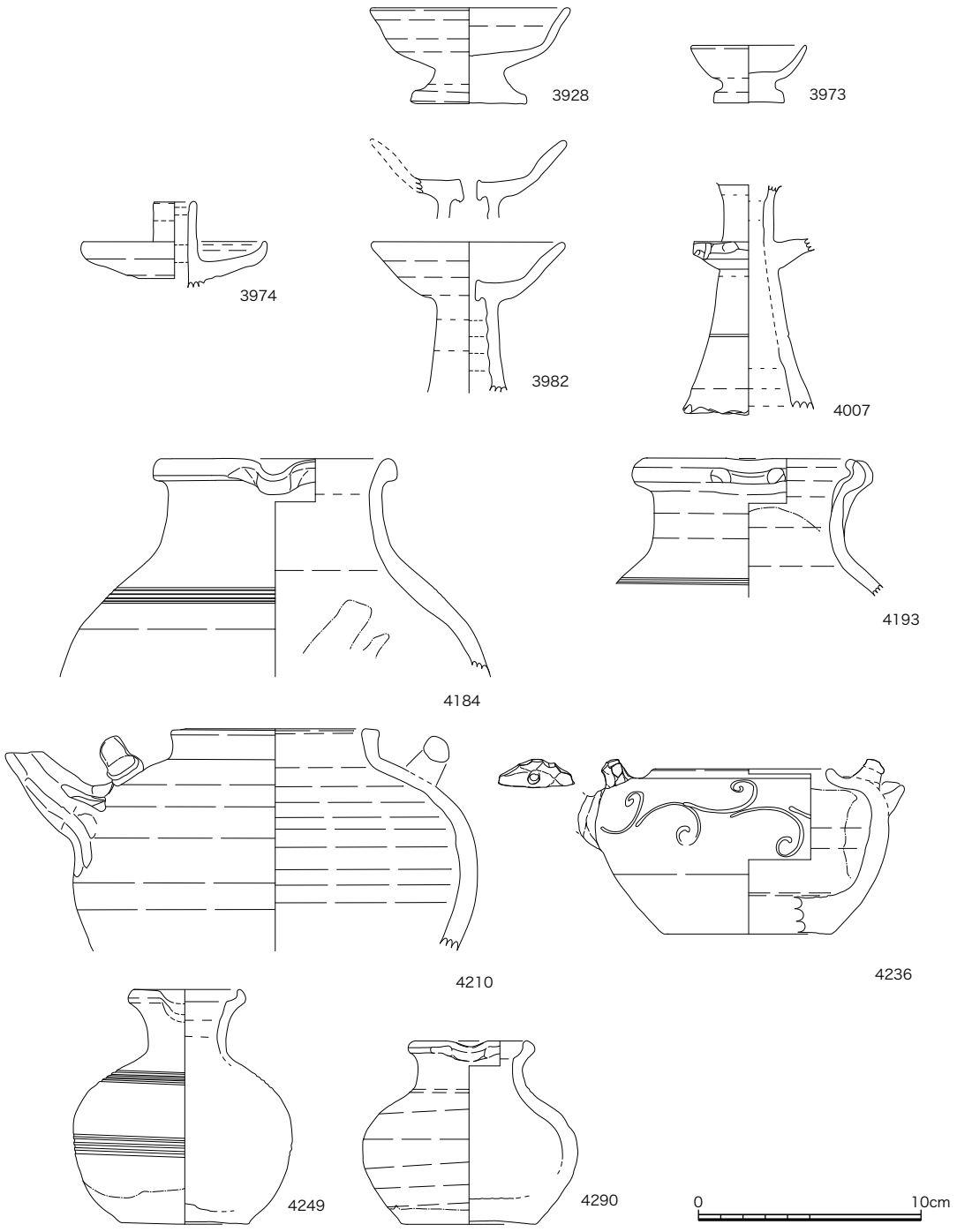
54．土瓶（第81図／図181・182：4210～4245／図版128・129）

土瓶型水注。直立する短頚の口縁をもつもの（4210～4218．4225．4226～4229）、頸部がほとんどみられず、球状の胴部上端がそのまま口縁となり、内斜したもの（4219．4230．4231～4234．4238．4240～4242）と立ち上がったもの（4235．4239）が見られる。耳は粘土紐をそのまま貼付けたもの（4210．



第 80 図　瓶子Ⅰ～Ⅲ類実測図

4212. 4213. 4224）と捻り耳のもの（4225. 4237～4240）と板状の台形のもの（4232. 4236. 4241. 4242）とが見られる。耳の両端には飾りであろうか、簿状小円版が貼付けられたもの（4210. 4237. 4239）もみられる。耳の下には火除けのためのカバー、片口状のものと板状のもの（4211. 4213. 4232. 4236. 4239. 4240～4242）が見られる。注口の周りには刻み目のあるもの（4223）と花弁にしたもの（4238）がある。胴部に蕨手の沈線が巡るもの（4236）も見られる。



第 81 図　仏供、燭台、片口広口壺、土瓶、片口小壺実測図

55. 片口小壺（第81図／図183・184：4246～4295／図版129）

口縁部に片口のついた小壺で、球形状の丸い胴部である。受け口状の口縁が多く見られるが、受け口までには至らない外反した口縁のもの（4252. 4256. 4293）も見られる。櫛描沈線や2条と3条の沈線が巡るもの（4246～4265. 4269）と把手の付いたもの（4291）が見られる。

56. 水注（第82図／図185～188：4296～4387／図版129～132）

胴部の形状によりⅠ類、Ⅱ類、Ⅲ類、Ⅳ類の4類に分類した。Ⅰ類は胴部が長胴になったもの、Ⅱ類は胴部が球形になったもの、Ⅲ類は口径が胴部の最大径と同じ、筒状のもの、Ⅳ類は小形の水注Aと呼ばれるものである。いずれも轆轤水挽き成形による。

Ⅰ類（第82図／4296～4335）口縁が受け口状で、長胴を呈した胴部上半の肩部に注口と把手の付いたものである。注口部先端まで残存するものが少ないが、注口が外反するもの（4310. 4311）である。胴部には櫛描き沈線が巡ったものや無文のものが多く見られるが、口頚部に3条、2条の沈線が巡った頚部のやや長いもの（4306. 4330）もある。

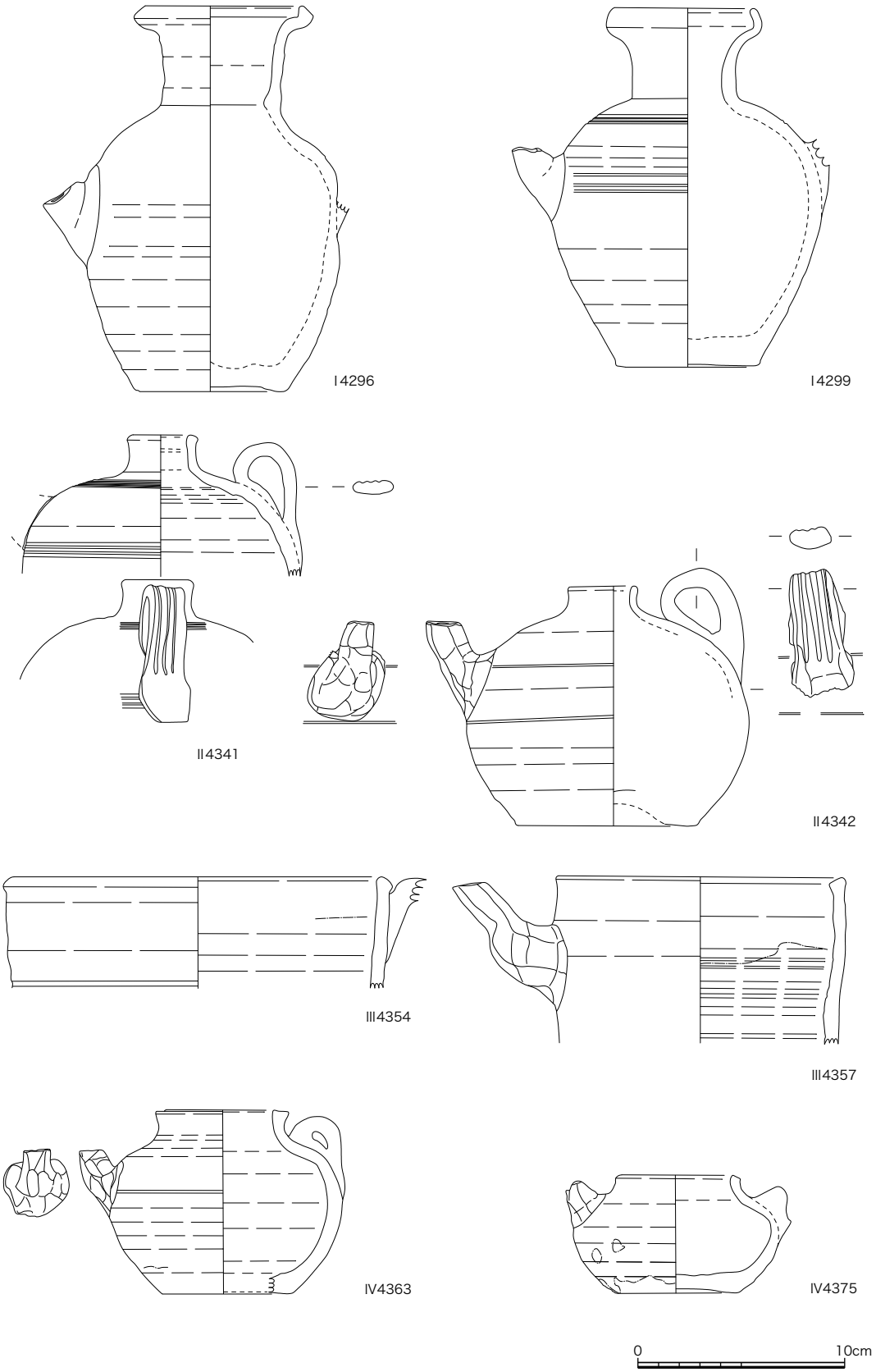
Ⅱ類（第82図／4336～4353）口窄まりの短い口頚部と球形の胴部、胴部上半の肩部に注口と把手が付いたものである。胴部には櫛描き沈線や、篦描きの蕨手文（4352）・菊花文（4351）、印花の菊花文（4353）等が見られる。

Ⅲ類（第82図／4354～4357）筒状のほぼ直立した形状のもので、口縁端部が玉縁状のもの（4354～4356）と内斜したもの（4357）がある。

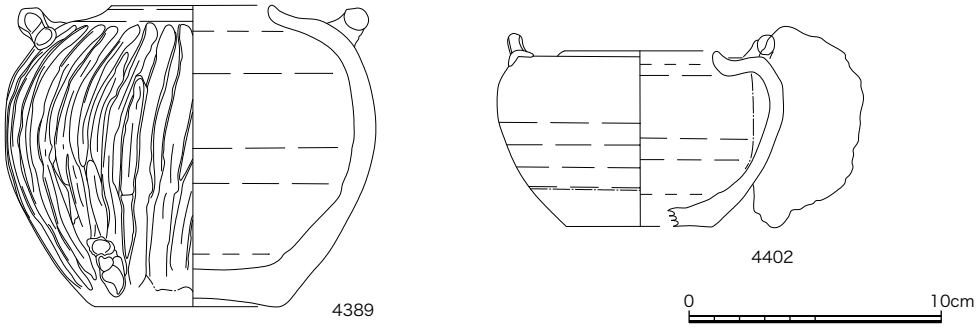
Ⅳ類（第82図／4358～4387）Ⅰ類、Ⅱ類、Ⅲ類に比べ小形のもので注ぎ口も短く水注Aである。短頚のものとそれよりやや長い頚のもの（4372. 4373）が見られる。短頚のものは口縁端部が平なもの（4359～4361. 4363～4366. 4374. 4377～4379. 4381～4383）で平な端部の中央がやや窪んだ幅広のもの（4363）や丸みを帯びた端部のもの（4362. 4367. 4368. 4371～4373. 4375. 4376. 4380. 4385. 4386）が見られる。胴部には1条から3条の沈線（4358～4361. 4363. 4366～4368. 4373. 4374）や櫛描き波状文（4384）が巡るものがある。注口（4380）と把手（4364）の接着部分に沈線による刻みの施されたものが見られる。把手も粘土紐をつぶして偏平にしたものを貼付けたもの（4365. 4375. 4378. 4379）もある。

57. 双耳小壺（第83図／図189：4388～4417／図版132・133）

短い口頚部を持つものと口頚部がほとんどない形状のもので双耳の付いた小壺である。耳が付いていなければ、鉄釉が施釉されたもの（4407. 4409. 4415）は大海茶入れとするものである。双耳の両端に簿状の小円板が貼付けられたもの（4389～4397. 4399. 4400. 4404. 4412）も見られる。口頚部がほとんどないもの（4388～4391. 4401～4411. 4414. 4416. 4417）の中に、篦による沈線が上下に施されたもの（4388）と、丸彫りによる沈線が上下に施されたもの（4389. 4390）や、櫛描き波状文が巡るもの（4391）が見られる。口頚部の形状に関わらず、胴部中央には1条の沈線が巡るもの（4391. 4393. 4395. 4397. 4400. 4406～4410. 4413. 4415）が見られ、双耳も丸紐状のみではなく、粘土塊状の耳を付けたもの（4416. 4417）がある。



第 82 図　水注 I ～IV類実測図



第 83 図　双耳小壺実測図

58. 筒形容器（第84図／図190～192：4418～4471／図版133～135）

円筒形の体部で体部中央がやや細くなり 1 条の沈線が巡り、口縁が外反し開くものⅠ類と円筒形のまま直立し口縁となるものⅡ類が見られる。灰釉が施釉されたものがほとんどであるが、Ⅰ類の一部に鉄釉の施釉されたものも見られる。

Ⅰ類（第84図／4418～4456）体部中央がやや細く口縁が外反し開いたものと底部付近が突帯となったもの（4418～4426）がある。角ばった突帯（4418～4420）と丸みを帯びた突帯（4421～4426）が見られる。轆轤水挽き成形で、底部は轆轤回転篦削り整形による、削りだし輪高台の低いものががほとんどであるが、付け高台のもの（4421. 4432）も見られる。体部中央に胴紐の 1 条の沈線が巡るものが多いが、胴紐が 2 条の沈線のもの（4448）もある。中央に 2 条とその上に 1 条の沈線が巡るもの（4434）と胴紐の 1 条の沈線は同じであるが口縁下に 1 条（4447）と 3 条（4446）の沈線が巡るものもある。灰釉製品がほとんどを占めるが鉄釉を施釉したもの（4427～4432)も一部にある。

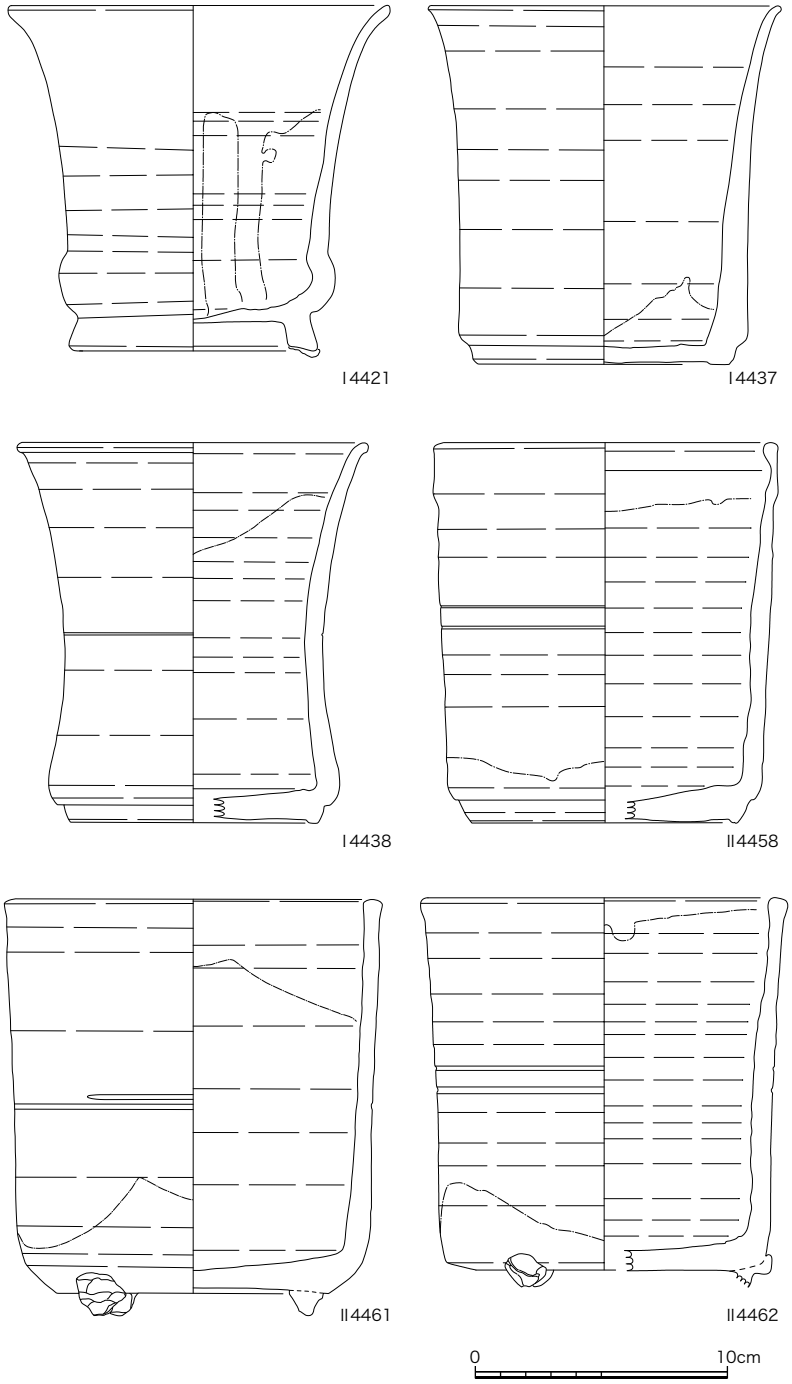
Ⅱ類（第84図／4457～4471）円筒形の直立した体部で轆轤水挽き成形され、直立した口縁端部が、平で内斜したもの（4459. 4460. 4463. 4467）と丸いもの（4458. 4466. 4468. 4471）と平で丸みを帯びたもの（4461. 4462. 4464. 4465）がある。下半部から底面を轆轤回転篦削り整形が施され、三足が付いたものが多いが、削りだし輪高台（4457. 4458）も見られる。体部中央には 2 条の沈線の巡るもの（4457. 4458. 4460～4464. 4470. 4471)が多いが、沈線のないもの(4466)、3 条の沈線(4467)、4 条の沈線(4468)、体部中央に沈線はなく上半に 4 条と下半に 3 条の沈線のあるもの（4459)、口縁直下に 1 条、中央に 2 条、下半に 1 条と 4 条の沈線のあるもの（4465）が見られる。

59. 桶（第85図／図193～195：4472～4505／図版135）

円筒形の直立した体部で轆轤水挽き成形され、下半部から底面を轆轤回転篦削り整形が施される。三足が付いたもので、形状的には筒形容器Ⅱ類を大形にしたものである。直立した口縁端部が平で、内斜したもの（4473. 4475. 4476～4478. 4480. 4482. 4483. 4486. 4487. 4492. 4495. 4496. 4498）と丸いもの（4472. 4474. 4479. 4481. 4484. 4485. 4493. 4494. 4497）がある。体部中央には 1 条の沈線（4473. 4476. 4493）と 2 条の沈線（4474）が、口縁付近に 1 条の沈線（4486. 4496)、底部付近に 1 条の沈線（4477. 4505）等の篦描き沈線が巡る。器高が12㎝の低いもの（4498）や四足のもの（4499）が見られる。

60. 受け付き桶（第86図／図196：4506／図版135）

円筒形で直立した体部、やや開き気味の口縁で、口縁端部の両端が内外面に引き出された口縁、内面には 4 カ所に板状の受けが見られる桶で三足が付く。轆轤水挽き成形され、下半部から底面を轆轤回転篦削り整形が施される。内面に受けがあり、用途不明な器種である。内外面に赤味を帯びた鉄釉が施釉される。



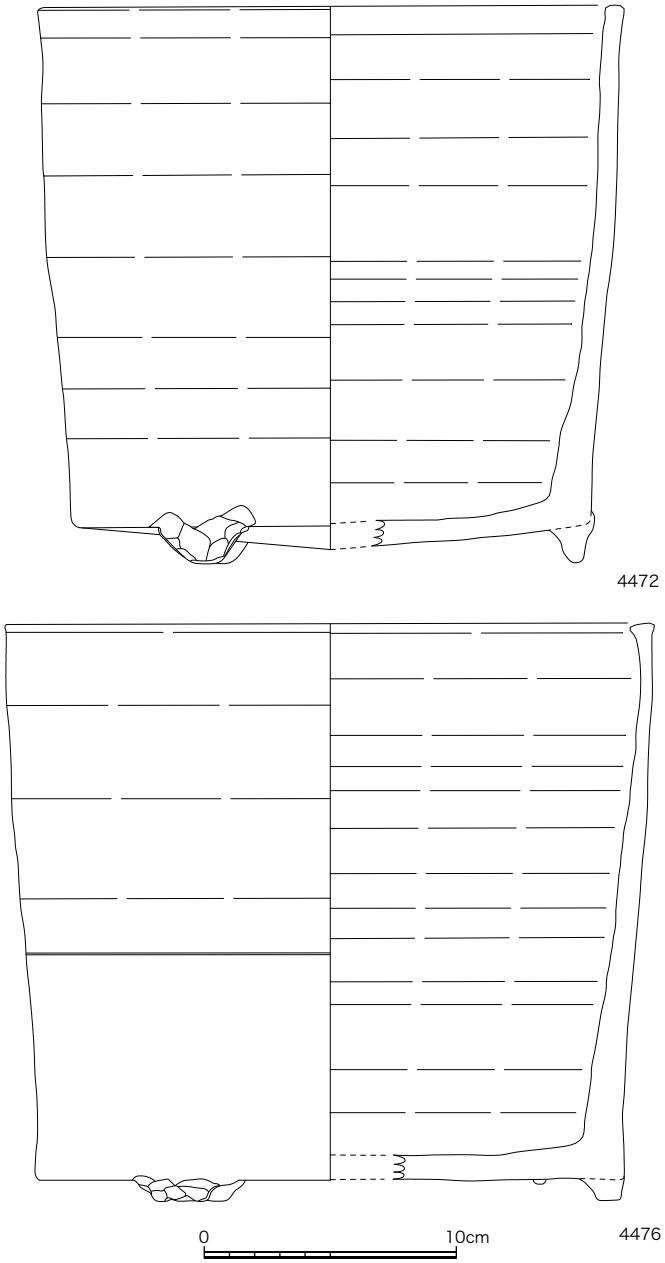
第 84 図　筒形容器Ⅰ・Ⅱ類実測図

61. 風呂（第87図／図196・197：4507～4509／図版135・136）

3個体あり、内湾した体部そのままに口縁になるもの（4507. 4508）と短頚の口縁のもの（4509）がある。体部には眼鏡状と丸い窓が設けられている。いずれも鉄釉が施されている。

体部中央に2条の断面三角形の隆帯があり隆帯上段には径1㎝～1.2㎝の菊花文が貼付けられ、下段には径9㎜の丸い撮座がそれぞれ巡っており、隆帯の上下に草葉文が描かれたもの（4507）で内面にも鉄釉が施されているが上部になるほど露胎部分が多くなる。

内湾した体部の上半と底部周辺に2条の断面三角形の隆帯があり、隆帯と隆帯の間には撮座が巡ってい



第85図　桶実測図

るもの（4508）で眼鏡状と丸い窓が設けられたものある。

短頸の口縁で、体部上半に2条の隆帯があり、断面三角径の隆帯と隆帯の間には擬座が5個を一単位として間隔をおいて巡るもの（4509）である。体部下半には1条の隆帯と隆帯の上位には2個を一単位とする擬座が巡り、窓も三つ葉状のものである。

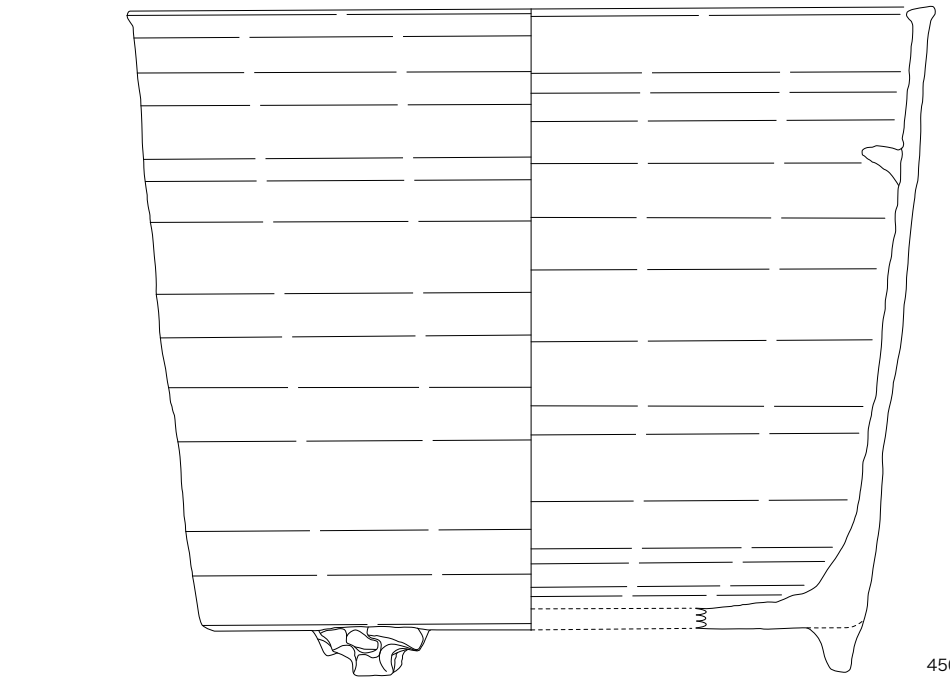
62．花盆（第88図～第90図／図198～203：4510～4557／図版135～138）

底部に穿孔があり、下膨れした体部下半、大きく開いた口頸部を持った花盆である。底部に三足が付くが、輪高台のもの（4541～4544）も見られる。口縁は欠損したものが多くはっきりしないが、折縁で口縁端部が尖り気味のもの（4526．4527）、外反し口縁端部が尖ったもの（4541）、襞の付いた口縁のもの（4529．4532～4539．4545．4547．4548．4557）が見られる。体部は丸みを帯びたものが多く見られ、大きさによりA類B類C類の3類に分けた。

花盆A類（第88図／4510～4518）大型のもので、体部と頸部に文様のあるもの（4510．4512．4513）とないもの（4511．4514～4518）がある。施釉は外面は足の位置までで、足は全体ではなく表面のみ、内面は頸部までであるが、内面底部付近まで流れるものも見られる。

頸部文様が4段に描かれたもの（4510）で、篦による小判状の細長い楕円が密に2段と1段に描き並べられ、細長い楕円の中には縦に1条の沈線が引かれ、下から2段目では、菊花の印花文が3個をまとめ花文とし、その周りには枝であろうか「し」を横にしたような沈線が見られる。

菊花文を貼付けた頸部文様の3段のもの（4512）で、1段と3段は菊花が3個横並びで一組とし間隔を

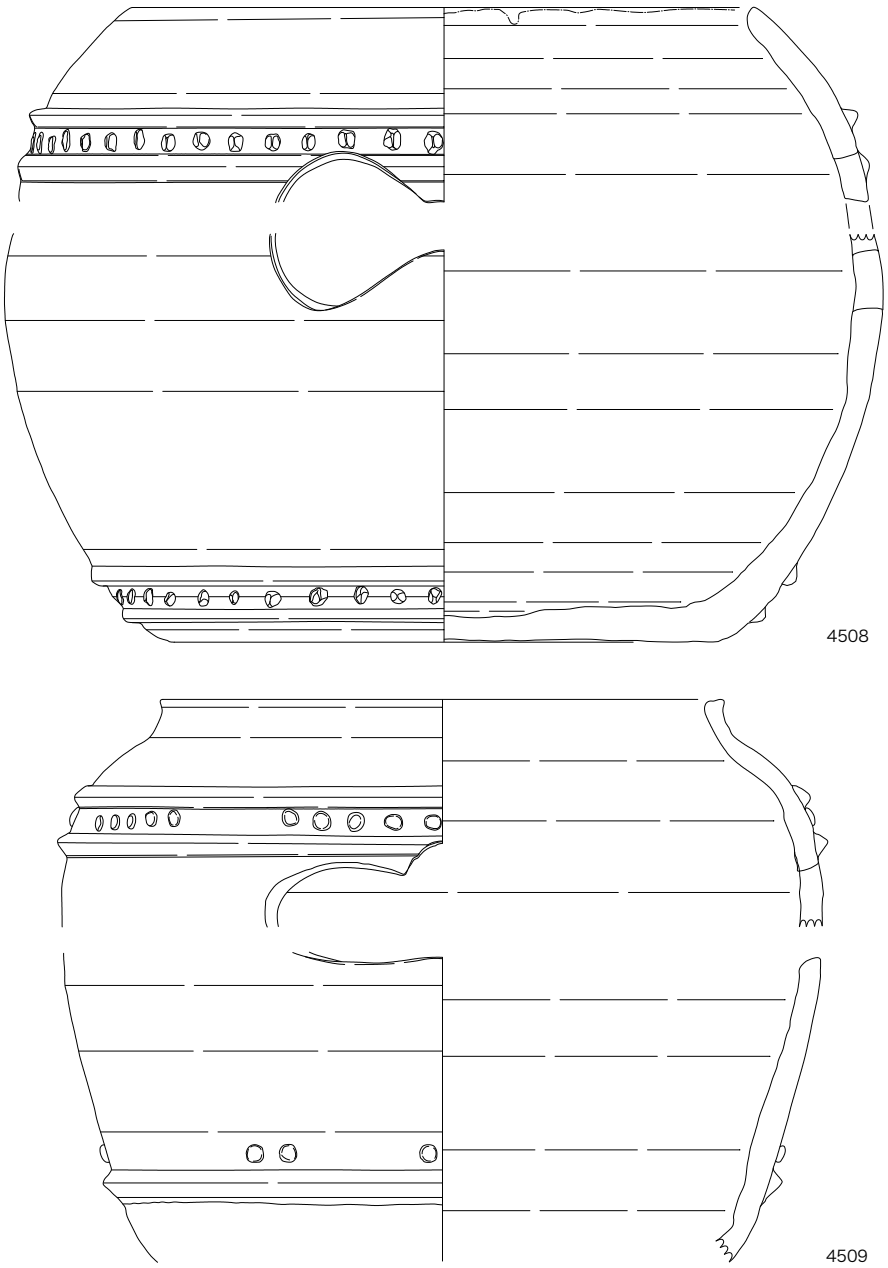


第86図　受け付き桶実測図

おきながら、2段めでは六弁の菊花なのか7個まとめ一組とした菊花文が等間隔で巡っている。2段めの菊花文の釉が他に比べ濃く施され黄色味を帯びた濃緑色を呈し、内面には幾筋もの灰釉が流下し、素地の部分はない。

鉄釉が施釉され、頸部に刻みの隆帯があるもの（4513）で隆帯の上位には3個横並び一組の菊花が等間隔で貼付けられ、下位には六弁の菊花なのか7個まとめて一組とした菊花文が等間隔で貼付けられており体部には篦による草葉文が巡っている。底部は篦削り成形が施される。

三足の足の両側に三角状の板が飾りとして付けられ、横に広がった足に見える。内底面は素地、外底面

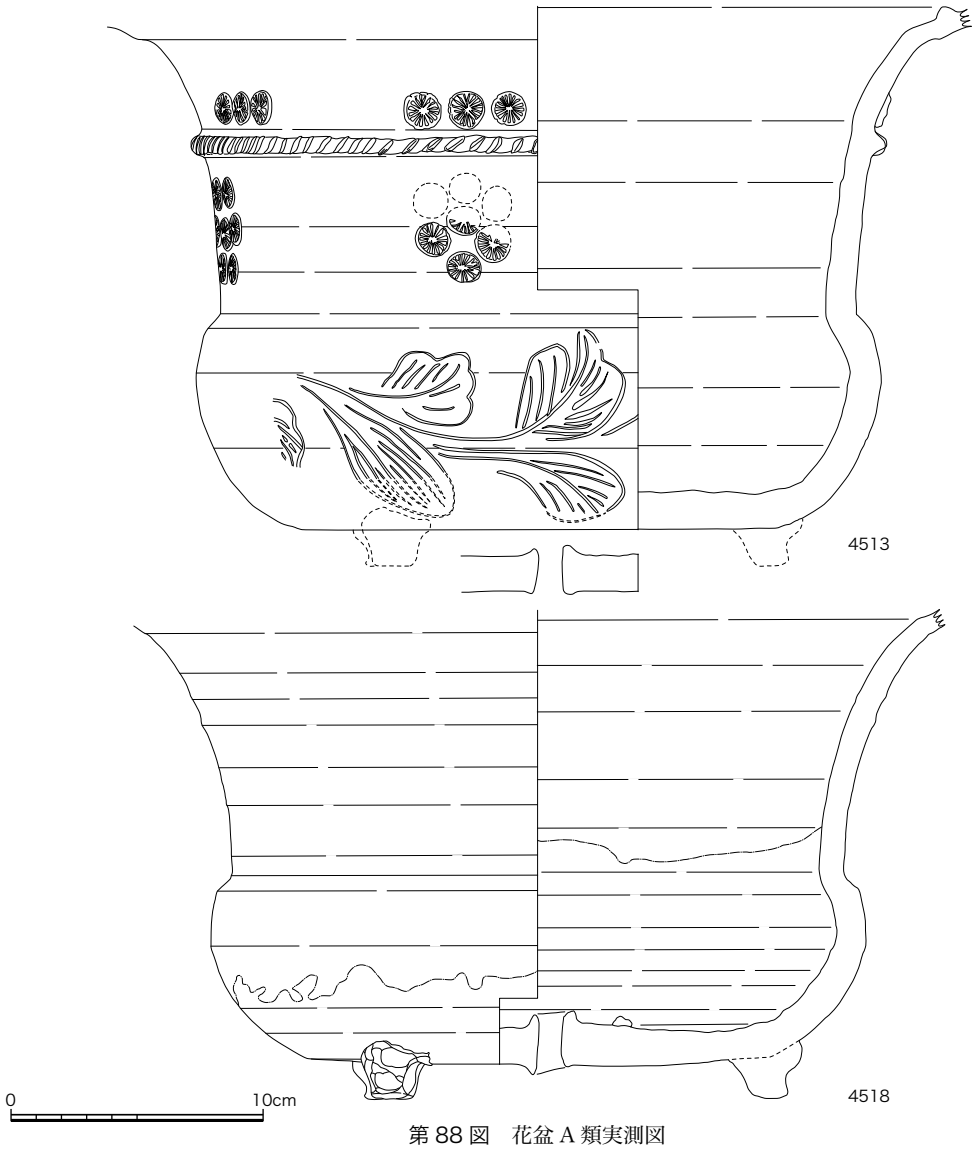


第87図　風炉実測図

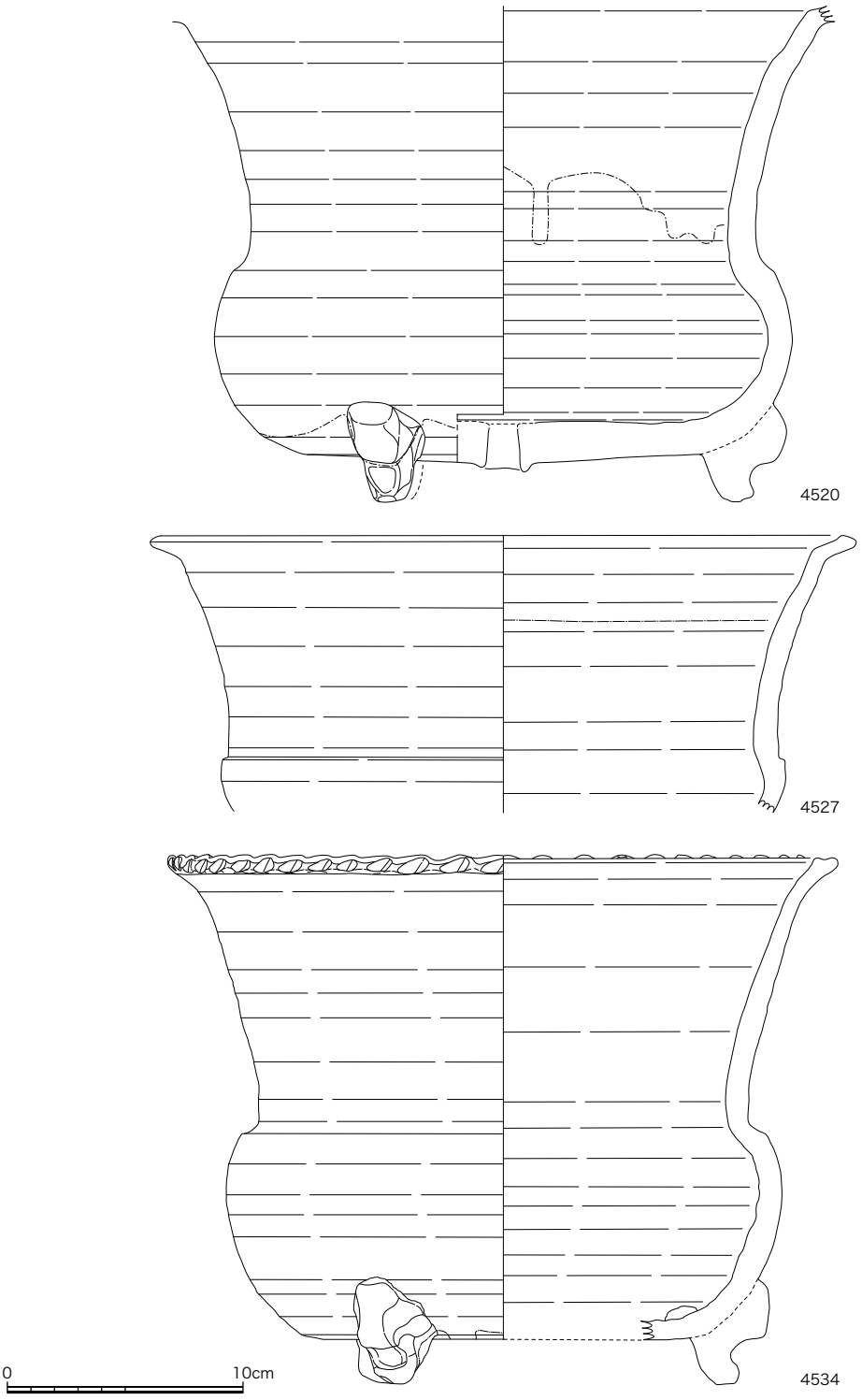
は篦削り成形され素地（4511）である。外面は足が付けられた位置まで篦削り成形が施されており、外面底部中央には卸皿の口縁が付着している。

文様のないもの（4511．4514～4518）では、外面の篦削り成形が、足の上で体部中程まで見られるもの（4514）もあるが、足の付けられた位置までが篦削り成形の範囲である。足付近に施釉の時に着いた三本指の鉄釉痕が見られるもの（4518）があり、内面底部外よりには窯塵が、底部外面の穿孔部分付近のみには灰釉が塗られている。また篦削り成形が体部上半まで施されたもの（4517）もある。

花盆B類（第89図／4519～4534）中型のもので、無文で口縁形態が折縁で口縁端部が尖り気味のもの（4526．4527）と口縁に鍔の付いたもの（4529．4532～4534）がある。篦削り成形は底部から足付近まで施され、施釉も足付近までである。足は全面ではなく表面のみで、内面は頚部まで施釉される。鉄釉が施



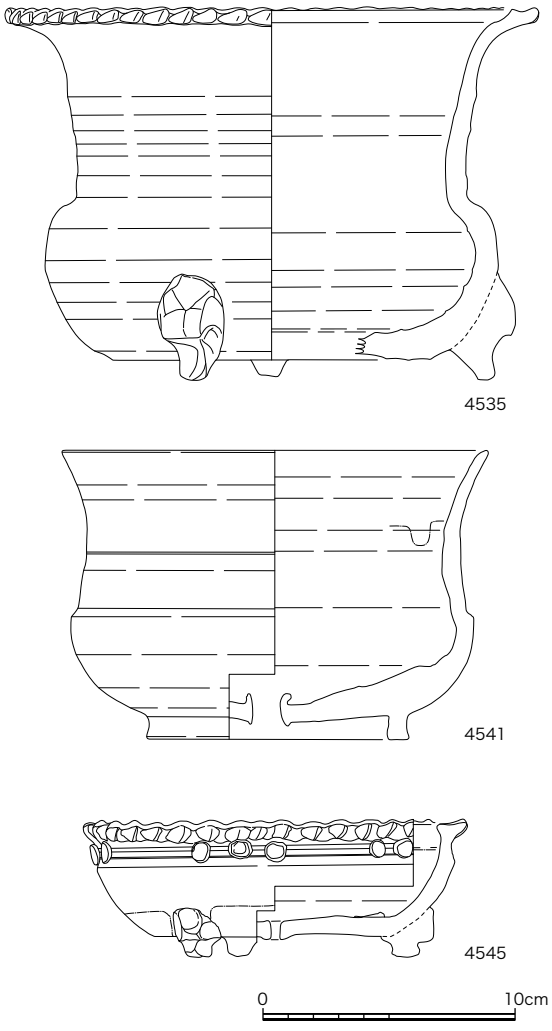
第 88 図　花盆 A 類実測図



第 89 図　花盆 B 類実測図

釉されたもの（4519. 4529. 4530）や、灰釉が白濁化し剥落して素地になったもの（4523. 4524. 4526. 4527）が見られる。底部外面中心の底部穿孔付近に糸切り痕の残るもの（4525）が見られ、糸切り後の箆削り成形が確認できた。擂鉢と同じ鉄釉のものは同一個体と思われ（4529～4531）、内面底部（4531）には釉が滴状に点々と見られる。内側の口縁部分に窯塵が付着したもの（4532）、釉が白濁化し剥落気味のもの（4533）、内外底部以外の全面に濃緑色の灰釉が施釉されたもの（4534）等が見られる。

花盆C類（第90図／4535～4557）小形で、鍔の付いた口縁（4535～4539. 4545. 4547. 4548. 4557）と、鍔のない口縁（4541. 4546）で、体部と頸部の区別が難しい筒形容器に似た形状の外反した口縁端部が尖ったもの（4541）と頚部から直角に曲がった折縁口縁の袴腰香炉を大型化したようもの（4546）がある。三足のつくものと高台のものがあり、高台も付け高台（4541. 4542. 4557）と削り出し高台（4543. 4544）が見られ、付け高台の内底面は深く窪んでいる。足は全体ではなく外側の表面のみ施釉される。外面底部に糸切り痕の残るもの（4535. 4544. 4545. 4549. 4550. 4553. 4554. 4556. 4557）がある。頸部



第 90 図　花盆 C 類実測図

に１条の沈線が巡りその沈線上に擂座が巡るもの（4537．4538）があり、６個一組の３ヶ所（4537）と思われる。２条の沈線の間に擂座が巡るもの（4536）は５個一組で４ヶ所か、２条の沈線の上に３個一組と２個一組の擂座が各２ヶ所に計４カ所見られるもの（4545）もある。擂座は平らな円板状のものである。釉が剥落したのか全面素地のもの（4552）や釉が丁寧に塗られ外面底部の三足を含んだ所まで全面に施釉されたもの（4554）がある。篦削り成形は底部から足付近まで施される。施釉は外面では足付近まで、内面は頚部までと内底面付近までがの２通りが見られる。

襞のついた口縁で底部外面全体に糸切り痕が残ったもの（4535）は、篦削りが体部上半の肩部付近まで施され、施釉は外面が底部以外の足の裏側も含む全面で、内面は底部付近まで施されている。

63．茶入（第91図／図204・205：4558～4627／図版139・141）

肩衝、尻膨、文琳、擂座、大海の５種類が見られた。轆轤水挽き成形の薄造りで、小破片ばかりである。底部から口縁まで復元できたものは擂座茶入の２例（4595．4599）のみであった。

肩衝（第91図／4558～4578）は短頚で肩の張った幅の狭いやや丸みを帯びた肩衝で、長胴形の胴部中央に１条の沈線の胴紐が施されたもの（4558～4560）も見られる。底部には糸切り痕が残る。

尻膨（第91図／4579～4582）は短頚で肩の張った幅の狭い肩衝で尻膨のもので、胴部中央に１条の沈線と２条の沈線（4582）の胴紐が施されている。

文琳（第91図／4583～4591）は短頚で肩の張った幅の狭い肩衝で丸みのあるもので、胴部中央に１条の沈線（胴紐）が施されたもの（4585．4586．4588）もある。底部には糸切り痕が残る。

擂座（第91図／4592～4608）は頚部に粘土塊をつまんで貼付けたもの、擂座である。先端が尖った断面が三角状のものがほとんどであるが、平な円板状のもの（4599）も見られる。頸部に巡る１条の沈線上に擂座が付いたもの（4592．4593．4595．4596．4600．4603．4606．4608）と、２条の沈線上に擂座が付いたもの（4597．4598）、沈線のないもの（4599．4607）がある。櫛目波状文は細かいもの（4592～4595）と粗いもの（4599～4601）がある。篦による縦の沈線文は単線のもの（4596．4597）と方向をかえ二重に重ねた籠状のもの（4598）がある。千条文の沈線も篦によるもの（4602．4605．4606）と櫛目によるもの（4603．4604．4607．4608）があり、櫛目波状文が肩部に見られるもの（4605）がある。

大海（第91図／4609～4627）口径が大きく、頸部が短いものが多く見られるが、長いもの（4618．4619）もある。１条の沈線の胴紐が見られるもの（4614．4616．4617．4619～4621．4624．4626）があり、幅広い肩衝のもの（4619）もある。底部には糸切り痕が残る。器厚が1.5㎜前後を測る薄造りのもの（4622～4624）も見られる。

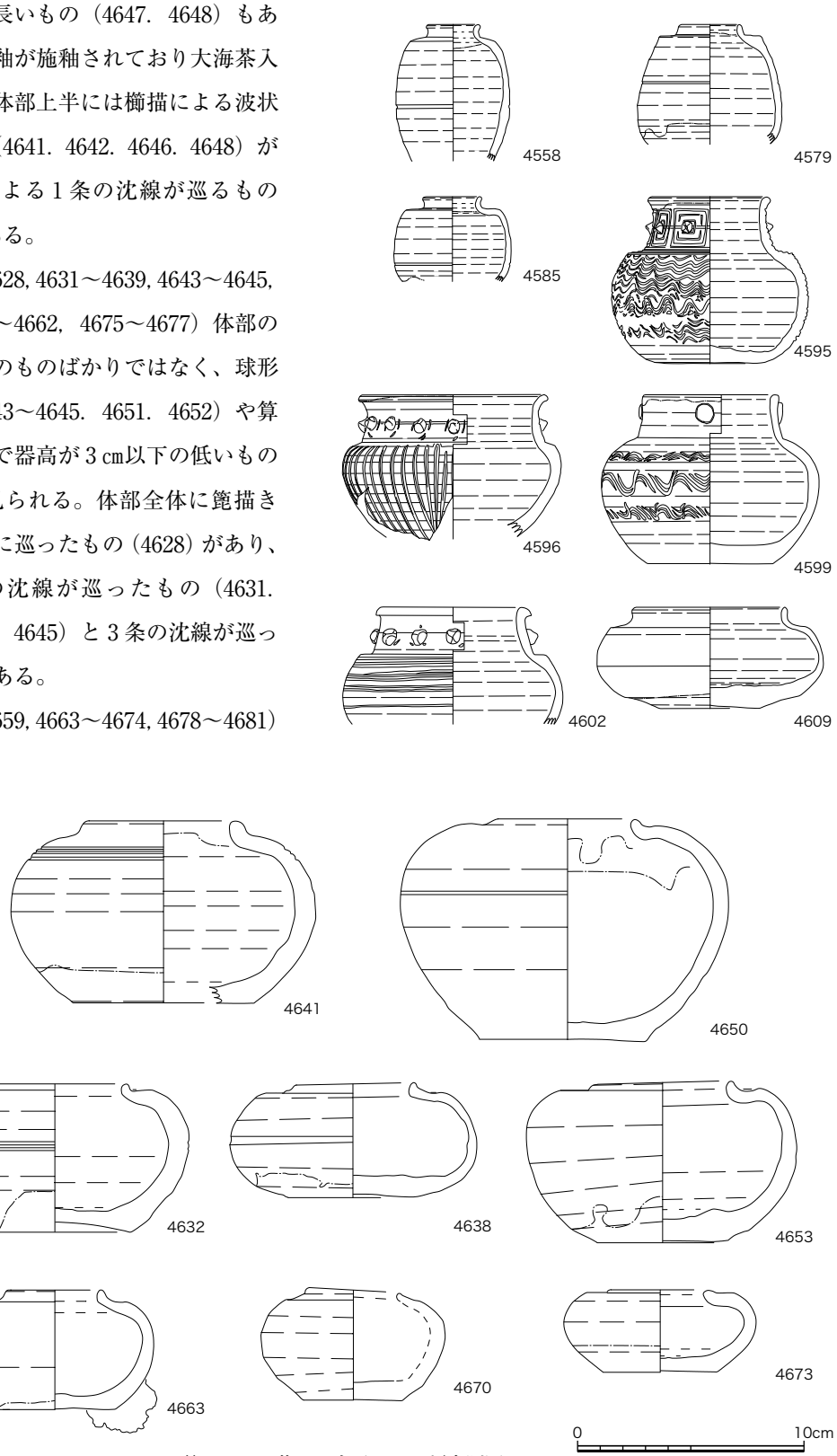
64．合子（第91図／図206・207：4628～4681／図版140・141）

体部の形状は偏平な球形で、内湾した体部からそのまま口縁となる頸部のほとんどない形状のものとやや立ち上がり気味の口縁のもので、肩部に段のあるものとないものが見られる。無文のものが多く、底部は糸切り痕の残る平底である。大きさによりＡ類Ｂ類Ｃ類に分けた。Ａ類は胴部の最大径が10㎝以上のもの、Ｂ類は胴部の最大径が７㎝以上9.5㎝前後のもの、Ｃ類は胴部の最大径が５㎝以上７㎝までのものである。

A類（第91図／4640～4642，4646～4650）内湾した体部からそのまま口縁に立ち上がるものが多いが、頸部が長いもの（4647．4648）もあり、この2点は鉄釉が施釉されており大海茶入の可能性もある。体部上半には櫛描による波状文（4640）と沈線（4641．4642．4646．4648）が巡っている。篦による1条の沈線が巡るもの（4647．4650）もある。

B類（第91図／4628，4631～4639，4643～4645，4651～4658，4660～4662，4675～4677）体部の形状が扁平な球形のものばかりではなく、球形状の丸いもの（4643～4645．4651．4652）や算盤玉のような扁平で器高が3㎝以下の低いもの（4675～4677）が見られる。体部全体に篦描き沈線が1条づつ縦に巡ったもの（4628）があり、体部中央に1条の沈線が巡ったもの（4631．4633～4639．4644．4645）と3条の沈線が巡ったもの（4632）もある。

C類（第91図／4659，4663～4674，4678～4681）



第91図　茶入、合子A～C類実測図

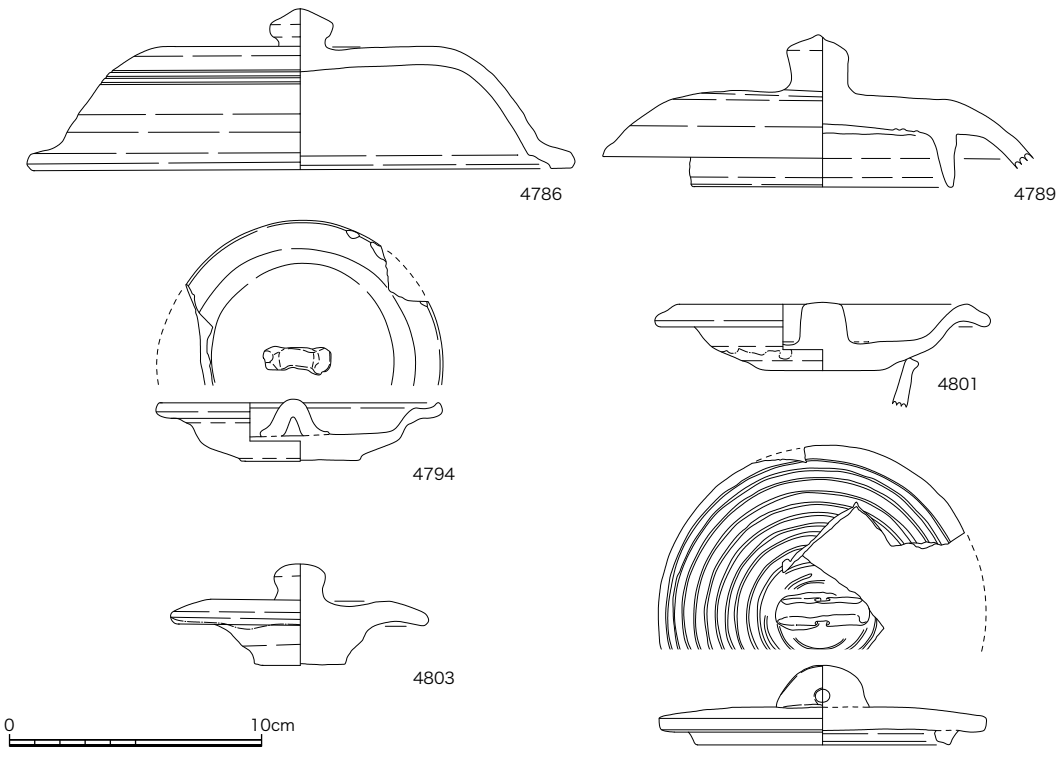
小形のもので体部上半は無文のものが多いが、篦による花弁状のもの（4681）印花文?と櫛描文（4679. 4681）の文様が見られる。

65. 合子蓋（第93図／図208・209：4682～4785／図版141～143）

傘につまみのあるⅠ類とつまみのないⅡ類がある。頂部は平滑なものと窪んだものがあり、窪みも浅いものがほとんどであるが、深いもの（4710. 4726. 4747. 4749）もある。傘部に文様の見られるもの（4682. 4683. 4692）は少なく、無文がほとんどである。底部には糸切り痕が残る。傘部の外面に釉が施され、灰釉製品がほとんどであるが鉄釉製品（4716～4727）も見られる。なお遺物観察表の口径とは、傘の縁部の口径を測ったものである。

Ⅰ類（第93図／4682～4691, 4693～4727）頂部にあるつまみが、粘土塊を貼り付けた円錐状のつまみとなるものａ（4682～4691）と粘土紐を貼り付けたものｂ（4693～4727）がある。円錐状のつまみａの中には、傘部に12条の沈線で区画しそれぞれの区画の中に12個の菊花を貼り付けたもの（4682）、14条の沈線のもの（4683）、傘部に２段の段のついたもの（4684）が見られる。粘土紐を貼り付けたｂの中には、小円板を粘土紐両端の貼り付けた部分に重ねたもの（4693. 4694. 4704）が見られる。縁部の最大径は、ａでは5. 9㎝（4682）、ｂでは7. 2㎝（4695）、最小径はａでは４㎝（4688）、ｂでは4. 5㎝（4727）を測る。

Ⅱ類（第93図／4692, 4728～4785）傘部につまみのないものである。平滑な頂部端に波状文と底部周辺に篦削り成形が見られるもの（4692）や、頂部の窪みが底部付近まで及んだ深いもの（4747. 4749）がある。



第 92 図　各種蓋実測図

縁部の最大径は8.2㎝（4728. 4746）、最小径は3.8㎝（4754. 4784. 4785）を測る。

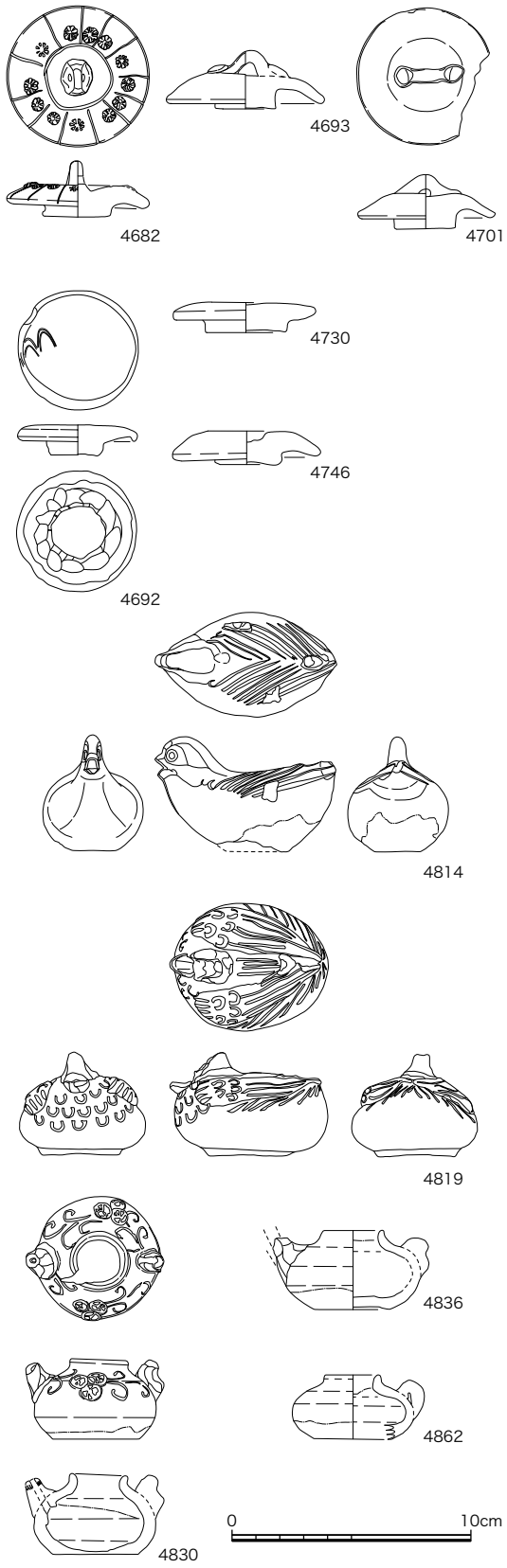
66. 蓋（第92図／図210：4786～4813／図版143～145）

どの器種の蓋になるのかはっきりしないが、各種蓋である。灰釉がほとんどであるが鉄釉に灰釉が施釉された二重掛けのもの（4794）と鉄釉のもの（4795. 4796）がある。

折縁の中皿を逆さにしたような形状のもの（4786. 4787. 4790～4793）で、頂部は篦削り成形が施される。つまみが宝珠のもの（4786）と円柱のもの（4790）がある。傘部に沈線の巡るもの（4786. 4787）は縁部の径が21㎝以上を測る大形のもので、平らな上面にも沈線が巡っている（4787）ものが見られ、他に大形のものとしては、平らなつまみの頂部が平らなもの（4788）で蕨手状の文様がつまみの周りを巡るものと、傘部の内面に先端が尖った細い輪高台のあるもの（4789）で縁部の径が17.2㎝を測る。

落とし蓋の形状のもの（4794～4799. 4801. 4802）で、底部には糸切り痕が残る。つまみには粘土紐を貼り付けたもの（4794～4799）と、円柱状のもの（4801. 4802）がある。鉄釉に灰釉が施釉された二重掛けのもの（4794）と鉄釉のもの（4795. 4796）が見られる。

傘につまみの付いた形状のもの（4800. 4803～4813）で、底部には糸切り痕が残る。つまみのついた頂部の窪みが深いもの（4804）と僅かに窪んだもの（4800. 4803. 4808. 4810～4813）が見られる。頂部にあるつまみが、粘土紐を貼り付けたもの（4800）で両端には小円板が貼り付けられている。円柱状のもの（4803～4808. 4810. 4811）では底部中心に孔の見られるもの（4808）がある。つまみが扁平な板状になるもの（4809. 4812. 4813）で、つまみの中心に孔



第93図　合子蓋Ⅰa・Ⅰb類、Ⅱ類、鳥形水滴、水滴実測図

のあるもの（4809）は、傘部上面には沈線による千条文が、内面には輪高台のついたものである。

67. 鳥形水滴（第93図／図211・212：4814～4829／図版145）

背面に沈線による羽根を描いたもの（4814～4816）と羽根が貼付けられたもの（4819. 4820. 4823. 4825. 4828）があり、その中には窯塵が表面全体に付着したもの（4823）がある。頭部の嘴が注口で、頚の羽毛を沈線で描いたもの（4821. 4822）や、嘴の下の羽毛を半裁竹管状のもので描いたもの（4819. 4824）が見られる。

68. 水滴（第93図／図212・213：4830～4875／図版145～147）

胴部が偏平な球形で、内湾した体部から立ち上がり短い頚部をもつもの（4830～4851. 4862～4866. 4872）と、胴部が偏平の算盤玉のような形状で、器高が2.9㎝以下を測る低いもので内湾した体部がそのまま口縁になったもの（4852～4861）がある。胴部に注口と把手が付くが、注口の周りに沈線（4834）と刻み（4834）が巡っているものがある。把手が付くものと付かないものが見られ、把手には粘土をつまみ板状にした把手（4830. 4831. 4835. 4836. 4846. 4849. 4850. 4864. 4870～4872）と紐状把手（4839. 4842. 4845. 4848. 4851～4853. 4857. 4858. 4862. 4867. 4873)が見られる。底部には糸切り痕が残る。文様のないものがほとんどであるが、胴部上半に文様の見られるものが３例あり、いずれも灰釉が施されている。胴部上半に、３個の菊花文を一組として、二組が両側面に貼付けられたもの（4830）で、菊花文の間には篦による蕨手文が施され、灰釉は外面では底部付近まで、内側では上半部まで施釉されたものである。口頚の周りに７個の菊花文が貼付けられ、その下の器面に印花の菊花が11個巡ったもの（4831）や、口頚の周りを刺突の丸文と弧状の沈線が巡ったもの（4832）もある。

69. 茶臼（カラー図版13／第94図、第95図／図214・215：4876～4880，4882～4886／図版147・148）

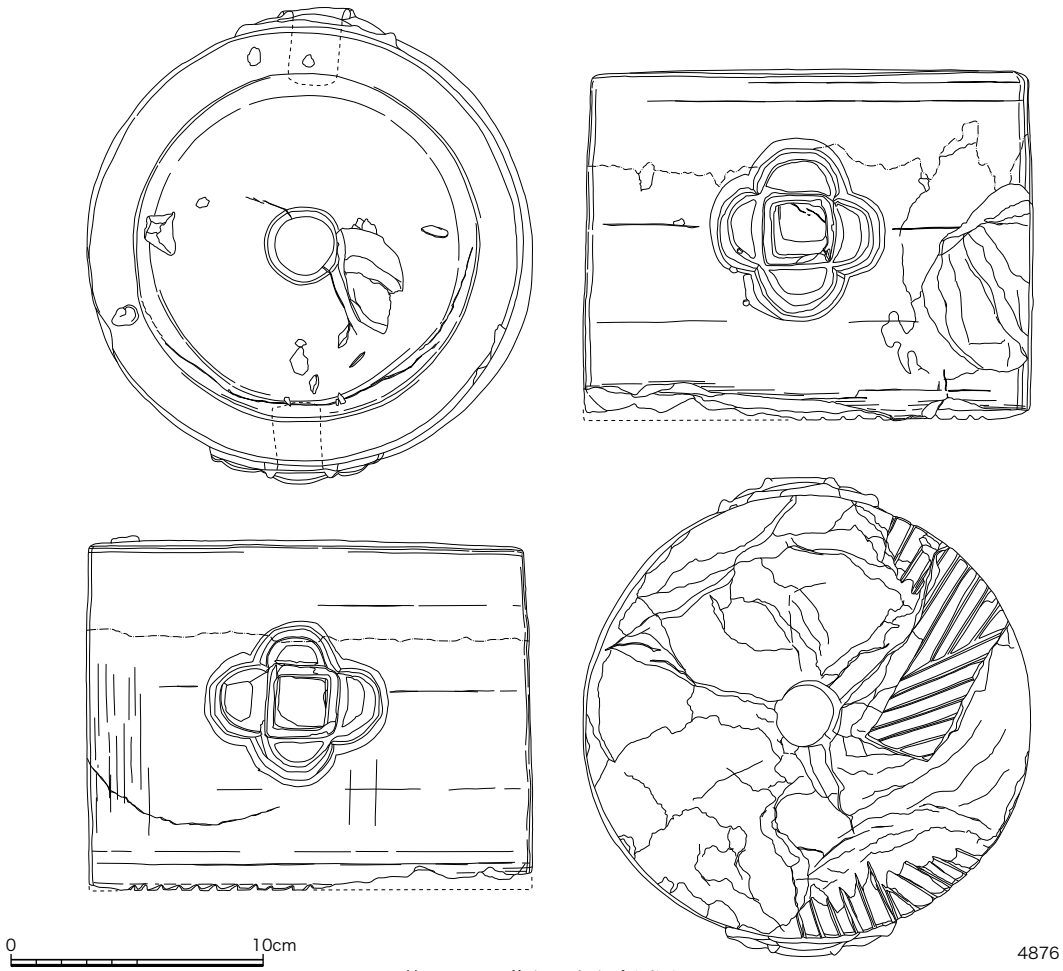
臼の形状から茶臼とした。上臼が１点、下臼は臼の部分が欠損し臼の高さが不明ではあるが受け皿が５点あった。いずれも灰原部分からの出土で、陶製の茶臼としては初めての出土例で、石製の茶臼を忠実に写したものである。

上臼（第94図／4876）は98年度の調査区ｄ２（灰原部分)、黒色灰層の最下部で赤褐色土中より出土した。臼面の直径17.4㎝～17.6㎝、器高13.7㎝、現存重量5.6kgを測る。上面は碾茶を入れるくぼみ（盆）がつくられ、くぼみの直径13.6㎝、周縁の立ち上がり（上縁）の幅18㎜～19㎜、深さ６㎜、中心孔の直径24㎜から25㎜のやや歪んだ円形を呈する。裏側の臼面は欠損が激しく一部切り溝（目）が残る。臼面が割れたため棄てられたものと思われる。下面の臼面の切り溝は八分割で副溝は８本。１本の切り溝の幅（凹み）は２㎜から３㎜で深さ約１㎜で断面形態はＶ字形、凸面幅は最大幅６㎜、最小幅３㎜、を測り、５㎜幅が多い。副溝は左切り方向、回転方向は左まわりで、周縁まで切り溝が施される。挽き手口（挽木孔）は相対する２ヶ所の一口で、台座文様は四方に半円状の粘土板を貼り付けた蓮弁文である。位置を計測できるのは臼の上端と下端が現存している片面のみ（図の中央）で、蓮弁の中心は上辺21㎜下辺19㎜の四角形を（挽木孔）呈し、上辺の奥行き28㎜、下辺の奥行き30㎜、蓮弁の上弁端は上縁端より下へ33㎜、下弁端は

臼面端より上に44㎜を測る。挽き手口は臼の上下部の中央より４㎜程やや上位の位置にある。一部に削りの痕跡と下面端より１㎝の一部に布痕が残る。灰釉は上面から上端側面を刷毛塗りしたものと思われる。上面は全面で厚い灰釉が、側面は上縁の上端から約３㎝の幅で施され一部薄く下方に流れている。灰釉は蓮弁部分にも施されているが一部白く白濁化している。臼面の破片は４点あったが4876と同一個体と観察同定し、復元した。

下臼（第95図／4882～4886）が出土した調査区は98区（4882. 4884）99B区（4883. 4885）01区（4886）で、ほとんどが受け皿部の破片で、臼面の高さや溝は欠損のため確認できない。

器高が低く厚みのある盤状の大形皿に臼を付けた下臼（4882）で、残存状態のよいものである。受け皿部の器高3.7㎝、口径25.5㎝で最大径28.3㎝を測り、臼面を含めての現存高は4.5㎝を測り、角の丸い幅広の高台がつき、高台径は17.4㎝を測る。口唇部は丸味を帯び尖っており、内面が内湾気味に膨らむ。皿の内面には臼が見られるが、焼成中に破裂したようで破片が内面に広がり付着している。臼部の設置部分には沈線が巡っている。設置部分より推定臼部径は17㎝、臼部の現存高さは1.7㎝を測る。軸孔の中心孔径は臼部で2.4㎝、皿部で1.9～２㎝を測る。底部は篦削り成形が施され、高台部以外は灰釉が施釉されてい



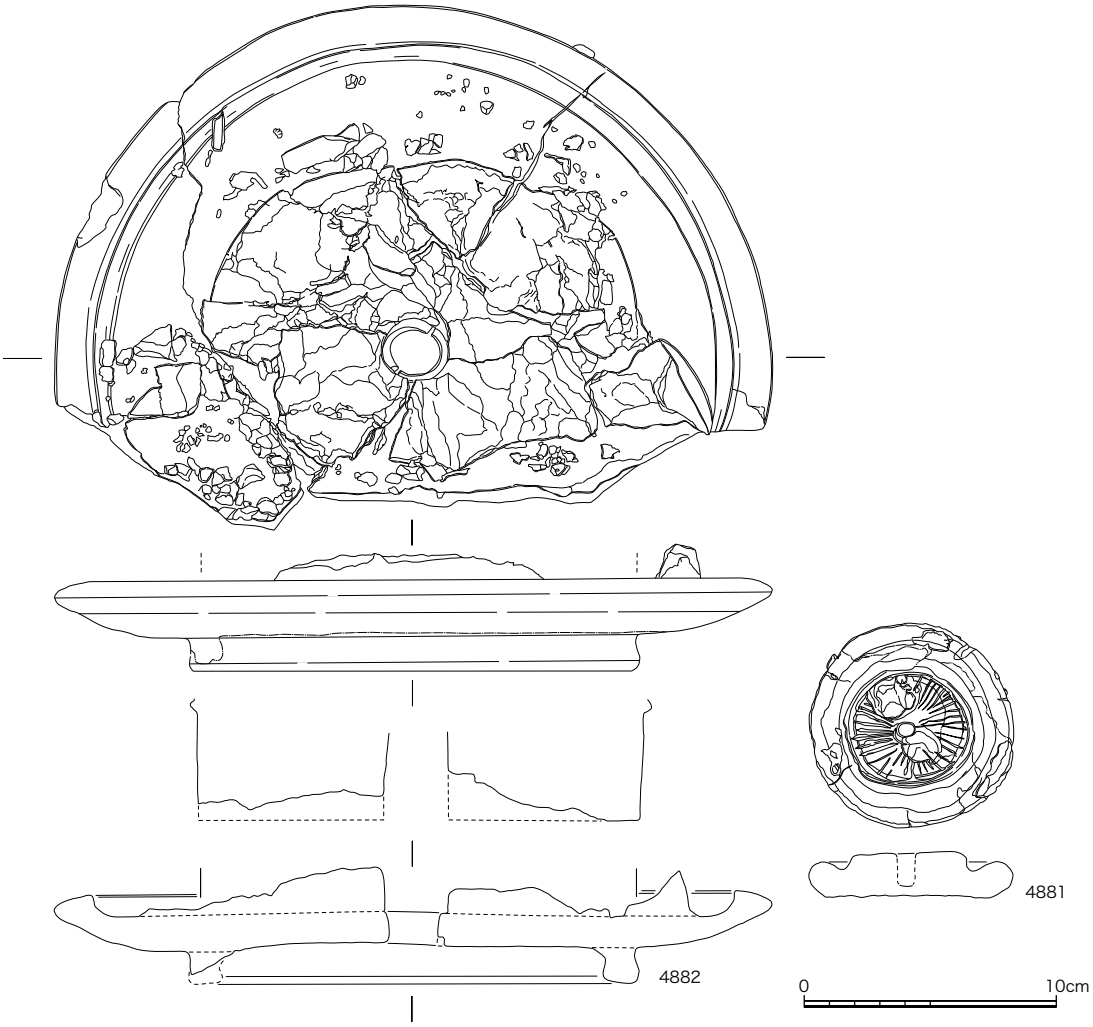
第 94 図　茶臼：上臼実測図

る。

受け皿の口径が大きいもので、臼部が僅かしか残らなかった下臼（4883）で、受け皿には臼を設置する位置が、１条の沈線によって径18㎝の円が描かれている。口唇部は平で開いている。焼成中に臼が破裂したようで、１条の円の外には細かな破片が付着している。底部は篦削り整形が施されている。高台より内側の底部が剥がれたような状態で欠損している。外側の灰釉はほとんど剥落している。受け皿部の口径28.3㎝、最大径31.2㎝、軸孔の中心孔径は1.3㎝を測る。

受け皿の口縁が丸みを帯びた縁帯状をしたもの（4884）で高台の周りには指の痕跡が見られる。皿がつくられた後、高台を貼り付けるためか底部を厚くし篦削り成形を施した後に高台を貼付けている。推定口径26.6㎝、推定最大径30.1㎝、推定高台径18.4㎝、器高5.3㎝を測る。臼部の設置位置の沈線は不明である。高台の丸くなった端部より上には緑色の灰釉が施されている。

受け皿の口縁で、口縁の内側が垂直に立ち上がり、口唇部が丸みを帯び内斜気味のもの（4885）は推定口径26㎝、推定最大径29.4㎝を測り、口唇部が平なもの（4886）は推定口径25.6㎝、推定最大径28㎝を測る。



第 95 図　茶臼：下臼、ミニチュア下臼実測図

70. ミニュチュア下臼（カラー図版13／第95図／図215：4881／図版148）

非実用品であるが茶臼の下臼を忠実に模したものと思われる。円板状の平な形状で、丸みを帯びた口縁で臼部が高く盛り上がり、盛り上がった臼面には篦による溝（沈線）が１条づつ刻まれ、中心には軸孔として幅７㎜、1.2㎝の深さの孔が見られる。臼のまわりは窪み受け皿となり、最大口径８㎝、器高1.9㎝を測る。上面には鉄釉と灰釉が掛け分けられている。上面に粘土痕が付着し、底面は焼成室の床に直接置いたのか１㎜～３㎜の小石の粒が底面全体に付着している。

71. 狛犬（第96図／図216～218：4887～4901／図版149）

顔面部、脚部、胴部、台座の各部位の破片がある。

顔面（第96図／4887）光沢のある灰釉は頭頂部、右頬、耳の内外面に残るがほとんど剥落している。瞳眼。鼻より下部（下顎）が欠損しているが頭頂に角の基部があり吽形か。角の横には、前に低くたれたような耳が貼り付けられている。耳の先端には紐状の窯道具が付着しており、焼成時に耳を支えていたものと思われる。耳の上面、頬の側面には釘彫りによる獣毛が見られる。４点接合。

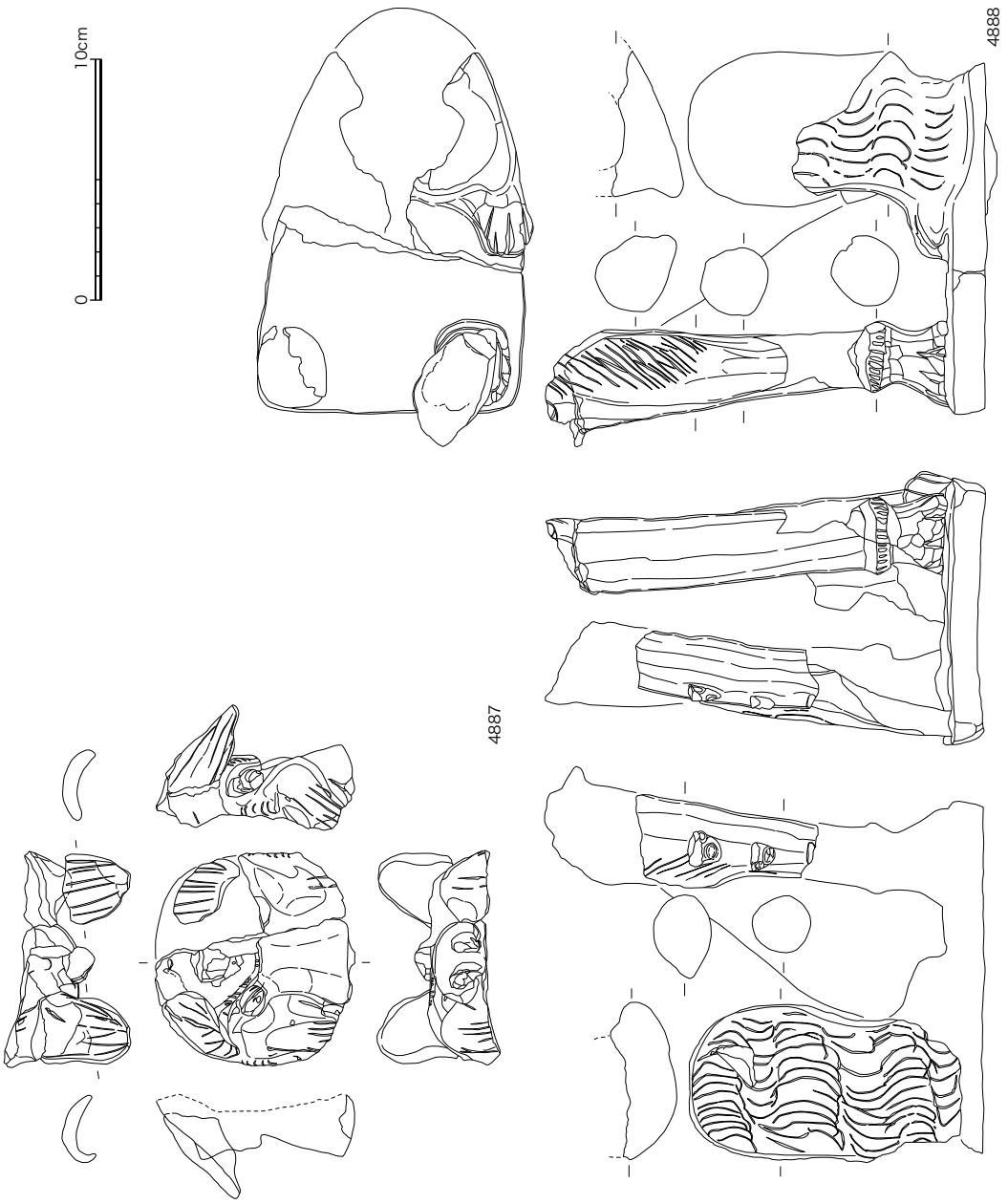
脚部と台座（第96図／4888） 濃い緑色の灰釉で、前・後脚とも左脚部分（右図）が台座とともにあり、右脚部分については獣毛や形状から同一個体と思われ図示した。濃い緑色の灰釉で台座裏側も刷毛塗りが施されている。台座は正面の幅が10.6㎝で後方の幅が狭くなり丸い撥形を呈するものと思われる。左前脚は胴部と脚部の貼り付け部分で剥がれている。垂直の脚部で、足の上部に帯状になった節（径3.1㎝）があり、刻みが後ろ部分以外逆Ｕ字状に刻まれている。胴部に近い上半部外側には、斜めに獣毛が描かれ、内側に獣毛は無い。胴部と脚部の貼り付け部分の内側下は、篦により削られ凹んでいる。後脚は胴部両側に付く。左後脚は、空洞の胴部脇に脚部分が貼り付けられ、脚部外側には、弧状の沈線が１段づつ逆の方向で、６段の獣毛が描かれている。台座裏側には、焼成時の粘土塊が左脚胴部周辺に付着している。７点接合。

耳部（4889）右耳で濃い緑色の灰釉が内外全面に施釉される。立ち気味の耳か。前側と思われる面は丸く覆いかぶさっており、貼り付け部分まで面取調整が施されている。内面後側には釉溜まりがある。獣毛はない。

脚部と台座（4890）黄色の灰釉で外側部分の釉は白く白濁気泡化している。右前脚と台座の正面一部分である。右前脚は垂直ではなく、前に出た斜め脚で細身である。爪より上にはやや太くなった節の部分が見られるが後ろ部分の節は無い。台座裏側には台座調整の際の刷毛目の痕跡が残り、灰釉も端部の縁辺に見られるが全面刷毛塗りかは不明。釉調から同一個体の胴部片と思われるものがあり、外面は雑な沈線により獣毛が、内面には縦位の調整痕がある。

脚部と台座（4891）施釉の痕跡もなく素焼きのままの状態である。左前足が欠損している。台座は胴部設置部分から欠損しており全体の形状が不明であるが、後方の幅が狭くなる撥形と思われ、上面には４条からなる波状文が３ヶ所、２ヶ所は脚と脚の間に、１ヶ所は左後脚の踵付近にあり、脚貼り付け以前に描かれている。脚は粘土紐を丸めて貼り付けただけの稚拙な造りで、爪は篦の刺突で表現している。台座裏側には敷物の痕跡が残る。３点接合。

台座（4892）は２点ある。一つは正面の面取はほぼ平ら、内側とした部分の面取は凸凹しており、上面



第 96 図　狛犬実測図

には濃い緑色の灰釉と滴状になった釉と釉溜まりの一部が白く白濁化している。裏側は刷毛塗りが施される。もう一つは胴部の台座部分と思われ、上面には貼り付けた痕跡があり、濃い緑色の灰釉が施される。

台座（4893）台座の胴部の一部　黄味をおびた濃い緑色の灰釉、裏面以外の上面、側面に刷毛塗り、内側面は篦による面取はなく貼り付けた粘土のままである。

脚部（4894）濃い緑色の灰釉で図の下部は黄味をおび白濁化している。脚に貼り付けられていたようで、貼り付け面（内側）が滑らかで、内側縁辺には緋色が見える。外面には矢葉状沈線による獣毛が描かれている。断面は翼状で前部と思われる側は丸く厚い。

脚部（4895）濃い緑色の灰釉で、脚に貼り付けられていたようで、貼り付け面（内側）は滑らかで、外面には矢葉状沈線による獣毛が描かれている。断面は翼状で前部側は丸く厚い。

脚部：後脚（4896） 素焼きのままで施釉の痕跡はない。胴部に貼り付けられた右後脚の一部分か。3条の櫛目により獣毛が描かれている。

脚部（4897）小さな破片で施釉の痕跡は無く素焼きのままで、外面に櫛目による獣毛が描かれている。

脚部（4898）灰釉が白濁化し剥落している。脚に貼り付けられていたようで、貼り付け側が滑らかで、外面には矢葉状沈線による獣毛が描かれている。

脚部：足（4899） 濃い緑色の灰釉で、指と指の間では一部コバルトブルーに発色し、脚の内側部分が白く白濁気泡化している。獣脚そのもので、4条の櫛目により獣毛が描かれ爪も丁寧に造られている。足より1㎝5㎜上付近の節部分は2～3㎜程太くなり櫛目も途切れている。踵部分内側にカドのある平ら面があること（外側は丸い）から左前足と思われる。足の裏側は、真ん中部分が抉り込まれ凹んでいる。焼成時、下に敷いた小石が縁に一部付着している。2点接合。

脚部：前脚（4900） 濃いやや黄色を帯びた灰釉で、後内側一部は素地。巻毛の下半分で毛の表現は櫛目により、幅が（2㎜）と広く、下端は先細りとなる。下部にはやや太くなった節の部分も見られる。4条の櫛目により、正面は斜めに、側面は縦に、獣毛が描かれている。足部と上半部を欠損するが、鬣の裏側には刷毛塗りの塗り残し部分があることなどから左前脚と思われる。鬣（巻毛部分か）を垂れ下がった尻尾と見るには位置が上方すぎ、また垂れ下がった尻尾例は今のところ一例もない。3点接合。

脚部：前脚（4901） 濃い緑色の灰釉で、全体に白く白濁化し釉が剥落気味で前面に窯塵芥が付着している。上半部内側（巻毛側）は素地。脚部の上端（脚部と胴部の接合部分）の両側に円錐状を呈した巻毛がついていたと思われ、内側の円錐状の巻毛のみが残る。四条の櫛目により獣毛が描かれている。足の裏側は丸鑿で抉り込まれ凹み、焼成時に敷いた小石が縁に付着している。足部を欠損するが、巻毛の残った側が素地であることから左前脚と思われる。4点接合。

72. 器種の不明なもの（第97図／図219：4902～4931／図版150）

器種がはっきりしない不明なもので仮器種名をつけた。

壺（4902～4904）で、尖った口縁端部で口頚が内斜し、鉄釉が施され、篦描き沈線による千条文が胴部に見られる。

鶴首瓶（4905～4909）で、細長い頚を持ち、沈線が1条（4905）と2条（4909）巡り、1条の沈線の下には沈線による文様が見られ、鉄釉が施されている。

花生とした長い筒状のもの（4910～4917）で、底部には糸切り痕が残る。口縁部が外反気味に立ち上がったもの（4912. 4914. 4916）と垂直に立ち上がったもの（4910）が見られる。胴部には1条の沈線（4914～4916）、2条の沈線（4910. 4912）、底部付近に1条（4912）、2条（4911）の沈線が見られる。内面にも数状の沈線の見られるもの（4910）がある。篦描き沈線による千条文も（4917）ある。

高杯としたやや深い碗に高い脚部の付いたもの（4918）で、口径13.2㎝、器高8㎝を測り、脚部上半から濃緑色の灰釉が施されている。脚部内面は素地となる。

小杯（4919. 4920）で、平碗を小さくしたもの（4919）と碁笥底の見られるもの（4920）である。

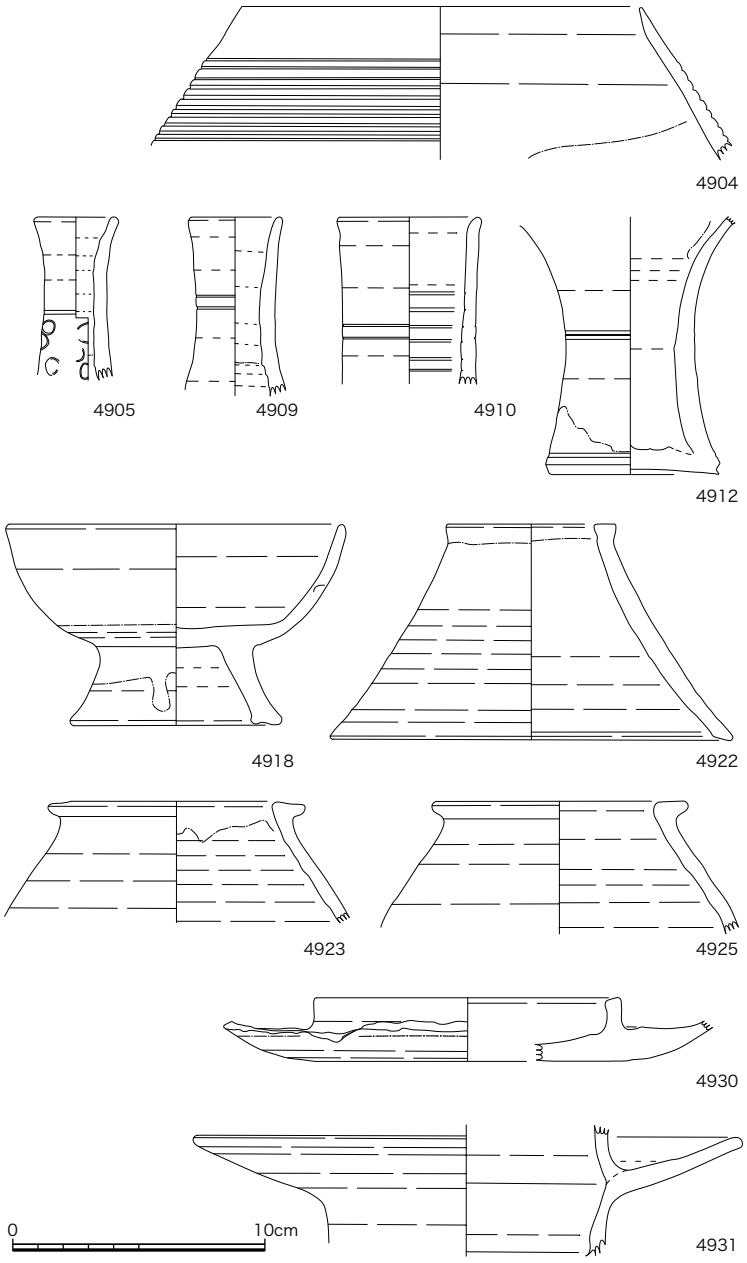
脚形（4921. 4922）で、脚部なのか逆さで大きく開いた花瓶の頸部か、どちらが上になるのか下になるのか不明のもので、開いた方を下にした脚部として図示した。他の何かと組み合った組物の一部か。

小壺（4923～4927）で、口縁端部が幅広く平で、外側に飛び出し玉縁状の形状をしたものである。鉄釉のもの（4926. 4927）も見られる。

透かし付き脚形（4928）で、透かしが施されたものである。

輪付き皿（4929. 4930）で、どちらが上になるのか、上下不明の器種でここでは輪高台の付いた面を上面として図示した。輪高台の口径10.6㎝（4929）、口径10.8㎝（4930）を測る。底部には糸切り痕が残る。

燭台（4931）で、受け皿の付いたもので、受け皿部推定口径21.2㎝を測る。



第 97 図　器種不明品実測図

73. 小杯（図220：4932，4933／図版150）

丸みをもった腰部から開き気味に立ち上がり、やや外反気味の口縁となり、輪高台の付いた小碗形のもの（4932）で、口径７㎝、器高３㎝を測る。ベタ底風の高台から斜めに開いて立ち上がったもの（4933）で口径6.2㎝、器高3.1㎝を測る。

74. 鉄鉢形小鉢（図220：4934，4935）

底部の形状は不明であるが口縁が内湾した鉄鉢形小鉢で鉄釉が施釉されている。

75. 合子（図220：4936）

糸切り痕の残る平底の底部と、直立して立ち上がった口縁端部の内側が尖ったものである。

76. 灯明皿（第98図／図220：4937，4938／図版150）

皿の内面に台形状のつまみの付いたもの（4937）で、落とし蓋のような形状をしている。つまみは芯受けで鉄釉が底部以外の部分すべてに施釉されている。皿の内面片側に板状の芯受けを貼り付けたもの（4938）で灰釉は口縁の付近のみである。

77. 短頸壺（図220：4939）

内湾した胴部に直立した口縁で口縁端部は丸い。

78. 四耳壺（図220：4940，4941）

櫛描き沈線と櫛描き沈線との間に櫛描き波状文が見られるもの（4940）と縦耳が櫛描き波条文の上に貼り付けられたもの（4041）があり、縦耳の上面には篦による刻みが、両端の上下に小円板が貼り付けられている。

79. 調理鉢（図220：4942）

口唇部が平らで、やや内湾気味の口縁の鉢で、３個一組の擂座が４ヶ所巡るものと思われる。

80. 折縁襞鉢（図220：4943）

折縁の口縁に襞の付いた浅い鉢で、３個一組の擂座が４ヶ所巡るものと思われる。

81. 直縁襞鉢（図220：4944）

直縁の口縁に浅い細かな襞のついたものである。

82. 折縁深皿（図220：4945～4947）

口縁の折縁の厚さが４㎜と薄く端部が尖ったもの（4945）で内側面には篦による１条の波状文が巡っている。口縁端部に１条の沈線が巡ったもの（4946．4947）で、内側面に波状文が見られる大形のもの。

83. 人面陶板（カラー図版11／第159図／図221：4948／図版150）

01区より出土。楕円形の陶板で、縁は丸い。眉毛と鼻が貼り付けられた人面を模したもので、顔面全体に丸い窪みが見られる。粘土紐を貼り付け眉毛とし、眉毛と眉毛の間を充填するかのように更に細い粘土紐で重ね、目の上が横一筋の眉毛になっている。貼付けられた鼻は高く、鼻孔もある。目と鼻孔と口は深い刺突で表現されが、側面に耳の表現はない。目は斜めに下から刺突しており、口は裏側まで貫通している。顔面の丸い窪みには竹管状の深い痕が見られ、丸鑿で彫られたものと思われる。横一筋の眉毛の上部や鼻にも丸い窪みを施している。裏面をも含む全面に灰釉が施され、両目と口の両側と丸い窪みに釉溜りが見られ、鼻より下部の灰釉は白濁化し剥落が著しい。全長縦7.1cm、横5.2cm、最大厚さ2cm、鼻部分3.3cmを測る。

84. 硯（第98図／図221：4949～4951／図版151）

小破片ではあるが3点ともに長方硯である。

硯の下方部分（4949）で、硯背が半月状の脚となり菊花の印花が見られるもの。墨堂下端の縁と脚部正面に真ん中と両端に3個の菊花が、脚部側面には2個と3個の菊花が見られる。脚部の側面には鉄釉のあとに灰釉を掛けた二重掛けが見られる。

硯の上方部分の海から墨堂になる部分（4950）で、焼成中に膨張し破裂したのか真ん中が膨らんで厚く1.8cmを測る。白い粘土が混じり縞模様が胎土に、上面全体には降灰が見られる。

硯の右上半部分（4951）で縁から裏面の上端には灰釉が施され、裏面の露胎部分に櫛目痕が見られる。

85. ミニチュア天目茶碗（第98図／図221：4952～4985／図版151・152）

削り出し輪高台で最大口径5.2cm、最大器高2.6cmを測る。口径4cm以上のもの（4952～4966．4971．4984．4985）とそれ以下のもの（4967～4970．4972～4983）に大別できる。鉄釉がほとんどであるが灰釉が施されたもの（4959．4960）も見られる。

86. ミニチュア皿・小鉢（第98図／図222：4986～4999／図版152）

最大口径5.9cm、最大器高2.2mを測り底部に糸切り痕が残る。片口の付いた鉄釉製品（4996）があり口径5.9m、器高2.2cmを測る。鉄釉が施されたもの（4990～4996）もあり小鉢の範疇に入るものである。

87. 陶丸（第98図／図222～224：5000，5002～5004，5013～5138）

径2cm～2.8cmの球形を呈する。表面が黒くなったもの（5125～5138）が見られる。陶丸と陶丸がくっ付いたもの（5004）が見られ、複数個まとめて焼成されていたものである。

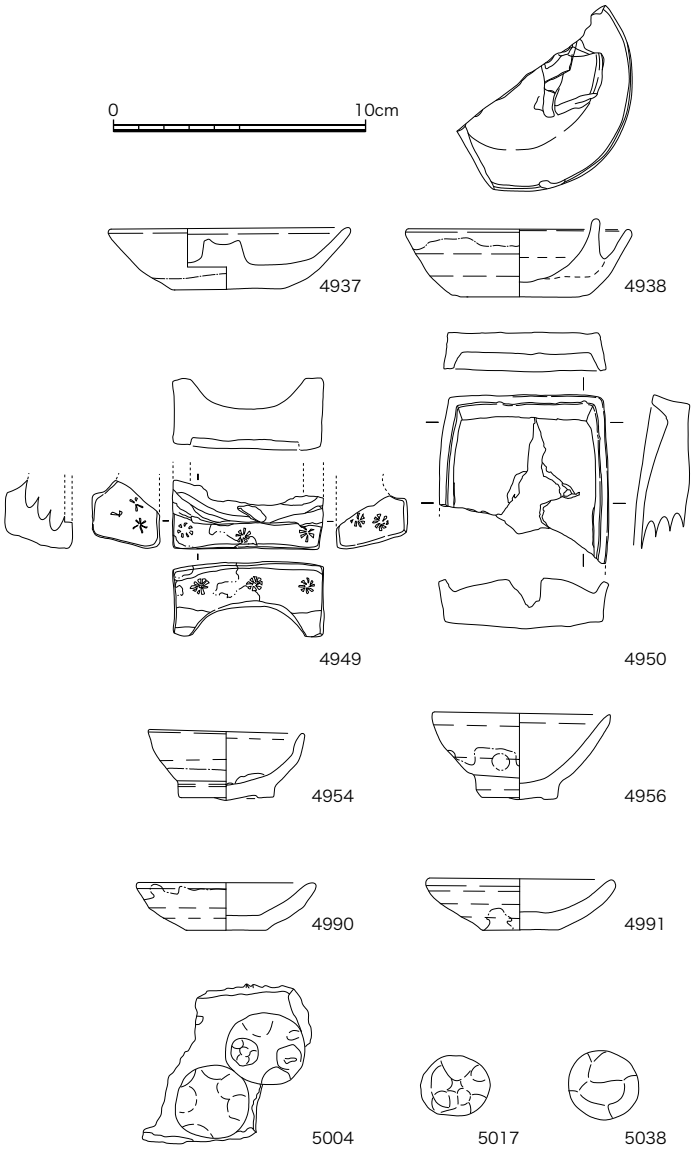
88. 文様の見られる小皿・鉢（図228：5255～5268）

内底面に印花文、櫛描文の文様が見られるものである。菊花の印花が内定面の中心に一つ見られるもの（5255～5258）と1条の沈線による円の中に6個の印花があるもの（5259．5260）、櫛描き波状文を円形に施すもの（5261．5268）、櫛描き同心円の中に櫛描き波状文を円形に施すもの（5262～5264）、櫛描き波状

文を3段に施すもの（5265）、櫛描き波状文を1段?施すもの（5267）、沈線による四方文を櫛描き同心円の中に描いたもの（5266）などが見られる。

89. 鳥文卸皿（第160図／図229：5269／図版152）

口縁が欠損した卸皿で、匣蓋として使用されたようで、外面に窯壁が付着している。他の卸皿に比べ、篦による卸目が一条毎の長い直線ではなく、短い直線で格子状になり、格子状の沈線が内底面を埋めた卸目となっており、類例のないものである。格子状の下には篦描きによる鳥?（a、b）が見られるが、鶏冠と足と胸毛から鶏と思われるが、はっきりしない。二通りの鶏が見られるが、いずれも鶏を描いた後、篦による沈線で鶏を隠すかのように沈線が重ねられている。遺物図229のaは現況図、bは鶏の図、b`はaか



第98図　灯明皿、硯、
ミニチュア天目茶碗、ミニチュア小鉢、陶丸実測図

らbの図を外した図、cは別の鶏の図で、c`はaからcの図を外した図である。

90. 各製品の焼成方法（図11・14・15・230～239：182，184，274，275，5270～5405／図版36・152～172）

重ね焼きにも各器種様々な方法が見られる。同じ器種を重ねたもの、異器種を重ねたもの、匣鉢の中に付着したままのもの、匣鉢が付着したもの等が見られ、窯詰めの時の状況を窺うことができる資料である。なお器種名が一つだけの時は、同じ器種が重なっている場合である。

天目茶碗と縁釉皿（182．274．275．5270～5290．5292～5295）、天目茶碗と小鉢と縁釉皿（184）、天目茶碗と筒形容器？（5291）、天目茶碗と小鉢（5296）、小天目と縁釉皿（5297～5310）、仏供（5311）、浅碗と縁釉皿（5312）、匣鉢に1点のみ入った浅碗（5313）、浅碗と卸皿（5314）、平碗（5315．5316．5318～5320）、平碗と縁釉皿（5317）、平碗と小壺（5321．5322）、平碗と小鉢（5323）、灰釉天目（5324）、小鉢（5325～5327．5337．5338）、小鉢と縁釉皿（5328．5330～5336）、小鉢と壺（5329）、匣鉢に各1点のみ入った小鉢（5339）と灰釉皿（5340．5343）と折縁皿（5341．5342．5344～5348）。縁釉皿（5349～5351）、端反皿（5352）、小鉢と卸皿（5353．5354）、縁釉皿と卸皿（5355～5357）、片口付卸皿（5358）、中鉢（5359．5360）、瓶子と小鉢（5361）、折縁襞皿（5362）、折縁中皿（5363）、卸皿と直縁大皿（5364）、直縁大皿（5365）、碗形鉢（5366）、折縁襞鉢（5367）、筒形容器と襞付花盆（5368）、深鉢（5369．5370）、鳥形水滴が水注などの袋物に付着したもの（5371）袴腰香炉と筒形香炉（5372）、袴腰香炉と卸皿（5373．5377）、袴腰香炉と皿（5374）、袴腰香炉（5375．5376）、筒形香炉（5378～5381）、筒形香炉と筒形段香炉（5382）、茶入と皿（5383）、茶入と匣蓋（5384）、匣蓋と大海茶入（5385）、大海茶入と縁釉皿（5386～5389）、把手付片口と袴腰香炉（5390）、筒形段香炉と把手付片口（5391）、筒形香炉と把手付片口（5392）、筒形香炉と碗と把手付片口（5393）、把手付片口（5394）、双耳小壺と把手付片口（5395）、花瓶と把手付片口（5396．5397．5399）、袴腰香炉と花瓶（5398）、花瓶と筒形容器（5400．5401）、筒形容器と天目茶碗（5402）、片口鉢（5403～5405）などが重なった状態で見られる。

91. 山茶碗と小皿（図225・226：5139～5226）

山茶碗（5139～5217）と小皿（5218～5226）の内面はすべすべした滑らかな感触があり、使用による摩耗と考えられる。山茶碗と小皿はいずれも小破片がほとんどである。当窯跡では山茶碗を焼成した痕跡が無く、山茶碗と小皿は鷲窯の操業に関わった工人が使用していた搬入品といえる。

尾張型山茶碗（5139～5142）は少ない。その中でも皿（5143）は少ない。8型式（5139）、9型式（5140．5141．5143）、10型式（5142）がある。

東濃型山茶碗（5144～5226）が山茶碗のほとんどを占めている。大畑大洞窯式新（5145～5180）と大洞東窯式（5181～5226）がある。古い時期の丸石窯期も1点（5144）見られる。

緋色の見られる碗と皿（図227：5227～5252）器形と技法からは通常の山茶碗･小皿と全く同じであるが、器面全体あるいは口縁付近などに緋色の見られるものである。還元色焼成ではなく赤味を帯びた酸化色焼成といった違いがあるために分離した。

破損した山茶碗や小皿を転用し、窯道具として再利用したものなのかもしれないが不明である。碗（5230～5235．5248．5249．5238～5240）と皿（5227．5229．5236．5237．5241．5242．5250～5252）と

蓋（5243．5244）が見られ、赤茶色の窯塵が胴部外面上半に点々と付着したもの（5230～5237）と器面全体が赤味を帯びたもの（5238～5244）が見られる。

焼きの甘い碗（5253．5254）山茶碗の口縁片である。

第５節　窯道具

１．匣鉢（図240～242：5406～5432，5434～5439，5444～5448／図版172・173）

匣鉢と匣鉢を重ねるため、口唇部には粘土紐と指で摘んだ程度の粘土塊が付着している。匣鉢と匣鉢を重ねた時に生じた隙間を防ぐために皿の口縁片を挟んだもの（5455．5456）が見られる。内底面には模様がないのが普通であるが匣鉢の内底面に四条の櫛描き（5448）が見られるものもある。匣鉢の内底面に陶丸が５点付着したものがあり３点と２点がそれぞれ付着したもの（5418）である。内面全体には鉄釉が流れ、底部外面にはスサ痕が残る。腰部に穿孔のあるもの（5419）もある。

４種類に分類したが、底部は器壁に比べ厚く糸切り痕が残り、粗い胎土で小石を多く含み長石の噴き出しが見られる。円筒形で大形のものＡ類、中形のものＢ類、小形のものＣ類、鉢形のものＤ類がある。

Ａ類（5406～5409）は円筒形の大形のもので、口径19㎝以上、器高15㎝以上、器厚も1.2㎝以上を測る。最大口径のもの（5406）は29.4㎝を測る。器高の高いものは、現存高が21.4㎝を測り、外面では茶褐色の厚い鉄釉の上を灰釉が流れ、内面では長石の噴き出しが多く見られるもの（5408）である。轆轤目が顕著で底部に糸切り痕が残り、内面に薄い鉄釉の指痕が残るもの（5409）である。

Ｂ類（5410～5418．5445～5447）は円筒形の中形のもので口径17.7㎝～14.5㎝、器高13.3㎝～９㎝を測る。口縁部が内湾し丸みを帯びた円筒形のもの（5410～5414．5445）と口縁部が直立したままの円筒形のもの（5415～5417．5446．5447）がある。内底面に鉄釉が垂れており、一ヶ所のもの（5411．5415．5416）と内底面に鉄釉が三滴見られるもの（5417）がある。底部に焼台が付いたもの（5412）は内底面に鉄釉が一滴と上から流れ込んだ灰釉が釉溜まりとなっている。内底面の７割が流れ込んだ灰釉で埋まったもの（5413）がある。口縁と底部に匣鉢の痕跡が見られ現状では匣鉢が３個重なったもの（5410．5411．5413．5414）と２個重なったもの（5416）がある。

Ｃ類（5419～5429，5434～5439）は円筒形の小形のもので口縁部が内湾し丸みを帯びたもの（5419～5424．5426～5428．5434～5439）と口縁部が直立したもの（5425．5429）がある。内底面は基本的には露胎であるが、内底面の周りに灰釉が釉溜まりとなり巡ったもの（5421）や、鉄釉が巡ったもの（5422）、内底面に一ヶ所鉄釉が垂れた状態のもの（5427）が見られる。窯塵が内底面の周りに残ったもの（5424）もある。重なりあった部分、底部と口縁の接する部分では釉溜まりとなり、下の匣鉢の内面に流れたもの（5435）や一条垂れたもの（5437．5438）がある。

Ｄ類（5430～5432，5444）は鉢形で底部には糸切り痕が残る。口縁部下に粘土紐が付着したもの（5430）は内底面に一滴の鉄釉と胴部外面やや下に一ヶ所灰釉が垂れ、粘土紐の周辺は部分的に灰釉が掛かり粘土紐より上は緋色が見られる。内底面に粘土塊が付着し、底部の厚みが1.5㎝と厚いもの（5431）は粘土塊

の周りに鉄釉が垂れている。内底面に先の尖った棒状のもので押さえたような窪みが見られるもの(5432)は胎土が粗く小石を多く含み長石と鉄分の噴き出しが見られる。胴部外面上半に緋色が見られるもの(5444)で灰白色の粗い胎土で小石を多く含み長石と鉄分の噴き出しが見られる。

2．匣鉢蓋（図241～243：5433，5440～5443，5450～5467／図版174）

皿を逆さにした形状で、底部には糸切り痕が残り、皿の胎土より粗く砂粒が多い。皿の底部外面に降灰が厚く見られ、降灰が底部から口縁にかけて流れていることから、匣鉢蓋と分類した。蓋の頂部には指で摘んだ程度の粘土塊を３～４ヶ所に設置したものが見られ、蓋の上にも匣鉢あるいは製品が乗せられていたようである。

他のものに比べ精緻な胎土で鉄分の噴き出しが見られ、底部外面の３ヶ所に粘土が付けられ、その上から降灰が見られるもの（5433）がある。底部に降灰がなければ卸皿（5454～5467）である。卸目のあるもの（5454～5467）は口唇部から内面の口縁上端部にかけて緋色が見られる。緋色が内面全体に見られるもの（5456）もある。一方で口縁の形状や胎土から卸皿と判断してもよいもの（5453）もあるが内面に卸目がなく、最初から蓋として作られたものなのかもしれない。匣鉢蓋として意図して作られたと思われるもの（5442．5443．5450～5452）は器厚が８㎜以上と比較的厚く、粗い小石を多く含んだ胎土のものである。内底面に沈線による文様（5440）と外面に灰釉の見られる七宝文の変化した文様（5441）がある。柄付片口の底部が付着したもの（5442）は柄付片口の内底面と蓋の上に粘土塊が３ヶ所設置されており、蓋の内面には鉄釉の径12㎝を測る口縁痕が残り、内面中央に横に撫でた痕も見られる。匣鉢がつぶれた状態のもの（5443）もある。

3．その他の窯道具（図242・244：5449，5468～5479／図版173）

匣鉢が使われる時に補助的に使用されるものでは、団子状のもの（5449．5476）、粘土紐（5468～5470）、粘土塊（5471）があり、製品に直接使用されるものでは、円盤状のもの（5472～5475）がある。この他に成形具（5479）などがある。

匣鉢が使われる時に補助的に使用されたものである。重ねた匣鉢と重ねた匣鉢の間（外面と外面）に、円形団子状の粘土塊を挟んだもの（5449）は、上段は径3.8㎝×3.8㎝最大厚さ1.7㎝、下段は径3.5㎝×４㎝厚さ1.4㎝、を測り、匣鉢と匣鉢の間隔を保つためのものか、あるいは積み上げられた匣鉢の上方での崩落防止のためのものか不明である。匣鉢と匣鉢を上下に重ねた時に水平を保つために片側に、粘土紐を重ねたもの（5468～5470）や粘土を片手で握っただけのもの（5471）が見られる。

製品と製品の間に使用されたものである。粘土を円盤状にしたもの（5472～5475）でどちらかの面に口縁片や高台の圧痕が見られる。手のひら痕が残る盛り上がった上面に、径５㎝の高台痕が、平らな裏面には径6.4㎝の口縁片が付着したもの（5472）である。円盤の中心に穿孔が見られ下面には径4.7㎝の口縁片が付着したもの（5473）である。盛り上がった上面には径4.4㎝の高台痕と鉄釉が滴状に垂れ、裏面は平らで籾痕と鉄釉が点々とついたもの（5475）である。片側に径2.6㎝の高台痕が見られるもの（5476）がある。製品ど製品の間ではないが、匣鉢蓋に円盤状の粘土を置きその上に径４㎝の製品を押し付けたもの(5474）も見られる。

成形具なのかはっきりしない不明なもの（5477～5479）である。匣鉢あるいは大型筒形容器などの中に棚もしくは仕切として貼り付けられていたものなのか（5477）、最大長さ13cm、幅3.8cm、厚さ７㎜を測る板状のもので指痕が残る。板状の破片（5478）で上端は尖り、両面とも篦磨きが施され現存長8.5cm、幅６cmを測る大型製品の口縁片か。卸皿の底部片、径5.4cmを測るもの（5479）で縁辺には両側からの剥離により調整が施されたもので成形具の一つか。

４．焼台（図245～247：5480～5503／図版174・175）

焼台は酸化炎焼成のためすべて赤褐色を呈し、砂粒を多く含んだ粗い胎土である。平面形は不整形な円形を呈し、上面には製品の底部痕や高台痕が認められた。焼成時に焼台と製品が付着しないように５㎜前後の小粒な石から、大きいものは２cm前後の小石が、数個上面に敷かれ、小石はチャートが多く、アプライトや長石もある。側面には指圧痕が見られる。焼台は原則として一回の焼成で廃棄される。

水平になった平らな面の径の大きさによって、A、B、C、D、Eの５分類した。A（特大）は径10cm以上、B（大）は径が８cm以上10cm以内、C（中）は６cm以上８cm以内、D（小）は４cm以上６cm以内、E（ミニ）はD（小）より小さく４cm以下である。水平になった平らな面の径とは、水平部の最大径ではなく、焼台縁辺部より内側の平らな窪みでその内側に残された製品設置痕を目安としている。従って全体の大きさに比べ径の小さいものが以外と多く見られた。３回の調査で出土した焼台は平成10・11年が107,758点、平成13年が6,981点の総合計114,739点を数えた。分類ごとの出土点数は焼台Aは97点（0.084％）、焼台Bは4,835点（4.213％）、焼台Cは59,930点（52.231％）、焼台Dは34,352点（29.939％）、焼台Eは15,525点（13.53％）で総合計114,739点（99.997％）である。

やや大きめの小石を平らな面の周りに並べその内側にそれよりも小さい小石が置かれたもので大きめの小石の痕跡が凹みとして見られるもの（5480）、柄付片口か内耳鍋の底部を逆さにして焼台に貼り付け平らな面とし、製品との間には粘土塊を挟んだもの（5481）、脚部の部分に小石を並べ四耳壺等の壺類の高台が付着したもの（5482．5483）、粘土塊と匣鉢の破片をそれぞれ２ヶ所づつ挟んだ四耳壺の高台が付着したもの（5484）、平碗がそのまま付着したままのもの（5485.5486）、床面との角度が72度を測るもの（5487）で平碗の焼台か、花瓶Ⅲの底部（5488）、水注の底部（5489）、皿の底部片を伏せ焼台の平らな面として利用したもの（5490．5491）、皿の内底面の平らな面を利用したもの（5492．5493）のなかで、口縁の形状では卸皿となるが、内底面に卸目がないもの（5492）も見られる。匣鉢が付着したままのもの（5494）、小型の匣鉢を埋め込んだもの（5495）、焼台の縁辺に匣鉢と同様な胎土の環状の粘土帯を用いたもの（5496）、花瓶の底部（5497．5498）、小皿の底部（5499．5500）、鳥形水滴の底部（5502）、茶入（5503）などが見られる。焼台Eで側面にサヤ片が上面には口縁片が付着したもの（5501）が見られ、焼台Eは積み上げた匣鉢の一番上の匣鉢ともう一方の匣鉢の一番上の匣鉢の間に押し込むように挟み込み平らな面に水滴などの小形製品を乗せていたものと思われる。

第 6 節　その他の遺物

1．その他の遺物（図222：5001，5005～5012，S-1）

鷲窯跡とは直接関係のない時代の須恵器や灰釉陶器の破片と石器片が出土している。

須恵器（5005～5008）は坏蓋（5005．5006）坏身（5007）高盤（5008）がある。

灰釉陶器（5009～5011）は碗（5009．5010）皿（5011）は内底面に沈線による文様が描かれている。

土錘（5012）は長胴の網の錘りで7.2gを量る。

石製品（5001．S-1）は丸い形状のもの（5001）と石棒（S-1）がある。

丸い形状（5001）を呈し、13.4gを量る。アプライトである。使途不明であるが、窯道具として利用されていたのかもしれない。

薄く剥がれた石棒（S-1）の破片で蛇紋岩である。

2．源吉屋敷関連遺物（図249～254：5538～5651）（図255～257：1～38）

98区の南側斜面下に源吉屋敷があったとされ、屋敷跡は水田による削平、整地によって検出できなかったが、水田跡の下層と調査区の東側にある溜め池の堤付近より遺物が出土した。

江戸時代前期から明治時代始めまでの陶磁器が出土しているが江戸後期から幕末のものが多い。

日常生活用品で飲食具が多く見られたが、絵瀬戸の植木鉢（5587）、餌鉢（5610．5611）、仏飯具（5612～5614）、香炉（5615）、戸車（5648）、磚（5649）なども見られた。

出土遺物の中に、篦による窯印が匣鉢の外面胴部に見られるもの（32．33）と匣鉢底部に印で○の中に判読不明の一文字のある匣鉢（34）と環状の円板で、窯印の印で○の中に『長』（5650）と□の中に『長』（5651）の押印が見られる窯道具が出土していることから、滅失した近世の窯があった可能性も否定できないが、窯が存在したとするには、匣鉢や窯道具がもっと出土してもいいのではないだろうか。

なお図255から図257の１から38の遺物は財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター所蔵の源吉屋敷出土表採遺物で財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター原図よりのトレースである。

第４章　自然科学などの分析

第１節　出土陶器の胎土分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

愛知県瀬戸市に所在する鷲窯跡は、瀬戸市のほぼ中央に広がる品野盆地から水野川支流の鳥原川沿いに南東奥へ細長く伸びた谷状地形の北側の段丘上に立地している。鷲窯跡は、14世紀後半から15世紀前半の窯業遺跡として知られており、この時期の瀬戸窯を代表する窯とされている。また、編年資料の標識遺跡ともなっており、その発掘調査成果は中世の窯業における重要な資料とされている。

平成11年度および平成13年度に行われた発掘調査では、窯体１基と工房跡４基、他に土坑数基と灰原などが確認されている。遺物は多量に出土しており、古瀬戸後期を代表とする緑釉小皿、花瓶、筒型容器をはじめとして、平碗、天目茶碗、折縁深皿、柄付片口、水注、瓶子、四耳壺などの器種が確認されている。また、灰原下層からは無釉の片口鉢が多く出土しており、操業当初には、無釉の陶器も若干生産していたと考えられている。

今回の分析では、出土した各種の陶器について、その材質（胎土）の特性を把握し、器種による土の使い分けの有無など、当時の製作技法にかかわる資料を作成する。また、釉薬の化学組成も明らかにし、各器種に使用された釉薬の種類を検証する。

１．試　料

試料は、鷲窯跡の平成11年度調査において出土した古瀬戸後期とされる各種陶器111点である。器種の内訳は、天目茶碗、平碗、緑釉小皿、折縁小皿、花瓶、片口鉢、擂鉢、直縁大皿、中鉢、筒型容器、短頚、瓶子、四耳壺、口広有耳壺、有耳壺、桶、花盆、片口小鉢、把手付鍋、水注Ⅰ、水注Ⅱ、釜、内耳鍋、碗形鉢、茶壺、甕、広口壺、柄付片口、小壺、合子、擂座茶入れの多種にわたる。

試料には、試料番号１～111（第３表、第４表）までが付されており、胎土分析は全点について行った。また、釉薬の分析を行った試料は、これらから発掘調査者により選択された28点の試料である。試料の一覧は、胎土分類結果を呈示した第５表～第10表に併記し、釉薬の分析に選択した試料は、釉薬の分析結果を呈示した第11表に表示する。

２．分析方法

（１）薄片作製観察

胎土分析には、現在様々な分析方法が用いられているが、大きく分けて鉱物組成や岩片組成を求める方法と化学組成を求める方法とがある。前者は粉砕による重鉱物分析や薄片作製などが主に用いられており、後者では蛍光Ｘ線分析が最もよく用いられている方法である。前者の方法の方は、胎土の特徴が捉えやすいこと、地質との関連性を考えやすいことなどの利点がある。さらに前者の方法の中でも薄片観察は、胎土中における砂粒の量はもちろんのこと、その粒径組成や砂を構成する鉱物および岩石片の種類な

ども捉えることが可能であり、得られる情報は多い。

この情報をより客観的な方法で表現したものとして、松田ほか（1999）の方法がある。これは、胎土中の砂粒について、中粒シルトから細礫までを対象とし、各粒度階ごとに砂粒を構成する鉱物片および岩石片の種類構成を調べたものである。この方法では、胎土中における砂の含量や粒径組成により、土器の製作技法の違いを見出すことができるために、同一の地質分布範囲内にある近接した遺跡間での土器製作事情の解析も可能である。今回の試料は、一基の窯から作られたものであると考えられるため、単に岩片や鉱物片の種類のみを捉えただけでは、試料間の胎土の区別ができないことも予想される。このことを考慮し、本分析では松田ほか（1999）の方法を用いる。以下に試料の処理過程を述べる。

薄片は、試料の一部をダイアモンドカッターで切断、正確に0.03㎜の厚さに研磨して作製した。薄片は偏光顕微鏡による岩石学的な手法を用いて観察し、胎土中に含まれる砂粒を構成する鉱物片および岩石片の種類構成を明らかにした。砂粒の計数は、メカニカルステージを用いて１㎜間隔で移動させ、細礫～中粒シルトまでの粒子をポイント法によりプレパラート全面で計数した。また、同時に孔隙と基質のポイントも計数した。これらの結果から、各粒度階における鉱物・岩石別出現頻度、砂粒の粒径組成、孔隙・砂粒・基質の割合を求めた。

さらに胎土の基質については、孔隙の分布する程度と砂の配列や孔隙などに方向性が認められるかどうか、および基質を構成する粘土が焼成によりどの程度ガラス化してどの程度粘土鉱物として残存しているかということと酸化鉄などの鉄分の含まれる程度について定性的に記載した。

（２）蛍光Ｘ線分析

蛍光Ｘ線分析はサンプリングが困難な文化財の材質調査に広く用いられている手法であるが、ごく表面層を測定対象としているため、出土遺物表面が風化の影響を受けていれば、遺物本来の化学組成を導くことは難しく、本来の化学組成を知るためには風化層を除去しなければならない。ただし、遺物保存の観点に重きがおかれる場合においては外観上の変化を伴わない本分析法は概略の化学組成を知るためには極めて有効な手法となる。

材質調査に用いた装置はセイコーインスツルメンツ製エネルギー分散型蛍光Ｘ線分析装置（SEA2120L）である。ここでは土器表面に見られた施釉の材質調査を目的としたが、施釉は比較的厚い層を形成していることが観察されたことから、釉薬に含まれる元素の定性に加えて、半定量的に相対含有率（wt％）を求めることとした。したがって、各試料について得られた特性Ｘ線スペクトルは元素定性を実施した後、FP法（ファンダメンタルパラメーター法）を用いたノンスタンダード法を用い、酸化物として定量演算を行い、相対含有率（質量％）を算出した。なお、本装置による定量可能元素は11Naから92Ｕの範囲にある元素であり、これら範囲外の元素についてはFP法による定量演算に利用することが出来ないこと、また半定量的に相対含有率を算出しているが、実際にはどの程度の深さまでＸ線が進入しているのか不確実な部分もあり、結果の評価には注意する必要がある。本調査における測定条件の詳細については以下に記したので参考とされたい。

〈測定条件〉

測定装置：SEA2120L	管球ターゲット元素：Rh
定性元素：Na11～Ca20，Sc21～U92	コリメータ：φ10.0㎜

励起電圧（kV）：15，50　　管電流（μA）：自動設定

フィルター：なし　　マイラー：OFF

雰囲気：真空

3．結　果

（1）薄片作製観察

a）胎土の分類

分析結果を第12表～第17表、第100図～第115図に示す。砂粒の種類構成は、全試料ともにほぼ同様の傾向を示し、同一の地質学的背景を有する地域内で作製されたものであることを示唆する。砂粒の主体は、石英の鉱物片とチャートの岩石片であり、試料によっては、少量または微量のカリ長石、斜長石、黒雲母の鉱物片や花崗岩類（多結晶石英も含む）の岩石片などが認められる。一方、各試料の胎土中におけるこれら鉱物片および岩石片全体の粒径組成は、第104図に描かれているヒストグラムの形などに特に明瞭な傾向は認められないが、多くの試料に共通することとして、粒径の主体は細粒砂、極細粒砂、粗粒シルトの３者であり、これらがいずれも20％を超える割合を示している。そして、このパターンを基準として、試料によっては、上記３者のうち２者しか20％を超えないものや上記３者以外の組成が20％を超えるものなども少なからず認められる。

今回の分析では、以上の状況から、鉱物片と岩石片の産状と粒径組成のパターンの２段階の基準による分類を設定した。鉱物片・岩石片の産状をＡ～Ｅ類とし、粒径組成のパターンを０～７類とした。以下に各分類の基準を述べる。

Ａ類：石英が卓越し、少量のチャートを伴う。これら以外の鉱物片と岩石片はほとんど含まれない。

Ｂ類：石英以外の鉱物片および岩石片はほとんど含まれない。

Ｃ類：石英が卓越し、少量のチャートを伴うことに加えて、少量のカリ長石と斜長石を含む。

Ｄ類：上記Ｃ類の組成に加えて少量の黒雲母を伴う。

Ｅ類：石英が卓越し、少量のチャートを伴うことに加えて、少量の黒雲母を含む。

０類：粗粒砂から中粒シルトまでほぼ同じ割合を示す。

１類：細粒砂、極細粒砂、粗粒シルトの３者を主体とし、いずれも20％を超える。

２類：細粒砂、極細粒砂の２者を主体とし、いずれも20％を超える。

３類：極細粒砂、粗粒シルトの２者を主体とし、いずれも20％を超える。

４類：中粒砂、細粒砂、極細粒砂の３者を主体とし、いずれも20％を超える。

５類：極細粒砂、粗粒シルト、中粒シルトの３者を主体とし、いずれも20％を超える。

６類：中粒砂、細粒砂の２者を主体とし、いずれも20％を超える。

７類：粗粒シルト、中粒シルトの２者を主体とし、いずれも20％を超える。

試料を分類する際には、まずＡ～Ｅ類の分類を行い、次に０～７類の分類を行って、例えばＡ１類というように表現する。

b）分類結果

各試料の胎土分類結果を第８表～第10表に示す。鉱物片・岩石片の産状による分類では、Ａ類が81点と

圧倒的に多く、他はB類が３点、C～E類がいずれも９点である。また、粒径組成のみで分類した結果も表４に示す。上述のように１類としたものが最も多く、54点を占め、次いで１類よりやや粗粒傾向の２類が30点あり、他は３、５類が８点ずつ、４類が５点、７類が４点、６類と０類がそれぞれ１点ずつという構成である。したがって、今回の試料のなかでは、A１類が標準的な胎土であり、これに次ぐ胎土としてA２類があるが、それ以外の胎土は、いずれも少数認められるに過ぎない。次に各器種ごとに胎土の状況を述べる。

・天目茶碗（試料番号１～６）

６点はいずれもA類であるが、そのうちA１類は３点、A２類は１点あり、他の２点はいずれもA４類である。器種全体としては、標準的な粒径の砂の胎土とそれより粗粒傾向にある砂を含む胎土とから構成されている。

・平碗（試料番号７～11）

５点のうち４点はA類であるが、これらの粒径は１、３、４、５の各類に分かれる。また、B１類が１点認められる。

・縁釉小皿（試料番号12～17）

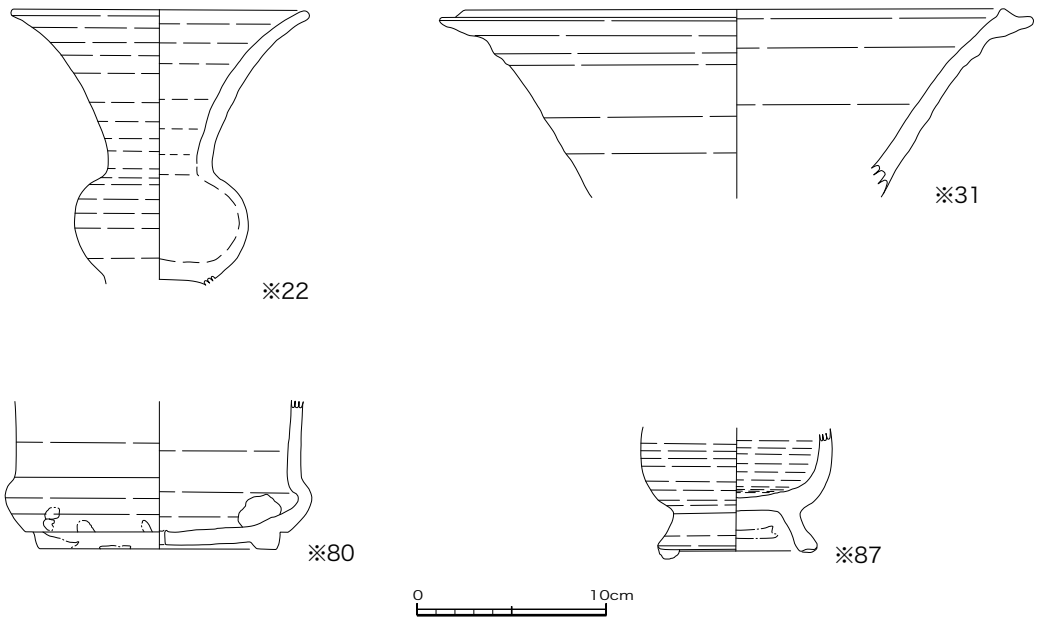
６点のうち４点はA類であるが、これらの粒径は１類と５類とに２点ずつ分かれる。また、他の２点はB類とC類であり、粒径はいずれも３類である。粒径からみれば、標準的な粒径の砂の胎土とそれより細粒傾向にある砂の胎土とから構成されている。

・折縁小皿（試料番号18～21）

４点のうち３点までがA１類であり、他の１点はC１類である。

・花瓶（試料番号22～26，87～89）

試料番号22～26および87の６点までがA１類であり、残る試料番号88、89の２点はA２類である。



第99図　分析資料実測図

• 片口鉢（試料番号27～31）

５点の中にはＡ１類が１点も認められず、４点までがＤ２類であり、試料番号28のみＣ３類である。

• 擂鉢（試料番号32、33）

２点ともにC類であるが、粒径はやや粗粒の２類と細粒の５類とに分かれる。

• 直縁大皿（試料番号34）

Ｃ１類である。

• 中鉢（試料番号35）

Ｃ１類である。

• 筒形容器灰（試料番号36）

Ａ１類である。

• 短頸茶（試料番号37）

Ｅ３類である。

• 瓶子（試料番号38～53）

16点の試料のうち、９点までがＡ１類であり、次いでＡ２類が５点あり、残る２点は試料番号45がＢ７類、試料番号48はＡ５類である。なお、Ａ２類５点のうち、４点までがc２グリッド出土品である。

• 四耳壺（試料番号54～59）

６点のうち、５点はA類であるが、粒径はＡ１類が２点、Ａ２類が２点、Ａ７類が１点に分かれる。残る１点（試料番号54）はＣ１類である。

• 口広有耳壺（試料番号60～63，65～71）

11点の試料のうち、９点までがA類であるが、Ａ１類が５点、Ａ２類が３点、Ａ４類が１点に分かれる。残る２点（試料番号63、67）はともにE類であるが、Ｅ５類とＥ１類とに分かれる。

• 有耳壺（試料番号64）

Ｅ１類である。

• 筒形容器（試料番号72～75）

４点の試料のうち、３点までがA類であるが、Ａ１類、Ａ２類、Ａ５類とに分かれる。残る１点（試料番号72）はＥ１類である。

• 桶（試料番号76～79）

４点の試料のうち、３点までがA類であるが、Ａ１類、Ａ３類、Ａ５類とに分かれる。残る１点（試料番号79）はＥ１類である。

• 花盆（試料番号80，82，83）

Ａ１類、Ｅ１類、Ｃ２類とに分かれる。

• 片口小鉢（試料番号81）

Ａ１類である。

• 把手付鍋（試料番号84～86）

３点の試料のうち、Ａ１類は１点、Ａ２類が２点である。

• 水注Ⅱ（試料番号90）

Ａ２類である。

• 釜（試料番号91）

今回の試料の中で唯一のＡ０類である。

• 内耳鍋（試料番号92）

Ｄ１類である。

• 碗形鉢（試料番号93～96）

４点の試料のうち、２点はＡ１類であるが、他の２点は、Ｄ３類とＥ１類とに分かれる。

• 茶壺（試料番号97～100）

４点の試料のうち、３点はＡ１類であるが、試料番号99のみＥ３類である。

• 甕鉢？底部（試料番号101）

Ｄ２類である。

• 甕　素地（試料番号102）

Ｄ２類である。

• 甕　鉄内灰（試料番号103）

Ａ７類である。

• 甕　灰内灰（試料番号104）

Ａ２類である。

• 広口壺（試料番号105）

Ａ６類である。

• 柄付片口（試料番号106，107）

Ａ７類とＡ２類である。

• 水注Ｉ（試料番号108）

Ｄ４類である。

• 小壺（試料番号109）

Ａ２類である。

• 合子（試料番号110）

Ａ２類である。

• ルイザ茶入れ（試料番号111）

Ａ２類である。

（２）蛍光Ｘ線分析

分析結果を表４に示す。古瀬戸の釉薬は、「鉄釉」と「灰釉」の二種類に大別されるといわれている（藤澤，1995）。今回の分析でも、Fe_2O_3の含量が７％以上のものと１～４％程度のものとに２分することができる。また、Fe_2O_3とCaOとの負の相関関係も比較的明瞭であり、上述のFe_2O_3の含量が７％以上の試料はCaOの含量が10％未満、Fe_2O_3の含量が１～４％程度のものはCaOの含量が10％以上を示す。

これらのことから、Fe_2O_3が多くCaOの少ない釉が鉄釉に相当し、それとは逆の組成を示す釉が灰釉に相当すると考えられる。

分析により鉄釉が確認された器種は、天目茶碗、短頚茶、口広有耳壺、茶壺、擂座茶入れであり、灰釉が確認された器種は、花瓶、筒形容器灰、瓶子、四耳壺、筒形容器、桶、把手付き鍋、碗形鉢、甕、柄付片口の各器種である。なお、内耳鍋（試料番号92）については、Fe_2O_3もCaOも少量であり、釉の性質は不明である。

4．考　察

（1）胎土分類と地質

瀬戸市周辺地域における地質の概要は、山田ほか（1977）や日本の地質「中部地方Ⅱ」編集委員会（1988）などにより知ることができる。これらの資料から、鷲窯跡が立地している山地斜面を構成している地質は、苗木花崗岩と呼ばれる新期領家花崗岩類であり、瀬戸市中心部の周囲に広がる丘陵は、瀬戸陶土層および矢田川累層と呼ばれる新第三紀中新世から鮮新世において形成された東海層群から構成されている。瀬戸陶土層は、花崗岩類の基盤上にできた凹地に堆積した粘土および砂岩からなり、矢田川累層は砂礫層、シルト層、粘土層からなる。さらに、これらの堆積層を構成する砕屑物は、上記した花崗岩類や岐阜県川の多治見市や土岐市の山地に分布する美濃帯とよばれる古生層に由来する。美濃帯は主に砂岩、頁岩、チャートから構成されている。

今回の試料の胎土に認められた主な鉱物片のうち、石英は花崗岩にも美濃帯の堆積岩類にも多く含まれる鉱物であり、カリ長石と斜長石および黒雲母は主に花崗岩類に多く含まれている。また、胎土中に認められた岩石片のうち、チャートは美濃帯に由来し、花崗岩類は領家新期花崗岩類に由来する。そして、胎土中にこれらが混在していることは、その由来が、瀬戸陶土層や矢田川累層であることを示唆していると考えて良い。

ここで、今回分類を行ったうちのA～E類までの関係について考察する。通常は、胎土中に含まれている鉱物片や岩石片の種類が異なれば、それぞれ採取地や層位の異なる粘土あるいは砂が胎土に使用されていると考え、複数種の素地土が存在した可能性があると考えることができる。ただし、今回の試料は、焼成温度の高い陶器であることを考慮しなければならない。薄片下では、1000℃以上の高温により発生する長石類の溶融やムライトの晶出が観察されているが、このうち、カリ長石や斜長石の存在が特徴であるC類およびD類では、ムライト化の程度が他の類の胎土に比べて低いことが第5表～第7表から読みとれる。このことは、C類およびD類の試料は他の胎土に比べて焼成温度が若干低かったために長石類が残存した可能性のあることを示す。すなわち、焼成前の素地土では、A類とC類はほぼ同質であり、D類とE類も同質であった可能性がある。したがって、焼成前の状態では、鉱物片・岩石片による分類は、石英・長石類およびチャートを含むA・C類、チャートを含まないB類、石英・長石類・チャートに加えて黒雲母を含むD・E類の3種類になるといえる。これに焼成温度による長石類の消失という現象が加わったために見かけ上5種類に分類されたといえる。

（2）器種と胎土との関係について

上述したように、今回の試料における胎土では、鉱物片・岩石片の産状による差異の程度は小さい。これは、全ての試料の胎土が同一の地質（おそらく瀬戸陶土層）に由来することに起因すると考えられる。したがって、土器製作事情の違いが胎土のなかに記録されているとすれば、それは、胎土中の砕屑物の種

類よりも粒径の違いの方に、より濃く反映されると考えられる。第８表～第10表には、粒径のみで胎土分類をした結果を記載した。これにより、器種ごとに胎土の傾向が異なることがわかる。

例えば、天目茶碗は、標準的な粒径の砂を含む胎土とそれより粗い砂を含む胎土とに２分されるのに対し、折縁小皿、花瓶、瓶子、口広有耳壺、茶壺、椀形鉢などは、標準的な粒径の砂を含む胎土が圧倒的に多い。また、片口鉢のようにやや粗い（２類）砂を含む胎土を主体とする器種も認められる一方で縁釉小皿のように細かい砂（３類や５類）を含む胎土が多い器種もある。

現時点では、器種ごとに異なる胎土の状況が、製作時のどのような事情を反映しているかは知ることができない。今回の結果をもとに、発掘調査者側との協議を行い、今後、様々な視点で選択された試料を分析し、その結果を蓄積し、解析することが必要と考えられる。この作業を進めることができれば、当該時期における瀬戸の陶器製作事情に有意な資料を作成することができると考える。

引用文献

藤澤良祐，1995，古瀬戸．概説　中世の土器・陶磁器，367-382，中世土器研究会．
松田順一郎・三輪若葉・別所秀高，1999，瓜生堂遺跡より出土した弥生時代中期の土器薄片の観察―岩石学的・堆積学的による―．日本文化財科学会第16回大会発表要旨集，120-121．
日本の地質「中部地方Ⅱ」編集委員会，1988，日本の地質５　中部地方Ⅱ．共立出版，310p．
山田直利・片田正人・坂本　亨，1977，20万分の１地質図幅「豊橋」（第２版第２刷），地質調査所．

第3表　胎土重鉱物・蛍光X線分析資料　一覧表（1）

番号	登録番号	器　種	グリッド	層　　位	日付	蛍光x線分析No.	備考
1	5504	天目茶碗	d2	黒色灰層　下層（赤褐色混じり）	990202	1	
2	5505	天目茶碗	b2b3	北壁第2層	990325	2	
3	5506	天目茶碗		表採	990630		
4	5507	天目茶碗	e2	黒色灰層中	990209	3	
5	429	天目茶碗	d2	東壁第2層	990318		
6	5508	天目茶碗	e2	黒色灰層中	990209	4	
7	634	平碗	d3	黒色灰層　上層	990204		
8	592	平碗	e2	黒色灰層　上層	990213		
9	617	平碗	e3	黒色灰層　下層	990128		
10	548	平碗	Ⅳ H16g	黒褐色土層	991108		
11	529	平碗	d2	黒色灰層　下層	990217		
12	5509	縁釉小皿	c4	黒色灰層　最下部　褐色土直上	990213		
13	5510	縁釉小皿	d1	黒色灰層　上層	990327		
14	5511	縁釉小皿		北トレンチ	981222		
15	5512	縁釉小皿	Ⅳ H11e	No. 3	990903		
16	5513	縁釉小皿	Ⅳ H11e	No. 4	990903		
17	5514	縁釉小皿	f2		990213		
18	1355	折縁小皿	g2	黒色灰層　上層	990215		
19	1265	折縁小皿	e3e4	北壁第6層	990408		
20	1259	折縁小皿	f2	黒色灰層　下層（赤褐色混じる）	990217		
21	1295	折縁小皿	g2	黒色灰層　上層	990215		
22		花瓶	e3d3	黒色灰層　上層	990213		
23	3117	花瓶	e3d3	東壁第5層	990525	5	
24	3282	花瓶	c5	褐色土層　焼台混じり　地山直上	990423		
25	3277	花瓶	d2	黒色灰層　下層（赤褐色混じる）	990302		
26	5522	花瓶	d4	黒色灰層　上層	990208		
27	2471	片口鉢	Ⅳ H15g	No. 147	991115		
28	2473	片口鉢	Ⅳ H15g	No. 79	991115		
29	2472	片口鉢	Ⅳ H15g	No. 91	991115		
30	2458	片口鉢	Ⅳ H15g	No. 162	991115		
31		片口鉢	d1	褐色土層　（地山直上）	990329		
32	2520	擂鉢	c4	黒色灰層　最下層　褐色土層直上	990215		
33	2527	擂鉢	c4	黒色灰層　最下層　褐色土層直上	990215		
34	5365	直縁大皿	c4	黒色灰層　最下層　褐色土層直上	990215		
35	1850	中鉢	c4	黒色灰層　最下層　褐色土層直上	990215		
36	2911	筒形容器灰	e2d2	東壁第5層	990525	6	
37	2914	短頚　茶	e3	黒色灰層　下層　赤褐色まじる	990127	7	
38	4065	瓶子	c3	黒色灰層　下層　褐色混じり	990209	8	分11
39	4089	瓶子	c3	黒色灰層　下層　褐色混じり	990209		分12
40	4088	瓶子	c3	黒色灰層　下層（褐色混じる）	990209		分13
41	4078	瓶子	c3	黒色灰層　下層　褐色混じり	990209	9	分14
42	4119	瓶子	d1c1	東壁第3層	990412		
43	4117	瓶子	f4e4	東壁第6層	990409		
44	4126	瓶子	c3	黒色灰層　下層（褐色混じる）	990209		
45	4125	瓶子	c4	黒色灰層　最下層　褐色土直上	990215		
46	4115	瓶子	c4	黒色灰層　最下層　褐色土直上	990215		
47	4114	瓶子	d1d2	北壁第7層	990420		
48	4112	瓶子	f4e4	東壁第2層	990409		
49	4111	瓶子	d2c2	東壁第4層	990324	10	
50	4047	瓶子	d2	褐色土層（地山直上）	990422		
51	4182	瓶子	f4e4	東壁第2層	990409	11	
52	4153	瓶子	e6d6	東壁第2層	990520		
53	4151	瓶子	e3	検出	990112		
54	2691	四耳壺	c4	黒色灰層　最下層　褐色土直上	990215		分1
55	2694	四耳壺	c4	黒色灰層　最下層　褐色土直上	990215		分2
56	2720	四耳壺	c4	黒色灰層　最下層　褐色土直上	990215		分3

第4表　胎土重鉱物・蛍光X線分析資料　一覧表（2）

番号	登録番号	器　種	グリッド	層　　位	日付	蛍光x線分析No.	備考
57	5518	四耳壺	c4	黒色灰層　最下層　褐色土直上	990215	12	分4
58	5517	四耳壺	d4	褐色土層　地山直上	990426	13	分5
59	2762	四耳壺	d1	褐色土層（地山直上）	990329		分6
60	2850	口広有耳壺		東トレンチ	981224	14	分4
61	2882	口広有耳壺	c4	褐色土層	990216		
62	2874	口広有耳壺	f4	表土	990210		
63	2879	口広有耳壺	f4	表土	990210	15	
64	2884	有耳壺	b3c3	西壁第2層	990326		
65	2857	口広有耳壺		北トレンチ	981222		分15
66	2851	口広有耳壺	d4	黒色灰層　下層（褐色土多く混じる）	990226		分16
67	2867	口広有耳壺	g2g3	北壁第1層	990324		分17
68	5519	口広有耳壺	f4e4	南壁第2層	990409		
69	5520	口広有耳壺	e3	検出　下層	990126		
70	2903	口広有耳壺	e3	黒灰層　下層　褐色混じり	990201		
71	2898	口広有耳壺	d6	黒褐色土層	990302		
72	4437	筒形容器	f2	黒灰層　下層　赤褐色混じる	990217	16	
73	4438	筒形容器	e3	検出　下層	990126		
74	4456	筒形容器	c2	黒灰層　下層　褐色混じる	990127		
75	4444	筒形容器	e4	黒灰層　下層　褐色混じる	990217		
76	4486	桶	b2	西壁第2層	990409	17	
77	4496	桶	b1c1	西壁第2層	990407		
78	4495	桶	b2b3	北壁第2層	990414		
79	4489	桶	f5e5	東壁第3層	990415		
80		花盆		表採	990730		
81	2391	片口小鉢	d2	検出	990125		
82	4517	花盆	b2	検出	990730		花盆?
83	4524	花盆	c2	黒灰層　下層　褐色混じる	990127		袴腰香炉
84	2613	手付鍋	d2	黒色灰層　下層　赤褐色混じり	990221	18	
85	2595	手付鍋	Ⅳ H16g	黒褐色土層	991026		
86	2597	手付鍋	b2c2	西壁ベース層	990325		
87		花瓶	c4	黒色灰層　最下層　褐色土直上	990215	19	分8
88	3263	花瓶	c4	黒色灰層　最下層　褐色土直上	990215		分9
89	3232	花瓶	c4	黒色灰層　最下層　褐色土直上	990215	20	分10
90	4334	水注Ⅱ	c4	黒色灰層　最下層　褐色土直上	990215		分7
91	4211	土瓶	g2g3	北壁第3層	990326		分18
92	2565	内耳鍋	c2	黒色灰層　下層（褐色混じる）	990127	21	分19
93	2424	碗形鉢		北トレンチ	981222		
94	2440	碗形鉢		東トレンチ	981221	22	
95	5515	碗形鉢	d2	黒色灰層　下層　褐色混じる	990202		
96	2432	碗形鉢	g5	表土	990223		
97	2826	茶壺	b1b3	北壁第2層	990421		
98	2815	茶壺	b1	黒色灰層　下層	990316	23	
99	2825	茶壺	d4	表土	990213	24	
100	2819	茶壺	e7d7	東壁第2層	990521		
101	2541	鉢底部	d2c2	東壁第1層	990318		
102	2774	甕 素地	d2	検出	990121		
103	2772	甕 鉄内灰	d2	検出	990121	25	
104	5516	甕 灰内灰	d2	検出	990121	26	
105	2846	広口壺	d1	褐色砂層（地山直上）	990420		
106	2292	柄付片口	d2	黒色灰層　下層（赤褐色混じり）	990222	27	
107	2272	柄付片口	d2	黒色灰層　下層（赤褐色混じり）	990222		
108	4303	水注Ⅰ	d2c2	南壁第3層	990323		
109	4649	小壺	d1	黒色灰層	990330		
110	4673	合子	f4f5	北壁第1層	990413		
111		擂座茶入	d2c2	東壁第1層	990318	28	

胎土重鉱物分析　111点
蛍光X線分析　28点

第5表　胎土分類結果表（1）

試料番号	器種	グリッド	層位	日付	調査区		A								B			C				D							E			孔隙度	方向性	粘土残存量	含鉄量	長石の溶融度	ムライト化	
							0	6	4	2	1	3	5	7	1	3	7	2	1	3	5	4	2	1	3	5	1	3	5								
1	天目茶碗	d2	黒色灰層 下層（赤褐色混じり）	990022		天19					■																			△	×	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。淡褐色の釉薬が塗られている。
2	天目茶碗	b2-b3	北壁第2層	990325		天29					■																			△	×	+	+	◎	○	試料表面部には淡褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状鉱物および樹枝状の不透明鉱物が生じている。
3	天目茶碗		表採	990630	99	天20			■																					△	△	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。チャート中の微小石英も溶融化している。淡褐色の釉薬が塗られている。
4	天目茶碗	e2	黒色灰層中	990209		天6				■																				△	△	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。チャート中の微小石英も溶融化している。無色の釉薬が塗られている。
5	天目茶碗	d2-d2	東壁第2層	990318		天25					■																			×	△	+	+	○	×	斜長石は溶融し、結晶中央部のみが残存している。
6	天目茶碗	e2	黒色灰層中	990209		天30			■																					△	△	+	+	○	○	試料表面部には淡褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状鉱物および樹枝状の不透明鉱物が生じている。
7	平碗	d3	黒色灰層 上層	990204		平21					■																			×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
8	平碗	e2	黒色灰層 上層	990213		平29						■																		△	△	+	+	○	△	試料表面部には淡褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状～針状鉱物が生じている。
9	平碗	d3	黒色灰層 下層	990128		平12									■															×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
10	平碗	IVH16g	黒褐色土層	991108	99B	平17			■																					×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
11	平碗	d2	黒色灰色 下層	990217		平19							■																	×	×	+	+	△	×	斜長石は結晶表面部が、帯状に溶融化している。
12	縁釉小皿	c4	黒色灰層 最下部 褐色土直上	990213		縁23					■																			△	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
13	縁釉小皿	d1	黒色灰色 上層	990327		縁6						■																		×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
14	縁釉小皿		北トレンチ	981222	98	縁28						■																		×	×	+	+	○	△	試料表面部には淡褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
15	縁釉小皿	IVH11e	№3	990903	99A	縁15					■																			×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
16	縁釉小皿	IVH11e	№4	990903	99A	縁16									■															×	×	+	+	○	△	試料表面部には淡褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
17	縁釉小皿	f2		990213		縁7												■												×	×	+	+	△	△	斜長石は結晶表面部が、帯状に溶融化している。
18	折縁小皿	g2	黒色灰層 上層	990215		折53					■																			×	×	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
19	折縁小皿	e3-e4	北壁第6層	990408		折48					■																			×	×	+	+	△	×	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
20	折縁小皿	f2	黒色灰層 下層（赤褐色混じる）	990217		折38					■																			×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
21	折縁小皿	g2	黒色灰層 上層	990215		折31													■											×	×	+	+	○	×	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
22	花瓶	c4	黒色灰層 上層	990213		花63					■																			△	×	+	+	◎	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
23	花瓶	e3-e4	東壁第5層	990525		花60					■																			×	×	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
24	花瓶	c5	褐色土層 焼台混じり 地山直上	990423		花78					■																			×	×	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
25	花瓶	d2	黒色灰層 カオス（赤褐色混じる）	990302		花42					■																			△	×	+	+	◎	○	チャート中の微小石英も溶融化している。試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
26	花瓶	d4	黒色灰層 上層	990208		花47					■																			△	×	+	+	◎	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
27	片口鉢	IVH15g	№147	991115	99B																	■								×	×	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
28	片口鉢	IVH15g	№79	991115	99B														■											×	×	+	+	○	△	花崗岩由来の粗粒なカリ長石は溶融して中心部のみが残存する。
29	片口鉢	IVH15g	№91	991115	99B																	■								△	△	+	+	○	○	多結晶石英は花崗岩由来。粗粒な斜長石は結晶中央部のみが残存する。
30	片口鉢	IVH15g	№162	991115	99B																	■								×	△	△	+	△	×	斜長石は結晶表面部が、薄く溶融化している。
31	片口鉢	d1	褐色土層（地山直上）	990329																		■								×	△	△	+	×	×	長石類の溶融化は認められない。
32	擂鉢	c4	黒色灰層 最下層 褐色土層直上	990215													■													×	×	+	+	△	×	斜長石は結晶表面部が、薄く溶融化している。
33	擂鉢	c4	黒色灰層 最下層 褐色土層直上	990215																■										△	×	+	+	△	×	カリ長石は溶融化しているものが多く認められるが、斜長石は結晶表面部のみ溶融している。
34	直縁大皿	c4	黒色灰層 最下層 褐色土層直上	990215															■											×	×	+	+	○	×	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
35	中鉢	c4	黒色灰層 最下層 褐色土層直上	990215															■											△	×	+	+	○	×	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。カリ長石は溶融化しているものが多く認められるが、斜長石は結晶表面部のみ溶融している。
36	筒形容器灰	e2-d2	東壁第5層	990525							■																			×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
37	短頸　茶	e3	黒色灰層 下層 赤褐色混じる	990127																								■		×	×	+	+	○	○	試料表面部には淡褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状鉱物および樹枝状の不透明鉱物が生じている。
38	瓶子	c3	黒色灰層 下層 褐色混じる	990209		分11				■																				×	×	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
39	瓶子	c3	黒色灰層 下層 褐色混じり	990209		分12				■																				△	×	+	+	◎	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。チャート中の微小石英も溶融化している。無色の釉薬が塗られている。
40	瓶子	c3	黒色灰層 下層（褐色混じる）	990209		分13				■																				△	×	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。試料表面部には淡褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状鉱物および樹枝状の不透明鉱物が生じている。
41	瓶子	c3	黒色灰層 下層 褐色混じる	990209		分14					■																			×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。

第6表　胎土分類結果表（2）

試料番号	器種	グリッド	層位	日付	調査区		A								B				C				D							E			孔隙度	方向性	粘土残存量	含鉄量	長石の溶融度	ムライト化	
							0	6	4	2	1	3	5	7	1	3	7	2	1	3	5	4	2	1	3	5	1	3	5									
42	瓶子	d1-c1	東壁第3層	990412							■																				×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
43	瓶子	f4-e4	東壁第6層	990409							■																				×	×	+	+	○	△	
44	瓶子	c3	黒色灰層 下層（褐色混じる）	990209						■																					×	×	+	+	○	△	試料表面部には褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
45	瓶子	c4	黒色灰層 最下層 褐色土直上	990215												■															△	×	+	+	△	×	斜長石は結晶表面部が溶融している。
46	瓶子	c4	黒色灰層 最下層 褐色土直上	990215							■																				×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
47	瓶子	d1-d2	北壁第7層	990420							■																				×	×	+	+	△	×	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
48	瓶子	f4-e4	東壁第2層	990409								■																			×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
49	瓶子	d2-c2	東壁第4層	990324							■																				×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
50	瓶子	d2	褐色土層（地山直上）	990422							■																				×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
51	瓶子	f4-e4	東壁第2層	990409							■																				△	×	+	+	◎	○	素地は溶融し、弱い発泡組織を形成している。試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
52	瓶子	e6-d6	東壁第2層	990520							■																				×	×	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
53	瓶子	e3	検出	990112						■																					△	×	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
54	四耳壺	c4	黒色灰層 最下層 褐色土直上	990215		分1												■													×	×	+	+	△	×	長石類の結晶表面部は微弱に溶融している。
55	四耳壺	c4	黒色灰層 最下層 褐色土直上	990215		分2					■																				△	△	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
56	四耳壺	c4	黒色灰層 最下層 褐色土直上	990215		分3								■																	△	△	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
57	四耳壺	c4	黒色灰層 最下層 褐色土直上	990215		分4				■																					×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
58	四耳壺	d4	褐色土層 地山直上	990426		分5					■																				×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
59	四耳壺	d1	褐色土層（地山直上）	990329		分6				■																					△	△	+	+	○	△	長石類は溶融しているが、結晶中央部が残存しているものもある。
60	口広有耳壺		東トレンチ	981224	98	分4				■																					△	×	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。淡褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状鉱物および樹枝状の不透明鉱物が生じている。
61	口広有耳壺	c4	褐色土層	990216						■																					△	×	+	+	◎	◎	試料表面部には無色～淡褐色の釉薬が塗られている。
62	口広有耳壺	f4	表土	990210							■																				△	×	+	+	◎	○	試料表面部には褐色の釉薬が塗られている。
63	口広有耳壺	f4	表土	990210																									■		△	×	+	+	◎	○	素地は溶融し、弱い発泡組織を形成している。試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
64	有耳壺	b3-c3	西壁第2層	990326																							■			△	×	+	+	◎	○	素地は溶融し、弱い発泡組織を形成している。試料表面部には無色～淡褐色の釉薬が塗られている。
65	口広有耳壺		北トレンチ	981222	98	分15					■																				△	×	+	+	◎	○	素地は溶融し、弱い発泡組織を形成している。試料表面部には淡褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には針状鉱物および樹枝状の不透明鉱物が晶出している。
66	口広有耳壺	d4	黒色灰層 下層（褐色土多く混じる）	990226		分16					■																				△	△	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。試料表面部には淡褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には樹枝状の不透明鉱物が晶出している。
67	口広有耳壺	g2-g3	北壁第1層	990324		分17																					■			△	×	+	+	◎	○	素地は溶融し、弱い発泡組織を形成している。試料表面部には褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には樹枝状の不透明鉱物が晶出している。
68	口広有耳壺	f4-e4	南壁第2層	990409							■																				○	△	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。試料表面部には無色～淡褐色の釉薬が塗られている。チャート中の微小石英も溶融化している。
69	口広有耳壺	e3	検出 下層	990126							■																				○	△	+	+	◎	◎	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。試料表面部には無色～淡褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には針状の不透明鉱物が晶出している。
70	口広有耳壺	e3	黒灰層 下層 褐色混じる	990201					■																						△	×	+	+	◎	○	素地は溶融し、弱い発泡組織を形成している。試料表面部には無色～淡褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には針状～柱状鉱物が晶出している。
71	口広有耳壺	d6	黒褐色土層	990302						■																					△	×	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。試料表面部には無色～淡褐色の釉薬が塗られている。
72	筒形容器	f2	黒灰色 下層 赤褐色混じる	990217																							■			△	×	+	+	◎	○	素地は溶融し、弱い発泡組織を形成している。試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
73	筒形容器	e3	検出 下層	990126						■																					×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
74	筒形容器	c2	黒灰層 下層 褐色混じる	990127							■																				△	×	+	+	◎	○	素地は溶融し、弱い発泡組織を形成している。試料表面部には無色の釉薬が塗られている。多結晶石英は、チャート由来。
75	筒形容器	e4	黒灰層 下層 褐色混じる	990217								■																			×	×	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
76	桶	b1-c1	西壁第2層	990409								■																			×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
77	桶	b1-c1	西壁第2層	990407								■																			△	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。多結晶石英は、チャート由来。
78	桶	b2-b3	北壁第2層	990414							■																				△	×	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
79	桶	f5-e5	東壁第3層	990415																							■			×	×	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
80	花盆		表採	990730	99						■																				×	×	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
81	片口小鉢	d2	検出	990125							■																				△	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
82	花盆	b-2	検出	990730	99	花盆？																					■			△	△	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。

第7表　胎土分類結果表（3）

試料番号	器種	グリッド	層位	日付	調査区		A								B			C				D						E			孔隙度	方向性	粘土残存量	含鉄量	長石の溶融度	ムライト化	
							0	6	4	2	1	3	5	7	1	3	7	2	1	3	5	4	2	1	3	5	1	3	5							
83	花盆	c2	黒灰層 下層 褐色混じる	990127														■												△	△	+	+	△	×	
84	把手付鍋	d2	黒色灰層 下層 赤褐色混じる	990221		袴腰香炉				■																				△	△	+	+	◎	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
85	把手付鍋	IVH16g	黒褐色土層	991026	99B					■																				△	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
86	把手付鍋	b2-c2	西壁ベース層	990325							■																			△	△	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
87	花瓶	c4	黒色灰層 最下層 褐色土直上	990215		分8					■																			△	△	+	+	◎	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
88	花瓶	c4	黒色灰層 最下層 褐色土直上	990215		分9				■																				△	△	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
89	花瓶	c4	黒色灰層 最下層 褐色土直上	990215		分10				■																				△	△	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
90	水注Ⅱ	c4	黒色灰層 最下層 褐色土直上	990215		分7				■																				×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
91	釜	g2-g3	北壁第３層	990326		分18	■																							△	×	+	+	○	△	チャート中の微小石英も溶融化している。
92	内耳鍋	c2	黒色灰層 下層（褐色混じる）	990127		分19																	■							×	×	+	+	○	△	カリ長石は溶融化し、結晶中央部のみ残存する。
93	碗形鉢		北トレンチ	981222	98						■																			△	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。チャート中の微小石英も溶融化している。
94	碗形鉢		東トレンチ	981221	98																			■						△	△	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
95	碗形鉢	d2	黒色灰層 下層 褐色混じる	990202							■																			△	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
96	碗形鉢	g5	表土	990223																							■			△	×	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。無色の釉薬が塗られている。
97	茶壺	b1-b3	北壁第２層	990421							■																			×	○	+	+	○	○	素地には縞状の濃淡が認められる。
98	茶壺	b1	黒色灰層 下層	990316							■																			△	×	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。淡褐～褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状鉱物および樹枝状の不透明鉱物が生じている。
99	茶壺	d4	表土	990213																							■			○	×	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。淡褐～褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状鉱物および樹枝状の不透明鉱物が生じている。
100	茶壺	e7-d7	東壁第２層	990521							■																			△	△	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。淡褐～褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状鉱物および樹枝状の不透明鉱物が生じている。
101	甕鉢？底部	d2-c2	東壁第１層	990318																		■								×	×	+	+	○	△	長石類は溶融しているが、結晶中央部が残存しているものもある。
102	甕 素地	d-2	検出	990121																		■								×	×	+	+	○	△	長石類は溶融しているが、結晶中央部が残存しているものもある。
103	甕 鉄内灰	d-2	検出	990121										■																△	△	+	+	△	×	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
104	甕 灰内灰	d-2	検出	990121						■																				△	△	+	+	◎	○	素地は溶融し、弱い発泡組織を形成している。試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
105	広口壺	d-1	褐色砂層（地山直上）	990420				■																						△	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。一部、径6mm大の鉄滓様物質が付着している部分がある。
106	柄付片口	d-2	黒色灰層 下層（赤褐色混じり）	990222										■																△	×	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
107	柄付片口	d-2	黒色灰層 下層（赤褐色混じり）	990222						■																				△	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状鉱物が生じている。
108	水注Ⅰ	d2-c2	南壁第３層	990323																		■								×	×	+	+	△	×	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状鉱物が生じている。チャート中の微小石英も溶融化している。長石類は溶融しているが、結晶中央部が残存しているものもある。
109	小壺	d-1	黒色灰層	990330						■																				△	×	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。淡褐～褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状鉱物および樹枝状の不透明鉱物が生じている。
110	合子	f4-f5	北壁第１層	990413						■																				△	×	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状鉱物が生じている。
111	擂座茶入	d2-c2	東壁第１層	990318						■																				○	×	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。試料表面部には淡褐色の釉薬が塗られている。

第8表　胎土分類結果表（4）

試料番号	器種	グリッド	層位	日付	調査区		0 不海法	6 粗粒	4	2	1 標準	3	5	7 細粒	孔隙度	方向性	粘土残存量	含鉄量	長石の溶融度	ムライト化	
1	天目茶碗	d2	黒色灰層 下層（赤褐色混じり）	99022		天19					■				△	×	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。淡褐色の釉薬が塗られている。
2	天目茶碗	b2-b3	北壁第2層	990325		天29					■				△	×	+	+	◎	○	試料表面部には淡褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状鉱物および樹枝状の不透明鉱物が生じている。
3	天目茶碗		表採	990630	99	天20			■						△	△	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。チャート中の微小石英も溶融化している。淡褐色の釉薬が塗られている。
4	天目茶碗	e2	黒色灰層中	990209		天6				■					△	△	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。チャート中の微小石英も溶融化している。無色の釉薬が塗られている。
5	天目茶碗	d2-d2	東壁第2層	990318		天25					■				×	△	+	+	○	×	斜長石は溶融し、結晶中央部のみが残存している。
6	天目茶碗	e2	黒色灰層中	990209		天30			■						△	△	+	+	○	○	試料表面部には淡褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状鉱物および樹枝状の不透明鉱物が生じている。
7	平碗	d3	黒色灰層 上層	990204		平21					■				×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
8	平碗	e2	黒色灰層 上層	990213		平29						■			△	△	+	+	○	△	試料表面部には淡褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状ー針状鉱物が生じている。
9	平碗	d3	黒色灰層 下層	990128		平12					■				×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
10	平碗	IVH16g	黒褐色土層	991108	99B	平17			■						×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
11	平碗	d2	黒色灰色 下層	990217		平19							■		×	×	+	+	△	×	斜長石は結晶表面部が、帯状に溶融化している。
12	縁釉小皿	c4	黒色灰層 最下部 褐色土直上	990213		縁23					■				△	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
13	縁釉小皿	d1	黒色灰色 上層	990327		縁6							■		×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
14	縁釉小皿		北トレンチ	981222	98	縁28							■		×	×	+	+	○	△	試料表面部には淡褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
15	縁釉小皿	IVH11e	№3	990903	99A	縁15					■				×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
16	縁釉小皿	IVH11e	№4	990903	99A	縁16						■			×	×	+	+	○	△	試料表面部には淡褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
17	縁釉小皿	f2		990213		縁7						■			×	×	+	+	△	△	斜長石は結晶表面部が、帯状に溶融化している。
18	折縁小皿	g2	黒色灰層 上層	990215		折53					■				×	×	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
19	折縁小皿	e3-e4	北壁第6層	990408		折48					■				×	×	+	+	△	×	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
20	折縁小皿	f2	黒色灰層 下層（赤褐色混じる）	990217		折38					■				×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
21	折縁小皿	g2	黒色灰層 上層	990215		折31					■				×	×	+	+	○	×	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
22	花瓶	c4	黒色灰層 上層	990213		花63					■				△	×	+	+	◎	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
23	花瓶	e3-e4	東壁第5層	990525		花60					■				×	×	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
24	花瓶	c5	褐色土層 焼台混じり 地山直上	990423		花78					■				×	×	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
25	花瓶	d2	黒色灰層 カオス（赤褐色混じる）	990302		花42					■				△	×	+	+	◎	○	チャート中の微小石英も溶融化している。試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
26	花瓶	d4	黒色灰層 上層	990208		花47					■				△	×	+	+	◎	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
27	片口鉢	IVH15g	№147	991115	99B					■					×	×	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
28	片口鉢	IVH15g	№79	991115	99B							■			×	×	+	+	○	△	花崗岩由来の粗粒なカリ長石は溶融して中心部のみが残存する。
29	片口鉢	IVH15g	№91	991115	99B					■					△	△	+	+	○	○	多結晶石英は花崗岩由来。粗粒な斜長石は結晶中央部のみが残存する。
30	片口鉢	IVH15g	№162	991115	99B					■					×	△	△	+	△	×	斜長石は結晶表面部が、薄く溶融化している。
31	片口鉢	d1	褐色土層（地山直上）	990329						■					×	△	△	+	×	×	長石類の溶融化は認められない。
32	擂鉢	c4	黒色灰層 最下層 褐色土層直上	990215						■					×	×	+	+	△	×	斜長石は結晶表面部が、薄く溶融化している。
33	擂鉢	c4	黒色灰層 最下層 褐色土層直上	990215									■		△	×	+	+	△	×	カリ長石は溶融化しているものが多く認められるが、斜長石は結晶表面部のみ溶融している。
34	直縁大皿	c4	黒色灰層 最下層 褐色土層直上	990215							■				×	×	+	+	○	×	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
35	中鉢	c4	黒色灰層 最下層 褐色土層直上	990215							■				△	×	+	+	○	×	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。カリ長石は溶融化しているものが多く認められるが、斜長石は結晶表面部のみ溶融している。
36	筒形容器灰	e2-d2	東壁第5層	990525							■				×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
37	短頸　茶	e3	黒色灰層 下層 赤褐色混じる	990127								■			×	×	+	+	○	○	試料表面部には淡褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状鉱物および樹枝状の不透明鉱物が生じている。
38	瓶子	c3	黒色灰層 下層 褐色混じる	990209		分11				■					×	×	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
39	瓶子	c3	黒色灰層 下層 褐色混じり	990209		分12				■					△	×	+	+	◎	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。チャート中の微小石英も溶融化している。無色の釉薬が塗られている。
40	瓶子	c3	黒色灰層 下層（褐色混じる）	990209		分13				■					△	×	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。試料表面部には淡褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状鉱物および樹枝状の不透明鉱物が生じている。
41	瓶子	c3	黒色灰層 下層 褐色混じる	990209		分14					■				×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。

第9表　胎土分類結果表（5）

試料番号	器種	グリッド	層位	日付	調査区		0 不海綿	6 粗粒	4	2	1 標準	3	5	7 細粒	孔隙度	方向性	粘土残存量	含鉄量	長石の溶融度	ムライト化	
42	瓶子	d1-c1	東壁第3層	990412							■				×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
43	瓶子	f4-e4	東壁第6層	990409							■				×	×	+	+	○	△	
44	瓶子	c3	黒色灰層 下層（褐色混じる）	990209						■					×	×	+	+	○	△	試料表面部には褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
45	瓶子	c4	黒色灰層 最下層 褐色土直上	990215							■			■	△	×	+	+	△	×	斜長石は結晶表面部が溶融している。
46	瓶子	c4	黒色灰層 最下層 褐色土直上	990215							■				×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
47	瓶子	d1-d2	北壁第7層	990420							■				×	×	+	+	△	×	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
48	瓶子	f4-e4	東壁第2層	990409									■		×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
49	瓶子	d2-c2	東壁第4層	990324							■				×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
50	瓶子	d2	褐色土層（地山直上）	990422							■				×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
51	瓶子	f4-e4	東壁第2層	990409							■				△	×	+	+	◎	○	素地は溶融し、弱い発泡組織を形成している。試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
52	瓶子	e6-d6	東壁第2層	990520							■				×	×	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
53	瓶子	e3	検出	990112						■					△	×	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉
54	四耳壺	c4	黒色灰層 最下層 褐色土直上	990215		分1					■				×	×	+	+	△	×	長石類の結晶表面部は微弱に溶融している。
55	四耳壺	c4	黒色灰層 最下層 褐色土直上	990215		分2					■				△	△	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
56	四耳壺	c4	黒色灰層 最下層 褐色土直上	990215		分3								■	△	△	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
57	四耳壺	c4	黒色灰層 最下層 褐色土直上	990215		分4				■					×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
58	四耳壺	d4	褐色土層 地山直上	990426		分5					■				×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
59	四耳壺	d1	褐色土層（地山直上）	990329		分6				■					△	△	+	+	○	△	長石類は溶融しているが、結晶中央部が残存しているものもある。
60	口広有耳壺		東トレンチ	981224	98	分4				■					△	×	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。淡褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状鉱物および樹枝状の不透明鉱物が生じている。
61	口広有耳壺	c4	褐色土層	990216						■					△	×	+	+	◎	◎	試料表面部には無色～淡褐色の釉薬が塗られている。
62	口広有耳壺	f4	表土	990210							■				△	×	+	+	◎	○	試料表面部には褐色の釉薬が塗られている。
63	口広有耳壺	f4	表土	990210									■		△	×	+	+	◎	○	素地は溶融し、弱い発泡組織を形成している。試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
64	有耳壺	b3-c3	西壁第2層	990326							■				△	×	+	+	◎	○	素地は溶融し、弱い発泡組織を形成している。試料表面部には無色～淡褐色の釉薬が塗られている。
65	口広有耳壺		北トレンチ	981222	98	分15					■				△	×	+	+	◎	○	素地は溶融し、弱い発泡組織を形成している。試料表面部には淡褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には針状鉱物および樹枝状の不透明鉱物が晶出している。
66	口広有耳壺	d4	黒色灰層 下層（褐色土多く混じる）	990226		分16					■				△	△	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。試料表面部には淡褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には樹枝状の不透明鉱物が晶出している。
67	口広有耳壺	g2-g3	北壁第1層	990324		分17					■				△	×	+	+	◎	○	素地は溶融し、弱い発泡組織を形成している。試料表面部には褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には樹枝状の不透明鉱物が晶出している。
68	口広有耳壺	f4-e4	南壁第2層	990409							■				○	△	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。試料表面部には無色～淡褐色の釉薬が塗られている。チャート中の微小石英も溶融化している。
69	口広有耳壺	e3	検出 下層	990126							■				○	△	+	+	◎	◎	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。試料表面部には無色～淡褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には針状の不透明鉱物が晶出している。
70	口広有耳壺	e3	黒灰層 下層 褐色混じる	990201					■						△	×	+	+	◎	○	素地は溶融し、弱い発泡組織を形成している。試料表面部には無色～淡褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には針状～柱状鉱物が晶出している。
71	口広有耳壺	d6	黒褐色土層	990302						■					△	×	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。試料表面部には無色～淡褐色の釉薬が塗られている。
72	筒形容器	f2	黒灰色 下層 赤褐色混じる	990217							■				△	×	+	+	◎	○	素地は溶融し、弱い発泡組織を形成している。試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
73	筒形容器	e3	検出 下層	990126						■					×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
74	筒形容器	c2	黒灰層 下層 褐色混じる	990127							■				△	×	+	+	◎	○	素地は溶融し、弱い発泡組織を形成している。試料表面部には無色の釉薬が塗られている。多結晶石英は、チャート由来。
75	筒形容器	e4	黒灰層 下層 褐色混じる	990217									■		×	×	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
76	桶	b1-c1	西壁第2層	990409								■			×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
77	桶	b1-c1	西壁第2層	990407									■		△	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。多結晶石英は、チャート由来。
78	桶	b2-b3	北壁第2層	990414							■				△	×	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
79	桶	f5-e5	東壁第3層	990415							■				×	×	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
80	花盆		表採	990730	99						■				×	×	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
81	片口小鉢	d2	検出	990125							■				△	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
82	花盆	b-2	検出	990730	99	花盆？					■				△	△	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。

第10表　胎土分類結果表（6）

試料番号	器種	グリッド	層位	日付	調査区		0 不海法	6 粗粒	4	2	1 標準	3	5	7 細粒	孔隙度	方向性	粘土残存量	含鉄量	長石の溶融度	ムライト化	
83	花盆	c2	黒灰層 下層 褐色混じる	990127						■					△	△	+	+	△	×	
84	把手付鍋	d2	黒色灰層 下層 赤褐色混じる	990221		袴腰香炉				■					△	△	+	+	◎	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
85	把手付鍋	IVH16g	黒褐色土層	991026	99B					■					△	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
86	把手付鍋	b2-c2	西壁ベース層	990325							■				△	△	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
87	花瓶	c4	黒色灰層 最下層 褐色土直上	990215		分8					■				△	△	+	+	◎	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
88	花瓶	c4	黒色灰層 最下層 褐色土直上	990215		分9				■					△	△	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
89	花瓶	c4	黒色灰層 最下層 褐色土直上	990215		分10				■					△	△	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
90	水注Ⅱ	c4	黒色灰層 最下層 褐色土直上	990215		分7				■					×	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
91	釜	g2-g3	北壁第3層	990326		分18	■								△	×	+	+	○	△	チャート中の微小石英も溶融化している。
92	内耳鍋	c2	黒色灰層 下層 (褐色混じる)	990127		分19					■				×	×	+	+	○	△	カリ長石は溶融化し、結晶中央部のみ残存する。
93	碗形鉢		北トレンチ	981222	98						■				△	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。チャート中の微小石英も溶融化している。
94	碗形鉢		東トレンチ	981221	98							■			△	△	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
95	碗形鉢	d2	黒色灰層 下層 褐色混じる	990202							■				△	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
96	碗形鉢	g5	表土	990223							■				△	×	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。無色の釉薬が塗られている。
97	茶壺	b1-b3	北壁第2層	990421							■				×	○	+	+	○	○	素地には縞状の濃淡が認められる。
98	茶壺	b1	黒色灰層 下層	990316							■				△	×	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。淡褐～褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状鉱物および樹枝状の不透明鉱物が生じている。
99	茶壺	d4	表土	990213								■			○	×	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。淡褐～褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状鉱物および樹枝状の不透明鉱物が生じている。
100	茶壺	e7-d7	東壁第2層	990521							■				△	△	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。淡褐～褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状鉱物および樹枝状の不透明鉱物が生じている。
101	甕鉢？底部	d2-c2	東壁第1層	990318						■					×	×	+	+	○	△	長石類は溶融しているが、結晶中央部が残存しているものもある。
102	甕 素地	d-2	検出	990121						■					×	×	+	+	○	△	長石類は溶融しているが、結晶中央部が残存しているものもある。
103	甕 鉄内灰	d-2	検出	990121										■	△	△	+	+	△	×	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、針状鉱物が生じている。
104	甕 灰内灰	d-2	検出	990121						■					△	△	+	+	◎	○	素地は溶融し、弱い発泡組織を形成している。試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
105	広口壺	d-1	褐色砂層 (地山直上)	990420				■							△	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。一部、径6mm大の鉄滓様物質が付着している部分がある。
106	柄付片口	d-2	黒色灰層 下層 (赤褐色混じり)	990222										■	△	×	+	+	○	○	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。
107	柄付片口	d-2	黒色灰層 下層 (赤褐色混じり)	990222						■					△	×	+	+	○	△	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状鉱物が生じている。
108	水注Ⅰ	d2-c2	南壁第3層	990323					■						×	×	+	+	△	×	試料表面部には無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状鉱物が生じている。チャート中の微小石英も溶融化している。長石類は溶融しているが、結晶中央部が残存しているものもある。
109	小壺	d-1	黒色灰層	990330						■					△	×	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。淡褐～褐色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状鉱物および樹枝状の不透明鉱物が生じている。
110	合子	f4-f5	北壁第1層	990413						■					△	×	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。無色の釉薬が塗られている。釉薬中には、柱状鉱物が生じている。
111	擂座茶入	d2-c2	東壁第1層	990318						■					○	×	+	+	◎	○	素地は著しく溶融し、発泡組織を形成している。試料表面部には淡褐色の釉薬が塗られている。

第11表　釉薬の化学組成

試料番号	器種	SiO2	Al2O3	TiO2	Fe2O3	MnO	CaO	MgO	Na2O	K2O	P2O5	S	Cu	Zn	Rb	Sr	Zr	Ba
1	天目茶碗	58.92	17.25	0.57	8.90	0.37	8.35	2.23	0.05	2.75	0.42	−	0.02	−	0.02	0.05	0.03	0.06
2		53.12	20.37	0.70	10.43	0.48	8.28	2.41	0.73	2.61	0.62	0.07	0.02	−	0.02	0.06	0.03	0.06
4		59.79	17.13	0.63	7.74	0.34	8.12	2.23	0.59	2.76	0.45	0.06	0.02	0.01	0.01	0.05	0.03	0.04
6		56.25	17.14	0.75	12.49	0.31	7.52	2.12	0.04	2.98	0.19	0.02	0.03	0.01	0.02	0.06	0.04	0.03
23	花瓶	57.30	15.59	0.54	1.45	0.48	16.63	3.30	0.06	3.19	1.26	−	0.02	−	0.02	0.10	0.03	0.04
36	筒形容器灰	58.94	17.93	0.63	1.88	0.37	12.45	2.98	0.07	3.36	1.26	0.01	0.01	−	0.02	0.06	0.03	0.01
37	短頚　茶	53.04	22.67	0.98	9.56	0.42	5.92	2.89	0.06	3.32	0.95	0.01	0.03	0.01	0.02	0.03	0.04	0.06
38	瓶子	56.87	16.19	0.51	1.55	0.30	16.77	2.83	0.05	3.86	0.84	−	0.01	−	0.02	0.12	0.02	0.07
41		56.19	19.16	0.71	2.10	0.42	13.22	3.26	0.10	3.45	1.22	−	0.02	−	0.02	0.06	0.03	0.05
49		57.42	17.92	0.59	1.52	0.44	14.23	3.04	0.08	3.45	1.15	−	0.02	−	0.02	0.07	0.02	0.02
51		57.17	18.10	0.77	2.17	0.51	12.53	3.13	0.44	3.78	1.20	0.03	0.02	−	0.02	0.06	0.03	0.03
57	四耳壺	54.36	17.89	0.66	1.89	0.42	15.65	3.35	0.40	3.79	1.30	−	0.05	0.01	0.02	0.10	0.02	0.09
58		55.23	16.31	0.50	1.34	0.47	17.57	3.44	0.34	3.24	1.31	0.01	0.02	0.02	0.01	0.11	0.02	0.06
60	口広有耳壺	56.88	17.91	0.66	8.80	0.38	9.59	2.62	0.08	2.10	0.78	0.04	0.02	−	0.02	0.05	0.03	0.05
63		56.56	20.75	0.80	7.20	0.30	7.42	2.61	0.33	3.23	0.57	0.05	0.02	−	0.02	0.04	0.03	0.05
72	筒形容器	53.59	17.43	0.47	1.42	0.45	15.30	4.00	0.67	4.85	1.56	−	0.01	0.01	0.02	0.10	0.02	0.08
76	桶	56.21	16.38	0.56	1.75	0.42	16.62	3.14	0.32	2.98	1.43	−	0.02	−	0.01	0.10	0.02	0.04
84	把手付鍋	54.59	16.81	0.55	2.21	0.53	16.21	3.25	0.08	4.45	1.03	−	0.01	−	0.02	0.13	0.02	0.11
87	花瓶	59.76	16.54	0.58	1.64	0.38	13.31	2.97	0.04	3.64	0.94	−	0.01	−	0.02	0.07	0.03	0.07
89		57.02	16.91	0.55	2.23	0.48	15.03	3.22	0.08	2.99	1.31	−	0.02	−	0.02	0.08	0.02	0.03
92	内耳鍋	62.29	20.61	0.88	4.24	0.13	4.06	2.38	0.07	4.44	0.67	0.08	0.02	0.01	0.02	0.01	0.04	0.04
94	碗形鉢	57.51	17.33	0.61	2.40	0.54	13.24	3.52	0.09	3.01	1.53	−	0.04	−	0.02	0.07	0.03	0.06
98	茶壺	55.13	19.80	0.81	8.48	0.36	7.96	2.80	0.33	3.23	0.86	0.06	0.03	0.01	0.02	0.04	0.03	0.07
99		56.70	18.23	0.66	7.11	0.38	8.76	3.89	0.47	2.54	1.07	0.02	0.02	−	0.02	0.05	0.03	0.06
103	甕　鉄内灰	54.03	20.08	0.86	3.12	0.46	13.85	2.97	0.27	3.11	0.99	0.05	0.02	0.02	0.02	0.05	0.03	0.06
104	甕　灰内灰	60.66	17.71	0.63	1.79	0.34	11.03	2.70	0.05	3.99	0.94	0.02	0.01	−	0.02	0.04	0.03	0.04
106	柄付片口	57.19	17.06	0.50	1.23	0.46	15.04	3.04	0.45	3.76	1.09	−	0.01	−	0.02	0.09	0.02	0.04
111	擂座茶入	57.58	18.01	0.76	9.78	0.34	6.97	2.81	−	2.66	0.84	0.09	0.02	−	0.02	0.04	0.03	0.04

（単位：wt％）

目次
終了

第12表　薄片観察結果表（1）

試料	砂粒区分	砂粒の種類構成											合計
		鉱物片							岩石片				
		石英	カリ長石	斜長石	白雲母	黒雲母	ジルコン	不透明鉱物	チャート	凝灰岩	多結晶石英	花崗岩類	
1	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂	2							1				3
	中粒砂	12							6		2		20
	細粒砂	28							11		4		43
	極細粒砂	32							5				37
	粗粒シルト	25							2				27
	中粒シルト	8											8
	基質												505
	孔隙												65
2	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂												0
	中粒砂	3							1			1	5
	細粒砂	20							3			3	26
	極細粒砂	30											30
	粗粒シルト	34											34
	中粒シルト	12											12
	基質												378
	孔隙												40
3	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂	2							2				4
	中粒砂	26							11				37
	細粒砂	27							11				38
	極細粒砂	26							1				27
	粗粒シルト	20											20
	中粒シルト	4											4
	基質												483
	孔隙												20
4	細礫								1				1
	極粗粒砂												0
	粗粒砂	2											2
	中粒砂	10							7				17
	細粒砂	21							5				26
	極細粒砂	24											24
	粗粒シルト	19											19
	中粒シルト	16											16
	基質												476
	孔隙												40
5	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂								2				2
	中粒砂	4							13				17
	細粒砂	18	1						12				31
	極細粒砂	34							2				36
	粗粒シルト	30							1				31
	中粒シルト	9											9
	基質												471
	孔隙												20
6	細礫												0
	極粗粒砂	1											1
	粗粒砂	2							1			2	5
	中粒砂	14							4			1	19
	細粒砂	18							3				21
	極細粒砂	24							1				25
	粗粒シルト	11											11
	中粒シルト	7											7
	基質												477
	孔隙												18
7	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂												0
	中粒砂	3							3			1	7
	細粒砂	13							7			1	21
	極細粒砂	17							2				19
	粗粒シルト	15											15
	中粒シルト	9											9
	基質												309
	孔隙												12
8	細礫												0
	極粗粒砂	1							1				2
	粗粒砂	1											1
	中粒砂	10							7				17
	細粒砂	16							2				18
	極細粒砂	24							4				28
	粗粒シルト	31							2				33
	中粒シルト	21											21
	基質												315
	孔隙												35
9	細礫	3											3
	極粗粒砂												0
	粗粒砂	1											1
	中粒砂	4											4
	細粒砂	28											28
	極細粒砂	45											45
	粗粒シルト	41											41
	中粒シルト	20											20
	基質												522
	孔隙												18
10	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂								1				1
	中粒砂	8							15				23
	細粒砂	24							11				35
	極細粒砂	31							1				32
	粗粒シルト	17						1					18
	中粒シルト	5											5
	基質												483
	孔隙												23

試料	砂粒区分	砂粒の種類構成											合計
		鉱物片							岩石片				
		石英	カリ長石	斜長石	白雲母	黒雲母	ジルコン	不透明鉱物	チャート	凝灰岩	多結晶石英	花崗岩類	
11	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂	1											1
	中粒砂	14	2						11				27
	細粒砂	18							8				26
	極細粒砂	25	2						1				28
	粗粒シルト	31											31
	中粒シルト	29											29
	基質												463
	孔隙												15
12	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂	2											2
	中粒砂	6							5				11
	細粒砂	12							6				18
	極細粒砂	20							2				22
	粗粒シルト	25											25
	中粒シルト	14											14
	基質												403
	孔隙												32
13	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂												0
	中粒砂	4							6				10
	細粒砂	15							7				22
	極細粒砂	29						1	3				33
	粗粒シルト	27											27
	中粒シルト	23											23
	基質												426
	孔隙												29
14	細礫												0
	極粗粒砂	1											1
	粗粒砂	1							1				2
	中粒砂	3							2				5
	細粒砂	14							3				17
	極細粒砂	20							4				24
	粗粒シルト	28						1					29
	中粒シルト	31											31
	基質												390
	孔隙												21
15	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂												0
	中粒砂	1							1				2
	細粒砂	27							3				30
	極細粒砂	37							1				38
	粗粒シルト	42											42
	中粒シルト	23											23
	基質												401
	孔隙												19
16	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂	1											1
	中粒砂	3											3
	細粒砂	17											17
	極細粒砂	48											48
	粗粒シルト	51											51
	中粒シルト	29											29
	基質												412
	孔隙												14
17	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂												0
	中粒砂	1		1					2				4
	細粒砂	8							5				13
	極細粒砂	18	1	4					4				27
	粗粒シルト	34	4	3									41
	中粒シルト	16	2	2									20
	基質												229
	孔隙												5
18	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂	1											1
	中粒砂	7							4				11
	細粒砂	12							6				18
	極細粒砂	21							3				24
	粗粒シルト	16											16
	中粒シルト	6											6
	基質												412
	孔隙												16
19	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂												0
	中粒砂	6							7			1	14
	細粒砂	17	1						12				30
	極細粒砂	25							5				30
	粗粒シルト	23							1				24
	中粒シルト	5											5
	基質												339
	孔隙												19
20	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂	1											1
	中粒砂	2							1				3
	細粒砂	17							9				26
	極細粒砂	28		1		1			4				34
	粗粒シルト	27				1			2				30
	中粒シルト	10											10
	基質												425
	孔隙												20

第13表　薄片観察結果表（2）

試料	砂粒区分	砂粒の種類構成											合計
		鉱物片							岩石片				
		石英	カリ長石	斜長石	白雲母	黒雲母	ジルコン	不透明鉱物	チャート	凝灰岩	多結晶石英	花崗岩類	
21	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂								1			1	2
	砂 中粒砂	6							10				16
	細粒砂	24	2						13				39
	極細粒砂	26	3	2					11				42
	粗粒シルト	26	4	7					1				38
	中粒シルト	12	2	3									17
	基質												332
	孔隙												14
22	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂	1							1				2
	中粒砂	2							5				7
	砂 細粒砂	15							13		1		29
	極細粒砂	25							10				35
	粗粒シルト	28							2				30
	中粒シルト	15											15
	基質												390
	孔隙												27
23	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂												0
	中粒砂	3							7				10
	砂 細粒砂	16							9				25
	極細粒砂	24		1					4				29
	粗粒シルト	27		1				1	1				30
	中粒シルト	12											12
	基質												294
	孔隙												20
24	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂								1				1
	中粒砂	5							8				13
	砂 細粒砂	33							19				52
	極細粒砂	56				1			12				69
	粗粒シルト	50		1					2				53
	中粒シルト	16											16
	基質												671
	孔隙												25
25	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂								2				2
	中粒砂	9							6				15
	砂 細粒砂	27							10		1		38
	極細粒砂	45							4				49
	粗粒シルト	41											41
	中粒シルト	18											18
	基質												549
	孔隙												31
26	細礫												0
	極粗粒砂	1											1
	粗粒砂												0
	中粒砂	5							5		2		12
	砂 細粒砂	24							15				39
	極細粒砂	34							6				40
	粗粒シルト	34											34
	中粒シルト	23											23
	基質												639
	孔隙												34
27	細礫		1									2	3
	極粗粒砂	1										1	2
	粗粒砂	7				1							8
	中粒砂	15				1			2			2	20
	砂 細粒砂	24		2		1							27
	極細粒砂	31	1	1		2							35
	粗粒シルト	22		1									23
	中粒シルト	15											15
	基質												664
	孔隙												27
28	細礫	1											1
	極粗粒砂		2										2
	粗粒砂	12	4	1								5	22
	中粒砂	16	3	2					1				22
	砂 細粒砂	26		5					2				33
	極細粒砂	56		2					1				59
	粗粒シルト	69		1									70
	中粒シルト	21											21
	基質												718
	孔隙												35
29	細礫												0
	極粗粒砂	2							1		1		4
	粗粒砂	9							1		4		14
	中粒砂	26		2		2			1		2		33
	砂 細粒砂	42		2		5					1		50
	極細粒砂	35		2		4							41
	粗粒シルト	32				2							34
	中粒シルト	13											13
	基質												901
	孔隙												50
30	細礫												0
	極粗粒砂	1							1			1	3
	粗粒砂	13	3	1							5	3	25
	中粒砂	14	5	7		4					1	2	33
	砂 細粒砂	36	10	7		4							57
	極細粒砂	42	8	12		2		1					65
	粗粒シルト	24	2	8									34
	中粒シルト	17		3									20
	基質												916
	孔隙												20

試料	砂粒区分	砂粒の種類構成											合計
		鉱物片							岩石片				
		石英	カリ長石	斜長石	白雲母	黒雲母	ジルコン	不透明鉱物	チャート	凝灰岩	多結晶石英	花崗岩類	
31	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂	8	1						1			1	11
	砂 中粒砂	11	1		1	2				1		3	19
	細粒砂	41	4	2	2	5			3				57
	極細粒砂	48	3	2	1	2			2				58
	粗粒シルト	26	1	2									29
	中粒シルト	19		1									20
	基質												856
	孔隙												15
32	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂	1							4				5
	中粒砂	10	3						19				32
	砂 細粒砂	28	5	3					23				59
	極細粒砂	43	2	4					4				53
	粗粒シルト	32	2	2									36
	中粒シルト	20	1	2									23
	基質												838
	孔隙												26
33	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂	1							1				2
	中粒砂	6	2						2				10
	砂 細粒砂	26	1	1					5				33
	極細粒砂	34	2	5					2				43
	粗粒シルト	38	2	8									48
	中粒シルト	36	1	6									43
	基質												891
	孔隙												43
34	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂	2											2
	中粒砂	1							9				10
	砂 細粒砂	17							10				27
	極細粒砂	23		4				1	10				38
	粗粒シルト	27		1									28
	中粒シルト	20		2									22
	基質												706
	孔隙												18
35	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂	3											3
	中粒砂	7							7				14
	砂 細粒砂	28	1	2					11				42
	極細粒砂	27	2	4					10				43
	粗粒シルト	25		3					2				30
	中粒シルト	13		2									15
	基質												679
	孔隙												43
36	細礫												0
	極粗粒砂	1											1
	粗粒砂												0
	中粒砂	7							4				11
	砂 細粒砂	39							11				50
	極細粒砂	44						1	18				63
	粗粒シルト	67						2	4				73
	中粒シルト	12											12
	基質												547
	孔隙												32
37	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂	1											1
	中粒砂	1		1		1			2				5
	砂 細粒砂	21		1		3			2				27
	極細粒砂	29		1		4		1	1				36
	粗粒シルト	46		1		1		1					49
	中粒シルト	23											23
	基質												790
	孔隙												29
38	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂								1				1
	中粒砂	8							19	1			28
	砂 細粒砂	29	2	1					24	2			58
	極細粒砂	42	1	2		1	1		14				61
	粗粒シルト	30		1					3				34
	中粒シルト	14											14
	基質												669
	孔隙												14
39	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂	1							2				3
	中粒砂	9							6	1			16
	砂 細粒砂	22							11				33
	極細粒砂	31				1			10				42
	粗粒シルト	21							1				22
	中粒シルト	10											10
	基質												482
	孔隙												28
40	細礫												0
	極粗粒砂												0
	粗粒砂								1				1
	中粒砂	12							9		1		22
	砂 細粒砂	24							11				35
	極細粒砂	30											30
	粗粒シルト	23											23
	中粒シルト	11											11
	基質												488
	孔隙												28

第14表　薄片観察結果表（3）

試料	砂粒区分		砂粒の種類構成											合計
			鉱物片							岩石片				
			石英	カリ長石	斜長石	白雲母	黒雲母	ジルコン	不透明鉱物	チャート	凝灰岩	多結晶石英	花崗岩類	
41	砂	細礫	1											1
		極粗粒砂												0
		粗粒砂								2				2
		中粒砂	6							6			1	13
		細粒砂	18		1					10				29
		極細粒砂	33							1				34
		粗粒シルト	53											53
		中粒シルト	17											17
	基質													621
	孔隙													16
42	砂	細礫												0
		極粗粒砂	2											2
		粗粒砂	1											1
		中粒砂	3							3				6
		細粒砂	24							13				37
		極細粒砂	37							5				42
		粗粒シルト	57											57
		中粒シルト	36											36
	基質													879
	孔隙													24
43	砂	細礫	1											1
		極粗粒砂												0
		粗粒砂												0
		中粒砂	10		1					9				20
		細粒砂	46	1						27				74
		極細粒砂	60		1		1			14				76
		粗粒シルト	61											61
		中粒シルト	27											27
	基質													1167
	孔隙													23
44	砂	細礫												0
		極粗粒砂										1		1
		粗粒砂	1							2				3
		中粒砂	21							19		3		43
		細粒砂	58		1		1			22		1		83
		極細粒砂	44		2					6				52
		粗粒シルト	31											31
		中粒シルト	13											13
	基質													807
	孔隙													14
45	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	1		1									2
		中粒砂												0
		細粒砂	10											10
		極細粒砂	45		1				1					47
		粗粒シルト	114											114
		中粒シルト	127											127
	基質													544
	孔隙													33
46	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	1											1
		中粒砂	5				1			5				11
		細粒砂	19				3			12				34
		極細粒砂	36				1			8				45
		粗粒シルト	34						1					35
		中粒シルト	24											24
	基質													570
	孔隙													18
47	砂	細礫												0
		極粗粒砂								1				1
		粗粒砂	1							2				3
		中粒砂	9							19				28
		細粒砂	29							20				49
		極細粒砂	46						1	9				56
		粗粒シルト	42											42
		中粒シルト	16											16
	基質													874
	孔隙													18
48	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	1											1
		中粒砂	1							4				5
		細粒砂	11				1			6				18
		極細粒砂	31							4				35
		粗粒シルト	45							1				46
		中粒シルト	31											31
	基質													459
	孔隙													11
49	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	3											3
		中粒砂	3							6				9
		細粒砂	15							14				29
		極細粒砂	21							7				28
		粗粒シルト	21						1					22
		中粒シルト	19											19
	基質													501
	孔隙													13
50	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂								1				1
		中粒砂	6							12				18
		細粒砂	20	1						18				39
		極細粒砂	31							6				37
		粗粒シルト	34											34
		中粒シルト	18											18
	基質													512
	孔隙													21

試料	砂粒区分		砂粒の種類構成											合計
			鉱物片							岩石片				
			石英	カリ長石	斜長石	白雲母	黒雲母	ジルコン	不透明鉱物	チャート	凝灰岩	多結晶石英	花崗岩類	
51	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	1											1
		中粒砂	2							3				5
		細粒砂	29							13				42
		極細粒砂	37							5				42
		粗粒シルト	42											42
		中粒シルト	18											18
	基質													413
	孔隙													36
52	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂								1				1
		中粒砂	6							2				8
		細粒砂	12							4				16
		極細粒砂	22							2				24
		粗粒シルト	14											14
		中粒シルト	4											4
	基質													304
	孔隙													8
53	砂	細礫												0
		極粗粒砂	1											1
		粗粒砂	2							3				5
		中粒砂	9							13				22
		細粒砂	24	1						20				45
		極細粒砂	23							6				29
		粗粒シルト	27						1					28
		中粒シルト	19											19
	基質													605
	孔隙													37
54	砂	細礫												0
		極粗粒砂	1											1
		粗粒砂	2							1				3
		中粒砂	4							6				10
		細粒砂	21	1	2					19				43
		極細粒砂	34	3	6					9				52
		粗粒シルト	40	1	6									47
		中粒シルト	18		1									19
	基質													559
	孔隙													24
55	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂												0
		中粒砂	9		1					12				22
		細粒砂	22		1					16				39
		極細粒砂	36							5				41
		粗粒シルト	36											36
		中粒シルト	28											28
	基質													692
	孔隙													38
56	砂	細礫												0
		極粗粒砂											1	1
		粗粒砂												0
		中粒砂					1			2				3
		細粒砂	4							5				9
		極細粒砂	20							2				22
		粗粒シルト	38						1					39
		中粒シルト	40											40
	基質													652
	孔隙													53
57	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	3											3
		中粒砂	8							14				22
		細粒砂	19							18				37
		極細粒砂	26						1	8				35
		粗粒シルト	24											24
		中粒シルト	20											20
	基質													655
	孔隙													30
58	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	1							2				3
		中粒砂	1							15				16
		細粒砂	24				1			30				55
		極細粒砂	46				1			17				64
		粗粒シルト	45						1					46
		中粒シルト	21											21
	基質													700
	孔隙													21
59	砂	細礫												0
		極粗粒砂											1	1
		粗粒砂												0
		中粒砂	9							14			2	25
		細粒砂	22	1						20				43
		極細粒砂	38		1					15				54
		粗粒シルト	30							1				31
		中粒シルト	14											14
	基質													722
	孔隙													38
60	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	2											2
		中粒砂	4							9		1		14
		細粒砂	28							15				43
		極細粒砂	34							6				40
		粗粒シルト	20						1					21
		中粒シルト	9											9
	基質													690
	孔隙													33

第15表　薄片観察結果表（4）

試料	砂粒区分		砂粒の種類構成											合計
			鉱物片							岩石片				
			石英	カリ長石	斜長石	白雲母	黒雲母	ジルコン	不透明鉱物	チャート	凝灰岩	多結晶石英	花崗岩類	
61	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	1											1
		中粒砂	4							3				7
		細粒砂	23				1			10				34
		極細粒砂	25		1					6				32
		粗粒シルト	18											18
		中粒シルト	9											9
	基質													525
	孔隙													15
62	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂												0
		中粒砂	5							8				13
		細粒砂	18							11				29
		極細粒砂	24							6				30
		粗粒シルト	22											22
		中粒シルト	9											9
	基質													486
	孔隙													18
63	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂								1				1
		中粒砂	3							2				5
		細粒砂	13				2			4				19
		極細粒砂	29				2			7				38
		粗粒シルト	38				1			1				40
		中粒シルト	24				1							25
	基質													535
	孔隙													55
64	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂								1				1
		中粒砂	3							1				4
		細粒砂	26				2			3				31
		極細粒砂	51				1							52
		粗粒シルト	49											49
		中粒シルト	21											21
	基質													686
	孔隙													47
65	砂	細礫												0
		極粗粒砂								1				1
		粗粒砂												0
		中粒砂	10							8				18
		細粒砂	24							21				45
		極細粒砂	45						1	13				59
		粗粒シルト	42											42
		中粒シルト	15											15
	基質													635
	孔隙													23
66	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂								1				1
		中粒砂	1							6				7
		細粒砂	14				1			12				27
		極細粒砂	36				1			4				41
		粗粒シルト	36						1					37
		中粒シルト	17											17
	基質													633
	孔隙													23
67	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂												0
		中粒砂	4							2				6
		細粒砂	9				1			6				16
		極細粒砂	19				2		1	1				23
		粗粒シルト	18											18
		中粒シルト	6											6
	基質													404
	孔隙													19
68	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂												0
		中粒砂	3				2			4				9
		細粒砂	25							5				30
		極細粒砂	25							1				26
		粗粒シルト	26											26
		中粒シルト	13											13
	基質													675
	孔隙													111
69	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	2											2
		中粒砂	11				1			6				18
		細粒砂	34				1			12				47
		極細粒砂	48							6				54
		粗粒シルト	52						1					53
		中粒シルト	17											17
	基質													752
	孔隙													115
70	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	1							1				2
		中粒砂	18		1		1			21				41
		細粒砂	43							23				66
		極細粒砂	37							7				44
		粗粒シルト	24											24
		中粒シルト	15											15
	基質													1018
	孔隙													80

試料	砂粒区分		砂粒の種類構成											合計
			鉱物片							岩石片				
			石英	カリ長石	斜長石	白雲母	黒雲母	ジルコン	不透明鉱物	チャート	凝灰岩	多結晶石英	花崗岩類	
71	砂	細礫												0
		極粗粒砂								1				1
		粗粒砂								2				2
		中粒砂	15				1			7				23
		細粒砂	43				1			17				61
		極細粒砂	31							9				40
		粗粒シルト	26											26
		中粒シルト	10											10
	基質													704
	孔隙													50
72	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	1											1
		中粒砂	3							4				7
		細粒砂	46							10				56
		極細粒砂	56				2			6				64
		粗粒シルト	59				1			4				64
		中粒シルト	26											26
	基質													716
	孔隙													28
73	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	1							6				7
		中粒砂	17							15				32
		細粒砂	40							25				65
		極細粒砂	36							5				41
		粗粒シルト	23											23
		中粒シルト	21											21
	基質													703
	孔隙													40
74	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂								3		1		4
		中粒砂	9							10				19
		細粒砂	55							17				72
		極細粒砂	52							7				59
		粗粒シルト	42						1					43
		中粒シルト	16											16
	基質													903
	孔隙													50
75	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂												0
		中粒砂	5				1			1				7
		細粒砂	20				1			2				23
		極細粒砂	45						1	1				47
		粗粒シルト	34						1					35
		中粒シルト	42											42
	基質													575
	孔隙													32
76	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	1											1
		中粒砂	4							2				6
		細粒砂	23							10				33
		極細粒砂	44							7				51
		粗粒シルト	60											60
		中粒シルト	26											26
	基質													563
	孔隙													21
77	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂												0
		中粒砂	10							12				22
		細粒砂	20							15				35
		極細粒砂	50							3				53
		粗粒シルト	63						1					64
		中粒シルト	53											53
	基質													757
	孔隙													55
78	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂												0
		中粒砂								3				3
		細粒砂	15							19				34
		極細粒砂	22		1					11				34
		粗粒シルト	25							1				26
		中粒シルト	21											21
	基質													537
	孔隙													44
79	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	3							3				6
		中粒砂	4							24				28
		細粒砂	36		1		2			26				65
		極細粒砂	49				1		1	11				62
		粗粒シルト	69						1					70
		中粒シルト	53											53
	基質													1032
	孔隙													40
80	砂	細礫	1											1
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	1											1
		中粒砂	3							5				8
		細粒砂	17							23				40
		極細粒砂	34							7				41
		粗粒シルト	46						1					47
		中粒シルト	33											33
	基質													642
	孔隙													28

第16表　薄片観察結果表（5）

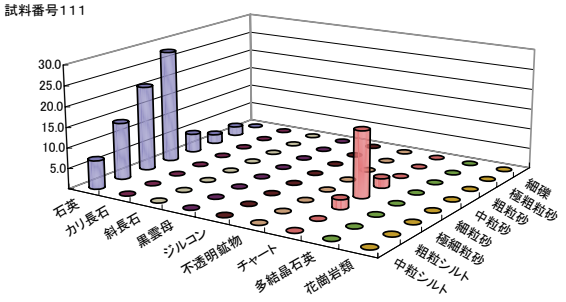
試料	砂粒区分		砂粒の種類構成											合計
			鉱物片							岩石片				
			石英	カリ長石	斜長石	白雲母	黒雲母	ジルコン	不透明鉱物	チャート	凝灰岩	多結晶石英	花崗岩類	
81	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂								3				3
		中粒砂	1							7		1		9
		細粒砂	28		2					17		1		48
		極細粒砂	31		1					12				44
		粗粒シルト	46		1									47
		中粒シルト	24											24
	基質													548
	孔隙													42
82	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	1											1
		中粒砂	4							2				6
		細粒砂	36				2			11				49
		極細粒砂	48				1			11				60
		粗粒シルト	57							4				61
		中粒シルト	23							1				24
	基質													610
	孔隙													41
83	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂												0
		中粒砂	13	2	2					11				28
		細粒砂	44	4	2					32				82
		極細粒砂	44	5						7				56
		粗粒シルト	31	2					1					34
		中粒シルト	6											6
	基質													791
	孔隙													60
84	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂												0
		中粒砂	9							9		2		20
		細粒砂	36							22				58
		極細粒砂	30							9				39
		粗粒シルト	28											28
		中粒シルト	12											12
	基質													443
	孔隙													24
85	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	1							3				4
		中粒砂	3							7				10
		細粒砂	19							13				32
		極細粒砂	20				2		1	7				30
		粗粒シルト	21											21
		中粒シルト	13											13
	基質													596
	孔隙													40
86	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂								1				1
		中粒砂	5							8				13
		細粒砂	32				1			8				41
		極細粒砂	32				1			2				35
		粗粒シルト	31											31
		中粒シルト	22											22
	基質													489
	孔隙													41
87	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	1							1				2
		中粒砂	8							9				17
		細粒砂	50							15		3		68
		極細粒砂	81							14		1		96
		粗粒シルト	56							3				59
		中粒シルト	21											21
	基質													443
	孔隙													27
88	砂	細礫												0
		極粗粒砂										1		1
		粗粒砂	3											3
		中粒砂	12							9				21
		細粒砂	30		1					14				45
		極細粒砂	30						1	1				32
		粗粒シルト	21											21
		中粒シルト	16											16
	基質													636
	孔隙													52
89	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	1							1				2
		中粒砂	11				1			14				26
		細粒砂	32		1		1			20				54
		極細粒砂	29							9				38
		粗粒シルト	27							1				28
		中粒シルト	10											10
	基質													507
	孔隙													67
90	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂												0
		中粒砂	12							16				28
		細粒砂	40							22				62
		極細粒砂	58							5				63
		粗粒シルト	27						1					28
		中粒シルト	12											12
	基質													637
	孔隙													40

試料	砂粒区分		砂粒の種類構成											合計
			鉱物片							岩石片				
			石英	カリ長石	斜長石	白雲母	黒雲母	ジルコン	不透明鉱物	チャート	凝灰岩	多結晶石英	花崗岩類	
91	砂	細礫												0
		極粗粒砂	4											4
		粗粒砂	21							2				23
		中粒砂	23							3				26
		細粒砂	24							7				31
		極細粒砂	25	1	1					1				28
		粗粒シルト	22											22
		中粒シルト	23											23
	基質													651
	孔隙													55
92	砂	細礫												0
		極粗粒砂	1											1
		粗粒砂	3							3				6
		中粒砂	6				1			20				27
		細粒砂	47	2	1		1			32				83
		極細粒砂	69	1	1		1			13				85
		粗粒シルト	59	1										60
		中粒シルト	38											38
	基質													1129
	孔隙													67
93	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂												0
		中粒砂	13							19				32
		細粒砂	42	1						42				85
		極細粒砂	70		1					27				98
		粗粒シルト	60						1	1				62
		中粒シルト	23											23
	基質													1020
	孔隙													64
94	砂	細礫	1											1
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	1							1				2
		中粒砂	3							2				5
		細粒砂	12				1			11				24
		極細粒砂	26				2			4				32
		粗粒シルト	38				1							39
		中粒シルト	23											23
	基質													470
	孔隙													19
95	砂	細礫	1											1
		極粗粒砂	2											2
		粗粒砂	1							1				2
		中粒砂	9				1			10				20
		細粒砂	47							20				67
		極細粒砂	63				1			9				73
		粗粒シルト	64											64
		中粒シルト	44											44
	基質													1001
	孔隙													93
96	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	2											2
		中粒砂	8				1			7				16
		細粒砂	34				2			15				51
		極細粒砂	58						1	7				66
		粗粒シルト	42											42
		中粒シルト	24											24
	基質													1049
	孔隙													100
97	砂	細礫												0
		極粗粒砂	1							1				2
		粗粒砂								1				1
		中粒砂	4							4				8
		細粒砂	16							3				19
		極細粒砂	19						1	1				21
		粗粒シルト	21						1					22
		中粒シルト	16											16
	基質													451
	孔隙													21
98	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	1											1
		中粒砂	7							4				11
		細粒砂	13							19				32
		極細粒砂	27						1	13				41
		粗粒シルト	28						1	1				30
		中粒シルト	11											11
	基質													731
	孔隙													63
99	砂	細礫												0
		極粗粒砂	1										2	3
		粗粒砂											2	2
		中粒砂	10							4				14
		細粒砂	29				2			9				40
		極細粒砂	51				2			8				61
		粗粒シルト	71											71
		中粒シルト	25											25
	基質													861
	孔隙													204
100	砂	細礫												0
		極粗粒砂	1										1	2
		粗粒砂	4											4
		中粒砂	7							2				9
		細粒砂	26							7				33
		極細粒砂	53						1	2				56
		粗粒シルト	38											38
		中粒シルト	22						1					23
	基質													982
	孔隙													90

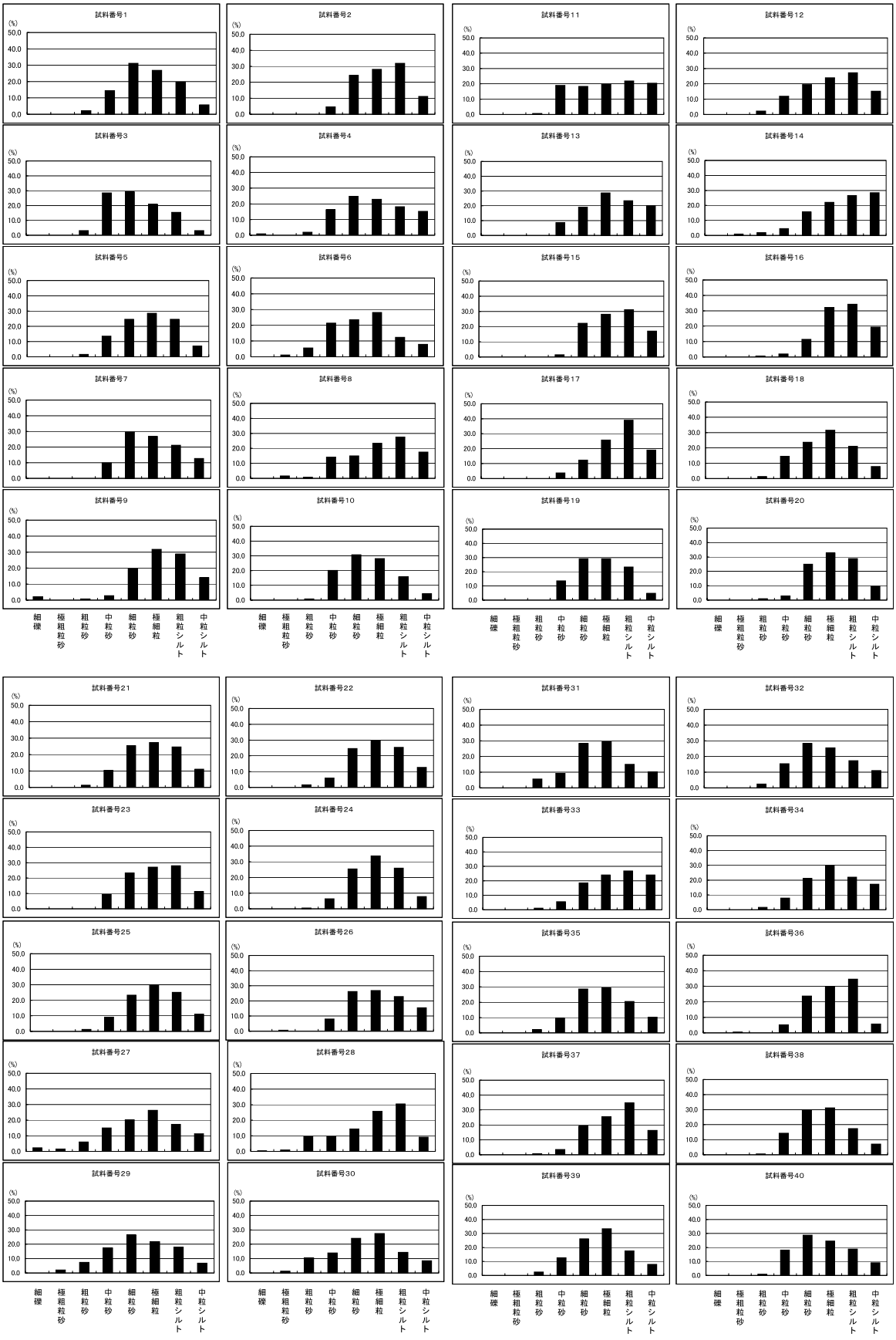
第17表　薄片観察結果表（6）

試料	砂粒区分		砂粒の種類構成											合計
			鉱物片							岩石片				
			石英	カリ長石	斜長石	白雲母	黒雲母	ジルコン	不透明鉱物	チャート	凝灰岩	多結晶石英	花崗岩類	
101	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	1							2		1		4
		中粒砂	10		2		1			1		3		17
		細粒砂	32	1						4				37
		極細粒砂	37				1		2	1				41
		粗粒シルト	21						1					22
		中粒シルト	10											10
	基質													694
	孔隙													44
102	砂	細礫												0
		極粗粒砂	3									1		4
		粗粒砂	8	1						2		3		14
		中粒砂	15	2	1		1					1		20
		細粒砂	52	2			1			1				56
		極細粒砂	62											62
		粗粒シルト	20						1					21
		中粒シルト	8											8
	基質													796
	孔隙													40
103	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	2	2										4
		中粒砂	3							4				7
		細粒砂	7							1				8
		極細粒砂	11											11
		粗粒シルト	17						1					18
		中粒シルト	21											21
	基質													505
	孔隙													31
104	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	2		1					4				7
		中粒砂	5							11				16
		細粒砂	34				1			21				56
		極細粒砂	52				1			10				63
		粗粒シルト	31											31
		中粒シルト	15											15
	基質													770
	孔隙													79
105	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	2							1				3
		中粒砂	15							23				38
		細粒砂	54							24				78
		極細粒砂	31							5				36
		粗粒シルト	24						1					25
		中粒シルト	16											16
	基質													759
	孔隙													70
106	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂										1		1
		中粒砂	8							6				14
		細粒砂	22							7				29
		極細粒砂	27											27
		粗粒シルト	43						1					44
		中粒シルト	47											47
	基質													600
	孔隙													35
107	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂								1				1
		中粒砂	6				1			9				16
		細粒砂	26				1			15				42
		極細粒砂	30							7				37
		粗粒シルト	24						1					25
		中粒シルト	10											10
	基質													529
	孔隙													21
108	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	2		1					3				6
		中粒砂	11				1			18				30
		細粒砂	25	1	1					18				45
		極細粒砂	22	1	1					12				36
		粗粒シルト	19							2				21
		中粒シルト	12											12
	基質													489
	孔隙													18
109	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	1	1										2
		中粒砂	10							1				11
		細粒砂	22				1			3				26
		極細粒砂	22							2				24
		粗粒シルト	13											13
		中粒シルト	7											7
	基質													480
	孔隙													42
110	砂	細礫												0
		極粗粒砂												0
		粗粒砂	2											2
		中粒砂	11							2				13
		細粒砂	22				1			6				29
		極細粒砂	20				1	1		6				28
		粗粒シルト	15						1					16
		中粒シルト	10											10
	基質													516
	孔隙													34

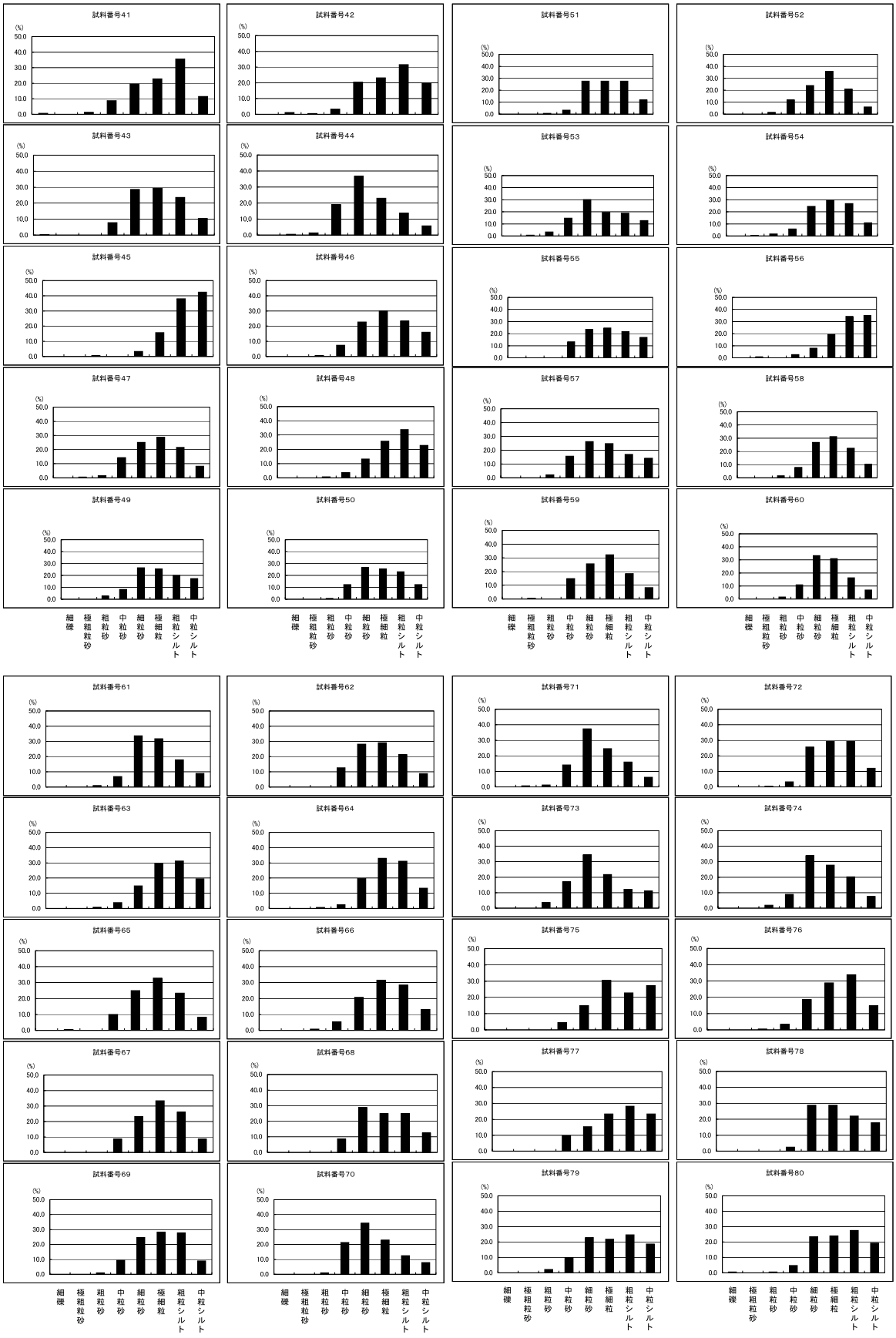
試料	砂粒区分		砂粒の種類構成											合計
			鉱物片							岩石片				
			石英	カリ長石	斜長石	白雲母	黒雲母	ジルコン	不透明鉱物	チャート	凝灰岩	多結晶石英	花崗岩類	
111	砂	細礫												0
		極粗粒砂	1											1
		粗粒砂	1											1
		中粒砂	2							1				3
		細粒砂	12							7				19
		極細粒砂	9							1				10
		粗粒シルト	6											6
		中粒シルト	3											3
	基質													191
	孔隙													56



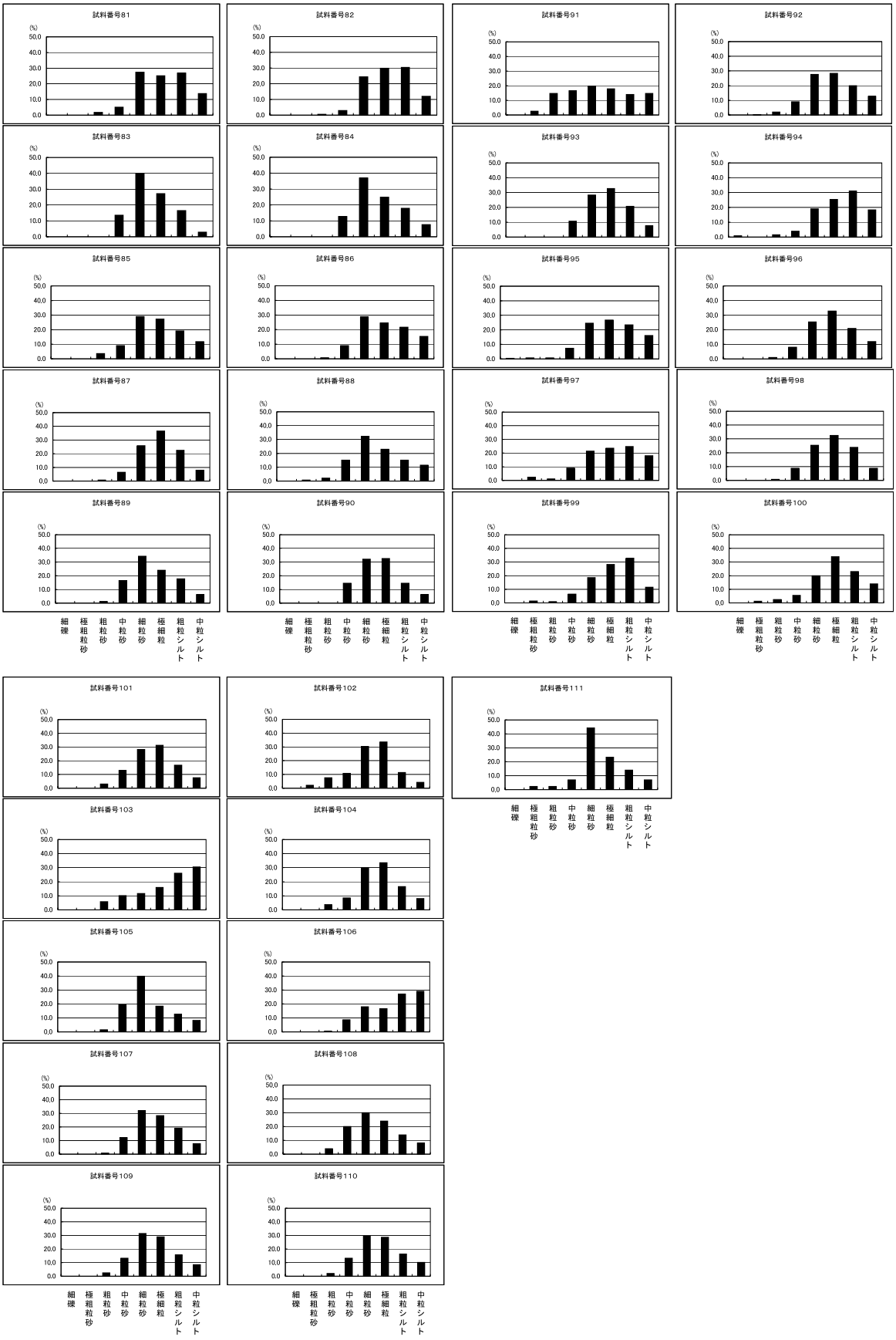
第115図　胎土中の砂の粒径組成（12）



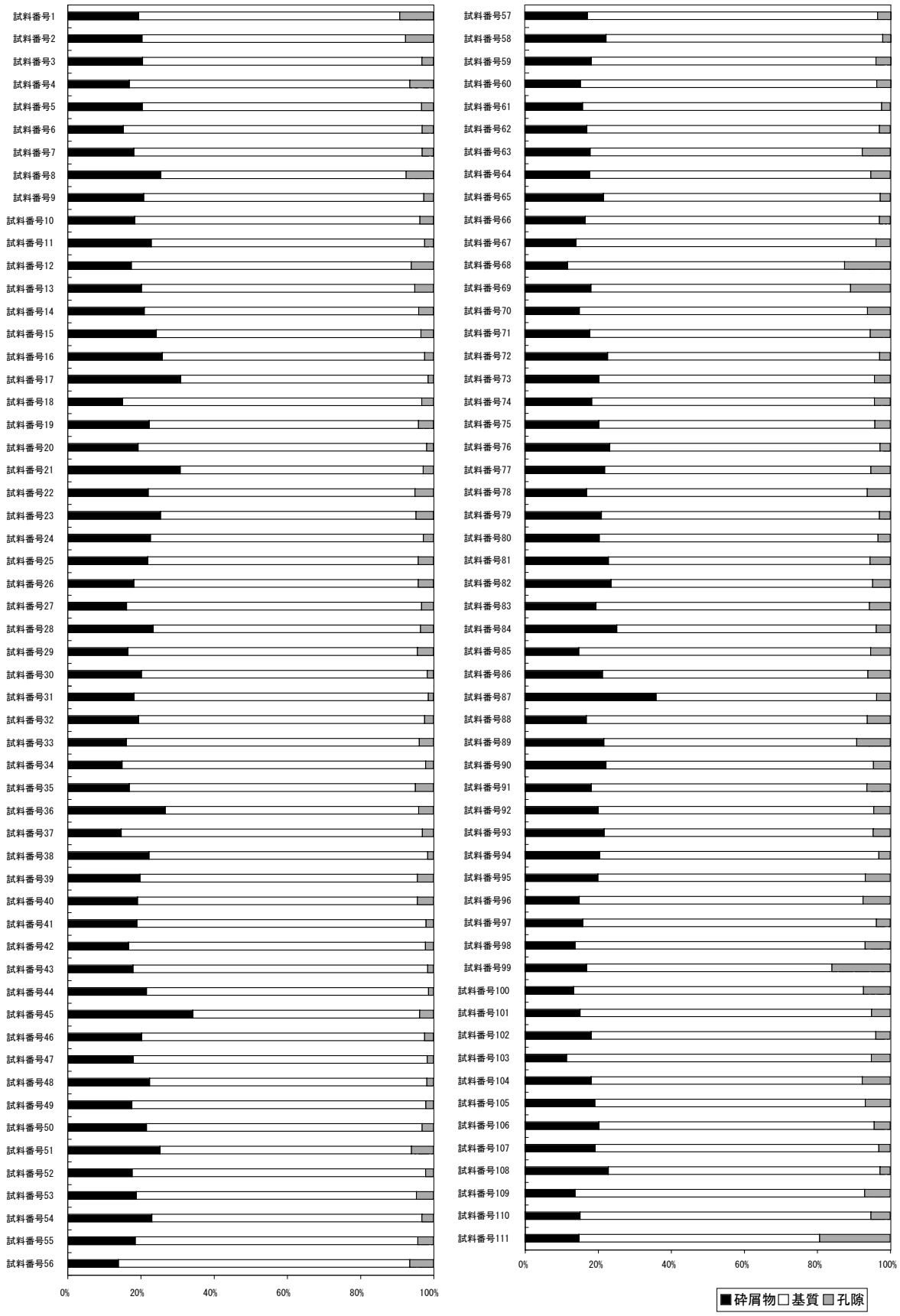
第100図　各粒度階における鉱物・岩石出現頻度（1）



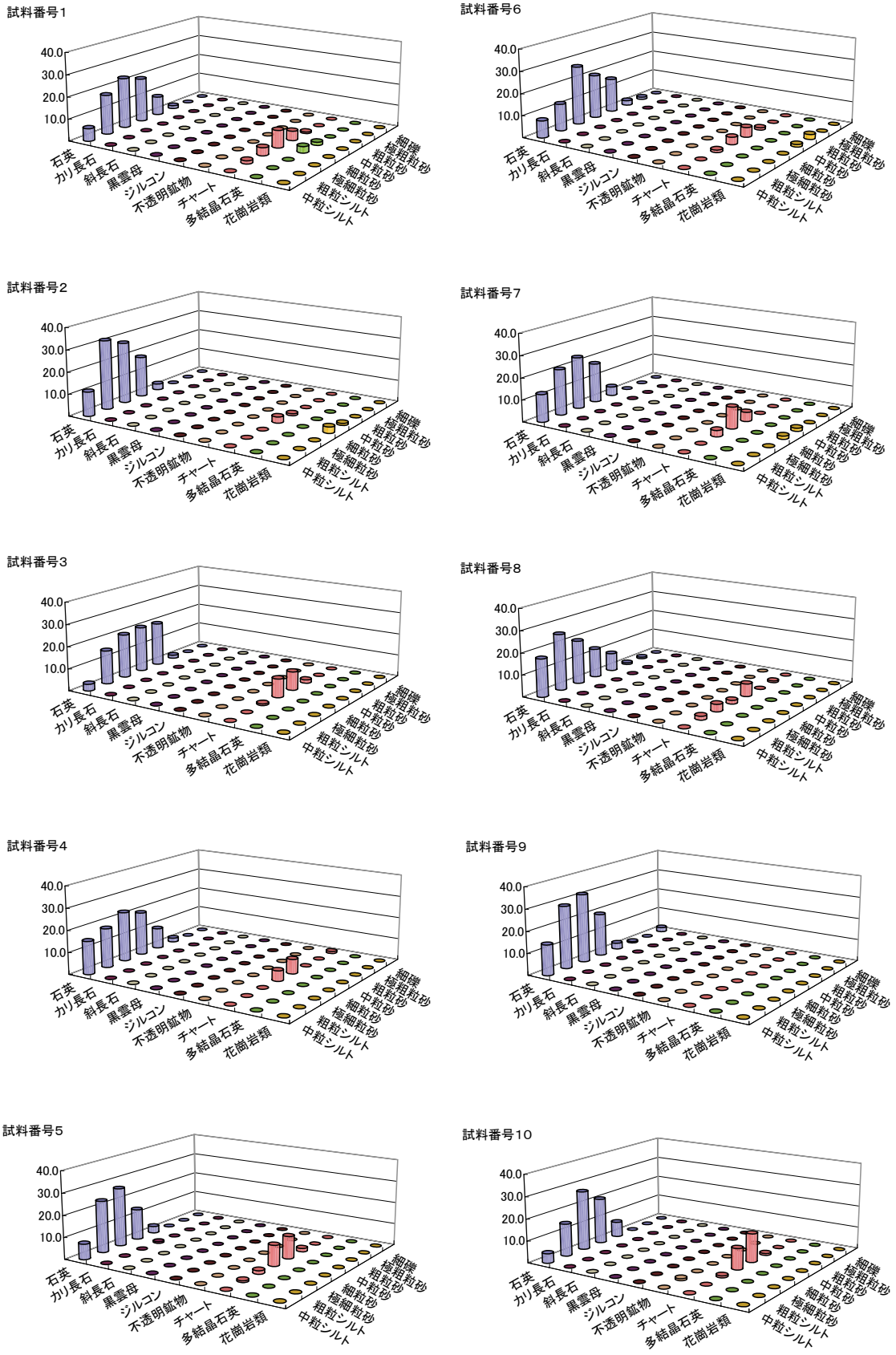
第101図　各粒度階における鉱物・岩石出現頻度（2）



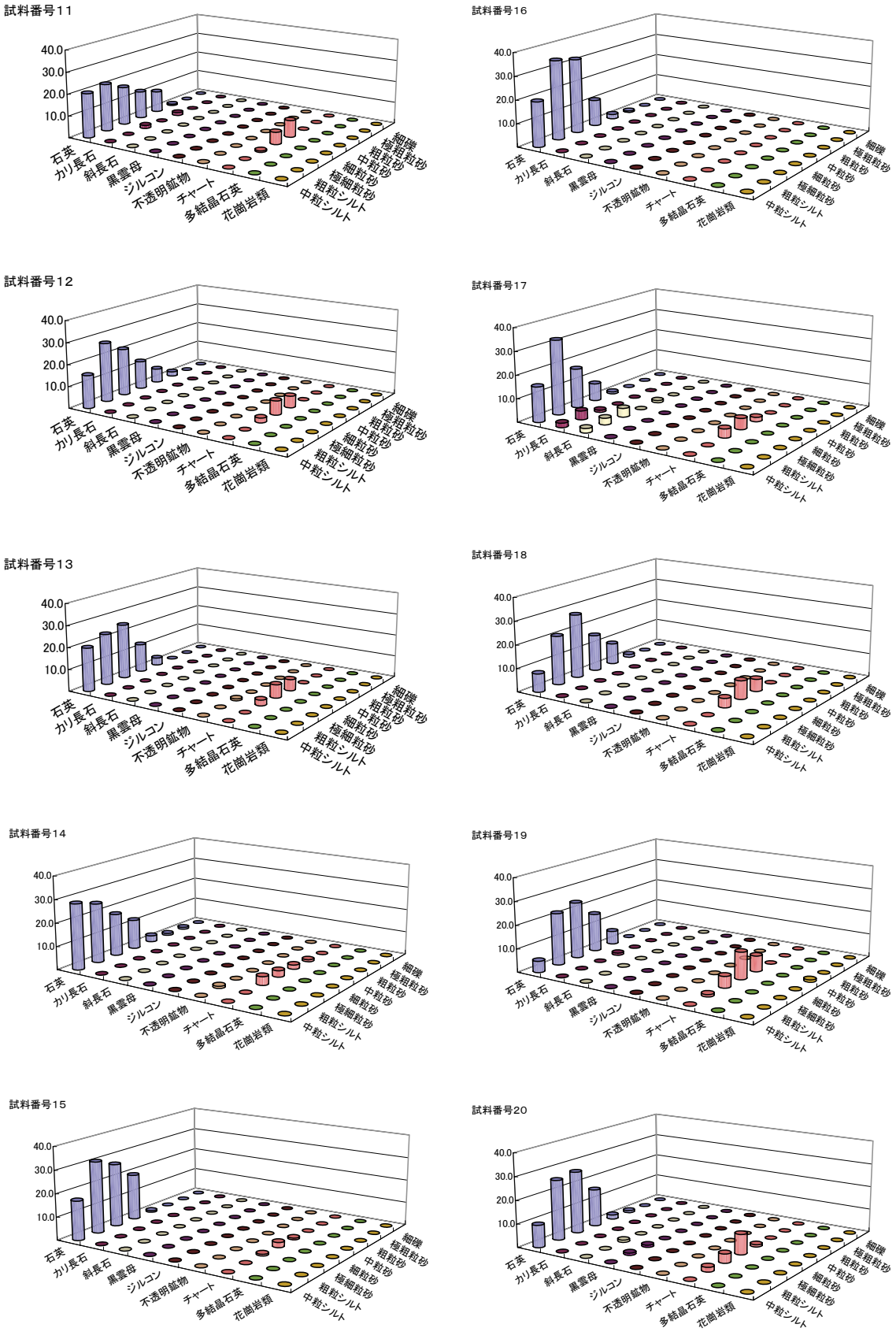
第102図　各粒度階における鉱物・岩石出現頻度（3）



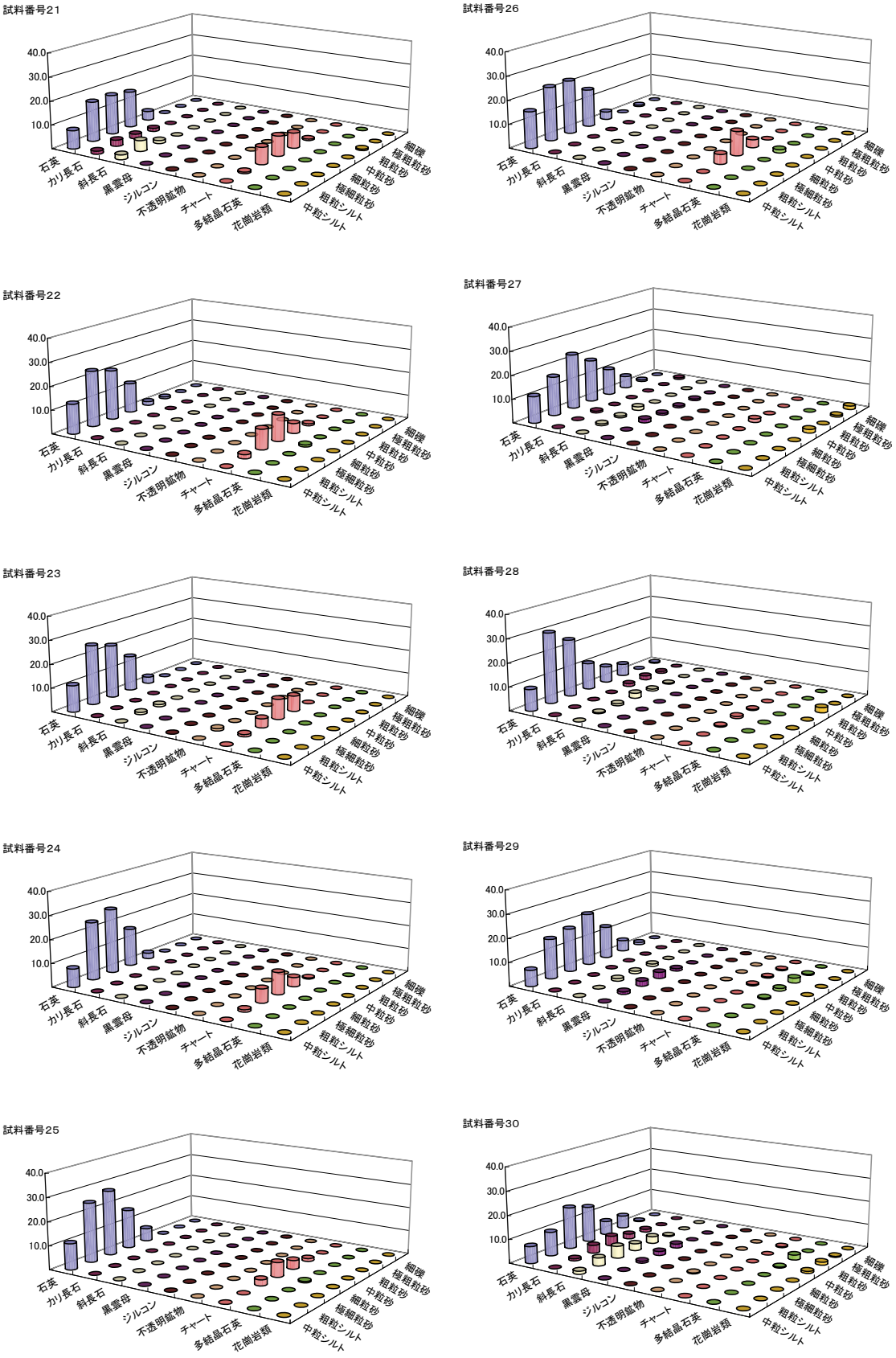
第103図　孔隙・砂粒・基質の割合



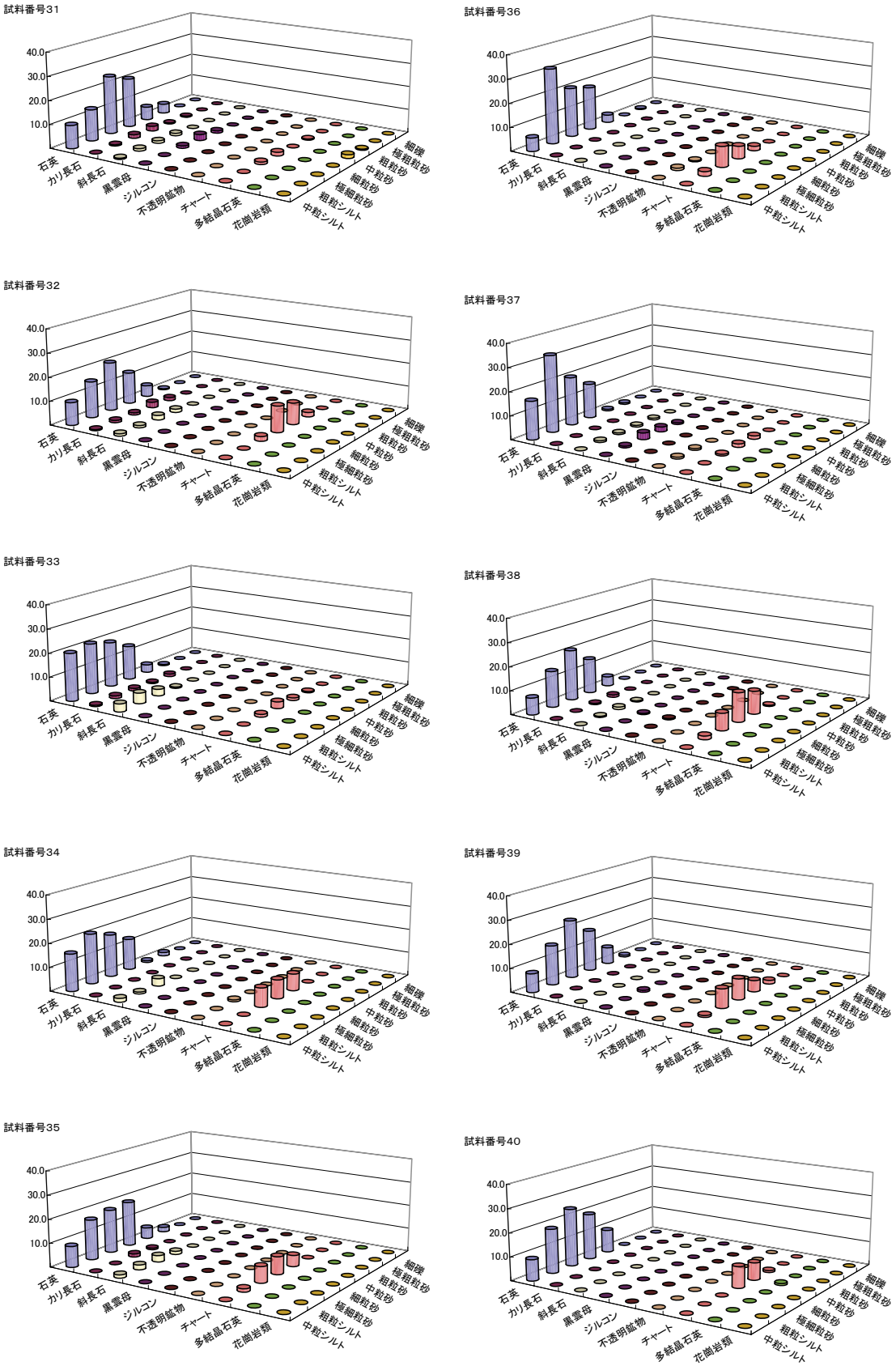
第104図　胎土中の砂の粒径組成（1）



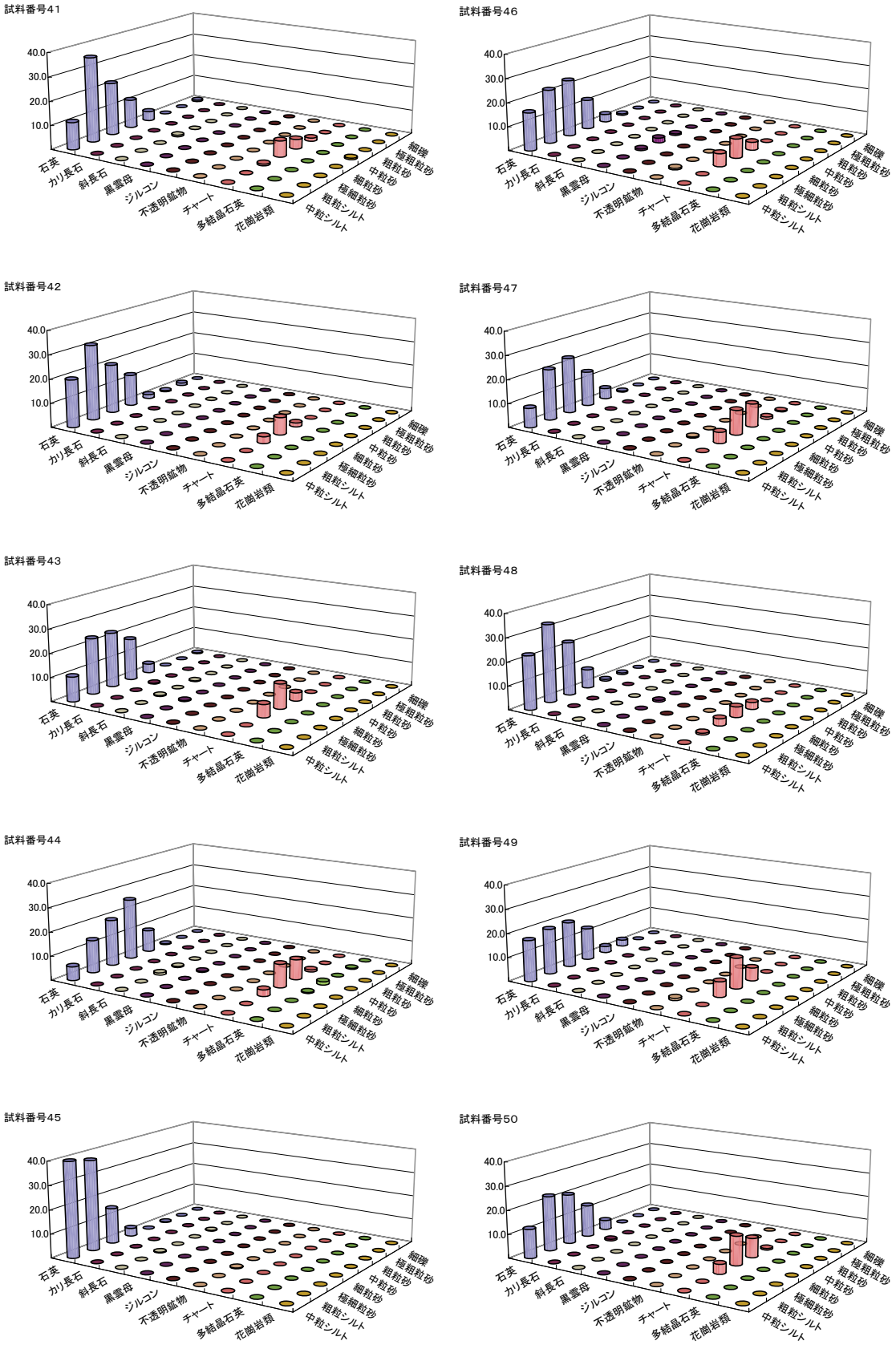
第105図　胎土中の砂の粒径組成（2）



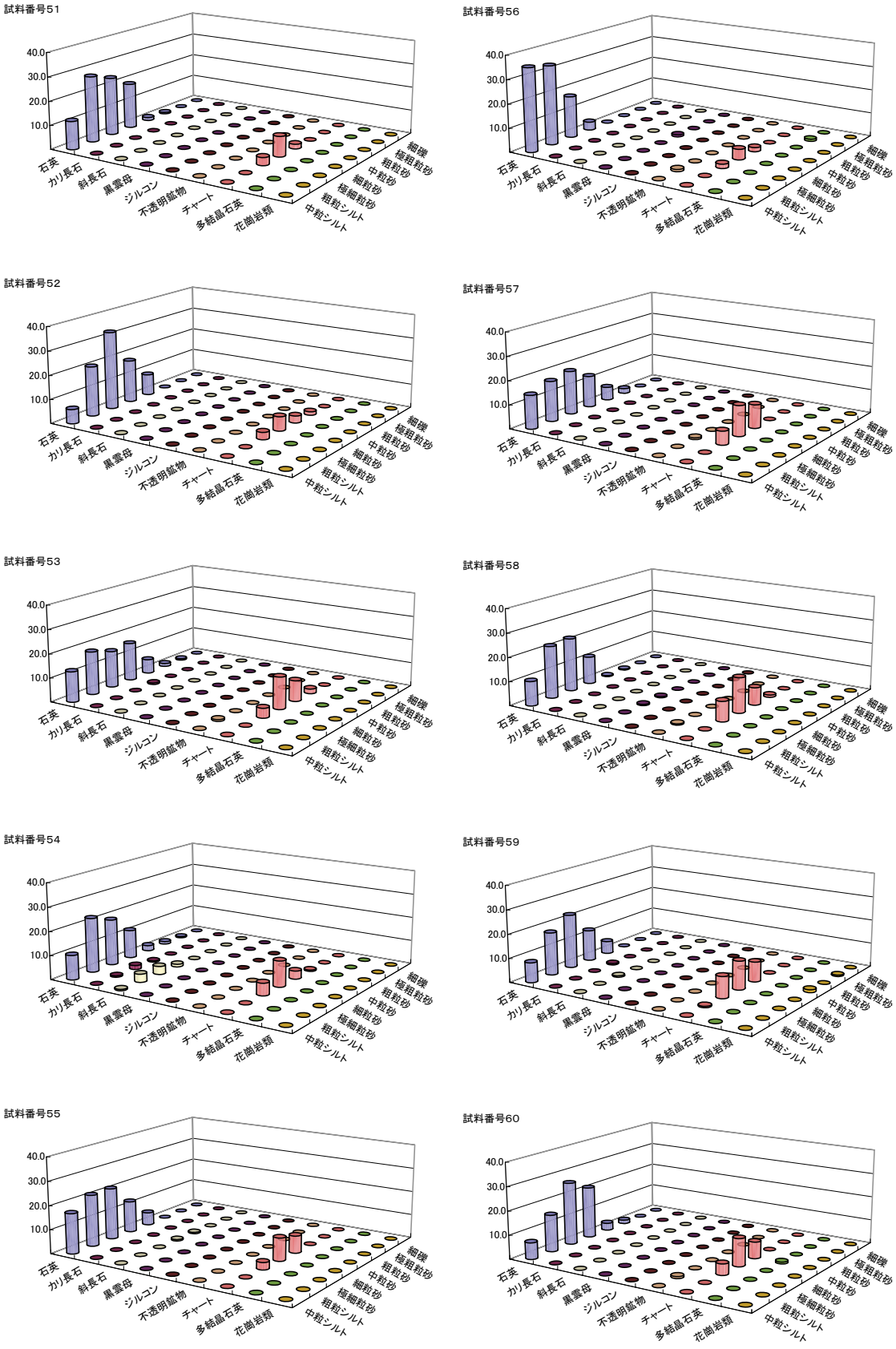
第106図　胎土中の砂の粒径組成（3）



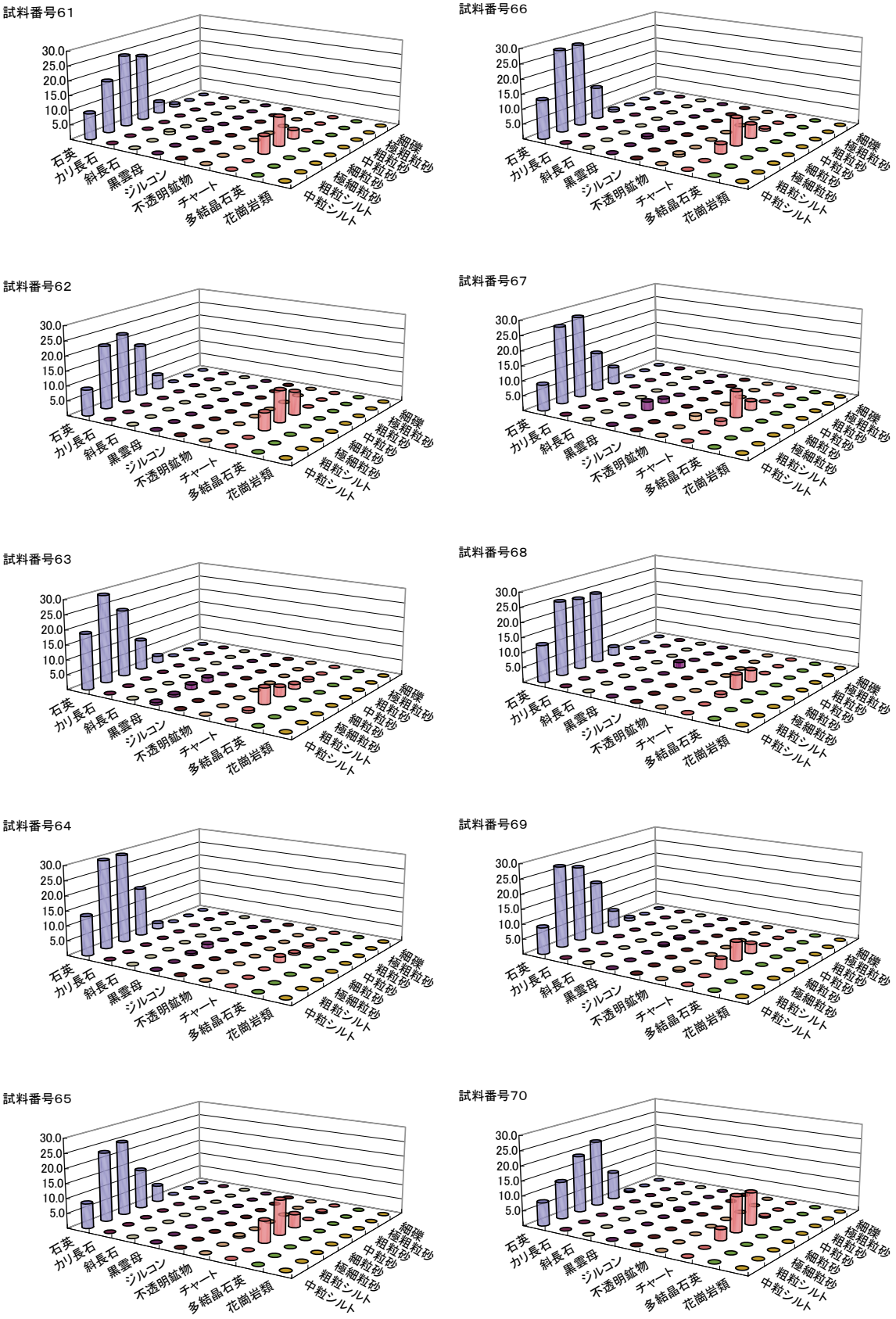
第107図　胎土中の砂の粒径組成（4）



第108図　胎土中の砂の粒径組成（5）

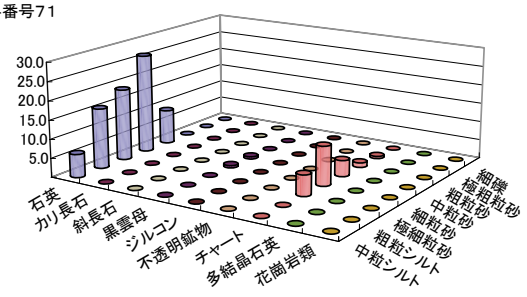


第109図　胎土中の砂の粒径組成（6）

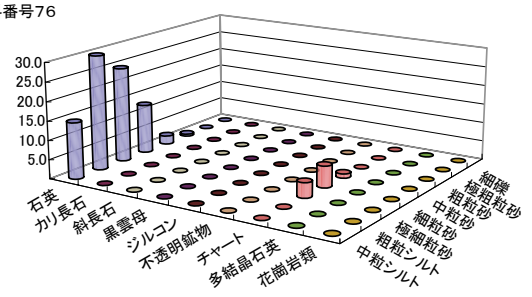


第110図　胎土中の砂の粒径組成（7）

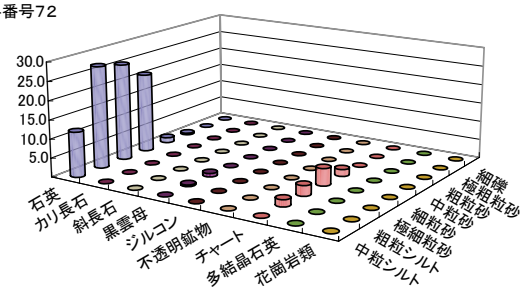
試料番号71



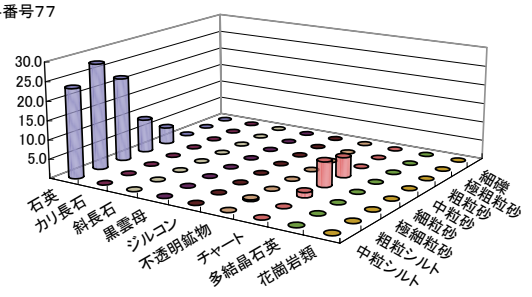
試料番号76



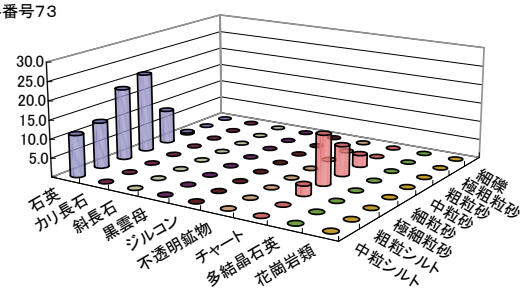
試料番号72



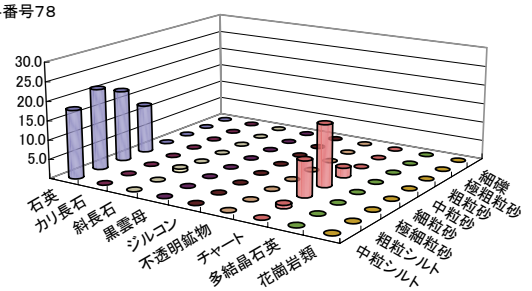
試料番号77



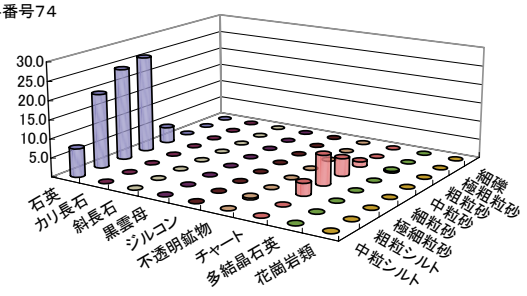
試料番号73



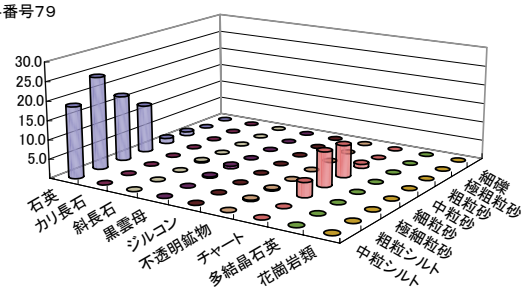
試料番号78



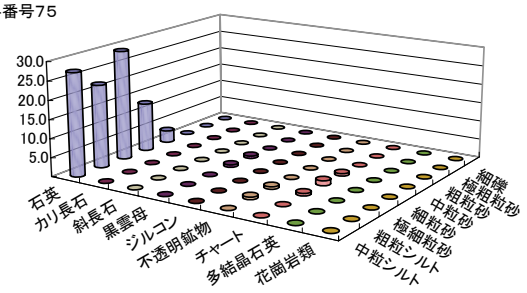
試料番号74



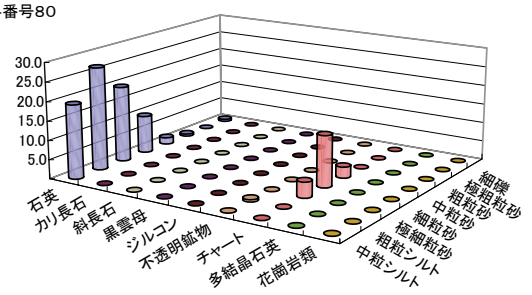
試料番号79



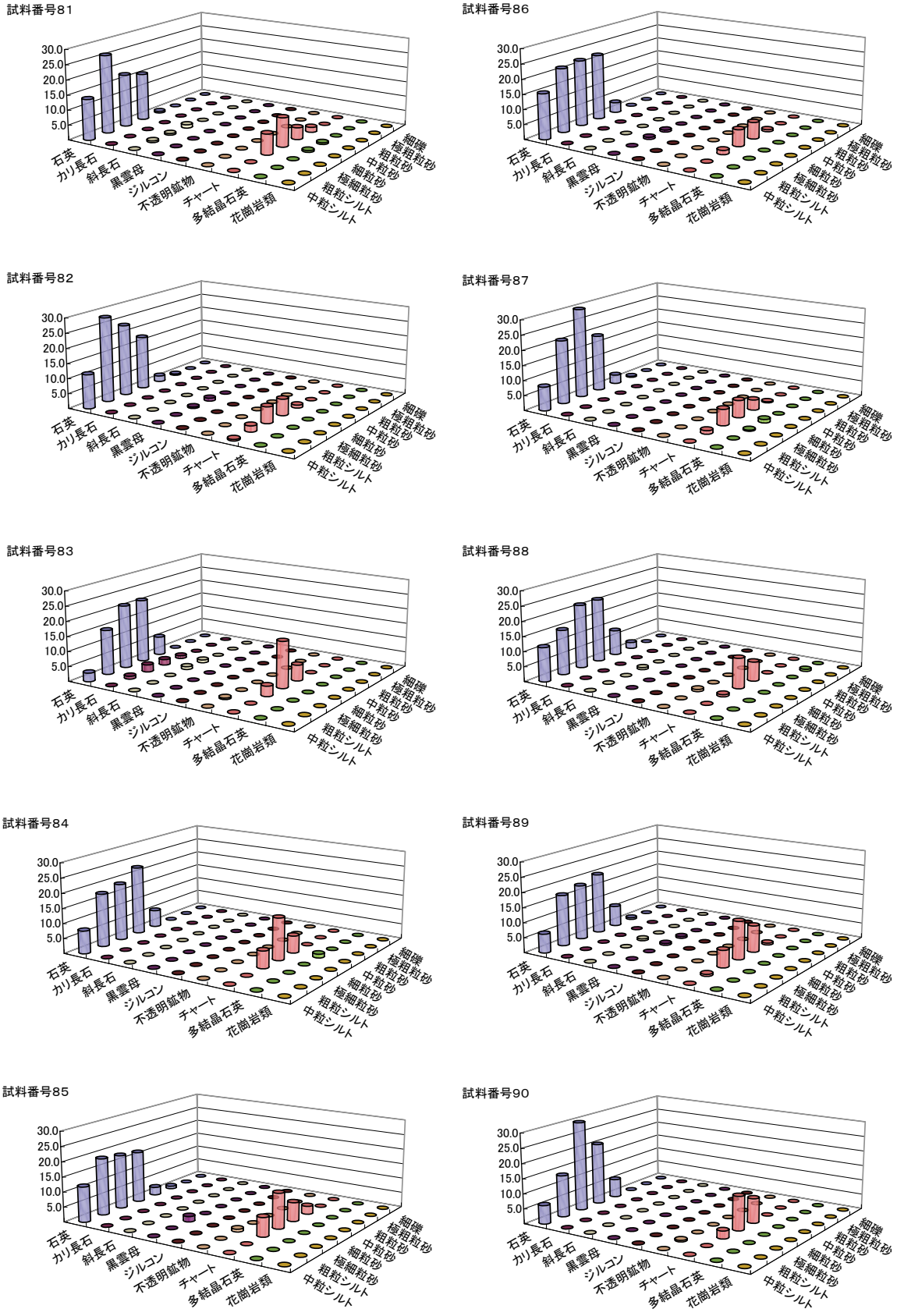
試料番号75



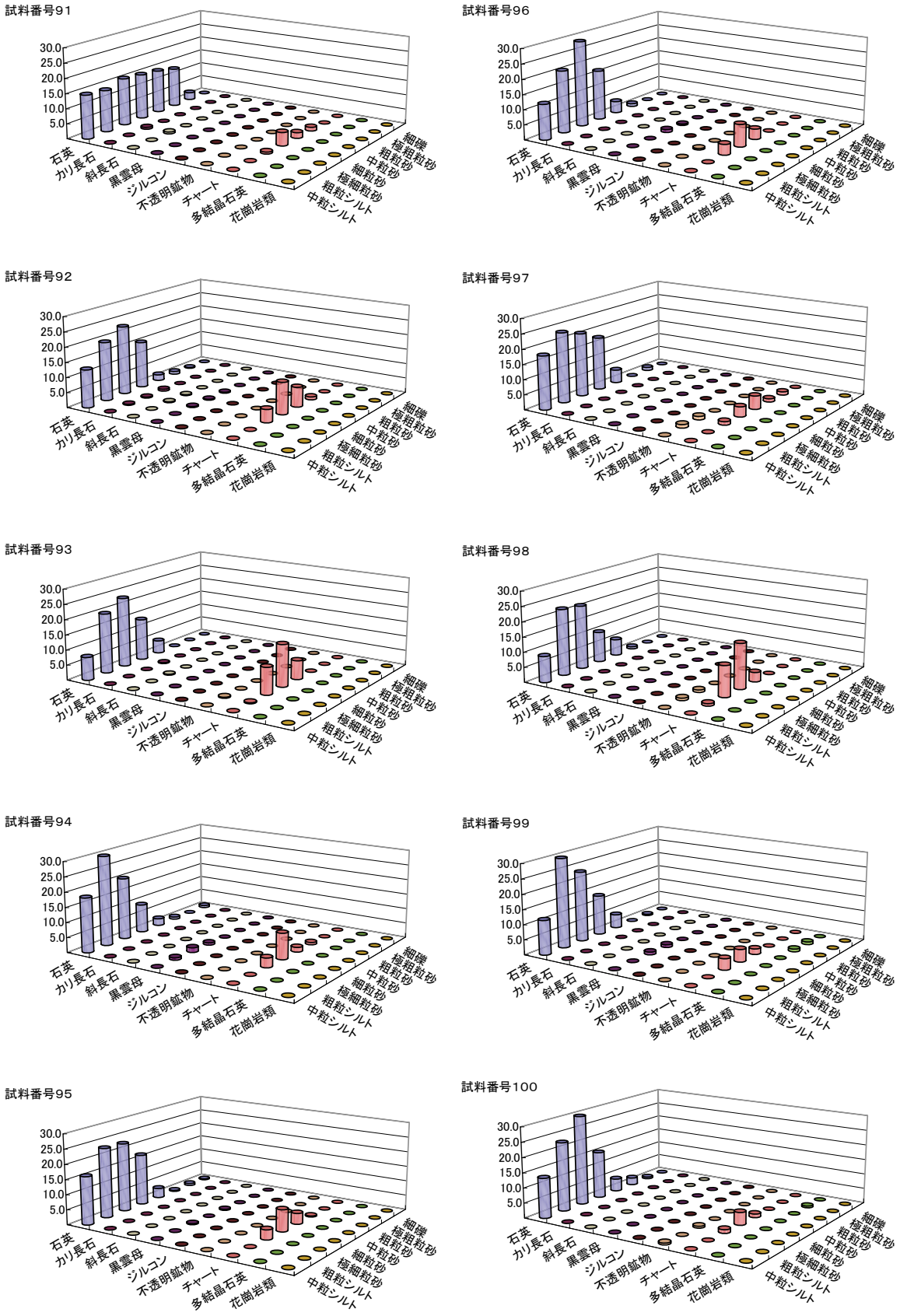
試料番号80



第111図　胎土中の砂の粒径組成（8）

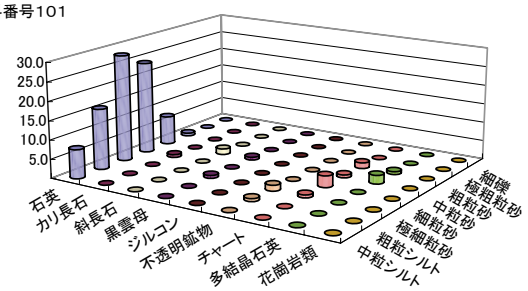


第112図　胎土中の砂の粒径組成（9）

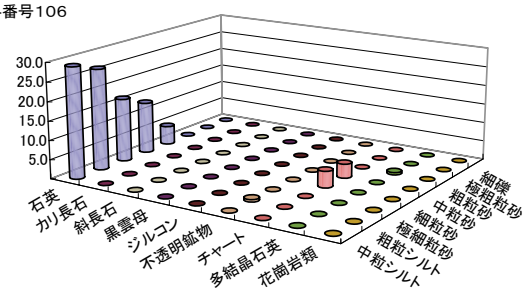


第113図　胎土中の砂の粒径組成（10）

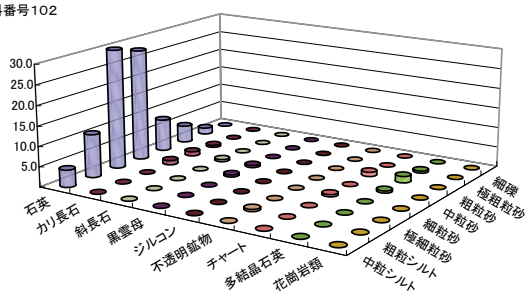
試料番号101



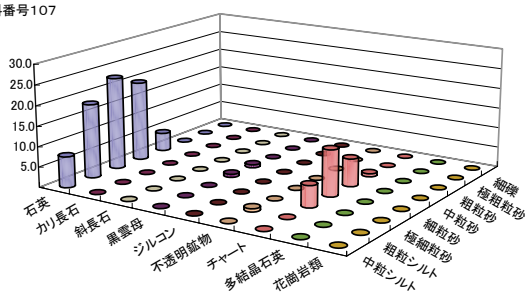
試料番号106



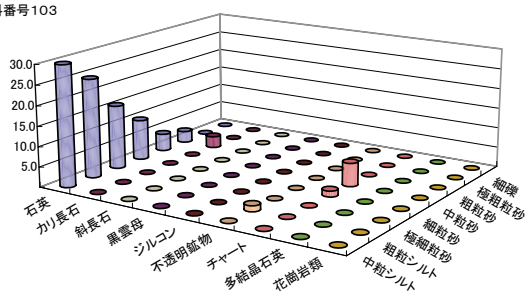
試料番号102



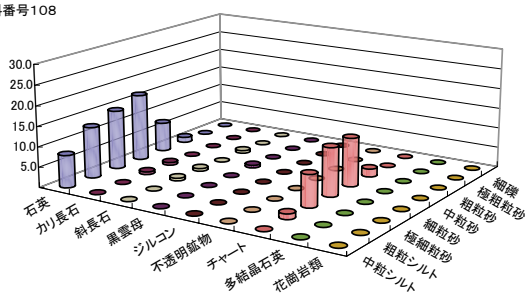
試料番号107



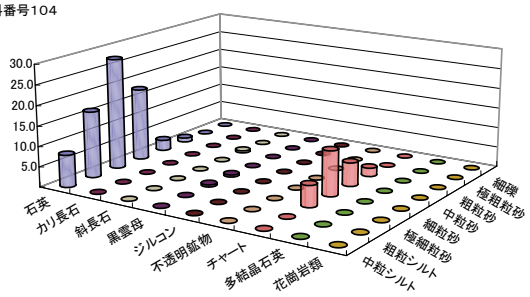
試料番号103



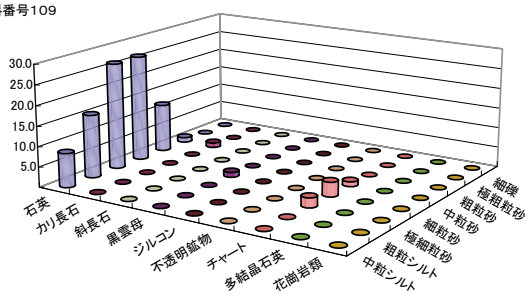
試料番号108



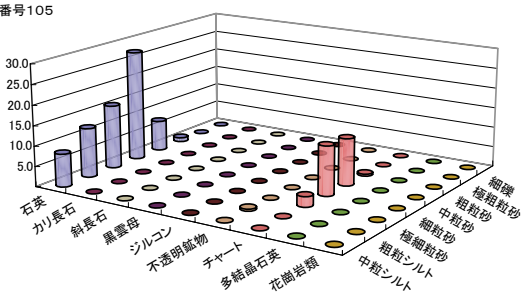
試料番号104



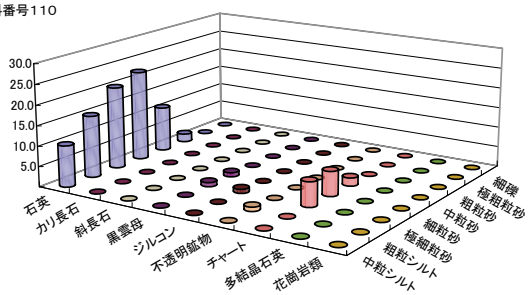
試料番号109



試料番号105



試料番号110



第114図　胎土中の砂の粒径組成（11）

第２節　天目茶碗の蛍光Ｘ線分析

藤根　久（株式会社パレオ・ラボ）

１．はじめに

鴬古窯は、瀬戸市岩屋町および鳥原町にかけて所在する14世紀後葉から15世紀前半にかけて操業された窯跡である。ここでは、鴬古窯灰原から出土した天目茶碗の蛍光Ｘ線分析を行い、材料学的な検討を行った。

２．試料と方法

試料は、灰原から出土した天目茶碗68試料である（第18表）。試料は、岩石カッターを用いて釉薬を取り除いた後、超音波洗浄器で洗浄した。試料は、恒温乾燥器内で十分乾燥した後、セラミック乳鉢で粉砕した。粉砕した試料は、塩化ビニール製リングに充填した後、油圧プレス機を用いて20トンプレスして測定用ブラケットを作成した。

測定は、フィリップス社（現㈱パナリティカル）製波長分散型蛍光Ｘ線分析装置MagiX（PW2424型）を用いて検量線法による定量分析を行った。測定元素は、酸化ナトリウムNa_2O、酸化マグネシウムMgO、酸化アルミニウムAl_2O_3、酸化ケイ素SiO_2、酸化リンP_2O_5、酸化カリウムK_2O、酸化カルシウムCaO、酸化チタンTiO_2、酸化マンガンMnO、酸化鉄Fe_2O_3、ルビジウムRb、ストロンチウムSrの12元素である。

３．分析結果

第19表には蛍光Ｘ線分析結果を示す。分析した結果、酸化ケイ素SiO_2が最も多く67.43～79.05％含まれ、次いで酸化アルミニウムAl_2O_3が13.77～19.87％、酸化鉄Fe_2O_3が0.91～2.27％、酸化カリウムK_2Oが0.66～2.93％、酸化カルシウムCaOが0.02～1.20％含まれていた。

第116図には、SiO_2（横軸）－各元素（縦軸）の分布図を示す。

４．考　察

化学組成の全体の約90％以上を占めるAl_2O_3－SiO_2分布図（第116図）に注目すると、一般的にSiO_2が高いほど砂粒分が多く、Al_2O_3が多いほど粘土分が高くなる傾向があり、端的に粘土と砂粒の混合割合が読み取れる（小村・藤根、2001）。Al_2O_3－SiO_2分布図を見ると、多くの胎土は、横軸のケイ素SiO_2において70％から76％の間に58試料が分布している。また、酸化アルミニウムAl_2O_3においても14％から18％の間に54試料が分布している。ことから、材料的には非常に均質な組成であることが理解される。

こうした試料のうち、No. 8、No. 11、No. 31、No. 44、No. 65は、高アルミニウム低ケイ素であることから、比較的粘土分が多い胎土と考えられる。これらの天目茶碗は、肉眼的に大型の長石類とおもわれる砂粒物が特徴的に多く見られる胎土である。また、No. 3、No. 20、No. 67では、高ケイ素低アルミニウムであることから、比較的砂粒分が多い胎土と考えられる。これら天目茶碗は、前者のような長石類からなる粒子は肉眼的には見られない比較的均質な胎土である。

その他の元素では、CaO－SiO_2分布図を見ると、No. 61、No. 63、No. 64、No. 66の胎土は、他の胎土

に比べて高い値を示しているが、これら胎土は比較的大型の砂粒物を特徴的に多く含み、かつやや締りのない胎土である。同様にアルカリ土類金属元素であるストロンチウムSrにおいてもNo. 61、No. 63、No. 66の胎土は、高い値を示している。

このように一部の天目茶碗を除いては、化学組成からみてかなり均質な材料であることが理解された。

なお、工房跡SX01から検出された未焼成の天目茶碗薄片の顕微鏡観察では、堆積岩類を主体とした砂粒組成を示すことから、西側から南西側の約１㎞付近には鮮新統瀬戸陶土層などを採取利用したことが推定されている。

５．まとめ

ここでは、灰原から出土した天目茶碗の蛍光Ｘ線分析による化学組成を調べ、材料についての検討を行った。その結果、一部の天目茶碗を除いて概ね均質な材料を使用していることが理解された。なお、これら胎土の材料は、設窯場所が花崗岩類基盤であり、未焼成の天目茶碗薄片の顕微鏡観察から西側から南西側の約１㎞付近に分布する鮮新統瀬戸陶土層を採取利用したものと考えられる。

引用文献

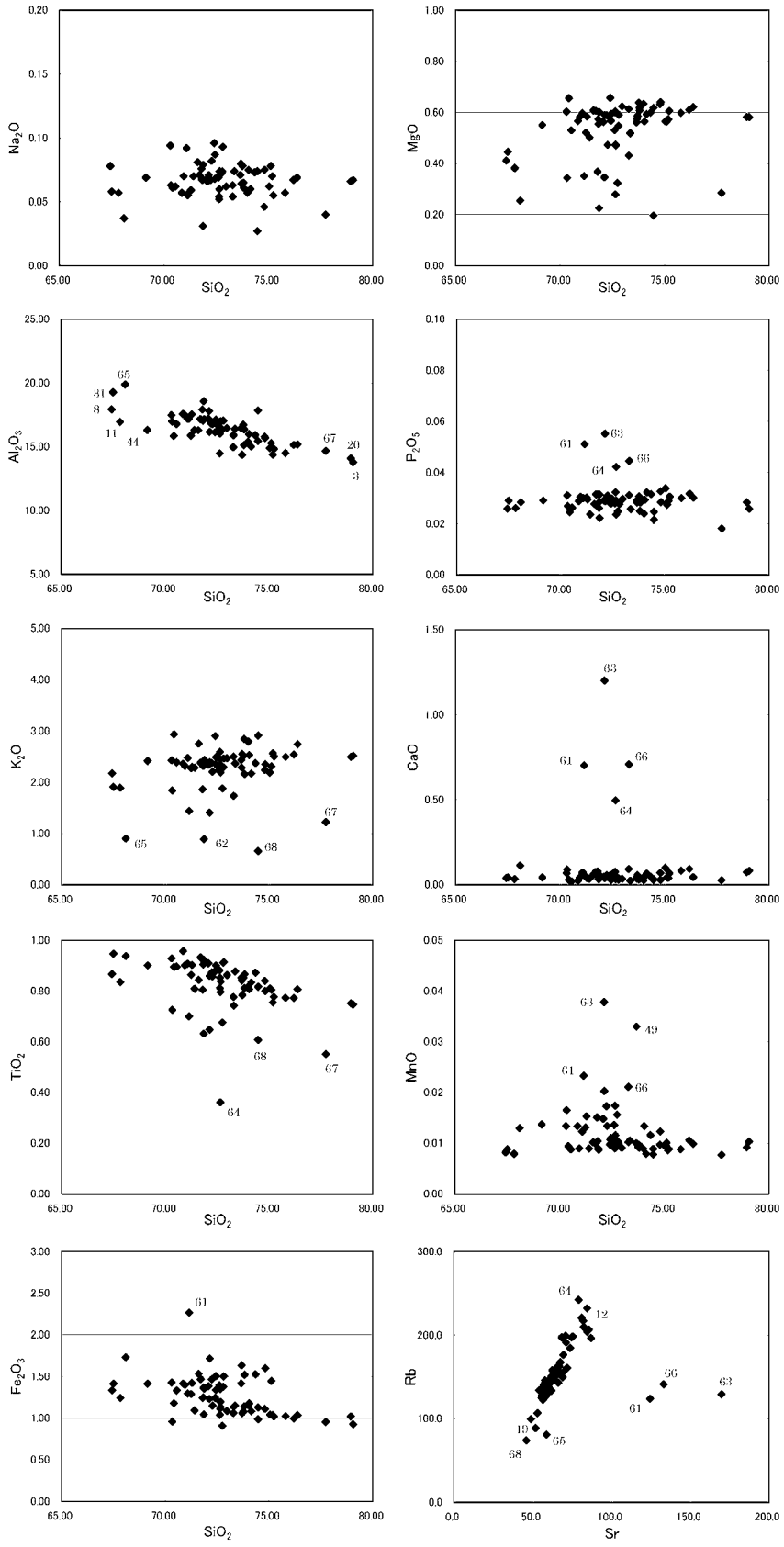
小村美代子・藤根　久（2001）須恵質土器胎土中の砂粒分の化学的評価、日本文化財科学会第18回大会研究発表要旨集, 114-115.

第18表　分析した天目茶碗とその詳細

No.	登録番号	通番	年度	グリッド	層　位	分類	備　考
1	163	3	99B	Ⅳ H16g	黒褐色土層	1	重-47
2	172	7	98	d2	検　出		
3		37	98	b3c3	西壁1層		
4	173	61	98	e3d3	東壁5層		
5	167	67	98	d3	黒色灰層上層		
6	168	69	99B	Ⅳ H16g	赤褐色土層		
7	176	4	98	e3d3	東壁5層	2	重-48
8	178	11	99B	Ⅳ H15h	褐色土層		
9		34	98	d1	黒色灰層上層		
10	180	66	99B	Ⅳ H16f	黒褐色土層		
11	183	119	98	e5	黒色灰層下層、褐色土混じり		
12		39	98	e3d3	東壁5層	2-2	重-49
13	185	27	98	d4c4	東壁5層	3	
14	187	40	98	e2	検　出		
15	196	45	98	d1d2	北壁7層		
16	193	65	98	d1d2	北壁3層		
17	194	82	98	d1d2	北壁3層		
18		111	98	d1d2	北壁3層		
19	205	26	98	d1	黒色灰層下層	4	
20	207	31	98	c1c2	北壁1層		
21	202	58	98	b1	黒色灰層		
22	199	63	98	c2	検　出		
23	200	64	98	c3c4	北壁黒色灰層切り株下		
24	223	68	98	—	黒褐色土層		
25	210	74	99B	Ⅳ H15h	北トレンチ	5	
26	212	156	01	Ⅳ H13i	灰層上層		
27	217	14	98	e2	黒色灰層下層メイン	6	
28	225	21	98	f3	検　出		
29	221	46	98	c2c3	北壁3層		
30	228	159	99B	Ⅳ H15g	黒褐色土層		
31	236	5	99B	Ⅳ H15p	黒褐色土層	6-2	
32	242	80	99B	Ⅳ H16h	（表土下）黒褐色土層	6-3	
33	244	78	98	—	北トレンチ	6-4	
34	241	20	98	c2	黒土層下層	6-5	
35	246	81	99B	Ⅳ H15g	黒褐色土層	8	重-51
36		86	98	p2c2	東壁5層		
37	267	90	98	g3g4	北壁5層		
38	265	95	98	c2	検　出		
39	271	105	98	d4c4	黒色灰層上層		
40	251	113	98	f3e3	東壁7層		
41	279	96	98	d2d3	北壁5層	9	
42	284	101	98	e4	黒色灰層最下部、褐色土直上		
43	280	164	01	Ⅳ H13g	整地層1		
44	289	88	98	e2	黒色灰層上層	10	
45	294	106	99B	Ⅳ H16g	赤褐色土層		
46	293	127	98	c3c4	黒色灰層上層		
47	295	130	98	e3e4	北壁8層		
48	297	150	98	d2d3	北壁7層	11	
49	301	126	98	e2	黒色灰層下層	12	
50	298	139	98	g3p3	東壁1層		
51	300	144	98	c2	黒色灰層下層		
52	314	141	98	c2	黒色灰層下層	13	
53	315	161	99A	—	トレンチ1		
54	316	140	98	d2d3	北壁7層	14	
55	296	131	99B	Ⅳ H15h	黒褐色土層	15	
56	303	132	98	f3	検　出	16	
57	305	137	98	c2d2	東壁3層		
58	307	147	98	d2	検　出		
59	311	136	98	e2	黒色灰層上層		
60	310	146	98	d3	黒色灰層下層褐色混じる		
61			99B	Ⅳ H16g	赤褐色土層		重-24
62			99B	Ⅳ H15h	—		重-25
63			98	d4c4	黒色灰層下層（褐色混じる）		重-23
64			98	d1c1	東壁第3層		重-16
65			98	d2	黒色灰層下層（赤褐色混じる）		重-17、サヤ蓋
66			98	d1d2	北壁7層		重-8、上の胴部
67			98	d1d2	北壁7層		重-8、下の底部
68							重-7

第19表　蛍光X線分析による主成分元素と微量元素（単位；主成分元素%、微量元素ppm）

No.	Na_2O (%)	MgO (%)	Al_2O_3 (%)	SiO_2 (%)	P_2O_5 (%)	K_2O (%)	CaO (%)	TiO_2 (%)	MnO (%)	Fe_2O_3 (%)	合計	Rb (ppm)	Sr (ppm)
1	0.05	0.60	14.47	72.64	0.032	2.59	0.08	0.81	0.010	1.04	92.32	207.0	85.7
2	0.07	0.62	ふ	76.37	0.030	2.74	0.05	0.81	0.010	1.04	81.73	221.1	81.0
3	0.07	0.58	13.77	79.05	0.026	2.52	0.08	0.75	0.010	0.93	97.77	196.7	87.0
4	0.06	0.59	14.36	73.71	0.029	2.55	0.06	0.78	0.010	1.06	93.21	209.7	82.4
5	0.06	0.60	14.50	75.80	0.030	2.50	0.08	0.77	0.009	1.02	95.37	161.0	71.9
6	0.07	0.61	15.15	76.19	0.032	2.54	0.09	0.77	0.011	1.00	96.47	149.9	68.9
7	0.05	0.61	14.97	73.29	0.031	2.50	0.09	0.78	0.010	1.06	93.40	204.2	84.6
8	0.08	0.41	17.93	67.43	0.026	2.17	0.04	0.87	0.008	1.34	90.30	191.2	71.0
9	0.07	0.57	14.38	75.18	0.029	2.56	0.04	0.76	0.009	1.04	94.65	152.6	65.2
10	0.06	0.57	14.89	75.04	0.034	2.19	0.10	0.81	0.009	1.04	94.74	133.5	62.0
11	0.06	0.38	16.94	67.83	0.026	1.89	0.03	0.84	0.008	1.24	89.25	167.6	67.4
12	0.06	0.66	15.85	70.42	0.025	2.93	0.03	0.90	0.009	1.18	92.05	232.2	84.5
13	0.06	0.34	16.97	70.34	0.027	1.84	0.09	0.73	0.017	0.96	91.37	154.8	68.7
14	0.06	0.59	15.01	74.14	0.032	2.17	0.07	0.83	0.008	1.08	94.00	136.3	60.1
15	0.09	0.60	17.48	70.31	0.031	2.43	0.07	0.93	0.013	1.43	93.38	146.4	61.0
16	0.06	0.61	14.83	75.23	0.031	2.51	0.07	0.78	0.009	1.02	95.13	143.3	66.2
17	0.06	0.62	16.46	72.97	0.030	2.47	0.04	0.86	0.009	1.09	94.61	160.5	65.0
18	0.08	0.64	16.71	73.77	0.031	2.51	0.03	0.85	0.009	1.08	95.71	140.2	59.1
19	0.08	0.37	17.93	71.79	0.032	1.86	0.08	0.81	0.015	1.25	94.20	88.8	51.8
20	0.07	0.58	14.08	78.94	0.028	2.50	0.07	0.75	0.009	1.02	98.05	160.0	71.4
21	0.07	0.62	15.13	73.80	0.025	2.85	0.04	0.81	0.009	1.14	94.49	217.3	82.1
22	0.07	0.62	15.44	74.48	0.025	2.91	0.03	0.82	0.009	1.13	95.53	156.4	64.4
23	0.06	0.63	15.38	74.00	0.024	2.79	0.03	0.82	0.009	1.16	94.89	162.5	66.8
24	0.07	0.61	17.17	71.70	0.032	2.38	0.08	0.93	0.010	1.47	94.45	136.0	59.2
25	0.05	0.63	15.80	74.80	0.033	2.24	0.07	0.84	0.010	1.11	95.58	147.6	63.0
26	0.05	0.60	16.03	72.64	0.028	2.45	0.04	0.85	0.009	1.11	93.82	197.6	74.5
27	0.07	0.32	16.36	72.75	0.025	1.88	0.04	0.68	0.016	0.91	93.05	155.4	63.2
28	0.08	0.61	16.29	71.60	0.028	2.75	0.06	0.84	0.010	1.54	93.81	184.7	73.7
29	0.10	0.66	16.14	72.40	0.028	2.90	0.06	0.88	0.010	1.25	94.42	162.6	66.0
30	0.07	0.47	16.99	72.67	0.029	2.26	0.04	0.84	0.012	1.14	94.51	134.0	54.6
31	0.06	0.45	19.27	67.50	0.029	1.91	0.04	0.95	0.009	1.41	91.63	176.6	69.4
32	0.06	0.52	15.87	71.24	0.030	2.27	0.05	0.86	0.013	1.29	92.20	159.3	65.2
33	0.07	0.57	16.83	72.43	0.030	2.35	0.04	0.88	0.011	1.34	94.54	149.9	61.6
34	0.07	0.58	17.51	70.94	0.031	2.32	0.04	0.90	0.009	1.40	93.80	158.3	62.4
35	0.08	0.60	17.17	71.87	0.031	2.44	0.06	0.92	0.009	1.35	94.53	131.3	57.0
36	0.07	0.56	17.12	71.85	0.026	2.33	0.03	0.92	0.009	1.37	94.28	141.6	57.8
37	0.07	0.52	16.40	73.36	0.026	2.37	0.02	0.88	0.011	1.15	94.81	126.8	56.5
38	0.09	0.60	17.21	71.08	0.030	2.47	0.07	0.91	0.012	1.30	93.77	152.8	64.3
39	0.07	0.57	17.04	71.83	0.028	2.32	0.05	0.91	0.010	1.25	94.06	130.6	57.9
40	0.08	0.47	16.77	72.28	0.031	2.21	0.05	0.86	0.013	1.15	93.91	126.6	58.1
41	0.07	0.53	16.41	72.61	0.028	2.25	0.05	0.88	0.014	1.40	94.23	143.7	61.5
42	0.07	0.50	16.29	71.41	0.024	2.28	0.04	0.81	0.009	1.09	92.53	131.8	56.6
43	0.06	0.53	16.78	70.55	0.026	2.39	0.02	0.90	0.009	1.33	92.59	197.4	68.4
44	0.07	0.55	16.31	69.15	0.029	2.42	0.04	0.90	0.014	1.41	90.89	135.1	57.7
45	0.06	0.57	17.58	70.86	0.029	2.36	0.02	0.96	0.013	1.41	93.86	146.2	57.7
46	0.06	0.58	17.52	71.28	0.029	2.30	0.04	0.90	0.015	1.42	94.16	125.1	55.7
47	0.07	0.59	16.81	72.24	0.031	2.37	0.06	0.87	0.017	1.47	94.52	131.4	60.0
48	0.07	0.55	17.06	72.80	0.028	2.29	0.03	0.91	0.010	1.38	95.13	140.4	56.8
49	0.08	0.58	16.45	73.68	0.029	2.29	0.04	0.84	0.033	1.64	95.65	135.9	58.8
50	0.09	0.59	17.05	72.82	0.028	2.47	0.04	0.91	0.010	1.50	95.50	134.2	54.1
51	0.08	0.56	15.28	75.11	0.027	2.31	0.04	0.81	0.010	1.45	95.68	137.9	60.1
52	0.06	0.61	16.36	73.81	0.028	2.16	0.04	0.87	0.010	1.52	95.46	142.6	57.7
53	0.07	0.56	16.45	73.66	0.028	2.44	0.04	0.85	0.010	1.42	95.53	127.7	55.7
54	0.07	0.47	16.51	72.66	0.024	2.19	0.03	0.80	0.011	1.20	93.96	138.3	57.5
55	0.08	0.56	15.98	74.05	0.029	2.53	0.05	0.81	0.013	1.18	95.27	132.2	58.1
56	0.07	0.59	16.16	72.14	0.029	2.39	0.04	0.86	0.020	1.72	94.02	150.7	62.9
57	0.09	0.59	17.13	72.44	0.028	2.49	0.03	0.90	0.011	1.51	95.21	199.5	70.7
58	0.08	0.64	15.69	74.82	0.028	2.35	0.03	0.80	0.012	1.60	96.04	122.7	56.5
59	0.07	0.60	15.91	74.34	0.032	2.37	0.05	0.87	0.012	1.53	95.79	198.4	75.6
60	0.07	0.56	17.21	72.08	0.029	2.34	0.05	0.91	0.015	1.39	94.64	134.2	59.5
61	0.06	0.35	17.18	71.15	0.051	1.44	0.70	0.70	0.023	2.27	93.93	124.1	124.4
62	0.03	0.23	18.58	71.86	0.022	0.89	0.03	0.63	0.009	1.04	93.33	99.7	48.8
63	0.07	0.35	17.80	72.13	0.055	1.41	1.20	0.65	0.038	1.23	94.92	129.1	169.9
64	0.06	0.28	16.44	72.65	0.042	2.34	0.50	0.36	0.017	1.35	94.03	242.2	79.1
65	0.04	0.25	19.87	68.09	0.028	0.90	0.11	0.94	0.013	1.73	91.98	81.1	58.7
66	0.06	0.43	15.90	73.29	0.045	1.74	0.71	0.74	0.021	1.14	94.07	141.3	133.1
67	0.04	0.29	14.67	77.73	0.018	1.22	0.03	0.55	0.008	0.95	95.51	106.9	53.0
68	0.03	0.20	17.85	74.47	0.022	0.66	0.03	0.61	0.008	0.99	94.86	74.2	45.9
最大値	0.10	0.66	19.87	79.05	0.055	2.93	1.20	0.96	0.038	2.27	98.05	242.2	169.9
最小値	0.03	0.20	13.77	67.43	0.018	0.66	0.02	0.36	0.008	0.91	81.73	74.2	45.9



第116図　各元素分布図（単位；主成分元素%、微量元素ppm）

第３節　未焼成天目茶碗胎土の材料分析

藤根　久（株式会社パレオ・ラボ）

１．はじめに

鷲窯跡は、14世紀後葉から15世紀前半にかけて操業された窯跡である。調査では、急傾斜に設けられた窯跡のほか隣接する場所において関連する工房跡が検出され、未焼成の天目茶碗が重ねた状態で検出された。

ここでは、工房跡SX01から出土した未焼成の天目茶碗の薄片を作成し、顕微鏡観察による材料の検討を行った。なお出土状態については第39図を参照されたい。

２．試料と方法

検討した試料は、工房跡SX01から出土した未焼成の天目茶碗52試料である（第20表）。これらは、薄片の顕微鏡観察を行い、材料に関する特徴を検討した。

これら試料は、薄片を作成し、偏光顕微鏡による観察による方法を行った。各胎土は、次の手順に従って偏光顕微鏡観察用の薄片（プレパラート）を作成した。

（１）試料は、電気炉にて750度、６時間焼成した。その後、岩石カッターなどで整形し恒温乾燥機により乾燥させ、エポキシ樹脂を用いて固化処理を行った後、スライドグラスに接着し平面を作成した。

（２）さらに、研磨機およびガラス板を用いて研磨し、平面を作成した後スライドグラスに接着した。

（３）その後、精密岩石薄片作製機を用いて切断し、ガラス板などを用いて研磨し、厚さ0.02㎜前後の薄片を作製する。仕上げとして、研磨剤を含ませた布板上で琢磨し、コーティング剤を塗布した。

各薄片試料は、偏光顕微鏡下300倍で分類群ごとに同定・計数する。同定・計数は、100㎛格子目盛を用いて任意の位置における約50㎛（0.05㎜）以上の鉱物および複合鉱物類（岩石片）あるいは微化石類（50㎛前後）を対象とし、微化石と石英・長石類以外の粒子が100個以上になるまで行う。また、この計数とは別に、薄片全面について、微化石類（珪藻化石、骨針化石、胞子化石）および大型粒子などの特徴についても観察･記載した。なお、ここで採用した微化石類や鉱物および岩石片の分類群は、以下の通りである。

[珪藻化石]

珪酸質の殻をもつ微小な藻類で、その大きさは10～数百㎛程度である。珪藻は海水域から淡水域に広く分布し、個々の種類によって特定の生息環境をもつ。最近では、小杉（1988）や安藤（1990）によって環境指標種群が設定され、具体的な環境復原が行われている。ここでは、種あるいは属が同定できるものについて珪藻化石（淡水種）と分類し、同定できないものは珪藻化石（不明種）とした。なお、各胎土中の珪藻化石は、その詳細を記載した。

[植物珪酸体化石]

植物の細胞組織を充填する非晶質含水珪酸体であり、大きさは種類によっても異なり、主に約10～50㎛前後である。一般的にプラント・オパールとも呼ばれ、イネ科草本、スゲ、シダ、トクサ、コケ類などに存在することが知られている。ファン型や亜鈴型あるいは棒状などがあるが、ここでは大型のファン型と棒状を対象とした。

第20表　未焼成天目茶碗試料一覧

分析No.	種　類	調査年度	グリッド	遺　構・その他	登録No.
1	未焼成品	99A	IVH11d	SX01 B 上面 1	PCL-362
2	未焼成品	99A	IVH11d	SX01 B 上面 2	PCL-363
3	未焼成品	99A	IVH11d	SX01 B 上面 3	PCL-364
4	未焼成品	99A	IVH11d	SX01 B 上面 4	PCL-365
5	未焼成品	99A	IVH11d	SX01 B 上面 5	PCL-366
6	未焼成品	99A	IVH11d	SX01 B 上面 6	PCL-367
7	未焼成品	99A	IVH11d	SX01 B 上面 7の上	PCL-368
8	未焼成品	99A	IVH11d	SX01 B 上面 7の下	PCL-369
9	未焼成品	99A	IVH11d	SX01 B 上面 8	PCL-370
10	未焼成品	99A	IVH11d	SX01 B 上面 9	PCL-371
11	未焼成品	99A	IVH11d	SX01 B 上面 10	PCL-372
12	未焼成品	99A	IVH11d	SX01 B 上面 11	PCL-373
13	未焼成品	99A	IVH11d	SX01 B 上面 12	PCL-374
14	未焼成品	99A	IVH11d	SX01 B 上面 13	PCL-375
15	未焼成品	99A	IVH11d	SX01 B 上面 14	PCL-376
16	未焼成品	99A	IVH11d	SX01 B 上面 15	PCL-377
17	未焼成品	99A	IVH11d	SX01 B 上面 16	PCL-378
18	未焼成品	99A	IVH11d	SX01 B 上面 17	PCL-379
19	未焼成品	99A	IVH11d	SX01 B 上面 18	PCL-380
20	未焼成品	99A	IVH11d	SX01 B 上面 19	PCL-381
21	未焼成品	99A	IVH11d	SX01 B 上面 20	PCL-382
22	天目 未焼成	99A	IVH11d	SX01 B 下面 あ	PCL-383
23	天目 未焼成	99A	IVH11d	SX01 B 下面 い	PCL-384
24	天目 未焼成	99A	IVH11d	SX01 B 下面 う	PCL-385
25	天目 未焼成	99A	IVH11d	SX01 B 下面 え	PCL-386
26	天目 未焼成	99A	IVH11d	SX01 B 下面 お	PCL-387
27	天目 未焼成	99A	IVH11d	SX01 B 下面 か	PCL-388
28	天目 未焼成	99A	IVH11d	SX01 B 下面 き	PCL-389
29	天目 未焼成	99A	IVH11d	SX01 B 下面 く	PCL-390
30	天目 未焼成	99A	IVH11d	SX01 B 下面 け	PCL-391
31	天目 未焼成	99A	IVH11d	SX01 B 下面 こ	PCL-345
32	天目 未焼成	99A	IVH11d	SX01 B 下面 さ	PCL-346
33	天目 未焼成	99A	IVH11d	SX01 B 下面 し	PCL-347
34	天目 未焼成	99A	IVH11d	SX01 B 下面 す	PCL-348
35	天目 未焼成	99A	IVH11d	SX01 B 下面 せ	PCL-349
36	天目 未焼成	99A	IVH11d	SX01 B 下面 そ	PCL-350
37	粘　土	99A	IVH12d	SX01・G2	PCL-351
38	粘　土	99A	IVH12d	SX01・G2	PCL-352
39	粘　土	99A	IVH12d	SX01・G4	PCL-353
40	粘　土	99A	IVH12d	SX01・G5	PCL-354
41	粘　土	99A	IVH12d	SX01・SK01	PCL-355
42	粘　土	99A	IVH12d	SX01・D No. 1	PCL-356
43	粘　土	99A		T1・SY02	PCL-357
44	粘　土	99A	IVH12e	粘土 No. 1	PCL-358
45	粘　土	99A	IVH12e	粘土 No. 2	PCL-359
46	未焼成品	99A		SX01 B 粘土塊(22)	PCL-360
47	粘　土	99A		SX06 粘土No. 1	PCL-361
48	未焼成品	99A		SX06 No. 1	PCL-340
49	未焼成品	99A		SX06 No. 2	PCL-341
50	未焼成品	99A		SX06 No. 3	PCL-342
51	未焼成(摺鉢?)	99A		SX06 No.	PCL-343
52	未焼成品	99A	IVH13g	SX08	PCL-344

[胞子化石]

胞子化石は、珪酸質と思われる直径10～30㎛程度の小型無色透明の球状粒子である。これらは、水成堆積中で多く見られるが、土壌中にも含まれる。

[石英・長石類]

石英あるいは長石類は、いずれも無色透明の鉱物である。長石類のうち後述する双晶などのように光学的に特徴をもたないものは石英と区別するのが困難である場合が多く一括して扱う。なお、石英・長石類（雲母）は、黄色などの細粒雲母類が包含される石英または長石類である。

[長石類]

長石は大きく斜長石とカリ長石に分類される。斜長石は、双晶（主として平行な縞）を示すものと累帯構造（同心円状の縞）を示すものに細分される（これらの縞は組成の違いを反映している）。カリ長石は、細かい葉片状の結晶を含むもの（パーサイト構造）と格子状構造（微斜長石構造）を示すものに分類される。また、ミルメカイトは斜長石と虫食い状石英との連晶（微文象構造という）である。累帯構造を示す斜長石は、火山岩中の結晶（斑晶）の斜長石にみられることが多い。パーサイト構造を示すカリ長石はカコウ岩などのSiO_2%の多い深成岩や低温でできた泥質・砂質の変成岩などに産する。

ミルメカイトあるいは文象岩は火成岩が固結する過程の晩期に生じると考えられている。これら以外の斜長石は、火成岩、堆積岩、変成岩に普通に産する。

[雲母類]

一般的には黒雲母が多く、黒色から暗褐色で風化すると金色から白色になる。形は板状で、へき開（規則正しい割れ目）にそって板状には剥がれ易い。薄片上では長柱状や層状に見える場合が多い。カコウ岩などのSiO_2%の多い火成岩に普遍的に産し、泥質、砂質の変成岩および堆積岩にも含まれる。なお、雲母類のみが複合した粒子を複合雲母類とした。

[輝石類]

主として斜方輝石と単斜輝石とがある。斜方輝石（主に紫蘇輝石）は、肉眼的にビールびんのような淡褐色および淡緑色などの色を呈し、形は長柱状である。SiO_2%が少ない深成岩、SiO_2%が中間あるいは少ない火山岩、ホルンフェルスなどのような高温で生じた変成岩に産する。単斜輝石（主に普通輝石）は、肉眼的に緑色から淡緑色を呈し、柱状である。主としてSiO_2%が中間から少ない火山岩によく見られ、SiO_2%の最も少ない火成岩や変成岩中にも含まれる。なお、粒子の周囲にガラスが付着し、胎土中にガラス質を伴う場合にはテフラ起源と考える。

[角閃石類]

主として普通角閃石であり、色は黒色から黒緑色で、薄片上では黄色から緑褐色などである。形は細長く平たい長柱状である。閃緑岩のようなSiO_2%が中間的な深成岩をはじめ火成岩や変成岩などに産する。なお、粒子の周囲にガラスが付着し、胎土中にガラス質を伴う場合にはテフラ起源と考える。

[ガラス質]

透明の非結晶の物質で、電球のガラス破片のような薄くて湾曲したガラス（バブル・ウォール型）や小さな泡をたくさんもつガラス（軽石型）などがある。主に火山の噴火により噴出された噴出物と考える。なお、濁ガラスは、非晶質でやや濁りのあるガラスで、火山岩類などにも見られる。

[複合鉱物類]

構成する鉱物が石英あるいは長石以外に重鉱物を伴う粒子で、雲母類を伴う粒子は複合鉱物類（含雲母類）、輝石類を伴う粒子を複合鉱物類（含輝石類）、角閃石類を伴う粒子を複合鉱物類（角閃石類）とした。

[凝灰岩質]

凝灰岩質は、ガラスや鉱物、火山岩片などの火山砕屑物などから構成され、非晶質でモザイックな文様構造を示す。起源となる火山により鉱物組成は変わる。

[複合石英類]

複合石英類は石英の集合している粒子で、基質（マトリックス）の部分をもたないものである。個々の石英粒子の粒径は粗粒なものから細粒なものまで様々である。ここでは、便宜的に個々の石英粒子の粒径が約0.01㎜未満のものを微細、0.01～0.05㎜のものを小型、0.05～0.1㎜のものを中型、0.1㎜以上のものを大型と分類した。また、等粒で小型の長石あるいは石英が複合した粒子は、複合石英類（等粒）として分類した。この複合石英類（等粒）は、ホルンフェルスなどで見られる粒子と考える。なお、粒子が片理状に配置した岩石群は、片理複合石英類とした。これらは、片岩類起源の岩石群と思われる。

[砂岩質・複合石英類（微細）]

石英、長石類、岩片類などの粒子が集合し、それらの間に基質の部分をもつもので、含まれる粒子の大きさが約0.06㎜以上のものを砂岩質とし、約0.06㎜未満のものを複合石英類（微細）とする。

[不透明・不明]

下方ポーラーのみ、直交ポーラーのいずれにおいても不透明なものや、変質して鉱物あるいは岩石片として同定不可能な粒子を不明とする。

4．結　果

各胎土中の粒子組成は、任意の位置での粒子を分類群別に計数した（第21表、第117図）。また、計数されなかった微化石類や鉱物・岩石片を記載するために、プレパラート全面を精査・観察した。以下では、粒度分布や0.1㎜前後以上の鉱物・岩石片の砂粒組成あるいは微化石類の記載を示す。なお、不等号は、概略の量比を示し、二重不等号は極端に多い場合を示す。また、[　] 内は極少ない場合である。

No. 1：100～500㎛が多い（最大粒径1.8㎜）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉雲母類〉複合石英類〉斜長石（双晶）、砂岩質、片理複合石英類、ジルコン、斜方輝石、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 2：50～100㎛が多い（最大粒径2.3㎜）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉雲母類〉複合石英類、斜長石（双晶）、ガラス質、斜方輝石、角閃石類、ジルコン、珪藻化石（淡水種*Pinnularia*属）、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 3：50～300㎛が多い（最大粒径1.7㎜）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉雲母類〉複合石英類、ガラス質、角閃石類、軽石質ガラス質、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 4：50㎛～1.2㎜が多い（最大粒径400㎛）。石英・長石類〉雲母類〉複合石英類〉複合石英類（微細）〉角閃石類、カリ長石（パーサイト）、斜方輝石、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 5：50～250㎛が多い（最大粒径1.3㎜）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉複合石英類〉雲母類〉

斜方輝石、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 6：50～300㎛が多い（最大粒径1.2㎜）。石英・長石類〉複合石英類（微細)〉複合石英類〉雲母類、斜長石（双晶)、斜方輝石、角閃石類、ジルコン、ガラス質、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 7：30～200㎛が多い（最大粒径2.7㎜）。石英・長石類〉複合石英類（微細)〉複合石英類〉雲母類〉斜長石（双晶)、角閃石類、斜方輝石、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

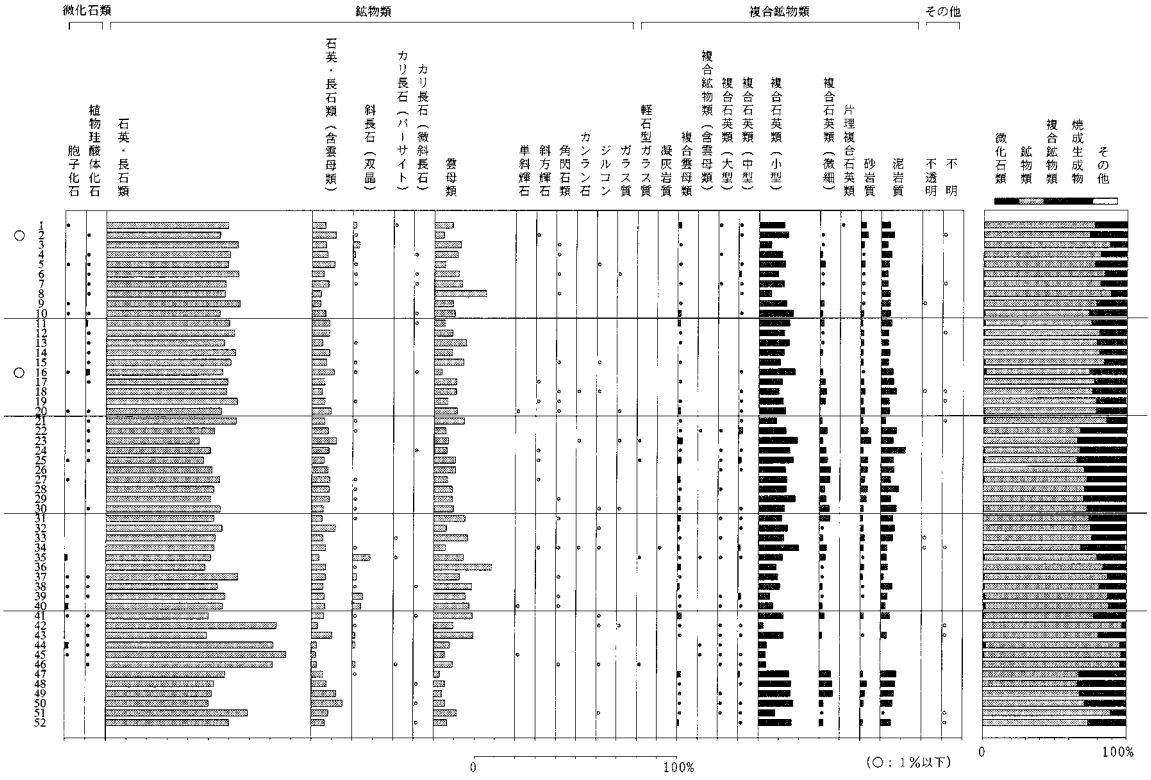
No. 8：50～100㎛が多い（最大粒径1.3㎜）。石英・長石類〉雲母類〉複合石英類（微細)、斜方輝石、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 9：50～300㎛が多い（最大粒径2.6㎜）。石英・長石類〉複合石英類〉雲母類〉複合石英類（微細)〉ガラス質、斜方輝石、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

第21表　天目茶碗胎土中の粒子組成

分類群	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
微化石類																										
胞子化石	1	–	–	–	1	–	–	–	1	1	–	–	–	–	–	1	–	–	–	1	–	–	–	–	1	–
植物珪酸体化石	–	1	–	1	1	1	2	1	–	1	3	2	1	1	3	5	1	–	–	1	3	2	1	2	1	–
鉱物類																										
石英・長石類	171	141	201	173	175	209	164	170	219	147	179	198	163	203	184	161	172	161	206	153	216	130	97	119	108	121
石英・長石類（含雲母類）	19	30	22	22	33	19	23	13	14	18	26	28	15	28	22	31	19	14	21	26	22	20	26	20	14	19
斜長石（双晶）	5	2	10	3	2	3	1	–	–	–	–	–	1	–	1	1	–	–	1	–	1	1	–	–	–	–
カリ長石（パーサイト）	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
カリ長石（微斜長石）	–	–	–	1	–	1	1	–	–	2	1	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–
雲母類	26	12	41	33	16	40	39	75	31	27	16	29	45	29	44	11	32	30	22	31	51	14	15	15	24	25
単斜輝石	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–
斜方輝石	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	1	–	–	–	–	1	1	–
角閃石類	–	–	2	1	–	1	–	2	–	–	–	–	–	–	1	–	–	2	3	1	–	–	–	–	–	–
カンラン石	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	1	–	–	–
ジルコン	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–
ガラス質	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	1	–	–	–
複合鉱物類																										
軽石質ガラス	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	1	–
凝灰岩質	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
複合雲母類	5	–	3	–	2	–	2	–	2	4	4	1	1	–	1	–	1	–	1	4	1	2	5	1	4	–
複合鉱物類（含雲母類）	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–
複合石英類（大型）	1	–	–	1	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	1	1	1
複合石英類（中型）	1	2	–	–	1	4	1	1	–	2	–	–	–	–	–	1	–	1	1	1	1	5	–	1	3	2
複合石英類（小型）	36	37	19	33	38	31	35	18	46	45	45	40	42	40	32	51	34	27	39	36	30	33	41	36	39	31
複合石英類（微細）	–	2	1	3	7	1	2	–	6	3	6	1	2	4	–	4	8	9	9	–	4	9	3	7	9	13
片理複合石英類	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
砂岩質	7	9	5	1	6	3	1	1	2	4	3	5	4	4	4	1	5	6	4	5	4	9	11	3	8	8
泥岩質	13	16	10	15	12	11	9	13	15	12	16	12	10	14	11	17	18	21	13	12	8	19	13	28	14	15
その他																										
不透明	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–
不　明	–	1	–	–	–	–	1	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	1	2	–	1	–	–	–	–	–
総ポイント数	288	255	314	287	295	325	282	294	337	266	299	318	284	323	304	285	291	275	323	273	342	247	215	235	228	235

分類群	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
微化石類																										
胞子化石	2	–	–	–	–	–	–	–	3	–	2	1	2	5	1	–	–	14	7	–	–	–	–	–	–	–
植物珪酸体化石	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	1	2	2	–	1	1	1	1	2	1	–	–	–	–	–	–
鉱物類																										
石英・長石類	150	138	124	151	131	149	131	135	123	110	215	150	174	164	121	566	111	578	884	490	163	125	124	115	261	175
石英・長石類（含雲母類）	24	23	21	16	13	31	14	18	9	16	23	16	19	19	15	21	23	19	22	17	16	18	29	35	31	19
斜長石（双晶）	1	1	1	1	1	–	–	2	21	1	7	2	15	12	1	2	3	10	–	9	1	–	–	–	–	–
カリ長石（パーサイト）	–	–	–	–	–	–	1	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–
カリ長石（微斜長石）	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	1	–	–	–	–	–	–	1	–	1	–	1
雲母類	18	24	22	26	38	16	41	15	35	65	42	52	47	50	46	65	44	55	54	56	8	13	10	13	43	19
単斜輝石	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–
斜方輝石	1	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
角閃石類	–	–	1	–	1	–	–	2	–	–	1	–	1	2	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–
カンラン石	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
ジルコン	–	–	–	1	–	1	–	1	–	–	–	–	–	–	1	1	–	–	–	1	–	–	–	–	1	–
ガラス質	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
複合鉱物類																										
軽石質ガラス	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–
凝灰岩質	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
複合雲母類	4	2	3	1	4	3	2	3	1	4	1	3	1	1	5	1	1	–	–	–	5	2	1	1	1	3
複合鉱物類（含雲母類）	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	1	1	–	–	–	–	–	–	–
複合石英類（大型）	–	1	–	–	1	–	2	–	1	–	–	–	3	2	–	4	1	3	1	2	–	–	1	1	1	–
複合石英類（中型）	–	–	–	1	1	2	–	3	1	–	–	–	4	1	–	2	2	–	1	2	3	1	–	2	1	1
複合石英類（小型）	38	36	44	35	29	38	31	51	29	20	32	29	17	21	30	16	28	29	35	23	43	38	38	40	32	48
複合石英類（微細）	14	7	8	13	13	2	4	9	7	1	2	4	3	4	6	–	3	–	–	–	16	15	16	5	3	6
片理複合石英類	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
砂岩質	6	9	7	4	3	4	5	4	2	4	4	1	2	–	4	–	2	–	–	–	4	8	6	4	–	4
泥岩質	13	23	12	21	15	18	15	8	7	8	5	16	10	7	11	–	7	–	–	–	22	17	16	14	3	15
その他																										
不透明	–	–	–	–	–	–	1	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
不　明	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	1	1	–	–	–	–	–	–	–	1	1
総ポイント数	271	264	243	272	250	264	247	257	242	229	335	277	300	289	243	682	227	7101008	604	281	238	241	231	378	292	



第117図　天目茶碗胎土中の粒子組成図（全分類群を表示）

No. 10：50～200㎛が多い（最大粒径450㎛）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉雲母類、複合石英類、角閃石類、ガラス質、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 11：50～150㎛が多い（最大粒径4.0㎜）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉複合石英類〉雲母類、角閃石類、斜方輝石、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 12：50～300㎛が多い（最大粒径1.5㎜）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉雲母類、斜方輝石、ジルコン、植物珪酸体化石

No. 13：50～200㎛が多い（最大粒径500㎛）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉複合石英類〉雲母類〉斜長石（双晶）、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 14：50～200㎛が多い（最大粒径650㎛）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉複合石英類〉雲母類、角閃石類、斜方輝石、単斜輝石、ジルコン、植物珪酸体化石

No. 15：50～250㎛が多い（最大粒径1.7㎜）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉雲母類〉複合石英類、単斜輝石、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 16：50～250㎛が多い（最大粒径950㎛）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉雲母類〉複合石英類、斜長石（双晶）、斜方輝石、角閃石類、ジルコン、珪藻化石（淡水種*Pinnularia*属）、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 17：50～200㎛が多い（最大粒径1.7㎜）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉雲母類〉複合石英類、角閃石類、斜方輝石、ジルコン、ガラス質、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 18：50～200㎛が多い（最大粒径700㎛）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉雲母類、斜方輝石、ジルコン、植物珪酸体化石

No. 19：50～200㎛が多い（最大粒径1.8㎜）。石英・長石類〉雲母類〉複合石英類（微細）〉複合石英類、斜方輝石、角閃石類、ジルコン

No. 20：50～200㎛が多い（最大粒径1.5㎜）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉雲母類〉複合石英類、ガラス質、斜方輝石、角閃石類、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 21：50～150㎛が多い（最大粒径4.0㎜）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉複合石英類〉雲母類〉ガラス質、斜方輝石、角閃石類、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 22：50～350㎛が多い（最大粒径700㎛）。石英・長石類〉複合石英類（微細）》複合石英類、砂岩質、雲母類、斜方輝石、ジルコン、ガラス質、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 23：50～300㎛が多い（最大粒径900㎛）。複合石英類〉複合石英類（微細）〉石英・長石類、雲母類、ガラス質、斜方輝石、角閃石類、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 24：50～450㎛が多い（最大粒径750㎛）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉複合石英類、雲母類、斜方輝石、ジルコン、軽石質ガラス質、植物珪酸体化石

No. 25：50～200㎛が多い（最大粒径1.1㎜）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉複合石英類、軽石質ガラス質、ガラス質、斜方輝石、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 26：30～350㎛が多い（最大粒径1.4㎜）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉複合石英類、雲母類、角閃石類、ガラス質、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 27：50～300㎛が多い（最大粒径650㎛）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉複合石英類〉ガラス質、軽石質ガラス質、斜方輝石、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 28：50～400㎛が多い（最大粒径850㎛）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉複合石英類、ガラス質、軽石質ガラス質、斜方輝石、ジルコン、植物珪酸体化石

No. 29：30～300㎛が多い（最大粒径650㎛）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉複合石英類、ガラス質、斜方輝石、ジルコン、角閃石類、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 30：50～300㎛が多い（最大粒径800㎛）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉複合石英類、雲母類、ガラス質、軽石質ガラス質、斜方輝石、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 31：50～300㎛が多い（最大粒径700㎛）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉複合石英類、斜長石（双晶）、角閃石類、斜方輝石、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 32：30～300㎛が多い（最大粒径950㎛）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉複合石英類、斜長石（双晶）、角閃石類、斜方輝石、ジルコン、ガラス質、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 33：50～350㎛が多い（最大粒径2.0㎜）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉複合石英類、斜長石（双晶）、斜方輝石、ジルコン、ガラス質、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 34：50～350㎛が多い（最大粒径1.5㎜）。石英・長石類〉複合石英類（微細）〉複合石英類、雲母類、ガラス質、斜方輝石、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 35：100～750㎛が多い（最大粒径3.6㎜）。石英・長石類〉複合石英類〉複合石英類（微細）〉雲母類、斜長石（双晶）、ガラス質、軽石質ガラス質、角閃石類、斜方輝石、ジルコン、胞子化石、植物

珪酸体化石

No. 36：30～100㎛が多い（最大粒径700㎛）。石英・長石類〉複合石英類（微細)〉雲母類、複合石英類、ガラス質、斜方輝石、ジルコン

No. 37：50～300㎛が多い（最大粒径4.3㎜）。石英・長石類〉複合石英類（微細)〉複合石英類〉雲母類、斜長石（双晶)、カリ長石（パーサイト)、角閃石類、斜方輝石、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 38：50～200㎛が多い（最大粒径1.6㎜）。石英・長石類〉複合石英類（微細)〉雲母類〉複合石英類、ガラス質、軽石質ガラス質、斜方輝石、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 39：50～800㎛が多い（最大粒径3.7㎜）。石英・長石類〉複合石英類（微細)〉複合石英類〉雲母類、ガラス質、斜方輝石、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 40：30～300㎛が多い（最大粒径3.1㎜）。石英・長石類〉複合石英類（微細)〉複合石英類〉雲母類、斜長石（双晶)、角閃石類、斜方輝石、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 41：30～100㎛が多い（最大粒径2.6㎜）。石英・長石類〉複合石英類（微細)〉複合石英類〉雲母類、角閃石類、斜方輝石、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 42：100～500㎛が多い（最大粒径2.1㎜）。石英･長石類〉複合石英類〉雲母類、ガラス質、斜方輝石、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 43：50～300㎛が多い（最大粒径2.0㎜）。石英・長石類〉複合石英類（微細)〉複合石英類〉雲母類〉斜方輝石、ジルコン、植物珪酸体化石

No. 44：100～450㎛が多い（最大粒径3.2㎜）。石英・長石類〉複合石英類〉複合石英類（微細)〉雲母類、斜長石（双晶)、ガラス質、単斜輝石、ジルコン、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 45：50～400㎛が多い（最大粒径2.8㎜）。石英・長石類》複合石英類〉斜長石（双晶)、ジルコン、雲母類、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 46：50～500㎛が多い（最大粒径3.1㎜）。石英・長石類》複合石英類〉雲母類、軽石質ガラス質、角閃石類、ジルコン、ガラス質、植物珪酸体化石

No. 47：50～150㎛が多い（最大粒径600㎛）。石英・長石類〉複合石英類〉雲母類、斜方輝石、ジルコン

No. 48：30～150㎛が多い（最大粒径㎜）。石英･長石類〉複合石英類（微細)》複合石英類、斜長石（双晶)、ジルコン、斜方輝石、角閃石類

No. 49：50～250㎛が多い（最大粒径850㎛）。石英・長石類〉複合石英類（微細)》雲母類、角閃石類、ジルコン、植物珪酸体化石

No. 50：30～250㎛が多い（最大粒径850㎛）。石英・長石類〉複合石英類（微細)》ガラス質、角閃石類、斜方輝石瀬、ジルコン

No. 51：50～400㎛が多い（最大粒径3.2㎜）。石英・長石類〉複合石英類（微細)〉複合石英類、雲母類、ジルコン、斜方輝石、胞子化石、植物珪酸体化石

No. 52：50～200㎛が多い（最大粒径1.2㎜）。石英・長石類〉複合石英類（微細)〉雲母類、斜方輝石、角閃石類、ジルコン

第22表　未焼成天目茶碗と粘土試料の特徴

分析No.	備　考	粘土の特徴					砂粒の特徴							鉱物の特徴				分類
		分類	起源	淡水種珪藻化石	植物珪酸体化石	胞子化石	分類	堆積岩類	深成岩類	片岩類	テフラ	粒度（㎛）	最大粒径	角閃石類	輝石類	ジルコン	雲母類	
1	未焼成品		その他		△	△	Cb	○	△	△		100～500	1.8㎜		△	△	○	Ⅰd
2	未焼成品	○	（淡水成）	△	△	△	C	○			△	50～100	2.3㎜	△	△	△	○	Ⅱb
3	未焼成品		その他		△	△	Cb	○	△		△	50～300	1.7㎜		△	△	○	Ⅰd
4	未焼成品		その他		△	△	Cb	○	○			50～1200	400㎛		△	△	○	Ⅰd
5	未焼成品		その他		△	△	Cb	○	△			50～250	1.3㎜		△	△	○	Ⅰd
6	未焼成品		その他		△	△	Cb	○	△		△	50～300	1.2㎜	△	△	△	△	Ⅰd
7	未焼成品		その他		△	△	Cb	○	○			30～200	2.7㎜	△	△	△	○	Ⅰd
8	未焼成品		その他		△	△	C	○				50～100	1.3㎜		△	△	○	Ⅱd
9	未焼成品		その他		△	△	Cb	○	△		△	50～300	2.6㎜		△	△	○	Ⅰd
10	未焼成品		その他		△	△	Cb	○	△		△	50～200	450㎛	△		△	△	Ⅰd
11	未焼成品		その他		△	△	Cb	○	○			50～150	4.0㎜	△	△	△	○	Ⅰd
12	未焼成品		その他		△		C	○				50～300	1.5㎜		△	△	△	Ⅱd
13	未焼成品		その他		△	△	Cb	○	△			50～250	350㎛			△	○	Ⅰd
14	未焼成品		その他		△		Cb	○	○			50～250	950㎛	△	△	△	○	Ⅰd
15	未焼成品		その他		△	△	Cb	○	△			50～200	1.7㎜		△	△	○	Ⅰd
16	未焼成品	○	（淡水成）	△	△	△	Cb	○	△			50～200	650㎛	△	△	△	○	Ⅰb
17	未焼成品		その他		△	△	Cb	○	△			50～200	1.7㎜	△	△	△	△	Ⅰd
18	未焼成品		その他		△		C	○				50～200	700㎛		△	△	○	Ⅱd
19	未焼成品		その他				Cb	○	△			50～200	1.8㎜	△	△	△	◎	Ⅰd
20	未焼成品		その他		△	△	Cb	○	△			50～200	1.5㎜	△	△	△	○	Ⅰd
21	未焼成品		その他		△	△	Cb	○	○		△	50～150	450㎛	△	△	△	○	Ⅰd
22	天目 未焼成		その他		△	△	Cb	◎	△		△	50～350	700㎛		△	△	△	Ⅰd
23	天目 未焼成		その他		△	△	Cb	◎	△		△	50～300	900㎛	△	△	△	△	Ⅰd
24	天目 未焼成		その他		△		Cb	◎	△		△	50～450	750㎛		△	△	○	Ⅰd
25	天目 未焼成		その他		△	△	Cb	◎	△		△	50～200	1.1㎜		△	△	○	Ⅰd
26	天目 未焼成		その他		△	△	Cb	◎	△		△	50～350	1.4㎜	△		△	△	Ⅰd
27	天目 未焼成		その他		△	△	Cb	◎	△		△	50～300	650㎛		△	△	△	Ⅰd
28	天目 未焼成		その他		△		Cb	◎	△		△	50～400	850㎛		△	△	△	Ⅰd
29	天目 未焼成		その他		△	△	Cb	◎	△		△	30～300	650㎛	△	△	△	△	Ⅰd
30	天目 未焼成		その他		△	△	Cb	◎	△		△	50～300	800㎛		△	△	△	Ⅰd
31	天目 未焼成		その他		△	△	Cb	◎	△			50～300	700㎛	△	△	△	△	Ⅰd
32	天目 未焼成		その他		△	△	Cb	◎	△		△	30～300	950㎛		△	△	△	Ⅰd
33	天目 未焼成		その他		△	△	Cb	◎	△		△	50～850	850㎛		△	△	△	Ⅰd
34	天目 未焼成		その他		△	△	Cb	◎	△		△	50～350	1.5㎜		△	△	△	Ⅰd
35	天目 未焼成		その他		△	△	Cb	○	○		△	100～750	3.6㎜	△	△	△	○	Ⅰd
36	天目 未焼成		その他				Cb	○	△		△	30～100	700㎛		△	△	△	Ⅰd
37	粘　土		その他		△	△	Cb	○	△		△	50～300	4.3㎜	△	△	△	○	Ⅰd
38	粘　土		その他		△	△	Cb	○	△		△	50～200	1.6㎜		△	△	△	Ⅰd
39	粘　土		その他		△	△	Cb	○	△		△	50～800	3.7㎜		△	△	○	Ⅰd
40	粘　土		その他		△	△	Cb	○	△			30～300	3.1㎜	△	△	△	○	Ⅰd
41	粘　土		その他		△	△	Cb	○	△			30～100	2.6㎜	△	△	△	○	Ⅰd
42	粘　土		その他		△	△	Bc	△	○		△	100～500	2.0㎜		△	△	△	Ⅲd
43	粘　土		その他		△		Cb	◎	△			50～300	2.0㎜		△	△	○	Ⅰd
44	粘　土		その他		△	△	Bc	△	○		△	100～450	3.2㎜		△	△	○	Ⅲd
45	粘　土		その他		△	△	B		○			50～400	2.8㎜			△	△	Ⅳd
46	未焼成品		その他		△	△	B		○		△	50～500	3.1㎜	△		△	△	Ⅳd
47	粘　土		その他				B		△			50～150	600㎛		△	△	△	Ⅳd
48	未焼成品		その他				C	◎				30～150	1.1㎜	△	△	△	△	Ⅱd
49	未焼成品		その他		△		C	◎				50～250	850㎛	△		△	△	Ⅱd
50	未焼成品		その他				C	◎				30～250	850㎛	△	△	△	△	Ⅱd
51	未焼成（摺鉢?）		その他		△	△	Cb	◎	△			50～400	3.2㎜		△	△	△	Ⅰd
52	未焼成品		その他				C	○				50～200	1.2㎜	△	△	△	△	Ⅱd

目次
終了

5．考　察

a．微化石類による粘土の分類

検討した天目茶碗胎土中には、その薄片全面の観察から、僅かであるが珪藻化石あるいは植物珪酸体化石が検出された。これら微化石類の大きさは、珪藻化石が10～数100㎛（実際観察される珪藻化石は大きいもので150㎛程度）、植物珪酸体化石が10～50㎛前後である。一方、砕屑性堆積物の粒度は、粘土が約3.9㎛以下、シルトが約3.9～62.5㎛、砂が62.5㎛～２㎜である（地学団体研究会･地学事典編集委員会編、1981）。このことから、植物珪酸体化石を除いた微化石類は胎土の材料となる粘土中に含まれるものと考えられ、その粘土の起源を知るのに有効な指標になると考える。なお、植物珪酸体化石は、堆積物中に含まれていること、製作場では灰質が多く混入する可能性が高いなど、他の微化石類のように粘土の起源を指標する可能性は低いと思われる。

検討した粘土および胎土は、微化石類により、a）淡水成粘土を用いた胎土、b）その他粘土を用いた胎土または粘土、に分類される。以下では、分類される胎土についてその特徴を述べる。

a）淡水成粘土（No. 2、No. 16）

この胎土中には淡水種珪藻化石の*Pinnularia*属がわずかではあるが含まれていた。

b）その他粘土を用いた胎土（No. 2、No. 16以外の胎土；50胎土）

これらの試料中には、水成堆積を指標する珪藻化石や骨針化石は含まれていなかった。

b．胎土中の砂粒組成による分類

ここで設定した複合鉱物類は、構成する鉱物種や構造的特徴から設定した分類群であるが、地域を特徴づける源岩とは直接対比できない。そのため、各胎土中の鉱物、岩石粒子の岩石学的特徴は、地質学的状況に一義的に対応しない。

ここでは、比較的大型の砂粒について起源岩石の推定を行った（第23表）。岩石の推定は、砂岩質や複合石英類（微細）が堆積岩類、複合石英類が深成岩類、凝灰岩質が凝灰岩類、片理複合石英類が片岩類、ガラス質がテフラ（火山噴出物）である。さらに、推定した起源岩石は、第23表の組み合わせに従って分類した。

第23表　胎土中の岩石片の分類と組み合わせ

			第１出現群						
			A	B	C	D	E	F	G
			片岩類	深成岩類	堆積岩類	火山岩類	凝灰岩類	流紋岩類	テフラ
第２出現群	a	片　岩　類		Ba	Ca	Da	Ea	Fa	Ga
	b	深 成 岩 類	Ab		Cb	Db	Eb	Fb	Gb
	c	堆 積 岩 類	Ac	Bc		Dc	Ec	Fc	Gc
	d	火 山 岩 類	Ad	Bd	Cd		Ed	Fd	Gd
	e	凝 灰 岩 類	Ae	Be	Ce	De		Fe	Ge
	f	流 紋 岩 類	Af	Bf	Cf	Df	Ef		Gf
	g	テ　フ　ラ	Ag	Bg	Cg	Dg	Ef	Fg	

その結果、堆積岩類を主体として深成岩類を伴うCb群（39胎土）、堆積岩類を主体としたC群（８胎土）、深成岩類を主体として堆積岩類を伴うBc群（２胎土）、深成岩類を主体としたB群（３胎土）、に分類された。

c．胎土材料の分類

粘土材料は、微化石類により淡水成粘土を用いた胎土（２胎土）とその他粘土を用いた胎土または粘土（50胎土または粘土）に分類された。

一方、砂粒組成から、堆積岩類を主体として深成岩類を伴うCb群（39胎土）、堆積岩類を主体としたC群（８胎土）、深成岩類を主体として堆積岩類を伴うBc群（２胎土）、深成岩類を主体としたB群（３胎土）、に分類された。

胎土あるいは粘土の特徴を総合的に評価するために、砂粒組成から大きくCb群、C群、Bc群、B群をそれぞれⅠ～Ⅳ群に分類し、粘土材料から淡水成粘土をb、その他粘土をdとして分類した。

その結果、Cb群の砂粒組成を示し淡水成粘土を用いたⅠb群が１胎土、Cb群の砂粒組成を示しその他粘土を用いたⅠd群が38胎土および粘土、C群の砂粒組成を示し淡水成粘土を用いたⅡb群が１胎土、C群の砂粒組成を示しその他粘土を用いたⅡd群が７胎土、Bc群の砂粒組成を示しその他粘土を用いたⅢd群が２粘土、B群の砂粒組成を示しその他粘土を用いたⅣd群が３胎土および粘土であった。

このうち、粘土試料は、Cb群の砂粒組成を示すものも見られるが、B群あるいはBc群の砂粒組成を示すものも見られる。B群あるいはBc群の砂粒組成は、砂粒を混和する前の粘土であることが予想される。

設窯された地域は、基盤岩が花崗岩類からなり、北西側約１㎞下流域にシルト岩や砂岩からなる中新統品野層が分布し、西側から南西側の約１㎞付近には鮮新統瀬戸陶土層が分布している（瀬戸市史編纂委員会、1986）。

全体的には、珪藻化石などの微化石類をほとんど含まない粘土を使用し、堆積岩類を主体とした砂粒組成のCb群やC群からなる胎土あるいは粘土が多い。砂粒組成は、この設窯された谷の上流部一帯は花崗岩類の岩体からなるため、谷内を流れる取原川沿いの砂粒組成ではなく、瀬戸陶土層が分布する下流域周辺の砂粒組成と言える。

なお、瀬戸陶土層などの粘土層中には、珪藻化石あるいは骨針化石などの微化石類をほとんど含まないことから、原材料とした粘土層を反映した結果である。

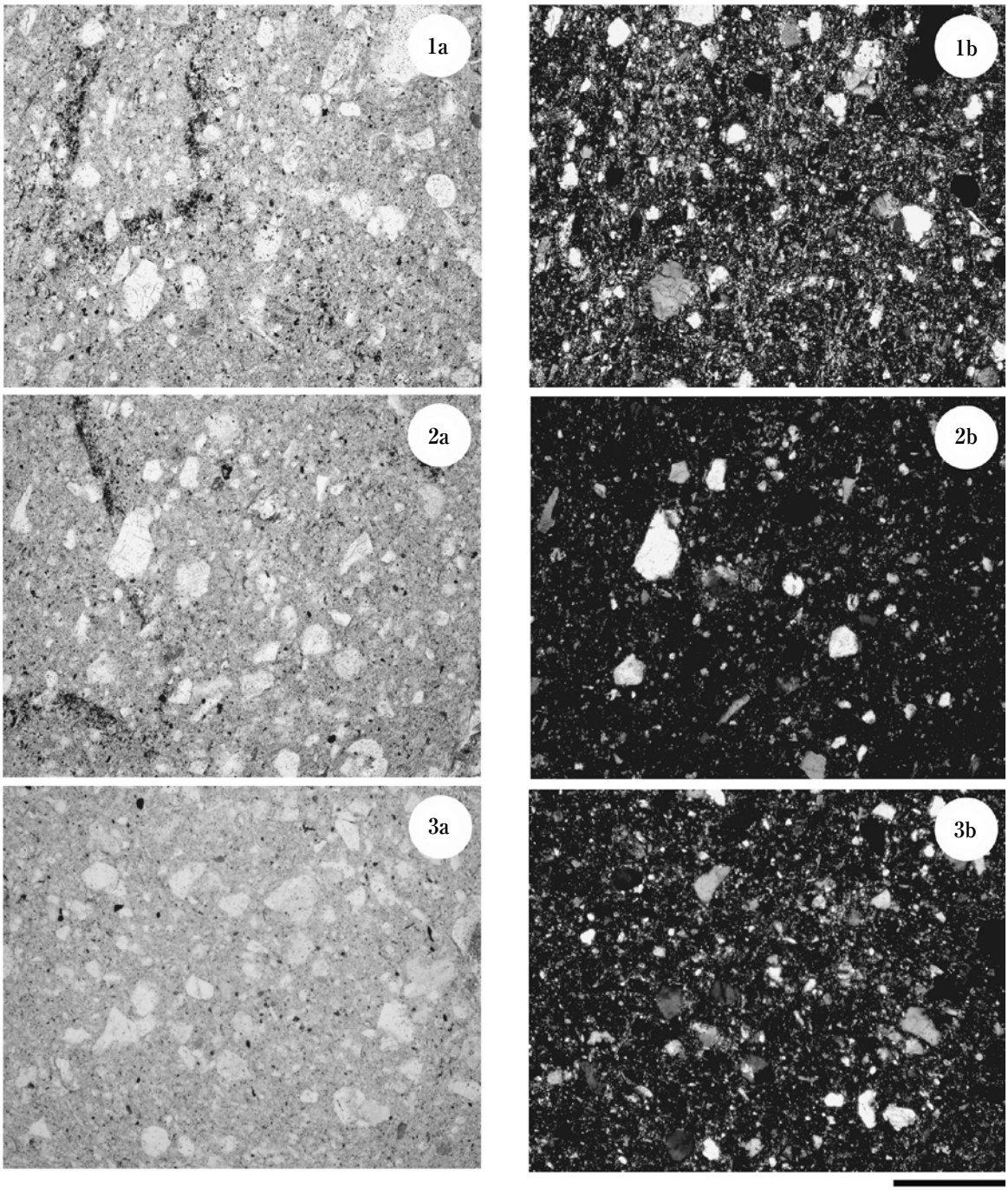
その他の特徴としては、砂粒において全体的に50～250㎛など比較的細粒からなる胎土が多い。

6．おわりに

ここでは、工房跡SX01から出土した未焼成の天目茶碗薄片について顕微鏡による観察を行った。その結果、多くが堆積岩類を主体とした砂粒組成を示し、微化石類を含まない粘土を使用したことが理解された。瀬戸地域では、瀬戸陶土層など良質の粘土が採取できる地域であるが、これら粘土層中には珪藻化石などの微化石類は全く含まないことから、こうした粘土層の粘土を採取利用したことが伺える。

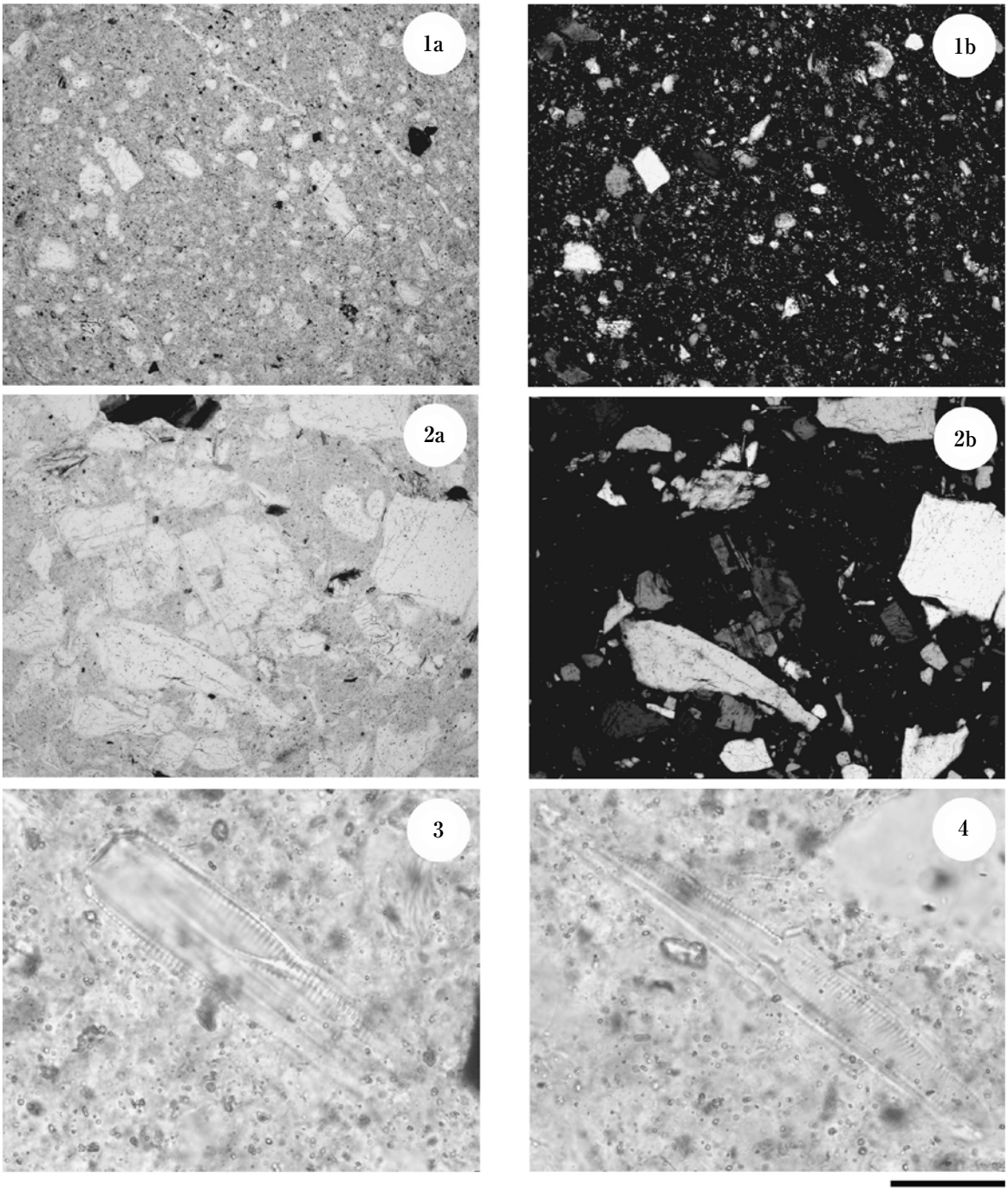
引用文献

安藤一男（1990）淡水産珪藻による環境指標種群の設定と古環境復元への応用．東北地理，42，2，73-88.
地学団体研究会・地学事典編集委員会編（1981）『増補改訂 地学事典』，平凡社，1612p．
小杉正人（1988）珪藻の環境指標種群の設定と古環境復原への応用．第四紀研究，27，1-20.



図版1　未焼成天目茶碗胎土の顕微鏡写真（スケール；500㎛）

1a．試料No. 1の胎土（解放ニコル）1b．試料No. 1の胎土（直交ニコル）
2a．試料No. 2の胎土（解放ニコル）2b．試料No. 2の胎土（直交ニコル）
3a．試料No. 10の胎土（解放ニコル）3b．試料No. 10の胎土（直交ニコル）



図版2　未焼成天目茶碗胎土の顕微鏡写真（スケール；1a～2b；500㎛、3・4；20㎛）

1a．試料No. 20の胎土（解放ニコル）1b．試料No. 20の胎土（直交ニコル）
2a．試料No. 34の胎土（解放ニコル）2b．試料No. 34の胎土（直交ニコル）
3.　試料No. 2胎土中珪藻化石（*Pinnularia*属）
4.　試料No. 16胎土中の珪藻化石（*Pinnularia*属）

第４節　製品付着青色物質の蛍光Ｘ線分析

小村美代子（株式会社パレオ・ラボ）

１．はじめに

鴻古窯より出土した陶片の一部には、青色または紺色の付着物が確認されるものがある。その色調から青色物質は陶磁器の絵付け等に使用されるコバルトを含んだ青色顔料の呉須ではないかと考えられている。ここでは、青色物質が確認される古瀬戸片の蛍光Ｘ線分析を行い青色物質の成分について検討した。

２．試料と方法

試料は青色物質が吹き出した古瀬戸片（花瓶）４点である。試料の詳細については第24表に示す。青色物質は、表面の釉薬の下から吹き出して釉薬と混じって垂れている状態である。

測定は㈱堀場製作所製のＸ線顕微鏡 XGT-5000type Ⅱを用いて古瀬戸片全体の元素マッピング分析を行った。また図１と図２に各試料写真に赤丸で示した青色物質が吹き出した箇所を100㎛範囲でポイント分析を行い、標準試料を用いないFP法による半定量分析を行った。半定量分析は、ナトリウム（Na）とマグネシウム（Mg）については今回使用する測定装置では検出感度が悪く測定誤差が大きいので計算は行わず、アルミニウム（Al）以降に検出された元素の中で TOTAL100％になるように規格化した。装置の仕様はＸ線発生部の管球のターゲットはロジウム（Rh）、蛍光Ｘ線検出器は高純度Si検出器である。測定条件は、測定時間300～500秒、Ｘ線導管径100㎛、電流0.90～1.00mA、電圧50kV、試料室内は大気である。試料は完全非破壊でそのまま試料台に置いて測定した。

第24表　試料一覧

No.	器種	グリッド	層　　位	日　付	調査区	青色物質位置
1	花瓶	d２	黒色灰層　下層（褐色混じり）	990128	98	外面
2	花瓶	d４	表土	990213	98	外面
3	花瓶	東トレンチ		981224	98	内面
4	花瓶	e３	褐色土層（黒色灰層）地山直上	990406	98	内面

３．分析結果

No. 1～4の古瀬戸の青色部から特徴的に検出されたマッピング画像とポイント分析から得られた蛍光Ｘ線スペクトル図及び半定量分析結果を第118図・第119図に示す。マッピング画像で輝度の高い部分は特定の元素が高く検出されたことを示す。マッピング画像では、No. １～４の青色部からはコバルト（Co）とマンガン（Mn）が検出され、No. 3からは鉄（Fe）も検出された。

半定量分析結果は酸化物の分析値を示す。マッピング画像で青色物質から特徴的に検出された Mn0 の分析値は、No. 1が7.21％、No. 2が1.58％、No. 3が8.75％、No. 4が11.32％で、Co0 の分析値はNo. 1が2.78％、No. 2が0.34％、No. 3が3.11％、No. 4が5.21％であった。また、No. 2のポイント分析ではCa0の分析値が16.19％と他試料より突出して高かった。

4．考　察

呉須とはコバルトを主成分とし、多少のマンガン・ニッケル・鉄分などを有する、褐色を帯びた黒色の酸化コバルトを主成分とする青色顔料は、日本では「呉須・茶碗薬・花紺青」、中国では「回回青・蘇麻離青・蘇勃泥青・石子青・無明異・黒赭石」、朝鮮では「回青」などと呼ばれる（矢部ほか編、2002）考古学では一般的に呉須と呼ばれることが多い。

日本での呉須は愛知県瀬戸産の呉須の記述が多いので（矢部ほか編、前述）、以下に挙げておく。

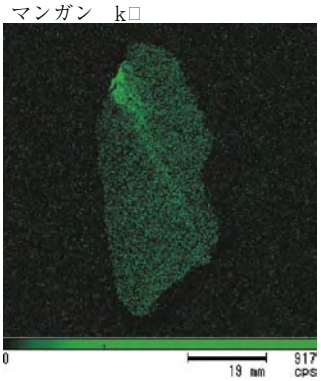
- 呉須土。愛知県瀬戸市や岐阜県土岐市などの礫層から少量算出した天然呉須。二酸化マンガンが多く、酸化コバルトの含有量が少ない呉須で、その組成は安定していなかった。
- 砂呉須。愛知県瀬戸市の矢田川累層の礫層から出る天然呉須。珪砂に混じった状態で採集されるものを砂絵、礫に付着したものをぼろ絵と呼ぶ。鉱物学的にはマンガン・コバルト等を含有した粘土鉱物で、唐呉須に比べ微量のリチウムを含むことに特徴がある。このリチウムが溶媒剤として働き、密着性がよく、柔らかな藍色に発色する。
- 砂絵。瀬戸産の天然呉須。愛知県瀬戸市の瀬戸窯神社裏の丘から珪砂に混じって産出した。山呉須とも呼ばれる。コバルト分の少ないものは黒色であるが、優品は表面から中まで鴬の羽色である。明治初期に酸化コバルトが大量に輸入されるようになってからは、ほとんど用いられなくなった。粒状または塊状の鉱物とされ、愛知県瀬戸市や岐阜県土岐市などの礫層から少量産出したとある（矢部ほか編、2002）。

No. 1～4の青色物質からはマンガンとコバルトが特徴的に検出されたことから、これらは全て呉須に該当するものと考えられる。これら呉須は古瀬戸胎土内から吹き出していたことから顔料として意図的に利用したのではなく、古瀬戸を製作した原材料の中に自然に含まれていたと予想される。また、No. 2のMn0 と Co0 の分析値は他試料より低かったが、これは表面の釉薬の成分が多分に影響したためと考えられる。

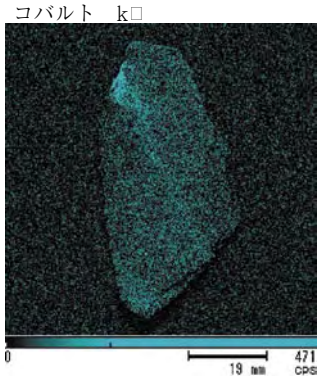
引用文献

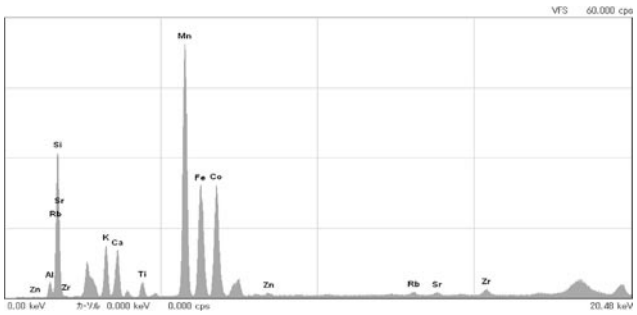
矢部良明ほか編（2002），角川日本陶磁大辞典，株式会社角川書店，1484p.

マンガン　k□



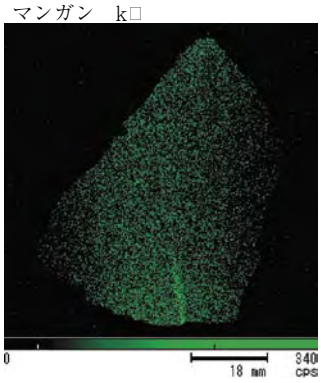
コバルト　k□





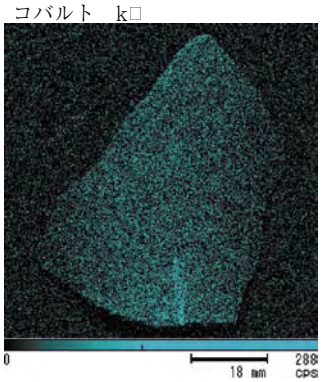
元素	ライン	質量濃度［%］	2σ［%］	強度［cps／mA］	化学式	質量濃度［%］
13 Al	K	8.56	0.51	52.51	Al203	16.17
14 Si	K	28.81	0.57	384.40	Si02	61.64
19 K	K	4.21	0.17	174.68	K20	5.07
20 Ca	K	2.64	0.12	143.74	Ca0	3.70
22 Ti	K	0.55	0.04	48.00	Ti02	0.91
25 Mn	K	5.58	0.18	947.88	Mn0	7.21
26 Fe	K	1.61	0.06	338.29	Fe203	2.30
27 Co	K	2.19	0.08	419.37	Co0	2.78
30 Zn	K	0.04	0.01	9.35	Zn0	0.05
37 Rb	K	0.03	0.01	11.90	Rb20	0.04
38 Sr	K	0.03	0.01	11.60	Sr0	0.04
40 Zr	K	0.07	0.01	32.13	Zr02	0.10
8　0		45.68	0.80			

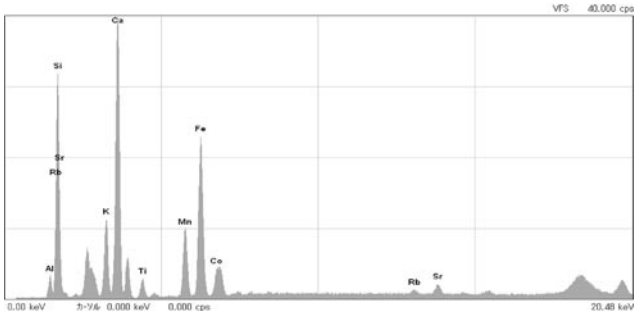
マンガン　k□



鉄　k□

コバルト　k□

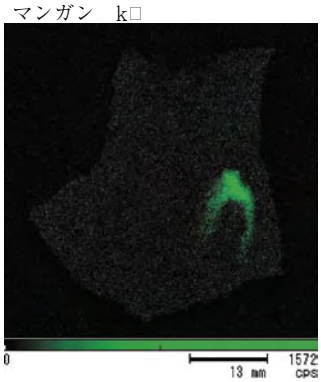




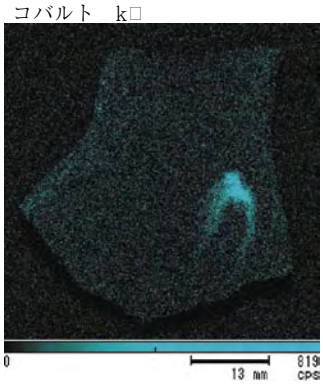
元素	ライン	質量濃度［%］	2σ［%］	強度［cps／mA］	化学式	質量濃度［%］
13 Al	K	7.21	0.61	45.14	Al203	13.63
14 Si	K	27.78	0.70	384.73	Si02	59.43
19 K	K	3.86	0.19	159.93	K20	4.65
20 Ca	K	11.57	0.43	599.42	Ca0	16.19
22 Ti	K	0.57	0.05	38.15	Ti02	0.95
25 Mn	K	1.22	0.06	167.86	Mn0	1.58
26 Fe	K	2.17	0.09	374.95	Fe203	3.10
27 Co	K	0.27	0.02	50.58	Co0	0.34
37 Rb	K	0.04	0.01	12.97	Rb20	0.04
38 Sr	K	0.08	0.01	29.70	Sr0	0.09
8　0		45.23	0.98			

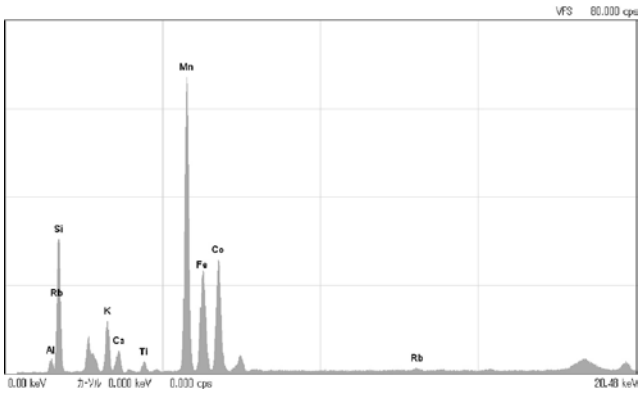
第118図　青色部から検出された元素マッピング画像とポイント分析結果その1（○：ポイント分析箇所）

マンガン　k□

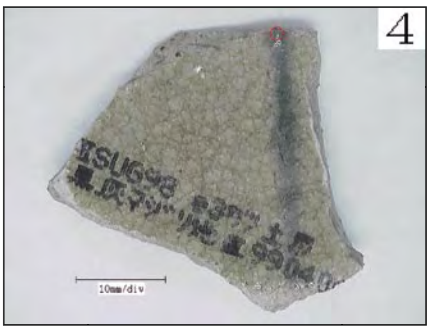


コバルト　k□

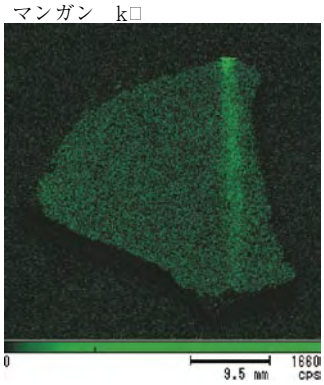




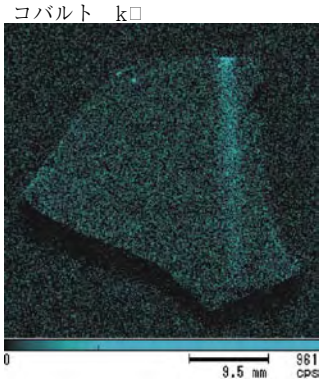
元素	ライン	質量濃度［%］	2σ［%］	強度［cps／mA］	化学式	質量濃度［%］
13 Al	K	8. 64	0. 66	51. 99	Al203	16. 32
14 Si	K	28. 93	0. 64	378. 91	Si02	61. 88
19 K	K	4. 57	0. 19	187. 63	K20	5. 50
20 Ca	K	1. 31	0. 08	70. 53	Ca0	1. 84
22 Ti	K	0. 39	0. 04	34. 90	Ti02	0. 65
25 Mn	K	6. 77	0. 22	1168. 02	Mn0	8. 75
26 Fe	K	1. 34	0. 06	286. 30	Fe203	1. 92
27 Co	K	2. 45	0. 09	453. 48	Co0	3. 11
37 Rb	K	0. 03	0. 01	11. 07	Rb20	0. 04
8　0		45. 57	0. 94			

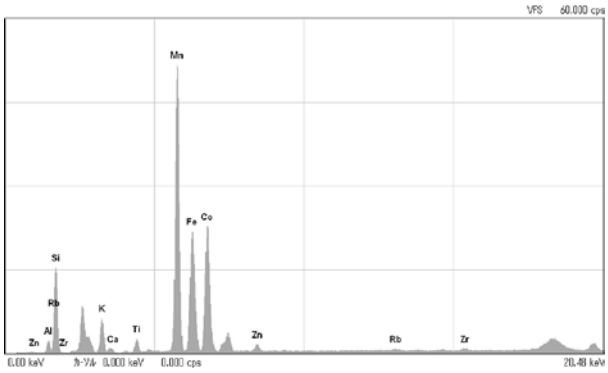


マンガン　k□



コバルト　k□





元素	ライン	質量濃度［%］	2σ［%］	強度［cps／mA］	化学式	質量濃度［%］
13 Al	K	10. 24	0. 71	67. 65	Al203	19. 35
14 Si	K	25. 47	0. 80	363. 84	Si02	54. 48
19 K	K	3. 83	0. 20	187. 95	K20	4. 61
20 Ca	K	0. 15	0. 04	9. 77	Ca0	0. 21
22 Ti	K	0. 61	0. 06	69. 23	Ti02	1. 01
25 Mn	K	8. 77	0. 33	1823. 16	Mn0	11. 32
26 Fe	K	2. 44	0. 11	614. 64	Fe203	3. 49
27 Co	K	4. 10	0. 17	834. 20	Co0	5. 21
30 Zn	K	0. 18	0. 02	44. 11	Zn0	0. 22
37 Rb	K	0. 04	0. 01	12. 79	Rb20	0. 04
40 Zr	K	0. 04	0. 01	18. 02	Zr02	0. 06
8　0		44. 14	1. 11			

第119図　青色部から検出された元素マッピング画像とポイント分析結果その2（○：ポイント分析箇所）

第５節　花粉分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

鴈古窯跡は愛知県瀬戸市岩屋町・鳥原町に所在し、鳥原川右岸の丘陵縁辺部に立地する。後背には猿投山を中心とした猿投山地が広がる。発掘調査は東海環状自動車道建設の事前調査として平成10年度から継続して行われており、窯体や工房跡、灰原などが検出されている。また、本窯跡周辺では13世紀の中洞窯跡・宇トゲ窯跡、14世紀の巡間Ｅ窯跡などが確認されており、当社においても自然化学分析を行いデータを蓄積している。

今回の調査では、当時の周辺植生に関する情報を得ることを目的として、花粉分析を実施する。

１．試　料

分析に用いた試料は、IVH13i南壁より採取された試料番号１～12、IVH13g東壁より採取された試料番号13～20、IVH14g東壁より採取された試料番号21～37の、計37点である。分析試料一覧を第25表に示す。

第25表　分析試料一覧

試料番号	グリッド名	遺構名	層位名
1	IVH14i	IVH13i南壁	95層
2			101層
3			102層
4			100層
5			104層
6			105層
7			106層
8			107層
9			108層
10			109層
11			110層
12			103層
13	IVH13h	IVH13g東壁	83層
14			84層
15			85層
16			86層
17			10層
18			88層
19			87層
20			10層
21	IVH14h	IVH13g東壁	54層
22			142層
23			143層
24			144層
25			146層
26			129層
27			130層
28			132層
29			134層
30			135層
31			136層
32			137層
33			138層
34			139層
35			140層
36			141層
37			133層

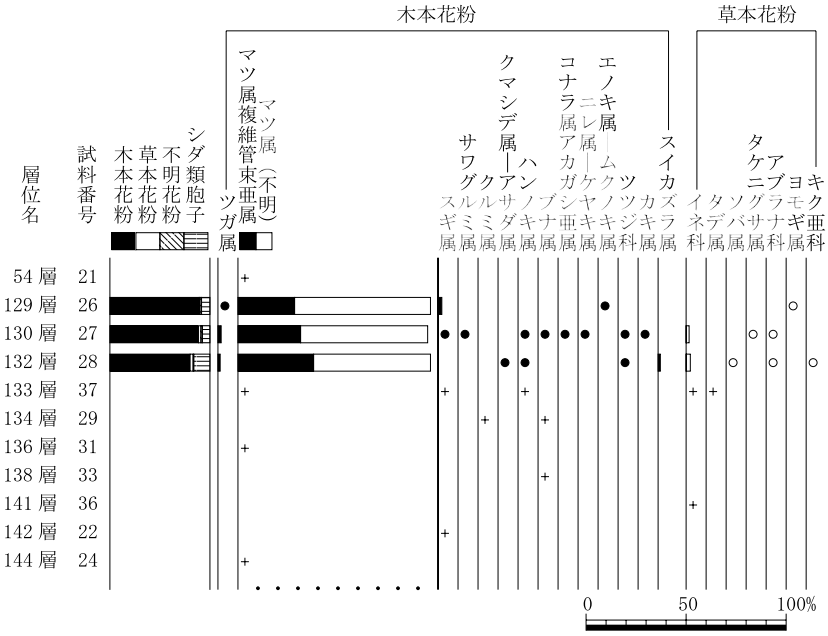
２．分析方法

試料約10ｇについて、水酸化カリウムによる泥化、篩別、重液（臭化亜鉛：比重2.3）よる有機物の分離、フッ化水素酸による鉱物質の除去、アセトリシス（無水酢酸９：濃硫酸１の混合液）処理による植物遺体中のセルロースの分解を行い、物理・化学的処理を施して花粉を濃集する。残渣をグリセリンで封入してプレパラートを作成し、光学顕微鏡下でプレパラート全面を走査し、出現する全ての種類について同定・計数する。

結果は同定・計数結果の一覧表、および主要花粉化石群集の層位分布図として表示する。図中の木本花粉は木本花粉総数を、草本花粉・シダ類胞子は総数から不明花粉を除いた数をそれぞれ基数として、百分率で出現率を算出し図示する。

３．結　果

結果を第26表・第120図に示す。表図中で複数の種類をハイフォンで結んだものは、種類間の区別が困難なものを示す。なお、木本花粉総数が100個体未満のものは、統計的に扱うと結果が歪曲する恐れがあるので、出現した種類を＋で



第120図　IVH14g東壁における花粉化石群集の層位分布

出現率は、木本花粉は木本花粉化石総数、草本花粉・シダ類胞子は総数より不明花粉を除く数を基数として百分率で算出した。なお、●○は１％未満、＋は木本花粉100個体未満の試料について検出した種類を示す。

表示するにとどめておく。以下、遺構ごとに結果を述べる

• IVH13i南壁

いずれの試料からも花粉化石・シダ類胞子の検出は少ない。検出された花粉化石は木本花粉がほとんどで、ツガ属・マツ属・ブナ属などが認められる。

• IVH13g東壁

本地点もIVH13i南壁同様、花粉化石・シダ類胞子の検出は少なく、ツガ属・マツ属などが認められる。草本花粉は少なく、わずかにイネ科が認められるだけである。

• IVH14g東壁

試料番号26～28以外の試料では、花粉化石・シダ類胞子の検出は少ない。わずかにマツ属などが検出されているにとどまる。試料番号26～28、特に試料番号27・28では、産出個体数・種類数とも多い。いずれの試料もマツ属の割合が高く、検出花粉数の90％以上を占める。その他の種類ではツガ属・ハンノキ属などが認められる。草本花粉は検出量が少ないものの、イネ科・アブラナ科などが産出する。

4．考　察

今回の分析結果では、IVH14g東壁の129層～132層（試料番号26～28）を除き、花粉化石の保存状況・産出個体数・種類数のいずれも悪い。花粉化石・シダ類胞子の産出状況が悪い場合、元々取り込まれる花粉量が少なかった、あるいは、取り込まれた花粉が消失した、という２つの可能性があげられる。今回の分析結果を見ると、産出した花粉化石の保存状態は悪く、その多くは外膜が壊れた状態である。また、花

第26表　花粉分析結果

種類	IVH13i南壁												IVH13g東壁								IVH14g東壁																	
試料番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37
木本花粉																																					
モミ属	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ツガ属	−	−	−	−	−	−	−	3	−	1	−	−	−	−	−	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	5	3	−	−	−	−	−	−	−	−	−
マツ属複維管束亜属	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	30	96	101	−	−	−	−	−	−	−	−	2
マツ属（不明）	−	−	−	2	−	−	1	7	1	−	−	−	1	−	−	−	−	5	−	7	2	−	−	1	−	72	195	156	−	−	1	−	−	−	−	−	16
スギ属	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	1	−	1	−	−	−	2	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1
ヤナギ属	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
サワグルミ属	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
クルミ属	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−
クマシデ属－アサダ属	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ハンノキ属	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	2	−	−	−	−	−	−	−	−	1
ブナ属	−	1	−	−	1	−	−	2	2	4	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	1	−	−	−	1	−	−	−	−
コナラ属コナラ亜属	−	−	1	−	1	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
コナラ属アカガシ亜属	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ニレ属－ケヤキ属	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
エノキ属－ムクノキ属	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
カエデ属	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ツツジ科	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−
カキ属	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ガマズミ属	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
スイカズラ属	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	3	−	−	−	−	−	−	−	−	−
草本花粉																																					
イネ科	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	1	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	5	7	−	−	−	−	−	−	1	1
タデ属	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1
ソバ属	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−
タケニグサ属	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
アブラナ科	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ヨモギ属	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
キク亜科	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−
不明花粉	−	1	−	−	−	−	1	2	1	3	−	1	1	1	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	2	5	2	−	−	1	−	−	−	−	−	1
シダ類胞子																																					
シダ類胞子	7	1	3	6	10	11	1	14	7	4	−	12	4	6	3	3	1	−	−	3	1	5	7	−	9	10	26	54	12	3	7	3	5	−	1	1	8
合　計																																					
木本花粉	0	1	1	2	2	0	1	15	4	9	0	0	1	0	1	2	0	8	0	8	2	1	0	1	0	106	307	267	2	0	1	0	1	0	0	0	20
草本花粉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	10	0	0	0	0	0	0	0	1	2
不明花粉	0	1	0	0	0	0	1	2	1	3	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	5	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1
シダ類胞子	7	1	3	6	10	11	1	14	7	4	0	12	4	6	3	3	1	0	0	3	1	5	7	0	9	10	26	54	12	3	7	3	5	0	1	1	8
総計（不明を除く）	7	2	4	8	12	11	2	29	11	13	1	12	5	6	4	6	2	8	0	11	3	6	7	1	9	117	341	331	14	3	8	3	6	0	1	2	30
その他																																					
Pseudoschizaea	6	3	4	19	15	18	4	2	3	−	1	22	1	−	1	5	−	1	−	1	−	1	13	−	4	19	14	32	21	5	6	6	−	−	−	−	2

目次
終了

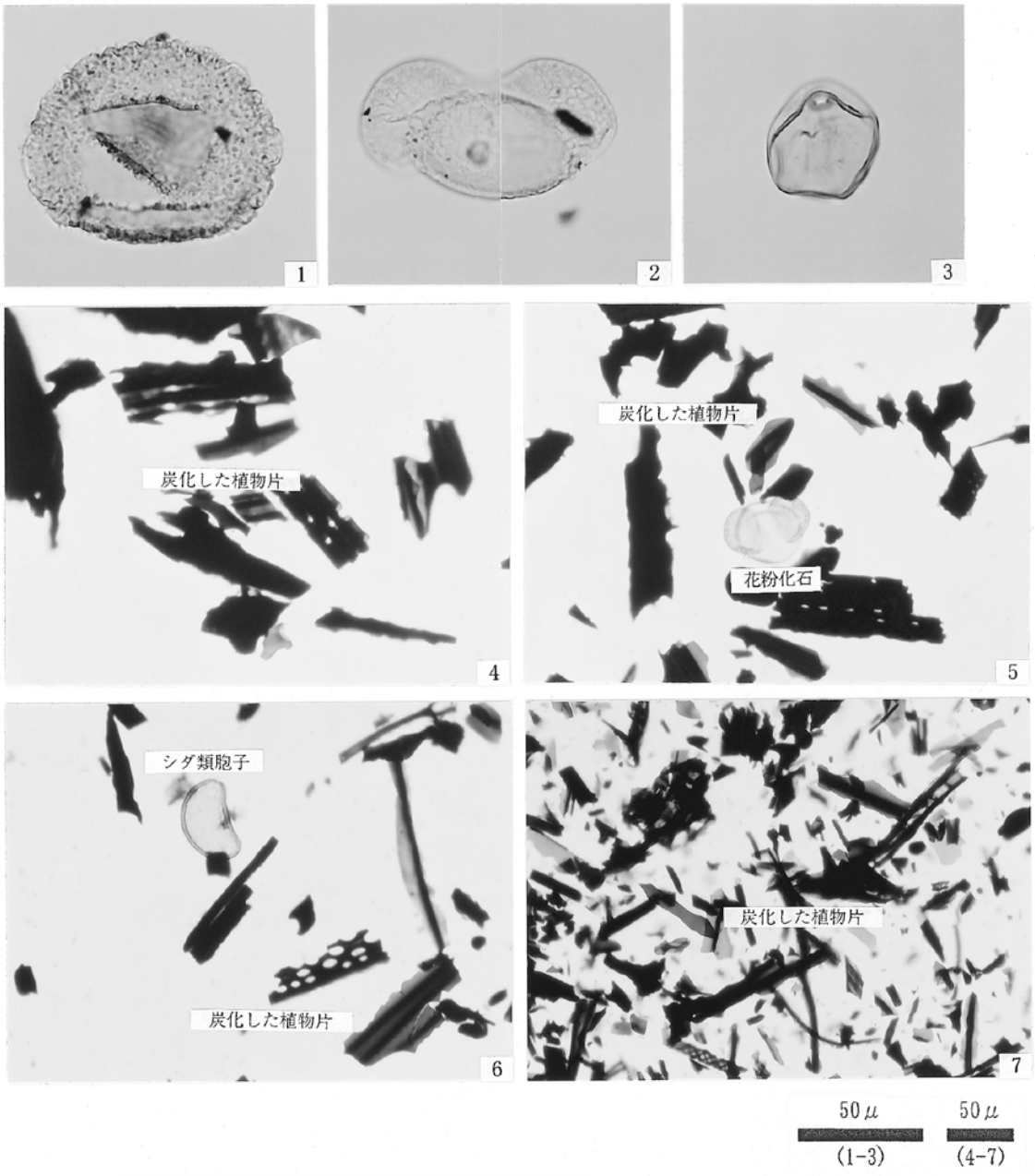
粉化石の産出は少ないものの、微細な植物片が多く含まれている試料も認められる。これらのことから、取り込まれる花粉量が少なかったというよりは、取り込まれた花粉が経年変化により分解・消失したものと推測される。

IVH14g東壁の129層～132層については、花粉化石の保存状態は良いとはいえないものの、産出個体数・種類数は多い。そのほとんどがマツ属（複維管束亜属を含む）により占められている。一般に、花粉・シダ類胞子の腐蝕に対する抵抗性は種類により異なっており、針葉樹花粉やシダ類胞子は酸化に対する抵抗性が高いとされている（たとえば中村，1968；徳永・山内，1971など）。今回の結果も、針葉樹であるマツ属の花粉が選択的に多く残された可能性が考えられるものの、それを考慮してもマツ属の検出量が多いことから、当時の遺跡周辺にマツ属の卓越する植生が広がっていた可能性が考えられる。

当社では、本遺跡周辺の上品野遺跡、巡間Ｅ遺跡、宇トゲ遺跡、上品野蟹川遺跡で花粉分析を行なっている（未公表試料）。これらの結果をみると、今回と同様マツ類が卓越した成果が得られており、窯が操業されていた間、周囲にはマツ林を中心とする森林が成立していたと考えられる。一方瀬戸市埋蔵文化財センターが行った上品野蟹川遺跡の成果でも、鎌倉時代を境にして、カシ類などを主体とする花粉化石群集から、マツ属が卓越する群集へと変化したと考えられている（新山，1999）。マツ林の成立は、大部分は二次林や植林によるものである。今回の場合も、同時期に広範囲にわたってマツ林が成立している点から考えると、二次林や植林など人為的要因によって成立したものと考えられる。マツ林は過度に収奪するとはげ山となり、また放置すると広葉樹林などに遷移してしまうため、適度に森林資源を収奪しながら維持管理を行って行くことが必要とされる（鈴木，2002）。当時多くの窯を維持するためには、成長が早く、火力が強いマツの利用は重要であったと思われ、里山の維持管理が行われていた可能性がある。

引用文献

中村　純（1967）花粉分析．232p.，古今書院.
新山雅広（1999）上品野蟹川遺跡の花粉群集.「上品野蟹川遺跡２　財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター調査報告書第21集」，p.，財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター.
鈴木三男（2002）日本人と木の文化．255p.，八坂書房.
徳永重元・山内輝子（1971）花粉・胞子.「化石の研究法」，p.50-73，共立出版株式会社.



図版1　花粉化石

1．ツガ属（Ⅳ H14g東壁130層）　2．マツ属（Ⅳ H14g東壁130層）
3．イネ科（Ⅳ H14g東壁130層）　4．状況写真（Ⅳ H13i南壁101層）
5．状況写真（Ⅳ H13i南壁107層）　6．状況写真（Ⅳ H14g東壁143層）
7．状況写真（Ⅳ H14g東壁139層）

第6節　灰原および工房跡から出土した炭化材の樹種同定

植田弥生（株式会社パレオ・ラボ）

1．はじめに

ここでは、灰原および工房跡から出土した炭化材の樹種同定結果を報告する。

鷲古窯は、14世紀後葉から15世紀前半に操業されていた古瀬戸後期の窯跡で、鳥原川右岸の谷奥部に位置し、標高200～237ｍの南急斜面に立地している。窯体１基・灰原・工房跡約11ケ所・整地面などが検出されている。

灰原出土炭化材（８試料）は窯の燃料材と考えられ、工房跡および工房跡？出土炭化材（23試料）は焼成前に陶器を乾燥させる為や工人達が作業や生活時に使用した燃料材と推測される。これらの燃料材には、どのような樹種が利用されていたのかを明らかにする目的で、炭化材の樹種調査が実施された。

2．試料と方法

試料：灰原の８試料（No. １・２・３・４・５・29・30・31)、工房跡の16試料（No. 6・７・８・10・11・12・20・21・22・23・24・25・26・27・28・47)、工房跡？の７試料（No. ９・13・14・15・16・17・18)、表土層の１試料（No. 19)、合計32試料である。工房跡のNo. 22とNo. 25は、採取された堆積物の一部を水洗し、同定可能な大きさの炭化物を選別した。

方法:複数の破片が含まれていた試料は、形状や大きさの異なる炭化材を目安に選び、樹種同定を行い、検出された各分類群を結果表に示した。

同定は、炭化材の横断面（木口）を手で割り実体顕微鏡で予察し、次に材の３方向（横断面･接線断面･放射断面）の断面を作成し、走査電子顕微鏡で拡大された材組織を観察した。走査電子顕微鏡用の試料は、３断面を５㎜角以下の大きさに整え、直径１㎝の真鍮製試料台に両面テープで固定し、試料を充分乾燥させた後、金蒸着を施し、走査電子顕微鏡（日本電子㈱製　JSM-T100型）で観察と写真撮影を行った。

同定した炭化材の残り破片は、愛知県埋蔵文化財センターに保管されている。

3．結　果

各試料の同定結果を、第27表に示した。第28表では、遺構ごとに検出された分類群を○印で示し、検出分類群の傾向を比較した。試料は、複数の破片、複数の分類群が含まれているものが多く、破片の接合関係も不明なものが多いことから、検出された各分類群名を列記し、主要な形状を備考欄に記した。

全32試料から検出された分類群は、マツ属複維管束亜属（９試料から検出)・ヒノキ（９試料)・ヒノキ属（２試料)・ヒノキ科（３試料)・モミ属（１試料）の針葉樹５分類群、クリ（８試料)・サクラ属（３試料)・ミズキ属（３試料)・クヌギ節（２試料)・コナラ節（２試料)・クリ or コナラ節（１試料)・イヌシデ節（１試料)・モクレン属（１試料)・アカメガシワ（１試料)・ヤマウルシ（１試料）の落葉広葉樹10分類群、アカガシ亜属（３試料)･クスノキ科（２試料）の常緑広葉樹２分類群、合計17分類群であった。

灰原からは、マツ属複維管束亜属（２試料)･ヒノキ（３試料)･ヒノキ科（１試料)･モミ属（１試料)･クリ（１試料）の５分類群が検出された。ほとんどが針葉樹材であり、ヒノキ・ヒノキ科が多く、次にマ

第27表　炭化材の樹種同定結果一覧

試料No.	調査年度	グリット・土層	遺構	検出分類群	主な形状 など	備　考
1	98	c2：c3北壁第4層	灰原	ヒノキ	破片	PLD-1505
2	98	c2：d3北壁第4層	灰原	ヒノキ	破片	
3	98	e3：e4北壁第3層	灰原	ヒノキ	破片	PLD-1506
4	98	f2：黒色灰層最下層 （赤褐色土混じる）	灰原	マツ属複維管束亜属	推定φ3.0cm、芯持ち丸木破片 樹芯部生焼け	PLD-1507
				マツ属複維管束亜属	推定φ3.0～3.5cm、芯持ち丸木破片	
5	98	g2：f2東壁第5層	灰原	モミ属	破片	PLD-1508
6	99A	11i 褐色土層	工房跡	アカガシ亜属	4.5×2.0cm破片	PLD-1509
7	99A	11i 褐色土層	工房跡	クリ	推定φ6.0cm芯持ち丸木破片	
8	99A	12i SX06赤褐色土層	工房跡	ミズキ属	φ3.0cm芯持ち丸木破片	
9	99A	12i	工房跡?	ヒノキ科	最大破片2.0×3.5cm、ほか破片複数	SX06?
				クリ	破片2	
10	99A	12i SX06・c・No. 1	工房跡	ヒノキ	破片多数が密在	
11	99A	12i SX06・c・No. 4	工房跡	不可	同定可能な炭化物なし	
12	99A	12i SX06・c・No. 6	工房跡	クリ	推定φ2.0cm以上の芯持ち丸木	
13	99A	13i トレンチ	工房跡?	マツ属複維管束亜属	小径木の破片複数	SX07
				ヒノキ	3.0×1.0cm破片	
				ヒノキ科	1.0×1.0cmの細長い破片	
				クヌギ節	小破片	
				ヤマウルシ	小破片	
14	99A	13i トレンチ	工房跡?	マツ属複維管束亜属	推定φ4～5cm芯持ち丸木	
15	99A	13h トレンチ	工房跡?	マツ属複維管束亜属	破片複	SX01の東側
16	99A	13h トレンチ 粘土混	工房跡?	ヒノキ	1.5×3.0cm破片	
				クリ	幅3cmの破片	
				ミズキ属	微破片	
17	99A	13h トレンチ	工房跡?	マツ属複維管束亜属	推定φ5.0cm芯持ち丸木破片 ほか小破片複数	SX07の西側
				サクラ属	小破片	
18	99A	13h トレンチ	工房跡?	マツ属複維管束亜属	1.5×2.5cm破片など破片複数	SX07の西側
19	99A	12d 表土層		マツ属複維管束亜属	φ4.0cm芯持ち丸木で先端加工：杭？ ほかにφ2.5cmとφ4.0cmの芯持ち丸木や 4.5×1.0cm破片	
20	99A	12d SX01・G3	工房跡	マツ属複維管束亜属	最大破片1.5×1.5cm、ほか破片複数	
				クリ	小破片2	
21	99A	12d SX01・G3	工房跡	マツ属複維管束亜属		
22	99A	12d SX01・G3	工房跡	マツ属複維管束亜属	1.7×2.7cm芯持ち丸木破片	水洗抽出
				ヒノキ	破片３	
				ヒノキ属		
				クリorコナラ節		
				アカメガシワ	破片2	
				クスノキ科		
				アカガシ亜属		
				サクラ属	破片2	
				イヌシデ節		
				コナラ節		
23	99A	12d SX01・G4	工房跡	コナラ節	2.0×0.8cm破片	
24	99A	12d SX01・G4	工房跡	ヒノキ	破片2	
				クリ		
				モクレン属		
				ミズキ属	破片2	
25	99A	12d SX01・G5	工房跡	マツ属複維管束亜属	小破片2	水洗抽出 地山直上
				クリ		
				ヒノキ属	小破片2	
				アカガシ亜属		
				クスノキ科		
26	99A	12d SX01・P04	工房跡	マツ属複維管束亜属	小破片4	
				ヒノキ	小破片1	
				クヌギ節	1.0×0.5cm破片	
				ミズキ属	小破片1	
27	99A	12d SX01・SK02	工房跡	マツ属複維管束亜属	0.7×1.8cm小径材破片	
28	99A	12d SX01・SK02・c・No. 1	工房跡	マツ属複維管束亜属	破片多数	
29	99B	15h 褐色土層	灰原	ヒノキ科？	2.5×2.5cmなど破片複数	
				クリ	1.5×3.0cm破片	
30	99B	15h 褐色土層	灰原	マツ属複維管束亜属	φ6.0cm 芯持ち丸木	PLD-1510
				クリ	φ2.2cm芯持ち丸木など破片複数	
31	99B	16h 黒褐色土層	灰原	ヒノキ		PLD-1511
47	99A	SX06 粘土No. 1	工房跡	ヒノキ	やや大きな破片多数	
				サクラ属	小破片2	

第28表　各遺構・トレンチから検出された分類群の比較：検出分類群を○で示した

検出分類群		遺構 / 地点	灰原						工房跡							工房跡？			そのほか
									SX01					SX06	11i	SX06?	13i	13h	不明
			北壁4層	北壁3層	東壁5層	黒色灰層最下層	褐色土層	黒褐色土層	G3	G4	G5	P04	SK02	12i		12i			表土層
針葉樹	マツ属複維管束亜属					○	○		○		○	○	○				○	○	○
	ヒノキ		○	○				○	○	○		○		○			○	○	
	ヒノキ科						○									○	○		
	ヒノキ属				○				○		○								
	モミ属																		
落葉広葉樹	クリ						○		○	○	○			○	○	○		○	
	サクラ属								○					○				○	
	ミズキ属									○		○		○				○	
	クヌギ節											○					○		
	コナラ節								○	○									
	クリ or コナラ節								○										
	イヌシデ節								○										
	モクレン属									○									
	アカメガシワ								○										
	ヤマウルシ																○		
常緑広葉樹	アカガシ亜属								○		○				○				
	クスノキ科								○		○								

ツ属複維管束亜属が多い結果であった。この２分類群は炭化材の形状が異なり、ヒノキ・ヒノキ科の炭化材は破片であったが、マツ属複維管束亜属は直径約３㎝と６㎝の芯持ち丸木の枝材であった。

工房跡と工房跡？からは、モミ属を除くすべての分類群16分類群が検出され、灰原から検出された主な針葉樹材に加え、多くの広葉樹材が検出された。工房跡および工房跡？からは、マツ属複維管束亜属・ヒノキ・ヒノキ属・ヒノキ科・クリ・サクラ属・ミズキ属・クヌギ節が多く検出された。樹種構成も類似性が高く、工房跡？も工房跡の可能性が高いと思われる。工房跡から検出された落葉広葉樹は、種類数が豊富であった。また、マツ属複維管束亜属・アカメガシワ・ヤマウルシなど林縁や二次林に多い樹種も検出された。炭化材は、元の形状が判らない破片がほとんどであった。ただマツ属複維管束亜属は、灰原から出土した炭化材と同様に芯持ち丸木の枝材と判るものが多く、その太さは２～５㎝内であった。

表土層から採取された複数の炭化材は、すべてマツ属複維管束亜属であり、このうち直径４㎝の芯持ち丸木は先端部が対面から切削された杭状であった。

以下に同定根拠とした材組織の特徴を記載し、材の３方向の組織写真を提示した。

（１）モミ属　*Abies*　マツ科　図版１　１a-１c（No.５）

仮道管・放射柔細胞からなり、樹脂細胞はない針葉樹材。放射柔細胞の壁は厚く、放射断面において接線壁に数珠状肥厚があり、分野壁孔は小型、１分野に１～４個が不揃いに配置している。

モミ属は常緑高木で、暖帯から温帯下部の山地に普通に見られるモミ、温帯上部の高山に生育するウラジロモミ・シラベ・アオモリトドマツ、北海道の山地に生育するトドマツの５種がある。いずれの材も組織は類似しており区別はできない。

（２）マツ属複維管束亜属　*Pinus* subgen. *Diploxylon*　マツ科　図版１　２a-２c（No.４）

垂直と水平の樹脂道がある針葉樹材。早材から晩材への移行はゆるやかで、年輪幅は広い。分野壁孔は窓状である。放射組織の上下端に放射仮道管があり、その内壁には鋸歯状肥厚があり、平滑に近い試料でも有縁壁孔対に突起状肥厚があることから、マツ属の複維管束亜属と同定された。

マツ属複維管束亜属はアカマツとクロマツが属し、陽光地や二次林に多く生育する。

（3）ヒノキ　*Chamaecyparis obtusa* Endl.　ヒノキ科　図版1　3a-3c（No. 22）

仮道管・放射柔細胞・樹脂細胞からなる針葉樹材。晩材部の仮道管壁の肥厚はあまり厚くなく、晩材部の量も少ない。分野壁孔は孔口がやや斜めに細く開いたヒノキ型、1分野におもに2個が水平に整然と配列している。

（4）ヒノキ属　*Chamaecyparis*　ヒノキ科

仮道管・放射柔細胞・樹脂細胞からなる針葉樹材で、分野壁孔の輪郭は円形でヒノキ型である。孔口の開口部は部分により変化が大きく一定ではなかったため、孔口の狭いヒノキと、孔口が広くなるサワラの識別が困難で、種まで特定できなかった試料である。

ヒノキ属は温帯に分布し、本州の福島県以南・四国・九州の山中のやや乾燥した尾根や岩上に生育するヒノキと、ヒノキより分布域は狭く東北南部から中部地方の沢沿いの岩上に生育するサワラがある。

（5）ヒノキ科　*Cupressaceae*

仮道管・放射組織・樹脂細胞からなる針葉樹材、分野壁孔は1分野に2～4個、壁孔の外形は丸くヒノキ型であるが、孔口の開口の形状は一定では無く、大きさや数も変化が大きく、充分に形質を捉える事ができなかった試料であり、ヒノキ科の同定レベルに留めた。

（6）クマシデ属イヌシデ節　*Carpinus* sect. *Eucarpinus*　カバノキ科　図版2　4a-4c（No. 22）

放射組織が集合する部分と放射方向に複合した小型管孔が分布する部分がある散孔材。道管の壁孔は小型で交互状に密在、穿孔は単穿孔である。放射組織は平伏細胞と方形細胞からなる異性、1～3細胞幅、道管との壁孔はやや大きい。集合放射組織があり、穿孔も単穿孔であることから、イヌシデ節と同定した。

クマシデ属は暖帯および温帯の山地に生育する落葉高木または大形低木である。イヌシデ節には山野に普通のイヌシデとアカシデ、乾いた山稜に生育するイワシデがある。

（7）コナラ属アカガシ亜属　*Quercus* subgen. *Cyclobalanopsis*　ブナ科　図版2　5a-5c（No. 22）

集合放射組織を挟み小型の単独管孔が放射方向に配列する放射孔材。道管の壁孔は交互状、穿孔は単穿孔である。放射組織は同性、単列のものと広放射組織がある。

アカガシ亜属は常緑高木でいわゆるカシ類であり、おもに暖温帯に分布する。山野に普通なアラカシ・アカガシ・シラカシ、関東以南に多いイチイガシ・ツクバネガシ、海岸や乾燥地に多いウバメガシ、寒さに強くブナ帯の下部まで分布するウラジロガシなどがある。

（8）コナラ属コナラ亜属コナラ節　*Quercus* subgen. *Quercus* sect. *Prinus*　ブナ科　図版2　6a-6c（No. 23）

年輪の始めに中型の管孔が配列し除々に径を減じ、晩材部では薄壁・角形で小型の管孔が火炎状に分布し、集合放射組織がある環孔材。道管の壁孔は交互状、穿孔は単穿孔、内腔にチロースがある。放射組織は単列のものと細胞幅が広い集合放射組織がある。

コナラ節は暖帯から温帯に分布する落葉高木で、カシワ・ミズナラ・コナラ・ナラガシワがある。

（9）コナラ属コナラ亜属クヌギ節　*Quercus* subgen. *Quercus* sect. *Cerris*　ブナ科　図版3　7a-7c（No. 13）

年輪の始めに大型の管孔が1～3層配列し、その後は厚壁･円形の小型の管孔が単独で放射状に分布し、集合放射組織がある環孔材。道管の壁孔は交互状、穿孔は単穿孔、チロースがある。放射組織は単列のものと集合放射組織状がある。

クヌギ節は暖帯に分布する落葉高木で、クヌギとアベマキが属する。山林や二次林に普通である。

（10）クリ　*Castanea-crenata* Sieb. et Zucc.　ブナ科　図版３　８a－８c（No. 20）

年輪の始めに中型の管孔が配列し除々に径を減じてゆき、晩材では非常に小型の管孔が火炎状に分布する環孔材。道管の壁孔は交互状、穿孔は単穿孔、内腔にはチロースがある。放射組織は単列同性である。

クリは北海道西南部以南の暖帯から温帯下部の山野に普通の落葉高木である。

（11）モクレン属　*Magnolia*　モクレン属　図版３　９a－９c（No. 24）

小型の管孔が単独または２～数個が複合して分布する散孔材。道管の壁孔は階段状、穿孔は単穿孔、内腔には水平のチロースがある。放射組織は異性、主に２細胞幅、上下端に方形細胞があり、道管との壁孔は大きく階段状または対列状に整然と配列している。

モクレン属は暖帯または温帯に分布する落葉性の高木または小高木である。北海道以南の山地に生育するホオノキ・コブシ、本州と九州に生育するタムシバ、関東北部以西に生育するオオヤマレンゲ、中部地方西南部に生育するシデコブシがある。

（12）クスノキ科　*Lauraceae*　図版４　10a-10c（No. 22）

小型の管孔が単独または２～３個が放射方向に複合し分布する散孔材。道管の穿孔は、階段数の少ない階段穿孔である。放射組織は異性、主に２細胞幅、大きく膨らんだ油細胞がある。

管孔が大型でかつ油細胞も大型で分布数が多いクスノキ以外の材であるが、クスノキ科の材は類似性が高いので、属・種は特定できなかった。

クスノキ科は、暖帯から温帯の山地に分布する落葉広葉樹である。

（13）サクラ属　*Prunus*　バラ科　図版４　11a-11c（No. 22）

小型の管孔が放射状・接線状・斜状に複合し分布する散孔材。道管の壁孔は交互状、穿孔は単穿孔、内腔に細いらせん肥厚がある。放射組織はほぼ同性、約５細胞幅、道管との壁孔は小型で密在する。

サクラ属は暖帯から温帯の山地に生育する落葉高木である。

（14）アカメガシワ　*Mallotus japonicus* Muell. Arg.　トウダイグサ科　図版４　12a-12c（No. 22）

年輪の始めに中型の管孔が配列し、その後は１～数個の非常に小型の管孔が放射方向に複合して分布する環孔材。道管の壁孔は交互状、穿孔は単穿孔である。放射組織は単列異性、接線断面において放射柔細胞の断面はレンズ状である。

アカメガシワは暖帯の日当りのよい山野に普通の落葉高木である。

（15）ヤマウルシ　*Rhus trichocarpa* Miquel　ウルシ科　図版５　13a-13c（No. 13）

年輪の始めに中型の管孔が配列し晩材に向かい徐々に径を減じて行き、晩材部では非常に小型の管孔が塊状に集合して接線状・斜状に配列する環孔材。道管の壁孔は交互状、穿孔は単穿孔、小道管にらせん肥厚がある。放射組織は異性、１～２細胞幅、輪郭は不斉なものが多い。

ヤマウルシは北海道以南の温帯から暖帯に広く分布し、山野の林縁や陽光地に普通の落葉小木である。

（16）ミズキ属　*Cornus*　ミズキ科　図版５　12a-12c（No. 8）

小型の管孔が単独または２～３個が複合して分布する散孔材。道管の壁孔は交互状、穿孔は横棒数が多い階段穿孔である。放射組織は異性、主に３細胞幅、多列部は平伏細胞からなりその上下端に方形細胞と直立細胞が単列で伸び、片端の単列部が長く伸びる。

ミズキ属は暖帯から温帯の山地に普通の落葉広葉樹で、ミズキ・クマノミズキ・ヤマボウシがある。

4．考　察

樹種同定の結果、針葉樹（５分類群）・落葉広葉樹（10分類群）・常緑広葉樹（２分類群）を含む17分類群が検出された。この検出分類群数は、12～13世紀に主に山茶碗を焼成していた中世窯が３～５分類群であることと比べ、14世紀後葉から15世紀前半に操業されていた鶯窯跡の検出分類群は非常に豊富であったと言える。ただし当窯跡では、今まで調査事例が少ない工房跡の炭化材を多く調査する機会が得られ、主に工房跡から多種類の広葉樹材が検出された。窯燃料材と工房跡からは、ともに針葉樹のヒノキとマツ属複維管束亜属が多く検出され、この２分類群が鶯古窯の生産を支えた主要な燃料材であったことが判った。このほかに、窯燃料材からは針葉樹のモミ属と落葉広葉樹のクリが検出され、工房跡ではクリ・サクラ属・ミズキ属など複数種類の落葉広葉樹とアカガシ亜属・クスノキ科の常緑広葉樹も多く利用されていたことが判った。ヒノキの炭化材は破片状が多いのに対し、マツ属複維管束亜属は３～６㎝の枝材と思われる材が多く、この相違がなにを反映しているのかは、現時点では不明である。

瀬戸市内最古の灰釉陶器窯である10世紀後半の広久手20・30号窯跡では、クヌギ節が主体で、コナラ節・マツ属複維管束亜属が主な燃料材であった。12～13世紀に操業した、吉野町の広久手古窯群（山口・千野、1990、植田、2001）・本郷町の小田妻古窯跡群（愛知県埋蔵文化財センター、1992）など、瀬戸市内に広く分布する多くの窯跡は、マツ属複維管束亜属が主要な燃料材であり、主にコナラ節・クヌギ節の広葉樹材を随伴する事が知られている。14世紀に入り、巡間町の巡間Ｅ窯跡（植田、2003a）・針原町の五葉窯跡（植田、2003b）・上品野町の宇トゲ窯跡・中洞窯跡（植田、2004）など古瀬戸中期や古瀬戸後期の窯も主な燃料材はマツ属複維管束亜属であるが、随伴出土する樹種が変化し随伴出土する種類が増加している。つまり12～13世紀の山茶碗窯燃料材に随伴出土していたコナラ節・クヌギ節は減少し、14世紀の古瀬戸中期・後期の窯燃料材からはクリ・イヌシデ節・ミズキ属・サクラ属などの複数種類の落葉広葉樹が随伴出土し、アカガシ亜属・シイノキ属・クスノキ科・サカキなどの常緑広葉樹、そして針葉樹のモミ属も検出される。当窯跡においても、灰原と工房跡の炭化材樹種構成を総合的に見ると、マツ属複維管束亜属が多い事、山茶碗窯に比べ広葉樹材の検出種類数が多く、樹種構成の点でも前述の古瀬戸中期・後期の窯跡の樹種利用と類似していた。マツ材は火力が高く燃料材として有用であり、森林伐採が進行するとマツの二次林が拡大し、マツ材が豊富な森林資源となったであろうことは、一般的に周知されている。しかし12～13世紀の山茶碗窯に比べ、当窯跡も含めた14世紀～15世紀前半の古瀬戸の窯跡では、広葉樹材の種類数が多くなり、特にクリが目立ち、針葉樹のモミ属が随伴出土する。この相違点の要因として、窯設営の立地環境が考えられる。山茶碗窯は標高150m前後に多く分布しているのに対し、古瀬戸の窯跡は標高200m以上であり、山茶碗窯より山中の谷筋奥部に窯が設営されている。窯設営時には、人為的影響が少ない落葉広葉樹林が周囲にあり、その森林も利用したためと思われる。山茶碗窯からはほとんど報告されていないモミ属が、古瀬戸の窯跡から検出されるのも、このような立地環境と周辺森林との関係を示唆していると思われる。

瀬戸市内の沖積低地の遺跡で行なわれた花粉分析結果から中世の花粉化石の組成を見ると、それ以前に比べてマツ属複維管束亜属が優占し、コナラ亜属（コナラ節とクヌギ節を含む）の比率も高いこと、が判る（パリノ・サーヴェウー株式会社、1997、新山・鈴木、1998、新山、2005）。花粉分析により復元された広域的な古植生からはマツ属複維管束亜属とコナラ亜属が豊富であった事が判り、それらを主要な窯燃

料材として利用されていたことから、古植生と燃料材の関連性が認められる。また古瀬戸の窯跡からはアカガシ亜属・シイノキ属・イヌシデ節（花粉ではクマシデ属-アサダ属に含まれる）・クリ（花粉ではクリ属が含まれる）など複数種類の広葉樹材と常緑広葉樹材や、針葉樹のモミ属・ヒノキ科（ヒノキ・ヒノキ属を含む）も検出され、これらの比率は少ないが花粉分析から検出されているので、沖積低地の分析地点周辺には少ないが、遠方地には生育していた可能性がある。従って、山茶碗窯より標高の高い山中に設営された古瀬戸の窯跡地周辺には、常緑広葉樹も含めた落葉広葉樹林やモミ属・ヒノキの針葉樹林も成立していた可能性が高いと思われる。最も大量消費したマツ材の供給源であるマツ林が窯の周辺地に広く成立していたのかはやや疑問に思え、マツ材は主に搬入されていた可能性もあるかも知れない。

なお、ヒノキがマツ属複維管束亜属と共に多用されていた窯跡は、現時点では当窯跡だけと思われる。ヒノキ材を燃料材として選択的に、または積極的に使用する事例はあまり知られていない。当窯跡の特殊性と関連してヒノキ材が多用されていたのかもしれないが、その要因については不明である。

5．まとめ

14世紀後葉から15世紀前半に操業した当窯跡では、灰原と工房跡から共にマツ属複維管束亜属とヒノキが多く検出され、主要な燃料材であったことが明らかになった。さらに工房跡では、このほかにもクリ・サクラ属・ミズキ属など複数種類の落葉広葉樹と、アカガシ亜属・クスノキ科の常緑広葉樹が利用されていた。マツ属複維管束亜属が主体でクヌギ節とコナラ節が随伴するいずれも二次林要素の樹種が多い12～13世紀の山茶碗窯の燃料材とは、当窯跡の樹種構成は異なっていた。しかし、14世紀の古瀬戸中期・後期の窯跡の燃料材とは類似性が高い事が判った。この違いとして、山茶碗窯は標高150m前後の斜面に分布しているが、古瀬戸の窯は標高200m前後に分布しているので山茶碗窯より人為的影響が少ない森林の近くに設営され、周囲の森林を利用していたと推測された。その結果、マツ属複維管束亜属を主要燃料材としていた点は山茶碗窯と変わらないが、複数種類の落葉広葉樹と常緑広葉樹そしてモミ属などが随伴出土したと考えられた。なお、マツ林も窯周辺に広く成立していたのか、マツ材は低地部や他所から搬入されていたのかは、現時点では特定できない。ヒノキが多く利用されていた窯跡はあまり知られておらず、当窯跡の特異性と関係しているのかもしれないが、具体的な関連性は見出せなかった。

引用文献

山口慶一・千野裕道（1990）マツ林の形成および窯業へのマツ材の導入について，85-114，図版１-10，「研究論集 Ⅷ」東京都埋蔵文化財センター.

財団法人 愛知県埋蔵文化財センター（1992）小田妻古窯跡群出土木炭の樹種同定，71-75，「小田妻古窯跡群」.

植田弥生（2001）広久手18・20・30号窯跡出土炭化材の樹種同定，235-246，「広久手18・20・30号窯跡」，財団法人 瀬戸市埋蔵文化財センター調査報告書.

植田弥生（2003a）巡間Ｅ窯跡遺跡出土炭化材の樹種同定，79-82，「巡間Ｅ窯跡」，愛知県埋蔵文化財センター.

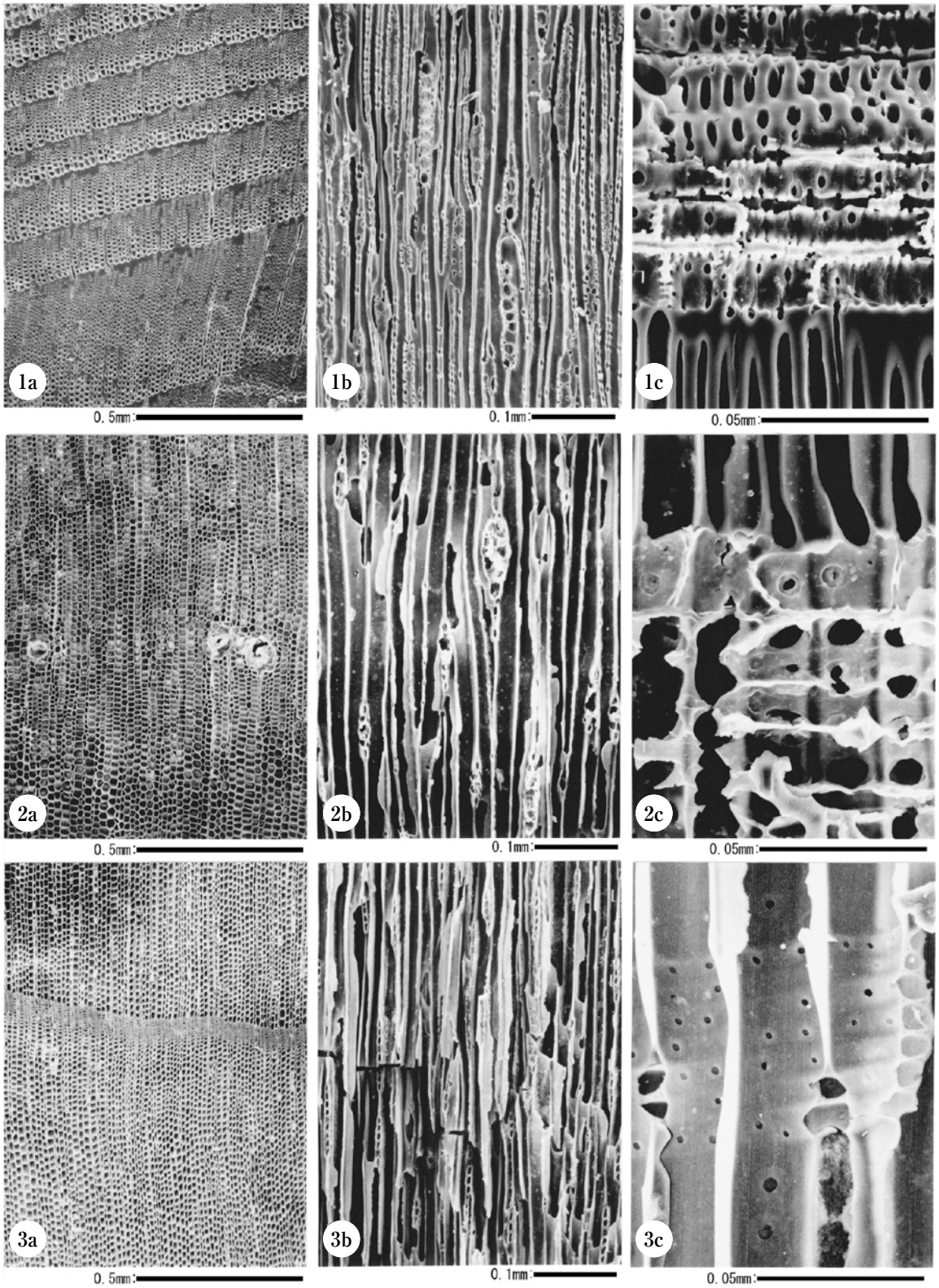
植田弥生（2003b）五葉窯跡出土炭化材の樹種同定，191-200，「市内遺跡調査報告Ⅳ 五葉窯跡」，財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター.

植田弥生（2004）宇トゲ窯跡・中洞窯跡の樹種同定，89-96，「宇トゲ窯跡・中洞窯跡」，愛知県埋蔵文化財センター.

パリノ・サーヴェイ株式会社（1997）科学分析，144-165，「品野西遺跡」，財団法人 瀬戸市埋蔵文化財センター.

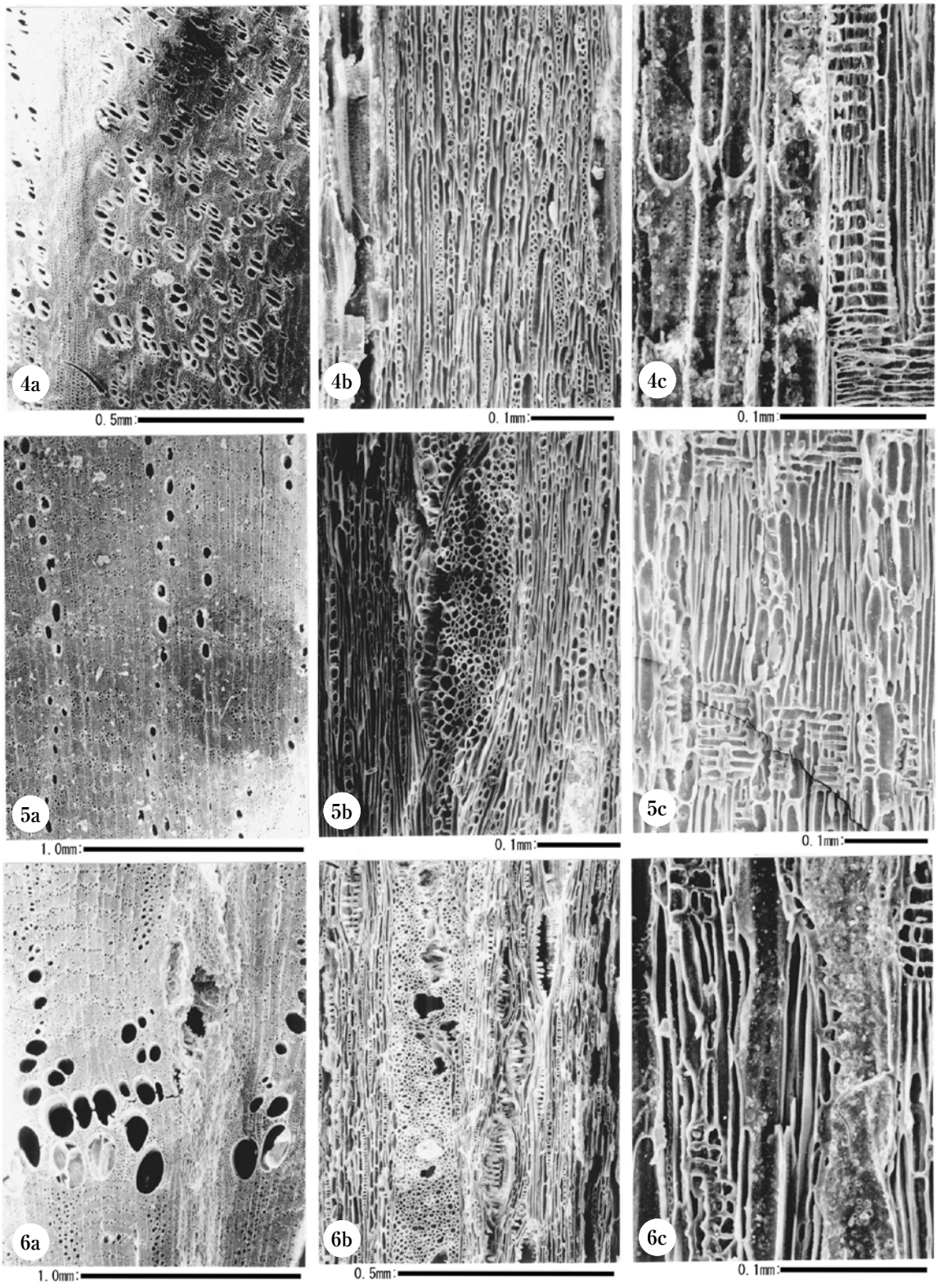
新山雅広・鈴木　茂（1998）上品野蟹川遺跡の自然科学分析，82-98，「上品野蟹川遺跡」，財団法人 瀬戸市文化財センター.

新山雅広（2005）吉野遺跡の花粉化石群集，33-39，「吉野遺跡」，財団法人 瀬戸市埋蔵文化財センター３.



図版1　鷺古窯跡出土炭化材材組織の走査電子顕微鏡写真

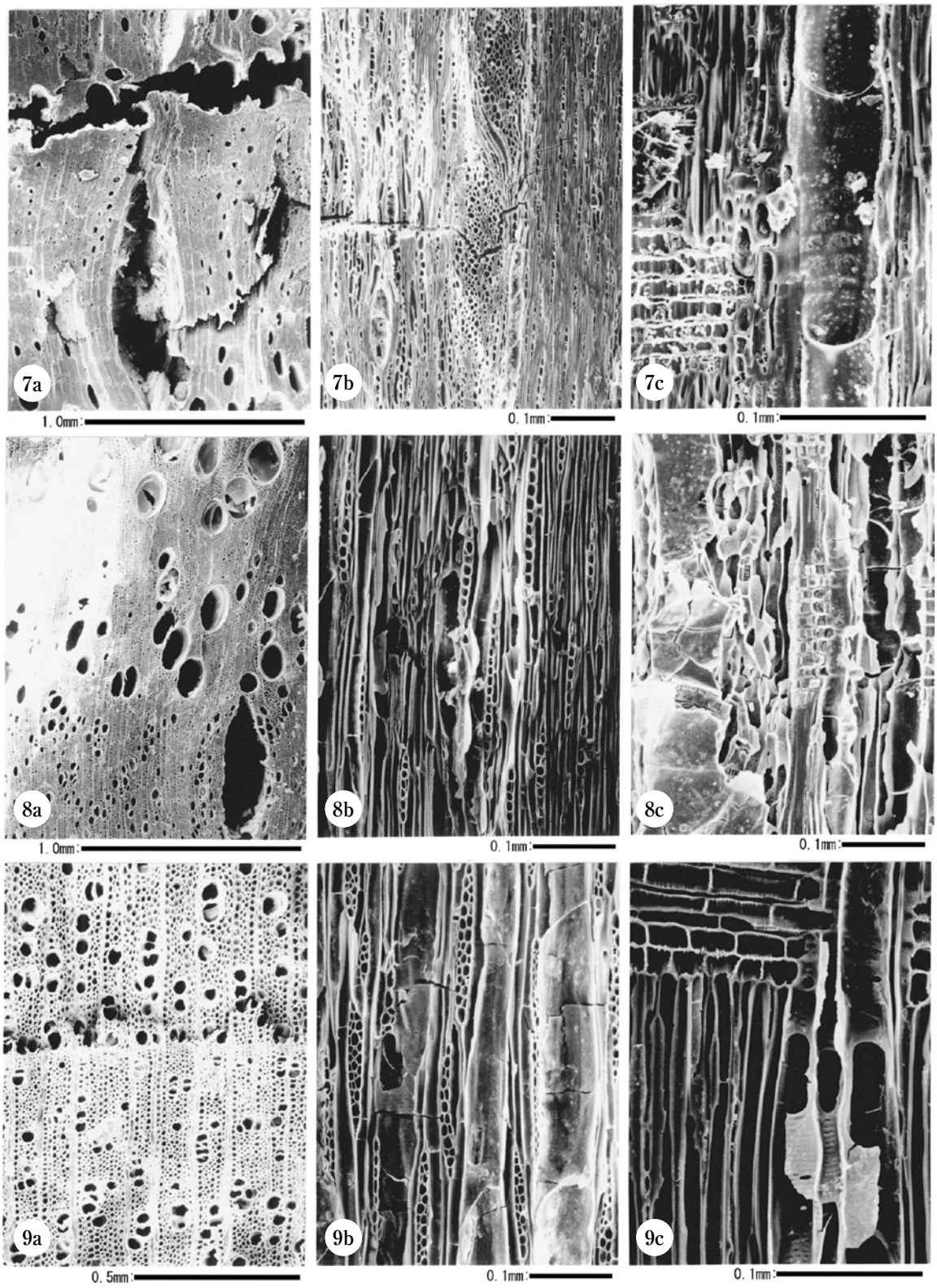
1a-1c：モミ属（No. 5）　2a-2c：マツ属複雑管束亜属（No. 4）　3a-3c：ヒノキ（No. 22）
a：横断面　b：接線断面　c：放射断面



図版２　鶯古窯跡出土炭化材材組織の走査電子顕微鏡写真

4a-4c：イヌシデ節（No. 22）　5a-5c：アカガシ亜属（No. 22）　6a-6c：コナラ節（No. 23）

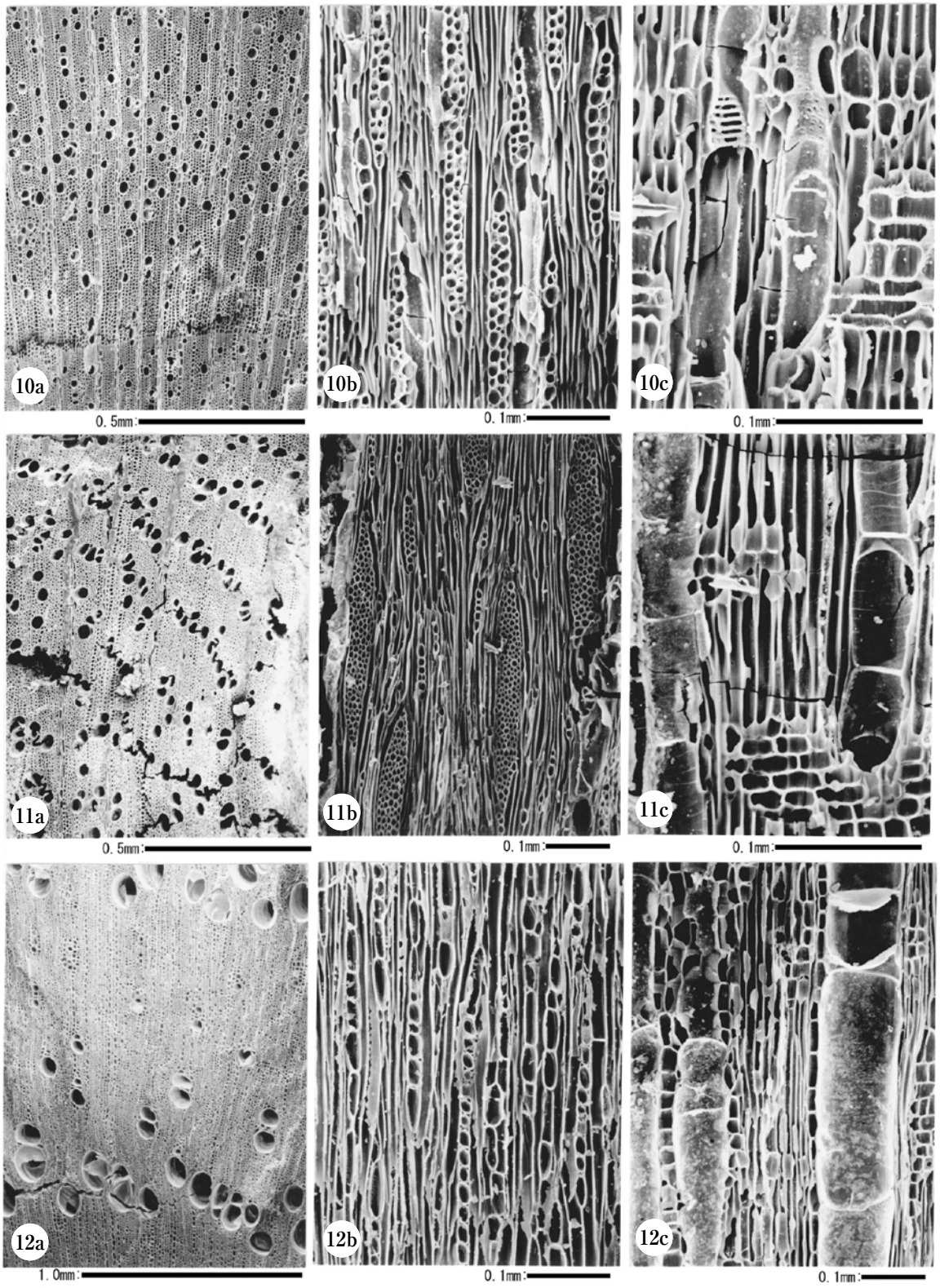
a：横断面　b：接線断面　c：放射断面



図版３　鶯古窯跡出土炭化材材組織の走査電子顕微鏡写真

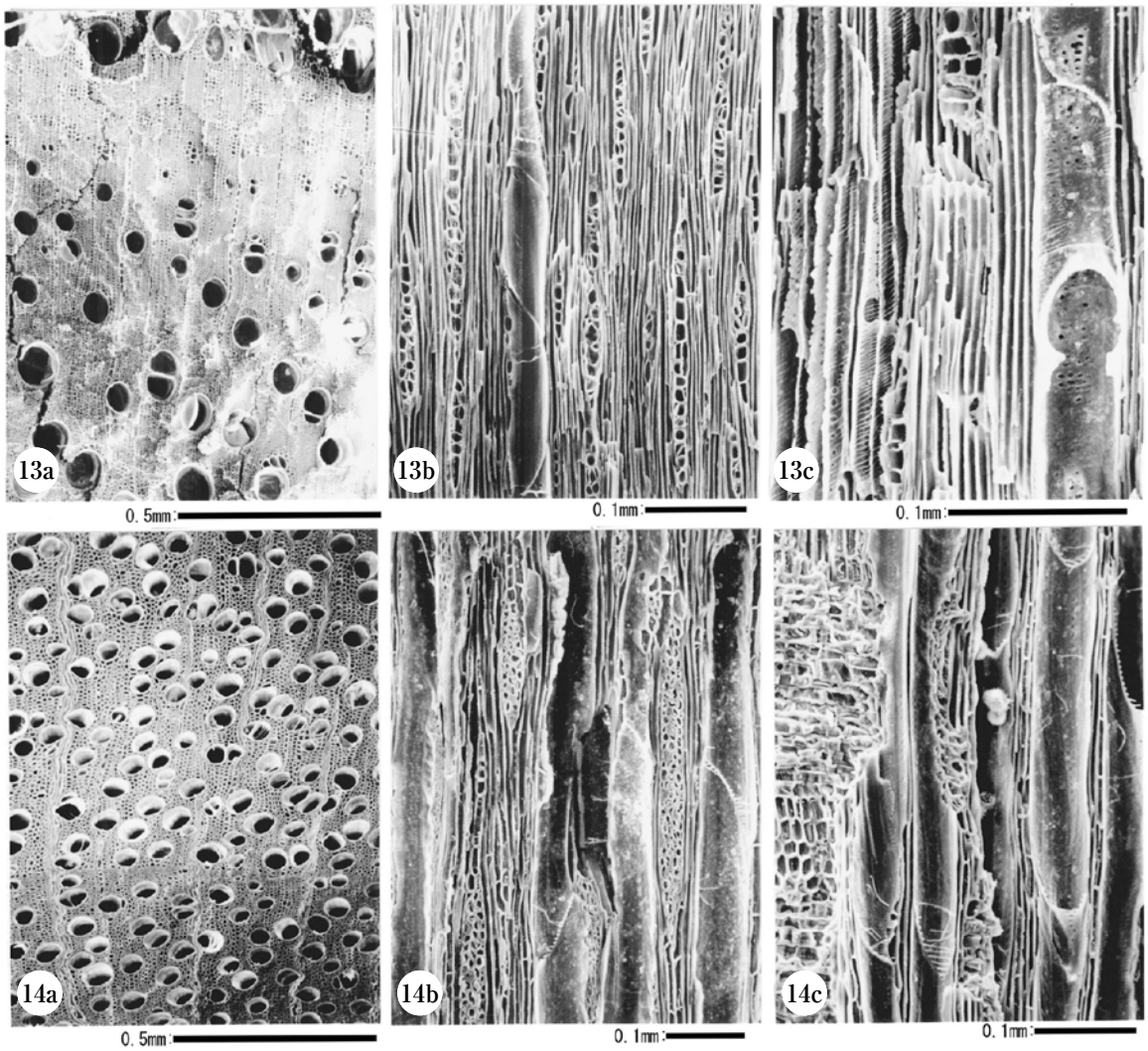
7a–7c：クヌギ節（No. 13）　8a–8c：クリ（No. 20）　9a–9c：モクレン属（No. 24）

a：横断面　b：接線断面　c：放射断面



図版４　鷺古窯跡出土炭化材材組織の走査電子顕微鏡写真

10a-10c：クスノキ科（No. 22）　11a-11c：サクラ属（No. 22）　12a-12c：アカメガシワ（No. 22）
a：横断面　b：接線断面　c：放射断面



図版５　鶯古窯跡出土炭化材材組織の走査電子顕微鏡写真

13a–13c：ヤマウルシ（No. 13）　14a–14c：ミズキ属（No. 8）

a：横断面　b：接線断面　c：放射断面

第７節　放射性炭素年代測定

山形秀樹・藤根　久（株式会社パレオ・ラボ）

１．はじめに

鴛古窯跡より検出された炭化材の加速器質量分析法（AMS法）による放射性炭素年代測定を実施した。

２．試料と方法

試料は、第29表に示す炭化材試料７点である。これら炭化材は、丸木材でなく最外年輪を採取・測定していないことから、伐採年代を示すとは限らない。

これら試料は、酸・アルカリ・酸洗浄を施して不純物を除去し、石墨（グラファイト）に調整した後、加速器質量分析計（AMS）にて測定した。測定した^{14}C濃度について同位体分別効果の補正を行った後、補正した^{14}C濃度を用いて^{14}C年代を算出した。

３．結　果

表１に、各試料の同位体分別効果の補正値（基準値-25.0‰）、同位体分別効果による測定誤差を補正した^{14}C年代、^{14}C年代を暦年代に較正した年代を示す。

^{14}C年代値（yrBP）の算出は、^{14}Cの半減期としてLibbyの半減期5,568年を使用した。また、付記した^{14}C年代誤差（±1σ）は、計数値の標準偏差σに基づいて算出し、標準偏差（One sigma）に相当する年代である。これは、試料の^{14}C年代が、その^{14}C年代誤差範囲内に入る確率が68％であることを意味する。

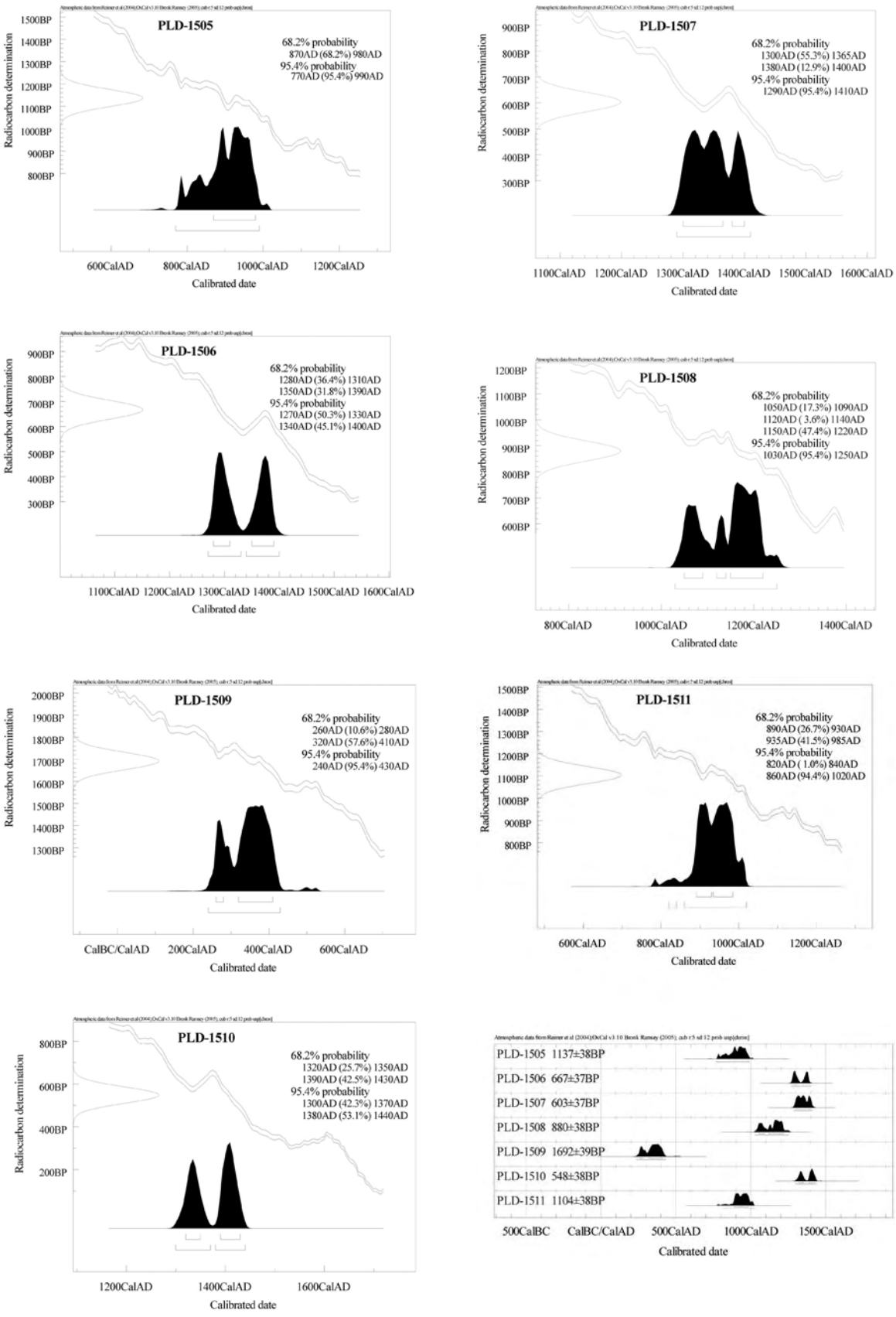
なお、暦年代較正の詳細は、以下の通りである。

暦年較正

暦年較正とは、大気中の^{14}C濃度が一定で半減期が5568年として算出された^{14}C年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の^{14}C濃度の変動、及び半減期の違い（^{14}Cの半減期5730±40年）を較正することである。

第29表　放射性炭素年代測定及び暦年較正の結果

測定番号	遺跡データ	δ^{13}C（‰）	暦年較正用年代（yrBP±1σ）	^{14}C 年代（yrBP±1σ）	^{14}C年代を暦年代に較正した年代範囲	
					1σ暦年代範囲	2σ暦年代範囲
PLD-1505	炭化材 No. 1（ヒノキ） c2：c3北壁第４層	-23.0	1,137±38	1,135±40	870AD（68.2%）980AD	770AD（95.4%）990AD
PLD-1506	炭化材 No. 3（ヒノキ） e3：e4北壁第３層	-22.1	667±37	665±35	1,280AD（36.4%）1,310AD 1,350AD（31.8%）1,390AD	1,270AD（50.3%）1,330AD 1,340AD（45.1%）1,400AD
PLD-1507	炭化材 No. 4（マツ属複維管束亜属） f2：黒色灰層最下層	-24.9	603±37	605±35	1,300AD（55.3%）1,365AD 1,380AD（12.9%）1,400AD	1,290AD（95.4%）1,410AD
PLD-1508	炭化材 No. 5（モミ属） g2：f2東壁第５層	-24.2	880±38	880±40	1,050AD（17.3%）1,090AD 1,150AD（47.4%）1,220AD 1,120AD（3.6%）1,140AD	1,030AD（95.4%）1,250AD
PLD-1509	炭化材 No. 6（アカガシ亜属） Ⅳ H11i　褐色土層	-28.4	1,692±39	1,690±40	260AD（10.6%）280AD 320AD（57.6%）410AD	240AD（95.4%）430AD
PLD-1510	炭化材 No. 30（マツ属複維管束亜属） Ⅳ H15h　褐色土層	-24.9	548±38	550±40	1,320AD（25.7%）1,350AD 1,390AD（42.5%）1,430AD	1,300AD（42.3%）1,370AD 1,380AD（53.1%）1,440AD
PLD-1511	炭化材 No. 31（ヒノキ） Ⅳ H16h　黒褐色土層	-23.9	1,104±38	1,105±40	890AD（26.7%）930AD 935AD（41.5%）985AD	820AD（1.0%）840AD 860AD（94.4%）1020AD



第121図　暦年較正図（PLD-1505～PLD-1511）と複数表示図

^{14}C年代の暦年較正にはOxCal3.10（較正曲線データ：INTCAL04）を使用した（第121図）。なお、1σ暦年代範囲は、OxCalの確率法を使用して算出された^{14}C年代誤差に相当する68.2%信頼限界の暦年代範囲であり、同様に2σ暦年代範囲は95.4%信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は14C年代の確率分布を示し、二重曲線は暦年較正曲線を示す。それぞれの暦年代範囲のうち、その確率が最も高い年代範囲については、表中に下線で示してある。

4．考察

各試料は、同位体分別効果の補正および暦年代較正を行った。暦年代較正した1σ暦年代範囲あるいは2σ暦年代範囲のうち、その確からしさの確率が最も高い年代範囲に注目すると、それぞれより確かな年代値の範囲として示された（アンダーライン部年代）。

測定結果は、窯が成立した14世紀後葉から15世紀前半に近い年代を示す試料として、PLD-1506の炭化材がAD1,280-AD1,310年（1σ暦年代範囲）、PLD-1507の炭化材がAD1,300-AD1,365年（1σ暦年代範囲）、PLD-1510の炭化材が1,390-AD1,430年（1σ暦年代範囲）である。

その他の試料では、古い年代値が測定され、特にPLD-1509の炭化材は、工房跡から出土した炭化材であるが、AD320-AD410年とかなり古い年代値を示している。

測定した炭化材試料は、灰原から検出された炭化材であるが、丸木ではないため最外年輪を測定していない。このため、木材のより古い年輪部分を測定したため（古木効果による）、古い年代が測定されたものと考えられ、特にPLD-1506の炭化材は古い年代値が示されていると考える。なお、調査の知見では、窯跡およびその周辺において盗掘による攪乱が著しいことから、古い時代の炭化材が混入したことが考えられる。

なお、年代値から見て、窯燃料材は少なくともマツ属複維管束亜属（アカマツあるいはクロマツ）であることが指摘できる。

参考・引用文献

Bronk Ramsey C.（1995）Radiocarbon Calibration and Analysis of Stratigraphy: The OxCal Program, Radiocarbon, 37（2）, 425-430.

Bronk Ramsey C.（2001）Development of the Radiocarbon Program OxCal, Radiocarbon, 43（2A）, 355-363.

中村俊夫（2000）放射性炭素年代測定法の基礎．日本先史時代の^{14}C年代，3-20.

Reimer PJ, MGL Baillie, E Bard, A Bayliss, JW Beck, C Bertrand, PG Blackwell, CE Buck, G Burr, KB Cutler, PE Damon, RL Edwards, RG Fairbanks, M Friedrich, TP Guilderson, KA Hughen, B Kromer, FG McCormac, S Manning, C Bronk Ramsey, RW Reimer, S Remmele, JR Southon, M Stuiver, S Talamo, FW Taylor, J van der Plicht, and CE Weyhenmeyer.（2004）Radiocarbon 46, 1029-1058.

第 8 節　熱残留磁化測定による焼成年代推定

藤根　久・Zauri Lomtatize（株式会社パレオ・ラボ）

1．はじめに

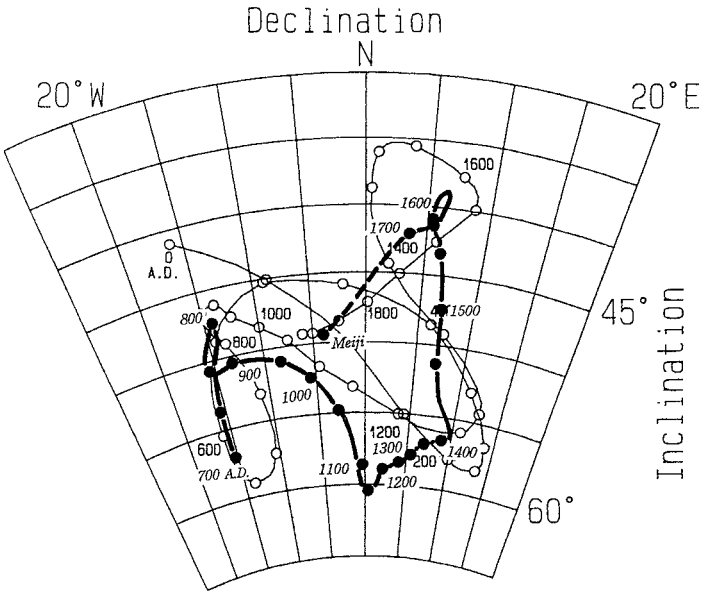
鷲窯跡は、瀬戸市鳥原町・岩屋町地内に所在する古瀬戸窯跡であり、調査により工房跡も検出された。ここでは、この窯跡の床面焼土の熱残留磁化を測定し、その磁化方向から各窯跡の焼成年代を推定した。

2．考古地磁気年代推定の原理

地球上には地磁気が存在するために、磁石は北を指す。この地磁気は、その方向と強度（全磁力）によって表される。方向は、真北からの角度である偏角（Declination）と水平面からの角度である伏角（Inclination）によって表す。磁気コンパスが北として示す方向（磁北）は、真北からずれており、この間の角度が偏角である。また、磁針をその重心で支え磁南北と平行な鉛直面内で自由に回転できるようにすると、北半球では磁針のＮ極が水平面より下方を指す。この時の傾斜角が伏角である。現在、この付近の偏角は約6.86°Ｗ、伏角は約48.50°、全磁力（水平分力）は約30810.7（nT）である（理科年表、1993；いずれも1990年値）。これら地磁気の三要素（偏角・伏角・全磁力）は、観測する地点によって異なった値になる。全世界地磁気三要素の観測データの解析から、現在の地磁気の分布は、地球の中心に棒磁石を置いた時にできる磁場分布に近似される。また、こうした地磁気は時間の経過とともに変化し、ある地点で観測される偏角や伏角あるいは全磁力の値も時代とともに変化する。この地磁気の変動を地磁気永年変化と呼んでいる。

過去の地磁気の様子は、高温に焼かれた窯跡や炉跡などの焼土、地表近くで高温から固結した火山岩あるいは堆積物などの残留磁化測定から知ることができる。大半の物質は、ある磁場中に置かれると磁気を帯びるが、強磁性鉱物（磁鉄鉱など）はこの磁場が取り除かれた後でも磁気が残る。これが残留磁化である。考古地磁気では、焼土の残留磁化（熱残留磁化）が、焼かれた当時の地磁気の方向を記録していることを利用する。こうした地磁気の化石を調べた結果、地磁気の方向は少しづつではあるが変化しており、その変化は地域によって違っていることが分かっている。過去2,000年については、西南日本の窯跡や炉跡の焼土の熱残留磁化測定から、その変化が詳しく調べられている（広岡、1977、Shibuya、1980）。一方、地磁気には地域差が認められることから、東海地方の地磁気永年変化曲線も求められている（広岡･藤澤、1998；第122図）。

こうした年代のよく分かっている窯跡焼土や火山岩の熱残留磁化測定などから地磁気永年変化曲線が得られると、逆に年代の確かでない遺跡焼土などの残留磁化測定を行い、先の地磁気永年変化曲線と比較することによって、その焼成時の年代が推定できる。また、年代が推定されている窯跡焼土などについても、土器とは違った方法で焼成時の年代を推定できることから、さらに科学的な裏付けを得ることができる。この年代推定法が考古地磁気による年代推定法である。ただし、この方法は、^{14}Ｃ年代測定法など他の絶対年代測定法のように、測定結果単独で年代の決定を決定する方法ではない。すなわち、焼土の熱残留磁化測定から得られる偏角および伏角の値からは複数の年代値が推定されるが、いずれを採用するかは、焼き物等の年代が参考となる。



第122図　広岡・藤澤（1998）による東海地方の考古地磁気永年変化曲線（太線）

3．試料採取と残留磁化測定

考古地磁気による年代推定は、a）測定用試料の採取および整形、b）残留磁化測定および統計計算を行い、c）地磁気永年変化曲線との比較を行い、焼成年代を推定する。なお、試料の磁化保持力や焼成以後の二次的な残留磁化の有無などを確認するために、段階交流消磁も行った。

a．測定用試料の採取および整形

試料は、床焼土面において、①一辺約４㎝の立方体試料を取り出すため、瓦用ハンマーなどを用いて、対象とする部分（良く焼けた部分）の周囲に溝を掘る。②薄く溶いた石膏を試料全体にかけ、試料表面を補強する。③やや固め（練りハミガキ程度）の石膏を試料上面にかけ、すばやく一辺５㎝の正方形のアルミ板を押し付け、石膏が固まるまで放置する。④石膏が固まった後、アルミ板を剥し、この面の最大傾斜の方位および傾斜角を磁気コンパス（考古地磁気用に改良したクリノメータ）で測定し、方位を記録すると同時に、この面に方位を示すマークと番号を記入する。⑤試料を掘り起こした後、試料の底面に石膏をつけて補強し持ち帰る。⑥持ち帰った試料は、ダイヤモンド・カッターを用いて一辺3.5㎝・厚さ２㎝程度の立方体に切断する。この際切断面が崩れないように、一面ごとに石膏を塗って補強し、熱残留磁化測定用試料とする。採取した試料は、16試料（うち４試料は破損）である。

b．段階交流消磁、熱残留磁化測定および統計計算の結果

熱残留磁化測定は、リング・コア型スピナー磁力計（SMM-85：㈱夏原技研製）を用いて測定した。磁化保持力の様子や放棄された後の二次的な磁化の有無を確認するため、任意１試料（No. 10）について交流消磁装置（DEM-8601：㈱夏原技研製）を用いて段階的に消磁を行い、その都度スピナー磁力計を用いて残留磁化を測定した。その結果、試料の磁化強度は10^{-2}～10^{-3} emuと強いことが分かり、NRM（自然

第30表　窯跡焼土の残留磁化測定と統計計算結果（偏角補正前）

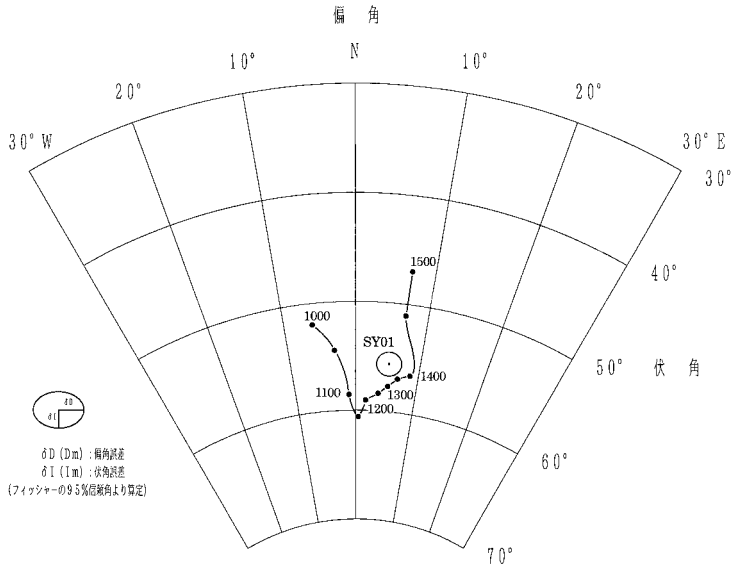
遺構名	試料No.	偏角（°E）	伏角（°）	強度（x10^{-3} emu）	備　考	統計処理項目	統計値
SY01 150 Oe消磁	1	11.6	58.4	4.515		試料数（n）	13.00
	2	11.2	55.9	6.818			
	3	11.8	57.7	1.594		平均伏角Dm（°）	12.06
	4	18.9	52.2	10.660			
	5	8.0	55.7	3.999		平均偏角Im（°E）	55.64
	6	12.9	55.5	1.865			
	7	9.5	54.8	5.959		誤差角δD（°）	1.95
	8	11.6	54.9	14.600			
	9	11.4	55.3	4.700		誤差角δI（°）	1.10
	10	12.6	53.7	13.670	段階交流消磁		
	11	11.5	56.6	5.615		信頼度計数（k）	1424.94
	12	12.8	55.8	1.960			
	13	12.4	56.5	12.370		平均磁化強度 （x10^{-3} emu）	6.79

残留磁化）に対する150 Oe消磁の相対強度は、No. 10の試料は約74.2%であった。さらに、磁化方向は、中心に向かって直線的に変化し、安定した方向を記録していることが分かった。

以上の理由から、150 Oeで消磁した際の残留磁化方向が焼成時の磁化方向であると判断した。そこで、これ以外の段階交流消磁を行っていない試料も、150 Oe消磁した後に残留磁化を測定した。

複数試料の測定から得た偏角（Di）、伏角（Ii）を用いて、Fisher（1953）の統計法により平均値（Dm、Im）を求めた。信頼度計数は、1424.94と大きな値であり、伏角および偏角の各誤差は小さな値であった（第30表）。

求めた熱残留磁化方向は、真北を基準とする座標に対する数値に補正する。偏角は、建設省国土地理院の1990.0年の磁気偏角近似式から計算した6.90°Wを使用した。その結果は、広岡（1977）による地磁気変化曲線とともにプロットした（第123図）。図中測定点に示した楕円は、フッシャー（1953）の95%信頼



第123図　窯跡床面焼土の残留磁化方向と広岡・藤澤（1998）の考古地磁気永年変化曲線の一部

角より算定した偏角および伏角の各誤差から作成したものである。

4．焼成年代値の推定

第123図には、広岡（1977）による地磁気永年変化の一部曲線とともに窯跡の床面焼土の磁化方向を示した。窯跡の磁化方向は、1,300～1,400年間の曲線付近に位置する。

年代の推定は、最も近い標準曲線上に移動して推定した。その結果、第31表に示したA．D.1，350±50年が推定された。

第31表　窯跡焼土の焼成年代推定値

遺　構	遺物による年代	残留磁化による推定年代
SY01	14世紀後葉～15世紀前半	A. D. 1,350±50年

引用文献

Fisher. R. A.（1953）Disparsion on a sphere. Proc. Roy. Soc. London, A, 217, 295-305.

広岡公夫（1977）考古学地磁気および第四紀古地磁気研究の最近の動向，第四紀研究，15，200-203.

広岡公夫・藤澤良祐（1998）東海地方の地磁気永年変化．日本文化財科学会第15回大会研究発表要旨集，20-21.

理科年表（1993）国立天文台偏，丸善，952p.

Shibuya. H.（1980）Geomagnetic secular variation in Southwest Japan for the past 2,000years by means of archaeomagnetism. 大阪大学基礎工学部修士論文，54p.

第 9 節　製品の容量と重量

荻野繁春（福井工業高等専門学校）

発掘調査で大量に出土する資料、それが土器や陶磁器等の破片である。中でも窯の発掘調査では大量に破片が出土する。そして様々な破片ゆえ、どのように扱えばどのような成果を得ることができるか、調査者は大いに苦悩する。幸いにしてこの鷲窯の調査においては、調査者の大変な努力により、一つひとつの破片が余すことなく資料化され、歴史資料としての役割が与えられている。

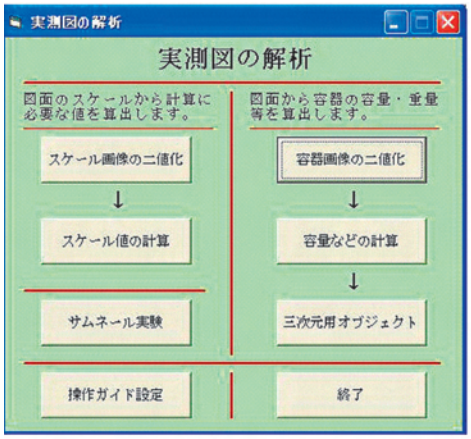
そうした資料化の一環として、個々の破片の歴史的活用を念頭に、さらなる資料化の方法論としてコンピュータによる実測図の解析を行ったので、得られた結果について紹介する。我々はこれまでにも紹介してきているように、大量に描かれる実測図の活用方法として、コンピュータによる容量や粘土量等、様々な数値情報の得られるシステムを作り上げてきた。つまり、１枚の実測図がもつ数々の数値情報を得ることができる。

まずは『陶磁器図面解析』ソフトについて一部紹介する（第124図）。スキャナで読み込んだ実測図を白黒画像として必要な処理を施して保存する。当ソフトの初期画面では、処理別に必要なボタンを準備してある（画面１）。大きくは、計算に必要なスケール補正値を計算するものと容量等を計算するものである。「スケール画像の二値化」によってスケールの二値化を行い、その後「スケール値の計算」によって容量等の計算に必要なスケール補正値を計算する。この例では、0.0520833333となっている（画面２）。つまり１ドットの大きさが0.0520833333㎝ということで、この数値をもとに計算することになる。次に初期画面に戻り、「容器画像の二値化」で容器実測図の二値化を行って後、「容量などの計算」で様々な計算を行う（画面３）。

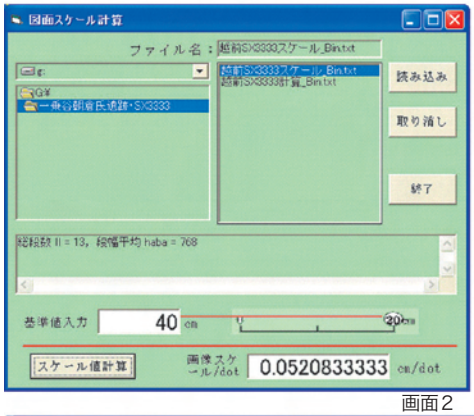
まず「二値ファイル」で計算用ファイルを選択する。この例だと、「越前SX3333計算_Bin.txt」ファイルを選択する。既にスケール補正値は示されているので、「容量計算」によって計算結果が下段左のように示される。つまり「高さ86.562㎝」「口径74.792㎝」「最大径84.583㎝」「底径29.792㎝」「体積317.53ℓ」「容量279.93ℓ」「粘土量37604.08㎝^3」といった具合である。他にもいくつかの機能を装備した。まず「任意の高さに対する容量を計算」である。先ほど計算した数値の279.93ℓは、容器全体の容量だが、例えば底から80㎝ほどの高さでの容量を知りたいこともある。そこで「内側高さ入力」に80㎝と入力し「容量計算」で258.07ℓということになる。これとは反対に、「任意の容量に対応した高さ」も準備した。

さて容量は時代によって基準値が大きく異なっており、同じ１斗あるいは１石といっても実態は大きく異なる。そこで各時代に対応した換算装置を装備した。下にある「容量を各時代の基準値で換算」の「容量換算」ボタンをクリックすると容量換算用画面となる（画面４）。ここでは計算された数値は自動的に示されるので（279.93ℓ）、下の「日本（奈良時代以降）」の中から、この場合は「戦国後期（1562）」を選択し「換算」ボタンをクリックすると、戦国時代に対応する陶器は、「２石２斗２升１合」ということになる。今のところ国内では、呈示できる基準となるような枡の発見が少なく不十分だが、さらに資料の充実をはかっていきたい。日本以外では、ローマ時代の換算が可能である。

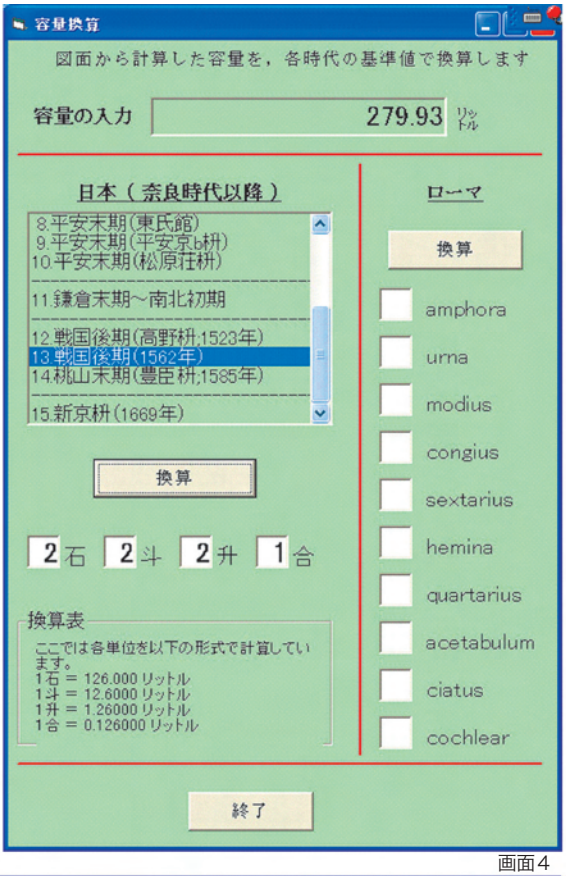
図面では量ることのできないデータとして陶器の重量がある。そこでもう一度計算画面に戻ると（画面３）、陶器の重量を量るための装置が下にある「容器の重量」である。ここでは産地ごとに比重等を準備し、



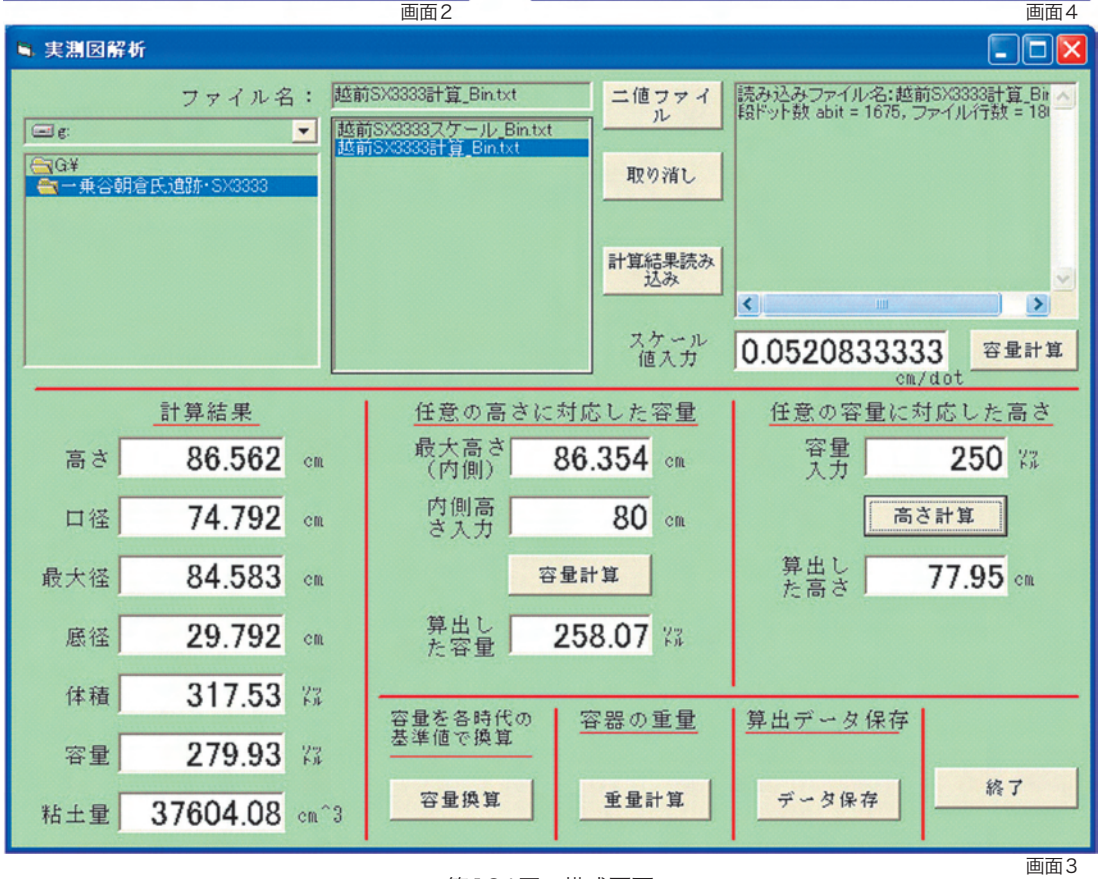
画面1



画面2



画面4



画面3

第124図　構成画面

簡単に重量を計算できるようにしてある。

さて筆者に提供された資料（第32表、第33表）は、器種ごとの実測図125点と破片70点である。この２種類の異なる資料を使って、破片から器種ごとの比重を計測した上で、実測図から粘土量や容量・重量を計算することにする。また器種ごとの製作時重量、つまりどれほどの粘土が必要であったかも計算してみたい。

まず、本校技術職員である瀬戸川城将氏の協力を得て、様々な大きさの破片から比重を計測した。破片70点の比重の平均は2.1だが、2.1と2.0がそれぞれ20点ずつである。最大の比重は2.4で、桶や小壺･茶入･卸皿（極大）・端反皿などである。一方最小の比重は平底末広碗の1.6である。総じて碗類の比重は小さいといえようか。こうした鶯窯陶器の比重が瀬戸焼の中でどのような位置にあるのかは、類例がないので判然としない。

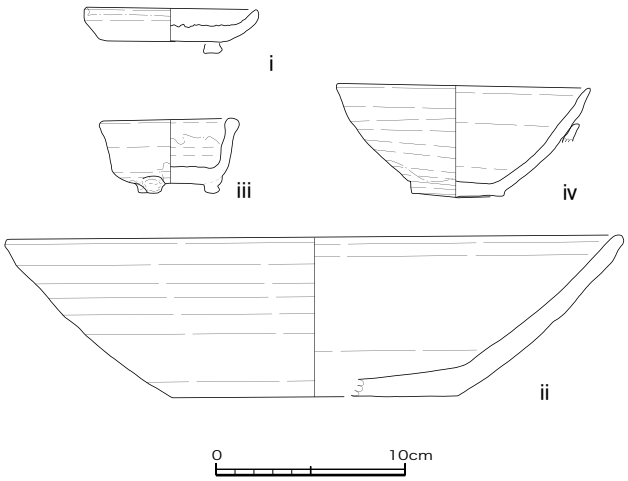
次に実測図125点の計算結果である。第32表、第33表をご覧いただきたい。ここには実測図から計算した様々な数値データを示した。このうち項目Ａは計算容量、項目Ｂは鎌倉時代から南北朝時代にかけての換算値である。この窯は14世紀から15世紀にかけての資料ということで、完全に対応するものではないが、一応の目安として提示した。項目Ｇは粘土量で、それに対応する比重（項目Ｉ）をかけて出した重量が項目Ｊである。ただし比重は実測図とは対応せず、同器種に対応させて計算した。項目Ｈは事前に提供された計測重量である。コンピュータで計算した重量と実際の計測重量との比較で大きな違いのでたのが、折縁小皿や筒型香炉類である。30％程重い。理由は判然としないが、コンピュータ上で計算した粘土量に起因するもと思われる。つまり実測図に起因する。

重要な計算を別に行ってみた。それは完成品情報ではなく、焼成前あるいは乾燥前の陶器製作時の重量である。つまりどれほどの粘土を必要としたかである。これは燃料とも関係のある重要項目である。瀬戸焼の場合、焼成すると８％から12％程全体的に縮小する。そのように考えると、製品としての粘土量（項目Ｇ）から元の粘土量が計算できる。今回は10％程縮小したとの前提で元の粘土量を計算したのが項目Ｋである。また瀬戸焼粘土の比重は2.58から2.6ということで、今回は2.6を使って計算した。それが項目Ｌである。このようにして焼成前、あるいは乾燥前の重量も計算可能である。

図面がもつ様々な情報を集積していけば、これまで困難であった理解も可能となる。この鶯窯では大量の陶器片が資料化されており、上に上げたような数値を使って、必要な粘土量等、貴重なデータを得ることもできるのである。

《参考文献》

荻野繁春・坪川武弘・藤原正敏・清水幹郎・嶋田鉄平，2004，「容積計算ソフトによる実測図の解析」『日本考古学協会第70回総会研究発表要旨』日本考古学協会，217-220頁.



第125図　遺物ｉ～ⅳ実測図

第32表　実測図から計算した容器の容量・粘土量・重量

番号	器　種	A.容量（ℓ）	B.換算（鎌倉南北朝）	C.口径（cm）	D.底径（cm）	E.器高（cm）	F.最大径（cm）	G.粘土量（cm^3）	H.計測値重量（g）	I.器種に即した比重	J.器種に即した重量（g）G*I	K.成形時粘土量（cm^3）	L.初期重量（g）	遺　物登録No.
1	浅碗Ⅰ	0.36	3合	13.2	4.1	6.1	13.5	156.4		2.1	328.4	173.8	451.9	695
2	内耳鍋	2.34	2升2合	23.1	11.9	10.5	23.7	847.5		1.9	1610.2	941.7	2448.4	2559
3	桶	6.24	5升9合	23.2	15.4	22.1	23.2	1746.1		2.4	4190.7	1940.1	5044.3	4472
4	折縁小皿	0.02	0合	6.1	5.4	1.8	6.5	21.0	27.6	2.1	44.1	23.3	60.6	
5	折縁小皿	0.05	0合	9.1	5.6	2.0	9.8	60.1	86.8	2.1	126.3	66.8	173.7	
6	折縁小皿4	0.09	0合	9.8	3.7	3.4	10.2	64.1	119.7	2.1	134.6	71.2	185.1	1392
7	折縁深皿	0.85	8合	23.0	11.8	5.2	23.0	402.1		2	804.2	446.8	1161.7	
8	折縁深皿ⅡA	7.95	7升5合	46.0	28.9	9.9	46.3	3040.1		2	6080.2	3377.9	8782.5	125
9	折縁中皿	0.30	2合	17.0	10.0	3.4	17.2	207.8	379.3	2.3	477.9	230.9	600.3	1824
10	折縁ひだ鉢（A）	1.23	1升1合	28.0	13.1	13.1	28.2	1033.6		2	2067.2	1148.4	2985.8	
11	折縁ひだ鉢（A）	4.03	3升8合	33.7	17.1	11.9	33.8	1732.7		2	3465.4	1925.2	5005.5	1670
12	折縁ひだ鉢（B）	0.43	4合	18.7	7.7	5.5	18.7	250.7		2	501.4	278.6	724.4	
13	卸皿（A）	0.41	3合	19.3	9.3	3.6	19.3	221.3		2.4	531.0	245.8	639.1	1479
14	卸皿（C）	0.03	0合	9.1	6.8	1.8	9.2	75.3	113.7	2	150.5	83.6	217.4	i
15	卸皿（C）	0.10	0合	11.9	7.4	2.3	11.9	89.4		2	178.7	99.3	258.2	5521
16	卸皿（A）	0.14	1合	13.5	8.6	2.9	13.5	165.4		2.2	364.0	183.8	477.9	5536
17	卸皿（B）	0.06	0合	11.9	6.0	2.4	12.0	99.8		2.1	209.6	110.9	288.3	5535
18	卸皿（E）	0.03	0合	7.3	3.9	1.7	8.0	24.0	43	2	47.9	26.6	69.2	5527
19	卸目付大皿	2.77	2升6合	31.7	17.5	6.3	32.3	690.1		2.2	1518.3	766.8	1993.7	
20	卸目付大皿	2.90	2升7合	30.5	23.5	6.1	30.5	899.8		2.2	1979.5	999.7	2599.2	1441
21	片口小鉢	0.10	0合	10.6	5.7	2.8	10.6	73.6		2	147.3	81.8	212.7	
22	片口小鉢2	1.71	1升6合	18.7	14.2	8.6	19.5	502.8		2	1005.7	558.7	1452.6	2385
23	片口鉢（釉有）	2.60	2升4合	31.0	11.6	10.7	31.1	860.0		2.2	1892.1	955.6	2484.6	2456
24	片口瓶（中）	0.67	6合	7.5	7.0	13.4	12.2	250.7		2.1	526.4	278.5	724.1	
25	花瓶Ⅰ	0.02	0合	3.8	3.9	8.6	5.0	59.2		2.1	124.4	65.8	171.1	2959
26	花瓶	0.42	4合	13.9	8.5	14.7	14.0	286.4		2.1	601.4	318.2	827.3	
27	花瓶Ⅲ	0.54	5合	14.4	8.4	16.7	14.5	391.1		2.1	821.2	434.5	1129.7	3188
28	花瓶	0.96	9合	12.2	9.1	23.8	13.0	762.1		2.1	1600.4	846.8	2201.7	
29	花瓶ⅡA	1.50	1升4合	14.2	12.7	26.4	14.6	1006.5		2.1	2113.7	1118.4	2907.8	3044
30	花盆	1.56	1升4合	18.0	11.2	11.2	18.1	541.7		2	1083.3	601.9	1564.9	
31	花盆	6.67	6升3合	28.4	16.0	20.6	28.4	1656.2		2	3312.4	1840.2	4784.5	4534
32	甕	19.78	1斗8升8合	17.8	16.9	39.8	33.6	4131.6		2	8263.1	4590.6	11935.6	2794
33	柄付片口刷毛塗り	0.19	1合	9.8	5.5	5.5	9.8	98.9	216.2	2.1	207.7	109.9	285.7	
34	柄付片口刷毛塗り	1.16	1升1合	16.9	10.3	10.6	17.2	465.1		2.1	976.7	516.8	1343.7	2265
35	柄付片口露胎	0.97	9合	15.1	10.8	9.6	15.4	418.6	800	2.1	879.1	465.1	1209.3	117
36	口広壺	2.12	2升	10.5	9.9	16.5	18.2	655.3		2.1	1376.1	728.1	1893.1	2885
37	合子	0.04	0合	6.4	4.8	2.2	7.6	35.3		2.1	74.1	39.2	101.9	
38	合子	0.08	0合	7.7	5.6	3.0	8.2	54.8		2.1	115.0	60.8	158.1	4936
39	高杯	0.41	3合	13.4	8.3	8.0	13.4	217.6		1.9	413.5	241.8	628.7	
40	小皿鉄釉	0.01	0合	5.9	4.9	1.2	5.9	11.2	15.8	不明	不明	12.5	32.5	
41	小皿d鉄釉	0.14	1合	10.2	6.0	3.6	10.2	77.0	112.6	不明	不明	85.5	222.3	2142
42	小皿e灰釉	0.02	0合	6.7	4.5	1.6	7.2	20.0	37.6	2.2	44.0	22.2	57.7	2230
43	小壺	0.10	0合	4.3	5.1	3.7	8.1	54.6	109.4	2.4	131.0	60.7	157.8	
44	小碗	0.08	0合	8.3	3.6	3.6	8.3	39.0		2	77.9	43.3	112.6	
45	小碗	0.10	0合	9.6	3.5	4.1	9.6	72.0		2	144.0	80.0	208.0	823
46	匣鉢	0.16	1合	8.1	7.5	5.2	8.7	91.6		2.1	192.3	101.7	264.4	
47	匣鉢	1.10	1升	18.6	8.8	9.3	18.9	660.6		2.1	1387.3	734.0	1908.4	
48	匣鉢	3.59	3升4合	19.6	17.6	17.8	20.6	1732.1		2.1	3637.4	1924.5	5003.7	
49	四耳壺	10.69	1斗1合	15.4	14.9	35.9	29.0	3433.2		2.1	7209.7	3814.6	9918.0	2717
50	小天目	0.09	0合	9.7	3.3	3.6	9.7	68.4		2.1	143.6	76.0	197.6	763
51	小天目	0.12	1合	8.7	3.6	5.1	8.7	62.2		2.1	130.7	69.1	179.7	
52	小杯	0.04	0合	7.0	2.9	3.0	7.8	40.9		2.3	94.1	45.5	118.3	4932
53	小鉢	0.10	0合	10.4	3.9	3.5	10.4	80.3		2	160.7	89.3	232.2	
54	小鉢a	0.27	2合	13.3	5.2	4.7	13.4	164.0		2	327.9	182.2	473.7	1921
55	水注	0.20	1合	6.0	6.3	5.7	10.1	129.8		2	259.7	144.3	375.2	
56	水注Ⅳ	0.39	3合	6.4	6.4	8.9	11.4	229.3		2	458.6	254.8	662.5	4363
57	水注Ⅱ	0.79	7合	3.3	8.8	11.6	13.7	352.2		2	704.3	391.3	1017.4	4342
58	水注Ⅰ	0.89	8合	7.0	6.9	17.3	12.9	444.2		2	888.3	493.5	1283.1	4299
59	擂鉢	2.49	2升3合	26.8	20.1	10.5	26.8	706.8		2.3	1625.6	785.3	2041.8	
60	擂鉢C	2.60	2升4合	29.6	12.4	9.3	29.8	822.7		2.3	1892.1	914.1	2376.7	2512
61	擂鉢	2.98	2升8合	31.1	12.4	9.1	31.5	782.2		2.3	1798.9	869.1	2259.7	
62	双耳小壺	0.16	1合	6.1	5.4	5.3	8.9	87.6		2.1	183.9	97.3	253.0	

第33表　実測図から計算した容器の容量・粘土量・重量

番号	器　種	A.容量（ℓ）	B.換算（鎌倉南北朝）	C.口径（cm）	D.底径（cm）	E.器高（cm）	F.最大径（cm）	G.粘土量（cm^3）	H.計測値重量（g）	I.器種に即した比重	J.器種に即した重量（g）G*I	K.成形時粘土量（cm^3）	L.初期重量（g）	遺　物登録No.
63	双耳小壺	0.40	3合	5.2	5.9	9.0	11.1	236.4		2.1	496.5	262.7	683.0	4389
64	端反皿	0.08	0合	9.9	5.1	2.8	10.0	62.6		2.4	150.1	69.5	180.7	
65	端反皿	0.80	7合	20.3	10.5	5.3	20.3	336.6		2.4	807.8	374.0	972.4	
66	茶入	0.08	0合	4.8	3.2	6.3	6.1	60.8		2.4	145.9	67.5	175.5	
67	茶入	0.11	1合	3.2	4.4	6.3	6.8	62.8		2.4	150.7	69.8	181.5	
68	茶入	0.12	1合	3.9	6.3	4.6	8.4	67.9		2.4	162.9	75.4	196.0	
69	茶入	0.20	1合	7.5	5.1	7.5	9.0	121.2		2.4	290.8	134.6	350.0	4595
70	茶壺	6.90	6升5合	10.7	12.8	30.4	22.6	1727.5		2.1	3627.8	1919.5	4990.7	2800
71	中皿	0.38	3合	14.9	7.0	4.7	14.9	188.1		1.8	338.6	209.0	543.4	1905
72	中鉢	0.42	4合	14.4	6.2	5.3	14.4	147.6		2.1	309.9	164.0	426.4	
73	中碗	0.45	4合	15.0	4.9	6.1	15.0	158.4		不明	不明	176.0	457.6	
74	直縁大皿（C）	1.01	9合	20.3	7.0	7.1	20.4	406.8		2	813.6	452.0	1175.2	5360
75	直縁大皿（A）	2.99	2升8合	33.6	12.2	9.2	33.7	1065.6		2.1	2237.8	1184.0	3078.4	
76	直縁大皿（A）	3.35	3升1合	32.6	15.5	8.5	32.6	1120.2		2.1	2352.4	1244.6	3236.0	ii
77	筒形香炉（A）	0.64	6合	13.4	11.2	8.2	13.9	362.7	406.8	2	725.3	403.0	1047.8	3466
78	筒形香炉（B）	0.07	0合	8.4	7.7	4.1	8.5	93.1		2	186.2	103.4	268.8	
79	筒形香炉（D）	0.08	0合	7.6	6.7	4.0	7.7	69.9	107.1	2	139.8	77.7	202.0	iii
80	筒形香炉・段	0.06	0合	7.4	4.1	3.9	7.8	59.9		1.9	113.8	66.5	172.9	
81	筒形香炉・段（A）	0.27	2合	11.8	6.1	4.9	11.8	153.9		2	307.8	171.0	444.6	3833
82	筒形香炉・段（A）	0.35	3合	13.0	7.0	6.4	13.0	215.3		2	430.7	239.3	622.2	
83	筒形香炉・段（B）	0.10	0合	9.0	5.2	4.2	9.0	75.2		2	150.3	83.5	217.1	
84	筒形容器	1.04	9合	14.3	9.9	15.1	14.3	459.4		2.1	964.6	510.4	1327.0	
85	筒形容器Ⅱ	1.80	1升7合	14.9	9.7	16.5	15.1	743.9		2.1	1562.2	826.6	2149.2	4461
86	手付鍋	0.70	6合	13.5	8.1	6.3	15.9	238.1		2	476.2	264.6	688.0	2597
87	天目	0.25	2合	11.7	4.0	5.7	11.7	146.3		1.9	277.9	162.5	422.5	5524
88	天目	0.32	3合	12.3	3.9	6.7	12.3	143.5		1.9	272.6	159.4	414.4	
89	天目	0.35	3合	12.3	4.3	6.4	12.3	122.3		1.9	232.4	135.9	353.3	
90	灯明皿	0.11	1合		5.7	3.5	9.6	70.5		不明	不明	78.3	203.6	4938
91	灰釉天目	0.28	2合	12.9	4.0	5.7	13.2	186.1		1.9	353.6	206.8	537.7	5526
92	灰釉天目	0.30	2合	11.9	4.6	5.9	12.0	100.3		1.9	190.5	111.4	289.6	
93	灰釉天目	0.33	3合	11.3	8.4	6.3	11.3	150.9		1.9	286.7	167.7	436.0	
94	灰釉天目	0.34	3合	12.3	3.9	6.5	12.4	123.1		1.9	233.8	136.7	355.4	
95	袴腰形香炉（ⅡC）	0.07	0合	8.5	5.6	2.6	9.1	67.6		2.1	142.0	75.1	195.3	3453
96	袴腰形香炉（ⅡB）	0.27	2合	11.6	6.2	4.3	12.4	154.3		1.9	293.1	171.4	445.6	3390
97	袴腰形香炉（ⅠB）	0.30	2合	10.3	8.1	6.3	10.7	158.9		1.9	301.9	176.6	459.2	3341
98	袴腰形香炉（ⅡD）	0.02	0合	4.6	4.7	2.1	5.3	20.2		1.9	38.4	22.5	58.5	3465
99	鉢（釉無）	2.75	2升6合	31.3	10.1	8.8	33.8	936.9		2.3	2154.9	1041.0	2706.6	2530
100	八稜皿	0.19	1合	15.5	10.4	2.5	15.5	174.8		2.2	384.5	194.2	504.9	1431
101	平底浅碗	0.19	1合	11.1	5.4	4.0	11.1	80.6		不明	不明	89.6	233.0	726
102	平底末広碗	0.12	1合	9.9	4.2	4.0	9.9	60.4	106.5	1.6	96.6	67.1	174.5	
103	平底末広碗	0.17	1合	11.6	5.3	4.0	11.6	80.0	124.1	1.6	128.0	88.9	231.1	
104	平底末広碗	0.41	3合	12.9	5.4	7.3	12.9	154.3		1.6	246.8	171.4	445.6	731
105	平碗	0.20	1合	11.1	4.4	5.2	11.1	85.9		1.8	154.6	95.4	248.0	
106	平碗	0.25	2合	11.8	4.4	5.7	11.9	128.5		1.8	231.3	142.8	371.3	
107	平碗	0.33	3合	13.3	4.8	5.8	13.3	127.9		1.8	230.3	142.2	369.7	iv
108	平碗7	0.52	4合	16.2	4.6	6.8	16.2	210.7	337.9	1.8	379.2	234.1	608.7	520
109	平碗	0.60	5合	16.5	4.5	7.2	16.5	173.3	314.2	1.8	312.0	192.6	500.8	
110	瓶子	2.39	2升2合	5.0	10.0	24.4	16.4	1042.5	1800	2	2085.1	1158.4	3011.8	
111	瓶子Ⅱ	2.96	2升8合	4.5	9.6	26.1	17.6	1294.3		2	2588.6	1438.1	3739.1	4083
112	風炉	13.64	1斗3升	31.9	19.4	26.5	31.9	2606.8		1.7	4431.6	2896.5	7530.9	
113	風炉	17.44	1斗6升6合	30.6	23.8	23.4	38.4	4131.0		1.7	7022.7	4590.0	11934.0	4507
114	縁釉小皿3	0.05	0合	8.5	3.9	2.0	8.9	39.2		不明	不明	43.5	113.1	1227
115	縁釉小皿	0.06	0合	8.8	7.2	2.3	9.3	53.1		不明	不明	59.0	153.4	
116	縁釉小皿	0.06	0合	10.3	5.4	2.3	10.3	73.0		不明	不明	81.1	210.9	
117	縁釉小皿	0.07	0合	10.3	5.3	2.2	11.2	64.6		不明	不明	71.8	186.7	
118	縁釉小皿1	0.14	1合	12.0	5.9	3.1	12.5	107.3	160.8	不明	不明	119.2	309.9	854
119	縁釉小皿	0.15	1合	11.9	6.1	3.2	11.9	89.8	203.6	不明	不明	99.7	259.2	
120	仏供	0.11	1合	9.3	5.1	5.4	9.3	77.7		1.9	147.6	86.3	224.4	3935
121	ミニチュア皿	0.01	0合	4.8	3.9	1.2	5.1	10.8		不明	不明	12.0	31.2	4986
122	ミニチュア天目	0.00	0合	3.7	1.9	1.5	3.7	6.1	11.4	2.1	12.8	6.8	17.7	
123	ミニチュア天目	0.01	0合	4.2	2.2	1.7	4.2	7.5	13.7	2.1	15.8	8.4	21.8	4965
124	碗形鉢	0.72	6合	19.7	5.5	6.2	19.8	270.5		1.9	514.0	300.6	781.6	
125	碗形鉢	2.16	2升	24.4	7.3	11.1	24.5	611.1		1.9	1161.1	679.0	1765.4	2424

第5章　総　括

第1節　南北朝・室町前期の科野郷の領有形態

伊藤秀紀（愛知県立大府養護学校）

1.1　はじめに

ここでは鷲窯の生産管掌者を文献の上から推定していきたい。ところで、最近『下石西山窯跡発掘調査報告書』の中で藤澤氏が「古瀬戸系施釉陶器」の成立過程について論じている。その中で藤澤氏は『醍醐寺文書』を援用しながら古瀬戸後期段階瀬戸周辺の窯業生産の状況に言及している。

（前略）古瀬戸後期段階には飽津に4ヶ所、瀬戸に2ヶ所の尾張国衙領が存在した。両地区の沖積地の状況をみると、赤津川流域にはやや広い沖積地が展開するものの、農業生産者ばかりの村落で構成されていたとは考えにくく、窯跡の広範な分布状況からすると、この時期の窯業生産は、国衙領の中で行われたとみた方が良さそうである。また、各所領の知行者は、少なくとも14世紀末の段階には、南禅寺・大炊御門・管領畠山基国といった室町幕府中枢部と関係の深い有力者によって占められており、特に施釉陶器生産の中心であった赤津区では、14世紀後葉から15世紀前葉にかけて連続して操業される窯が多く、尾張瀬戸窯における当該期の窯業生産は、幕府による一定の関与のもとに違乱なく行われたものと思われる。（藤澤，2004，p.235）

瀬戸・赤津地区で14世紀後葉から15世紀前葉の古瀬戸後期段階に窯業が国衙領内で行われ、そこは室町幕府中枢の関係者が知行し、幕府がそれに一定の関与をしていたと要約できよう。筆者はこの藤澤氏の考えを参考にしながら、鷲窯のあった瀬戸の品野地区について検討していきたい。

さて、瀬戸市鳥原町に所在する鷲窯は、中世後期には科野郷に属していたと考えられる[注1]。『角川日本地名大辞典　23愛知県』では「[中世] 科野郷　室町時代に見える郷名。尾張国春日部郡のうち[注2]」で、『醍醐寺文書』・『建内記』を引きながら、この土地が（熱田）神領、国衙領（醍醐寺領[注3]）、長講堂領という3つの所有形態を持ち、「長講堂、熱田社、醍醐寺が科野郷をどのような形で領有していたかは明らかでない」と記述している（『角川日本地名大辞典　23愛知県』，1989。以下『角川地名』と略称）。そこで、まず長講堂領、尾張国衙領、熱田座主領[注4]のそれぞれについて詳細に検討したい。そして、鷲窯周辺の状況がわかる鎌倉・江戸時代の史料をも参考にしながら、筆者なりの結論を出すことにする。

1.2　長講堂領科野郷

正長元（1428）年5月19日、将軍家家督を継承したばかりの足利義教（義宣）に万里小路豊房が不知行所領のことで直訴を行った。先例がないということで義教から訴状を返されると、豊房は奉行人の指名を懇願する。そのときの「通常の訴訟手続きでは時間がかかる」という言葉が義教の不興を買い、義教になじられることで豊房の直訴は終わってしまう。この間の事情は桜井が詳細に説明している（桜井，2001）。2日後、豊房の弟万里小路時房はこの兄の行動を記録し「招武人之嘲哢、公家之瑕瑾者乎」と評した。ま

た、豊房の不知行所領備中河邊郷以下の５カ所についても略述している。時房がこの件を記録したのは兄の行為を馬鹿にし、さらに不知行所領５ヶ所返付要求自体の不当性[注5]を示すためのようである。

この不知行所領のうちの１ヶ所が長講堂領科野郷である。

1.2.1 長講堂領の伝領

建久２（1191）年後白河法皇は六条殿に設けた持仏堂に所領の寄進を行う。これが200ヶ所近くに及ぶ膨大な皇室領荘園長講堂領のもととなった。鎌倉後期に皇統が持明院統と大覚寺統に分かれると長講堂領は持明院統の重要な財源となり、南北朝期には引き続き北朝の所領となった。

正平６（1351）年南朝によって光厳上皇・崇光天皇らが賀名生に移されると、光厳上皇の妃広義門院がこれを管領することになった。一方、幕府は崇光天皇の弟をたてて後光厳とし、南朝に対抗した。

延文２（1357）年に光厳法皇らが帰洛すると、北朝内でも皇統が崇光、後光厳の２つの系統に割れる。その中で長講堂領はひとまず崇光上皇が管領することになった。

応永５（1398）年に崇光上皇が崩御すると、後光厳の孫である後小松が長講堂領を没収し自分の管領下においた。

しかし、正長元(1428)年後光厳の曾孫称光が崩御して崇光の曾孫後花園が即位し、さらに永享５（1433）年後小松院が没することで長講堂領も後花園の管領するところとなった。

なお、長講堂領の目録には建久２（1191）年、貞応３（1224）年、文永11（1274）年頃、応永14（1407）年、応永20（1413）年のものがある（奥野，1988：横井，2002)。

『建内記』の記事に近い室町前期の応永14（1407）年の「宣陽門院領目録写」（『八代恒治氏所蔵文書』）及び応永20（1413）年の「長講堂領・法金剛院領・熱田社領・播磨国衙別納目録写」（『京都御所東山御文庫記録』）いずれにも科野郷の名は載っていない。

1.2.2 万里小路豊房の領有時期

万里小路豊房は嗣房の息子であるが、実際は嗣房が子供に恵まれず甘露寺兼長の子を養子にしたものである。その後時房が生まれたため、家内で家督相続の問題が起きた。生没年は未詳であるが、『公卿補任』などを参考にすると、応永５（1398）年五位蔵人で公卿の列に上り、同20（1413）年権中納言を辞し、同27（1420）年出家している。

ところで、『建内記』の科野郷の記事には「中納言入道直拝領之地也、而陸沈之刻、被宛行藤宰相入道永藤卿了」と注してある。誰から「直拝領」されたか記述はないが、不知行所領関係の他の記録がすべて勝定院義持が行ったことなので、義持から拝領されたものと考えられる。そのために、その拝領時期は義持が将軍位を継承した応永元（1394）年以降となるが、義持が実権を握るのは義満没後なので応永15（1408）年以降まで下るであろう。また、豊房が職を辞して出家するまでに官位の下降は見られない。したがって、豊房が科野郷を取り上げられて高倉永藤に与えられたのは同27（1420）年以降、正長元（1428）年以前となる。

以上から万里小路豊房が科野郷を領有していたのは、長くとっても応永年間（1394～1427）であろう。また、前述のように長講堂領の本家職は皇室にあるので、豊房はその領家職を所持したものと思われる。残念ながら豊房以前の所持者についてはわからない。

1.2.3 長講堂領としてのまとめ

『建内記』正長元（1428）年５月21日の条に科野郷が長講堂領として記述されている。その領家職（？）は応永年間（1394～1427）頃、おそらくその後半期に万里小路豊房が所有し、正長元（1428）年までには高倉永藤が所有することになる。本家職は、鎌倉後期から持明院統が有していた。

正平６（1351）年、光厳・崇光らが賀名生に移されたことが契機となって持明院統内が崇光・後光厳の２系に分かれると、ひとまず崇光の系統が管領する。

応永５（1398）年に後光厳の系統に渡るが、永享５（1433）年には正式に崇光の系統に戻る。ただし、科野郷が長講堂領として記録されるのは『建内記』のこの記述だけである。

1.3 国衙領科野郷

応永９（1402）年５月、尾張国目代光守は国衙一円進止地と国衙正税地の内守護斯波義重の違乱を受けている地を書き上げて報告した。これを受けて翌10（1403）年８月足利義満は御教書を出し、年貢を払わない地は直知行にするとして年貢の支払いを命じている。守護斯波義重は守護代織田常松に年貢の支払いを命じ、さらに同年同月守護方から改めて違乱の地を書き上げて報告している。この目代と守護方の書き上げた国衙一円進止地の中に科野畠がある（『醍醐寺文書』）。

1.3.1 一円進止地

国衙一円進止地と国衙正税地とはどのようなものか。

南北朝期の尾張国衙領は、国衙領主の支配が直接及ぼされる「国衙一円（進止）之地」といわれた所領と、地頭がおかれ、請所契約などによって実質的に国衙所務が地頭に一任された「国衙正税之地」とから構成されていた。現地に派遣された目代が両者をあわせて統括した。

「国衙一円之地」については在庁らが実務にあたり、在庁有安（税所）と成岡がそれぞれ５町、国掌３人がそれぞれ１町ずつの給田を与えられている。所領は基本的には在庁名を含む名からなっている。（中略）尾張国衙領の名は後述するように領主的名であって、著しい散財性をその特徴としているが、名を構成する田地は条里制施行地域に分布し、畠地はその周辺部に成立したと推定される村に包括されているというのが、名の基本的なあり方であった。したがって名から構成される国衙一円之地は、尾張平野の中でも早くより開発のすすんだ安定度の高い水田地域を中核としながら、新たな開発地である村の中の畠地をも含みこむ形をしている。（中略）

「国衙正税之地」を構成するのは基本的には郷・保であるが、前者と同様14世紀半ばには、名・村・社など多様な所領が加えられており、絶えず新しい所領を内より創出したり、あるいは包括しながら国衙領が形成されてきたことを示している。これら郷・保・村の所在地は、中嶋郡を中心としながら海西を除く８郡に及び、ほぼ尾張全域にわたって分布していた。（中略）

南北朝期に見る「国衙一円之地」・「国衙正税之地」は、（中略）国衙直領と中世的郷・保にそれぞれ対応するものといえよう。この２つの構成は、下っては15世紀初頭まで確認できるが、斯波氏の守護着任後の国衙領支配により、両者は本質的な区別を失い、一律に再編成されていった（上村，1990，p.393・

394)。科野畠は国衙一円進止地であるから、国衙領主が直接支配する地であることがわかる。

1.3.2 尾張国衙領主醍醐寺三宝院

南北朝・室町前期の尾張国の知行国主は建武3（1336）年以降光厳院近臣柳原資明が確認される（『円覚寺文書』）。その後文和2（1353）年頃[注6]からは醍醐寺座主賢俊に引き継がれた。二人は兄弟なので、兄弟間での相続となったのであろう。その後応仁2（1468）年までは三宝院の所領目録に「尾張国々衙」が記載されている（上村，1977，1990）。

ところで、本節の最初にあげた目代および守護方の書き上げには「竹河土（割注：同じく科野畠・有里畠）　給人津田中務」とある。この給人は「半済給人」で斯波氏が自分の被官をこの国衙一円地に付したことが認められれる。そのため、この時点では年貢の収取も守護・半済給人に左右されるようになっていた（田沼，1965：永原，2000）。さらに、その後の応永34（1427）年に初任検注[注7]が行われるが、その経過は次のようであった。将軍が醍醐寺に承認の御教書を発し、その後管領から守護、そして守護代へ、さらに又代へ実施命令が伝達されることではじめて初任検注料が徴収された。このことからこの時には守護が国衙の機能を掌握していたことがわかる（上村，1977）。

1.3.3 国衙領としてのまとめ

尾張国衙領は建武3（1336）年までには柳原資明が領主となっていたが、その死後文和2（1353）年頃には弟三宝院賢俊が伝領した。その後は醍醐寺三宝院領として相承され、応仁2（1468）年まで領有が認められる。また、科野郷は国衙一円進止地として領主の直接支配を受けてきた。しかし、斯波氏が尾張守護となった応永9（1402）年頃には半済給人が任命され、彼らが年貢の収取に当たったが、国衙の機能はまだ残っていた。それが応永34（1427）年頃には守護が国衙の機能を完全に掌握する状態になった。

1.4 熱田座主領科野郷

明徳元（1390）年、醍醐寺座主宗助は崇光院によって熱田座主職に補任される。宗助はこれを根拠に室町幕府を通じて尾張守護土岐満貞に、土岐美濃守頼世（頼忠）の代官頼益を座主領から退かせ自分の雑掌に沙汰付けするように命じさせた。そして、翌2（1391）年に宗助は熱田座主として、一度楠王丸に与えた熱田社座主分領の内英比郷以下7ヶ所の所領を召し返させ改めて自分の雑掌に沙汰付けさせている。この7ヶ所のうちの1ヶ所として科野郷の名が現れる（『醍醐寺文書』）。

1.4.1 熱田社領

熱田座主については後に詳述するが、座主領は熱田社領の一部であった。熱田社領も持明院統の有力な所領の1つであった。その伝領は前述の長講堂領とほぼ同じであるが、違うところだけを説明していきたい。正平6（1351）年、光厳院・崇光天皇が賀名生に移された時には後光厳天皇の管領下に置かれた。また、永享5（1433）年に後小松院が没すると、熱田社領は後花園の父伏見宮貞成に譲与された（小島，1979：上村，1998）。

1.4.2 土岐美濃守頼世

土岐氏は南北朝期に力を伸ばし、土岐美濃守頼世の兄頼康の代には美濃・尾張・伊勢三国の守護となった。頼世は池田（岐阜県池田町）を号したが、文和 4 （1355）以来富田荘を繰り返し押領していた。また、その子頼益も萱津を号していることから、彼らは頼康が尾張守護の時代にすでに富田荘周辺に地盤を築いていたと考えられる。嘉慶元（1387）年頼康が没すると、一族の間に内訌が起きた。同 2 （1388）年、頼康の後を継いだ康行の助勢を得た詮直と尾張守護となった満貞は尾張黒田宿で合戦に及んだ。これを機会に将軍義満は土岐氏の勢力を削ごうと康行の追討を命じる。明徳元年（1390）年閏 3 月美濃小島城が落ち、康行は北国に没落して土岐氏の乱は終わった。この間、頼世・頼益父子は幕府側に立って戦い、頼益は尾州古井などで敵を亡ぼしている（谷口，1989：村岡，1998）。

ここで改めて土岐頼世と座主領の関係を考えてみたい。まず、座主領の沙汰付けが土岐氏の乱終結直後であることから、頼益の戦乱名目の押領が考えられよう。が、宗助は新たに熱田座主職に補任されたことを根拠に土岐頼益の退去を求めている。したがって、頼世は押領などではなく座主職に関わる支配の根拠を有していたものと思われる。座主職は宗教的行事を執り行わなければならないので、頼世自身が補任されたとは思われない。頼世の親族か尾張に地盤を持たない人物が座主に補任され、頼世が年貢の収取を請け負ったのではなかろうか[注8]。

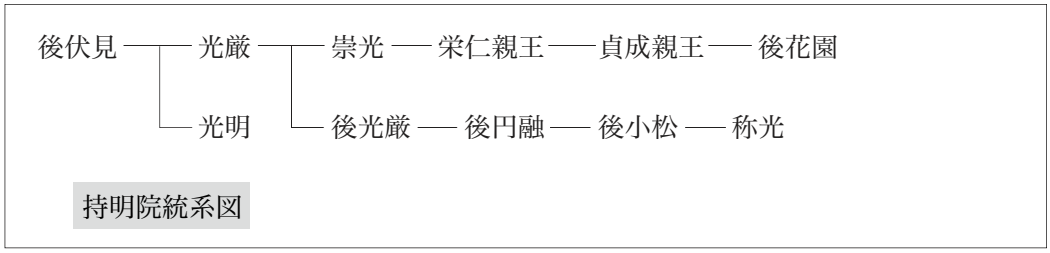
1.4.3 熱田座主職

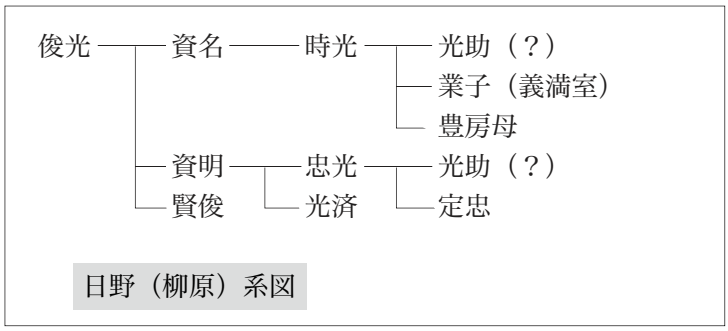
熱田神宮寺は熱田神宮に付属した寺院である。現在の八劔宮の北にあり、享禄年間（1528～32）の絵図では本堂・五重塔・多宝塔等の堂塔が見られた。明治元（1868）年に廃寺となる（小島，1979）。

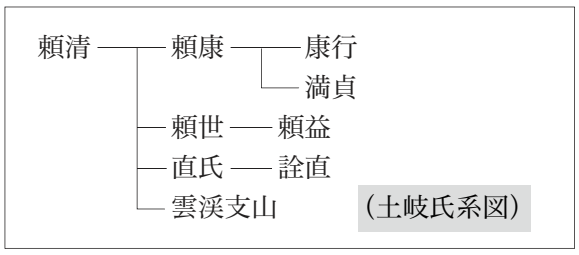
座主は、神宮寺の寺務統轄者の職名である。（中略）座主は中世においては寺務にとどまらず正月 5 日から10日までおこなわれる修正会と11日の踏歌神事の後で尾張国内神名帳を奉唱し、また遷宮にあたっては御護の供奉役につくなど、熱田社の神事においても重要な役割をつとめていた。（中略）神仏習合のこの時代にあっては、大宮（熱田社本宮）において法華経を誦読したり、八劔宮で最勝王経を説くなどといったことが日常的にも行われていたのである。（中略）

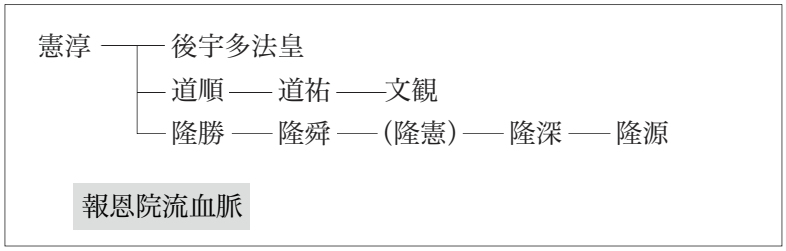
座主職の補任は、さきの崇光院院宣の例にみるように、本家によっておこなわれており、職の体系のうえでは大宮司と同等の扱いを受けていた（上村，1998，p. 404・406）。

では、その座主職はどのように継承されたのであろうか。上村は、鎌倉後期には執権北条経時の子である醍醐寺理性院頼助が兼帯し、その後醍醐寺報恩院隆勝の兼帯が考えられる。さらに明徳元（1390）年には醍醐寺座主（理性院）宗助が補任されているため、鎌倉後期から南北朝期には醍醐寺が座主を兼帯した。その後応永19（1412）年には智恩院隆秀が補任されていることからこの頃には醍醐寺との関係が失われ、やがて如法院に移ることになると考えている（上村，1998）。以下に醍醐寺内の動きを検討しながら熱田座主職についてもう少し詳細に見ていきたい。









1.4.4 醍醐寺三宝院

醍醐寺三宝院は真言宗小野流の正統と見られ、また醍醐寺座主職を門跡である賢俊、満済を出すことで室町幕府の政務に深い関わりを持った。その「三宝院門跡」の確立過程を藤井（藤井，2002）、森（森，2004）などが追っている。

鎌倉後期には三宝院の地位は不安定で、諸院家が三宝院流嫡流をめぐって争っていた。永仁２（1294）年には伏見天皇が綸旨で報恩院憲淳に一門を統括させ、報恩院が嫡流であると認識させることになった。

徳治２（1307）年後宇多法皇は憲淳に三宝院流の付法を得るが、一方憲淳は弟子隆勝を正嫡とした。そのため、法流が後宇多・後醍醐が後見する道順－道祐－文観と鎌倉幕府を後見とする隆勝－隆舜に分裂してしまう。建武政権成立時には報恩院文観が後醍醐天皇の庇護のもとに権力を伸張するが、その崩壊とと

もに文観の一流は南朝方に走り多くの院家が闕所となった。

文和２（1353）年、後光厳天皇はこれらの院家を賢俊に管領させた。賢俊は理性院に宗助を報恩院に隆憲をいれて院務を執らせることで、これらの院家を三宝院の支配下に入れた（藤井，2002：森，2004）。

以上から、熱田座主職が頼助から隆勝に伝わったとすると、その後文和２年（1353）頃には賢俊が所持したものと考えられる。

藤井は、その後「光済・光助期には三宝院門跡による座主職の独占に対して地蔵院や報恩院の反発がみられるものの、それらを押さえて、満済の頃には武家との関わりを背景に醍醐寺内における三宝院門跡の立場を確立した」（藤井，2002，p.32）とする。しかし、理性院宗助が10年近く醍醐寺座主に補任されている[(注9)]。至徳２（1385）年自身の「懇望」によって醍醐寺座主に補せられ（『醍醐寺新要録』）、明徳５（1394）年に「非儀不法」を訴えられて座主職を退いた（『三宝院文書』）。なお、彼は康暦元（1379）年、光済が入滅直前東寺一の長者を辞するとその職を「所望」し、一の長者にも補せられている（『醍醐寺新要録』）。前述のように、賢俊は理性院・報恩院などを三宝院門跡の支配下に置こうとして弟子の宗助などに院務を執らせた。しかし、宗助は光済と同一の立場に立って賢俊を継ごうとしたと考えられれる。宗助が熱田座主職に補任される前年の嘉慶３（1389）年に、宗助の前の醍醐寺座主職であった光助が没している。

熱田座主職も三宝院門跡とともに賢俊、光済、光助と伝わり、一度は他者に渡ったものを他の職などと同様に宗助が補任を求めたのではなかろうか。

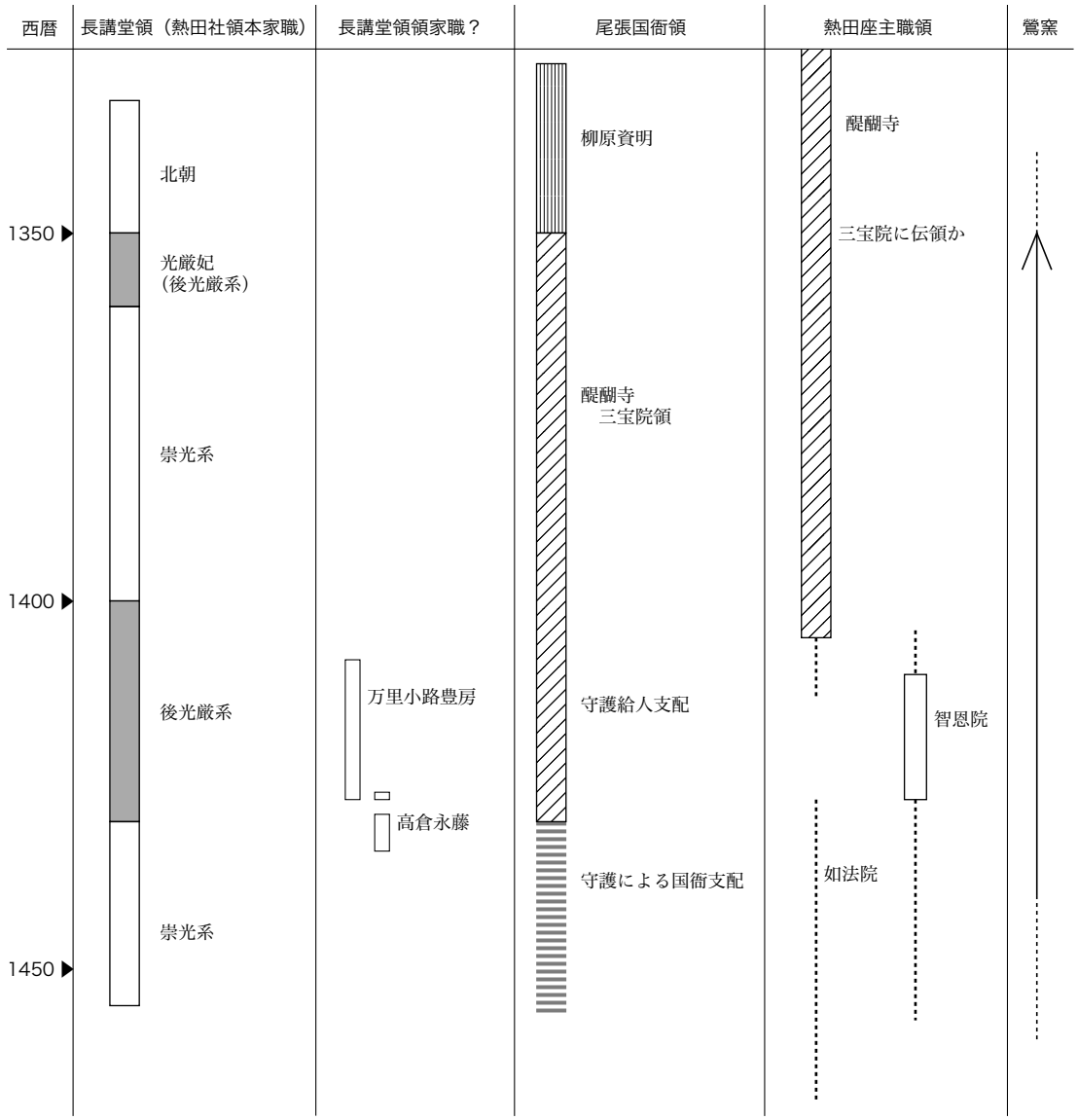
ところで、宗助の強引な職の要求には反発が持たれたことと思われる。醍醐寺座主職は前述のように明徳５（1394）年には辞することになった。熱田座主職も、応永12（1405）年の宗助の弟子宗観への譲与状には現れない（『醍醐寺文書』）。また、応永25（1418）年に将軍義持が満済に三宝院門跡領を安堵するが、ここにも熱田座主職のことは記述されていない。この時点までには座主職は醍醐寺から離れたようである。

応永19（1412）年には熱田座主智恩院隆秀が熱田社領英比郷を押領したとの訴えの記録がある（上村，1998『京都御所東山御文庫記録』）。これによれば智恩院の押妨は応永17（1410）年からはじまったとしているので、この頃には座主職は智恩院に移ったようである。その後については、応永34（1427）年に智恩院にかえて永信阿闍梨を熱田座主に補任する奉書写が如法院旧蔵文書のうちにある。上村はこの文書に疑いを持っているが、天文19（1550）年には確実に如法院が熱田座主職を所有していた（上村，1998『張州雑志』）。

1.4.5　熱田座主領のまとめ

熱田社領の本家職は長講堂領の伝領とほとんど同じであった。

熱田座主職は鎌倉後期に醍醐寺に帰し、その後文和２（1353）年頃には三宝院に伝領したものと思われる。しかし、早ければ明徳５（1394）年に宗助が醍醐寺座主を辞するころ、遅くとも応永12（1405）年には醍醐寺との関係は失われたと思われる。応永17（1410）年までには智恩院に所有され、その後如法院に帰することになる。その時期は早ければ応永34（1412）年である。



第 34 表　科野郷領有者変遷表

1.5　鎌倉・江戸時代の史料に見る鶯窯周辺

これまでは南北朝・室町前期の科野郷という瀬戸市西北のかなり広い範囲の様子を見てきたが、ここではそれ以前、以後の史料から鶯窯周辺の様子を見ていきたい。

文永 3（1266）年に山田次郎重泰が熱田宮座主民部卿の山田郡内鳥原村への押妨を訴えている（上村, 1998『千秋家文書』）。「鳥原」の地名は『角川地名』では昭和40年成立の鳥原町しか項目に上がっていない。しかし、江戸時代には中品野村の枝村で、鳥原川の北、八幡社の周辺を指していた（『張州雑志』など）。したがって、この鳥原村が鶯窯の周辺であることは間違いない。ただし、『角川地名』に見るように、以後の文献にその名が現れず、科野郷との関係も、熱田座主と山田重泰の間で鳥原村がどうなったかもわからない。

江戸時代の地誌などでは中品野村には八幡社の他に八剱社もあり、この社の創建は不明ながら永禄元（1558）年には松平監物によって修復されている。あるいは南北朝期にまでさかのぼりえないであろうか。また、寺院としては曹洞宗の洞谷山浄源寺がある。これは赤津雲興寺末で、雲興寺の２代天先祖命が後花園天皇の享徳・長禄（1452～1460）の頃、あるいは永享２（1430）年中興開山したと伝えられる（『張州雑志』）。ただし、永享２（1430）は天先が雲興寺を譲られた年であり、浄源寺が天先の隠居寺であるとの伝えから[注10] 15世紀中葉以降の中興開山と考えた方がよかろう。したがって、浄源寺は鷲窯のすぐ近くにあるが、年代から見て鷲窯と直接関係があったとは思えない。あるいは前身寺院が鷲窯の稼働に関わりを持ち、天先が入る頃には衰亡していたのであろうか。

1.6 結　論

今までのところをまとめ、鷲窯の操業時期と対比させたものが第34表である。これから見て、まず長講堂領、熱田社領の本家職である皇室と長講堂領領家（？）と鷲窯の操業とは関わりがないようである。熱田座主との関連も認められない。国衙領主でいえば、醍醐寺三宝院の尾張国衙支配の開始と窯の創業時期が重なる。しかし、醍醐寺の尾張国衙領の直接支配は15世紀初めまでで以後斯波氏給人の支配にかわるが、鷲窯は操業を続けている。

また、鎌倉後期に熱田座主が鳥原村を押妨したことや八剱社の存在から、鷲窯の周辺はむしろ熱田座主との関わりが想定される。

以上から、筆者は次のように考えたい。鎌倉後期から鷲窯周辺は醍醐寺の支配下にあった。14世紀中葉には国衙領も合わせ科野郷のかなりの部分が醍醐寺の支配下に入る。瀬戸の他の国衙領から窯業生産の情報が入ることで鷲窯の操業を開始する。15世紀初めには座主職は移動するが、在地での支配は斯波氏給人が行い鷲窯の操業は継続される。鷲窯が廃棄されるのは斯波氏の尾張支配との関わりで新たに検討する必要があろう。

注

（注１）鎌倉時代には「鳥原村」という地名が現れるが、これと「科野郷」との関係などは未詳。後に触れる。

（注２）中世末までは瀬戸市域は山田郡であった（上村，1998）。

（注３）14世紀中葉以降尾張国の知行国主は醍醐寺三宝院であった。この点は後に詳述する。

（注４）科野郷は厳密にいえば熱田社領のうち神宮寺座主が領有する熱田座主領であった。この点も後に詳述する。

（注５）所領５ヶ所のうち３ヶ所が時房と関係している。備中河邊郷は本来時房の家領であったが豊房が文書を横領し揉めていたため義持が珎蔵主に与えた、近江国三田村郷は時房が知行しておりその事情は以前に記録した、讃岐国国衙も時房が知行し同様に記述済みであると記録している。豊房、時房の不和については後述する。

（注６）田沼は尾張国衙領が醍醐寺三宝院領となったのは『醍醐寺文書』に国衙領に関する最初の史料が文和２（1353）年に現れ、国衙領の構造を窺わせる基本史料もこの年に集中することから文和２年と考えている（田沼，1965）。また、『愛知県史』資料編８では、『賢俊僧正日記』の文和４（1355）年１月の記事に「尾張・美乃の去年の正税の済否を注進する」とあることから前年の文和３（1354）年としている。

（注７）国司の代替わりごとに行われる検注。この時期には単なる名目で、検注料という臨時収入の徴収にすぎなくなっていた（上村，1977）。

（注８）頼世の兄弟に相国寺５世雲渓支山がいる。彼のとりなしで頼世が美濃守護に補任されている（谷口，1989）。また、これが土岐氏の乱の直後なので、敵の調伏祈祷の恩賞なども考えられよう。

（注９）宗助の醍醐寺座主就任はなぜか座主の系譜には記録されていない。また、藤井は至徳年中（1384～87）、報恩院隆源が座主職に執着を示したことを報恩院隆源置文土代を引いて記しているが（藤井，2002）、この時の座主は光助ではなく理

性院宗助ということになる。だからこそ隆源が座主職に執着したのかもしれない。
（注10）天先祖命が没したのは長禄２（1458）年である。

史　料

『円覚寺文書』（『新編一宮市史』資料編６）一宮市，1970.
『京都御所東山御文庫記録』（『阿久比町誌』資料編６）阿久比町，1992.（『新編一宮市史』資料編６）一宮市，1970.
『賢俊僧正日記』（『愛知県史』資料編８）愛知県，2001.
『公卿補任』（新訂増補国史大系）吉川弘文館，1981.
『系図纂要』名著出版，1973～99.
『建内記』『大日本古記録』岩波書店，1962３～86.
『三宝院文書』（『大日本史料』第７編の３）東京大学，1930.
『千秋家文書』（『愛知県史』資料編８）愛知県，2001.
『尊卑分脈』（新訂増補国史大系）吉川弘文館，1980.
『醍醐寺新要録』京都府教育委員会，1951～53.
『醍醐寺文書』（『新編一宮市史』資料編６）一宮市，1970.
『張州雑志』愛知県郷土資料刊行会，1976.
『八代恒治氏所蔵文書』（『新編一宮市史』資料編６）一宮市，1970.

辞　典

『角川日本地名大辞典　23愛知県』，1989.
奥野高広「長講堂領」（『国史大辞典』第９巻），1988.
小島鉦作「熱田神宮」「熱田神宮寺」（『国史大辞典』第１巻），1979.
谷口研語「土岐氏の乱」（『国史大辞典』第10巻），1989.

著書・論文

上村喜久子「尾張国衙領」（『新編一宮市史』本文編上）一宮市，1977.
「尾張国衙領」『東北・関東・東海地方の荘園』（『講座日本荘園史』５）吉川弘文館，1990.
「郡の改廃と変質」「中世の熱田社領」「熱田大宮司と社家組織」（『新修名古屋市史』第２巻）名古屋市，1998.
桜井英治『室町人の精神』（『日本の歴史』12）講談社，2001.
田沼　睦「国衙領の領有形態と守護領国制」『日本史研究』80，1965.
永原慶二『荘園』吉川弘文館，1998.
藤井雅子「南北朝期における三宝院門跡の確立」『日本歴史』645，2002.
藤澤良祐「『古瀬戸系施釉陶器窯』の成立過程」『下石西山窯跡発掘調査報告書』土岐市教育委員会，2004.
村岡幹生「守護領国制の形成」（『新修名古屋市史』第２巻）名古屋市，1998.
森茂　暁『満済』ミネルヴァ書房，2004.
横井　清『室町時代の一皇族の生涯』講談社，2002.

第２節　遺構の変遷について

１．はじめに

窯業遺跡の遺構は他の遺跡以上に立地する地形に制約される。制約された地形の中に効率のよい作業空間をいかに造り出すかが重要な点である。勿論その前に候補地域の中から適した場所の選定があってのことである。作業空間の確保は斜面をいかに利用するかに関わっており、斜面を削平し平坦な広い面や竪穴状の狭い平坦な面を造り出している。

２．遺構の立地

鷲窯跡（第129図）においては、斜面の中腹、斜面の中でもややなだらかな斜面と窯体の上部の尾根と尾根の直下に平坦な面を造り出している。窯体１基に窯体のまわりに工房跡と考えられる平坦な面を11ヶ所確認している。いずれも斜面を削平し平坦な面を造りだしているが、SX01のＡ・Ｂ・Ｃの前面のみに広い平坦面が見られる。そしてSX01のＤでは竪穴状の遺構で柱穴も検出され、簡単な覆いのある上屋が考えられる。

工房跡は構築された位置から大きく３群に分けることができる。

１群は、SX01・02・08・11で、SY01の西側の南向き斜面を、削平し構築している。

２群は、SX06・07・09・10で、SY01の東側の南向き斜面を、削平し構築している。

３群は、SX03・04・05で、SY01の北側の尾根または尾根直下の南向き斜面を、削平し構築している。

工房跡の床面積（概数）を一部であるが見てみるとSX01-Aは3.71㎡、SX01-Bは3.91㎡、SX01-Dは4.44㎡、SX02は4.74㎡、SX03は2.09㎡、SX04は1.65㎡、SX05は2.96㎡である。

そして、土坑も６ヶ所確認した。SY01の東側にSK01・02の２ヶ所とSY01の南側の前庭部に４ヶ所、西側からSK09・04・08・12である。

３．工房跡の見られる窯跡

鷲窯跡のように窯体周辺に平坦な面が見られる窯跡は、瀬戸市内では暁窯跡（第126図）と小長曽陶器窯跡（第127図）が、岐阜県では土岐市の下石西山窯跡（第128図）において見られる。暁窯跡では広い平坦な面が、小長曽陶器窯跡ではやや狭い平坦面が、下石西山窯跡では広い平坦面と狭い平坦面が見られる。

４．出土遺物から見た工房跡

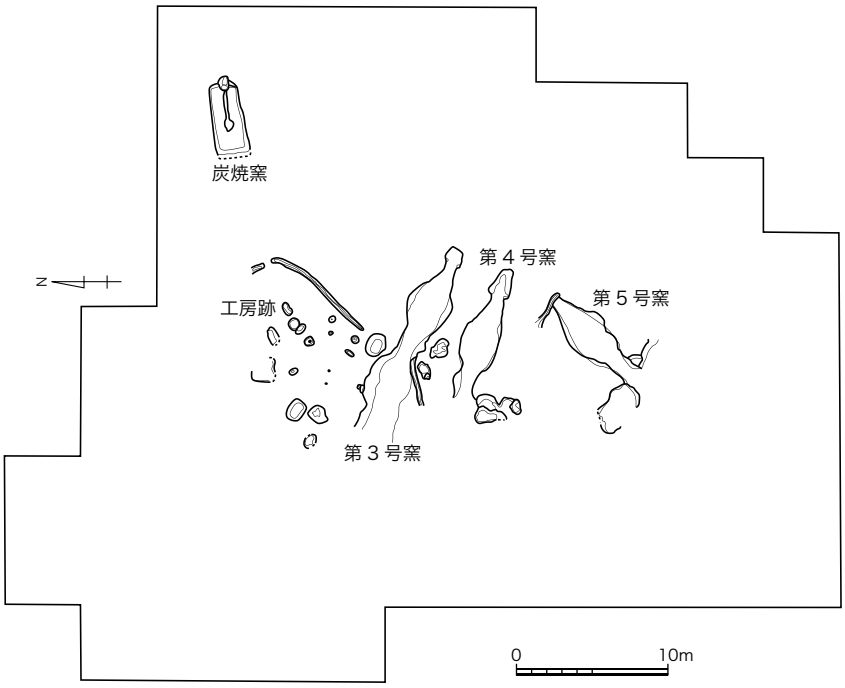
斜面を削平し造り出した遺構内出土遺物は、遺物の出土点数の多いものと少ないものがある。この遺物出土点数から遺構内での推定される作業内容を想定した。

出土遺物が多い工房は、素地の作成から成形などの作業が頻繁におこなわれていた場所、出土遺物が少ない工房は、成形後の未製品乾燥場所や焼成後の製品の一時的な仮置きの場所、倉庫として利用されたと考えられる。このような場所を「制作・選別等の作業場」と「一時的な集積・保管場所」との二つの作業

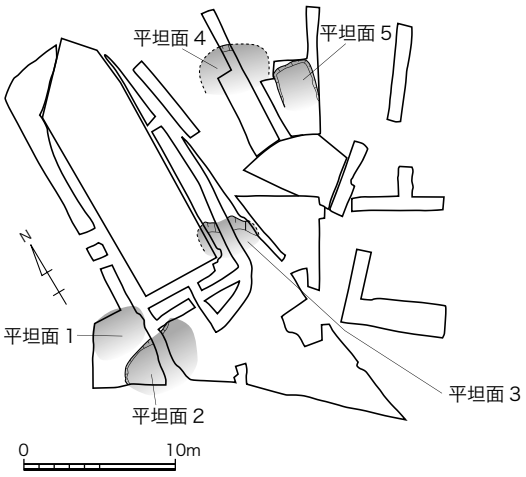
空間とに限定し、遺構の検討を試みたものである。

『窯体』を中心に、『作業場』と『保管場』を一対のものとして捉えた。

『作業場』では、轆轤ピットとそのまわりに粘土が散乱し、あるいは粘土が集中したりする。焼土と炭が広範囲に見られる。遺物の出土量が多い。つまり製品の制作から完成に携わる一連の作業が、あるいは



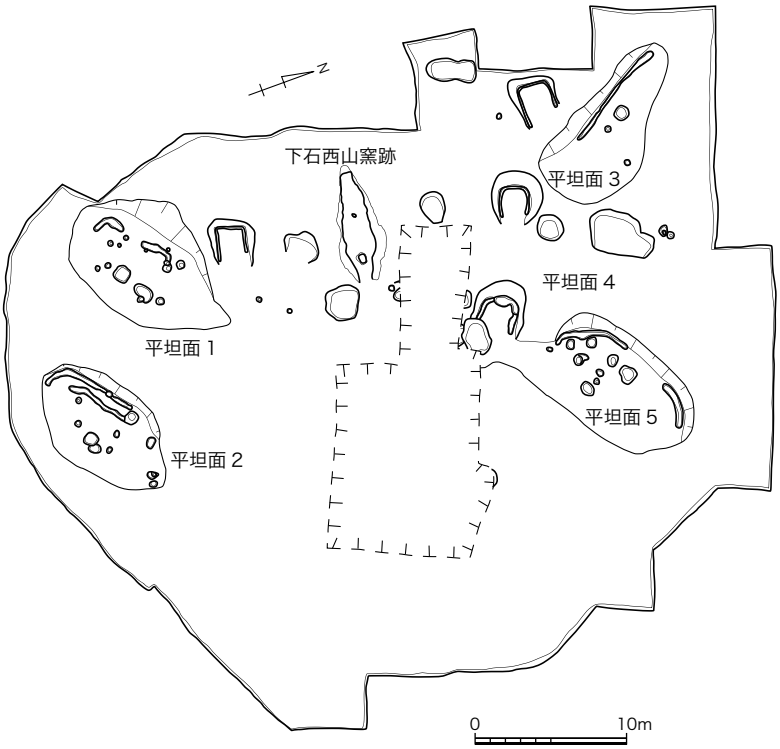
第 126 図　暁窯跡遺構位置図



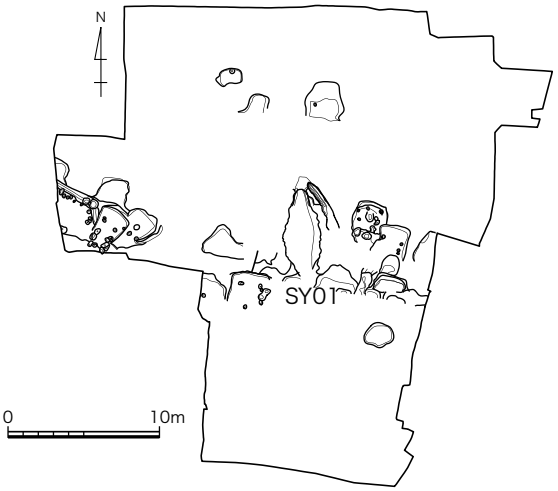
第 127 図　小長曽陶器窯跡遺構位置図

作業の一部が、主となって行われた場所である。鷺窯跡では轆轤ピットは検出できなかった。

『保管場』では、粘土・焼土・炭が少量見られる。遺物の出土量が少ない。製品等の仮置きとしての場、言い換えれば倉庫としての場所である。焼土や炭については床面の湿気抜きや製品の乾燥が考えられる。



第 128 図　下石西山窯跡遺構位置図



第 129 図　鷺窯跡遺構位置図

一方遺構にはSXの他にSKとした土坑も見られ、SXの基底面が水平な床面となっているのに対し、水平ではなく凹みとなったものが土坑である。遺物の出土量が多く、種類も豊富で『廃棄土坑』と考えた。

遺物の出土点数と焼土・炭化物・粘土の面的な広がり等から、遺構を『作業場』と『保管場』に区別し、これに『廃棄土坑』を加え、窯体１基と工房２ヶ所と土坑（廃棄土坑）を基本構成として、斜面に築かれた窯の左（西側）右（東側）に工房を、前庭部前方に廃棄土坑を、廃棄土坑を境に下方に物原が形成される景観を想定し、遺構の変遷（第130図、第131図）を試みたものである。なお、各期の当該遺構（濃いスクリーントーン）はそのまま次の時期にも機能していたものと考えている。

５．Ⅰ期について

Ⅰ期は、SX07、SX08、SX11、SK08である。

出土遺物の中に、地山直上から出土した片口鉢粗がかなり多く含まれることと、締め腰形の瓶子もあることから、一番古い段階とした。各遺構について、出土遺物の破片点数と器種数、多い器種二つの点数を見る。SX07からは25点の13器種で平碗６点、直縁大皿３点。SX08からは99点の８器種で、折縁・直縁68点、折縁深皿17点。SX11からは150点の27器種で、卸皿23点、片口鉢無釉粗20点。SK08からは142点の23器種で、平碗39点、片口鉢無釉粗16点。

窯を中心に、前庭部西側にSX11『作業場』とSX07『保管場』が、前庭部東側にSX07『保管場』が、前庭部の前方にSK08『廃棄土坑』がある。窯体は焼成室の上半部の一部が残存していた。SX08もSX11と同様に作業場と思われる。

６．Ⅱ期について

Ⅱ期は、SX02、SX06、SK12である。

出土遺物の中に、地山直上より出土した片口鉢粗が１期に比べ少ないが遺物の中に含まれることから２期とした。出土遺物の破片点数と器種数、多い器種二つの点数を見る。SX02からは19点の９器種、平碗７点、水注３点。SX06からは435点の28器種、平碗95点、折縁・直縁69点。SK12からは55点16器種、折縁・直縁10点、卸皿８点。

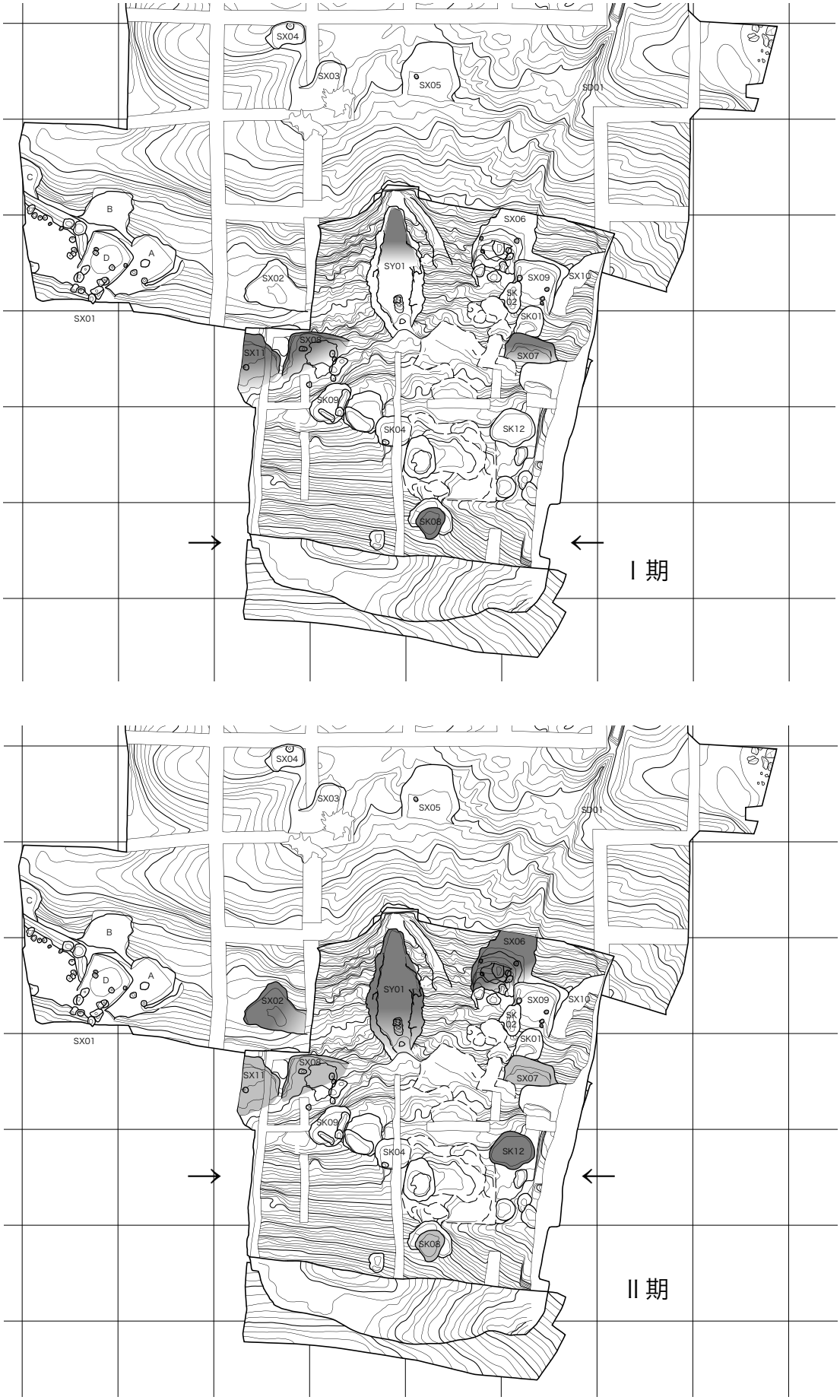
窯体が最大幅となった時期で、遺構は１期より上の斜面にあり、窯の両横に見られる。窯を中心に、西側にSX02『保管場』、東側にSX06『作業場』が、前庭部東側のSX06の前方にSK12『廃棄土坑』がある。

７．Ⅲ期について

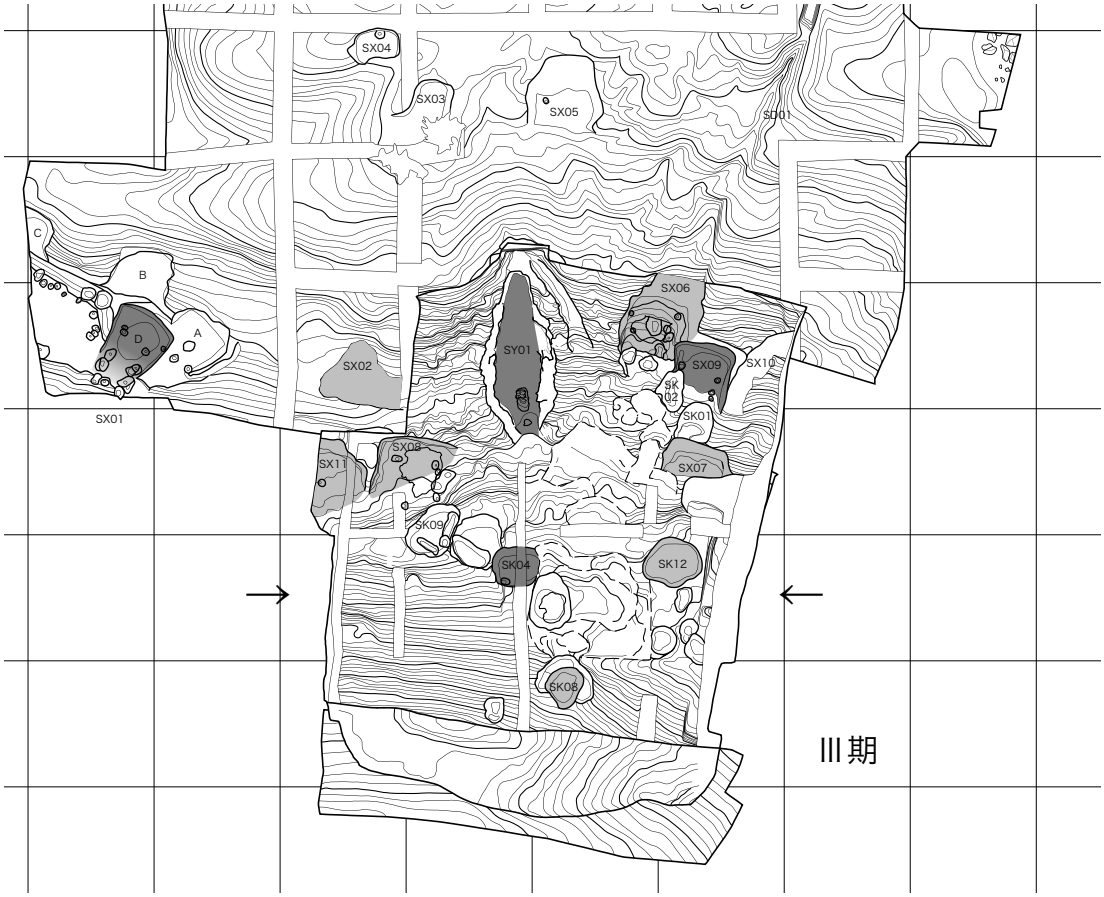
Ⅲ期は、SX01-D、SX09、SK04である。

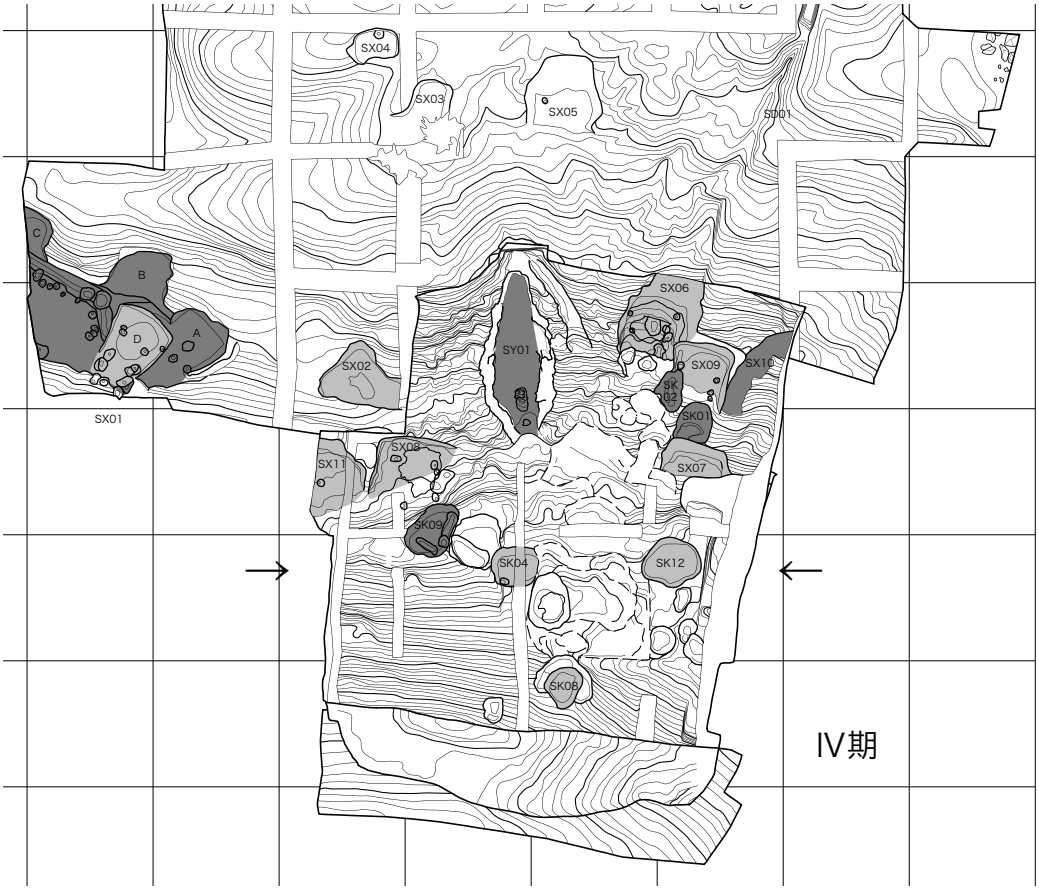
出土遺物の中に片口鉢無釉粗は含まれず、折縁鉢、直縁鉢と平碗が多く見られる。出土遺物の破片の点数と器種数、多い器種二つの点数を見る。SX09からは258点の32器種、平碗66点、折縁・直縁33点。SX01-DはＡ．Ｂ．Ｃ．Ｄと分けられず合計点数1274点の33器種、平碗761点、縁釉皿145点。SK04からは779点の38器種、平碗187点、折縁・直縁122点。

窯体が２期より一回り小さくなり、遺構が東西に広く展開する。窯を中心に、西側に竪穴住居のような



第 130 図　遺構変遷図（1）





第 131 図　遺構変遷図（2）

SX01-D『保管場』、東側にSX09『作業場』が、窯体の正面の前庭部にSK04『廃棄土坑』がある。

8．Ⅳ期について

Ⅳ期は、SX01-ABC、SX10、SK09、SK01、SK02である。

出土遺物の種類が多く、中でも平碗の出土が多い。出土遺物の破片の点数は、SX01-ABCはA．B．C．Dと分けられず合計点数1274点の33器種、平碗761点、縁釉皿145点。SX10は５点の２器種、小鉢３点、平碗２点、SK09は20点の12器種、平碗７点、天目茶碗２点、瓶子２点。SK01は６点の５器種、折縁・直縁２点、卸皿、瓶子、仏供、陶丸が各１点。SK02は16点の８器種、直縁大皿８点、折直・直縁２点。

窯体は３期と同規模で、遺構が東西に広く大きく展開する。SX01の平坦面も一番広くなる。窯を中心に、西側にSX01-ABC『作業場』、東側にSX10は『保管場』か、窯体の前庭部西側にSK09『廃棄土坑』が、廃棄土坑とするには出土点数が少ない。SK01とSK02は遺構の切合いから関係から一番新しい時期と思われ、出土点数も少なく廃棄土坑とは性格が違うと思われる。

9．Ⅰ期からⅣ期の特徴

Ⅰ期からⅣ期の特徴をまとめると

Ⅰ期では、窯体は焼成室上半部のみ残り全貌は不明。焚き口から10m範囲以内の、窯体に近い前庭部に造られる。

Ⅱ期では、窯体の規模が最大になる。前庭部ではなく窯体の横、左（西）右（東）に造られる。窯体との間隔は５m前後を測る近い場所に造られている。１期より上の位置（上の斜面）に造られ、作業空間が前庭部から上方向（北側）に広がる。

Ⅲ期では、窯体の規模が２期より焼成室の幅が狭くなり細い形状の一回り小さい窯体となる。２期と同様に前庭部ではなく、窯体の横に造られるが２期よりも窯体から離れており、窯体の左（西側）では間隔が15mを測り、やや離れた場所に造られている。

Ⅳ期では、窯体は３期と同じ規模の窯体である。３期よりも窯体の左（西）右（東）が広がっており、SX01に見られる広い平坦面も造られるようになった。作業空間が最大に広がった時期である。窯体より上部の、遺物が全く出土しなかった尾根筋のSX03と尾根直下のSX05、１点のみ出土したSX04などはこの時期に造られたのではないだろうか。

10．まとめ

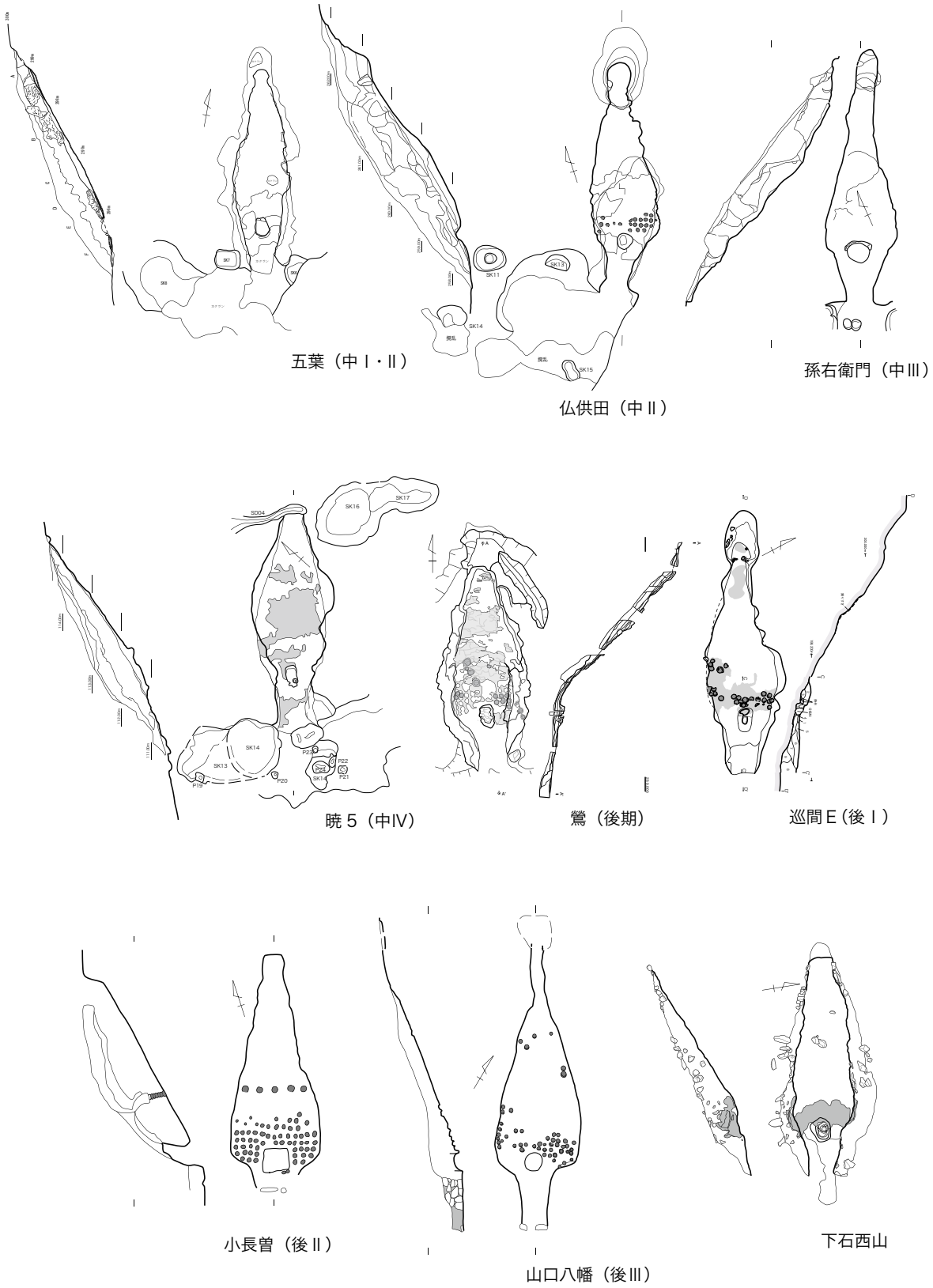
鷲窯跡の遺構の変遷過程を、操業当初の創設始業段階から操業確立段階、規模拡張段階、再拡張段階の４期に区分したが、鷲窯の操業最盛期はⅢ期とⅣ期の遺構が広がった段階と思われる。

Ⅰ期の創設始業段階は、操業当初、小規模で作業空間も窯体より下部の前庭部を中心に見られる。

Ⅱ期の操業確立段階は、窯体の横に作業空間を造り出す。

Ⅲ期の規模拡張段階は、東西方向への規模拡張。

Ⅳ期の規模再拡張段階は、さらなる東西方向への再拡張で作業空間が最大規模となっている。



第 132 図　各窯跡窯体実測図

第３節　出土遺物のデーターベース化の方法

三澤壮太　（株式会社　四門）

１．はじめに

鷲窯跡より出土した膨大な量の遺物の器種分類を行うに際して、器種不明の項目をなくすという方針が決まった。これは器種不明の項目があると、膨大な量の遺物を前に、分類に迷うとどうしても不明に数えたくなり、安易な方向へ行くのをやめたいと考えたからである。むろん当初は一点の分類に相当の時間を要することも度々であったが、慣れるに従い、形態、技法、施釉方法等によってそれぞれの器種分類がスムーズに進んだ。

２．出土遺物の分類

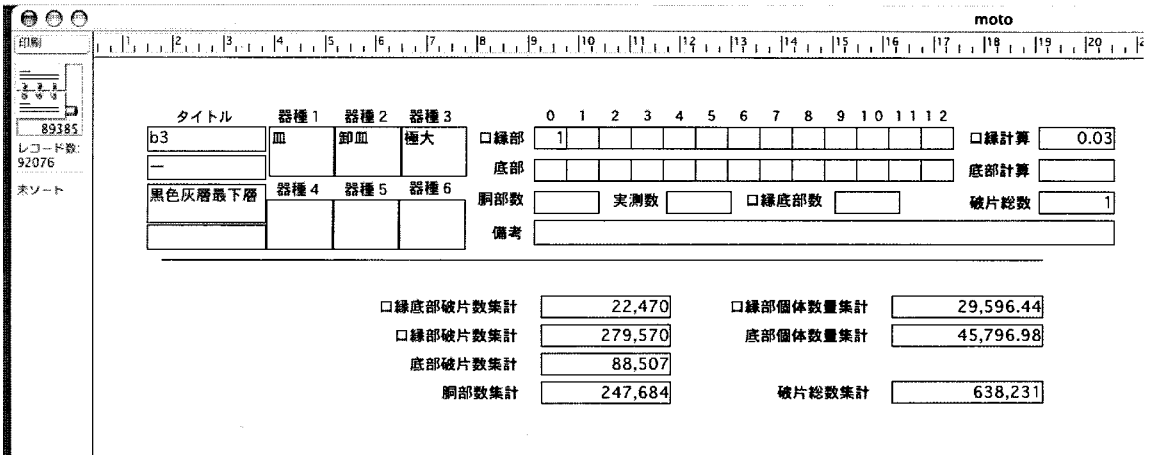
出土遺物の分類は瀬戸市埋蔵文化財センター作成の器種分類表を参考に足りない器種を加えるなどして新たに作成した。第一分類で不明のものは第二分類で、第二分類で不明なものは第三分類の釉による分類、鉄釉、灰釉、無釉とに分類しこれを最終分類とした。

分類は基本的に器種１として器種の属性を定め、器種としてそれぞれの中で項目を分け、器種３で固有の名称に到達する構造とし、器種４、器種５で細分類を行った（第35表）。口縁部と底部の残存値に関しては12分割して記録することとした。これらを記録するデーターシート（第133図）に順次分類記録した。データーシートはコンテナ毎に記録し、総ての器種と分類と部位が階層化されて記録されるようにした。

なお分類の過程で天目茶碗、平碗、縁釉小皿、等の細分が可能と思われたものについては、任意の細分類を行ったが、この細分類はあくまでも器種分類を行った時のメモ的な内容である。

例えば天目茶碗（第180図）では、基本的な分類として輪高台と内反り高台があり、輪高台をⅠ、内反り高台をⅡとし、これとの組み合わせで体部の形状等で１から３までに分類した。１は高台径に対して高台幅が１／３以上のものとし、２は高台径に対して高台幅が１／３以下のものとした。

このようにしてコンテナ毎に記録したデーターシートを把握するためにデーターベースを構築することが必要となったのである。



第133図　データーシート構成画面図

3．開発の環境

開発に使用することとしたハードウェアは特別なものではなく、一般的に使用されている環境で実現することを前提とした。どのような環境を一般的というのかは、人によって様々であるが、基本的に愛知県埋蔵文化財センターで使用している環境を一般的な環境と考えた。従って開発する環境としてはMacintoshのG３以上であり、300mhz以上であることとした。OSは ver. 9. 0 以上とした。

開発に使用するアプリケーションは、ハードウェアの場合と同様に愛知県埋蔵文化財センターの所有しているデータベースの中から選択することとした。検討した結果、ファイルメーカー社のファイルメーカープロ ver. 6 を使用することとした。

第壱分類 1

器種１	器種２	器種３	口縁、口縁から底部	底部	胴部	実測	合計
碗	碗1	平底末広碗					
		浅碗					
		小碗　灰釉					
		小碗　鉄釉					
		端反碗					
		丸碗					
	小杯	小杯　灰釉					
		鉄釉					
		小天目　灰釉					
		鉄釉					
	ミニチュア						
皿	中・小皿	小皿　灰釉					
		鉄釉					
		底卸目皿					
		折縁小皿					
		折縁小皿高台					
		中皿					
		丸皿					
		八稜皿					
		稜皿					
		折縁ひだ皿（小）					
		ひだ皿					
		端反皿					
		豆皿					
	縁II	削り出し					
		付け					
		つまみ					
	卸皿	極大					
		大					
		中					
		小					
		ミニ					
		卸目無し					
鉢・盤	擂鉢	擂鉢					
		擂鉢型小鉢					
		鉢（釉有）					
		鉢（釉無）					
	片口鉢	悪（釉有）					
		悪（釉無）					

第35表　第壱分類表

4．構築の考え方

鷲窯は発掘調査で出土した陶器の器種が豊富であり、その出土量が極めて多いという特色がある。この場合にはデータベース構築に際しては事前に考えておかなければならないことが多々ある。以下にそれらのことについて示しておく。

まず、分類段階において分類に使う器種名・用語等の整理、統一を行っておくことが大前提として必要である。事前にこれらの統一を図ることは困難な場合が多いが、できうる限りの統一を行わなければ入力時はもちろん、検索時に支障を来す。

データベースを使用する場合最も困難な問題が発生するのが、データの入力時に発生する問題である。入力する人が複数になった場合、それぞれの癖や習慣によって１バイト文字コードや２バイト文字コードを混在してしまうおそれがある。アラビア数字であればこの違いを認識させることは可能である。しかし、多くの場合はアラビア数字とローマ数字が使い分けて使用されている。特にローマ数字は特殊文字として登録されているコードを使用することが多いが、Macintoshではこの文字コードでは文字化けを起こしてしまい理解することができなくなってしまう。Macintoshではローマ数字に関してはアルファベットを使用することになり、ミスとは分からないような入力ミスが増えることになる。その結果構築したデータベースが、本来データベースとして持つであろう価値を消失してしまうおそれがある。

これらの問題を回避する方法としては、入力及び検索では文字や数字を入力可能という程度としておき、基本的な語句の入力はポップアップからの選択方式にしておくことによって誤入力を極力軽減することができる。

5．データベースの構築

今回構築したデータベースは、２種類のファイルに構成されている。一方は器種に関するデータベース

であり、他方は出土点数のデータベースである。以下のそれぞれのファイルのフィールド名とタイプを示し、若干の説明を加えておく。

器種ファイルは出土点数のデータベースに器種データを入力するのに利用するファイルであり、フィールド名は器種１から器種６までの６項目で、タイプは総てテキストである。器種１から器種６までの項目はツリー構造になっており、それぞれが関連づけられる様になっている。

出土点数ファイルのフィールドの定義は第35表に示した通りである。コンテナに収納されている遺物を分類した結果の１項目毎に１レコードに記録するという方法でデータベースは設計した。コンテナを分類した結果の項目が多くなればなるほど、レコードの数は増加する様になっている。これらのレコードに共通した項目をその都度入力することは誤入力の元になることから、これらに関しては直前に入力した値をそのまま自動的に入力する様にした。その例が出土地点を示す部分である。

出土地点を示すフィールドは３項目に分割して把握する様にした。出土地点と層位と枝番である。出土地点は平面的な位置であり、層位は断面的な位置を示し、枝番は数字であり、同一の項目が複数出現したときのために予備的に用意した項目である。これらの３項目は直前の値を自動的に入力する様になっており、変更があった場合には新しいレコードを作成した後に再入力すれば、それ以降は同様に新しいレコードを作成すると再入力した文字が自動的に入力される様になっている。

器種１～６のフィールドは器種ファイルの器種１～６と同じものであり、ファイルメーカーのリレーショナル機能を利用し、器種１をキーとして関連づけている。器種１が入力されると、それをキーとして記載内容の同じ機種１の中で器種２に記録されている項目を抽出してポップアップして示し、その中から入力項目を選ぶという手順で器種６まで行える様になっている。当然、細かい属性を観察できない破片に関しては、器種６までの属性は記録せずに途中で記載を止めることにも対応している。

データシートへの記録は、基本的に器種と部位の破片数の記録であり、口縁部及び底部は残存値を分類項目の一つとして追加して記録している。残存値は０／12～12／12の13分類で記録しており、これをそのまま合計した場合には若干の誤差が生じるものと考えられる。つまり、０／12で記録しても口唇部が一部に残されており、計測不能な残存値をどの様に計算の中に加えておくのか、その逆に12／12と計測できても口唇部の一部が計測不能な量だけ欠損していた場合をどのように計算するのかということは大きな問題となった。全体の数量が少なければこれらの問題はそれ程考慮する必要の無いことと考えられたが、絶対量の多い鶯窯ではある程度考えなければならない。従ってこの誤差をできる限りなくすために、鶯窯から出土している残存値が０／12と12／12を示す縁釉小皿と平碗をそれぞれ100点前後抽出し、それらにどの程度の残存値の変化が存在するのかを確認した。その結果、０／12は12×0.03とし、12／12は12×0.99で計算することとした。これは縁釉小皿と平碗を観察して得た結果であり、これを総ての器種に適用することができるのか否かに関しては確認していない。しかし、鶯窯から出土している器種で圧倒的に数量の多いのは縁釉小皿と平碗である。このことから考えれば大きな誤差は発生しないものと考えた。

口縁数量と底部数量はそれぞれ０／12～12／12の合計であり、必ずしも個体数を示しているのではない。基本的には計測した口縁部と底部が何回転存在しているのかということであり、個体数という考え方からいえば最低個体数を示している。

今回のデータシートはコンテナ毎に把握し、土器の個体を特定するのではなく、土器破片の数量を把握

するとともに、個体数を理解するということを前提にしている。従って、器種毎に口縁部と底部の残存値を数えているが、この場合単純に口縁部破片数と底部破片数と胴部破片数を合計してしまうと実際とは合わなくなってしまう。従って、口縁部から胴部までがそろっている数量を記録することによって、計算で破片数量を導きだすこととした。

口縁部と底部以外の破片は、総て胴部として把握している。タイプは数値である。口縁部破片数と底部破片数と口縁底部破片数と胴部破片数から、破片数量を計算している。タイプは計算である。

以上のデータはレコード毎の入力とその計算結果である。単純にレコード内での数量を把握できるだけであり、データベース全体の中での数量を把握することはできない。そのために以下のフィールドを設定することとした。

口縁数量集計・底部数量集計・破片総数集計・胴部数集計・口縁部破片数集計・底部破片数集計・口縁部破片総数・底部破片総数は現在選ばれているレコードのそれぞれの数量を集計して計算結果を表示している。この集計は表示をフォーム形式にしておくと検索結果の総数を把握することができる。

6．データベースの活用

以上のデータベースから得られた結果を活用するにあたり、表計算・グラフ化のために、より簡便なMicrosoft社のMicrosoftExcelを使用することとした。ファイルメーカーはデータベースソフトであり、グラフを作成するという機能は元々存在していない。従って、グラフを利用する場合にはグラフを作成することのできるアプリケーションを利用する必要がある。この場合も、後々どのように作成したグラフを利用するのかを考えてアプリケーションを決定する必要がある。今回は一般に広く流通しているExcelで利用することとした。

Excelへのデータ移動は、ファイルメーカーで検索を行った結果を「タブ区切りテキスト」で書き出すことで可能である。このテキストファイルは検索結果すべてが、１レコード１列として表示される。実際使用するのは総集計結果が表示される最後の１列だけであるので、この１列のみを残す。この作業を必要な検索について繰り返すことによってExcel上にデータを並べることが可能である。

7．まとめ

鷲窯における出土遺物ではコンテナ約3,873箱分の分類・入力を行い、71,396レコード、総破片数633,494点となった。分類項目は約320種類以上となった。主要な器種としては平碗182,938点、縁釉小皿76,590点、卸皿50,443点、鉢・盤類126,361点、瓶・壺類105,537点を数えた。

鷲窯の出土遺物をデータベース化するにあたり、ファイメーカーを使用することによって、総破片数633,494点を有する遺物データを15MB程度に抑えることができた。このことは、これまで紙数等の制限から公開されずにきた遺物の個別・数量データを広く活用可能とする一助になると考えられる。一例をあげれば報告書のCD化の際に、データベースを付録として添付することが可能になってくるであろう。ファイルメーカーはそのファイルをスタンドアロンの形でアプリケーション化することも可能である。クロスプラットフォームの稼動環境にあり、構築したデータファイルも双方から閲覧・編集ができることも、添付可能と考える要因である。遺物の分類方法、アプリケーションやデータの規格化等、問題は少なくないが、一つの方法として提案するものである。

第４節　統計処理から見た出土遺物について

１．はじめに

出土遺物については陶器片を口縁部、底部、胴部に分類しすべてカウントし、データベースを作成した。データベース作成については第２節を参照されたい。

統計方法は、破片数、口縁部計測法、底部計測法を用いた。接合できるものについては接合し１点として集計した。口縁部・底部計測法ともに、残存する口縁と底部を接合後、12分の１の単位でおこない、０／12と１／12を１とし、２／12を２とし、３／12を３とし、順次４、５、６、……としてカウントした。この集計が口縁・底部残存率で個体数はこれを12で割って求めたものである。破片から個体数をだすのが困難なためこの方法を採用したが、ここで得た個体数はあくまでも組成をみるための統計上の数値であって、個体識別に基づく数値ではない。

２．出土遺物総量

遺構・灰原から膨大な量の遺物が出土した。P27のコンテナに3873箱、カウントした総点数は773,955点である。鷺窯では山茶碗は焼成していないので、山茶碗の981点を引いた、632,513点が窯からの出土遺物（第36表）になる。口縁部･底部計測法から、口縁部個体数は29,486個体、底部個体数は45,712個体（第37表）を数える。総重量は22814.91kg、約22.8トンで、製品が632,513点、18078.15kg、焼台は114,739点を数え、その中の一部855点の重量は、143585.91kg、匣鉢が25,722点、3300.91kgであった。

廃棄された遺物が必ずしも生産量をすべて反映したものとはいえないが、調査で出土した遺物量以上の生産が行われていたことは明らかである。これらの数値量以上の生産活動を鷺窯は行っていたのである。

３．器種別総量

出土遺物は85種類と予想以上の豊富な器種構成であった。多く出土した器種は順に平碗、縁釉小皿、卸皿、花瓶、瓶子である。なお破片数表中の分類器種は90種類であるが、折縁･直縁、片口のみ、香炉、鍋、釜の５器種は同器種が項目としてすでにあるために種類の中からは省くものである。また、全出土点数に占める割合を示した（　）内の％は小数点以下を切り捨てとした数字である。

出土破片点数が1,000点以上数えたものは以下の33器種に見られた

全出土点数に占める割合が28％から１％までの器種は17器種見られた。平碗182,938点（28％）、縁釉小皿76,590点（12％）、卸皿50,443点（７％）、折縁・直縁38,328点（６％）、花瓶37,832点（５％）、瓶子28,110点（４％）、柄付片口24,455点（３％）、天目茶碗23,732点（３％）、四耳壺20,295点（３％）、筒形香炉18,027点（２％）、筒形容器17,158点（２％）、折縁深皿14,981点（２％）、直縁大皿11,902点（１％）、片口鉢無釉粗10,889点（１％）、折縁小皿7,308点（１％）、内耳鍋7,272点（１％）、折縁中皿6,686（１％）、水注6,514点（１％）である。

全出土点数に占める割合が０％の器種は16器種見られた。茶壺5,794点、鉢5,482点、小鉢3,345点、口

第36表　鷺窯跡出土遺物破片数表

器種		破片数	比率
碗	平碗	182,938	28.92
	天目茶碗	23,732	3.75
	小天目	1,886	0.30
	小碗	1,067	0.17
	浅碗	1,041	0.16
	平底末広碗	717	0.11
	小杯	101	0.02
	ミニチュア	44	0.01
	小計	211,526	33.44
皿	卸皿	50,443	7.98
	縁釉小皿	76,590	12.11
	折縁小皿	7,308	1.16
	中皿	1,885	0.30
	小皿	783	0.12
	腰折皿	575	0.09
	八稜皿	196	0.03
	折縁ひだ小皿	142	0.02
	ひだ小皿	116	0.02
	丸皿	92	0.01
	底卸目皿	75	0.01
	豆皿	22	0.00
	小計	138,227	21.85
瓶・壺	花瓶	37,832	5.98
	瓶子	28,110	4.44
	四耳壺	20,295	3.21
	水注	6,514	1.03
	茶壺（祖母懐）	5,794	0.92
	口広壺	3,189	0.50
	小壺	1,658	0.26
	口広有耳壺	524	0.08
	広口壺	278	0.04
	茶入	238	0.04
	片口瓶	235	0.04
	有耳壺	183	0.03
	合子	175	0.03
	双耳小壺	165	0.03
	水滴	126	0.02
	土瓶	80	0.01
	筒形短頚壺	70	0.01
	壺	64	0.01
	三耳壺	5	0.00
	鶴首瓶	3	0.00
	小計	105,538	16.69

器種		破片数	比率
鉢・盤	折縁・直縁	38,326	6.06
	折縁深皿	14,981	2.37
	直縁大皿	11,902	1.88
	柄付片口	24,455	3.87
	片口鉢無釉粗	10,889	1.72
	折縁中皿	6,686	1.06
	鉢	5,482	0.87
	小鉢	3,345	0.53
	擂鉢	3,148	0.50
	片口鉢	655	0.10
	片口小鉢	2,383	0.38
	片口中鉢	74	0.01
	碗形鉢	1,274	0.20
	折縁ひだ皿	1,004	0.16
	擂鉢形小鉢	735	0.12
	花盆	553	0.09
	卸目付大皿	149	0.02
	直縁ひだ鉢	98	0.02
	片口のみ	775	0.12
	小計	126,914	20.07
その他	筒形香炉	18,027	2.85
	袴腰形香炉	2,341	0.37
	香炉	18	0.00
	筒形容器	17,158	2.71
	大形筒形容器	71	0.01
	桶	613	0.10
	風炉	74	0.01
	内耳鍋	7,272	1.15
	外耳鍋	12	0.00
	鍋	98	0.02
	銚子鍋	24	0.00
	手付鍋	647	0.10
	羽釜	141	0.02
	茶釜	87	0.01
	釜	5	0.00
	燭台	1,439	0.23
	灯明具	7	0.00
	灯明皿	2	0.00
	甕	1,019	0.16
	蓋	299	0.05
	広口壺蓋	14	0.00
	土瓶蓋	2	0.00
	合子蓋	269	0.04
	仏供	198	0.03
	陶丸	167	0.03
	狛犬	63	0.01
	天目台	27	0.00
	茶臼	14	0.00
	花生	13	0.00
	硯	3	0.00
	人面陶板	1	0.00
	小計	50,125	7.92
不明		183	0.03
合計		632,513	100.00

第37表　鶯窯跡出土遺物個体数表

器種		口縁部個体数	比率	底部個体数	比率
碗	平碗	7,277.63	24.68	12,326.82	26.97
	天目茶碗	1,257.83	4.27	2,527.24	5.53
	小天目	219.36	0.74	292.63	0.64
	小碗	118.75	0.40	112.43	0.25
	浅碗	112.14	0.38	106.46	0.23
	平底末広碗	42.98	0.15	224.41	0.49
	小杯	13.99	0.05	17.12	0.04
	ミニチュア	19.35	0.07	30.46	0.07
	小計	9,062.01	30.73	15,637.55	34.21
皿	卸皿	3,153.62	10.70	3,879.76	8.49
	緑釉小皿	6,294.13	21.35	11,452.06	25.05
	折縁小皿	1,294.66	4.39	1,571.62	3.44
	中皿	107.34	0.36	460.97	1.01
	小皿	133.98	0.45	272.93	0.60
	腰折皿	72.75	0.25	40.05	0.09
	八稜皿	18.09	0.06	17.29	0.04
	折縁ひだ小皿	16.28	0.06	9.87	0.02
	ひだ小皿	9.75	0.03	2.50	0.01
	丸皿	11.10	0.04	21.07	0.05
	底卸目皿	3.52	0.01	24.05	0.05
	豆皿	4.83	0.02	5.32	0.01
	小計	11,120.05	37.71	17,757.48	38.85
瓶・壺	花瓶	853.34	2.89	1,593.73	3.49
	瓶子	438.83	1.49	557.92	1.22
	四耳壺	329.19	1.12	317.07	0.69
	水注	209.57	0.71	281.29	0.62
	茶壺（祖母懐）	53.75	0.18	52.27	0.11
	口広壺	30.16	0.10	126.86	0.28
	小壺	48.58	0.16	214.64	0.47
	口広有耳壺	22.83	0.08	11.52	0.03
	広口壺	10.72	0.04	14.54	0.03
	茶入	14.66	0.05	34.17	0.07
	片口瓶	46.22	0.16	14.59	0.03
	有耳壺	11.98	0.04	0.25	0.00
	合子	18.92	0.06	15.76	0.03
	双耳小壺	18.42	0.06	9.99	0.02
	水滴	30.28	0.10	30.93	0.07
	土瓶	9.21	0.03	2.66	0.01
	筒形短頚壺	6.27	0.02	0.42	0.00
	壺	0.78	0.00	2.08	0.00
	三耳壺	0.42	0.00	0.00	0.00
	鶴首瓶	0.67	0.00	0.00	0.00
	小計	2,154.78	7.31	3,280.68	7.18

器種		口縁部個体数	比率	底部個体数	比率
鉢・盤	折縁・直縁	0.00	0.00	1,838.00	4.02
	折縁深皿	841.34	2.85	81.68	0.18
	直縁大皿	659.80	2.24	65.22	0.14
	柄付片口	841.44	2.85	1,342.41	2.94
	片口鉢無釉粗	401.91	1.36	268.39	0.59
	折縁中皿	574.22	1.95	194.76	0.43
	鉢	170.98	0.58	71.30	0.16
	小鉢	222.73	0.76	1,054.69	2.31
	擂鉢	61.13	0.21	126.92	0.28
	片口鉢	31.19	0.11	24.90	0.05
	片口小鉢	161.53	0.55	84.62	0.19
	片口中鉢	6.64	0.02	2.17	0.00
	碗形鉢	53.79	0.18	166.60	0.36
	折縁ひだ皿	86.84	0.29	20.19	0.04
	擂鉢形小鉢	44.30	0.15	61.50	0.13
	花盆	11.15	0.04	38.77	0.08
	卸目付大皿	6.39	0.02	16.11	0.04
	直縁ひだ皿	7.70	0.03	0.92	0.00
	片口のみ	0.00	0.00	0.00	0.00
	小計	4,183.07	14.19	5,459.13	11.94
その他	筒形香炉	1,574.42	5.34	1,844.64	4.04
	袴腰形香炉	170.72	0.58	264.65	0.58
	香炉	0.00	0.00	3.31	0.01
	筒形容器	433.88	1.47	689.08	1.51
	大形筒形容器	3.71	0.01	3.32	0.01
	桶	32.49	0.11	21.50	0.05
	風炉	2.33	0.01	2.83	0.01
	内耳鍋	179.08	0.61	235.23	0.51
	外耳鍋	0.03	0.00	0.42	0.00
	鍋	4.29	0.01	5.28	0.01
	銚子鍋	1.47	0.00	0.08	0.00
	手付鍋	54.91	0.19	32.40	0.07
	羽釜	2.07	0.01	4.89	0.01
	茶釜	0.75	0.00	0.17	0.00
	釜	0.25	0.00	0.00	0.00
	燭台	82.07	0.28	57.80	0.13
	灯明具	0.30	0.00	0.75	0.00
	灯明皿	0.83	0.00	1.00	0.00
	甕	24.97	0.08	19.76	0.04
	蓋	59.25	0.20	65.46	0.14
	広口壺蓋	2.49	0.01	0.75	0.00
	土瓶蓋	0.08	0.00	0.00	0.00
	合子蓋	165.32	0.56	173.80	0.38
	仏供	15.15	0.05	124.26	0.27
	陶丸	143.93	0.49	0.00	0.00
	狛犬	0.44	0.00	1.46	0.00
	天目台	0.53	0.00	2.00	0.00
	茶臼	3.56	0.01	2.35	0.01
	花生	0.25	0.00	5.90	0.01
	硯	0.00	0.00	0.00	0.00
	人面陶板	0.99	0.00	0.00	0.00
	小計	2,960.55	10.04	3,563.07	7.79
不明		6.08	0.02	14.66	0.03
合計		29,486.55	100.00	45,712.58	100.00

広壺3,189点、擂鉢3,148点、片口小鉢2,383点、袴腰形香炉2,341点、小天目茶碗1,886点、中皿1,885点、小壺1,658点、燭台1,439点、碗形鉢1,274点、小碗1,067点、浅碗1,041点、甕1,019点、折縁襞皿1,004点である。

出土破片数が1,000点以下の器種は52器種見られた。

小皿783点、片口のみ775点、擂鉢形小鉢735点、平底末広碗717点、片口鉢655点、手付鍋647点、桶613点、腰折皿575点、花盆553点、口広有耳壺524点、蓋299点、広口壺278点、合子蓋269点、茶入238点、片口瓶235点、仏供198点、八稜皿196点、有耳壺183点、合子175点、陶丸167点、双耳小壺165点、卸目付大皿149点、折縁襞小皿142点、羽釜141点、水滴126点、襞小皿116点、小杯101点、直縁襞鉢98点、鍋98点、丸皿92点、茶釜87点、土瓶80点、底卸目皿75点、片口中鉢74点、風炉74点、大形筒形容器71点、筒形短頚壺70点、壺64点、狛犬63点、ミニチュア碗44点、天目台27点、銚子鍋24点、豆皿22点、香炉18点、広口壺蓋14点、茶臼14点、花生13点、外耳鍋12点、灯明具７点、三耳壺５点、釜５点、鶴首瓶３点、硯３点、灯明皿２点、土瓶蓋２点、人面陶板１点である。

４．器種別比率

出土比率の多い順に平碗が28％、縁釉小皿12％、卸皿７％、花瓶５％、瓶子４％となる。出土比率が10％以上の器種は２種類のみとなるが、折縁深皿と直縁大皿は、口縁では分類できても胴部では分類不可能のため、折縁･直縁の分類項目を必要としたため二つの比率は低くなったが、折縁深皿と直縁大皿と折縁･直縁を合計すると10％を示すこととなる。出土比率から見ると平碗、縁釉小皿、折縁大皿・直縁大皿の３器種で50％を占め、これに卸皿の７％を加えると57％を示している。これらの器種は各地で出土している代表的な器種でもあり、生活の必需品として流通していたものであった。

全出土点数に占める割合が28％から１％までの器種は17器種見られた。この17種類について出土点数と口縁部個体数、底部個体数を見る。（　）の％はそれぞれの計測方法における割合で個体数の小数点以下は切り捨てた数字である。

平碗は 182,938点（28％）出土、口縁部個体数 7,277個（24％）、底部個体数 12,326個（26％）

縁釉小皿は 76,590点（12％）出土、口縁部個体数 6,294個（21％）、底部個体数 11,452個（25％）

卸皿は 50,443点（７％）出土、口縁部個体数 3,153個（10％）、底部個体数 3,879個（８％）

花瓶は 37,832点（５％）出土、口縁部個体数 853個（２％）、底部個体数 1,593個（３％）

瓶子は 28,110点（４％）出土、口縁部個体数 483個（１％）、底部個体数 557個（１％）

柄付片口は 24,455点（３％）出土、口縁部個体数 841個（２％）、底部個体数 1,342個（２％）

天目茶碗は 23,732点（３％）出土、口縁部個体数 1,257個（４％）、底部個体数 2,527個（５％）

四耳壺は 20,295点（３％）出土、口縁部個体数 329個（１％）、底部個体数 317個（０％）

折縁・直縁は 38,328点（６％）出土、口縁部個体数 41個（０％）、底部個体数 1,796個（３％）

折縁深皿は 14,981点（２％）出土、口縁部個体数 841個（２％）、底部個体数 81個（０％）

直縁大皿は 11,902点（１％）出土、口縁部個体数 659個（２％）、底部個体数 65個（０％）

筒形香炉 18,027点（２％）出土、口縁部個体数 1,574個（５％）、底部個体数 1,844個（４％）
筒形容器 17,158点（２％）出土、口縁部個体数 433個（１％）、底部個体数 689個（１％）
片口鉢無釉粗は 10,889点（１％）出土、口縁部個体数 401個（１％）、底部個体数 268個（０％）
折縁小皿 7,308点（１％）出土、口縁部個体数 1,294個（４％）、底部個体数 1,571個（３％）
内耳鍋 7,272点（１％）出土、口縁部個体数 179個（０％）、底部個体数 235個（０％）
折縁中皿 6,686（１％）出土、口縁部個体数 574個（１％）、底部個体数 194個（０％）
水注 6,514点（１％）出土、口縁部個体数 209個（０％）、底部個体数 281個（０％）

５．小　結

口縁部計測法と底部計測法の個体数の結果から、17器種のなかで、口縁部個体数が底部個体数より多い器種は、５器種の四耳壺、折縁深皿、直縁大皿、片口鉢無釉粗、折縁中皿に見られる。

四耳壺は口縁部個体数329個、底部個体数317個、折縁深皿は口縁部個体数841個、底部個体数81個、直縁大皿は口縁部個体数659個、底部個体数65個、片口鉢無釉粗は口縁部個体数401個、底部個体数268個、折縁中皿は口縁部個体数574個、底部個体数194個である。

口縁部個体数が優位となった四耳壺については、誤差が12個で、瓶子の底部の中に分類した可能性もある。瓶子の底部は平底で釉調が良いもの、四耳壺の底部は高台付で釉調が剥落気味の悪いものとに分類し、四耳壺の中に高台が外れたものも見られたことから、あるいは瓶子の底部に分類した可能性も否定できない。片口鉢無釉粗は、口縁が細片になり点数が増えたからか。折縁中皿は、底部が小鉢の中に分類した可能性もある。

口縁部計測法と底部計測法の個体数の差で、本来は残存率がいいはずの底部より口縁が優位になるのは、口縁に特徴の見られるものについて、器種の特定が易く細片であっても口縁に分類するからではないだろうか。そして口縁部以外の底部の分類では、特徴がつかみにくい器種がそうであるように、どうしても普通の器種分類の中に入れてしまうことになるのである。鉢類では小鉢に、大皿類では折縁・直縁に、皿類では中皿に集中した可能性も否定できない。

鷲窯跡の出土遺物と比較するために、瀬戸市五葉窯跡（中期Ⅰ・Ⅱ）、暁窯（中期Ⅳ）小長曽陶器窯跡（後期Ⅱ）、椿窯跡（後期）、土岐市下石西山窯跡（後期Ⅳ）の各窯跡出土遺物の破片数、個体数、組成表をまとめたものである。

瀬戸市内の五葉窯跡については第38表、第42表、第46表、第50表を、暁窯（中期Ⅳ）については第43表、第51表を、小長曽陶器窯跡（後期Ⅱ）については第39表、第44表、第47表、第52表を、椿窯跡（後期）については第40表、第48表を、土岐市下石西山窯跡（後期Ⅳ）については第41表、第45表、第49表、第53表を参照されたい。

第38表　五葉窯跡　出土遺物破片数表

器種		破片数	比率
施釉碗類	平底末広碗	151	0.72
	平底末広碗・平碗	1325	6.34
	平碗	54	0.26
	天目茶碗	1071	5.13
	天目台	1	0.00
	小　計	2602	12.45
施釉皿類	丸皿	29	0.14
	折縁小皿	186	0.89
	卸皿	2191	10.49
	擂座皿	8	0.04
	小杯	3	0.01
	片口	83	0.40
	底卸目皿	133	0.64
	折縁皿	1589	7.61
	小　計	4222	20.22
施釉鉢類	鉢	16	0.08
	擂座洗（大型）	25	0.12
	折縁深皿	2062	9.87
	深皿（洗）	3	0.01
	柄付片口	217	1.04
	小　計	2323	11.12
施釉瓶・壺類	瓶子	3336	15.97
	瓶子（Ⅰ；Ⅱ類）	8；527	2.56
	水注	429	2.06
	水注（Ⅰ（長頸））	82	0.39
	水注（Ⅱ（短頸））	10	0.05
	水注（Ⅲ（広口））	24	0.11
	太鼓形水注	2	0.01
	仏花瓶（Ⅰ（小中型））	144	0.69
	仏花瓶（Ⅱ（大型））	28	0.13
	片口小瓶	1	0.00
	小瓶	4	0.02
	水滴	15	0.07
	瓶・壺類	3791	18.15
	四耳壺	741	3.55
	三耳壺	2	0.01
	広口壺	14	0.07
	（広口壺蓋）	2	0.01
	合子	226	1.08
	（合子蓋）	73	0.35
	茶入（小壺）	11	0.05
	小　計	9470	45.33
施釉その他	仏供	81	0.39
	香炉（袴腰形）	137	0.66
	香炉（筒形）	3	0.01
	花盆	3	0.01
	コップ形容器	4	0.02
	狛犬	1	0.00
	その他	2	0.01
	小　計	231	1.10
施釉不明		2043	9.78
合　計		20891	100.00

※無釉製品を除いた表

第39表　小長曽陶器窯跡　出土遺物破片数表

器種		平成7・8年度		平成12年度		合　計	
		破片数	比率(%)	破片数	比率(%)	破片数	比率(%)
碗類	小杯	0	0.00	33	0.22	33	0.02
	豆天目	0	0.00	58	0.04	58	0.03
	小天目	0	0.00	180	0.12	180	0.11
	天目茶碗	959	5.57	9051	6.07	10010	6.02
	灰釉天目	0	0.00	65	0.04	65	0.04
	平碗	8061	46.84	47078	31.56	55139	33.14
	浅碗	9	0.05	66	0.04	75	0.05
	その他	0	0.00	651	0.44	651	0.39
	小　計	9029	52.46	57182	38.33	66211	39.80
皿類	縁釉小皿	1378	8.01	11710	7.85	13088	7.87
	折縁小皿	286	1.66	2321	1.56	2607	1.56
	卸皿	286	1.66	2538	1.70	2824	1.69
	折縁中皿	25	0.15	179	0.12	204	0.12
	豆皿	18	0.10	181	0.12	199	0.12
	八稜皿	2	0.01	23	0.02	25	0.01
	その他	0	0.00	86	0.06	86	0.05
	小　計	1995	11.59	17038	11.42	19033	11.42
鉢・盤類	折縁深皿	222	1.29	2482	1.66	2704	1.62
	直縁大皿	400	2.32	4270	2.86	4670	2.81
	卸目付大皿	12	0.07	80	0.05	92	0.06
	盤類	1076	6.25	12579	8.43	13655	8.21
	柄付片口	47	0.27	1619	1.09	1666	1.00
	擂鉢	20	0.12	350	0.23	370	0.22
	碗型鉢	66	0.38	266	0.18	332	0.20
	小鉢	6	0.03	145	0.10	151	0.09
	擂鉢型小鉢	1	0.01	197	0.13	198	0.12
	片口	10	0.06	51	0.03	61	0.04
	その他	0	0.00	54	0.04	54	0.03
	小　計	1860	10.81	22093	14.81	23953	14.40
壺瓶類	瓶子（梅瓶）	32	0.19	173	0.12	256	0.15
	根来形瓶子			51	0.03		
	水注	13	0.08	36	0.02	49	0.03
	片口小瓶	0	0.00	62	0.04	62	0.04
	尊式花瓶	173	1.01	3292	2.21	3465	2.08
	花瓶	8	0.05	87	0.06	95	0.06
	水滴	2	0.01	18	0.01	20	0.01
	四耳壺	13	0.08	221	0.15	234	0.14
	茶壺	44	0.26	1571	1.05	1615	0.97
	口広有耳壺	0	0.00	23	0.02	23	0.01
	合子	6	0.03	83	0.06	89	0.05
	合子蓋	0	0.00	47	0.03	47	0.03
	茶入	0	0.00	93	0.06	93	0.06
	壺瓶類	164	0.95	2187	1.47	2351	1.42
	その他	0	0.00	8	0.01	8	0.00
	小　計	455	2.64	7952	5.33	8407	5.05
その他	袴腰形香炉	166	0.96	2629	1.76	2795	1.68
	筒形香炉	29	0.17	131	0.09	160	0.10
	筒形香炉（大）	0	0.00	90	0.06	90	0.05
	香炉	0	0.00	126	0.08	126	0.08
	筒形容器	355	2.06	3843	2.58	4198	2.52
	内耳鍋	408	2.37	3941	2.64	4349	2.61
	手付鍋	2	0.01	11	0.01	13	0.01
	釜	0	0.00	1	0.00	1	0.00
	燭台	21	0.12	666	0.45	687	0.41
	仏供	0	0.00	27	0.02	27	0.02
	花盆	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	その他	0	0.00	5	0.00	5	0.00
	小　計	981	5.70	11470	7.69	12451	7.48
不　明		2890	16.79	33457	22.43	36347	21.85
合　計		17210	100.00	149192	100.00	166402	100.00

第40表　椿窯跡　出土遺物（後半）破片数表

器種		破片数	比率(%)
碗類	小天目	11	0.22
	天目茶碗	355	6.95
	平碗	1451	28.39
	浅碗	30	0.59
	小　計	1847	36.14
皿類	縁釉小皿	568	11.11
	折縁小皿	57	1.12
	卸皿	166	3.25
	折縁中皿	47	0.92
	豆皿	12	0.23
	八稜皿	5	0.10
	小　計	855	16.73
鉢・盤類	折縁深皿	95	1.86
	直縁大皿	216	4.23
	卸目付大皿	36	0.70
	盤類	438	8.57
	柄付片口	68	1.33
	擂鉢	140	2.74
	碗型鉢	40	0.78
	小鉢	65	1.27
	擂鉢型小鉢	4	0.08
	片口	4	0.08
	その他	2	0.04
	小　計	1108	21.68
壺瓶類	瓶子	49	0.96
	水注	9	0.18
	片口小瓶	2	0.04
	尊式花瓶	153	2.99
	花瓶	10	0.20
	水滴	5	0.10
	四耳壺	17	0.33
	茶壺	85	1.66
	口広有耳壺	20	0.39
	合子	7	0.14
	茶入	3	0.06
	双耳小壺	2	0.04
	土瓶	2	0.04
	壺瓶類	90	1.76
	小　計	454	8.88
その他	袴腰形香炉	106	2.07
	筒形香炉	54	1.06
	筒形容器	342	6.69
	内耳鍋	58	1.13
	手付鍋	2	0.04
	燭台	21	0.41
	仏供	12	0.23
	花盆	2	0.04
	小　計	597	11.68
不　明		250	4.89
合　計		5111	100.00

第41表　下石西山窯跡　出土遺物破片数表

器種名		灰釉	鉄釉	錆釉	不明	合計	比率
碗類	天目茶碗	1144	9266	0	1	10411	5.59
	小天目	0	607	0	0	607	0.33
	平碗Ⅰ	45494	266	0	1	45761	24.57
	平碗Ⅱ	0	68	0	0	68	0.04
	小坏	15	53	0	0	68	0.04
	端反碗	993	0	0	0	993	0.53
	碗類	52	14	0	0	66	0.04
	小　計	47698	10274	0	2	57974	31.13
皿類	縁釉小皿	24261	632	0	4249	29142	15.65
	卸皿	6986	0	0	0	6986	3.75
	小皿	259	3	0	0	262	0.14
	中皿	112	12	0	0	124	0.07
	皿類	50	13	0	0	63	0.03
	小　計	31668	660	0	4249	36577	19.64
盤類	直縁大皿	4982	11	0	0	4993	2.68
	卸目付大皿	16841	8	0	1	16850	9.05
	折縁深皿	3065	18	0	1	3084	1.66
	盤類	16206	27	0	3	16236	8.72
	小　計	41094	64	0	5	41163	22.10
鉢類	小鉢	3979	24	0	2	4005	2.15
	碗形鉢	253	9	0	0	262	0.14
	擂鉢	0	0	11190	0	11190	6.01
	擂鉢形小鉢	0	0	221	0	221	0.12
	鉢類	4	0	0	1	5	0.00
	小　計	4236	33	11411	3	15683	8.42
壺瓶類	有耳壺	243	0	0	0	243	0.13
	口広有耳壺	0	688	0	0	688	0.37
	茶壺	0	0	2160	0	2160	1.16
	茶入	0	17	0	0	17	0.01
	双耳小壺	17	37	0	0	54	0.03
	片口小瓶	72	0	0	0	72	0.04
	片口瓶	65	20	0	0	85	0.05
	水滴	16	11	0	0	27	0.01
	湯桶	0	182	0	0	182	0.10
	水注	62	44	0	0	106	0.06
	花瓶	773	553	0	4	1330	0.71
	瓶子	917	323	0	0	1240	0.67
	壺瓶類	4579	2925	0	91	7595	4.08
	小　計	6744	4800	2160	95	13799	7.41
その他	手付鍋	55	10	0	0	65	0.03
	片口	30	0	0	0	30	0.02
	桶	5	1347	0	0	1352	0.73
	香炉	545	365	0	22	932	0.50
	筒形容器	801	187	0	4	992	0.53
	内耳鍋	0	0	6263	0	6263	3.36
	外耳鍋	0	0	73	0	73	0.04
	釜	0	0	1663	0	1663	0.89
	仏餉具	16	95	0	1	112	0.06
	仏供	0	0	42	0	42	0.02
	燭台	61	359	0	1	421	0.23
	蓋	26	168	493	0	687	0.37
	甕	22	0	0	0	22	0.01
	小　計	1561	2531	8534	28	12654	6.79
不　明		1735	1410	4252	998	8395	4.51
合　計		134736	19772	26357	5380	186245	100.00

第42表　五葉窯跡　出土遺物個体数表

器種		個体数	比率(%)
施釉碗類	平底末広碗	46	6.95
	平底末広碗・平碗	0	0.00
	平碗	21	3.17
	天目茶碗	83	12.54
	天目台	1	0.15
	小　計	151	22.81
施釉皿類	丸皿	10	1.51
	折縁小皿	29	4.38
	卸皿	100	15.11
	擂座皿	1	0.15
	小杯	0	0.00
	片口	6	0.91
	底卸目皿	52	7.86
	折縁皿	42	6.34
	小　計	240	36.26
施釉鉢類	鉢	1	0.15
	擂座洗（大型）	0	0.00
	折縁深皿	22	3.32
	深皿（洗）	0	0.00
	柄付片口	15	2.27
	小　計	38	5.74
施釉瓶・壺類	瓶子	0	0.00
	瓶子（Ⅰ；Ⅱ類）	2；67	10.42
	水注	1	0.15
	水注（Ⅰ（長頸））	0	0.00
	水注（Ⅱ（短頸））	0	0.00
	水注（Ⅲ（広口））	0	0.00
	太鼓形水注	0	0.00
	仏花瓶（Ⅰ（小中型））	17	2.57
	仏花瓶（Ⅱ（大型））	0	0.00
	片口小瓶	1	0.15
	小瓶	1	0.15
	水滴	11	1.66
	瓶・壺類	1	0.15
	四耳壺	21	3.17
	三耳壺	0	0.00
	広口壺	2	0.30
	（広口壺蓋）	0	0.00
	合子	28	4.23
	（合子蓋）	61	9.21
	茶入（小壺）	1	0.15
	小　計	214	32.31
施釉その他	仏供	13	1.97
	香炉（袴腰形）	6	0.91
	香炉（筒形）	0	0.00
	花盆	0	0.00
	コップ形容器	0	0.00
	狛犬	0	0.00
	その他	0	0.00
	小　計	19	2.88
施釉不明		0	0.00
合　計		662	100.00

※無釉製品を除いた表

第43表　暁窯跡　出土遺物個体数表

器種		小計	合計	個体数	比率(%)
碗類	天目茶碗a	21	90	278	14.4
	天目茶碗b	69			
	平碗a	90	129		
	平碗b	39			
	平底末広碗a	23	43		
	平底末広碗b	20			
	その他の碗	16	16		
皿類	小皿Ⅰ・Ⅱ	133	235	1103	57.3
	小皿Ⅲ・Ⅳ	102			
	丸皿Ⅰ	42	60		
	丸皿Ⅱ	18			
	折縁深皿	312	312		
	卸皿	435	435		
	片口卸皿a	11	25		
	片口卸皿b	9			
	片口卸皿c	5			
	輪花皿	12	12		
	底卸目皿	6	6		
	浅皿	3	3		
	雷座皿	5	5		
	折縁皿	5	5		
	その他の皿	5	5		
鉢類	片口鉢a	3	16	112	5.8
	片口鉢b	7			
	片口鉢c	6			
	鉢	7	7		
	碗形鉢a	4	9		
	碗形鉢b	5			
	柄付片口a	3	80		
	柄付片口b	77			
鍋類	内耳鍋	37	37	41	2.1
	銚子鍋	2	2		
	その他鍋	2	2		
瓶類	瓶子	41	41	199	10.3
	水注	38	38		
	片口小瓶	10	10		
	花瓶a	34	95		
	花瓶b	61			
	尊式花瓶	5	5		
	水滴	10	10		
壺類	四耳壺	56	56	78	4.0
	広口壺	3	3		
	祖母懐壺	6	6		
	鉄釉壺	1	1		
	合子	10	10		
	茶入	2	2		
蓋類	蓋a	41	57	57	3.0
	蓋b	7			
	蓋c	9			
仏具類	筒形香炉	20	22	22	1.1
	袴腰形香炉	2			
その他	山茶碗	14	36	36	1.9
	小皿	12			
	仏餉具	10			
合　計				1926	99.9

第44表　小長曽陶器窯跡　出土遺物個体数表

器種		個体数	比率(%)
碗類	小杯	36	0.65
	豆天目	15	0.27
	小天目	26	0.47
	天目茶碗	554	9.95
	灰釉天目	2	0.04
	平碗	2651	47.63
	浅碗	3	0.05
	その他	21	0.38
	小　計	3308	59.43
皿類	縁釉小皿	1239	22.26
	折縁小皿	318	5.71
	卸皿	70	1.26
	折縁中皿	1	0.02
	豆皿	52	0.93
	八稜皿	1	0.02
	その他	14	0.25
	小　計	1695	30.45
鉢・盤類	折縁深皿	3	0.05
	直縁大皿	9	0.16
	卸目付大皿	0	0.00
	盤類	34	0.61
	柄付片口	28	0.50
	擂鉢	3	0.05
	碗型鉢	8	0.14
	小鉢	21	0.38
	擂鉢型小鉢	5	0.09
	片口	1	0.02
	その他	1	0.02
	小　計	113	2.03
壺瓶類	瓶子（梅瓶）	6	0.11
	根来形瓶子	0	0.00
	水注	0	0.00
	片口小瓶	7	0.13
	尊式花瓶	126	2.26
	花瓶	12	0.22
	水滴	3	0.05
	四耳壺	3	0.05
	茶壺	2	0.04
	口広有耳壺	0	0.00
	合子	5	0.09
	合子蓋	31	0.56
	茶入	1	0.02
	壺瓶類	1	0.02
	その他	0	0.00
	小　計	197	3.54
その他	袴腰形香炉	129	2.32
	筒形香炉	4	0.07
	筒形香炉（大）	1	0.02
	香炉	17	0.31
	筒形容器	49	0.88
	内耳鍋	23	0.41
	手付鍋	0	0.00
	釜	0	0.00
	燭台	5	0.09
	仏供	18	0.32
	その他	1	0.02
	小　計	247	4.44
不　明		6	0.11
合　計		5566	100.00

第45表　下石西山窯跡　出土遺物個体数表

器種名		灰釉	鉄釉	錆釉	不明	合計	比率
碗類	天目茶碗	223	1123	0	0	1346	7.57
	小天目	0	150	0	0	150	0.84
	平碗Ⅰ	4775	33	0	0	4808	27.04
	平碗Ⅱ	0	6	0	0	6	0.03
	小坏	9	35	0	0	44	0.25
	端反碗	181	0	0	0	181	1.02
	碗類	19	5	0	0	24	0.13
	小　計	5207	1352	0	0	6559	36.89
皿類	縁釉小皿	4776	147	0	2185	7108	39.98
	卸皿	916	0	0	0	916	5.15
	小皿	90	2	0	0	92	0.52
	中皿	18	2	0	0	20	0.11
	皿類	19	0	0	0	19	0.11
	小　計	5819	151	0	2185	8155	45.87
盤類	直縁大皿	39	0	0	0	39	0.22
	卸目付大皿	89	0	0	0	89	0.50
	折縁深皿	5	0	0	1	6	0.03
	盤類	300	0	0	0	300	1.69
	小　計	433	0	0	1	434	2.44
鉢類	小鉢	1087	6	0	2	1095	6.16
	碗形鉢	16	0	0	0	16	0.09
	擂鉢	0	0	217	0	217	1.22
	擂鉢形小鉢	0	0	23	0	23	0.13
	鉢類	0	0	0	1	1	0.01
	小　計	1103	6	240	3	1352	7.60
壺瓶類	有耳壺	13	0	0	0	13	0.07
	口広有耳壺	0	12	0	0	12	0.07
	茶壺	0	0	12	0	12	0.07
	茶入	0	5	0	0	5	0.03
	双耳小壺	3	6	0	0	9	0.05
	片口小瓶	22	0	0	0	22	0.12
	片口瓶	3	1	0	0	4	0.02
	水滴	12	10	0	0	22	0.12
	湯桶	0	3	0	0	3	0.02
	水注	5	4	0	0	9	0.05
	花瓶	63	26	0	1	90	0.51
	瓶子	47	15	0	0	62	0.35
	壺瓶類	77	60	0	15	152	0.85
	小　計	245	142	12	16	415	2.33
その他	手付鍋	1	0	0	0	1	0.01
	片口	3	0	0	0	3	0.02
	桶	0	10	0	0	10	0.06
	香炉	88	56	0	7	151	0.85
	筒形容器	14	1	0	0	15	0.08
	内耳鍋	0	0	99	0	99	0.56
	外耳鍋	0	0	1	0	1	0.01
	釜	0	0	25	0	25	0.14
	仏餉具	14	62	0	1	77	0.43
	仏供	0	0	40	0	40	0.22
	燭台	1	3	0	0	4	0.02
	蓋	20	141	169	0	330	1.86
	甕	0	0	0	0	0	0.00
	小　計	141	273	334	8	756	4.25
不　明		65	7	6	29	107	0.60
合　計		13013	1931	592	2242	17778	100.00

第46表　五葉窯跡　出土破片数組成表

器種名		個体数	比　率
天目茶碗		1071	5.13
平碗		54	0.26
碗類		1477	7.06
縁釉小皿		0	0.00
卸皿		2191	10.49
皿類		2032	9.73
盤類		2062	9.87
鉢類		261	1.25
壺瓶類		9470	45.33
その他	袴腰形香炉	137	0.66
	筒形香炉	3	0.01
	香炉	0	0.00
	筒形容器	4	0.02
	内耳鍋	0	0.00
	花盆	3	0.01
	燭台	0	0.00
	その他	84	0.40
不　明		2043	9.78
合　　計		20891	100.00

折縁深皿を盤類、コップ形容器を筒形容器としてカウント

第47表　小長曽陶器窯跡　出土破片数組成表

器種名		個体数	比　率
天目茶碗		10010	6.02
平碗		55139	33.14
碗類		1062	0.64
縁釉小皿		13088	7.87
卸皿		2824	1.69
皿類		3121	1.86
盤類		21121	12.70
鉢類		2832	1.70
壺瓶類		8407	5.05
その他	袴腰形香炉	2795	1.68
	筒形香炉	250	0.15
	香炉	126	0.08
	筒形容器	4198	2.52
	内耳鍋	4349	2.61
	花盆	0	0.00
	燭台	687	0.41
	その他	46	0.03
不　明		36347	21.85
合　　計		166402	100.00

折縁深皿、直縁大皿、卸目付大皿、盤類を盤類、筒形香炉（大）は筒形香炉としてカウント

第48表　椿窯跡　出土破片数組成表

器種名		個体数	比　率
天目茶碗		355	6.95
平碗		1451	28.39
碗類		41	0.81
縁釉小皿		568	11.11
卸皿		166	3.25
皿類		121	2.37
盤類		785	15.36
鉢類		323	6.32
壺瓶類		454	8.88
その他	袴腰形香炉	106	2.07
	筒形香炉	54	1.06
	香炉	0	0.00
	筒形容器	342	6.69
	内耳鍋	58	1.13
	花盆	2	0.04
	燭台	21	0.41
	その他	14	0.27
不　明		250	4.89
合　　計		5111	100.00

直縁大皿、折縁深皿、卸目付大皿、盤類を盤類としてカウント

第49表　下石西山窯跡　出土破片数組成表

器種名		個体数	比　率
天目茶碗		10411	5.59
平碗		45829	24.61
碗類		1734	0.93
縁釉小皿		29142	15.65
卸皿		6986	3.75
皿類		449	0.24
盤類		41163	22.10
鉢類		15683	8.42
壺瓶類		13799	7.41
その他	袴腰形香炉	0	0.00
	筒形香炉	0	0.00
	香炉	932	0.50
	筒形容器	992	0.53
	内耳鍋	6263	3.36
	花盆	0	0.00
	燭台	421	0.23
	その他	4046	2.17
不　明		8395	4.51
合　　計		186245	100.00

第50表　五葉窯跡　出土個体数組成表

器種名		個体数	比　率
天目茶碗		83	12.54
平碗		21	3.17
碗類		47	7.10
縁釉小皿		0	0.00
卸皿		100	15.11
皿類		140	21.15
盤類		22	3.32
鉢類		16	2.42
壺瓶類		214	32.31
その他	袴腰形香炉	6	0.91
	筒形香炉	0	0.00
	香炉	0	0.00
	筒形容器	0	0.00
	内耳鍋	0	0.00
	花盆	0	0.00
	燭台	0	0.00
	その他	13	1.97
不　明		0	0.00
合　　計		662	100.00

折縁深皿を盤類、コップ形容器を筒形容器としてカウント

第51表　暁窯跡　出土個体数組成表

器種名		個体数	比　率
天目茶碗		90	4.67
平碗		129	6.70
碗類		59	3.06
縁釉小皿		0	0.00
卸皿		460	23.88
皿類		331	17.19
盤類		312	16.20
鉢類		112	5.82
壺瓶類		277	14.38
その他	袴腰形香炉	2	0.10
	筒形香炉	20	1.04
	香炉	0	0.00
	筒形容器	0	0.00
	内耳鍋	37	1.92
	花盆	0	0.00
	燭台	0	0.00
	その他	97	5.04
不　明		0	0.00
合　　計		1926	100.00

折縁深皿を盤類としてカウント

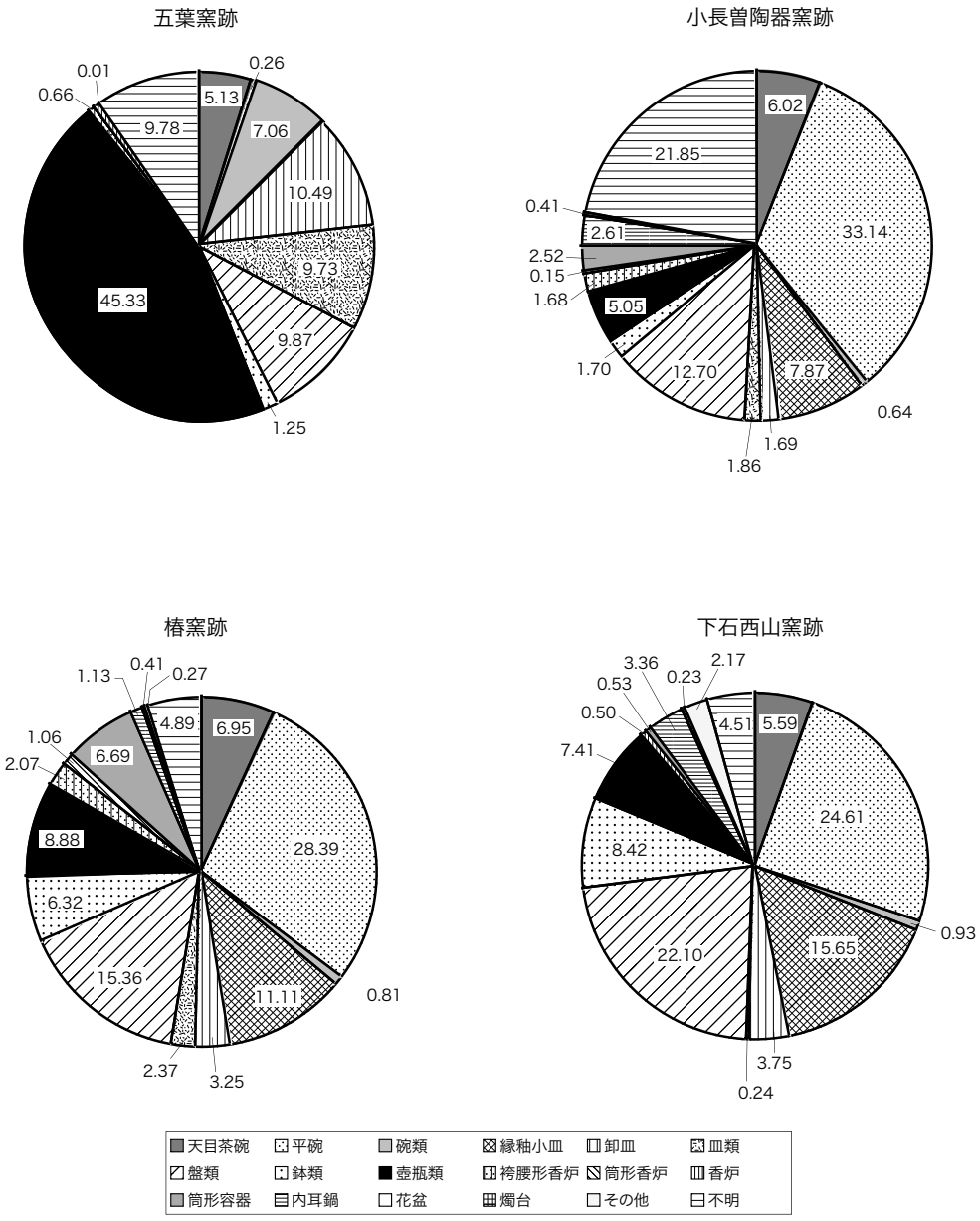
第52表　小長曽陶器窯跡　出土個体数組成表

器種名		個体数	比　率
天目茶碗		554	9.95
平碗		2651	47.63
碗類		103	1.85
縁釉小皿		1239	22.26
卸皿		70	1.26
皿類		386	6.93
盤類		46	0.82
鉢類		67	1.21
壺瓶類		197	3.54
その他	袴腰形香炉	129	2.32
	筒形香炉	5	0.09
	香炉	17	0.31
	筒形容器	49	0.88
	内耳鍋	23	0.41
	花盆	0	0.00
	燭台	5	0.09
	その他	19	0.34
不　明		6	0.11
合　　計		5566	100.00

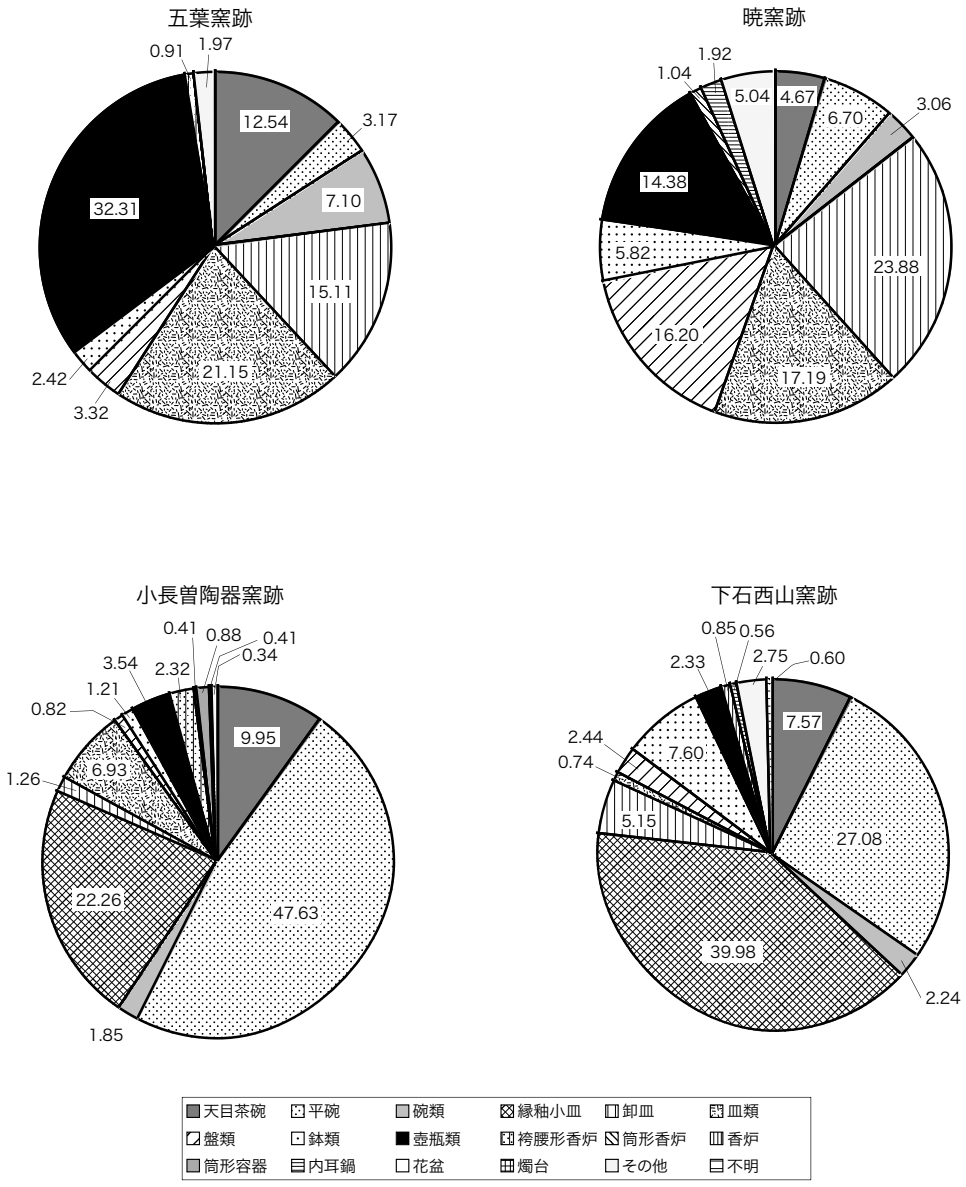
折縁深皿、直縁大皿、卸目付大皿、盤類を盤類、筒形香炉（大）は筒形香炉としてカウント

第53表　下石西山窯跡　出土個体数組成表

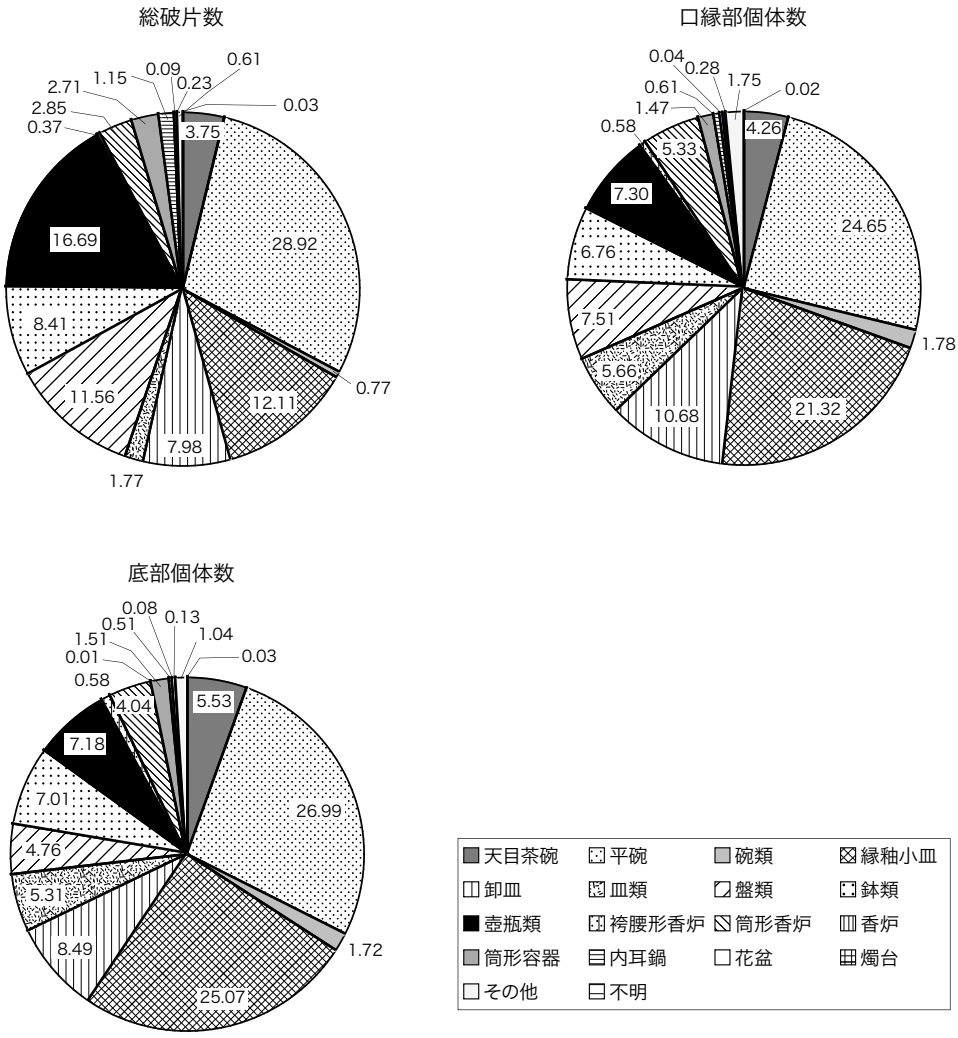
器種名		個体数	比　率
天目茶碗		1346	7.57
平碗		4814	27.08
碗類		399	2.24
縁釉小皿		7108	39.98
卸皿		916	5.15
皿類		131	0.74
盤類		434	2.44
鉢類		1352	7.60
壺瓶類		415	2.33
その他	袴腰形香炉	0	0.00
	筒形香炉	0	0.00
	香炉	151	0.85
	筒形容器	15	0.08
	内耳鍋	99	0.56
	花盆	0	0.00
	燭台	4	0.02
	その他	487	2.75
不　明		107	0.60
合　　計		17778	100.00



第 134 図　各窯別破片数による組成グラフ



第 135 図　各窯別個体数による組成グラフ



器種		破片数	比率(%)	個体数			
				口縁部	比率(%)	底部	比率(%)
天目茶碗		23,732	3.75	1,257.83	4.26	2,527.24	5.53
平碗		182,938	28.92	7,277.63	24.65	12,326.82	26.99
碗類		4,856	0.77	526.57	1.78	783.51	1.72
縁釉小皿		76,590	12.11	6,294.13	21.32	11,452.06	25.07
卸皿		50,443	7.98	3,153.62	10.68	3,879.76	8.49
皿類		11,194	1.77	1,672.30	5.66	2,425.66	5.31
盤類		73,146	11.56	2,218.26	7.51	2,174.92	4.76
鉢類		53,215	8.41	1,995.64	6.76	3,203.50	7.01
壺瓶類		105,537	16.69	2,154.78	7.30	3,280.68	7.18
その他	袴腰形香炉	2,341	0.37	170.72	0.58	264.65	0.58
	筒形香炉	18,027	2.85	1,574.42	5.33	1,844.64	4.04
	香炉	18	0.00	0.00	0.00	3.31	0.01
	筒形容器	17,158	2.71	433.88	1.47	689.08	1.51
	内耳鍋	7,272	1.15	179.08	0.61	235.23	0.51
	花盆	553	0.09	11.15	0.04	38.77	0.08
	燭台	1,439	0.23	82.07	0.28	57.80	0.13
	その他	3,871	0.61	516.50	1.75	476.23	1.04
不明		183	0.03	6.08	0.02	14.66	0.03
合計		632,513	100.00	29,524.66	100.00	45,678.52	100.00

第 136 図　鷺窯跡出土破片数・個体数組成グラフ

第５節　焼台について

生産量を解明する方法として、窯体の床面積や窯体の床面に残った焼台や製品から、あるいは灰原出土の製品や窯道具の数量等から試みられている。操業期間を検討する場合一回にどれだけの器種がどれだけ焼かれたかが問題となる。鶯窯跡の調査においても、窯道具の一つである焼台に着目し、発掘調査開始から終了まで、調査区内出土の全ての焼台をカウントする作業を実施し数量をもとめた。

１．焼台資料の分類

どのように窯詰めされたかを知る手がかりとして、焼台・匣鉢などの窯道具類と重ね焼きされた製品の溶着資料があげられるが、焼台のみを対象とした検討である。

焼台は、燃焼室に並べる製品を、水平に保つために用いられた粘土塊で台として床面に貼り付け、その形が馬の爪に似ていることから「馬爪焼台」ともいわれている。

焼台は、匣鉢や製品を置く水平になった面の径の大きさによって、５分類しカウントした。

全体が１／２以上あるものについて１点として、発掘調査時に現地で毎日カウントを行った。カウント済みの焼台は、排土と同様にシューターを使い下へ流し廃棄処理した。

但し、焼台に製品の一部（高台等）あるいは匣鉢が付着したものについては、カウント後すべてを取り上げた。角度を検討した焼台は、この製品や匣鉢が付着した焼台、平成10・11年度740点、平成13年度115点の合計855点についてである。

焼台は酸化炎焼成のためすべて赤褐色を呈し、砂粒を多く含んだ粗い胎土である。平面形は不整形な円形を呈し、上面には製品の底部痕や高台痕が認められた。焼成時に焼台と製品が付着しないように５㎜前後の小粒な石から、大きいものは２㎝前後の小石が、数個上面に敷かれ、小石はチャートが多く、アプライトや長石もある。側面には指圧痕が認められる。焼台は原則として一回の焼成で廃棄される。

水平になった平らな面の径の大きさによって、A、B、C、D、Eに５分類した。

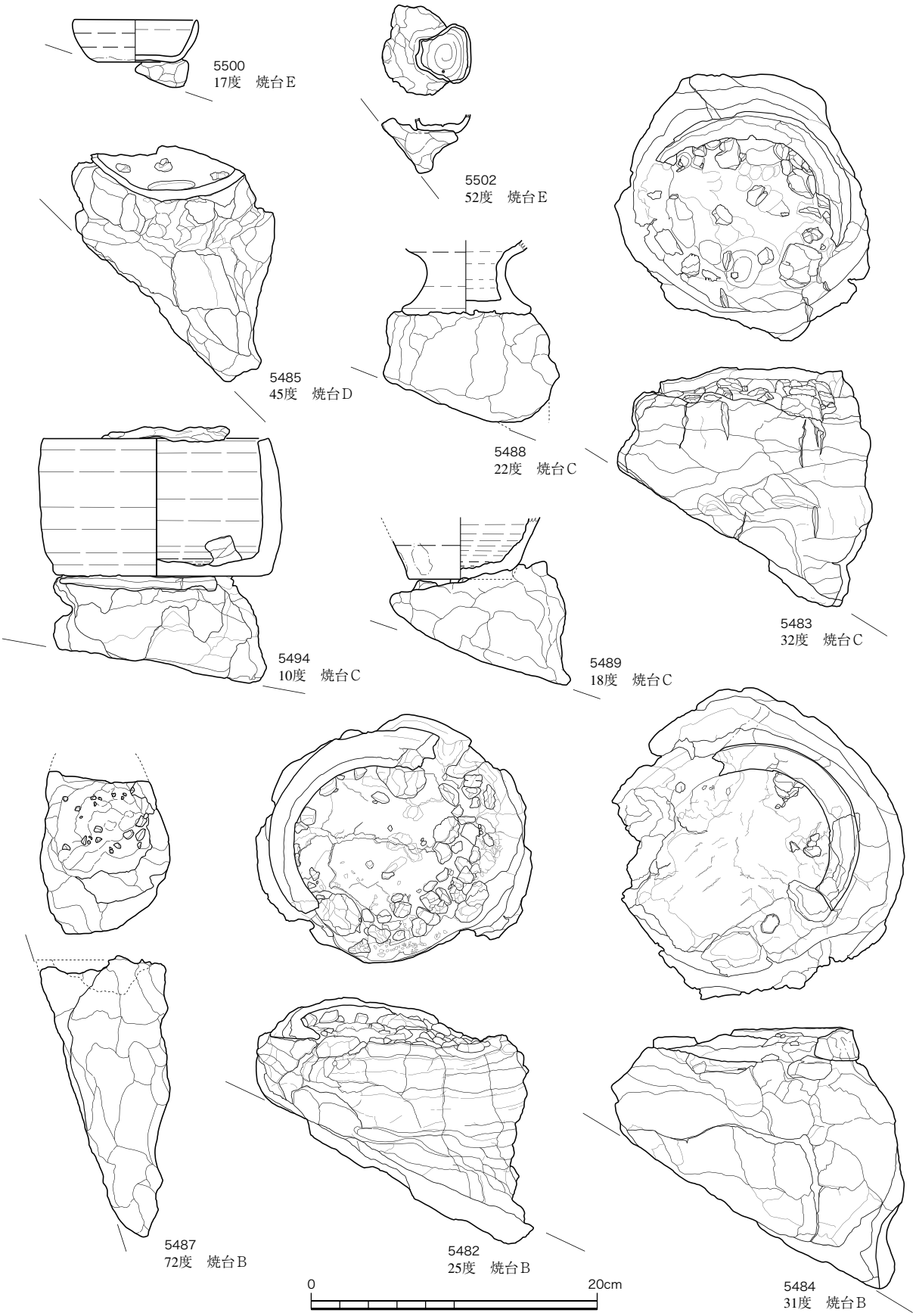
A（特大）は径10㎝以上、B（大）は径が８㎝以上10㎝以内、C（中）は６㎝以上８㎝以内、D（小）は４㎝以上６㎝以内、E（ミニ）はD（小）より小さく４㎝以下である。

３回の調査で出土した焼台は平成10・11年が107,758点、平成13年が6,981点の総合計114,739点を数えた。分類ごとの出土点数は以下の通りである。

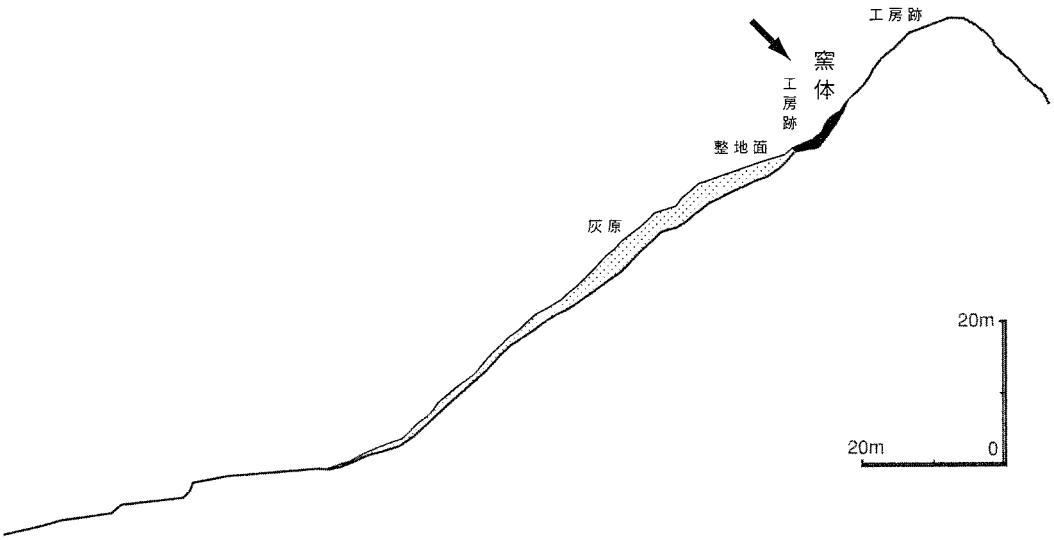
焼台Aは97点（0.084％）、焼台Bは4,835点（4.213％）、

焼台Cは59,930点（52.231％）、焼台Dは34,352点（29.939％）、

焼台Eは15,525点（13.53％）、総合計114,739点（99.997％）（第54表～第56表　第137図）



第137図　種類別焼台実測図



第138図　鶯窯跡立地立面図

出土傾向を検討すると、一番多く出土した焼台は焼台Cの59,930点で出土焼台の52％を占め、次に焼台Dの34.352点で29％ある。焼台として最も用いられたのは、平らな面の径が6㎝以上8㎝以内の焼台Cで、他の焼台より圧倒的な多さが目立ち、鶯窯では重宝された大きさといえよう。ただしこの大きさの焼台は、他の窯跡でもよく見られる普遍的な大きさの焼台でもある。

各焼台の出土分布から、焼台Bは、窯体から離れるほど出土量がふえており、焼台Eは窯体から離れるほど出土量が少なくなっている。相反する傾向であるが、発掘調査時の現地の灰原の状況、斜度32度から38度を考えればあたりまえといってしまえばそれまでであるが、焼台Bの大きな焼台は下までよく転がっていき、焼台Eの小さい焼台は下までは転がっていかないという傾向がみられた。一番多く出土した焼台Cは焼台Bや焼台Eのような顕著な傾向は認められなかったが、全体にまんべんなく出土しており、やや下に多いといった程度である。焼台Eについては、稀に水滴をのせたものが出土していることなどから、小形製品専用の焼台かと思われる。

2．焼台資料の角度

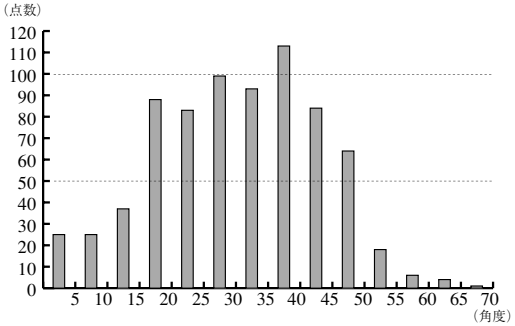
焼台の角度は、製品が窯の中のどの場所に置かれたかを知る手がかりとなる。焼台の設置場所が一番明確なものは、そのまま焼台が床面に残っている場合と床面の焼台痕跡の場合である。

鶯窯の場合、最終操業時の窯体の床面が良好な状態で、焼台の痕跡と焼台の一部がそのまま残っていたことによって推定復元が可能となったのである。

焼台に製品や匣鉢の一部が釉着あるいは付着していた焼台の、平成10・11年度740点と、平成13年度117点の総合計857点についての検討である。ただし平成13年度では角度計測不能な焼台が13点出土しており、角度を計測した焼台は総合計844点である。

第54表　平成10・11年度角度別出土点数表

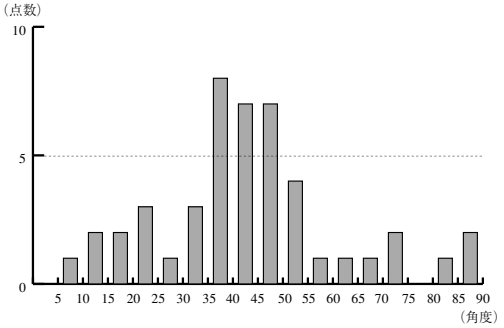
角　度	点数	%	角　度	点数	%	10度毎点数	10度毎%
0度～5度	25	3.378	6度～10度	25	3.378	50	6.756
11度～15度	37	5	16度～20度	88	11.891	125	16.891
21度～25度	83	11.216	26度～30度	99	13.378	182	24.594
31度～35度	93	12.567	36度～40度	113	15.27	206	27.837
41度～45度	84	11.351	46度～50度	64	8.648	148	20
51度～55度	18	2.432	56度～60度	6	0.81	24	3.243
61度～65度	4	0.54	66度～70度	1	0.135	5	0.675
合　計	344			396		740	99.996



第140図　平成10・11年度角度別出土グラフ

第55表　窯内 角度別出土点数表

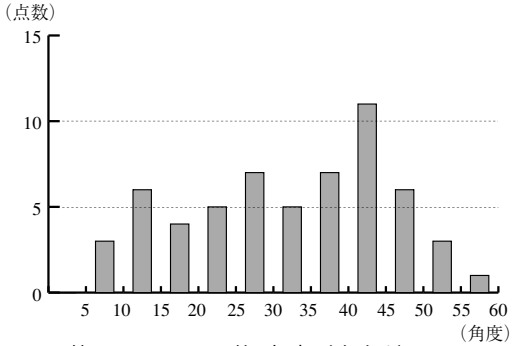
角　度	点数	%	角　度	点数	%	10度毎点数	10度毎%
0度～5度	0	0	6度～10度	1	2.173	1	2.173
11度～15度	2	4.347	16度～20度	2	4.347	4	8.695
21度～25度	3	6.521	26度～30度	1	2.173	4	8.695
31度～35度	3	6.521	36度～40度	8	17.391	11	23.913
41度～45度	7	15.217	46度～50度	7	15.217	14	30.434
51度～55度	4	8.695	56度～60度	1	2.173	5	10.869
61度～65度	1	2.173	66度～70度	1	2.173	2	4.347
71度～75度	2	4.347	76度～80度	0	0	2	4.347
81度～85度	1	2.173	86度～90度	2	4.347	3	6.521
合　計	23			23		46	99.994



第141図　窯内 角度別出土グラフ

第56表　その他 角度別出土点数表

角　度	点数	%	角　度	点数	%	10度毎点数	10度毎%
0度～5度	0	0	6度～10度	3	5.172	3	5.172
11度～15度	6	10.344	16度～20度	4	6.896	10	17.241
21度～25度	5	8.62	26度～30度	7	12.068	12	20.689
31度～35度	5	8.62	36度～40度	7	12.068	12	20.689
41度～45度	11	18.965	46度～50度	6	10.344	17	29.31
51度～55度	3	5.172	56度～60度	1	1.724	4	6.896
合　計	30			28		58	99.997



第142図　その他 角度別出土グラフ

(1) 平成10・11年度出土焼台

灰原部分からの出土が多く、740点出土した。焼台A（特大）は5点、焼台B（大）は36点、焼台C（中）は421点、焼台D（小）は219点、焼台E（ミニ）は57点、分類不能な焼台2点、の角度を計測した。

角度を5度毎に区切った、角度別出土状況は以下の通りである。

0度から5度・25点　(3.378%)　6度から10度・25点　(3.378%)
11度から15度・37点　(5%)　16度から20度・88点　(11.891%)
21度から25度・83点　(11.216%)　26度から30度・99点　(13.378%)
31度から35度・93点　(12.567%)　36度から40度・113点　(15.270%)
41度から45度・84点　(11.351%)　46度から50度・64点　(8.648%)

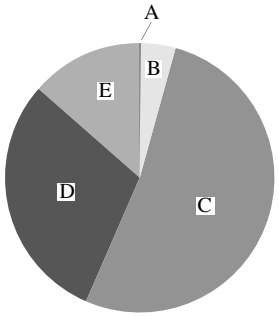
51度から55度・18点　(2.432%)　56度から60度・6点　(0.810%)
61度から65度・4点　(0.540%)　66度から70度・1点　(0.135%)

合計740点（99.994%）

出土量の多い角度順に焼台を並べると、一番多い角度は36度から40度の113点で15%を占めている。次に多いのは26度から30度の99点、31度から35度の93点、16度から20度の88点、41度から45度の84点、21度から25度の83点、46度から50度の64点となる。このことから焼台がよく利用された床面角度は、角度が16度以上で45度までということになる。

第57表　焼台分類別出土点数表

種類	点　数	%
焼台A	97	0.084
焼台B	4835	4.213
焼台C	59930	52.231
焼台D	34352	29.939
焼台E	15525	13.53
総合計	114739	99.997



第139図　焼台分類別グラフ

最少角度の焼台は分焔柱周辺の平らな部分に、最大角度の焼台は煙道付近に、いずれも設置されたものと想定される。

角度から焼台を検討すると、以外なことに窯体の最終床面の角度の焼台が少ないことに気がつく。最終床面の角度は50度あり、50度以上の角度を持つ焼台は29点で3.917%と非常に少ない。そして普遍的な床面角度である31度から40度をみると、206点で27.837%と他の角度の焼台に比べ一番多く、床面に対し最も妥当な角度であったことが窺われる。しかし最終床面の角度ではありえないないことからこの普遍的な角度の焼台は、それより以前の窯に使用された焼台と推測され、古い窯体の床面傾斜角度が30度から40度を測ることから、この31度から40度の焼台が古い窯体の床面傾斜角度に伴う焼台とも考えられるのである。

(2) 平成13年度出土焼台

調査面積が300㎡、窯体とその直下の灰原部分で、117点出土した。窯内と、その他に分け、窯内より出土の焼台については製品の付着有無に関わらずカウント後全て取り上げた。その他は製品の釉着あるいは付着のある焼台である。窯内から46点、その他から71点の出土である。

窯内から出土の46点の焼台は、焼台Aが4点、焼台Bが15点、焼台Cが15点、焼台Dが10点、焼台Eが2点である。窯内出土の焼台46点の角度を計測し、5度毎に区切った角度別出土状況は、以下の通りである。

0度から5度・0点　(0%)　6度から10度・1点　(2.173%)
11度から15度・2点　(4.347%)　16度から20度・2点　(4.347%)
21度から25度・3点　(6.521%)　26度から30度・1点　(2.173%)
31度から35度・3点　(6.521%)　36度から40度・8点　(17.391%)
41度から45度・7点　(15.217%)　46度から50度・7点　(15.217%)
51度から55度・4点　(8.695%)　56度から60度・1点　(2.173%)

61度から65度・１点 （2.173％） 66度から70度・１点 （2.173％）
71度から75度・２点 （4.347％） 76度から80度・０点 （０％）
81度から85度・１点 （2.173％） 86度から90度・２点 （4.347％）

合計46点（99.988％）

窯内出土の焼台を出土量の多い角度別に並べると36度から40度、41度から45度、46度から50度がそれぞれ７点と一番多く、次に51度から55度の４点、21度から25度と31度から35度の各３点となる。５度区分で90度までの角度で出土していない角度は０度から５度と76度から80度である。

最小角度は焼台Ｃの10度で、次に12度、14度、18度、20度といずれも焼台Ｃである。最高角度は焼台Ｄの90度である。次の80度台は２点あり、焼台Ｄの86度と焼台Ｂの84度である。

窯内出土焼台の角度は大きく三グループにわかれる。10度から25度の８点、28度から49度の23点、50度から90度までの15点である。最終床面の角度、50度以上までを10度毎に比べると、普遍的な角度である31度から40度は11点、41度から50度は14点、51度から60度は５点である。50度以上の最終床面の角度を示す焼台は50度の３点を含めても15点（32.608％）と意外に少ない。50度以下の焼台31点については、設置場所として分焔柱周辺でないと角度に該当する床を想定できないこととなる。

焼台に匣鉢が付着している焼台が７点あり、焼台Ｃが５点、焼台Ｄと焼台Ｂが各１点で、焼台Ｃに匣鉢の付着が多い。匣鉢付着焼台の最小角度は焼台Ｃの12度、最高角度は焼台Ｂの84度である。

焼台Ｄのなかに小粒の石を製品高台設置面に敷いた焼台が４点出土している。28度、38度、51度、58度の各１点で灰原出土の焼台を参考に推測すれば、平碗の焼台かと思われる。

その他は71点出土している。焼台Ｂが５点、焼台Ｃが30点、焼台Ｄが14点、焼台Ｅが19点、不明３点である。分類したが角度の計測不能な焼台が、焼台Ｂが１点、焼台Ｃが４点、焼台Ｄが１点、焼台Ｅが４点、不明が３点の13点あった。このため13点は角度計測からは除外した。

計測した58点は、焼台Ｂが４点、焼台Ｃが26点、焼台Ｄが13点、焼台Ｅが15点で、角度を計測し、５度毎に区切った、角度別出土状況は以下の通りである。

０度から５度・０点 （０％） ６度から10度・３点 （5.172％）
11度から15度・６点（10.344％） 16度から20度・４点 （6.896％）
21度から25度・５点 （8.620％） 26度から30度・７点（12.068％）
31度から35度・５点 （8.620％） 36度から40度・７点（12.068％）
41度から45度・11点（18.965％） 46度から50度・６点（10.344％）
51度から55度・３点 （5.172％） 56度から60度・１点 （1.724％）

合計58点（99.993％）

出土量の多い角度別に並べると、41度から45度が11点で一番多く11点、26度から30度と36度から40度の各７点、11度から15度の６点、46度から50度、31度から35度、21度から25度の各５点となる。61度以上の角度をもつ焼台はここでは出土していない。

（3）焼台の角度

3回の調査で出土した焼台114,739点の中で焼台に製品や匣鉢の一部が釉着あるいは付着していた焼台は855点である。855点の中で計測不能な焼台が13点あり、角度を計測した焼台は総合計842点（0.738%）となった。5度毎に区切った、角度別出土状況は以下の通りである。

0度から5度・25点　（2.969%）　6度から10度・29点　（3.444%）
11度から15度・45点　（5.344%）　16度から20度・94点　（11.163%）
21度から25度・91点　（10.807%）　26度から30度・107点（12.707%）
31度から35度・101点（11.995%）　36度から40度・128点（15.201%）
41度から45度・102点（12.114%）　46度から50度・76点　（9.026%）
51度から55度・24点　（2.850%）　56度から60度・8点　（0.950%）
61度から65度・5点　（0.593%）　66度から70度・2点　（0.237%）
71度から75度・2点　（0.237%）　76度から80度・0点　（0%）
81度から85度・1点　（0.118%）　86度から90度・2点　（0.237%）

合計842点（99.992%）

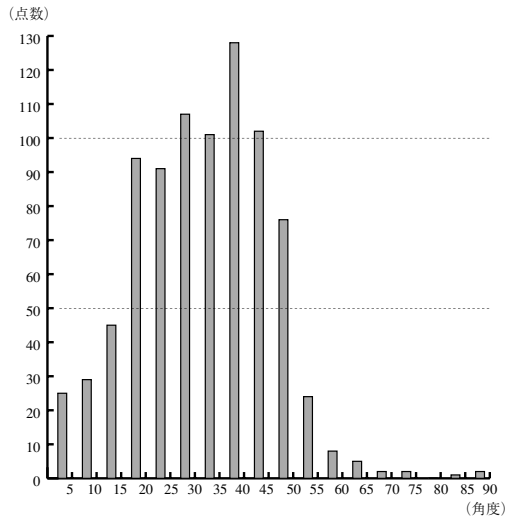
出土量の多い角度別に並べると、36度から40度の128点、26度から30度の107点、41度から45度の102点、31度から35度の101点、16度から20度の94点、21度から25度の91点といずれも全体の10%以上を占め、それ意外の角度と出土点数で大きな差が見受けられる。

普遍的な床面角度である31度から40度が229（27.197%）点と一番多く、もっとも適した角度であったことが窺われると同時に一番生産が盛んな時期の結果ではないかと思われる。

一方最終床面の角度50度以上の焼台は44点（5.225%）、46度から50度の76点を加えたとしても120点（14.251%）と意外に少なく、この最終床面の操業期間が短期間であったからこそ出土点数が少ないと考えるのもあながちまちがいではないだろう。これらのことから普遍的角度の床面をもった窯体の操業期間は長く、最終床面の操業期間は短期間であったと言えよう。

第58表　鶯窯跡 角度別焼台出土点数表

角　度	点数	%	角　度	点数	%	10度毎点数	10度毎%
0度～5度	25	2.969	6度～10度	29	3.444	54	6.413
11度～15度	45	5.344	16度～20度	94	11.163	139	16.508
21度～25度	91	10.807	26度～30度	107	12.707	198	23.515
31度～35度	101	11.995	36度～40度	128	15.201	229	27.197
41度～45度	102	12.114	46度～50度	76	9.026	178	21.14
51度～55度	24	2.85	56度～60度	8	0.95	32	3.8
61度～65度	5	0.593	66度～70度	2	0.237	7	0.831
71度～75度	2	0.237	76度～80度	0	0	2	0.237
81度～85度	1	0.118	86度～90度	2	0.237	3	0.356
合　計	396			446		842	99.997



第143図　鶯窯跡 角度別焼台出土グラフ

角度別では唯一76度から80度の出土例がないが、80度以上の焼台もあることから、基本的には０度から90度まで利用できる焼成室すべての床面を使用して製品が焼かれてことが窺われる。

すべての焼台の角度を計測したわけではないのでおのずと限界はあるが、角度計測による角度毎の出土量の差は、生産量の差でもあり、操業時における窯詰めの違いや操業回数の違いが現れているのではないかと思われる。

３．窯詰めの復元

どのように窯詰めされたのか、焼台の設置場所については、焼成室内の床面の焼台の痕跡とそのまま残った焼台を具体例として（第144図）、窯詰めの状況を検討する。

焼成室内床面に残された焼台（痕跡も含む）は８列51個確認されている。床面に残った焼台は、焼台Ａが２個、焼台Ｂが４個、焼台Ｃが19個で、これ以外は痕跡となる。各列の間隔は、狭い部分で４㎝前後、広くて８㎝前後を測り、横の間隔は、狭い部分では２㎝前後、広い部分で４㎝と列の間隔の半分である。焼成室なかほどには焼台Ａが設置されるが一列すべてに設置されたかどうかは現状では不明である。同様にすべての列で同じ種類の焼台が使用されていたかは不明である。

最終床面を基に、焼台による窯詰めの状況を復元（第145図）した。

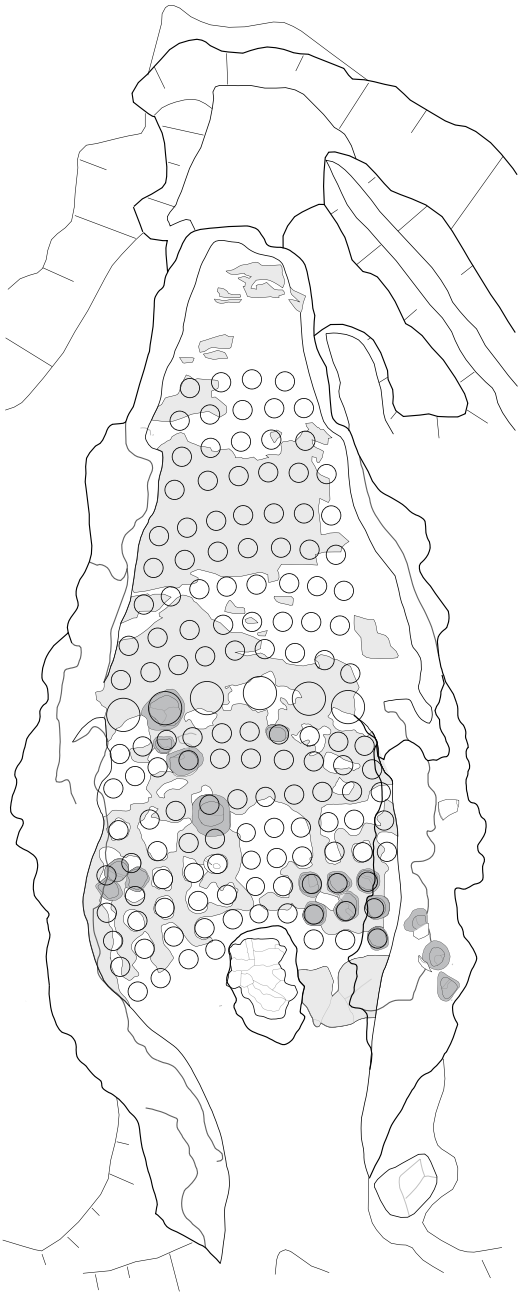
分焔柱より18列で、分焔柱より後ろ２列が10個づつ横に弧を描いたように中心が奥に深い設置方法で設置し、それより後ろ２列は11個づつで９列目の焼台Ａは１列６個とし、焼台Ａ以外は出土量が一番多かった焼台Ｃを想定した。すると最終床面には総数144個の焼台が設置された。

想定した列と焼台は以下の通りである。

１列目	７個	分焔柱の列	10列目	９個	
２列目	10個	*痕跡有り	11列目	８個	
３列目	10個	*痕跡有り	12列目	８個	
４列目	11個	*痕跡有り	13列目	７個	
５列目	11個		14列目	７個	
６列目	10個		15列目	６個	
７列目	10個		16列目	５個	
８列目	10個		17列目	５個	
９列目	６個	（焼台Ａ）	18列目	４個	焼台総数　144個

なお焼台Ｅは小形製品用の焼台と当初想定していたが、匣鉢と匣鉢の間に挟んだ例が見られたことから焼台だけでなく窯道具の一つとしても用いられていたと思われる。従って今回の床面に設置された焼台からの復元では想定は難しく、焼台Ｅは除くこととした。

第144図　窯体平面図　S=1:30



第145図　焼台設置復元図

４．操業回数と操業年数

鷲窯跡出土の焼台のカウントを行い、１／２以上残存するものを１点として総合計114,739点を数えた。単純に１／２が２点で一個体として、個体数をだすと総個体数は57,369.5個体となる。分類別個体数は、焼台Ａが48.5個体、焼台Ｂが2,417.5個体、焼台Ｃが29,965個体、焼台Ｄが17,176個体、焼台Ｅが7,762.5個体である。この個体数をもとに、操業回数と操業年数を検討する。

総個体数、57,369.5個を基礎数とし、窯詰めの一回で使用する焼台を、復元推定した144個とする。

例１　総個体数から

操業回数398回、年４回操業で100年、年５回操業で80年。

総個体数から一回で使用する焼台147個を割ると、398.399回と操業回数がでる。四捨五入し398回の操業回数である。一年に４回操業したと仮定すると、一年に576個の焼台が必要となり総個体数から一年分の576個で割ると99.599年と操業年数がでる。四捨五入し100年である。一世紀もの長期間の操業となる。年５回操業したと仮定すると、一年に720個の焼台が必要で、総個体数から一年分の720個で割ると79.679年と操業年数がでる。四捨五入し80年である。

例２　焼台Ｅを除いた個体数（49,607個）から

操業回数344回、年４回操業で86年、年５回操業で69年。

個体数から一回で使用する焼台144個を割ると、344.493回の操業回数が。四捨五入し344回の操業回数である。一年に３回操業で114.831年、四捨五入し115年、一世紀以上の操業である。４回操業で86.123年、四捨五入し86年、５回操業で68.898年、四捨五入し69年である。

次に、復元推定の個数は煙最終床面で幅が狭くなったということを考慮し、復元推定の２列目より16列目までに一個づつ増やし焼台を159個と想定する。

例３　総個体数から

操業回数361回　年４回操業の場合　90年　年５回操業の場合　72年。

個体数から一回で使用する焼台159個で割ると、360.814回の操業回数が。四捨五入し361回の操業回数である。一年に４回操業したと仮定すると、一年に636個の焼台が必要で、総個体数から一年分の636個で割ると90.203年、四捨五入し90年、５回操業では795個の焼台が必要で、一年分の795で割ると72.162年、四捨五入し72年である。

例４　焼台Ｅを除いた個体数（49,607個）から

操業回数312回　年４回操業の場合　78年　年５回操業の場合　62年

個体数から一回で使用する焼台159個で割ると、311.993回の操業回数が。四捨五入し312回の操業回数である。一年に４回操業で77.998年、四捨五入し78年、５回操業で62.398年、四捨五入し62年である。

以上をまとめると

総個体数から焼台144個の場合

操業回数が398回、年３回操業で年133年、年４回操業で100年、年５回操業で80年。

総個体数から焼台Ｅを除き、焼台144個の場合

操業回数が344回、年３回操業で115年、年４回操業で86年、年５回操業で69年。

総個体数から焼台159個の場合

操業回数が361回、年３回操業で120年、年４回操業で90年、年５回操業で72年

総個体数から焼台Ｅを除き、焼台159個の場合

操業回数が312回、年３回操業で104年、年４回操業で78年、年５回操業で62年

いずれの結果からも、操業回数が312回以上から398回と、操業回数が異常に多い。年間の窯の操業を考えた場合、梅雨時をはずした３回と見ると104年から133年と、一世紀を越してしまうのである。年５回操業で62年から80年で、年４回操業でも78年から100年である。

年５回操業は難しく思われ、多くとも年４回が限界かと思われるのである。そうすると焼台Ｅを除いた場合、年４回操業して86年と78年、の操業期間である。

操業期間については、出土遺物の検討のうえで再度の仔細な検討が必要となってくる。鶯窯跡は藤澤編年では古瀬戸中期様式中Ⅳ期から後期様式後Ⅲ期に位置づけられている。中Ⅳ期は14世紀中葉あたりに位置づけられ、後Ⅲ期は1420年から1430年に編年されており、約80年程の期間がある。

５．小　結

焼台の分析から、操業回数は312回、年４回操業で78年が妥当かと思われるが、あくまでも焼台の出土点数からの試みである。操業回数が312回というのは、窯業遺跡では調査例のない異常な回数でもある。78年間という長い期間操業していた証でもあるが、これだけの長い操業期間しかも同じ場所、同じ窯体で焼かれた例はないのである。普遍的な窯と比べ特異な窯であるともいえる。そして焼台の分析から年４回操業という通年操業の窯であることが明らかになった。

第6節　使用された粘土量

使用された粘土量について、ここでは口縁部計測法と底部計測法で得られた個体数の多い方の個体数を使って、実測図から計算した容器の容量・粘土量・重量表（第32表、第33表）の項目、G.粘土量、K.成形時粘土量、L.初期重量の各器種の数値に、底部個体数を掛けて器種ごとの総粘土量と総重量をもとめた。各器種のなかで複数点あるものについては、粘土量の多い数値を使用し計算した。器種毎の総粘土量と総重量をまとめたものが第59表である。なお実測図による容量・重量の計算については第4章第9節を参照されたい。

1．総粘土量

出土85種類の器種のなかの50種類（58.8%）での数値である。出土全底部個体数は45678個体で、第37表で提示した底部個体数はその内の底部個体総数43803個体（95%）についての数値である。また出土個体数で例えば平碗7が12092個体で平椀の個体数では12326個体とあるのは前者は平碗の分類の中での個体数で後者は平碗全個体数である。

50種類66点について、総合計が、初期重量113325.3g（113kg）、粘土量39228.3㎤（0.039㎥）、成形時粘土量43586.5㎤（0.043㎥）となる。

この66点についてそれぞれ出土底部個体数を掛けた総合計は、

総重量は　42720982.1g（42.7t）、
総粘土量は　14788552.9㎤（14788㎥）、
成形時総粘土量は　16431018.1㎤（16431㎥）となる。

例えば現在の11tダンプカーに換算すると総重量は約3.8車、11tの1車で約6㎥が積載できるとすると、総粘土量は約2464車、成形時総粘土量は2738車となる。

単純に出土全底部個体数1点についての数値、総重量、総粘土量、成形時総粘土量は、

総重量　42720982.1g÷45678個体＝935.26384g（935g）
総粘土量　14788552.9㎤÷45678個体＝323.75657㎤（0.00032㎥）
成形時総粘土量　16431018.1㎤÷45678個体＝359.71404㎤（0.00035㎥）となる。

総重量、総粘土量、成形時総粘土量に、焼台の分析から得られた操業回数312回と年4回操業では、操業回数312回ということで1回操業時の数値は

総重量　42720982.1g÷312回＝136926.224679g（136kg）
総粘土量　14788552.9㎤÷312回＝47399.2080128㎤（0.047㎥）
成形時総粘土量　16431018.1㎤÷312回＝52663.5195512㎤（0.052㎥）となる。

1年に4回操業では

総重量　136926g×4回＝547704g（547kg）
総粘土量　47399×4回＝189596㎤（0.189㎥）
成形時総粘土量　52663×4回＝210652㎤（0.21㎥）となる。

第59表　各器種の粘土量・成形時粘土量・重量

番号	登録番号	器種	出土個体数	粘土量（㎤）	総粘土量（㎤）	成形時粘土量（㎤）	成形時総粘土量（㎤）	初期重量（g）	総重量（g）
1	695	浅碗Ⅰ	112	156.4	17516.8	173.8	19465.6	451.9	50612.8
2	2559	内耳鍋	235	847.5	199162.5	941.7	221299.5	2448.4	575374.0
3	4472	桶	32	1746.1	55875.2	1940.1	62083.2	5044.3	161417.6
6	1392	折縁小皿4	1571	64.1	100701.1	71.2	111855.2	185.1	290792.1
8	125	折縁深皿ⅡA	841	3040.1	2556724.1	3377.9	2840813.9	8782.5	7386082.5
9	1824	折縁中皿	574	207.8	119277.2	230.9	132536.6	600.3	344572.2
11	1670	折縁ひだ鉢A	86	1732.7	149012.2	1925.2	165567.2	5005.5	430473.0
13	1479	卸皿A	690	221.3	152697.0	245.8	169602.0	639.1	440979.0
15	5521	卸皿C	102	89.4	9118.8	99.3	10128.6	258.2	26336.4
16	5536	卸皿A	1741	165.4	287961.4	183.8	319995.8	477.9	832023.9
17	5535	卸皿B	538	99.8	53692.4	110.9	59664.2	288.3	155105.4
18	5527	卸皿E	14	24.0	336.0	26.6	372.4	69.2	968.8
20	1441	卸目付大皿	16	899.8	14396.8	999.7	15995.2	2599.2	41587.2
22	2385	片口小鉢	161	502.8	80950.8	558.7	89950.7	1452.6	233868.6
23	2456	片口鉢(釉有)	6	860.0	5160.0	955.6	5733.6	2484.6	14907.6
25	2959	花瓶Ⅰ	36	59.2	2131.2	65.8	2368.8	171.1	6159.6
27	3188	花瓶Ⅲ	831	391.1	325004.1	434.5	361069.5	1129.7	938780.7
29	3044	花瓶ⅡA	1544	1006.5	1554036.0	1118.4	1726809.6	2907.8	4489643.2
31	4534	花盆	38	1656.2	62935.6	1840.2	69927.6	4784.5	181811.0
32	2794	甕	24	4131.6	99158.4	4590.6	110174.4	11935.6	286454.4
34	2265	柄付片口刷毛塗り	1264	465.1	587886.4	516.8	653235.2	1343.7	1698436.8
35	117	柄付片口露胎	47	418.6	19674.2	465.1	21859.7	1209.3	56837.1
36	2885	口広壺	126	655.3	82567.8	728.1	91740.6	1893.1	238530.6
38	4936	合子	18	54.8	986.4	60.8	1094.4	158.1	2845.8
41	2142	小鉢d鉄釉	39	77.0	3003.0	85.5	3334.5	222.3	8669.7
42	2230	小鉢e灰釉	233	20.0	4660.0	22.2	5172.6	57.7	13444.1
45	823	小碗	118	72.0	8496.0	80.0	9440.0	208.0	24544.0
49	2717	四耳壺	329	3433.2	1129522.8	3814.6	1255003.4	9918.0	3263022.0
50	763	小天目	292	68.4	19972.8	76.0	22192.0	197.6	57699.2
52	4932	小杯	18	40.9	736.2	45.5	819.0	118.3	2129.4
54	1921	小鉢a	1054	164.0	172856.0	182.2	192038.8	473.7	499279.8
56	4363	水注Ⅳ	26	229.3	5961.8	254.8	6624.8	662.5	17225.0
57	4342	水注Ⅱ	22	352.2	7748.4	391.3	8608.6	1017.4	22382.8
58	4299	水注Ⅰ	118	444.2	52415.6	493.5	58233.0	1283.1	151405.8
60	2512	擂鉢C	126	822.7	103660.2	914.1	115176.6	2376.7	299464.2
63	4389	双耳小壺	18	236.4	4255.2	262.7	4728.6	683.0	12294.0
69	4595	茶入	34	121.2	4120.8	134.6	4576.4	350.0	11900.0
70	2800	茶壺	53	1727.5	91557.5	1919.5	101733.5	4990.7	264507.1
71	1905	中鉢	460	188.1	86526.0	209.0	96140.0	543.4	249964.0
74	5360	直縁大皿（小）	173	406.8	70376.4	452.0	78196.0	1175.2	203309.6
76	ii	直縁大皿A	470	1120.2	526494.0	1244.6	584962.0	3236.0	1520920.0
77	3466	直縁大皿A	868	362.7	314823.6	403.0	349804.0	1047.8	909490.4
79	iii	筒形香炉D	48	69.9	3355.2	77.7	3729.6	202.0	9696.0
81	3833	筒形香炉・段A	77	153.9	11850.3	171.0	13167.0	444.6	34234.2
85	4461	筒形容器Ⅱ	689	743.9	512547.1	826.6	569527.4	2149.2	1480798.8
86	2597	手付鍋	54	238.1	12857.4	264.6	14288.4	688.0	37152.0
87	5524	天目	2304	146.3	337075.2	162.5	374400.0	422.5	973440.0
90	4938	灯明皿	1	70.5	70.5	78.3	78.3	203.6	203.6
91	5526	灰釉天目	263	186.1	48944.3	206.8	54388.4	537.7	141415.1
95	3453	袴腰形香炉ⅡC	62	67.6	4191.2	75.1	4656.2	195.3	12108.6
96	3390	袴腰形香炉ⅡB	71	154.3	10955.3	171.4	12169.4	445.6	31637.6
97	3341	袴腰形香炉ⅠB	120	158.9	19068.0	176.6	21192.0	459.2	55104.0
98	3465	袴腰形香炉ⅡD	1	20.2	20.2	22.5	22.5	58.5	58.5
99	2530	鉢（釉無）	401	936.9	375696.9	1041.0	417441.0	2706.6	1085346.6
100	1431	八稜皿	18	174.8	3146.4	194.2	3495.6	504.9	9088.2
101	726	平底浅碗	1	80.6	80.6	89.6	89.6	233.0	233.0
104	731	平底末広碗	224	154.3	34563.2	171.4	38393.6	445.6	99814.4
108	520	平碗7	12092	210.7	2547784.4	234.1	2830737.2	608.7	7360400.4
111	4083	瓶子Ⅱ	568	1294.3	735162.4	1438.1	816840.8	3739.1	2123808.8
113	4507	風炉	2	4131.0	8262.0	4590.0	9180.0	11934.0	23868.0
114	1227	縁釉小皿3	5242	39.2	205486.4	43.5	228027.0	113.1	592870.2
118	854	縁釉小皿1	6171	107.3	662148.3	119.2	735583.2	309.9	1912392.9
120	3935	仏供	124	77.7	9634.8	86.3	10701.2	224.4	27825.6
121	4986	ミニチュア皿	5	10.8	54.0	12.0	60.0	31.2	156.0
123	4965	ミニチュア天目	1	7.5	7.5	8.4	8.4	21.8	21.8
125	2424	碗形鉢	166	611.1	101442.6	679.0	112714.0	1765.4	293056.4
合計					14788552.9		16431018.1		42720982.1

1回操業で使用された粘土の重量は136kg、総粘土量は0.047㎥、成形時総粘土量は0.052㎥である。

1年間4回操業で使用された粘土の重量は547kg、総粘土量0.189㎥、成形時総粘土量0.21㎥である。実態に近い粘土量の数値と思われるが、実際にはこれ以上の量が採掘され使用されたと推測される。

2．器種別粘土量

次に出土器種別の粘土の重量を見る。第32表、第33表の数値を用いるが同一器種の場合は、粘土量の多い例を用いて、底部個体数は器種の総個体数を用いた。また個体数も基本的には底部個体数を用いたが口縁部個体数の方が多い場合は口縁部個体数を用いた。そして操業回数の312回で割って1回での量を算出した。

平碗は182,938点（28％）出土、底部個体数12,326個（26％）つまり1回で39個焼成している。

登録番号520より　総重量　608.7×12326＝7502836.2g（7.5t）1回で24047g（24kg）

総粘土量　210.7×12326＝2597088.2㎤（2.597㎥）1回で8324㎤（0.008㎥）

成形時総粘土量　234.1×12326＝2885516.6㎤（2.885㎥）1回で9248㎤（0.009㎥）

縁釉小皿は76,590点（12％）出土、底部個体数11,452個（25％）、1回で36個焼成している。

登録番号854より　総重量　309.9×11452＝3548974.8g（3.5t）1回で11374g（11kg）

総粘土量　107.3×11452＝1228799.6㎤（1.228㎥）1回で3938㎤（0.003㎥）

成形時総粘土量　119.2×11452＝1365078.4㎤　1回で4375㎤（0.004㎥）

卸皿は50,443点（7％）出土、底部個体数3,879個（8％）、1回で12個焼成している。

登録番号1479より　総重量　639.1×3879＝2479068.9g（2.4t）1回で7945g（7kg）

総粘土量　221.3×3879＝858422.7㎤（0.858㎥）1回で2751㎤（0.002㎥）

成形時総粘土量　245.8×3879＝953458.2㎤（0.953㎥）1回で3055㎤（0.003㎥）

花瓶は37,832点（5％）出土、底部個体数1,593個（3％）、1回で5個焼成している。

登録番号3044より　総重量　2907.8×1593＝4632125.4g（4.6t）1回で1484 6 g（14kg）

総粘土量　1006.5×1593＝1603354.5㎤（1.603㎥）1回で5138㎤（0.005㎥）

成形時総粘土量　1118.4×1593＝1781611.2㎤（1.781㎥）1回で5710㎤（0.005㎥）

瓶子は28,110点（4％）出土、底部個体数557個（1％）、1回で1個焼成している。

登録番号4083より　総重量　3739.1×557＝2082678.7g（2t）1回で6675g（6kg）

総粘土量　1294.3×557＝720925.1㎤（0.720㎥）1回で2310㎤（0.002㎥）

成形時総粘土量　1438.1×557＝801021.7㎤（0.801㎥）1回で2567㎤（0.002㎥）

柄付片口は24,455点（3％）出土、底部個体数1,342個（2％）、1回で4個焼成している。

登録番号2265より　総重量　1343.7×1342＝1803245.4g（1.8t）1回で5779g（5kg）

総粘土量　465.1×1342＝624164.2㎤（0.624㎥）1回で2000㎤（0.002㎥）

成形時総粘土量　516.8×1342＝693545.6㎤（0.693㎥）1回で2222㎤（0.002㎥）

天目茶碗は23,732点（3％）出土、底部個体数2,527個（5％）、1回で8個焼成している。

登録番号5524より　総重量　422.5×2527＝1067657.5g（1t）1回で3421（3kg）

総粘土量　146.3×2527＝369700.1㎤（0.369㎥）1回で1184㎤（0.001㎥）

成形時総粘土量　162.5×2527＝410637.5㎤（0.41㎥）1回で1316㎤（0.001㎥）

四耳壺は20,295点（３％）出土、口縁個体数329個（１％）、１回で１個焼成している。

登録番号2717より　総重量　9918×329＝326302２g（3.2t）１回で1045８g（10kg）

総粘土量　3433.2×329＝1129522.8㎤（1.129㎥）１回で3620㎤（0.003㎥）

成形時総粘土量　3814.6×317＝1255003.4㎤（1.255㎥）１回で4022㎤（0.004㎥）

折縁・直縁は38,328点（６％）出土、底部個体数1,796個（３％）、１回で５個焼成している。

登録番号125より　総重量　8782.5×1796＝15773370g（15.7t）１回で5055５g（50kg）

総粘土量　3040.1×1796＝5460019.6㎤（5.460㎥）１回で1750０㎤（0.017㎥）

成形時総粘土量　3377.9×1796＝5864034.4㎤（5.864㎥）１回で1879４㎤（0.018㎥）

筒形香炉18,027点（２％）出土、底部個体数1,844個（４％）、１回で５個焼成している。

登録番号3833より　総重量　444.6×1844＝819842.4g（0.8t）１回で2627g（２kg）

総粘土量　153.9×1844＝283791.6㎤（0.283㎥）１回で909㎤（0.0009㎥）

成形時総粘土量　171.0×1844＝315324.0㎤（0.315㎥）１回で1010㎤（0.001㎥）

筒形容器17,158点（２％）出土、底部個体数689個（１％）、１回で２個焼成している。

登録番号4461より　総重量　2149.2×689＝1480798.8g（1.4t）１回で4746g（４kg）

総粘土量　743.9×689＝512547.1㎤（0.512㎥）１回で1642㎤（0.001㎥）

成形時総粘土量　826.6×689＝569527.4㎤（0.569㎥）１回で1825㎤（0.001㎥）

片口鉢無釉粗は10,889点（１％）出土、口縁部個体数401個（１％）、１回で１個焼成している。

登録番号2530より　総重量　2706.6×401＝1085346.6g（１t）１回で3478g（３kg）

総粘土量　936.9×401＝375696.9㎤（0.375㎥）１回で1204㎤（0.001㎥）

成形時総粘土量　1041.0×401＝417441.0㎤（0.417㎥）１回で1337㎤（0.001㎥）

器種毎の個体数の差は製品の需要を示すものと思われ、同じように焼かれていても微妙にその点数の違いとなって現れてきているのではないだろうか。１回操業の器種毎の個体数は平碗39個体24kg、縁釉小皿36個体11kg、卸皿12個体７kg、天目茶碗８個体３kg、花瓶５個体14kg、折縁・直縁５個体50kg、筒形香炉５個体２kg、柄付片口４個体５kg、筒形容器２個体４kg、瓶子１個体６kg、四耳壺１個体10kg、片口鉢無釉粗１個体３kgとなる。平碗39個と縁釉小皿36個の多さが目立ち、両器種の需要が相当あったことが窺われるのである。天目茶碗を例に見てみると、全出土点数に占める割合は７番目の３％を示しているが、１回操業に置き換えて、比較すると、点数的には卸皿についで４番目に多い焼成品であることがわかる。そこには天目茶碗の根強い需要があったからではないだろうか。

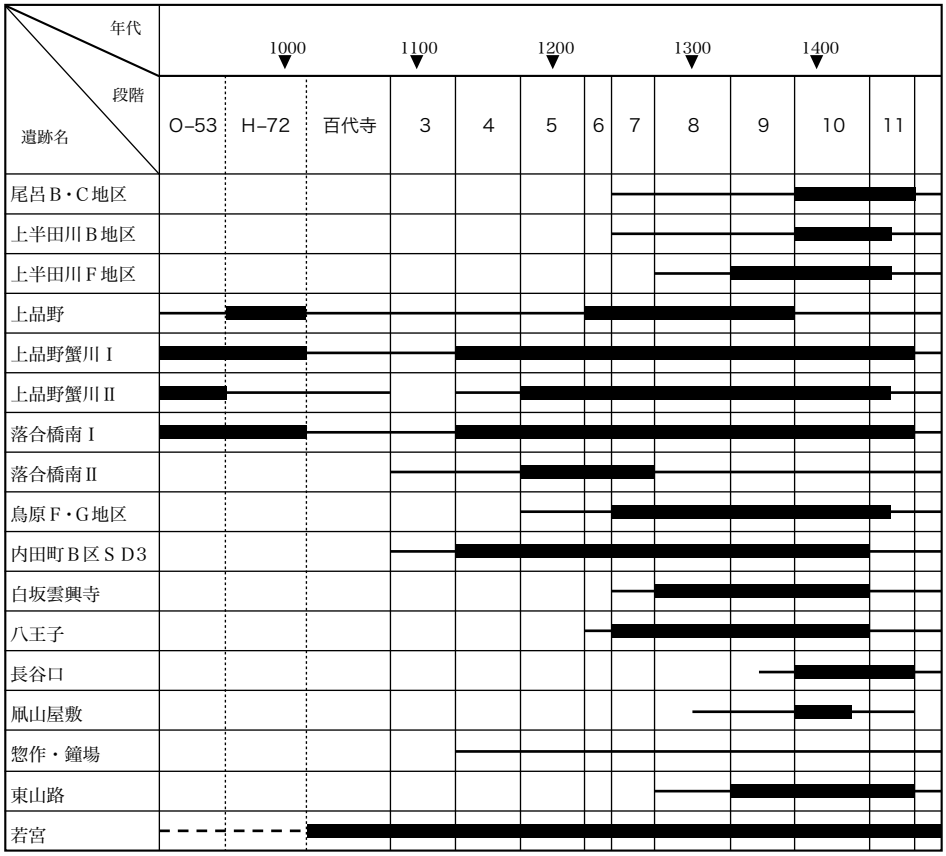
３．小　結

今回導き出した数値は完成品に使用された粘土の重量で、採掘され持ち込まれた粘土の重量ではない。この粘土量の何倍かの粘土が持ち込まれたのかもしれないが、製品化までに使われた粘土量を推測するのはなかなか難しい。しかし今回のように数値化することにより見えなかった部分もある程度は推定できる段階に高めることはできる。推測から推定である。そして製品化までの粘土量の歩留まりが推定できるようになれば１器種に必要な粘土量の数値が導き出されることが可能となってくる。

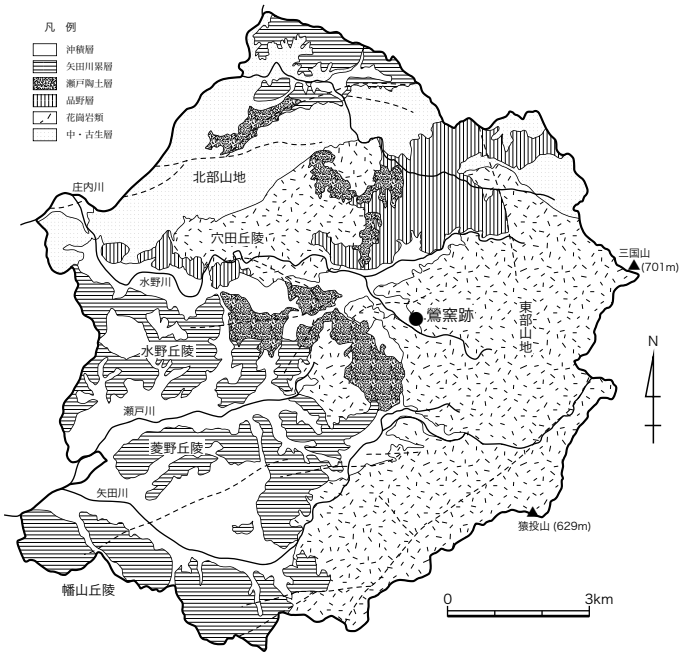
ではこれだけの大量の粘土はどこで採掘されたのか。窯体の周りに工房跡が見られるように、粘土採掘坑が窯体の周辺に見られれば、粘土採掘坑の調査例もあっていいはずであるが、粘土採掘跡が確認されたことは瀬戸窯においてはない。鷲窯跡でも粘土採掘坑は見られなかった。窯体から離れた場所で粘土を採掘し運ばれていたものと想定され、窯体から離れた場所に粘土採掘坑が見られるものと思われる。

窯の立地条件として製陶に適した土があることが不可欠で、瀬戸窯で使われている土は、瀬戸陶土層と呼ばれ、鉄分が少なく可塑性がある耐火度の高い土である。瀬戸市地質概念図の瀬戸陶土層の位置を鷲窯跡周辺地図に重ねて見ると（第148図）、鷲窯から５㎞以内の範囲に瀬戸陶土層が見られる。このことから鷲窯で使用された粘土は、身近に所在する瀬戸陶土層を採掘し使用していたことが窺えるのである。

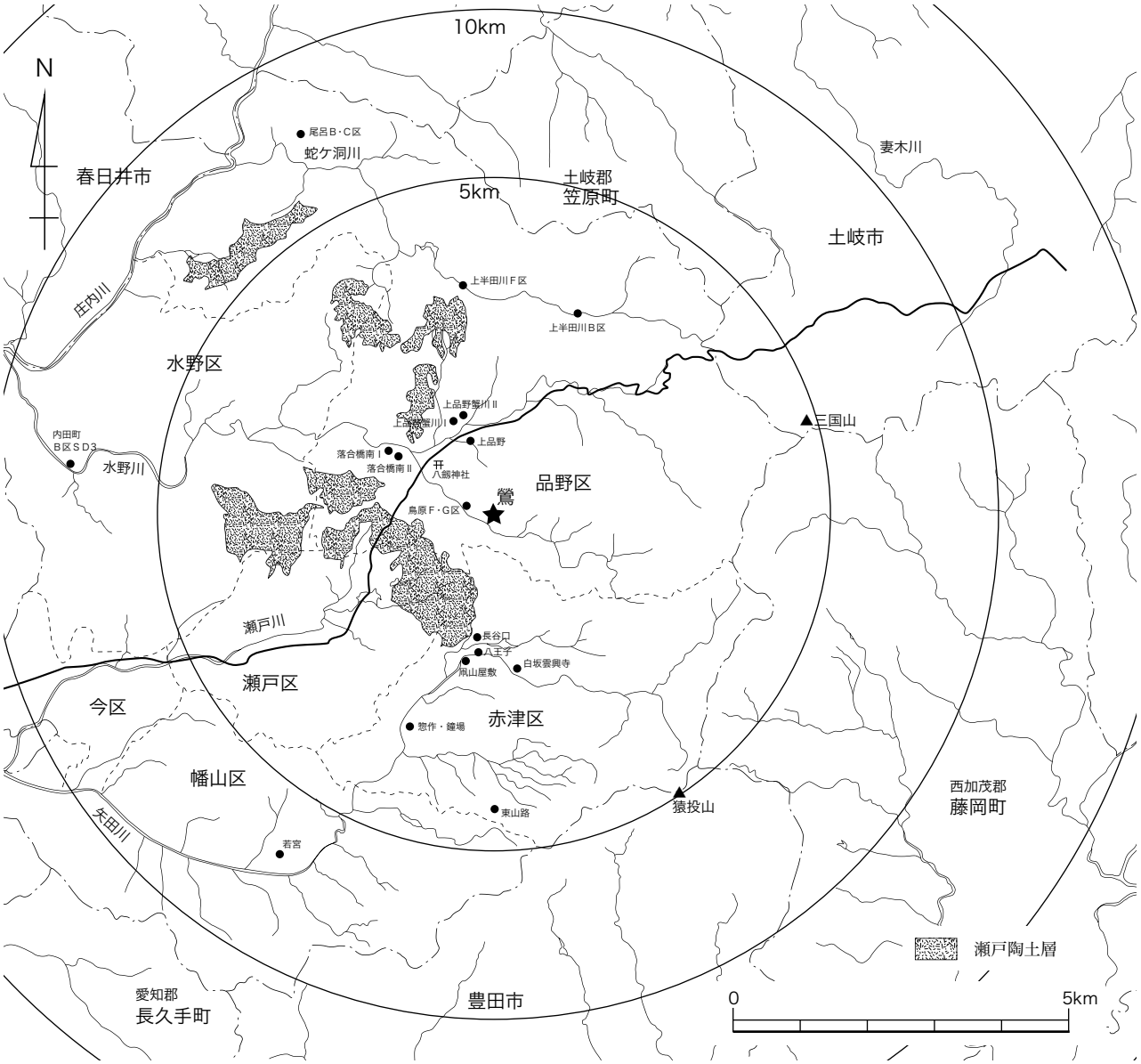
遺跡から粘土採掘坑が確認されにくい一因として、鷲窯跡においてもSD01とした断層が見られるように瀬戸地域は断層が多いことが上げられる。宇トゲ・中洞窯では断層により窯体のずれが見られた。粘土の採掘は山の中腹に露呈した粘土層を掘削していたものと思われ、粘土採掘坑が残っていたとしても、地滑りなどにより崩落し跡形も無く崩れてしまったり大規模に埋まった可能性が高いと考えられる。大規模に地形が変わり埋没したりしていては現在の窯体中心の調査では、粘土採掘坑の調査はなかなか困難な状況であると言えよう。



第 146 図　瀬戸市内中世集落の存続期間（藤澤資料に一部追加）



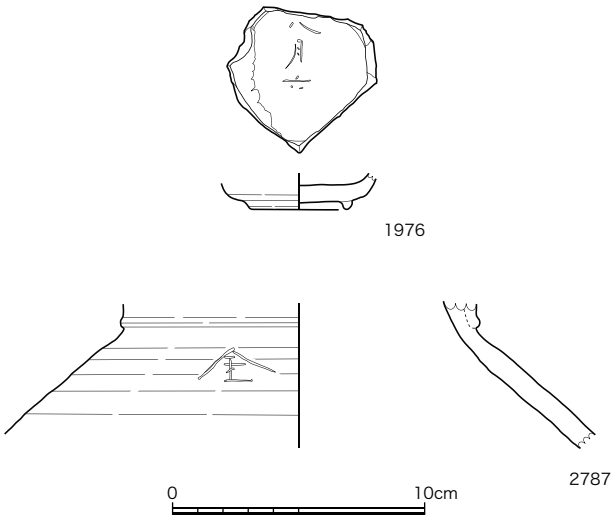
第 147 図　瀬戸市地質概念図



第 148 図　鴛窯と中世集落遺跡

第７節　主要器種について

鷲窯跡出土の多くの器種が灰釉製品で鉄釉製品は少ない。灰釉製品は淡緑色の灰釉が施釉され美しい釉調を呈している。また一部の製品の灰釉表面には、粘土採掘の時に混入したと考えられる青色に発色した天然呉須が噴き出したり流れたりしていた。ちなみに鶯色とは『日本伝統色　色名事典』によれば鶯の羽毛からきた色名で、鶸色（ひわいろ＝鳥からきた色名で緑みの黄系を表す代表的な色名）より暗い黄緑系の色をさして用いられ、鶯は近世に入り、江戸時代以降によく現れるようになった色名とあり、鷲窯出土の淡緑色の釉調とは少し違うようである。文字資料（第149図）は２点出土した。小鉢a類（1976）の『八月六』と甕（2787）の口縁下に『金』と刻まれた銘が見られる。２点ともに箆により銘が刻まれている。主要製品についての特徴や焼成の仕方など若干のまとめとする。

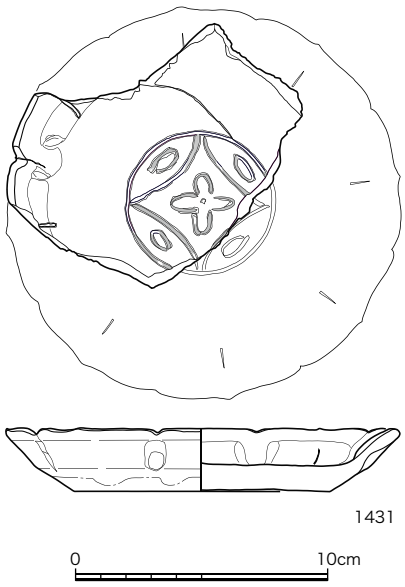


第 149 図　「八月六」・「金」銘実測図

１．用途別から

出土85種類の器種を供膳具、調理具、貯蔵具、灯火具、仏具、調度品の用途別にみると供膳具は碗、皿、鉢。調理具は鍋、釜、鉢、擂鉢、土瓶、風炉。貯蔵具は瓶子、壺、甕、桶。灯火具は灯明皿、灯明具。仏具は花瓶、香炉、燭台、調度品は筒形容器、花盆、花生、硯、水滴、狛犬となる。出土遺物は供膳具が全体の62％を、仏具は７％を示している。あくまでも生活用具の生産が中心ではあるが仏具といった宗教具や儀式用具の生産も行っているのである。

当時は禅院茶礼が盛んな頃で、座敷飾りに使用される器種が全体の10％を示している。出土器種から見ると、押板には三具足（７％）の香炉･燭台･花瓶と脇花瓶一対が、違棚には茶湯、聞香などの諸道具（３％）が、天目茶碗、茶入、茶壺、釜、風炉、合子である。附書院には硯・水滴などの文房



第 150 図　灰釉鉄彩七宝文八稜皿実測図

具類（０％）が飾り付けられていたと思われる。押板に茶臼の可能性もある。座敷飾りの成立時期は永享年間（1429～1440）と言われている。

２．天目茶碗

天目茶碗は出土器種のなかで占める割合は８番目の3.75％で23，732点出土（灰釉天目茶碗も含む）した。Ⅰ類は削り出し輪高台（153～244）で高台周辺は露胎、破片数9126点、個体数では口縁669個体、底部1019個体出土。Ⅱ類は内反り高台（245～340）で高台周辺が露胎のものと、薄い錆釉の化粧掛けが施されたものがある。破片数6943点、個体数では口縁441個体、底部1139個体出土。Ⅱ類の中では露胎は5406点、個体数で口縁359個体、底部645個体、錆釉の化粧掛けは1537点、個体数で口縁81個体、底部493個体。Ⅱ類のなかでは、高台周辺に薄い錆釉の化粧掛けが施されたものが22％、露胎のものが78％と錆釉の化粧掛けは少ない。高台に窯印の認められるもの（310．341～350）は11点あり、Ⅰ類とした削り出し輪高台が７点、Ⅱ類とした内反高台が３点、高台脇に窯印のある（350）蛇の目高台が１点である。天目茶碗は１点づつ匣鉢に入れて焼成している（第151図）が、一緒に縁釉皿も重ねている。重ねられた縁釉小皿は最大枚数が灰釉３枚、鉄釉４枚が天目茶碗の上に重なっていた。

３．段付天目茶碗

天目茶碗H類（319～340）は漆器の碗の写しとも思えるような腰部に段をもつ段付き天目茶碗である。高台周辺は鉄釉の化粧掛けが施されているのがほとんどであるが、僅かではあるが露胎のもの（319．321．322）も３点ある。段部は釉溜まりとなり、段がかくれてしまったものが多い。段より下の腰部の削りが細かいものが丸みを帯びている。段付き天目はわずかに47点出土したのみで個体数では口縁2.93個体、底部10．65個体となる。従来の見解では17世紀の中ごろに段付天目が出現するとされていた。

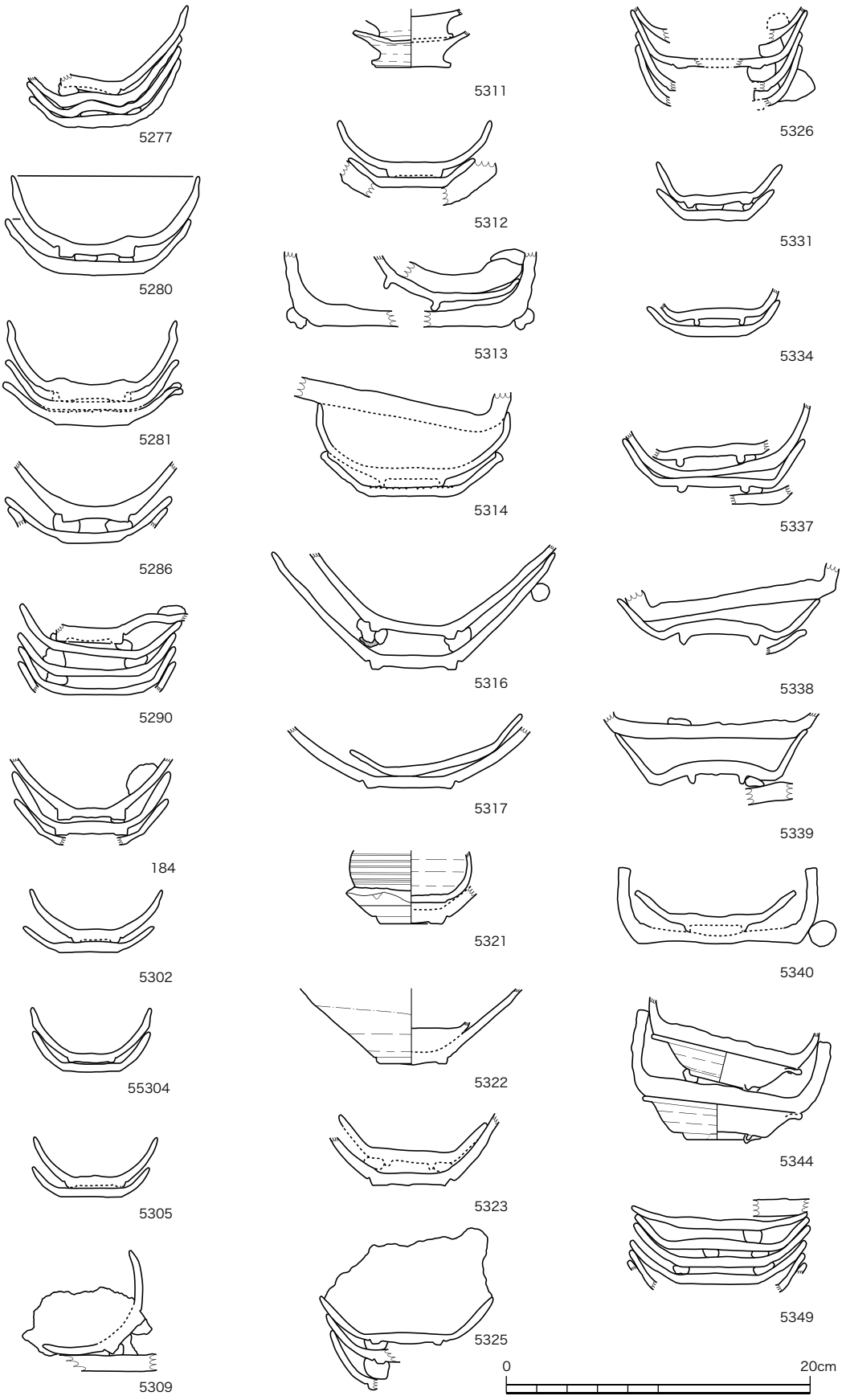
４．灰釉天目茶碗

灰釉天目茶碗としたが天目茶碗と同様な形態の碗で、釉が鉄釉ではなく灰釉である点が違う。便宜的に灰釉天目茶碗としたが正確には灰釉碗が妥当であるが、そうすると形状が理解しにくくこのような仮称を用いた。高台の形状によって大きく二つに分類し、さらに全体あるいは口縁や高台の器形・形状によってそれぞれを小分類した。破片数1776点。Ⅰ類は削り出し輪高台（351～369）で、内外面に濃緑色の灰釉が施釉され高台周辺が露胎のもの（351．352．355．358～366）と緋色が顕著な内面露胎で高台を含め外面全体に濃緑色や黄色を帯びた緑色の灰釉が施釉されたもの（353．354．356．357．367～369）がある。Ⅱ類は内反り高台（383～427．429．435．441．442）で、緋色が顕著な内面露胎で高台を含め外面全体に濃緑色や黄色味を帯びた緑色の灰釉が施釉され、その多くが白濁し白くなった釉調が多い。

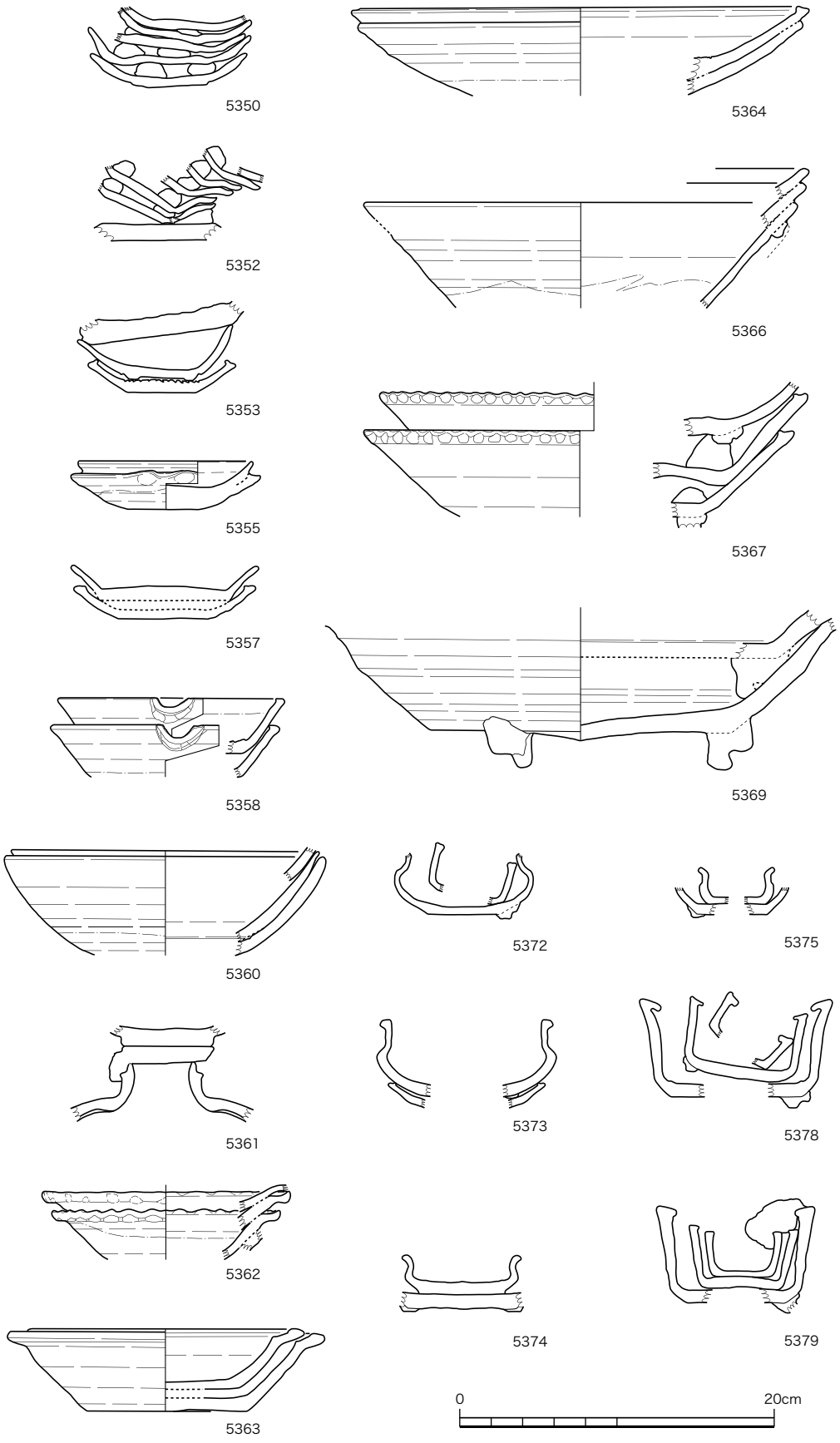
灰釉天目茶碗も１点づつ匣鉢に入れて焼成している（第151図）が、一緒に卸皿を重ねている例がある。最大枚数は卸皿２枚が灰釉天目茶碗の上に重なっていた。

５．平　碗

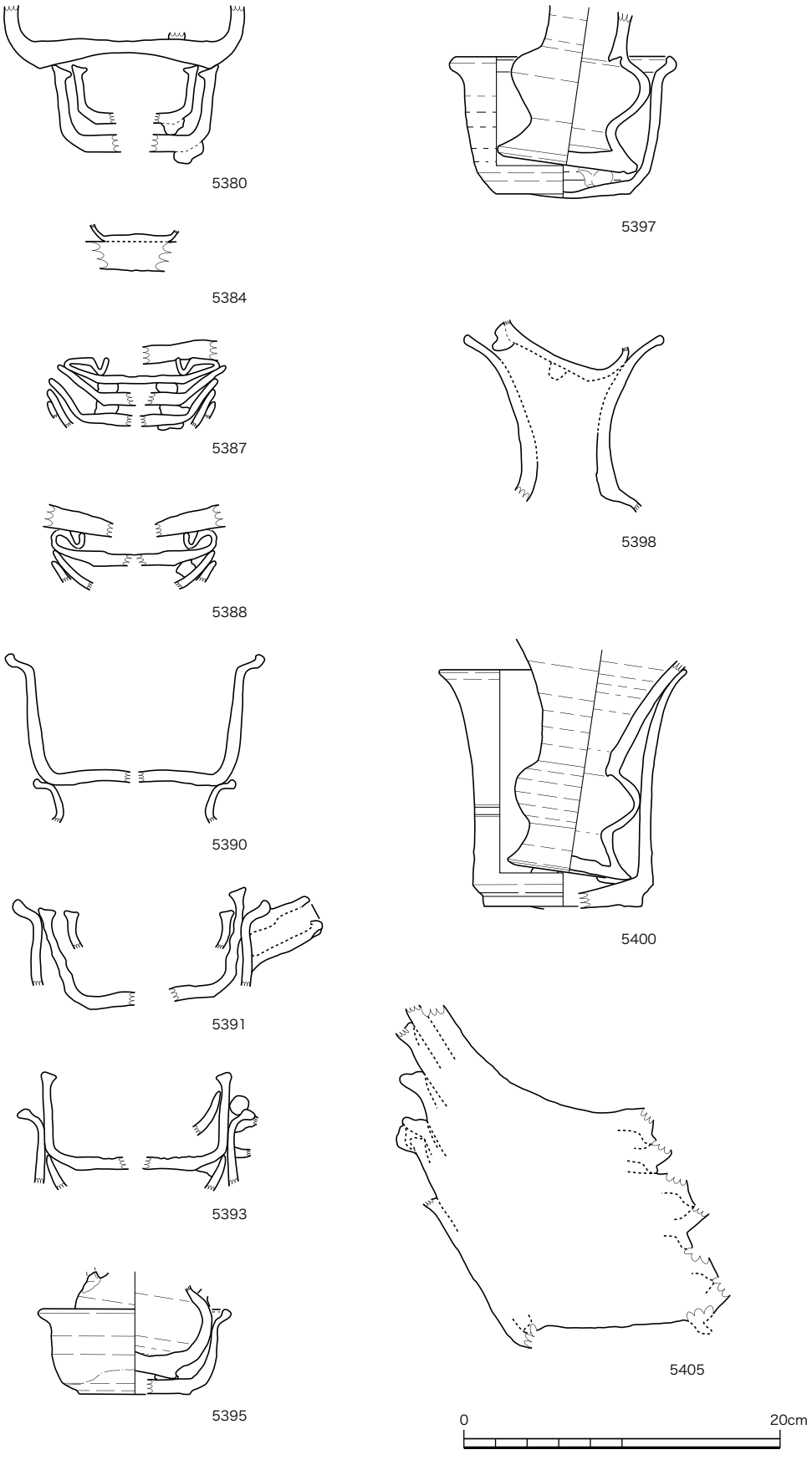
平碗の灰釉は深みのある光沢を有した淡緑色の釉調である。付け高台(443～514)と削り出し輪高台(515



第 151 図　重ね焼き実測図 (1)



第 152 図　重ね焼き実測図 (2)



第 153 図　重ね焼き実測図 (3)

～692）があり、付け高台には底裏に糸切り痕がそのまま残っている。出土器種のなかでは一番多く182,938点出土、点数では全体の28.9％を占める。付け高台の平碗の法量は口径17.6㎝～10.8㎝、高台径6.3㎝～4.1㎝を測る。破片数は1,782点出土。削り出し高台の平碗の法量は口径18.8㎝～13.2㎝、高台径６㎝～3.9㎝を測る。破片数は79,205点出土。削り出し高台のなかに46点ではあるが蛇の目高台も見られた。体部は直線的に開き口縁部へ、体部下半は回転篦削り調整が行われる。高台周辺は露体であるが一部鉄釉の化粧掛けを施すもの（532）が見られる。平碗は焼台に直接設置し重ね焼きが行われており、重ね焼きの枚数も５枚は確認でき、最低でも５枚以上は重ね焼いていたようである。内面の見込み周辺には重ね焼き用のトチ痕が４箇所認められ、トチは小石の場合が多い。また小壷を入れたものも見られた。

６．縁釉小皿

縁釉小皿は出土器種の中では２番目に多い出土で76,590点12.1％を占める。法量は口径13.6㎝～7.8㎝、底径7.6㎝～3.5㎝、器高3.9㎝～1.3㎝を測る。口縁の内外面に灰釉、鉄釉が施され、内底面は刷毛塗りと露胎とがあり、底部は平底で糸切痕が残る。３分類したが、１類（847～898）は底部より丸みを帯び立ち上がり口縁端部がやや端反気味となる。内底面は刷毛塗りが施される。２類（899～1080）は底部より直に立ち上がり口縁端部がやや端反り気味となる。内底面は刷毛塗りが施される。３類（1081～1256）は底部より直に立ち上がり、やや小振りとなり器高も浅くなる。内底面が露胎となり、灰釉のみでなく鉄釉が見られるようになる。天目茶碗と同じ匣鉢に入れて焼成しており（第151図）灰釉は３枚、鉄釉は４枚が確認できた最大枚数である。ただし６枚重ねの例もあることから天目茶碗と一緒にせず縁釉小皿のみで焼成したこともあるようである。

７．柄付片口

柄付片口は受口状の折縁口縁を持ち、平底からほぼ垂直の筒状に立ち上がり口縁になるものと平底から直線的であるがやや外反しながら立ち上がり口縁になるものとが見られる。口縁部の１ヶ所にU字形の切り込みを入れ、板状の粘土を貼り付け片口とし、片口から90度右手の位置に短い円筒状の把手がある。片口から90度に把手があり、把手の位置も片口の右手が基本であるが、左に把手が付くもの（2270）、あるいは片口から90度以内に把手のあるもの（2274．2278．2322．2342．2354）が見られる。把手に円孔が穿たれたもの（2267．2268．2281）もある。また内底面に、篦描きの沈線が数条描かれたもの（2294）もある。出土点数24,455点の内、鉄釉は88点のみである。内底面の施釉方法の観察から刷毛塗が22，514点、露体が577点で、刷毛塗がほとんどを占めていた。口径は21㎝を測るもの（2275）が最大で、8.5㎝を測るもの（2381）が最小である。口径から大きく４類に分類が可能でA類が17㎝以上、B類が14㎝以上C類が11㎝以上D類が10㎝以下である。柄付片口の中には筒形香炉を入れ子状に２点重ねたもの（5391）、小鉢と筒形香炉と小鉢を重ねたもの（5393）、花瓶を１点いれたもの（5397）等がみられた。柄付片口の中に入るものは何でも入れて焼成したようである。

８．灰釉鉄彩七宝文八稜皿

灰釉鉄彩七宝文八稜皿（1431）は七宝文の線彫りにそって鉄彩が施され、鉄彩はにじんだようなやや黒

味を帯びた釉調となっている。器高2.5㎝、口径推定15.6㎝、底径推定10.2㎝を測る。底部は篦削り調整が施される。器全体からみると約１／４の破片で、八稜はつまんで輪花状に押し出しており、外側面には凹みが見られ、稜の尖った頂点の内側面には１条の短い沈線が下から上へ引き上げられています。

内側底面（第150図）には、一つの円に対して四方からそれぞれ円を組みあわせ、それぞれの１／４の円が重なり合わないようにした文様、七宝文が沈線によって描かれている。七宝文の文様の一部が欠損のため全体の文様は完結していないが円の真ん中にはU字状の花弁、四方の区画の中には細円が、いずれも篦により描かれている。そしてこの沈線の部分に鉄彩が施されている。技法でみれば、素地に線刻を施し、線刻にそって鉄線描きをしており、下絵付技法のはじまりである。なお八稜皿の七宝文の文様は本例や幾何学的に変化した文様など各種見られる。表採例として赤津地区の畑ヶ平窯跡出土の２例があると、井上喜久男氏より御教示を受けた。

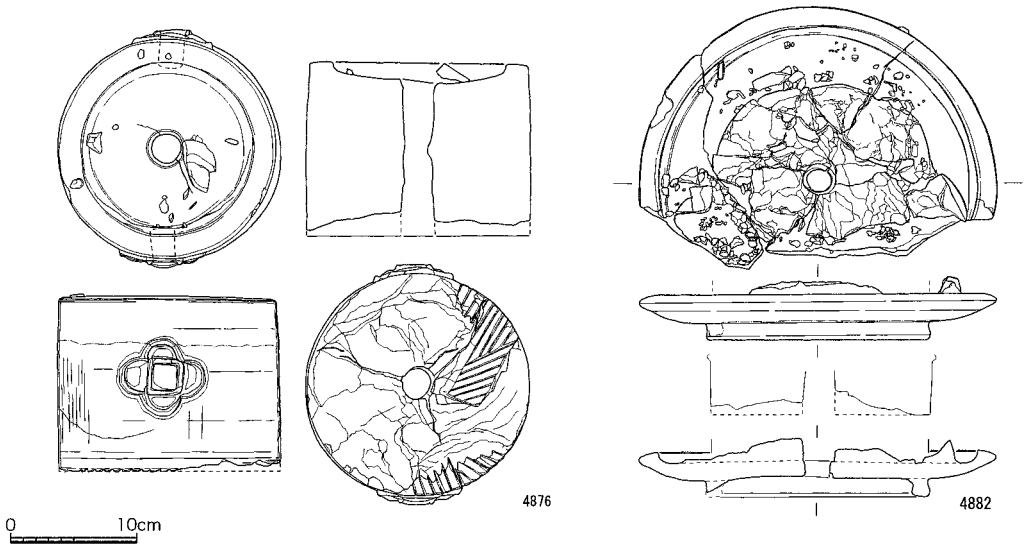
９．茶　臼

陶製の茶臼は石製の茶臼を忠実に模したものである。上臼１点と下臼６点が出土。下臼は受け皿部の口径から最低４種類は確認できるが臼部が欠損のため臼面の高さや溝は確認できなかった。

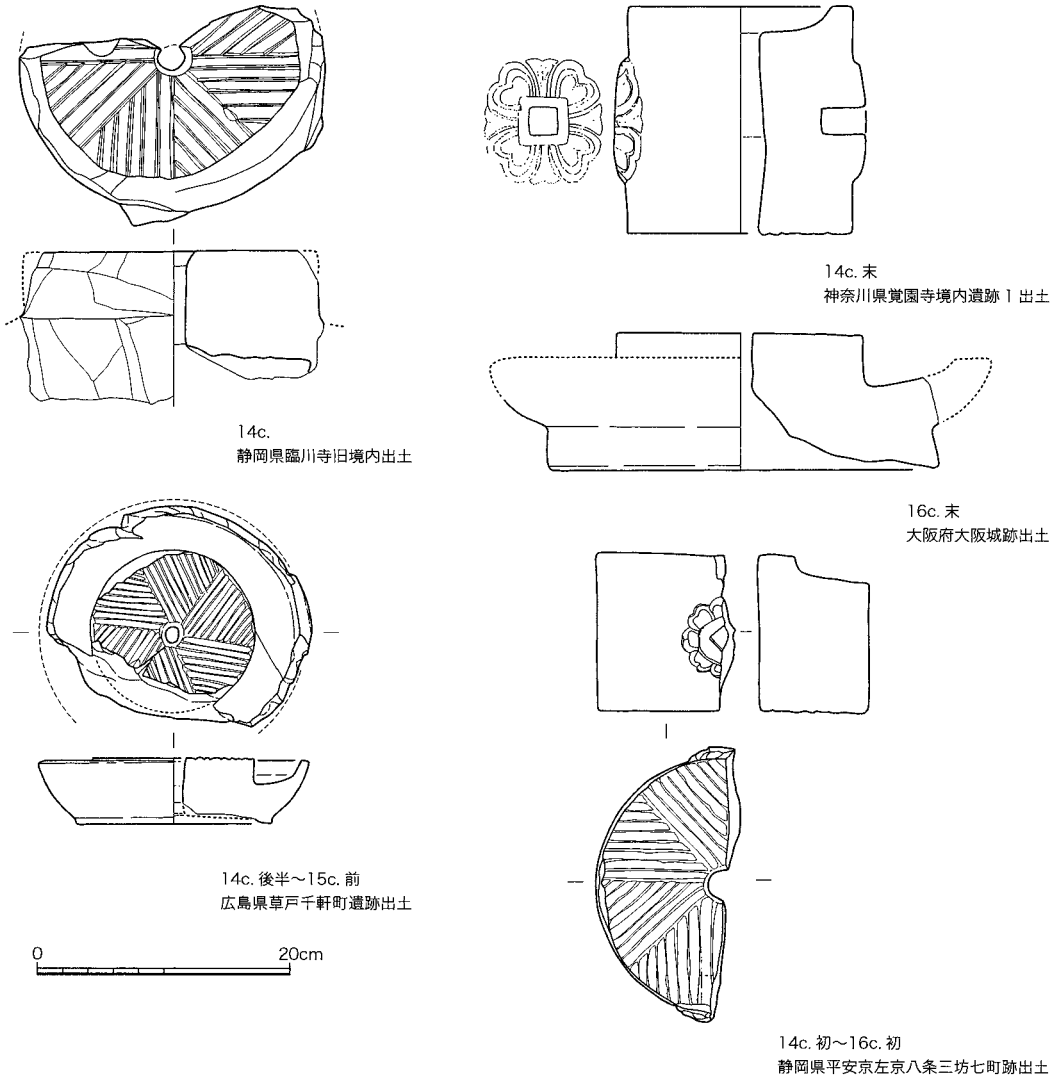
上臼（4876）は98年度の調査区ｄ２（灰原部分）、黒色灰層の最下部で赤褐色土中より出土した。臼面の直径17.4㎝～17.6㎝、器高13.7㎝、現存重量5.6kgを測る。上面は碾茶を入れるくぼみ（盆）がつくられ、くぼみの直径13.6㎝、周縁の立ち上がり（上縁）の幅18㎜～19㎜、深さ６㎜、中心孔の直径24㎜から25㎜のやや歪んだ円形を呈する。裏側の臼面は欠損が激しく一部切り溝（目）が残る。臼面が割れたため棄てられたものと思われる。下面の臼面の切り溝は８分割で副溝は８本。１本の切り溝の幅（凹み）は２㎜から３㎜で深さ約１㎜で断面形態はＶ字形、凸面幅は最大幅６㎜、最小幅３㎜、を測り、５㎜幅が多い。副溝は左切り方向、回転方向は左まわりで、周縁まで切り溝が施される。挽き手口（挽木孔）は相対する２ヶ所の一口で、台座文様は四方に半円状の粘土板を貼り付けた蓮弁文である。位置を計測できるのは臼の上端と下端が現存している片面のみ（図の中央）で、蓮弁の中心は上辺21㎜下辺19㎜の四角形を（挽木孔）呈し、上辺の奥行き28㎜、下辺の奥行き30㎜、蓮弁の上弁端は上縁端より下へ33㎜、下弁端は臼面端より上に44㎜を測る。挽き手口は臼の上下部の中央より４㎜程やや上位の位置にある。一部に削りの痕跡と下面端より１㎝の一部に布痕が残る。灰釉は上面から上端側面を刷毛塗りしたものと思われる。上面は全面で厚い灰釉が、側面は上縁の上端から約３㎝の幅で施され一部薄く下方に流れている。灰釉は蓮弁部分にも施されているが一部白く白濁化している。

下臼（4882～4886）が出土した調査区は98区（4882．4884）99B区（4883．4885）01区（4886）で、ほとんどが受け皿部の破片で、臼面の高さや溝は欠損のため確認できない。

器高が低く厚みのある盤状の大形皿に臼を付けた下臼（4882）で、残存状態のよいものである。受け皿部の器高3.7㎝、口径25.5㎝で最大径28.45㎝を測り、臼面を含めての現存高は4.5㎝を測り、角の丸い幅広の高台がつき、高台径は17.4㎝を測る。口唇部は丸味を帯び尖っており、内面が内湾気味に膨らむ。皿の内面には臼が見られるが、焼成中に破裂したようで破片が内面に広がり付着している。臼部の設置部分には沈線が巡っている。設置部分より推定臼部径は17㎝、臼部の現存高さは1.7㎝を測る。軸孔の中心孔径は臼部で2.4㎝、皿部で1.9～２㎝を測る。底部は篦削り成形が施され、高台部以外は灰釉が施釉されて



第154図　鷲窯跡出土陶製茶臼実測図



第155図　遺跡出土茶臼実測図（桐山論文より）

いる。

受け皿の口径が大きいもので、臼部が僅かしか残らなかった下臼（4883）で、受け皿には臼を設置する位置が、１条の沈線によって径18cmの円が描かれている。口唇部は平で開いている。焼成中に臼が破裂したようで、１条の円の外には細かな破片が付着している。底部は篦削り整形が施されている。高台より内側の底部が剥がれたような状態で欠損している。外側の灰釉はほとんど剥落している。受け皿部の口径28.3cm、最大径31.2cm、軸孔の中心孔径は1.3cmを測る。

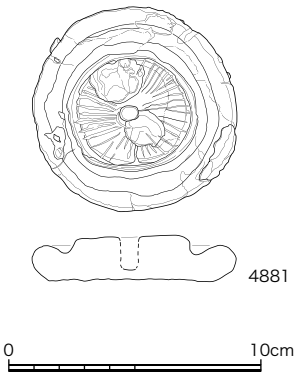
受け皿の口縁が丸みを帯びた縁帯状をしたもの（4884）で高台の周りには指の痕跡が見られる。皿がつくられた後、高台を貼り付けるためか底部を厚くし篦削り成形を施した後に高台を貼付けている。推定口径26.6cm、推定最大径30.1cm、推定高台径18.4cm、器高5.3cmを測る。臼部の設置位置の沈線は不明である。高台の丸くなった端部より上には緑色の灰釉が施されている。

受け皿の口縁で、口縁の内側が垂直に立ち上がり、口唇部が丸みを帯び内斜気味のもの（4885）は推定口径26cm、推定最大径29.4cmを測り、口唇部が平なもの（4886）は推定口径25.6cm、推定最大径28cmを測る。

陶製の茶臼は石製の茶臼を忠実に模したものと言えるが、実用か否かは難解である。上臼と下臼には特有な溝が刻まれている。上臼下面の臼面の切り溝は八分割で副溝は８本、８分画八溝式という。上臼と下臼は同じパターンの溝であるので、出土下臼も臼部の高さが判明すれば復原も可能となる。摺り合わせ粉を挽く、葉茶を挽くことは可能であるが多くの量を挽くことは難しいのではないだろうか。陶製である以上何回も挽く間に切り溝が摩耗し、摩耗頻度は石製の茶臼以上と思われる。臼の粉が入ってはよい抹茶がつくれないのである。他の遺跡の石製茶臼（第155図）と比較すると陶製茶臼は一回り小形である。石製茶臼は実用品であると同時に威信財でもある。陶製茶臼はどちらかといえば非実用品といえる。威信財としては最適な製品と思われ床飾りとして用いられたのではないだろうか。

10．ミニュチュア下臼

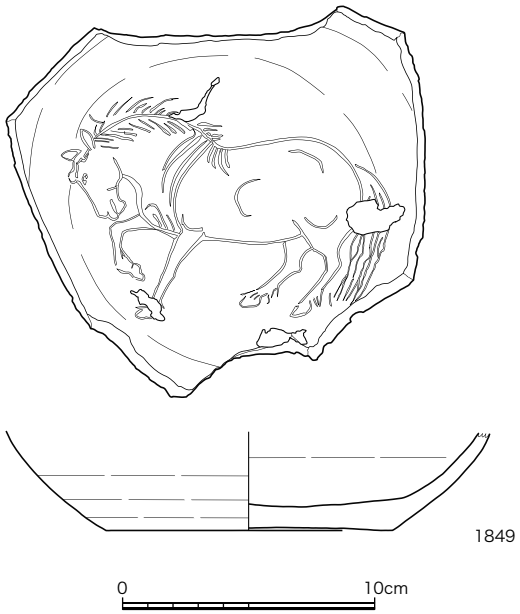
ミニュチュア下臼（4881）は非実用品と思われるが茶臼の下臼を忠実に模したものと思われる。当窯跡から陶製の茶臼が出土しており、制作していたからこそ模してミニュチュア下臼が作られたのかもしれないが使途は不明である。円板状の平な形状（第156図）で、丸みを帯びた口縁で臼部が高く盛り上がり、盛り上がった臼面には篦による溝（沈線）が一条づつ刻まれ、中心には軸孔として幅７㎜、1.2cmの深さの孔が見られる。臼のまわりは窪み受け皿となり、最大口径８cm、器高1.9cmを測る。上面には鉄釉と灰釉が掛け分けられている。上面に粘土痕が付着し、底面は焼成室の床に直接置いたのか１㎜～３㎜の小石の粒が底面全体に付着している。

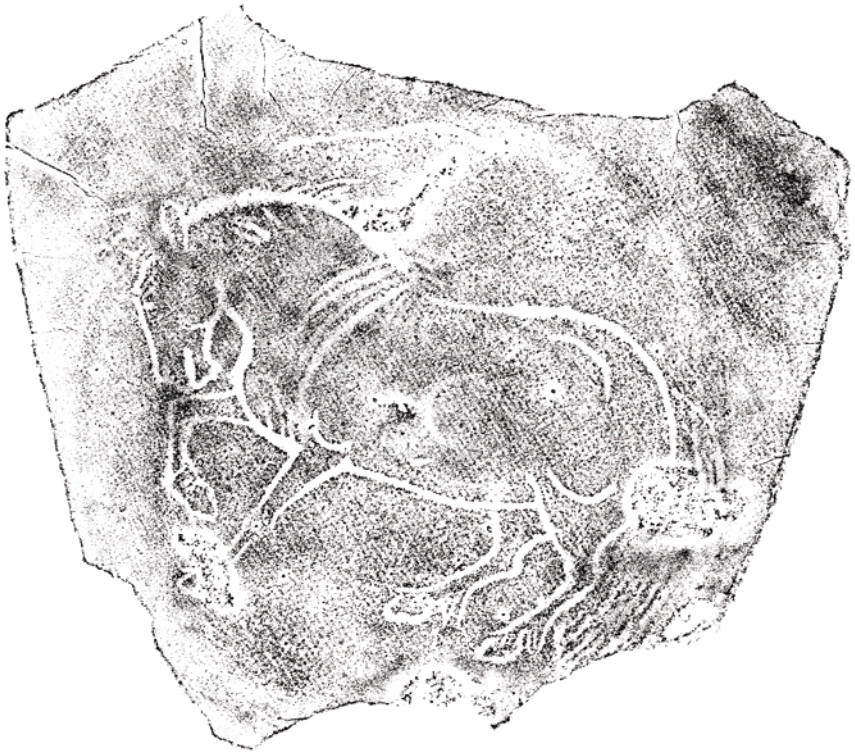


第 156 図　ミニチュア下臼実測図

11．灰釉馬文中鉢

灰釉馬文中鉢（1849）は底径11.4cm、現存高さ3.9cmで、内底面には篦による沈線の左馬が描かれている。口縁部が欠





第 157 図　灰釉馬文皿実測図・拓影

損しているため器種が直縁皿か折縁皿か確定できないが折縁皿が妥当と思われる。躍動的な姿態に描かれた左馬（第157図）で、胴体はずんぐりして足がやや短く、胴体には飾り帯が描かれている。絵の左右幅13.2㎝、上下幅8.5㎝を測る。内面底面の灰釉刷毛塗りは塗り斑が顕著で、目跡の痕跡も三ヶ所ある。

12. 灰釉人面陶板

灰釉人面陶板（4948）は01区より出土。楕円形の陶板で、縁は丸い。眉毛と鼻が貼り付けられた人面を模したもので、顔面全体に丸い窪みが見られる。粘土紐を貼り付け眉毛とし、眉毛と眉毛の間を充填するかのように更に細い粘土紐で重ね、目の上が横一筋の眉毛になっている。貼付けられた鼻は高く、鼻孔もある。目と鼻孔と口は深い刺突で表現されが、側面に耳の表現はない。目は斜めに下から刺突しており、口は裏側まで貫通している。顔面の丸い窪みは竹管状の深い痕となり、丸鑿で彫られたものと思われる。横一筋の眉毛の上部や鼻にも丸い窪みが施されている。裏面をも含む全面に灰釉が施され、両目と口の両側と丸い窪みには釉溜りが見られる。鼻より下部の灰釉は白濁化し剥落が著しい。全長縦7.1㎝、横5.2㎝、最大厚さ２㎝、鼻部分3.3㎝を測る。

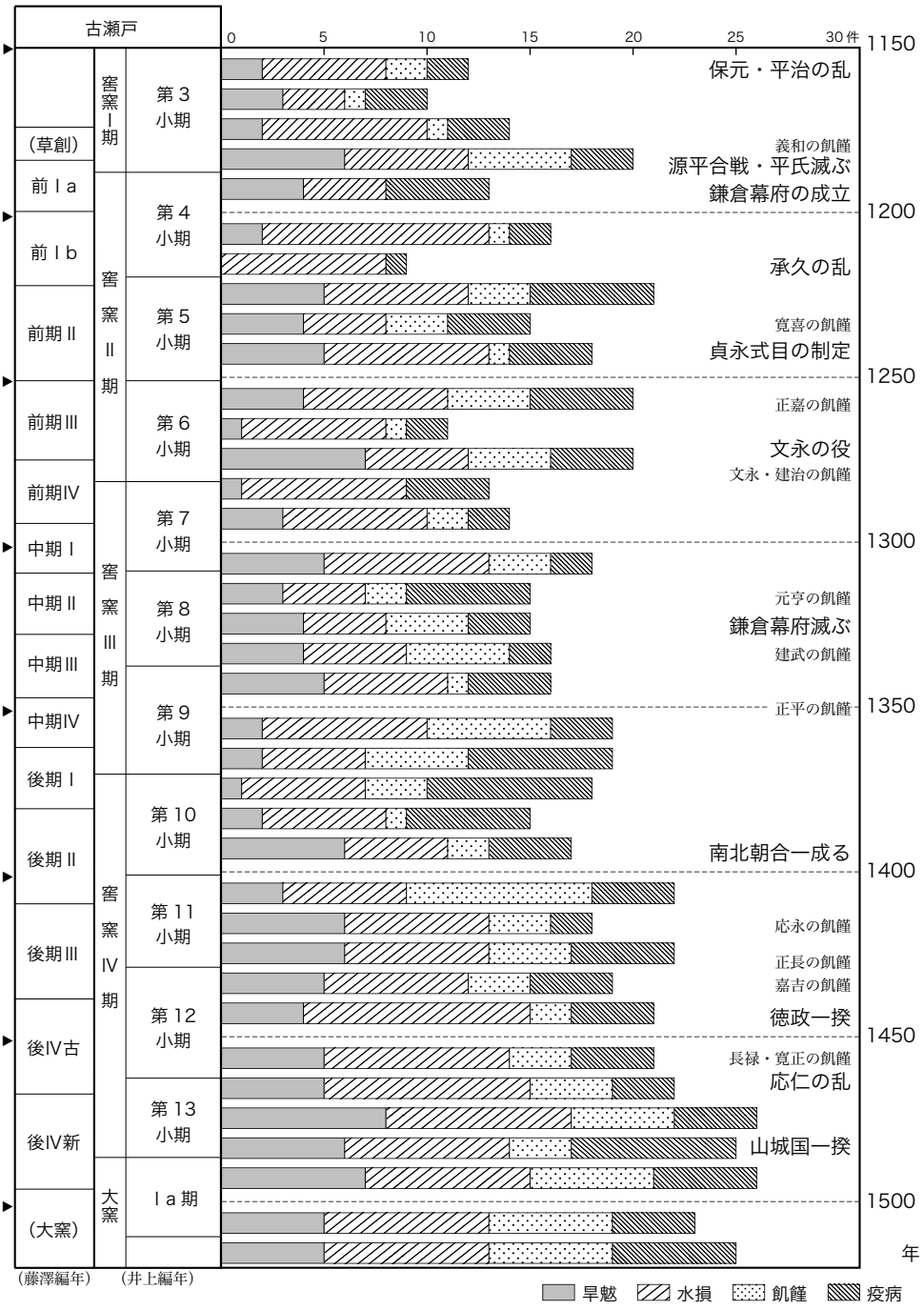
当時は疫病が度々流行しており（第158図）、疫病退散祈願のための人面陶板かもしれないが、一面の痘痕状の丸い窪みは何であるのか。眉毛と眉毛を横一筋に表すのは儒教の教えで美人の例えでもあることから、人面が女性とするならば、子供には水疱瘡があり、まして女性であれば痘痕が顔に残ってはたいへんなことになるがために厄除け用として人面陶板が作られたのではないだろうか。水野正好先生によれば口の貫通部分は釘穴で家の入り口などに打ち付け疫病除けをするためのもので、使用したものであれば朱が人面に塗られるとの指摘を受けた。なお窯跡出土の人面（第159図）としては瀬戸市内では赤津長根第１・２号窯より１点、福井県越前市の西山窯から１点出土している。

13. 鳥文卸皿

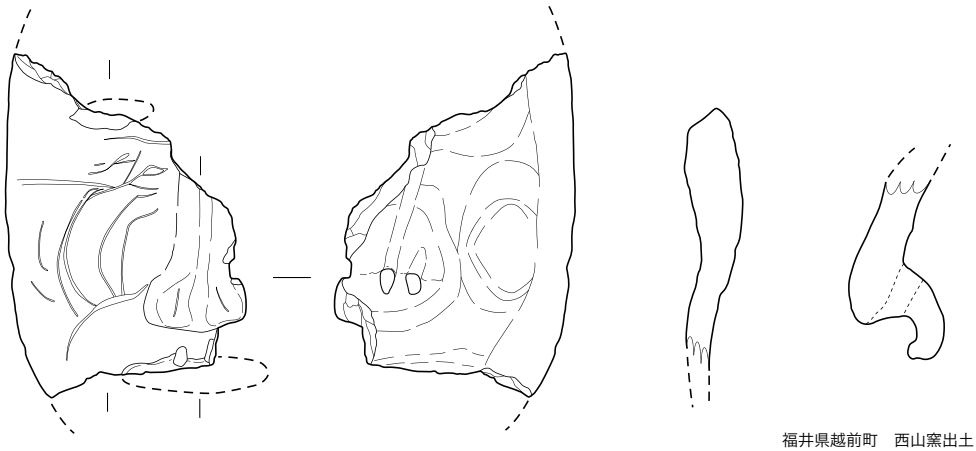
口縁が欠損した卸皿（5269）で、匣蓋として使用されたようで、外面に窯壁が付着している。他の卸皿に比べ、篦による卸目が一条毎の長い直線ではなく、短い直線で格子状になり、格子状の沈線が内底面を埋めた卸目となっており、類例のないものである。格子状の下には篦描きによる鳥?（２、４）が見られるが、鶏冠と足と胸毛から鶏と思われるが、はっきりしない。二通りの鶏が見られるが、いずれも鶏を描いた後、篦による沈線で鶏を隠すかのように沈線が重ねられている。第160図の１は現況図、２は鶏の図、３は１から２の図を外した図、４は別の鶏の図で、５は１から４の図を外した図である。

14. 小結

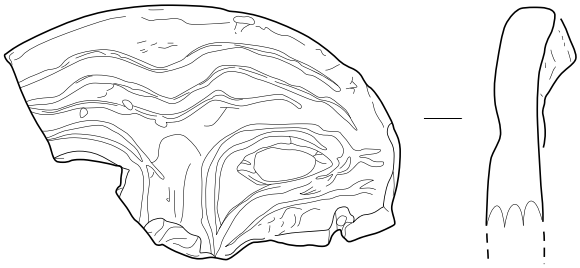
鷲窯跡は藤澤編年の中期様式Ⅳ期から後期様式Ⅲ期（14世紀中葉～15世紀前葉）と言われている。中Ⅰ・Ⅱ期は櫛描文、印花文、劃花文、貼花文、に代表される文様の最盛期で、中Ⅲ・Ⅳ期は壺・瓶類や花瓶・香炉類の印花文・劃花文が減少し、皿・盤類では櫛描文も見られず無文様化となる。鷲窯跡出土製品の文様を見ると点数的には少ないが貼花文の瓶子（第161図）や劃花文の壺が、仏花瓶に円板底部の柱状脚台で口頚部の中程に丸紐の環耳が付けられた花瓶が見られるなど、中Ⅲ期に遡ってもいい要素が見られる。



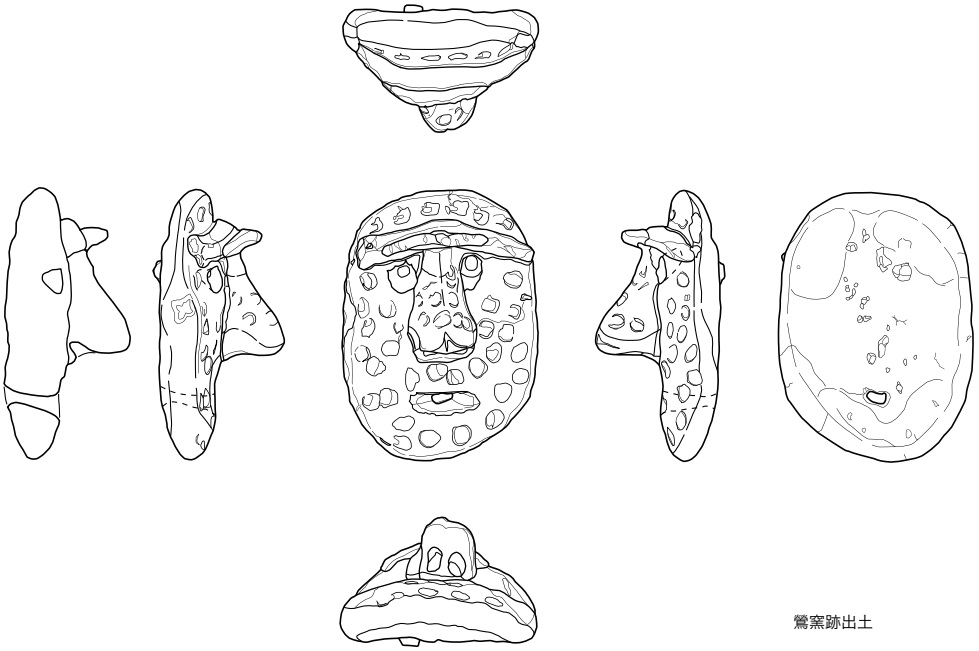
第 158 図　古瀬戸編年表と日本中世の旱魃・水損・飢饉・疫病年表棒グラフ
（藤木久志 2001 のグラフに加筆）



福井県越前町　西山窯出土



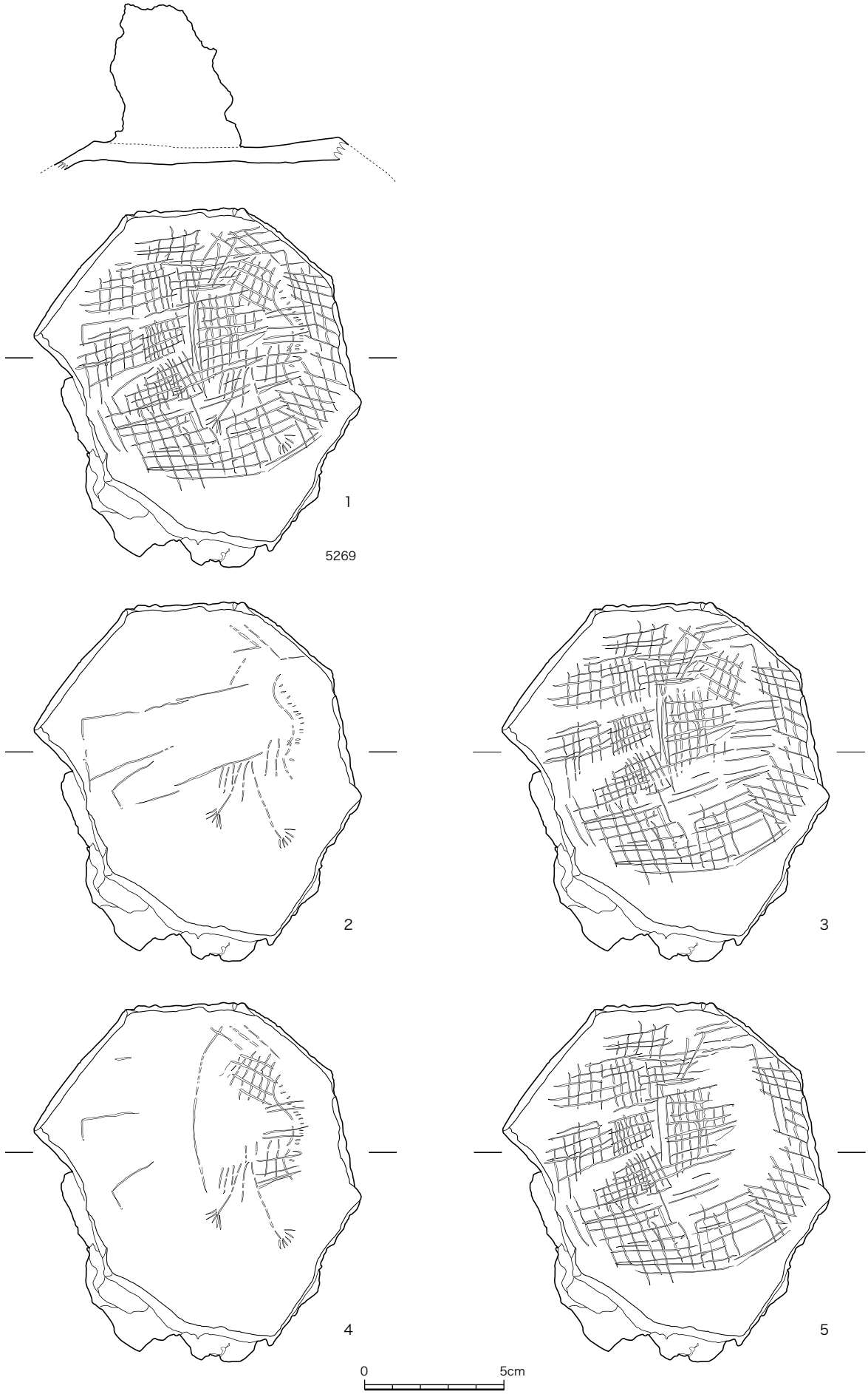
瀬戸市　赤津長根第１・２号窯出土



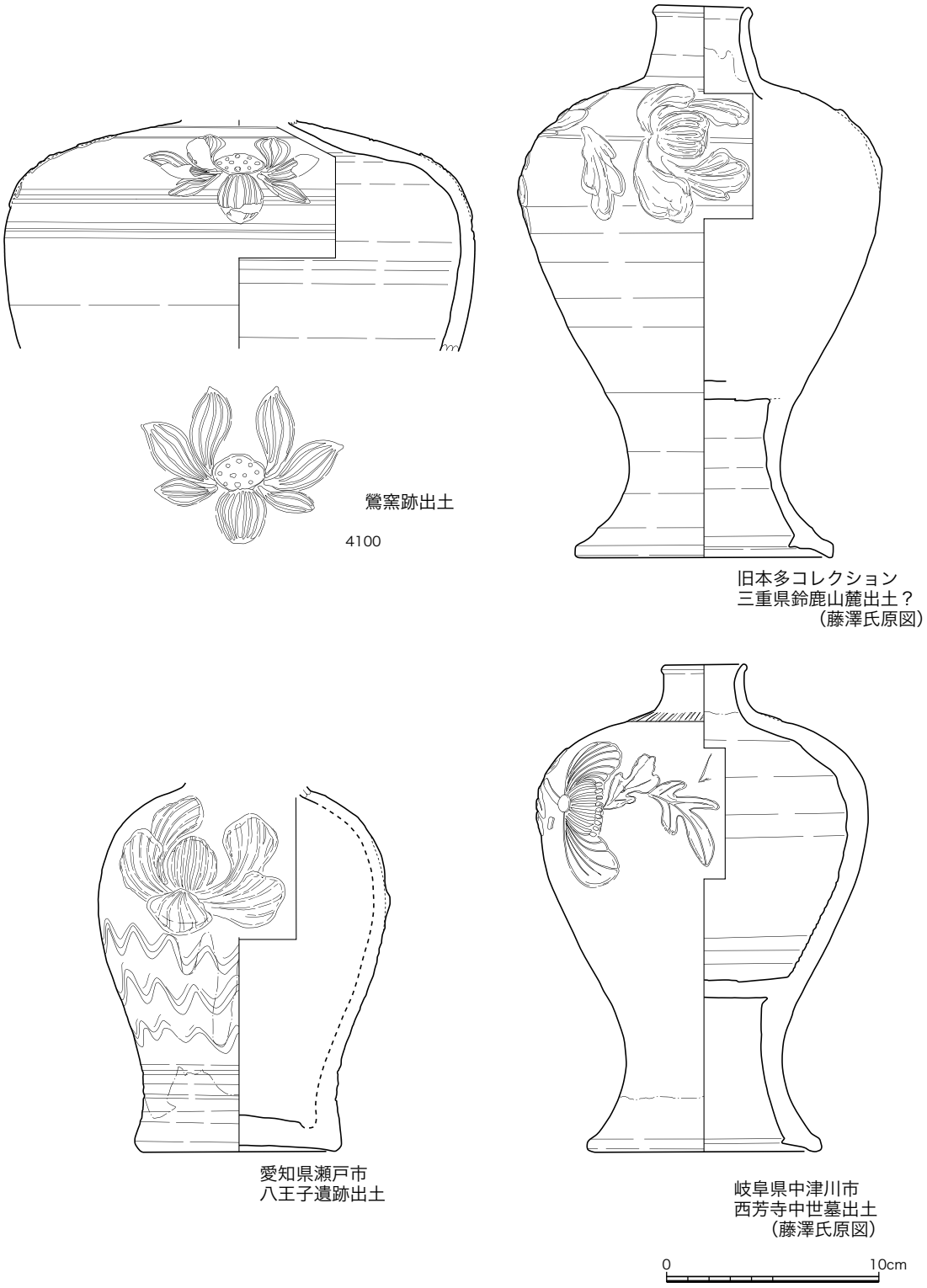
鷺窯跡出土

0　10cm

第 159 図　窯跡出土人面等実測図



第160図　鳥文卸皿蓋実測図



第 161 図　貼付文瓶子実測図（1：3）

第8節　まとめ

鷲窯は焼台の検討から、操業回数312回の年4回操業で78年の通年操業の窯であることを解明したが、これだけ長期間に渡り操業を可能としたのは、窯に適した地形・立地であったこと、陶土と燃料の薪が豊富にあったこと、窯の維持に必要な安定した労働力があったこと、さらに生産品の販路が確立していたこと、これらが揃っていたからこそ長期間にわたり操業できたものと思われる。

窯跡は丘陵の南斜面、標高227mから231mに築造され、窯直下から標高約200mの斜面末端まで灰原が濃密に広がっていた。平地からは分かりにくい山間部の谷の奥まった場所に築かれるのが通例であるが、鷲窯はこの逆で、平地から窯の場所がよく見える谷の入り口の南斜面に築かれていた。

窯体は1基であるが同じ場所に再度築くなど、大きく2時期あることが判明した。同じ場所に再び窯体を築くほど窯に適した場所であったのである。

最終段階の窯は、全長7m50㎝、最大幅約3m、比高差は約4mを測り、焼成室の床面傾斜角度が50度と、これまで発掘調査された瀬戸窯のなかでは一番の急傾斜であった。床面の急傾斜が焔の引きを強くしていたため、煙道付近の壁面まで硬くなっており高火度に温度が上がっていることが窺えるのである。

古い窯体（初期操業窯）の痕跡は、焼成室上半での床面の断ち割りによって新たに判明したが、焼成室から煙道部まで堀方の残存で残存長3m50㎝、最大幅約2m、床面傾斜角度は30度から40度を測った。

瀬戸窯の中では鷲窯は異例の窯体といえる（第132図）。通例では床面の傾斜角度が30～40度前後であるのに対し50度と急傾斜で、それも古い窯体（初期操業窯）の焼成室下半部と前庭部を深く掘り下げ、焼成室上半部には砂をいれ、その上に床を貼り付けるという面倒な作業を行い、床面傾斜角度50度を造りだしていたのである。焼成に必要な高温を得やすい燃焼効率のよい窯体で、この急傾斜が鷲窯の灰釉製品の特徴である淡緑色の釉調を作り出していたと考えていたが、焼台の角度の検討からは、急傾斜になった最終段階を示す焼台が少なく、操業期間が短期であったことが窺えることから、急傾斜が即淡緑色の釉調を作り出したとは断定できない。

新たな窯を築く場合それまでの窯と同じ場所に再築窯するという例は瀬戸窯においてはない。操業後の改造、改修は窯壁などに時々見られる。鷲窯でも焼成室に改修が見られる。通例であれば古い窯の隣に新たに窯を築いたりするが、鷲窯の場合、新たに窯を築くには両側に工房があり、地形的にも制約があり、新たに窯を築く広さが確保できなかったこともあろうが、他の場所に移らずこの地に留まり継続した理由はなんであろうか。

1150 ▶

1200 ▶

1202　群馬県新田郡尾島町新田義重夫婦の墓より灰釉四耳壺（前Ⅰb期と前Ⅱ期）出土。建仁二年没。

1250 ▶

1265　長野県小県郡丸子町寺開土遺跡より灰釉四耳壺（前Ⅲ期）出土。古銭伴出。最新は咸淳元宝。

1300 ▶

1306　神奈川県鎌倉市二階堂覚園寺開山塔より灰釉広口壺（中Ⅰ期）出土。嘉元四年没。
1308　群馬県新田郡尾島町世良田長楽寺普光庵「月舩和尚」銘石櫃より灰釉三耳壺（中ⅠかⅡ期）出土。延慶元年没。
1310　埼玉県入間郡毛呂町川角崇福寺「延慶三年」銘板碑の下より鉄釉瓶子Ⅱ類（中Ⅰ期）と灰釉水注（前ⅢかⅣ期）出土。
1312　岐阜県郡上郡白鳥町長滝白山神社境内旧阿妙院跡より「正和元年」銘の瓶子Ⅰ類（中Ⅱ期）一対出土。
1323　韓国全羅南道新安郡智道面防築里沖合の沈没船より灰釉瓶子Ⅱ類（中Ⅱ期）一対引き揚げ。「至治三年」銘の木札伴出。
1324　愛知県瀬戸市萱刈窯より「□享四年八月」銘の灰釉狛犬台座出土。
1325　愛知県瀬戸市萱刈窯より「左工　正中二　二月」銘の陶板出土。
1325　岩手県西磐井郡花泉町王壇遺跡「正中二年」銘板碑下より灰釉魚文広口梅瓶（中Ⅱ期）出土。
1327　神奈川県鎌倉市坂の下地霊山より鉄釉広口壺（中Ⅱ期）出土。「嘉暦二年」銘の墓誌伴出。
1327　神奈川県鎌倉市扇ヶ谷多宝寺 19 号やぐらより灰釉卸皿（中Ⅱ期）と灰釉四耳壺（中Ⅱ期）出土。
　「嘉暦二年」銘の五輪塔地輪伴出。

1350 ▶

1356　石川県石川郡鶴来町本町より灰釉瓶子Ⅱ類（中Ⅲ期）出土。延文元年の洪水で流出か。

1368　神奈川県横浜市殿谷横穴より灰釉尊式花瓶（後Ⅰ期）出土。「応安元年」銘板碑伴出。

1382　神奈川県鎌倉市材木座蔵屋敷より灰釉瓶子出土。「永徳二年」銘墓。
1387　滋賀県野洲郡中主町吉地薬師堂遺跡より「至徳四年」墨書銘のある灰釉直縁大皿（後Ⅱ期）出土。

1400 ▶

1416　神奈川県鎌倉市浄明寺上杉氏憲邸跡において炭化層より後Ⅱ期を下限とする古瀬戸製品出土。
　応永二三年の上杉禅秀の乱か。
1418　愛知県名古屋市昭和区伊勝町伊勝八幡神社に「應永廿五戊戌歳」墨書銘のある鉄釉狛犬（伝世品）。

1433　新潟県新潟市大藪遺跡より鉄釉口広有耳壺（後Ⅳ古）出土。古銭伴出。最新は宣徳通宝。

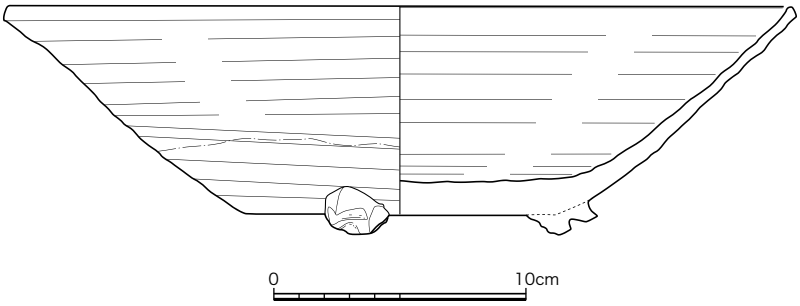
1441　石川県金沢市普正寺町普正寺遺跡より後Ⅲ期を下限とする古瀬戸製品出土。嘉吉元年前後に砂丘活動により廃絶か。

1450 ▶

1461　岐阜県郡上郡大和町島野口より鉄釉甕（後Ⅳ期）出土。古銭伴出。最新は世高通宝。
1468　京都府京都市右京区嵯峨天竜寺造路町臨川寺旧境内より被熱痕のある天目茶碗（後Ⅳ新）大量に出土。
　応仁二年の火災か。
1476　静岡県榛原郡榛原町勝田勝間田城跡より後Ⅳ新を下限とする古瀬戸製品出土。文明八年廃絶か。

1500 ▶

第 60 表　古瀬戸製品の編年基準資料年表



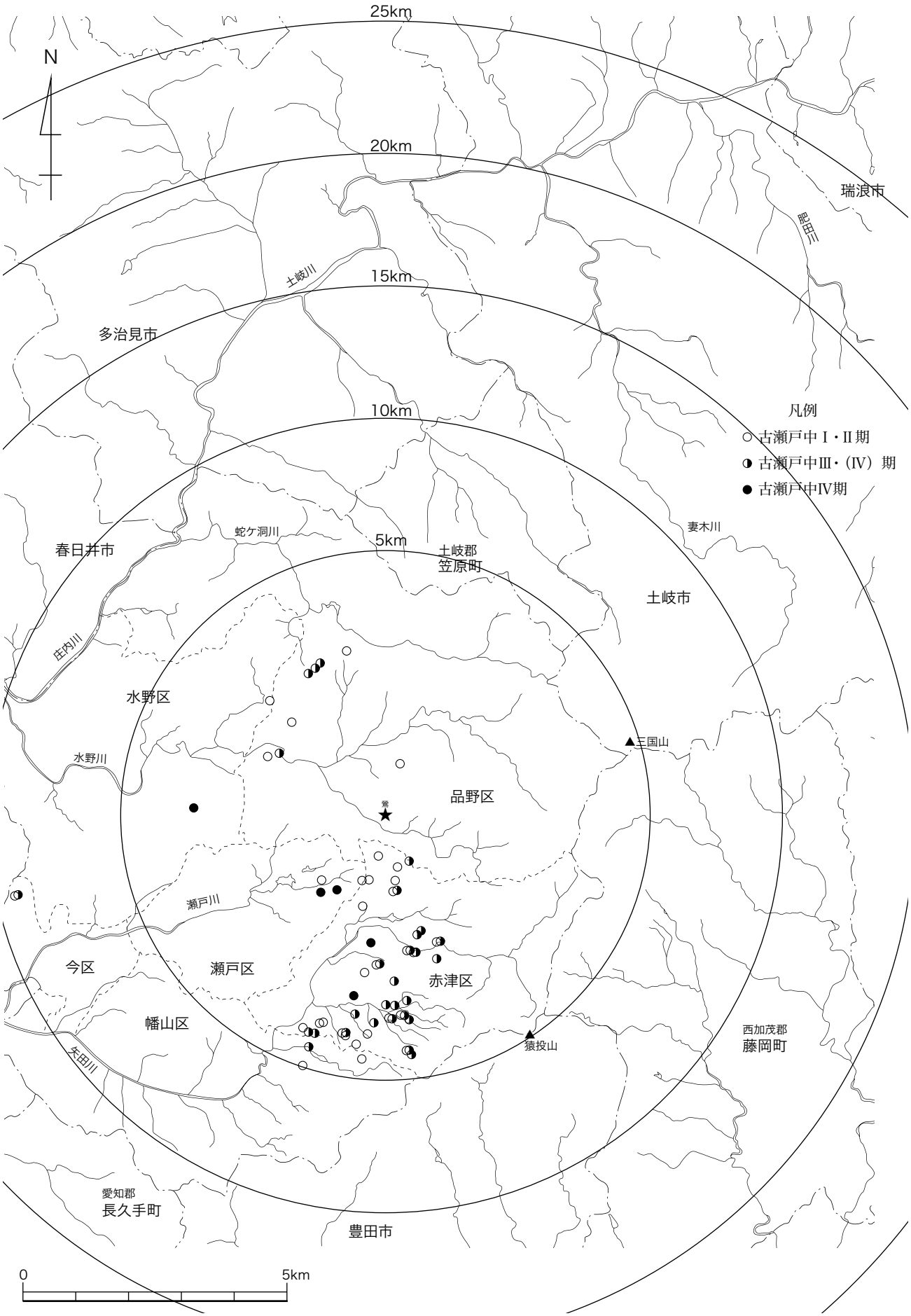
第 162 図 「至徳四年 (1387)」墨書銘直縁大皿（吉地薬師堂出土）実測図

鷲窯跡は品野盆地から水野川支流の鳥原川沿いに南東奥へ細長くのびた丘陵の谷状地形の北側段丘に立地しており、鷲窯から丘陵を西へ下ると、山裾沿いの岩屋道と、その西に八劔神社前を通る赤津からの赤津道の二つの地道が近世にはあって、上品野地区に至る。上品野地区には古くからの街道、中馬街道が東西に通っている。第148図の鷲窯の北側の太い線が中馬街道である。

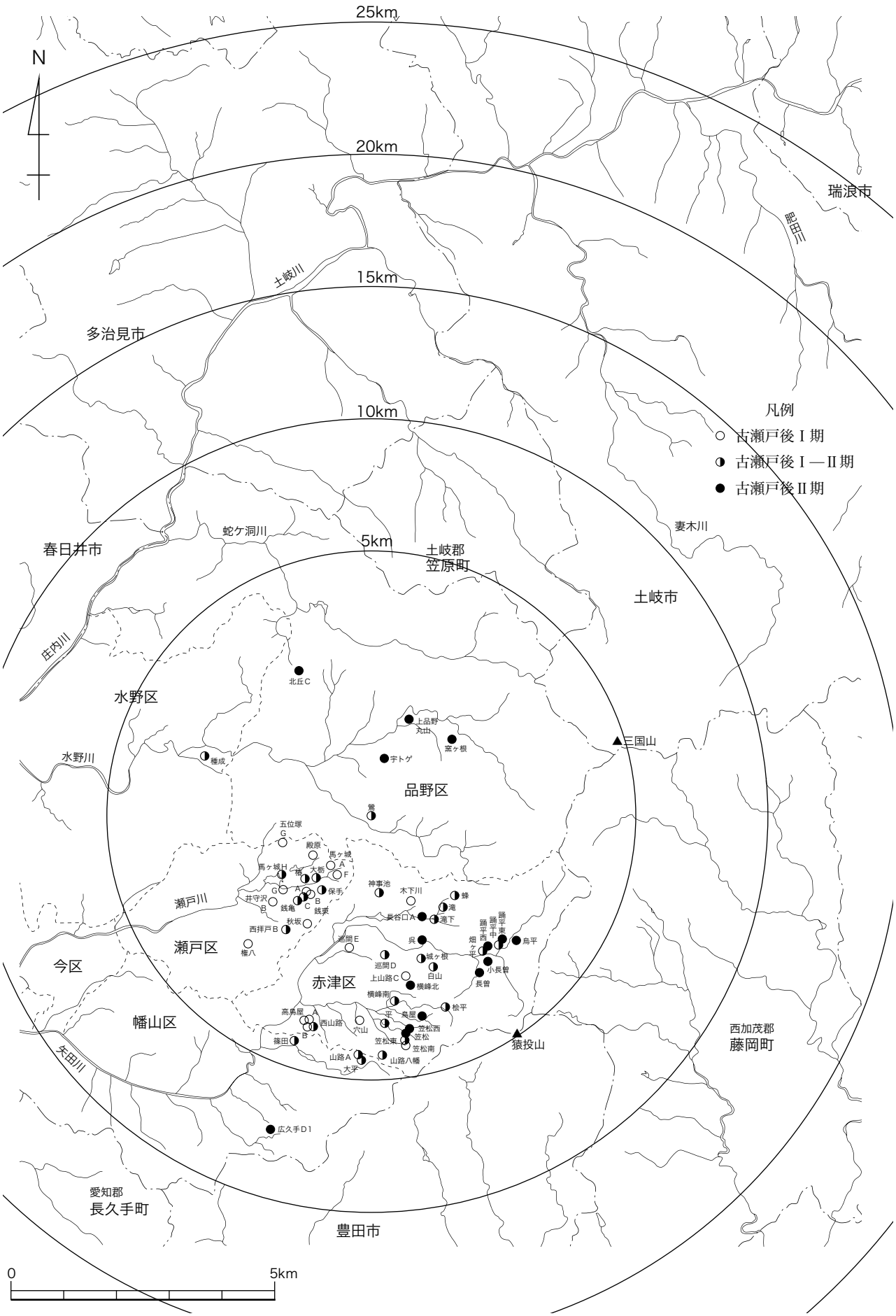
中馬街道は瀬戸から美濃の南東部を通り、三河を通り、信州の伊那谷へと抜けていく街道である。鷲窯は中馬街道沿いに立地しているのである。粘土、燃料材の薪、製品等の運搬にこの街道が利用されたであろうと思われる。また別な見方をすれば中馬街道を最初から考慮し、この地に窯を築いたのではなかろうか。丘陵の末端の地形を利用し、燃料材の運搬を兼ねて製品の積み出しに便利な平地の街道付近を選択し築いたと思われるのである。それまでは川筋の谷を基盤に築かれていたのが、街道を基盤に生産活動が始まっていたのではないだろうか。

粘土は鷲窯から５㎞圏内に瀬戸陶土層が見られ（第148図）露頭したこの陶土を使用していたのである。山沿いの道を迂回して歩いたとしても粘土を採掘し窯場まで運ぶ活動範囲としては遠くなく都合がよかったに違いない。使用された粘土の総重量は42.7t、総粘土量は14788㎥、成形時総粘土量は16431㎥となる。例えば現在の11tダンプカーに換算すると総重量は約3.8車、11tのダンプカー１車で約６㎥が積載できるとすると、総粘土量は約2464車、成形時総粘土量は2738車となる。１回操業で使用された粘土の重量は136kg、総粘土量は0.047㎥、成形時総粘土量は0.052㎥である。１年間４回操業で使用された粘土の重量は547kg、総粘土量0.189㎥、成形時総粘土量0.21㎥である。但しこの数値は出土85種類の器種のなかの50種類（58.8％）での数値で実際にはこれ以上の量が採掘され使用されたと推測される。工人の住居から作業場である焼物の制作・焼成の窯場まではそんなに遠く離れてはいないと思われ、鷲窯から丘陵を西に下った周辺に工人の村落があったのではと推測している。そして身近な範囲での生産活動であったからこそ長期間操業を可能にしたのではないだろうか。

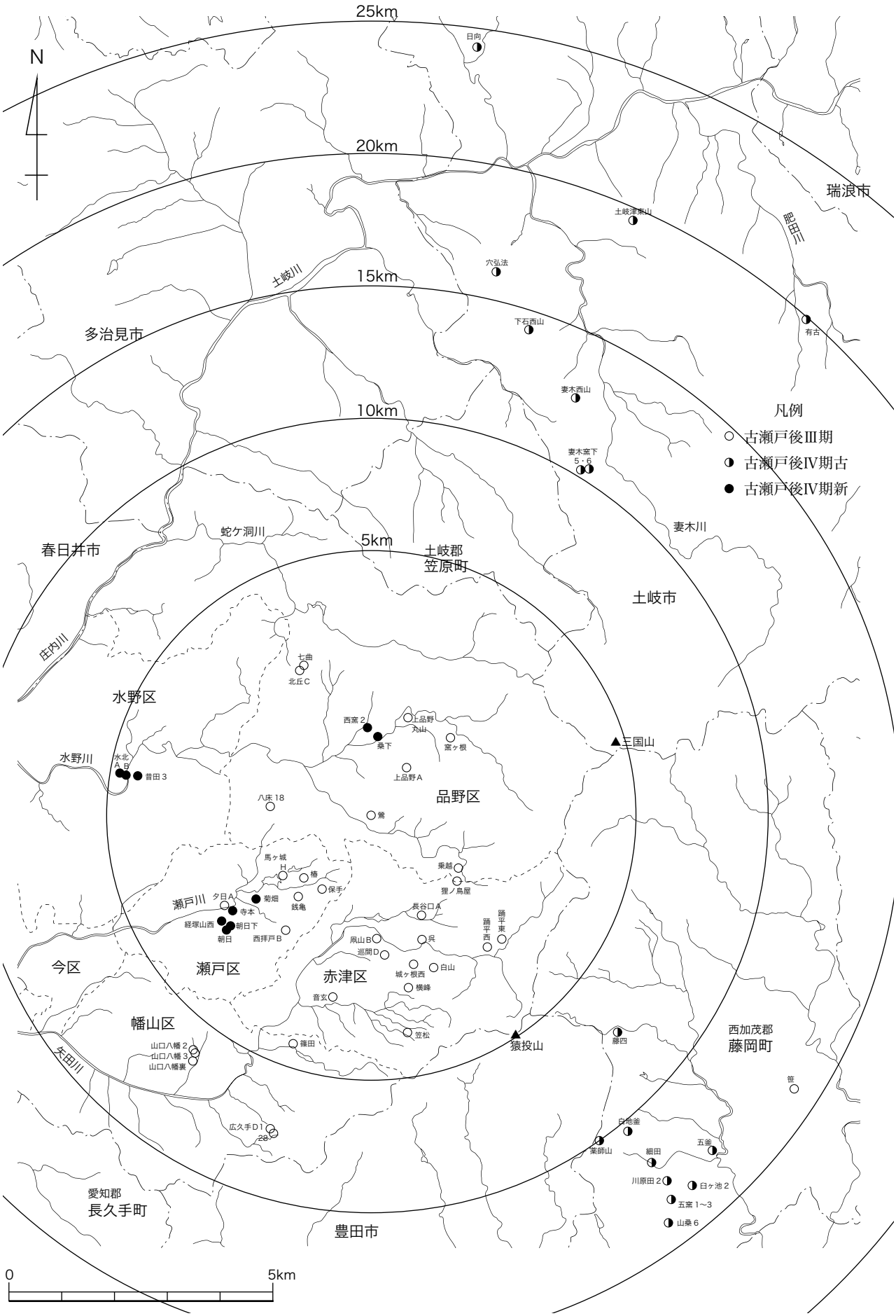
なお、鷲窯と工人の村落について、鷲窯のやや南西400mに位置する鳥原遺跡が部分調査の所見から『生産遺跡的傾向』が指摘されていることから、すでに鷲窯の工人村落ではないかと吉岡康暢氏が推定されている。鳥原遺跡の所在する鳥原町と鳥原町から西へ少し下った隣の中品野町は、鷲窯が立地する水野川支



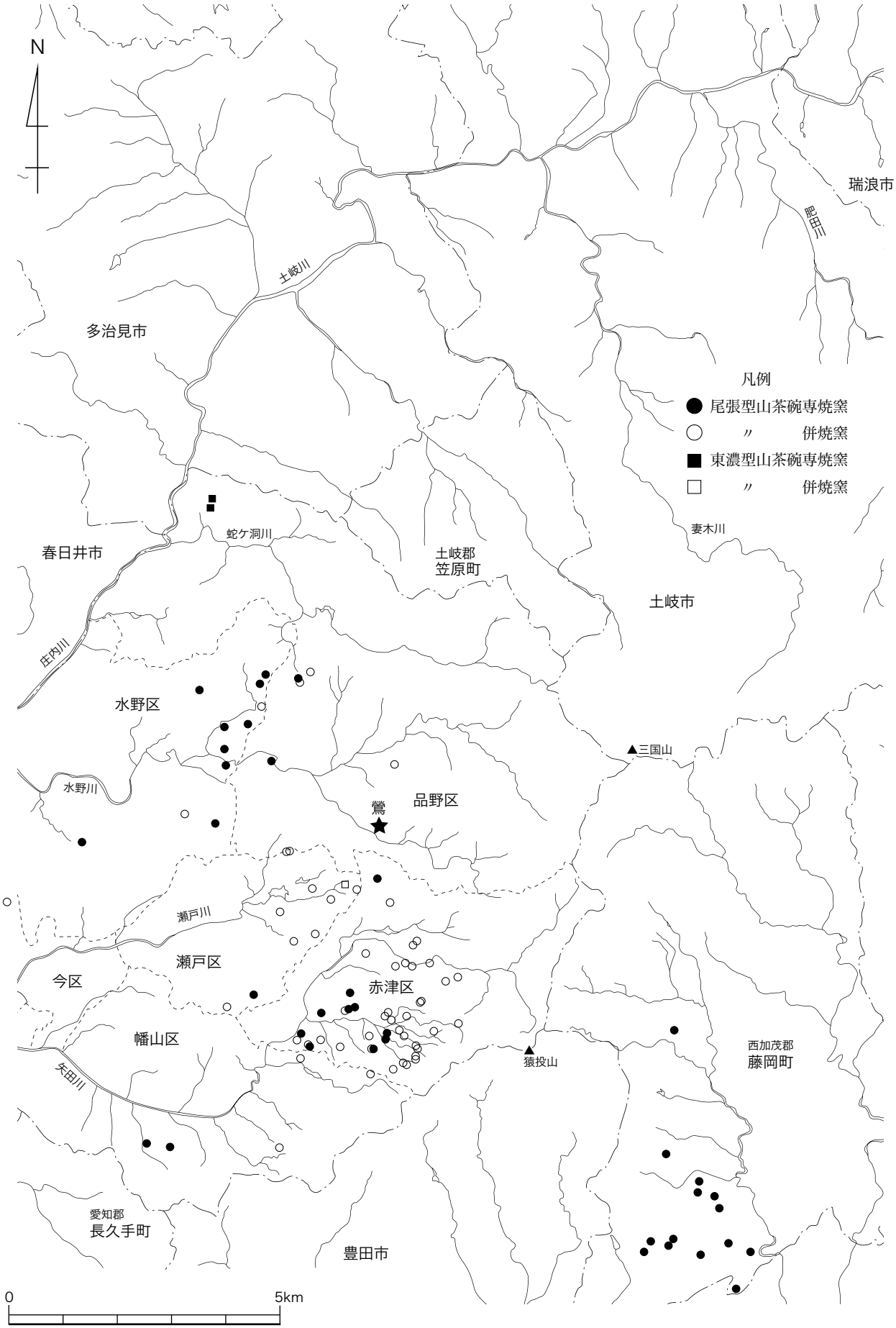
第 163 図　中期様式窯跡分布図



第 164 図　後期様式窯跡分布図 (1)



第 165 図　後期様式窯跡分布図 (2)



第 166 図　山茶碗（第 9 型式）焼成窯分布図

流の鳥原川沿いに南東奥へ細長くのびた丘陵の南側と西側の町である。細長くのびた丘陵をくだると二つの町へ下りることになる。

鷲窯操業期の周辺の様子について、科野郷の領有形態として第５章第１節に述べられており参照されたいが、鷲窯周辺が熱田座主の押妨、八劔社と熱田社との関係から熱田座主領の可能性が高いことから醍醐寺三宝院が窯の管掌に関わったであろうと結論づけられている。

鷲窯に近い中品野町には八劔神社がある。字名が森屋敷に所在する村社で創建には長江入道が係わり、永禄元年（1558）に松平監物が重修と『張州府志』にある。長江入道は桑下城の城主である長江利景で、長江利景は文明14年（1482)、今村城主の松原広長と大槙山・安土坂・若狭洞で戦い勝利を収め瀬戸市一帯を手中にしたとされる。字名が森屋敷とあることから創建以前からある程度の村落が成立していた可能性も考えられ、そして八劔神社と熱田社の関係を考慮すると街道に近い神社周辺が工人村落の中心であった可能性も否定しがたい。

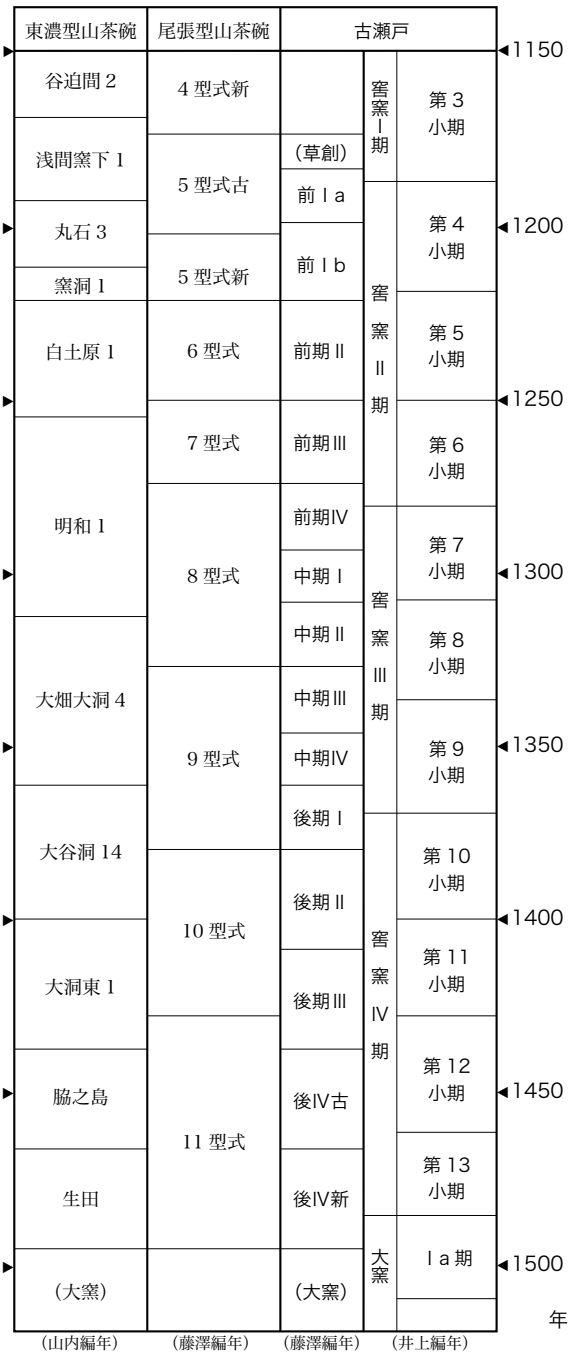
鳥原遺跡は『生産遺跡的傾向』が見られることから鷲窯の工人村落として成立していたであろう。しかし中品野町では遺跡の調査例がないため工人村落を推定することは現状では難しいが、推論を重ねると工人村落があったであろうと推定ができる。細長くのびた丘陵をくだった鳥原町と中品野町に工人村落があり、鳥原遺跡が生産品の集積、選別、出荷の場所で鷲窯と一対の遺跡であったのではないだろうか。

醍醐寺三宝院が鷲窯の操業に関わっていたとすれば、生活用具の生産が中心でありながら仏具が７％を示すなど、仏具を含め宗教具や儀式用具が生産されていても不思議ではない。また当時は禅院茶礼が盛んな頃でもある。操業当初は通年操業ではなく、年に一、二回の操業で、生産する器種も醍醐寺の意向が反映されたものが主体で、生産品もまた醍醐寺を通じて販売されたのではないだろうか。醍醐寺の販売網により製品の需要が高まり、生産が増加し、それまで年に一、二回であった操業が恒常的な操業へと変化していったと考えられる。年一、二回操業から恒常的な操業活動への変化は燃料である薪の消費量にも反映したはずで、いちじるしく増大したはずである。使用された粘土の総重量は42.7tである。発掘調査により出土した遺物の総重量は22.8tであった。これだけの粘土を焼成する燃料である薪を安定し供給し続けることができたのも醍醐寺の支えがあったからではないだろうか。鷲窯より南の瀬戸区、赤津区の川筋の谷には同時期の窯跡（第163図～第165図）が密集しており、この地域の窯の燃料は瀬戸周辺だけで賄っていたのだろうか。生産地といえども燃料である薪の確保はたいへんなことで、薪の安定的な確保こそが操業するうえで大きな要件であったと言えよう。瀬戸周辺で賄いきれなくても中馬街道を通じ三河、信州から薪を搬入できるのである。この薪の安定確保があったからこそ鷲窯が長期間に亙り操業できたと言えよう。

瀬戸地域では12～13世紀の山茶碗窯の燃料材は一般的傾向としてマツ属、クヌギ節、コナラ節の三分類群が主体で中でもマツ属が目立つとされ、この三分類群が窯の周辺に二次林として出現していることが炭

化材の同定から明らかにされている。鶯窯ではマツ属とヒノキが多く検出され主要な燃料材であることが明らかになった。針葉樹のヒノキを燃料材として使用していたことが判明した初めての例でもある。

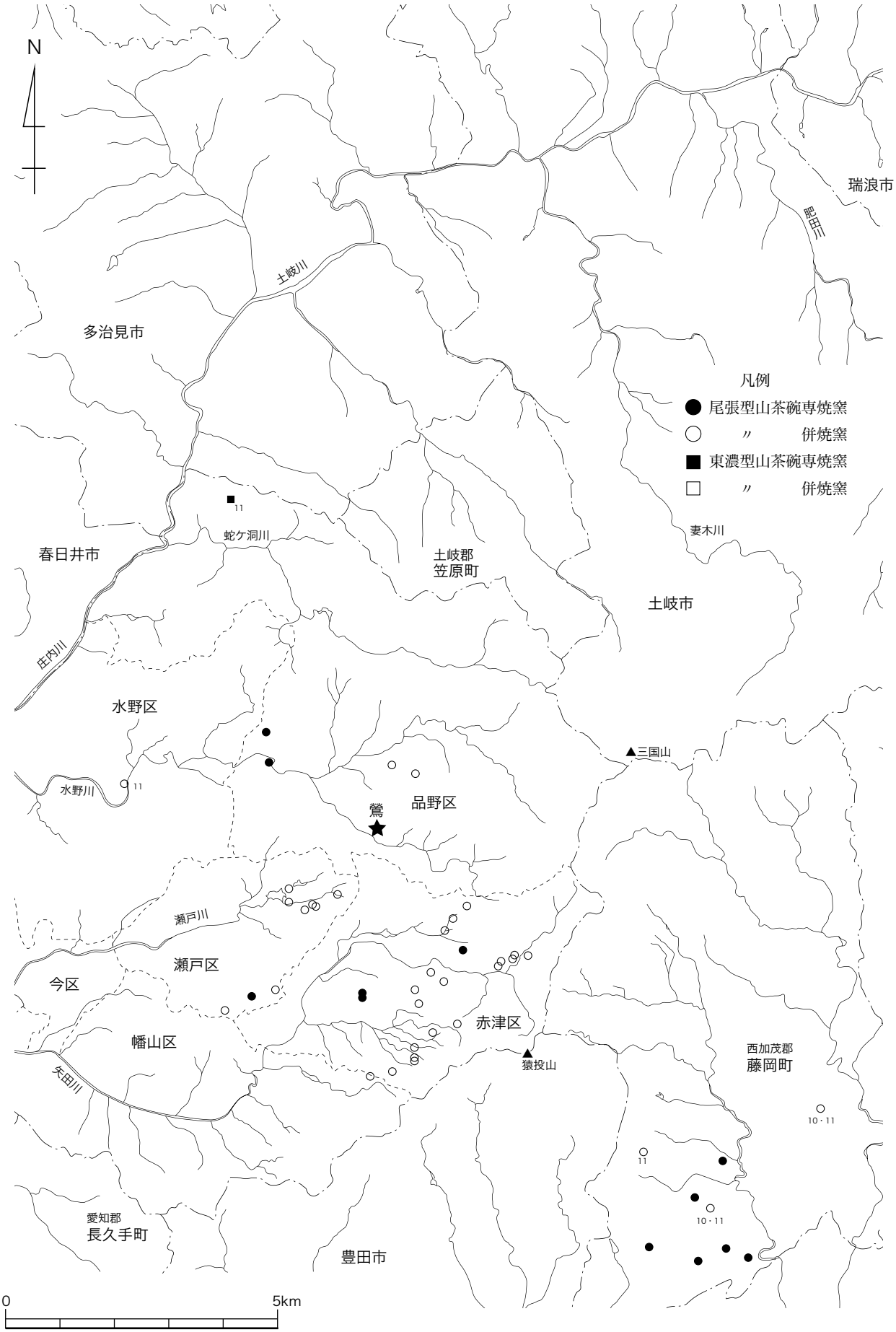
炭化材の同定については第４章　第６節を参照されたいが、針葉樹のヒノキが燃料材としてマツ属とともに多用されていることから、窯の周辺に常緑広葉樹を含めた落葉広葉樹林やモミ属・ヒノキの針葉樹林が成立していた可能性が高く、大量に消費されたマツ材は窯の周辺ではなく搬入された可能性があるかもしれないと指摘されている。鶯窯の燃料材の薪が中馬街道を通じ、三河、信州からマツ・ヒノキが薪として運び込まれていたことは街道沿いの立地から当然のことである。



第 61 表　山茶碗・古瀬戸編年対比表

窯の周辺がマツ属、クヌギ節、コナラ節の二次林となり、この二次林から採取された薪が窯の燃料として使われ、窯業地域の周辺の山林が荒廃し、はげ山になったと『はげ山』が盛んに強調される。瀬戸においては磁器生産に伴うアカマツの伐採による林地荒廃がはげ山を形成した、そして戦後瀬戸周辺の山々がはげ山であったことも重なって、窯の周辺イコール『はげ山』となっている。

『はげ山』になった丘陵では窯体にとって風通しは確かにいいかもしれないがプラスよりマイナスの面のほうが多いのではないだろうか。風化花崗岩が地山となる瀬戸では山肌が現れれば崩れやすく、雨が降る梅雨どきなどでは露呈した地山に水みちの窪みができたりする。このような状況を見たりすると、周囲がはげ山では窯が築き易い環境とは言い難いのである。山林が荒廃し、裸地では窯も築きにくいはずである。燃料の薪となる木々の伐採に関しても、例えば樹木も若い木は切らないといった択伐が行われていたのではないだろうか。窯の周辺はすべてが『はげ山』といったイメージを払拭する必要があるのではないだろうか。これらのことを考慮して、窯と工房を含め作業空間以外は木々が周りに見られる、そんな風景であったのではないかと復原したのがカラー図版16である。窯のまわりには二次林の木々が覆い繁り、窯より上の山頂付近は針葉樹が見える。

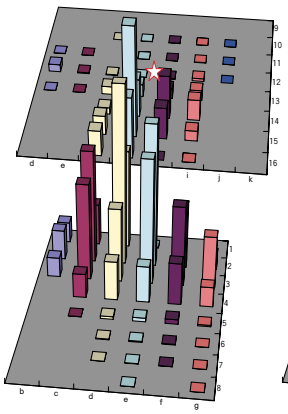


第 167 図　山茶碗（第 10・11 型式）焼成窯分布図

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10			1	32	43	3	8	
11	38	23		2	35	46	10	
12	698	81	72	23	91	253	2	
13	10	7	747	1,170	947	971		
14			613	3,544	4,064	1,962		
15			1,781	10,267	2,953	965		
16			2,371	5,703	2	1		

	b	c	d	e	f	g
1	1,959	3,966	9,386	90		
2	2,836	10,702	16,886	13,540	5,999	1,462
3	1,862	9,148	7,031	11,852	7,645	4,988
4		2,288	3,711	3,464	3,990	1,904
5		19	252	353	439	135
6			75	100	65	21
7			17	37	18	18
8				6		4

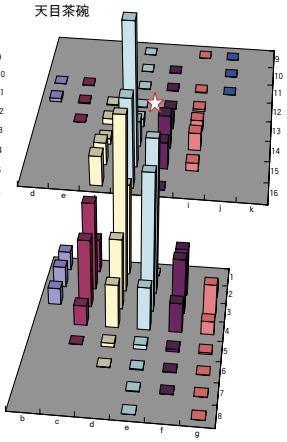
平碗



	d	e	f	g	h	i	j	k
9				1		2	1	
10				3	5		6	
11	2	4		6	6	11	1	
12	48	12	13	7	12	30		
13		5	78	102	139	137		
14			75	335	438	232		
15			293	1,842	353	107		
16			395	1,163	2			

	b	c	d	e	f	g
1	252	450	1231	13		
2	276	1174	2310	2045	638	147
3	221	905	944	1826	735	423
4		267	580	575	393	177
5		5	53	60	35	22
6			8	13	6	6
7				10	1	4
8				1		2

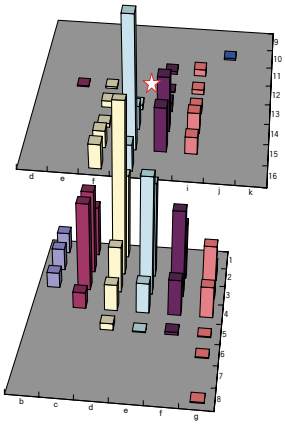
天目茶碗



	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10						2		
11					3	7		
12		1	2		1	5		
13			7	5	10	8		
14			4	25	58	22		
15			18	138	47	18		
16			26	28				

	b	c	d	e	f	g
1	22	53	90			
2	23	88	182	101	59	17
3	16	93	49	125	92	57
4		17	28	32	38	33
5			7	1	3	1
6						1
7						
8						1

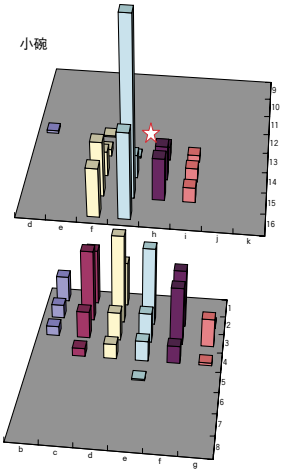
小天目



	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12	2		1			5		
13			5	1	10	5		
14			18	17	25	10		
15			40	128	31	11		
16			36	63				

	b	c	d	e	f	g
1	19	41	33			
2	10	53	66	58	43	3
3	7	20	21	22	43	21
4		6	11	15	13	2
5				1		
6						
7						
8						

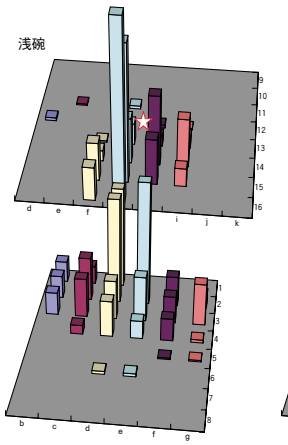
小碗



	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11		1		2				
12	2				2	1		
13			1	14	7	8		
14			7	30	46	32		
15			25	89	30	12		
16			22	115				

	b	c	d	e	f	g
1	14	12	67			
2	15	29	70	82	20	9
3	15	26	26	30	18	28
4		6	24	12	15	2
5					1	1
6			2	2		
7						
8						

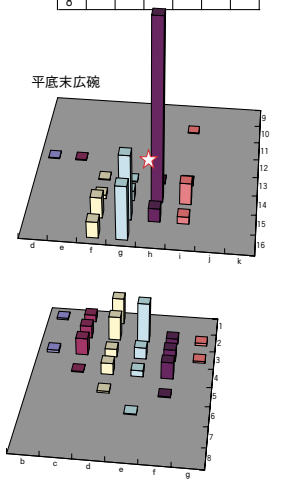
浅碗



	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10						1		
11								
12	1	1						
13			1	1	2	3		
14			4	11	195	24		
15			23	72	15	8		
16			18	60				

	b	c	d	e	f	g
1	2	8	30			
2		14	27	45	6	3
3	3	19	9	13	13	2
4		1	13	7	19	
5			2		1	
6				1		
7						
8						

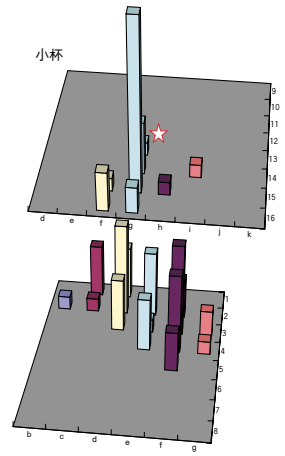
平底末広碗



	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12								
13				1				
14				4		1		
15			1	13	1			
16			3	2				

	b	c	d	e	f	g
1		4	4			
2	1	1	7	5	3	
3			4	1	7	2
4				4	6	1
5					3	
6						
7						
8						

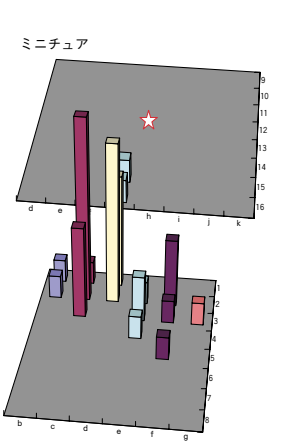
小杯



	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15				1				
16				1				

	b	c	d	e	f	g
1	1	1	5			
2	1	8	7	1	3	
3		4		2	1	1
4				1		
5					1	
6						
7						
8						

ミニチュア



第168図　器種別出土状況図（1）

表のトーン・☆は窯体
表の数字は出土点数

	d	e	f	g	h	i	j	k
9				1				
10				1				
11						3		
12	1	2	1	1	2	4		
13			19	54	125	89		
14			140	210	258	146		
15			320	1,155	127	72		
16			302	481				

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10				3	1	1		
11								
12	47	2	7	5	9	12		
13	3	2	49	145	177	114		
14			227	589	719	353		
15			1,092	2,623	528	216		
16			547	1,306				

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10					1			
11					2			
12	5					4		
13			4	9	58	48		
14			19	91	148	72		
15			191	502	84	33		
16			177	395				

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12	4					2		
13			1	2	13	4		
14			3	11	27	24		
15			19	81	23	3		
16			15	37				

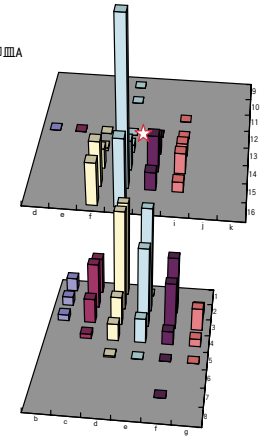
	b	c	d	e	f	g
1	96	264	697	8		
2	65	330	733	767	419	49
3	44	179	208	583	339	163
4		34	125	180	98	56
5			11	3	1	1
6						
7					1	
8						

	b	c	d	e	f	g
1	299	507	1007	9		
2	226	645	1209	1081	457	95
3	115	455	443	700	545	293
4		92	254	225	202	75
5			25	3	8	2
6			2		2	1
7					1	1
8						

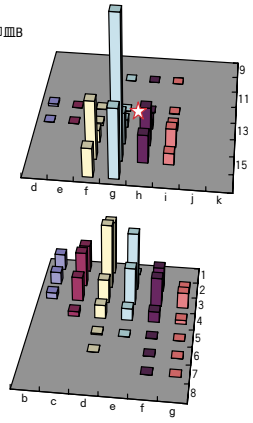
	b	c	d	e	f	g
1	60	137	311	3		
2	54	230	334	285	185	27
3	14	101	88	199	141	54
4		15	92	72	62	16
5			6	2	7	1
6			2			1
7						
8						

	b	c	d	e	f	g
1	11	20	90			
2	5	20	38	28	30	
3		12	10	32	32	15
4		2	8	10	10	9
5			1		2	
6						
7						
8						

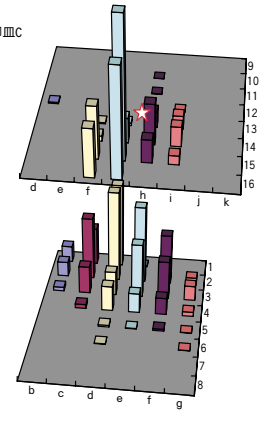
卸皿A



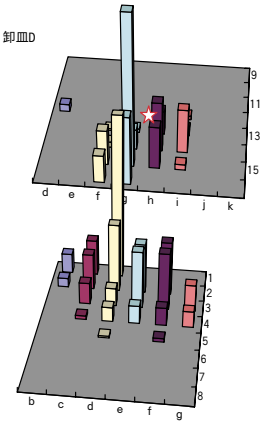
卸皿B



卸皿C



卸皿D



	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12								
13				1	1	1		
14			2	2	7			
15			1	5	2			
16				3				

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10					1	2		
11		1			1		1	
12	24	2	7	6	6	5		
13				56	81	142	108	
14				166	311	455	247	
15				594	1,940	262	109	
16				503	1,075			

	d	e	f	g	h	i	j	k
9				1	1		1	
10			2	12	12	2	7	
11		16	1	5	7	23	1	
12	160	18	30	23	42	68		
13	1	5	244	441	869	811		
14			336	1,459	2,593	1,368		
15			1,202	5,783	1,418	601		
16			1,561	2,176	3	3		

	d	e	f	g	h	i	j	k
9					2			
10				2	4	1		
11		1		1		1		
12	1	2		3	2	13		
13			22	34	137	99		
14				149	201	275	124	
15				323	863	197	110	
16				185	460		3	

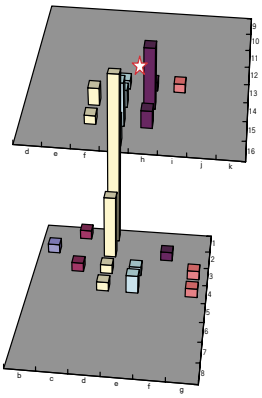
	b	c	d	e	f	g
1		1	19			
2	1		7		1	
3		1	1	1		1
4			1	2		1
5						
6						
7						
8						

	b	c	d	e	f	g
1	176	365	937	12		
2	117	470	982	940	396	133
3	107	349	392	776	475	214
4		101	345	260	219	79
5		14	68	20	34	13
6			14	13	3	3
7			1	2	1	3
8				2		

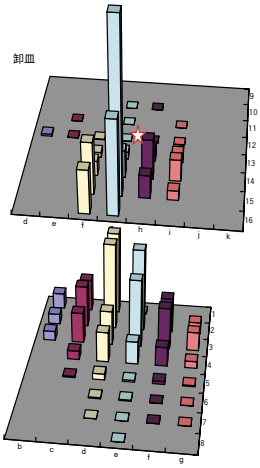
	b	c	d	e	f	g
1	1237	2211	4928	31		
2	1034	4349	5855	4559	3358	844
3	548	2772	1914	3713	3601	2004
4		491	1016	1250	1349	605
5		14	113	116	145	61
6			40	33	12	8
7			5	16	6	5
8				3		1

	b	c	d	e	f	g
1	79	143	420			
2	52	209	305	397	312	80
3	38	111	119	340	288	139
4		27	119	113	81	39
5		3	28	4	8	4
6			4	4	1	2
7			1	4		2
8						

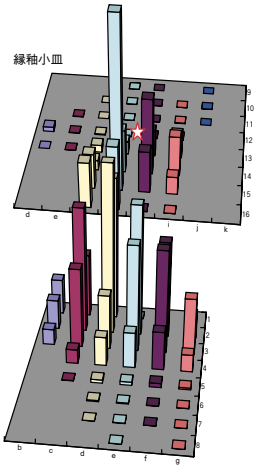
卸皿E



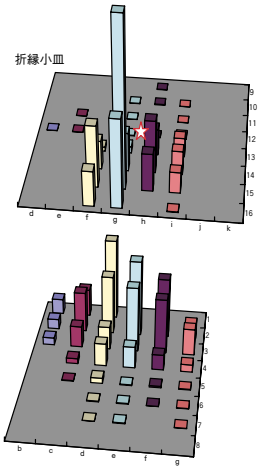
卸皿



縁釉小皿



折縁小皿



第169図　器種別出土状況図（2）

表のトーン・☆は窯体
表の数字は出土点数

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10						1		
11								
12	54	1		1		3		
13			1	9	21	15		
14			37	45	45	37		
15			74	224	38	12		
16			109	191		1		

	b	c	d	e	f	g
1	16	18	92	3		
2	11	30	96	110	27	6
3	3	35	20	86	46	10
4		12	63	18	31	19
5		3	18	5	6	5
6						1
7			1	1		2
8				1		

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10						2		
11					1			
12				1	0	2	1	
13				7	5	27	4	
14				28	31	54	27	
15				49	147	55	18	
16				32	72	1	3	

	b	c	d	e	f	g
1	2	2	10			
2	1	6	6	24	14	3
3		2	1	14	22	3
4			6	9	7	4
5			1			2
6			1	3		
7				2		2
8						2

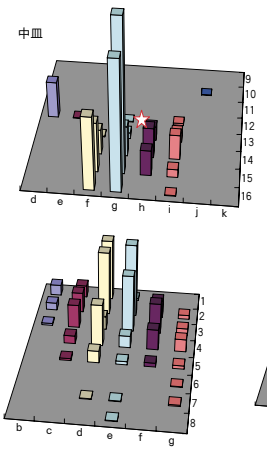
	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10				1				
11								
12	2	3	1			2		
13			1	3	2	1		
14			6	20	19	8		
15			20	68	15	4		
16			7	53				

	b	c	d	e	f	g
1	4	8	29			
2	7	13	18	25	25	5
3	2	22	4	15	17	10
4		1	12	3	12	7
5			2		2	1
6			1	1		
7						
8					1	

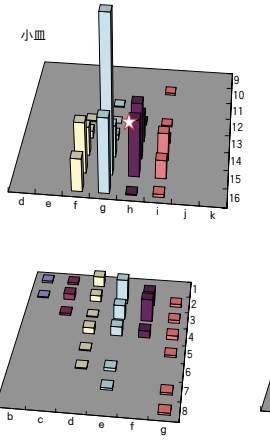
	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12								
13								
14			1		1			
15				8	4			
16			4	6				

	b	c	d	e	f	g
1	3	3	7	1		
2	1	11	9	11	18	4
3	1	11	3	8	12	11
4		1	7	5	9	4
5			2	1	1	
6						
7						
8				1		

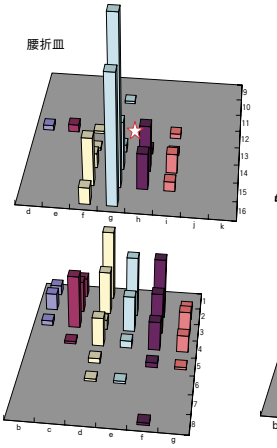
中皿



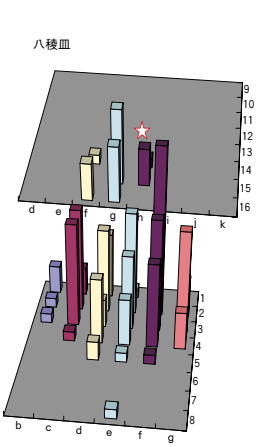
小皿



腰折皿



八稜皿



	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12								
13						1		
14				1				
15				6				
16			2					

	b	c	d	e	f	g
1	13	9	30			
2	6	9	17	6	2	
3	8	9	3	1	1	1
4		1	1			3
5						
6						
7						
8						

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12								
13				1				
14				1	1		1	
15				2	9			
16				4	5			

	b	c	d	e	f	g
1	8	4	2			
2	2	8	10	7	3	
3	1	6		2		2
4		5	7		6	2
5			2			
6			1	1		1
7						
8						

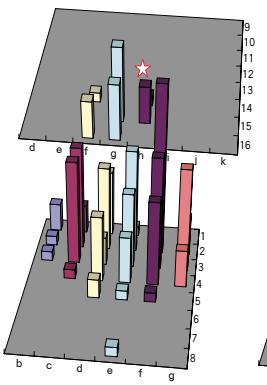
	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15				1				
16								

	b	c	d	e	f	g
1	4	5	3			
2		2	4	1	2	3
3		3				
4			5	1	13	
5		1	4		6	5
6			5	1		
7				1		
8						

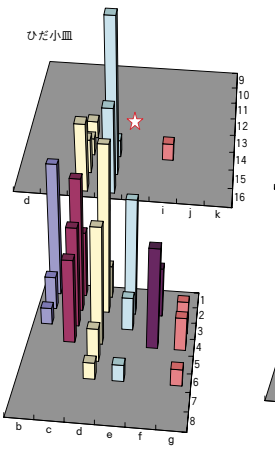
	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10					1			
11								
12								
13								
14				1	1	1		
15			18	5	3			
16			3	11				

	b	c	d	e	f	g
1			3			
2		1	3	5		
3			3	8		
4			2			1
5			1			
6			1			
7						
8						

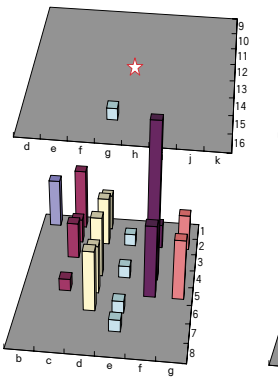
折縁ひだ小皿



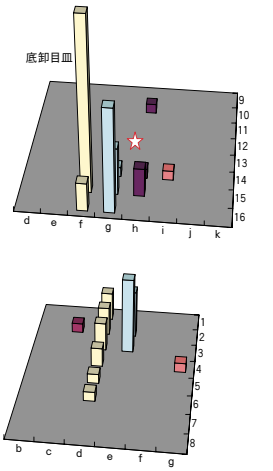
ひだ小皿



丸皿



底卸目皿



第170図　器種別出土状況図（3）

表のトーン・☆は窯体
表の数字は出土点数

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10					5	3	1	
11			2	2	6	11	1	
12	44	1	3	10	22	35		
13		2	59	113	171	151		
14			176	422	537	284		
15			475	2,533	322	129		
16			825	1,914	3	4		

	b	c	d	e	f	g
1	242	455	2359	15		
2	291	979	4146	4277	908	124
3	182	1280	1513	3227	940	246
4		569	1968	1476	362	122
5		37	484	93	60	24
6			54	45	13	3
7			6	19	4	10
8						

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10				4	4	8	2	
11	2	2		4	3	14	2	
12	24	2	3	11	19	47		
13			60	96	111	84		
14			54	307	372	152		
15			204	1,542	239	62		
16			465	1,020	3			

	b	c	d	e	f	g
1	261	434	1366	11		
2	264	825	2345	2985	910	129
3	198	1100	1163	3151	1071	339
4		308	1329	1353	509	137
5		26	175	27	49	34
6			24	20	12	8
7			12	8	2	1
8					1	1

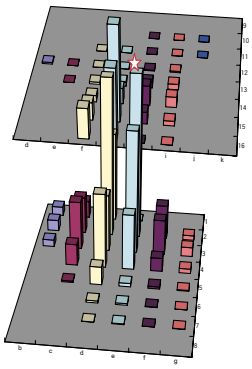
	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10					1	1	1	
11	3				1	3	4	
12	15	2	2	6	26	43		
13			96	49	142	132		
14			55	229	229	216		
15			245	1,268	130	33		
16			399	980				

	b	c	d	e	f	g
1	151	284	1189	17		
2	154	535	1692	2494	465	88
3	99	458	1102	2516	649	171
4		240	898	792	163	76
5		23	112	38	36	11
6			19	12	4	1
7			6	17	2	7
8				1		1

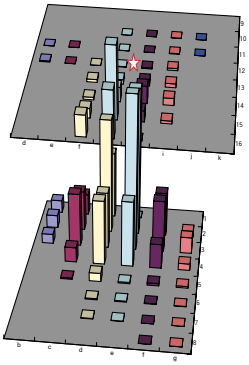
	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10					1			
11					1			
12	6	1	3	1	1	4		
13			30	22	25	18		
14			28	106	94	49		
15			139	505	91	26		
16			179	491	2	4		

	b	c	d	e	f	g
1	9	35	228	5		
2	24	45	546	1052	149	14
3	17	70	492	647	161	28
4		34	314	208	33	21
5		7	35	11	2	
6			2	2	1	
7				2	1	
8						

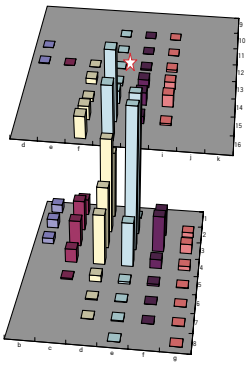
花瓶



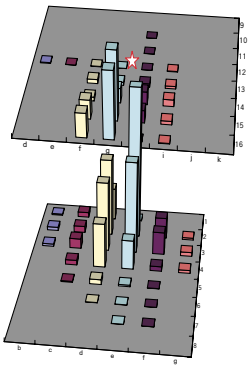
瓶子



四耳壺



水注



	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10					3			
11		8	1			1		
12	4				1	32		
13			34	53	15	28		
14			17	72	116	45		
15			86	476	91	19		
16			123	278		1		

	b	c	d	e	f	g
1	53	122	421	3		
2	77	282	464	503	90	6
3	65	371	191	517	84	40
4		107	167	151	51	24
5		2	21	7	7	3
6			6	3		2
7				2		
8						

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10				1				
11		2			2			
12	2			3	4	4		
13			7	10	17	17		
14			5	32	35	14		
15			14	133	70	51		
16			26	74		3		

	b	c	d	e	f	g
1	31	63	172			
2	13	114	300	345	65	10
3	28	115	147	385	121	65
4		45	135	131	53	49
5		1	5	5	4	10
6			2		1	
7				2	2	4
8						

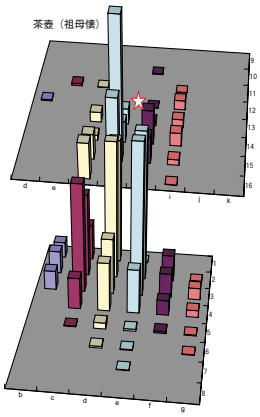
	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12	1	2		1	1	2		
13		1		2	9	3		
14			7	10	24	9		
15			34	92	12	2		
16			21	91				

	b	c	d	e	f	g
1	10	33	120	1		
2	14	48	117	181	56	7
3	7	58	81	116	61	16
4		11	84	47	33	10
5		4	10	2	2	4
6				3		
7						1
8						

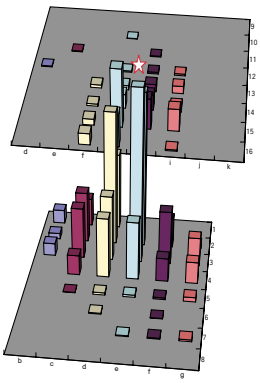
	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12					1			
13			1	1	3	1		
14				1	3			
15			5	13				
16			4	6				

	b	c	d	e	f	g
1	7	16	9			
2	11	30	50	21	12	2
3	8	43	23	48	11	22
4		8	27	37	13	1
5					2	5
6			1			
7						
8						

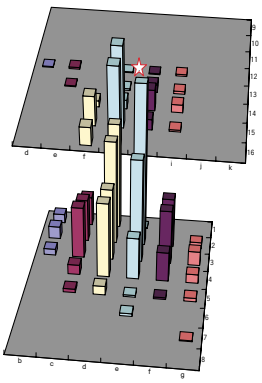
茶壺（祖母懐）



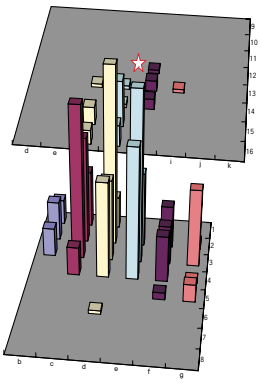
口広壺



小壺



口広有耳壺



第171図　器種別出土状況図（4）

表のトーン・☆は窯体
表の数字は出土点数

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12								
13				1				
14					1			
15				2				
16			3	5				

	b	c	d	e	f	g
1	5	10	21	1		
2			26	40	5	
3	1	3	10	32	1	
4		16	8	3	16	8
5			3			1
6						
7			1			
8						

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12	1							
13				1	1	2		
14			3	2	6	3		
15			6	19	14	7		
16			5	14	1			

	b	c	d	e	f	g
1	4	1	6			
2	1	7	26	11	1	
3	4	6	5	9	8	2
4		6	5	5	4	1
5				1	2	
6						
7						
8						

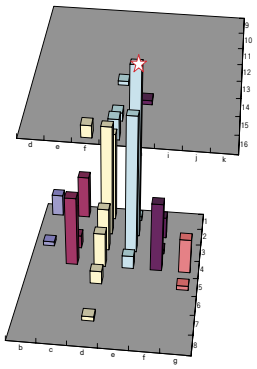
	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12								
13				1				
14			1	1	3	1		
15			1	9	7	3		
16			2	7				

	b	c	d	e	f	g
1		5	16			
2		15	25	20	4	
3	1	31	9	14	4	1
4		3	8	5	5	1
5			1			3
6				1		1
7						
8						

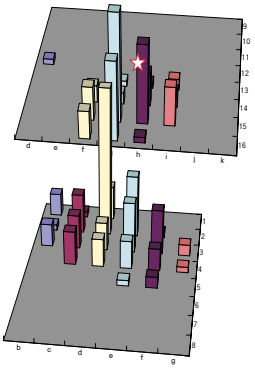
	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12								
13								
14					1	1	3	1
15				3	13	9	3	
16				1	4			

	b	c	d	e	f	g
1		2	2			
2			10	25	3	1
3	1	1	10	33	13	3
4		1	3	3	8	3
5						
6						
7						
8						

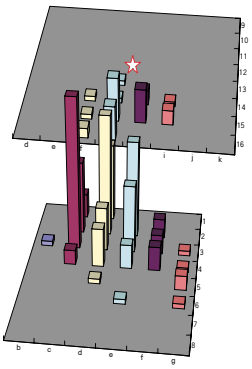
広口壺



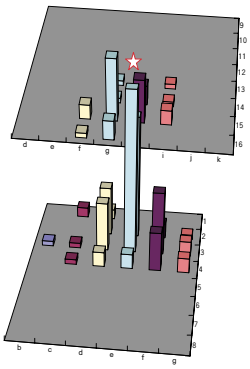
茶入



片口瓶



有耳壺



	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10							1	
11								
12								
13			5		3	2		
14			1	2	1	1		
15			1	6	1			
16				1		4		

	b	c	d	e	f	g
1		1	9			
2		9	9	13	4	1
3		4	6	16	9	3
4		1	16	7	16	1
5						
6			2			
7						
8						

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12								
13						1		
14			1	1	4	5		
15				7	2	1		
16				1				

	b	c	d	e	f	g
1	1	5	6			
2	2	3	16	18	4	
3	1	2	4	16	14	4
4		1	3	4	4	1
5			2		1	
6				2	1	1
7				1		
8						

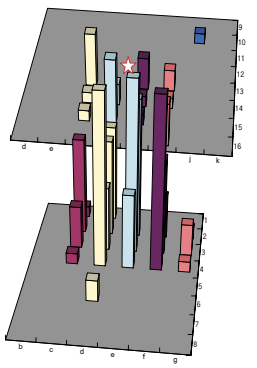
	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12								
13			1	1		2		
14				4	2	5		
15				11	3	3		
16				4				

	b	c	d	e	f	g
1	2	1	13			
2	2	2	6	4	7	
3		5	6	5	4	6
4			1	4	5	1
5				1	1	
6				1		
7						
8						

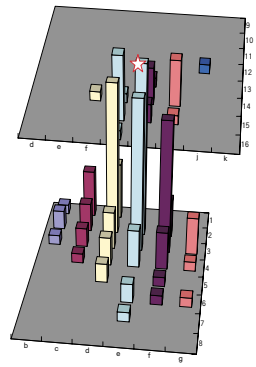
	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12								
13								
14				2	4	4		
15				7		1		
16			2	12				

	b	c	d	e	f	g
1			2			
2	1		5	10	2	1
3	1		2	16	1	1
4			1	1		
5			1	1		
6						
7						
8						

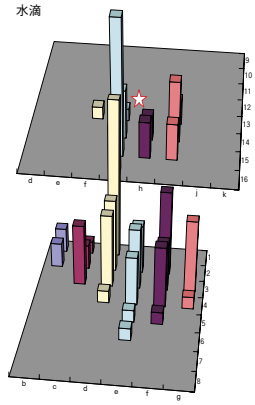
合子



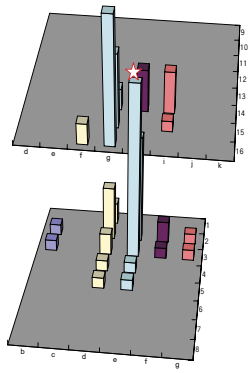
双耳小壺



水滴



土瓶



第172図　器種別出土状況図（5）

表のトーン・☆は窯体
表の数字は出土点数

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12								
13					1	3		
14				2	2	9		
15					5	2		
16								

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12	3							
13					2			
14								
15			2					
16								

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15					1			
16								

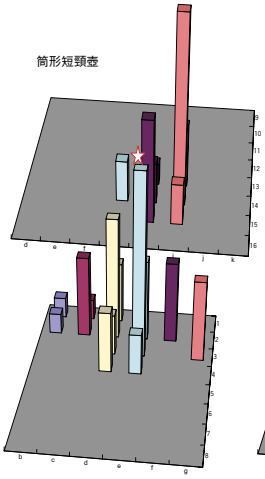
	b	c	d	e	f	g
1	1	1	3			
2	1	4	6	4	4	
3			2	9		4
4			3	2		
5						
6						
7						
8						

	b	c	d	e	f	g
1		1				
2	3	1	3	20		
3	1		1	6		
4		2		17		
5						
6						
7						
8						

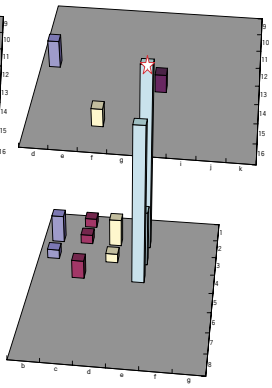
	b	c	d	e	f	g
1			1			
2						
3						
4			1		1	
5						
6			1			
7						
8						

	b	c	d	e	f	g
1						
2			1			
3			1			
4						
5						
6						
7						
8						

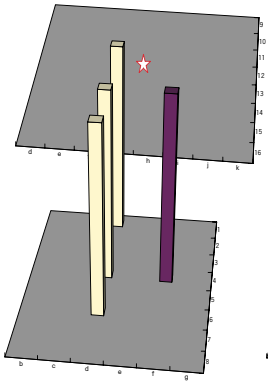
筒形短頸壺



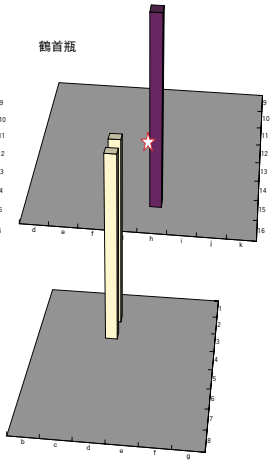
壺



三耳壺



鶴首瓶



	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11					1			
12					3	4		
13			5	7	6	3		
14				12	29	16		
15			2	48	40	4		
16			1	17	4			

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11		1			1			
12						3		
13			1	2	1	6		
14				6	6			
15			1	9	2			
16			5	5				

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12								
13								
14						1	1	
15				9				
16			3	28				

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11		2		1		1		
12					1			
13			5		2	2		
14			5	20	13	9		
15			27	81	16	3		
16			31	40				

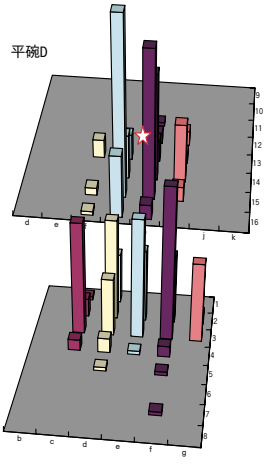
	b	c	d	e	f	g
1		1	14			
2		5	28	20	19	3
3		31	16	33	42	22
4		3	4	1	3	
5			1		1	
6						
7					1	
8						

	b	c	d	e	f	g
1	1	10		1		
2	3	3	9	18	2	1
3		5	3	19		5
4			4			
5			1			
6						
7						
8						

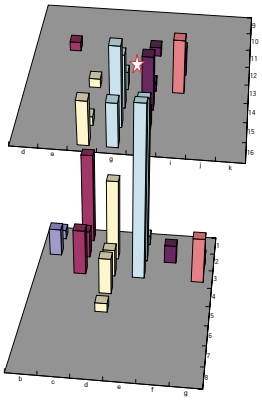
	b	c	d	e	f	g
1		1	10			
2	3	2	2	4		1
3		5		3	4	
4		1	1		1	
5						1
6						
7						
8						

	b	c	d	e	f	g
1	7	6	89	2		
2	4	11	63	59	14	5
3		17	30	65	11	8
4		2	28	18	3	2
5			2	2		
6			2			
7						
8						

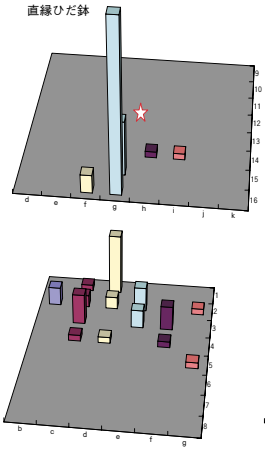
平碗D



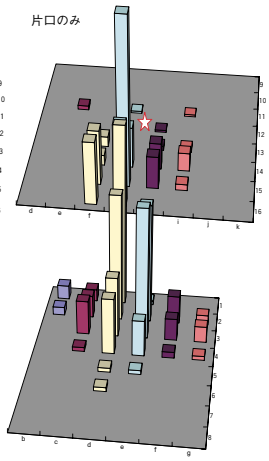
卸目付大皿



直縁ひだ鉢



片口のみ



第173図　器種別出土状況図（6）

表のトーン・☆は窯体
表の数字は出土点数

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10			1	10	41			1
11	2	13	1	19	16	18	5	
12	43	3	16	27	50	86		
13		7	227	421	567	491		
14			309	899	1,273	841		
15			719	3,225	720	241		
16			919	2,194				

	d	e	f	g	h	i	j	k
9				1				
10			1	7	12		2	
11	2	1	1		5	1	1	
12	3	4	13	15	19	47	2	
13	3		85	197	307	223		
14			141	370	472	400		
15			546	1,873	282	87		
16			542	1,213		1		

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10				1	1	1		
11				4	2	13	6	
12	23	8	7	10	23	28		
13			84	77	99	134		
14			16	189	338	221		
15			128	809	186	60		
16			203	389				

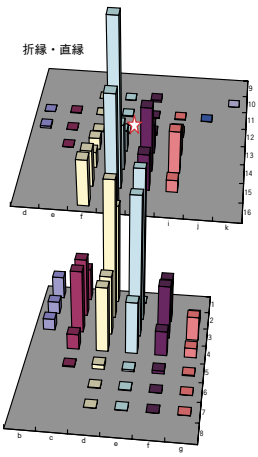
	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10			3	8	8	1		
11	2	4				3		
12	10	4	2	2	3	4		
13			62	106	119	81		
14			103	361	411	173		
15			551	3,081	301	61		
16			880	2,391				

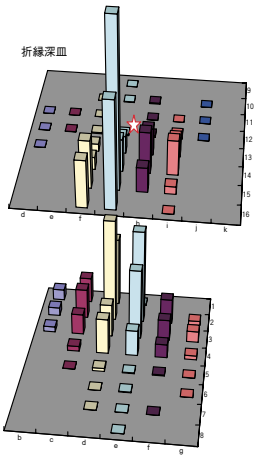
	b	c	d	e	f	g
1	437	646	1988	17		
2	243	1168	2769	3005	883	141
3	224	1249	1186	2786	1066	475
4		303	1296	1039	495	192
5		20	90	36	59	19
6			11	14	4	6
7			6	9	3	5
8						

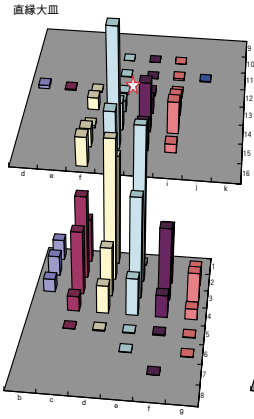
	b	c	d	e	f	g
1	122	284	767	16		
2	92	333	1153	1051	284	48
3	60	231	368	789	236	125
4		56	398	290	153	46
5		2	35	9	11	3
6			1	8		2
7			3	1	1	
8				1		

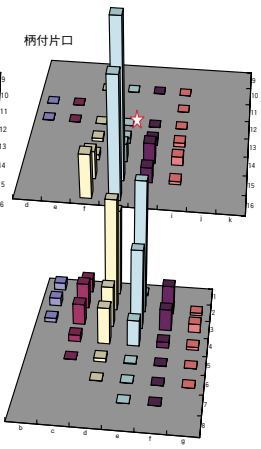
	b	c	d	e	f	g
1	142	304	758	6		
2	137	572	966	1060	395	126
3	90	437	341	697	501	205
4		103	193	258	155	75
5		2	8	6	8	5
6				4		4
7					1	
8						

	b	c	d	e	f	g
1	147	279	1726	34		
2	160	502	2234	2622	574	53
3	83	414	815	1592	431	173
4		133	733	520	121	61
5		8	72	17	11	3
6			6	6	2	1
7				2	3	
8						









	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10					2			
11				1		2		
12	3		3	250	6	12		
13			83	153	56	13		
14			679	1,026	236	79		
15			625	3,341	967	157		
16			369	1,517	2			

	d	e	f	g	h	i	j	k
9				1	1			
10					3			
11		1				2		
12	22		6	5	1	9		
13			30	47	68	32		
14			113	208	193	83		
15			311	952	194	56		
16			274	744				

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11	1			4	5	5		
12	13	1	7	10	35	35		
13	2	1	55	58	91	57		
14			103	256	225	125		
15			220	820	128	62		
16			106	378	1			

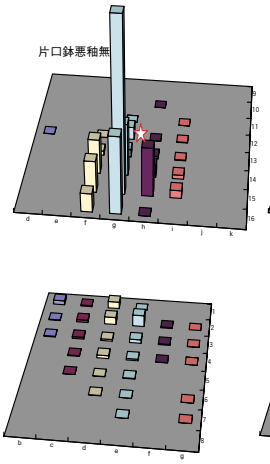
	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10					1			
11					1	2		
12	6		1		5	7		
13			9	10	24	25		
14			26	47	67	92		
15			76	284	59	31		
16			63	139				

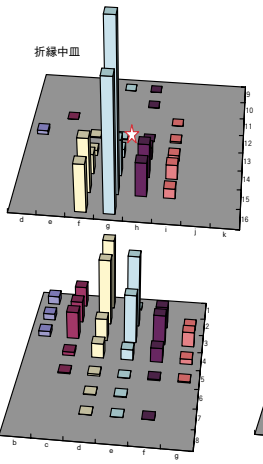
	b	c	d	e	f	g
1	86	20	139	2		
2	13	48	150	231	19	1
3	16	38	35	71	19	7
4		14	59	32	7	1
5		2	6	13		
6			8	1		1
7				2		1
8						

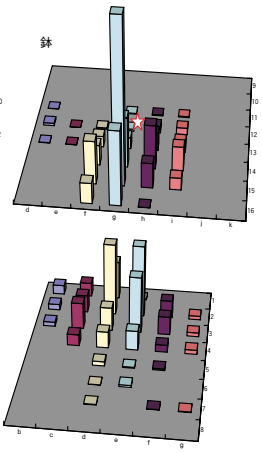
	b	c	d	e	f	g
1	46	115	405	6		
2	36	121	378	411	124	22
3	30	156	128	279	173	85
4		21	83	61	82	30
5		6	11	2	6	6
6			3	4		
7			1	1	1	
8						

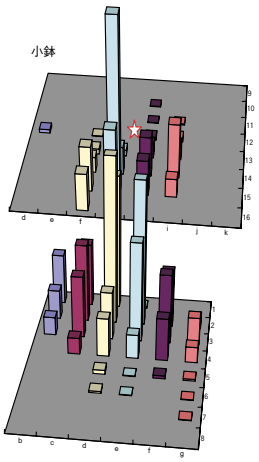
	b	c	d	e	f	g
1	47	70	195	4		
2	29	88	368	369	91	19
3	22	134	121	291	94	20
4		58	84	100	37	22
5			22	5	8	
6			1	10		
7			3		2	3
8						

	b	c	d	e	f	g
1	86	108	228	3		
2	50	133	282	247	96	18
3	31	106	82	170	119	48
4		28	66	41	73	27
5			7	1	5	3
6			3	1		1
7						1
8						









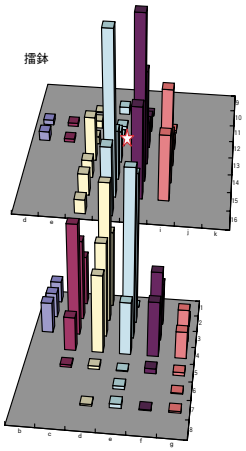
第174図　器種別出土状況図（7）

表のトーン・☆は窯体
表の数字は出土点数

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10			1	9	2			
11	6	4	9	4	18	3		
12	11	4	9	12	31	11		
13			53	38	111	40		
14			21	59	191	111		
15			26	190	109	79		
16			17	82				

	b	c	d	e	f	g
1	26	60	93	1		
2	30	97	167	179	51	11
3	37	134	114	200	84	40
4		41	94	64	67	33
5		3	4	1	6	4
6				4		1
7			2	5	1	2
8						

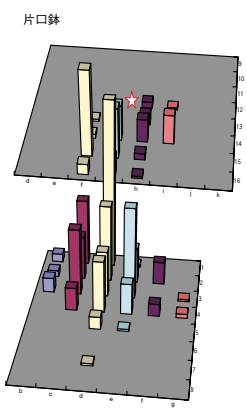
擂鉢



	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12					3	1		
13			1		5			
14			2	17	11	14		
15			41	24	3			
16			5	9	1			

	b	c	d	e	f	g
1	4	32	80	1		
2	3	21	37	17	11	
3	7	32	22	44		1
4		11	25	15	6	2
5			6	1		
6						
7			1			
8						

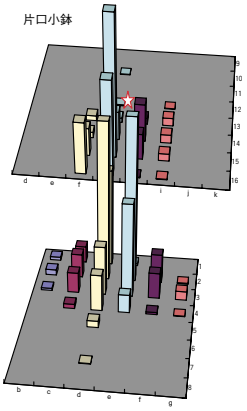
片口鉢



	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10				1				
11								
12				2		1		
13			9	8	11	14		
14			10	51	68	15		
15			50	250	46	13		
16			93	169	1	1		

	b	c	d	e	f	g
1	6	30	176	4		
2	10	43	284	294	53	2
3	4	37	89	170	47	16
4		8	66	33	4	1
5			12			
6						
7			1			
8						

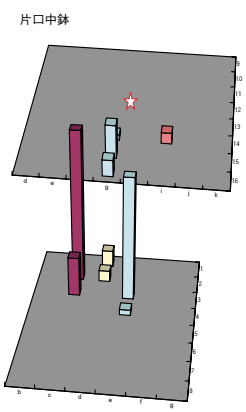
片口小鉢



	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								

	b	c	d	e	f	g
1			3			
2		27	2			
3		7		22		
4				1		
5						
6						
7						
8						

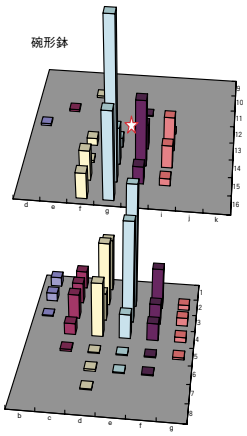
片口中鉢



	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10			2					
11		2			1			
12	2					1		
13			7	9	24	33		
14			2	36	64	22		
15			29	152	17	7		
16			25	85				

	b	c	d	e	f	g
1	9	17	51			
2	8	20	62	120	40	5
3	1	24	27	99	20	8
4		11	53	24	17	5
5		2	1	1	1	2
6			2	1	1	
7			1			
8						

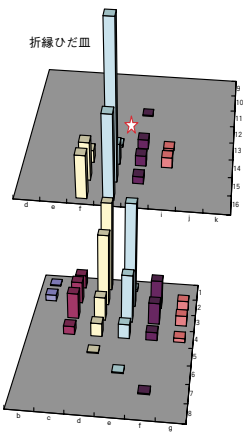
碗形鉢



	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11					1			
12								
13				2	9	2		
14			12	20	10	10		
15			37	150	7			
16			42	82				

	b	c	d	e	f	g
1	1	13	88	2		
2	6	21	70	102	28	9
3		25	23	47	21	10
4		8	13	14	8	4
5			1			
6				1		
7					1	
8						

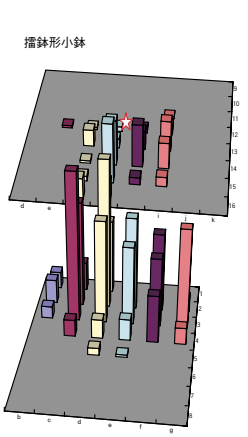
折縁ひだ皿



	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11						1		
12		1	1	2	2	4		
13			7	4	8	13		
14			1	19	18	11		
15			2	25	3	4		
16			9	8				

	b	c	d	e	f	g
1	7	12	31			
2	10	44	62	39	33	6
3	5	62	43	33	29	42
4		7	8	9	20	7
5			3	1		
6						
7						
8						

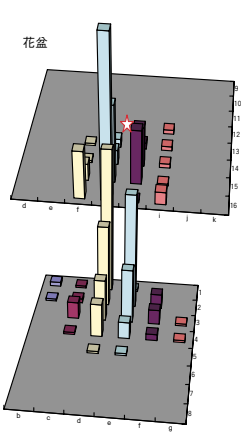
擂鉢形小鉢



	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12						2		
13			1	4	3	2		
14			1	7	19	2		
15			8	37	26	1		
16			23	76	1	6		

	b	c	d	e	f	g
1	2	1	69	1		
2	1	2	39	55	7	
3		8	20	26	7	1
4		1	16	8	3	1
5			1	1		
6						
7						
8						

花盆



第175図　器種別出土状況図（8）

表のトーン・☆は窯体
表の数字は出土点数

	d	e	f	g	h	i	j	k
9				1	3			
10				5		1	1	
11		2			1		2	
12	13	1	1	7	8	20		
13		2	116	51	99	62		
14			149	296	321	191		
15			671	2,572	177	97		
16			568	1,392				

	b	c	d	e	f	g
1	275	340	1227	19		
2	166	361	1564	1969	285	29
3	66	269	547	1075	244	88
4		92	521	308	98	25
5		9	69	15	8	4
6			5	8	3	2
7				3	2	1
8				1		

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10					1	1	2	1
11	1					1		
12						2		
13	1		9	5	15	11		
14			13	39	51	47		
15			65	259	44	30		
16			85	259	1			

	b	c	d	e	f	g
1	7	25	150	3		
2	15	61	189	173	79	5
3	9	93	74	125	44	23
4		18	27	47	27	15
5			7	2	4	3
6			1		1	
7				1		
8						

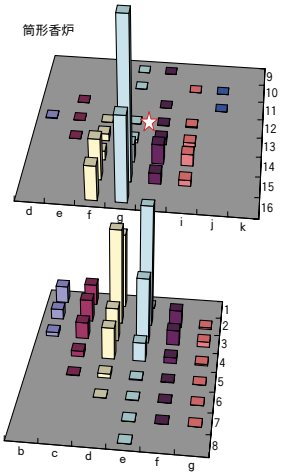
	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								

	b	c	d	e	f	g
1						
2						1
3						
4			17			
5						
6						
7						
8						

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10				1	4	3	3	4
11		1				4		
12	13	1	2	2	4	9		
13			40	51	89	35		
14			23	200	283	123		
15			122	920	247	95		
16			207	629	1			

	b	c	d	e	f	g
1	119	210	1074	12		
2	149	517	1330	1673	665	78
3	139	699	741	1761	851	315
4		194	572	659	270	119
5		3	51	19	26	9
6			3	11	5	1
7			3	8	2	4
8						

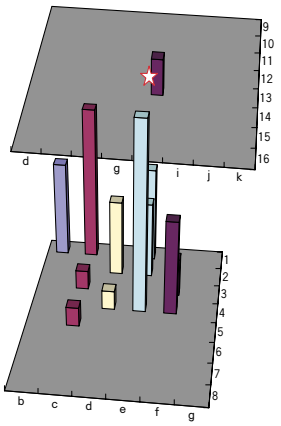
筒形香炉



	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11						2		
12						1		
13					2			
14								
15								
16								

	b	c	d	e	f	g
1	5	8		5		
2			4	4		
3		1			2	
4			1	10	5	
5		1				
6						
7						
8						

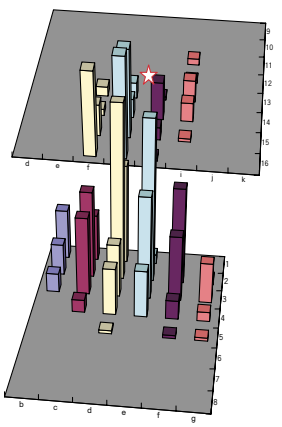
大形筒形容器



	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11						2		
12						1		
13			3	5	1	7		
14			2	6	12	6		
15			10	28	4	1		
16			27	32	1			

	b	c	d	e	f	g
1	16	15	32	3		
2	10	28	56	52	31	2
3	6	25	17	33	21	13
4		4	15	15	6	3
5			1		1	1
6						
7						
8						

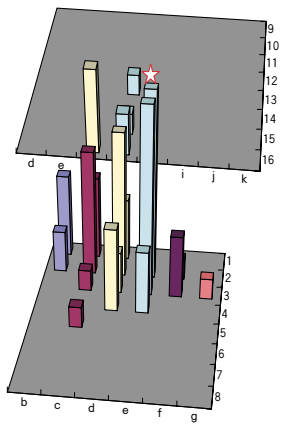
桶



	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12								
13				1				
14								
15				1				
16			4	2				

	b	c	d	e	f	g
1	4	4	3			
2	2	6	7	9	1	
3		1	2	9	3	1
4			4	3		
5		1				
6						
7						
8						

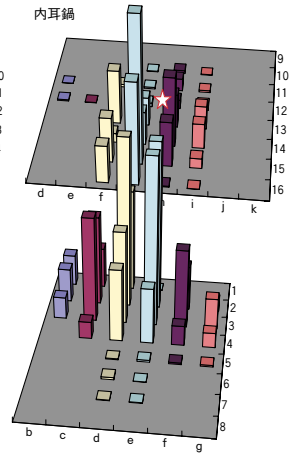
風炉



	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								

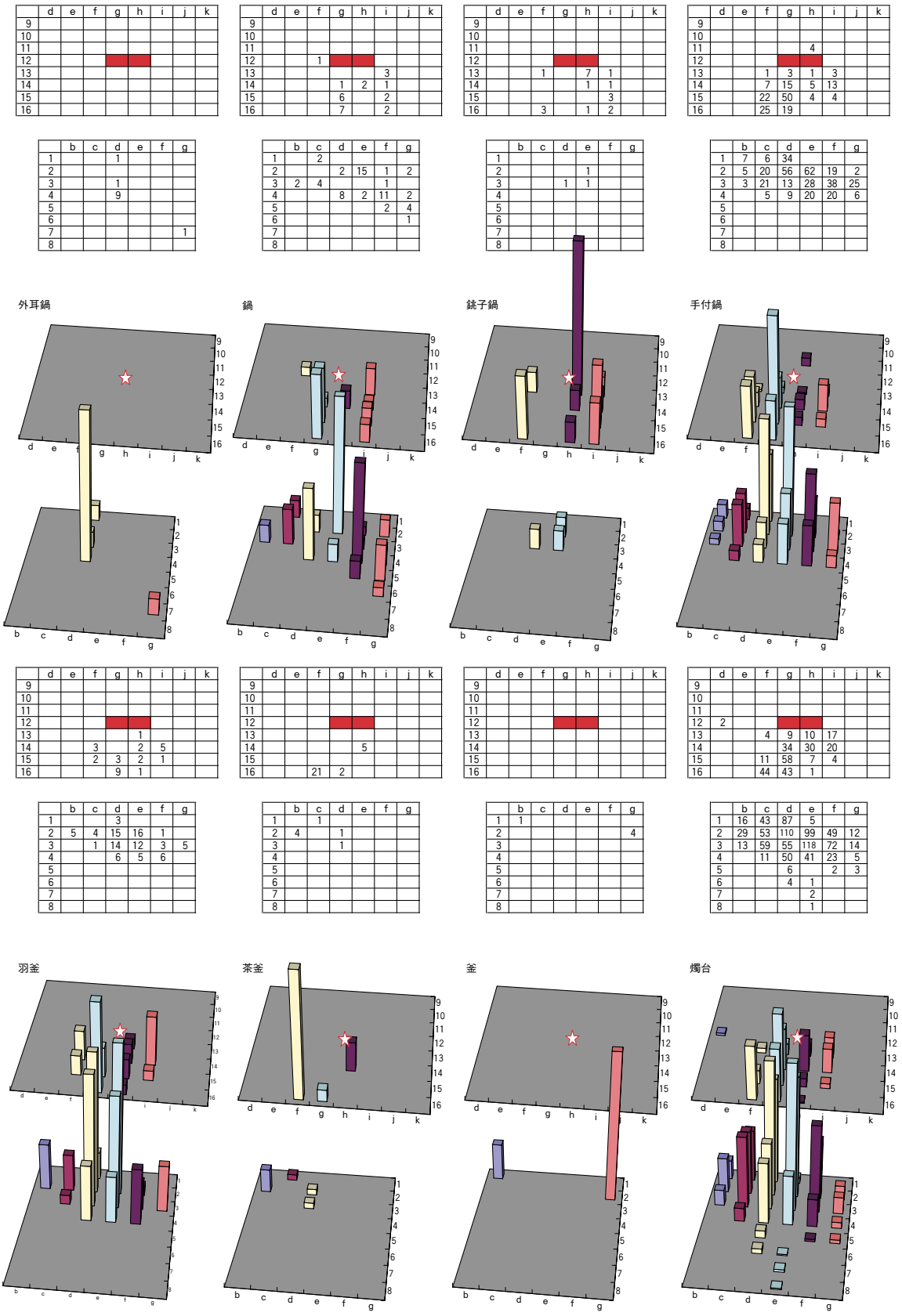
	b	c	d	e	f	g
1	100	130	328	1		
2	108	288	543	535	144	34
3	70	338	300	538	254	101
4		55	234	180	64	48
5			3	6	5	5
6			7	1		
7			2	2		
8						

内耳鍋



第176図　器種別出土状況図（9）

表のトーン・☆は窯体
表の数字は出土点数



第177図　器種別出土状況図（10）

表のトーン・☆は窯体
表の数字は出土点数

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12				■	■			
13								
14								
15								
16								

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11						1		
12					■	■		
13				5	4	8	2	
14				4	14	19	17	
15				29	133	7	5	
16				35	127			

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12					■	■		
13				2	4	2		
14			3	4	5	3		
15			9	34	3	5		
16			5	9		1		

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12				■	■	1		
13								
14								
15								
16								

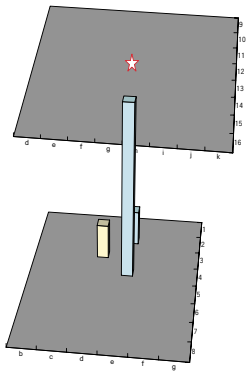
	b	c	d	e	f	g
1						
2				1		
3			1			
4				5		
5						
6						
7						
8						

	b	c	d	e	f	g
1	13	19	12	1		
2	3	16	68	115	39	3
3	1	13	25	69	36	1
4		4	20	36	2	2
5			6	1	2	1
6						
7				1		
8						

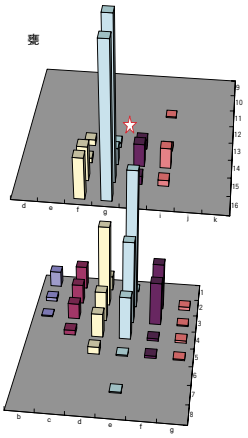
	b	c	d	e	f	g
1	4	11	20			
2	3	11	25	15	13	1
3		6	9	12	11	9
4		2	15	5	4	3
5			4	1		1
6						
7						
8						

	b	c	d	e	f	g
1		1				
2						1
3				5		
4		2	1	1		
5						
6						
7						
8						

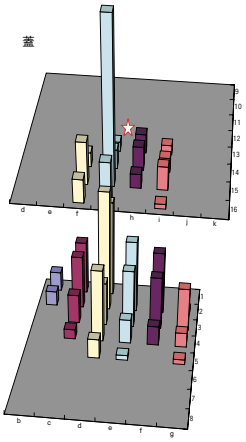
灯明具



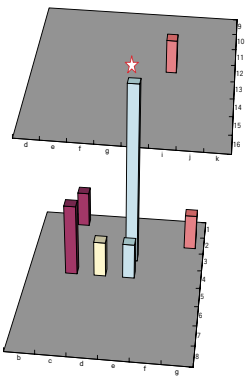
甕



蓋



広口壺蓋



	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12				■	■			
13								
14								
15				1				
16								

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11						1	1	
12				2	■	■	1	
13				2		2	2	
14					2	9	1	
15				3	15	8	1	
16				4	4			

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10					1			
11								
12	1			■	■			
13					2			
14					3			
15			1	5	3	1		
16			4	2				

	d	e	f	g	h	i	j	k
9								
10								
11								
12	1			■	■			
13	1		8	1	8	3		
14			1	3	5	2		
15			9	11	4	5		
16				5	1			

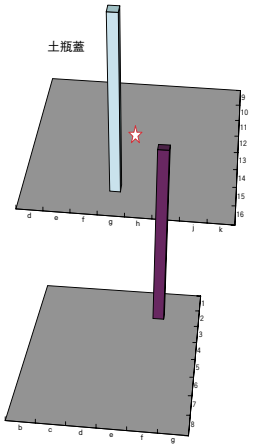
	b	c	d	e	f	g
1						
2					1	
3						
4						
5						
6						
7						
8						

	b	c	d	e	f	g
1	3	4	9			
2	6	11	24	16	12	3
3	4	9	4	9	13	14
4		3	4	4	11	6
5			1		1	
6			1			
7						
8						1

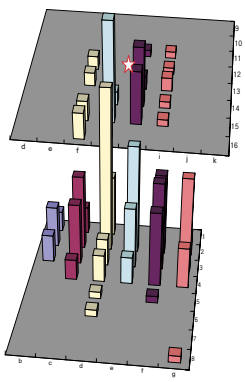
	b	c	d	e	f	g
1	3		13	2		
2	4	4	30	23	5	4
3	2	8	6	13	7	6
4		4	6	4	5	1
5		1	1			
6						
7						
8						

	b	c	d	e	f	g
1	2		5			
2	1	4	8	14	3	1
3	1	4	2	11	7	1
4		1	4	7	2	
5			1	1		
6				2		
7						
8						

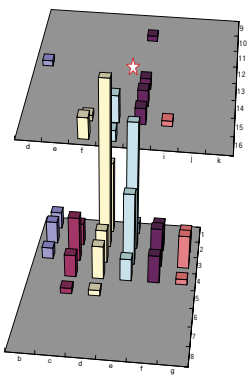
土瓶蓋



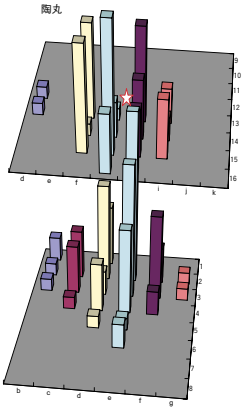
合子蓋



仏供

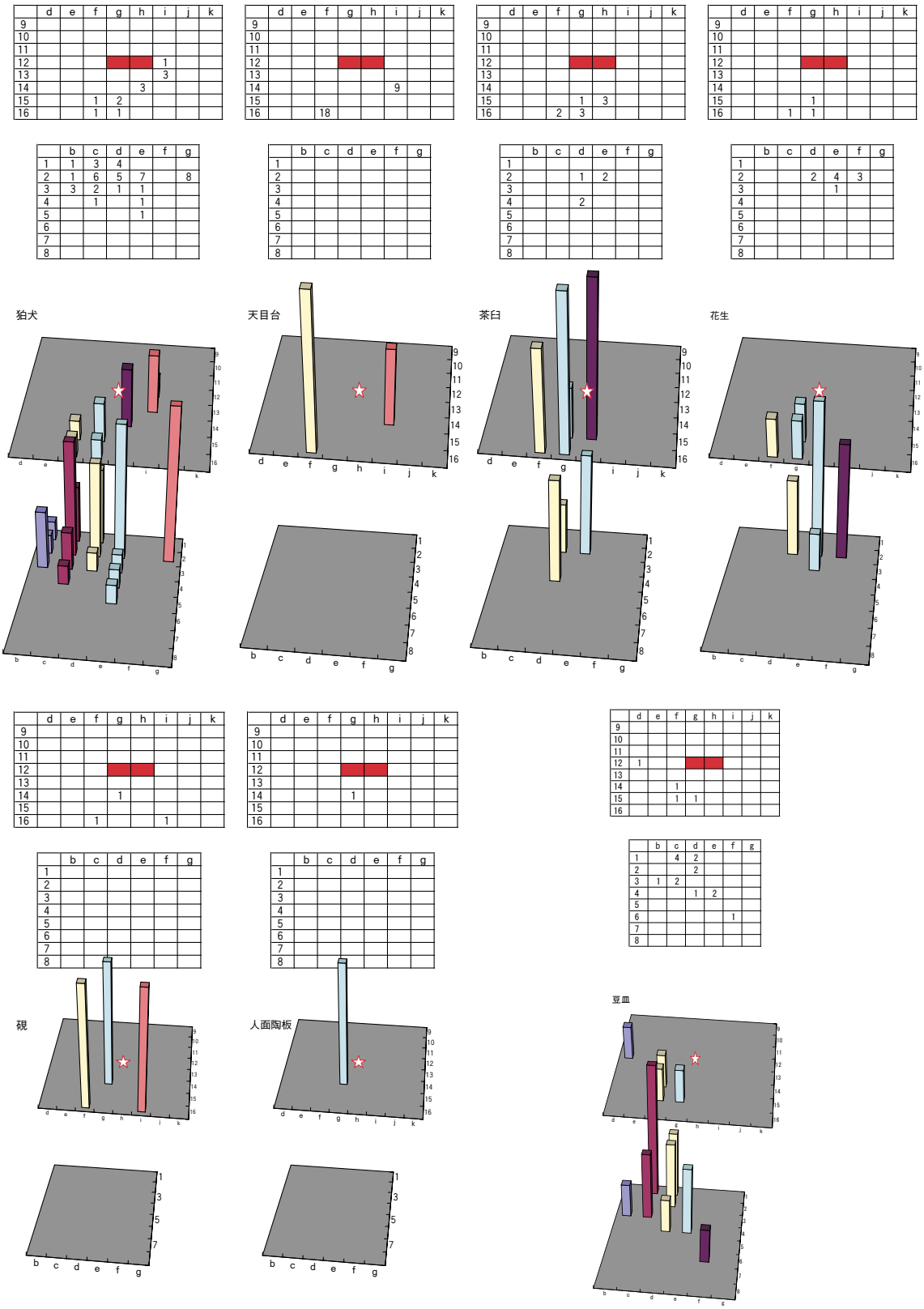


陶丸



第178図　器種別出土状況図（11）

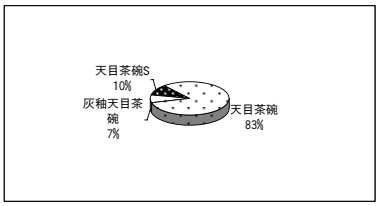
表のトーン・☆は窯体
表の数字は出土点数



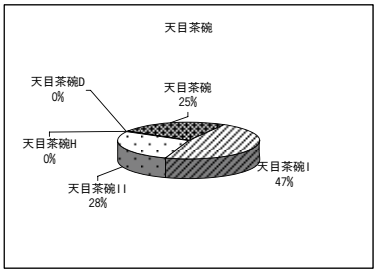
第179図　器種別出土状況図（12）

表のトーン・☆は窯体
表の数字は出土点数

	天目茶碗
天目茶碗	19,462
灰釉天目茶碗	1,776
天目茶碗S	2,491
	23,729

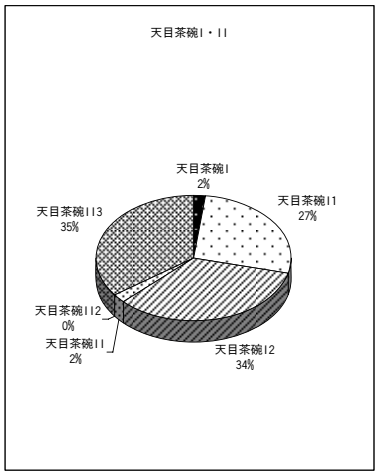


	天目茶碗
天目茶碗I	9,123
天目茶碗II	5,406
天目茶碗D	69
天目茶碗H	47
天目茶碗	4,817
	19,462

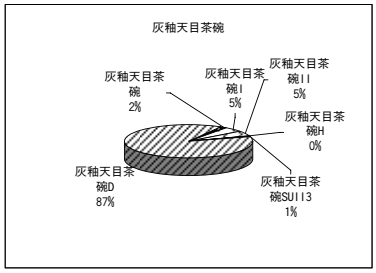


天目茶碗I・II 14,529

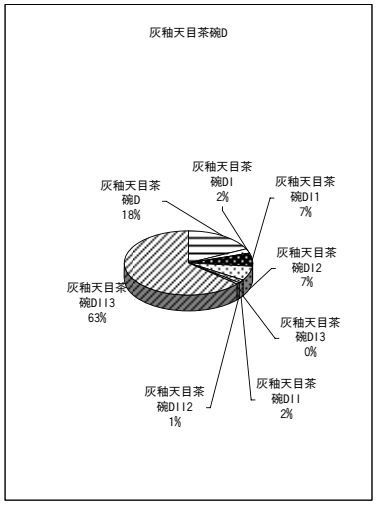
	天目茶碗I・II
天目茶碗I	282
天目茶碗I1	3,935
天目茶碗I2	4,906
天目茶碗II	322
天目茶碗II2	8
天目茶碗II3	5,076
	14,529

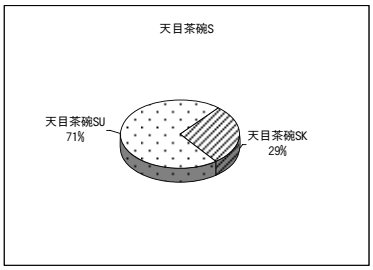


	灰釉天目茶碗
灰釉天目茶碗	28
灰釉天目茶碗I	85
灰釉天目茶碗II	91
灰釉天目茶碗H	1
灰釉天目茶碗SUII3	12
灰釉天目茶碗D	1,559
	1,776



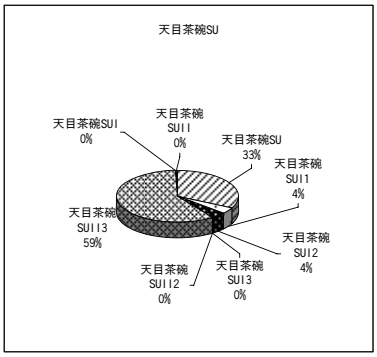
	灰釉天目茶碗D
灰釉天目茶碗D	279
灰釉天目茶碗DI	31
灰釉天目茶碗DI1	107
灰釉天目茶碗DI2	110
灰釉天目茶碗DI3	1
灰釉天目茶碗DII	28
灰釉天目茶碗DII2	10
灰釉天目茶碗DII3	993
	1,559

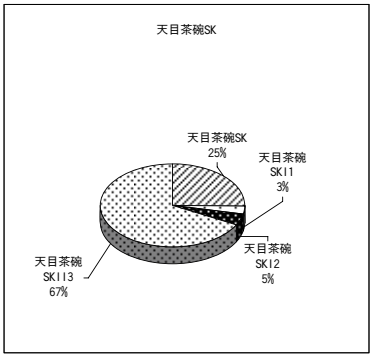




	天目茶碗S
天目茶碗SK	711
天目茶碗SU	1,780
	2,491

	天目茶碗SK
天目茶碗SK	179
天目茶碗SKI1	22
天目茶碗SKI2	33
天目茶碗SKII3	477
	天目茶碗SU
天目茶碗SU	580
天目茶碗SUI1	66
天目茶碗SUI2	69
天目茶碗SUI3	1
天目茶碗SUII2	3
天目茶碗SUII3	1,053
天目茶碗SUI	4
天目茶碗SUII	4
	2,491





第180図　天目茶碗分類別グラフ

参考・引用文献

A．発掘調査報告書等

『仏供田窯跡』 財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター 1993
『暁窯跡 第３・４・５号窯跡の調査』 財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター 1995
『水南中窯跡』 財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター 1995
『太子Ａ窯跡』 財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター 1997
『瀬戸市内遺跡詳細分布調査報告書』 瀬戸市教育委員会 1997
『八床９・10号窯跡』 財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター 1998
『福井県埋蔵文化財調査報告 第45集 西山窯跡群―県営ふるさと農業緊急整備事業に伴う調査―』
福井県教育庁埋蔵文化財センター 1999
『瓦谷戸窯跡群発掘調査報告書―主要地方道稲城日野線第41号（川崎街道）整備に伴う発掘調査報告書―』
都内遺跡調査会 1999
『塩草Ｂ窯跡』 財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター 2002
『国指定史跡小長曽陶器窯跡』 財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター 2002
『岐阜県教育文化財団文化財保護センター調査報告書 第84集 丸石古窯跡群』
財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター 2003
『愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第112集 八王子遺跡』
財団法人愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センター 2003
『愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第116集 凧山屋敷遺跡』
財団法人愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センター 2003
『愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第118集 巡間Ｅ窯跡』
財団法人愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センター 2003
『市内遺跡調査報告Ⅳ 五葉窯跡』 財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター 2003
『愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第126集 長谷口遺跡』
財団法人愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センター 2004
『下石西山窯跡発掘調査報告書』 土岐市教育委員会財団法人土岐市埋蔵文化財センター 2004

B．論文等

網野 善彦 「尾張国の荘園公領と地頭御家人」『御家人制の研究』 吉川弘文館 1981
石井 進 「中世窯業の様相」『講座・日本技術の社会史 第４巻』 日本評論社 1984
伊藤 清郎 「中世の醍醐寺」『中世日本の国家と寺社』 高志書院 2000
伊藤 裕偉 「コラム交易・流通・地域」『中世西日本の流通と交通』 高志書院 2004
井上喜久男 『尾張陶磁』 ニュー・サイエンス社 1992
「中世の施釉陶器―瀬戸・美濃―」『館蔵中世陶器展Ⅲ 中世の施釉陶器 瀬戸・美濃』
愛知県陶磁資料館 2002
「日本陶磁の流れ（10）・（11）」『陶説 第604・605号』 2003
「瀬戸茶入の製作年代」『野村美術館紀要 第13号 特集茶入』 野村美術館 2004
上村喜久子 「一宮地方の荘園と尾張国衙領」『新編一宮市史 本文編上』 一宮市 1977
「熱田大宮司と社家組織」『新修名古屋市史 第二巻』 名古屋市 1998
「尾張国衙領」『講座日本荘園史５ 東北・関東・東海地方の荘園』 吉川弘文館 1990
宇野 隆夫 『考古資料にみる古代と中世の歴史と社会』 真陽社 1989
大田壮一郎 「大覚寺門跡と室町幕府―南北朝～室町期を中心に―」『日本史研究443』 1999
荻野 繁春 「“樹枝文痕”からみた東アジアの中の中世日本陶器」『福井考古学会会誌７』 1989
小野 正敏 『戦国城下町の考古学』 講談社 1997
尾野 善裕 「一五・一六世紀における流通・海運の変革―東海地方港津遺跡の検討―」
『国立歴史民俗博物館研究報告 第113集』 国立歴史民俗博物館 2004
「中世瀬戸・常滑の窯と窯道具」
『窯構造・窯道具からみた窯業―関西窯場の技術的系譜をさぐる―研究集会資料集』
関西陶磁史研究会 2005
河合 君近 「古瀬戸後Ⅱ期の様相―国指定史跡小長曽窯試掘調査から―」『研究紀要 第６輯』

財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター　1998
「椿窯跡資料調査報告」『研究紀要　第９輯』　財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター　2001
「陶片から見た古瀬戸窯と大窯」『研究紀要　第３号』　瑞浪陶磁資料館　1986
桐山　秀穂　「日本における茶臼の研究」『古代學研究所研究紀要　第６輯』　財團法人古代學協會　1996
柴垣　勇夫　『東海地域における古代中世窯業生産史の研究』　真陽社　2003
楢崎　彰一　「概説―施釉の器と茶陶のはじまり」『日本陶磁全集９　瀬戸　美濃』　中央公論社　1976
「中世の社会と陶器生産」『世界陶磁全集３　日本中世』　小学館　1976
「中世陶器にみる刻画文の系譜」『最終講義録』　1989
西　弥生　「醍醐寺成賢と密教修法」『日本歴史676』　2004
橋本　久和　『中世土器研究序論』　真陽社　1992
橋本　素子　「中世における茶の生産と流通―茶業の成立―」『日本近世国家の諸相』　東京堂出版　1999
早鳥　大祐　「中世後期社会の展開と首都」『日本史研究487』　2003
藤井　雅子　「南北朝期における三宝院門跡の確立」『日本歴史654』　2002
藤木　久志　『飢餓と戦争の戦国を行く』　朝日新聞社　2001
藤澤　良祐　「古瀬戸中期様式の成立過程」『東洋陶磁８』　東洋陶磁学会　1982
「“古瀬戸”概説」『館報３』　土岐市美濃陶磁歴史館　1984
「瀬戸・美濃窯における中世の施釉陶器について」『考古学ジャーナル　第280号』ニュー・サイエンス社　1987
「瀬戸古窯址群Ⅱ―古瀬戸後期様式の編年―」『研究紀要Ⅹ』　瀬戸市歴史民俗資料館　1991
「大窯期工人集団の史的考察―瀬戸・美濃系大窯を中心に―」『国立歴史民俗博物館研究報告　第46集』
国立歴史民俗博物館　1992
「山茶碗研究の現状と課題」『研究紀要　第３号』　三重県埋蔵文化財センター　1994
「瀬戸古窯址群Ⅲ―古瀬戸前期様式の編年―」『財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター研究紀要第３輯』
財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター　1995
「中世瀬戸窯の動態」『財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター研究紀要第５輯』
財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター　1997
「埋納された古瀬戸製品―特に大型壺・瓶類を中心として―」『研究紀要ⅩⅧ』　瀬戸市歴史民俗資料館　2001
「中世の施釉陶器―古瀬戸の生産と流通」『東洋陶磁史―その研究と現在―』　東洋陶磁学会　2002
「中世都市鎌倉における古瀬戸と輸入陶磁」『国立歴史民俗博物館研究報告　第94集』　国立歴史民俗博物館2002
「瀬戸・美濃大窯の生産と流通」『戦国時代の考古学』　高志書院　2003
「近世の瀬戸・美濃窯―窯構造・窯道具の分類とその変遷―」
『窯構造・窯道具からみた窯業―関西窯場の技術的系譜をさぐる―研究集会資料集』
関西陶磁史研究会　2005
服部　郁　「赤津区の中世窯跡」『研究紀要ⅩⅤ』　瀬戸市歴史民俗資料館　1998
「瀬戸区の中世窯・中世瀬戸窯の分布」『研究紀要ⅩⅦ』　瀬戸市歴史民俗資料館　2000
細川　武稔　「空間から見た室町幕府―足利氏の邸宅と寺社」『史学雑誌107-12』　1998
「足利将軍家護持僧と祈祷」『日本歴史664』　2003
本田　静雄　『陶磁の狛犬』　求龍堂　1976
水野　正好　「招福・除災―その考古学―」『国立歴史民俗博物館研究報告　第７集』　国立歴史民俗博物館　1985
村岡　幹生　「守護領国制下の尾張『新修名古屋市史　第二巻』　名古屋市　1998
「醍醐寺領尾張国安食荘福徳名検注帳案について」『愛知県史研究４』　2000
森　茂暁　『満済』　ミネルヴァ書房　2004
吉岡　康暢　「珠洲系陶器・刻画壺について」『考古学雑誌67-２』　日本考古学会　1981
「15・16世紀の窯業生産」『東日本における中世窯業の基礎的研究』　国立歴史民俗博物館　1993
『中世須恵器の研究』　吉川弘文館　1994
「中世陶器工人の存在形態」『中世諸職』　シンポジウム「中世諸職」実行委員会　2003

Ｃ．その他

『瀬戸市史　陶磁史篇一』　瀬戸市　1969
『一宮市史　資料編六　醍醐寺文書』　一宮市　1970
『美濃の古陶』　光琳社　1976
『世界陶磁全集３　日本中世』　小学館　1977

『日本やきもの集成３』 平凡社　1980
『愛知県の地名』 平凡社　1981
『瀬戸市史　陶磁史篇二』 瀬戸市　1981
『特別展　日本陶磁絵巻―やきものに刻まれた絵画―』 愛知県陶磁資料館　財団法人五島美術館　1988
『角川日本地名大辞典23　愛知県』 角川書店　1991
『日本伝統色色名事典』 日本色研事業株式会社　1994
『京・鎌倉出土の瀬戸焼』 財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター　1995
『中世土器研究会編　概説　中世の土器・陶磁器』 真陽社　1995
『常滑焼と中世社会』 小学館1995
『古瀬戸をめぐる中世陶器の世界～その生産と流通　資料集』 財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター　1996
『研究紀要　第５輯』 財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター　1997
『帝京大学山梨文化財研究所研究報告　第８集』 帝京大学山梨文化財研究所　1997
『新修名古屋市史　第二巻』 名古屋市　1998
『陶磁器の文化史』 国立歴史民俗博物館　1998
『愛知県史　資料編８』 愛知県　2001
『東海の中世集落を考える―考古学から中世のムラをどう読み解くか―』
第９回東海考古学フォーラム尾張大会実行委員会　2002
『土岐市収蔵品図録Ⅱ―収蔵品にみる美濃窯の歴史―』 土岐市美濃陶磁歴史館　2004
『歴博フォーラム中世寺院の姿とくらし―密教・禅僧・湯屋』 山川出版社　2004
『中世土器・陶器編年研究会記録　東海地方山茶碗研究の現在と課題』
科研費・「中世土器・陶器編年研究と流通様相の年代的解明」班　2004
『2005年日本国際博覧会開催記念　瀬戸陶芸の精華展』 ＮＨＫ名古屋放送局　2005

D．鷲窯跡

井上喜久男 「最近出土の陶磁トピックス（平成10年）（3）東海地方」『東洋陶磁学会会報　第38号』 東洋陶磁学会　1999
「最近出土の陶磁トピックス（平成13年）（3）東海地方」『東洋陶磁学会会報　第47号』 東洋陶磁学会　2002
「最近出土の陶磁トピックス（平成14年）（3）東海地方」『東洋陶磁学会会報　第50号』 東洋陶磁学会　2003
宇佐見　守 「鷲窯跡―焼成前の天目茶碗群が出土した古瀬戸の窯跡―」『教育愛知　第48巻　第７号』
愛知県教育委員会　2000
小澤　一弘 「鷲窯跡」『月刊考古学ジャーナル　第482号』 ニュー・サイエンス社　2001
「焼台からみた鷲窯跡」『愛知県埋蔵文化財センター研究紀要　第４号』
財団法人愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センター　2003
『まいぶん愛知　No. 57』 陶製茶臼　財団法人愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センター　1999
『まいぶん愛知　No. 66』 整理速報　鷲窯跡　灰釉馬文皿
財団法人愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センター　2001
『まいぶん愛知　No. 68』 発掘調査速報　鷲窯跡
財団法人愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センター　2002
『まいぶん愛知　No. 69』 人面陶板
財団法人愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センター　2002
『まいぶん愛知　No. 71』 整理速報　鷲窯跡出土の灰釉七宝文八稜皿
財団法人愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センター　2003
『年報　平成11年度』 財団法人愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センター　2000
『年報　平成13年度』 財団法人愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センター　2002
『鷲窯跡成果報告会資料』 財団法人愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センター　2002
『特別展覧会　日本人と茶―その歴史・その美意識―』 京都国立博物館　2002
『発掘された日本列島2003新発見考古速報』 朝日新聞社　2003

遺構出土破片数・個体数一覧（1）

SY01

	総破片数	口縁部個体数	底部個体数
筒形容器	3	0.03	0.03
袴腰形香炉大	1	0.08	
筒形香炉大	1	0.17	
内耳鍋	35	1.03	2.53
卸皿A	1	0.08	
卸皿B	13	2.41	2.73
卸皿	6		0.58
縁釉小皿Ⅰ	13	2.13	2.31
縁釉小皿Ⅱ	15	1.24	1.33
縁釉小皿Ⅲ	1		0.25
小皿	1	0.17	
折縁小皿	1	0.75	0.99
中皿	1	0.08	
折縁・直縁	49		2.16
折縁深皿	34	2.86	2.48
折縁中皿	6	0.24	
直縁大皿A	5	1.21	0.92
直縁大皿B	6	0.67	0.42
碗形鉢	2	0.11	
小鉢	4		1.85
片口小鉢	1	0.25	
柄付片口刷毛塗り	1		
調理鉢片口鉢	3	0.17	
鉢釉有	17	1.1	
片口鉢悪釉無	278	5.64	3.66
擂鉢	23	1.08	1.3
水注	1		
花瓶	5	0.17	
花瓶Ⅲb（韓式）	2		
瓶子	6		
瓶子Ⅱ（梅瓶）	6		
瓶子Ⅲ（綿腰）	1		
口広壺	3	0.08	
四耳壺	13	0.42	
茶壺（祖母懐）	1		
灰釉天目茶碗D	1		
灰釉天目茶碗DⅡ3	1	0.17	
天目茶碗	2		
天目茶碗Ⅰ1	1	0.42	
天目茶碗Ⅱ3	1	0.25	
天目茶碗SUⅡ3	1		0.92
浅碗	3	0.19	
平碗	11		
平碗a	3	0.13	
平碗b	13	1.02	
平碗Ⅰ	8		0.67
平碗Ⅰb	5	0.69	
	609		
	609		

SX01

	総破片数	口縁部個体数	底部個体数
筒形容器	16	0.88	0.33
陶丸	1		
筒形香炉大	2	0.11	
燭台	2		0.17
内耳鍋	2	0.03	
卸皿A	1	0.08	
卸皿B	57	4.68	1.33
卸皿C	5	0.44	
卸皿	14	0.08	1.33
縁釉小皿	4	0.52	
縁釉小皿Ⅰ	85	11.52	12.53
縁釉小皿Ⅱ	51	4.20	1.49
縁釉小皿Ⅲ	5	0.33	0.83
腰折皿端反	1	0.03	
折縁小皿	1	0.17	
中皿	52	0.08	0.83
豆皿	1		
折縁・直縁	33		2.17
折縁深皿	6	0.38	
折縁中皿	28	2.21	0.67
直縁大皿	1	0.08	
直縁大皿A	19	1.74	0.69
直縁大皿B	9	0.40	
小鉢	7	0.69	2.48
柄付片口	1		
柄付片口刷毛塗り	2		
柄付片口露胎	4	0.25	0.58
鉢	1	0.08	
鉢釉無	2	0.03	
鉢釉有	1		
擂鉢	1		0.42
花瓶	8	0.17	
花瓶Ⅰa	3		
花瓶Ⅰ1b（韓式）	2	0.08	
瓶子	3		
瓶子Ⅰ（梅瓶）	6	0.92	
瓶子Ⅰ1	3		
瓶子Ⅰ1（広口）	2	0.33	
瓶子Ⅰ1（綿腰）	1		
口広壺	2		
四耳壺	13	0.36	0.08
小壺	1	0.25	
茶壺（祖母懐）	3		0.08
壺	3		0.08
不明	3		
灰釉天目茶碗D	6	0.11	
灰釉天目茶碗Ⅰ3	1		0.99
天目茶碗	8		
天目茶碗Ⅰ1	5	0.44	
天目茶碗Ⅰ2	4	0.44	0.83
天目茶碗Ⅰ3	7	0.78	0.83
天目茶碗SUⅠ1	1	0.25	
天目茶碗SUⅠ3	7	0.83	5.97
小碗	2	0.11	
浅碗	3	0.33	0.17
平底末広碗	1		0.17
平碗	130	0.17	2.31
平碗a	116	7.72	
平碗b	185	11.26	3.96
平碗c	36	3.01	1.98
平碗Ⅰ	171	0.25	25.02
平碗Ⅰa	30	5.05	6.87
平碗Ⅰb	87	9.81	10.69
平碗Ⅰ1	1		
平碗Ⅰ1b	5	1.92	2.97
	1,274		
	1,274		

SX02

	総破片数	口縁部個体数	底部個体数
小皿	1		0.25
折縁深皿	2	0.19	
直縁大皿A	1	0.03	
直縁大皿B	1	0.08	
小鉢	1		0.42
片口鉢悪釉無	1	0.03	
水注	3		
瓶子	1		
四耳壺	1		
平碗	3		
平碗a	1	0.03	
平碗b	3		
	19		
	19		

SX06

	総破片数	口縁部個体数	底部個体数
筒形容器	7	0.17	
筒形香炉大	5	0.22	
筒形香炉中	3	0.75	1.32
内耳鍋	23	0.24	1.25
卸皿A	3	0.19	
卸皿B	6	0.33	
卸皿	2		0.33
縁釉小皿B	1	0.17	
縁釉小皿Ⅰ	12	1.05	
縁釉小皿Ⅱ	9	1.42	1.57
縁釉小皿Ⅲ	1	0.17	
小皿	1	0.17	
折縁小皿	3	0.50	0.25
折縁・直縁	70		5.95
折縁深皿	27	1.75	0.58
折縁中皿	4	0.13	
直縁大皿A	6	0.78	
直縁大皿B	3	0.36	
小鉢	1	0.17	
卸目付大皿	1	0.03	
鉢釉有	36	0.65	
片口鉢悪釉無	8	0.03	0.03
擂鉢	34	0.36	0.83
擂鉢形小鉢	5	0.33	0.75
水注	2		
花瓶	4		
花瓶Ⅱa	2	0.33	
花瓶Ⅲb（韓式）	9	0.47	0.92
瓶子	7		
瓶子Ⅱ（梅瓶）	3		0.03
瓶子Ⅲ（綿腰）	1		
口広有耳壺	1	0.17	
口広壺	1		
四耳壺	26	1.08	0.03
茶壺（祖母懐）	4		
灰釉天目D	3	0.08	
天目茶碗	1		
天目茶碗Ⅰ1	2	0.25	
天目茶碗Ⅱ3	3	0.25	
浅碗	1		
平碗	15	0.17	
平碗a	9	0.66	
平碗b	24	2.71	0.99
平碗c	3	0.19	
平碗Ⅰ	27		3.65
平碗Ⅰa	3	0.19	
平碗Ⅰb	12	1.16	1.41
平碗Db	1	0.08	
平碗DⅠ	1		0.25
	436		
	435		

SX04

	総破片数	口縁部個体数	底部個体数
柄付片口	1	0.17	

SX07

	総破片数	口縁部個体数	底部個体数
燭台	1	0.67	
内耳鍋	1		
甕	1		
卸皿B	1	0.33	0.99
縁釉小皿Ⅱ	1		0.25
縁釉小皿ⅡB	4	1.83	3.22
縁釉小皿ⅡC	1	0.83	0.99
小皿	1	0.99	0.99
中皿	1	0.08	
折縁・直縁	1		
直縁大皿A	3	0.33	0.42
四耳壺	1		0.99
平碗a	1	0.17	
平碗b	1	0.17	
平碗c	1	0.08	
平碗Ⅰ	1		0.92
平碗Ⅰa	1	0.08	
平碗Ⅲb	1	0.03	0.42
	23		
	23		

SX08

	総破片数	口縁部個体数	底部個体数
筒形香炉小	1		0.25
筒形香炉大	1	0.03	
卸皿	1		
折縁・直縁	68		0.24
折縁深皿	17	0.54	
片口鉢悪釉無	4		0.03
四耳壺	2	0.03	
天目茶碗	1		
平碗	4		
	99		
	99		

SX10

	総破片数	口縁部個体数	底部個体数
小鉢	3	0.08	0.67
平碗Ⅰb	1	0.99	0.99
平碗Ⅳb	1	0.08	0.42
	5		
	5		

SX09

	総破片数	口縁部個体数	底部個体数
筒形容器	1	0.08	
筒形香炉大	10	1.37	1.66
筒形香炉中	4	0.25	0.50
広口壺蓋	1	0.25	0.58
内耳鍋	8	0.33	
卸皿B	5	0.36	
卸皿C	1	0.17	0.17
卸皿D	1	0.08	
卸皿	2		
縁釉小皿Ⅰ	4		
縁釉小皿ⅠB	2	0.25	0.42
縁釉小皿Ⅱ	3		0.92
縁釉小皿ⅡC	4	0.36	
縁釉小皿ⅢC	1	0.03	
小皿	1	0.08	0.17
折縁小皿	3	0.33	0.75
中皿	3	0.36	0.50
花盆	2	0.03	
折縁・直縁	33		0.94
折縁深皿	16	0.92	
折縁中皿	4	0.22	0.17
直縁大皿A	6	0.33	
小鉢	2	0.08	1.07
片口小鉢	1	0.03	
調理鉢	1		
柄付片口刷毛塗り	2		0.42
鉢	4	0.08	
鉢釉有	7	0.08	
擂鉢	4		
擂鉢形小鉢	1	0.08	
花瓶	4		
花瓶Ⅱa	3	0.33	0.17
花瓶Ⅲa	1		
花瓶Ⅲb（韓式）	2		
瓶子Ⅱ（梅瓶）	6	0.08	0.17
瓶子Ⅲ	1	0.08	
瓶子Ⅲ（綿腰）	2		
口広壺	2		
四耳壺	16	0.25	
小壺	2		
茶壺（祖母懐）	7		
小天目	1	0.03	
天目茶碗	2		
天目茶碗Ⅰ2	2	0.11	0.99
天目茶碗Ⅱ3	2	0.25	
浅碗	1		0.50
平碗	14	0.08	
平碗a	2	0.17	
平碗b	18	1.06	
平碗Ⅰ	20		2.24
平碗Ⅰa	2	0.33	0.99
平碗Ⅰb	6	0.47	
平碗Ⅱb	1	0.03	0.17
平碗DⅠ	3		
	257		
	257		

SX11

	総破片数	口縁部個体数	底部個体数
陶丸	3	2.48	
筒形香炉小	1	0.17	
筒形香炉大	13	1.00	0.83
筒形香炉中	2	0.17	
燭台	1	0.33	
手付鍋	1	0.08	
内耳鍋	1	0.03	
卸皿A	1	0.03	
卸皿B	11	0.85	
卸皿C	1	0.08	
卸皿	10		0.67
縁釉小皿ⅠC	1	0.03	
縁釉小皿Ⅱ	2		0.17
縁釉小皿ⅡC	3	0.42	
小皿	1	0.50	0.99
折縁小皿	2	0.33	
花盆	1	0.08	
折縁・直縁	10		0.08
折縁深皿	7	0.29	
折縁中皿	5	0.53	
直縁大皿A	1	0.03	
碗形鉢	1	0.03	
小鉢	1		0.99
柄付片口	2		0.99
片口のみ	1		
鉢	1	0.58	0.99
片口鉢悪釉無	20	0.41	
水注	8		
花瓶	7		
花瓶Ⅱa	2	0.08	0.17
瓶子	1		
瓶子Ⅲ（綿腰）	7		
四耳壺	1		
小碗	2	0.25	
平底末広碗	1		0.25
平碗	5		
平碗a	1	0.03	
平碗b	6	0.27	
平碗c	2	0.11	
平碗Ⅰ	2		0.17
平碗Ⅲc	1	0.99	0.92
	150		
	150		

SK01

	総破片数	口縁部個体数	底部個体数
陶丸	1	0.42	
卸皿C	1	0.03	
折縁・直縁	2		
瓶子	1		
	5		
	5		

SK02

	総破片数	口縁部個体数	底部個体数
狛犬	1		
筒形香炉中	1	0.08	
卸皿A	1	0.17	
折縁・直縁	2		
直縁大皿A	8	0.08	0.17
片口鉢悪釉無	1		
小天目	1	0.08	
平碗b	1	0.08	
	16		
	16		

目次
終了

遺構出土破片数・個体数一覧（2）

SK04

	総破片数	口縁部個体数	底部個体数
筒形容器	5	0.08	
筒形香炉小	2	0.17	0.33
筒形香炉大	18	2.00	2.67
筒形香炉中	5	0.33	0.25
蓋	2	0.05	
燭台	2		
内耳鍋	3	0.08	
甕	3	0.08	
卸皿A	14	0.76	0.17
卸皿B	42	3.71	1.67
卸皿C	9	1.05	0.50
卸皿D	3	0.50	
卸皿E	1	0.33	0.58
卸皿	24		3.26
緑釉小皿Ⅰ	11		2.91
緑釉小皿ⅠB	7	2.05	3.47
緑釉小皿ⅠC	18	1.54	1.24
緑釉小皿Ⅱ	12		0.83
緑釉小皿ⅡA	3	0.19	
緑釉小皿ⅡB	18	1.03	0.58
緑釉小皿ⅡC	15	0.98	0.33
小皿	4	0.17	0.50
折縁小皿	18	4.58	4.90
中皿	2	0.08	0.25
花盆	4	0.33	
折縁・直縁	122		3.33
折縁ひだ中皿	1	0.08	
折縁深皿	34	1.37	
折縁中皿	17	1.18	0.25
直縁大皿A	7	0.43	
直縁大皿B	3	0.13	
碗形鉢	1		0.58
小鉢	5	0.42	1.16
片口小鉢	3	0.13	
柄付片口	1		
柄付片口刷毛塗り	18	0.91	0.50
片口のみ	2		
鉢釉無	1		
鉢釉有	9	0.44	0.17
片口鉢悪釉無	16	0.28	0.08
擂鉢	1		
擂鉢形小鉢	2	0.25	
水注	8		
水滴	1	0.08	
花瓶	10		
花瓶Ⅱa	17	0.86	0.11
花瓶Ⅱb	1	0.75	0.99
花瓶Ⅲb（尊式）	7	0.13	
瓶子	3		
瓶子Ⅱ（梅瓶）	4		
瓶子Ⅲ（綿腰）	9	0.25	1.16
合子	1	0.08	
四耳壺	17	0.08	0.03
小壺	1	0.08	
茶壺（祖母懐）	4		
小天目	7	0.94	1.66
天目茶碗	4		
天目茶碗Ⅰ1	4	0.30	
天目茶碗Ⅰ2	2	0.19	
天目茶碗Ⅱ3	2	0.11	
天目茶碗SUⅡ3	1		0.67
浅碗	1	0.03	
平碗	34		
平碗a	17	1.09	
平碗b	48	3.05	
平碗c	3	0.36	
平碗Ⅰ	56		7.72
平碗Ⅰb	25	4.85	4.42
平碗Ⅲ	4		1.68
	779		
	779		

SK05

	総破片数	口縁部個体数	底部個体数
筒形香炉小	1	0.08	
卸皿B	3	0.36	
卸皿C	1	0.03	
卸皿	2		0.03
緑釉小皿Ⅰ	1		
緑釉小皿ⅠB	3	0.28	
緑釉小皿Ⅱ	4		0.67
緑釉小皿ⅡB	1	0.03	
緑釉小皿ⅡC	4	0.44	0.17
折縁小皿	2	0.17	0.99
折縁・直縁	12		0.25
折縁深皿	1		
小鉢	2	0.08	0.58
柄付片口刷毛塗り	2		
擂鉢	1		0.08
花瓶	2		
花瓶Ⅱa	1	0.03	
花瓶Ⅲb（尊式）	1		
瓶子	1		
瓶子Ⅱ（梅瓶）	2		
口広壺	1		
四耳壺	3		0.17
平碗	1		
平碗a	4	0.16	
平碗b	2	0.05	
平碗c	4	0.33	
平碗Ⅰ	3		
平碗Ⅰa	1	0.08	
平碗Ⅰb	1	0.08	
	67		
	67		

SK06

	総破片数	口縁部個体数	底部個体数
卸皿B	1	0.03	
	1		
	1		

SK09

	総破片数	口縁部個体数	底部個体数
筒形香炉中	1		0.25
腰折皿端反	1	0.08	
中皿	1		0.08
折縁・直縁	1		
折縁中皿	1	0.17	
小鉢	1		
柄付片口	1	0.83	0.99
片口鉢悪釉無	1	0.08	
花瓶Ⅱa	1		
瓶子	1		
瓶子Ⅱ（梅瓶）	1		0.17
天目茶碗	2		
平碗	4		
平碗Ⅰ	2		
平碗Ⅰb	1	0.67	0.99
	20		
	20		

SK13

	総破片数	口縁部個体数	底部個体数
緑釉小皿ⅠB	1	0.17	
片口鉢悪釉無	1		
	2		
	2		

SK08

	総破片数	口縁部個体数	底部個体数
筒形容器	2		
陶丸	1	0.83	
筒形香炉大	1	0.08	
筒形香炉中	1	0.08	
内耳鍋	1		
卸皿A	1	0.03	
卸皿B	10	0.57	0.58
卸皿	4		1.50
緑釉小皿ⅠB	1	0.08	
緑釉小皿ⅠC	2	0.25	
緑釉小皿Ⅱ	2		1.16
緑釉小皿ⅡB	2	0.25	0.17
緑釉小皿ⅡC	4	0.28	
小皿	2	0.11	
折縁小皿	3	0.42	
中皿	1	0.08	
折縁・直縁	7		0.17
折縁深皿	6	0.18	
柄付片口刷毛塗り	4		0.25
柄付片口露胎	1		0.50
片口鉢悪釉無	16	0.22	
擂鉢	1		0.25
水注	1		0.25
水注Ⅰ（長頸）	2	0.50	
花瓶Ⅲb（尊式）	5	0.08	
瓶子Ⅱ（梅瓶）	3		0.17
瓶子Ⅲ（綿腰）	2		
四耳壺	3		
茶入	1		0.17
小天目	1	0.08	
天目茶碗	5		
天目茶碗Ⅰ1	1		0.42
天目茶碗Ⅰ2	1		0.67
天目茶碗Ⅱ3	2	0.03	0.17
天目茶碗SK	1		
天目茶碗SU	1		
小碗	1	0.08	
平碗	7		
平碗a	1	0.08	
平碗b	10	0.86	
平碗c	1	0.03	
平碗Ⅰ	16		2.73
平碗Ⅰb	3	0.58	0.50
平碗Ⅲ	1		0.17
	142		
	142		

SK14

	総破片数	口縁部個体数	底部個体数
筒形香炉小	1	0.08	
卸皿A	1	0.03	
緑釉小皿ⅠC	1	0.92	0.99
折縁小皿	1	0.08	
折縁・直縁	1		
柄付片口	1		
鉢釉有	5	0.11	0.03
平碗b	2	0.05	
平碗Ⅰ	2		0.99
平碗Ⅰb	2	0.67	0.99
	17		
	17		

SK12

	総破片数	口縁部個体数	底部個体数
筒形香炉小	1	0.08	
筒形香炉大	1	0.03	
筒形香炉中	1	0.08	
鍋	1	0.08	
卸皿B	6	0.35	
卸皿	2		
緑釉小皿ⅠC	2	0.05	
緑釉小皿Ⅱ	1		
緑釉小皿ⅡB	1	0.08	
緑釉小皿ⅡC	3	0.11	0.83
小皿	1	0.17	
折縁・直縁	10		0.11
折縁深皿	4	0.38	0.50
碗形鉢	1	0.08	
片口小鉢	1	0.03	
柄付片口	4	0.03	
片口鉢悪釉無	3		
水注A	1	0.17	
花瓶Ⅲb（尊式）	1		0.58
瓶子	1		
瓶子Ⅱ（梅瓶）	1	0.99	0.92
天目茶碗Ⅰ2	1	0.03	
平碗	3		
平碗c	2	0.17	
平碗Ⅰ	1		
平碗Ⅲc	1	0.42	0.99
	55		
	55		

SD01

	総破片数	口縁部個体数	底部個体数
筒形容器	3		0.08
内耳鍋	13	0.19	
卸皿A	9	0.72	0.08
卸皿B	4	0.75	0.99
卸皿C	1	0.08	0.25
卸皿	6		0.58
緑釉小皿Ⅰ	8		0.67
緑釉小皿ⅠB	1	0.03	
緑釉小皿ⅠC	7	0.80	
緑釉小皿Ⅱ	8		2.74
緑釉小皿ⅡB	16	3.63	4.39
緑釉小皿ⅡC	21	1.97	0.50
腰折皿端反	1	0.67	0.99
折縁小皿	7	1.58	3.06
中皿	2	0.08	
花盆	2		
折縁・直縁	17		1.33
折縁深皿	16	1.32	0.50
折縁中皿	1	0.17	
直縁大皿A	5	0.24	
直縁大皿B	2	0.11	
小鉢	2	0.11	
片口小鉢	2	0.33	0.99
卸目付大皿	2	0.17	0.25
柄付片口刷毛塗り	2	0.08	
鉢釉無	1	0.25	
鉢釉有	8	0.30	
擂鉢	2		
擂鉢形小鉢	1	0.03	
花瓶	1		
花瓶Ⅲb（尊式）	6		0.75
瓶子	7		
瓶子Ⅱ（梅瓶）	5		0.99
瓶子Ⅲ	1		
瓶子Ⅲ（広口）	1		
四耳壺	12	0.44	0.08
小壺	1		
茶壺（祖母懐）	1		
灰釉天目茶碗DⅡ3	3	0.25	0.99
灰釉天目茶碗Ⅱ3	1	0.58	0.99
天目茶碗Ⅱ3	4	0.11	0.99
平碗	10	0.17	
平碗b	14	1.02	
平碗c	2	0.19	
平碗Ⅰ	7		0.58
平碗Ⅰb	5	1.69	0.99
平碗Ⅱa	1	0.50	0.99
平碗Ⅱb	1	0.92	0.99
平碗Ⅲc	1	0.33	0.50
平碗Ⅴ	1	0.25	0.99
平碗Db	1	0.08	
	256		
	256		

遺物一覧表（陶丸・焼台除く）

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量（g）	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
1	天目茶碗		12.1	7/12	3.8	12/12	7.0	8/12	197	Ⅳ H13h	SY01トレンチ窯前						1	
2	天目茶碗		11.1	3/12	−	−	(5.0)	3/12	60	Ⅳ H12g	SY01 θ 東断割65層						1	
3	灰釉天目茶碗		−	−	3.8	5/12	(2.6)	1/12	17	Ⅳ H12i	SY01C 東23層						1	
4	天目茶碗		−	−	3.4	12/12	(1.5)	1/12	28	Ⅳ H12g	SY01A2　3,4層						1	
5	天目茶碗		−	−	4.0	12/12	(1.4)	1/12	27	Ⅳ H13g	SY01B 東埋土1層						1	
6	平碗		17.4	2/12	−	−	(6.1)	2/12	71	Ⅳ H13g	SY01A 区東3層						1	
7	平碗		−	−	5.0	7/12	(2.2)	1/12	56	Ⅳ H13g	SY01A 区東床直						1	
8	平碗		15.9	11/12	5.0	11/12	5.4	11/12	261	Ⅳ H12g	SY01床直上	No. 68					1	
9	平碗		15.0	2/12	−	−	(3.4)	1/12	30	Ⅳ H13g	SY01A 区東床直						1	
10	平碗		14.5	5/12	−	−	(5.2)	3/12	98	Ⅳ H12i	SY01A 東埋土3層						1	
11	浅碗		12.8	1/12	−	−	(4.1)	1/12	16	Ⅳ H12h	SY01b 区東側6層						1	
12	緑釉小皿		11.5	2/12	5.8	5/12	2.9	4/12	55	Ⅳ H12g	SY0199カクラン土						1	
13	緑釉小皿		11.1	6/12	5.2	12/12	2.2	7/12	78	Ⅳ H12g	SY01A 西埋土4層						1	
14	緑釉小皿		10.5	2/12	−	−	(2.7)	1/12	16	Ⅳ H13g	SY01A 区東床直						1	
15	緑釉小皿		10.2	5/12	5.0	6/12	2.5	1/12	55	Ⅳ H13g	SY01トレンチ4						1	
16	緑釉小皿		9.6	4/12	4.7	10/12	2.2	5/12	55	Ⅳ H12g	SY01A 西埋土4層						1	
17	緑釉小皿		10.0	3/12	−	−	(2.1)	1/12	11	Ⅳ H13g	SY01床上拡張						1	
18	緑釉小皿		9.4	4/12	−	−	(1.8)	2/12	12	Ⅳ H13g	SY01床上拡張						1	
19	折縁小皿		10.9	9/12	5.2	12/12	2.3	10/12	101	Ⅳ H12g	SY01B 東埋土18層						1	
20	小皿		7.2	2/12	−	−	(2.4)	1/12	9	Ⅳ H13g	SY01A 区東床直						1	
21	直縁大皿		22.3	2/12	11.2	4/12	4.2	3/12	126	Ⅳ H12g	SY01A 西埋土4層						1	25
22	折縁中皿		21.8	1/12	−	−	(4.6)	1/12	61	Ⅳ H13g	SY01 α 西断割12層						1	
23	片口小鉢		16.9	3/12	−	−	(6.7)	2/12	142	Ⅳ H12g	SY01 γ 東断割12層						1	
24	卸皿		16.0	9/12	7.0	12/12	3.3	10/12	260	Ⅳ H13g	SY01A 区東床直						1	
25	卸皿		16.0	9/12	7.0	12/12	4.2	10/12	286	Ⅳ H12g	SY01 β 西断割14層						1	
26	卸皿		15.4	9/12	8.0	5/12	3.4	7/12	181	Ⅳ H12g	SY01A 西埋土4層						1	
27	筒形香炉		12.8	2/12	−	−	(4.9)	1/12	41	Ⅳ H12g	SY01A 西1層						1	
28	花瓶		−	−	10.8	12/12	(13.5)	4/12	530	Ⅳ H13h	SY01トレンチ窯前						1	25
29	四耳壺		10.6	1/12	−	−	(6.0)	1/12	40	Ⅳ H12g	SY01A 西1層						2	
30	四耳壺		10.5	4/12	−	−	(6.7)	1/12	83	Ⅳ H12g	SY01A 西1層						2	
31	瓶子		4.6	11/12	−	−	(3.8)	1/12	63	Ⅳ H12h	SY01トレンチ4						2	
32	瓶子		−	−	12.1	3/12	(9.4)	1/12	185	Ⅳ H13g	SY01トレンチ拡張						2	
33	直縁大皿		36.2	1/12	−	−	(4.8)	1/12	94	Ⅳ H13g	SY01トレンチ拡張						2	
34	直縁大皿		30.0	1/12	−	−	(5.4)	1/12	70	Ⅳ H13g	SY01トレンチ拡張						2	
35	折縁直縁皿		−	−	12.2	12/12	(6.7)	5/12	711	Ⅳ H13g	SY01東2層						2	25
36	折縁直縁皿		−	−	14.7	2/12	(5.2)	1/12	200	Ⅳ H12g	SY01B 東埋土17層						2	
37	直縁大皿		25.6	1/12	−	−	(4.6)	1/12	42	Ⅳ H12i	SY01A2　3,4層						2	
38	折縁深皿		32.6	1/12	−	−	(8.5)	1/12	103	Ⅳ H13g	SY01A 区東床直						2	
39	折縁深皿		34.9	3/12	16.0	2/12	7.8	2/12	540	Ⅳ H13g	SY01A 区東3層						2	
40	折縁深皿		33.7	4/12	14.6	12/12	8.9	8/12	1128	Ⅳ H13g	SY01東2層						2	25
41	折縁深皿		33.6	1/12	−	−	(8.0)	1/12	94	Ⅳ H13g	SY01東2層						2	
42	折縁深皿		28.8	2/12	10.4	5/12	9.7	3/12	428	Ⅳ H12g	SY01						2	25
43	折縁深皿		31.4	2/12	−	−	(6.5)	1/12	145	Ⅳ H13g	SY01東2層						3	
44	折縁深皿		31.4	1/12	−	−	(7.1)	1/12	114	Ⅳ H12g	SY01 θ 東断割65層						3	
45	折縁深皿		29.6	2/12	13.9	2/12	8.1	2/12	301	Ⅳ H13g	SY01A 区東床直						3	25
46	折縁深皿		26.0	1/12	−	−	(6.8)	1/12	157	Ⅳ H13g	SY01トレンチ4拡張						3	
47	折縁深皿		23.5	2/12	−	−	(5.8)	1/12	80	Ⅳ H12g	SY01A 西埋土4層						3	
48	内耳鍋		25.7	2/12	12.0	1/12	12.6	2/12	346	Ⅳ H12g	SY01A2埋土5層						3	25
49	内耳鍋		23.6	1/12	14.2	3/12	11.8	1/12	404	Ⅳ H13g	SY01トレンチ4拡張						3	
50	内耳鍋		23.9	6/12	−	−	(7.7)	1/12	78	Ⅳ H13g	SY01A 区東3層						3	
51	内耳鍋		−	−	12.7	6/12	12.2	5/12	591	Ⅳ H13g	SY01東2層						3	25
52	内耳鍋		20.3	1/12	13.4	6/12	9.8	3/12	356	Ⅳ H13g	SY01A 区東床直						3	
53	内耳鍋		20.3	1/12	12.3	2/12	11.4	1/12	145	Ⅳ H13g	SY01断割 α セク左14層						3	
54	片口鉢		32.6	1/12	−	−	(9.8)	1/12	206	Ⅳ H13g	SY01東2層						3	
55	片口鉢		31.8	5/12	−	−	10.2	3/12	554	Ⅳ H12g	SY01 γ 東断割12層						4	
56	片口鉢		32.0	2/12	−	−	6.1	1/12	140	Ⅳ H12g	SY01A 西埋土内2層						4	
57	片口鉢		32.2	2/12	−	−	5.7	1/12	177	Ⅳ H12g	SY01 γ 東断割12層						4	
58	片口鉢		31.2	1/12	−	−	6.2	1/12	110	Ⅳ H12g	SY01A2埋土16層						4	
59	片口鉢		30.2	2/12	−	−	6.7	1/12	148	Ⅳ H12g	SY01A 西埋土内2層						4	
60	片口鉢		28.4	2/12	−	−	8.1	2/12	360	Ⅳ H12g	SY01 γ 東断割12層						4	
61	片口鉢		28.6	3/12	−	−	9.3	2/12	336	Ⅳ H12g	SY01A2埋土16層						4	
62	片口鉢		−	−	10.3	1/12	7.5	1/12	150	Ⅳ H12g	SY01 γ 東断割						4	
63	片口鉢		−	−	11.0	6/12	4.2	1/12	136	Ⅳ H12g	SY01 γ 東断割14層						4	
64	片口鉢		−	−	10.0	6/12	3.6	1/12	156	Ⅳ H13g	SY01東2層						4	
65	片口鉢		34.2	3/12	−	−	(6.7)	2/12	245	Ⅳ H13g	SY01第2層						5	
66	片口鉢		32.4	3/12	−	−	(7.1)	2/12	223	Ⅳ H12g	SY01A2埋土16層						5	
67	片口鉢		32.6	1/12	11.0	2/12	10.2	2/12	464	Ⅳ H12g	SY01 γ 東断割12層						5	
68	片口鉢		31.2	1/12	12.0	2/12	11.6	2/12	315	Ⅳ H12g	SY01 γ 東断割12層						5	
69	擂鉢		32.0	1/12	−	−	8.6	1/12	91	Ⅳ H12g	SY01 γ 東断割12層						5	
70	擂鉢		29.2	1/12	−	−	7.1	2/12	101	Ⅳ H12g	SY0199カクラン土						5	
71	擂鉢		28.0	3/12	−	−	4.8	2/12	154	Ⅳ H13g	SY01A 区東床直						5	
72	擂鉢		−	−	12.7	3/12	11.9	3/12	476	Ⅳ H12g	SY01A2埋土5層						5	
73	平碗		17.4	12/12	6.1	12/12	6.3	12/12	366	Ⅳ H12d	SX01	No. 43·44					6	27
74	平碗		15.8	6/12	−	−	5.3	5/12	139	Ⅳ H12d	SX01G2・4間ベルト	No. 65					6	
75	平碗		16.6	5/12	6.0	1/12	6.4	5/12	134	Ⅳ H12d	SX01	No. 31					6	
76	平碗		16.6	11/12	4.9	12/12	6.1	11/12	340	Ⅳ H12d	SX01	No. 10					6	26
77	平碗		15.6	12/12	4.4	12/12	6.3	11/12	276	Ⅳ H12d	SX01（G4）	No. 317					6	26
78	平碗		16.2	11/12	4.9	12/12	7.0	11/12	377	Ⅳ H12d	SX01	No. 9					6	26
79	平碗		15.5	2/12	4.7	12/12	6.9	10/12	340	Ⅳ H12d	SX01（G4）	No. 272					6	26
80	平碗		14.4	5/12	4.6	12/12	5.8	9/12	138	Ⅳ H12d	SX01G4・5間ベルト	No. 19					6	
81	卸皿		16.2	11/12	7.6	12/12	3.9	11/12	333	Ⅳ H12d	SX01	No. 51					6	
82	緑釉皿		10.3	6/12	5.4	12/12	3.0	8/12	137	Ⅳ H12d	SX01（G1）	No. 80					6	26
83	緑釉皿		11.1	11/12	5.2	12/12	3.1	11/12	124	Ⅳ H12d	SX01（G5）	No. 296					6	
84	緑釉皿		11.3	10/12	5.5	12/12	3.3	11/12	161	Ⅳ H12d	SX01G2・4間ベルト	No. 60					6	26
85	緑釉皿		10.5	7/12	5.3	12/12	3.1	9/12	124	Ⅳ H12d	SX01（G2）	No. 109					6	
86	緑釉皿		10.4	10/12	5.4	12/12	2.2	11/12	101	Ⅳ H12d	SX01（G4）	No. 146					6	26
87	緑釉皿		10.8	12/12	5.4	12/12	2.4	12/12	101	Ⅳ H12d	SX01（G3）	No. 128					6	
88	緑釉皿		11.1	10/12	6.1	12/12	3.0	11/12	134	Ⅳ H12d	SX01（G5）	No. 155					6	26
89	小鉢		9.4	4/12	5.5	12/12	4.2	6/12	89	Ⅳ H12d	SX01（G5）	No. 167					6	26
90	擂鉢		27.7	1/12	10.8	4/12	9.8	11/12	295	Ⅳ H12d	SX01	No. 15					6	
91	平碗		16.5	12/12	5.3	12/12	7.2	11/12	346	Ⅳ H12d	SX01, SK01	No. 1					6	26
92	平碗		16.4	11/12	5.3	12/12	6.6	11/12	306	Ⅳ H12d	SX01, P03	No. 1					6	26
93	内耳鍋		−	−	11.0	5/12	(10.4)	3/12	262	Ⅳ H12i	SX06赤色土層						6	
94	内耳鍋		−	−	12.6	8/12	(9.6)	4/12	466	Ⅳ H12i	SX06赤色土2層						6	
95	筒形香炉		7.4	9/12	4.5	5/12	4.3	8/12	50	Ⅳ H13i	SX07（SY04トレンチ窯前下層）						6	
96	筒形香炉		8.2	10/12	5.0	12/12	4.3	11/12	101	Ⅳ H12h	SX06上層赤色土						6	
97	花盆		25.6	3/12	17.4	2/12	11.7	4/12	706	Ⅳ H13i	SX07（SY04トレンチ窯）	No. 5					7	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
98	緑釉小皿		11.2	9/12	4.8	12/12	3.9	11/12	129	Ⅳ H13i	SX07トレンチ	No.7					7	
99	緑釉小皿		10.0	10/12	5.0	12/12	2.5	11/12	92	Ⅳ H13i	SX07トレンチ	No.105					7	
100	筒形香炉		11.0	12/12	9.8	12/12	6.6	12/12	320	Ⅳ H12i	SX09	No.1					7	27
101	広口壺蓋		18.2	3/12	−	−	4.6	4/12	199	Ⅳ H12i	SX09	No.5					7	
102	内耳鍋		24.5	3/12	−	−	(8.0)	1/12	108	Ⅳ H13i	SX09, 10赤色土			鉄釉			7	
103	花瓶		−	−	−	−	(9.3)	5/12	234	Ⅳ H13i	SX09, 10赤色土						7	
104	筒形香炉		12.0	5/12	7.0	12/12	6.5	9/12	368	Ⅳ H13f	SX11						7	
105	片口鉢		31.6	8/12	10.5	12/12	11.9	10/12	1889	Ⅳ H13f	SX11	No.312					7	
106	碗形鉢		20.9	12/12	6.3	11/12	9.5	12/12	662	Ⅳ H13f	SX11	No.313					7	
107	花盆		26.0	1/12	−	−	(16.5)	4/12	458	Ⅳ H13f	SX11						7	
108	仏供		5.4	6/12	3.3	11/12	2.7	8/12	34	e2	SK01						7	
109	小天目茶碗		8.4	5/12	3.0	12/12	3.7	8/12	82	Ⅳ H14h	SK04, 144層			鉄釉			7	
110	緑釉小皿		10.6	10/12	4.8	12/12	2.0	11/12	96	Ⅳ H14g, Ⅳ H14h	SK04, 228層						7	
111	平碗		15.7	11/12	4.4	12/12	7.2	11/12	312	Ⅳ H14g	SK04, 146層	No.303					7	
112	筒形香炉		11.4	11/12	7.0	12/12	6.1	11/12	318	Ⅳ H14g	SK04, 146層	No.304					7	
113	筒形香炉		13.5	1/12	7.0	12/12	6.8	6/12	243	Ⅳ H14h	SK04, 144層						7	
114	花瓶		5.2	11/12	5.3	12/12	8.3	11/12	126	Ⅳ H14g	SK04, 146層	No.301					7	
115	筒形香炉		14.2	4/12	−	−	(6.8)	2/12	132	Ⅳ H13g	SK05, 146層						7	
116	平碗		17.2	10/12	4.6	12/12	7.4	10/12	321	Ⅳ H13g	SK09	No.237					7	
117	柄付片口		14.3	10/12	10.5	12/12	9.9	12/12	802	Ⅳ H14g	SK09	No.280					7	27
118	瓶子		4.6	12/12	10.2	12/12	24.5	12/12	1847	Ⅳ H14i	SK12	№278, 分②					7	28
119	天目茶碗		11.8	1/12	3.6	12/12	6.1	11/12	235	Ⅳ H9j	SD01, 褐色土層	No.11					8	
120	平碗		15.6	11/12	4.2	12/12	6.4	11/12	250	Ⅳ H9j	SD01, 褐色土層	No.10					8	27
121	平碗		15.3	9/12	4.6	12/12	5.7	9/12	240	Ⅳ H9j	SD01, 褐色土層	No.7					8	28
122	平碗		15.8	12/12	4.4	12/12	6.6	12/12	270	Ⅳ H9j	SD01, 褐色土層	No.8					8	28
123	卸皿		16.1	6/12	8.0	12/12	3.7	9/12	230	Ⅳ H10i	SD01, 褐色土層	No.3					8	27
124	瓶子		−	−	−	−	(21.5)	6/12	1400	Ⅳ H10i	SD01, 褐色土層	No.12					8	28
125	折縁深皿		44.2	3/12	28.5	3/12	11.8	3/12	940	Ⅳ H10i	SD01	№17, 分②					8	28
126	折縁中皿		19.4	1/12	11.2	3/12	7.1	2/12	255	Ⅳ H12d	SX01	No.19					8	
127	緑釉皿		10.9	10/12	4.4	12/12	3.0	11/12	115	Ⅳ H12d	SX01	No.159					8	
128	陶丸		縦2.2	−	横2.2	−	−	12/12	10	Ⅳ H12d	SX01, G5						8	
129	直縁大皿		33.6	3/12	15.4	3/12	10.6	3/12	620	Ⅳ H12h	SX06東西ベルト1層						8	
130	片口鉢		30.0	3/12	11.1	9/12	12.9	7/12	11210	Ⅳ H13f	SX11	No.311					8	
131	陶丸		縦2.8	−	横2.8	−	−	12/12	20	Ⅳ H13f	SX11	No.329					8	
132	折縁中皿		21.2	2/12	−	−	(4.2)	1/12	60	Ⅳ H13f	SX11						8	
133	未焼成天目茶碗		13.9	−	3.4	−	9.5	−	1175	Ⅳ H11d	SX01B	あ					9	29
134	未焼成天目茶碗		13.7	−	3.6	−	11.2	−	1150	Ⅳ H11d	SX01B	い					9	29
135	未焼成天目茶碗		14.0	−	4.3	−	9.8	−	1150	Ⅳ H11d	SX01B	う					9	30
136	未焼成天目茶碗		13.4	−	4.4	−	9.3	−	1170	Ⅳ H11d	SX01B	え					9	30
137	未焼成天目茶碗		13.9	−	3.1	−	10.1	−	1150	Ⅳ H11e	SX01B	お					9	31
138	未焼成天目茶碗		13.5	−	3.4	−	10.0	−	1150	Ⅳ H11e	SX01B	か					9	32
139	未焼成天目茶碗		13.4	−	4.3	−	10.5	−	1110	Ⅳ H11e	SX01B	き					10	31
140	未焼成天目茶碗		13.9	−	4.2	−	9.8	−	1070	Ⅳ H11e	SX01B	く					10	32
141	未焼成天目茶碗		12.3	−	4.5	−	11.2	−	1195	Ⅳ H11d	SX01B	け					10	33
142	未焼成天目茶碗		12.8	−	4.4	−	10.3	−	1145	Ⅳ H11d	SX01B	こ					10	33
143	未焼成天目茶碗		13.8	−	4.3	−	10.2	−	1250	Ⅳ H11e	SX01B	さ					10	34
144	未焼成天目茶碗		14.6	−	4.0	−	11.1	−	1195	Ⅳ H11e	SX01B	し					10	34
145	未焼成皿		9.4	−	3.4	−	2.6	−	2.5	Ⅳ H11d	SX01B						10	31
146	未焼成天目茶碗		長17.4	−	短10.5	−	13.6	−	1195	Ⅳ H11d	SX01B	す						35
147	粘土塊		長9.6	−	短7.4	−	4.5	−	733	Ⅳ H11d	SX01B	そ-1						29
148	粘土塊		長11.0	−	短9.8	−	6.2	−	1441	Ⅳ H11d	SX01B	そ-2						29
149	粘土塊		長7.0	−	短5.0	−	5.1	−	329	Ⅳ H11d	SX01B							30
150	未焼成碗		長13.8	−	口径12.0	−	9.5	−	1245	Ⅳ H11d	SX01B	4上層						30
151	未焼成碗		長14.5	−	口径13.0	−	13.2	−	1790	Ⅳ H11d	SX01B	5上層						31
152	粘土塊		長2.2	−	短19.0	−	13.5	−	6100	Ⅳ H11d	SX01B							
153	天目茶碗	ⅠA	12.0	3/12	4.2	12/12	6.4	7/12	380	Ⅳ H16g	赤褐色土層		Ⅰ2	1	中Ⅳ		11	28
154	天目茶碗	ⅠA	12.0	2/12	4.0	12/12	6.2	7/12	252	c2	黒色灰層下層		Ⅰ2	1	後Ⅱ		11	28
155	天目茶碗	ⅠA	12.3	3/12	4.5	6/12	6.6	3/12	91	d2	黒色灰層上層		Ⅰ2	1	後Ⅱ		11	
156	天目茶碗	ⅠA	12.0	3/12	4.3	6/12	6.2	4/12	96	e2	下層		Ⅰ1	1	後Ⅱ		11	33
157	天目茶碗	ⅠA	12.7	5/12	4.5	12/12	6.1	5/12	181	f3	検出		Ⅰ2	1	後Ⅱ		11	28
158	天目茶碗	ⅠA	10.7	2/12	4.4	6/12	6.4	5/12	140	Ⅳ H15g	黒褐色土層		Ⅰ2	1	後Ⅰ		11	32
159	天目茶碗	ⅠA	12.0	5/12	4.5	9/12	6.8	8/12	220	Ⅳ H16h	黒褐色土層		Ⅰ2	1	後Ⅱ		11	32
160	天目茶碗	ⅠA	12.0	3/12	4.1	6/12	6.2	4/12	121	e2	黒色灰層下層メインベルト		Ⅰ2	1	後Ⅱ		11	33
161	天目茶碗	ⅠA	11.2	1/12	4.4	6/12	6.5	3/12	95	d3d4	北壁3層		Ⅰ2	1	後Ⅰ・Ⅱ		11	
162	天目茶碗	ⅠA	11.2	2/12	4.4	12/12	6.6	2/12	148	e2	黒色灰層下層メインベルト		Ⅰ2	1	後Ⅱ		11	35
163	天目茶碗	ⅠA	11.7	3/12	4.4	7/12	6.2	5/12	156	Ⅳ H16g	黒褐色土層	天分-1	Ⅰ2	1	中Ⅳ		11	35
164	天目茶碗	ⅠA	11.7	3/12	3.9	5/12	6.8	4/12	124	f2f3	北壁1層		Ⅰ1	1	後Ⅰ		11	34
165	天目茶碗	ⅠA	11.9	4/12	4.6	12/12	6.6	8/12	195	d1	黒色灰層		Ⅰ2	不明			11	
166	天目茶碗	ⅠA	11.4	1/12	3.7	12/12	6.2	6/12	101	e2	黒色灰層下層メインベルト		Ⅰ2	不明	後Ⅰ・Ⅱ		11	
167	天目茶碗	ⅠA	11.5	1/12	3.9	11/12	6.5	3/12	108	d3	黒色灰層上層	天分-5	Ⅰ2	不明	後Ⅱ		11	35
168	天目茶碗	ⅠA	12.1	2/12	4.4	5/12	6.2	3/12	66	Ⅳ H16g	赤褐色土層	天分-6	Ⅰ2	不明	後Ⅱ		11	34
169	天目茶碗	ⅠA	11.0	1/12	4.3	12/12	6.5	6/12	126	c1	黒色灰層		Ⅰ2	不明	後Ⅰ・Ⅱ		11	
170	天目茶碗	ⅠA	11.0	4/12	3.8	12/12	6.0	6/12	148	b1	北壁6層		Ⅰ2	不明	後Ⅰ		11	35
171	天目茶碗	ⅠA	11.2	2/12	3.9	12/12	6.4	8/12	175	d2	検出		Ⅰ1	不明	後Ⅰ		11	35
172	天目茶碗	ⅠA	11.6	2/12	4.2	5/12	6.4	3/12	124	d2	検出	天分-2	Ⅰ2	不明	中Ⅳ		11	35
173	天目茶碗	ⅠA	11.5	1/12	4.2	12/12	6.2	5/12	126	e3d3	東壁5層	天分-4	Ⅰ2	不明	後Ⅱ		11	
174	天目茶碗	ⅠA	11.6	3/12	−	−	(5.8)	1/12	79	e2	黒色灰層下層メインベルト		Ⅰ2	不明			11	
175	天目茶碗	ⅠB	12.1	3/12	3.7	12/12	6.8	7/12	124	Ⅳ H15g	黒褐色土層		Ⅰ1	2	後Ⅱ		11	35
176	天目茶碗	ⅠB	12.2	4/12	4.1	12/12	7.0	8/12	192	e3d3	東壁5層	天分-7	Ⅰ2	2	中Ⅳ		11	35
177	天目茶碗	ⅠB	11.4	3/12	3.7	11/12	6.8	4/12	134	d3	黒色灰層上層		Ⅰ2	不明			11	
178	天目茶碗	ⅠB	11.6	5/12	3.9	5/12	6.8	5/12	230	Ⅳ H15h	褐色土層	天分-8	Ⅰ1	2-2	後Ⅰ		11	36
179	天目茶碗	ⅠB	11.4	1/12	4.3	12/12	6.2	6/12	255	e2d2	東壁3層		Ⅰ2	2	後Ⅰ		11	36
180	天目茶碗	ⅠB	11.3	1/12	4.3	5/12	6.5	3/12	80	Ⅳ H16f	黒褐色土層	天分-10	Ⅰ1	2	後Ⅱ		11	
181	天目茶碗	ⅠB	11.4	1/12	4.2	12/12	6.9	6/12	94	c2	検出		Ⅰ1	2	後Ⅱ		11	
182	天目茶碗	ⅠB	12.1	1/12	4.1	10/12	6.2	5/12	406	d1	黒色灰層上層	天分-9	Ⅰ2+縁ⅡB+縁ⅡB	2		図231	11	36
183	天目茶碗	ⅠB	12.2	2/12	−	−	(5.5)	5/12	748	e5	黒色灰層下層, 褐色土混じる	天分-11	Ⅰ2×2	2	後Ⅱ		11	
184	天目茶碗	ⅠB	−	−	4.3	5/12	(4.1)	2/12	150	e3d3	東壁5層	天分-12	Ⅰ2+小鉢+縁ⅠC	2-2		図231	11	36
185	天目茶碗	ⅠC	12.8	1/12	4.2	12/12	6.5	6/12	71	d4c4	東壁5層	天分-13	Ⅰ1	3	後Ⅰ		12	
186	天目茶碗	ⅠC	12.7	1/12	4.6	6/12	6.2	3/12	116	d4d5	北壁2層		Ⅰ2	3	後Ⅱ		12	36
187	天目茶碗	ⅠC	12.1	1/12	4.0	12/12	6.2	6/12	181	e2	検出	天分-14	Ⅰ2	3	後Ⅰ・Ⅱ		12	36
188	天目茶碗	ⅠC	11.8	4/12	4.2	12/12	6.7	8/12	226	Ⅳ H14i, Ⅳ H15i	南壁50層		Ⅰ1	3	後Ⅲ		12	36
189	天目茶碗	ⅠC	12.0	1/12	4.0	12/12	5.9	6/12	75	Ⅳ H15g	黒褐色土層		Ⅰ1	3	中Ⅳ		12	
190	天目茶碗	ⅠC	11.8	2/12	4.4	11/12	6.3	6/12	135	Ⅳ H16g	赤褐色土層		Ⅰ1	3	後Ⅱ		12	36
191	天目茶碗	ⅠC	11.6	1/12	4.1	12/12	6.6	6/12	194	e3d3	東壁6層		Ⅰ2	3	後Ⅱ		12	37

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
192	天目茶碗	ⅠC	11.0	4/12	4.0	6/12	6.5	5/12	121	ⅣH15f	黒褐色土層		Ⅰ2	3	後Ⅱ		12	
193	天目茶碗	ⅠC	11.2	1/12	4.3	9/12	6.5	4/12	92	d1d2	北壁3層	天分-16	Ⅰ2	3	後Ⅱ		12	37
194	天目茶碗	ⅠC	11.4	1/12	4.4	11/12	6.5	5/12	101	d1d2	北壁3層	天分-17	Ⅰ2	3	後Ⅱ		12	
195	天目茶碗	ⅠC	12.0	3/12	−	−	(6.0)	2/12	67	d1d2	北壁3層	天分-18	Ⅰ2	3			12	
196	天目茶碗	ⅠC	11.4	1/12	3.6	7/12	5.6	4/12	70	d1d2	北壁7層	天分-15	Ⅰ1	3	後Ⅰ・Ⅱ		12	
197	天目茶碗	ⅠC	9.9	1/12	4.0	6/12	5.6	6/12	89	e4	表土		Ⅰ2	3			12	37
198	天目茶碗	ⅠD	11.9	3/12	4.4	11/12	6.0	7/12	156	e2	検出		Ⅰ2	4	後Ⅰ		12	
199	天目茶碗	ⅠD	12.0	3/12	4.4	7/12	6.3	5/12	121	c2	検出	天分-22	Ⅰ1	4	後Ⅱ		12	
200	天目茶碗	ⅠD	11.6	1/12	4.4	6/12	6.4	3/12	64	c3c4	北壁黒色灰層切り株下	天分-23	Ⅰ1	4	後Ⅱ		12	
201	天目茶碗	ⅠD	11.5	1/12	4.3	10/12	6.3	5/12	162	f2	北トレンチ下層		Ⅰ2	5			12	
202	天目茶碗	ⅠD	11.7	3/12	4.4	10/12	6.1	7/12	133	b1	黒色灰層	天分-21	Ⅰ2	4	後Ⅱ		12	
203	天目茶碗	ⅠD	11.7	2/12	4.4	11/12	6.3	6/12	150	ⅣH16h	黒褐色土層		Ⅰ1	1	後Ⅱ		12	
204	天目茶碗	ⅠD	11.0	5/12	4.3	5/12	6.0	5/12	112	ⅣH16g	赤褐色土層		Ⅰ2	4	後Ⅱ		12	37
205	天目茶碗	ⅠD	11.4	2/12	4.1	7/12	6.4	4/12	56	d1	黒色灰層下層	天分-19	Ⅰ1	4	後Ⅰ		12	
206	天目茶碗	ⅠD	11.5	3/12	4.5	10/12	5.5	6/12	116	d2d3	北壁8層		Ⅰ2	4			12	37
207	天目茶碗	ⅠD	−	−	3.7	5/12	(5.7)	2/12	85	c1c2	北壁1層	天分-20	Ⅰ2	5	後Ⅰ		12	
208	天目茶碗	ⅠD	10.4	2/12	4.0	12/12	6.3	7/12	166	ⅣH16g	黒褐色土層		Ⅰ1	5			12	
209	天目茶碗	ⅠD	11.5	5/12	−	−	(5.6)	2/12	232	g3	黒色灰層上層		Ⅰ2+Ⅰ2	4	後Ⅰ・Ⅱ		12	
210	天目茶碗	ⅠE	13.2	1/12	3.8	6/12	6.7	3/12	86	ⅣH15h	黒褐色土層	天分-25	Ⅰ2	4	後Ⅱ		12	
211	天目茶碗	ⅠE	11.8	11/12	4.0	12/12	7.2	10/12	269	ⅣH15f	北壁172層		Ⅰ1	4	後Ⅲ		12	37
212	天目茶碗	ⅠE	11.4	5/12	3.9	12/12	6.4	6/12	158	ⅣH13i	灰層上層	天分-26	Ⅰ2	4	後Ⅲ		12	37
213	天目茶碗	ⅠFi	12.0	3/12	3.8	9/12	6.3	6/12	190	ⅣH16g	褐色土層		Ⅰ2	6	後Ⅰ		13	
214	天目茶碗	ⅠFi	12.1	6/12	4.2	12/12	6.3	9/12	154	ⅣH15g	黒褐色土層	分②	Ⅰ2	6	後Ⅰ		13	37
215	天目茶碗	ⅠFi	12.4	2/12	3.8	10/12	6.5	6/12	174	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる		Ⅰ1	6	後Ⅰ		13	
216	天目茶碗	ⅠFi	12.6	1/12	3.7	8/12	6.6	4/12	146	ⅣH15f	黒褐色土層		Ⅰ2	6	後Ⅰ		13	37
217	天目茶碗	ⅠFi	12.0	2/12	3.9	11/12	6.8	6/12	143	e2	黒色灰層下層メインベルト	天分-27	Ⅰ2	6	後Ⅰ		13	
218	天目茶碗	ⅠFi	12.3	4/12	4.5	6/12	6.6	5/12	120	ⅣH14h	灰層上層,暗褐色砂層		Ⅰ2	6	後Ⅲ		13	38
219	天目茶碗	ⅠFi	12.4	3/12	4.2	12/12	6.7	7/12	195	ⅣH14g	東西トレンチ132層		Ⅰ1	3	後Ⅲ		13	
220	天目茶碗	ⅠFi	11.6	2/12	4.2	12/12	6.0	7/12	98	f2	北トレンチ下層		Ⅰ1	3	後Ⅰ・Ⅱ		13	37
221	天目茶碗	ⅠFi	11.8	3/12	4.0	4/12	6.7	3/12	80	c2c3	北壁3層	天分-29	Ⅰ1	6	後Ⅰ・Ⅱ		13	
222	天目茶碗	ⅠFi	11.8	1/12	3.9	10/12	6.1	6/12	141	c2	検出下層		Ⅰ2	6	後Ⅰ		13	
223	天目茶碗	ⅠFi	11.0	3/12	3.8	6/12	5.7	4/12	66	f2	北トレンチ	天分-24	Ⅰ1	4	後Ⅱ		13	
224	天目茶碗	ⅠFi	12.0	3/12	4.0	6/12	6.3	4/12	115	ⅣH15g	黒褐色土層		Ⅰ2	6	後Ⅲ		13	38
225	天目茶碗	ⅠFi	11.7	3/12	4.2	11/12	6.3	4/12	136	f3	検出	天分-28	Ⅰ1	6	後Ⅰ		13	
226	天目茶碗	ⅠFi	11.8	2/12	4.3	5/12	6.6	3/12	218	c1c2	北壁4層		Ⅰ2	6	後Ⅰ		13	38
227	天目茶碗	ⅠFi	11.7	9/12	3.9	12/12	6.1	10/12	222	ⅣH13i	東西トレンチ,整地層		Ⅰ2	6	後Ⅲ		13	38
228	天目茶碗	ⅠFi	11.1	4/12	4.1	6/12	5.8	5/12	81	ⅣH15g	黒褐色土層	天分-30	Ⅰ2	6	後Ⅲ		13	
229	天目茶碗	ⅠFi	11.1	1/12	4.0	9/12	6.3	5/12	137	ⅣH16g	赤褐色土層		SUⅠ2	6	後Ⅰ		13	
230	天目茶碗	ⅠFi	11.4	7/12	4.1	11/12	6.1	9/12	192	d1	黒色灰層下層		Ⅰ2	6			13	38
231	天目茶碗	ⅠFi	11.1	4/12	3.7	10/12	6.0	7/12	116	e2	検出		Ⅰ1	6	後Ⅰ		13	38
232	天目茶碗	ⅠFi	11.7	5/12	3.8	11/12	6.0	8/12	184	ⅣH16h	黒褐色土層		Ⅰ2	6	後Ⅱ		13	38
233	天目茶碗	ⅠFi	11.2	1/12	4.2	12/12	5.8	7/12	169	g3f3	東壁2層		Ⅰ1	6	後Ⅱ		13	
234	天目茶碗	ⅠFi	10.8	2/12	3.8	11/12	5.3	6/12	95	c4	黒色土層下褐色土層中		Ⅰ2	6-2			13	38
235	天目茶碗	ⅠFii	11.8	5/12	3.7	7/12	6.5	6/12	254	ⅣH16g	赤褐色土層		Ⅰ1	6	後Ⅰ		13	38
236	天目茶碗	ⅠFii	11.8	4/12	3.9	11/12	6.6	7/12	120	ⅣH15f	黒褐色土層	天分-31	Ⅰ1	6-2	中Ⅳ		13	
237	天目茶碗	ⅠFii	11.6	3/12	4.2	12/12	6.9	7/12	151	ⅣH15f	黒褐色土層		Ⅰ2	3	後Ⅲ		13	38
238	天目茶碗	ⅠFii	11.1	7/12	4.0	12/12	6.3	9/12	210	ⅣH16f	黒褐色土層		Ⅰ1	6	後Ⅰ		13	38
239	天目茶碗	ⅠFii	11.0	1/12	3.7	12/12	6.4	6/12	89	d1d2	北壁3層		Ⅰ2	3	後Ⅰ		13	39
240	天目茶碗	ⅠFii	11.1	5/12	3.5	4/12	6.8	4/12	140	ⅣH13h	灰層5層		Ⅰ2	3	後Ⅲ		13	39
241	天目茶碗	ⅠFiii	11.6	3/12	4.4	12/12	6.8	6/12	124	c2	黒色土層下層	天分-34	Ⅰ1	6-5	後Ⅰ		13	39
242	天目茶碗	ⅠFiii	11.4	1/12	3.8	12/12	7.0	6/12	125	ⅣH16h	表土下,黒褐色土層		SUⅠ2	6-3	後Ⅱ		13	39
243	天目茶碗	ⅠFiii	12.1	2/12	3.6	12/12	7.0	7/12	98	ⅣH15g	黒褐色土層		SUⅠ1	6-3	後Ⅱ		13	
244	天目茶碗	ⅠFiii	12.3	3/12	4.6	7/12	6.5	3/12	84	f2	北トレンチ	天分-33	SUⅠ1	6-4	後Ⅱ		13	
245	天目茶碗	ⅡA	12.7	2/12	4.0	3/12	7.8	3/12	71	ⅣH16g	黒褐色土層		SUⅡ3	8	後Ⅱ		14	
246	天目茶碗	ⅡA	13.4	4/12	4.5	5/12	6.8	4/12	89	ⅣH15g	黒褐色土層	天分-35	SK1	8	後Ⅱ		14	
247	天目茶碗	ⅡA	11.9	9/12	3.6	12/12	7.1	10/12	230	ⅣH12e	黒褐色土層	No.28	SUⅡ3	8	後Ⅲ		14	39
248	天目茶碗	ⅡA	12.5	4/12	3.9	12/12	6.9	7/12	175	ⅣH13g	整地層1		SUⅡ3	8	後Ⅲ		14	39
249	天目茶碗	ⅡA	12.5	1/12	3.6	10/12	7.1	3/12	143	ⅣH11h	表土層		SUⅡ3	8	後Ⅲ		14	39
250	天目茶碗	ⅡA	12.2	1/12	3.6	10/12	6.9	5/12	179	ⅣH14h	西壁97層		SUⅡ3	8	後Ⅲ		14	
251	天目茶碗	ⅡA	12.4	3/12	−	−	(6.8)	4/12	81	f3e3	東壁7層	天分-40	SUⅡ3	8	後Ⅱ		14	
252	天目茶碗	ⅡA	12.2	4/12	−	−	(6.5)	2/12	70	g2f2	東壁4層		SUⅡ3	8	後Ⅱ		14	
253	天目茶碗	ⅡA	12.0	1/12	3.1	12/12	6.6	6/12	170	f3e3	東壁5層		SUⅡ3+縁ⅡB	8		図231	14	
254	天目茶碗	ⅡA	12.2	1/12	3.6	4/12	6.6	2/12	88	f3	検出		SUⅡ3	8	後Ⅱ		14	
255	天目茶碗	ⅡA	12.1	2/12	3.5	12/12	6.6	7/12	118	d2	黒色灰層下層		SUⅡ3	8	後Ⅱ		14	
256	天目茶碗	ⅡA	12.1	2/12	3.5	12/12	7.1	7/12	140	d2d3	北壁1層		SUⅡ3	8	後Ⅱ		14	
257	天目茶碗	ⅡA	11.9	1/12	3.6	12/12	7.2	6/12	71	b1	黒色灰層		SKⅡ2	8			14	
258	天目茶碗	ⅡA	11.5	1/12	3.5	12/12	6.8	6/12	150	ⅣH14g	灰層上層		SUⅡ3	8	後Ⅲ		14	
259	天目茶碗	ⅡA	12.0	3/12	3.7	12/12	6.9	6/12	155	ⅣH10j	西壁ベルト			8	後Ⅲ		14	39
260	天目茶碗	ⅡA	11.8	5/12	3.3	12/12	7.0	8/12	136	ⅣH15h	表土下,黒褐色土層			8	後Ⅲ		14	40
261	天目茶碗	ⅡA	11.6	2/12	3.7	6/12	6.0	3/12	100	d2	黒色灰層下層			8			14	
262	天目茶碗	ⅡA	11.2	1/12	3.3	12/12	7.0	6/12	106	c3	黒色灰層上層			8			14	
263	天目茶碗	ⅡA	11.7	1/12	3.6	6/12	7.1	3/12	75	b2	黒色灰層下層			8	後Ⅱ		14	
264	天目茶碗	ⅡA	11.8	3/12	3.2	12/12	6.9	7/12	99	c3	黒色灰層上層			8	後Ⅱ		14	
265	天目茶碗	ⅡA	12.1	3/12	3.6	3/12	6.7	3/12	90	c2	検出	天分-38	SKⅡ3	8	後Ⅱ		14	
266	天目茶碗	ⅡA	11.6	2/12	3.1	11/12	7.0	6/12	148	ⅣH15h	黒褐色土層		SUⅡ3	8	後Ⅱ		14	39
267	天目茶碗	ⅡA	−	−	3.4	9/12	(6.7)	4/12	144	g3g4	北壁5層	天分-37	SKⅡ3	8	後Ⅱ		14	40
268	天目茶碗	ⅡA	11.7	4/12	3.6	10/12	7.1	7/12	156	ⅣH15h	黒褐色土層		SKⅡ3	8	後Ⅱ		14	40
269	天目茶碗	ⅡA	11.7	1/12	3.6	8/12	6.5	4/12	121	d2	黒色灰層		SKⅡ3	8	後Ⅱ		14	
270	天目茶碗	ⅡA	11.7	2/12	3.4	12/12	7.0	7/12	117	f3	検出		SUⅡ3	8	後Ⅱ		14	
271	天目茶碗	ⅡA	11.4	2/12	3.6	2/12	6.8	2/12	71	d4	黒色灰層上層	天分-39	SUⅡ3	8	後Ⅱ		14	
272	天目茶碗	ⅡA	11.6	4/12	3.3	11/12	5.9	7/12	136	d2c2	東壁3層		SKⅡ3	8			14	39
273	天目茶碗	ⅡA	11.3	2/12	3.4	9/12	6.7	4/12	115	d2	黒色土層上層		SUⅡ3	8	後Ⅱ		14	
274	天目茶碗	ⅡA	10.7	1/12	2.9	12/12	7.0	6/12	155	f2e2	東壁5層	天分-36	SKⅡ3+縁ⅠC	8		図231	14	
275	天目茶碗	ⅡB	13.7	1/12	−	−	(6.4)	1/12	80	e3d3	東壁6層			9		図230	15	
276	天目茶碗	ⅡB	12.7	1/12	3.3	8/12	6.6	4/12	105	ⅣH15g	黒褐色土層		SUⅡ3	9	後Ⅱ		15	
277	天目茶碗	ⅡB	12.6	2/12	3.4	12/12	6.7	2/12	110	c2	検出			9	後Ⅲ?		15	
278	天目茶碗	ⅡB	−	−	3.4	12/12	(5.7)	2/12	85	d2d3	北壁5層			9	後Ⅲ		15	
279	天目茶碗	ⅡB	12.3	3/12	3.6	5/12	6.4	4/12	85	d2d3	北壁5層	天分-41		9	後Ⅱ		15	40
280	天目茶碗	ⅡB	12.3	3/12	3.7	5/12	6.8	3/12	100	ⅣH13g	整地層1	天分-43	SUⅡ3	9	後Ⅲ		15	
281	天目茶碗	ⅡB	11.8	1/12	3.8	12/12	6.8	6/12	85	c2	黒色灰層下層		SKⅡ3	9	後Ⅰ・Ⅱ		15	
282	天目茶碗	ⅡB	11.6	1/12	3.7	12/12	6.9	6/12	85	f2	表土		SUⅡ3	9	後Ⅱ		15	
283	天目茶碗	ⅡB	12.6	2/12	−	−	(5.3)	1/12	68	b3c3	西壁3層		SUⅡ	9			15	
284	天目茶碗	ⅡB	11.7	1/12	3.8	10/12	6.4	5/12	113	e4	黒色灰層最下部,褐色土直上	天分-42	SUⅡ3	9	後Ⅱ		15	
285	天目茶碗	ⅡC	13.2	2/12	4.0	7/12	7.8	4/12	135	ⅣH15h	表土下,黒褐色土層		SUⅡ3	10	後Ⅲ		15	40
286	天目茶碗	ⅡC	14.2	1/12	3.6	1/12	7.1	6/12	240	d3d4	北壁6層		SUⅡ3	10	後Ⅱ		15	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉			時期	その他	遺物図	写真図版
287	天目茶碗	ⅡC	13.3	1/12	3.7	11/12	7.1	6/12	68	c2	検出		SUⅡ3	10		後Ⅱ		15	
288	天目茶碗	ⅡC	12.5	2/12	3.8	6/12	5.8	2/12	56	c2c3	北壁4層		SKⅡ3	不明				15	
289	天目茶碗	ⅡC	13.1	3/12	4.0	11/12	6.7	7/12	141	e2	黒色灰層上層	天分-44	SUⅡ3	10		後Ⅱ		15	40
290	天目茶碗	ⅡC	12.6	3/12	3.3	10/12	6.4	6/12	155	c2	検出		Ⅱ3	10		後Ⅲ		15	40
291	天目茶碗	ⅡC	−	−	3.3	5/12	(6.7)	2/12	97	f3	検出		SUⅡ3	10		後Ⅱ		15	
292	天目茶碗	ⅡC	12.6	1/12	3.5	10/12	6.3	7/12	165	d2d3	北壁4層		SUⅡ3	10		後Ⅱ		15	40
293	天目茶碗	ⅡC	12.2	3/12	3.6	12/12	7.0	7/12	94	c3	黒色灰層上層	天分-46	SUⅡ3	10		後Ⅲ		15	
294	天目茶碗	ⅡC	11.9	1/12	3.3	6/12	7.2	3/12	73	ⅣH16g	赤褐色土層	天分-45	SKⅡ3	10		後Ⅱ		15	
295	天目茶碗	ⅡD	−	−	3.4	12/12	(3.4)	3/12	61	e3e4	北壁8層	天分-47	SUⅡ3	10		後Ⅲ		15	
296	天目茶碗	ⅡD	12.1	2/12	3.6	5/12	6.2	3/12	85	ⅣH15h	黒褐色土層	天分-55	Ⅱ3	15		後Ⅲ		15	
297	天目茶碗	ⅡD	14.3	2/12	−	−	(7.7)	1/12	90	d2d3	北壁7層	天分-48	Ⅱ3	11		後Ⅲ		15	40
298	天目茶碗	ⅡD	12.3	2/12	3.7	12/12	6.6	7/12	226	g3f3	東壁1層	天分-50	Ⅱ3	12		後Ⅲ		15	
299	天目茶碗	ⅡD	11.6	1/12	3.5	12/12	6.5	6/12	190	e3	黒色灰層下層,赤褐色土混じる		Ⅱ3	12		後Ⅲ		15	40
300	天目茶碗	ⅡD	11.7	1/12	3.5	12/12	7.2	6/12	115	c2	黒色灰層下層	天分-51	Ⅱ3	12		後Ⅲ		15	
301	天目茶碗	ⅡD	12.2	1/12	3.4	12/12	6.4	6/12	126	e2	黒色灰層下層	天分-49	SUⅡ3	12		後Ⅲ		15	
302	天目茶碗	ⅡD	11.5	2/12	3.4	12/12	6.5	7/12	118	d3d4	北壁6層		Ⅱ3	12		後Ⅲ		15	
303	天目茶碗	ⅡE	12.5	3/12	3.5	7/12	6.2	5/12	78	f3	検出	天分-56	SUⅡ3	16		後Ⅲ		16	
304	天目茶碗	ⅡE	11.5	3/12	3.2	10/12	6.5	6/12	156	d2	検出		Ⅱ3	16		後Ⅲ		16	40
305	天目茶碗	ⅡE	12.6	3/12	3.8	12/12	6.8	7/12	114	c2d2	東壁3層	天分-57	Ⅱ3	16		後Ⅲ		16	
306	天目茶碗	ⅡE	12.0	3/12	3.7	12/12	6.6	7/12	99	c3	検出		Ⅱ3	16		後Ⅲ		16	
307	天目茶碗	ⅡE	11.9	1/12	3.5	12/12	6.5	6/12	79	d2	検出	天分-58	Ⅱ3	16		後Ⅲ		16	
308	天目茶碗	ⅡE	11.8	9/12	3.1	12/12	6.5	10/12	228	ⅣH9i	黒色灰層	№1	Ⅱ3	16		後Ⅲ		16	40
309	天目茶碗	ⅡE	11.4	3/12	−	−	(5.7)	1/12	55	b3c3	西壁3層		Ⅰ1	16				16	
310	天目茶碗	ⅡE	11.8	2/12	3.7	12/12	6.7	7/12	96	d3	黒色灰層下層,褐色土混じる	天分-60	Ⅱ3	17		後Ⅲ		16	
311	天目茶碗	ⅡE	11.9	3/12	3.3	6/12	6.7	4/12	115	e2	黒色灰層上層	天分-59	Ⅱ3	17		後Ⅲ		16	
312	天目茶碗	ⅡE	11.7	2/12	3.6	6/12	6.8	4/12	89	d2	黒色灰層下層		Ⅱ3	17		後Ⅲ		16	
313	天目茶碗	ⅡE	11.7	2/12	3.2	9/12	6.7	5/12	68	f2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる		Ⅱ3	17		後Ⅲ		16	
314	天目茶碗	ⅡF	11.7	1/12	3.6	12/12	6.8	6/12	111	c2	黒色灰層下層	天分-52	Ⅱ3	13		後Ⅲ		16	
315	天目茶碗	ⅡF	11.8	1/12	3.5	12/12	6.8	6/12	100		トレンチ1	天分-53	Ⅱ3	13		後Ⅲ		16	
316	天目茶碗	ⅡF	11.6	2/12	3.6	6/12	6.0	4/12	79	d2d3	北壁7層	天分-54	Ⅱ3	14		後Ⅲ		16	
317	天目茶碗	ⅡG	10.4	1/12	−	−	(3.8)	1/12	30	f2	黒色灰層上層		O	不明				16	
318	天目茶碗	ⅡG	11.0	1/12	−	−	(5.6)	1/12	24	ⅣH16g	黒褐色土層		O	不明				16	
319	天目茶碗	ⅡH	12.6	3/12	−	−	(5.8)	2/12	70	d2	黒色灰層下層		H	不明				16	
320	天目茶碗	ⅡH	12.6	5/12	−	−	(5.7)	3/12	91	ⅣH14h	灰層上層,暗褐色砂層		H	不明				16	
321	天目茶碗	ⅡH	11.8	3/12	−	−	(5.6)	2/12	66	c4	黒色灰層上層		H	不明				16	41
322	天目茶碗	ⅡH	12.0	3/12	−	−	(6.4)	2/12	65	f3f4	北壁5層		H	不明				16	
323	天目茶碗	ⅡH	11.8	5/12	3.9	12/12	6.5	7/12	156	e3	検出		H	不明				16	41
324	天目茶碗	ⅡH	11.8	6/12	3.1	12/12	6.6	8/12	185	c3	黒色灰層上層		H	不明				16	41
325	天目茶碗	ⅡH	11.8	2/12	−	−	(6.3)	1/12	49	ⅣH13g	灰層(黒色土)		H	不明				16	
326	天目茶碗	ⅡH	11.8	1/12	−	−	(5.4)	1/12	36	ⅣH16g	黒褐色土層		H	不明				16	
327	天目茶碗	ⅡH	11.8	1/12	−	−	(6.0)	1/12	35	e3	検出		H	不明				16	
328	天目茶碗	ⅡH	10.8	2/12	−	−	(5.4)	2/12	49	e3e4	北壁4層		H	不明				16	
329	天目茶碗	ⅡH	10.8	1/12	−	−	(4.9)	1/12	26	d3	黒色灰層下層,赤褐色土混じる		H	不明				16	
330	天目茶碗	ⅡH	10.6	2/12	−	−	(5.5)	1/12	23	c3	黒色灰層下層		H	不明				16	
331	天目茶碗	ⅡH	10.8	3/12	−	−	(5.2)	1/12	41	g2g3	北壁3層		H	不明				16	
332	天目茶碗	ⅡH	10.6	3/12	−	−	(5.5)	2/12	36	g3g4	北壁5層		H	不明				16	
333	天目茶碗	ⅡH	−	−	2.9	12/12	(5.8)	6/12	132	d2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる		H	不明				16	
334	天目茶碗	ⅡH	−	−	3.0	3/12	(5.2)	2/12	41	d1	黒色灰層		H	不明				16	
335	天目茶碗	ⅡH	−	−	3.0	7/12	(5.2)	3/12	65	e2d3	東壁5層		H	不明				16	
336	天目茶碗	ⅡH	−	−	3.6	12/12	(5.2)	4/12	56	f3	検出		H	不明				16	
337	天目茶碗	ⅡH	−	−	3.1	12/12	(4.6)	4/12	78	e4	表土		H	不明				16	
338	天目茶碗	ⅡH	−	−	3.1	12/12	(3.3)	4/12	66	d2	検出		H	不明				16	
339	天目茶碗	ⅡH	−	−	3.2	12/12	(2.7)	4/12	70	d2d3	北壁7層		H	不明				16	
340	天目茶碗	ⅡH	−	−	3.3	12/12	(2.2)	4/12	48	98	表採		H	不明				16	
341	天目茶碗		2.3	2/12	4.7	12/12	6.6	8/12	230	99L	トレンチ							17	
342	天目茶碗		−	−	4.2	12/12	3.2	1/12	50	c2	検出							17	
343	天目茶碗		−	−	4.3	5/12	3.2	1/12	40	d2	黒色灰層上層							17	
344	天目茶碗		−	−	4.2	12/12	1.5	1/12	30	d1	黒色灰層							17	
345	天目茶碗		10.9	3/12	4.5	5/12	6.1	3/12	120	f4	表土							17	
346	天目茶碗		−	−	4.3	12/12	4.5	1/12	70	d3d4	北壁3層							17	
347	天目茶碗		−	−	4.0	9/12	1.8	1/12	20	e5	検出							17	
348	天目茶碗		−	−	4.2	12/12	2.6	1/12	80	c2	検出							17	
349	天目茶碗		−	−	3.2	12/12	1.3	1/12	25	e4	黒色灰層下層,褐色土混じる							17	
350	天目茶碗		−	−	4.1	4/12	2.5	1/12	20	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる							17	
351	灰釉天目茶碗	ⅠA	11.9	8/12	4.4	5/12	6.4	10/12	150	ⅣH14h,ⅣH14i	東壁20層	分②						18	
352	灰釉天目茶碗	ⅠA	10.9	6/12	4.3	12/12	6.2	9/12	165	ⅣH14i	表土							18	
353	灰釉天目茶碗	ⅠB	12.1	6/12	4.2	12/12	6.2	10/12	210	c2	黒色灰層下層							18	
354	灰釉天目茶碗	ⅠB	11.7	2/12	4.0	12/12	6.6	6/12	150	g3	黒色灰層下層,赤褐色土混じる							18	41
355	灰釉天目茶碗	ⅠB	12.2	1/12	4.2	12/12	7.2	4/12	160	e2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる							18	41
356	灰釉天目茶碗	ⅠB	11.2	5/12	4.5	12/12	6.0	10/12	205	g3	東トレンチ							18	
357	灰釉天目茶碗	ⅠB	11.6	1/12	4.3	11/12	6.5	11/12	220	ⅣH14h,ⅣH14i	東壁155層							18	41
358	灰釉天目茶碗	ⅠB	12.4	2/12	4.2	1/12	6.5	1/12	60	f2	黒色灰層							18	
359	灰釉天目茶碗	ⅠB	12.0	4/12	4.5	11/12	6.5	7/12	145	c2	検出							18	42
360	灰釉天目茶碗	ⅠB	11.0	3/12	4.0	12/12	6.7	3/12	130	ⅣH14h,ⅣH14i	東壁147層							18	42
361	灰釉天目茶碗	ⅠB	10.8	4/12	3.8	12/12	6.4	4/12	140	ⅣH13i	トレンチ							18	42
362	灰釉天目茶碗	ⅠB	10.9	10/12	3.8	12/12	5.9	11/12	190	ⅣH14h,ⅣH14i	東壁42層							18	42
363	灰釉天目茶碗	ⅠB	11.2	2/12	3.8	12/12	5.8	7/12	110	d2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる							18	42
364	灰釉天目茶碗	ⅠB	10.7	6/12	3.9	12/12	6.2	10/12	130	ⅣH13i	表土							18	42
365	灰釉天目茶碗	ⅠB	12.8	1/12	4.4	5/12	6.2	1/12	56	e2	黒色灰層下層メインベルト							18	
366	灰釉天目茶碗	ⅠB	−	−	3.8	7/12	(5.6)	3/12	135	ⅣH13i	表土							18	
367	灰釉天目茶碗	ⅠC	−	−	4.1	12/12	(5.3)	3/12	85	d1	黒色灰層							18	
368	灰釉天目茶碗	ⅠC	12.0	1/12	4.0	12/12	6.3	4/12	95	f2	北トレンチ下層							18	
369	灰釉天目茶碗	ⅠC	12.6	4/12	4.4	6/12	7.5	12/12	170	ⅣH11i	褐色土層							18	
370	灰釉天目茶碗	ⅠD	12.0	3/12	−	12/12	(5.8)	3/12	105	99A	表採							18	
371	灰釉天目茶碗	ⅠD	12.7	1/12	−	−	5.4	2/12	55	d4	黒色灰層上層,焼台多い							18	
372	灰釉天目茶碗	ⅠD	12.8	3/12	−	−	(5.9)	3/12	80	e2	検出							18	
373	灰釉天目茶碗	ⅠD	12.4	1/12	−	−	(6.6)	4/12	85	c3	黒色灰層上層							18	
374	灰釉天目茶碗	ⅠD	12.1	1/12	−	−	(5.0)	2/12	60	e3d3	東壁6層							18	
375	灰釉天目茶碗	ⅠD	11.9	2/12	−	−	(6.0)	2/12	60	c2	検出(下層)							18	
376	灰釉天目茶碗	ⅠE	12.5	4/12	−	−	(6.3)	4/12	115	ⅣH15h,ⅣH15i	東壁20層							18	
377	灰釉天目茶碗	ⅠE	14.6	5/12	−	−	(6.2)	4/12	135	ⅣH13i	トレンチ							18	
378	灰釉天目茶碗	ⅠE	13.4	2/12	−	−	(6.6)	2/12	65	f2f3	北壁1層							18	
379	灰釉天目茶碗	ⅠE	13.1	3/12	−	−	(6.0)	3/12	90	ⅣH15g	表土							18	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析№	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
380	灰釉天目茶碗	ⅠF	11.3	3/12	−	−	(5.3)	2/12	50	e3	検出						18	
381	灰釉天目茶碗	ⅠF	12.4	2/12	−	−	(6.0)	5/12	100	g3	黒色灰層上層						18	
382	灰釉天目茶碗	ⅠF	12.1	5/12	−	−	(6.3)	5/12	115	e2	黒色灰層上層						18	
383	灰釉天目茶碗	ⅡA	12.5	2/12	3.6	12/12	7.3	5/12	110	d2c2	東壁3層						19	42
384	灰釉天目茶碗	ⅡA	12.0	1/12	3.9	12/12	7.4	5/12	130	d3	黒色灰層						19	42
385	灰釉天目茶碗	ⅡA	12.0	2/12	3.6	12/12	6.8	3/12	75	f2f3	北壁4層						19	
386	灰釉天目茶碗	ⅡA	12.6	1/12	3.5	12/12	6.9	3/12	125	e2d2	東壁5層						19	
387	灰釉天目茶碗	ⅡA	11.3	1/12	3.6	12/12	7.4	3/12	105	ⅣH16g	黒褐色土層						19	
388	灰釉天目茶碗	ⅡB	11.9	2/12	3.5	12/12	7.0	5/12	120	d2d3	北壁2層						19	
389	灰釉天目茶碗	ⅡB	12.0	4/12	2.7	12/12	6.6	6/12	150	c1c2	北壁4層						19	42
390	灰釉天目茶碗	ⅡB	11.7	3/12	3.1	12/12	6.7	4/12	120	c3	黒色灰層上層						19	
391	灰釉天目茶碗	ⅡB	−	−	3.3	12/12	(5.9)	5/12	150	c1c2	北壁4層						19	
392	灰釉天目茶碗	ⅡB	−	−	3.0	12/12	(5.6)	4/12	90	d2c2	東壁3層						19	
393	灰釉天目茶碗	ⅡB	−	−	3.0	12/12	(4.5)	3/12	90	98	表採						19	
394	灰釉天目茶碗	ⅡC	12.7	2/12	3.6	12/12	6.4	6/12	135	e4d4	東壁5層						19	
395	灰釉天目茶碗	ⅡC	12.4	1/12	3.8	12/12	6.7	5/12	105	99B	黒褐色土層						19	
396	灰釉天目茶碗	ⅡC	12.6	2/12	3.5	12/12	7.2	8/12	205	d3	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						19	
397	灰釉天目茶碗	ⅡC	12.2	4/12	4.1	12/12	8.0	9/12	270	ⅣH14g	灰層上層						19	42
398	灰釉天目茶碗	ⅡC	−	−	3.3	12/12	(5.7)	4/12	135	d4	黒色灰層上層						19	
399	灰釉天目茶碗	ⅡD	11.9	3/12	4.1	12/12	7.3	4/12	105	d3	黒色灰層上層						19	
400	灰釉天目茶碗	ⅡD	−	−	3.7	6/12	(5.1)	3/12	80	c4	黒色灰層上層						19	
401	灰釉天目茶碗	ⅡD	−	−	4.4	12/12	(5.0)	3/12	90	c2c3	北壁4層						19	
402	灰釉天目茶碗	ⅡD	−	−	3.7	12/12	(3.1)	2/12	50	f3	検出						19	
403	灰釉天目茶碗	ⅡD	−	−	3.5	12/12	(3.5)	2/12	70	f2	黒色灰層中						19	
404	灰釉天目茶碗	ⅡD	−	−	3.8	12/12	(3.1)	3/12	70	c3	黒色灰層上層						19	
405	灰釉天目茶碗	ⅡD	−	−	3.4	11/12	(3.1)	1/12	60	e4d4	東壁5層						19	
406	灰釉天目茶碗	ⅡD	−	−	3.5	12/12	(2.7)	2/12	60	e2d2	東壁4層						19	
407	灰釉天目茶碗	ⅡD	12.3	2/12	3.8	12/12	7.0	6/12	180	d4	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						19	
408	灰釉天目茶碗	ⅡE	12.1	3/12	3.7	12/12	6.5	5/12	140	c2c3	北壁1層						19	
409	灰釉天目茶碗	ⅡE	11.7	1/12	3.3	4/12	6.7	5/12	125	g2g3	北壁3層						19	
410	灰釉天目茶碗	ⅡE	12.1	3/12	3.8	5/12	6.7	4/12	105	ⅣH15g	黒褐色土層						19	
411	灰釉天目茶碗	ⅡE	12.2	3/12	3.7	9/12	6.8	6/12	160	e3d3	東壁5層						19	
412	灰釉天目茶碗	ⅡE	12.8	1/12	3.9	12/12	6.9	2/12	110	f3f4	北壁9層						19	
413	灰釉天目茶碗	ⅡE	12.5	3/12	3.6	12/12	6.8	5/12	140	ⅣH10h	検出	№2					20	
414	灰釉天目茶碗	ⅡF	−	−	3.7	12/12	(6.7)	3/12	105	e2	東壁5層						20	
415	灰釉天目茶碗	ⅡF	−	−	3.5	8/12	(5.5)	3/12	125	e2	検出						20	
416	灰釉天目茶碗	ⅡF	−	−	3.6	11/12	(4.5)	3/12	125	d3	黒色灰層5層						20	
417	灰釉天目茶碗	ⅡF	−	−	3.6	12/12	(3.6)	2/12	80	d4	黒色灰層上層,焼台多い						20	
418	灰釉天目茶碗	ⅡF	−	−	3.4	9/12	(5.4)	3/12	85	e2	検出						20	
419	灰釉天目茶碗	ⅡF	−	−	3.7	11/12	(4.5)	4/12	130	f4	東壁4層						20	
420	灰釉天目茶碗	ⅡF	−	−	3.5	12/12	(3.9)	2/12	55	f3	検出						20	
421	灰釉天目茶碗	ⅡG	−	−	3.2	11/12	(2.9)	1/12	75	g4.5							20	
422	灰釉天目茶碗	ⅡH	12.0	3/12	−	−	(5.9)	1/12	60	c2	黒色灰層上層						20	
423	灰釉天目茶碗	ⅡI	12.4	3/12	4.6	5/12	6.1	3/12	55	ⅣH15g	黒褐色土層						20	
424	灰釉天目茶碗	ⅡI	12.3	1/12	3.4	5/12	6.4	2/12	60	f2	北トレンチ下層						20	
425	灰釉天目茶碗	ⅡI	11.8	2/12	4.0	6/12	6.8	2/12	60	c3	黒色灰層上層						20	
426	灰釉天目茶碗	ⅡI	11.8	1/12	3.7	12/12	6.1	6/12	95	c3	黒色灰層上層			内面鉄釉			20	43
427	灰釉天目茶碗	ⅡJ	12.2	11/12	3.7	12/12	6.5	11/12	215	ⅣH11d	検出	№3,分②					20	43
428	灰釉天目茶碗	ⅡJ	12.6	3/12	−	−	(6.5)	3/12	65	d3	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						20	
429	灰釉天目茶碗	ⅡJ	13.0	5/12	3.8	12/12	7.3	7/12	165	d2	東壁2層	分-5					20	
430	灰釉天目茶碗	ⅡJ	13.2	2/12	−	−	(5.7)	1/12	60	d1d2	北壁4層						20	
431	灰釉天目茶碗	ⅡJ	12.3	2/12	−	−	(5.8)	2/12	50	c3	黒色灰層下層						20	
432	灰釉天目茶碗	ⅡJ	11.4	3/12	−	−	(5.9)	4/12	55	d3c3	東壁6層						20	
433	灰釉天目茶碗	ⅡK	11.3	3/12	−	−	(5.4)	2/12	45	f3	検出						20	
434	灰釉天目茶碗	ⅡK	11.8	3/12	−	−	(6.0)	3/12	55	g4f4	東壁2層						20	
435	灰釉天目茶碗	ⅡL	12.7	1/12	3.2	12/12	6.7	4/12	70	f2f3	北壁3層 (3a)						20	
436	灰釉天目茶碗	ⅡL	12.4	3/12	−	−	(6.1)	3/12	65	f3	検出						20	
437	灰釉天目茶碗	ⅡL	12.2	2/12	−	−	(5.7)	2/12	55	d3	黒色灰層下層						20	
438	灰釉天目茶碗	ⅡL	12.1	2/12	−	−	(5.0)	1/12	40	c2	検出						20	
439	灰釉天目茶碗	ⅡL	11.2	3/12	−	−	(4.2)	1/12	30	f2	検出						20	
440	灰釉天目茶碗	ⅡL	10.5	2/12	−	−	(5.4)	2/12	35	f2	北トレンチ						20	
441	灰釉天目茶碗	ⅡN	−	−	2.7	12/12	(4.0)	4/12	55	d4c4	東壁1層						20	
442	灰釉天目茶碗	ⅡN	−	−	−	−	(3.0)	1/12	15	98	表採						20	
443	平碗	1	17.6	1/12	4.8	12/12	7.6	6/12	360	d3	黒色灰層		平Ⅲc	①	後Ⅰ		21	43
444	平碗	1	16.0	2/12	5.3	12/12	7.2	2/12	675	e2	検出		平Ⅲc	①			21	
445	平碗	1	16.0	1/12	4.8	12/12	8.3	1/12	155	e4e5	北壁2層		平Ⅲc	①	中Ⅳ		21	
446	平碗	1	15.8	1/12	5.2	12/12	7.6	4/12	270	e2	黒色灰層下層メインベルト		平Ⅲc	①	中Ⅳ		21	
447	平碗	1	16.0	12/12	5.2	12/12	8.1	11/12	475	ⅣH16h	褐色土層	№5	平Ⅲc	①	中Ⅳ		21	43
448	平碗	1	15.3	11/12	5.3	6/12	7.7	11/12	480	ⅣH16h	褐色土層	№4	平Ⅲc	①	中Ⅳ		21	43
449	平碗	1	14.6	1/12	5.8	4/12	7.8	2/12	90	e2	下層		平Ⅲc	①			21	
450	平碗	1	15.5	7/12	5.0	12/12	7.9	12/12	365	d2	黒褐色土層		平Ⅲc	①	中Ⅳ		21	
451	平碗	1	13.2	5/12	5.2	5/12	2.9	5/12	110	d1	黒色灰層上層		平Ⅲc	①	後Ⅱ		21	
452	平碗	1	13.0	4/12	4.1	3/12	5.9	4/12	130	e5d5	東壁3層		平Ⅲc	①	中Ⅳ		21	
453	平碗	1	11.8	3/12	4.4	4/12	5.8	3/12	55	e2d2	東壁5層		平Ⅰb	①	後Ⅰ		21	
454	平碗	1	11.4	2/12	4.2	12/12	6.3	3/12	185	e4	黒色灰層最下部,褐色土直上		平Ⅲc	①	中Ⅳ		21	
455	平碗	2	13.2	1/12	4.5	6/12	7.0	4/12	295	e2e3	北壁7層		平Ⅲc	②	中Ⅳ		21	
456	平碗	2	10.8	1/12	4.3	11/12	5.3	1/12	105	d4	表土		平Ⅳc	②	中Ⅳ		21	
457	平碗	2	−	−	6.3	10/12	(5.4)	3/12	265	98	表採	分②	平Ⅲc	②	中Ⅳ		21	
458	平碗	2	16.8	1/12	5.7	6/12	7.1	2/12	100	c1	西壁2層		平Ⅲc	②			21	
459	平碗	2	15.5	1/12	5.5	9/12	5.9	3/12	140	d1	褐色砂層,地山直上		平Ⅲc	②	中Ⅳ		21	
460	平碗	2	15.2	1/12	5.6	12/12	7.0	5/12	205	d1	黒色灰層下層		平Ⅲc	②	中Ⅳ		21	
461	平碗	2	14.3	1/12	5.8	7/12	7.1	3/12	105	e3d3	東壁5層		平Ⅲc	②			21	
462	平碗	2	−	−	5.3	12/12	(3.6)	1/12	255	f2	北トレンチ下層		平Ⅲ	②			21	
463	平碗	3	14.7	1/12	5.0	4/12	5.9	4/12	135	e2	黒色灰層下層メインベルト		平Ⅲb	③	中Ⅳ		21	
464	平碗	3	14.1	3/12	5.0	1/12	6.5	3/12	55	d2	黒色灰層下層		平Ⅲc	③			21	
465	平碗	3	14.4	2/12	5.1	4/12	6.5	3/12	100	d2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる		平Ⅲc	③			21	
466	平碗	3	14.9	1/12	4.8	4/12	6.1	3/12	100	e3d3	東壁5層		平Ⅲc	③	中Ⅳ		21	
467	平碗	4	15.4	1/12	5.8	7/12	8.3	3/12	150	e2d2	東壁5層		平Ⅲc	④	後Ⅰ		22	
468	平碗	4	−	−	5.2	12/12	(8.4)	1/12	150	f2	黒色灰層中		平Ⅲc	④	後Ⅰ		22	
469	平碗	4	14.9	2/12	4.5	12/12	6.1	3/12	185	f3	検出		平Ⅲc	④	後Ⅰ		22	
470	平碗	4	−	−	5.6	12/12	(5.2)	1/12	180	f2	北トレンチ		平Ⅲ	④			22	
471	平碗	4	−	−	5.6	12/12	(4.2)	1/12	115	g3	黒色灰層上層		平Ⅲ	④			22	
472	平碗	4	−	−	5.4	12/12	(3.2)	3/12	170	d4	黒色灰層下層,褐色土多く混じる		平Ⅲc	④	中Ⅳ		22	
473	平碗	4	−	−	5.1	12/12	(3.2)	1/12	105	f2	黒色灰層上層		平Ⅲ	④			22	
474	平碗	4	11.0	1/12	5.0	4/12	6.7	4/12	90	e2d2	東壁セクション		平Ⅲc+縁ⅡC	④	中Ⅳ		22	
475	平碗	4	12.5	1/12	5.2	10/12	6.9	2/12	120	e3d3	東壁5層		平Ⅲc	④	中Ⅳ		22	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
476	平碗	5	15.7	3/12	5.7	9/12	6.6	4/12	475	d2	検出		平Ⅲc	⑤			22	
477	平碗	5	16.1	4/12	5.4	10/12	7.9	5/12	250	d1	黒色灰層上層		平Ⅳc	⑤			22	
478	平碗	5	15.5	3/12	5.6	6/12	7.6	4/12	210	d1d2	北壁7層		平Ⅲc	⑤			22	
479	平碗	5	16.0	1/12	5.4	12/12	7.2	5/12	185	d1d25	北壁7層		平Ⅲc	⑤			22	
480	平碗	5	15.6	3/12	5.2	10/12	5.9	8/12	1045	d6	灰褐色上層		平Ⅲc+緑ⅡB	⑤	後Ⅰ		22	
481	平碗	5	15.4	1/12	5.0	10/12	6.8	3/12	145	e3	黒色灰層下層,褐色土混じる		平Ⅲc	⑤			22	
482	平碗	5	13.6	1/12	5.2	12/12	6.3	3/12	190	e2	検出		平Ⅲc	⑤	中Ⅳ		22	
483	平碗	5	14.6	2/12	5.0	12/12	5.6	4/12	120	e3	黒色灰層下層,赤褐色土混じる		平Ⅲc	⑤			22	
484	平碗	5	15.3	3/12	5.7	5/12	6.2	3/12	90	b2	黒色灰層下層,褐色土混じる		平Ⅲc	⑤			22	
485	平碗	5	13.6	3/12	4.7	4/12	6.6	3/12	85	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる		平Ⅲc	⑤	中Ⅳ		22	
486	平碗	5	14.4	2/12	4.5	12/12	6.5	3/12	150	d2	黒色土層上層		平Ⅲc	⑤	中Ⅳ		22	
487	平碗	5	14.3	1/12	5.2	3/12	7.0	2/12	85	f2	北トレンチ下層		平Ⅲc	⑤	中Ⅳ		22	
488	平碗	5	13.6	1/12	4.6	9/12	6.5	3/12	110	e2	表土		平Ⅲc	⑤			22	
489	平碗	5	−	−	5.3	10/12	(4.9)	1/12	115	g4f4	東壁2層		平Ⅲ	⑤			22	
490	平碗	5	−	−	5.0	12/12	(4.4)	1/12	85	e2	黒色灰層上層メインセクション		平Ⅲ	⑤			22	
491	平碗	6	17.2	3/12	5.2	3/12	7.9	4/12	200	b2	表土		平Ⅲc	⑥	後Ⅰ		23	
492	平碗	6	17.1	2/12	5.0	1/12	7.4	2/12	85	e2	黒色灰層上層		平Ⅲc	⑥	後Ⅰ		23	
493	平碗	6	16.4	1/12	5.2	4/12	6.7	2/12	60	d2d3	北壁1層		平Ⅲc	⑥	後Ⅰ		23	
494	平碗	6	15.8	1/12	4.8	5/12	6.9	2/12	65	c1	黒色灰層下層		平Ⅲc	⑥	後Ⅰ		23	
495	平碗	6	15.9	1/12	5.0	8/12	6.4	2/12	95	e3d3	東壁5層		平Ⅲc	⑥	後Ⅰ		23	
496	平碗	6	15.8	3/12	4.9	5/12	6.0	3/12	90	d4	黒色灰層上層		平Ⅲc	⑥	後Ⅰ		23	
497	平碗	6	15.0	3/12	4.9	7/12	6.2	3/12	125	f2f3	北壁2層		平Ⅲc	⑥	後Ⅰ		23	
498	平碗	6	15.0	1/12	5.1	12/12	6.4	3/12	120	f2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる		平Ⅲc	⑥	後Ⅰ		23	
499	平碗	6	16.4	1/12	5.3	5/12	7.3	3/12	115	d2d3	北壁6層		平Ⅲc	⑥	後Ⅰ		23	
500	平碗	6	15.1	1/12	5.2	1/12	6.0	2/12	50	d2	検出		平Ⅲc	⑥	後Ⅰ		23	
501	平碗	6	14.9	1/12	5.0	12/12	6.0	3/12	120	e2	黒色灰層上層		平Ⅲc	⑥	後Ⅰ		23	
502	平碗	6	14.9	2/12	4.9	12/12	5.8	4/12	135	e4	黒色灰層上層,褐色土混じる	分②	平Ⅲc	⑥	後Ⅰ		23	
503	平碗	6	14.3	1/12	4.8	3/12	5.6	3/12	55	d2	検出	分②	平Ⅲc	⑥	後Ⅰ		23	
504	平碗	6	14.0	1/12	5.0	7/12	5.8	2/12	70	g3	黒色灰層上層		平Ⅲc	⑥			23	
505	平碗	6	15.2	2/12	5.0	4/12	5.3	3/12	95	e2	黒色灰層上層メインベルト		平Ⅲc	⑥	後Ⅱ		23	
506	平碗	6	15.4	3/12	5.0	5/12	6.5	2/12	80	f2	北トレンチ		平Ⅲc	⑥	後Ⅰ		23	
507	平碗	6	14.3	2/12	5.8	3/12	7.8	4/12	90	c2	黒色灰層下層,褐色土混じる	分②	平Ⅲc	⑥	後Ⅰ		23	
508	平碗	6	14.5	1/12	4.9	12/12	7.1	1/12	90	c1	黒色灰層下層		平Ⅲc	⑥	後Ⅰ		23	
509	平碗	6	14.7	1/12	5.8	7/12	7.6	5/12	150	d2c2	東壁3層	分②	平Ⅲc	⑥	後Ⅰ		23	
510	平碗	6	14.2	1/12	4.7	1/12	7.3	1/12	45	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる		平Ⅲc	⑥			23	
511	平碗	6	13.6	3/12	4.3	12/12	6.5	6/12	170	b2	検出		平Ⅲc	⑥	後Ⅰ		23	
512	平碗	6	−	−	4.2	12/12	(3.6)	4/12	95	d1	黒色灰層		平Ⅲ	⑥			23	
513	平碗	6	−	−	5.7	9/12	(3.1)	1/12	180	d2	黒色灰層上層		平Ⅲ	⑥	後Ⅰ		23	
514	平碗	6	−	−	5.2	12/12	(2.6)	1/12	55	c1c2	北壁4層		平Ⅲ	⑥			23	
515	平碗	7	18.6	2/12	5.4	7/12	6.6	4/12	150	c3	黒色灰層下層,褐色土混じる		平Ⅱb	7-0	後Ⅱ		24	
516	平碗	7	18.0	2/12	5.5	12/12	6.5	5/12	145	f2	北トレンチ		平Ⅰb	7-0	後Ⅱ		24	
517	平碗	7	18.1	3/12	5.2	9/12	6.8	5/12	190	g3	東トレンチ		平Ⅰa	7-0	後Ⅱ		24	
518	平碗	7	16.1	1/12	4.9	12/12	6.1	5/12	200	f2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる		平Ⅰa	7-0	後Ⅱ		24	
519	平碗	7	16.0	4/12	5.4	10/12	6.6	5/12	210	d3	黒色灰層上層		平Ⅳc	7-0			24	
520	平碗	7	16.2	12/12	4.6	12/12	7.0	12/12	340	ⅣH14h	整地層149層	№61	平Ⅰb	不明			24	43
521	平碗	7	15.2	3/12	4.9	12/12	5.8	5/12	180	e3	検出		平Ⅰa	不明	後Ⅱ		24	
522	平碗	7	16.1	1/12	4.4	12/12	6.3	4/12	135	e2	黒色灰層下層		平Ⅱb	不明	後Ⅱ		24	
523	平碗	7	16.1	3/12	4.7	4/12	5.8	3/12	170	f4	表土		平Ⅰa	不明	後Ⅱ		24	
524	平碗	7	14.6	2/12	4.5	12/12	5.1	4/12	155	f4e4	東壁2層		平Ⅰb	不明	後Ⅱ		24	
525	平碗	7	15.3	3/12	4.8	5/12	6.2	4/12	130	f2e2	東壁6層		平Ⅰb	不明	後Ⅱ		24	
526	平碗	7	15.4	4/12	5.6	6/12	6.3	5/12	135	c1	黒色灰層上層		平Ⅳ	不明	後Ⅱ		24	
527	平碗	7	15.1	4/12	5.0	9/12	6.2	5/12	160	f2	北トレンチ		平Ⅱb	不明	後Ⅱ		24	
528	平碗	7	15.4	3/12	4.8	12/12	6.1	4/12	210	g2	東トレンチ		平Ⅱa	不明	後Ⅱ		24	
529	平碗	7	15.2	2/12	5.0	5/12	6.6	3/12	100	d2	黒色灰層下層	分-11	平Ⅰa	不明			24	
530	平碗	7	15.0	6/12	4.9	12/12	6.3	9/12	240	ⅣH13g,ⅣH14g	南壁6層		平Ⅰb	不明			24	43
531	平碗	7	15.2	3/12	5.1	12/12	6.2	5/12	190	g3	黒色灰層下層,赤褐色土混じる		平Ⅰa		後Ⅱ		24	
532	平碗	7	14.0	1/12	4.6	6/12	6.0	2/12	50	ⅣH15g	南北トレンチ灰層下層		平ⅠSK	不明			24	44
533	平碗	7	14.2	2/12	4.7	12/12	6.2	5/12	155	g3	東トレンチ		平Ⅱa	7-0	後Ⅱ		24	
534	平碗	7	13.9	3/12	4.9	12/12	5.7	3/12	125	d2	黒色灰層上層		平Ⅰa	7-0			24	
535	平碗	7	13.2	3/12	4.3	12/12	5.3	5/12	120	e2	黒色灰層下層メインベルト		平Ⅰa	7-0	後Ⅱ		24	
536	平碗	7	13.4	4/12	4.3	12/12	5.3	5/12	115	d2d3	北壁4層		平Ⅰa	7-0	後Ⅱ		24	
537	平碗	7	13.8	1/12	−	−	(6.0)	1/12	40	g3	東トレンチ		平Ⅲc	7-0	後Ⅱ		24	
538	平碗	7	−	−	5.2	5/12	(4.8)	1/12	115	e4	黒色灰層最下部,褐色土直上		平Ⅱb	7-0	後Ⅱ		24	
539	平碗	8	18.1	2/12	4.9	6/12	6.8	4/12	130	c1c2	北壁1層		平Ⅰa	7-1	後Ⅱ		25	
540	平碗	8	18.0	1/12	4.8	12/12	7.4	2/12	175	f2	北トレンチ下層		平Ⅱa	7-1	後Ⅲ		25	
541	平碗	8	18.6	3/12	4.7	12/12	7.2	4/12	230	d3	黒色灰層上層		平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		25	43
542	平碗	8	18.0	2/12	5.0	7/12	7.0	3/12	255	d1d2	北壁5層		平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		25	
543	平碗	8	18.6	3/12	5.4	12/12	6.8	4/12	235	d2	検出		平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		25	
544	平碗	8	18.8	2/12	−	−	(6.0)	1/12	80	g3	東トレンチ		平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		25	
545	平碗	8	17.2	3/12	5.2	6/12	7.4	4/12	150	c2c3	北壁4層		平Ⅱa	7-1	後Ⅰ		25	
546	平碗	8	16.8	1/12	4.8	12/12	6.8	2/12	140	c3	黒色灰層上層		平Ⅱb	7-1	後Ⅱ		25	
547	平碗	8	17.4	4/12	5.3	12/12	8.5	8/12	320	e2	黒色灰層上層		平Ⅰa	7-1	後Ⅱ		25	44
548	平碗	8	18.2	2/12	5.7	12/12	7.8	7/12	232	ⅣH16g	黒褐色土層	分-10	平Ⅳc	不明			25	
549	平碗	8	16.8	1/12	5.2	12/12	7.2	4/12	170	d2	黒色灰層上層		平Ⅱb	不明	後Ⅱ		25	
550	平碗	8	15.8	2/12	5.0	4/12	6.8	3/12	130	c3	黒色灰層下層,褐色土混じる		平Ⅱb	7-1	後Ⅱ		25	
551	平碗	8	17.0	4/12	4.8	12/12	6.9	4/12	195	c3c4	北壁1層		平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		25	
552	平碗	8	15.6	2/12	4.2	12/12	6.6	3/12	135	c2	検出		平Ⅱb	7-1	後Ⅱ		25	
553	平碗	8	18.0	2/12	5.6	5/12	7.0	3/12	125	f4	黒色灰層上層		平Ⅱb	7-1	後Ⅱ		25	
554	平碗	8	17.0	2/12	5.2	10/12	6.9	4/12	160	c2d2	東壁3層		平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		25	
555	平碗	8	17.4	3/12	5.0	5/12	6.9	4/12	140	c2	黒色灰層下層		平Ⅱb	7-1	後Ⅱ		25	
556	平碗	8	16.2	1/12	4.4	12/12	6.1	3/12	140	d2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる		平Ⅱb	7-1	後Ⅱ		25	
557	平碗	8	16.9	12/12	4.3	12/12	6.7	12/12	325	ⅣH12j	トレンチ1	№1	平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		25	44
558	平碗	8	17.0	1/12	5.0	7/12	6.3	4/12	175	c3	黒色灰層上層		平Ⅰa	7-1	後Ⅲ		25	
559	平碗	8	17.0	2/12	5.4	12/12	6.1	3/12	135	c2c3	北壁4層		平Ⅱb	7-1	後Ⅱ		25	
560	平碗	8	16.8	2/12	4.4	6/12	6.2	4/12	145	f2e2	東壁5層		平Ⅰa	7-1	後Ⅱ		25	
561	平碗	8	16.4	1/12	5.0	12/12	5.5	3/12	200	d3	黒色灰層上層		平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		25	
562	平碗	8	16.3	3/12	5.2	12/12	6.3	7/12	260	c1	黒色灰層下層		平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		25	
563	平碗	8	16.8	1/12	4.9	5/12	6.5	3/12	145	e2	検出		平Ⅱb	7-1	後Ⅲ		26	
564	平碗	8	16.2	4/12	5.6	8/12	7.1	6/12	310	e2	黒色灰層下層メインベルト		平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		26	
565	平碗	8	16.2	2/12	4.4	9/12	6.6	4/12	185	f3	検出		平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		26	
566	平碗	8	16.9	2/12	5.0	5/12	6.5	3/12	125	e3d3	東壁4層		平Ⅱb	7-1	後Ⅱ		26	
567	平碗	8	15.8	3/12	4.8	9/12	6.4	6/12	160	e2e3	北壁木の根		平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		26	
568	平碗	8	16.2	5/12	4.8	12/12	6.5	4/12	225	e2	検出		平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		26	
569	平碗	8	15.6	2/12	4.0	4/12	6.0	4/12	115	f2	北トレンチ下層		平Ⅱb	7-1	後Ⅱ		26	
570	平碗	8	16.5	2/12	4.6	8/12	6.0	2/12	105	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる		平Ⅱa	7-1			26	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
571	平碗	8	15.3	3/12	4.0	12/12	6.0	4/12	160	b3c3	西壁2層		平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		26	
572	平碗	8	15.4	7/12	4.1	12/12	6.2	10/12	265	Ⅳ H12e	検出	No. 30	平Ⅰb	不明			26	
573	平碗	8	14.9	3/12	5.0	11/12	5.8	4/12	125	d4	表土		平Ⅰa	7-1	後Ⅱ		26	
574	平碗	8	15.8	2/12	5.0	4/12	6.6	3/12	300	d3	黒色灰層上層		平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		26	
575	平碗	8	15.9	11/12	4.7	12/12	6.9	12/12	350	Ⅳ H11e	検出	No. 2	平Ⅱa	7-1	後Ⅱ		26	44
576	平碗	8	15.8	1/12	4.3	8/12	6.7	5/12	150	b3c3	西壁2層		平Ⅰa	7-1	後Ⅱ		26	
577	平碗	8	16.2	2/12	4.8	12/12	6.1	3/12	300	d4	黒色灰層上層		平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		26	
578	平碗	8	16.0	3/12	4.6	8/12	6.3	5/12	140	98	表採		平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		26	
579	平碗	8	15.6	3/12	4.8	7/12	6.1	4/12	110	c2	黒色灰層下層		平Ⅱb	7-1	後Ⅱ		26	
580	平碗	8	15.2	1/12	4.2	12/12	6.1	2/12	115	f2	検出		平Ⅱb	7-1	後Ⅱ		26	
581	平碗	8	14.8	1/12	4.9	4/12	5.5	3/12	80	f4	表土		平Ⅰa	7-1	後Ⅱ		26	
582	平碗	8	14.2	3/12	4.9	6/12	6.0	4/12	200	d1	黒色灰層上層		平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		26	
583	平碗	8	14.2	3/12	4.9	6/12	6.0	4/12	120	e3	検出（下層）		平Ⅰa	7-1	後Ⅱ		26	
584	平碗	8	14.4	3/12	4.6	12/12	5.7	4/12	180	f2	北トレンチ		平Ⅰa	7-1	後Ⅱ		26	
585	平碗	8	15.6	2/12	5.0	7/12	5.4	3/12	125	d1	黒色灰層上層		平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		26	
586	平碗	8	15.1	2/12	5.0	12/12	6.7	2/12	145	c3	黒色灰層下層,褐色土混じる		平Ⅰa	7-1			26	
587	平碗	8	15.2	12/12	5.0	12/12	6.5	12/12	275	Ⅳ H14h	10層直上	No. 70	平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		27	
588	平碗	8	14.6	3/12	5.0	12/12	6.4	5/12	240	e2e3	北壁7層		平Ⅳc	7-1			27	
589	平碗	8	14.6	4/12	4.2	6/12	6.0	6/12	130	d2d3	北壁4層		平Ⅱb	7-1			27	
590	平碗	8	14.0	1/12	5.0	9/12	5.6	3/12	145	e2	検出		平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		27	
591	平碗	8	16.0	1/12	4.4	12/12	5.3	6/12	145	d2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる		平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		27	44
592	平碗	8	14.5	1/12	4.6	8/12	6.9	4/12	165	e2	黒色灰層上層	分-8	平Ⅰa	不明			27	
593	平碗	8	14.8	2/12	4.8	12/12	5.5	4/12	305	f3	検出		平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		27	
594	平碗	8	14.2	4/12	4.4	12/12	5.4	5/12	210	f3	検出（下層）		平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		27	
595	平碗	8	14.1	3/12	4.2	12/12	5.5	5/12	90	c3	黒色灰層下層		平Ⅱa	7-1			27	
596	平碗	8	14.7	5/12	4.3	12/12	5.4	5/12	175	c2	検出		平Ⅰa	7-1	後Ⅰ		27	
597	平碗	8	14.6	3/12	4.6	12/12	5.1	5/12	170	f2	検出		平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		27	
598	平碗	8	15.0	1/12	4.8	12/12	5.6	5/12	220	f2	表採		平Ⅰb	7-1	後Ⅱ		27	
599	平碗	9	18.2	2/12	5.0	12/12	7.1	3/12	200	b1b2	北壁1層		平Ⅰa	7-2	後Ⅱ		27	
600	平碗	9	17.8	2/12	5.6	12/12	6.5	5/12	225	e2d2	東壁5層		平Ⅰa	7-2	後Ⅱ		27	
601	平碗	9	18.0	4/12	5.3	7/12	6.9	4/12	225	d2	検出		平Ⅰa	7-2	後Ⅱ		27	
602	平碗	9	16.8	1/12	4.8	6/12	6.2	3/12	110	f4	表土		平Ⅰa	7-2	後Ⅱ		27	
603	平碗	9	17.2	2/12	5.1	3/12	6.4	2/12	100	c3	黒色灰層下層,褐色土混じる		平Ⅱa	7-2	後Ⅲ		27	
604	平碗	9	17.2	1/12	5.5	9/12	7.0	4/12	190	f3e3	南壁11層		平Ⅰb	7-2	後Ⅲ		27	
605	平碗	9	17.4	1/12	4.7	12/12	6.0	4/12	160	b3c3	西壁3層		平Ⅰb	7-2	後Ⅱ		27	
606	平碗	9	17.0	1/12	4.9	4/12	6.2	1/12	90	c3	黒色灰層下層,褐色土混じる		平Ⅲc	7-2	後Ⅱ		27	
607	平碗	9	17.2	1/12	4.3	12/12	6.8	2/12	115	c2d2	東壁3層		平Ⅰa	7-2	後Ⅲ		27	
608	平碗	9	18.2	4/12	5.4	8/12	6.4	5/12	190	c3	黒色灰層上層		平Ⅰb	7-2	後Ⅲ		27	
609	平碗	9	16.8	6/12	5.1	12/12	5.6	6/12	255	f2	黒色灰層上層		平Ⅰa	7-2	後Ⅱ		27	
610	平碗	9	16.7	3/12	5.2	9/12	6.1	4/12	160	d1	黒色灰層		平Ⅰb	7-2	後Ⅱ		27	
611	平碗	9	16.6	11/12	4.8	12/12	7.3	12/12	315	Ⅳ H14h	西壁130層		平Ⅰb	不明			27	45
612	平碗	9	15.9	4/12	4.8	9/12	6.5	4/12	170	b1	黒色灰層		平Ⅱb	7-2	後Ⅱ		27	
613	平碗	9	17.0	2/12	4.6	12/12	6.0	3/12	140	f2	北トレンチ		平Ⅰa	7-2	後Ⅱ		28	
614	平碗	9	16.4	1/12	4.6	12/12	6.1	3/12	135	d3	黒色灰層上層		平Ⅰa	7-2	後Ⅱ		28	
615	平碗	9	16.7	2/12	5.0	7/12	6.2	2/12	100	c1	黒色灰層下層		平Ⅰb	7-2			28	
616	平碗	9	16.0	5/12	5.0	6/12	6.1	6/12	180	c1c2	北壁1層		平Ⅰa	7-2	後Ⅱ		28	
617	平碗	9	16.6	1/12	4.8	12/12	6.1	3/12	207	e3	黒色灰層下層	分-9	平Ⅰb	不明			28	
618	平碗	9	16.3	3/12	5.0	8/12	6.4	4/12	175	d1	黒色灰層上層		平Ⅱa	7-2	後Ⅲ		28	
619	平碗	9	16.2	2/12	5.0	10/12	7.2	5/12	135	c2	検出		平Ⅱa	7-2	後Ⅰ		28	
620	平碗	9	15.6	2/12	4.2	12/12	6.8	6/12	255	e4	黒色灰層最下部,褐色土直上		平Ⅰb	7-2			28	
621	平碗	9	16.2	4/12	4.6	10/12	6.3	5/12	180	d1	黒色灰層上層		平Ⅱb	7-2	後Ⅲ		28	
622	平碗	9	16.4	2/12	4.4	12/12	6.0	3/12	130	f2	北トレンチ下層		平Ⅰa	7-2	後Ⅱ		28	
623	平碗	9	16.5	2/12	4.9	12/12	6.5	5/12	215	f3	検出		平Ⅰb	7-2	後Ⅱ		28	
624	平碗	9	16.1	2/12	4.3	12/12	6.8	3/12	140	c3	黒色灰層下層,褐色土混じる		平Ⅰa	7-2	後Ⅱ		28	
625	平碗	9	16.2	2/12	4.4	12/12	6.2	5/12	145	d2	黒色灰層		平Ⅱb	7-2	後Ⅲ		28	
626	平碗	9	16.3	4/12	5.2	6/12	6.6	4/12	160	e3	検出（下層）		平Ⅰa	7-2	後Ⅲ		28	
627	平碗	9	16.0	3/12	4.4	12/12	6.4	5/12	180	d4	黒色灰層上層,焼台多い		平Ⅰb	7-2	後Ⅱ		28	
628	平碗	9	15.8	3/12	4.8	12/12	6.4	4/12	180	f3	検出		平Ⅰb	7-2	後Ⅱ		28	
629	平碗	9	15.4	4/12	4.4	11/12	5.9	4/12	155	g2	東トレンチ		平Ⅰb	7-2	後Ⅱ		28	
630	平碗	9	15.8	8/12	4.7	12/12	6.1	10/12	290	Ⅳ H13i	100層		平Ⅰa	不明			28	45
631	平碗	9	16.1	2/12	4.4	7/12	6.2	3/12	105	c1	黒色灰層下層		平Ⅰa	7-2	後Ⅲ		28	
632	平碗	9	16.0	2/12	4.7	2/12	6.2	3/12	105	b3	黒色灰層上層		平Ⅱb	7-2	後Ⅱ		28	
633	平碗	9	15.8	2/12	4.6	12/12	6.2	4/12	210	c3	黒色灰層上層		平Ⅰa	7-2	後Ⅱ		28	
634	平碗	9	15.9	1/12	4.7	12/12	6.3	6/12	146	d3	黒色灰層上層	分-7	平Ⅰa	不明			28	
635	平碗	9	14.8	4/12	4.2	4/12	6.5	4/12	105	e3	検出（下層）		平Ⅰb	7-2	後Ⅱ		28	
636	平碗	9	14.9	4/12	4.4	6/12	6.5	5/12	115	e2	黒色灰層下層		平Ⅰa	7-2	後Ⅱ		28	
637	平碗	9	14.6	1/12	4.6	12/12	6.5	5/12	170	f4	表土		平Ⅰa	7-2	後Ⅱ		28	
638	平碗	9	14.0	4/12	5.2	12/12	6.5	4/12	205	c4	黒色灰層上層		平Ⅰa	7-2	後Ⅱ		28	
639	平碗	9	15.5	3/12	3.9	12/12	5.7	4/12	190	c2	検出		平Ⅱb	7-2	後Ⅰ		29	
640	平碗	9	15.6	5/12	4.5	12/12	5.6	7/12	195	b2	検出		平Ⅰa	7-2	後Ⅱ		29	
641	平碗	9	15.0	11/12	4.2	12/12	6.7	11/12	280	e4	検出	No. 1	平Ⅰb	7-2	後Ⅱ		29	
642	平碗	10	18.6	3/12	5.4	2/12	6.5	2/12	105	d2	黒色灰層上層		平Ⅰb	8-1	後Ⅱ		29	44
643	平碗	10	18.5	2/12	6.0	11/12	6.8	4/12	215	e2	検出		平Ⅰb	8-1	後Ⅱ		29	
644	平碗	10	17.5	3/12	4.6	12/12	6.9	4/12	210	c2	黒色灰層下層		平Ⅱb	8-1	後Ⅰ		29	
645	平碗	10	17.4	3/12	5.6	6/12	7.0	3/12	145	b2	検出		平Ⅰa	8-1	後Ⅱ		29	
646	平碗	10	17.1	2/12	5.2	12/12	6.0	5/12	215	b1b2	北壁2層		平Ⅰb	8-1	後Ⅱ		29	
647	平碗	10	17.3	5/12	5.5	12/12	6.7	6/12	220	d2	検出		平Ⅰa	8-1	後Ⅱ		29	
648	平碗	10	16.1	1/12	4.8	12/12	7.0	7/12	265	f4f5	北壁2層		平Ⅱb	8-1	後Ⅲ		29	
649	平碗	10	16.9	1/12	4.7	12/12	6.8	4/12	200	c2c3	北壁2層		平Ⅰa	8-1	後Ⅱ		29	
650	平碗	10	16.8	12/12	5.2	12/12	6.3	12/12	335	Ⅳ H12d	褐色土層		平Ⅰa	8-1	後Ⅱ		29	44
651	平碗	10	16.4	4/12	5.2	5/12	6.5	5/12	185	d2	検出		平Ⅰa	8-1	後Ⅱ		29	
652	平碗	10	15.5	11/12	4.2	12/12	6.9	11/12	330	Ⅳ H13g	検出	No. 272	平Ⅰb	8-1	後Ⅱ		29	
653	平碗	10	14.9	4/12	4.6	12/12	6.7	5/12	170	e2	黒色灰層上層		平Ⅰb	8-1	後Ⅱ		29	
654	平碗	10	15.4	4/12	4.7	12/12	6.6	8/12	255	d2d3	北壁2層		平Ⅰb	8-1	後Ⅱ		29	
655	平碗	10	14.6	4/12	4.3	12/12	6.6	4/12	160	b2	検出		平Ⅱb	8-1	後Ⅱ		29	
656	平碗	10	15.8	2/12	5.1	12/12	5.9	5/12	205	b2	表土		平Ⅰb	8-1	後Ⅱ		29	
657	平碗	10	15.7	2/12	4.9	5/12	5.8	3/12	115	d3d4	北壁6層		平Ⅱb	8-1	後Ⅱ		29	
658	平碗	10	15.7	2/12	4.9	5/12	5.8	3/12	135	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる		平Ⅰa	8-1			29	
659	平碗	10	15.6	3/12	4.7	5/12	6.0	3/12	95	g3	黒色灰層上層		平Ⅱb	8-1	後Ⅱ		29	
660	平碗	10	15.5	3/12	4.7	8/12	5.9	4/12	140	f3e3	南壁11層		平Ⅰb	8-1	後Ⅱ		29	
661	平碗	10	16.0	3/12	4.1	12/12	6.2	3/12	150	f2	北トレンチ下層		平Ⅰb	8-1	後Ⅱ		29	
662	平碗	10	15.6	11/12	5.1	12/12	6.5	11/12	395	Ⅳ H11d	褐色土層		平Ⅰa	8-1	後Ⅱ		29	45
663	平碗	10	15.3	12/12	5.0	12/12	6.9	12/12	325	Ⅳ H11d	検出	No. 1	平Ⅰa	8-1	後Ⅱ		29	45
664	平碗	10	15.2	6/12	4.3	12/12	6.3	6/12	190	c2	検出		平Ⅰb	8-1	後Ⅰ		29	
665	平碗	11	17.4	4/12	5.8	6/12	5.2	4/12	140	g3f3	東壁6層		平Ⅱb	8-2	後Ⅲ		30	
666	平碗	11	17.3	3/12	5.4	8/12	6.0	3/12	150	c2c3	北壁3層		平Ⅰa	8-2	後Ⅱ		30	
667	平碗	11	17.7	3/12	5.0	7/12	6.7	3/12	155	c3	黒色灰層上層		平Ⅱb	8-2			30	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
668	平碗	11	16.5	3/12	5.2	9/12	6.1	4/12	155	f2	黒色灰層上層		平Ⅱa	8-2	後Ⅱ		30	
669	平碗	11	16.2	3/12	4.8	12/12	6.9	6/12	245	e2	黒色灰層上層	分②	平Ⅰb	8-2	後Ⅱ		30	
670	平碗	11	16.1	3/12	4.9	12/12	6.1	4/12	220	f2	北トレンチ下層		平Ⅰb	8-2	後Ⅱ		30	
671	平碗	11	16.3	2/12	4.3	6/12	6.2	3/12	120	d3d4	北壁4層		平Ⅰb	8-2	後Ⅱ		30	
672	平碗	11	16.2	5/12	5.0	12/12	6.2	6/12	215	d2	黒色灰層下層		平Ⅰa	8-2	後Ⅱ		30	
673	平碗	11	16.0	1/12	5.0	7/12	6.7	3/12	115	f2	北トレンチ下層		平Ⅱb	8-2	後Ⅱ		30	
674	平碗	11	15.7	5/12	5.2	6/12	5.3	6/12	130	c2d2	東壁3層		平Ⅰb	8-2	後Ⅲ		30	
675	平碗	11	15.5	4/12	4.7	12/12	6.5	4/12	255	d2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる		平Ⅰa	8-2			30	
676	平碗	11	15.5	2/12	4.7	10/12	6.2	3/12	130	c3	黒色灰層下層,褐色土混じる		平Ⅱb	8-2	後Ⅱ		30	
677	平碗	11	16.2	6/12	5.9	12/12	7.0	11/12	340	Ⅳ H11d	検出	No.4	平Ⅱb	8-2	後Ⅲ		30	45
678	平碗	11	15.3	2/12	4.1	5/12	6.2	4/12	90	d2	黒色灰層上層		平Ⅱa	8-2			30	
679	平碗	11	15.6	4/12	4.5	12/12	6.3	3/12	140	e2	黒色灰層上層		平Ⅰb	8-2	後Ⅱ		30	
680	平碗	11	16.3	1/12	4.5	12/12	6.2	3/12	125	f4	表土		平Ⅱb	8-2	後Ⅱ		30	
681	平碗	11	15.3	4/12	3.9	12/12	6.5	4/12	210	e3	黒色灰層下層,赤褐色土混じる		平Ⅰb	8-2			30	
682	平碗	11	15.0	2/12	4.6	12/12	6.4	5/12	170	c3	黒色灰層上層		平Ⅱb	8-2	後Ⅱ		30	
683	平碗	11	15.9	7/12	5.2	12/12	6.0	8/12	260	e3d3	東壁5層		平Ⅰb	8-2	後Ⅱ		30	
684	平碗	11	14.6	4/12	4.1	11/12	6.3	6/12	185	Ⅳ H12e	検出	No.27	平Ⅰb	不明			30	
685	平碗	11	15.2	3/12	4.7	12/12	6.0	3/12	165	b2	検出		平Ⅰa	8-2	後Ⅱ		30	
686	平碗	11	15.8	3/12	5.4	12/12	6.3	4/12	150	c2c3	北壁4層		平Ⅱb	8-2	後Ⅰ		30	
687	平碗	11	16.2	4/12	5.0	10/12	6.2	7/12	170	c2	検出		平Ⅰb	8-2	後Ⅰ		30	
688	平碗	11	16.0	2/12	5.0	12/12	7.1	4/12	235	d2	黒色灰層下層		平Ⅱb	8-2			30	
689	平碗	11	15.8	5/12	4.4	12/12	5.7	6/12	170	c2c3	北壁4層		平Ⅰb	8-2			30	
690	平碗	11	15.4	4/12	5.0	9/12	5.7	4/12	130	b2	検出		平Ⅰa	8-2	後Ⅱ		30	
691	平碗	11	15.0	8/12	5.0	12/12	6.1	10/12	255	Ⅳ H11d	検出	No.2	平Ⅰa	8-2	後Ⅱ		30	
692	平碗	11	15.2	1/12	4.6	12/12	6.3	3/12	110	f3	検出		平Ⅱb	8-2	後Ⅱ		30	
693	浅碗		14.2	1/12	3.6	4/12	5.3	2/12	80	d1d2	北壁4層						31	45
694	浅碗		13.3	2/12	4.4	12/12	5.7	5/12	180	b1	黒色灰層下層						31	45
695	浅碗		13.0	5/12	3.7	5/12	6.0	5/12	165	Ⅳ H16h	黒褐色土層	分②					31	45
696	浅碗		12.2	1/12	4.3	10/12	6.2	5/12	200	d2	検出						31	
697	浅碗		12.6	1/12	4.6	12/12	5.1	4/12	170	d3	黒色灰層上層						31	
698	浅碗		11.6	3/12	4.0	12/12	5.3	5/12	195	d2d3	北壁2層						31	45
699	浅碗		12.2	1/12	4.2	12/12	5.5	3/12	90	99A	表採						31	
700	浅碗		10.8	1/12	4.0	3/12	4.9	5/12	100	99A	表採						31	
701	浅碗		12.2	1/12	4.2	3/12	5.7	3/12	55	Ⅳ H15g	167層						31	
702	浅碗		11.5	3/12	3.8	6/12	4.3	7/12	126	e2	黒色灰層上層						31	45
703	浅碗		12.6	1/12	−	−	(3.1)	1/12	75	d3	黒色灰層上層						31	
704	浅碗		11.3	2/12	−	−	(3.0)	1/12	20	d1	黒色灰層上層						31	
705	浅碗		10.3	1/12	3.7	7/12	3.9	2/12	35	b1c1	西壁2層						31	
706	浅碗		−	−	3.8	6/12	(3.8)	5/12	50	c1	黒色灰層上層						31	
707	浅碗		12.2	2/12	5.0	2/12	5.2	3/12	50	Ⅳ H13g	東西トレンチ灰層下層						31	
708	浅碗		11.9	4/12	4.6	12/12	4.3	7/12	145	f2	検出						31	
709	浅碗		11.9	9/12	4.6	12/12	4.9	10/12	165	f2	北トレンチ						31	46
710	浅碗		12.0	1/12	5.0	2/12	3.8	2/12	50	Ⅳ H15h	表土						31	
711	浅碗		11.8	3/12	4.0	6/12	3.9	4/12	55	Ⅳ H14g	東壁20層						31	
712	浅碗		11.0	1/12	4.8	6/12	3.9	3/12	50	d4	黒色灰層			鉄釉			31	
713	浅碗		11.0	2/12	3.5	5/12	3.7	2/12	30	b3c3	西壁2層						31	46
714	浅碗		11.4	1/12	4.3	12/12	4.2	2/12	65	d4	黒色灰層上層			鉄釉			31	
715	浅碗		10.6	1/12	4.4	12/12	4.1	3/12	55	c2c3	北壁2層						31	
716	浅碗		11.2	3/12	3.4	7/12	3.9	4/12	55	c1	黒色灰層下層						31	46
717	浅碗		10.3	4/12	3.8	5/12	4.1	4/12	65	g3f3	東壁2層						31	
718	浅碗		10.0	1/12	3.5	3/12	4.0	4/12	40	b1c1	西壁2層						31	
719	浅碗		9.9	5/12	3.6	6/12	4.1	4/12	50	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる						31	
720	浅碗		11.2	3/12	4.0	3/12	4.9	4/12	30	Ⅳ H15g	169層						31	
721	浅碗		10.4	2/12	3.6	3/12	5.2	2/12	40	Ⅳ H15g	北壁167層						31	
722	浅碗		10.6	4/12	3.7	4/12	4.7	4/12	55	Ⅳ H13i	トレンチ						31	
723	浅碗		8.9	5/12	3.2	5/12	2.9	4/12	35	e3e4	北壁10層						31	
724	浅碗		8.8	3/12	3.6	7/12	2.6	4/12	35	d4	黒色灰層上層,焼台多い			鉄釉			31	
725	浅碗		11.2	1/12	3.6	6/12	3.8	5/12	65	c2c3	北壁4層						31	
726	平底浅碗		11.0	4/12	5.0	5/12	4.0	5/12	65	d2c2	東壁4層	分②					31	46
727	平底浅碗		12.0	1/12	4.4	12/12	3.5	3/12	55	99G	黒褐色土層						31	46
728	平底浅碗		11.8	3/12	4.9	4/12	3.9	3/12	60	d1	黒色灰層						31	46
729	平底末広碗		13.0	2/12	4.5	6/12	4.9	3/12	65	b3	黒色灰層上層						32	
730	平底末広碗		−	−	5.6	12/12	(4.8)	6/12	174	g2	東トレンチ						32	
731	平底末広碗		13.0	1/12	5.4	12/12	7.3	1/12	159	f4	東壁4層	分②					32	
732	平底末広碗		11.6	7/12	4.8	12/12	5.6	9/12	189	Ⅳ H15g	黒褐色土層						32	
733	平底末広碗		11.6	5/12	4.3	12/12	4.9	7/12	64	Ⅳ H15g	黒褐色土層						32	
734	平底末広碗		12.4	11/12	4.7	12/12	5.2	11/12	179	c2	黒色灰層下層						32	
735	平底末広碗		11.6	5/12	4.6	12/12	4.8	5/12	84	Ⅳ H15h	黒褐色土層						32	
736	平底末広碗		11.6	2/12	4.9	7/12	5.0	3/12	66	d1	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						32	
737	平底末広碗		11.8	6/12	4.8	12/12	4.1	7/12	90	Ⅳ H15g	167層						32	
738	平底末広碗		12.9	12/12	4.6	12/12	4.2	12/12	168	Ⅳ H14f, Ⅳ H14g	東壁126層						32	
739	平底末広碗		11.8	6/12	4.4	12/12	4.3	6/12	75	Ⅳ H14h, Ⅳ H15h	南壁46層						32	
740	平底末広碗		11.6	12/12	4.2	12/12	4.8	12/12	141	Ⅳ H15h	黒褐色土層						32	46
741	平底末広碗		11.6	8/12	4.3	12/12	5.0	9/12	133	Ⅳ H15i	黒褐色土層						32	
742	平底末広碗		11.4	3/12	4.3	12/12	4.3	4/12	131	Ⅳ H16f	灰層黒色土						32	
743	平底末広碗		11.4	5/12	4.7	12/12	4.5	5/12	104	c1	黒色灰層最下部,褐色土直上						32	
744	平底末広碗		11.2	5/12	4.8	12/12	4.4	8/12	91	Ⅳ H13h	東西トレンチ,整地層						32	
745	平底末広碗		11.0	10/12	4.4	12/12	4.8	11/12	142	Ⅳ H15g	北壁167層						32	
746	平底末広碗		11.5	12/12	4.9	12/12	3.9	12/12	124	Ⅳ H15h	褐色土層	No.2,分②					32	46
747	平底末広碗		11.2	12/12	4.2	12/12	4.6	12/12	136	Ⅳ H16i	黒褐色土層						32	
748	平底末広碗		11.2	3/12	4.8	12/12	4.5	4/12	75	Ⅳ H16i	黒褐色土層						32	
749	平底末広碗		10.4	3/12	3.8	12/12	4.6	5/12	69	Ⅳ H14g, Ⅳ H15g	南壁55層						32	
750	平底末広碗		10.8	5/12	4.4	10/12	4.8	6/12	92	d1	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						32	
751	平底末広碗		10.8	3/12	4.4	6/12	4.3	4/12	74	e2d2	東壁5層						32	
752	平底末広碗		10.8	11/12	4.6	12/12	4.5	11/12	144	Ⅳ H16f	黒褐色土層						32	46
753	平底末広碗		10.9	11/12	4.3	12/12	4.2	11/12	102	Ⅳ H16g	褐色土層						32	46
754	平底末広碗		10.4	11/12	3.7	12/12	3.8	11/12	109	Ⅳ H14f	北壁61層						32	
755	平底末広碗		9.6	6/12	4.2	12/12	3.5	6/12	63	Ⅳ H16g	黒褐色土層						32	
756	平底末広碗		9.8	6/12	4.4	9/12	4.0	6/12	76	Ⅳ H14g	131層						32	
757	平底末広碗		10.6	10/12	4.3	12/12	3.7	11/12	110	c1	黒色灰層最下部,褐色土直上						32	
758	平底末広碗		9.9	12/12	4.0	12/12	4.0	12/12	106	b3	褐色土層,地山直上	分②					32	46
759	平底末広碗		9.6	12/12	4.3	12/12	3.5	12/12	90	d2	黒色灰層下層						32	46
760	平底末広碗		8.6	8/12	3.9	11/12	4.1	10/12	81	Ⅳ H14i, Ⅳ H15i	南壁41層						32	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
761	小天目茶碗		9.3	5/12	3.0	5/12	4.4	5/12	54	d1d2	北壁4層						33	
762	小天目茶碗		8.8	11/12	3.2	12/12	4.6	11/12	131	Ⅳ H15g	黒褐色土層						33	47
763	小天目茶碗		9.6	2/12	3.4	9/12	3.6	5/12	58	d2c2	東壁4層	分②					33	47
764	小天目茶碗		9.0	8/12	3.1	12/12	3.5	8/12	81	c2	黒色土層下層						33	
765	小天目茶碗		6.8	3/12	3.0	12/12	3.4	9/12	86	e3d3	東壁6層						33	
766	小天目茶碗		8.7	2/12	3.5	9/12	3.8	3/12	44	b2b3	北壁1層						33	
767	小天目茶碗		8.6	5/12	3.5	6/12	3.6	4/12	50	c3	黒色灰層上層						33	
768	小天目茶碗		8.2	2/12	3.4	12/12	3.9	5/12	65	e3d3	東壁5層						33	
769	小天目茶碗		8.4	1/12	3.2	12/12	4.2	5/12	50	d4	黒色灰層下層,褐色土多く混じる			灰釉			33	
770	小天目茶碗		7.8	3/12	3.0	12/12	3.5	4/12	37	c2	黒色土層下層						33	
771	小天目茶碗		9.1	5/12	3.1	12/12	4.0	9/12	87	g3	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						33	47
772	小天目茶碗		8.8	6/12	3.3	12/12	4.0	7/12	72	g4	東壁4層						33	47
773	小天目茶碗		8.3	11/12	2.8	12/12	3.6	11/12	105	Ⅳ H14h, Ⅳ H15h	南壁20層						33	
774	小天目茶碗		8.9	6/12	3.6	6/12	3.2	6/12	54	d2	検出						33	
775	小天目茶碗		8.2	6/12	2.4	6/12	3.6	6/12	41	e2d2	東壁5層						33	
776	小天目茶碗		7.8	3/12	2.9	6/12	4.0	4/12	51	d1	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						33	
777	小天目茶碗		8.6	3/12	3.5	12/12	4.1	7/12	46	f2							33	47
778	小天目茶碗		8.0	3/12	3.1	12/12	3.5	3/12	35	d3	黒色灰層上層						33	
779	小天目茶碗		7.9	3/12	3.4	12/12	3.5	3/12	39	Ⅳ H15i	表土						33	
780	小天目茶碗		7.8	1/12	3.6	11/12	3.7	3/12	80	d1d2	北壁1層						33	
781	小天目茶碗		7.6	10/12	2.7	2/12	4.0	11/12	84	e3	検出						33	47
782	小天目茶碗		7.9	3/12	2.9	6/12	4.0	4/12	39	Ⅳ H15g	黒褐色土層						33	
783	小天目茶碗		9.2	1/12	3.2	12/12	3.3	4/12	50	f3	検出						33	
784	小天目茶碗		9.2	3/12	3.6	11/12	3.6	4/12	42	d1c1	東壁2層						33	
785	小天目茶碗		9.0	6/12	3.6	2/12	3.7	3/12	49	c1c2	北壁1層						33	
786	小天目茶碗		8.1	1/12	3.3	12/12	3.6	3/12	56	Ⅳ H16g	黒褐色土層						33	
787	小天目茶碗		8.4	3/12	3.2	12/12	3.3	5/12	45	e3d3	東壁5層						33	
788	小天目茶碗		8.5	4/12	2.9	12/12	3.2	5/12	27	d2d3	北壁8層						33	
789	小天目茶碗		8.6	3/12	2.9	12/12	3.5	4/12	44	Ⅳ H15g	黒褐色土層						33	
790	小天目茶碗		8.8	4/12	3.6	8/12	3.4	4/12	40	f4	黒色灰層下層,赤褐色土・褐色土混じる			鉄釉			33	
791	小天目茶碗		8.9	3/12	3.2	4/12	4.1	3/12	33	f3e3	東壁1層						33	
792	小天目茶碗		8.7	3/12	2.6	8/12	3.5	4/12	44	f3	検出（下層）						33	
793	小天目茶碗		8.6	3/12	3.1	12/12	4.1	5/12	57	c1	黒色灰層上層						33	
794	小天目茶碗		9.0	2/12	3.2	12/12	4.1	3/12	44	f3	検出						33	
795	小天目茶碗		8.5	5/12	3.2	12/12	3.7	6/12	67	f3	検出						33	
796	小天目茶碗		8.4	4/12	3.1	6/12	3.6	4/12	37	g4	黒色灰層下層						33	
797	小天目茶碗		9.0	1/12	3.5	8/12	4.1	3/12	49	Ⅳ H15g	黒褐色土層						33	
798	小天目茶碗		7.9	2/12	3.0	8/12	3.5	3/12	31	d2	検出						33	
799	小天目茶碗		8.7	2/12	3.4	12/12	4.2	3/12	61	Ⅳ H15f	黒褐色土層						33	
800	小天目茶碗		8.0	2/12	3.2	9/12	4.0	3/12	34	99G, 99H	黒褐色土層						33	
801	小天目茶碗		8.5	10/12	3.4	12/12	5.2	11/12	130	g3f3	東壁6層	分②					33	47
802	小天目茶碗		8.8	5/12	2.8	12/12	3.8	4/12	44	Ⅳ H16f	黒褐色土層						33	
803	小天目茶碗		8.8	3/12	3.3	6/12	3.6	3/12	40	Ⅳ H14h	西側南北トレンチ						33	
804	小天目茶碗		8.7	1/12	3.4	12/12	3.8	2/12	36	b2	表採			灰釉			33	
805	小天目茶碗		8.4	3/12	3.8	8/12	3.5	3/12	38	f3	検出（下層）						33	
806	小天目茶碗		8.1	3/12	3.8	6/12	3.6	5/12	35	d2	黒色土層上層						33	
807	小天目茶碗		7.4	4/12	2.9	12/12	3.5	5/12	44	c1	黒色灰層下層						33	
808	小天目茶碗		7.9	3/12	3.3	7/12	4.2	4/12	37	Ⅳ H15g	黒褐色土層						33	
809	小天目茶碗		7.5	2/12	2.8	12/12	3.7	3/12	29	e2e3	北壁木の根						33	
810	小天目茶碗		7.2	1/12	3.0	11/12	3.7	3/12	33	d1d2	北壁4層						33	
811	小碗		10.9	3/12	4.0	5/12	5.9	5/12	72	d1	北壁盗掘抗						34	
812	小碗		−	−	4.0	3/12	(5.7)	2/12	44	Ⅳ H13h	東西トレンチ,整地層						34	
813	小碗		10.5	1/12	4.0	12/12	4.9	5/12	46	c1c2	北壁4層						34	
814	小碗		10.3	3/12	3.9	7/12	4.5	3/12	49	99A	表採						34	
815	浅碗		10.1	1/12	4.0	12/12	4.7	5/12	48	d2	黒色灰層上面						34	47
816	小碗		−	−	4.0	12/12	3.7	4/12	54	c1	黒色灰層上層						34	
817	小碗		11.1	1/12	3.9	12/12	4.6	4/12	72	Ⅳ H15g	南北トレンチ灰層下層						34	
818	小碗		10.0	3/12	4.0	3/12	4.2	3/12	44	d3c3	東壁3層						34	
819	小碗		9.6	1/12	3.6	4/12	4.3	3/12	37	d2	検出						34	
820	小碗		9.9	1/12	3.8	12/12	4.4	5/12	51	d2	黒色土層上層			灰釉			34	
821	小碗		9.5	3/12	3.2	12/12	4.9	3/12	56	Ⅳ H15h	黒褐色土層						34	
822	小碗		9.8	5/12	3.8	12/12	4.2	6/12	101	e2	黒色灰層上層						34	47
823	小碗		9.4	5/12	3.4	12/12	4.2	8/12	122	d1c1	東壁3層	分②					34	47
824	小碗		8.8	1/12	3.0	12/12	3.6	6/12	41	e4	表土						34	
825	小碗		9.9	1/12	3.3	6/12	3.7	2/12	40	Ⅳ H13f	112層						34	
826	小碗		9.5	4/12	4.0	10/12	4.8	7/12	94	Ⅳ H15h	褐色土層						34	47
827	小碗		8.9	6/12	3.3	12/12	3.9	7/12	80	Ⅳ H14h	西側トレンチ						34	47
828	小碗		9.0	7/12	3.6	7/12	3.9	7/12	75	b2	検出			鉄釉			34	47
829	小碗		8.1	8/12	2.8	9/12	3.6	4/12	29	d3	黒色灰層上層						34	
830	小碗		8.4	1/12	3.0	3/12	4.0	2/12	12	b1c1	西壁2層						34	
831	小碗		8.0	2/12	3.2	5/12	4.0	2/12	17	Ⅳ H16f	灰層黒土						34	
832	小碗		8.9	5/12	3.9	5/12	3.6	5/12	49	d3c3	東壁3層						34	
833	小碗		8.7	1/12	3.4	3/12	4.0	4/12	41	c2	検出（下層）						34	
834	小碗		8.9	1/12	3.7	7/12	3.8	3/12	36	Ⅳ H15f	北壁175層			鉄釉			34	
835	小碗		8.4	1/12	3.0	2/12	3.9	2/12	17	Ⅳ H14h, Ⅳ H14i	東壁41層						34	
836	小碗		8.8	3/12	3.2	2/12	4.0	8/12	71	f3	検出			鉄釉			34	47
837	小碗		8.3	5/12	3.2	12/12	3.2	7/12	59	c2	検出（下層）						34	47
838	小碗		9.1	2/12	3.8	11/12	3.8	5/12	39	Ⅳ H15h	黒褐色土層						34	
839	小碗		8.6	3/12	3.3	12/12	3.8	3/12	51	c2c3	北壁5層						34	
840	小碗		8.3	10/12	3.6	8/12	3.8	10/12	71	f3f4	東壁4, 5層	分②					34	
841	小碗		8.0	1/12	3.2	7/12	4.0	3/12	33	b1c1	西壁2層						34	
842	小碗		7.7	1/12	3.3	12/12	3.6	3/12	33	Ⅳ H15h, Ⅳ H15i	東壁20層						34	
843	小碗		7.7	3/12	3.2	12/12	3.8	3/12	34	Ⅳ H14g	西壁5層						34	
844	小碗		7.8	4/12	3.3	12/12	3.5	7/12	41	c2	検出（下層）			鉄釉			34	47
845	小碗		7.8	2/12	−	−	(3.6)	1/12	13	b1c1	西壁2層						34	
846	小碗		7.8	1/12	2.6	6/12	3.6	3/12	21	f2	北トレンチ下層						34	
847	緑釉小皿	1	12.5	9/12	6.1	12/12	3.8	11/12	175	b1c1	西壁2層				中Ⅳ		35	
848	緑釉小皿	1	12.7	8/12	6.3	12/12	2.7	10/12	170	d3	黒色灰層				後Ⅰ		35	48
849	緑釉小皿	1	11.9	6/12	6.0	12/12	3.4	9/12	150	g4f4	東壁3層				後Ⅰ		35	48
850	緑釉小皿	1	12.1	12/12	5.4	12/12	3.5	12/12	200	f3	検出	分②			後Ⅰ		35	48
851	緑釉小皿	1	12.4	5/12	5.7	12/12	3.3	7/12	175	e2e3	北壁木の根				後Ⅰ		35	
852	緑釉小皿	1	12.6	6/12	5.5	12/12	3.4	9/12	160	d1	黒色灰層上層				後Ⅰ		35	
853	緑釉小皿	1	12.1	6/12	6.0	12/12	3.6	9/12	170	c1c2	北壁2層				後Ⅰ		35	
854	緑釉小皿	1	12.2	12/12	6.0	12/12	3.0	12/12	160	e2d2	東壁3層	分②			後Ⅰ		35	48

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
855	緑釉小皿	1	11.6	4/12	5.5	6/12	2.6	4/12	85	f2	検出				後Ⅰ		35	
856	緑釉小皿	1	11.7	7/12	6.2	12/12	3.5	9/12	200	f2	検出				後Ⅰ		35	
857	緑釉小皿	1	11.4	2/12	6.0	10/12	3.3	3/12	110	e3d3	東壁5層				後Ⅰ		35	
858	緑釉小皿	1	12.0	6/12	6.3	12/12	3.2	8/12	150	f2	黒色灰層下層, 赤褐色土･褐色土混じる				後Ⅰ		35	49
859	緑釉小皿	1	11.7	3/12	5.6	5/12	3.2	4/12	55	e3e4	北壁4層				後Ⅰ		35	
860	緑釉小皿	1	11.8	7/12	5.0	12/12	3.2	10/12	120	c2	検出				後Ⅰ		35	
861	緑釉小皿	1	10.6	7/12	4.8	12/12	3.3	8/12	115	d2	黒色灰層上層				後Ⅰ		35	48
862	緑釉小皿	1	10.8	3/12	6.2	12/12	2.9	4/12	135	d1d2	北壁3層				後Ⅰ		35	
863	緑釉小皿	1	10.5	5/12	5.3	12/12	3.3	5/12	110	d2	黒色灰層上層				後Ⅰ		35	
864	緑釉小皿	1	1.0	7/12	5.3	12/12	2.9	10/12	130	c3	黒色灰層上層				後Ⅰ		35	
865	緑釉小皿	1	10.4	6/12	5.2	12/12	2.9	8/12	100	d1	黒色灰層上層, 赤褐色土混じる				後Ⅰ		35	
866	緑釉小皿	1	10.2	5/12	4.6	6/12	2.7	5/12	70	c1c2	北壁2層				後Ⅰ		35	
867	緑釉小皿	1	9.8	5/12	5.8	12/12	2.7	7/12	100	f2	検出				後Ⅰ		35	
868	緑釉小皿	1	12.5	4/12	5.3	12/12	3.1	4/12	80	d1d2	北壁3層				後Ⅰ		35	
869	緑釉小皿	1	11.9	5/12	7.0	12/12	2.9	7/12	120	d2	黒色灰層下層				後Ⅰ		35	
870	緑釉小皿	1	11.9	6/12	4.6	12/12	3.1	6/12	110	e5	黒色灰層上層, 焼台・褐色土多い				後Ⅰ		35	
871	緑釉小皿	1	12.4	4/12	5.4	12/12	2.8	9/12	130	f3	検出				後Ⅰ		35	
872	緑釉小皿	1	12.1	5/12	6.3	12/12	2.4	9/12	105	e2e3	北壁7層				後Ⅰ		35	
873	緑釉小皿	1	12.6	9/12	6.2	12/12	2.6	10/12	140	Ⅳ H16f	灰層（褐色土層, 黒色土）				後Ⅰ		35	
874	緑釉小皿	1	12.4	7/12	5.4	12/12	2.6	8/12	130	f2	北壁13層				後Ⅰ		35	
875	緑釉小皿	1	12.5	4/12	6.6	12/12	2.5	4/12	105	f2	黒色灰層下層, 褐色土混じる				後Ⅰ		35	
876	緑釉小皿	1	12.1	6/12	6.0	12/12	2.9	6/12	140	f2	北トレンチ				後Ⅰ		35	
877	緑釉小皿	1	11.8	5/12	6.5	6/12	2.7	6/12	75	b2b3	北壁2層				後Ⅰ		35	48
878	緑釉小皿	1	12.2	8/12	5.7	12/12	2.9	10/12	150	Ⅳ H14h	灰層上層, 東壁44層				後Ⅰ		35	
879	緑釉小皿	1	11.8	9/12	5.5	12/12	2.9	10/12	125	c2	黒色灰層下層				後Ⅰ		35	
880	緑釉小皿	1	11.6	3/12	5.9	8/12	2.9	8/12	90	e3e4	北壁4層				後Ⅰ		35	
881	緑釉小皿	1	11.1	5/12	5.0	12/12	2.7	9/12	110	g3	東トレンチ				後Ⅰ		35	
882	緑釉小皿	1	10.8	7/12	4.6	12/12	2.4	9/12	95	g3	黒色灰層上層				後Ⅰ		35	
883	緑釉小皿	1	11.1	9/12	7.0	12/12	2.5	10/12	165	f2	北トレンチ				後Ⅰ		35	
884	緑釉小皿	1	10.8	10/12	5.5	12/12	2.5	11/12	160	f2	検出				後Ⅰ		35	
885	緑釉小皿	1	11.3	10/12	5.0	12/12	2.6	11/12	125	f3e3	東壁11層				後Ⅰ		35	
886	緑釉小皿	1	10.8	4/12	5.0	12/12	2.2	5/12	105	g3	東トレンチ				後Ⅰ		35	
887	緑釉小皿	1	9.5	2/12	4.9	12/12	2.1	5/12	70	f2f3	北壁4層				後Ⅰ		35	
888	緑釉小皿	1	13.6	6/12	6.6	7/12	3.2	7/12	150	d5	黒色灰層, 焼台多い				後Ⅰ		35	
889	緑釉小皿	1	13.1	6/12	6.6	12/12	3.1	7/12	120	98	表採				後Ⅰ		35	
890	緑釉小皿	1	12.7	6/12	6.5	12/12	2.8	10/12	275	g3	東壁4層				後Ⅰ		35	
891	緑釉小皿	1	12.9	4/12	5.4	10/12	3.0	4/12	150	f2	北トレンチ下層				後Ⅰ		35	
892	緑釉小皿	1	12.6	2/12	6.3	12/12	3.5	7/12	95	f3	検出				後Ⅰ		35	
893	緑釉小皿	1	11.8	5/12	5.0	12/12	3.4	8/12	130	d1c1	東壁2層				後Ⅰ･後Ⅱ?		35	49
894	緑釉小皿	1	11.6	1/12	6.7	9/12	3.5	5/12	75	e2	黒色灰層上層				後Ⅱ		35	
895	緑釉小皿	1	11.8	6/12	5.7	6/12	3.4	6/12	110	c2c3	北壁1層				後Ⅱ		35	
896	緑釉小皿	1	11.2	4/12	6.3	12/12	3.7	7/12	115	d1d2	北壁2層				後Ⅱ		35	
897	緑釉小皿	1	11.4	10/12	5.5	6/12	3.4	8/12	1320	g3	黒色灰層下層, 褐色土混じる				後Ⅱ		35	
898	緑釉小皿	1	11.4	10/12	5.3	12/12	3.9	11/12	140	d2	黒色灰層下層				後Ⅱ		35	
899	緑釉小皿	2	10.4	6/12	5.4	12/12	3.4	10/12	130	d2d3	北壁5層				後Ⅱ		36	
900	緑釉小皿	2	11.7	5/12	5.0	12/12	3.2	6/12	105	d2	黒色灰層				後Ⅱ		36	
901	緑釉小皿	2	10.6	5/12	5.6	10/12	3.2	6/12	100	d3	黒色灰層上層				後Ⅱ		36	
902	緑釉小皿	2	10.9	8/12	5.5	12/12	3.4	10/12	115	f2f3	北壁3層（3a）				後Ⅰ･後Ⅱ?		36	
903	緑釉小皿	2	10.5	6/12	5.7	12/12	3.3	7/12	110	f2	黒色灰層上層, 赤褐色土混じる				後Ⅱ		36	
904	緑釉小皿	2	11.3	7/12	5.0	12/12	3.1	7/12	110	d3c3	東壁6層				後Ⅱ		36	
905	緑釉小皿	2	11.0	7/12	5.4	12/12	3.2	8/12	120	c2	検出				後Ⅱ		36	
906	緑釉小皿	2	10.8	5/12	5.0	12/12	3.5	7/12	100	f4	黒色灰層上層				後Ⅱ		36	
907	緑釉小皿	2	11.3	3/12	5.7	12/12	3.2	6/12	100	f2	表土				後Ⅱ		36	
908	緑釉小皿	2	11.9	3/12	6.2	12/12	3.2	6/12	150	c2	検出				後Ⅱ		36	
909	緑釉小皿	2	11.3	3/12	6.4	12/12	2.9	7/12	110	98	表採				後Ⅱ		36	
910	緑釉小皿	2	11.7	5/12	5.9	8/12	3.1	5/12	100	e3	検出				後Ⅱ		36	
911	緑釉小皿	2	11.8	7/12	5.7	12/12	2.5	7/12	160	c1	黒色灰層下層				後Ⅱ		36	
912	緑釉小皿	2	11.5	10/12	5.4	12/12	3.1	10/12	140	f2	北トレンチ				後Ⅱ		36	
913	緑釉小皿	2	11.2	5/12	5.4	12/12	3.0	9/12	120	d1d2	北壁2層				後Ⅱ		36	
914	緑釉小皿	2	11.5	5/12	6.5	12/12	2.9	5/12	155	d3	黒色灰層上層				後Ⅰ･後Ⅱ?		36	
915	緑釉小皿	2	11.6	5/12	6.4	7/12	2.7	6/12	135	f3	検出				後Ⅱ		36	
916	緑釉小皿	2	11.9	5/12	5.2	12/12	2.8	7/12	110	c2	検出（下層）				後Ⅱ		36	
917	緑釉小皿	2	11.5	1/12	5.0	12/12	2.9	9/12	130	c2	黒色土層下層				後Ⅱ		36	
918	緑釉小皿	2	12.0	5/12	5.4	12/12	2.6	6/12	95	d1	黒色灰層最下部, 褐色土直上				後Ⅱ		36	
919	緑釉小皿	2	11.4	10/12	7.6	12/12	2.7	10/12	160	f2	黒色灰層上層				後Ⅱ		36	
920	緑釉小皿	2	10.9	7/12	5.4	12/12	2.9	8/12	160	d2	黒色灰層下層				後Ⅱ		36	
921	緑釉小皿	2	11.3	8/12	5.8	12/12	3.3	10/12	140	c1	黒色灰層下層				後Ⅱ		36	
922	緑釉小皿	2	10.4	5/12	6.1	12/12	2.9	7/12	105	f3	検出				後Ⅱ		36	
923	緑釉小皿	2	10.7	9/12	5.0	12/12	3.2	11/12	110	e2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる				後Ⅱ		36	49
924	緑釉小皿	2	11.5	8/12	5.5	8/12	2.7	8/12	80	f3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる				後Ⅱ		36	
925	緑釉小皿	2	11.1	7/12	5.4	12/12	3.0	8/12	95	f3	検出（下層）				後Ⅱ		36	
926	緑釉小皿	2	11.6	3/12	5.5	12/12	2.6	5/12	115	f4	表土				後Ⅱ		36	
927	緑釉小皿	2	10.8	3/12	5.9	12/12	2.7	11/12	140	c4	褐色土層				後Ⅱ		36	48
928	緑釉小皿	2	10.7	9/12	5.0	12/12	3.0	9/12	100	e4d4	東壁メインベルト				後Ⅱ		36	
929	緑釉小皿	2	10.6	4/12	4.8	12/12	2.9	5/12	85	b1c1	西壁2層			鉄釉	後Ⅱ		36	
930	緑釉小皿	2	1.6	5/12	5.8	12/12	2.9	7/12	105	c3	黒色灰層				後Ⅱ		36	
931	緑釉小皿	2	10.6	6/12	4.6	7/12	2.5	5/12	60	e2e3	北壁8層（8b）				後Ⅱ		36	
932	緑釉小皿	2	11.5	5/12	6.3	12/12	2.7	8/12	120	f3	検出				後Ⅱ		36	
933	緑釉小皿	2	12.0	4/12	6.8	5/12	2.9	5/12	90	g3f3	東壁6層				後Ⅱ		36	
934	緑釉小皿	2	12.0	7/12	6.0	12/12	2.6	10/12	130	c3	黒色灰層上層				後Ⅱ		36	
935	緑釉小皿	2	12.0	2/12	5.0	12/12	2.6	3/12	75	f4	表土				後Ⅱ		36	
936	緑釉小皿	2	11.7	6/12	6.4	12/12	2.5	7/12	120	e2	検出				後Ⅱ		36	
937	緑釉小皿	2	11.7	6/12	6.2	8/12	2.8	6/12	120	d2	黒色灰層下層, 褐色土混じる				後Ⅱ		36	49
938	緑釉小皿	2	11.9	5/12	6.0	12/12	2.6	7/12	90	f2	北トレンチ				後Ⅱ		36	
939	緑釉小皿	2	11.4	5/12	5.4	12/12	2.6	6/12	90	c1c2	北壁2層				後Ⅱ		36	
940	緑釉小皿	2	11.6	2/12	5.0	12/12	2.8	5/12	95	e2e3	東壁7層				後Ⅱ		36	
941	緑釉小皿	2	11.7	6/12	5.2	12/12	3.0	9/12	130	d1	黒色灰層下層				後Ⅱ		36	
942	緑釉小皿	2	12.1	8/12	6.1	12/12	2.8	7/12	115	f3	検出（下層）				後Ⅱ		36	
943	緑釉小皿	2	10.9	8/12	5.1	12/12	3.1	8/12	90	e2	検出				後Ⅱ		36	
944	緑釉小皿	2	11.4	4/12	4.7	12/12	2.6	7/12	90	f4	黒色灰層上層				後Ⅱ		36	
945	緑釉小皿	2	11.4	3/12	5.6	12/12	2.4	5/12	90	f2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる				後Ⅱ		36	
946	緑釉小皿	2	12.0	2/12	7.0	6/12	2.5	4/12	70	d2	黒色灰層下層, 褐色土混じる				後Ⅱ		36	
947	緑釉小皿	2	11.8	6/12	6.3	11/12	2.7	6/12	170	g3	東トレンチ下層				後Ⅱ		36	
948	緑釉小皿	2	11.2	8/12	5.2	12/12	2.7	8/12	100	e3e4	北壁10層				後Ⅱ		36	
949	緑釉小皿	2	11.9	5/12	5.9	12/12	2.6	7/12	120	g3	東トレンチ				後Ⅱ		36	
950	緑釉小皿	2	11.7	3/12	6.4	10/12	2.4	8/12	75	f2	黒色灰層上層				後Ⅱ		36	
951	緑釉小皿	2	12.2	4/12	4.8	12/12	3.0	5/12	95	f3	黒色灰層下層				後Ⅱ		37	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・軸		時期	その他	遺物図	写真図版
952	緑釉小皿	2	12.5	2/12	5.8	6/12	2.7	4/12	60	b1c1	西壁2層				後Ⅱ		37	
953	緑釉小皿	2	12.0	3/12	5.7	12/12	2.9	5/12	70	c4	褐色土層				後Ⅱ		37	
954	緑釉小皿	2	11.8	7/12	5.6	12/12	2.5	7/12	135	d3c3	東壁3層				後Ⅱ		37	
955	緑釉小皿	2	12.0	4/12	5.8	8/12	2.9	8/12	100	e3e4	北壁3層				後Ⅱ		37	
956	緑釉小皿	2	11.4	2/12	5.7	12/12	2.7	4/12	100	f2	黒色灰層下層				後Ⅱ		37	
957	緑釉小皿	2	11.7	5/12	5.7	12/12	2.6	5/12	105	f2	北トレンチ下層				後Ⅱ		37	
958	緑釉小皿	2	11.8	4/12	5.7	12/12	2.9	6/12	85	g2g3	北壁3層				後Ⅱ		37	
959	緑釉小皿	2	11.0	6/12	5.2	10/12	2.6	7/12	90	e4	黒色灰層下層, 褐色土混じる				後Ⅱ		37	
960	緑釉小皿	2	11.4	6/12	5.0	12/12	2.7	7/12	100	d2	黒色灰層下層				後Ⅱ		37	
961	緑釉小皿	2	11.4	4/12	5.1	12/12	2.4	8/12	100	g2f2	南壁4層				後Ⅱ		37	
962	緑釉小皿	2	11.4	5/12	5.5	12/12	2.5	8/12	90	c3	黒色灰層上層				後Ⅱ		37	
963	緑釉小皿	2	11.6	7/12	5.8	12/12	2.6	9/12	130	e3	検出（下層）				後Ⅱ		37	
964	緑釉小皿	2	11.4	5/12	5.4	12/12	2.3	7/12	100	e2	黒色灰層メインベルト				後Ⅱ		37	
965	緑釉小皿	2	12.3	10/12	6.4	12/12	2.4	7/12	130	e4d4	東壁3層				後Ⅱ		37	
966	緑釉小皿	2	11.3	9/12	5.4	11/12	2.6	10/12	105	d1c1	東壁2層				後Ⅱ		37	
967	緑釉小皿	2	11.8	2/12	5.6	12/12	2.3	3/12	85	g3	黒色灰層上層				後Ⅱ		37	
968	緑釉小皿	2	11.7	4/12	5.0	12/12	2.8	7/12	120	f2f3	北壁3層（3a）				後Ⅱ		37	
969	緑釉小皿	2	11.6	10/12	5.6	12/12	2.8	10/12	135	d3c3	東壁4層				後Ⅱ		37	
970	緑釉小皿	2	11.4	1/12	4.9	12/12	2.5	6/12	100	c4	黒色灰層最下部, 褐色土直上				後Ⅱ		37	49
971	緑釉小皿	2	10.9	5/12	5.2	12/12	2.7	8/12	110	c2	検出				後Ⅱ		37	
972	緑釉小皿	2	11.6	5/12	5.6	12/12	2.8	5/12	110	g3	東トレンチ				後Ⅱ		37	
973	緑釉小皿	2	11.8	5/12	4.8	5/12	2.4	5/12	60	c1	黒色灰層下層				後Ⅱ		37	
974	緑釉小皿	2	12.0	5/12	5.4	12/12	2.4	6/12	105	d2	検出				後Ⅱ		37	
975	緑釉小皿	2	11.8	5/12	5.4	12/12	2.3	5/12	95	e3	検出				後Ⅱ		37	
976	緑釉小皿	2	11.4	6/12	6.1	12/12	2.4	9/12	115	d1d2	北壁3層				後Ⅱ		37	
977	緑釉小皿	2	11.2	5/12	5.2	12/12	2.3	5/12	110	e2e3	北壁7層				後Ⅱ		37	
978	緑釉小皿	2	11.6	12/12	5.0	6/12	2.7	11/12	110	ⅣH14i					後Ⅱ		37	
979	緑釉小皿	2	11.4	10/12	5.0	12/12	2.3	11/12	120	ⅣH14h, ⅣH14i	東壁20層				後Ⅱ		37	
980	緑釉小皿	2	11.5	6/12	5.4	12/12	2.7	8/12	130	e3d3	東壁5層				後Ⅱ		37	
981	緑釉小皿	2	11.8	7/12	6.2	12/12	2.9	8/12	130	d1	黒色灰層上層				後Ⅱ		37	
982	緑釉小皿	2	11.5	4/12	6.4	12/12	2.6	5/12	110	d2	黒色土層上層				後Ⅱ		37	
983	緑釉小皿	2	11.5	4/12	5.1	7/12	2.6	5/12	75	f2f3	北壁2層				後Ⅱ		37	
984	緑釉小皿	2	11.3	3/12	5.3	12/12	2.8	6/12	85	f3	検出				後Ⅱ		37	
985	緑釉小皿	2	10.5	1/12	5.4	12/12	2.7	7/12	110	c2c3	北壁4層				後Ⅱ		37	
986	緑釉小皿	2	11.0	8/12	5.0	12/12	2.9	10/12	120	ⅣH13g, ⅣH14g	南壁91層				後Ⅱ		37	
987	緑釉小皿	2	11.3	5/12	5.1	12/12	2.6	5/12	85	f3	検出			鉄釉	後Ⅱ		37	
988	緑釉小皿	2	11.2	5/12	4.8	11/12	2.5	5/12	95	f3	検出				後Ⅱ		37	
989	緑釉小皿	2	11.2	4/12	5.5	12/12	2.7	8/12	105	f3	検出				後Ⅱ		37	
990	緑釉小皿	2	11.2	5/12	4.4	12/12	2.5	5/12	90	c2	検出				後Ⅱ		37	
991	緑釉小皿	2	11.4	4/12	5.6	12/12	2.5	7/12	125	d2	黒色灰層下層				後Ⅱ		37	
992	緑釉小皿	2	11.1	11/12	5.3	12/12	2.6	11/12	120	c1	黒色灰層下層				後Ⅱ		37	
993	緑釉小皿	2	10.6	8/12	5.0	12/12	2.5	8/12	90	f2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる				後Ⅱ		37	
994	緑釉小皿	2	10.9	11/12	5.0	12/12	2.4	11/12	120	b2	褐色土層				後Ⅱ		37	
995	緑釉小皿	2	11.4	6/12	6.0	12/12	2.8	6/12	125	d2	黒色灰層上層				後Ⅱ		37	
996	緑釉小皿	2	10.4	6/12	5.2	12/12	2.5	7/12	95	f2	検出				後Ⅱ		37	
997	緑釉小皿	2	10.3	9/12	5.4	12/12	2.4	9/12	105	f2	北トレンチ				後Ⅱ		37	
998	緑釉小皿	2	10.6	7/12	4.8	12/12	2.5	7/12	90	e3	検出				後Ⅱ		37	
999	緑釉小皿	2	10.2	9/12	5.6	12/12	2.7	10/12	95	f2	検出				後Ⅱ		37	49
1000	緑釉小皿	2	10.7	2/12	4.2	12/12	2.7	5/12	80	e3e4	北壁10層				後Ⅱ		37	
1001	緑釉小皿	2	10.4	6/12	4.6	6/12	2.5	6/12	80	g2g3	北壁2層				後Ⅱ		37	
1002	緑釉小皿	2	10.6	7/12	4.7	12/12	3.0	10/12	105	d2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる				後Ⅱ		37	
1003	緑釉小皿	2	10.0	1/12	4.9	12/12	2.8	4/12	60	f5e5	東壁1層				後Ⅱ		37	
1004	緑釉小皿	2	10.6	3/12	5.3	12/12	3.0	7/12	95	f3	検出				後Ⅱ		37	
1005	緑釉小皿	2	10.7	4/12	5.0	12/12	3.0	5/12	95	d3	黒色灰層				後Ⅱ		37	
1006	緑釉小皿	2	10.4	8/12	5.2	12/12	2.7	9/12	100	c1	黒色灰層下層				後Ⅱ		37	
1007	緑釉小皿	2	11.8	5/12	5.8	12/12	2.4	8/12	95	c4	表土				後Ⅱ		38	
1008	緑釉小皿	2	11.5	6/12	5.3	12/12	2.5	9/12	100	d1	黒色灰層上層				後Ⅱ		38	
1009	緑釉小皿	2	1.4	7/12	5.6	8/12	2.1	8/12	75	b3	黒色灰層上層				後Ⅱ		38	
1010	緑釉小皿	2	11.5	10/12	5.9	12/12	2.5	10/12	110	e6	灰褐色土層				後Ⅱ		38	
1011	緑釉小皿	2	11.5	5/12	6.0	6/12	2.5	5/12	70	b2c2	西壁5層				後Ⅱ		38	
1012	緑釉小皿	2	11.0	7/12	5.9	12/12	2.9	9/12	105	d4	黒色灰層				後Ⅱ		38	50
1013	緑釉小皿	2	10.9	7/12	6.0	8/12	2.3	7/12	95	g3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる				後Ⅱ		38	
1014	緑釉小皿	2	10.7	10/12	4.7	12/12	2.1	11/12	115	c3	黒色灰層下層	分②			後Ⅱ		38	50
1015	緑釉小皿	2	10.8	6/12	5.0	12/12	2.3	7/12	95	d1	黒色灰層下層				後Ⅱ		38	
1016	緑釉小皿	2	11.4	4/12	5.1	12/12	2.5	6/12	80	f2	黒色灰層上層				後Ⅱ		38	
1017	緑釉小皿	2	11.2	8/12	5.2	12/12	2.5	10/12	115	g3f3	東壁6層				後Ⅱ		38	
1018	緑釉小皿	2	10.6	6/12	5.0	12/12	2.4	7/12	85	d3	黒色灰層上層				後Ⅱ		38	
1019	緑釉小皿	2	10.4	8/12	4.4	12/12	2.2	8/12	100	f3	検出（下層）				後Ⅱ		38	
1020	緑釉小皿	2	11.0	2/12	6.0	12/12	2.6	5/12	100	d2	黒色土層上層				後Ⅱ		38	
1021	緑釉小皿	2	10.8	6/12	5.4	12/12	2.7	9/12	105	f3	検出				後Ⅱ		38	
1022	緑釉小皿	2	10.8	4/12	4.8	12/12	2.2	5/12	80	f3	検出				後Ⅱ		38	
1023	緑釉小皿	2	10.2	3/12	5.6	12/12	2.4	5/12	65	f2	黒色灰層上層				後Ⅱ		38	
1024	緑釉小皿	2	10.6	7/12	4.9	12/12	2.5	10/12	85	d2d3	北壁1層				後Ⅱ		38	
1025	緑釉小皿	2	10.1	9/12	5.2	12/12	2.2	11/12	100	f2	黒色灰層最下部, 赤褐色土混じる	分②			後Ⅱ		38	50
1026	緑釉小皿	2	10.9	7/12	6.4	12/12	2.1	10/12	105	c1	黒色灰層下層				後Ⅱ		38	
1027	緑釉小皿	2	10.4	1/12	4.8	12/12	2.3	4/12	50	e1	東壁8層				後Ⅱ		38	
1028	緑釉小皿	2	10.9	3/12	5.0	12/12	2.0	3/12	70	g4f4	東壁3層				後Ⅱ		38	
1029	緑釉小皿	2	10.5	7/12	5.4	12/12	2.3	8/12	70	g3	黒色土層上層				後Ⅱ		38	
1030	緑釉小皿	2	10.4	10/12	5.0	12/12	2.4	10/12	105	d2c2	東壁3層				後Ⅱ		38	
1031	緑釉小皿	2	10.9	2/12	5.6	12/12	2.3	5/12	120	f3	検出				後Ⅱ		38	
1032	緑釉小皿	2	10.9	6/12	5.7	12/12	2.0	9/12	100	f2	北トレンチ				後Ⅱ		38	
1033	緑釉小皿	2	11.0	7/12	5.4	12/12	2.1	8/12	100	f2	黒色灰層上層				後Ⅱ		38	
1034	緑釉小皿	2	10.9	11/12	5.4	12/12	2.2	11/12	80	e2	検出				後Ⅱ		38	
1035	緑釉小皿	2	10.4	6/12	4.4	12/12	2.3	6/12	80	c3	黒色灰層上層				後Ⅱ		38	
1036	緑釉小皿	2	10.8	4/12	4.9	12/12	2.3	7/12	100	e2	黒色灰層下層				後Ⅱ		38	
1037	緑釉小皿	2	10.8	6/12	5.7	7/12	2.3	7/12	70	d3	黒色灰層上層				後Ⅱ		38	
1038	緑釉小皿	2	10.9	3/12	6.0	6/12	2.4	5/12	55	f2e2	東壁5層				後Ⅱ		38	
1039	緑釉小皿	2	10.7	5/12	4.9	12/12	2.6	6/12	75	e2	黒色灰層下層メインベルト				後Ⅱ		38	
1040	緑釉小皿	2	10.9	6/12	5.2	12/12	2.7	9/12	85	f2	北トレンチ				後Ⅱ		38	
1041	緑釉小皿	2	11.0	5/12	5.0	12/12	2.5	6/12	80	e2	下層				後Ⅱ		38	
1042	緑釉小皿	2	10.8	1/12	6.0	12/12	2.8	6/12	65	e2	検出				後Ⅱ		38	
1043	緑釉小皿	2	11.3	7/12	5.4	12/12	2.7	10/12	105	d1	黒色灰層				後Ⅱ		38	
1044	緑釉小皿	2	10.7	5/12	5.0	6/12	2.5	5/12	55	b2	検出				後Ⅱ		38	
1045	緑釉小皿	2	10.4	6/12	4.6	12/12	2.6	7/12	75	g5	表採				後Ⅱ		38	
1046	緑釉小皿	2	10.3	11/12	5.0	12/12	2.4	11/12	115	c2	検出（下層）				後Ⅱ		38	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・軸		時期	その他	遺物図	写真図版
1047	緑釉小皿	2	10.2	7/12	5.2	12/12	2.5	7/12	90	c1	黒色灰層下層				後Ⅱ		38	
1048	緑釉小皿	2	11.0	6/12	5.2	8/12	2.5	7/12	70	e3d3	東壁4層				後Ⅱ		38	
1049	緑釉小皿	2	10.9	2/12	4.1	12/12	2.3	3/12	85	g3f3	東壁2層				後Ⅱ		38	
1050	緑釉小皿	2	10.6	8/12	4.8	12/12	2.3	10/12	95	d1d2	北壁1層				後Ⅱ		38	
1051	緑釉小皿	2	11.1	9/12	5.8	12/12	2.1	9/12	105	d2	黒色灰層下層				後Ⅱ		38	
1052	緑釉小皿	2	10.1	1/12	4.5	12/12	2.6	6/12	90	c4	黒色灰層下層,赤褐色土･褐色土混じる				後Ⅱ		38	50
1053	緑釉小皿	2	10.3	7/12	5.2	9/12	2.5	7/12	80	f2	北トレンチ				後Ⅱ		38	
1054	緑釉小皿	2	10.0	3/12	5.0	7/12	2.4	6/12	50	d1d2	北壁4層				後Ⅱ		38	
1055	緑釉小皿	2	10.4	11/12	5.3	12/12	2.6	11/12	125	Ⅳ H14g	144層				後Ⅱ		38	
1056	緑釉小皿	2	10.6	4/12	5.1	12/12	2.3	6/12	95	e2d2	東壁4層				後Ⅱ		38	
1057	緑釉小皿	2	10.7	6/12	5.9	12/12	2.3	10/12	110	d1c1	東壁2層				後Ⅱ		38	50
1058	緑釉小皿	2	11.0	7/12	5.4	12/12	2.0	8/12	115	e4d4	東壁4層				後Ⅱ		38	
1059	緑釉小皿	2	10.4	8/12	4.9	12/12	2.4	8/12	95	d1d2	北壁4層				後Ⅱ		38	
1060	緑釉小皿	2	11.0	8/12	6.0	12/12	2.1	7/12	80	c1	黒色灰層下層				後Ⅱ		38	
1061	緑釉小皿	2	10.3	2/12	5.1	12/12	2.0	6/12	65	e3d3	東壁5層				後Ⅱ		38	
1062	緑釉小皿	2	10.3	8/12	5.4	12/12	2.2	8/12	80	c1	黒色灰層				後Ⅱ		38	
1063	緑釉小皿	2	10.2	5/12	5.0	12/12	2.1	8/12	110	e3	検出				後Ⅱ		38	
1064	緑釉小皿	2	10.1	5/12	5.0	12/12	1.9	5/12	80	e3	黒色灰層下層,赤褐色土混じる				後Ⅱ		38	
1065	緑釉小皿	2	8.9	5/12	4.4	5/12	2.3	5/12	30	d2	黒色灰層下層				後Ⅱ		38	
1066	緑釉小皿	2	8.2	11/12	4.2	12/12	2.4	11/12	75	Ⅳ H15g	138層	№275		鉄釉	後Ⅱ		38	
1067	緑釉小皿	2	12.4	4/12	5.8	12/12	2.4	6/12	100	d2	検出				後Ⅰ-後Ⅱ?		39	
1068	緑釉小皿	2	11.6	8/12	5.2	2/12	2.8	9/12	140	Ⅳ H16f	黒色灰層				後Ⅰ-後Ⅱ?		39	
1069	緑釉小皿	2	12.1	6/12	6.2	12/12	3.0	7/12	125	d4	黒色灰層上層				後Ⅰ-後Ⅱ?		39	
1070	緑釉小皿	2	11.8	5/12	5.1	8/12	2.6	8/12	35	g2g3	北壁2層				後Ⅰ-後Ⅱ?		39	
1071	緑釉小皿	2	11.7	5/12	6.0	11/12	2.7	6/12	110	c2	黒色灰層下層				後Ⅰ-後Ⅱ?		39	
1072	緑釉小皿	2	11.7	5/12	5.2	12/12	2.6	5/12	115	e3d3	東壁5層				後Ⅰ-後Ⅱ?		39	
1073	緑釉小皿	2	11.2	10/12	6.7	12/12	2.4	10/12	145	c1	黒色灰層下層				後Ⅰ-後Ⅱ?		39	
1074	緑釉小皿	2	11.3	6/12	6.4	12/12	2.8	7/12	115	c2	検出				後Ⅰ-後Ⅱ?		39	
1075	緑釉小皿	2	11.0	9/12	5.6	12/12	2.6	10/12	130	d2	黒色灰層上層				後Ⅰ-後Ⅱ?		39	
1076	緑釉小皿	2	10.5	5/12	5.4	12/12	2.5	9/12	90	d1	黒色灰層最下部,赤褐色土混じる				後Ⅰ-後Ⅱ?		39	
1077	緑釉小皿	2	10.4	8/12	5.5	12/12	2.6	7/12	100	c2	検出				後Ⅰ-後Ⅱ?		39	
1078	緑釉小皿	2	10.8	6/12	5.0	12/12	2.5	7/12	80	e3	検出				後Ⅰ-後Ⅱ?		39	
1079	緑釉小皿	2	11.0	5/12	6.0	12/12	2.1	5/12	90	f4	表土				後Ⅰ-後Ⅱ?		39	
1080	緑釉小皿	2	11.1	10/12	6.8	12/12	2.4	11/12	135	e2e3	北壁2層				後Ⅰ-後Ⅱ?		39	
1081	緑釉小皿	3	10.8	6/12	5.5	12/12	2.3	10/12	105	d2c2	東壁2層				後Ⅲ		39	
1082	緑釉小皿	3	11.0	4/12	4.6	12/12	2.2	5/12	75	d1	黒色灰層				後Ⅲ		39	
1083	緑釉小皿	3	10.8	10/12	4.9	12/12	2.4	10/12	65	g3f4	東壁4層				後Ⅲ		39	
1084	緑釉小皿	3	10.9	10/12	5.0	12/12	2.6	11/12	130	d4	黒色灰層下層,褐色土混じる				後Ⅲ		39	50
1085	緑釉小皿	3	10.4	9/12	5.4	12/12	2.4	10/12	105	Ⅳ H11e	検出	№5			後Ⅲ		39	50
1086	緑釉小皿	3	10.5	4/12	5.2	12/12	2.6	9/12	105	f2	検出				後Ⅲ		39	
1087	緑釉小皿	3	10.8	4/12	5.1	12/12	2.2	5/12	80	f3e4	東壁2層				後Ⅲ		39	
1088	緑釉小皿	3	10.4	3/12	5.0	12/12	2.2	4/12	70	f3	検出				後Ⅲ		39	
1089	緑釉小皿	3	10.0	3/12	5.4	12/12	2.6	5/12	95	f3	検出				後Ⅲ		39	
1090	緑釉小皿	3	10.3	5/12	5.2	11/12	2.0	6/12	70	c3	黒色灰層最下部,褐色土直上				後Ⅲ		39	
1091	緑釉小皿	3	9.8	5/12	5.2	12/12	2.5	9/12	80	c3c4	北壁,黒色灰層				後Ⅲ		39	
1092	緑釉小皿	3	9.9	7/12	4.6	12/12	2.2	7/12	80	f3	検出				後Ⅲ		39	
1093	緑釉小皿	3	10.2	5/12	4.6	6/12	2.1	6/12	60	g3	黒色灰層上層				後Ⅲ		39	
1094	緑釉小皿	3	9.9	5/12	5.0	10/12	2.3	8/12	70	f3f4	北壁7層				後Ⅲ		39	
1095	緑釉小皿	3	10.1	7/12	5.2	6/12	2.1	7/12	70	d2c2	東壁3層				後Ⅲ		39	
1096	緑釉小皿	3	9.5	5/12	4.4	11/12	2.1	6/12	60	c2	検出				後Ⅲ		39	
1097	緑釉小皿	3	9.5	8/12	5.1	12/12	2.1	10/12	70	c2	黒色灰層下層				後Ⅲ		39	
1098	緑釉小皿	3	8.2	8/12	4.3	12/12	2.3	9/12	60	f2	検出				後Ⅲ		39	
1099	緑釉小皿	3	8.8	1/12	4.5	12/12	2.1	10/12	70	f3	検出				後Ⅲ		39	
1100	緑釉小皿	3	8.7	5/12	5.1	12/12	1.9	5/12	40	d2d3	北壁7層				後Ⅲ		39	
1101	緑釉小皿	3	8.2	5/12	4.1	12/12	2.1	5/12	60	f2	北トレンチ				後Ⅲ		39	
1102	緑釉小皿	3	8.1	7/12	4.2	10/12	2.1	9/12	50	c3	黒色灰層上層				後Ⅲ		39	
1103	緑釉小皿	3	12.1	1/12	−	−	(2.8)	1/12	20	g2	東トレンチ			鉄釉	後Ⅲ		39	
1104	緑釉小皿	3	12.0	1/12	5.8	12/12	2.9	8/12	110	e2e3	北壁9層			鉄釉	後Ⅲ		39	
1105	緑釉小皿	3	11.0	2/12	5.6	12/12	2.7	6/12	70	b1	黒色灰層下層			鉄釉	後Ⅲ		39	
1106	緑釉小皿	3	10.9	2/12	4.6	12/12	2.9	4/12	70	g2	黒色灰層下層			鉄釉	後Ⅲ		39	
1107	緑釉小皿	3	10.6	4/12	4.6	12/12	3.1	6/12	85	c1	黒色灰層下層			鉄釉	後Ⅲ		39	
1108	緑釉小皿	3	10.6	2/12	5.0	2/12	2.7	2/12	35	f2f3	北壁4層			鉄釉	後Ⅲ		39	
1109	緑釉小皿	3	11.2	1/12	5.9	12/12	2.6	3/12	35	c3	黒色灰層上層			鉄釉	後Ⅲ		39	
1110	緑釉小皿	3	10.6	2/12	5.4	12/12	2.9	5/12	90	f3	検出			鉄釉	後Ⅲ		39	
1111	緑釉小皿	3	10.7	5/12	5.7	12/12	2.6	6/12	100	d3c3	東壁4層			鉄釉	後Ⅲ		39	
1112	緑釉小皿	3	10.4	1/12	5.0	12/12	2.7	5/12	60	b2	黒色灰層下層,褐色土混じる			鉄釉	後Ⅲ		39	
1113	緑釉小皿	3	10.8	1/12	5.6	5/12	2.8	4/12	50	e2	黒色灰層下層			鉄釉	後Ⅲ		39	
1114	緑釉小皿	3	10.4	4/12	5.2	5/12	2.5	5/12	60	d3	黒色灰層下層,褐色土混じる			鉄釉	後Ⅲ		39	
1115	緑釉小皿	3	10.5	2/12	5.8	12/12	2.7	7/12	85	c3c4	北壁切株下,黒色灰層			鉄釉	後Ⅲ		39	
1116	緑釉小皿	3	11.2	4/12	5.8	10/12	2.7	7/12	80	d2	検出			鉄釉	後Ⅲ		39	
1117	緑釉小皿	3	11.2	3/12	5.0	6/12	2.4	5/12	55	g4	黒色灰層下層			鉄釉	後Ⅲ		39	
1118	緑釉小皿	3	10.5	3/12	5.4	8/12	2.7	7/12	65	e2e3	東壁7層			鉄釉	後Ⅲ		39	
1119	緑釉小皿	3	10.8	1/12	5.8	5/12	2.9	2/12	30	e2e3	北壁7層			鉄釉	後Ⅲ		39	
1120	緑釉小皿	3	10.1	2/12	5.0	1/12	2.7	5/12	45	f2f3	北壁5層			鉄釉	後Ⅲ		39	
1121	緑釉小皿	3	10.2	1/12	5.0	11/12	2.5	7/12	55	d4	黒色灰層上層,焼台多い			鉄釉	後Ⅲ		39	
1122	緑釉小皿	3	10.2	5/12	5.0	12/12	2.8	8/12	80	g4	黒色灰層下層			鉄釉	後Ⅲ		39	
1123	緑釉小皿	3	10.0	1/12	5.0	12/12	2.9	5/12	65	f3	検出（下層）			鉄釉	後Ⅲ		39	
1124	緑釉小皿	3	9.8	3/12	5.1	10/12	2.9	4/12	65	c1	黒色灰層下層			鉄釉	後Ⅲ		39	
1125	緑釉小皿	3	10.0	5/12	4.2	5/12	2.7	5/12	45	f3	検出			鉄釉	後Ⅲ		39	
1126	緑釉小皿	3	9.3	7/12	4.5	12/12	2.6	10/12	75	c4	黒色灰層下層,赤褐色土･褐色土混じる			鉄釉	後Ⅲ		39	
1127	緑釉小皿	3	9.5	2/12	5.3	12/12	2.7	3/12	60	d1	黒色灰層上層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1128	緑釉小皿	3	10.7	5/12	5.4	12/12	2.3	7/12	95	f3	検出			鉄釉	後Ⅲ		40	
1129	緑釉小皿	3	9.9	4/12	4.9	9/12	2.3	6/12	70	c1	黒色灰層下層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1130	緑釉小皿	3	10.3	2/12	5.0	4/12	2.3	3/12	30	98	表採			鉄釉	後Ⅲ		40	
1131	緑釉小皿	3	10.3	6/12	4.5	12/12	2.5	6/12	75	d1d2	北壁4層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1132	緑釉小皿	3	10.5	3/12	5.4	12/12	2.5	5/12	80	d3	黒色灰層上層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1133	緑釉小皿	3	10.3	5/12	5.0	12/12	2.6	5/12	80	c2d2	東壁3層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1134	緑釉小皿	3	11.2	4/12	5.4	5/12	2.7	4/12	50	d1	黒色灰層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1135	緑釉小皿	3	10.8	2/12	5.2	12/12	2.3	4/12	75	d3	黒色灰層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1136	緑釉小皿	3	11.2	2/12	5.6	5/12	2.2	5/12	35	f3	検出（下層）			鉄釉	後Ⅲ		40	
1137	緑釉小皿	3	10.5	3/12	4.5	5/12	2.6	4/12	40	d2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる			鉄釉	後Ⅲ		40	
1138	緑釉小皿	3	10.4	3/12	6.2	12/12	2.1	8/12	95	b2	検出			鉄釉	後Ⅲ		40	
1139	緑釉小皿	3	10.5	4/12	5.0	12/12	2.1	7/12	65	c2	検出			鉄釉	後Ⅲ		40	
1140	緑釉小皿	3	10.8	3/12	4.4	3/12	2.5	3/12	40	d3	黒色灰層下層,赤褐色土混じる			鉄釉	後Ⅲ		40	
1141	緑釉小皿	3	10.9	2/12	5.6	12/12	2.4	5/12	50	d3	黒色灰層上層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1142	緑釉小皿	3	10.8	7/12	5.6	9/12	2.4	8/12	95	98	表採			鉄釉	後Ⅲ		40	
1143	緑釉小皿	3	10.5	6/12	6.2	10/12	2.4	9/12	80	c2	検出（下層）			鉄釉	後Ⅲ		40	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
1144	緑釉小皿	3	10.6	9/12	6.1	12/12	2.4	9/12	110	d2d3	北壁7層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1145	緑釉小皿	3	10.6	2/12	5.8	6/12	2.2	5/12	35	g3	黒色灰層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1146	緑釉小皿	3	10.4	5/12	5.2	11/12	2.2	6/12	85	c3	黒色灰層下層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1147	緑釉小皿	3	10.5	4/12	5.3	9/12	2.2	5/12	65	c2	検出			鉄釉	後Ⅲ		40	
1148	緑釉小皿	3	10.2	4/12	5.6	12/12	2.2	9/12	95	f2f3	北壁2層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1149	緑釉小皿	3	10.5	1/12	5.0	2/12	2.2	2/12	20	d2d3	北壁7層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1150	緑釉小皿	3	10.5	1/12	5.0	6/12	2.2	3/12	30	e1d1	西壁1層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1151	緑釉小皿	3	10.1	3/12	5.6	3/12	2.3	3/12	35	d1d3	北壁4層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1152	緑釉小皿	3	10.3	7/12	5.4	11/12	2.2	7/12	85	e3	黒色灰層下層, 褐色土混じる			鉄釉	後Ⅲ		40	
1153	緑釉小皿	3	10.0	4/12	4.9	4/12	2.4	5/12	40	d2d3	北壁7層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1154	緑釉小皿	3	9.7	5/12	4.0	1/12	2.3	4/12	30	e2	黒色灰層上層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1155	緑釉小皿	3	10.6	4/12	4.9	12/12	2.4	6/12	70	d2c2	東壁3層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1156	緑釉小皿	3	10.3	4/12	5.4	6/12	2.2	5/12	40	d3c3	東壁3層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1157	緑釉小皿	3	10.7	4/12	5.3	5/12	2.5	5/12	65	98	表採			鉄釉	後Ⅲ		40	
1158	緑釉小皿	3	10.3	2/12	3.9	12/12	2.7	3/12	75	d2d3	北壁5層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1159	緑釉小皿	3	10.2	5/12	4.5	9/12	2.4	5/12	75	d2	検出			鉄釉	後Ⅲ		40	
1160	緑釉小皿	3	10.0	4/12	4.5	8/12	2.3	5/12	60	c4	黒色灰層上層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1161	緑釉小皿	3	10.1	4/12	5.0	4/12	2.2	5/12	35	f3f4	北壁6層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1162	緑釉小皿	3	9.9	4/12	4.4	11/12	2.3	6/12	85	d1d2	北壁4層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1163	緑釉小皿	3	9.8	3/12	4.3	5/12	2.3	4/12	45	d2	黒色灰層下層, 褐色土混じる			鉄釉	後Ⅲ		40	
1164	緑釉小皿	3	9.8	4/12	4.2	2/12	2.2	4/12	35	d3	黒色灰層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1165	緑釉小皿	3	9.4	2/12	4.6	12/12	2.3	5/12	50	e3e4	北壁3層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1166	緑釉小皿	3	9.9	3/12	4.1	12/12	2.2	4/12	50	c1	黒色灰層下層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1167	緑釉小皿	3	10.5	3/12	5.0	12/12	2.2	3/12	80	c2	検出			鉄釉	後Ⅲ		40	
1168	緑釉小皿	3	10.1	3/12	5.2	6/12	2.1	3/12	40	g3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる			鉄釉	後Ⅲ		40	
1169	緑釉小皿	3	10.2	4/12	6.0	12/12	1.8	5/12	70	b3c3	西壁2層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1170	緑釉小皿	3	10.1	6/12	5.4	11/12	1.9	9/12	65	f2	北トレンチ下層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1171	緑釉小皿	3	9.9	4/12	5.3	5/12	2.2	4/12	40	d1	黒色灰層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1172	緑釉小皿	3	9.8	4/12	5.4	6/12	2.3	6/12	80	e2d2	東壁3層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1173	緑釉小皿	3	9.4	5/12	4.2	6/12	2.6	6/12	50	d1	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる			鉄釉	後Ⅲ		40	
1174	緑釉小皿	3	9.7	2/12	5.0	3/12	2.3	2/12	40	98	表採			鉄釉	後Ⅲ		40	
1175	緑釉小皿	3	9.1	6/12	4.7	12/12	2.4	6/12	60	d2	黒色灰層上面			鉄釉	後Ⅲ		40	
1176	緑釉小皿	3	8.8	2/12	4.3	6/12	2.0	4/12	30	f3	黒色灰層下層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1177	緑釉小皿	3	9.0	4/12	4.3	12/12	2.2	5/12	50	e2e3	北壁8層（a, b）			鉄釉	後Ⅲ		40	
1178	緑釉小皿	3	8.9	3/12	4.4	7/12	2.0	5/12	30	f2	黒色灰層下層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1179	緑釉小皿	3	8.8	5/12	4.3	12/12	2.0	5/12	55	c3	黒色灰層下層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1180	緑釉小皿	3	9.0	4/12	4.2	12/12	2.1	5/12	60	c2	検出（下層）			鉄釉	後Ⅲ		40	
1181	緑釉小皿	3	9.0	7/12	5.0	12/12	2.2	8/12	70	f2	北トレンチ下層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1182	緑釉小皿	3	9.2	5/12	5.4	12/12	2.2	7/12	65	c3	黒色灰層下層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1183	緑釉小皿	3	9.3	9/12	5.1	12/12	2.4	10/12	75	c2c3	北壁4層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1184	緑釉小皿	3	8.6	3/12	4.4	12/12	2.2	7/12	50	f2	表採			鉄釉	後Ⅲ		40	
1185	緑釉小皿	3	8.7	1/12	4.6	12/12	2.3	4/12	40	f3e4	東壁3, 4層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1186	緑釉小皿	3	8.9	2/12	4.6	10/12	2.2	6/12	40	f2	北トレンチ			鉄釉	後Ⅲ		40	
1187	緑釉小皿	3	8.8	4/12	4.6	6/12	2.3	5/12	30	g2	東トレンチ			鉄釉	後Ⅲ		40	
1188	緑釉小皿	3	8.7	4/12	4.6	12/12	2.2	7/12	55	g4f4	東壁4層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1189	緑釉小皿	3	9.2	1/12	4.6	12/12	2.1	3/12	50	d2	黒色土層上層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1190	緑釉小皿	3	9.1	4/12	4.7	6/12	2.1	6/12	60	c2	黒色灰層下層			鉄釉	後Ⅲ		40	
1191	緑釉小皿	3	8.2	5/12	4.6	12/12	2.4	5/12	60	c3	黒色灰層上層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1192	緑釉小皿	3	7.8	1/12	4.3	12/12	2.5	6/12	65	d2	黒色土層上層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1193	緑釉小皿	3	8.2	2/12	4.0	3/12	2.1	1/12	15	c1	黒色灰層下層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1194	緑釉小皿	3	7.9	4/12	4.0	7/12	2.2	5/12	40	e3e4	北壁3層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1195	緑釉小皿	3	8.6	7/12	4.5	12/12	2.2	7/12	70	c3	黒色灰層上層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1196	緑釉小皿	3	8.7	10/12	5.0	12/12	1.8	11/12	80	c2	黒色灰層下層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1197	緑釉小皿	3	9.2	4/12	4.9	6/12	2.1	5/12	35	g3g4	北壁1層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1198	緑釉小皿	3	9.5	3/12	5.4	12/12	2.0	3/12	85	d4	黒色灰層上層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1199	緑釉小皿	3	8.8	3/12	4.5	5/12	1.9	4/12	30	g4	黒色灰層上層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1200	緑釉小皿	3	9.0	7/12	4.3	12/12	1.9	10/12	70	g3f3	東壁6層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1201	緑釉小皿	3	9.0	2/12	4.0	12/12	2.0	2/12	55	g3	黒色灰層上層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1202	緑釉小皿	3	9.0	2/12	4.5	2/12	2.1	2/12	25	d1c1	東壁2層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1203	緑釉小皿	3	8.5	3/12	4.2	12/12	2.2	5/12	50	d2	検出			鉄釉	後Ⅲ		41	
1204	緑釉小皿	3	8.3	1/12	4.2	9/12	2.1	3/12	40	98	表採			鉄釉	後Ⅲ		41	
1205	緑釉小皿	3	8.6	3/12	4.5	8/12	2.1	5/12	50	d1	黒色灰層下層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1206	緑釉小皿	3	8.5	6/12	4.8	12/12	2.0	7/12	60	f2	北トレンチ			鉄釉	後Ⅲ		41	
1207	緑釉小皿	3	8.3	5/12	4.8	5/12	1.9	5/12	35	d2d3	北壁1層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1208	緑釉小皿	3	8.1	3/12	3.6	12/12	2.0	8/12	40	f3	検出			鉄釉	後Ⅲ		41	
1209	緑釉小皿	3	8.6	3/12	3.8	7/12	2.0	4/12	35	c1	黒色灰層下層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1210	緑釉小皿	3	8.6	2/12	3.6	12/12	1.9	4/12	45	c1c2	北壁2層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1211	緑釉小皿	3	8.4	4/12	3.6	12/12	1.9	5/12	45	f4	黒色灰層上層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1212	緑釉小皿	3	9.2	3/12	4.6	11/12	1.9	5/12	40	d3c3	東壁4層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1213	緑釉小皿	3	8.6	4/12	3.9	6/12	2.1	5/12	40	f4	黒色灰層上層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1214	緑釉小皿	3	8.7	2/12	4.6	6/12	2.0	4/12	35	g4	黒色灰層上層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1215	緑釉小皿	3	8.9	6/12	4.3	12/12	2.2	6/12	60	c2	検出			鉄釉	後Ⅲ		41	
1216	緑釉小皿	3	8.0	4/12	3.5	12/12	2.0	5/12	40	c1c2	北壁1層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1217	緑釉小皿	3	8.8	1/12	4.4	5/12	2.0	3/12	30	f4	褐色土層, 地山直上			鉄釉	後Ⅲ		41	
1218	緑釉小皿	3	8.9	5/12	4.5	12/12	2.0	8/12	60	f2	北トレンチ			鉄釉	後Ⅲ		41	
1219	緑釉小皿	3	8.5	4/12	3.7	9/12	1.9	6/12	65	f2f3	北壁2層		ⅢB+小天目	鉄釉	後Ⅲ		41	
1220	緑釉小皿	3	8.4	4/12	3.8	12/12	1.8	8/12	45	c1	黒色灰層下層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1221	緑釉小皿	3	8.5	2/12	4.8	4/12	2.0	2/12	30	f4	表土			鉄釉	後Ⅲ		41	
1222	緑釉小皿	3	8.1	4/12	4.0	3/12	2.0	4/12	20	f2	北トレンチ下層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1223	緑釉小皿	3	8.4	3/12	4.4	12/12	2.1	7/12	40	d1d2	北壁1層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1224	緑釉小皿	3	8.8	3/12	4.4	9/12	1.8	5/12	40	d1d2	北壁1層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1225	緑釉小皿	3	9.0	3/12	4.6	3/12	2.0	3/12	20	b2	表土			鉄釉	後Ⅲ		41	
1226	緑釉小皿	3	9.0	2/12	4.6	6/12	1.8	2/12	30	f4	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる			鉄釉	後Ⅲ		41	
1227	緑釉小皿	3	8.5	8/12	3.8	12/12	1.9	10/12	55	d1c1	東壁3層	分②		鉄釉	後Ⅲ		41	50
1228	緑釉小皿	3	9.1	4/12	3.9	12/12	1.9	6/12	40	c2d2	東壁3層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1229	緑釉小皿	3	8.8	3/12	4.9	9/12	1.7	3/12	50	e2	検出			鉄釉	後Ⅲ		41	
1230	緑釉小皿	3	9.2	2/12	4.5	9/12	2.1	4/12	45	d2	黒色土層上層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1231	緑釉小皿	3	9.1	4/12	5.3	7/12	2.1	5/12	50	d4	黒色灰層上層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1232	緑釉小皿	3	9.0	7/12	4.7	12/12	2.2	8/12	65	d2	黒色灰層下層			鉄釉	後Ⅲ		41	50
1233	緑釉小皿	3	9.3	3/12	4.5	7/12	1.9	4/12	60	d2	黒色灰層下層		ⅢB+天目	鉄釉	後Ⅲ		41	
1234	緑釉小皿	3	8.8	2/12	4.0	9/12	2.1	5/12	35	b1b2b3	黒色灰層下層, 地山直上			鉄釉	後Ⅲ		41	
1235	緑釉小皿	3	9.0	5/12	4.0	12/12	1.8	7/12	60	g3g4	東壁2層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1236	緑釉小皿	3	8.9	3/12	5.3	6/12	1.9	4/12	40	f3	検出			鉄釉	後Ⅲ		41	
1237	緑釉小皿	3	8.4	3/12	4.0	12/12	2.2	3/12	50	d2	検出			鉄釉	後Ⅲ		41	
1238	緑釉小皿	3	9.0	3/12	4.0	6/12	2.1	4/12	35	98	表採			鉄釉	後Ⅲ		41	
1239	緑釉小皿	3	8.2	4/12	3.9	12/12	2.1	6/12	50	c2c3	北壁3層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1240	緑釉小皿	3	8.4	4/12	4.5	12/12	2.4	5/12	50	f3	検出			鉄釉	後Ⅲ		41	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
1241	緑釉小皿	3	8.6	5/12	4.4	9/12	2.1	7/12	50	f3	検出			鉄釉	後Ⅲ		41	
1242	緑釉小皿	3	8.9	4/12	4.1	9/12	1.9	4/12	35	g3	東壁4層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1243	緑釉小皿	3	8.2	5/12	4.0	12/12	1.9	5/12	45	d2	黒色灰層下層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1244	緑釉小皿	3	8.5	4/12	4.4	7/12	1.7	5/12	35	f3	表採			鉄釉	後Ⅲ		41	
1245	緑釉小皿	3	8.2	8/12	4.4	12/12	1.9	9/12	50	c1c2	北壁2層				後Ⅲ		41	
1246	緑釉小皿	3	8.2	7/12	4.3	12/12	1.8	7/12	50	b2c2	西壁2層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1247	緑釉小皿	3	8.5	5/12	4.9	12/12	1.9	6/12	40	f2	北トレンチ下層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1248	緑釉小皿	3	8.6	4/12	4.5	9/12	1.9	5/12	40	c2	検出			鉄釉	後Ⅲ		41	
1249	緑釉小皿	3	8.3	5/12	3.5	12/12	1.8	7/12	45	b1	黒色灰層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1250	緑釉小皿	3	8.3	6/12	3.8	12/12	2.1	7/12	50	d2d3	北壁3層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1251	緑釉小皿	3	8.7	5/12	4.9	9/12	1.7	6/12	35	g2	黒色灰層下層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1252	緑釉小皿	3	8.5	4/12	4.2	12/12	1.5	4/12	40	b2c2	西壁1層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1253	緑釉小皿	3	8.2	5/12	4.6	6/12	1.7	4/12	40	g5	表土			鉄釉	後Ⅲ		41	
1254	緑釉小皿	3	8.4	4/12	4.6	4/12	1.6	4/12	20	g2g3	北壁3層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1255	緑釉小皿	3	8.4	5/12	5.5	4/12	1.4	5/12	30	f3e3	東壁11層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1256	緑釉小皿	3	7.9	3/12	4.4	3/12	1.3	3/12	20	b3	黒色灰層上層			鉄釉	後Ⅲ		41	
1257	折縁小皿	1	10.3	11/12	4.7	12/12	2.4	11/12	89	c1	黒色灰層下層						42	
1258	折縁小皿	1	9.7	5/12	4.4	12/12	2.5	5/12	53	Ⅳ H14g	57層						42	
1259	折縁小皿	1	9.3	6/12	5.0	8/12	2.6	7/12	50	f2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる	分-20					42	
1260	折縁小皿	1	9.0	12/12	4.7	12/12	2.3	12/12	75	Ⅳ H12i	黒色灰層	No. 5					42	
1261	折縁小皿	1	9.2	9/12	4.8	12/12	2.6	10/12	72	f2	表採						42	
1262	折縁小皿	1	9.3	9/12	5.1	12/12	2.5	10/12	79	f3e3	東壁11層						42	51
1263	折縁小皿	1	8.9	10/12	4.9	12/12	2.5	10/12	70	Ⅳ H16f	灰層黒色土						42	
1264	折縁小皿	1	8.3	6/12	4.3	12/12	2.4	8/12	71	Ⅳ H14h	97層						42	
1265	折縁小皿	1	8.4	9/12	4.9	10/12	2.5	10/12	60	e3e4	北壁6層	分-19					42	
1266	折縁小皿	1	8.4	12/12	3.6	12/12	2.4	12/12	56	f4e4	北壁6層						42	
1267	折縁小皿	1	8.2	9/12	4.7	12/12	2.0	11/12	81	f2e2	東壁5, 6層						42	51
1268	折縁小皿	1	8.5	9/12	5.2	12/12	2.7	11/12	77	d2	黒色灰層上層						42	
1269	折縁小皿	1	9.3	10/12	5.1	12/12	2.0	10/12	75	Ⅳ H13g	整地層						42	
1270	折縁小皿	1	9.2	6/12	4.6	9/12	1.7	6/12	68	g2	黒色灰層上層						42	51
1271	折縁小皿	1	9.4	11/12	4.5	12/12	1.6	11/12	75	d2	黒色灰層上層						42	51
1272	折縁小皿	1	8.8	5/12	4.7	11/12	1.8	7/12	56	f2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						42	51
1273	折縁小皿	1	8.9	11/12	4.8	12/12	2.1	11/12	60	Ⅳ H14i	95層						42	
1274	折縁小皿	1	8.5	7/12	4.9	12/12	2.2	9/12	61	Ⅳ H14i	灰層上層						42	
1275	折縁小皿	1	8.1	11/12	4.6	12/12	2.0	12/12	55	Ⅳ H14i	95層						42	
1276	折縁小皿	1	8.5	10/12	5.3	12/12	1.8	11/12	81	d4	黒色灰層上層, 焼台多い						42	51
1277	折縁小皿	1	7.7	11/12	4.3	12/12	2.2	11/12	72	Ⅳ H15g	黒褐色土層						42	
1278	折縁小皿	1	8.0	11/12	3.9	12/12	1.7	11/12	65	Ⅳ H13g	整地層						42	
1279	折縁小皿	1	7.8	10/12	4.6	12/12	1.7	11/12	44	c3	黒色灰層上層						42	51
1280	折縁小皿	1	8.3	7/12	4.1	12/12	1.7	10/12	43	Ⅳ H14f, Ⅳ H15f	南壁57層						42	
1281	折縁小皿	1	7.3	12/12	3.8	12/12	1.7	12/12	36	Ⅳ H13i	表土						42	
1282	折縁小皿	1	7.3	12/12	4.8	12/12	1.6	12/12	39	Ⅳ H14h, Ⅳ H14i	東壁20層						42	
1283	折縁小皿	1	7.0	11/12	3.9	12/12	1.5	11/12	43	d1	黒色灰層						42	51
1284	折縁小皿	1	5.8	12/12	3.9	12/12	1.5	12/12	37	Ⅳ H15h	黒褐色土層						42	51
1285	折縁小皿	1	5.6	5/12	3.6	12/12	1.3	5/12	26	e3d3	東壁5層						42	
1286	折縁小皿	2	8.7	12/12	4.8	12/12	2.8	12/12	76	e3d3	東壁6層						42	51
1287	折縁小皿	2	9.1	11/12	4.3	12/12	2.2	11/12	94	b2	検出（黒色土中）						42	51
1288	折縁小皿	2	9.2	12/12	4.8	12/12	2.2	12/12	114	d2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						42	51
1289	折縁小皿	2	9.1	11/12	4.3	12/12	2.2	11/12	80	d2d3	北壁7層						42	
1290	折縁小皿	2	8.1	12/12	3.5	12/12	1.8	12/12	43	Ⅳ H14h, Ⅳ H15h	南壁44層						42	
1291	折縁小皿	2	8.3	11/12	4.0	12/12	2.0	11/12	51	Ⅳ H13i	黄色砂						42	
1292	折縁小皿	2	8.7	8/12	3.8	12/12	1.9	7/12	49	Ⅳ H13i	灰層上層						42	
1293	折縁小皿	2	8.2	9/12	4.3	12/12	1.8	10/12	56	e3e4	北壁8層						42	
1294	折縁小皿	2	8.8	6/12	4.4	10/12	1.8	5/12	41	Ⅳ H15f	表土						42	
1295	折縁小皿	2	8.5	8/12	4.3	12/12	2.2	8/12	63	g2	黒色灰層上層	分-21					42	
1296	折縁小皿	2	8.3	8/12	5.3	12/12	2.1	10/12	78	e3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						42	
1297	折縁小皿	2	8.0	12/12	4.1	12/12	2.0	12/12	50	Ⅳ H13h	トレンチ						42	
1298	折縁小皿	2	9.5	8/12	5.5	12/12	2.6	11/12	83	d4	黒色灰層上層						42	52
1299	折縁小皿	2	9.0	12/12	4.8	12/12	2.4	12/12	86	Ⅳ H15h	黒褐色土層						42	52
1300	折縁小皿	2	8.6	9/12	4.6	12/12	2.4	10/12	58	f2	黒色灰層上層						42	52
1301	折縁小皿	2	8.7	12/12	5.0	12/12	2.2	12/12	88	Ⅳ H16h	黒褐色土層						42	52
1302	折縁小皿	2	8.2	9/12	4.5	12/12	2.1	10/12	63	Ⅳ H15h	褐色土層						42	
1303	折縁小皿	2	8.2	12/12	3.6	12/12	2.3	12/12	72	99L	Lトレンチ						42	52
1304	折縁小皿	2	7.8	8/12	4.5	12/12	3.1	10/12	62	Ⅳ H15h	褐色土層						42	52
1305	折縁小皿	2	8.3	12/12	4.6	12/12	1.8	12/12	66	c3	黒色灰層下層						42	52
1306	折縁小皿	2	7.4	12/12	4.5	12/12	2.2	12/12	84	b1c1	西壁2層						42	
1307	折縁小皿	2	7.1	11/12	4.2	12/12	2.0	11/12	55	Ⅳ H13h, Ⅳ H14h	南壁95層						42	
1308	折縁小皿	2	5.8	12/12	3.8	12/12	1.8	12/12	29	d2d3	北壁8層（地山直上）	分②					42	52
1309	折縁小皿	2	8.2	8/12	4.8	12/12	1.7	10/12	51	Ⅳ H13h	表土						42	
1310	折縁小皿	2	7.4	11/12	4.1	12/12	1.8	11/12	64	d1d2	北壁7層						42	52
1311	折縁小皿	2	8.0	11/12	3.6	12/12	1.7	11/12	60	c2c3	北壁5層						42	
1312	折縁小皿	2	7.5	9/12	3.8	12/12	1.5	10/12	41	Ⅳ H14g, Ⅳ H15g	南壁162層						42	
1313	折縁小皿	2	7.4	11/12	3.0	12/12	1.7	11/12	43	c2	褐色砂層（地山直上）						42	
1314	折縁小皿	2	7.4	11/12	3.7	12/12	2.0	11/12	52	d1d2	北壁7層						42	
1315	折縁小皿	2	6.0	7/12	3.0	12/12	1.5	8/12	26	Ⅳ H15h	灰層上層						42	
1316	折縁小皿	2	6.0	5/12	3.2	12/12	1.6	7/12	27	99A	表採						42	52
1317	折縁小皿	3	8.5	12/12	4.0	12/12	2.5	12/12	87	d1	茶褐色層（地山直上）						43	52
1318	折縁小皿	3	8.4	9/12	5.0	12/12	2.3	8/12	51	b1b2	北壁1層						43	52
1319	折縁小皿	3	8.2	8/12	4.6	12/12	2.3	9/12	52	Ⅳ H13h, Ⅳ H13i	東壁21層						43	
1320	折縁小皿	3	8.1	11/12	3.9	12/12	2.1	11/12	71	Ⅳ H15h	褐色土層						43	52
1321	折縁小皿	3	8.0	9/12	3.8	12/12	2.1	10/12	43	Ⅳ H13h	トレンチ1						43	53
1322	折縁小皿	3	7.8	10/12	4.6	12/12	2.3	10/12	74	f4	表土						43	
1323	折縁小皿	3	7.4	9/12	4.4	12/12	2.2	11/12	59	c1	黒色灰層下層						43	52
1324	折縁小皿	3	8.3	10/12	4.7	12/12	2.1	11/12	60	d2	黒色灰層下層, 褐色土混じる						43	
1325	折縁小皿	3	8.1	11/12	4.2	12/12	1.8	11/12	62	d3	黒色灰層						43	53
1326	折縁小皿	3	8.0	9/12	4.8	12/12	1.9	9/12	59	Ⅳ H15h	褐色土層						43	
1327	折縁小皿	3	8.2	4/12	4.4	9/12	1.8	6/12	41	Ⅳ H13g	灰層上層						43	
1328	折縁小皿	3	7.7	11/12	4.3	12/12	1.9	11/12	52	Ⅳ H14f	南北トレンチ, 整地層						43	
1329	折縁小皿	3	8.5	12/12	4.5	12/12	2.2	12/12	71	Ⅳ H15h	褐色土層						43	53
1330	折縁小皿	3	7.7	12/12	4.2	12/12	1.9	12/12	63	Ⅳ H15g	黒褐色土層						43	
1331	折縁小皿	3	8.0	11/12	4.6	12/12	2.1	11/12	66	d1	黒色灰層						43	
1332	折縁小皿	3	7.3	9/12	4.5	12/12	1.8	10/12	56	Ⅳ H15h	褐色土層						43	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量（g）	グリッド	遺構・土層	取上・分析№	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
1333	折縁小皿	3	8.1	11/12	4.2	12/12	2.1	11/12	80	e3	黒色灰層下層，赤褐色土混じる						43	53
1334	折縁小皿	3	7.8	12/12	4.2	12/12	1.8	12/12	70	Ⅳ H15h	褐色土層						43	
1335	折縁小皿	3	7.9	7/12	4.5	12/12	2.0	7/12	52	Ⅳ H14f	北壁東壁						43	
1336	折縁小皿	3	7.8	11/12	4.5	12/12	1.9	11/12	60	c2c3	北壁5層						43	
1337	折縁小皿	3	7.7	12/12	3.8	12/12	1.8	12/12	50	Ⅳ H12i	検出	№2					43	
1338	折縁小皿	3	7.7	12/12	3.6	12/12	2.1	12/12	45	Ⅳ H13h	トレンチ1						43	53
1339	折縁小皿	3	7.5	11/12	4.4	12/12	2.0	11/12	61	Ⅳ H15h	褐色土層						43	
1340	折縁小皿	3	7.9	12/12	3.9	12/12	1.9	12/12	63	c1	黒色灰層最下部，褐色土直上						43	
1341	折縁小皿	3	8.9	4/12	4.1	12/12	1.7	6/12	53	Ⅳ H13f	東西トレンチ，整地層						43	
1342	折縁小皿	3	7.9	10/12	4.3	12/12	1.6	10/12	51	Ⅳ H14g，Ⅳ H15g	南壁55層						43	
1343	折縁小皿	3	8.1	9/12	4.4	12/12	1.7	10/12	56	d1d2	北壁3層						43	
1344	折縁小皿	3	7.8	12/12	3.6	12/12	1.9	12/12	39	Ⅳ H12i	検出	№3					43	
1345	折縁小皿	3	7.4	10/12	4.0	12/12	1.7	10/12	62	Ⅳ H15h	褐色土層						43	
1346	折縁小皿	3	8.3	11/12	4.4	12/12	1.8	11/12	61	Ⅳ H14h	南北トレンチ						43	
1347	折縁小皿	3	8.1	8/12	4.3	12/12	1.6	10/12	51	Ⅳ H15g	173層						43	
1348	折縁小皿	3	8.1	12/12	5.0	12/12	1.3	12/12	65	c4	褐色土層						43	
1349	折縁小皿	3	8.3	11/12	4.4	12/12	2.6	11/12	70	e3	黒色灰層下層，褐色土混じる						43	53
1350	折縁小皿	3	10.4	10/12	4.9	12/12	2.8	11/12	121	c3	黒色灰層下層直上，褐色土直上						43	53
1351	折縁小皿	3	10.6	11/12	4.7	12/12	2.6	11/12	129	Ⅳ H15g	169層						43	
1352	折縁小皿	3	9.2	12/12	5.2	12/12	2.2	12/12	98	Ⅳ H15h	黒褐色土層						43	53
1353	折縁小皿	3	9.3	12/12	3.8	12/12	2.6	12/12	81	Ⅳ H15f，Ⅳ H15g	南壁216層						43	
1354	折縁小皿	3	8.9	7/12	4.5	12/12	2.1	10/12	85	Ⅳ H13g	整地層						43	
1355	折縁小皿	3	9.2	8/12	4.5	12/12	1.9	7/12	48	g2	黒色灰層上層	分-18					43	
1356	折縁小皿	3	9.0	12/12	5.1	12/12	2.1	12/12	89	Ⅳ H16i	黒褐色土層	分②					43	
1357	折縁小皿	3	9.2	9/12	4.4	12/12	2.0	10/12	71	e3	検出（下層）						43	53
1358	折縁小皿	3	8.1	11/12	4.3	12/12	1.9	11/12	68	Ⅳ H16g	褐色土層						43	53
1359	折縁小皿	3	7.9	12/12	4.6	12/12	1.9	12/12	67	Ⅳ H15h	褐色土層						43	53
1360	折縁小皿	3	7.8	10/12	5.0	12/12	1.9	11/12	55	f2f3	北壁3層（3a）						43	
1361	折縁小皿	3	8.5	12/12	4.7	12/12	2.1	12/12	61	Ⅳ H16i	黒褐色土層						43	53
1362	折縁小皿	3	8.4	12/12	4.0	12/12	2.0	12/12	76	Ⅳ H15g	169層						43	
1363	折縁小皿	3	8.0	12/12	4.5	12/12	2.0	12/12	57	Ⅳ H15f	黒褐色土層						43	54
1364	折縁小皿	3	8.1	12/12	4.0	12/12	2.0	12/12	56	98	表採						43	
1365	折縁小皿	3	9.1	8/12	4.7	12/12	1.9	10/12	53	Ⅳ H15h	183層						43	
1366	折縁小皿	3	8.8	11/12	4.4	12/12	1.8	11/12	57	d1d2	北壁7層						43	
1367	折縁小皿	3	8.6	11/12	4.6	12/12	1.9	11/12	66	c3c4	北壁3層						43	
1368	折縁小皿	3	7.8	10/12	4.3	12/12	1.4	11/12	56	d2	黒色土層上層						43	
1369	折縁小皿	3	8.3	9/12	4.4	12/12	1.6	10/12	51	Ⅳ H15f	175層						43	
1370	折縁小皿	3	8.3	9/12	4.9	12/12	1.6	10/12	48	Ⅳ H14f，Ⅳ H14g	東壁62層						43	
1371	折縁小皿	3	7.8	11/12	3.8	12/12	1.7	11/12	43	Ⅳ H14g	西壁80層						43	
1372	折縁小皿	3	7.4	11/12	4.2	12/12	1.9	11/12	49	d3d4	北壁4層						43	
1373	折縁小皿	3	8.2	11/12	3.9	12/12	1.8	11/12	66	c3	黒色灰層下層直上，褐色土直上						43	54
1374	折縁小皿	3	8.0	10/12	4.2	12/12	1.7	11/12	58	b2	黒色土最下部（検出）						43	
1375	折縁小皿	3	7.3	11/12	3.5	12/12	1.9	11/12	56	Ⅳ H13h	西壁14層						43	
1376	折縁小皿	3	5.5	3/12	3.0	5/12	1.1	4/12	8	Ⅳ H14g，Ⅳ H15g	南壁60層						43	
1377	折縁小皿	4	10.0	7/12	4.6	12/12	2.9	8/12	73	c2	検出（下層）						44	
1378	折縁小皿	4	9.5	12/12	4.4	12/12	2.9	12/12	115	Ⅳ H14g	北壁144層						44	
1379	折縁小皿	4	9.8	12/12	4.7	12/12	2.8	12/12	118	e3e4	北壁10層						44	54
1380	折縁小皿	4	9.5	11/12	4.0	12/12	2.9	11/12	101	Ⅳ H15h	183層						44	
1381	折縁小皿	4	9.8	9/12	4.7	12/12	2.9	11/12	260	Ⅳ H14g，Ⅳ H15g	南壁162層						44	
1382	折縁小皿	4	10.0	7/12	3.8	12/12	2.7	9/12	140	Ⅳ H14g，Ⅳ H14h	東壁55層						44	
1383	折縁小皿	4	10.0	12/12	4.5	12/12	2.7	12/12	100	Ⅳ H14g	西壁80層						44	
1384	折縁小皿	4	9.3	4/12	3.8	10/12	3.2	5/12	60	Ⅳ H15h	165層						44	
1385	折縁小皿	4	8.8	5/12	3.7	6/12	2.5	5/12	52	Ⅳ H14h	西壁南北トレンチ						44	
1386	折縁小皿	4	9.2	8/12	4.3	12/12	2.2	9/12	85	Ⅳ H14g	南北トレンチ灰層下層						44	
1387	折縁小皿	4	8.9	9/12	3.6	12/12	2.5	11/12	86	d4	黒色灰層下層，褐色土混じる						44	54
1388	折縁小皿	4	8.8	6/12	4.7	12/12	3.0	8/12	96	99A	表採						44	
1389	折縁小皿	4	8.8	3/12	4.5	12/12	2.7	5/12	59	f3	検出（下層）						44	
1390	折縁小皿	4	8.9	3/12	3.1	12/12	3.3	4/12	70	f2	北トレンチ下層						44	
1391	折縁小皿	4	9.1	6/12	3.4	9/12	3.0	8/12	93	f2	黒色灰層最下層，赤褐色土混じる						44	54
1392	折縁小皿	4	9.6	12/12	3.6	12/12	3.3	12/12	120	Ⅳ H16i	黒褐色土層	分②					44	54
1393	折縁小皿	4	10.6	10/12	4.3	12/12	3.2	10/12	119	e2d2	東壁5層						44	54
1394	折縁小皿	4	10.4	3/12	4.4	12/12	3.0	6/12	78	Ⅳ H15g	169層						44	
1395	折縁小皿	4	10.0	3/12	4.6	3/12	2.6	3/12	35	Ⅳ H15f，Ⅳ H15g	166層						44	
1396	折縁小皿	4	10.0	8/12	4.6	12/12	2.6	10/12	85	Ⅳ H15g	灰層上層						44	
1397	折縁小皿	4	9.5	7/12	4.4	12/12	2.3	9/12	78	Ⅳ H14h，Ⅳ H14i	東壁44層						44	
1398	折縁小皿	4	10.0	11/12	4.3	12/12	2.6	11/12	86	Ⅳ H14f	57層						44	
1399	折縁小皿	4	9.9	5/12	3.8	10/12	3.1	6/12	85	Ⅳ H14f，Ⅳ H14g	東壁62層						44	
1400	折縁小皿	4	8.7	3/12	3.3	9/12	2.7	7/12	63	Ⅳ H15g	173層						44	
1401	折縁小皿	4	9.9	3/12	4.3	6/12	2.8	5/12	59	Ⅳ H15g	169層						44	
1402	折縁小皿	4	10.3	10/12	3.6	12/12	2.8	10/12	90	Ⅳ H14g	西壁80層						44	
1403	折縁小皿	4	9.6	8/12	3.4	12/12	3.0	7/12	69	Ⅳ H15f	北壁175層						44	
1404	折縁小皿	4	9.6	12/12	4.1	12/12	2.3	12/12	86	c2c3	北壁1層						44	54
1405	折縁小皿	4	9.3	7/12	3.4	12/12	2.6	9/12	89	Ⅳ H15g	169層						44	
1406	折縁小皿	4	9.2	6/12	3.9	12/12	3.0	7/12	91	Ⅳ H15h	131層						44	
1407	折縁小皿	4	8.7	3/12	3.3	9/12	2.7	7/12	45	Ⅳ H15g	169層						44	
1408	折縁小皿	4	9.6	6/12	3.6	12/12	2.4	7/12	81	Ⅳ H15g	169層						44	
1409	折縁小皿	4	9.9	7/12	4.7	12/12	2.5	9/12	76	Ⅳ H15f	175層						44	
1410	折縁小皿	4	9.6	5/12	4.3	12/12	2.6	5/12	81	Ⅳ H14g，Ⅳ H15g	南壁133層						44	
1411	折縁小皿	4	9.0	11/12	2.9	12/12	1.6	11/12	63	d3	黒色灰層下層，褐色土混じる						44	
1412	折縁小皿	4	6.3	4/12	3.0	7/12	2.2	5/12	25	Ⅳ H14f	北壁13層						44	
1413	直縁甕鉢		19.0	1/12	11.8	1/12	4.0	1/12	45	d1	黒色灰層上層						45	
1414	折縁中鉢		19.9	2/12	−	−	3.9	1/12	50	f3	黒色灰層下層，赤褐色土混じる						45	
1415	折縁中鉢		18.0	3/12	−	−	3.3	1/12	45	d3	黒色灰層下層，赤褐色土混じる						45	
1416	八稜皿		24.6	2/12	−	−	4.7	1/12	125	d2d3	北壁8層						45	
1417	八稜皿		24.6	1/12	−	−	4.0	1/12	50	98	表採						45	
1418	八稜皿		−	−	15.5	1/12	1.8	2/12	80	Ⅳ H15g	黒褐色土層						45	
1419	八稜皿		−	−	15.7	4/12	2.4	1/12	265	d3	黒色灰層上層						45	
1420	八稜皿		19.1	1/12	15.0	2/12	2.2	1/12	25	c3c4	北壁切株下，黒色灰層						45	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉			時期	その他	遺物図	写真図版
1421	八稜皿		15.3	1/12	10.2	2/12	2.3	1/12	30	c2	検出（下層）							45	
1422	八稜皿		14.9	1/12	−	−	2.5	1/12	20	f2f3	北壁6層							45	
1423	八稜皿		14.0	2/12	9.6	2/12	2.4	2/12	45	f3	検出							45	
1424	八稜皿		14.2	1/12	9.7	3/12	2.4	1/12	30	Ⅳ H15g	黒褐色土層							45	
1425	八稜皿		14.0	3/12	9.5	2/12	2.9	2/12	35	f2	北トレンチ下層							45	
1426	八稜皿		13.6	2/12	9.1	3/12	3.0	2/12	60	c2d3	北壁8層							45	
1427	八稜皿		12.6	1/12	−	−	2.5	1/12	20	99G	黒褐色土層							45	
1428	八稜皿		13.5	4/12	8.3	7/12	3.0	3/12	115	g2	東トレンチ							45	55
1429	八稜皿		(13.5)	5/12	7.5	8/12	2.9	5/12	170	f2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる							46	55
1430	八稜皿		(14.4)	1/12	(9.0)	10/12	3.5	5/12	180	c2	北壁4層			鉄釉				46	55
1431	八稜皿(鉄彩)		(15.6)	1/12	(10.2)	7/12	2.5	6/12	145	d1	東壁3層	分②						46	55
1432	八稜皿		12.1	1/12	7.0	9/12	2.6	2/12	310	f2	黒色灰層上層							46	56
1433	八稜皿		(15.3)	2/12	(11.0)	3/12	2.4	4/12	復元	g3	東トレンチ			鉄釉				46	55
1434	八稜皿		(15.4)	3/12	(10.8)	7/12	2.8	4/12	復元	g3	黒色灰層上層			鉄釉				46	56
1435	八稜皿		14.9	1/12	11.0	2/12	2.0	3/12	90	f4	黒色灰層上層			鉄釉				46	56
1436	八稜皿		14.6	2/12	10.0	5/12	3.1	4/12	100	98	表採							46	56
1437	八稜皿		(15.0)	2/12	(10.0)	2/12	2.6	2/12	50	99G	黒褐色土層							46	55
1438	八稜皿		13.3	7/12	8.7	12/12	3.1	7/12	190	f2f3	北壁3層							46	
1439	卸目付大皿		33.0	2/12	−	−	(7.0)	1/12	170	c1	黒色灰層下層							47	
1440	卸目付大皿		33.0	1/12	−	−	(6.4)	1/12	95	c2c3	北壁3層	分②						47	
1441	卸目付大皿		30.0	2/12	−	−	(6.3)	2/12	185	d1	黒色灰層最下部, 褐色土直上	分②						47	
1442	卸目付大皿		22.0	5/12	11.0	6/12	4.8	5/12	315	c2	黒色灰層下層							47	57
1443	卸目付大皿		−	−	−	−	(6.0)	1/12	65	d2d3	北壁8層							47	
1444	卸目付大皿		23.8	3/12	13.0	3/12	6.1	3/12	200	c3	黒色灰層上層							47	
1445	卸目付大皿		23.2	1/12	−	−	(3.6)	1/12	60	c1	黒色灰層最下部, 褐色土直上							47	
1446	卸目付大皿		−	−	13.4	7/12	(3.5)	1/12	505	Ⅳ H16f	黒色灰層							47	
1447	卸目付大皿		−	−	15.7	4/12	(3.3)	1/12	275	d2	検出							47	
1448	卸目付大皿		−	−	14.4	7/12	(4.0)	1/12	450	c2c3	北壁3層							47	
1449	卸目付大皿		−	−	13.9	6/12	(3.4)	1/12	365	d3d4	北壁4層							47	
1450	卸目付大皿		−	−	13.2	6/12	(4.1)	1/12	350	c3c4	北壁, 黒色灰層							47	
1451	卸皿		28.9	1/12	14.0	6/12	6.4	4/12	375	e5	黒色灰層下層, 褐色土混じる, ベルト							48	
1452	卸皿		29.9	3/12	11.5	3/12	8.0	3/12	360	d1	黒色灰層							48	
1453	卸皿		26.2	3/12	12.1	3/12	7.0	2/12	230	g3	黒色灰層上層							48	
1454	卸皿		27.8	3/12	11.4	5/12	6.5	3/12	450	Ⅳ H14h	灰層上層, 暗褐色砂層							48	57
1455	卸皿		25.8	2/12	12.5	4/12	6.2	3/12	295	f2	黒色灰層上層							48	
1456	卸皿		24.3	4/12	16.4	5/12	6.5	4/12	360	d1d2	北壁7層							48	
1457	卸皿		23.1	5/12	19.8	5/12	7.5	5/12	555	Ⅳ H14h, Ⅳ H14i	東壁152層							49	57
1458	卸皿		19.4	4/12	7.8	5/12	8.2	4/12	240	Ⅳ H16f	黒色灰層							49	56
1459	卸皿		23.6	3/12	10.7	3/12	6.3	3/12	210	f2	北トレンチ							49	
1460	卸皿		24.4	3/12	11.6	6/12	6.1	4/12	380	d2d3	北壁2層							49	
1461	卸皿		22.4	5/12	11.6	6/12	5.3	5/12	350	Ⅳ H16f	灰層（褐色土下黒色土）							49	56
1462	卸皿		23.8	4/12	11.4	4/12	5.0	4/12	250	c2	検出							49	
1463	卸皿		25.0	2/12	14.0	3/12	5.0	3/12	285	c2	検出							50	
1464	卸皿		25.8	1/12	12.0	2/12	5.6	2/12	230	b2	検出							50	
1465	卸皿		24.9	4/12	11.6	5/12	4.9	4/12	295	f2	北トレンチ下層							50	
1466	卸皿		24.9	1/12	11.1	1/12	4.9	1/12	100	e4	表土							50	
1467	卸皿		25.0	3/12	13.2	4/12	4.8	4/12	290	c1	黒色灰層下層							50	
1468	卸皿		22.6	2/12	11.6	1/12	4.9	2/12	165	Ⅳ H14h	灰層上層							50	57
1469	卸皿		22.7	4/12	11.2	5/12	4.8	4/12	235	c1	黒色灰層下層							50	
1470	卸皿		22.5	2/12	11.0	5/12	5.0	2/12	220	c2c3	北壁3層							50	
1471	卸皿		20.2	5/12	10.4	8/12	6.1	5/12	350	Ⅳ H13h, Ⅳ H14h	南壁97層							51	57
1472	卸皿		20.2	3/12	8.4	12/12	5.5	4/12	340	Ⅳ H16f	黒褐色土層							51	
1473	卸皿		16.8	7/12	8.3	12/12	4.5	9/12	315	Ⅳ H16h	表土下, 黒褐色土層							51	
1474	卸皿		20.2	2/12	10.0	12/12	5.0	7/12	360	g3	黒色灰層上層							51	
1475	卸皿		19.3	3/12	8.3	12/12	5.0	4/12	295	d2	黒色灰層下層							51	
1476	卸皿		20.0	5/12	9.0	12/12	5.2	8/12	495	99L	Lトレンチ							51	58
1477	卸皿		17.0	7/12	8.4	12/12	3.4	8/12	285	g3	黒色灰層上層							52	
1478	卸皿		18.7	5/12	10.1	8/12	3.8	6/12	290	Ⅳ H14f	57層							52	
1479	卸皿		18.0	6/12	8.3	12/12	3.6	9/12	410	d1c1	東壁3層							52	58
1480	卸皿		18.5	5/12	10.2	11/12	3.4	6/12	380	Ⅳ H15g	黒褐色土層							52	
1481	卸皿		19.6	4/12	10.0	5/12	4.0	4/12	205	Ⅳ H15g	北壁166層							52	58
1482	卸皿		16.9	3/12	9.1	10/12	4.0	4/12	230	99L	Lトレンチ							52	
1483	卸皿		15.8	4/12	6.8	12/12	3.8	5/12	165	Ⅳ H16g	黒褐色土層							52	
1484	卸皿		15.3	4/12	7.6	12/12	3.8	5/12	200	b1	黒色灰層							52	
1485	卸皿		14.9	9/12	8.3	12/12	3.5	9/12	240	Ⅳ H15h	184層							52	58
1486	卸皿		17.5	11/12	8.5	12/12	3.9	11/12	365	Ⅳ H14h	97層							52	58
1487	卸皿		14.0	4/12	7.1	12/12	3.4	9/12	190	Ⅳ H15f	黒褐色土層							52	
1488	卸皿		15.2	3/12	7.6	3/12	3.3	1/12	70	b1	黒色灰層							52	
1489	卸皿		14.6	4/12	8.8	10/12	3.8	7/12	200	Ⅳ H15g	黒褐色土層							53	
1490	卸皿		15.7	7/12	7.6	12/12	4.0	8/12	260	Ⅳ H14f	西壁トレンチ							53	
1491	卸皿		16.0	3/12	6.9	3/12	4.2	1/12	90	c1	黒色灰層下層							53	
1492	卸皿		16.0	11/12	8.2	12/12	3.2	11/12	290	Ⅳ H14f	127層							53	
1493	卸皿		14.0	5/12	7.1	12/12	3.5	7/12	260	99A	表採							53	
1494	卸皿		14.5	6/12	6.6	12/12	3.7	8/12	280	Ⅳ H14g, Ⅳ H15g	南壁160層							53	
1495	卸皿		13.8	5/12	7.4	12/12	4.0	8/12	240	d2c2	東壁3層							53	
1496	卸皿		16.0	3/12	8.5	6/12	3.7	7/12	150	b1	黒色灰層							53	
1497	卸皿		14.2	8/12	7.2	10/12	3.9	9/12	210	Ⅳ H15h	242層, B区							53	
1498	卸皿		15.3	9/12	8.3	12/12	3.1	11/12	275	Ⅳ H15h	黒褐色土層							53	
1499	卸皿		15.0	8/12	8.9	12/12	3.5	8/12	220	Ⅳ H15f	134層, 直上							53	
1500	卸皿		17.0	4/12	7.0	3/12	3.7	3/12	170	c1	黒色灰層上層							53	
1501	卸皿		16.4	6/12	8.0	12/12	3.7	8/12	245	Ⅳ H15h	褐色土層							54	
1502	卸皿		15.4	7/12	8.5	12/12	3.2	8/12	240	Ⅳ H15g	黒褐色土層							54	
1503	卸皿		14.8	5/12	8.1	12/12	3.6	7/12	120	Ⅳ H15h	黒褐色土層							54	
1504	卸皿		16.1	6/12	8.3	12/12	3.0	7/12	210	Ⅳ H15i	褐色土層							54	
1505	卸皿		16.0	5/12	7.8	12/12	2.9	7/12	200	Ⅳ H15g	黒褐色土層							54	
1506	卸皿		16.5	3/12	9.0	3/12	3.6	3/12	85	c1	黒色灰層下層							54	
1507	卸皿		14.8	8/12	7.2	12/12	3.1	8/12	230	Ⅳ H16h	黒褐色土層							54	
1508	卸皿		14.6	7/12	6.5	10/12	3.5	8/12	195	Ⅳ H13h	トレンチ窯前							54	
1509	卸皿		15.4	3/12	8.4	12/12	3.2	7/12	200	Ⅳ H14f	57層							54	
1510	卸皿		14.0	7/12	7.6	11/12	3.5	7/12	175	Ⅳ H15f	西壁トレンチ							54	
1511	卸皿		14.2	3/12	8.0	12/12	3.4	6/12	175	Ⅳ H15g	134層, 直上							54	
1512	卸皿		13.9	3/12	7.3	5/12	3.4	4/12	110	Ⅳ H14f, Ⅳ H14g	東壁62層							54	58
1513	卸皿		16.6	5/12	7.4	12/12	3.4	6/12	260	c1	黒色灰層下層							55	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
1514	卸皿		16.1	3/12	7.6	12/12	3.4	4/12	180	Ⅳ H13h	黄褐色土層						55	
1515	卸皿		13.3	5/12	7.1	12/12	3.0	8/12	155	Ⅳ H13h	トレンチ						55	
1516	卸皿		13.7	7/12	6.5	11/12	3.4	9/12	200	Ⅳ H16g	赤褐色土層						55	58
1517	卸皿		15.4	6/12	9.0	12/12	3.8	8/12	240	Ⅳ H15g	黒褐色土層						55	
1518	卸皿		15.1	7/12	7.8	8/12	3.4	8/12	190	Ⅳ H15h	褐色土層						55	
1519	卸皿		13.6	8/12	6.1	12/12	2.7	9/12	155	Ⅳ H14g, Ⅳ H15g	南壁56層						55	
1520	卸皿		15.1	4/12	−	−	(4.4)	2/12	65	b1	黒色灰層						55	
1521	卸皿		15.0	7/12	7.7	12/12	4.2	9/12	250	Ⅳ H15i	褐色土層						55	
1522	卸皿		14.8	9/12	7.7	12/12	3.4	10/12	250	Ⅳ H12i	褐色土層						55	
1523	卸皿		15.5	6/12	8.9	7/12	2.8	6/12	155	Ⅳ H14f, Ⅳ H14g	東壁126層						55	59
1524	卸皿		15.5	9/12	8.1	12/12	3.3	10/12	260	Ⅳ H13i	南壁清掃						55	
1525	卸皿		13.5	8/12	6.5	12/12	4.4	10/12	205	Ⅳ H15g	173層						56	59
1526	卸皿		15.1	6/12	7.5	12/12	3.2	9/12	240	Ⅳ H15h	褐色土層						56	
1527	卸皿		14.1	4/12	6.0	6/12	2.3	5/12	140	c1	黒色灰層下層						56	
1528	卸皿		15.5	8/12	9.3	12/12	3.6	10/12	300	Ⅳ H15h	褐色土層						56	
1529	卸皿		16.4	6/12	8.0	12/12	3.7	8/12	265	Ⅳ H15h	褐色土層						56	
1530	卸皿		14.8	3/12	8.4	12/12	3.9	6/12	240	c2	黒色灰層下層						56	
1531	卸皿		14.0	5/12	7.6	12/12	3.3	7/12	170	Ⅳ H15i	褐色土層						56	
1532	卸皿		11.7	8/12	6.3	12/12	2.4	8/12	160	c1	黒色灰層下層						56	
1533	卸皿		11.7	3/12	6.2	8/12	3.0	5/12	120	Ⅳ H16i	黒褐色土層						56	
1534	卸皿		11.9	8/12	7.0	12/12	2.5	11/12	185	Ⅳ H	北側東西トレンチ						56	59
1535	卸皿		13.0	5/12	6.8	8/12	3.0	5/12	90	f3	検出（下層）						56	
1536	卸皿		11.6	3/12	7.3	8/12	3.1	7/12	125	Ⅳ H15g	黒褐色土層						56	
1537	卸皿		11.0	3/12	5.3	8/12	3.3	4/12	115	Ⅳ H15g	黒褐色土層						56	
1538	卸皿		11.9	7/12	4.6	12/12	2.9	8/12	120	Ⅳ H16g	黒褐色土層						56	
1539	卸皿		12.1	5/12	5.2	9/12	2.3	5/12	90	99A	表採						57	
1540	卸皿		12.8	6/12	5.5	12/12	2.2	7/12	150	d1	黒色灰層上層						57	
1541	卸皿		11.7	10/12	5.2	12/12	2.5	10/12	115	f2	黒色灰層中						57	59
1542	卸皿		12.0	4/12	5.4	12/12	2.5	5/12	105	Ⅳ H13h	トレンチ						57	
1543	卸皿		10.8	5/12	5.1	12/12	2.8	5/12	100	d4	黒色灰層上層						57	
1544	卸皿		10.7	10/12	5.4	12/12	2.7	10/12	135	Ⅳ H16i	黒褐色土層						57	59
1545	卸皿		10.4	7/12	5.3	12/12	2.8	7/12	100	Ⅳ H16i	黒褐色土層						57	
1546	卸皿		10.0	3/12	5.6	6/12	2.9	5/12	90	f3	検出						57	
1547	卸皿		11.0	5/12	4.4	7/12	2.5	5/12	75	c2	検出（下層）						57	
1548	卸皿		10.0	7/12	4.6	12/12	2.6	8/12	100	b3	黒色灰層上層						57	
1549	卸皿		10.9	5/12	6.4	12/12	2.2	5/12	90	Ⅳ H16h	表土下, 黒褐色土層						57	
1550	卸皿		11.0	4/12	5.8	8/12	2.0	5/12	80	c2	検出						57	
1551	卸皿		11.6	7/12	5.6	12/12	2.5	8/12	105	f2	検出						57	
1552	卸皿		11.0	3/12	6.0	12/12	2.4	4/12	95	f2	黒色灰層上層						57	
1553	卸皿		10.0	4/12	5.6	12/12	2.2	5/12	60	g2	東トレンチ下層						57	
1554	卸皿		11.0	3/12	5.0	4/12	2.5	5/12	45	b1	黒色灰層						57	
1555	卸皿		10.6	10/12	4.5	12/12	1.6	10/12	120	d2	黒色灰層下層						57	
1556	卸皿		9.7	7/12	4.7	12/12	2.2	7/12	95	c2	検出						57	
1557	卸皿		10.1	9/12	5.9	12/12	2.2	10/12	115	Ⅳ H16i	黒褐色土層						57	
1558	卸皿		9.0	11/12	5.8	11/12	3.1	11/12	110	Ⅳ H16h	黒褐色土層						57	
1559	卸皿		9.8	3/12	6.7	4/12	2.8	4/12	45	f2	北トレンチ						58	
1560	卸皿		9.0	3/12	6.0	4/12	3.1	4/12	35	f2	北トレンチ下層						58	
1561	卸皿		10.4	5/12	4.4	12/12	2.0	6/12	60	Ⅳ H15g	黒褐色土層						58	
1562	卸皿		9.8	5/12	4.6	5/12	2.1	5/12	45	Ⅳ H16i	黒褐色土層						58	
1563	卸皿		10.1	4/12	4.4	4/12	2.2	4/12	50	f2	北トレンチ下層						58	
1564	卸皿		8.0	5/12	4.9	7/12	1.7	5/12	40	99A	表採						58	
1565	卸皿		9.8	4/12	4.7	4/12	2.1	4/12	45	g4	黒色灰層下層, 褐色土混じる, ベルト						58	
1566	卸皿		8.8	3/12	4.8	7/12	1.9	4/12	35	d3	表土						58	
1567	卸皿		8.0	4/12	4.4	12/12	2.2	4/12	50	Ⅳ H15i	黒褐色土層						58	
1568	卸皿		8.0	2/12	4.3	2/12	2.4	3/12	40	Ⅳ H16h	黒褐色土層						58	
1569	卸皿		8.0	2/12	4.3	9/12	1.9	4/12	35	Ⅳ H16i	表土下, 黒褐色土層						58	
1570	卸皿		8.2	4/12	3.6	12/12	1.8	5/12	40	c2	検出						58	
1571	卸皿		9.4	8/12	4.5	12/12	2.0	10/12	55	f2f3	北壁2層						58	
1572	卸皿		9.0	3/12	4.7	7/12	1.8	4/12	30	c1	黒色灰層下層			灰釉+鉄釉			58	
1573	卸皿		8.0	8/12	4.0	12/12	2.0	10/12	30	c3	黒色灰層上層			鉄釉			58	
1574	卸皿		9.0	3/12	4.4	10/12	1.9	5/12	40	f5	表土			鉄釉			58	
1575	卸皿		8.0	3/12	4.0	3/12	1.9	3/12	30	g4	北壁2層			鉄釉			58	
1576	卸皿		8.0	4/12	4.0	8/12	2.1	5/12	40	g3f3	東壁6層			鉄釉			58	
1577	卸皿		7.6	5/12	4.4	8/12	1.9	6/12	40	d2	黒色灰層上層			鉄釉			58	
1578	卸皿		7.7	5/12	4.5	9/12	1.8	6/12	40	99A	表採			鉄釉			58	
1579	卸皿		6.4	9/12	3.4	12/12	2.2	12/12	45	Ⅳ H15g	173層						58	59
1580	卸皿		7.2	1/12	4.0	6/12	2.0	2/12	20	Ⅳ H15f	黒褐色土層						58	
1581	卸皿		6.2	3/12	3.4	3/12	1.8	3/12	10	Ⅳ H15h	黒褐色土層						58	
1582	卸皿		6.0	4/12	2.9	12/12	2.0	6/12	30	Ⅳ H16g	黒褐色土層						58	
1583	卸皿		7.8	4/12	4.0	4/12	1.9	4/12	30	g4	黒色灰層下層						58	
1584	卸皿		6.8	2/12	3.4	3/12	1.9	3/12	15	d3	黒色灰層上層						58	
1585	卸皿		6.8	3/12	−	−	(1.7)	3/12	15	99A	表採						58	
1586	卸皿		6.0	4/12	3.4	12/12	1.5	5/12	25	d1	黒色灰層上層						58	
1587	卸皿		6.8	2/12	3.4	3/12	1.6	3/12	20	f2	黒色灰層中			鉄釉			58	
1588	卸皿		7.4	8/12	3.6	11/12	1.6	8/12	30	Ⅳ H15i	黒褐色土層, 地山直上						58	59
1589	直縁大皿		33.3	2/12	16.0	2/12	9.5	2/12	270	f2f3	北壁1層						59	
1590	直縁大皿		32.7	6/12	14.6	9/12	10.1	7/12	1410	Ⅳ H14h, Ⅳ H14i	東壁241層						59	
1591	直縁大皿		31.6	3/12	14.0	4/12	9.7	4/12	565	c1c2	北壁4層						59	59
1592	直縁大皿		31.6	1/12	14.4	4/12	14.5	2/12	350	Ⅳ H13g	95層						59	
1593	直縁大皿		32.7	1/12	15.5	1/12	10.1	1/12	225	c2	検出						59	
1594	直縁大皿		41.8	1/12	12.6	4/12	13.0	2/12	750	Ⅳ H13i, Ⅳ H14i	南壁94層						59	59
1595	直縁大皿		32.3	4/12	13.8	10/12	9.9	5/12	690	Ⅳ H11i	表土下, 黒褐色土層						60	
1596	直縁大皿		33.1	3/12	14.7	6/12	10.4	4/12	820	Ⅳ H13i	100層						60	
1597	直縁大皿		33.3	1/12	13.8	3/12	9.9	2/12	355	Ⅳ H13i	トレンチ4（旧SY04前）						60	
1598	直縁大皿		32.0	2/12	13.0	5/12	11.8	3/12	500	Ⅳ H13i	トレンチ4						60	
1599	直縁大皿		30.1	1/12	13.0	2/12	10.5	1/12	270	Ⅳ H15h	黒褐色土層						60	
1600	直縁大皿		30.2	2/12	14.5	2/12	8.8	2/12	340	f3	検出						60	
1601	直縁大皿		29.5	1/12	12.8	1/12	(9.0)	1/12	175	c2c3	北壁3層	分②					61	
1602	直縁大皿		34.0	1/12	14.0	4/12	7.6	2/12	405	c2	黒色灰層下層						61	
1603	直縁大皿		33.6	1/12	15.8	1/12	9.5	1/12	210	g2	東トレンチ						61	
1604	直縁大皿		33.5	2/12	15.7	2/12	9.3	2/12	450	d2	黒色灰層下層						61	59
1605	直縁大皿		33.7	1/12	16.1	2/12	9.3	2/12	310	98	表採						61	
1606	直縁大皿		35.5	1/12	16.0	2/12	9.6	2/12	275	f4	表土						61	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・軸		時期	その他	遺物図	写真図版
1607	直縁大皿		36.5	3/12	16.0	3/12	8.7	4/12	475	d1c1	東壁3層						61	
1608	直縁大皿		35.4	2/12	16.8	1/12	7.6	1/12	200	c1	黒色灰層下層						61	
1609	直縁大皿		23.0	2/12	12.8	2/12	7.2	1/12	325	Ⅳ H15g	灰層上層						62	
1610	直縁大皿		33.6	1/12	14.9	2/12	7.6	2/12	230	f2	北トレンチ下層						62	
1611	直縁大皿		33.3	4/12	14.9	2/12	9.2	4/12	805	c2	検出（下層）	分②					62	60
1612	直縁大皿		34.6	2/12	18.4	2/12	8.4	2/12	205	g2g3	北壁2層						62	
1613	直縁大皿		34.3	3/12	16.5	3/12	8.8	3/12	815	Ⅳ H14i	96層	№68					62	
1614	直縁大皿		33.6	1/12	13.8	1/12	9.0	3/12	270	c2	黒色灰層上層						62	59
1615	直縁大皿		33.3	1/12	10.8	2/12	9.0	1/12	240	Ⅳ H15g	黒褐色土層						62	
1616	直縁大皿		31.6	2/12	12.0	2/12	8.7	4/12	355	c3	黒色灰層上層						62	
1617	直縁大皿		35.6	1/12	13.6	1/12	7.2	1/12	240	g3f3	東壁6層						63	
1618	直縁大皿		34.2	1/12	16.0	1/12	6.3	1/12	355	f2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						63	
1619	直縁大皿		33.5	2/12	18.4	2/12	6.5	2/12	270	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる						63	
1620	直縁大皿		33.5	2/12	17.9	2/12	5.9	2/12	280	c1	黒色灰層下層						63	
1621	直縁大皿		33.0	1/12	13.6	3/12	7.6	2/12	290	c1c2	北壁3層						63	
1622	直縁大皿		32.3	3/12	17.6	3/12	8.1	3/12	535	e1	東壁3層						63	
1623	直縁大皿		32.0	1/12	13.0	1/12	7.2	1/12	300	f2	検出						63	
1624	直縁大皿		33.4	2/12	17.7	2/12	8.1	2/12	385	g2	東トレンチ						63	
1625	直縁大皿		31.0	1/12	12.2	2/12	7.5	2/12	270	98	表採						64	
1626	直縁大皿		31.0	2/12	12.6	2/12	6.9	2/12	300	c1	黒色灰層上層						64	
1627	直縁大皿		29.6	2/12	13.1	2/12	7.1	2/12	310	f2	北トレンチ下層						64	
1628	直縁大皿		29.0	2/12	11.6	3/12	7.8	3/12	345	Ⅳ H13i	整地層						64	
1629	直縁大皿		30.4	2/12	15.0	4/12	6.8	4/12	390	c3	黒色灰層上層						64	
1630	直縁大皿		30.6	7/12	4.8	6/12	9.2	6/12	1140	Ⅳ H12e	SX01A（G5・A間ベルト）	№108					64	
1631	直縁大皿		29.1	2/12	14.6	2/12	8.6	2/12	350	f2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						64	
1632	直縁大皿		29.4	1/12	13.4	2/12	6.4	2/12	220	f3f4	北壁6層						64	
1633	直縁大皿		29.7	2/12	12.8	2/12	8.0	2/12	370	f3e3	東壁10層						64	
1634	直縁大皿		29.4	1/12	14.8	1/12	5.6	1/12	105	c1c2	北壁1層						64	
1635	直縁大皿		26.5	2/12	12.4	5/12	8.8	3/12	490	e1	東壁2層						64	
1636	直縁大皿		27.2	2/12	11.8	5/12	6.2	3/12	360	Ⅳ H15g	北壁167層						64	
1637	直縁大皿		28.2	1/12	14.0	1/12	5.2	1/12	190	Ⅳ H16f	黒色灰層						65	
1638	直縁大皿		25.2	3/12	12.0	3/12	5.0	3/12	195	Ⅳ H13g	表土						65	
1639	直縁大皿		24.8	1/12	11.6	3/12	5.8	2/12	165	Ⅳ H16g	黒褐色土層						65	
1640	直縁大皿		26.8	1/12	13.3	3/12	6.1	1/12	180	f2	北トレンチ						65	
1641	直縁大皿		27.6	2/12	14.0	1/12	5.4	2/12	215	Ⅳ H14i	北壁19層						65	
1642	直縁大皿		24.2	1/12	10.0	2/12	5.1	1/12	110	Ⅳ H15f	黒褐色土層						65	
1643	直縁大皿		25.5	3/12	14.6	3/12	4.1	3/12	240	98	表採						65	
1644	直縁大皿		27.4	1/12	10.5	1/12	7.2	1/12	190	f3	黒色灰層下層						65	
1645	直縁大皿		26.5	1/12	11.6	3/12	6.7	2/12	190	Ⅳ H12d	SX01（G3）						65	
1646	直縁大皿		25.6	1/12	11.7	2/12	7.0	2/12	150	b2c2	西壁3層						65	
1647	直縁大皿		24.2	1/12	10.2	1/12	6.4	1/12	130	Ⅳ H15h	表土下,黒褐色土層						65	
1648	直縁大皿		25.6	1/12	10.0	1/12	6.0	1/12	160	f2f3	北壁2層						65	
1649	直縁大皿		22.4	2/12	9.5	3/12	6.9	2/12	230	d1d2	北壁1層						65	
1650	直縁大皿		23.1	4/12	11.1	9/12	5.5	5/12	335	Ⅳ H12d	SX01（G4,5間ベルト）	№28					65	
1651	直縁大皿		22.6	1/12	9.6	2/12	5.1	1/12	135	98	表採						65	
1652	直縁大皿		22.0	3/12	10.6	1/12	4.9	2/12	120	c2	黒色灰層下層						65	
1653	直縁大皿		25.5	1/12	11.0	9/12	4.4	6/12	390	d2	検出						66	
1654	直縁大皿		23.8	1/12	10.5	2/12	5.5	2/12	115	Ⅳ H15g	黒褐色土層						66	
1655	直縁大皿		23.2	1/12	10.0	3/12	4.8	2/12	170	Ⅳ H15g	南壁55層						66	
1656	直縁大皿		21.4	5/12	11.2	12/12	5.3	11/12	520	Ⅳ H10h		№2					66	
1657	直縁大皿		21.6	3/12	10.8	2/12	5.5	3/12	155	g3f3	東壁6層						66	
1658	直縁大皿		21.6	2/12	12.2	2/12	5.5	2/12	135	98	表採						66	
1659	直縁大皿		20.9	7/12	11.5	12/12	6.3	7/12	555	Ⅳ H16g	黒褐色土層						66	
1660	直縁大皿		22.2	1/12	12.0	2/12	4.9	1/12	90	Ⅳ H13g, Ⅳ H14g	南壁5層						66	
1661	直縁大皿		21.8	3/12	9.8	3/12	5.3	3/12	220	c2	検出						66	
1662	直縁大皿		21.2	1/12	9.0	12/12	4.7	4/12	300	f3	検出						66	
1663	直縁大皿		21.0	2/12	7.8	2/12	4.3	2/12	155	g2	東トレンチ						66	
1664	直縁大皿		21.2	2/12	12.5	3/12	4.9	2/12	150	d2	黒色土層						66	
1665	直縁大皿		20.9	2/12	11.0	3/12	3.7	2/12	195	Ⅳ H13g	整地層1						66	
1666	直縁大皿		17.8	2/12	8.8	3/12	3.4	2/12	130	c1	北壁2層						66	
1667	直縁大皿		16.9	1/12	7.0	2/12	4.6	1/12	95	Ⅳ H13i	トレンチ,南壁						66	
1668	直縁大皿		18.8	1/12	11.0	2/12	4.9	1/12	75	g2g3	北壁3層						66	
1669	折縁襞皿		36.0	1/12	−	−	(4.0)	1/12	120	d1	黒色灰層最下部,褐色土直上			鉄釉			67	
1670	折縁襞皿		34.0	1/12	−	−	(12.0)	1/12	420	Ⅳ H16h	黒褐色土層	分②		鉄釉			67	
1671	折縁襞皿		30.4	1/12	−	−	(7.7)	1/12	210	d2	黒色灰層下層			鉄釉			67	
1672	折縁襞皿		27.2	3/12	9.8	1/12	8.8	2/12	265	d2d3	北壁5層						67	
1673	折縁襞皿		26.7	2/12	13.4	1/12	6.7	2/12	150	Ⅳ H16f	黒色灰層						67	
1674	折縁襞皿		26.9	1/12	12.2	1/12	6.4	1/12	120	d2	検出						67	
1675	折縁襞皿		26.0	2/12	13.2	3/12	6.0	2/12	310	f2f3	北壁2層						67	
1676	折縁襞皿		22.0	4/12	9.1	2/12	7.7	3/12	320	e2	黒色灰層下層メインベルト						67	60
1677	折縁襞皿		23.8	1/12	11.0	1/12	7.1	1/12	130	d2	検出						67	
1678	折縁襞皿		23.2	4/12	−	−	(5.7)	2/12	170	Ⅳ H15f, Ⅳ H15g	東壁171層						67	60
1679	折縁襞皿		24.8	1/12	13.0	1/12	5.0	2/12	85	d2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						67	
1680	折縁襞皿		25.0	1/12	10.6	4/12	7.1	1/12	275	d1	褐色土層,地山直上						67	
1681	折縁襞皿		22.3	3/12	12.4	3/12	5.2	3/12	220	d1	黒色灰層下層						67	
1682	折縁襞皿		23.1	1/12	−	−	(2.7)	1/12	30	f2	北トレンチ下層			鉄釉			67	
1683	折縁襞皿		28.0	4/12	18.0	5/12	6.8	4/12	550	d1	黒色灰層上層	分②					68	60
1684	折縁襞皿		20.8	2/12	−	−	(5.1)	2/12	80	g6	褐色土層,地山直上						68	
1685	折縁襞皿		20.9	3/12	11.2	9/12	6.4	4/12	360	99L	Lトレンチ						68	
1686	折縁襞皿		21.5	3/12	11.7	1/12	5.3	3/12	150	d2	検出						68	
1687	折縁襞皿		17.1	2/12	8.4	3/12	5.5	3/12	105	f2	北トレンチ下層						68	
1688	折縁襞皿		16.9	1/12	8.0	4/12	5.2	3/12	105	e3	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						68	
1689	折縁襞皿		16.6	3/12	8.3	4/12	4.8	3/12	100	c2	検出						68	
1690	折縁襞皿		17.8	2/12	8.0	8/12	4.8	4/12	250	b1c1	西壁2層						68	
1691	折縁襞皿		18.8	2/12	9.0	1/12	4.8	2/12	70	b1	黒色灰層						68	61
1692	折縁襞皿		18.0	3/12	9.0	5/12	5.0	3/12	170	Ⅳ H13g	表土						68	60
1693	折縁襞皿		18.6	3/12	7.6	6/12	5.7	4/12	165	b1c1	西壁2層	分②					68	
1694	折縁襞皿		16.8	2/12	9.8	3/12	5.1	2/12	120	Ⅳ H16h	黒褐色土層						68	
1695	折縁襞皿		15.0	4/12	7.2	12/12	5.0	5/12	205	Ⅳ H16f	灰層（褐色土）						68	
1696	折縁襞皿		15.6	1/12	6.9	12/12	3.8	2/12	150	c3	黒色灰層上層						68	
1697	折縁襞皿		15.8	2/12	9.2	5/12	4.5	4/12	105	b1	黒色灰層下層						69	
1698	折縁襞皿		16.2	1/12	8.9	6/12	4.2	5/12	130	e2	黒色灰層下層						69	
1699	折縁襞皿		15.3	3/12	8.4	6/12	5.0	4/12	310	e2	黒色灰層上層						69	
1700	折縁襞皿		14.6	3/12	8.6	7/12	5.1	4/12	215	Ⅳ H16g	黒褐色土層						69	
1701	折縁襞皿		15.9	3/12	7.8	6/12	5.3	4/12	120	e3d3	東壁6層						69	61

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
1702	折縁甕Ⅲ		15.0	5/12	6.0	12/12	4.0	10/12	255	d1c1	東壁2層						69	
1703	折縁甕Ⅲ		18.8	4/12	−	−	(4.5)	2/12	170	Ⅳ H16h	南北ベルト（褐色土層）						69	
1704	折縁甕Ⅲ		17.8	5/12	8.8	4/12	4.7	4/12	125	b3c3	西壁2層						69	61
1705	折縁甕Ⅲ		15.4	2/12	8.7	2/12	4.6	3/12	80	c4	黒色灰層上層						69	
1706	折縁甕Ⅲ		14.3	3/12	6.7	12/12	4.6	9/12	235	f3e3	東壁3層						69	61
1707	折縁甕Ⅲ		14.1	1/12	6.0	4/12	4.6	2/12	60	e6d6	東壁2層						69	
1708	折縁甕Ⅲ		13.2	2/12	6.2	4/12	4.3	3/12	55	Ⅳ H16h	99B 東半南壁						69	
1709	折縁甕Ⅲ		13.8	2/12	5.0	2/12	3.9	2/12	55	d2	黒色灰層下層						69	
1710	折縁甕Ⅲ		14.6	5/12	6.4	6/12	3.5	5/12	110	Ⅳ H16h	南壁						69	
1711	折縁甕Ⅲ		16.0	5/12	6.2	12/12	3.8	6/12	240	Ⅳ H13g	138層	No. 273					69	
1712	折縁甕Ⅲ		13.8	2/12	8.1	2/12	3.8	2/12	35	c3	黒色灰層上層						69	
1713	折縁甕Ⅲ		14.1	4/12	7.4	6/12	3.8	4/12	105	c2	黒色灰層下層						69	
1714	折縁甕Ⅲ		11.7	2/12	7.5	2/12	2.7	2/12	30	c3	黒色灰層最下部, 褐色土直上						69	
1715	折縁甕Ⅲ		11.7	2/12	7.0	3/12	2.5	3/12	35	g3	黒色灰層上層						69	
1716	折縁甕Ⅲ		11.6	2/12	6.5	3/12	2.3	3/12	20	f3f4	北壁6層						69	
1717	折縁甕Ⅲ		11.3	1/12	5.6	5/12	2.2	3/12	35	e2	黒色灰層下層メインベルト						69	
1718	折縁甕Ⅲ		14.0	3/12	6.2	1/12	4.1	1/12	50	Ⅳ H14g	西壁160層						69	
1719	折縁直縁皿		−	−	−	−	2.4	1/12	500	Ⅳ H13i	104層	No. 335					70	61
1720	折縁直縁皿		−	−	9.4	6/12	2.9	1/12	190	Ⅳ H16g	黒褐色土層						70	
1721	折縁直縁皿		−	−	9.8	12/12	4.5	1/12	340	Ⅳ H16g	赤褐色土層						70	
1722	折縁直縁皿		−	−	−	−	1.4	1/12	135	b2	検出			鉄釉			70	
1723	折縁直縁皿		−	−	19.0	2/12	3.8	1/12	205	e4d4	東壁4層						70	
1724	折縁直縁皿		−	−	18.6	2/12	4.6	1/12	290	d4	黒色灰層下層, 褐色土多く混じる						70	
1725	折縁直縁皿		−	−	13.0	12/12	3.3	4/12	810	d4	表土						70	
1726	折縁直縁皿		−	−	15.8	3/12	6.9	2/12	285	e2	黒色灰層上層						70	
1727	折縁直縁皿		−	−	13.2	3/12	5.3	3/12	250	e4	黒色灰層最下部, 褐色土直上						70	
1728	折縁直縁皿		−	−	9.0	5/12	2.7	2/12	95	f3f4	北壁6層						70	
1729	折縁直縁皿		−	−	9.8	7/12	1.8	7/12	250	Ⅳ H16g	赤褐色土層						70	
1730	折縁直縁皿		−	−	8.6	4/12	3.7	4/12	170	e4	表土						70	
1731	折縁深皿	ⅠA	39.8	1/12	−	−	6.8	1/12	140	Ⅳ H14h	東西トレンチ整地層						71	
1732	折縁深皿	ⅠA	39.8	1/12	−	−	6.5	1/12	80	e2	黒色灰層下層						71	
1733	折縁深皿	ⅠA	40.2	1/12	−	−	14.6	2/12	430	Ⅳ H16f	黒褐色土層						71	61
1734	折縁深皿	ⅠA	−	−	−	−	−	2/12	340	Ⅳ H13h	灰層上層						71	
1735	折縁深皿	ⅠA	−	−	−	−	−	1/12	90	Ⅳ H16f	黒褐色土層						71	
1736	折縁深皿	ⅠA	−	−	−	−	4.8	1/12	65	Ⅳ H14h, Ⅳ H14i	東壁20層						71	
1737	折縁深皿	ⅠA	−	−	−	−	6.8	1/12	145	Ⅳ H13f	表土						71	
1738	折縁深皿	ⅠA	−	−	16.6	3/12	3.9	2/12	155	d1	黒色灰層上層						71	
1739	折縁直縁皿		−	−	17.1	4/12	2.6	2/12	435	e4	表土						71	
1740	折縁直縁皿		−	−	17.0	4/12	3.8	4/12	410	Ⅳ H16g	黒褐色土層						71	
1741	折縁深皿	ⅠB	38.0	2/12	−	−	7.6	3/12	185	Ⅳ H16g	赤褐色土層						72	
1742	折縁深皿	ⅠB	31.4	3/12	16.2	5/12	9.2	4/12	680	c1c2	北壁4層						72	
1743	折縁深皿	ⅠB	−	−	−	−	11.2	1/12	140	c1	黒色灰層上層						72	
1744	折縁深皿	ⅠB	16.0	2/12	−	−	10.6	3/12	365	d1	黒色灰層上層						72	
1745	折縁深皿	ⅠB	36.9	3/12	20.0	5/12	11.7	4/12	1045	Ⅳ H13h	95層	No. 65					72	
1746	折縁深皿	ⅠB	−	−	19.0	4/12	10.6	4/12	645	c2	検出						72	
1747	折縁深皿	ⅡA	50.6	1/12	27.6	1/12	11.1	1/12	470	d2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						73	61
1748	折縁深皿	ⅡA	−	−	28.5	0.5/12	11.5	1/12	425	d2	黒色灰層上層						73	62
1749	折縁深皿	ⅡA	33.4	0.1/12	15.2	12/12	11.0	2/12	1190	f2	北トレンチ						73	
1750	折縁深皿	ⅡA	35.8	1/12	16.8	1/12	10.7	1/12	470	d1d2	北壁2層						73	
1751	折縁深皿	ⅡA	37.8	3/12	21.4	3/12	9.5	3/12	960	Ⅳ H14g	南壁80層						73	
1752	折縁深皿	ⅡA	40.0	3/12	23.6	3/12	9.1	2/12	965	Ⅳ H9g	黒褐色土層	No. 7					73	
1753	折縁深皿	ⅡA	32.8	2/12	−	−	7.7	1/12	225	b3c3	西壁3層						74	
1754	折縁深皿	ⅡA	33.8	2/12	−	−	9.5	2/12	250	b3c3	西壁2層						74	
1755	折縁深皿	ⅡA	35.2	2/12	14.8	3/12	11.1	4/12	580	d2	黒色灰層下層						74	62
1756	折縁深皿	ⅡA	34.6	6/12	15.7	6/12	9.6	6/12	1155	Ⅳ H13h, Ⅳ H14h	南壁94層						74	
1757	折縁深皿	ⅡA	33.9	2/12	17.4	1/12	9.5	2/12	295	Ⅳ H13i	トレンチ4						74	
1758	折縁深皿	ⅡA	34.8	1/12	15.2	3/12	11.2	2/12	470	d1	黒色灰層下層						74	
1759	折縁深皿	ⅡB	37.8	2/12	19.1	1/12	8.5	2/12	295	c1	黒色灰層上層						75	
1760	折縁深皿	ⅡB	35.8	1/12	14.6	2/12	9.4	2/12	395	Ⅳ H15h	黒褐色土層						75	
1761	折縁深皿	ⅡB	37.8	1/12	17.9	2/12	7.3	2/12	455	e4e5	北壁2層						75	62
1762	折縁深皿	ⅡB	35.2	0.5/12	14.4	2/12	8.3	1/12	265	f3	検出						75	
1763	折縁深皿	ⅡB	34.6	4/12	16.8	8/12	7.7	6/12	1000	c1	黒色灰層最下部, 褐色土直上						75	62
1764	折縁深皿	ⅡB	33.8	2/12	14.1	2/12	8.5	2/12	270	c1	黒色灰層下層						75	
1765	折縁深皿	ⅡB	33.2	3/12	−	−	9.4	3/12	210	Ⅳ H12j	黒褐色土層	No. 2					75	62
1766	折縁深皿	ⅡB	32.8	0.5/12	12.7	2/12	8.1	1/12	170	f4	黒色灰層上層						75	
1767	折縁深皿	ⅡB	31.4	1/12	14.2	2/12	7.9	2/12	395	Ⅳ H14h, Ⅳ H14i	東壁42層						76	62
1768	折縁深皿	ⅡB	31.2	2/12	15.0	1/12	6.6	2/12	260	Ⅳ H16h	黒褐色土層						76	62
1769	折縁深皿	ⅡB	30.6	1/12	15.2	4/12	6.9	3/12	295	Ⅳ H13h, Ⅳ H14h	南壁16層						76	62
1770	折縁深皿	ⅡB	29.2	3/12	12.4	5/12	7.2	3/12	470	Ⅳ H15f	黒褐色土層						76	
1771	折縁深皿	ⅡB	31.0	2/12	13.0	1/12	7.5	2/12	145	d2d3	北壁5層						76	63
1772	折縁深皿	ⅡB	31.7	1/12	12.0	2/12	8.5	2/12	285	c1	黒色灰層上層						76	
1773	折縁深皿	ⅡB	31.6	12/12	14.0	3/12	5.7	2/12	315	Ⅳ H14h	灰層上層						76	63
1774	折縁深皿	ⅡB	29.0	5/12	12.6	5/12	7.0	5/12	455	Ⅳ H16f	黒褐色土層						76	
1775	折縁深皿	ⅡC	31.0	3/12	17.6	3/12	8.0	3/12	340	Ⅳ H15h	黒褐色土層						77	
1776	折縁深皿	ⅡC	29.6	1/12	12.8	2/12	8.0	1/12	350	f2	北トレンチ						77	
1777	折縁深皿	ⅡC	28.8	2/12	13.4	4/12	7.6	3/12	390	Ⅳ H16f	黒色灰層						77	
1778	折縁深皿	ⅡC	29.0	2/12	14.4	4/12	8.1	2/12	365	Ⅳ H15h	黒褐色土層						77	
1779	折縁深皿	ⅡC	31.0	2/12	13.4	3/12	8.0	2/12	455	Ⅳ H15h	149層						77	
1780	折縁深皿	ⅡC	29.8	1/12	14.5	2/12	8.0	3/12	255	e2e3	北壁2層（2a）						77	63
1781	折縁深皿	ⅡC	27.6	2/12	11.1	1/12	8.2	2/12	260	c1	黒色灰層						77	
1782	折縁深皿	ⅡC	29.0	3/12	11.7	4/12	8.2	3/12	540	Ⅳ H15h	黒褐色土層						77	
1783	折縁深皿	ⅡC	28.2	3/12	8.6	3/12	8.3	3/12	420	g3f3	東壁6層						77	
1784	折縁深皿	ⅡC	28.8	2/12	12.0	3/12	8.8	2/12	385	Ⅳ H13i	トレンチ4						77	
1785	折縁深皿	ⅡC	27.2	3/12	12.0	1/12	9.7	3/12	350	c1c2	北壁4層						77	
1786	折縁深皿	ⅡC	27.0	1/12	10.6	2/12	9.6	2/12	210	f3	黒色灰層下層						77	
1787	折縁深皿	ⅡC	30.3	1/12	13.0	5/12	6.9	4/12	545	d1c1	東壁4層						78	
1788	折縁深皿	ⅡC	30.2	1/12	−	−	6.6	1/12	105	d3c3	東壁4層						78	
1789	折縁深皿	ⅡC	29.8	3/12	15.6	3/12	6.7	3/12	385	Ⅳ H15g	排土						78	
1790	折縁深皿	ⅡC	27.7	6/12	12.7	5/12	6.5	6/12	525	Ⅳ H15h	褐色土層						78	
1791	折縁深皿	ⅡC	27.0	2/12	−	−	7.1	4/12	235	c2d2	東壁3層						78	63
1792	折縁深皿	ⅡC	26.8	2/12	14.2	6/12	8.0	3/12	360	d1	黒色灰層上層						78	
1793	折縁深皿	ⅡC	24.8	3/12	9.2	3/12	6.4	3/12	255	c1	黒色灰層最下部, 褐色土直上						78	63
1794	折縁深皿	ⅡC	23.6	2/12	9.8	5/12	5.5	3/12	240	99A	表採						78	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
1795	折縁深皿	ⅡC	28.0	1/12	12.7	2/12	7.3	3/12	復元	c3	黒色灰層上層						78	63
1796	折縁深皿	ⅡC	27.8	3/12	12.6	1/12	5.8	3/12	330	Ⅳ H15h	褐色土層						78	
1797	折縁深皿	ⅡC	26.4	4/12	10.8	4/12	5.2	4/12	325	Ⅳ H16h	南北ベルト, 褐色土層						78	
1798	折縁深皿	ⅡC	22.8	5/12	10.2	5/12	5.2	5/12	270	c2	検出（下層）	分②					78	63
1799	折縁深皿	ⅡC	21.0	7/12	11.5	7/12	5.7	7/12	435	Ⅳ H9h	黒褐色土層	№4					78	
1800	折縁深皿	ⅡC	21.6	3/12	11.2	1/12	4.9	2/12	210	99A	表採						78	
1801	折縁深皿	ⅡC	22.2	5/12	11.0	6/12	5.0	5/12	270	Ⅳ H15g	135層, 地山直上	№246					78	
1802	折縁深皿	ⅡC	21.2	5/12	10.6	12/12	5.3	8/12	450	Ⅳ H16h	黒褐色土層						78	
1803	折縁中皿		23.8	1/12	10.4	6/12	5.0	5/12	261	Ⅳ H15f	黒褐色土層						79	
1804	折縁中皿		21.4	5/12	10.4	7/12	4.3	5/12	278	Ⅳ H15h	黒褐色土層						79	
1805	折縁中皿		20.3	6/12	10.8	9/12	4.2	6/12	330	Ⅳ H15h	黒褐色土層						79	
1806	折縁中皿		19.4	3/12	9.0	5/12	4.1	4/12	150	Ⅳ H16g	赤褐色土層						79	
1807	折縁中皿		19.2	3/12	8.0	10/12	4.6	5/12	317	c3	黒色灰層上層						79	
1808	折縁中皿		19.2	4/12	9.2	4/12	4.2	4/12	168	Ⅳ H15h	黒褐色土層						79	
1809	折縁中皿		18.2	3/12	8.6	6/12	3.6	4/12	173	c2	黒色灰層下層, 褐色土混じる						79	
1810	折縁中皿		18.2	5/12	8.7	6/12	4.2	5/12	178	Ⅳ H15h	黒褐色土層						79	
1811	折縁中皿		17.6	7/12	8.4	12/12	4.0	7/12	276	Ⅳ H13h	95層						79	
1812	折縁中皿		18.0	4/12	9.4	4/12	3.7	4/12	180	Ⅳ H16f	南北ベルト褐色土層						79	
1813	折縁中皿		17.0	5/12	9.0	6/12	3.9	5/12	190	99A	表採						79	63
1814	折縁中皿		20.2	2/12	9.0	12/12	3.4	4/12	227	Ⅳ H16f	黒褐色土層						79	
1815	折縁中皿		18.8	4/12	10.0	6/12	3.6	3/12	174	Ⅳ H14h	灰層上層						79	
1816	折縁中皿		18.8	4/12	9.0	3/12	2.8	3/12	116	Ⅳ H15g	173層						79	
1817	折縁中皿		18.7	9/12	9.4	12/12	2.9	10/12	381	d1d2	北壁7層						79	63
1818	折縁中皿		17.8	5/12	8.0	8/12	3.2	6/12	200	Ⅳ H15h	灰層上層						79	
1819	折縁中皿		17.0	5/12	9.0	5/12	3.6	5/12	163	Ⅳ H16g	黒褐色土層						79	
1820	折縁中皿		17.0	8/12	7.3	12/12	3.2	10/12	397	c1	黒色灰層最下部, 褐色土直上						79	
1821	折縁中皿		16.8	2/12	8.1	12/12	3.3	4/12	207	Ⅳ H16h	褐色土層						79	
1822	折縁中皿		17.2	5/12	9.6	12/12	3.5	6/12	303	Ⅳ H16h	黒褐色土層						79	
1823	折縁中皿		16.2	7/12	7.1	12/12	2.6	9/12	307	Ⅳ H16g	赤褐色土層						79	
1824	折縁中皿		17.1	12/12	9.6	12/12	4.0	12/12	379	Ⅳ H15h	褐色土層	№1, 分②					79	63
1825	折縁中皿		17.0	4/12	7.7	8/12	3.5	5/12	165	Ⅳ H16g	黒褐色土層						79	
1826	折縁中皿		17.0	5/12	9.0	3/12	3.4	3/12	110	Ⅳ H15f	北壁176層						79	
1827	折縁中皿		15.5	4/12	7.4	4/12	3.4	3/12	144	Ⅳ H15f	北壁175層						80	
1828	折縁中皿		17.2	3/12	8.6	6/12	3.5	3/12	182	Ⅳ H15h	灰層上層						80	
1829	折縁中皿		15.5	2/12	−	−	(2.9)	1/12	30	f2	北トレンチ			鉄釉			80	
1830	折縁中皿		16.0	2/12	−	−	(3.0)	1/12	28	f2	北トレンチ			鉄釉			80	
1831	折縁中皿		14.2	2/12	−	−	(2.7)	1/12	33	f2	北トレンチ			鉄釉			80	
1832	底卸目皿		14.1	4/12	8.6	12/12	3.2	8/12	260	d1d2	北壁7層						80	64
1833	底卸目皿		15.0	8/12	5.6	6/12	4.3	4/12	101	Ⅳ H16f	黒色灰層						80	
1834	底卸目皿		15.2	5/12	6.9	12/12	3.8	7/12	250	d1	黒色灰層						80	64
1835	折縁中皿		14.6	3/12	8.4	3/12	4.9	3/12	70	Ⅳ H16g	黒褐色土層						80	
1836	折縁中皿		16.1	2/12	7.4	12/12	5.1	5/12	186	c2c3	北壁3層						80	64
1837	折縁中皿		13.2	4/12	8.0	4/12	4.3	4/12	165	Ⅳ H15g	黒褐色土層						80	
1838	折縁中皿		16.4	1/12	7.8	4/12	5.1	2/12	91	Ⅳ H15g	灰層上層						80	
1839	折縁中皿		14.0	4/12	8.3	12/12	4.8	5/12	210	Ⅳ H16g	黒褐色土層						80	
1840	折縁中皿		13.1	1/12	7.8	5/12	4.8	2/12	108	Ⅳ H16f	黒色灰層						80	
1841	折縁中皿		14.0	5/12	6.5	7/12	5.0	5/12	154	c2	検出						80	64
1842	底卸目皿		−	−	6.5	11/12	(1.6)	1/12	137	d4	黒色灰層下層, 褐色土多く混じる						80	
1843	底卸目皿		−	−	5.6	12/12	(1.9)	1/12	88	e3d3	東壁5層						80	
1844	底卸目皿		−	−	6.6	10/12	(2.4)	1/12	78	d2	黒色灰層上層						80	
1845	底卸目皿		−	−	7.3	4/12	(2.4)	1/12	28	d1c1	東壁4層						80	
1846	底卸目皿		−	−	5.8	12/12	(2.3)	1/12	81	d1	黒色灰層上層						80	
1847	底卸目皿		−	−	6.0	12/12	(2.4)	1/12	95	d2	黒色灰層下層						80	
1848	底卸目皿		−	−	6.4	12/12	(1.5)	1/12	81	d2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						80	
1849	中鉢		−	−	11.4	12/12	(3.9)	7/12	371	d2	黒色灰層						81	64
1850	中鉢		−	−	7.5	12/12	(3.1)	6/12	182	c4	黒色灰層最下層, 褐色土直上	分-35					81	
1851	中鉢		19.6	1/12	10.0	4/12	6.2	4/12	183	d2	黒色灰層上層						81	
1852	中鉢		−	−	−	−	(5.0)	1/12	58	f3f4	北壁3層						81	
1853	中鉢		−	−	−	−	4.1	1/12	18	f4	黒色灰層下層, 赤褐色土・褐色土混じる						81	
1854	中鉢		−	−	10.7	4/12	(2.6)	3/12	84	e2	黒色灰層上層						81	
1855	中鉢		14.4	2/12	7.0	1/12	4.2	2/12	50	Ⅳ H15f	黒褐色土層						81	
1856	中鉢		−	−	9.0	7/12	(5.0)	1/12	238	99A	表採						81	
1857	中鉢		7.2	6/12	7.2	5/12	(3.2)	4/12	100	d4	黒色灰層上層						81	
1858	中鉢		15.2	4/12	6.0	5/12	4.1	4/12	161	d4	表土						81	
1859	中鉢		15.0	8/12	6.4	12/12	5.7	9/12	277	f2	北トレンチ下層						81	64
1860	中鉢		13.4	3/12	6.4	5/12	4.1	5/12	126	e2	検出						81	
1861	中鉢		14.6	1/12	6.4	8/12	5.5	4/12	233	d4c4	東壁4層						81	
1862	中鉢		15.3	1/12	6.0	12/12	4.7	4/12	169	f3f4	北壁6層						81	
1863	中鉢		−	−	6.0	7/12	5.0	2/12	95	c2	検出						81	
1864	中鉢		15.5	1/12	6.2	9/12	3.5	4/12	119	e2d2	東壁5層						81	
1865	中鉢		16.6	4/12	7.4	8/12	5.5	5/12	203	e2d2	東壁5層						82	65
1866	中鉢		−	−	4.8	9/12	(3.1)	2/12	148	e2e3	北壁9層						82	
1867	中鉢		−	−	7.6	6/12	(3.3)	3/12	96	Ⅳ H16h	99B東半南壁						82	
1868	中鉢		13.5	8/12	6.6	12/12	4.5	11/12	206	Ⅳ H16h	黒褐色土層						82	
1869	中鉢		14.6	3/12	5.8	11/12	4.5	4/12	173	Ⅳ H15g	黒褐色土層						82	
1870	中鉢		14.2	2/12	5.0	10/12	4.7	7/12	132	01	表採						82	
1871	中鉢		14.1	5/12	5.9	8/12	5.3	5/12	138	Ⅳ H14g	131層	分②					82	
1872	中鉢		13.8	2/12	5.1	9/12	5.0	6/12	96	Ⅳ H14f	灰層上層						82	
1873	中鉢		15.4	1/12	6.8	2/12	7.3	2/12	97	d2	黒色灰層上層						82	
1874	中鉢		−	−	7.0	1/12	(6.0)	1/12	92	Ⅳ H16g	赤褐色土層						82	
1875	中鉢		14.1	1/12	(6.0)	3/12	7.5	3/12	131	d3c3	東壁3層						82	65
1876	中鉢		13.7	2/12	5.9	3/12	5.7	2/12	77	Ⅳ H16g	黒褐色土層						82	
1877	中鉢		−	−	6.9	12/12	(3.4)	1/12	148	Ⅳ H15i	東半東壁						82	
1878	中鉢		14.0	4/12	7.3	4/12	4.9	5/12	122	b3c3	西壁2層						82	65
1879	中鉢		15.2	3/12	4.8	3/12	5.2	4/12	74	Ⅳ H15g	黒褐色土層						82	
1880	中鉢		13.7	9/12	5.5	12/12	5.3	10/12	220	Ⅳ H15f	黒褐色土層						82	
1881	中鉢		11.0	1/12	4.1	12/12	3.4	5/12	83	d2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						82	
1882	中鉢		11.7	1/12	4.2	3/12	2.9	2/12	26	b1	黒色灰層						82	
1883	中鉢		11.0	1/12	5.4	3/12	3.8	2/12	33	f2	北トレンチ						82	
1884	中鉢		10.4	3/12	4.3	12/12	2.8	3/12	56	c1	黒色灰層						82	
1885	中鉢		8.0	2/12	3.6	2/12	2.9	2/12	20	Ⅳ H15f	172層						82	
1886	中鉢		17.6	2/12	6.2	3/12	4.6	2/12	105	d1d2	北壁1層						82	
1887	中鉢		19.8	4/12	−	−	(4.7)	2/12	110	b2	表土						82	
1888	中鉢		19.5	3/12	−	−	(4.1)	1/12	58	b1b2	北壁1層						82	
1889	中鉢		18.4	2/12	−	−	(4.0)	1/12	49	d1	黒色灰層						82	
1890	中鉢		17.3	2/12	−	−	(4.1)	1/12	31	d2	黒色灰層下層						82	
1891	中鉢		17.1	1/12	10.2	1/12	3.9	1/12	22	d2	黒色灰層上層						82	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
1892	中鉢		19.9	3/12	−	−	4.8	2/12	100	c3	黒色灰層上層	分②					82	
1893	中鉢		11.8	3/12	4.1	4/12	4.7	3/12	74	c1	黒色灰層下層						83	
1894	中鉢		12.7	1/12	5.0	11/12	5.0	4/12	104	d1	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						83	
1895	中鉢		12.7	2/12	6.0	11/12	4.4	7/12	188	e2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						83	
1896	中鉢		13.3	3/12	5.7	3/12	4.7	2/12	54	Ⅳ H15f, Ⅳ H15g	東壁171層						83	
1897	中鉢		13.8	2/12	5.4	11/12	4.3	6/12	172	Ⅳ H15h	黒褐色土層						83	
1898	中鉢		13.7	2/12	6.1	12/12	4.2	7/12	158	Ⅳ H16h	南壁						83	
1899	中鉢		13.8	3/12	5.9	12/12	4.2	8/12	1559	c1	黒色灰層下層						83	
1900	中鉢		13.6	1/12	5.5	12/12	4.1	7/12	162	c1c2	北壁4層						83	
1901	中鉢		14.0	3/12	5.5	12/12	4.3	10/12	227	Ⅳ H15g	黒褐色土層						83	
1902	中鉢		15.2	1/12	7.1	4/12	4.1	2/12	68	Ⅳ H14g, Ⅳ H15g	南壁16層						83	
1903	中鉢		14.8	1/12	6.8	3/12	4.1	3/12	101	d1	黒色灰層						83	
1904	中鉢		14.8	2/12	6.3	12/12	3.6	3/12	143	Ⅳ H16f	黒褐色土層						83	
1905	中鉢		14.8	4/12	6.8	7/12	4.7	5/12	118	d2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる	分②					83	
1906	中鉢		14.4	1/12	6.2	7/12	4.2	4/12	125	d1	黒色灰層						83	
1907	中鉢		14.0	2/12	6.8	6/12	4.3	3/12	76	Ⅳ H16f	黒褐色土層						83	
1908	中鉢		13.5	6/12	6.3	12/12	4.2	6/12	210	Ⅳ H14g	西壁81層						83	65
1909	中鉢		13.0	3/12	5.8	12/12	4.0	5/12	126	Ⅳ H16g	黒褐色土層						83	
1910	中鉢		15.4	2/12	−	−	(4.7)	1/12	48	d2	黒色灰層下層, 褐色土混じる						83	
1911	中鉢		14.3	3/12	6.6	10/12	4.2	7/12	160	c3	黒色灰層上層						83	
1912	中鉢		14.1	4/12	7.2	6/12	3.6	5/12	109	f4	表土						83	
1913	中鉢		17.3	1/12	10.0	5/12	5.4	3/12	130	f4	黒色灰層上層						83	
1914	中鉢		12.4	4/12	5.7	12/12	2.9	4/12	126	Ⅳ H16h	黒褐色土層						83	
1915	中鉢		14.0	3/12	7.8	7/12	3.0	5/12	151	c3c4	北壁						83	
1916	中鉢		−	−	5.3	12/12	(3.0)	1/12	196	Ⅳ H16g	赤褐色土層						83	
1917	中鉢		−	−	5.7	6/12	(3.9)	1/12	82	Ⅳ H16g	赤褐色土層						83	
1918	中鉢		−	−	5.6	7/12	(3.3)	3/12	97	Ⅳ H15i	黒褐色土層						83	
1919	中鉢		−	−	6.2	12/12	(2.8)	1/12	130	Ⅳ H15g	黒褐色土層						83	
1920	中鉢		−	−	6.5	12/12	(3.6)	1/12	127	99A	表採						83	
1921	小鉢	a	13.0	3/12	4.9	12/12	4.8	5/12	150	Ⅳ H15f, Ⅳ H15g	東壁171層	分②					84	
1922	小鉢	a	13.0	3/12	4.9	12/12	4.8	6/12	105	d4	表土						84	
1923	小鉢	a	12.9	1/12	4.0	9/12	5.5	2/12	100	Ⅳ H15f	黒褐色土層						84	
1924	小鉢	a	12.8	2/12	6.8	2/12	4.6	2/12	50	d1	黒色灰層						84	
1925	小鉢	a	11.4	4/12	6.1	3/12	4.0	3/12	70	Ⅳ H16g	黒褐色土層						84	
1926	小鉢	a	10.5	3/12	5.8	2/12	4.3	3/12	45	Ⅳ H15g	黒褐色土層						84	
1927	小鉢	a	10.3	2/12	4.3	5/12	3.9	3/12	40	f3	表採						84	
1928	小鉢	a	10.1	4/12	4.5	12/12	3.5	7/12	85	Ⅳ H14g, Ⅳ H15g	南壁57層						84	
1929	小鉢	a	13.2	3/12	4.3	2/12	4.6	3/12	100	Ⅳ H16i	黒褐色土層						84	
1930	小鉢	a	12.4	1/12	4.5	12/12	3.5	3/12	85	d3	黒色灰層上層						84	
1931	小鉢	a	11.3	2/12	4.7	6/12	3.3	3/12	60	Ⅳ H13g, Ⅳ H14g	南壁5層						84	
1932	小鉢	a	10.4	1/12	4.9	7/12	2.8	6/12	75	Ⅳ H14g	57層						84	
1933	小鉢	a	10.2	3/12	5.6	2/12	3.1	2/12	35	Ⅳ H15f	黒褐色土層						84	
1934	小鉢	a	15.8	2/12	6.9	2/12	4.1	2/12	60	Ⅳ H15h	黒褐色土層						84	
1935	小鉢	a	12.5	1/12	6.2	12/12	3.2	4/12	100	c3	表土						84	
1936	小鉢	a	11.4	2/12	5.4	6/12	3.9	4/12	65	d1	黒色灰層						84	
1937	小鉢	a	12.0	2/12	4.4	12/12	3.9	5/12	100	b3c3	西壁2層						84	
1938	小鉢	a	11.8	1/12	5.2	3/12	3.9	2/12	40	Ⅳ H16i	黒褐色土層						84	
1939	小鉢	a	11.0	5/12	5.0	5/12	4.0	5/12	90	c3	黒色灰層上層						84	
1940	小鉢	a	11.0	1/12	4.0	12/12	3.9	6/12	95	e2	黒色灰層下層メインベルト						84	
1941	小鉢	a	11.2	2/12	3.7	12/12	3.4	2/12	115	Ⅳ H16g	黒褐色土層						84	
1942	小鉢	a	13.6	1/12	7.0	4/12	5.0	2/12	75	c1	黒色灰層						84	
1943	小鉢	a	12.6	3/12	4.8	12/12	4.8	4/12	155	d3	黒色灰層下層						84	
1944	小鉢	a	13.3	1/12	4.0	12/12	4.4	7/12	190	b1b2	北壁1層						84	
1945	小鉢	a	12.2	2/12	5.0	12/12	3.5	5/12	165	99A	表採						84	
1946	小鉢	a	11.6	4/12	3.4	12/12	3.3	4/12	116	e2	黒色灰層上層						84	
1947	小鉢	a	11.2	4/12	3.7	3/12	3.6	4/12	70	Ⅳ H15g	北壁167層						84	
1948	小鉢	a	11.0	1/12	3.4	10/12	3.6	4/12	60	Ⅳ H16f	黒褐色土層						84	
1949	小鉢	a	11.2	1/12	4.1	12/12	4.0	2/12	65	Ⅳ H16g	黒褐色土層						84	
1950	小鉢	a	10.0	9/12	3.2	12/12	4.2	11/12	125	Ⅳ H16g	黒褐色土層						84	
1951	小鉢	a	10.2	5/12	3.8	12/12	3.4	7/12	90	d2	黒色灰層上層	分②					84	65
1952	小鉢	a	8.0	4/12	3.5	12/12	2.9	9/12	65	d1	黒色灰層下層						84	
1953	小鉢	a	−	−	3.9	12/12	(4.0)	3/12	145	Ⅳ H15h	黒褐色土層						84	
1954	小鉢	a	−	−	4.6	7/12	(4.2)	3/12	75	f3	検出						84	
1955	小鉢	a	−	−	5.9	5/12	(1.5)	1/12	40	f2	北トレンチ下層						84	
1956	小鉢	a	−	−	4.2	12/12	(1.7)	1/12	100	f2	北トレンチ下層						84	
1957	小鉢	a	−	−	3.8	12/12	(2.0)	1/12	130	g3	東トレンチ						84	
1958	小鉢	a	−	−	4.0	12/12	(3.0)	2/12	175	Ⅳ H16g	黒褐色土層						84	
1959	小鉢	a	12.2	4/12	4.6	3/12	4.6	3/12	100	e3d3	東壁5層						85	
1960	小鉢	a	12.4	2/12	4.6	2/12	4.7	3/12	75	g3	黒色灰層上層						85	
1961	小鉢	a	11.2	1/12	5.3	6/12	4.5	3/12	75	d1d2	北壁3層						85	
1962	小鉢	a	10.8	1/12	3.6	12/12	4.7	3/12	175	Ⅳ H15i	表土下, 黒褐色土層						85	
1963	小鉢	a	10.5	3/12	3.6	5/12	4.9	5/12	85	Ⅳ H16f	南壁						85	
1964	小鉢	a	10.0	5/12	3.6	12/12	4.8	5/12	120	Ⅳ H16h	黒褐色土層						85	
1965	小鉢	a	10.3	2/12	3.7	12/12	4.8	3/12	100	Ⅳ H16g	赤褐色土層						85	65
1966	小鉢	a	10.0	3/12	4.4	7/12	4.2	4/12	70	Ⅳ H16g	黒褐色土層						85	
1967	小鉢	a	10.0	1/12	3.2	12/12	4.1	2/12	85	Ⅳ H15i	黒褐色土層						85	
1968	小鉢		9.0	2/12	4.9	5/12	4.0	2/12	35	Ⅳ H14i, Ⅳ H15i	南壁41層						85	
1969	小鉢	a	9.2	5/12	3.4	5/12	4.1	5/12	45	Ⅳ H14f, Ⅳ H14g	東壁126層						85	
1970	小鉢	a	−	−	3.6	12/12	(4.1)	2/12	85	Ⅳ H16g	黒褐色土層						85	
1971	小鉢	a	−	−	3.4	12/12	(3.2)	2/12	75	e3d3	東壁6層						85	
1972	小鉢	a	−	−	3.5	12/12	(2.8)	2/12	60	Ⅳ H16g	黒褐色土層						85	
1973	小鉢	a	−	−	3.2	10/12	(2.2)	2/12	90	f3f4	北壁3層						85	
1974	小鉢	a	−	−	2.7	12/12	(1.9)	1/12	40	Ⅳ H16g	赤褐色土層						85	
1975	小鉢	a	−	−	5.0	12/12	(1.1)	1/12	50	Ⅳ H15g	西壁167層						85	
1976	小鉢	a	−	−	3.6	12/12	(1.4)	1/12	30	Ⅳ H15h	表土下, 黒褐色土層						85	66
1977	小鉢	b	11.6	1/12	4.7	12/12	3.7	6/12	120	e3d3	東壁5層						85	
1978	小鉢	b	10.8	5/12	5.2	5/12	3.4	5/12	80	e2	黒色灰層上層						85	
1979	小鉢	b	11.2	2/12	5.5	2/12	3.6	2/12	45	c4	表層						85	
1980	小鉢	b	10.8	2/12	5.4	2/12	3.1	3/12	30	b3c3	西壁3層			鉄釉			85	
1981	小鉢	b	10.5	1/12	5.6	7/12	3.3	3/12	50	g4f4	東壁6層						85	
1982	小鉢	b	11.0	4/12	4.9	12/12	3.0	5/12	95	f3	検出						85	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・軸		時期	その他	遺物図	写真図版
1983	小鉢	b	10.0	2/12	4.6	3/12	3.4	2/12	40	d2	黒色灰層下層						85	
1984	小鉢	b	9.0	2/12	4.6	12/12	3.1	6/12	55	99A	表採						85	
1985	小鉢	b	9.2	2/12	4.7	12/12	3.0	5/12	50	c3	黒色灰層上層						85	
1986	小鉢	b	9.4	4/12	3.6	12/12	2.6	6/12	55	Ⅳ H15f	黒褐色土層						85	
1987	小鉢	b	10.6	8/12	3.9	10/12	2.8	8/12	140	f2	北トレンチ						85	
1988	小鉢	b	11.0	2/12	4.7	9/12	3.1	4/12	60	d1	北壁盗掘抗						85	
1989	小鉢	b	12.0	7/12	5.4	2/12	2.8	7/12	110	c1c2	北壁2層						85	
1990	小鉢	b	13.1	2/12	5.9	12/12	3.0	5/12	135	f2	北トレンチ下層						85	
1991	小鉢	b	11.8	3/12	5.4	12/12	3.6	6/12	105	e2d2	東壁63層						85	
1992	小鉢	b	11.2	2/12	4.6	12/12	3.6	5/12	105	e3e4	北壁3層						85	
1993	小鉢	b	11.0	5/12	4.9	12/12	3.9	6/12	110	e4	黒色灰層上層, 褐色土混じる						85	
1994	小鉢	b	10.8	4/12	4.8	12/12	3.8	6/12	110	e3e4	北壁9層						85	
1995	小鉢	b	10.8	3/12	4.8	11/12	3.5	6/12	95	c2	検出						85	
1996	小鉢	b	10.8	4/12	4.8	12/12	3.1	6/12	90	e3d3	東壁5層						85	
1997	小鉢	b	10.4	6/12	3.6	7/12	3.3	6/12	75	f3	検出						85	
1998	小鉢	b	12.6	4/12	4.5	12/12	3.6	5/12	130	d1	黒色灰層下層						85	
1999	小鉢	b	13.0	6/12	5.3	10/12	4.1	8/12	195	Ⅳ H14g	131層						85	
2000	小鉢	b	11.8	1/12	5.0	12/12	4.0	3/12	100	Ⅳ H16g	黒褐色土層						85	
2001	小鉢	b	11.7	2/12	5.1	12/12	4.5	4/12	110	f3e3	東壁10層						85	
2002	小鉢	b	12.0	6/12	6.0	6/12	3.5	6/12	120	c3	黒色灰層上層						85	
2003	小鉢	b	12.1	1/12	5.3	12/12	3.9	5/12	90	c2	黒色灰層下層, 褐色土少し混じる						85	
2004	小鉢	b	11.3	3/12	5.0	12/12	3.5	7/12	110	Ⅳ H16h	黒褐色土層						85	
2005	小鉢	b	11.2	3/12	4.2	6/12	3.1	5/12	65	e3e4	北壁8層						85	
2006	小鉢	b	11.1	1/12	5.8	12/12	3.4	3/12	90	d2	黒色灰層						85	
2007	小鉢	b	12.5	4/12	5.3	12/12	3.5	7/12	120	g4f5	東壁2層						86	
2008	小鉢	b	11.2	1/12	4.0	12/12	3.2	3/12	75	f2	北トレンチ						86	
2009	小鉢	b	11.1	4/12	5.0	3/12	3.8	10/12	145	f2	北トレンチ						86	66
2010	小鉢	b	10.3	4/12	4.6	12/12	3.4	10/12	190	g3f3	東壁2層						86	
2011	小鉢	b	11.9	7/12	4.9	2/12	3.9	9/12	190	Ⅳ H16f	灰層（褐色土層, 黒色土）						86	
2012	小鉢	b	11.0	2/12	4.2	6/12	3.3	2/12	50	f3	検出						86	
2013	小鉢	b	10.9	6/12	4.2	12/12	3.4	6/12	100	g4f4	東壁3層						86	
2014	小鉢	b	10.7	1/12	4.9	12/12	3.6	5/12	90	f2	表採						86	
2015	小鉢	b	10.6	3/12	3.8	4/12	3.4	4/12	55	e3	黒色灰層下層, 褐色土混じる						86	
2016	小鉢	b	11.0	5/12	4.2	12/12	3.1	6/12	95	f2	北トレンチ下層						86	
2017	小鉢	b	10.6	3/12	4.8	12/12	3.4	3/12	80	f2	北トレンチ下層						86	
2018	小鉢	b	12.5	3/12	6.0	5/12	4.3	4/12	60	d1	黒色灰層						86	
2019	小鉢	b	11.8	3/12	4.8	12/12	4.0	7/12	115	e4d4	東壁3層						86	
2020	小鉢	b	11.7	3/12	4.9	12/12	4.1	4/12	85	f4	黒色灰層下層, 褐色土混じる						86	
2021	小鉢	b	11.2	3/12	5.0	3/12	4.2	5/12	60	Ⅳ H15g	黒褐色土層						86	
2022	小鉢	b	11.7	6/12	4.5	12/12	3.8	8/12	130	f3	検出（下層）						86	
2023	小鉢	b	11.5	2/12	6.6	4/12	3.3	2/12	45	d4c4	東壁2層			鉄釉			86	
2024	小鉢	b	10.7	5/12	6.6	12/12	4.2	9/12	560	d4	表土						86	
2025	小鉢	b	10.8	1/12	5.1	12/12	3.2	6/12	90	e3	検出（下層）						86	
2026	小鉢	b	10.2	3/12	5.8	12/12	4.0	8/12	130	d2c2	東壁2層						86	
2027	小鉢	b	−	−	5.4	5/12	(3.6)	1/12	45	e4	黒色灰層最下部, 褐色土直上						86	
2028	小鉢	b	9.4	2/12	5.0	9/12	3.6	5/12	75	Ⅳ H14h, Ⅳ H14i	東壁20層						86	
2029	小鉢	b	9.4	2/12	5.9	3/12	3.8	3/12	45	d2	黒色土層上層						86	
2030	小鉢	b	9.9	2/12	5.4	3/12	3.6	2/12	20	g4	褐色土層, 地山直上						86	
2031	小鉢	b	9.9	4/12	6.4	6/12	3.1	5/12	50	f3	検出						86	
2032	小鉢	b	9.6	2/12	5.0	12/12	3.2	6/12	85	Ⅳ H13i	黄色砂						86	
2033	小鉢	b	9.7	2/12	4.7	11/12	3.8	5/12	100	f3f4	北壁6層						86	
2034	小鉢	b	9.3	4/12	4.3	12/12	3.5	7/12	70	f2	黒色灰層上層						86	
2035	小鉢	b	9.1	3/12	5.7	6/12	3.6	3/12	50	g4f4	東壁4層						86	
2036	小鉢	b	9.1	5/12	4.6	7/12	3.7	5/12	85	Ⅳ H14i, Ⅳ H15i	南壁41層						86	
2037	小鉢	b	9.1	4/12	5.6	12/12	3.9	7/12	120	f2	検出						86	
2038	小鉢	b	8.8	4/12	3.8	12/12	3.4	8/12	70	Ⅳ H13h, Ⅳ H14h	南壁95層						86	
2039	小鉢	b	9.0	5/12	5.4	5/12	3.8	5/12	55	Ⅳ H13i, Ⅳ H14i	南壁104層						86	
2040	小鉢	b	11.3	2/12	6.0	12/12	4.0	7/12	125	Ⅳ H15f	黒褐色土層						86	
2041	小鉢	b	12.0	3/12	5.4	12/12	4.7	5/12	115	Ⅳ H16f	黒褐色土層						86	
2042	小鉢	b	10.5	1/12	5.8	5/12	4.8	3/12	55	c2d2	東壁3層						86	
2043	小鉢	b	9.8	3/12	5.8	12/12	4.0	9/12	115	c2	検出						86	
2044	小鉢	b	10.1	1/12	6.0	3/12	4.1	3/12	50	f3	検出						86	
2045	小鉢	b	10.3	5/12	5.0	12/12	3.9	7/12	105	d2c2	東壁3層						86	
2046	小鉢	b	10.2	5/12	5.0	12/12	4.0	8/12	105	b1	黒色灰層						86	
2047	小鉢	b	9.6	5/12	6.2	6/12	3.8	6/12	80	Ⅳ H16f	灰層（黒色土）						86	
2048	小鉢	b	9.3	7/12	5.0	12/12	3.7	9/12	120	Ⅳ H13i	表土						86	
2049	小鉢	b	9.0	3/12	4.6	5/12	3.6	3/12	40	Ⅳ H14h, Ⅳ H14i	東壁44層			鉄釉			86	
2050	小鉢	b	9.0	1/12	5.0	12/12	4.0	6/12	95	Ⅳ H13i, Ⅳ H14i	南壁26層						86	
2051	小鉢	b	8.8	2/12	5.1	5/12	3.7	3/12	45	d2	黒色灰層最下部, 褐色土直上						86	
2052	小鉢	b	8.4	1/12	5.0	7/12	3.7	6/12	45	Ⅳ H15h	131層						86	
2053	小鉢	b	10.3	4/12	5.0	11/12	3.6	6/12	90	c4	黒色灰層上層						87	
2054	小鉢	b	9.7	4/12	5.7	12/12	3.8	6/12	85	f3	検出						87	
2055	小鉢	b	9.6	2/12	4.6	12/12	3.8	6/12	65	Ⅳ H15h, Ⅳ H15i	東壁20層						87	
2056	小鉢	b	9.6	3/12	5.2	12/12	3.8	8/12	75	d1d2	北壁5層						87	
2057	小鉢	b	9.0	1/12	5.0	4/12	3.8	3/12	45	Ⅳ H14h	灰層上層, 暗褐色砂層						87	
2058	小鉢	b	9.9	1/12	4.8	12/12	3.6	7/12	85	f2f3	北壁3層						87	
2059	小鉢	b	9.3	3/12	4.7	6/12	3.5	5/12	55	Ⅳ H14i, Ⅳ H15i	南壁41層						87	
2060	小鉢	b	9.6	2/12	4.3	5/12	3.5	3/12	40	Ⅳ H15g, Ⅳ H15h	東壁213層						87	
2061	小鉢	b	9.2	5/12	5.2	6/12	3.4	6/12	85	c3	黒色灰層上層						87	
2062	小鉢	b	10.2	4/12	5.5	4/12	3.7	4/12	55	Ⅳ H15g	黒色灰層上層						87	
2063	小鉢	b	9.2	3/12	5.0	3/12	4.0	3/12	45	f3e3	東壁6層						87	
2064	小鉢	b	8.6	3/12	3.4	5/12	3.6	4/12	35	Ⅳ H14i	表土						87	
2065	小鉢	b	9.0	4/12	4.5	12/12	3.6	7/12	110	Ⅳ H14h, Ⅳ H14i	東壁44層						87	
2066	小鉢	b	8.6	7/12	4.5	12/12	3.5	9/12	85	Ⅳ H13i	灰層上層						87	
2067	小鉢	b	8.7	1/12	4.9	2/12	3.2	2/12	25	Ⅳ H15h, Ⅳ H15i	東壁20層						87	
2068	小鉢	b	8.7	3/12	4.6	2/12	3.5	2/12	25	Ⅳ H14h	整地層3						87	
2069	小鉢	b	8.6	3/12	4.9	6/12	3.4	4/12	45	Ⅳ H14i	表土						87	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉			時期	その他	遺物図	写真図版
2070	小鉢	b	8.6	3/12	4.4	7/12	3.5	3/12	50	Ⅳ H15h, Ⅳ H15i	東壁41層							87	
2071	小鉢	b	8.4	4/12	5.0	3/12	3.3	3/12	30	Ⅳ H14h, Ⅳ H14i	東壁42層							87	
2072	小鉢	b	8.2	2/12	5.5	5/12	3.4	3/12	40	e4	黒色灰層最下部, 褐色土直上							87	
2073	小鉢	b	6.9	4/12	4.0	2/12	3.4	3/12	25	Ⅳ H14h	129層							87	
2074	小鉢	a	10.2	1/12	4.2	3/12	4.3	2/12	45	Ⅳ H16g	黒褐色土層							87	
2075	小鉢	a	10.8	1/12	4.4	2/12	3.4	1/12	235	e3d3	東壁5層							87	
2076	小鉢	b	9.8	3/12	5.2	3/12	3.8	3/12	35	Ⅳ H14i	灰層上層							87	
2077	小鉢	b	9.9	1/12	4.5	12/12	3.8	5/12	70	d2d3	北壁1層							87	
2078	小鉢	b	9.8	1/12	4.5	6/12	3.6	3/12	40	f3	検出							87	
2079	小鉢	b	8.9	4/12	4.3	12/12	3.9	7/12	535	d3	黒色灰層							87	
2080	小鉢	b	10.0	4/12	5.2	12/12	4.0	5/12	95	c3	黒色灰層下層							87	
2081	小鉢	b	9.2	2/12	7.0	6/12	4.0	4/12	60	c3	黒色灰層上層							87	
2082	小鉢	b	9.6	3/12	6.6	5/12	3.7	3/12	50	99G	黒褐色土層							87	
2083	小鉢	b	9.8	2/12	5.6	11/12	4.1	5/12	110	d4	表土							87	
2084	小鉢		8.6	3/12	4.8	5/12	3.3	3/12	45	c3	黒色灰層下層							87	
2085	小鉢	b	10.0	6/12	6.0	6/12	3.9	6/12	70	c2	黒色灰層下層							87	66
2086	小鉢	b	9.4	2/12	5.4	7/12	4.1	5/12	70	d4	黒色灰層上層				鉄釉			87	
2087	小鉢	b	9.6	2/12	7.2	2/12	4.0	2/12	35	Ⅳ H16g	赤褐色土層							87	
2088	小鉢	b	9.4	2/12	7.0	2/12	4.0	2/12	25	Ⅳ H16f	黒褐色土層							87	
2089	小鉢	c	9.3	1/12	6.5	3/12	4.0	2/12	40	d1d2	北壁3層							87	
2090	小鉢	c	−	−	4.2	12/12	(2.0)	1/12	70	f2	検出							87	
2091	小鉢	c	−	−	4.5	12/12	(2.8)	1/12	55	Ⅳ H15g	黒褐色土層							87	
2092	小鉢	c	−	−	4.8	12/12	(2.0)	1/12	80	e33d3	東壁5層							87	
2093	小鉢	c	−	−	6.5	5/12	(1.2)	1/12	20	98	表採							87	
2094	小鉢	b	−	−	5.9	8/12	(1.6)	1/12	45	f2	黒色灰層中				鉄釉			87	
2095	小鉢	b	−	−	6.1	4/12	(1.7)	1/12	25	d2d3	北壁1層							87	
2096	小鉢	c	−	−	6.5	5/12	(1.9)	1/12	45	g3f3	東壁1層							87	
2097	小鉢	b	−	−	5.3	12/12	(2.3)	1/12	65	Ⅳ H15g	黒褐色土層				鉄釉			87	
2098	小鉢	c	−	−	6.4	10/12	(3.2)	1/12	90	d3c3	東壁4層							87	
2099	小鉢	b	−	−	5.8	1/12	(3.1)	1/12	30	f2e2	東壁516層				鉄釉			87	
2100	小鉢	b	−	−	5.0	2/12	(2.0)	1/12	25	Ⅳ H15g	黒褐色土層							87	
2101	小鉢	b	12.6	3/12	6.0	4/12	3.4	5/12	70	Ⅳ H15f	黒褐色土層							87	
2102	小鉢	b	12.1	4/12	5.6	2/12	3.7	7/12	120	Ⅳ H16h	99B 東半南壁							87	
2103	小鉢	b	12.2	3/12	6.0	12/12	3.1	7/12	105	Ⅳ H15g	灰層上層				鉄釉			88	
2104	小鉢	b	13.1	4/12	6.0	4/12	3.4	4/12	80	98	表採				鉄釉			88	
2105	小鉢	b	12.4	2/12	5.4	1/12	3.2	1/12	25	g3f3	東壁7層				鉄釉			88	
2106	小鉢	b	11.8	4/12	4.9	12/12	3.7	5/12	95	c2	検出				鉄釉			88	
2107	小鉢	b	11.5	2/12	5.6	7/12	3.9	4/12	70	Ⅳ H13h, Ⅳ H14h	南壁18層				鉄釉			88	
2108	小鉢	d	11.4	3/12	5.0	12/12	3.3	5/12	85	c2	検出				鉄釉			88	
2109	小鉢	d	11.7	1/12	5.5	5/12	3.5	3/12	55	g2	東トレンチ				鉄釉			88	
2110	小鉢	d	10.7	1/12	−	−	(3.4)	1/12	20	e2e3	東壁7層				鉄釉			88	
2111	小鉢	d	10.8	4/12	4.6	7/12	3.3	5/12	75	b3	黒色灰層上層				鉄釉			88	
2112	小鉢	d	10.7	4/12	5.5	7/12	3.3	4/12	75	d3c3	東壁4層				鉄釉			88	
2113	小鉢	d	10.4	9/12	5.6	12/12	3.3	9/12	120	b2b3	北壁2層				鉄釉			88	
2114	小鉢	d	11.4	2/12	6.0	12/12	3.4	4/12	55	c2	検出				鉄釉			88	
2115	小鉢	d	12.3	5/12	6.1	6/12	3.2	5/12	75	Ⅳ H16f	黒褐色土層							88	
2116	小鉢	d	12.4	4/12	5.0	8/12	3.6	6/12	105	Ⅳ H16g	黒褐色土層							88	
2117	小鉢	d	12.1	3/12	5.5	4/12	3.3	3/12	65	Ⅳ H16h	黒褐色土層							88	
2118	小鉢	d	12.2	8/12	6.0	12/12	4.0	10/12	180	Ⅳ H16f	黒褐色土層							88	
2119	小鉢	d	11.8	1/12	6.0	12/12	3.6	7/12	115	d4	黒色灰層, 褐色土多く混じる							88	
2120	小鉢	d	11.3	4/12	6.6	8/12	4.0	6/12	125	c2d2	東壁3層							88	
2121	小鉢	d	10.7	1/12	6.9	3/12	3.0	1/12	15	Ⅳ H16g	黒褐色土層							88	
2122	小鉢	d	10.7	1/12	6.0	3/12	3.6	2/12	35	f4	黒色灰層上層							88	
2123	小鉢	d	10.3	9/12	5.0	12/12	3.5	11/12	95	Ⅳ H16i	黒褐色土層							88	
2124	小鉢	d	10.4	2/12	5.8	4/12	3.5	4/12	65	c1	黒色灰層							88	
2125	小鉢	d	10.8	2/12	5.0	6/12	3.3	5/12	75	f3	検出							88	
2126	小鉢	d	10.2	1/12	6.1	6/12	3.5	4/12	70	d2	黒色灰層下層							88	
2127	小鉢	d	10.8	4/12	5.4	2/12	3.4	3/12	35	Ⅳ H16g	赤褐色土層							88	
2128	小鉢	d	10.1	12/12	5.1	12/12	3.3	12/12	120	Ⅳ H15h	褐色土層							88	65
2129	小鉢	d	10.0	8/12	5.4	12/12	2.8	10/12	90	Ⅳ H13h	灰層上層							88	
2130	小鉢	d	10.2	3/12	4.9	6/12	2.7	4/12	50	Ⅳ H16i	黒褐色土層							88	
2131	小鉢	d	9.8	4/12	4.9	12/12	2.8	7/12	70	Ⅳ H16h	黒褐色土層							88	
2132	小鉢	d	10.8	4/12	5.2	5/12	3.0	5/12	45	b3c3	西壁2層							88	
2133	小鉢	d	9.8	7/12	4.4	12/12	3.0	7/12	100	Ⅳ H16h	黒褐色土層							88	
2134	小鉢	d	10.0	5/12	4.8	12/12	3.5	8/12	75	Ⅳ H16i	黒褐色土層							88	
2135	小鉢	d	10.0	4/12	4.6	7/12	3.1	5/12	50	Ⅳ H15i	黒褐色土層							88	
2136	小鉢	d	10.3	11/12	4.8	12/12	3.2	11/12	100	Ⅳ H15i	黒褐色土層, 地山直上							88	
2137	小鉢	d	9.7	4/12	4.3	4/12	3.3	4/12	40	Ⅳ H16i	黒褐色土層							88	
2138	小鉢	d	10.2	3/12	4.5	12/12	3.4	6/12	55	Ⅳ H16i	表土層							88	
2139	小鉢	d	10.1	9/12	5.4	12/12	3.4	11/12	100	Ⅳ H16i	表土層, 黒褐色土層							88	
2140	小鉢	d	10.0	4/12	6.2	6/12	3.3	5/12	50	Ⅳ H15f	黒褐色土層							88	
2141	小鉢	d	10.0	11/12	5.5	12/12	3.8	11/12	115	Ⅳ H16g	褐色土層	分②						88	66
2142	小鉢	d	9.7	11/12	5.2	12/12	3.5	11/12	100	Ⅳ H15h	褐色土層							88	66
2143	小鉢	d	9.7	3/12	5.9	6/12	3.8	4/12	60	99A	表採							88	
2144	小鉢	d	9.8	2/12	4.9	12/12	3.5	6/12	60	d1	黒色灰層上層				鉄釉			88	
2145	小鉢	d	9.8	12/12	4.8	12/12	3.6	12/12	110	e2	黒色灰層中							88	66
2146	小鉢	d	9.4	6/12	5.3	6/12	3.4	6/12	55	Ⅳ H16h	表土下, 黒褐色土層							88	
2147	小鉢	d	9.4	1/12	5.2	7/12	3.6	4/12	60	e3	黒色灰層下層, 褐色土混じる							88	
2148	小鉢	d	10.3	2/12	6.1	12/12	3.8	7/12	65	Ⅳ H16h	褐色土層							88	
2149	小鉢	d	9.2	7/12	4.5	12/12	3.4	7/12	90	Ⅳ H16f	黒褐色土層							88	
2150	小鉢	d	9.6	5/12	5.2	12/12	3.3	5/12	95	b1	黒色灰層下層							88	
2151	小鉢	d	9.2	12/12	4.3	12/12	2.9	12/12	90	Ⅳ H15i	黒褐色土層, 地山直上							89	
2152	小鉢	d	9.0	3/12	4.2	12/12	3.2	4/12	60	Ⅳ H15h	黒褐色土層							89	
2153	小鉢	d	8.9	8/12	5.5	12/12	3.4	9/12	105	Ⅳ H15h	灰層上層							89	
2154	小鉢	d	9.0	11/12	5.4	4/12	3.2	2/12	30	Ⅳ H15h	表土層, 黒褐色土層							89	
2155	小鉢	d	9.0	4/12	4.7	3/12	3.4	3/12	35	Ⅳ H16i	黒褐色土層							89	
2156	小鉢	d	9.0	4/12	5.0	6/12	3.4	3/12	40	Ⅳ H15h	表土層, 黒褐色土層							89	
2157	小鉢	d	8.8	4/12	5.0	4/12	3.5	4/12	70	Ⅳ H16f	灰層（黒色土）							89	
2158	小鉢	d	9.0	8/12	5.0	12/12	3.3	8/12	95	Ⅳ H16h	黒褐色土層							89	
2159	小鉢	d	8.2	1/12	4.0	2/12	3.1	2/12	20	Ⅳ H15g	褐色土層							89	
2160	小鉢	d	8.4	6/12	5.0	12/12	3.2	7/12	55	b1	黒色灰層							89	
2161	小鉢	d	8.0	2/12	5.0	3/12	3.0	3/12	20	Ⅳ H15h	黒褐色土層							89	
2162	小鉢	d	8.0	1/12	5.0	5/12	3.0	3/12	30	Ⅳ H16h	表土層, 黒褐色土層							89	
2163	小鉢	d	8.0	3/12	4.4	3/12	2.6	2/12	20	d2	黒色灰層							89	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・軸		時期	その他	遺物図	写真図版
2164	小鉢	d	8.1	5/12	5.0	6/12	3.1	5/12	50	Ⅳ H16i	黒褐色土層						89	
2165	小鉢	d	−	−	6.2	12/12	(1.8)	1/12	115	c2	検出						89	
2166	小鉢	d	10.4	4/12	5.6	6/12	4.5	5/12	75	f2	表採						89	
2167	小鉢	d	11.1	4/12	5.0	6/12	3.1	4/12	70	d4c3	東壁5層						89	
2168	小鉢	d	11.0	6/12	5.9	12/12	3.7	11/12	140	Ⅳ H12i	褐色土層						89	
2169	小鉢	d	11.6	3/12	5.3	12/12	3.7	7/12	115	f2	北トレンチ						89	
2170	小鉢	d	10.3	4/12	5.5	2/12	3.5	4/12	40	Ⅳ H15h	黒褐色土層						89	
2171	小鉢	d	9.8	2/12	4.6	6/12	2.9	2/12	45	e2	黒色灰層上層						89	
2172	小鉢	d	9.3	6/12	5.1	6/12	2.6	7/12	40	e4e5	北壁2層						89	
2173	小鉢	d	12.6	2/12	6.7	1/12	3.0	2/12	35	Ⅳ H16i	黒褐色土層						89	
2174	小鉢	d	14.4	2/12	8.9	3/12	2.8	3/12	60	Ⅳ H15g	黒褐色土層						89	
2175	小鉢	d	11.9	1/12	5.0	12/12	2.6	4/12	110	f3f4	北壁6層						89	
2176	小鉢	d	11.3	3/12	5.1	12/12	2.8	5/12	105	d1c1	西壁3層						89	
2177	小鉢	d	11.0	3/12	5.1	12/12	2.4	4/12	90	d1d2	北壁4層						89	
2178	小鉢	d	10.6	10/12	5.5	10/12	3.3	11/12	140	d2	黒色灰層下層						89	
2179	小鉢	d	11.1	7/12	4.3	12/12	2.5	7/12	105	c1c2	北壁2層						89	
2180	小鉢	d	11.0	5/12	5.0	12/12	2.6	7/12	90	f3e3	東壁10層						89	
2181	小鉢	d	11.8	3/12	5.3	12/12	2.3	6/12	85	f3	検出						89	
2182	小鉢	d	11.3	5/12	3.7	12/12	2.5	6/12	100	c2	黒色灰層下層						89	
2183	小鉢	d	11.2	5/12	4.4	12/12	2.4	5/12	100	c2	検出						89	
2184	小鉢	d	10.6	9/12	4.4	12/12	2.6	9/12	90	g3	黒色灰層上層						89	
2185	小鉢	d	10.5	6/12	5.4	11/12	2.6	7/12	105	d1	黒色灰層						89	
2186	小鉢	d	10.8	2/12	5.6	11/12	2.8	3/12	75	e2	黒色灰層下層						89	
2187	小鉢	d	11.0	5/12	4.9	12/12	2.8	5/12	70	f3e3	東壁11層						89	
2188	小鉢	d	10.3	7/12	4.4	12/12	2.7	7/12	100	d3	黒色灰層上層						89	
2189	小鉢	d	9.9	5/12	4.8	12/12	2.5	5/12	95	d3	黒色灰層下層						89	
2190	小鉢	d	10.4	4/12	5.1	12/12	2.1	8/12	100	e4d4	東壁5層						89	
2191	小鉢	d	11.1	3/12	5.0	3/12	2.8	3/12	25	g2f2	東壁5層						89	
2192	小鉢	b	9.2	3/12	4.8	6/12	2.9	4/12	40	f2	黒褐色土層						89	
2193	小鉢	b	11.2	2/12	5.2	12/12	3.0	7/12	75	g2	東トレンチ						89	
2194	小鉢	b	11.1	5/12	5.6	12/12	3.4	9/12	120	g2	東トレンチ						89	
2195	小鉢	a	7.3	2/12	2.6	12/12	2.8	5/12	50	g3f3	東壁6層			鉄釉			89	
2196	小鉢	a	8.9	3/12	3.6	6/12	2.6	3/12	35	d1d2	北壁2層						89	
2197	小鉢	a	9.4	5/12	3.1	12/12	3.0	8/12	100	e2	検出						89	
2198	小鉢	a	9.4	3/12	3.4	4/12	3.6	3/12	45	f3f4	北壁6層						89	
2199	小鉢	a	9.5	7/12	3.7	12/12	3.6	7/12	105	Ⅳ H14h	97層						89	
2200	小鉢	a	9.4	4/12	4.2	5/12	3.0	3/12	35	Ⅳ H15f, Ⅳ H15g	東壁172層						89	
2201	小鉢	a	13.8	2/12	5.4	11/12	4.3	6/12	90	Ⅳ H15h	黒褐色土層						89	
2202	小鉢	a	14.0	3/12	5.5	12/12	4.3	10/12	90	Ⅳ H15g	黒褐色土層						89	
2203	小鉢	a	10.4	4/12	3.2	5/12	3.3	3/12	55	c3	黒色灰層上層						89	
2204	小鉢	a	10.5	3/12	4.2	12/12	3.3	8/12	85	b1	黒色灰層下層						89	
2205	小鉢	a	11.0	4/12	4.0	4/12	3.6	4/12	75	c2	検出						89	
2206	小鉢	a	11.2	2/12	4.9	10/12	4.0	6/12	115	d1	黒色灰層						89	
2207	小鉢	e	9.0	9/12	4.1	12/12	3.0	10/12	70	Ⅳ H13h	SY03	No.3					90	
2208	小鉢	e	8.3	12/12	3.8	12/12	2.5	12/12	50	Ⅳ H16h	褐色土層						90	66
2209	小鉢	e	9.1	12/12	4.9	12/12	2.7	12/12	110	c1	北壁,褐色土層(赤褐色土混じる,地山直上)						90	66
2210	小鉢	e	8.8	5/12	4.5	12/12	2.4	8/12	55	Ⅳ H14f	57層						90	
2211	小鉢	e	8.0	4/12	3.9	4/12	2.2	2/12	15	98	表採						90	
2212	小鉢	e	7.0	11/12	4.0	12/12	1.9	11/12	60	Ⅳ H15g	黒褐色土層						90	
2213	小鉢	e	8.0	5/12	4.5	12/12	2.5	9/12	50	Ⅳ H14g, Ⅳ H14h	東壁54層						90	
2214	小鉢	e	7.1	5/12	4.3	8/12	2.4	4/12	40	98	表採						90	
2215	小鉢	e	7.8	3/12	4.1	3/12	2.4	3/12	15	e2	検出						90	
2216	小鉢	e	6.7	11/12	4.1	12/12	2.3	11/12	40	Ⅳ H10i	南北ベルト						90	
2217	小鉢	e	6.5	10/12	4.1	12/12	2.5	10/12	40	Ⅳ H10i	南北ベルト						90	
2218	小鉢	e	6.4	10/12	4.0	12/12	2.5	9/12	30	d1d2	北壁3層						90	
2219	小鉢	e	6.6	11/12	4.2	12/12	2.3	11/12	45	c1	黒色灰層最下部,褐色土直上						90	
2220	小鉢	e	6.6	3/12	4.7	4/12	2.1	3/12	10	Ⅳ H16f, Ⅳ H16g	南壁						90	
2221	小鉢	e	6.1	10/12	4.1	12/12	1.7	11/12	40	Ⅳ H13h	東西トレンチ,整地層						90	
2222	小鉢	e	7.8	12/12	4.3	12/12	2.3	12/12	75	Ⅳ H15g	黒褐色土層						90	66
2223	小鉢	e	7.3	4/12	5.0	3/12	1.8	3/12	15	Ⅳ H13g	黒色灰層						90	
2224	小鉢	e	8.1	12/12	1.8	12/12	4.2	12/12	35	d4	黒色灰層下層						90	66
2225	小鉢	e	7.8	10/12	4.5	12/12	1.6	11/12	45	Ⅳ H15h	183層						90	
2226	小鉢	e	7.7	12/12	4.0	12/12	1.6	12/12	50	Ⅳ H16f	黒褐色土層						90	66
2227	小鉢	e	8.3	2/12	4.9	3/12	1.7	2/12	10	Ⅳ H15h	黒褐色土層						90	
2228	小鉢	e	7.3	10/12	4.0	2/12	2.0	11/12	50	e3	検出(下層)						90	66
2229	小鉢	e	7.3	12/12	1.7	12/12	4.0	12/12	55	98	表採						90	66
2230	小鉢	e	6.5	12/12	3.8	12/12	1.6	12/12	35	Ⅳ H16i	黒褐色土層	分②					90	66
2231	小鉢	e	8.8	5/12	4.5	12/12	2.4	8/12	45	Ⅳ H14f	57層						90	
2232	小鉢	e	6.6	12/12	4.0	12/12	1.6	12/12	30	d1d2	北壁7層						90	67
2233	小鉢	e	6.5	9/12	4.2	12/12	1.6	11/12	30	Ⅳ H15f	黒褐色土層						90	67
2234	小鉢	e	6.1	10/12	4.1	12/12	1.7	11/12	20	Ⅳ H14f, Ⅳ H15f	南壁57層						90	
2235	小鉢	e	6.8	12/12	4.1	12/12	1.3	12/12	30	Ⅳ H14f	57層						90	
2236	小鉢	e	6.4	12/12	3.2	12/12	1.7	12/12	25	Ⅳ H15g	黒褐色土層						90	67
2237	小鉢	e	6.1	3/12	2.8	3/12	1.6	3/12	10	c1c2	北壁4層						90	
2238	小鉢	e	6.7	9/12	3.2	12/12	1.7	9/12	30	Ⅳ H16g	黒褐色土層						90	
2239	小鉢	e	5.8	9/12	3.5	12/12	1.5	11/12	30	Ⅳ H15f	西壁トレンチ						90	
2240	小鉢	e	6.2	3/12	4.0	2/12	1.6	2/12	10	Ⅳ H16i	黒褐色土層						90	
2241	小鉢	e	5.7	12/12	3.7	12/12	1.8	12/12	30	99A	表採						90	
2242	小鉢	e	5.3	12/12	3.9	12/12	1.5	12/12	25	Ⅳ H15f	北壁172層						90	
2243	小鉢	e	2.3	5/12	4.0	9/12	1.8	7/12	20	Ⅳ H16i	黒褐色土層						90	
2244	小鉢	e	5.0	12/12	3.5	12/12	1.5	12/12	30	Ⅳ H16h	表土下,黒褐色土層						90	67
2245	小鉢	e	7.0	3/12	4.7	1/12	1.1	1/12	5	Ⅳ H15h	黒褐色土層						90	
2246	小鉢	e	6.0	5/12	3.4	5/12	1.5	5/12	5	Ⅳ H15h	黒褐色土層						90	
2247	小鉢	e	5.9	6/12	4.0	5/12	1.3	5/12	10	Ⅳ H16i	黒褐色土層						90	
2248	小鉢	e	5.6	5/12	3.6	7/12	1.3	7/12	15	Ⅳ H16i	黒褐色土層						90	
2249	小鉢	e	5.4	4/12	2.8	6/12	1.4	4/12	10	Ⅳ H16i	黒褐色土層						90	
2250	小鉢	e	−	−	10.5	2/12	(6.2)	9/12	125	Ⅳ H15f	黒褐色土層						90	
2251	小鉢	e	5.7	2/12	2.5	3/12	1.5	2/12	5	Ⅳ H16f	黒褐色土層						90	
2252	小鉢	e	5.6	3/12	2.4	3/12	1.4	3/12	5	99B	表採						90	
2253	小鉢	e	5.3	3/12	2.3	1/12	1.4	2/12	5	c2	検出,黒色灰層						90	
2254	小鉢	e	5.2	4/12	2.4	6/12	1.4	5/12	10	c2	検出						90	
2255	小鉢	e	5.4	11/12	2.4	12/12	1.4	11/12	25	e2d4	東壁5層						90	
2256	小鉢	e	5.3	2/12	2.4	12/12	1.4	7/12	15	f2f3	北壁4層						90	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・軸		時期	その他	遺物図	写真図版
2257	小鉢	e	5.0	3/12	2.3	5/12	1.3	4/12	10	ⅣH14h, ⅣH14i	東壁42層						90	
2258	小鉢	e	5.1	9/12	2.4	12/12	1.4	10/12	15	ⅣH14h, ⅣH14i	東壁42層						90	
2259	小鉢	e	5.0	12/12	2.6	12/12	1.2	12/12	15	ⅣH13g	表土	分②					90	
2260	小鉢	e	4.8	2/12	2.3	12/12	1.6	4/12	10	b1c1	西壁2層						90	
2261	小鉢	e	4.9	6/12	3.0	12/12	1.6	8/12	20	ⅣH14f, ⅣH15f	南壁74層						90	
2262	小鉢	e	−	−	2.2	2/12	(1.2)	2/12	5	c2c3	北壁3層						90	
2263	小鉢	e	5.4	12/12	2.3	12/12	1.7	12/12	55	b1	黒色灰層下層						90	
2264	小鉢	e	5.2	4/12	2.4	5/12	1.8	5/12	45	c3	黒色灰層下層, 褐色土混じる						90	
2265	柄付片口		15.8	6/12	10.6	12/12	10.6	7/12	552	ⅣH16g	赤褐色土層	分②		鉄釉			91	67
2266	柄付片口		20.2	1/12	−	−	(9.3)	3/12	111	ⅣH15g	黒褐色土層						91	
2267	柄付片口		18.8	1/12	−	−	6.1	1/12	142	ⅣH16f	黒褐色土層						91	
2268	柄付片口		16.7	1/12	−	−	(10.7)	4/12	183	d1	黒色灰層上層						91	
2269	柄付片口		17.4	5/12	−	−	(7.0)	3/12	158	ⅣH16g	黒褐色土層						91	
2270	柄付片口		16.6	3/12	−	−	(8.7)	3/12	216	d1	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						91	67
2271	柄付片口		17.4	6/12	10.9	4/12	9.8	5/12	386	ⅣH16g	赤褐色土層						91	67
2272	柄付片口		19.2	1/12	−	−	(8.0)	1/12	84	d2	黒色灰層下層	分-107					91	
2273	柄付片口		18.5	1/12	−	−	(10.9)	4/12	262	d2d3	北壁8層						91	
2274	柄付片口		19.4	3/12	−	−	(7.2)	3/12	147	c3	黒色灰層上層						91	
2275	柄付片口		21.0	2/12	11.0	5/12	9.0	4/12	222	ⅣH15h	黒褐色土層			鉄釉			91	
2276	柄付片口		18.5	2/12	11.9	12/12	10.6	8/12	803	ⅣH16f	黒色灰層						91	67
2277	柄付片口		18.0	4/12	−	−	(9.4)	2/12	186	ⅣH15f	黒褐色土層			鉄釉			92	
2278	柄付片口		17.0	3/12	−	−	(8.2)	3/12	119	ⅣH16g	黒褐色土層						92	
2279	柄付片口		18.4	2/12	11.2	5/12	9.0	3/12	183	ⅣH16f	黒褐色土層						92	
2280	柄付片口		16.2	4/12	9.2	10/12	9.0	4/12	328	d1c1	東壁4層						92	
2281	柄付片口		17.0	1/12	−	−	(7.6)	1/12	165	ⅣH14g	灰層上層						92	
2282	柄付片口		17.4	1/12	−	−	(8.1)	2/12	126	ⅣH16g	黒褐色土層						92	
2283	柄付片口		17.0	2/12	−	−	(8.4)	3/12	99	ⅣH16g	黒褐色土層						92	
2284	柄付片口		15.4	5/12	−	−	(9.5)	4/12	182	d1	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						92	
2285	柄付片口		16.3	2/12	10.0	6/12	9.5	5/12	287	ⅣH16f	黒褐色土層						92	
2286	柄付片口		17.2	2/12	10.0	3/12	9.9	3/12	213	c1	黒色灰層下層						92	
2287	柄付片口		15.4	2/12	−	−	(7.6)	2/12	100	ⅣH16g	赤褐色土層						92	
2288	柄付片口		15.4	2/12	10.8	3/12	8.8	3/12	174	ⅣH16h	黒褐色土層						92	
2289	柄付片口		15.6	1/12	−	−	(8.4)	3/12	161	ⅣH15h	褐色土層, 黒褐色土層			鉄釉			92	
2290	柄付片口		14.7	5/12	9.0	6/12	(9.2)	5/12	288	d1	北壁						92	68
2291	柄付片口		16.0	4/12	10.0	10/12	(9.0)	6/12	461	ⅣH14h	灰層上層						92	67
2292	柄付片口		15.8	3/12	−	−	(9.0)	1/12	101	d2	黒色灰層下層	分-106, 分②					92	
2293	柄付片口		17.0	6/12	−	−	(9.3)	3/12	209	ⅣH16h	黒褐色土層						92	
2294	柄付片口		−	−	10.8	4/12	(2.3)	2/12	140	f3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						92	
2295	柄付片口		15.0	3/12	8.6	5/12	8.0	4/12	183	c3	表土						93	
2296	柄付片口		14.6	2/12	8.0	12/12	8.8	5/12	350	f2	北トレンチ下層						93	
2297	柄付片口		14.0	2/12	−	−	(8.8)	2/12	141	ⅣH15g	黒褐色土層						93	
2298	柄付片口		14.8	3/12	−	−	(7.1)	3/12	105	ⅣH16g	黒褐色土層						93	
2299	柄付片口		15.2	2/12	−	−	(7.7)	3/12	123	ⅣH15g	黒褐色土層						93	
2300	柄付片口		15.6	2/12	−	−	(8.1)	3/12	165	ⅣH16f	黒褐色土層						93	
2301	柄付片口		14.6	1/12	9.0	2/12	7.9	3/12	119	ⅣH16g	赤褐色土層						93	
2302	柄付片口		16.5	2/12	−	−	(6.6)	1/12	83	ⅣH16g	赤褐色土層						93	
2303	柄付片口		16.0	1/12	−	−	(8.4)	2/12	131	ⅣH16g	黒褐色土層						93	
2304	柄付片口		16.6	3/12	9.0	5/12	8.3	4/12	196	d1	褐色砂層（地山直上）						93	
2305	柄付片口		16.4	4/12	−	−	(6.9)	3/12	148	ⅣH14h	西壁97層						93	
2306	柄付片口		15.6	3/12	8.4	12/12	7.4	4/12	344	ⅣH16g	黒褐色土層						93	
2307	柄付片口		15.8	5/12	11.0	6/12	8.1	4/12	292	ⅣH16i	黒褐色土層						93	
2308	柄付片口		15.0	2/12	−	−	(7.6)	2/12	119	ⅣH15h	黒褐色土層						93	
2309	柄付片口		16.0	1/12	−	−	(8.3)	3/12	151	d1	黒色灰層上層						93	
2310	柄付片口		15.4	2/12	9.6	6/12	9.7	4/12	188	ⅣH15g	黒褐色土層			鉄釉			93	
2311	柄付片口		15.4	4/12	−	−	(7.2)	2/12	115	ⅣH16g	赤褐色土層			鉄釉			93	68
2312	柄付片口		16.0	2/12	−	−	(9.1)	2/12	87	ⅣH15g	黒褐色土層			鉄釉			93	
2313	柄付片口		15.8	6/12	10.6	6/12	9.2	6/12	383	ⅣH15h	黒褐色土層						94	
2314	柄付片口		14.8	1/12	9.3	2/12	9.1	2/12	303	ⅣH13h, ⅣH14h	南壁97層						94	
2315	柄付片口		16.0	2/12	9.8	5/12	9.2	3/12	242	ⅣH16g	黒褐色土層						94	
2316	柄付片口		15.0	2/12	−	−	(8.2)	2/12	106	ⅣH16g	黒褐色土層						94	
2317	柄付片口		15.2	2/12	8.8	6/12	7.2	5/12	171	d1c1	東壁4層						94	
2318	柄付片口		15.4	2/12	−	−	(8.0)	2/12	105	ⅣH16f	黒色灰層			鉄釉			94	68
2319	柄付片口		15.4	3/12	−	−	(8.1)	3/12	107	ⅣH15g	黒褐色土層						94	
2320	柄付片口		15.2	3/12	−	−	(7.2)	3/12	101	ⅣH15g	黒褐色土層						94	
2321	柄付片口		14.0	3/12	−	−	(8.5)	3/12	115	ⅣH15h	黒褐色土層						94	
2322	柄付片口		14.0	3/12	−	−	(5.5)	3/12	111	c1c2	北壁4層						94	
2323	柄付片口		15.0	1/12	−	−	(5.6)	1/12	61	ⅣH16g	黒褐色土層						94	
2324	柄付片口		13.6	1/12	8.0	12/12	6.6	7/12	332	d1	黒色灰層						94	
2325	柄付片口		14.4	3/12	9.0	6/12	8.0	4/12	217	d2	黒色灰層下層						94	
2326	柄付片口		13.4	3/12	−	−	(6.2)	3/12	71	g2g3	北壁3層						94	
2327	柄付片口		14.0	4/12	−	−	(6.7)	3/12	111	ⅣH15h	褐色土層			鉄釉			94	
2328	柄付片口		13.8	5/12	9.8	6/12	7.4	5/12	226	c1c2	北壁3層						94	
2329	柄付片口		15.4	2/12	−	−	(5.5)	2/12	86	ⅣH15h	黒褐色土層						94	
2330	柄付片口		7.2	4/12	−	−	(5.5)	3/12	123	ⅣH14h	西側トレンチ						94	
2331	柄付片口		13.3	2/12	−	−	(6.7)	2/12	100	ⅣH16g	黒褐色土層						95	
2332	柄付片口		13.6	6/12	7.6	9/12	6.3	6/12	214	ⅣH13h, ⅣH14h	南壁97層						95	
2333	柄付片口		12.9	11/12	6.6	12/12	6.5	11/12	272	d1	黒色灰層下層						95	68
2334	柄付片口		12.9	2/12	−	−	(5.1)	1/12	36	ⅣH16g	赤褐色土層						95	
2335	柄付片口		13.6	2/12	8.0	10/12	6.0	5/12	176	ⅣH13h, ⅣH14h	南壁97層						95	
2336	柄付片口		11.9	2/12	7.4	1/12	(6.4)	2/12	46	ⅣH16h	黒褐色土層						95	
2337	柄付片口		12.9	4/12	6.8	3/12	6.0	5/12	134	d2	黒色灰層上層			鉄釉			95	68
2338	柄付片口		12.0	1/12	8.0	6/12	6.4	3/12	116	ⅣH15g	黒褐色土層						95	
2339	柄付片口		13.2	3/12	−	−	(7.5)	2/12	60	ⅣH15h	表土						95	
2340	柄付片口		12.6	2/12	−	−	(5.9)	2/12	74	ⅣH16f	黒褐色土層						95	
2341	柄付片口		13.6	12/12	−	−	(5.6)	8/12	303	ⅣH15h	褐色土層						95	68
2342	柄付片口		12.8	2/12	8.0	2/12	6.2	3/12	82	ⅣH16h	黒褐色土層						95	
2343	柄付片口		12.2	6/12	8.0	6/12	6.9	6/12	183	e2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						95	
2344	柄付片口		11.8	2/12	8.0	2/12	6.8	3/12	82	ⅣH16h	黒褐色土層						95	
2345	柄付片口		12.0	6/12	7.3	12/12	6.1	7/12	200	ⅣH16h	黒褐色土層						95	
2346	柄付片口		12.7	1/12	−	−	(5.3)	1/12	47	ⅣH16g	黒褐色土層			鉄釉			95	
2347	柄付片口		12.4	3/12	8.0	12/12	6.2	5/12	172	ⅣH16h	黒褐色土層						95	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉			時期	その他	遺物図	写真図版
2348	柄付片口		12.3	2/12	−	−	(5.0)	3/12	46	Ⅳ H15g	褐色土層							95	
2349	柄付片口		11.8	1/12	7.5	12/12	6.1	3/12	167	d1	黒色灰層							95	
2350	柄付片口		13.0	2/12	7.4	2/12	6.6	3/12	84	d2	黒色灰層下層							95	
2351	柄付片口		13.0	2/12	−	−	(5.6)	2/12	38	Ⅳ H15h	黒褐色土層							95	
2352	柄付片口		13.5	2/12	5.5	3/12	5.0	3/12	104	Ⅳ H16g	赤褐色土層							95	
2353	柄付片口		13.1	5/12	7.6	12/12	5.5	9/12	190	c2	検出（下層）							95	68
2354	柄付片口		14.8	3/12	7.6	3/12	5.1	3/12	113	Ⅳ H15f	176層							95	
2355	柄付片口		12.3	5/12	7.4	12/12	6.5	5/12	122	d1d2	北壁7層			鉄釉				96	69
2356	柄付片口		13.0	4/12	−	−	(4.8)	2/12	63	Ⅳ H14g	灰層上層							96	
2357	柄付片口		11.0	2/12	7.0	1/12	6.2	2/12	54	Ⅳ H16f	黒褐色土層							96	
2358	柄付片口		12.0	3/12	−	−	(5.4)	3/12	43	Ⅳ H16g	赤褐色土層							96	
2359	柄付片口		11.5	2/12	6.7	1/12	6.1	4/12	115	Ⅳ H16g	黒褐色土層							96	68
2360	柄付片口		11.6	1/12	−	−	(5.2)	1/12	35	Ⅳ H15f	黒褐色土層							96	
2361	柄付片口		12.4	2/12	−	−	(5.6)	2/12	52	e2	北壁8層メインベルト部							96	
2362	柄付片口		11.2	6/12	6.6	9/12	6.1	6/12	186	e2d2	東壁4層							96	
2363	柄付片口		11.2	8/12	−	−	(5.6)	5/12	100	Ⅳ H16h	黒褐色土層			鉄釉				96	
2364	柄付片口		10.3	9/12	6.5	12/12	5.9	10/12	122	d2	黒色土層上層							96	
2365	柄付片口		9.6	12/12	5.7	12/12	5.7	12/12	215	Ⅳ H15g	169層	分②						96	69
2366	柄付片口		10.3	2/12	−	−	(5.9)	1/12	81	f3	検出							96	
2367	柄付片口		10.8	3/12	−	−	(5.3)	2/12	53	Ⅳ H15f	北壁172層							96	
2368	柄付片口		11.0	5/12	6.6	11/12	5.6	6/12	168	Ⅳ H15f	褐色土層							96	
2369	柄付片口		11.0	3/12	6.0	2/12	5.3	4/12	78	Ⅳ H15f	黒褐色土層			鉄釉				96	
2370	柄付片口		11.8	1/12	7.5	12/12	6.1	3/12	44	Ⅳ H16g	黒褐色土層			鉄釉				96	
2371	柄付片口		9.6	6/12	6.5	7/12	4.9	6/12	129	Ⅳ H16g	褐色土層							96	69
2372	柄付片口		9.3	6/12	5.0	12/12	4.6	6/12	117	Ⅳ H16h	黒褐色土層							96	
2373	柄付片口		10.2	2/12	5.2	12/12	5.1	8/12	196	Ⅳ H16h	褐色土層							96	
2374	柄付片口		9.7	3/12	6.4	5/12	5.5	4/12	68	d1	黒色灰層上層			鉄釉				96	70
2375	柄付片口		10.3	1/12	−	−	4.4	1/12	35	d1	北壁							96	
2376	柄付片口		9.3	6/12	5.3	12/12	5.7	7/12	115	e2	東壁4層			鉄釉				96	69
2377	柄付片口		9.1	2/12	5.6	12/12	6.5	9/12	131	Ⅳ H14f	西壁トレンチ							96	
2378	柄付片口		9.4	2/12	5.6	5/12	(5.4)	3/12	55	Ⅳ H14g	131層			鉄釉				96	
2379	柄付片口		9.9	2/12	5.3	4/12	6.1	3/12	48	Ⅳ H16g	黒褐色土層			鉄釉				96	
2380	柄付片口		9.0	1/12	−	−	4.9	1/12	29	d1	北壁							96	
2381	柄付片口		8.5	1/12	−	−	4.9	1/12	353	Ⅳ H15h	褐色土層			鉄釉				96	
2382	柄付片口		−	−	−	−	−	1/12	20	Ⅳ H14g	131層							96	
2383	調理用片口鉢		22.1	2/12	17.8	2/12	9.9	2/12	299	d1	黒色灰層下層							97	
2384	片口小鉢		21.6	3/12	−	−	(6.8)	2/12	84	g2	北壁3層							97	
2385	片口小鉢		18.6	1/12	13.8	1/12	8.6	1/12	114	e2e3	北壁9層	分②						97	
2386	片口小鉢		19.3	3/12	10.9	5/12	7.6	4/12	289	Ⅳ H13i	トレンチ4, 南壁							97	
2387	片口小鉢		15.8	1/12	9.8	2/12	7.3	2/12	156	99A	表採							97	
2388	片口小鉢		16.2	5/12	9.2	4/12	6.1	4/12	168	Ⅳ H13i	トレンチ							97	
2389	片口小鉢		14.7	2/12	9.4	5/12	6.4	3/12	234	99A	表採							97	
2390	片口小鉢		15.2	4/12	11.8	2/12	9.6	4/12	300	c1	黒色灰層上層							97	
2391	片口小鉢		16.4	2/12	8.5	4/12	8.5	3/12	200	d2	検出	分-81						97	
2392	片口小鉢		17.0	4/12	−	−	(8.8)	4/12	256	Ⅳ H15g	173層							97	69
2393	片口小鉢		13.0	7/12	9.2	8/12	7.6	7/12	418	Ⅳ H14i, Ⅳ H15i	南壁150層							97	
2394	片口小鉢		14.3	3/12	8.0	5/12	6.5	3/12	162	f2e2	東壁6層							97	
2395	片口小鉢		14.8	2/12	7.1	6/12	5.4	3/12	192	e3d3	東壁5層							97	
2396	片口小鉢		12.3	7/12	6.8	12/12	4.7	9/12	206	Ⅳ H12g	表土							97	
2397	片口小鉢		11.5	6/12	8.0	12/12	4.7	9/12	206	Ⅳ H15h	黒褐色土層							97	
2398	片口小鉢		7.8	7/12	5.4	12/12	3.9	7/12	104	Ⅳ H14f	灰層上層							97	
2399	片口小鉢		8.4	10/12	5.2	12/12	3.3	9/12	123	Ⅳ H16g	赤褐色土層							97	
2400	片口小鉢		9.0	6/12	5.2	6/12	4.8	6/12	64	d2	褐色土層, 地山直上			鉄釉				97	70
2401	片口小鉢		7.2	6/12	3.4	11/12	3.5	10/12	83	c3	黒色灰層最下部, 褐色土直上			鉄釉				97	
2402	片口小鉢		6.3	3/12	4.1	7/12	2.5	4/12	34	d2	黒色灰層下層							97	
2403	片口小鉢		8.8	3/12	4.8	5/12	3.5	5/12	41	f2	黒色灰層			鉄釉				97	
2404	片口小鉢		8.6	4/12	5.8	4/12	3.2	4/12	34	e2	黒色灰層下層メインベルト			鉄釉				97	
2405	片口小鉢		10.2	4/12	5.0	12/12	3.0	8/12	114	d1	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる							97	
2406	片口小鉢		12.1	3/12	6.5	5/12	4.0	4/12	71	Ⅳ H16h	黒褐色土層							97	
2407	片口小鉢		19.4	2/12	−	−	(6.0)	2/12	96	f3	黒色灰層下層							98	
2408	片口小鉢		18.8	2/12	11.6	2/12	6.8	2/12	102	d1	黒色灰層							98	
2409	片口小鉢		18.0	1/12	−	−	(6.9)	3/12	86	b1b2	北壁1層							98	
2410	片口小鉢		18.4	4/12	9.4	4/12	7.3	4/12	179	b3	黒色灰層上層							98	
2411	片口小鉢		−	−	10.0	2/12	(5.0)	2/12	121	Ⅳ H16g	黒褐色土層							98	
2412	片口小鉢		17.8	2/12	−	−	(4.6)	1/12	69	Ⅳ H14g, Ⅳ H14h	東壁7層							98	
2413	片口小鉢		17.8	2/12	−	−	(5.3)	2/12	111	Ⅳ H15g, Ⅳ H15h	南壁170層							98	
2414	片口小鉢		22.0	4/12	−	−	(6.4)	3/12	166	Ⅳ H15i	黒褐色土層							98	
2415	片口小鉢		16.8	3/12	−	−	(7.5)	2/12	260	Ⅳ H15i	黒褐色土層							98	
2416	片口小鉢		16.4	2/12	−	−	(8.2)	2/12	126	Ⅳ H15i	黒褐色土層							98	
2417	調理用片口鉢		42.0	4/12	−	−	15.5	4/12	788	d1	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる							98	
2418	調理用片口鉢		39.8	2/12	−	−	(11.6)	2/12	769	e2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる							98	
2419	碗形鉢		30.2	5/12	−	−	(8.0)	1/12	154	c2d2	東壁3層							99	
2420	碗形鉢		29.8	1/12	9.2	6/12	11.3	4/12	427	d1	北壁12層							99	70
2421	碗形鉢		28.5	1/12	8.4	4/12	10.2	2/12	188	Ⅳ H13h	トレンチ							99	
2422	碗形鉢		27.7	3/12	8.1	4/12	11.0	3/12	297	Ⅳ H13i	トレンチ							99	70
2423	碗形鉢		25.2	2/12	−	−	(9.2)	1/12	186	Ⅳ H16f	黒色灰層							99	
2424	碗形鉢		24.3	1/12	7.1	12/12	11.1	5/12	332	f2	北トレンチ	分-93, 分②						99	
2425	碗形鉢		24.1	4/12	7.6	2/12	10.2	3/12	239	Ⅳ H14g	灰層上層							99	
2426	碗形鉢		24.1	2/12	−	−	(9.7)	1/12	192	b1c1	西壁2層							99	
2427	碗形鉢		22.3	3/12	−	−	(7.1)	1/12	191	d1d2	北壁5層							99	
2428	碗形鉢		21.5	4/12	7.8	1/12	8.7	4/12	189	b2	黒色灰層下層							99	
2429	碗形鉢		23.0	2/12	7.0	12/12	10.4	2/12	376	Ⅳ H16h	黒褐色土層							99	70
2430	碗形鉢		22.0	1/12	7.0	5/12	11.0	2/12	274	d2	黒色灰層下層							99	
2431	碗形鉢		−	−	8.1	10/12	(4.8)	1/12	295	f3	黒色灰層下層							99	
2432	碗形鉢		−	−	7.7	5/12	(4.9)	3/12	204	g5	表土	分-96						99	
2433	碗形鉢		20.9	3/12	6.4	12/12	9.5	4/12	227	b2c2	西壁2層							100	
2434	碗形鉢		21.9	1/12	6.4	6/12	9.0	3/12	210	Ⅳ H14h, Ⅳ H14i	東壁155層							100	
2435	碗形鉢		18.2	4/12	6.6	5/12	7.7	3/12	160	f4	黒色灰層下層（地山直上）							100	
2436	碗形鉢		17.6	2/12	6.6	12/12	7.4	3/12	255	Ⅳ H16g	黒褐色土層							100	
2437	碗形鉢		16.7	1/12	5.4	8/12	7.0	3/12	198	d1d2	北壁5層							100	
2438	碗形鉢		21.4	1/12	−	−	(6.4)	1/12	106	d2c2	東壁3層							100	
2439	碗形鉢		19.4	1/12	−	−	(6.1)	1/12	48	g3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる	鉄釉						100	
2440	碗形鉢		−	−	9.6	2/12	(7.0)	2/12	121	g2	東トレンチ	分-94						100	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
2441	碗形鉢		−	−	10.0	12/12	(5.3)	4/12	338	g4f4	東壁5層						100	
2442	碗形鉢		−	−	8.6	7/12	(5.0)	3/12	174	c2	検出						100	
2443	碗形鉢		−	−	8.1	12/12	(8.0)	2/12	486	Ⅳ H16f	黒褐色土層						100	
2444	碗形鉢		−	−	7.8	6/12	(4.5)	2/12	95	d2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						100	
2445	碗形鉢		−	−	6.9	12/12	(3.1)	1/12	184	d1	黒色灰層						100	
2446	碗形鉢		−	−	6.8	2/12	(8.6)	3/12	384	d3	黒色灰層上層						100	
2447	碗形鉢		−	−	6.7	9/12	(5.9)	6/12	366	c2	黒色灰層上層						100	
2448	碗形鉢		−	−	7.0	12/12	(7.7)	3/12	367	c2c3	北壁5層						100	
2449	碗形鉢		−	−	5.6	12/12	(7.7)	2/12	302	b2	検出						100	
2450	碗形鉢		−	−	7.4	12/12	(4.9)	7/12	292	b1b2	北壁1層						100	
2451	片口鉢		28.2	9/12	10.8	3/12	12.0	8/12	1545	Ⅳ H16h	黒褐色土層	No. 3					101	70
2452	片口鉢		27.3	12/12	11.3	10/12	11.6	11/12	1500	Ⅳ H15h	黒褐色土層	No. 4					101	
2453	片口鉢		30.0	2/12	10.7	11/12	11.0	2/12	600	Ⅳ H15g	黒褐色土層						101	
2454	片口鉢		29.8	3/12	10.2	12/12	10.8	3/12	1040	Ⅳ H15g	黒褐色土層						101	
2455	片口鉢		29.8	1/12	11.5	6/12	11.4	2/12	400	Ⅳ H15f	北壁172層						101	
2456	片口鉢		28.4	10/12	11.5	9/12	11.9	10/12	1430	Ⅳ H16h	南北ベルト（褐色土層）	分②					101	71
2457	片口鉢		30.2	6/12	11.3	12/12	11.7	6/12	1350	Ⅳ H15g	黒褐色土層	No. 85					101	
2458	片口鉢		30.2	1/12	−	−	(12.3)	1/12	320	Ⅳ H15g	黒褐色土層	No. 162, 分-30					101	
2459	片口鉢		28.5	7/12	10.4	7/12	10.2	7/12	1400	Ⅳ H15f	134層	No. 108					101	
2460	片口鉢		30.7	8/12	11.7	3/12	12.0	4/12	910	Ⅳ H16g	赤褐色土層						101	
2461	片口鉢		30.0	3/12	10.3	11/12	12.2	3/12	690	Ⅳ H15g	134層直上	No. 192					102	
2462	片口鉢		29.8	1/12	10.0	12/12	11.3	2/12	600	Ⅳ H15g	黒褐色土層	No. 12					102	
2463	片口鉢		30.4	5/12	10.4	11/12	10.7	5/12	1140	Ⅳ H16g	黒褐色土層	No. 10					102	
2464	片口鉢		28.5	1/12	11.6	11/12	9.9	2/12	770	Ⅳ H16h	135層直上	No. 305					102	
2465	片口鉢		27.3	4/12	10.6	9/12	11.3	4/12	795	Ⅳ H15g	134層直上	No. 171					102	
2466	片口鉢		28.0	3/12	11.4	10/12	10.6	3/12	1055	d1	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						102	
2467	片口鉢		29.0	2/12	11.0	3/12	11.2	2/12	480	Ⅳ H16g	赤褐色土層						102	
2468	片口鉢		30.0	3/12	10.3	5/12	11.0	3/12	695	Ⅳ H16g	赤褐色土層						102	
2469	片口鉢		25.1	3/12	11.1	5/12	12.1	3/12	570	d1	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						102	
2470	片口鉢		28.2	2/12	−	−	(9.9)	1/12	260	d1	褐色土層						102	
2471	片口鉢		30.0	1/12	−	−	(8.1)	1/12	160	Ⅳ H15g	黒褐色土層	No. 147, 分-27					103	
2472	片口鉢		27.8	3/12	−	−	(10.0)	1/12	513	Ⅳ H15g	黒褐色土層	No. 91, 分-29					103	
2473	片口鉢		−	−	10.4	12/12	1.4	6/12	442	Ⅳ H15g	黒褐色土層	No. 79, 分-28					103	
2474	把手付小鉢		−	−	8.4	12/12	(5.5)	1/12	427	d3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						103	
2475	把手付小鉢		18.4	4/12	5.2	6/12	6.2	2/12	186	d2	黒色灰層上層						103	69
2476	擂鉢形小鉢		16.8	3/12	6.8	5/12	5.8	3/12	120	c3	黒色灰層下層, 褐色土混じる						103	
2477	擂鉢形小鉢		16.4	3/12	5.9	4/12	5.5	3/12	96	e3d3	東壁5層						103	
2478	擂鉢形小鉢		17.5	2/12	7.0	1/12	5.9	2/12	100	c1	黒色灰層上層						103	
2479	擂鉢形小鉢		16.4	2/12	5.6	6/12	5.4	5/12	91	d3	黒色灰層下層						103	
2480	擂鉢形小鉢		16.4	3/12	6.4	3/12	3.9	3/12	76	Ⅳ H13i	黄色砂						103	
2481	擂鉢形小鉢		16.7	3/12	5.8	12/12	6.1	4/12	171	d1d2	北壁4層						103	
2482	擂鉢形小鉢		17.0	1/12	5.8	6/12	5.4	3/12	78	c3	黒色灰層下層						103	
2483	擂鉢形小鉢		16.0	4/12	6.2	7/12	5.2	4/12	142	Ⅳ H16f	灰層（褐色土）						103	
2484	擂鉢形小鉢		15.3	1/12	5.2	4/12	5.8	1/12	51	d1	黒色灰層						103	
2485	擂鉢形小鉢		18.9	4/12	6.8	9/12	7.0	8/12	330	Ⅳ H12h	SX06, 東西ベルト1層						103	70
2486	擂鉢形小鉢		14.5	10/12	5.2	10/12	5.4	11/12	238	Ⅳ H13g, Ⅳ H14g	南壁5層						103	71
2487	擂鉢形小鉢		15.2	1/12	7.1	2/12	5.9	1/12	48	Ⅳ H14i	灰層上層						103	
2488	擂鉢形小鉢		14.6	3/12	6.5	4/12	6.7	2/12	87	Ⅳ H14f, Ⅳ H14g	東壁63層						103	
2489	擂鉢	a	37.7	1/12	−	−	(7.5)	1/12	170	Ⅳ H14h, Ⅳ H14i	東壁41層						104	
2490	擂鉢	a	38.0	3/12	−	−	(7.0)	1/12	390	Ⅳ H14i	表土						104	
2491	擂鉢	a	34.8	1/12	−	−	(3.4)	1/12	85	d1	黒色灰層上層						104	
2492	擂鉢	a	33.7	2/12	−	−	(9.8)	1/12	270	d1d2	北壁5層						104	
2493	擂鉢	a	33.0	4/12	−	−	(6.4)	2/12	400	e2e3	北壁1層						104	
2494	擂鉢	b	36.2	1/12	−	−	(10.3)	1/12	250	e2d2	東壁5層	分②					104	
2495	擂鉢	b	32.7	1/12	11.1	3/12	11.1	2/12	1180	Ⅳ H16g	黒褐色土層						104	
2496	擂鉢	c	22.4	1/12	10.6	4/12	11.1	2/12	235	Ⅳ H15g	黒褐色土層						104	
2497	擂鉢	c	−	−	11.6	4/12	(8.9)	3/12	410	e3d3	東壁5層			鉄釉			104	
2498	擂鉢	b	−	−	11.0	1/12	(10.0)	3/12	345	c1	黒色灰層下層						104	
2499	擂鉢	c	32.8	3/12	10.3	4/12	10.4	2/12	375	Ⅳ H12f	地山直上						105	
2500	擂鉢	c	33.1	2/12	−	−	(8.6)	1/12	190	d1	黒色灰層						105	
2501	擂鉢	c	30.2	2/12	−	−	(7.2)	2/12	245	c1	黒色灰層下層						105	
2502	擂鉢	c	29.7	1/12	10.0	1/12	9.4	2/12	200	d1	黒色灰層下層						105	
2503	擂鉢	c	31.3	1/12	12.0	3/12	9.3	2/12	325	e2	東壁4層						105	
2504	擂鉢	c	34.4	1/12	12.0	3/12	12.0	4/12	515	e3	検出（下層）	分②					105	71
2505	擂鉢	a	−	−	15.6	4/12	(6.1)	7/12	570	f2	北トレンチ						105	
2506	擂鉢	c	28.4	1/12	11.0	5/12	10.8	3/12	310	e2	黒色灰層下層						105	
2507	擂鉢	c	28.5	1/12	9.8	1/12	9.7	1/12	220	b2	検出						105	
2508	擂鉢	c	27.7	1/12	8.8	1/12	8.4	1/12	110	Ⅳ H14i, Ⅳ H15h	南壁44層						105	
2509	擂鉢	c	28.7	4/12	10.6	5/12	10.4	4/12	540	Ⅳ H15g	南北トレンチ灰層下層						106	71
2510	擂鉢	c	25.8	3/12	8.5	3/12	9.4	2/12	375	Ⅳ H13h, Ⅳ H14h	南壁18層						106	
2511	擂鉢	c	26.8	2/12	10.1	4/12	10.4	2/12	215	Ⅳ H12d	黒褐色土層	No. 16					106	
2512	擂鉢	c	26.9	2/12	10.0	4/12	9.5	2/12	260	f3	検出（下層）						106	
2513	擂鉢	c	27.2	2/12	11.0	2/12	10.0	1/12	240	Ⅳ H16g	黒褐色土層						106	
2514	擂鉢	c	28.8	1/12	13.0	1/12	10.5	1/12	225	Ⅳ H14g	131層						106	
2515	擂鉢	c	29.6	1/12	8.5	2/12	9.3	2/12	350	Ⅳ H15g	黒褐色土層						106	
2516	擂鉢	c	27.1	1/12	11.5	11/12	10.2	5/12	640	e4	黒色灰層下層, 褐色土混じる						106	71
2517	擂鉢	c	26.1	1/12	10.5	4/12	10.0	3/12	365	d3	黒色灰層最下部, 褐色土直上						106	
2518	擂鉢	c	26.0	2/12	9.0	1/12	10.6	1/12	250	e3d3	東壁1層						106	
2519	擂鉢	c	27.7	2/12	12.5	3/12	9.8	2/12	400	Ⅳ H15h	表土						106	
2520	擂鉢	c	−	−	10.0	3/12	(5.6)	1/12	120	c4	黒色灰層最下層	分-32					106	
2521	擂鉢	c	29.1	3/12	11.8	7/12	10.2	5/12	550	Ⅳ H11f	表土						107	
2522	擂鉢	c	30.2	1/12	11.2	8/12	10.4	3/12	490	Ⅳ H12f	褐色土層						107	
2523	擂鉢	c	29.2	4/12	9.8	5/12	10.7	4/12	460	Ⅳ H12d	表土						107	
2524	擂鉢	c	32.7	3/12	11.0	4/12	11.0	3/12	530	Ⅳ H13h	灰層上層						107	
2525	擂鉢	c	35.0	1/12	12.4	6/12	12.2	3/12	710	Ⅳ H16g	黒褐色土層						108	
2526	擂鉢	c	−	−	10.6	3/12	(7.7)	2/12	175	b2b3	北壁2層	分②					108	
2527	擂鉢	c	−	−	10.2	2/12	(5.1)	1/12	90	c4	黒色灰層最下層	分33					108	
2528	鉢		29.0	1/12	−	−	(5.3)	1/12	65	Ⅳ H14f	黒褐色土層						108	
2529	鉢		32.0	2/12	−	−	(5.6)	1/12	130	Ⅳ H15g	黒褐色土層						108	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・軸		時期	その他	遺物図	写真図版
2530	鉢		30.6	1/12	9.8	3/12	8.8	2/12	430	e2	黒色灰層上層	分②					108	
2531	鉢		31.4	3/12	−	−	(9.5)	3/12	495	d2	黒色灰層上層						108	
2532	鉢		32.8	1/12	9.6	3/12	11.1	1/12	450	e2	検出						108	
2533	鉢		30.7	2/12	11.3	6/12	10.6	2/12	550	c1	黒色灰層上層						109	
2534	鉢		29.3	2/12	−	−	(10.9)	2/12	330	Ⅳ H16f	黒褐色土層						109	
2535	鉢		28.0	1/12	11.0	4/12	11.7	2/12	535	d2	検出						109	
2536	鉢		29.3	4/12	8.8	1/12	10.0	3/12	595	c3	黒色灰層下層						109	72
2537	鉢		29.4	1/12	9.6	1/12	13.4	1/12	255	d1	黒色灰層						109	
2538	鉢		30.4	1/12	10.6	9/12	12.8	3/12	920	Ⅳ H15f	黒褐色土層						109	72
2539	鉢		29.1	3/12	10.9	1/12	10.7	3/12	500	b1	黒色灰層						109	
2540	鉢		31.0	3/12	9.4	2/12	11.7	2/12	675	c2	検出（下層）						109	
2541	鉢		−	−	12.4	12/12	(8.4)	2/12	1250	d2c2	東壁1層	分-101					109	
2542	鉢		−	−	11.0	12/12	(8.2)	5/12	995	f2	北トレンチ						109	
2543	内耳鍋		33.4	3/12	−	−	7.6	1/12	220	Ⅳ H16g	黒褐色土層						110	
2544	内耳鍋		33.7	2/12	17.4	3/12	13.2	2/12	440	d2	黒色灰層						110	
2545	内耳鍋		27.2	2/12	13.3	5/12	11.4	3/12	465	Ⅳ H13g	トレンチ						110	
2546	内耳鍋		25.1	2/12	−	−	7.4	1/12	90	d2	黒色灰層上層						110	
2547	内耳鍋		23.2	2/12	12.3	3/12	11.8	3/12	405	d2	黒色灰層下層，褐色土混じる						110	
2548	内耳鍋		22.6	1/12	12.4	4/12	10.8	4/12	400	d2	黒色灰層上層						110	
2549	内耳鍋		23.4	4/12	13.2	4/12	9.5	3/12	520	g3	黒色灰層上層						110	
2550	内耳鍋		24.0	5/12	14.0	2/12	10.2	2/12	390	Ⅳ H13f	224層						110	72
2551	内耳鍋		24.6	2/12	13.9	5/12	10.6	3/12	340	e3	黒色灰層下層，赤褐色土混じる						110	
2552	内耳鍋		24.0	2/12	15.7	3/12	10.0	2/12	380	e3d3	東壁1層						110	72
2553	内耳鍋		25.0	1/12	16.2	1/12	10.8	1/12	250	d4	黒色灰層上層						110	72
2554	内耳鍋		24.6	1/12	−	−	7.6	1/12	90	Ⅳ H14f	灰層上層			灰釉			110	
2555	内耳鍋		26.3	1/12	13.6	3/12	10.3	3/12	315	Ⅳ H15h	黒褐色土層						111	
2556	内耳鍋		26.0	3/12	−	−	7.5	3/12	230	c2	黒色灰層下層						111	73
2557	内耳鍋		26.1	2/12	12.6	2/12	10.1	2/12	195	Ⅳ H15h	黒褐色土層						111	
2558	内耳鍋		25.0	8/12	13.5	12/12	9.1	8/12	1080	Ⅳ H16h	褐色土層						111	72
2559	内耳鍋		22.6	7/12	14.0	5/12	9.2	6/12	520	Ⅳ H15g	134層直上	分②					111	73
2560	内耳鍋		22.5	1/12	14.2	6/12	10.0	4/12	480	Ⅳ H15g	黒褐色土層						111	
2561	内耳鍋		23.7	3/12	14.0	2/12	11.0	2/12	240	Ⅳ H13f	224層						111	
2562	内耳鍋		20.2	1/12	12.8	3/12	−	1/12	195	b1b3	北壁2層						111	
2563	内耳鍋		22.0	7/12	12.9	6/12	8.5	7/12	595	Ⅳ H16g	赤褐色土層，黒褐色土層，褐色土層						111	
2564	内耳鍋		23.3	4/12	11.0	4/12	8.4	3/12	260	Ⅳ H16h	褐色土層						111	
2565	内耳鍋		20.9	1/12	14.1	3/12	9.5	2/12	200	c2	黒色灰層下層，褐色土混じる	分-92					112	
2566	内耳鍋		19.4	1/12	11.4	4/12	9.9	3/12	230	e2	検出						112	
2567	内耳鍋		20.2	5/12	12.4	6/12	9.8	5/12	455	Ⅳ H15h	褐色土層						112	
2568	内耳鍋		21.0	2/12	−	−	−	1/12	85	c2	検出						112	
2569	内耳鍋		18.5	1/12	10.0	4/12	10.0	3/12	230	e2	検出						112	
2570	内耳鍋		19.8	3/12	−	−	6.8	2/12	125	c1c2	北壁4層						112	
2571	内耳鍋		19.4	1/12	11.4	4/12	9.9	3/12	100	e2	検出						112	
2572	銚子鍋		−	−	−	−	8.1	1/12	125	Ⅳ H16h	黒褐色土層						112	
2573	銚子鍋		21.7	3/12	−	−	8.0	2/12	260	Ⅳ H16i	表土下，黒褐色土層						112	
2574	銚子鍋		−	−	−	−	8.6	−	100	Ⅳ H15i	表土下，黒褐色土層						112	
2575	銚子鍋		15.8	3/12	−	−	5.0	−	80	c2	検出						112	
2576	銚子鍋		12.9	3/12	6.7	2/12	5.8	2/12	60	Ⅳ H15g	褐色土層						112	
2577	銚子鍋		−	−	−	−	6.0	−	50	Ⅳ H16g	赤褐色土層						112	
2578	銚子鍋		−	−	−	−	4.6	−	80	Ⅳ H16f	黒褐色土層						112	
2579	銚子鍋		25.1	4/12	−	−	7.4	−	210	Ⅳ H16i	黒褐色土層						112	
2580	銚子鍋		20.7	3/12	11.2	9/12	8.0	6/12	380	98	表採						112	
2581	手付鍋		26.7	1/12	−	−	(4.6)	1/12	50	f3e3	東壁10層						113	
2582	手付鍋		23.6	3/12	18.2	1/12	7.7	2/12	275	e4	表土						113	73
2583	手付鍋		21.6	1/12	−	−	(6.9)	1/12	80	d2	黒色灰層下層，褐色土混じる						113	
2584	手付鍋		22.0	4/12	−	−	(7.8)	2/12	180	d1d2	北壁1層						113	
2585	手付鍋		23.0	1/12	−	−	(7.3)	1/12	90	c4	黒色灰層上層						113	
2586	手付鍋		21.0	1/12	−	−	(5.3)	1/12	75	d1d2	北壁4層						113	
2587	手付鍋		23.0	2/12	−	−	(3.2)	1/12	60	Ⅳ H15g	黒褐色土層						113	
2588	手付鍋		21.4	1/12	−	−	(6.5)	1/12	100	b2	検出						113	
2589	手付鍋		22.0	2/12	−	−	(7.0)	1/12	40	e3d3	東壁5層						113	
2590	手付鍋		18.0	2/12	−	−	(6.0)	1/12	95	d1d2	北壁2層						113	
2591	手付鍋		18.8	3/12	10.9	6/12	9.2	4/12	360	Ⅳ H11i	褐色土層						113	73
2592	手付鍋		15.9	4/12	−	−	(5.0)	2/12	90	f4	褐色土層，地山直上						113	
2593	手付鍋		15.6	2/12	9.3	3/12	6.0	3/12	105	e2	検出						113	
2594	手付鍋		16.1	2/12	−	−	(3.8)	2/12	35	g3f3	東壁6層						113	
2595	手付鍋		14.0	3/12	10.2	2/12	5.8	2/12	120	Ⅳ H16g	黒褐色土層	分-85					114	
2596	手付鍋		11.7	1/12	7.4	5/12	6.7	2/12	150	e3	検出						114	
2597	手付鍋		13.0	4/12	7.8	6/12	6.4	5/12	195	b2c2	西側ベース層	分-86，分②					114	73
2598	手付鍋		13.7	5/12	−	−	(3.9)	2/12	70	d2	黒色灰層下層						114	
2599	手付鍋		10.7	2/12	−	−	(5.8)	2/12	60	d1	黒色灰層上層						114	
2600	手付鍋		13.1	4/12	−	−	(3.9)	2/12	60	d3	黒色灰層下層						114	
2601	手付鍋		14.2	2/12	−	−	(5.3)	2/12	55	f2	北トレンチ						114	
2602	手付鍋		15.3	8/12	−	−	(5.7)	4/12	復元	Ⅳ H16g	赤褐色土層						114	73
2603	手付鍋		15.1	4/12	−	−	(5.7)	2/12	90	f2f3	北壁5層						114	73
2604	手付鍋		13.0	1/12	−	−	(5.8)	1/12	75	d2	黒色灰層下層，赤褐色土混じる						114	
2605	手付鍋		12.0	1/12	9.7	3/12	(6.1)	2/12	80	e2	検出						114	
2606	手付鍋		15.0	1/12	9.6	5/12	(6.7)	2/12	170	c3	黒色灰層下層						114	
2607	手付鍋		13.6	9/12	−	−	(5.4)	5/12	115	d2	黒色灰層下層						114	
2608	手付鍋		12.2	4/12	−	−	(5.8)	2/12	75	e2	黒色灰層下層メインベルト						114	
2609	手付鍋		12.6	3/12	−	−	(5.8)	2/12	70	b3	黒色灰層上層						114	
2610	手付鍋		11.2	2/12	−	−	(4.8)	1/12	30	e3d3	東壁5層						114	
2611	手付鍋		11.3	1/12	8.1	2/12	4.8	2/12	45	Ⅳ H15g	黒褐色土層						115	
2612	手付鍋		12.8	3/12	7.6	4/12	4.6	2/12	100	e3d3	東壁5層						115	
2613	手付鍋		12.4	3/12	7.6	2/12	4.6	2/12	76	d2	黒色灰層下層，赤褐色土混じる	分-84					115	
2614	手付鍋		11.3	10/12	9.0	2/12	5.9	6/12	205	f2f3	北壁3層（3a）						115	
2615	手付鍋		11.0	2/12	−	−	(2.9)	1/12	20	g2g3	北壁3層						115	
2616	手付鍋		9.8	4/12	−	−	(4.5)	1/12	60	d2	黒色灰層上層						115	
2617	手付鍋		11.0	4/12	7.0	2/12	3.7	2/12	60	Ⅳ H15g	黒褐色土層						115	
2618	手付鍋		8.1	2/12	6.4	3/12	4.3	2/12	50	Ⅳ H15g	黒褐色土層						115	
2619	手付鍋		8.4	2/12	6.0	1/12	4.3	3/12	55	e3	検出						115	
2620	手付鍋		10.0	2/12	6.6	9/12	3.8	6/12	120	f2	北トレンチ下層						115	
2621	手付鍋		12.5	1/12	−	−	(3.7)	1/12	25	g4	黒色灰層下層，赤褐色土混じる						115	
2622	手付鍋		10.0	3/12	3.2	5/12	3.9	5/12	65	b3	黒色灰層上層						115	
2623	手付鍋		8.7	4/12	6.0	5/12	3.8	5/12	70	f3	検出（下層）						115	
2624	手付鍋		9.7	2/12	6.0	4/12	3.9	2/12	60	d2	黒色灰層						115	
2625	手付鍋		7.7	2/12	6.0	1/12	3.5	2/12	40	f4	黒色灰層下層						115	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
2626	手付鍋		8.0	1/12	6.0	8/12	2.5	5/12	225	f2	北トレンチ下層						115	
2627	手付鍋		10.7	1/12	10.0	3/12	6.8	3/12	140	e4	表土						115	
2628	手付鍋		9.4	1/12	6.7	12/12	6.9	4/12	235	Ⅳ H15f	黒褐色土層	写②-134					115	73
2629	手付鍋		10.5	2/12	−	−	(6.2)	2/12	95	Ⅳ H15f	黒褐色土層						115	
2630	手付鍋		10.0	3/12	6.3	3/12	6.1	3/12	110	e3d3	東壁6層						115	
2631	手付鍋		9.2	1/12	5.8	7/12	4.8	3/12	85	g2f2	東壁4層						115	
2632	手付鍋		8.0	3/12	−	−	(4.6)	2/12	100	c2	検出						115	
2633	手付鍋		7.8	2/12	4.6	2/12	2.7	3/12	30	e2d2	東壁5層						115	
2634	手付鍋		6.0	7/12	4.1	12/12	2.9	7/12	70	98	表採						115	
2635	羽釜		12.6	2/12	−	−	(11.4)	2/12	復元	e2e3	北壁7層	写②-675					116	73
2636	羽釜		−	−	−	−	(8.8)	2/12	776	d3	黒色灰層上層						116	
2637	羽釜		−	−	−	−	(7.8)	1/12	192	d3c3	東壁4層						116	
2638	羽釜		11.6	3/12	−	−	(8.5)	1/12	324	Ⅳ H16g	赤褐色土層						116	
2639	羽釜		−	−	−	−	(12.2)	1/12	336	Ⅳ H16g	赤褐色土層						116	
2640	羽釜		10.2	1/12	−	−	(16.3)	1/12	345	e2d2	東壁セクション						116	
2641	羽釜		10.0	1/12	−	−	(2.5)	1/12	17	Ⅳ H16h	黒褐色土層						116	
2642	羽釜		10.5	1/12	−	−	(14.9)	1/12	復元	e4	表土	写②-676					116	73
2643	羽釜		−	−	−	−	(6.3)	1/12	55	e4d4	東壁3層						116	
2644	羽釜		−	−	−	−	(6.7)	1/12	156	e3d3	東壁1層						116	
2645	羽釜		12.0	1/12	−	−	(4.0)	1/12	35	e2d2	東壁5層						116	
2646	羽釜		11.2	4/12	−	−	(3.2)	1/12	41	98	表採						116	
2647	羽釜		9.7	2/12	−	−	(4.3)	1/12	31	c3	黒色灰層上層						117	
2648	羽釜		11.8	2/12	−	−	(3.5)	1/12	30	e4	表土						117	
2649	羽釜		11.2	2/12	−	−	(3.6)	1/12	31	e3d3	東壁5層						117	
2650	羽釜		−	−	−	−	(10.3)	1/12	335	f2	北トレンチ						117	
2651	羽釜		−	−	−	−	(3.3)	1/12	63	Ⅳ H16h	黒褐色土層						117	
2652	羽釜		−	−	−	−	(7.9)	1/12	124	Ⅳ H14h, Ⅳ H15h	南壁20層						117	
2653	羽釜		−	−	−	−	(6.1)	1/12	206	e2	検出						117	
2654	羽釜		−	−	−	−	(7.9)	1/12	253	d4	黒色灰層上層						117	
2655	羽釜		10.8	4/12	−	−	(2.5)	2/12	復元	d3	黒色灰層上層			鉄釉			117	
2656	羽釜		−	−	11.4	12/12	(14.4)	2/12	復元	d4	褐色土層, 地山直上			鉄釉			117	
2657	羽釜		10.4	1/12	−	−	(3.2)	1/12	8	d3	黒色灰層下層			鉄釉			117	74
2658	羽釜		−	−	−	−	(5.8)	1/12	69	e3d3	東壁4層			鉄釉			117	
2659	羽釜		−	−	−	−	(4.7)	1/12	44	f3	検出			鉄釉			117	
2660	羽釜		12.2	1/12	−	−	(21.0)	2/12	復元	d1e2	表採			鉄釉			117	74
2661	四耳壺		12.0	4/12	−	−	(11.0)	2/12	338	d3	黒色灰層下層, 褐色土混じる						118	74
2662	四耳壺		12.6	1/12	−	−	(7.1)	1/12	85	e5d5	東壁3層						118	
2663	四耳壺		11.7	3/12	−	−	(8.8)	2/12	247	d1d2	北壁2層						118	74
2664	四耳壺		11.2	3/12	−	−	(9.4)	2/12	270	d4	表土						118	74
2665	四耳壺		12.6	3/12	−	−	(7.7)	1/12	150	d1	黒色灰層						118	74
2666	四耳壺		10.1	4/12	−	−	(7.8)	1/12	154	f2	北トレンチ下層						118	74
2667	四耳壺		10.0	3/12	−	−	(8.8)	1/12	129	b2	検出						118	74
2668	四耳壺		10.0	4/12	−	−	(7.2)	1/12	98	c1	黒色灰層下層						118	74
2669	四耳壺		13.4	3/12	−	−	(8.9)	2/12	285	d2d3	北壁8層						118	74
2670	四耳壺		11.4	2/12	−	−	(8.0)	2/12	148	d2	黒色灰層上層						118	
2671	四耳壺		11.3	1/12	−	−	(8.4)	1/12	115	d2	黒色灰層下層						118	
2672	四耳壺		12.4	3/12	−	−	(9.2)	1/12	155	d2	黒色灰層下層						118	
2673	四耳壺		9.6	1/12	−	−	(9.5)	1/12	73	f4e4	東壁2層						118	
2674	四耳壺		7.8	12/12	−	−	(7.7)	3/12	166	e3d3	東壁5層						118	
2675	四耳壺		7.7	7/12	−	−	(6.7)	3/12	129	d1	黒色灰層						118	75
2676	四耳壺		12.0	2/12	−	−	(6.0)	1/12	55	d2d3	北壁3層						118	
2677	四耳壺		10.0	6/12	−	−	(5.2)	2/12	56	f2	北トレンチ						118	
2678	三耳壺		12.4	1/12	−	−	(10.5)	2/12	386	d1	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						118	75
2679	三耳壺		−	−	−	−	(6.3)	1/12	300	d1d2	北壁4層						118	
2680	三耳壺		−	−	−	−	(11.1)	4/12	308	d6	灰褐土層						118	74
2681	三耳壺		10.0	1/12	−	−	(14.7)	3/12	248	Ⅳ H13i	トレンチ4						118	75
2682	三耳壺		11.2	2/12	−	−	(15.1)	4/12	355	f4e4	東壁6層						118	75
2683	四耳壺		14.0	2/12	−	−	(23.9)	3/12	760	d3	表土						119	75
2684	四耳壺		12.4	10/12	−	−	(18.4)	3/12	762	Ⅳ H14i	表土						119	75
2685	四耳壺		12.1	2/12	−	−	(25.6)	2/12	復元	d2c2	東壁3層						119	76
2686	四耳壺		10.3	2/12	−	−	(8.2)	1/12	102	Ⅳ H13g	7層						119	
2687	四耳壺		12.3	2/12	−	−	(9.8)	1/12	170	e2	黒色灰層中						119	
2688	四耳壺		12.2	2/12	−	−	(18.0)	3/12	388	e2	検出						119	76
2689	四耳壺		12.6	1/12	−	−	(27.0)	5/12	復元	d3c3	東壁4層						119	76
2690	四耳壺		11.2	5/12	−	−	(13.3)	3/12	316	e2	検出						119	76
2691	四耳壺		14.3	3/12	−	−	(4.3)	3/12	40	c4	黒色灰層最下部, 褐色土直上	分-54					119	
2692	四耳壺		13.9	2/12	−	−	(5.6)	1/12	56	f6	褐色土層, 地山直上						119	
2693	四耳壺		11.1	2/12	−	−	(5.9)	1/12	42	e5d5	東壁2層						119	
2694	四耳壺		10.6	3/12	−	−	(5.4)	3/12	50	c4	黒色灰層最下部, 褐色土直上	分-55					119	
2695	四耳壺		10.8	3/12	−	−	(5.5)	3/12	48	f4	表土						119	
2696	四耳壺		11.6	3/12	−	−	(5.5)	3/12	53	e5d5	東壁3層						119	
2697	四耳壺		11.7	7/12	−	−	(12.5)	5/12	470	b1	黒色灰層下層						120	76
2698	四耳壺		15.0	5/12	−	−	(9.0)	1/12	400	e3d3	東壁5層						120	77
2699	四耳壺		15.6	5/12	−	−	(13.6)	3/12	510	e3d3	東壁5層						120	77
2700	四耳壺		15.3	2/12	−	−	(10.4)	1/12	261	e2	検出						120	77
2701	四耳壺		12.6	2/12	−	−	(10.8)	2/12	936	e3d3	東壁4層						120	77
2702	四耳壺		12.5	6/12	−	−	(9.5)	1/12	164	d2	黒色灰層下層						120	
2703	四耳壺		13.7	4/12	−	−	(9.1)	2/12	211	d1	黒色灰層						120	77
2704	四耳壺		17.7	3/12	−	−	(14.7)	3/12	595	d5	褐色土層						120	77
2705	四耳壺		15.0	1/12	−	−	(18.6)	4/12	963	d4	褐色土層, 地山直上						120	
2706	四耳壺		12.0	1/12	−	−	(12.2)	3/12	253	c2	検出（下層）						120	77
2707	四耳壺		11.0	1/12	−	−	(13.1)	3/12	復元	g3f3	東壁7層						120	77
2708	四耳壺		11.1	4/12	−	−	(9.0)	3/12	186	e3d3	東壁5層						120	77
2709	四耳壺		12.2	2/12	−	−	(5.8)	2/12	33	g5f5	東壁2層						121	
2710	四耳壺		14.2	2/12	−	−	(5.0)	2/12	50	e5d5	東壁3層						121	
2711	四耳壺		14.1	3/12	−	−	(36.7)	4/12	復元	e2e3	北壁4層						121	78
2712	四耳壺		10.1	2/12	−	−	(8.6)	1/12	84	e5d5	東壁2層						121	
2713	四耳壺		13.4	3/12	−	−	(8.5)	1/12	161	c3	表土						121	78
2714	四耳壺		12.7	5/12	−	−	(7.8)	1/12	171	c4	褐色土層						121	78
2715	四耳壺		16.4	6/12	−	−	(16.1)	5/12	903	d5d6	北壁2層						121	78
2716	四耳壺		15.4	3/12	−	−	(8.6)	1/12	201	d2	黒色灰層上層						121	78
2717	四耳壺		15.2	1/12	15.2	1/12	(35.9)	4/12	復元	e2	下層	分②					121	78
2718	四耳壺		14.4	2/12	−	−	(9.3)	1/12	316	d4	黒色灰層上層						121	78
2719	四耳壺		13.8	4/12	−	−	(7.2)	2/12	111	d2	検出						121	
2720	四耳壺		13.3	3/12	−	−	(6.1)	3/12	81	c4	黒色灰層最下層, 褐色土直上	分-56					121	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉			時期	その他	遺物図	写真図版
2721	四耳壷	c	13.7	5/12	−	−	(29.0)	4/12	復元	d3	黒色灰層上層							122	
2722	四耳壷	c	−	−	−	−	(17.2)	1/12	480	d2	黒色灰層下層							122	
2723	四耳壷	c	−	−	−	−	(12.5)	1/12	400	d2d3	北壁7層							122	
2724	四耳壷	c	−	−	−	−	(8.4)	1/12	553	d2	黒色灰層下層							122	
2725	四耳壷	c	−	−	−	−	(10.4)	1/12	275	d3	黒色灰層							122	
2726	四耳壷	c	−	−	−	−	(13.4)	1/12	583	d3	黒色灰層							122	
2727	四耳壷	c	−	−	−	−	(10.9)	1/12	432	Ⅳ H15h	南北ベルト褐色土層							122	
2728	四耳壷	c	−	−	−	−	(16.2)	1/12	320	c3	黒色灰層上層							122	
2729	四耳壷		18.0	3/12	−	−	(8.0)	2/12	175	c5	褐色土層(焼台混じる,地山直上)							123	78
2730	四耳壷		15.9	5/12	−	−	(7.9)	1/12	277	f2	北トレンチ下層							123	78
2731	四耳壷		14.5	6/12	−	−	(7.1)	1/12	186	c2c3	北壁4層							123	79
2732	四耳壷		13.2	3/12	−	−	(7.2)	1/12	80	d4c4	東壁5層							123	
2733	四耳壷		13.5	2/12	−	−	(7.2)	1/12	71	d3	黒色灰層上層							123	
2734	四耳壷		−	−	−	−	(4.5)	3/12	115	f4e4	東壁2層							123	
2735	四耳壷		−	−	−	−	(8.4)	2/12	453	d4	黒色灰層							123	79
2736	四耳壷		−	−	13.9	2/12	(26.3)	5/12	復元	d1	黒色灰層下層							123	79
2737	四耳壷		−	−	−	−	(22.0)	3/12	復元	c3	黒色灰層下層							123	78
2738	四耳壷		−	−	−	−	(10.2)	2/12	389	d6	灰褐土層							123	
2739	四耳壷		−	−	−	−	(8.9)	2/12	131	g5	表土							123	79
2740	四耳壷		−	−	11.9	1/12	(14.7)	3/12	700	c1	黒色灰層下層,褐色土混じる							123	79
2741	四耳壷		−	−	−	−	(10.0)	1/12	430	e3	黒色灰層下層,褐色土混じる							124	
2742	四耳壷		−	−	−	−	(15.0)	2/12	441	e3	黒色灰層下層,赤褐色土混じる							124	
2743	四耳壷		−	−	−	−	(13.6)	5/12	930	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる							124	79
2744	四耳壷		−	−	14.7	5/12	(33.6)	2/12	1312	e2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる							124	
2745	四耳壷		−	−	−	−	(21.7)	3/12	715	Ⅳ H12d	表土							124	80
2746	四耳壷		−	−	−	−	(16.3)	2/12	600	d2	黒色灰層下層							124	80
2747	四耳壷		−	−	−	−	(9.2)	2/12	246	f4e4	東壁6層							124	
2748	四耳壷		−	−	−	−	(19.8)	2/12	722	e4	黒色灰層最下部,褐色土直上							124	
2749	四耳壷	c	−	−	−	−	(9.4)	1/12	90	f3e3	東壁4層							125	
2750	四耳壷		−	−	−	−	(8.9)	2/12	135	e7d7	東壁2層～f							125	
2751	四耳壷	b	−	−	−	−	(5.7)	1/12	185	g3f3	東壁6層							125	
2752	四耳壷	b	−	−	−	−	(4.5)	2/12	180	Ⅳ H13i	トレンチ							125	
2753	四耳壷		−	−	−	−	(13.0)	1/12	349	f2	北トレンチ下層							125	
2754	四耳壷	a	−	−	−	−	(9.5)	1/12	153	e2d2	東壁5層							125	
2755	四耳壷	a	−	−	−	−	(11.0)	1/12	228	e2e3	北壁9層							125	
2756	四耳壷	a	−	−	−	−	(8.2)	1/12	146	c2	検出							125	
2757	四耳壷	a	−	−	−	−	(14.6)	1/12	145	c1	黒色灰層下層							125	
2758	四耳壷	a	−	−	−	−	(20.5)	3/12	復元	d1	黒色灰層下層							125	80
2759	四耳壷	a	−	−	−	−	(19.7)	2/12	544	c3	黒色灰層上層							125	80
2760	四耳壷		−	−	−	−	(7.8)	2/12	141	f4e4	東壁6層							125	
2761	四耳壷		−	−	−	−	(11.3)	1/12	330	c3	黒色灰層上層							126	79
2762	四耳壷		−	−	9.9	12/12	(17.0)	3/12	591	d1	褐色土層,地山直上	分-59						126	
2763	四耳壷		−	−	10.8	3/12	(9.4)	3/12	287	e7d7	東壁3層							126	
2764	四耳壷		−	−	12.7	3/12	(11.4)	2/12	666	e3e4	北壁7層							126	81
2765	四耳壷		−	−	12.8	7/12	(15.4)	3/12	1000	d1	黒色灰層下層							126	81
2766	四耳壷		−	−	12.5	5/12	(13.4)	2/12	453	e3d3	東壁1層							126	80
2767	四耳壷		−	−	14.2	7/12	(10.3)	2/12	680	g4	黒色灰層上層							126	82
2768	四耳壷		−	−	15.2	6/12	(12.6)	2/12	798	d3	黒色灰層上層							126	80
2769	四耳壷		−	−	14.3	12/12	(11.5)	3/12	609	98	表採							126	82
2770	四耳壷		−	−	15.3	11/12	(22.5)	3/12	1850	d4	黒色灰層上層							126	
2771	甕		13.8	4/12	−	−	(8.2)	1/12	220	d1d2	北壁4層			鉄釉+灰釉				127	
2772	甕		13.6	2/12	−	−	(6.6)	1/12	121	d2	検出	分-103		鉄釉+灰釉				127	
2773	甕		14.1	5/12	−	−	(10.9)	1/12	320	d5	灰褐色土層							127	81
2774	甕		17.0	1/12	−	−	(4.4)	1/12	45	d2	検出	分-102						127	
2775	甕		17.9	4/12	−	−	(8.8)	4/12	180	d1	黒色灰層			鉄釉+灰釉				127	
2776	甕		20.0	1/12	−	−	(5.5)	1/12	55	d2	黒色灰層上層							127	
2777	甕		18.4	1/12	−	−	(8.3)	1/12	90	b3c3	西壁2層							127	
2778	甕		20.4	2/12	−	−	(6.0)	1/12	80	d5	表土							127	
2779	甕		18.2	10/12	18.4	1/12	37.5	3/12	−	Ⅳ H15g	褐色土層			鉄釉+灰釉			復元	127	81
2780	甕		21.1	3/12	−	−	(8.4)	1/12	205	Ⅳ H14h	97層							127	
2781	甕		21.8	1/12	−	−	(5.0)	1/12	115	e4	黒色灰層下層,褐色が強い			鉄釉+灰釉				127	
2782	甕		−	−	14.4	2/12	(19.5)	1/12	580	Ⅳ H14i	表土							127	
2783	甕		15.4	7/12	−	−	(14.2)	1/12	855	Ⅳ H16f	黒褐色土層			鉄釉+灰釉				128	
2784	甕		20.0	2/12	−	−	(9.6)	2/12	180	c2	検出							128	81
2785	甕		21.4	1/12	−	−	(11.3)	1/12	275	d2d3	北壁7層			鉄釉+灰釉				128	
2786	甕		17.1	2/12	−	−	(9.5)	2/12	270	Ⅳ H16g	黒褐色土層			鉄釉+灰釉				128	
2787	甕		−	−	−	−	(5.6)	1/12	55	e4e5	北壁3層							128	81
2788	甕		17.1	5/12	−	−	(1.8)	1/12	315	e4d4	東壁3層			灰釉				128	
2789	甕		15.4	3/12	−	−	(11.5)	1/12	320	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる			灰釉				128	
2790	甕		20.2	1/12	−	−	(9.3)	1/12	155	d2	黒色灰層上層			灰釉				128	
2791	甕		16.8	2/12	−	−	(10.6)	1/12	285	d4	表土			灰釉				128	82
2792	甕		18.0	1/12	−	−	(3.0)	1/12	25	f4f5	北壁2層			灰釉				128	82
2793	甕		22.0	5/12	−	−	(12.8)	1/12	865	e2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる			灰釉				129	82
2794	甕		17.4	4/12	18.0	2/12	38.0	4/12	−	d2	黒色灰層下層	分②		鉄釉+灰釉			復元	129	83
2795	茶壷		12.9	7/12	−	−	(5.9)	1/12	200	Ⅳ H15g	黒褐色土層							129	83
2796	茶壷		13.6	7/12	−	−	(6.4)	1/12	685	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる							129	82
2797	茶壷		10.0	2/12	−	−	(5.8)	1/12	80	e2	黒色灰層上層							129	
2798	茶壷		10.4	2/12	−	−	(7.1)	1/12	115	d1	黒色灰層							129	
2799	茶壷		12.0	2/12	12.2	3/12	31.5	5/12	−	d2	黒色灰層上層						復元	129	83
2800	茶壷		10.2	4/12	12.7	11/12	30.3	8/12	−	d3	黒色灰層下層	分②					復元	129	83
2801	茶壷		11.4	4/12	−	−	22.5	4/12	−	d3	黒色灰層上層						復元	130	83
2802	茶壷		−	−	−	−	(17.3)	3/12	450	Ⅳ H15f	北壁176層							130	83
2803	茶壷		9.6	6/12	−	−	(5.0)	2/12	510	d1	黒色灰層上層							130	
2804	茶壷		8.6	3/12	−	−	(5.9)	1/12	210	d2	検出							130	83
2805	茶壷		9.0	4/12	−	−	(5.6)	1/12	110	Ⅳ H15h	242層							130	83
2806	茶壷		5.4	2/12	−	−	(6.1)	1/12	90	c1	黒色灰層下層							130	
2807	茶壷		8.8	12/12	−	−	(8.9)	1/12	395	f2e2	東壁5層							130	83
2808	茶壷		9.0	4/12	−	−	(9.8)	1/12	325	Ⅳ H16g	黒褐色土層							130	
2809	茶壷		10.4	4/12	−	−	(7.4)	1/12	205	f2	北トレンチ下層							130	84
2810	茶壷		9.5	7/12	−	−	(5.3)	1/12	245	f4	黒色灰層下層,赤褐色土・褐色土混じる			灰釉				130	84
2811	茶壷		9.0	5/12	−	−	(5.8)	2/12	255	f4	表土							130	
2812	茶壷		11.6	12/12	−	−	(5.8)	1/12	210	e3	検出							130	
2813	茶壷		10.0	2/12	−	−	(5.6)	1/12	130	f2	北トレンチ							130	84
2814	茶壷		−	−	14.8	6/12	(25.3)	3/12	−	c2	検出						復元	130	84
2815	茶壷		9.2	6/12	−	−	(3.8)	1/12	84	b1	黒色灰層下層	分-98						131	
2816	茶壷		10.0	7/12	−	−	(5.5)	1/12	210	d4	黒色灰層下層,褐色土多く混じる							131	84
2817	茶壷		11.8	3/12	−	−	(5.5)	1/12	125	c1	黒色灰層上層							131	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
2818	茶壷		11.0	5/12	−	−	(5.3)	1/12	120	b2	表土						131	
2819	茶壷		13.0	2/12	−	−	(6.2)	1/12	79	e7d7	東壁2層	分-100					131	
2820	茶壷		9.8	12/12	−	−	(5.0)	4/12	205	d2	黒色灰層下層						131	84
2821	茶壷		9.8	3/12	−	−	(4.8)	1/12	55	b3c3	西壁3層						131	
2822	茶壷		1.8	4/12	−	−	(5.4)	1/12	85	e3	黒色灰層下層, 褐色土混じる						131	
2823	茶壷		9.2	12/12	−	−	(6.3)	1/12	260	e3	検出						131	84
2824	茶壷		11.0	3/12	−	−	(6.0)	1/12	65	b1	黒色灰層最下部, 褐色土直上						131	
2825	茶壷		14.6	1/12	−	−	(7.1)	1/12	94	d4	表土	分-99					131	
2826	茶壷		−	−	9.7	12/12	(7.0)	3/12	319	b1b3	北壁2層	分-97					131	
2827	茶壷		−	−	13.8	4/12	(6.4)	2/12	340	c3	黒色灰層上層						131	
2828	茶壷		−	−	−	−	−	−	315	Ⅳ H15g	黒褐色土層						131	84
2829	茶壷		−	−	−	−	−	−	61	c3	黒色灰層下層						131	84
2830	茶壷		−	−	−	−	−	−	35	d3	黒色灰層上層						131	84
2831	茶壷		−	−	−	−	−	−	44	c4	黒色灰層下層, 赤褐色土･褐色土混じる						131	84
2832	茶壷		−	−	−	−	−	−	50	d2	黒色灰層下層						131	84
2833	茶壷		−	−	−	−	−	−	145	d6	灰褐色土層						131	84
2834	茶壷		−	−	−	−	−	−	40	e3d3	東壁6層						131	84
2835	茶壷		−	−	−	−	−	−	50	e2	黒色灰層						131	84
2836	茶壷		−	−	−	−	−	−	240	d4	黒色灰層上層						131	84
2837	広口壷		14.6	5/12	−	−	(11.4)	2/12	510	Ⅳ H16g	赤褐色土層						131	85
2838	広口壷		14.2	1/12	−	−	(12.0)	1/12	235	Ⅳ H15g	南壁166層	分②	7a				131	85
2839	広口壷		15.4	2/12	−	−	(5.9)	1/12	85	Ⅳ H16g	赤褐色土層						131	85
2840	広口壷		15.4	2/12	−	−	(4.8)	1/12	60	d1	黒色灰層						131	
2841	広口壷		13.8	2/12	−	−	(7.3)	2/12	150	d1	北壁						131	
2842	広口壷		14.8	3/12	−	−	(5.5)	1/12		d2	検出						132	85
2843	広口壷		14.9	2/12	−	−	(8.7)	2/12		99A	表採						132	85
2844	広口壷		14.6	1/12	−	−	(6.0)	1/12		d2	黒色灰層下層						132	85
2845	広口壷		13.2	2/12	−	−	(7.2)	1/12		98	表採						132	
2846	広口壷		14.8	4/12	−	−	(7.3)	1/12		d1	褐色砂層（地山直上）	分-105					132	
2847	広口壷		13.4	1/12	−	−	(9.4)	1/12		f2f3	北壁2層						132	
2848	広口壷		14.6	3/12	−	−	(11.2)	1/12		f2	表土						132	85
2849	広口壷		14.2	4/12	−	−	(2.3)	1/12		d2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						132	85
2850	口広有耳壷		8.8	4/12	−	−	(7.1)	1/12	93	g2	東トレンチ	分-60					132	86
2851	口広有耳壷		10.2	2/12	−	−	(5.2)	1/12	45	d4	黒色灰層下層, 褐色土多く混じる	分-66					132	
2852	口広有耳壷		10.0	1/12	−	−	(9.6)	2/12		Ⅳ H14g, Ⅳ H14h	東壁8層			灰釉			132	86
2853	口広有耳壷		8.3	3/12	−	−	(4.3)	1/12		b1	黒色灰層						132	
2854	口広有耳壷		9.5	2/12	−	−	(5.9)	1/12		e3	黒色灰層						132	
2855	口広有耳壷		9.6	2/12	−	−	(9.5)	3/12		b1b2	北壁2層						132	86
2856	口広有耳壷		10.8	3/12	−	−	(6.9)	2/12		d3	黒色灰層下層, 褐色土混じる						132	
2857	口広有耳壷		11.6	2/12	−	−	(4.2)	1/12	42	f2	北トレンチ	分-65					132	
2858	口広有耳壷		9.5	4/12	−	−	(3.9)	1/12		d2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						132	
2859	口広有耳壷		9.9	3/12	−	−	(5.0)	1/12		d3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						132	
2860	口広有耳壷		9.6	3/12	−	−	(5.6)	1/12		c2	検出						132	
2861	口広有耳壷		11.5	2/12	−	−	(5.1)	1/12		d4	黒色灰層下層, 褐色土多く混じる						132	
2862	口広有耳壷		9.2	2/12	−	−	(4.6)	1/12	30	e2d2	東壁5層						133	
2863	口広有耳壷		9.6	2/12	−	−	(4.1)	1/12	65	Ⅳ H15g	黒褐色土層						133	86
2864	口広有耳壷		10.7	3/12	−	−	(4.7)	1/12	60	e2	黒色灰層ベルト						133	
2865	口広有耳壷		10.3	2/12	−	−	(4.8)	1/12	40	d1	黒色灰層						133	
2866	口広有耳壷		10.5	3/12	−	−	(4.6)	1/12	40	d1	黒色灰層						133	
2867	口広有耳壷		13.2	2/12	−	−	(5.2)	1/12	61	g2g3	北壁1層	分-67					133	
2868	口広有耳壷		11.9	2/12	−	−	(4.4)	2/12	55	c4	黒色灰層上層						133	
2869	口広有耳壷		10.7	1/12	−	−	(7.4)	2/12	70	d2	検出						133	
2870	口広有耳壷		6.9	2/12	−	−	(3.8)	1/12	30	d1c1	東壁2層						133	
2871	口広有耳壷		7.8	2/12	−	−	(4.7)	1/12	35	d1	黒色灰層						133	
2872	口広有耳壷		9.6	2/12	−	−	(4.5)	1/12	25	e4	表土						133	
2873	口広有耳壷		10.0	1/12	−	−	(9.6)	2/12	80	Ⅳ H14h	灰層上層, 暗褐色砂層						133	
2874	口広有耳壷		11.0	2/12	−	−	(3.8)	1/12	38	f4	表土	分-62					133	
2875	口広有耳壷		8.8	3/12	−	−	(3.3)	1/12	45	e4d4	東壁4層						133	
2876	口広有耳壷		7.7	1/12	−	−	(6.5)	1/12	45	e3	黒色灰層下層, 褐色土混じる						133	
2877	口広有耳壷		12.2	2/12	−	−	(4.5)	1/12	30	d2	検出						133	
2878	口広有耳壷		9.4	1/12	−	−	(3.9)	1/12	35	d3	黒色灰層上層						133	
2879	口広有耳壷		12.2	3/12	−	−	(3.0)	1/12	45	g2	東トレンチ	分-63					133	86
2880	口広有耳壷		9.0	2/12	−	−	(3.4)	1/12	70	e2	黒色灰層下層メインベルト						133	
2881	口広有耳壷		11.5	3/12	−	−	(4.4)	1/12	55	e3d3	東壁5層						133	
2882	口広有耳壷		9.4	3/12	−	−	(5.5)	1/12	59	c4	褐色土層	分-61					133	
2883	口広有耳壷		8.8	2/12	−	−	(7.6)	1/12	65	c3	黒色灰層下層, 褐色土混じる						133	
2884	口広壷		8.0	2/12	−	−	(5.8)	1/12	32	b3c3	西壁2層	分-64					133	
2885	口広壷		9.7	2/12	9.8	5/12	16.5	3/12	410	Ⅳ H13g, Ⅳ H14g	南壁5層						133	86
2886	口広壷		−	−	9.7	7/12	(6.3)	3/12	360	e4d4	東壁4層						133	
2887	口広壷		−	−	10.2	5/12	(6.3)	2/12	210	Ⅳ H14h, Ⅳ H15h	南壁45層下層						133	
2888	口広壷		−	−	7.5	7/12	(6.8)	3/12	235	f2e2	東壁4層						134	
2889	口広壷		−	−	8.7	11/12	(6.8)	2/12	290	Ⅳ H15g	北壁166層						134	
2890	口広壷		−	−	10.6	1/12	(9.0)	1/12	110	Ⅳ H14g	161層			灰釉			134	
2891	口広壷		−	−	10.0	5/12	(8.2)	1/12	220	b1c1	西壁3層						134	
2892	口広壷		−	−	9.0	7/12	(8.9)	3/12	290	c3	黒色灰層上層						134	
2893	口広壷		−	−	8.9	3/12	(9.8)	1/12	155	f2e2	東壁5, 6層						134	
2894	口広壷		−	−	9.7	8/12	(11.7)	3/12	310	e2d2	東壁5層						134	
2895	口広壷		−	−	10.7	5/12	(8.2)	2/12	260	e5d5	東壁3層						134	
2896	口広壷		−	−	10.0	6/12	11.2	3/12	345	e2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						134	
2897	口広壷		−	−	8.0	1/12	(13.8)	2/12	315	b3c3	西壁3層						134	
2898	口広壷		−	−	9.7	7/12	(9.5)	1/12	242	d6	黒褐色土層	分-71					134	
2899	口広壷		−	−	8.9	3/12	(13.2)	2/12	270	d4	表土						134	
2900	口広壷		−	−	10.0	3/12	(8.8)	1/12	160	d4	黒色灰層						134	
2901	口広壷		−	−	9.7	3/12	(14.4)	2/12	280	c3	黒色灰層下層						134	
2902	口広壷		−	−	10.0	6/12	(14.9)	3/12	390	d1d2	北壁1層						134	
2903	口広壷		−	−	9.7	3/12	(12.7)	1/12	288	e3	黒色灰層下層, 褐色土混じる	分-70					134	
2904	口広壷		−	−	9.8	10/12	(12.3)	5/12	480	d3	黒色灰層上層						134	
2905	口広壷		−	−	10.8	5/12	(12.7)	2/12	350	d3c3	東壁4層						134	
2906	筒形短頸壷		22.6	2/12	−	−	(3.4)	1/12	85	d3	黒色灰層上層						135	
2907	筒形短頸壷		21.4	4/12	−	−	(7.7)	1/12	210	d3c3	東壁3層						135	
2908	筒形短頸壷		22.1	2/12	−	−	(7.4)	1/12	125	c2c3	北壁4層						135	
2909	筒形短頸壷		19.7	2/12	−	−	(6.9)	1/12	145	f2	検出						135	
2910	筒形短頸壷		18.0	1/12	−	−	(7.1)	1/12	105	e3	黒色灰層最下層, 褐色土混じる						135	
2911	筒形短頸壷		18.0	1/12	−	−	(10.1)	1/12	165	e2	東壁5層	分-36					135	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・軸		時期	その他	遺物図	写真図版
2912	筒形短頸壷		16.2	4/12	−	−	(7.7)	1/12	220	d4	表土						135	
2913	筒形短頸壷		16.5	4/12	−	−	(10.6)	1/12	260	ⅣH14h, ⅣH14i	東壁20層						135	86
2914	筒形短頸壷		18.8	2/12	−	−	(6.7)	1/12	118	e3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる	分-37		鉄釉			135	86
2915	筒形短頸壷		17.4	2/12	−	−	(7.1)	1/12	150	e4d4	東壁5層			鉄釉			135	
2916	筒形短頸壷		18.4	4/12	−	−	(12.2)	1/12	315	c2	黒色灰層下層			鉄釉			135	
2917	筒形短頸壷		−	−	24.1	2/12	(2.8)	1/12	320	e2	検出			鉄釉			135	
2918	筒形短頸壷		−	−	22.9	1/12	(5.0)	1/12	105	c3	黒色灰層下層, 褐色土混じる						135	
2919	筒形短頸壷		−	−	19.3	6/12	(7.5)	6/12	675	c3	黒色灰層上層						135	
2920	筒形短頸壷		−	−	−	−	(5.2)	1/12	45	ⅣH13i	表土						135	
2921	筒形短頸壷		−	−	−	−	(2.1)	1/12	40	ⅣH13h	表土						135	
2922	筒形短頸壷		19.6	1/12	−	−	(4.8)	1/12	125	g3	黒色灰層						135	
2923	筒形短頸壷		16.6	2/12	−	−	(5.8)	1/12	190	g3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						135	
2924	花瓶	Ⅰ	7.3	2/12	−	−	(7.6)	3/12	75	e3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる			鉄釉			136	
2925	花瓶	Ⅰ	4.6	12/12	−	−	(4.9)	1/12	35	d1	黒色灰層上層			鉄釉			136	
2926	花瓶	Ⅰ	−	−	−	−	(5.7)	2/12	25	f4	褐色土層			鉄釉			136	86
2927	花瓶	Ⅰ	−	−	−	−	(10.2)	4/12	250	d4	表土			鉄釉			136	
2928	花瓶	Ⅰ	−	−	5.4	9/12	(9.5)	6/12	240	d3d4	北壁1層			鉄釉			136	
2929	花瓶	Ⅰ	4.9	12/12	−	−	(14.0)	10/12	305	ⅣH15g	173層						136	
2930	花瓶	Ⅰ	−	−	5.8	9/12	(11.0)	6/12	215	e2d2	東壁6層						136	86
2931	花瓶	Ⅰ	−	−	5.3	11/12	(11.6)	10/12	266	d1d2	北壁6層						136	87
2932	花瓶	Ⅰ	−	−	5.6	9/12	(9.3)	4/12	205	d1c1	東壁4層						136	
2933	花瓶	Ⅰ	−	−	5.2	10/12	(13.0)	10/12	73	d2	黒色灰層下層, 褐色土混じる						136	87
2934	花瓶	Ⅰ	−	−	5.3	12/12	(8.9)	9/12	235	e2	検出						136	
2935	花瓶	Ⅰ	−	−	5.9	11/12	(10.8)	11/12	304	d3	黒色灰層上層						136	
2936	花瓶	Ⅰ	−	−	5.6	9/12	(10.5)	9/12	235	d2d3	北壁2層						136	
2937	花瓶	Ⅰ	−	−	5.4	12/12	(8.6)	6/12	195	c4	黒色灰層下層, 赤褐色土･褐色土混じる						136	87
2938	花瓶	Ⅰ	−	−	6.1	9/12	(10.5)	9/12	215	d3	黒色灰層上層						136	
2939	花瓶	Ⅰ	−	−	−	−	(8.2)	3/12	55	b1c1	西壁2層						136	
2940	花瓶	Ⅰ	−	−	5.1	10/12	(6.4)	5/12	120	g2	東トレンチ						136	
2941	花瓶	Ⅰ	−	−	4.6	12/12	(6.9)	8/12	123	d5	表土, 黒色灰層, 焼台多い						136	
2942	花瓶	Ⅰ	−	−	5.4	12/12	(11.0)	9/12	288	d1d2	北壁7層						136	87
2943	花瓶	Ⅰ	−	−	7.0	5/12	(9.0)	7/12	237	d5	表土, 黒色灰層, 焼台多い						136	87
2944	花瓶	Ⅰ	−	−	6.1	12/12	(9.7)	8/12	220	d4	黒色灰層下層, 褐色土混じる						136	
2945	花瓶	Ⅰ	−	−	5.3	10/12	(5.4)	4/12	100	c3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						136	
2946	花瓶	Ⅰ	−	−	4.7	9/12	(6.8)	6/12	85	d3	黒色灰層下層						136	
2947	花瓶	Ⅰ	−	−	6.0	12/12	(5.8)	6/12	90	d5c5	東壁3層						136	
2948	花瓶	Ⅰ	−	−	4.3	8/12	(6.9)	7/12	95	e3	検出（下層）						136	
2949	花瓶	Ⅰ	5.2	3/12	−	−	14.2	5/12	255	e3	黒色灰層下層, 褐色土混じる						136	87
2950	花瓶	Ⅰ	−	−	4.7	11/12	(5.4)	6/12	85	99A	表採						136	
2951	花瓶	Ⅰ	−	−	4.7	12/12	(7.6)	7/12	115	c4	表土						136	
2952	花瓶	Ⅰ	−	−	4.9	12/12	(8.1)	7/12	150	c1	黒色灰層最下部, 褐色土直上						136	
2953	花瓶	Ⅰ	−	−	4.7	11/12	(5.1)	6/12	70	e4	表土						136	
2954	花瓶	Ⅰ	7.1	12/12	−	−	(6.7)	2/12	109	d4	黒色灰層上層, 焼台多い						136	
2955	花瓶	Ⅰ	4.8	5/12	−	−	(4.3)	1/12	20	c3	黒色灰層下層, 褐色土混じる						136	
2956	花瓶	Ⅰ	4.3	2/12	4.7	10/12	11.0	10/12	168	e2	北壁7層						137	
2957	花瓶	Ⅰ	3.5	8/12	4.4	12/12	9.6	11/12	125	ⅣH16g	黒褐色土層						137	
2958	花瓶	Ⅰ	3.2	1/12	3.9	12/12	9.3	10/12	124	f2f3	北壁2層						137	87
2959	花瓶	Ⅰ	3.4	4/12	3.8	12/12	8.5	10/12	94	d2	黒色灰層下層, 褐色土混じる	分②					137	87
2960	花瓶	Ⅰ	−	−	4.4	9/12	(8.5)	8/12	114	d1	黒色灰層上層						137	
2961	花瓶	Ⅰ	−	−	3.7	12/12	(7.6)	10/12	93	d4	黒色灰層下層, 褐色土混じる						137	
2962	花瓶	Ⅰ	3.5	12/12	4.0	12/12	10.0	10/12	105	e2e3	北壁8層（8b）						137	87
2963	花瓶	Ⅰ	3.1	1/12	3.7	12/12	9.0	11/12	113	d4	黒色灰層上層, 焼台多い						137	87
2964	花瓶	Ⅰ	3.2	12/12	−	−	(8.8)	8/12	87	d1d2	北壁7層						137	
2965	花瓶	Ⅰ	3.6	12/12	−	−	(8.4)	10/12	112	ⅣH16i	黒褐色土層						137	
2966	花瓶	Ⅰ	−	−	4.6	4/12	(6.1)	2/12	80	e4	黒色灰層下層, 褐色が強い						137	
2967	花瓶	Ⅰ	−	−	4.8	9/12	(6.7)	8/12	108	d5	灰褐色土層						137	
2968	花瓶	Ⅰ	4.0	5/12	4.3	12/12	10.2	11/12	120	ⅣH15h	黒褐色土層						137	87
2969	花瓶	Ⅰ	3.5	3/12	−	−	(7.5)	7/12	70	e2	下層						137	
2970	花瓶	Ⅰ	−	−	4.4	9/12	(8.3)	9/12	105	c3	黒色灰層上層						137	
2971	花瓶	Ⅰ	−	−	4.3	12/12	(9.2)	10/12	130	c1	黒色灰層最下部, 褐色土直上						137	
2972	花瓶	Ⅰ	−	−	4.1	12/12	(9.7)	10/12	110	e3e4	北壁9層						137	
2973	花瓶	Ⅰ	4.6	4/12	4.8	12/12	10.4	11/12	178	d1	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						137	87
2974	花瓶	Ⅰ	−	−	5.7	9/12	(10.6)	4/12	200	d1d2	北壁4層						137	
2975	花瓶	Ⅰ	−	−	3.9	12/12	(6.4)	10/12	100	c3	黒色灰層下層						137	
2976	花瓶	Ⅰ	−	−	4.2	11/12	(6.2)	5/12	95	d2	検出						137	
2977	花瓶	Ⅰ	−	−	4.0	12/12	(7.3)	9/12	90	ⅣH14g, ⅣH15g	南壁20層						137	
2978	花瓶	Ⅰ	4.7	1/12	−	−	(9.4)	9/12	123	e3	検出（下層）						137	
2979	花瓶	Ⅰ	4.0	2/12	−	−	(8.7)	10/12	110	f3	検出						137	
2980	花瓶	Ⅰ	−	−	−	−	(7.2)	4/12	75	e3	検出（下層）						137	
2981	花瓶	Ⅰ	−	−	−	−	(4.9)	4/12	65	ⅣH2d	灰層						137	
2982	花瓶	Ⅰ	−	−	3.7	12/12	(5.0)	3/12	40	d6	灰褐色土層						137	
2983	花瓶	Ⅰ	−	−	3.7	6/12	(6.1)	6/12	91	e2	黒色灰層下層						137	
2984	花瓶	Ⅰ	5.6	12/12	−	−	(4.2)	4/12	45	d1	黒色灰層						137	
2985	花瓶	Ⅰ	4.2	10/12	−	−	(3.2)	4/12	40	ⅣH14h	灰層上層, 東壁44層						137	
2986	花瓶	Ⅰ	4.7	8/12	−	−	(4.3)	3/12	50	e3	検出（下層）						137	
2987	花瓶	Ⅰ	3.9	12/12	−	−	(3.9)	3/12	35	e2d2	東壁セクション						137	
2988	花瓶	Ⅰ	4.1	6/12	−	−	(4.3)	1/12	10	f2e2	東壁3層						137	
2989	花瓶	Ⅰ	3.8	6/12	−	−	(4.4)	3/12	30	e3	黒色灰層下層, 褐色土混じる						137	
2990	花瓶	Ⅰ	2.7	10/12	−	−	(2.5)	2/12	15	e2	検出						137	
2991	花瓶	Ⅰ	−	−	4.2	7/12	(2.2)	3/12	45	b3	黒色灰層上層			鉄釉			137	
2992	花瓶	Ⅰ	−	−	3.1	12/12	(2.2)	2/12	85	c4	褐色土層						137	
2993	花瓶	Ⅰ	−	−	−	−	(5.6)	3/12	45	e7d7	東壁2層～下						137	
2994	花瓶	Ⅲ	12.5	1/12	−	−	(12.0)	5/12	195	e3d3	東壁5層						138	88
2995	花瓶	Ⅲ	−	−	−	−	(7.6)	3/12	85	b2b3	北壁3層						138	88
2996	花瓶	Ⅲ	−	−	−	−	(14.2)	4/12	415	c2	黒色灰層上層メインベルト						138	88
2997	花瓶	Ⅲ	−	−	−	−	(10.6)	4/12	180	d4	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						138	88
2998	花瓶	Ⅲ	8.6	3/12	−	−	(7.8)	3/12	120	ⅣH16g	黒色灰層上層						138	
2999	花瓶	Ⅲ	−	−	−	−	(8.7)	2/12	85	d3	黒色灰層上層						138	
3000	花瓶	Ⅲ	−	−	−	−	(8.2)	2/12	160	c3	黒色灰層上層						138	
3001	花瓶	Ⅲ	5.6	2/12	−	−	(5.6)	1/12	20	e2	黒色灰層下層メインベルト						138	
3002	花瓶	Ⅲ	−	−	−	−	(4.5)	1/12	20	e2	検出						138	
3003	花瓶	Ⅲ	−	−	−	−	(5.7)	1/12	40	99E	褐色土層						138	
3004	花瓶	Ⅲ	−	−	−	−	(7.7)	2/12	120	f3	検出（下層）						138	
3005	花瓶	Ⅲ	17.0	1/12	−	−	(11.9)	2/12	335	e4d4	東壁5層						138	88
3006	花瓶	Ⅲ	16.1	2/12	−	−	(5.9)	1/12	45	d1	黒色灰層最下部, 褐色土直上						138	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
3007	花瓶	Ⅲ	17.4	2/12	−	−	(11.5)	2/12	175	Ⅳ H16g	赤褐色土層						138	
3008	花瓶	Ⅲ	16.0	2/12	−	−	(14.5)	4/12	480	e3d3	東壁6層						138	
3009	花瓶	Ⅲ	16.0	1/12	−	−	(11.0)	2/12	180	e2e3	北壁5層						138	89
3010	花瓶	ⅡD	−	−	−	−	(7.5)	3/12	270	d2	黒色灰層上層						138	89
3011	花瓶	ⅡD	−	−	−	−	(9.0)	9/12	390	Ⅳ H15f	黒褐色土層						138	89
3012	花瓶	ⅡD	−	−	−	−	(8.2)	2/12	145	d2	黒色灰層上層						138	
3013	花瓶	ⅡD	−	−	10.0	1/12	(14.3)	6/12	625	e3d3	東壁6層						138	89
3014	花瓶	ⅡD	−	−	−	−	(14.1)	7/12	520	c4	黒色灰層最下部,褐色土直上						139	90
3015	花瓶	ⅡD	−	−	−	−	−	−	150	e3d3	東壁5層						139	90
3016	花瓶	ⅡD	−	−	−	−	(10.7)	1/12	120	c2	検出(下層)						139	89
3017	花瓶	ⅡD	−	−	−	−	(7.8)	1/12	40	99G	黒褐色土層			鉄釉			139	90
3018	花瓶	ⅡD	−	−	−	−	(3.4)	1/12	30	99G	黒褐色土層						139	90
3019	花瓶	ⅡD	−	−	−	−	−	−	60	Ⅳ H16h	黒褐色土層						139	90
3020	花瓶	ⅡD	−	−	−	−	(2.1)	1/12	10	Ⅳ H16h	黒褐色土層						139	
3021	花瓶	ⅡD	−	−	−	−	(3.0)	1/12	20	f3	検出(下層)						139	90
3022	花瓶	ⅡD	−	−	−	−	(4.5)	1/12	15	f3e3	東壁4層						139	90
3023	花瓶	Ⅲ	10.2	4/12	−	−	(9.4)	3/12	270	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる						139	90
3024	花瓶	Ⅲ	8.7	2/12	−	−	(3.8)	1/12	30	d3	表土						139	
3025	花瓶	Ⅲ	−	−	−	−	(8.1)	3/12	175	d3	黒色灰層上層						139	91
3026	花瓶	Ⅲ	−	−	−	−	(7.8)	2/12	100	e3d3	東壁5層						139	91
3027	花瓶	Ⅲ	−	−	−	−	(6.3)	4/12	75	d4	黒色灰層上層,焼台多い						139	90
3028	花瓶	Ⅲ	−	−	−	−	(7.2)	5/12	110	c3	黒色灰層上層						139	91
3029	花瓶	Ⅲ	−	−	9.0	9/12	(17.2)	9/12	585	e3e4	北壁6層						139	91
3030	花瓶	Ⅲ	−	−	−	−	(1.7)	1/12	35	d2	黒色灰層下層						139	92
3031	花瓶	Ⅲ	−	−	8.9	8/12	(10.2)	4/12	340	e3	黒色灰層上層						139	92
3032	花瓶	Ⅲ	−	−	9.2	6/12	(12.2)	8/12	5625	d3	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						139	91
3033	花瓶	Ⅲ	−	−	8.6	11/12	(6.0)	4/12	290	e4	黒色灰層下層,褐色が強い						139	92
3034	花瓶	Ⅲ	−	−	9.1	12/12	(9.6)	4/12	390	e2d2	東壁4層						139	92
3035	花瓶	Ⅲ	−	−	9.1	12/12	(8.9)	7/12	350	c3c4	北壁1層						139	92
3036	花瓶	Ⅲ	−	−	8.0	12/12	(7.2)	3/12	310	c4	黒色灰層上層						139	92
3037	花瓶	Ⅲ	−	−	8.7	11/12	(5.7)	2/12	285	d4	黒色灰層下層,褐色土混じる						139	
3038	花瓶	Ⅲ	−	−	9.6	11/12	(6.8)	2/12	325	d3	黒色灰層上層						139	
3039	花瓶	Ⅲ	−	−	9.3	11/12	(7.1)	2/12	335	d3	黒色灰層上層						139	
3040	花瓶	Ⅲ	−	−	−	−	(4.2)	2/12	180	d1	黒色灰層						139	92
3041	花瓶	Ⅲ	−	−	7.8	1/12	(3.6)	1/12	20	e3d3	東壁6層						139	
3042	花瓶	Ⅲ	−	−	9.8	1/12	(3.0)	2/12	75	d4	黒色灰層上層						139	92
3043	花瓶	Ⅲ	−	−	10.1	1/12	(3.0)	1/12	15	e2	黒色灰層下層メインベルト						139	
3044	花瓶	ⅡA	(14.7)	3/12	12.9	12/12	(26.4)	11/12	1360	d1	北壁26層	分②					140	93
3045	花瓶	ⅡA	13.0	9/12	−	−	17.6	5/12	580	d2	黒色灰層下層						140	
3046	花瓶	ⅡA	(13.5)	5/12	−	−	12.5	4/12	480	d1d2	北壁7層						140	
3047	花瓶	ⅡA	11.0	6/12	−	−	9.0	5/12	265	e2	黒色灰層上層,焼台多い						140	
3048	花瓶	ⅡA	−	−	12.2	7/12	(24.5)	10/12	1640	e2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						140	93
3049	花瓶	ⅡA	−	−	10.8	12/12	6.3	3/12	520	d1c1	東壁3層						140	
3050	花瓶	ⅡA	14.4	7/12	10.6	12/12	23.8	11/12	1075	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる	分②					140	93
3051	花瓶	ⅡA	−	−	9.7	12/12	20.3	11/12	835	d2	検出(下層)						140	
3052	花瓶	ⅡA	12.6	2/12	10.9	12/12	23.5	9/12	1020	d1	黒色灰層下層,褐色土混じる	No. 1					140	94
3053	花瓶	ⅡA	11.7	7/12	−	−	18.7	11/12	880	d2	黒色灰層最下部,褐色土直上						140	94
3054	花瓶	ⅡA	−	−	10.1	12/12	15.7	10/12	885	d1d2	北壁7層						140	
3055	花瓶	ⅡA	−	−	(10.9)	5/12	14.0	5/12	720	d2	黒色灰層下層						140	
3056	花瓶	ⅡA	14.9	3/12	−	−	11.3	2/12	165	f2e2	東壁5層			鉄釉			141	
3057	花瓶	ⅡA	13.6	4/12	−	−	4.7	1/12	115	c4	黒色灰層上層			鉄釉			141	
3058	花瓶	ⅡA	11.6	5/12	−	−	7.5	2/12	140	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる						141	
3059	花瓶	ⅡA	−	−	−	−	6.7	2/12	405	e3d3	東壁5層			鉄釉			141	
3060	花瓶	ⅡA	−	−	11.0	2/12	4.2	1/12	115	e3	黒色灰層下層,褐色土混じる			鉄釉			141	
3061	花瓶	ⅡA	−	−	9.2	12/12	8.2	9/12	245	e4d4	東壁1層			鉄釉			141	
3062	花瓶	ⅡA	−	−	9.8	4/12	5.1	1/12	95	d3	黒色灰層上層			鉄釉			141	
3063	花瓶	ⅡA	−	−	9.0	4/12	17.7	10/12	620	e2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						141	
3064	花瓶	ⅡA	−	−	(10.0)	3/12	16.8	6/12	665	e3e4	北壁8層						141	
3065	花瓶	ⅡA	−	−	(10.2)	1/12	20.3	7/12	790	e3d3	東壁5層						141	
3066	花瓶	ⅡA	−	−	9.6	12/12	12.8	6/12	765	d3	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						141	
3067	花瓶	ⅡA	−	−	9.8	12/12	13.0	5/12	530	d1	黒色灰層上層						141	
3068	花瓶	ⅡA	(10.3)	1/12	9.2	12/12	20.3	8/12	655	d2	黒色灰層下層						141	93
3069	花瓶	ⅡA	−	−	10.2	12/12	18.8	10/12	585	Ⅳ H16g	赤褐色土層						141	
3070	花瓶	ⅡA	−	−	−	−	9.3	1/12	185	Ⅳ H15g	黒褐色土層						141	94
3071	花瓶	ⅡA	−	−	−	−	4.2	1/12	190	f2	北トレンチ						141	
3072	花瓶	ⅡA	−	−	−	−	3.8	1/12	110	e2	黒色灰層上層						141	
3073	花瓶	ⅡA	−	−	9.8	4/12	6.8	3/12	340	d4	黒色灰層上層,焼台多い						141	
3074	花瓶	ⅡA	−	−	−	−	13.8	8/12	700	d4	黒色灰層						141	
3075	花瓶	ⅡA	−	−	9.6	12/12	12.6	4/12	470	e2	黒色灰層上層						141	
3076	花瓶	ⅡA	−	−	7.6	7/12	13.7	7/12	540	e3	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						141	
3077	花瓶	ⅡA	−	−	9.5	2/12	13.3	7/12	465	e2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						141	
3078	花瓶	ⅡB	−	−	8.8	12/12	12.1	8/12	520	c2	検出						142	
3079	花瓶	ⅡB	10.0	4/12	7.7	6/12	17.7	11/12	655	d2	表土						142	94
3080	花瓶	ⅡB	−	−	7.4	11/12	15.8	10/12	485	e2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						142	94
3081	花瓶	ⅡB	−	−	7.9	8/12	16.0	10/12	470	c3	黒色灰層上層						142	
3082	花瓶	ⅡB	−	−	7.5	12/12	16.8	10/12	500	f3	検出						142	
3083	花瓶	ⅡB	−	−	7.7	12/12	17.0	7/12	520	d1	褐色砂層,地山直上						142	
3084	花瓶	ⅡB	−	−	7.7	7/12	15.7	9/12	495	f3	検出						142	
3085	花瓶	ⅡB	−	−	−	−	12.8	7/12	315	d4	黒色灰層上層						142	
3086	花瓶	ⅡB	−	−	9.0	11/12	16.7	7/12	530	e2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						142	
3087	花瓶	ⅡB	−	−	9.1	11/12	17.8	11/12	645	99A	表採						142	
3088	花瓶	ⅡB	−	−	8.2	1/12	18.4	10/12	475	e2d2	東壁3層						142	
3089	花瓶	ⅡB	−	−	8.4	11/12	10.4	8/12	410	d2c2	東壁3層						142	
3090	花瓶	ⅡB	−	−	7.1	2/12	16.2	10/12	380	e3d3	東壁2層						142	
3091	花瓶	ⅡB	−	−	8.4	3/12	11.4	9/12	355	d4	黒色灰層上層,焼台多い						142	
3092	花瓶	ⅡB	−	−	−	−	13.2	8/12	400	e3d3	東壁5層						142	
3093	花瓶	ⅡB	−	−	−	−	14.2	7/12	460	e3d3	東壁2層						142	
3094	花瓶	ⅡB	−	−	−	−	12.3	7/12	540	d2	黒色灰層下層						143	
3095	花瓶	ⅡB	−	−	−	−	9.3	10/12	855	Ⅳ H16h	黒色灰層	No. 2					143	95
3096	花瓶	ⅡB	10.0	5/12	7.8	11/12	21.2	11/12	695	Ⅳ H16f	黒色灰層						143	95
3097	花瓶	ⅡB	6.0	1/12	−	−	9.2	7/12	520	d2	黒色土層上層						143	
3098	花瓶	ⅡB	−	−	8.9	12/12	8.4	4/12	390	e2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						143	
3099	花瓶	ⅡB	−	−	8.6	12/12	8.2	4/12	365	d5c5	東壁1層						143	
3100	花瓶	ⅡB	−	−	10.6	5/12	19.1	10/12	895	e3d3	東壁5層						143	
3101	花瓶	ⅡB	−	−	10.4	5/12	7.7	3/12	365	f3	検出						143	
3102	花瓶	ⅡB	−	−	10.8	12/12	6.2	2/12	260	e2d2	東壁セクション						143	
3103	花瓶	ⅡB	−	−	8.6	12/12	19.8	10/12	995	e2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						143	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・軸		時期	その他	遺物図	写真図版
3104	花瓶	ⅡB	−	−	7.7	7/12	18.7	10/12	570	d2	北壁2層						143	
3105	花瓶	ⅡB	−	−	12.1	5/12	3.8	1/12	45	ⅣH16h	黒褐色土層			鉄釉			143	
3106	花瓶	ⅡB	−	−	8.2	11/12	7.6	3/12	190	d4	黒色灰層下層, 褐色土混じる			鉄釉			143	
3107	花瓶	ⅡB	−	−	7.5	10/12	8.5	5/12	225	e3d3	東壁5層			鉄釉			143	
3108	花瓶	ⅡB	−	−	7.9	8/12	10.1	3/12	205	b2	検出			鉄釉			143	
3109	花瓶	ⅡB	−	−	−	−	9.9	3/12	240	d2	黒色灰層下層, 褐色土混じる			鉄釉			143	
3110	花瓶	ⅡB	−	−	8.1	12/12	11.9	8/12	500	b2	検出, 黒色土最下部						143	
3111	花瓶	ⅡB	−	−	8.4	12/12	6.5	3/12	235	c4	黒色灰層最下層, 褐色土直上	分-87					143	
3112	花瓶	ⅡC	8.8	2/12	−	−	17.0	9/12	430	d1d2	北壁7層						144	
3113	花瓶	ⅡC	−	−	−	−	15.6	10/12	395	d2d3	北壁2層						144	
3114	花瓶	ⅡC	−	−	8.6	7/12	17.5	8/12	545	d1d2	北壁2層						144	
3115	花瓶	ⅡC	−	−	8.4	12/12	15.0	7/12	170	d2	黒色灰層下層						144	
3116	花瓶	ⅡC	−	−	8.7	11/12	16.0	6/12	570	d3	黒色灰層下層						144	95
3117	花瓶	ⅡC	−	−	8.0	8/12	15.9	11/12	455	e3d3	東壁5層	分-23					144	
3118	花瓶	ⅡC	−	−	−	−	15.8	10/12	420	d4	表土						144	
3119	花瓶	ⅡC	−	−	8.3	12/12	14.8	8/12	480	e3d3	東壁2層						144	95
3120	花瓶	ⅡC	−	−	(7.6)	1/12	16.0	10/12	450	c3	黒色灰層上層						144	
3121	花瓶	ⅡC	−	−	8.4	11/12	10.4	8/12	475	d2c2	東壁3層						144	
3122	花瓶	ⅡC	−	−	7.9	11/12	12.0	7/12	445	e2	検出						144	
3123	花瓶	ⅡC	−	−	7.7	10/12	13.4	8/12	455	d4	黒色灰層上層, 焼台多い						144	
3124	花瓶	ⅡC	−	−	7.5	7/12	15.9	9/12	530	d4	黒色灰層上層, 焼台多い						144	
3125	花瓶	ⅡC	−	−	7.2	11/12	12.7	11/12	310	e2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						144	
3126	花瓶	ⅡC	−	−	7.9	11/12	16.0	7/12	430	d1d2	北壁7層						144	
3127	花瓶	ⅡC	−	−	8.3	7/12	10.9	5/12	360	f3	検出（下層）						144	
3128	花瓶	ⅡC	−	−	7.3	10/12	8.2	5/12	225	e2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						144	
3129	花瓶	ⅡC	−	−	7.4	11/12	15.8	10/12	475	e2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						144	
3130	花瓶	ⅡC	−	−	7.7	9/12	13.5	10/12	390	d4	黒色灰層上層						144	
3131	花瓶	ⅡC	−	−	7.4	5/12	14.2	7/12	410	e2	黒色灰層下層						144	
3132	花瓶	ⅡC	−	−	9.0	11/12	7.9	5/12	260	d6	灰褐色土層						144	
3133	花瓶	ⅡC	−	−	7.8	5/12	10.2	11/12	445	d2	黒色灰層最下部, 褐色土直上						144	95
3134	花瓶	ⅡC	(8.3)	5/12	5.6	12/12	13.9	9/12	360	d1d2	北壁7層						145	96
3135	花瓶	ⅡC	−	−	6.2	12/12	13.2	8/12	260	e3d3	東壁5層						145	
3136	花瓶	ⅡC	−	−	6.7	12/12	11.1	10/12	350	d4	黒色灰層上層, 焼台多い						145	
3137	花瓶	ⅡC	−	−	−	−	12.4	8/12	345	c4	黒色灰層下層						145	
3138	花瓶	ⅡC	−	−	8.1	12/12	10.6	10/12	350	ⅣH16g	黒褐色土層						145	
3139	花瓶	ⅡC	−	−	6.8	12/12	10.2	7/12	310	d2	黒色灰層上層						145	
3140	花瓶	ⅡC	−	−	7.8	12/12	14.0	9/12	400	b2b3	北壁2層						145	
3141	花瓶	ⅡC	−	−	7.2	12/12	14.7	9/12	415	e3e4	北壁3層						145	
3142	花瓶	ⅡC	−	−	8.4	12/12	11.3	10/12	440	d1d2	北壁7層						145	
3143	花瓶	ⅡC	−	−	8.1	10/12	13.6	7/12	475	d1d2	北壁7層						145	
3144	花瓶	ⅡC	−	−	8.3	10/12	10.1	8/12	375	d4	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						145	
3145	花瓶	ⅡC	−	−	7.7	12/12	13.3	10/12	390	c3	黒色灰層上層						145	
3146	花瓶	ⅡC	−	−	7.4	10/12	14.7	8/12	375	f2	北トレンチ						145	
3147	花瓶	ⅡC	−	−	(7.5)	2/12	14.3	10/12	360	d3	黒色灰層上層						145	
3148	花瓶	ⅡC	−	−	8.2	8/12	10.1	10/12	350	e2	検出						145	
3149	花瓶	ⅡC	−	−	7.5	10/12	10.8	7/12	370	d2	黒色灰層最下部, 褐色土直上						145	
3150	花瓶	ⅡC	−	−	(5.0)	6/12	13.5	7/12	320	c4c5	北壁2層						145	
3151	花瓶	ⅡC	−	−	6.7	5/12	13.0	8/12	280	d4	表土						145	
3152	花瓶	ⅡC	−	−	(6.4)	6/12	13.0	8/12	285	c3	黒色灰層下層						145	
3153	花瓶	ⅡC	−	−	6.3	10/12	10.1	7/12	210	d3	黒色灰層上層						145	
3154	花瓶	ⅡC	−	−	7.2	12/12	9.2	10/12	210	c2	黒色灰層						145	
3155	花瓶	ⅡC	−	−	−	−	11.5	1/12	155	f2	北トレンチ			鉄釉			145	
3156	花瓶	ⅡC	−	−	6.3	12/12	8.9	10/12	175	d4	表土						145	
3157	花瓶	ⅡC	7.2	10/12	6.3	10/12	11.9	10/12	235	ⅣH14g, ⅣH14h	東壁7層						145	96
3158	花瓶	Ⅲ	16.4	6/12	5.3	2/12	19.1	8/12	815	e2	黒色灰層上層						146	96
3159	花瓶	Ⅲ	−	−	10.9	7/12	19.7	8/12	830	e2	黒色灰層上層メインベルト						146	96
3160	花瓶	Ⅲ	−	−	10.2	9/12	15.3	8/12	625	d1	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						146	
3161	花瓶	Ⅲ	−	−	11.0	6/12	17.5	8/12	530	d2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						146	96
3162	花瓶	Ⅲ	−	−	8.1	9/12	18.2	10/12	770	d2	黒色灰層						146	96
3163	花瓶	Ⅲ	−	−	10.2	9/12	15.9	7/12	910	e2	黒色灰層下層						146	97
3164	花瓶	Ⅲ	−	−	10.2	12/12	16.2	7/12	545	e2	黒色灰層上層						146	97
3165	花瓶	Ⅲ	−	−	10.4	12/12	18.2	8/12	625	e3	検出（下層）						146	97
3166	花瓶	Ⅲ	−	−	10.3	11/12	15.8	8/12	530	e3	検出（下層）						146	97
3167	花瓶	Ⅲ	−	−	−	−	11.7	8/12	400	e2e3	北壁8層（a, b）						146	
3168	花瓶	Ⅲ	−	−	−	−	12.1	9/12	450	f2	北トレンチ下層						146	98
3169	花瓶	Ⅲ	24.1	2/12	−	−	19.5	8/12	1520	e2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						146	97
3170	花瓶	Ⅲ	−	−	10.6	12/12	16.8	7/12	555	d2	黒色灰層下層						147	
3171	花瓶	Ⅲ	−	−	9.8	11/12	11.2	7/12	515	d3	黒色灰層						147	
3172	花瓶	Ⅲ	−	−	9.6	11/12	12.7	8/12	490	e4e5	北壁2層						147	97
3173	花瓶	Ⅲ	−	−	7.0	6/12	14.2	6/12	365	d4d5	北壁2層						147	
3174	花瓶	Ⅲ	15.8	2/12	−	−	14.5	9/12	485	c4	黒色灰層上層	分-22					147	
3175	花瓶	Ⅲ	−	−	9.0	2/12	14.4	7/12	315	ⅣH14h	灰層上層, 暗褐色砂層						147	
3176	花瓶	Ⅲ	−	−	8.8	3/12	11.3	9/12	290	d2	黒色灰層下層						147	
3177	花瓶	Ⅲ	−	−	8.1	9/12	10.8	7/12	330	d4d5	北壁2層						147	
3178	花瓶	Ⅲ	−	−	9.5	8/12	6.4	10/12	230	e2e3	北壁9層						147	
3179	花瓶	Ⅲ	14.0	2/12	8.6	12/12	14.7	7/12	410	d1	黒色灰層下層	分②					147	97
3180	花瓶	Ⅲ	−	−	7.1	2/12	11.5	4/12	380	e2	黒色灰層上層下層メインベルト						147	
3181	花瓶	Ⅲ	−	−	9.0	3/12	12.8	5/12	補強あり	d1	黒色灰層最下部, 褐色土直上						147	98
3182	花瓶	Ⅲ	−	−	9.2	7/12	−	−	90	ⅣH14f	灰層上層						147	98
3183	花瓶	Ⅲ	14.7	2/12	8.6	2/12	18.3	8/12	600	d2d3	北壁3層						147	
3184	花瓶	Ⅲ	13.5	4/12	8.4	1/12	17.5	9/12	470	ⅣH13h, ⅣH14h	南壁18層						147	
3185	花瓶	Ⅲ	14.2	2/12	8.8	10/12	17.7	10/12	820	ⅣH14h, ⅣH14i	東壁44層						147	98
3186	花瓶	Ⅲ	14.9	5/12	7.9	12/12	16.9	10/12	580	ⅣH14g, ⅣH14h	東壁132層						147	99
3187	花瓶	Ⅲ	14.2	4/12	7.8	5/12	17.9	10/12	560	ⅣH14h, ⅣH14i	東壁44層						147	98
3188	花瓶	Ⅲ	14.2	4/12	7.6	12/12	16.7	11/12	730	e3	検出	分②					148	99
3189	花瓶	Ⅲ	−	−	8.4	9/12	17.2	10/12	610	f2f3	北壁2層						148	99
3190	花瓶	Ⅲ	−	−	8.9	8/12	15.3	7/12	570	d2	黒色灰層上層						148	99
3191	花瓶	Ⅲ	−	−	9.8	12/12	14.8	8/12	630	c2	検出（下層）						148	
3192	花瓶	Ⅲ	−	−	8.4	10/12	12.1	9/12	460	e5	黒色灰層上層, 焼台・褐色土多い						148	100
3193	花瓶	Ⅲ	−	−	8.7	10/12	13.2	9/12	445	d4	表土						148	100
3194	花瓶	Ⅲ	−	−	9.6	12/12	13.6	7/12	505	d2	黒色灰層下層						148	
3195	花瓶	Ⅲ	−	−	10.2	10/12	13.6	9/12	540	g5	東壁1層						148	
3196	花瓶	Ⅲ	−	−	8.3	5/12	16.4	8/12	530	e4	表土						148	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
3197	花瓶	Ⅲ	−	−	9.2	8/12	14.5	7/12	520	d2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						148	99
3198	花瓶	Ⅲ	−	−	8.8	2/12	15.4	8/12	400	d2c2	東壁4層						148	100
3199	花瓶	Ⅲ	−	−	8.8	11/12	15.8	10/12	540	c1	黒色灰層下層						148	
3200	花瓶	Ⅲ	−	−	8.2	10/12	13.4	10/12	540	e2	黒色灰層上層, 焼台多い						148	
3201	花瓶	Ⅲ	−	−	8.0	7/12	13.4	10/12	435	e4	黒色灰層下層, 褐色土混じる						148	
3202	花瓶	Ⅲ	−	−	9.4	3/12	15.4	8/12	500	d2	黒色灰層下層, 褐色土混じる						148	
3203	花瓶	Ⅲ	−	−	8.6	11/12	13.7	9/12	440	c3	黒色灰層上層						148	100
3204	花瓶	Ⅲ	−	−	8.4	12/12	17.1	7/12	510	g5	表土						148	100
3205	花瓶	Ⅲ	−	−	7.4	12/12	15.6	10/12	505	f3	黒色灰層下層						148	
3206	花瓶	Ⅲ	−	−	9.2	7/12	15.6	7/12	525	c4	表土						148	
3207	花瓶	Ⅲ	−	−	9.5	11/12	16.5	10/12	645	Ⅳ H13h	96層						148	
3208	花瓶	Ⅲ	−	−	9.3	12/12	15.2	10/12	510	f2f3	北壁2層						149	100
3209	花瓶	Ⅲ	−	−	8.6	12/12	13.8	7/12	505	c1	黒色灰層下層						149	
3210	花瓶	Ⅲ	−	−	9.2	9/12	11.7	8/12	435	d4	黒色灰層上層, 焼台多い						149	
3211	花瓶	Ⅲ	−	−	8.5	12/12	12.1	10/12	40	e4e5	北壁2層						149	
3212	花瓶	Ⅲ	−	−	9.0	12/12	10.8	9/12	515	d6	表土, 灰褐色土層						149	100
3213	花瓶	Ⅲ	−	−	7.8	12/12	14.7	6/12	500	d4	表土						149	
3214	花瓶	Ⅲ	−	−	9.1	7/12	12.9	8/12	460	c4	黒色灰層上層						149	
3215	花瓶	Ⅲ	−	−	9.0	6/12	13.3	10/12	440	d3d4	北壁4層						149	
3216	花瓶	Ⅲ	−	−	9.7	11/12	11.4	8/12	390	c4	黒色灰層上層						149	101
3217	花瓶	Ⅲ	−	−	8.6	10/12	10.9	9/12	385	d4	黒色灰層						149	101
3218	花瓶	Ⅲ	−	−	8.8	11/12	13.9	10/12	500	d4	黒色灰層下層, 褐色土多く混じる						149	
3219	花瓶	Ⅲ	−	−	9.8	11/12	13.0	7/12	455	Ⅳ H16f	黒色灰層						149	
3220	花瓶	Ⅲ	−	−	8.0	11/12	12.6	7/12	380	d2	黒色灰層上層						149	101
3221	花瓶	Ⅲ	−	−	8.8	12/12	10.6	5/12	355	c3	黒色灰層上層						149	
3222	花瓶	Ⅲ	−	−	8.2	12/12	10.0	7/12	420	e3	黒色灰層下層						149	101
3223	花瓶	Ⅲ	−	−	6.4	7/12	13.2	8/12	500	e4	表土						149	
3224	花瓶	Ⅲ	−	−	7.3	12/12	12.5	7/12	410	e2	検出						149	
3225	花瓶	Ⅲ	−	−	6.8	11/12	10.5	10/12	470	e3	検出						149	
3226	花瓶	Ⅲ	−	−	8.5	9/12	11.8	8/12	380	f2f3	北壁2層						149	
3227	花瓶	Ⅲ	−	−	7.8	7/12	8.3	6/12	395	e3e4	北壁6層						149	
3228	花瓶	Ⅲ	−	−	9.4	10/12	12.4	7/12	475	c4	黒色灰層上層						149	
3229	花瓶	Ⅲ	−	−	9.2	12/12	11.5	7/12	420	e2	検出						149	
3230	花瓶	Ⅲ	−	−	8.8	12/12	8.0	10/12	325	f2f3	北壁2層						149	
3231	花瓶	Ⅲ	−	−	8.3	7/12	8.8	10/12	335	f4	黒色灰層, 地山直上						149	
3232	花瓶	Ⅲ	−	−	8.4	12/12	5.7	4/12	235	c4	黒色灰層最下層	分-89					149	
3233	花瓶	Ⅲ	−	−	8.7	3/12	6.5	3/12	225	98	表採						149	
3234	花瓶	Ⅲ	−	−	9.2	11/12	12.6	9/12	455	g4f4	東壁3層						150	101
3235	花瓶	Ⅲ	−	−	9.2	11/12	11.6	10/12	420	d5	表土, 黒色灰層, 褐色多い						150	
3236	花瓶	Ⅲ	−	−	9.0	12/12	11.4	6/12	395	c2c3	北壁3層						150	
3237	花瓶	Ⅲ	−	−	7.2	12/12	7.5	9/12	345	e4	黒色灰層下層, 褐色土混じる						150	
3238	花瓶	Ⅲ	−	−	8.1	12/12	7.7	7/12	335	c3	黒色灰層上層						150	100
3239	花瓶	Ⅲ	−	−	−	−	4.0	2/12	45	b1c1	西壁2層			鉄釉			150	
3240	花瓶	Ⅲ	−	−	7.0	11/12	4.0	3/12	125	d3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる			鉄釉			150	
3241	花瓶	Ⅲ	−	−	7.6	4/12	14.9	10/12	480	c3	黒色灰層上層						150	101
3242	花瓶	Ⅲ	−	−	8.1	12/12	12.3	11/12	505	f2	黒色灰層下層, 赤褐色土・褐色土混じる						150	
3243	花瓶	Ⅲ	−	−	7.8	8/12	13.3	10/12	410	d4	黒色灰層上層, 焼台多い						150	101
3244	花瓶	Ⅲ	−	−	8.2	11/12	14.6	9/12	165	g4	黒色灰層上層						150	
3245	花瓶	Ⅲ	−	−	6.0	7/12	10.3	9/12	350	d4	黒色灰層下層, 褐色土混じる						150	
3246	花瓶	Ⅲ	−	−	10.6	5/12	10.9	5/12	195	d2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						150	
3247	花瓶	Ⅲ	−	−	−	−	14.5	8/12	345	d2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						150	
3248	花瓶	Ⅲ	−	−	8.0	9/12	13.4	6/12	455	c3	黒色灰層上層						150	101
3249	花瓶	Ⅲ	−	−	6.4	4/12	13.0	10/12	370	c3	黒色灰層上層						150	
3250	花瓶	Ⅲ	−	−	7.6	10/12	13.0	9/12	425	98	表土, 褐色混じる						150	
3251	花瓶	Ⅲ	−	−	9.4	10/12	16.8	7/12	565	d2	黒色灰層下層						150	
3252	花瓶	Ⅲ	−	−	7.0	12/12	13.5	11/12	400	f3f4	北壁10層						150	
3253	花瓶	Ⅲ	−	−	8.0	11/12	11.0	7/12	300	e4	表土						150	
3254	花瓶	Ⅲ	−	−	6.8	12/12	12.7	10/12	430	d2c2	東壁4層						150	
3255	花瓶	Ⅲ	−	−	8.2	8/12	7.9	6/12	305	d4	黒色灰層上層						150	
3256	花瓶	Ⅲ	−	−	8.9	5/12	17.2	9/12	505	c2	検出, 黒色土最下部						150	
3257	花瓶	Ⅲ	−	−	7.1	9/12	13.5	10/12	465	d4	黒色灰層上層, 焼台多い						150	
3258	花瓶	Ⅲ	−	−	9.3	12/12	15.7	7/12	445	d2	黒色灰層上層						150	
3259	花瓶	Ⅲ	−	−	9.4	12/12	14.4	8/12	510	f4	表土						150	
3260	花瓶	Ⅲ	−	−	8.4	12/12	15.0	10/12	445	d2	黒色灰層下層						151	
3261	花瓶	Ⅲ	−	−	−	−	7.1	3/12	250	d3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						151	
3262	花瓶	Ⅲ	−	−	7.7	12/12	7.0	5/12	215	f4	表土						151	
3263	花瓶	Ⅲ	−	−	6.4	10/12	5.7	3/12	117	c4	黒色灰層最下層, 褐色土直上	分-88					151	
3264	花瓶	Ⅲ	−	−	8.5	12/12	10.2	6/12	305	Ⅳ H14g, Ⅳ H14h	東壁8層, 整地層1						151	
3265	花瓶	Ⅲ	−	−	7.4	12/12	4.7	4/12	150	e4e5	北壁2層						151	
3266	花瓶	Ⅲ	−	−	5.9	12/12	7.6	5/12	250	e3	黒色灰層下層, 褐色土混じる						151	
3267	花瓶	Ⅲ	−	−	7.1	12/12	6.4	7/12	200	e3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						151	
3268	花瓶	Ⅲ	−	−	6.6	12/12	−	−	130	e3	検出（下層）						151	101
3269	花瓶	Ⅲ	−	−	7.6	12/12	5.8	3/12	185	e3	黒色灰層下層, 褐色土混じる						151	
3270	花瓶	Ⅲ	−	−	10.0	12/12	6.4	3/12	335	c3	黒色灰層上層			鉄釉			151	102
3271	花瓶	Ⅲ	−	−	6.5	12/12	6.5	3/12	160	e3d3	東壁5層			鉄釉			151	102
3272	花瓶	Ⅲ	−	−	7.9	9/12	8.4	5/12	240	e3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる			鉄釉			151	102
3273	花瓶	Ⅲ	−	−	5.8	3/12	7.4	3/12	195	e2	黒色灰層上層メインベルト						151	102
3274	花瓶	Ⅲ	−	−	8.7	12/12	13.5	9/12	350	d4	黒色灰層上層						151	
3275	花瓶	Ⅲ	−	−	8.9	12/12	1.4	6/12	280	d1	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						151	
3276	花瓶	Ⅲ	−	−	4.1	12/12	12.5	9/12	400	d4	黒色灰層上層, 焼台多い						151	
3277	花瓶	Ⅲ	−	−	−	−	4.5	3/12	126	d2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる	分-25					151	
3278	花瓶	Ⅲ	−	−	7.0	12/12	9.4	9/12	280	e4	黒色灰層下層, 褐色土混じる						151	103
3279	花瓶	Ⅲ	−	−	7.6	11/12	7.8	9/12	180	e3	黒色灰層下層						151	
3280	花瓶	Ⅲ	−	−	6.2	11/12	12.1	9/12	320	e2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						151	102
3281	花瓶	Ⅲ	(10.1)	1/12	6.8	12/12	11.7	7/12	215	d1d2	北壁4層						151	
3282	花瓶	Ⅲ	−	−	6.5	3/12	10.7	5/12	252	c5	褐色土層, 焼台混じる, 地山直上	分-24					151	
3283	花瓶	Ⅲ	−	−	6.8	12/12	9.4	10/12	220	d3	黒色灰層上層						151	
3284	花瓶	Ⅲ	−	−	10.0	12/12	8.9	8/12	200	d2	黒色灰層上層						151	
3285	花瓶	Ⅲ	−	−	6.5	7/12	8.8	9/12	145	d4	黒色灰層上層, 焼台多い						151	103
3286	花瓶	Ⅲ	−	−	5.6	10/12	10.6	8/12	240	d4	表土						151	
3287	花瓶	Ⅲ	−	−	6.3	12/12	9.8	5/12	230	d1	褐色砂層, 地山直上						151	
3288	花瓶	Ⅲ	−	−	5.4	7/12	10.5	8/12	270	d4	黒色灰層上層, 焼台多い						151	103
3289	花瓶	Ⅲ	−	−	6.3	10/12	9.6	7/12	235	c3	黒色灰層上層						151	
3290	花瓶	Ⅲ	8.0	9/12	6.3	12/12	10.4	11/12	230	e2d2	東壁4層						151	102
3291	花瓶	Ⅲ	−	−	5.2	5/12	8.9	7/12	155	d1	黒色灰層上層						151	
3292	花瓶	Ⅱ	8.6	7/12	−	−	7.9	3/12	135	e6d6	東壁2層						152	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・軸		時期	その他	遺物図	写真図版
3293	花瓶	Ⅱ	8.8	4/12	−	−	13.9	4/12	210	e2	北壁6層						152	
3294	花瓶	Ⅱ	9.5	1/12	−	−	9.0	3/12	150	d2d3	北壁6層						152	
3295	花瓶	Ⅱ	9.7	10/12	−	−	7.2	2/12	190	b1	黒色灰層						152	
3296	花瓶	Ⅱ	10.6	5/12	−	−	9.3	1/12	130	e2	検出						152	
3297	花瓶	Ⅲ	14.6	1/12	−	−	9.2	4/12	435	e2	検出						152	
3298	花瓶	Ⅲ	14.3	1/12	−	−	11.3	1/12	430	e2	検出						152	
3299	花瓶	Ⅲ	13.3	2/12	−	−	11.4	2/12	210	g3f3	東壁7層						152	
3300	花瓶	Ⅲ	10.5	1/12	−	−	11.8	2/12	110	d1	黒色灰層下層			鉄釉			152	
3301	花瓶	Ⅲ	−	−	−	−	10.5	1/12	105	99	表採			鉄釉			152	
3302	花瓶	Ⅱ	4.9	1/12	−	−	7.6	1/12	35	e2e3	北壁9層						152	
3303	花瓶	Ⅱ	16.1	1/12	−	−	15.3	3/12	680	e3d3	東壁4層						152	
3304	花瓶	Ⅱ	15.7	1/12	−	−	14.3	3/12	590	e3	東壁4層						152	
3305	花瓶	Ⅲ	19.1	3/12	−	−	11.5	2/12	255	e3	黒色灰層下層,褐色土混じる						152	
3306	花瓶	Ⅲ	22.3	2/12	−	−	10.0	1/12	215	e3	検出						152	
3307	花瓶	Ⅱ	21.3	2/12	−	−	11.8	1/12	400	d2d3	北壁5層						152	
3308	袴腰形香炉	ⅠA	18.4	1/12	−	−	(6.5)	2/12	101	Ⅳ H16h	黒褐色土層						153	103
3309	袴腰形香炉	ⅠA	17.8	1/12	−	−	(6.8)	3/12	132	b1	黒色灰層						153	103
3310	袴腰形香炉	ⅠA	14.0	4/12	−	−	(6.6)	2/12	102	c2d2	東壁3層			貼花紋			153	103
3311	袴腰形香炉	ⅠA	14.2	3/12	7.0	6/12	8.4	5/12	276	Ⅳ H16g	赤褐色土層						153	
3312	袴腰形香炉	ⅠA	13.0	2/12	−	−	(8.3)	3/12	98	Ⅳ H15g	黒褐色土層						153	
3313	袴腰形香炉	ⅠA	−	−	−	−	(6.7)	1/12	80	d3	黒色灰層下層,褐色土混じる						153	
3314	袴腰形香炉	ⅠA	15.2	2/12	−	−	(5.7)	2/12	50	c3	黒色灰層下層						153	
3315	袴腰形香炉	ⅠA	14.8	2/12	−	−	(3.3)	1/12	37	c3c4	北壁切株下						153	
3316	袴腰形香炉	ⅠA	15.0	1/12	−	−	(5.8)	4/12	48	c3	黒色灰層下層,褐色土混じる						153	
3317	袴腰形香炉	ⅠA	13.0	2/12	−	−	(6.5)	2/12	63	e3d3	東壁5層						153	
3318	袴腰形香炉	ⅠA	14.0	2/12	6.0	5/12	7.2	4/12	80	g3g4	北壁4層						153	
3319	袴腰形香炉	ⅠA	12.1	1/12	6.0	3/12	6.7	3/12	100	c2	検出						153	
3320	袴腰形香炉	ⅠA	13.0	2/12	−	−	(6.8)	2/12	99	c3	黒色灰層上層						153	
3321	袴腰形香炉	ⅠA	13.2	2/12	−	−	7.2	2/12	72	e2	黒色灰層下層メインベルト						153	
3322	袴腰形香炉	ⅠA	−	−	7.0	10/12	(5.2)	4/12	201	e2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						153	
3323	袴腰形香炉	ⅠA	12.8	4/12	8.1	5/12	8.4	5/12	206	c1	北壁,褐色土層(赤褐色土混じる,地山直上)						153	103
3324	袴腰形香炉	ⅠA	12.2	3/12	7.8	5/12	8.4	4/12	復元	Ⅳ H16h	黒褐色土層						153	103
3325	袴腰形香炉	ⅠA	12.0	2/12	7.5	2/12	7.6	3/12	82	Ⅳ H16h	黒褐色土層						153	
3326	袴腰形香炉	ⅠB	−	−	6.0	2/12	(7.9)	3/12	118	d1	黒色灰層						153	
3327	袴腰形香炉	ⅠA	13.0	1/12	−	−	(4.4)	1/12	18	d2	黒色灰層下層						153	
3328	袴腰形香炉	ⅠA	13.0	1/12	−	−	(4.3)	1/12	18	d4	褐色土層,地山直上						153	
3329	袴腰形香炉	ⅠA	12.6	2/12	7.0	5/12	6.2	4/12	184	d1c1	東壁3層						153	
3330	袴腰形香炉	ⅠB	−	−	4.0	2/12	(3.0)	2/12	53	e2e3	北壁8層(a,b)						153	
3331	袴腰形香炉	ⅠB	−	−	7.1	2/12	(3.8)	4/12	159	d1	黒色灰層						153	
3332	袴腰形香炉	ⅠB	11.6	1/12	6.0	6/12	7.9	5/12	192	Ⅳ H15g	169層						154	103
3333	袴腰形香炉	ⅠB	11.6	2/12	−	−	(7.1)	2/12	50	f2	黒色灰層						154	
3334	袴腰形香炉	ⅠB	10.4	1/12	6.7	2/12	7.7	9/12	280	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる						154	104
3335	袴腰形香炉	ⅠB	11.6	2/12	6.0	6/12	(6.3)	2/12	61	e3	検出						154	
3336	袴腰形香炉	ⅠB	11.2	4/12	7.2	3/12	(8.4)	4/12	111	Ⅳ H16g	赤褐色土層						154	
3337	袴腰形香炉	ⅠB	11.0	2/12	−	−	(7.5)	2/12	63	d2	黒色灰層上層						154	
3338	袴腰形香炉	ⅠB	11.4	2/12	−	−	(5.4)	2/12	56	e2d2	東壁4層						154	
3339	袴腰形香炉	ⅠB	9.0	3/12	−	−	(5.1)	2/12	51	e3	検出						154	
3340	袴腰形香炉	ⅠB	10.9	1/12	−	−	(5.1)	2/12	48	f4	表土			鉄釉			154	
3341	袴腰形香炉	ⅠB	9.9	7/12	7.8	12/12	7.3	11/12	306	d1	褐色砂層(地山直上)	№3,分②					154	103
3342	袴腰形香炉	ⅠB	10.1	5/12	7.0	12/12	(7.4)	10/12	340	d1d2	北壁7層						154	104
3343	袴腰形香炉	ⅠB	10.1	1/12	6.0	2/12	(7.6)	2/12	76	d1d2	北壁4層						154	
3344	袴腰形香炉	ⅠB	11.0	2/12	6.4	2/12	6.7	3/12	67	d3	表土						154	
3345	袴腰形香炉	ⅠB	10.3	2/12	−	−	(7.3)	2/12	65	d2	黒色灰層上層						154	
3346	袴腰形香炉	ⅠB	9.6	1/12	6.0	1/12	5.6	2/12	80	d3	東壁6層						154	
3347	袴腰形香炉	ⅠB	9.5	1/12	5.2	6/12	7.6	5/12	110	d3d4	北壁4層						154	104
3348	袴腰形香炉	ⅠB	9.4	1/12	5.0	2/12	6.5	3/12	50	Ⅳ H16f	灰原褐色土						154	
3349	袴腰形香炉	ⅠB	9.0	8/12	4.2	3/12	(4.2)	3/12	79	Ⅳ H15f	黒褐色土層						154	
3350	袴腰形香炉	ⅠB	10.6	3/12	−	−	(4.5)	3/12	36	d1d2	北壁4層						154	
3351	袴腰形香炉	ⅠB	11.0	1/12	−	−	(4.0)	1/12	27	d1	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						154	
3352	袴腰形香炉	ⅠC	−	−	5.0	2/12	(6.2)	2/12	43	Ⅳ H14g	西壁161層						154	
3353	袴腰形香炉	ⅠB	9.0	4/12	−	−	(4.0)	2/12	38	c3	黒色灰層上層						154	
3354	袴腰形香炉	ⅠB	9.6	3/12	5.5	5/12	6.4	3/12	99	Ⅳ H16f	黒褐色土層						154	104
3355	袴腰形香炉	ⅠB	9.4	5/12	5.0	2/12	5.8	4/12	61	Ⅳ H16h	黒褐色土層						154	
3356	袴腰形香炉	ⅠB	9.0	4/12	−	−	(4.8)	2/12	36	e2d2	東壁5層						154	
3357	袴腰形香炉	ⅠB	9.4	2/12	4.5	2/12	(5.2)	2/12	45	Ⅳ H16h	黒褐色土層						154	
3358	袴腰形香炉	ⅠC	8.6	4/12	4.4	2/12	(5.3)	3/12	66	Ⅳ H15g	黒褐色土層						154	
3359	袴腰形香炉	ⅠC	8.0	1/12	−	−	(5.3)	1/12	21	d1	黒色灰層上層						154	
3360	袴腰形香炉	ⅠC	7.7	4/12	−	−	(5.3)	2/12	34	Ⅳ H16g	黒褐色土層						154	
3361	袴腰形香炉	ⅠC	−	−	4.6	6/12	(6.2)	4/12	64	Ⅳ H14g	131層						154	
3362	袴腰形香炉	ⅠC	−	−	4.2	6/12	(3.9)	3/12	45	Ⅳ H14g	東西トレンチ132層						154	
3363	袴腰形香炉	ⅠC	−	−	4.0	2/12	(4.4)	2/12	27	d1d2	北壁7層						154	
3364	袴腰形香炉	ⅠB	11.9	1/12	6.0	5/12	5.9	2/12	97	e2d2	東壁5層						155	
3365	袴腰形香炉	ⅠB	11.6	1/12	5.7	2/12	5.5	2/12	61	e2	黒色灰層下層メインベルト						155	
3366	袴腰形香炉	ⅠB	1.5	5/12	7.0	12/12	6.1	8/12	241	b3c3	西壁3層						155	105
3367	袴腰形香炉	ⅡA	12.2	3/12	5.6	6/12	6.2	5/12	173	e3	検出(下層)						155	104
3368	袴腰形香炉	ⅡA	13.0	3/12	7.0	4/12	6.1	4/12	119	f2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						155	
3369	袴腰形香炉	ⅡA	13.0	2/12	7.0	2/12	5.4	3/12	81	e3	検出						155	
3370	袴腰形香炉	ⅡA	12.7	2/12	7.0	3/12	5.5	3/12	134	f3	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						155	104
3371	袴腰形香炉	ⅡB	12.1	2/12	6.0	4/12	6.0	5/12	113	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる						155	
3372	袴腰形香炉	ⅡA	12.4	3/12	6.5	3/12	4.8	5/12	100	c3	表土						155	105
3373	袴腰形香炉	ⅡB	11.5	1/12	8.0	6/12	5.1	4/12	140	c2	黒色灰層下層			鉄釉			155	105
3374	袴腰形香炉	ⅡA	12.4	1/12	8.6	3/12	4.7	2/12	55	g3f3	東壁6層			鉄釉			155	105
3375	袴腰形香炉	ⅡA	12.1	2/12	7.0	2/12	4.8	4/12	84	f4	表土			鉄釉			155	105
3376	袴腰形香炉	ⅡA	12.0	1/12	−	−	(4.2)	2/12	26	c3c4	北壁切株下,黒色灰層			鉄釉			155	
3377	袴腰形香炉	ⅡB	11.8	5/12	6.0	5/12	5.4	5/12	140	e2e3	北壁4層						155	105
3378	袴腰形香炉	ⅡB	11.8	6/12	6.8	10/12	5.2	10/12	228	g4	黒色灰層下層						155	105
3379	袴腰形香炉	ⅡB	11.8	5/12	5.2	6/12	4.6	6/12	98	Ⅳ H15h, Ⅳ H15i	東壁41層						155	
3380	袴腰形香炉	ⅡA	12.0	5/12	5.8	3/12	4.9	5/12	110	e4	黒色灰層下層,褐色が強い						155	
3381	袴腰形香炉	ⅡA	13.0	3/12	8.0	4/12	3.5	4/12	49	f2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						155	
3382	袴腰形香炉	ⅡA	11.6	1/12	6.8	12/12	3.7	4/12	138	c3	黒色灰層下層			鉄釉			155	105
3383	袴腰形香炉	ⅡA	11.8	1/12	7.0	3/12	4.9	3/12	65	c3	黒色灰層上層			鉄釉			155	
3384	袴腰形香炉	ⅡB	11.8	2/12	6.6	2/12	4.6	3/12	47	c3c4	北壁			鉄釉			155	
3385	袴腰形香炉	ⅡB	11.3	10/12	6.0	12/12	4.8	11/12	217	Ⅳ H14h, Ⅳ H15h	南壁45層						155	105
3386	袴腰形香炉	ⅡB	11.4	1/12	7.6	5/12	5.5	4/12	1227	c3	黒色灰層下層,褐色土混じる			鉄釉			155	105
3387	袴腰形香炉	ⅡA	11.0	2/12	6.0	6/12	5.0	6/12	105	c3	黒色灰層下層			鉄釉			155	105

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
3388	袴腰形香炉	ⅡB	11.0	1/12	5.4	7/12	5.3	5/12	156	f2	北トレンチ下層						155	106
3389	袴腰形香炉	ⅡB	10.8	2/12	7.0	2/12	5.5	2/12	61	d2	検出						155	
3390	袴腰形香炉	ⅡB	11.9	3/12	7.2	4/12	4.7	5/12	100	c4	黒色灰層下層,赤褐色土･褐色土混じる	分②		鉄釉			155	106
3391	袴腰形香炉	ⅡB	11.0	1/12	7.0	5/12	4.6	4/12	95	f4	黒色灰層上層			鉄釉			155	106
3392	袴腰形香炉	ⅡA	11.6	3/12	6.0	3/12	4.4	3/12	95	g3g4	北壁3層			鉄釉			155	106
3393	袴腰形香炉	ⅡB	11.2	1/12	6.0	3/12	5.2	3/12	101	c3	黒色灰層上層						155	
3394	袴腰形香炉	ⅡB	12.0	2/12	7.0	4/12	4.3	3/12	61	e2	黒色灰層上層						155	
3395	袴腰形香炉	ⅡB	11.3	5/12	7.5	6/12	5.3	3/12	84	d1	黒色灰層						155	106
3396	袴腰形香炉	ⅡB	10.4	1/12	7.2	1/12	(5.9)	3/12	52	f3	検出						155	
3397	袴腰形香炉	ⅡB	11.0	5/12	6.0	6/12	4.8	6/12	126	ⅣH14h, ⅣH14i	東壁42層						155	
3398	袴腰形香炉	ⅡA	10.8	2/12	7.0	3/12	6.1	3/12	136	d1d2	北壁2層						155	
3399	袴腰形香炉	ⅡB	11.4	3/12	5.8	4/12	4.7	3/12	52	f2	北トレンチ						155	
3400	袴腰形香炉	ⅡB	11.2	4/12	8.0	3/12	4.4	4/12	98	ⅣH16f	黒色灰層			鉄釉			155	
3401	袴腰形香炉	ⅡB	11.0	3/12	6.6	7/12	4.3	5/12	97	e4d4	東壁1層						155	106
3402	袴腰形香炉	ⅡB	10.7	4/12	7.0	4/12	4.8	5/12	100	ⅣH13h	表土						155	106
3403	袴腰形香炉	ⅡB	10.6	1/12	−	−	(5.0)	2/12	36	d3	黒色灰層上層			鉄釉			155	
3404	袴腰形香炉	ⅡB	11.4	2/12	−	−	(3.6)	2/12	34	g4	黒色灰層下層,赤褐色土混じる			鉄釉			156	
3405	袴腰形香炉	ⅡB	−	−	7.5	3/12	(2.8)	6/12	69	e2d2	東壁5層			鉄釉			156	
3406	袴腰形香炉	ⅡB	10.2	1/12	5.0	1/12	4.6	1/12	24	c3	黒色灰層上層			鉄釉			156	
3407	袴腰形香炉	ⅡB	10.7	2/12	6.8	7/12	4.5	6/12	136	e3	検出			鉄釉			156	106
3408	袴腰形香炉	ⅡB	11.0	2/12	6.8	4/12	4.2	3/12	55	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる			鉄釉			156	
3409	袴腰形香炉	ⅡB	10.4	2/12	4.4	2/12	5.0	3/12	55	d3d4	北壁4層			鉄釉			156	
3410	袴腰形香炉	ⅡB	10.0	4/12	5.2	1/12	5.5	2/12	57	f4	表土						156	
3411	袴腰形香炉	ⅡB	10.3	5/12	−	−	(4.4)	4/12	71	g3	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						156	
3412	袴腰形香炉	ⅡB	10.4	2/12	6.0	4/12	4.6	3/12	82	ⅣH13h	黄褐色土						156	
3413	袴腰形香炉	ⅡB	10.0	1/12	−	−	(4.1)	1/12	20	d2	黒色灰層下層						156	
3414	袴腰形香炉	ⅡB	9.0	2/12	6.0	1/12	4.0	2/12	21	f2	黒色灰層						156	
3415	袴腰形香炉	ⅡB	9.3	4/12	5.7	10/12	4.4	8/12	92	d2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						156	106
3416	袴腰形香炉	ⅡB	11.5	5/12	7.0	12/12	6.1	8/12	18	d2c1	東壁2層			鉄釉			156	
3417	袴腰形香炉	ⅡC	8.8	3/12	5.0	3/12	3.4	3/12	18	c3	黒色灰層上層			鉄釉			156	
3418	袴腰形香炉	ⅡB	9.2	2/12	5.0	3/12	3.4	3/12	26	f2e2	東壁5層			鉄釉			156	
3419	袴腰形香炉	ⅡC	8.6	2/12	4.0	1/12	3.2	2/12	19	e3d3	東壁5層			鉄釉			156	
3420	袴腰形香炉	ⅡB	9.0	2/12	4.6	7/12	3.1	3/12	55	c3	黒色灰層上層			鉄釉			156	
3421	袴腰形香炉	ⅡB	9.0	2/12	5.4	4/12	2.9	3/12	36	c3	黒色灰層上層			鉄釉			156	
3422	袴腰形香炉	ⅡB	9.4	2/12	5.4	5/12	3.0	3/12	45	f2	北壁10層			鉄釉			156	106
3423	袴腰形香炉	ⅡB	10.0	2/12	7.0	5/12	3.3	5/12	54	e2	検出			鉄釉			156	106
3424	袴腰形香炉	ⅡB	9.4	2/12	−	−	(2.7)	2/12	16	f3	検出			鉄釉			156	
3425	袴腰形香炉	ⅡC	8.2	4/12	−	−	(2.8)	2/12	21	ⅣH14h	97層			鉄釉			156	
3426	袴腰形香炉	ⅡC	10.0	1/12	6.0	3/12	3.0	2/12	30	g3g4	北壁4層			鉄釉			156	
3427	袴腰形香炉	ⅡC	9.4	3/12	6.0	3/12	3.0	2/12	29	ⅣH14i	整地層95層			鉄釉			156	
3428	袴腰形香炉	ⅡC	8.7	2/12	5.4	6/12	2.9	3/12	43	g3	黒色灰層下層,赤褐色土混じる			鉄釉			156	
3429	袴腰形香炉	ⅡC	8.7	1/12	4.6	12/12	3.0	3/12	62	c3	褐色土層,地山直上			鉄釉			156	
3430	袴腰形香炉	ⅡC	8.6	3/12	5.0	3/12	2.6	3/12	33	c3	黒色灰層上層			鉄釉			156	
3431	袴腰形香炉	ⅡC	8.6	3/12	4.6	1/12	(2.6)	1/12	20	f2f3	北壁2層			鉄釉			156	
3432	袴腰形香炉	ⅡC	8.6	3/12	5.0	3/12	3.1	3/12	35	c3	黒色灰層上層			鉄釉			156	
3433	袴腰形香炉	ⅡC	8.0	6/12	5.0	6/12	(3.0)	6/12	59	f2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる			鉄釉			156	106
3434	袴腰形香炉	ⅡC	8.0	3/12	5.4	5/12	3.0	5/12	48	c2	黒色土層下層			鉄釉			156	107
3435	袴腰形香炉	ⅡC	8.3	2/12	4.0	2/12	2.6	2/12	22	ⅣH13g, ⅣH13h	東壁89層			鉄釉			156	
3436	袴腰形香炉	ⅡC	7.8	2/12	5.4	6/12	2.9	3/12	15	c3c4	北壁1層			鉄釉			156	
3437	袴腰形香炉	ⅡC	7.9	4/12	4.5	5/12	2.5	5/12	31	c2	検出（下層）			鉄釉			156	
3438	袴腰形香炉	ⅡC	7.1	2/12	4.0	3/12	2.7	2/12	16	c3	黒色灰層下層,褐色土混じる			鉄釉			156	
3439	袴腰形香炉	ⅡC	9.0	2/12	5.4	7/12	2.8	3/12	25	f2	黒色灰層下層,褐色土混じる			鉄釉			156	
3440	袴腰形香炉	ⅡC	8.0	4/12	4.8	4/12	3.5	4/12	39	c3	黒色灰層上層						156	
3441	袴腰形香炉	ⅡC	8.0	2/12	6.1	5/12	3.9	3/12	53	ⅣH16h	黒褐色土層						156	107
3442	袴腰形香炉	ⅡC	8.5	6/12	4.8	12/12	3.3	10/12	74	f2	黒色灰層			鉄釉			156	107
3443	袴腰形香炉	ⅡC	8.0	4/12	4.0	7/12	2.9	5/12	57	c4	黒色灰層下層,赤褐色土･褐色土混じる						156	107
3444	袴腰形香炉	ⅡC	8.8	2/12	5.0	12/12	3.0	7/12	91	e3d3	北壁5層						156	107
3445	袴腰形香炉	ⅡC	8.2	1/12	4.6	6/12	2.7	2/12	43	e4	黒色灰層下層,褐色が強い						156	
3446	袴腰形香炉	ⅡC	8.4	3/12	5.0	12/12	2.7	6/12	76	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる			鉄釉			156	108
3447	袴腰形香炉	ⅡC	8.0	3/12	4.1	6/12	2.9	5/12	45	f4	黒色灰層上層						156	
3448	袴腰形香炉	ⅡC	7.8	6/12	4.2	10/12	3.0	6/12	74	e3	検出						156	108
3449	袴腰形香炉	ⅡC	7.3	5/12	4.0	12/12	(3.0)	6/12	58	ⅣH13i	表土						156	
3450	袴腰形香炉	ⅡC	7.7	3/12	4.0	6/12	3.1	4/12	34	ⅣH14i, ⅣH15i	南壁41層						156	
3451	袴腰形香炉	ⅡC	8.4	2/12	4.5	12/12	2.8	5/12	81	f3	検出						156	
3452	袴腰形香炉	ⅡC	7.6	4/12	4.8	6/12	2.8	5/12	40	g2	黒色灰層上層						156	107
3453	袴腰形香炉	ⅡC	8.6	6/12	5.0	12/12	2.9	10/12	90	e2	黒色灰層上層	分②					156	107
3454	袴腰形香炉	ⅡC	8.4	2/12	4.4	5/12	3.0	5/12	35	f3	検出（下層）						156	
3455	袴腰形香炉	ⅡC	8.0	2/12	4.0	5/12	3.1	4/12	30	e3d3	東壁5層						156	
3456	袴腰形香炉	ⅡC	8.0	5/12	4.6	6/12	2.6	5/12	38	b3	黒色灰層上層						156	
3457	袴腰形香炉	ⅡC	7.6	3/12	4.8	3/12	2.5	3/12	19	ⅣH14i, ⅣH15i	南壁44層						156	
3458	袴腰形香炉	ⅡC	6.8	4/12	4.4	5/12	2.4	2/12	23	ⅣH14h	灰層上層,暗褐色砂層						156	
3459	袴腰形香炉	ⅡC	7.8	7/12	4.0	12/12	2.3	6/12	75	ⅣH14h, ⅣH14i	南壁20層						156	108
3460	袴腰形香炉	ⅡC	6.6	6/12	4.1	12/12	2.6	9/12	70	f5	褐色土層,黒色灰混じる						156	107
3461	袴腰形香炉	ⅡC	7.6	3/12	4.7	3/12	3.3	3/12	25	ⅣH13h	灰層上層						156	
3462	袴腰形香炉	ⅡC	7.2	8/12	4.6	12/12	3.2	10/12	66	ⅣH16h	黒褐色土層						156	108
3463	袴腰形香炉	ⅡD	5.4	4/12	4.4	5/12	2.7	5/12	22	d3d4	北壁4層						156	
3464	袴腰形香炉	ⅡD	5.2	4/12	3.8	4/12	2.1	4/12	16	ⅣH15g	黒褐色土層						156	108
3465	袴腰形香炉	ⅡD	4.5	6/12	3.6	10/12	2.1	10/12	25	ⅣH16h	褐色土層	分②					156	108
3466	筒形香炉	A	13.6	1/12	12.1	5/12	8.7	3/12	181	ⅣH16h	黒褐色土層						157	108
3467	筒形香炉	A	14.0	2/12	9.9	3/12	8.3	2/12	171	99L	Lトレンチ						157	
3468	筒形香炉	A	14.9	2/12	8.8	4/12	9.6	3/12	250	d3	黒色灰層上層						157	108
3469	筒形香炉	A	14.7	2/12	9.0	1/12	8.8	2/12	128	d3d4	北壁7層						157	
3470	筒形香炉	A	15.6	2/12	9.0	3/12	8.1	2/12	96	ⅣH16g	黒褐色土層						157	
3471	筒形香炉	A	13.8	2/12	9.8	2/12	8.0	2/12	98	ⅣH16g	黒褐色土層						157	
3472	筒形香炉	A	13.6	2/12	10.2	3/12	7.7	2/12	165	ⅣH16g	黒褐色土層						157	
3473	筒形香炉	A	13.8	4/12	9.6	5/12	7.4	4/12	171	ⅣH15g	黒褐色土層						157	
3474	筒形香炉	A	14.0	3/12	−	−	(5.3)	2/12	80	d2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる			鉄釉			157	
3475	筒形香炉	A	12.7	1/12	−	−	(5.2)	1/12	26	98	表採			鉄釉			157	
3476	筒形香炉	A	13.4	4/12	9.5	4/12	7.1	4/12	156	d1	黒色灰層下層			鉄釉			157	108
3477	筒形香炉	A	17.4	3/12	14.0	6/12	7.4	5/12	165	b2	検出						157	
3478	筒形香炉	A	12.4	2/12	7.6	1/12	7.5	5/12	145	ⅣH16f	灰層（褐色土）						157	
3479	筒形香炉	A	12.1	2/12	6.9	6/12	7.5	4/12	188	99G	黒褐色土層						157	
3480	筒形香炉	A	12.4	3/12	8.6	4/12	7.3	3/12	160	c2	検出						157	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉			時期	その他	遺物図	写真図版
3481	筒形香炉	A	11.6	1/12	8.8	6/12	6.8	4/12	115	Ⅳ H13h	トレンチ							157	
3482	筒形香炉	A	12.2	2/12	7.4	4/12	6.5	4/12	157	Ⅳ H15h	131層							157	
3483	筒形香炉	A	12.5	1/12	7.6	6/12	6.4	3/12	162	Ⅳ H15f	黒褐色土層							157	
3484	筒形香炉	A	12.0	3/12	8.0	5/12	6.6	5/12	105	Ⅳ H16g	黒褐色土層							157	
3485	筒形香炉	A	12.4	5/12	8.5	6/12	6.9	5/12	231	Ⅳ H16h	黒褐色土層							157	
3486	筒形香炉	A	12.0	4/12	8.6	4/12	8.0	3/12	170	Ⅳ H16g	赤褐色土層							157	
3487	筒形香炉	A	12.2	5/12	7.5	4/12	6.7	4/12	191	g2g3	北壁2層							157	
3488	筒形香炉	A	12.4	5/12	7.8	6/12	6.6	4/12	199	Ⅳ H16h	黒褐色土層							157	
3489	筒形香炉	A	12.2	3/12	8.0	4/12	5.6	4/12	102	Ⅳ H15g	黒褐色土層							157	
3490	筒形香炉	A	12.6	5/12	9.4	5/12	7.0	5/12	169	c1	北壁2層							157	
3491	筒形香炉	A	12.6	6/12	8.6	12/12	6.3	9/12	539	d2	黒色灰層下層							157	109
3492	筒形香炉	A	12.6	3/12	4.3	12/12	6.3	3/12	207	Ⅳ H14f	174層							157	
3493	筒形香炉	A	12.8	4/12	7.0	12/12	6.3	4/12	221	Ⅳ H16g	黒褐色土層							157	108
3494	筒形香炉	A	12.2	1/12	−	−	(4.5)	1/12	18	d2	検出			鉄釉				157	
3495	筒形香炉	A	10.6	3/12	−	−	(4.7)	3/12	76	d1c1	東壁3層			鉄釉				157	
3496	筒形香炉	A	12.2	2/12	7.4	4/12	6.5	4/12	194	d3c3	東壁4層							157	
3497	筒形香炉	A	11.7	2/12	7.0	3/12	7.3	2/12	133	c2	検出			鉄釉				157	
3498	筒形香炉	A	10.7	6/12	7.0	5/12	6.7	6/12	170	b2	検出							158	109
3499	筒形香炉	A	9.6	2/12	6.4	3/12	(6.2)	2/12	74	e3d3	東壁6層							158	109
3500	筒形香炉	A	13.0	2/12	9.8	1/12	(5.6)	2/12	46	c3	黒色灰層下層, 褐色土混じる							158	109
3501	筒形香炉	A	11.0	2/12	5.7	10/12	6.1	5/12	191	d1d2	北壁4層							158	109
3502	筒形香炉	A	11.0	1/12	8.0	2/12	6.4	3/12	82	d3	黒色灰層下層, 褐色土混じる							158	109
3503	筒形香炉	A	10.6	4/12	9.0	1/12	(5.9)	3/12	94	Ⅳ H15f	北壁175層							158	109
3504	筒形香炉	A	11.0	3/12	5.8	6/12	6.4	5/12	133	Ⅳ H16g	赤褐色土層							158	109
3505	筒形香炉	A	11.1	2/12	7.0	4/12	6.6	3/12	138	Ⅳ H13h, Ⅳ H14h	南壁94層							158	
3506	筒形香炉	A	12.0	5/12	5.9	8/12	(5.7)	5/12	176	d2	黒色灰層							158	110
3507	筒形香炉	A	10.4	1/12	6.2	1/12	6.2	3/12	66	Ⅳ H14g	161層							158	
3508	筒形香炉	A	11.2	2/12	7.0	6/12	6.4	4/12	156	d2	黒色灰層上層							158	
3509	筒形香炉	A	11.4	2/12	8.6	4/12	7.0	3/12	110	Ⅳ H15g	黒褐色土層							158	
3510	筒形香炉	A	11.6	3/12	4.0	5/12	(6.9)	3/12	143	d2d3	北壁8層							158	
3511	筒形香炉	A	12.0	4/12	7.4	12/12	7.1	9/12	374	Ⅳ H13h	南北トレンチ, 整地層							158	
3512	筒形香炉	A	12.0	5/12	6.8	5/12	6.5	5/12	155	d1	黒色灰層							158	
3513	筒形香炉	A	12.0	3/12	7.4	6/12	6.8	4/12	116	b1c1	西壁3層							158	
3514	筒形香炉	A	12.0	3/12	8.0	6/12	6.7	5/12	189	Ⅳ H15g	黒褐色土層							158	
3515	筒形香炉	A	12.3	4/12	8.4	4/12	6.7	5/12	162	d1	黒色灰層							158	
3516	筒形香炉	A	11.7	3/12	9.4	7/12	7.3	5/12	174	c2	検出							158	
3517	筒形香炉	A	11.8	4/12	7.5	6/12	7.2	3/12	166	Ⅳ H15f	黒褐色土層							158	
3518	筒形香炉	A	11.7	2/12	7.0	5/12	7.3	3/12	154	Ⅳ H16g	赤褐色土層							158	
3519	筒形香炉	A	11.7	5/12	7.7	5/12	7.2	5/12	205	b1	黒色灰層							158	
3520	筒形香炉	A	11.6	5/12	8.0	6/12	6.3	5/12	157	Ⅳ H13h	灰層上層							158	
3521	筒形香炉	A	11.3	3/12	8.4	6/12	6.9	5/12	160	c1c2	北壁4層							158	
3522	筒形香炉	A	11.2	2/12	7.6	3/12	6.6	4/12	115	d1	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる							158	
3523	筒形香炉	A	12.0	4/12	8.4	4/12	6.8	4/12	180	Ⅳ H16f	黒色灰層							158	
3524	筒形香炉	A	10.6	3/12	8.2	4/12	6.8	4/12	145	Ⅳ H16f	黒色灰層							158	
3525	筒形香炉	A	11.5	1/12	8.0	12/12	7.0	7/12	184	Ⅳ H16g	赤褐色土層							158	
3526	筒形香炉	A	11.8	4/12	8.0	4/12	6.8	3/12	121	99L	Lトレンチ							158	
3527	筒形香炉	A	10.6	1/12	6.4	6/12	7.1	2/12	135	Ⅳ H15g	黒褐色土層							158	
3528	筒形香炉	A	11.6	1/12	7.6	12/12	6.4	3/12	119	Ⅳ H13h	トレンチ窯前							158	
3529	筒形香炉	A	11.6	4/12	7.0	5/12	6.6	5/12	150	d1	黒色灰層							158	
3530	筒形香炉	A	11.0	3/12	8.0	3/12	6.9	3/12	108	Ⅳ H14g, Ⅳ H15g	南壁160層							158	
3531	筒形香炉	A	11.6	4/12	7.4	4/12	6.7	5/12	126	d1	黒色灰層下層							158	
3532	筒形香炉	A	11.6	3/12	7.6	3/12	6.0	2/12	94	99L	Lトレンチ							159	
3533	筒形香炉	A	11.2	2/12	6.0	5/12	6.3	4/12	120	Ⅳ H13i	トレンチ							159	
3534	筒形香炉	A	11.0	6/12	7.6	6/12	6.2	6/12	146	Ⅳ H15g	西壁167層							159	
3535	筒形香炉	A	11.0	4/12	8.6	6/12	6.5	5/12	181	b2	黒色灰層下層							159	
3536	筒形香炉	A	10.0	3/12	8.0	5/12	6.3	3/12	116	Ⅳ H15g	灰層上層							159	
3537	筒形香炉	A	10.2	5/12	7.5	5/12	6.0	5/12	175	d2	黒色灰層下層, 褐色土混じる							159	
3538	筒形香炉	A	11.4	3/12	7.6	12/12	6.5	8/12	210	Ⅳ H15f	黒褐色土層							159	
3539	筒形香炉	A	11.0	4/12	6.3	1/12	6.8	3/12	108	d1	黒色灰層							159	
3540	筒形香炉	A	11.0	4/12	6.8	4/12	6.4	3/12	120	Ⅳ H16f	黒褐色土層							159	
3541	筒形香炉	A	10.6	5/12	7.4	5/12	6.7	4/12	185	99A	表採							159	
3542	筒形香炉	A	10.4	1/12	7.4	6/12	6.2	4/12	86	Ⅳ H15f	黒褐色土層							159	
3543	筒形香炉	A	11.0	5/12	8.0	8/12	6.5	6/12	196	b2	検出							159	
3544	筒形香炉	A	11.3	6/12	7.0	6/12	6.5	6/12	206	Ⅳ H16f	黒褐色土層							159	
3545	筒形香炉	A	11.3	4/12	9.5	6/12	6.6	4/12	179	Ⅳ H13e	褐色土層							159	
3546	筒形香炉	A	11.3	3/12	7.0	3/12	5.9	3/12	118	Ⅳ H15g	167層							159	
3547	筒形香炉	A	11.2	4/12	7.0	11/12	6.2	6/12	116	Ⅳ H14h	灰層上層, 暗褐色砂層							159	
3548	筒形香炉	A	10.6	1/12	8.0	12/12	6.6	4/12	186	Ⅳ H15g	黒褐色土層							159	
3549	筒形香炉	A	10.6	4/12	7.4	6/12	6.4	5/12	125	Ⅳ H15g	黒褐色土層							159	
3550	筒形香炉	A	11.3	5/12	7.0	5/12	6.6	5/12	140	d2	黒色土層上層							159	
3551	筒形香炉	A	10.8	5/12	8.0	4/12	6.2	4/12	151	Ⅳ H15f	黒褐色土層							159	
3552	筒形香炉	A	11.3	6/12	7.4	6/12	6.9	5/12	181	Ⅳ H16h	黒褐色土層							159	
3553	筒形香炉	A	12.0	3/12	8.7	8/12	6.5	5/12	230	c2c3	北壁4層							159	
3554	筒形香炉	A	12.0	1/12	7.4	3/12	6.7	3/12	163	Ⅳ H15g	黒褐色土層							159	
3555	筒形香炉	A	11.8	2/12	9.0	6/12	6.7	4/12	140	Ⅳ H16g	褐色土層							159	
3556	筒形香炉	A	11.8	12/12	9.0	12/12	7.0	1/12	336	99A	表採							159	110
3557	筒形香炉	A	11.4	4/12	7.4	11/12	6.5	6/12	258	Ⅳ H16g	黒褐色土層							159	
3558	筒形香炉	A	11.0	4/12	8.0	3/12	6.1	2/12	112	Ⅳ H16g	黒褐色土層							159	
3559	筒形香炉	A	11.4	6/12	7.0	7/12	6.0	6/12	245	Ⅳ H14i	灰層上層, 暗褐色砂層							159	
3560	筒形香炉	A	10.8	12/12	7.0	12/12	7.1	12/12	348	c1	黒色灰層下層							159	110
3561	筒形香炉	A	11.5	12/12	8.2	12/12	6.9	12/12	406	c1c2	北壁4層	分②						159	110
3562	筒形香炉	A	10.9	12/12	8.0	11/12	6.3	11/12	390	Ⅳ H9h	黒色灰層	No.3						159	111
3563	筒形香炉	A	11.8	5/12	7.7	6/12	6.9	5/12	235	c1	黒色灰層下層							159	
3564	筒形香炉	A	12.0	4/12	8.4	7/12	6.8	5/12	165	d2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる							159	111
3565	筒形香炉	A	12.0	5/12	7.0	9/12	6.6	6/12	225	d1	北壁25, 26層							159	
3566	筒形香炉	A	11.7	4/12	6.2	6/12	6.0	5/12	171	Ⅳ H16h	黒褐色土層							160	
3567	筒形香炉	A	11.4	2/12	−	−	(6.5)	3/12	170	Ⅳ H16g	赤褐色土層							160	110
3568	筒形香炉	A	11.8	4/12	7.0	5/12	6.2	4/12	103	99A	表採							160	
3569	筒形香炉	A	12.0	6/12	7.7	12/12	5.9	6/12	252	Ⅳ H15g	黒褐色土層							160	
3570	筒形香炉	A	12.0	3/12	8.0	4/12	6.0	2/12	115	Ⅳ H16f	黒褐色土層							160	
3571	筒形香炉	A	11.4	3/12	7.2	12/12	6.3	7/12	214	Ⅳ H14g, Ⅳ H15g	南壁133層							160	
3572	筒形香炉	A	12.0	2/12	8.4	4/12	6.1	4/12	126	d2	黒色灰層上層							160	111
3573	筒形香炉	A	11.5	1/12	7.0	12/12	6.5	6/12	193	d1	黒色灰層下層							160	
3574	筒形香炉	A	10.8	2/12	4.5	4/12	6.9	3/12	84	Ⅳ H15h	灰層上層							160	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
3575	筒形香炉	A	12.0	4/12	7.0	4/12	6.4	4/12	163	d2	黒色灰層上層						160	111
3576	筒形香炉	A	11.6	4/12	7.0	4/12	6.8	4/12	129	Ⅳ H16i	黒褐色土層						160	
3577	筒形香炉	A	11.0	2/12	7.0	4/12	6.4	4/12	111	f2	北トレンチ						160	
3578	筒形香炉	A	11.3	2/12	8.0	12/12	6.5	6/12	216	Ⅳ H15g	北壁167層						160	
3579	筒形香炉	A	11.2	2/12	6.6	3/12	6.4	2/12	105	Ⅳ H15g	黒褐色土層						160	
3580	筒形香炉	A	11.0	4/12	8.0	4/12	6.7	3/12	121	Ⅳ H15g	黒褐色土層						160	
3581	筒形香炉	A	11.0	4/12	7.4	6/12	5.9	5/12	134	c1	黒色灰層下層						160	
3582	筒形香炉	A	11.0	3/12	8.0	6/12	6.5	3/12	115	Ⅳ H15g	黒褐色土層						160	
3583	筒形香炉	A	11.0	5/12	7.6	3/12	6.1	6/12	173	f2	黒色灰層中						160	
3584	筒形香炉	A	10.0	5/12	6.0	5/12	6.4	5/12	119	Ⅳ H16g	黒褐色土層						160	
3585	筒形香炉	A	10.1	4/12	7.0	4/12	6.2	4/12	131	Ⅳ H16f	黒色灰層						160	
3586	筒形香炉	A	11.3	3/12	7.0	3/12	5.9	3/12	236	Ⅳ H16g	黒褐色土層						160	
3587	筒形香炉	A	11.0	3/12	7.2	3/12	5.8	4/12	90	Ⅳ H15g	黒褐色土層						160	
3588	筒形香炉	A	10.7	8/12	6.0	12/12	5.4	9/12	191	Ⅳ H15f	黒褐色土層						160	111
3589	筒形香炉	A	10.2	2/12	5.0	12/12	5.7	4/12	140	Ⅳ H15f	黒褐色土層						160	
3590	筒形香炉	A	11.2	9/12	6.0	12/12	5.6	10/12	230	Ⅳ H12e	黒色灰層	No. 16					160	111
3591	筒形香炉	A	11.2	2/12	5.7	4/12	5.7	2/12	88	Ⅳ H15g	黒褐色土層						160	
3592	筒形香炉	A	10.6	3/12	5.0	3/12	(6.3)	3/12	102	b2	黒色灰層						160	
3593	筒形香炉	A	11.1	7/12	7.4	12/12	6.6	8/12	190	f7	表土						160	111
3594	筒形香炉	A	10.1	2/12	6.0	3/12	6.7	3/12	108	Ⅳ H16g	黒褐色土層						160	
3595	筒形香炉	A	10.4	9/12	7.0	2/12	6.0	9/12	261	d3	北壁8層						160	111
3596	筒形香炉	A	10.6	3/12	8.0	3/12	5.5	3/12	96	Ⅳ H15g	黒褐色土層						160	
3597	筒形香炉	A	10.2	3/12	9.0	4/12	6.1	4/12	112	d4	黒色灰層上層, 焼台多い						160	
3598	筒形香炉	A	10.7	7/12	6.4	12/12	6.3	10/12	230	Ⅳ H15g	173層						160	111
3599	筒形香炉	A	10.6	4/12	6.7	6/12	5.4	5/12	132	d1	黒色灰層						160	
3600	筒形香炉	A	10.1	2/12	6.4	5/12	5.3	3/12	83	Ⅳ H16g	赤褐色土層						160	
3601	筒形香炉	A	10.5	2/12	5.6	12/12	5.2	6/12	152	Ⅳ H13g, Ⅳ H14g	南壁8層						160	
3602	筒形香炉	A	−	−	5.0	3/12	(2.8)	2/12	104	Ⅳ H16f	黒色灰層						161	
3603	筒形香炉	A	−	−	5.0	1/12	(4.4)	2/12	100	d2	黒色灰層下層						161	
3604	筒形香炉	A	−	−	5.5	12/12	(5.4)	3/12	355	Ⅳ H13g, Ⅳ H14g	南壁5層						161	
3605	筒形香炉	A	−	−	7.2	1/12	(4.6)	2/12	71	f2e2	東壁5層						161	
3606	筒形香炉	A	−	−	10.0	3/12	(6.0)	2/12	72	e2d3	東壁5層						161	
3607	筒形香炉	A	−	−	4.4	2/12	(2.8)	1/12	50	e6	褐色土層, 地山直上						161	
3608	筒形香炉	A	−	−	4.0	7/12	(4.2)	4/12	86	Ⅳ H15g	黒褐色土層						161	
3609	筒形香炉	A	−	−	3.8	12/12	(4.0)	5/12	238	Ⅳ H15g	黒褐色土層						161	
3610	筒形香炉	A	−	−	4.4	12/12	(2.9)	5/12	183	Ⅳ H15g	黒褐色土層						161	
3611	筒形香炉	A	−	−	4.0	6/12	(2.5)	3/12	80	e2	黒色灰層上層						161	
3612	筒形香炉	B	−	−	8.0	12/12	(3.8)	6/12	105	Ⅳ H16h	黒褐色土層						161	
3613	筒形香炉	B	−	−	3.0	12/12	(3.6)	3/12	76	Ⅳ H15g	黒褐色土層						161	
3614	筒形香炉	B	8.0	6/12	−	−	(5.2)	3/12	70	99A	表採						161	111
3615	筒形香炉	B	8.0	3/12	6.0	3/12	4.7	4/12	76	c3	黒色灰層上層						161	112
3616	筒形香炉	C	8.0	2/12	−	−	(4.4)	2/12	24	Ⅳ H15h	黒褐色土層						161	112
3617	筒形香炉	C	8.0	2/12	−	−	(4.6)	2/12	30	e2	黒色灰層下層メインベルト						161	112
3618	筒形香炉	B	9.0	5/12	4.8	5/12	4.4	5/12	60	Ⅳ H16g	赤褐色土層						161	
3619	筒形香炉	B	9.0	2/12	4.6	6/12	4.6	5/12	56	Ⅳ H15g	黒褐色土層						161	
3620	筒形香炉	B	8.8	2/12	4.8	12/12	4.8	6/12	112	Ⅳ H16h	黒褐色土層						161	
3621	筒形香炉	B	9.0	2/12	6.4	12/12	5.6	6/12	122	Ⅳ H16g	黒褐色土層						161	
3622	筒形香炉	B	8.4	8/12	5.4	12/12	5.3	9/12	180	Ⅳ H16g	黒褐色土層						161	
3623	筒形香炉	B	8.5	2/12	5.5	10/12	5.0	6/12	106	Ⅳ H15g	黒褐色土層						161	
3624	筒形香炉	B	9.0	2/12	5.4	12/12	5.8	5/12	76	Ⅳ H16f	黒色灰層						161	
3625	筒形香炉	B	10.0	1/12	5.8	2/12	5.5	2/12	54	f2f3	北壁2層			鉄釉			161	
3626	筒形香炉	A	10.4	6/12	6.0	6/12	5.8	3/12	127	Ⅳ H16g	黒褐色土層						161	
3627	筒形香炉	B	9.8	3/12	5.8	4/12	5.9	3/12	59	Ⅳ H16g	黒褐色土層						161	
3628	筒形香炉	B	10.2	1/12	5.6	12/12	5.0	4/12	185	f2f4	東壁4, 5層						161	
3629	筒形香炉	B	10.7	2/12	5.0	4/12	5.1	4/12	48	Ⅳ H15g	黒褐色土層						161	
3630	筒形香炉	A	10.6	4/12	6.8	5/12	5.8	4/12	125	Ⅳ H16g	赤褐色土層						161	
3631	筒形香炉	B	9.8	2/12	6.4	6/12	5.1	5/12	90	Ⅳ H14h, Ⅳ H14i	東壁44層						161	
3632	筒形香炉	B	9.9	2/12	5.5	2/12	6.6	2/12	88	c1	黒色灰層						161	
3633	筒形香炉	A	10.3	1/12	7.6	6/12	6.1	4/12	82	Ⅳ H16g	赤褐色土層						161	
3634	筒形香炉	B	9.0	2/12	6.0	7/12	5.7	3/12	113	c1c2	北壁4層						161	
3635	筒形香炉	B	9.6	1/12	7.0	2/12	6.7	2/12	78	Ⅳ H14h, Ⅳ H14i	東壁149層						161	
3636	筒形香炉	B	9.9	2/12	5.9	7/12	5.9	2/12	92	Ⅳ H13g	87層						161	
3637	筒形香炉	B	8.1	10/12	4.9	11/12	4.8	10/12	150	e2	黒色灰層上層						161	
3638	筒形香炉	B	8.9	7/12	6.0	6/12	5.4	4/12	149	Ⅳ H16f	灰層（褐色土下黒色土）						161	
3639	筒形香炉	B	8.9	2/12	5.7	12/12	4.8	5/12	110	d1	黒色灰層下層						161	
3640	筒形香炉	B	9.3	5/12	5.0	6/12	4.4	5/12	76	Ⅳ H15g	167層						161	
3641	筒形香炉	B	8.9	6/12	5.8	6/12	4.9	6/12	77	Ⅳ H16h	黒褐色土層						161	
3642	筒形香炉	B	8.8	4/12	6.0	2/12	5.1	3/12	45	Ⅳ H15h	黒褐色土層						161	
3643	筒形香炉	B	8.9	3/12	6.4	5/12	5.0	5/12	46	Ⅳ H15f	黒褐色土層						161	
3644	筒形香炉	B	9.0	2/12	5.7	12/12	5.2	9/12	116	Ⅳ H15g	黒褐色土層						161	
3645	筒形香炉	B	8.4	4/12	5.5	12/12	4.2	7/12	115	Ⅳ H16g	黒褐色土層						161	
3646	筒形香炉	B	8.8	3/12	5.7	3/12	4.6	3/12	70	Ⅳ H15f, Ⅳ H15g	東壁171層						161	
3647	筒形香炉	B	9.3	2/12	5.6	5/12	4.2	4/12	78	Ⅳ H16g	赤褐色土層						161	
3648	筒形香炉	C	8.0	2/12	5.4	6/12	4.6	5/12	42	Ⅳ H15h	灰層上層						162	
3649	筒形香炉	B	8.3	3/12	5.4	3/12	4.6	4/12	35	Ⅳ H15h	黒褐色土層						162	
3650	筒形香炉	B	8.3	2/12	4.5	12/12	5.0	6/12	92	99L	Lトレンチ						162	
3651	筒形香炉	B	8.3	1/12	5.0	12/12	4.8	4/12	106	d2	黒色灰層下層, 褐色土混じる						162	
3652	筒形香炉	B	8.0	7/12	4.6	1/12	4.2	3/12	98	d3	黒色灰層下層						162	
3653	筒形香炉	B	8.4	9/12	4.0	12/12	4.7	11/12	88	e2	検出						162	112
3654	筒形香炉	B	8.5	9/12	5.0	12/12	4.6	10/12	110	Ⅳ H15h	168層						162	112
3655	筒形香炉	C	8.5	8/12	5.0	12/12	4.3	10/12	100	d2c2	東壁3層						162	
3656	筒形香炉	B	8.7	1/12	5.0	12/12	4.5	11/12	123	Ⅳ H15g	黒褐色土層						162	
3657	筒形香炉	C	8.3	12/12	4.2	12/12	4.5	11/12	131	e2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						162	112
3658	筒形香炉	B	8.4	2/12	4.5	12/12	4.7	8/12	71	e2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						162	
3659	筒形香炉	B	8.2	4/12	4.3	6/12	4.6	6/12	72	Ⅳ H14g, Ⅳ H14h	東壁179層						162	
3660	筒形香炉	B	8.6	10/12	4.6	12/12	4.5	11/12	111	c1	黒色灰層最下部, 褐色土直上						162	112
3661	筒形香炉	B	8.2	5/12	6.0	6/12	4.4	4/12	76	Ⅳ H14h	灰層上層, 暗褐色砂層						162	
3662	筒形香炉	B	8.4	2/12	4.9	6/12	4.0	6/12	49	Ⅳ H16f	黒色灰層						162	
3663	筒形香炉	B	8.5	5/12	5.6	7/12	4.8	6/12	96	d2	黒色灰層下層						162	
3664	筒形香炉	B	6.7	6/12	5.0	6/12	4.2	6/12	81	Ⅳ H16h	黒褐色土層						162	
3665	筒形香炉	C	8.0	1/12	4.6	7/12	3.7	4/12	43	Ⅳ H15h	黒褐色土層						162	
3666	筒形香炉	B	8.5	5/12	5.2	7/12	4.3	5/12	70	d6	灰褐色土層						162	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・軸			時期	その他	遺物図	写真図版
3667	筒形香炉	B	8.5	5/12	4.2	10/12	4.6	6/12	89	Ⅳ H14f	灰層上層							162	
3668	筒形香炉	B	8.2	3/12	4.5	6/12	4.5	3/12	65	Ⅳ H16h	黒褐色土層							162	
3669	筒形香炉	B	8.0	4/12	5.0	4/12	4.2	5/12	48	f3	検出							162	
3670	筒形香炉	B	7.6	9/12	5.5	12/12	4.4	10/12	118	c2d2	東壁3層							162	112
3671	筒形香炉	B	7.7	6/12	5.6	10/12	4.3	6/12	79	Ⅳ H16f	灰層（褐色土下黒色土）							162	
3672	筒形香炉	B	8.1	5/12	4.3	7/12	4.3	7/12	80	c2c3	北壁3層							162	
3673	筒形香炉	B	8.4	3/12	6.0	3/12	4.6	3/12	50	d5	表土,黒色灰層,焼台多い							162	
3674	筒形香炉	B	8.0	4/12	5.0	12/12	4.8	8/12	104	c3	黒色灰層上層							162	
3675	筒形香炉	B	8.2	11/12	6.0	12/12	5.2	11/12	162	Ⅳ H16h	黒褐色土層							162	112
3676	筒形香炉	B	8.3	6/12	4.8	11/12	5.2	7/12	140	c1	北壁2層							162	
3677	筒形香炉	B	8.1	11/12	5.0	12/12	4.7	11/12	129	c1	黒色灰層下層							162	112
3678	筒形香炉	B	8.1	2/12	4.5	4/12	4.6	2/12	37	Ⅳ H16g	黒褐色土層							162	
3679	筒形香炉	B	8.1	6/12	5.8	10/12	4.7	6/12	94	Ⅳ H15f	黒褐色土層							162	
3680	筒形香炉	B	7.8	2/12	4.9	12/12	4.4	5/12	76	d2d3	北壁6層							162	
3681	筒形香炉	B	8.2	3/12	5.0	5/12	4.4	4/12	52	d3	黒色灰層上層							162	
3682	筒形香炉	B	7.6	2/12	4.2	5/12	5.0	5/12	43	Ⅳ H16g	赤褐色土層							162	
3683	筒形香炉	C	7.7	3/12	4.8	12/12	4.2	4/12	55	Ⅳ H16h	黒褐色土層							162	
3684	筒形香炉	B	7.6	3/12	4.0	6/12	4.5	5/12	62	Ⅳ H15i	黒褐色土層							162	
3685	筒形香炉	C	8.2	4/12	5.1	12/12	4.3	7/12	103	d2	黒色灰層下層							162	
3686	筒形香炉	B	8.0	4/12	4.0	3/12	4.9	3/12	46	Ⅳ H14h, Ⅳ H14i	東壁44層							162	
3687	筒形香炉	B	7.8	2/12	4.8	5/12	4.6	2/12	46	Ⅳ H16i	黒褐色土層							162	
3688	筒形香炉	B	7.9	4/12	5.5	12/12	4.5	4/12	100	Ⅳ H15g	灰層上層							162	
3689	筒形香炉	B	8.1	4/12	5.2	12/12	4.8	5/12	95	b1b2	北壁2層							162	
3690	筒形香炉	B	8.2	7/12	4.4	10/12	4.2	7/12	81	f2	北トレンチ							162	
3691	筒形香炉	B	7.9	10/12	5.8	12/12	4.0	11/12	134	Ⅳ H15g	黒褐色土層	分②						162	113
3692	筒形香炉	B	7.6	2/12	4.9	12/12	4.1	3/12	56	d2c2	東壁2層							162	
3693	筒形香炉	C	7.9	11/12	4.6	12/12	4.4	11/12	128	Ⅳ H9h		No.3						162	113
3694	筒形香炉	C	8.3	12/12	4.2	12/12	4.7	11/12	90	f3f4	東壁4層							162	
3695	筒形香炉	C	7.4	6/12	4.6	12/12	3.9	9/12	89	Ⅳ H14i, Ⅳ H15i	南壁45層							162	
3696	筒形香炉	B	7.5	3/12	5.0	3/12	4.2	3/12	46	Ⅳ H13i	灰層上層							162	
3697	筒形香炉	C	7.2	2/12	4.9	6/12	4.3	3/12	42	Ⅳ H15i	黒褐色土層							162	
3698	筒形香炉	B	8.0	2/12	−	−	(4.9)	2/12	20	Ⅳ H15h	東半北壁							163	
3699	筒形香炉	B	7.4	1/12	2.4	12/12	4.2	4/12	30	Ⅳ H15g	黒褐色土層							163	
3700	筒形香炉	C	6.8	2/12	−	−	(3.4)	1/12	20	Ⅳ H14g	東西トレンチ132層							163	113
3701	筒形香炉	C	7.7	6/12	4.7	12/12	4.3	7/12	95	d1	黒色灰層下層							163	
3702	筒形香炉	C	4.5	6/12	5.2	6/12	4.6	5/12	50	Ⅳ H16g	黒褐色土層							163	
3703	筒形香炉	C	7.4	6/12	5.6	9/12	4.2	8/12	70	Ⅳ H15f	黒褐色土層							163	
3704	筒形香炉	C	7.0	1/12	4.5	12/12	4.6	7/12	70	Ⅳ H15g	黒褐色土層							163	
3705	筒形香炉	C	7.2	5/12	4.6	7/12	4.4	4/12	65	d3	黒色灰層上層							163	
3706	筒形香炉	B	7.6	9/12	4.4	9/12	4.2	10/12	85	Ⅳ H16h	黒褐色土層							163	
3707	筒形香炉	C	7.4	5/12	4.6	12/12	3.8	7/12	65	Ⅳ H14i, Ⅳ H15i	南壁45層							163	
3708	筒形香炉	C	7.3	6/12	5.0	12/12	4.1	7/12	80	Ⅳ H15h	褐色土層							163	
3709	筒形香炉	C	7.4	4/12	4.4	7/12	4.4	5/12	55	Ⅳ H15g	黒褐色土層							163	
3710	筒形香炉	C	7.4	12/12	4.8	12/12	4.4	12/12	115	d1	褐色土層,地山直上	No.4						163	113
3711	筒形香炉	C	6.8	2/12	4.1	9/12	4.4	3/12	65	Ⅳ H13i	表土							163	
3712	筒形香炉	C	7.3	1/12	5.0	4/12	4.2	2/12	30	Ⅳ H14h	西壁213層							163	
3713	筒形香炉	C	6.8	3/12	4.2	3/12	4.3	2/12	30	99B	表採							163	
3714	筒形香炉	C	7.4	2/12	4.0	3/12	3.9	3/12	30	Ⅳ H15h	黒褐色土層							163	
3715	筒形香炉	C	7.2	5/12	5.0	6/12	3.9	5/12	35	Ⅳ H15h	黒褐色土層							163	
3716	筒形香炉	C	7.5	11/12	5.3	12/12	4.2	11/12	105	Ⅳ H14g, Ⅳ H14h	東壁8層							163	113
3717	筒形香炉	C	7.0	12/12	4.8	12/12	4.2	11/12	90	Ⅳ H14h	南北トレンチ,整地層							163	113
3718	筒形香炉	C	7.2	3/12	5.0	3/12	4.1	3/12	30	Ⅳ H15g	黒褐色土層							163	
3719	筒形香炉	C	7.0	6/12	4.8	6/12	3.7	6/12	45	d1	黒色灰層下層,赤褐色土混じる							163	
3720	筒形香炉	C	6.7	4/12	4.9	3/12	4.0	3/12	25	Ⅳ H14h	南北トレンチ,整地層							163	
3721	筒形香炉	C	7.5	7/12	4.1	12/12	4.1	10/12	90	99A	表採							163	113
3722	筒形香炉	B	6.5	12/12	3.8	12/12	4.0	12/12	105	Ⅳ H15g	褐色土層	分②						163	113
3723	筒形香炉	C	6.6	5/12	4.8	6/12	3.7	5/12	45	Ⅳ H15g	北壁167層							163	
3724	筒形香炉	C	6.7	3/12	3.6	12/12	4.0	7/12	60	Ⅳ H15g	黒褐色土層							163	
3725	筒形香炉	C	6.8	10/12	4.0	12/12	3.3	11/12	65	d2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる							163	113
3726	筒形香炉	C	6.7	9/12	3.7	12/12	3.4	10/12	65	c2	検出							163	
3727	筒形香炉	C	6.2	12/12	4.0	12/12	3.8	11/12	75	d2c2	東壁4層							163	113
3728	筒形香炉	C	6.8	4/12	4.0	12/12	3.8	6/12	50	Ⅳ H15f	黒褐色土層							163	
3729	筒形香炉	C	6.4	4/12	3.7	12/12	3.9	9/12	55	Ⅳ H15f	黒褐色土層							163	
3730	筒形香炉	C	6.5	1/12	2.7	6/12	3.9	5/12	35	Ⅳ H15f	灰層下層							163	
3731	筒形香炉	C	6.8	7/12	4.1	6/12	3.3	5/12	50	Ⅳ H16i	表土下,黒褐色土層							163	
3732	筒形香炉	C	6.5	5/12	3.9	7/12	2.9	3/12	30	Ⅳ H15g	黒褐色土層							163	
3733	筒形香炉	C	6.6	12/12	4.0	11/12	3.4	11/12	70	Ⅳ H15g	褐色土層							163	114
3734	筒形香炉	C	6.2	6/12	4.0	4/12	3.3	4/12	40	Ⅳ H15g, Ⅳ H15h	東壁169層							163	
3735	筒形香炉	C	6.6	10/12	4.0	10/12	3.3	10/12	65	Ⅳ H16h	黒褐色土層							163	
3736	筒形香炉	C	6.4	10/12	3.7	12/12	3.7	10/12	70	Ⅳ H16h	表土下,黒褐色土層							163	
3737	筒形香炉	C	6.2	5/12	3.9	6/12	3.5	6/12	35	Ⅳ H16g	黒褐色土層							163	
3738	筒形香炉	C	6.2	6/12	4.0	6/12	3.6	6/12	40	Ⅳ H16g	黒褐色土層							163	
3739	筒形香炉	C	6.3	2/12	3.6	6/12	3.9	3/12	20	c1	黒色灰層下層							163	
3740	筒形香炉	C	6.2	8/12	4.1	7/12	3.4	6/12	45	c4	黒色灰層最下部,褐色土直上							163	
3741	筒形香炉	C	6.0	11/12	3.2	12/12	3.2	11/12	65	c2c3	北壁3層							163	114
3742	筒形香炉	D	5.8	10/12	3.1	12/12	3.2	11/12	50	f3	検出							163	114
3743	筒形香炉	D	5.8	9/12	3.3	12/12	3.5	10/12	50	f2	北トレンチ							163	
3744	筒形香炉	C	6.0	10/12	4.2	12/12	3.4	10/12	60	Ⅳ H13h, Ⅳ H14h	南壁18層							163	
3745	筒形香炉	C	6.0	2/12	3.3	12/12	3.7	4/12	40	Ⅳ H16g	黒褐色土層							163	
3746	筒形香炉	D	5.2	2/12	3.8	11/12	3.4	5/12	35	Ⅳ H15h	黒褐色土層							163	
3747	筒形香炉	D	5.9	10/12	3.4	12/12	3.8	11/12	65	Ⅳ H16g	赤褐色土層							163	
3748	筒形香炉	D	5.8	7/12	3.4	10/12	3.5	10/12	45	Ⅳ H13h	東西トレンチ,整地層							163	
3749	筒形香炉	D	5.8	3/12	3.2	12/12	3.3	8/12	45	d3	黒色灰層上層							163	
3750	筒形香炉	D	5.6	11/12	3.6	12/12	3.1	11/12	55	Ⅳ H14g	西壁161層							163	114
3751	筒形香炉	D	5.6	2/12	4.0	5/12	3.6	4/12	20	f4	表土							163	
3752	筒形香炉	C	6.0	4/12	3.6	4/12	3.6	3/12	25	e5d5	東壁2層							163	
3753	筒形香炉	D	5.6	2/12	3.6	12/12	3.5	7/12	40	Ⅳ H16g	赤褐色土層							163	
3754	筒形香炉	C	6.0	5/12	4.0	7/12	3.0	6/12	30	Ⅳ H16i	黒褐色土層							163	
3755	筒形香炉	C	6.0	7/12	3.0	10/12	3.1	7/12	40	Ⅳ H16i	黒褐色土層							163	
3756	筒形香炉	D	5.9	11/12	4.0	11/12	3.2	11/12	50	d1	黒色灰層下層,赤褐色土混じる							163	114
3757	筒形香炉	D	5.7	7/12	3.2	10/12	3.0	7/12	30	d1	黒色灰層							163	
3758	筒形香炉	C	6.0	11/12	3.0	12/12	3.3	11/12	60	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる							163	114

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
3759	筒形香炉	C	6.1	8/12	3.7	12/12	3.2	8/12	50	Ⅳ H15f	灰層上層						163	
3760	筒形香炉	D	5.4	12/12	3.0	12/12	3.3	12/12	45	Ⅳ H14h	整地層3						164	114
3761	筒形香炉	D	5.7	6/12	3.2	7/12	3.0	6/12	35	b3c3	西壁3層						164	
3762	筒形香炉	D	5.3	6/12	3.0	6/12	3.3	6/12	30	Ⅳ H16i	黒褐色土層						164	
3763	筒形香炉	D	5.3	5/12	3.2	12/12	2.9	5/12	35	d1d2	北壁3層						164	
3764	筒形香炉	D	5.7	12/12	3.4	12/12	2.7	11/12	45	b2b3	北壁3層						164	114
3765	筒形香炉	D	5.7	9/12	3.4	12/12	3.1	11/12	50	b1b2	北壁1層						164	
3766	筒形香炉	D	5.6	8/12	3.8	9/12	3.5	9/12	50	Ⅳ H16h	黒褐色土層						164	
3767	筒形香炉	D	5.9	10/12	3.2	12/12	3.3	11/12	55	c2c3	北壁1層						164	
3768	筒形香炉	D	5.7	10/12	3.5	12/12	2.9	10/12	40	f2	黒色灰層中						164	
3769	筒形香炉	D	5.6	7/12	3.0	12/12	3.2	7/12	45	Ⅳ H13h, Ⅳ H14h	南壁95層						164	
3770	筒形香炉	D	5.3	6/12	3.6	6/12	2.9	6/12	25	99L	Lトレンチ						164	
3771	筒形香炉	D	5.5	10/12	3.5	12/12	3.0	10/12	40	e2d2	東壁5層						164	
3772	筒形香炉	D	5.6	12/12	3.8	12/12	3.6	12/12	60	d2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						164	114
3773	筒形香炉	D	5.6	12/12	3.8	12/12	3.9	12/12	60	c2c3	北壁5層						164	114
3774	筒形香炉	D	5.7	2/12	4.0	12/12	3.5	4/12	40	d4	黒色灰層下層, 焼台多い						164	
3775	筒形香炉	D	5.6	5/12	4.1	6/12	3.8	5/12	35	d3	黒色灰層						164	
3776	筒形香炉	D	6.9	6/12	4.0	6/12	3.6	5/12	40	Ⅳ H14g	灰層上層						164	
3777	筒形香炉	D	5.7	5/12	3.5	10/12	3.8	4/12	45	d4	表土						164	
3778	筒形香炉	D	5.7	12/12	3.3	12/12	3.6	12/12	55	d2	黒色灰層上層						164	114
3779	筒形香炉	D	5.3	12/12	3.8	12/12	3.4	12/12	60	Ⅳ H9h	褐色土層						164	115
3780	筒形香炉	D	5.0	12/12	3.8	12/12	3.6	11/12	105	Ⅳ H15g	黒褐色土層						164	114
3781	筒形香炉	D	5.3	8/12	3.4	12/12	3.9	9/12	50	d2	黒色灰層上層						164	
3782	筒形香炉	D	5.2	12/12	3.9	12/12	3.3	11/12	50	f4	表土						164	115
3783	筒形香炉	D	5.3	6/12	4.3	9/12	3.2	7/12	35	d4	表土						164	
3784	筒形香炉	D	5.0	6/12	3.2	12/12	3.5	8/12	40	b2	黒色灰層下層						164	
3785	筒形香炉	D	5.4	10/12	3.2	12/12	3.5	10/12	45	e2e3	東壁7層						164	
3786	筒形香炉	D	5.2	4/12	3.5	10/12	3.6	7/12	35	c3	黒色灰層上層						164	
3787	筒形香炉	D	5.2	12/12	3.8	10/12	3.5	10/12	45	b2	黒色灰層下層, 褐色土混じる						164	
3788	筒形香炉	D	4.8	12/12	4.0	12/12	3.5	12/12	60	Ⅳ H10i	褐色土層						164	115
3789	筒形香炉	D	4.8	12/12	3.5	12/12	3.4	12/12	65	e3	検出						164	
3790	筒形香炉	D	5.2	6/12	3.8	6/12	3.0	6/12	25	Ⅳ H16g	赤褐色土層						164	
3791	筒形香炉	D	5.4	9/12	3.2	12/12	3.2	10/12	60	c2	黒色灰層下層						164	
3792	筒形香炉	D	5.2	3/12	3.0	10/12	3.2	4/12	30	d4	黒色灰層						164	
3793	筒形香炉	D	5.2	5/12	3.2	6/12	3.2	6/12	30	Ⅳ H16g	赤褐色土層						164	
3794	筒形香炉	D	5.8	10/12	3.5	12/12	3.3	10/12	70	f3e4	東壁4層						164	
3795	筒形香炉	D	5.5	11/12	3.2	12/12	2.8	11/12	40	Ⅳ H15g	黒褐色土層						164	115
3796	筒形香炉	D	4.9	1/12	2.8	12/12	2.7	7/12	30	d1	黒色灰層						164	
3797	筒形香炉	D	4.8	6/12	3.8	6/12	3.2	6/12	40	c3	黒色灰層上層						164	
3798	筒形香炉	D	5.0	6/12	3.2	12/12	3.2	8/12	40	Ⅳ H15g	黒褐色土層						164	
3799	筒形香炉	D	5.0	4/12	3.4	11/12	3.5	7/12	35	b1c1	西壁3層						164	
3800	筒形香炉	D	5.2	8/12	4.0	8/12	3.2	8/12	30	Ⅳ H16g	黒褐色土層						164	
3801	筒形香炉	D	5.0	6/12	3.6	11/12	2.9	6/12	35	d1d2	北壁4層						164	
3802	筒形香炉	D	4.8	5/12	3.4	12/12	3.2	10/12	45	d2	黒色灰層下層						164	
3803	筒形香炉	D	4.6	6/12	3.1	10/12	3.5	8/12	40	Ⅳ H14h, Ⅳ H14i	東壁20層						164	
3804	筒形香炉	D	5.0	4/12	3.3	8/12	3.2	5/12	35	Ⅳ H15g	黒褐色土層						164	
3805	筒形香炉	D	5.0	12/12	3.4	7/12	3.1	10/12	50	f2	黒色灰層下層, 褐色土混じる						164	
3806	筒形香炉	D	4.8	6/12	3.0	9/12	2.9	8/12	30	d2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						164	
3807	筒形香炉	D	5.2	3/12	3.4	12/12	3.3	7/12	40	Ⅳ H15i	黒褐色土層						164	
3808	筒形香炉	D	5.0	8/12	3.4	8/12	3.2	8/12	45	Ⅳ H14g	131層						164	
3809	筒形香炉	D	5.1	6/12	3.4	6/12	3.2	6/12	40	d3	黒色灰層上層, 表土						164	
3810	筒形香炉	D	5.0	6/12	3.2	12/12	3.1	7/12	35	Ⅳ H16f	黒色灰層						164	
3811	筒形香炉	D	4.5	11/12	3.0	12/12	3.1	11/12	50	c2c3	北壁3層						164	
3812	筒形香炉	D	5.0	5/12	3.5	6/12	3.2	5/12	20	c3	黒色灰層下層, 褐色土混じる						164	
3813	筒形香炉	D	4.4	2/12	2.8	4/12	3.2	4/12	15	99L	Lトレンチ						164	
3814	筒形香炉	D	4.6	5/12	3.0	4/12	3.4	4/12	25	d2	黒色土層上層						164	
3815	筒形香炉	D	4.5	12/12	3.0	12/12	3.5	12/12	50	b1	黒色灰層下層						164	115
3816	筒形香炉	D	4.6	9/12	3.4	12/12	3.2	10/12	40	f2	北トレンチ						164	
3817	筒形香炉	D	4.6	6/12	3.0	6/12	3.3	5/12	30	Ⅳ H13h, Ⅳ H14h	南壁95層						164	
3818	筒形香炉	D	4.7	6/12	3.2	6/12	3.6	6/12	25	e4	表土						164	
3819	筒形香炉	D	5.0	4/12	3.2	8/12	3.2	7/12	30	99L	Lトレンチ						164	
3820	筒形香炉	D	4.6	3/12	3.4	12/12	3.2	7/12	40	d4	黒色灰層上層						164	
3821	筒形香炉	D	4.7	6/12	3.5	8/12	3.2	8/12	35	Ⅳ H16f	灰層（褐色土）						164	
3822	筒形香炉	D	5.5	4/12	3.2	9/12	3.3	4/12	25	b1c1	西壁2層						164	
3823	筒形香炉	D	4.6	3/12	3.0	5/12	3.0	4/12	10	d2c2	東壁4層						164	
3824	筒形香炉	D	3.7	12/12	3.0	12/12	3.8	12/12	40	Ⅳ H15g	黒褐色土層						164	115
3825	筒形香炉	D	4.6	6/12	3.2	9/12	3.1	7/12	35	e3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						164	
3826	筒形香炉	D	4.4	6/12	3.0	6/12	3.1	6/12	20	c1	黒色灰層下層						164	
3827	筒形香炉	D	4.4	6/12	2.5	6/12	3.0	6/12	25	Ⅳ H15f	西壁トレンチ						164	
3828	筒形香炉	D	4.0	12/12	3.0	12/12	3.1	12/12	40	d1d2	北壁5層						164	115
3829	筒形香炉	D	4.3	11/12	3.0	11/12	2.9	11/12	35	b1	黒色灰層						164	115
3830	筒形香炉段付	A	−	−	11.6	4/12	(8.2)	5/12	230	f2	北トレンチ下層						165	
3831	筒形香炉段付	A	13.4	2/12	8.2	3/12	6.7	3/12	103	d3d4	北壁4層						165	
3832	筒形香炉段付	A	13.2	3/12	7.1	6/12	6.4	3/12	139	d1d2	北壁3層						165	
3833	筒形香炉段付	A	13.6	4/12	8.2	12/12	6.8	8/12	265	d1	褐色土層, 地山直上	分②					165	116
3834	筒形香炉段付	A	13.0	2/12	8.0	3/12	5.7	2/12	102	Ⅳ H14f, Ⅳ H14g	東壁126層						165	
3835	筒形香炉段付	A	11.8	2/12	6.6	5/12	(5.5)	5/12	99	Ⅳ H16g	黒褐色土層						165	
3836	筒形香炉段付	A	11.9	3/12	9.7	8/12	5.3	5/12	148	Ⅳ H16g	灰褐色土層	分②					165	116
3837	筒形香炉段付	A	12.8	3/12	8.5	5/12	6.8	5/12	140	d3	黒色灰層上層						165	
3838	筒形香炉段付	A	11.6	1/12	7.8	1/12	7.2	1/12	76	Ⅳ H14g, Ⅳ H14h	南北トレンチ144層						165	
3839	筒形香炉段付	A	12.9	1/12	7.0	4/12	8.3	3/12	163	Ⅳ H16f	黒褐色土層						165	
3840	筒形香炉段付	A	12.0	4/12	7.9	12/12	7.2	6/12	139	e2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						165	
3841	筒形香炉段付	A	12.0	2/12	8.0	6/12	(6.6)	5/12	145	d1	黒色灰層上層						165	115
3842	筒形香炉段付	A	11.8	1/12	6.0	12/12	7.2	4/12	199	Ⅳ H13h	95層						165	
3843	筒形香炉段付	A	11.7	5/12	6.5	3/12	7.1	5/12	198	d2c2	東壁1層						165	
3844	筒形香炉段付	A	1.4	5/12	7.8	6/12	6.8	6/12	186	Ⅳ H15f	北壁175層						165	
3845	筒形香炉段付	A	12.4	2/12	8.0	2/12	6.5	2/12	88	d1	黒色灰層上層						165	
3846	筒形香炉段付	A	12.0	2/12	7.0	4/12	6.8	2/12	105	Ⅳ H15g	169層						165	
3847	筒形香炉段付	A	12.4	2/12	8.6	3/12	6.7	2/12	140	Ⅳ H16g	黒褐色土層						165	
3848	筒形香炉段付	A	11.0	1/12	8.4	4/12	7.0	2/12	124	d2	検出						165	
3849	筒形香炉段付	A	12.0	3/12	6.4	2/12	6.6	4/12	102	d1	黒色灰層						165	
3850	筒形香炉段付	A	11.6	4/12	7.2	12/12	6.5	5/12	190	Ⅳ H15g	169層						165	116
3851	筒形香炉段付	A	12.0	3/12	8.0	3/12	6.2	2/12	120	Ⅳ H16h	黒褐色土層						165	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・軸		時期	その他	遺物図	写真図版
3852	筒形香炉段付	A	11.8	3/12	7.2	6/12	6.0	5/12	149	e2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						165	
3853	筒形香炉段付	A	11.5	9/12	7.5	12/12	6.0	10/12	248	d1	褐色砂層（地山直上）						165	116
3854	筒形香炉段付	A	12.0	3/12	6.5	3/12	5.7	4/12	134	e2	黒色灰層下層ベルト						165	
3855	筒形香炉段付	A	11.4	5/12	6.6	5/12	6.6	5/12	126	d1	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						165	
3856	筒形香炉段付	A	11.6	2/12	7.0	2/12	6.6	2/12	71	c1c2	北壁4層						165	
3857	筒形香炉段付	A	12.0	3/12	7.0	3/12	6.2	3/12	68	Ⅳ H15i	黒褐色土層						165	
3858	筒形香炉段付	A	11.8	4/12	7.0	3/12	6.4	2/12	104	d3	黒色灰層上層						165	
3859	筒形香炉段付	A	11.6	4/12	8.0	6/12	6.4	5/12	180	d1d2	北壁2層						165	
3860	筒形香炉段付	A	11.0	4/12	7.4	7/12	6.7	5/12	182	c4	表層						166	
3861	筒形香炉段付	A	11.0	7/12	6.6	12/12	6.1	8/12	263	d1	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						166	116
3862	筒形香炉段付	A	11.1	2/12	6.6	12/12	5.5	6/12	167	d3c3	東壁4層						166	
3863	筒形香炉段付	A	10.6	5/12	5.2	1/12	6.5	5/12	151	Ⅳ H15g	灰層上層						166	
3864	筒形香炉段付	A	11.4	2/12	7.5	4/12	5.9	3/12	105	d5	表土,黒色灰層,焼台多い						166	
3865	筒形香炉段付	A	11.4	3/12	6.6	6/12	5.8	3/12	162	f2e2	東壁4層						166	116
3866	筒形香炉段付	A	11.6	5/12	7.4	7/12	6.3	7/12	190	Ⅳ H15g	褐色土層						166	
3867	筒形香炉段付	A	11.0	2/12	6.0	2/12	6.0	2/12	84	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる						166	
3868	筒形香炉段付	A	11.6	1/12	8.0	5/12	7.0	2/12	120	e2	黒色灰層上層						166	
3869	筒形香炉段付	A	11.4	1/12	7.8	6/12	6.6	4/12	150	e3d3	東壁5層						166	
3870	筒形香炉段付	A	11.4	3/12	5.8	5/12	7.1	4/12	161	Ⅳ H16f	黒褐色土層						166	116
3871	筒形香炉段付	A	11.4	1/12	6.5	4/12	7.1	2/12	138	d3d4	北壁4層						166	
3872	筒形香炉段付	A	11.2	2/12	7.5	6/12	(6.2)	5/12	105	Ⅳ H9g		№10					166	
3873	筒形香炉段付	A	11.4	1/12	7.9	3/12	6.5	2/12	85	Ⅳ H15g	黒褐色土層						166	
3874	筒形香炉段付	A	11.5	1/12	8.0	12/12	6.8	4/12	126	d1d2	北壁7層						166	
3875	筒形香炉段付	A	11.0	1/12	6.4	12/12	7.4	3/12	156	Ⅳ H15g	黒褐色土層						166	
3876	筒形香炉段付	A	10.9	2/12	7.0	3/12	6.9	2/12	99	e3d3	東壁5層						166	
3877	筒形香炉段付	A	11.2	5/12	7.4	6/12	6.3	5/12	182	Ⅳ H16g	黒褐色土層						166	116
3878	筒形香炉段付	A	11.0	4/12	7.0	3/12	6.8	3/12	132	Ⅳ H15g	褐色土層						166	
3879	筒形香炉段付	A	11.2	4/12	7.2	6/12	6.0	5/12	110	e2e3	北壁8層（8b）						166	
3880	筒形香炉段付	A	11.1	2/12	4.6	4/12	5.8	4/12	75	e2	褐色土層,地山直上						166	
3881	筒形香炉段付	A	10.6	2/12	5.0	4/12	7.3	4/12	80	Ⅳ H14g	西壁161層						166	
3882	筒形香炉段付	A	11.0	2/12	8.0	2/12	6.2	2/12	96	Ⅳ H13g, Ⅳ H14g	南壁6層						166	
3883	筒形香炉段付	A	11.4	1/12	7.0	6/12	6.5	3/12	112	d2	黒色灰層上層						166	
3884	筒形香炉段付	A	10.8	2/12	7.5	3/12	6.3	3/12	66	Ⅳ H15h	黒褐色土層						166	
3885	筒形香炉段付	A	10.8	2/12	7.8	3/12	(6.4)	4/12	5	Ⅳ H15h, Ⅳ H15i	99撹乱土						166	
3886	筒形香炉段付	A	11.3	2/12	6.6	5/12	6.0	2/12	94	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる						166	
3887	筒形香炉段付	A	11.0	4/12	6.0	5/12	(6.0)	4/12	146	e2	検出						166	
3888	筒形香炉段付	A	11.2	1/12	6.4	6/12	6.1	2/12	131	d2	検出						166	
3889	筒形香炉段付	A	10.4	1/12	6.7	3/12	6.0	2/12	96	e2	黒色灰層上層						166	
3890	筒形香炉段付	A	10.4	3/12	6.0	2/12	6.2	2/12	89	d2d3	北壁8層						167	
3891	筒形香炉段付	A	11.2	5/12	6.5	5/12	6.3	5/12	165	Ⅳ H15g	排土						167	116
3892	筒形香炉段付	A	10.3	1/12	6.0	1/12	6.0	2/12	85	Ⅳ H15g	169層						167	
3893	筒形香炉段付	A	10.4	1/12	8.0	7/12	6.5	3/12	161	Ⅳ H14i, Ⅳ H15i	南壁150層						167	
3894	筒形香炉段付	B	9.8	2/12	5.3	1/12	7.1	3/12	74	99B	表採						167	
3895	筒形香炉段付	B	9.4	7/12	5.9	5/12	6.5	6/12	151	Ⅳ H16g	黒褐色土層						167	
3896	筒形香炉段付	B	9.4	2/12	4.0	5/12	5.0	5/12	50	Ⅳ H16g	黒褐色土層						167	
3897	筒形香炉段付	B	9.5	1/12	5.4	10/12	4.8	4/12	74	Ⅳ H14h, Ⅳ H15h	南壁41層						167	
3898	筒形香炉段付	B	10.0	7/12	5.4	12/12	5.1	9/12	170	Ⅳ H16f	黒褐色土層						167	117
3899	筒形香炉段付	B	9.8	6/12	5.0	6/12	4.9	6/12	136	Ⅳ H15g	169層						167	
3900	筒形香炉段付	B	9.0	1/12	4.0	11/12	4.8	5/12	98	f2f3	北壁1層						167	
3901	筒形香炉段付	B	9.3	3/12	6.0	5/12	4.7	3/12	70	Ⅳ H16i	黒褐色土層						167	
3902	筒形香炉段付	B	8.9	6/12	7.4	4/12	4.2	5/12	61	d2c2	東壁4層	分②					167	117
3903	筒形香炉段付	B	9.2	6/12	6.0	5/12	4.6	5/12	97	Ⅳ H15g	黒褐色土層						167	
3904	筒形香炉段付	B	9.0	2/12	4.7	12/12	4.5	5/12	144	d1	黒色灰層上層						167	
3905	筒形香炉段付	B	8.6	3/12	5.0	6/12	4.6	6/12	62	Ⅳ H15g	黒褐色土層						167	
3906	筒形香炉段付	B	8.6	2/12	4.4	2/12	4.2	2/12	49	Ⅳ H16f	黒色灰層						167	
3907	筒形香炉段付	B	8.8	4/12	5.0	6/12	4.6	5/12	68	Ⅳ H15f	黒褐色土層						167	
3908	筒形香炉段付	B	8.7	1/12	4.6	5/12	4.8	3/12	65	e2d2	東壁5層						167	
3909	筒形香炉段付	B	8.4	4/12	4.6	6/12	4.5	5/12	54	e3d3	東壁3層						167	
3910	筒形香炉段付	B	8.5	1/12	3.0	3/12	2.3	1/12	26	c2	検出（下層）						167	
3911	筒形香炉段付	B	8.0	4/12	5.0	6/12	4.0	5/12	56	d1	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						167	
3912	筒形香炉段付	B	8.0	2/12	4.5	5/12	4.9	5/12	156	Ⅳ H16g	赤褐色土層						167	
3913	筒形香炉段付	B	8.2	5/12	5.0	7/12	4.2	6/12	91	e2	黒色灰層上層メインベルト						167	
3914	筒形香炉段付	B	8.2	4/12	6.0	5/12	4.4	4/12	50	Ⅳ H16g	赤褐色土層						167	
3915	筒形香炉段付	B	8.0	3/12	5.2	3/12	4.6	3/12	34	Ⅳ H16g	赤褐色土層						167	
3916	筒形香炉段付	C	7.7	6/12	5.2	12/12	4.3	10/12	94	Ⅳ H14g	131層						167	117
3917	筒形香炉段付	C	6.8	6/12	3.6	6/12	3.5	6/12	50	Ⅳ H16g	赤褐色土層						167	
3918	筒形香炉段付	C	7.5	4/12	3.6	6/12	3.8	5/12	59	Ⅳ H15h	褐色土層	分②					167	
3919	筒形香炉段付	B	8.0	3/12	4.4	5/12	4.0	3/12	54	Ⅳ H16f	黒褐色土層						167	
3920	筒形香炉段付	B	8.0	2/12	4.0	2/12	3.9	2/12	29	Ⅳ H15g	169層						167	
3921	筒形香炉段付	B	8.2	3/12	6.0	5/12	4.5	4/12	65	Ⅳ H16g	黒褐色土層						167	
3922	筒形香炉段付	C	7.5	2/12	3.8	12/12	4.4	7/12	84	Ⅳ H16h	黒褐色土層						167	117
3923	筒形香炉段付	C	7.4	2/12	3.7	11/12	4.4	11/12	86	Ⅳ H16h	黒褐色土層						167	
3924	仏供		10.0	2/12	−	−	(3.6)	1/12	36	g2	東トレンチ						168	
3925	仏供		(10.3)	2/12	(6.0)	12/12	5.1	6/12	120	c1c2	北壁2層						168	
3926	仏供		−	−	5.2	12/12	(4.2)	6/12	80	e2e3	黒色灰層下層						168	
3927	仏供		9.4	2/12	5.9	11/12	4.3	3/12	110	e2	黒色灰層下層ベルト						168	
3928	仏供		(8.9)	3/12	5.2	12/12	4.3	9/12	80	c1c2	北壁4層						168	117
3929	仏供		8.9	1/12	5.4	7/12	4.6	5/12	110	e3	検出						168	
3930	仏供		(7.8)	1/12	(5.4)	11/12	4.0	6/12	93	f2	黒色灰層						168	
3931	仏供		(8.4)	4/12	5.2	12/12	4.4	8/12	75	g3g4	北壁2層						168	
3932	仏供		7.7	1/12	−	−	3.8	5/12	68	f2	北トレンチ						168	
3933	仏供		(10.4)	5/12	−	−	(5.0)	2/12	108	Ⅳ H15f	黒褐色土層						168	
3934	仏供		(9.2)	1/12	5.5	12/12	5.3	7/12	109	d1	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						168	117
3935	仏供		(9.3)	3/12	5.1	6/12	5.4	6/12	100	e3d3	東壁1層	分②					168	117
3936	仏供		(8.6)	3/12	−	−	(3.7)	1/12	96	e2	黒色灰層下層						168	
3937	仏供		(8.6)	3/12	5.2	12/12	4.6	9/12	83	d1	黒色灰層						168	117
3938	仏供		8.3	5/12	4.6	12/12	4.0	6/12	82	Ⅳ H16f	灰層（褐色土）						168	
3939	仏供		(8.2)	2/12	4.8	12/12	4.1	7/12	70	d1	黒色灰層上層						168	
3940	仏供		8.8	4/12	4.7	10/12	4.0	7/12	84	d1c1	東壁3層						168	
3941	仏供		8.3	7/12	4.9	10/12	4.1	9/12	85	d2d3	北壁5層						168	
3942	仏供		(8.8)	1/12	4.5	5/12	4.3	3/12	67	g3	黒色灰層上層			鉄釉			168	
3943	仏供		(8.9)	6/12	4.8	12/12	4.0	7/12	85	f2	黒色灰層上層			鉄釉			168	117
3944	仏供		8.1	1/12	5.1	11/12	4.3	9/12	86	98	表採			鉄釉			168	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉	時期	その他	遺物図	写真図版
3945	仏供		7.6	2/12	4.9	11/12	4.5	9/12	74	98	表採		鉄釉			168	
3946	仏供		(7.9)	1/12	4.4	12/12	3.9	6/12	54	b1	黒色灰層		鉄釉			168	
3947	仏供		7.8	5/12	5.5	12/12	4.1	7/12	83	d1	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる		鉄釉			168	117
3948	仏供		8.2	3/12	5.1	12/12	4.4	7/12	78	b1b2	北壁1層					168	118
3949	仏供		8.0	1/12	4.6	12/12	3.8	6/12	62	d2	黒色灰層上層					168	118
3950	仏供		8.0	2/12	4.8	7/12	3.4	4/12	78	e1d1	西壁1層					168	
3951	仏供		7.8	3/12	5.2	12/12	4.1	8/12	87	e3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる					168	118
3952	仏供		(10.4)	2/12	5.0	12/12	3.9	7/12	90	d2d3	北壁8層					168	
3953	仏供		9.8	2/12	5.3	11/12	3.7	4/12	91	e3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる					168	
3954	仏供		(9.3)	4/12	4.2	12/12	3.3	8/12	69	Ⅳ H15h	黒褐色土層		鉄釉			168	
3955	仏供		9.5	12/12	3.6	12/12	3.7	12/12	100	Ⅳ H12d	黒褐色土層	No. 4	鉄釉			168	
3956	仏供		8.8	2/12	5.0	7/12	3.6	4/12	62	Ⅳ H14h	整地層3					168	
3957	仏供		8.2	5/12	5.2	10/12	4.2	9/12	120	99	表採					168	
3958	仏供		(8.7)	4/12	6.4	1/12	4.4	6/12	100	e2	黒色灰層下層					168	118
3959	仏供		9.0	3/12	6.7	6/12	4.4	7/12	123	b2	検出					168	
3960	仏供		7.6	9/12	6.2	12/12	3.9	10/12	142	e2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる					168	
3961	仏供		7.8	5/12	7.2	1/12	3.4	6/12	85	d1	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる					168	
3962	仏供		−	−	6.1	9/12	(2.5)	6/12	128	e2d2	東壁5層					168	
3963	仏供		−	−	6.0	11/12	−	6/12		d1	北壁, 盗掘抗					168	
3964	仏供		−	−	5.9	12/12	(2.5)	4/12	98	d2d3	北壁7層					168	
3965	仏供		−	−	6.4	12/12	(2.5)	4/12	105	d1d2	北壁7層					168	
3966	仏供		−	−	6.3	11/12	(4.5)	3/12	277	d2	黒色灰層下層					168	
3967	仏供		−	−	4.3	6/12	(4.0)	7/12	76	d4	黒色灰層下層, 褐色土混じる		鉄釉			168	
3968	仏供		−	−	4.2	7/12	2.3	3/12	43	d4	表土		鉄釉			168	
3969	仏供		−	−	(5.0)	11/12	(2.8)	2/12	56	f3	黒色灰層下層		鉄釉			168	
3970	仏供		−	−	5.7	8/12	(3.3)	7/12	94	c3	黒色灰層下層					168	
3971	仏供		−	−	5.5	12/12	(2.6)	3/12	110	d1	黒色灰層下層					168	
3972	仏供		−	−	5.0	11/12	(3.0)	5/12	72	g3	黒色灰層上層					168	
3973	仏供		5.1	1/12	3.2	8/12	2.6	7/12	20	d3c3	東壁3層					168	
3974	燭台		8.4	4/12	−	−	3.8	2/12	50	e3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる					169	118
3975	燭台		(8.7) 受皿	4/12	−	−	7.9	3/12	135	d4	黒色灰層上層					169	118
3976	燭台		−	−	−	−	7.2	2/12	150	d3c3	東壁4層					169	
3977	燭台		11.6	4/12	−	−	3.6	2/12	130	c3	黒色灰層上層					169	118
3978	燭台		(11.2) 受皿	1/12	−	−	7.0	1/12	55	f2	北トレンチ					169	118
3979	燭台		11.4	3/12	−	−	3.8	2/12	110	e4	黒色灰層下層, 褐色土混じる					169	
3980	燭台		(12.5) 受皿	2/12	−	−	9.9	3/12	190	e3d3	東壁5層					169	118
3981	燭台		−	−	−	−	8.6	3/12	200	d3	黒色土層上層					169	
3982	燭台		8.7	0/12	−	−	6.7	3/12	75	e4	黒色灰層下層, 褐色土混じる					169	118
3983	燭台		9.0	1/12	4.5	12/12	2.9	2/12	50	e3	検出					169	118
3984	燭台		8.8	2/12	−	−	4.7	1/12	50	f3	表採					169	118
3985	燭台		4.0	3/12	−	−	1.1	1/12	2	Ⅳ H15f	176層					169	
3986	燭台		6.0	3/12	−	−	1.4	1/12	5	d2	黒色灰層下層					169	
3987	燭台		6.0	2/12	−	−	1.8	1/12	25	Ⅳ H15g	167層					169	
3988	燭台		6.9	6/12	−	−	2.0	1/12	30	c3	黒色灰層上層					169	119
3989	燭台		11.7	3/12	−	−	3.2	1/12	50	Ⅳ H13g	南北トレンチ, 整地層					169	
3990	燭台		13.2	0/12	−	−	1.7	1/12	25	c3c4	北壁切株下					169	
3991	燭台		−	−	−	−	9.8	3/12	200	d2d3	北壁6層					169	119
3992	燭台		2.4	9/12	−	−	6.5	2/12	125	e2d2	東壁3層					169	
3993	燭台		4.9	10/12	−	−	11.4	11/12	255	c2	黒色灰層下層					169	
3994	燭台		3.6	1/12	−	−	11.8	6/12	235	d2	黒色灰層上層					169	119
3995	燭台		−	−	−	−	9.0	3/12	180	f5	表土					169	119
3996	燭台		−	−	6.5	12/12	11.1	9/12	170	f3	検出					169	119
3997	燭台		−	−	6.4	5/12	8.2	4/12	135	Ⅳ H16h	黒褐色土層					169	119
3998	燭台		−	−	−	−	8.9	5/12	160	f3	検出					169	119
3999	燭台		−	−	−	−	9.3	5/12	210	e3d3	東壁3層					169	120
4000	燭台		−	−	−	−	3.5	1/12	25	d1d2	北壁4層		鉄釉			169	119
4001	燭台		−	−	−	−	6.7	4/12	525	d1	黒色灰層					169	120
4002	燭台		−	−	−	−	7.7	4/12	130	b1	黒色灰層					169	120
4003	燭台		6.5	5/12	5.4	6/12	4.1	2/12	45	g2f2	東壁4層					169	120
4004	燭台		−	−	−	−	4.9	3/12	175	e3	東壁6層					169	120
4005	燭台		15.2	1/12	−	−	7.6	4/12	320	c2c3	北壁4層					169	120
4006	燭台		8.0	3/12	−	−	12.6	10/12	325	d2	検出					170	120
4007	燭台		8.7	0/12	−	−	6.7	3/12	155	e4	黒色灰層下層, 褐色土混じる					170	120
4008	燭台		−	−	−	−	10.3	8/12	165	f4	表土					170	120
4009	燭台		−	−	−	−	18.3	9/12	475	f3	検出					170	121
4010	燭台		−	−	−	−	12.7	4/12	235	d6	灰褐色土層					170	121
4011	燭台		−	−	−	−	14.9	4/12	445	c3	黒色灰層上層					170	121
4012	燭台		−	−	7.6	3/12	12.5	8/12	315	b3	黒色灰層上層					170	
4013	燭台		−	−	−	−	10.3	1/12	280	f4	東壁6層					170	121
4014	燭台		−	−	−	−	18.1	5/12	540	c3	黒色灰層上層					170	121
4015	燭台		−	−	−	−	14.9	7/12	395	e2	検出					170	121
4016	燭台		−	−	−	−	7.1	2/12	115	e2	黒色灰層上層					170	
4017	燭台		−	−	−	−	9.4	8/12	230	e7	褐色土層, 焼台混じる					170	121
4018	燭台		−	−	−	−	15.9	3/12	775	d3	黒色灰層					170	
4019	燭台		−	−	15.0	2/12	12.5	3/12	480	f4	東壁2層					170	121
4020	燭台		−	−	11.7	4/12	3.4	1/12	60	f3	黒色灰層下層					170	
4021	燭台		−	−	13.2	2/12	6.2	1/12	40	f4	東壁2層					170	
4022	燭台		−	−	13.4	3/12	9.2	1/12	135	c1	北壁7, 8層					170	
4023	燭台		14.8	6/12	−	−	11.3	5/12	275	b2c2	西壁5層					170	
4024	燭台		−	−	14.2	2/12	7.1	1/12	80	b2c2	西壁1層		鉄釉			170	
4025	燭台		15.8	3/12	−	−	5.7	3/12	70	b3	黒色灰層上層		鉄釉			170	
4026	燭台		−	−	−	−	11.5	6/12	200	e4d4	東壁3層					171	121
4027	燭台		−	−	6.1	12/12	11.1	6/12	255	d3c3	東壁4層					171	121
4028	燭台		−	−	13.8	3/12	13.2	7/12	390	d1d2	北壁7層		灰釉+鉄釉			171	121
4029	燭台		−	−	−	−	5.0	1/12	35	e4d4	東壁5層					171	
4030	燭台		−	−	−	−	9.9	1/12	165	Ⅳ H14g	144層					171	
4031	燭台		−	−	−	−	4.3	1/12	215	d2	黒色灰層下層					171	122
4032	燭台		−	−	−	−	4.3	1/12	110	d4	黒色灰層上層, 焼台多い					171	122
4033	燭台		−	−	−	−	12.9	2/12	460	f2f3	北壁2層		鉄釉			171	
4034	燭台		−	−	15.4	10/12	25.9	6/12	955	e3d3	東壁5層					171	122
4035	燭台		−	−	−	−	10.0	4/12	385	e2	黒色灰層上層					171	122
4036	燭台		−	−	−	−	10.1	5/12	390	f3	検出					171	122
4037	燭台		−	−	−	−	9.5	3/12	450	c1c2	北壁2層					171	122
4038	燭台		−	−	−	−	10.4	5/12	240	e4	黒色灰層下層, 褐色土混じる					171	123

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・軸			時期	その他	遺物図	写真図版
4039	燭台		−	−	−	−	16.4	3/12	850	d3	黒色灰層上層							171	
4040	燭台		−	−	14.6	4/12	11.5	3/12	300	d2d3	北壁2層							171	
4041	燭台		−	−	16.1	0/12	6.5	0/12	60	e3	黒色灰層, 地山直上							171	
4042	燭台		−	−	12.8	3/12	7.1	1/12	105	b2b3	北壁2層							171	122
4043	燭台		−	−	14.5	5/12	8.1	3/12	305	c1	黒色灰層下層							171	
4044	燭台		−	−	13.2	3/12	8.3	2/12	150	d2	検出							171	
4045	燭台		−	−	13.7	6/12	19.3	4/12	495	d2	黒色灰層下層, 褐色土混じる							171	
4046	瓶子	Ⅰ	−	−	10.0	5/12	(14.9)	8/12	695	d2	黒色土層上層							172	
4047	瓶子	Ⅰ	−	−	9.2	8/12	(11.7)	2/12	570	d2	褐色土層, 地山直上	分−50						172	
4048	瓶子	Ⅰ	−	−	10.6	5/12	(12.3)	3/12	440	e2e3	北壁7層			鉄釉				172	123
4049	瓶子	Ⅰ	−	−	8.7	12/12	(6.9)	1/12	275	d3c3	東壁3層							172	
4050	瓶子	Ⅱ	4.4	4/12	−	−	(3.5)	1/12	20	Ⅳ H16g	黒褐色土層							172	
4051	瓶子	Ⅱ	4.7	11/12	−	−	(5.7)	2/12	200	c2c3	北壁4層							172	
4052	瓶子	Ⅱ	4.9	1/12	−	−	(5.7)	1/12	55	e4d4	東壁5層							172	
4053	瓶子	Ⅱ	5.2	2/12	−	−	(5.6)	1/12	85	d3	黒色灰層上層							172	
4054	瓶子	Ⅱ	4.9	2/12	−	−	(5.6)	1/12	140	Ⅳ H15g	169層							172	
4055	瓶子	Ⅱ	4.4	2/12	−	−	(8.0)	3/12	200	g4f4	東壁6層							172	
4056	瓶子	Ⅱ	5.2	2/12	−	−	(4.1)	1/12	35	d5	灰褐色土層							172	
4057	瓶子	Ⅱ	4.1	6/12	−	−	(5.8)	1/12	100	d7	褐色土層, 地山直上							172	123
4058	瓶子	Ⅱ	4.4	6/12	−	−	(5.5)	1/12	75	f4	黒色灰層上層							172	
4059	瓶子	Ⅱ	4.8	12/12	−	−	(9.1)	1/12	225	d1	黒色灰層							172	123
4060	瓶子	Ⅱ	4.9	7/12	−	−	(11.3)	3/12	260	e4d4	東壁3層							172	
4061	瓶子	Ⅱ	4.9	6/12	−	−	(11.6)	3/12	370	Ⅳ H13h	トレンチ1							172	
4062	瓶子	Ⅱ	5.0	7/12	−	−	(5.7)	2/12	105	d3	黒色灰層上層							172	
4063	瓶子	Ⅱ	3.9	3/12	−	−	(8.0)	1/12	230	e2d2	東壁セクション							172	
4064	瓶子	Ⅱ	3.7	11/12	−	−	(7.9)	2/12	315	Ⅳ H15f	176層							172	
4065	瓶子	Ⅱ	4.0	6/12	−	−	(8.2)	2/12	140	c3	黒色灰層下層, 褐色土混じる	分−38						172	
4066	瓶子	Ⅱ	4.4	10/12	−	−	(7.6)	2/12	240	d4	黒色灰層上層, 焼台多い							172	123
4067	瓶子	Ⅱ	4.4	5/12	−	−	(10.9)	1/12	120	Ⅳ H14i	灰層上層							172	
4068	瓶子	Ⅱ	3.7	12/12	−	−	(5.1)	2/12	160	d7	褐色土層, 地山直上							173	123
4069	瓶子	Ⅱ	3.6	6/12	−	−	(3.5)	2/12	45	e2e3	北壁9層							173	
4070	瓶子	Ⅱ	3.2	2/12	−	−	(3.0)	1/12	60	d2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる							173	123
4071	瓶子	Ⅱ	4.0	4/12	−	−	(22.2)	3/12	500	e2	検出							173	124
4072	瓶子	Ⅱ	4.0	9/12	11.2	9/12	26.6	3/12	復元	Ⅳ H15g	黒褐色土層							173	125
4073	瓶子	Ⅱ	4.6	12/12	−	−	(10.4)	3/12	410	99	表採							173	123
4074	瓶子	Ⅱ	5.0	11/12	−	−	(7.0)	3/12	315	e2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる							173	
4075	瓶子	Ⅱ	4.4	4/12	−	−	(7.2)	1/12	125	b3c3	西壁3層							173	124
4076	瓶子	Ⅱ	6.4	12/12	−	−	(8.7)	2/12	190	f3e3	東壁9層							173	
4077	瓶子	Ⅱ	5.1	12/12	−	−	(9.8)	4/12	375	e3	黒色灰層下層, 褐色土混じる							173	
4078	瓶子	Ⅱ	5.3	3/12	−	−	(6.4)	1/12	85	c3	黒色灰層下層, 褐色土混じる	分−41						173	
4079	瓶子	Ⅱ	3.6	8/12	−	−	(7.8)	1/12	175	e2	黒色灰層下層							173	124
4080	瓶子	Ⅱ	4.2	12/12	−	−	(6.4)	3/12	185	e2e3	北壁9層							173	
4081	瓶子	Ⅱ	5.0	6/12	−	−	(9.5)	3/12	175	e3	黒色灰層下層, 褐色土混じる							173	
4082	瓶子	Ⅱ	4.8	4/12	−	−	(27.2)	7/12	復元	e2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる							173	124
4083	瓶子	Ⅱ	4.4	7/12	9.6	10/12	26.0	8/12	復元	c1	黒色灰層上層	分②						173	124
4084	瓶子	Ⅱ	5.7	12/12	−	−	(4.3)	1/12	90	b3	表土							174	
4085	瓶子	Ⅱ	4.4	12/12	−	−	(15.5)	7/12	455	c2c3	北壁5層							174	124
4086	瓶子	Ⅱ	3.8	6/12	−	−	(3.9)	1/12	110	Ⅳ H16g	黒褐色土層							174	
4087	瓶子	Ⅱ	4.0	12/12	−	−	(6.3)	2/12	185	e3	黒色灰層下層, 褐色土混じる							174	
4088	瓶子	Ⅱ	3.6	5/12	−	−	(3.1)	1/12	17	c3	黒色灰層下層, 褐色土混じる	分−40						174	
4089	瓶子	Ⅱ	5.0	2/12	−	−	(4.0)	1/12	20	c3	黒色灰層下層, 褐色土混じる	分−39						174	
4090	瓶子	Ⅱ	4.6	5/12	−	−	(3.9)	2/12	90	d1	黒色灰層							174	
4091	瓶子	Ⅱ	3.6	5/12	−	−	(17.6)	6/12	復元	e2	検出							174	125
4092	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(4.3)	1/12	60	Ⅳ H15f	黒褐色土層							174	
4093	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(13.6)	5/12	545	Ⅳ H16g	褐色土層							174	
4094	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(2.9)	1/12	55	e3e4	北壁9層							174	
4095	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(4.6)	1/12	120	d3	黒色灰層下層							174	
4096	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(6.7)	1/12	115	Ⅳ H15g	黒褐色土層			鉄釉				174	
4097	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(3.8)	1/12	50	e3	検出							174	125
4098	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(2.9)	1/12	20	b1	黒色灰層下層							174	
4099	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(16.8)	1/12	260	b1	黒色灰層							174	125
4100	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(10.8)	1/12	210	c1	北壁2層							174	125
4101	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(6.7)	4/12	150	Ⅳ H13i	黄色砂							174	
4102	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(2.8)	2/12	125	99G, 99H	黒褐色土層							175	
4103	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(4.7)	1/12	130	c1	黒色灰層下層							175	
4104	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(6.2)	1/12	155	f2e2	東壁5層							175	
4105	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(5.8)	1/12	85	d1d2	北壁4層							175	
4106	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(5.6)	1/12	100	g3f3	東壁6層							175	
4107	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(7.7)	2/12	205	f3	検出（下層）							175	
4108	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(5.7)	1/12	145	Ⅳ H15g	灰層上層							175	
4109	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(7.0)	1/12	55	d2	検出							175	
4110	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(10.0)	2/12	170	Ⅳ H16g	黒褐色土層							175	
4111	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(8.6)	1/12	190	d2c2	東壁4層	分−49						175	
4112	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(9.0)	1/12	175	f4e4	東壁2層	分−48						175	
4113	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(11.5)	1/12	340	e2	黒色灰層上層							175	
4114	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(16.3)	1/12	355	d1d2	北壁7層	分−47						175	
4115	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(19.3)	1/12	283	c4	黒色灰層最下層, 褐色土直上	分−46						175	
4116	瓶子	Ⅱ	−	−	−	−	(9.7)	1/12	115	e4	黒色灰層下層, 褐色土混じる							175	
4117	瓶子	Ⅱ	−	−	(9.4)	5/12	(5.4)	1/12	145	f4e4	東壁6層	分−43						175	
4118	瓶子	Ⅱ	−	−	9.8	12/12	(10.0)	3/12	605	c2c3	北壁4層							175	
4119	瓶子	Ⅱ	−	−	9.4	6/12	(22.1)	4/12	679	d1c1	東壁3層	分−42						175	
4120	瓶子	Ⅱ	−	−	(9.7)	10/12	(20.6)	4/12	545	c2d2	東壁3層							176	
4121	瓶子	Ⅱ	−	−	(9.5)	6/12	(16.0)	4/12	450	f3e3	東壁8層							176	
4122	瓶子	Ⅱ	−	−	(9.0)	6/12	(21.0)	5/12	540	Ⅳ H14h, Ⅳ H14i	南壁150層							176	
4123	瓶子	Ⅱ	−	−	(8.6)	2/12	(12.3)	3/12	260	c3	黒色灰層下層							176	
4124	瓶子	Ⅱ	−	−	(9.6)	4/12	(18.2)	4/12	590	d2d3	北壁7層							176	125
4125	瓶子	Ⅱ	−	−	(7.6)	5/12	(14.6)	2/12	310	c4	黒色灰層最下層, 褐色土直上	分−45						176	
4126	瓶子	Ⅱ	−	−	(10.6)	5/12	(13.4)	1/12	322	c3	黒色灰層下層, 褐色土混じる	分−44						176	
4127	瓶子	Ⅱ	−	−	(10.7)	12/12	(8.5)	3/12	560	Ⅳ H13g	トレンチ							176	
4128	瓶子	Ⅱ	−	−	(8.2)	3/12	(20.8)	6/12	−	c2c3	北壁5層							176	126
4129	瓶子	Ⅱ	−	−	(9.6)	4/12	(16.2)	2/12	385	e2	黒色灰層上層							176	126
4130	瓶子	Ⅱ	−	−	(9.5)	11/12	(15.0)	4/12	565	Ⅳ H14g, Ⅳ H15g	南壁20層							176	
4131	瓶子	Ⅱ	−	−	(9.6)	12/12	(15.9)	3/12	735	c4	褐色土層							176	126
4132	瓶子	Ⅲ	3.7	4/12	−	−	(7.7)	1/12	85	c2	黒色灰層下層							177	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
4133	瓶子	Ⅲ	3.9	1/12	−	−	(6.6)	1/12	45	ⅣH14g, ⅣH15g	南壁130層						177	
4134	瓶子	Ⅲ	4.1	2/12	−	−	(7.0)	1/12	85	d4	黒色灰層上層, 焼台多い						177	
4135	瓶子	Ⅲ	2.9	4/12	−	−	(8.3)	1/12	100	ⅣH16f	黒褐色土層						177	
4136	瓶子	Ⅲ	3.4	5/12	−	−	(5.0)	2/12	205	d2	黒色灰層上層						177	
4137	瓶子	Ⅲ	2.8	12/12	−	−	(8.2)	2/12	230	e2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						177	126
4138	瓶子	Ⅲ	3.7	9/12	−	−	(6.4)	1/12	190	ⅣH16f	黒色灰層						177	
4139	瓶子	Ⅲ	4.6	6/12	−	−	(12.4)	2/12	210	ⅣH13g	灰層上層						177	
4140	瓶子	Ⅲ	4.5	7/12	−	−	(8.5)	2/12	230	e2	検出						177	126
4141	瓶子	Ⅲ	3.3	1/12	−	−	(9.2)	2/12	190	ⅣH13i	トレンチ						177	
4142	瓶子	Ⅲ	3.0	6/12	−	−	(4.1)	3/12	75	b3	黒色灰層上層						177	
4143	瓶子	Ⅲ	4.0	5/12	−	−	(10.4)	4/12	120	b1c1	西壁2層						177	
4144	瓶子	Ⅲ	3.6	3/12	−	−	(5.2)	2/12	100	ⅣH16g	褐色土層						177	
4145	瓶子	Ⅲ	4.2	2/12	−	−	(6.2)	1/12	85	ⅣH13i	トレンチ						177	
4146	瓶子	Ⅲ	3.8	4/12	−	−	(4.6)	1/12	45	d3	黒色灰層上層						177	
4147	瓶子	Ⅲ	3.4	6/12	−	−	(4.7)	1/12	45	e2	検出						177	
4148	瓶子	Ⅲ	3.4	7/12	−	−	(6.0)	1/12	50	d1	黒色灰層上層						177	
4149	瓶子	Ⅲ	−	−	−	−	(13.6)	2/12	395	e3e4	北壁10層						177	
4150	瓶子	Ⅲ	3.8	12/12	−	−	(4.4)	1/12	50	ⅣH14g	灰層上層						177	
4151	瓶子	Ⅲ	4.1	3/12	−	−	(4.2)	1/12	21	e3	検出	分-53					177	
4152	瓶子	Ⅲ	3.5	12/12	−	−	(5.6)	1/12	80	ⅣH14h	97層						177	
4153	瓶子	Ⅲ	3.7	12/12	−	−	(3.3)	1/12	36	e6d6	東壁2層	分-52					177	
4154	瓶子	Ⅲ	3.3	7/12	−	−	(3.3)	1/12	30	ⅣH14h	西側南北トレンチ						177	
4155	瓶子	Ⅲ	3.8	4/12	−	−	(2.5)	1/12	5	f3e3	東壁8層			鉄釉			177	
4156	瓶子	Ⅲ	−	−	−	−	(6.7)	1/12	125	f4e4	東壁2層						178	
4157	瓶子	Ⅲ	−	−	−	−	(17.3)	3/12	690	ⅣH14g	南トレンチ灰層下層						178	
4158	瓶子	Ⅲ	−	−	−	−	(7.9)	1/12	120	d5d6	北壁2層						178	126
4159	瓶子	Ⅲ	−	−	12.0	3/12	(9.4)	1/12	415	d2	黒色灰層下層, 褐色土混じる						178	127
4160	瓶子	Ⅲ	−	−	−	−	(14.6)	3/12	780	ⅣH14g	131層						178	
4161	瓶子	Ⅲ	−	−	−	−	(7.1)	1/12	145	d5d6	北壁2層						178	127
4162	瓶子	Ⅲ	−	−	−	−	(10.8)	1/12	145	ⅣH15g	黒褐色土層						178	
4163	瓶子	Ⅲ	−	−	−	−	(12.5)	2/12	435	f4f5	北壁2層						178	127
4164	瓶子	Ⅲ	−	−	−	−	(10.9)	2/12	345	f5	表土						178	127
4165	瓶子	Ⅲ	−	−	9.6	3/12	(5.8)	1/12	90	ⅣH15g	黒褐色土層						178	
4166	瓶子	Ⅲ	−	−	11.2	6/12	(11.2)	1/12	460	e3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						178	127
4167	瓶子	Ⅲ	−	−	11.7	8/12	(10.2)	2/12	440	g2	東トレンチ						178	
4168	瓶子	Ⅲ	−	−	11.8	3/12	(16.5)	3/12	700	e4	表土						178	127
4169	瓶子	Ⅲ	−	−	10.5	2/12	(12.5)	1/12	390	e3d3	東壁4層						178	127
4170	瓶子	Ⅲ	−	−	10.7	11/12	(11.5)	5/12	450	ⅣH14h, ⅣH15h	南壁20層						179	
4171	瓶子	Ⅲ	−	−	10.4	7/12	(13.7)	2/12	545	e2	検出						179	
4172	瓶子	Ⅲ	−	−	10.3	10/12	(13.2)	5/12	610	ⅣH14g	灰層上層						179	
4173	瓶子	Ⅲ	−	−	10.5	7/12	(16.3)	5/12	490	ⅣH14h	97層						179	
4174	瓶子	Ⅲ	−	−	10.9	12/12	(12.7)	5/12	450	ⅣH14g, ⅣH14h	東壁8層						179	
4175	瓶子	Ⅲ	−	−	10.0	4/12	(13.1)	5/12	410	ⅣH14g	灰層上層						179	
4176	瓶子	Ⅲ	−	−	10.2	4/12	(9.7)	2/12	230	ⅣH14i, Ⅳh15i	南壁50層						179	
4177	瓶子	Ⅲ	−	−	11.1	9/12	(12.7)	5/12	535	d4d5	北壁2層						179	
4178	瓶子	Ⅲ	−	−	10.4	2/12	(8.5)	2/12	385	d5d6	北壁2層						179	127
4179	瓶子	Ⅲ	−	−	10.4	5/12	(11.5)	3/12	480	e2	検出						179	128
4180	瓶子	Ⅲ	−	−	10.6	1/12	(10.0)	1/12	495	c2d2	東壁3層						179	128
4181	瓶子	Ⅲ	−	−	10.2	3/12	(8.0)	4/12	220	e4d4	東壁3層						179	
4182	瓶子	Ⅲ	−	−	11.0	6/12	(6.8)	1/12	195	f4e4	東壁2層	分-51					179	
4183	瓶子	Ⅲ	−	−	10.5	12/12	(4.8)	4/12	390	d4	表土						179	
4184	片口広口壺		10.2	5/12	−	−	(9.8)	2/12	190	98	表採						180	128
4185	片口広口壺		9.5	1/12	−	−	(8.7)	1/12	70	c2	検出						180	
4186	片口広口壺		10.2	8/12	−	−	(8.1)	1/12	225	e3	検出（下層）						180	128
4187	片口広口壺		9.0	4/12	−	−	(4.9)	1/12	40	ⅣH14g	131層						180	
4188	広口瓶子		10.0	2/12	−	−	(5.7)	1/12	35	99G	黒褐色土層						180	
4189	広口瓶子		8.6	1/12	−	−	(4.8)	1/12	25	e3	黒色灰層下層, 褐色土混じる						180	
4190	広口瓶子		8.6	1/12	−	−	(4.0)	1/12	15	d2d3	北壁8層						180	
4191	片口広口壺		9.7	3/12	−	−	(6.5)	1/12	160	d2	検出						180	
4192	片口広口壺		9.1	2/12	−	−	(6.9)	1/12	95	c2	検出						180	
4193	片口広口壺		9.2	3/12	−	−	(6.2)	1/12	70	b2	表土						180	
4194	片口広口壺		11.3	7/12	−	−	(6.7)	1/12	115	d2	黒色灰層下層						180	
4195	片口広口壺		10.4	2/12	−	−	(3.9)	1/12	25	d2	黒色灰層下層						180	
4196	片口広口壺		10.4	2/12	−	−	(4.5)	1/12	30	c2c3	北壁4層						180	
4197	片口広口壺		8.4	3/12	−	−	(4.7)	1/12	25	c2	検出（下層）						180	
4198	片口広口壺		9.4	2/12	−	−	(3.3)	1/12	20	d2	黒色灰層上層						180	
4199	片口広口壺		12.4	4/12	−	−	(5.4)	1/12	60	e4	表土						180	
4200	片口広口壺		10.7	3/12	−	−	(4.6)	1/12	45	d2	検出						180	
4201	片口広口壺		10.8	3/12	−	−	(4.7)	1/12	35	e4d4	東壁5層						180	
4202	片口広口壺		10.8	2/12	−	−	(5.9)	1/12	55	e3e4	北壁6層						180	
4203	片口広口壺		10.4	4/12	−	−	(5.4)	1/12	40	e2	検出						180	
4204	片口広口壺		9.8	2/12	−	−	(5.6)	1/12	35	d3	黒色灰層						180	
4205	片口広口壺		9.5	3/12	−	−	(4.0)	1/12	25	c3	黒色灰層上層						180	
4206	片口広口壺		10.2	2/12	−	−	(4.6)	1/12	25	e2	黒色灰層上層						180	
4207	片口広口壺		−	−	9.4	5/12	(10.2)	3/12	360	c2	検出（下層）						180	
4208	片口広口壺		−	−	−	−	(9.7)	2/12	115	e3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						180	
4209	広口瓶子		7.2	3/12	−	−	(7.0)	2/12	50	c2c3	北壁4層						180	128
4210	土瓶		8.0	1/12	−	−	(10.0)	2/12	130	e3	検出			鉄釉			181	128
4211	土瓶		9.4	2/12	−	−	10.7	3/12	245	g2g3	北壁3層	分-91		鉄釉			181	
4212	土瓶		8.2	3/12	−	−	(8.5)	1/12	130	g2f2	東壁4層			鉄釉			181	
4213	土瓶		−	−	−	−	(5.0)	1/12	45	f3	検出（下層）			鉄釉			181	
4214	土瓶		10.2	2/12	−	−	(2.7)	1/12	20	ⅣH15g	黒褐色土層			鉄釉			181	
4215	土瓶		9.8	2/12	−	−	(3.2)	1/12	25	e3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる			鉄釉			181	
4216	土瓶		10.4	5/12	−	−	(7.2)	1/12	85	e3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる			鉄釉			181	
4217	土瓶		11.4	2/12	−	−	(3.9)	1/12	20	e2	検出			鉄釉			181	
4218	土瓶		12.8	4/12	−	−	(4.9)	1/12	90	e3d3	東壁1層			鉄釉			181	
4219	土瓶		7.5	5/12	−	−	(4.0)	1/12	40	ⅣH16g	黒褐色土層			鉄釉			181	
4220	土瓶		−	−	7.8	12/12	(5.9)	2/12	260	f2f3	北壁2層			鉄釉			181	
4221	土瓶		−	−	7.5	10/12	(5.2)	2/12	210	d4	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる			鉄釉			181	
4222	土瓶		−	−	7.9	10/12	(7.4)	2/12	250	d2d3	黒色灰層最下層, 褐色土混じる			鉄釉			181	
4223	土瓶		−	−	−	−	(10.5)	1/12	90	ⅣH14g, ⅣH14h	北壁2層						181	
4224	土瓶		9.0	2/12	−	−	(7.2)	1/12	200	e2	東壁129層						181	128
4225	土瓶		10.1	11/12	−	−	(6.9)	1/12	235	e2	黒色灰層上層						181	128

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉			時期	その他	遺物図	写真図版
4226	土瓶		7.6	2/12	−	−	(4.1)	1/12	40	Ⅳ H15g	黒褐色土層							182	
4227	土瓶		9.0	3/12	−	−	(3.5)	1/12	40	e3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる							182	
4228	土瓶		9.9	2/12	−	−	(5.2)	1/12	65	d2	黒色灰層下層							182	
4229	土瓶		10.4	3/12	−	−	(8.7)	1/12	110	f3e4	東壁4, 5層							182	
4230	土瓶		9.9	1/12	−	−	(5.7)	1/12	55	Ⅳ H16g	赤褐色土層							182	
4231	土瓶		7.0	6/12	−	−	(5.1)	1/12	140	Ⅳ H15h	黒褐色土層							182	
4232	土瓶		8.5	3/12	−	−	(3.1)	1/12	70	Ⅳ H16h	黒褐色土層							182	128
4233	土瓶		7.6	4/12	−	−	(3.7)	1/12	105	Ⅳ H16h	黒褐色土層							182	
4234	土瓶		9.3	4/12	−	−	(3.0)	1/12	65	Ⅳ H15g	黒褐色土層							182	
4235	土瓶		8.5	3/12	−	−	(3.2)	1/12	35	Ⅳ H16f	黒褐色土層							182	
4236	土瓶		8.0	2/12	7.5	2/12	7.4	5/12	126	Ⅳ H16h	黒褐色土層							182	128
4237	土瓶		8.8	3/12	−	−	(5.9)	1/12	165	Ⅳ H16g	黒褐色土層							182	129
4238	土瓶		7.8	1/12	−	−	(4.3)	1/12	50	Ⅳ H16g	赤褐色土層							182	
4239	土瓶		10.4	2/12	−	−	(8.8)	1/12	80	b3c3	西壁2層							182	
4240	土瓶		8.0	5/12	−	−	(5.8)	1/12	205	d3	黒色灰層上層							182	129
4241	土瓶		10.0	5/12	−	−	(4.8)	1/12	105	Ⅳ H15g	黒褐色土層							182	
4242	土瓶		9.1	1/12	−	−	(10.3)	1/12	168	e2	黒色灰層中							182	129
4243	土瓶		−	−	8.1	4/12	(6.5)	2/12	170	d2	黒色土層上層							182	
4244	土瓶		−	−	10.0	3/12	(5.0)	2/12	125	Ⅳ H14h	129層							182	
4245	土瓶		−	−	11.2	1/12	(4.5)	3/12	180	b1c1	西壁3層							182	
4246	片口小壷		4.8	1/12	−	−	(8.2)	2/12	70	e2	黒色灰層上層							183	
4247	片口小壷		5.7	12/12	−	−	(5.8)	2/12	65	e3d3	東壁5層							183	
4248	片口小壷		5.3	8/12	−	−	(7.4)	1/12	50	Ⅳ H16g	赤褐色土層			鉄釉				183	
4249	片口小壷		4.7	10/12	5.7	12/12	10.5	11/12	255	e2	下層							183	
4250	片口小壷		4.7	12/12	−	−	(8.9)	4/12	100	f3f4	東壁4, 5層							183	
4251	片口小壷		5.5	2/12	5.5	12/12	8.4	7/12	205	d2	褐色土層, 地山直上							183	129
4252	片口小壷		7.2	3/12	6.8	6/12	13.3	11/12	464	c1	黒色灰層最下部, 褐色土直上	分②						183	129
4253	片口小壷		−	−	7.6	12/12	(9.6)	6/12	339	c3c4	北壁2層							183	129
4254	片口小壷		−	−	8.5	5/12	(8.5)	5/12	125	e3d3	東壁5層							183	
4255	片口小壷		−	−	6.5	7/12	(5.7)	4/12	155	Ⅳ H16g	褐色土層			鉄釉				183	
4256	片口小壷		4.4	1/12	−	−	(5.4)	1/12	60	d2	黒色灰層下層							183	
4257	片口小壷		−	−	−	−	(7.8)	1/12	110	e2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる							183	
4258	片口小壷		−	−	−	−	(5.4)	3/12	115	d2	褐色土層, 地山直上							183	
4259	片口小壷		−	−	5.6	12/12	(8.6)	10/12	263	d2c2	東壁4層							183	129
4260	片口小壷		−	−	5.8	12/12	(7.5)	7/12	235	e2	検出							183	
4261	片口小壷		−	−	5.0	8/12	(7.3)	5/12	220	d1	黒色灰層上層							183	
4262	片口小壷		−	−	5.4	4/12	(7.0)	4/12	95	e2d2	東壁セクション			鉄釉				183	
4263	片口小壷		−	−	6.9	12/12	(7.9)	10/12	355	c2	検出							183	
4264	片口小壷		−	−	5.8	4/12	(7.6)	3/12	85	e5d5	東壁3層							183	
4265	片口小壷		−	−	5.8	12/12	(7.8)	6/12	185	99L	Lトレンチ							183	
4266	片口小壷		−	−	5.0	12/12	(9.5)	10/12	330	Ⅳ H16g	赤褐色土層							183	129
4267	片口小壷		−	−	6.0	9/12	(7.4)	1/12	160	Ⅳ H16g	黒褐色土層							183	
4268	片口小壷		−	−	6.8	10/12	(10.1)	8/12	260	Ⅳ H16g	赤褐色土層			鉄釉				183	
4269	片口小壷		5.7	1/12	−	−	(5.2)	1/12	25	e3	検出							183	
4270	片口小壷		5.1	4/12	−	−	(6.0)	2/12	75	Ⅳ H15h	169層			鉄釉				184	
4271	片口小壷		5.3	5/12	−	−	(4.4)	1/12	25	g2	東トレンチ下層			鉄釉				184	
4272	片口小壷		5.5	12/12	−	−	(3.2)	1/12	50	Ⅳ H15h	褐色土層			鉄釉				184	
4273	片口小壷		5.5	12/12	−	−	(3.5)	1/12	45	c1	黒色灰層下層			鉄釉				184	
4274	片口小壷		−	−	4.8	12/12	(5.1)	3/12	115	d4	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる			鉄釉				184	
4275	片口小壷		6.1	12/12	−	−	(3.7)	1/12	55	d1	黒色灰層上層							184	
4276	片口小壷		6.2	9/12	−	−	(4.0)	1/12	40	f3	検出							184	
4277	片口小壷		6.1	12/12	−	−	(4.2)	1/12	75	c3	黒色灰層上層							184	
4278	片口小壷		5.8	12/12	−	−	(3.1)	1/12	70	c3	黒色灰層上層							184	
4279	片口小壷		4.9	12/12	−	−	(3.3)	1/12	35	d1	黒色灰層							184	
4280	片口小壷		3.3	9/12	−	−	(3.6)	1/12	40	d2	黒色灰層下層, 褐色土混じる							184	
4281	片口小壷		5.2	11/12	−	−	(3.8)	1/12	60	e3e4	北壁10層							184	
4282	片口小壷		5.6	11/12	−	−	(3.0)	1/12	55	d1d2	北壁7層							184	
4283	片口小壷		5.5	10/12	−	−	(3.5)	1/12	60	d2c2	東壁4層							184	
4284	片口小壷		5.3	10/12	−	−	(6.8)	5/12	100	b2	検出							184	
4285	片口小壷		4.3	8/12	−	−	(9.1)	1/12	145	d1d2	北壁7層							184	
4286	片口小壷		5.4	12/12	−	−	(5.2)	3/12	70	d3	黒色灰層上層							184	
4287	片口小壷		6.4	11/12	−	−	(7.8)	4/12	131	d2	黒色灰層上層							184	129
4288	片口小壷		4.2	5/12	−	−	(4.1)	1/12	30	Ⅳ H14g, Ⅳ H14h	東壁8層							184	
4289	片口小壷		4.2	6/12	−	−	(5.3)	1/12	45	Ⅳ H14h	灰層上層, 暗褐色砂層							184	
4290	片口小壷		5.8	9/12	6.1	12/12	8.3	11/12	190	Ⅳ H15h	165層							184	
4291	片口小壷		4.6	12/12	−	−	(6.4)	3/12	85	d3	黒色灰層							184	
4292	片口小壷		4.2	12/12	−	−	(4.3)	1/12	60	d2d3	北壁7層							184	
4293	片口小壷		4.7	5/12	−	−	(5.6)	1/12	40	e2	検出							184	
4294	片口小壷		6.0	5/12	−	−	(6.5)	1/12	90	Ⅳ H16g	黒褐色土層							184	
4295	片口小壷		−	−	6.3	8/12	(5.8)	4/12	75	d5	黒色灰層, 焼台多い							184	
4296	水注		7.6	1/12	7.4	12/12	18.6	10/12	765	d1d2	北壁7層							185	129
4297	水注		−	−	7.5	12/12	13.4	8/12	575	d2	黒褐色土層	No.5						185	130
4298	水注		6.2	12/12	7.2	12/12	18.1	10/12	705	c1	北壁4層							185	130
4299	水注		7.4	8/12	6.9	12/12	17.3	10/12	800	d1	褐色砂層, 地山直上	No.2, 分②						185	130
4300	水注		−	−	7.4	12/12	13.0	8/12	615	e2	黒色灰層下層							185	130
4301	水注		8.4	1/12	−	−	11.1	2/12	140	e2	黒色灰層下層メインベルト							185	
4302	水注		6.9	10/12	−	−	9.1	5/12	205	e2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる							185	130
4303	水注		6.4	4/12	−	−	12.5	2/12	325	d2c2	南壁3層	分-108						185	
4304	水注		7.0	3/12	−	−	8.7	1/12	110	d1	褐色砂層, 地山直上							185	
4305	水注		6.6	12/12	−	−	7.0	2/12	165	e2	黒色灰層下層							185	
4306	水注		8.3	4/12	−	−	7.9	2/12	120	Ⅳ H16g	黒褐色土層							185	130
4307	水注		6.2	10/12	−	−	6.0	1/12	100	Ⅳ H15g	黒褐色土層							185	
4308	水注		6.0	12/12	−	−	10.8	2/12	210	d2	検出							185	
4309	水注		−	−	−	−	11.9	4/12	300	b2	検出							185	
4310	水注		6.0	1/12	−	−	8.0	2/12	145	d3	黒色灰層下層, 褐色土混じる							185	
4311	水注		−	−	−	−	9.9	1/12	85	f4	黒色土層, 地山直上							185	
4312	水注		6.4	12/12	(6.0)	1/12	13.5	8/12	560	c1c2	北壁4層							186	130
4313	水注		−	−	−	−	10.7	2/12	210	d4	黒色灰層下層, 褐色土多く混じる							186	130
4314	水注		7.1	12/12	−	−	6.3	1/12	125	f3	検出							186	
4315	水注		6.2	11/12	−	−	6.2	1/12	125	e2	検出							186	
4316	水注		−	−	−	−	13.0	1/12	265	c3	黒色灰層上層							186	
4317	水注		6.4	10/12	−	−	10.5	5/12	270	Ⅳ H16f	黒褐色土層			鉄釉				186	
4318	水注		−	−	−	−	5.3	1/12	80	Ⅳ H16g	赤褐色土層							186	
4319	水注		7.3	5/12	−	−	6.4	1/12	120	b2b3	北壁2層							186	131
4320	水注		7.0	9/12	−	−	4.8	1/12	100	Ⅳ H16h	黒褐色土層							186	131
4321	水注		8.8	4/12	−	−	8.3	1/12	320	Ⅳ H16g	赤褐色土層							186	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
4322	水注		6.6	1/12	−	−	9.0	2/12	120	f2	北トレンチ下層						186	
4323	水注		7.6	10/12	−	−	8.7	4/12	190	e2	黒色灰層下層メインベルト						186	
4324	水注		6.8	3/12	−	−	4.6	1/12	20	Ⅳ H16g	赤褐色土層			鉄釉			186	
4325	水注		7.4	12/12	−	−	6.1	1/12	120	Ⅳ H16g	赤褐色土層			鉄釉			186	
4326	水注		7.8	11/12	−	−	4.9	1/12	120	Ⅳ H16g	赤褐色土層			鉄釉			186	
4327	水注		6.6	6/12	−	−	4.2	1/12	40	Ⅳ H16h	黒褐色土層			鉄釉			186	
4328	水注		5.6	4/12	−	−	3.2	1/12	20	99B	表採			鉄釉			186	
4329	水注		6.0	2/12	−	−	3.8	1/12	15	Ⅳ H16g	黒褐色土層			鉄釉			186	
4330	水注		6.6	12/12	−	−	6.9	4/12	125	e3d3	東壁5層						186	
4331	水注		6.6	11/12	−	−	4.3	1/12	95	Ⅳ H15h	黒褐色土層						186	
4332	水注		6.2	6/12	−	−	6.5	1/12	110	d1	褐色砂層, 地山直上						186	
4333	水注		6.5	3/12	−	−	6.2	1/12	80	d3	黒色灰層下層						186	
4334	水注		−	−	−	−	10.0	3/12	115	c4	黒色灰層下層, 褐色土直上	分-90					186	
4335	水注		−	−	−	−	13.9	3/12	260	e3d3	東壁1層						186	
4336	水注		2.2	8/12	−	−	1.6	1/12	35	e2e3	北壁9層						187	
4337	水注		2.6	2/12	−	−	5.8	3/12	50	Ⅳ H16g	黒褐色土層						187	131
4338	水注		2.4	6/12	−	−	7.9	4/12	90	c1	北壁, 褐色土層(赤褐色土混じる, 地山直上)						187	131
4339	水注		−	−	−	−	7.2	2/12	150	e3d3	東壁1層						187	
4340	水注		−	−	6.9	1/12	9.0	2/12	75	d1d2	北壁7層						187	
4341	水注		2.8	12/12	−	−	(6.8)	4/12	195	Ⅳ H15g	褐色土層						187	131
4342	水注		3.1	12/12	(8.8)	1/12	11.6	10/12	750	d2		№6, 分②					187	131
4343	水注		3.3	4/12	−	−	4.2	1/12	35	f2	北トレンチ下層						187	
4344	水注		3.8	2/12	−	−	4.8	1/12	40	d2	検出（下層）						187	
4345	水注		2.4	8/12	−	−	2.6	1/12	20	Ⅳ H16g	黒褐色土層						187	
4346	水注		2.4	9/12	−	−	3.0	1/12	25	d1	北壁1層						187	
4347	水注		2.7	11/12	−	−	4.3	1/12	55	f2	北トレンチ下層						187	
4348	水注		3.2	10/12	−	−	3.7	1/12	110	e2	検出						187	
4349	水注		3.1	4/12	−	−	4.4	1/12	40	d1	黒色灰層						187	
4350	水注		3.0	12/12	−	−	4.6	2/12	55	Ⅳ H15g	褐色土層						187	
4351	水注		2.1	2/12	−	−	3.0	1/12	15	Ⅳ H16f	黒褐色土層						187	
4352	水注		−	−	−	−	6.1	4/12	85	Ⅳ H14f	表土						187	
4353	水注		−	−	−	−	6.0	1/12	65	d4c4	東壁1層						187	
4354	水注		17.7	1/12	−	−	5.4	1/12	45	d2	黒色灰層, 褐色土混じる						187	
4355	水注		12.2	2/12	−	−	4.7	1/12	45	e3d3	東壁5層						187	
4356	水注		13.2	1/12	−	−	4.1	1/12	20	98	表採						187	
4357	水注		13.7	1/12	−	−	9.7	1/12	90	e3d3	東壁5層						187	
4358	水注		−	−	6.9	2/12	7.6	3/12	110	Ⅳ H15i	黒褐色土層						188	132
4359	水注		8.0	4/12	−	−	8.4	4/12	165	Ⅳ H15i	黒褐色土層						188	132
4360	水注		8.6	5/12	−	−	4.5	2/12	105	e2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる			鉄釉			188	
4361	水注		9.1	2/12	−	−	6.1	1/12	65	d1	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる			鉄釉			188	
4362	水注		6.4	2/12	−	−	2.9	2/12	30	g2g3	北壁1層						188	
4363	水注		6.4	9/12	6.1	1/12	8.9	8/12	360	Ⅳ H15i	黒褐色土層	分②					188	132
4364	水注		7.9	2/12	−	−	3.8	2/12	25	g2	東トレンチ						188	
4365	水注		6.7	2/12	−	−	3.0	2/12	25	e3d3	東壁2層			鉄釉			188	
4366	水注		6.0	3/12	−	−	6.0	4/12	55	e4	黒色灰層下層, 褐色土混じる						188	
4367	水注		4.6	3/12	−	−	3.7	3/12	15	e2	検出（下層）			鉄釉			188	
4368	水注		5.6	4/12	6.2	12/12	6.6	6/12	150	Ⅳ H16f	黒褐色土層			鉄釉			188	
4369	水注		−	−	6.8	4/12	6.2	2/12	70	Ⅳ H16g	黒褐色土層						188	
4370	水注		−	−	5.1	12/12	7.1	8/12	170	e2d2	東壁セクション						188	
4371	水注		4.8	1/12	6.4	6/12	7.4	4/12	95	d4	褐色土層, 地山直上						188	
4372	水注		5.2	4/12	5.4	12/12	7.3	7/12	195	e2	黒色灰層上層						188	131
4373	水注		3.6	3/12	−	−	4.8	2/12	45	g4f4	東壁5層						188	
4374	水注		4.9	3/12	6.9	4/12	5.5	4/12	70	Ⅳ H16g	赤褐色土層			鉄釉			188	
4375	水注		5.4	12/12	6.0	12/12	5.7	11/12	250	Ⅳ H16g	赤褐色土層	分②					188	132
4376	水注		5.3	2/12	−	−	5.8	2/12	35	c3	黒色灰層下層						188	
4377	水注		5.6	3/12	−	−	5.0	2/12	50	Ⅳ H15g	黒褐色土層						188	132
4378	水注		6.8	3/12	−	−	5.4	3/12	45	Ⅳ H15h	表土下, 黒褐色土層						188	132
4379	水注		5.6	3/12	−	−	5.5	3/12	40	f3	検出						188	
4380	水注		6.0	1/12	−	−	4.3	1/12	15	g2	東トレンチ			鉄釉			188	
4381	水注		5.8	3/12	−	−	3.8	2/12	45	Ⅳ H16h	黒褐色土層						188	132
4382	水注		6.2	3/12	−	−	3.8	4/12	35	e3d3	東壁5層						188	
4383	水注		4.8	7/12	−	−	5.0	8/12	90	f3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						188	
4384	水注		3.4	1/12	−	−	1.8	3/12	20	Ⅳ H15g	黒褐色土層						188	
4385	水注		4.5	0.5/12	−	−	8.4	4/12	80	d1d2	北壁4層						188	
4386	水注		4.2	3/12	−	−	2.9	1/12	15	g3	黒色灰層上層						188	
4387	水注		−	−	5.0	4/12	6.0	2/12	80	f2	北トレンチ						188	
4388	双耳小壺		4.7	2/12	5.4	7/12	9.0	5/12	305	d3	黒色灰層最下部, 褐色土直上						189	132
4389	双耳小壺		4.8	2/12	5.5	12/12	8.9	7/12	330	d2	検出	分②					189	133
4390	双耳小壺		4.2	4/12	−	−	(3.5)	3/12	25	f4	褐色土層, 地山直上						189	
4391	双耳小壺		4.6	2/12	−	−	(4.5)	2/12	55	f3	検出						189	
4392	双耳小壺		5.5	4/12	−	−	(4.2)	4/12	35	d3	黒色灰層下層						189	
4393	双耳小壺		3.9	1/12	−	−	(7.0)	1/12	50	98	表採						189	
4394	双耳小壺		4.6	3/12	−	−	(2.3)	1/12	20	e3d3	東壁5層						189	
4395	双耳小壺		4.0	2/12	−	−	(3.0)	1/12	25	c1	黒色灰層下層						189	
4396	双耳小壺		3.8	1/12	−	−	(5.9)	1/12	30	b1	黒色灰層下層						189	
4397	双耳小壺		3.8	1/12	−	−	(3.4)	2/12	30	c2	黒色灰層下層						189	
4398	双耳小壺		4.0	2/12	−	−	(2.6)	1/12	10	c1	黒色灰層下層						189	
4399	双耳小壺		3.6	4/12	−	−	(4.4)	3/12	35	d3d4	北壁4層						189	
4400	双耳小壺		3.9	4/12	−	−	(5.3)	4/12	55	f2	検出						189	
4401	双耳小壺		4.0	3/12	−	−	(3.6)	1/12	20	e3d3	東壁4層						189	
4402	双耳小壺		4.6	2/12	4.4	4/12	5.2	5/12	150	e2d2	東壁5層						189	133
4403	双耳小壺		3.4	3/12	−	−	(1.8)	1/12	10	b3	黒色灰層上層						189	
4404	双耳小壺		4.4	4/12	−	−	(2.5)	2/12	15	f4	黒色灰層上層						189	
4405	双耳小壺		4.8	3/12	4.9	7/12	5.7	6/12	125	Ⅳ H14h, Ⅳ H14i	東壁44層						189	
4406	双耳小壺		4.0	3/12	−	−	(3.8)	3/12	30	f2	北トレンチ						189	
4407	双耳小壺		4.0	12/12	4.5	12/12	5.6	11/12	180	f6	褐色土層			鉄釉			189	133
4408	双耳小壺		3.3	3/12	4.3	6/12	5.5	4/12	55	d2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						189	
4409	双耳小壺		4.6	4/12	−	−	(4.6)	2/12	45	c1	黒色灰層上層			鉄釉			189	
4410	双耳小壺		3.6	5/12	4.2	12/12	4.4	5/12	95	d5	灰褐色土層						189	133
4411	双耳小壺		4.8	4/12	4.8	8/12	4.4	7/12	70	Ⅳ H15g	黒褐色土層						189	
4412	双耳小壺		−	−	−	−	(4.2)	1/12	60	g2g3	北壁2層						189	
4413	双耳小壺		−	−	−	−	(4.9)	1/12	30	g2	東トレンチ						189	
4414	双耳小壺		3.2	6/12	−	−	(2.8)	3/12	50	g3	黒色灰層上層						189	133
4415	双耳小壺		−	−	4.6	12/12	(4.9)	6/12	75	Ⅳ H12j	褐色土層			鉄釉			189	133
4416	双耳小壺		6.0	3/12	−	−	(3.6)	2/12	40	d3	黒色灰層						189	
4417	双耳小壺		6.0	2/12	5.0	7/12	5.2	5/12	70	f4	表土	分②					189	133

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
4418	筒形容器	I	−	−	11.0	4/12	(10.0)	3/12	250	b2b3	北壁3層						190	133
4419	筒形容器	I	11.2	6/12	−	−	(7.0)	4/12	250	b1b2	北壁1層						190	133
4420	筒形容器	I	−	−	11.2	8/12	(9.6)	5/12	360	Ⅳ H15f	黒褐色土層						190	
4421	筒形容器	I	15.6	4/12	9.8	12/12	13.7	10/12	665	Ⅳ H16f	黒色灰層						190	134
4422	筒形容器	I	11.4	4/12	−	−	(6.0)	5/12	170	d3	黒色灰層上層						190	133
4423	筒形容器	I	11.0	12/12	−	−	(5.5)	4/12	315	d3	黒色灰層上層						190	134
4424	筒形容器	I	−	−	10.7	4/12	(6.0)	1/12	145	d1d2	北壁4層						190	
4425	筒形容器	I	−	−	8.8	12/12	(6.3)	4/12	310	c2	黒色灰層下層						190	
4426	筒形容器	I	−	−	8.7	3/12	(7.3)	1/12	125	e2	黒色灰層下層メインベルト						190	
4427	筒形容器	I	9.5	4/12	−	−	(5.3)	1/12	30	d3	表土			鉄釉			190	
4428	筒形容器	I	13.6	3/12	−	−	(5.2)	1/12	50	c3	黒色灰層下層, 褐色土混じる			鉄釉			190	
4429	筒形容器	I	12.4	2/12	−	−	(4.6)	1/12	30	c2c3	北壁4層			鉄釉			190	
4430	筒形容器	I	−	−	10.8	5/12	(2.0)	1/12	105	Ⅳ H15g	黒褐色土層			鉄釉			190	
4431	筒形容器	I	−	−	9.5	11/12	(2.1)	1/12	250	c4	表土			鉄釉			190	
4432	筒形容器	I	−	−	12.4	5/12	(2.6)	1/12	205	98	表採			鉄釉			190	
4433	筒形容器	I	12.5	2/12	−	−	(4.3)	1/12	30	Ⅳ H15g	黒褐色土層						190	
4434	筒形容器	I	14.3	2/12	−	−	(8.6)	1/12	105	Ⅳ H15g	黒褐色土層						190	
4435	筒形容器	I	12.9	5/12	−	−	(7.9)	1/12	70	Ⅳ H16f	黒褐色土層						190	
4436	筒形容器	I	−	−	−	−	(9.4)	1/12	120	e4	黒色灰層下層, 褐色土混じる						190	
4437	筒形容器	I	13.7	2/12	9.9	6/12	14.2	4/12	403	f2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる	分−72					190	
4438	筒形容器	I	13.4	1/12	9.8	3/12	15.2	2/12	213	e3	検出（下層）	分−73, 分②					190	
4439	筒形容器	I	14.3	1/12	8.3	3/12	13.7	2/12	150	d2d3	北壁7層						190	
4440	筒形容器	I	13.2	4/12	−	−	(13.8)	2/12	161	e2	検出						191	134
4441	筒形容器	I	13.0	3/12	−	1/12	(13.1)	1/12	224	f3e3	東壁10層						191	
4442	筒形容器	I	12.3	2/12	−	−	(13.0)	1/12	133	Ⅳ H15g	黒褐色土層						191	
4443	筒形容器	I	12.1	1/12	−	−	(14.0)	1/12	122	Ⅳ H15g	黒褐色土層						191	
4444	筒形容器	I	−	−	9.9	5/12	(12.5)	3/12	263	e4	黒色灰層下層, 褐色土混じる	分−75					191	
4445	筒形容器	I	15.0	2/12	10.8	11/12	16.0	6/12	776	Ⅳ H15h	黒褐色土層						191	
4446	筒形容器	I	14.0	1/12	−	−	(12.8)	1/12	154	Ⅳ H15g	黒褐色土層						191	
4447	筒形容器	I	13.8	2/12	−	−	(11.2)	1/12	87	Ⅳ H15g	黒褐色土層						191	
4448	筒形容器	I	12.7	3/12	−	−	(8.2)	1/12	88	d1	黒色灰層						191	
4449	筒形容器	I	−	−	11.4	12/12	(9.7)	4/12	578	c2	黒色灰層下層						191	
4450	筒形容器	I	−	−	10.6	6/12	(12.4)	2/12	294	Ⅳ H16g	黒褐色土層						191	
4451	筒形容器	I	14.4	1/12	10.6	6/12	15.5	5/12	395	f2	北トレンチ下層						191	134
4452	筒形容器	I	13.6	2/12	10.1	12/12	15.0	9/12	773	Ⅳ H14g	8層						191	134
4453	筒形容器	I	−	−	12.0	4/12	(14.9)	3/12	325	d3	黒色灰層上層						191	
4454	筒形容器	I	−	−	10.0	8/12	(11.9)	5/12	478	d3	黒色灰層上層						191	
4455	筒形容器	I	−	−	11.0	4/12	(8.8)	2/12	197	Ⅳ H16h	黒褐色土層						191	
4456	筒形容器	I	−	−	9.5	6/12	(10.5)	3/12	325	c2	黒色灰層下層, 褐色土混じる	分−74					192	
4457	筒形容器	Ⅱ	−	−	10.0	11/12	(11.2)	4/12	647	e3d3	東壁6層						192	
4458	筒形容器	Ⅱ	13.0	1/12	10.6	2/12	15.5	1/12	140	d2	黒色灰層上層						192	
4459	筒形容器	Ⅱ	12.0	1/12	10.4	4/12	15.1	2/12	342	98	表採						192	
4460	筒形容器	Ⅱ	13.2	3/12	10.6	3/12	16.2	2/12	296	e4	表土						192	
4461	筒形容器	Ⅱ	14.0	1/12	10.7	6/12	16.5	3/12	514	d3	黒色灰層下層, 褐色土混じる	分②					192	134
4462	筒形容器	Ⅱ	13.4	3/12	10.2	5/12	15.4	3/12	354	d3	黒色灰層上層						192	135
4463	筒形容器	Ⅱ	14.1	2/12	12.6	4/12	14.5	3/12	275	f4	黒色灰層上層						192	
4464	筒形容器	Ⅱ	14.5	2/12	−	−	(13.6)	1/12	232	e2	黒色灰層上層メインセクション						192	
4465	筒形容器	Ⅱ	13.4	3/12	−	−	(12.6)	1/12	130	g2g3	北壁3層						192	
4466	筒形容器	Ⅱ	14.0	2/12	−	−	(13.5)	1/12	163	d1d2	北壁3層						192	
4467	筒形容器	Ⅱ	13.7	2/12	9.7	1/12	13.8	1/12	146	c2c3	北壁4層						192	
4468	筒形容器	Ⅱ	13.5	2/12	−	−	(7.2)	1/12	42	99A	表採						192	
4469	筒形容器	Ⅱ	−	−	11.3	9/12	(10.0)	3/12	350	Ⅳ H15g	黒褐色土層						192	
4470	筒形容器	Ⅱ	−	−	13.8	5/12	(9.1)	4/12	208	f2	北トレンチ下層						192	
4471	筒形容器	Ⅱ	14.7	6/12	−	−	(13.4)	2/12	206	e2e3	北壁7層						192	
4472	桶		22.6	2/12	20.2	10/12	22.1	4/12	−	Ⅳ H15g	黒褐色土層	分②				復元	193	135
4473	桶		23.5	3/12	22.4	1/12	20.2	2/12	570	Ⅳ H11i	表土下, 褐色土層						193	
4474	桶		24.3	3/12	21.6	1/12	19.6	2/12	940	b3	黒色灰層上層						193	
4475	桶		26.0	2/12	−	−	(7.8)	1/12	130	e2e3	北壁1層						193	
4476	桶		25.0	2/12	23.0	4/12	22.9	3/12	1170	e2e3	黒色灰層下層						193	135
4477	桶		24.4	2/12	22.8	5/12	20.7	3/12	975	c2d2	東壁3層						193	135
4478	桶		27.8	1/12	−	−	(17.0)	1/12	315	d2	黒色灰層下層						193	
4479	桶		23.3	2/12	−	−	(14.8)	1/12	380	e3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						193	
4480	桶		27.5	4/12	−	−	(9.6)	1/12	390	d3	黒色灰層上層						194	
4481	桶		24.4	2/12	−	−	(12.5)	1/12	175	d2	黒色灰層上層						194	
4482	桶		24.0	11/12	−	−	(20.3)	6/12	1405	d3d4	北壁7層						194	
4483	桶		23.1	2/12	−	−	(8.9)	1/12	120	d2	黒色灰層下層, 褐色土混じる						194	
4484	桶		22.0	2/12	−	−	(9.9)	1/12	155	g2	東トレンチ下層						194	
4485	桶		21.4	3/12	−	−	(9.0)	1/12	155	b3c3	西壁3層						194	
4486	桶		22.2	2/12	−	−	(8.5)	1/12	122	b1c1	西壁2層	分−76					194	
4487	桶		20.4	5/12	−	−	(12.7)	1/12	430	d3	黒色灰層上層						194	
4488	桶		−	−	25.2	3/12	(11.3)	1/12	350	Ⅳ H16f	灰層（褐色土）						194	
4489	桶		−	−	25.6	1/12	(6.6)	1/12	114	f5e5	東壁3層	分−79					194	
4490	桶		−	−	23.0	2/12	(10.5)	1/12	465	e2e3	北壁2層						194	
4491	桶		−	−	20.3	2/12	(18.1)	2/12	370	Ⅳ H15f	黒褐色土層						194	
4492	桶		18.2	4/12	17.8	5/12	20.0	2/12	650	Ⅳ H14h	97層			鉄釉			195	
4493	桶		17.8	3/12	−	−	(15.0)	1/12	250	d2	黒色灰層上層						195	
4494	桶		16.5	3/12	−	−	(12.1)	1/12	145	d1	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						195	
4495	桶		18.6	1/12	−	−	(8.5)	1/12	83	b2b3	北壁2層	分−78					195	
4496	桶		17.8	1/12	−	−	(8.0)	1/12	66	b1c1	西壁2層	分−77					195	
4497	桶		16.6	3/12	−	−	(9.8)	1/12	250	d3d4	北壁4層						195	
4498	桶		16.7	1/12	16.5	4/12	12.0	4/12	260	e2	黒色灰層下層メインベルト						195	
4499	桶		−	−	15.7	12/12	(5.8)	1/12	745	Ⅳ H16f	黒褐色土層						195	
4500	桶		−	−	16.2	5/12	(7.2)	1/12	285	e2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						195	
4501	桶		−	−	17.2	4/12	(8.1)	1/12	390	c3	黒色灰層上層						195	
4502	桶		−	−	19.4	4/12	(10.5)	1/12	460	e2	黒色灰層下層メインベルト						195	
4503	桶		−	−	19.5	6/12	(9.0)	1/12	640	d2c2	東壁1層						195	
4504	桶		−	−	21.0	3/12	(8.0)	1/12	355	e4d4	東壁5層						195	
4505	桶		−	−	22.4	3/12	(8.5)	1/12	420	d2	黒色灰層下層						195	
4506	受け付き桶		32.0	5/12	26.1	8/12	26.5	1/12	復元	e3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる	分②					196	135
4507	風炉		30.0	2/12	−	−	(23.4)	3/12	2400	b1b2	北壁1層	分②					196	135
4508	風炉		21.6	4/12	17.4	1/12	23.7	3/12	復元	e4d4	東壁5層						197	136
4509	風炉		22.0	1/12	−	−	(12.2)	1/12	625	c2	検出						197	
4510	花盆	A	−	−	−	−	13.9	1/12	590	99G	黒褐色土層						198	135
4511	花盆	A	−	−	20.7	4/12	9.0	2/12	810	d4	黒色灰層上層						198	136
4512	花盆	A	−	−	−	−	20.1	3/12	1360	d2d3	北壁1層						198	
4513	花盆	A	−	−	18.9	1/12	21.0	2/12	復元	d2d3	表採					復元	198	136

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉			時期	その他	遺物図	写真図版
4514	花盆	A	−	−	18.7	5/12	−	6/12	−	d3	黒色灰層						復元	199	136
4515	花盆	A	−	−	19.8	4/12	−	4/12	−	d1	黒色灰層						復元	199	136
4516	花盆	A	−	−	16.7	4/12	22.5	4/12	1180	d2	黒色灰層下層							199	136
4517	花盆	A	−	−	−	−	9.3	1/12	180	99	表採	分-82						199	
4518	花盆	A	−	−	18.3	6/12	19.3	6/12	2010	d2	黒色灰層上層							200	136
4519	花盆	B	−	−	15.1	3/12	19.5	4/12	1140	d3	黒色灰層上層			鉄釉				200	136
4520	花盆	B	−	−	17.0	5/12	21.0	4/12	1365	d2	黒色灰層下層							200	
4521	花盆	B	−	−	18.6	2/12	13.8	2/12	385	d1	表採							200	
4522	花盆	B	−	−	16.0	2/12	13.8	2/12	700	99A	表採							200	137
4523	花盆	B	−	−	14.5	8/12	13.9	6/12	660	d1	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる							200	136
4524	花盆	B	−	−	−	−	7.0	1/12	107	c2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる	分-83						200	
4525	花盆	B	−	−	12.6	8/12	5.5	4/12	445	Ⅳ H16g	黒褐色土層							200	
4526	花盆	B	29.0	1/12	−	−	12.6	1/12	450	e2	黒色灰層下層メインベルト							201	
4527	花盆	B	28.9	1/12	−	−	11.8	1/12	280	Ⅳ H16g	赤褐色土層							201	
4528	花盆	B	−	−	17.0	2/12	10.5	1/12	290	d2	黒色土層上層							201	
4529	花盆	B	33.2	1/12	−	−	1.9	1/12	40	98	表採			鉄釉				201	
4530	花盆	B	−	−	−	−	13.7	1/12	870	d2	黒色灰層下層			鉄釉				201	
4531	花盆	B	−	−	19.6	1/12	0.7	1/12	140	Ⅳ H15g	黒褐色土層							201	
4532	花盆	B	41.8	1/12	−	−	10.6	0/12	820	c1	東壁4層							202	
4533	花盆	B	38.0	1/12	−	−	11.9	0/12	310	d3	東壁5層							202	
4534	花盆	B	28.3	2/12	17.1	1/12	22.4	2/12	1380	Ⅳ H16f	黒色灰層下層	分②						202	137
4535	花盆	C	20.8	2/12	12.6	8/12	14.8	3/12	870	Ⅳ H15g, Ⅳ H16g	黒褐色土層							202	137
4536	花盆	C	15.8	7/12	−	−	8.8	7/12	455	d1	黒色灰層下層							202	
4537	花盆	C	17.6	5/12	−	−	8.6	4/12	365	Ⅳ H16g	南壁							202	137
4538	花盆	C	19.3	4/12	−	−	9.6	5/12	460	Ⅳ H16i	黒褐色土層							202	138
4539	花盆	C	18.2	3/12	11.6	4/12	13.3	6/12	1070	d1d2	北壁3層	分②						202	138
4540	花盆	C	−	−	10.5	4/12	12.7	6/12	815	e3d3	東壁5層							203	137
4541	花盆	C	16.8	1/12	10.4	12/12	11.5	7/12	755	d2	表採							203	137
4542	花盆	C	−	−	10.4	12/12	3.5	2/12	375	d4	黒色灰層上層							203	
4543	花盆	C	−	−	12.4	6/12	5.8	3/12	398	b2	表採	分-80						203	
4544	花盆	C	−	−	5.2	9/12	10.9	5/12	400	Ⅳ H15g	黒褐色土層							203	
4545	花盆	C	14.7	5/12	9.5	10/12	5.4	7/12	415	Ⅳ H15g	黒褐色土層							203	138
4546	花盆	C	17.4	3/12	−	−	−	2/12	140	Ⅳ H15h	164層							203	
4547	花盆	C	17.0	4/12	−	−	7.8	4/12	155	Ⅳ H15g	167層							203	
4548	花盆	C	15.6	2/12	−	−	8.3	1/12	70	f2	北トレンチ下層							203	
4549	花盆	C	−	−	11.0	10/12	8.4	4/12	405	b2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる							203	
4550	花盆	C	−	−	9.0	6/12	8.3	4/12	300	f2e2	東壁3層							203	
4551	花盆	C	−	−	8.0	12/12	−	5/12	145	Ⅳ H16g	黒褐色土層							203	
4552	花盆	C	−	−	10.2	12/12	11.4	5/12	360	c3	東壁3層							203	
4553	花盆	C	−	−	12.0	4/12	8.0	3/12	180	e2d2	東壁3層							203	
4554	花盆	C	−	−	10.6	12/12	10.0	8/12	615	d1	黒色灰層							203	137
4555	花盆	C	−	−	7.0	11/12	6.4	4/12	190	d2	表土							203	
4556	花盆	C	−	−	6.4	7/12	5.6	4/12	170	c1	黒色灰層上層							203	138
4557	花盆	C	13.6	3/12	6.6	6/12	5.7	5/12	195	99A	表採							203	138
4558	茶入（肩衝）		(2.7)	3/12	−	−	5.9	3/12	15	Ⅳ H15g	黒褐色土層							204	
4559	茶入（肩衝）		(3.0)	4/12	−	−	3.7	3/12	15	98	表採							204	139
4560	茶入（肩衝）		−	−	3.2	2/12	4.3	4/12	60	Ⅳ H15h	黒褐色土層							204	139
4561	茶入（肩衝）		−	−	(3.0)	5/12	3.9	3/12	15	d1d2	北壁3層							204	
4562	茶入（肩衝）		−	−	2.8	12/12	4.1	5/12	35	b3	黒色灰層下層, 褐色土混じる	分②						204	
4563	茶入（肩衝）		−	−	3.1	12/12	3.0	2/12	30	d2	黒色灰層下層, 褐色土混じる							204	
4564	茶入（肩衝）		2.8	1/12	−	−	−	1/12	5	Ⅳ H15h	黒褐色土層							204	
4565	茶入（肩衝）		(2.8)	4/12	−	−	2.9	2/12	6	c3c4	北壁6層							204	
4566	茶入（肩衝）		3.1	2/12	−	−	−	1/12	10	99G	黒褐色土層							204	
4567	茶入（肩衝）		−	−	4.0	6/12	4.1	3/12	30	e2	検出							204	
4568	茶入（肩衝）		−	−	3.4	3/12	4.2	3/12	20	b3c3	西壁3層							204	
4569	茶入（肩衝）		−	−	3.3	11/12	2.0	1/12	25	98	表採							204	
4570	茶入（肩衝）		−	−	3.0	9/12	1.9	3/12	15	c2	検出							204	
4571	茶入（肩衝）		−	−	3.2	5/12	1.8	2/12	10	98	表採							204	
4572	茶入（肩衝）		2.5	2/12	−	−	−	2/12	8	Ⅳ H13g, Ⅳ H14g	南壁5層							204	
4573	茶入（肩衝）		2.6	4/12	−	−	2.9	2/12	6	f3e3	東壁11層							204	
4574	茶入（肩衝）		2.6	2/12	−	−	−	1/12	5	d1d2	北壁4層							204	
4575	茶入（肩衝）		−	−	2.3	7/12	3.1	4/12	10	f3	表採							204	
4576	茶入（肩衝）		−	−	2.5	10/12	1.6	1/12	11	Ⅳ H16g	赤褐色土層							204	
4577	茶入（肩衝）		−	−	3.6	4/12	2.4	1/12	10	d3c3	東壁4層							204	
4578	茶入（肩衝）		−	−	3.6	7/12	2.0	3/12	18	c3	黒色灰層上層							204	
4579	茶入（尻膨）		3.2	3/12	−	−	5.5	3/12	21	Ⅳ H13h, Ⅳ H14h	南壁20層	分②						204	139
4580	茶入（尻膨）		3.9	3/12	−	−	4.6	2/12	19	f3f4	北壁3, 6層							204	
4581	茶入（尻膨）		3.4	2/12	−	−	−	1/12	10	d2d3	北壁8層							204	
4582	茶入（尻膨）		−	−	3.7	1/12	4.4	2/12	14	d2	黒色灰層下層, 褐色土混じる							204	
4583	茶入（文琳）		−	−	3.8	2/12	4.9	3/12	46	d4	黒色灰層下層, 褐色土多く混じる							204	
4584	茶入（文琳）		−	−	3.5	11/12	2.0	3/12	32	Ⅳ H14h	灰層上層, 暗褐色砂層							204	
4585	茶入（文琳）		−	−	3.0	4/12	3.8	3/12	14	Ⅳ H13i	トレンチ							204	139
4586	茶入（文琳）		−	−	3.5	1/12	−	1/12	10	e2e3	北壁9層							204	
4587	茶入（文琳）		3.2	2/12	−	−	1.6	2/12	4	Ⅳ H14f	174層							204	
4588	茶入（文琳）		−	−	−	−	3.9	1/12	9	Ⅳ H14h	灰層上層, 暗褐色砂層							204	
4589	茶入（文琳）		−	−	4.0	1/12	4.6	2/12	34	e3d3	東壁5層							204	139
4590	茶入（文琳）		−	−	3.8	12/12	3.5	5/12	60	Ⅳ H12d								204	
4591	茶入（文琳）		−	−	3.3	7/12	1.5	1/12	16	e2	黒色灰層上層							204	
4592	茶入（擂座）		6.6	3/12	−	−	−	1/12	12	c2	検出							204	
4593	茶入（擂座）		6.6	3/12	−	−	−	1/12	25	d2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる							204	
4594	茶入（擂座）		−	−	3.9	12/12	−	2/12	51	c2	黒色灰層下層							204	
4595	茶入（擂座）		−	−	4.9	8/12	7.4	−	復元	d3	黒色灰層下層, 褐色土混じる	分②						204	139
4596	茶入（擂座）		8.0	3/12	−	−	6.4	4/12	46	d4	北壁6層							205	139
4597	茶入（擂座）		7.4	2/12	−	−	4.4	2/12	35	Ⅳ H16h	黒褐色土層							205	
4598	茶入（擂座）		7.7	6/12	−	−	−	2/12	35	Ⅳ H16g	黒褐色土層							205	
4599	茶入（擂座）		5.7	2/12	5.5	7/12	7.5	5/12	復元	d2d3	北壁7層							205	139
4600	茶入（擂座）		−	−	−	−	4.7	1/12	24	b1	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる							205	
4601	茶入（擂座）		−	−	4.3	5/12	4.4	1/12	52	Ⅳ H16f	灰層（褐色土）							205	
4602	茶入（擂座）		6.1	1/12	−	−	5.7	1/12	23	e4	黒色灰層下層, 褐色土混じる							205	
4603	茶入（擂座）		−	−	5.0	12/12	5.8	4/12	60	e3d3	東壁5層							205	
4604	茶入（擂座）		−	−	5.3	5/12	3.1	1/12	45	c2	検出							205	
4605	茶入（擂座）		−	−	4.4	5/12	−	3/12	65	g3f3	東壁6層							205	
4606	茶入（擂座）		5.2	3/12	−	−	−	2/12	15	f4	表土							205	
4607	茶入（擂座）		−	−	−	−	3.3	1/12	12	e4	表土							205	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
4608	茶入（擂座）		−	−	−	−	4.1	1/12	22	98	表採						205	
4609	茶入（大海）		6.6	1/12	4.4	8/12	4.5	4/12	85	Ⅳ H14i, Ⅳ H15i	南壁45層						205	
4610	茶入（大海）		7.9	4/12	−	−	3.1	2/12	25	e2	検出						205	140
4611	茶入（大海）		7.0	4/12	−	−	1.5	1/12	15	d1	黒色灰層下層						205	
4612	茶入（大海）		6.5	4/12	−	−	1.6	1/12	10	g3	黒色灰層						205	
4613	茶入（大海）		6.2	2/12	−	−	−	2/12	15	Ⅳ H15g	黒褐色土層						205	
4614	茶入（大海）		3.9	1/12	3.8	1/12	4.5	4/12	14	d2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる	分②					205	
4615	茶入（大海）		−	−	−	−	2.6	1/12	10	g3f3	東壁1層						205	
4616	茶入（大海）		4.7	3/12	−	−	−	2/12	12	Ⅳ H14f, Ⅳ H14g	東壁62層						205	
4617	茶入（大海）		−	−	4.8	2/12	−	2/12	50	Ⅳ H14h, Ⅳ H15h	南壁45層						205	
4618	茶入（大海）		4.9	1/12	−	−	3.5	1/12	10	98	表採						205	
4619	茶入（大海）		5.0	3/12	−	−	4.0	2/12	22	c2	検出						205	139
4620	茶入（大海）		5.2	2/12	−	−	4.0	2/12	15	Ⅳ H13h	灰層上層						205	
4621	茶入（大海）		−	−	3.4	2/12	2.8	2/12	16	b1b2	北壁2層						205	
4622	茶入（大海）		3.7	2/12	−	−	1.2	2/12	5	f2	北トレンチ下層						205	
4623	茶入（大海）		3.2	2/12	−	−	−	1/12	4	e2	黒色灰層上層メインセクション						205	
4624	茶入（大海）		5.3	3/12	−	−	3.0	1/12	10	Ⅳ H15g	黒褐色土層						205	
4625	茶入（大海）		6.0	2/12	−	−	1.5	1/12	6	e2	黒色灰層上層, 焼台多い						205	
4626	茶入（大海）		−	−	−	−	−	2/12	12	g3g4	北壁3層						205	
4627	茶入（大海）		4.8	3/12	−	−	1.8	1/12	6	Ⅳ H16f	黒褐色土層						205	
4628	合子	B	3.9	1/12	4.4	12/12	4.8	1/12	75	98	表採						206	
4629	合子		−	−	3.3	12/12	(4.2)	4/12	30	d2d3	北壁7層						206	
4630	合子		−	−	3.0	12/12	(2.9)	4/12	25	d1	黒色灰層						206	
4631	合子	B	4.6	5/12	−	−	(3.7)	3/12	30	c2	黒色灰層下層, 褐色土混じる						206	140
4632	合子	B	4.7	3/12	5.0	7/12	4.9	5/12	80	d3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						206	
4633	合子	B	4.6	3/12	−	−	(3.8)	4/12	30	c3	黒色灰層下層, 褐色土混じる						206	
4634	合子	B	4.0	6/12	−	−	(3.4)	5/12	35	e5	褐色土層, 地山直上						206	
4635	合子	B	2.9	6/12	3.1	6/12	3.7	6/12	15	e4	黒色灰層下層						206	
4636	合子	B	3.8	5/12	−	−	(2.9)	3/12	20	d4	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						206	
4637	合子	B	3.8	4/12	4.0	3/12	3.7	4/12	25	e4	表土						206	140
4638	合子	B	3.8	12/12	4.9	12/12	3.8	12/12	110	e4	黒色灰層最下層	分②					206	140
4639	合子	B	4.1	3/12	4.4	7/12	4.6	5/12	50	f3	検出						206	
4640	合子	A	5.4	4/12	−	−	(3.5)	4/12	40	Ⅳ H15g	黒褐色土層						206	
4641	合子	A	4.8	3/12	6.0	3/12	6.0	3/12	65	d3c3	東壁4層			鉄釉			206	
4642	合子	A	4.9	1/12	5.9	1/12	6.1	2/12	40	d3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる			鉄釉			206	
4643	合子	B	−	−	5.0	5/12	(5.4)	4/12	55	d2	褐色土層, 地山直上			鉄釉			206	140
4644	合子	B	−	−	4.4	12/12	(3.8)	5/12	80	b1b2	北壁1層						206	
4645	合子	B	−	−	4.7	10/12	(3.5)	3/12	70	e2	黒色灰層上層						206	
4646	合子	A	8.2	5/12	−	−	(4.0)	2/12	60	c3	黒色灰層上層			鉄釉			206	
4647	合子	A	8.2	3/12	−	−	(3.9)	1/12	20	98	表採			鉄釉			206	
4648	合子	A	8.2	1/12	6.4	1/12	6.0	1/12	60	b2	黒色灰層						206	
4649	合子	A	3.8	3/12	4.0	2/12	3.7	4/12	50	d4	黒色灰層下層, 褐色土混じる	分-109					206	
4650	合子	A	4.5	8/12	5.5	12/12	7.3	10/12	260	Ⅳ H14g, Ⅳ H15f	東壁61層						206	
4651	合子	B	4.6	1/12	5.2	2/12	6.0	4/12	75	c3	黒色灰層上層						206	
4652	合子	B	4.9	1/12	4.8	12/12	5.3	8/12	165	f3e3	東壁3層						207	140
4653	合子	B	4.5	9/12	4.8	12/12	5.4	11/12	195	d3	黒色灰層上層						207	140
4654	合子	B	4.0	2/12	−	−	(3.8)	3/12	35	d1	黒色灰層						207	
4655	合子	B	4.2	1/12	−	−	4.4	3/12	50	e3	黒色灰層下層, 褐色土混じる						207	
4656	合子	B	3.7	5/12	5.2	5/12	4.9	5/12	80	e2e3	北壁8層（a, b）						207	
4657	合子	B	4.0	3/12	−	−	(3.3)	4/12	25	f3e3	東壁11層						207	
4658	合子	B	4.5	2/12	4.8	4/12	3.9	4/12	40	f3	検出						207	140
4659	合子	C	3.4	3/12	−	−	2.1	2/12	5	d1d2	北壁3層						207	
4660	合子	B	3.0	2/12	−	−	(4.2)	2/12	20	Ⅳ H15g	9層						207	
4661	合子	B	3.3	6/12	−	−	(4.0)	3/12	25	Ⅳ H15f	北壁176層						207	
4662	合子	B	−	−	3.6	8/12	(3.9)	3/12	5	f2	北トレンチ						207	
4663	合子	C	3.0	1/12	4.0	5/12	3.9	4/12	45	b1	黒色灰層下層						207	
4664	合子	C	3.8	3/12	4.0	2/12	3.7	4/12	20	d4	黒色灰層下層, 褐色土混じる						207	
4665	合子	C	2.9	6/12	3.1	6/12	3.7	6/12	50	c1	黒色灰層下層						207	
4666	合子	C	3.5	10/12	3.3	12/12	3.5	11/12	100	e4	黒色灰層最下部, 褐色土直上						207	140
4667	合子	C	3.8	3/12	−	−	(3.3)	2/12	15	Ⅳ H15f	黒褐色土層						207	
4668	合子	C	3.1	4/12	3.6	12/12	4.3	10/12	90	e3d3	東壁7層						207	
4669	合子	C	2.5	3/12	2.6	5/12	4.4	5/12	35	e4	黒褐色灰層下層, 褐色土混じる						207	141
4670	合子	C	2.9	12/12	3.3	12/12	3.6	12/12	60	Ⅳ H15g	褐色土層						207	140
4671	合子	C	2.5	12/12	3.7	12/12	3.2	12/12	65	e2	下層						207	140
4672	合子	C	3.2	6/12	3.5	6/12	3.2	6/12	30	Ⅳ H16g	黒褐色土層						207	
4673	合子	C	3.2	5/12	3.8	6/12	2.7	5/12	30	f4f5	北壁1層	分-110					207	141
4674	合子	C	3.0	5/12	3.7	3/12	2.8	4/12	20	e2	黒色灰層下層メインベルト						207	
4675	合子	B	5.4	4/12	4.0	2/12	2.8	3/12	40	e3	検出						207	
4676	合子	B	5.8	4/12	4.4	8/12	2.2	6/12	35	Ⅳ H15g	黒褐色土層	分②					207	
4677	合子	B	6.4	4/12	4.0	2/12	2.8	3/12	15	98	表採						207	
4678	合子	C	3.1	5/12	−	−	3.3	3/12	25	d2	黒色灰層上層						207	
4679	合子	C	3.1	10/12	−	−	(3.3)	4/12	25	e2	東壁5層						207	
4680	合子	C	3.1	12/12	3.8	12/12	3.8	11/12	85	f2f3							207	
4681	合子	C	−	−	3.3	12/12	(3.1)	5/12	20	Ⅳ H16i	黒褐色土層						207	
4682	合子蓋	Ⅰa	5.9	12/12	2.8	12/12	2.3	12/12	40	Ⅳ H15h	灰層上層						208	
4683	合子蓋	Ⅰa	5.8	11/12	2.4	12/12	2.2	11/12	40	e3d3	東壁5層						208	
4684	合子蓋	Ⅰa	5.8	4/12	2.8	12/12	2.0	6/12	22	d2	黒色灰層下層						208	141
4685	合子蓋	Ⅰa	5.2	8/12	1.6	12/12	2.2	10/12	20	f3	褐色土層, 地山直上	分②					208	141
4686	合子蓋	Ⅰa	4.8	6/12	2.2	10/12	2.0	7/12	100	e3	検出						208	141
4687	合子蓋	Ⅰa	4.3	11/12	2.4	12/12	1.5	11/12	20	98	表採						208	
4688	合子蓋	Ⅰa	4.0	9/12	1.8	12/12	1.7	11/12	15	d2	黒色灰層下層						208	141
4689	合子蓋	Ⅰa	4.1	11/12	2.2	10/12	1.0	11/12	15	e3	検出						208	
4690	合子蓋	Ⅰa	4.6	9/12	2.4	12/12	1.3	9/12	15	98	表採						208	
4691	合子蓋	Ⅰa	4.1	5/12	2.0	12/12	1.5	6/12	15	98	表採						208	142
4692	合子蓋	Ⅱ	5.0	11/12	2.0	12/12	1.2	11/12	30	e3d3	東壁4層						208	
4693	合子蓋	Ⅰb	6.6	9/12	2.5	12/12	2.4	10/12	40	f3	検出						208	141
4694	合子蓋	Ⅰb	6.4	6/12	2.7	12/12	2.5	6/12	36	f3f4	北壁10層						208	
4695	合子蓋	Ⅰb	7.2	9/12	3.0	12/12	(1.9)	10/12	55	98	表採			鉄釉			208	
4696	合子蓋	Ⅰb	6.0	10/12	2.7	12/12	2.1	11/12	35	c2	検出（下層）						208	
4697	合子蓋	Ⅰb	6.6	8/12	2.8	12/12	2.4	10/12	45	d1d2	北壁4層						208	141
4698	合子蓋	Ⅰb	5.5	10/12	2.5	12/12	2.1	11/12	35	g3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						208	142
4699	合子蓋	Ⅰb	5.1	10/12	2.1	12/12	(1.4)	6/12	30	c3	黒色灰層上層						208	
4700	合子蓋	Ⅰb	5.7	9/12	2.3	6/12	2.2	10/12	30	g2g3	北壁3層						208	142

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析№	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
4701	合子蓋	Ⅰb	5.6	9/12	2.4	12/12	2.2	10/12	33	d1c1	東壁2層	分②					208	
4702	合子蓋	Ⅰb	5.5	11/12	2.2	11/12	2.1	11/12	30	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる						208	142
4703	合子蓋	Ⅰb	5.7	5/12	2.2	12/12	(1.8)	6/12	25	c4	褐色土層						208	
4704	合子蓋	Ⅰb	5.0	10/12	2.1	12/12	2.1	11/12	30	f2	北トレンチ下層						208	142
4705	合子蓋	Ⅰb	5.2	11/12	2.3	11/12	2.1	11/12	35	Ⅳ H15i	黒褐色土層						208	
4706	合子蓋	Ⅰb	5.6	8/12	2.3	12/12	2.5	10/12	35	99G	黒褐色土層						208	
4707	合子蓋	Ⅰb	5.3	7/12	2.3	12/12	1.6	10/12	23	c2	検出						208	
4708	合子蓋	Ⅰb	5.7	6/12	2.1	12/12	2.2	9/12	356	c1	黒色灰層上層						208	142
4709	合子蓋	Ⅰb	5.3	2/12	2.4	10/12	2.5	6/12	20	f3f4	北壁6層						208	
4710	合子蓋	Ⅰb	5.1	12/12	2.1	12/12	1.8	11/12	35	d2	黒色灰層上層						208	142
4711	合子蓋	Ⅰb	5.1	12/12	2.2	12/12	2.2	12/12	28	99A	表採						208	
4712	合子蓋	Ⅰb	5.3	10/12	2.2	12/12	2.1	10/12	25	d3	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						208	
4713	合子蓋	Ⅰb	4.9	12/12	2.0	12/12	2.1	12/12	25	d2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						208	
4714	合子蓋	Ⅰb	4.8	6/12	2.0	12/12	2.0	6/12	18	f2	黒色灰層下層						208	142
4715	合子蓋	Ⅰb	4.6	11/12	2.0	11/12	2.3	11/12	20	Ⅳ H15h	表土層						208	
4716	合子蓋	Ⅰb	5.8	5/12	2.7	12/12	2.3	5/12	35	f2	黒色灰層下層			鉄釉			208	
4717	合子蓋	Ⅰb	5.4	9/12	1.9	12/12	2.2	10/12	30	f4	黒色灰層上層			鉄釉			208	
4718	合子蓋	Ⅰb	5.5	6/12	2.4	12/12	(1.7)	7/12	30	e2d2	東壁1層			鉄釉			208	
4719	合子蓋	Ⅰb	5.9	8/12	2.5	10/12	2.2	10/12	35	g3f3	東壁6層			鉄釉			208	142
4720	合子蓋	Ⅰb	5.5	9/12	2.1	12/12	(1.7)	10/12	30	g3f3	東壁7層			鉄釉			208	
4721	合子蓋	Ⅰb	4.9	10/12	2.4	12/12	1.7	11/12	26	g3	黒色灰層上層			鉄釉			208	142
4722	合子蓋	Ⅰb	5.3	9/12	2.4	10/12	1.4	11/12	50	d1c1	西壁2層			鉄釉			208	142
4723	合子蓋	Ⅰb	5.1	7/12	2.2	12/12	2.0	8/12	26	c3	黒色灰層下層			鉄釉			208	143
4724	合子蓋	Ⅰb	5.8	11/12	2.5	12/12	(1.4)	11/12	30	d4	褐色土層,地山直上			鉄釉			208	
4725	合子蓋	Ⅰb	5.8	9/12	2.8	12/12	(1.4)	10/12	40	c3	黒色灰層			鉄釉			208	
4726	合子蓋	Ⅰb	5.5	12/12	2.1	12/12	(1.3)	12/12	35	d2	黒色灰層下層			鉄釉			208	
4727	合子蓋	Ⅰb	4.5	7/12	2.4	9/12	(1.3)	10/12	25	g3f3	東壁6層			鉄釉			208	
4728	合子蓋	Ⅱ	8.2	10/12	3.8	12/12	1.6	10/12	65	e2	検出						209	
4729	合子蓋	Ⅱ	6.6	7/12	2.6	12/12	1.3	7/12	30	f4	褐色土層,地山直上						209	
4730	合子蓋	Ⅱ	5.9	12/12	3.3	12/12	1.3	12/12	45	e3e4	北壁10層						209	143
4731	合子蓋	Ⅱ	6.0	8/12	2.5	9/12	1.5	8/12	35	c1	黒色灰層下層						209	
4732	合子蓋	Ⅱ	5.5	11/12	2.5	12/12	1.8	11/12	45	g2	黒色灰層上層						209	
4733	合子蓋	Ⅱ	6.0	12/12	2.6	12/12	1.0	12/12	30	d1	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						209	
4734	合子蓋	Ⅱ	6.0	10/12	2.9	12/12	1.4	11/12	35	f4	黒色灰層上層						209	
4735	合子蓋	Ⅱ	5.8	7/12	2.4	12/12	1.4	9/12	30	e2	黒色灰層下層メインベルト						209	
4736	合子蓋	Ⅱ	6.0	12/12	2.6	12/12	1.2	12/12	40	c1	黒色灰層上層						209	
4737	合子蓋	Ⅱ	5.9	12/12	2.8	12/12	1.3	12/12	33	f2	黒色灰層下層						209	
4738	合子蓋	Ⅱ	5.7	12/12	2.9	12/12	1.2	12/12	35	99	表採						209	
4739	合子蓋	Ⅱ	5.6	12/12	2.8	12/12	1.3	12/12	31	f4e4	東壁2層						209	
4740	合子蓋	Ⅱ	5.4	12/12	2.9	12/12	1.7	12/12	40	b1b2	北壁2層						209	
4741	合子蓋	Ⅱ	5.9	12/12	2.8	12/12	1.0	12/12	35	g3	北壁3層						209	
4742	合子蓋	Ⅱ	5.2	11/12	2.3	12/12	1.4	11/12	25		北トレンチ						209	
4743	合子蓋	Ⅱ	5.3	4/12	2.3	12/12	1.3	5/12	20	d3	黒色灰層上層						209	
4744	合子蓋	Ⅱ	5.1	12/12	2.4	12/12	1.5	12/12	31	d2	検出						209	
4745	合子蓋	Ⅱ	5.6	12/12	2.4	12/12	1.6	12/12	35	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる						209	
4746	合子蓋	Ⅱ	8.2	7/12	2.6	8/12	1.4	8/12	40	c2c3	北壁4層						209	143
4747	合子蓋	Ⅱ	5.7	9/12	2.1	12/12	1.0	10/12	30	f3f4	北壁6層						209	143
4748	合子蓋	Ⅱ	4.7	10/12	2.4	11/12	1.4	11/12	23	g3f3	東壁6層						209	
4749	合子蓋	Ⅱ	5.5	10/12	2.8	12/12	1.3	11/12	37	c3	黒色灰層上層						209	143
4750	合子蓋	Ⅱ	5.0	11/12	2.2	12/12	1.6	11/12	33	b3	表採						209	
4751	合子蓋	Ⅱ	4.6	12/12	2.0	12/12	1.1	11/12	21	c3	黒色灰層下層						209	
4752	合子蓋	Ⅱ	4.0	12/12	1.6	12/12	1.0	12/12	15	e3d3	東壁4層						209	
4753	合子蓋	Ⅱ	4.1	12/12	2.2	12/12	1.1	12/12	15	c3	黒色灰層上層						209	
4754	合子蓋	Ⅱ	3.8	4/12	2.2	12/12	1.1	6/12	10	f3e3	東壁11層						209	
4755	合子蓋	Ⅱ	4.5	11/12	2.4	11/12	1.3	11/12	20	d3	黒色灰層5層						209	
4756	合子蓋	Ⅱ	4.7	12/12	2.5	12/12	7.8	12/12	20	d2	黒色土層上層						209	
4757	合子蓋	Ⅱ	4.5	12/12	1.9	12/12	1.1	12/12	21	98	表採						209	
4758	合子蓋	Ⅱ	4.7	12/12	2.3	12/12	1.0	12/12	24	g3f3	東壁6層						209	
4759	合子蓋	Ⅱ	4.3	11/12	2.0	12/12	1.1	11/12	20	d3	黒色灰層下層						209	
4760	合子蓋	Ⅱ	4.4	8/12	2.1	9/12	1.1	8/12	15	d3c3	東壁3層						209	
4761	合子蓋	Ⅱ	4.4	12/12	2.5	12/12	1.0	12/12	18	f2	黒色灰層上層						209	
4762	合子蓋	Ⅱ	4.3	12/12	2.2	12/12	1.1	12/12	22	Ⅳ H12f	褐色土層						209	
4763	合子蓋	Ⅱ	4.4	12/12	1.9	12/12	1.2	12/12	20	c2	検出(下層)						209	
4764	合子蓋	Ⅱ	4.6	11/12	2.4	12/12	1.5	11/12	27	c2c3	北壁4層						209	
4765	合子蓋	Ⅱ	5.4	10/12	2.4	9/12	1.2	10/12	35	e5	褐色土層,地山直上						209	
4766	合子蓋	Ⅱ	4.8	8/12	2.5	12/12	0.8	11/12	25	c1	黒色灰層下層						209	
4767	合子蓋	Ⅱ	5.3	11/12	2.6	12/12	1.2	11/12	30	98	表採						209	
4768	合子蓋	Ⅱ	6.3	10/12	3.3	12/12	1.7	10/12	50	c2d2	東壁3層						209	
4769	合子蓋	Ⅱ	7.0	9/12	3.9	12/12	1.5	11/12	65	99A	表採						209	
4770	合子蓋	Ⅱ	6.0	8/12	2.6	8/12	1.7	10/12	35	c3	黒色灰層上層						209	
4771	合子蓋	Ⅱ	6.2	9/12	2.7	8/12	1.4	10/12	35	e2	黒色灰層下層メインベルト						209	143
4772	合子蓋	Ⅱ	5.5	12/12	2.3	12/12	1.6	12/12	35	f2	北トレンチ						209	
4773	合子蓋	Ⅱ	5.2	11/12	2.5	12/12	1.4	11/12	25	g4f4	東壁6層						209	
4774	合子蓋	Ⅱ	5.4	11/12	2.5	12/12	1.4	11/12	30	d2	黒色灰層下層						209	
4775	合子蓋	Ⅱ	5.5	8/12	2.4	12/12	1.7	9/12	30	f2e2	東壁3層						209	
4776	合子蓋	Ⅱ	5.5	10/12	2.2	12/12	1.8	11/12	35	98	表採						209	
4777	合子蓋	Ⅱ	5.1	12/12	2.5	12/12	1.4	12/12	33	Ⅳ H16f	黒褐色土層						209	
4778	合子蓋	Ⅱ	5.1	10/12	2.8	12/12	1.7	11/12	35	c2	検出(下層)						209	
4779	合子蓋	Ⅱ	5.0	11/12	2.4	10/12	1.2	11/12	20	d2	黒色灰層上層						209	
4780	合子蓋	Ⅱ	4.8	10/12	2.4	12/12	1.3	10/12	25	g3f4	東壁4層						209	143
4781	合子蓋	Ⅱ	4.0	12/12	2.0	12/12	1.4	12/12	30	Ⅳ H15h							209	
4782	合子蓋	Ⅱ	4.3	10/12	1.8	12/12	1.3	11/12	20	e2d2	東壁セクション						209	
4783	合子蓋	Ⅱ	4.0	11/12	2.2	11/12	0.9	11/12	15	e3	北壁9層						209	
4784	合子蓋	Ⅱ	3.8	10/12	1.8	12/12	1.3	11/12	20	98	表採						209	
4785	合子蓋	Ⅱ	3.8	12/12	2.2	12/12	1.1	12/12	17	d2	黒色灰層上層						209	143
4786	蓋		21.3	3/12	−	−	6.4	3/12	235	Ⅳ H15f	黒褐色土層						210	143
4787	蓋		21.8	6/12	11.1	5/12	5.2	5/12	395	f5e5	東壁3層						210	144
4788	蓋		−	−	−	−	(3.7)	7/12	371	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる						210	
4789	蓋		10.3	2/12	−	−	6.0	8/12	468	e4	黒色灰層下層,褐色土混じる						210	144
4790	蓋		13.2	4/12	−	−	5.3	6/12	175	Ⅳ H15g	169層						210	143
4791	蓋		12.4	2/12	−	−	(3.5)	4/12	130	Ⅳ H15g	黒褐色土層						210	
4792	蓋		16.6	2/12	−	−	(2.6)	1/12	20	f2	北トレンチ下層						210	
4793	蓋		16.3	3/12	−	−	4.9	3/12	110	c3c4	北壁3層						210	
4794	蓋		11.1	5/12	4.7	12/12	2.4	9/12	95	f4	黒色灰層下層,褐色土混じる			鉄釉+灰釉			210	144
4795	蓋		10.2	3/12	5.0	7/12	2.0	6/12	50	e3d3	東壁5層			鉄釉			210	
4796	蓋		10.2	4/12	5.7	12/12	2.0	7/12	100	Ⅳ H15g	黒褐色土層			鉄釉			210	
4797	蓋		11.2	5/12	5.6	8/12	2.3	7/12	85	Ⅳ H15g	黒褐色土層						210	144

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉			時期	その他	遺物図	写真図版
4798	蓋		8.8	6/12	5.0	12/12	1.8	8/12	65	c1	黒色灰層下層							210	
4799	蓋		9.3	5/12	4.7	12/12	1.7	8/12	60	c2	黒色土層下層							210	
4800	蓋		10.9	5/12	3.9	12/12	3.0	6/12	100	f2	検出							210	144
4801	蓋		11.4	5/12	4.8	12/12	2.7	7/12	170	e2	検出							210	144
4802	蓋		12.5	9/12	5.7	12/12	3.5	11/12	300	Ⅳ H16i	黒褐色土層							210	
4803	蓋		10.2	6/12	3.6	12/12	4.0	8/12	140	Ⅳ H16f	黒褐色土層							210	144
4804	蓋		9.4	3/12	3.3	12/12	2.2	3/12	55	Ⅳ H15f	黒褐色土層							210	
4805	蓋		9.4	9/12	3.9	12/12	(3.0)	10/12	130	e2d2	東壁セクション							210	145
4806	蓋		9.0	7/12	4.0	12/12	2.3	7/12	80	Ⅳ H16h	表土下, 黒褐色土層							210	
4807	蓋		9.4	10/12	3.3	12/12	2.4	11/12	100	d2	検出							210	
4808	蓋		7.5	9/12	3.0	12/12	2.7	10/12	70	Ⅳ H16h	黒褐色土層							210	145
4809	蓋		13.0	7/12	10.1	7/12	3.1	7/12	155	g3	黒色灰層上層							210	144
4810	蓋		9.4	10/12	4.5	12/12	2.5	11/12	126	d3	黒色灰層上層							210	
4811	蓋		9.9	2/12	3.7	12/12	3.4	4/12	90	d2	黒色灰層上層							210	
4812	蓋		8.1	5/12	3.6	12/12	2.7	8/12	65	f3f4	北壁6層							210	
4813	蓋		8.5	10/12	3.2	12/12	2.5	11/12	75	f2	検出							210	
4814	鳥形水滴		−	−	−	−	(4.9)	10/12	70	g3g4	北壁5層			鉄釉				211	145
4815	鳥形水滴		−	−	2.6	10/12	(4.2)	7/12	30	99C	赤褐色土層							211	145
4816	鳥形水滴		−	−	2.9	12/12	(3.2)	10/12	50	d2	黒色灰層下層, 褐色土混じる							211	145
4817	鳥形水滴		−	−	−	−	(3.5)	1/12	15	g3f3	東壁6層							211	
4818	鳥形水滴		−	−	−	−	(3.0)	1/12	10	Ⅳ H15i	灰層上層							211	
4819	鳥形水滴		−	−	3.2	12/12	(4.3)	10/12	65	d2	検出			鉄釉				211	145
4820	鳥形水滴		−	−	−	−	(3.7)	5/12	35	Ⅳ H14h, Ⅳ H15h	南壁41層							211	145
4821	鳥形水滴		−	−	−	−	(3.3)	1/12	15	g3f3	東壁2層			鉄釉				211	
4822	鳥形水滴		−	−	−	−	(2.4)	1/12	10	99C	赤褐色土層			鉄釉				211	
4823	鳥形水滴		−	−	−	−	(3.0)	1/12	20	d4	表土							211	
4824	鳥形水滴		−	−	2.5	10/12	(3.1)	10/12	35	c2	黒色土層下層			鉄釉				212	145
4825	鳥形水滴		−	−	2.5	12/12	(2.8)	5/12	30	c3	黒色灰層下層, 褐色土混じる			鉄釉				212	145
4826	鳥形水滴		−	−	−	−	(3.0)	1/12	15	Ⅳ H14i, Ⅳ H15i	南壁41層			鉄釉				212	
4827	鳥形水滴		−	−	−	−	(1.8)	1/12	10	f2f3	北壁5層							212	
4828	鳥形水滴		−	−	−	−	(1.7)	1/12	15	Ⅳ H9j	褐色土層							212	
4829	鳥形水滴		−	−	−	−	(2.2)	1/12	5	g3f3	東壁7層			鉄釉				212	
4830	水滴		2.2	10/12	3.6	12/12	3.4	11/12	45	e6d6	東壁2層							212	146
4831	水滴		2.2	8/12	3.1	12/12	4.1	11/12	60	c2	検出（黒色土層最下部）							212	146
4832	水滴		−	−	3.3	4/12	(3.5)	6/12	40	d3d4	北壁4層							212	
4833	水滴		−	−	3.0	8/12	(3.6)	4/12	30	d1	黒色灰層							212	
4834	水滴		2.0	4/12	2.4	1/12	3.1	3/12	10	Ⅳ H15g	黒褐色土層							212	
4835	水滴		3.3	6/12	3.2	12/12	3.0	10/12	100	f4	表土							212	
4836	水滴		2.4	12/12	3.1	12/12	3.3	11/12	55	Ⅳ H16g	黒褐色土層							212	145
4837	水滴		2.2	3/12	3.2	5/12	2.8	4/12	20	f2f3	北壁6層							212	
4838	水滴		2.0	4/12	3.0	4/12	3.0	4/12	20	e5	黒色灰層上層, 焼台多い							212	
4839	水滴		2.2	1/12	3.7	12/12	2.8	10/12	55	e2	黒色灰層上層, 焼台多い							212	145
4840	水滴		2.2	5/12	−	−	(2.3)	4/12	15	e3	検出（下層）							212	
4841	水滴		2.2	8/12	3.0	12/12	2.7	10/12	20	f3	表採							212	
4842	水滴		2.2	9/12	3.9	9/12	3.6	11/12	60	b1	黒色灰層下層							212	146
4843	水滴		2.1	11/12	2.6	1/12	2.7	6/12	25	Ⅳ H14h, Ⅳ H14i	東壁42層							212	
4844	水滴		1.4	1/12	3.4	3/12	4.1	4/12	25	Ⅳ H14g	131層							213	
4845	水滴		2.4	12/12	−	−	(3.0)	5/12	25	Ⅳ H16h	黒褐色土層							213	
4846	水滴		2.6	3/12	−	−	(2.4)	2/12	10	e3d3	東壁4層							213	
4847	水滴		2.4	4/12	−	−	(3.6)	3/12	15	d1	黒色灰層							213	
4848	水滴		2.0	12/12	3.2	12/12	4.1	11/12	65	d3	黒色灰層最下部, 褐色土直上							213	146
4849	水滴		2.3	5/12	2.4	3/12	3.4	4/12	15	g4f4	東壁4層							213	
4850	水滴		2.0	10/12	2.6	12/12	2.7	11/12	35	e3	検出（下層）							213	146
4851	水滴		−	−	2.4	10/12	2.9	10/12	35	d1	黒色灰層最下部, 褐色土直上							213	146
4852	水滴		2.1	12/12	3.7	12/12	2.9	12/12	70	c1	黒色灰層下層							213	146
4853	水滴		2.3	9/12	−	−	(2.7)	7/12	35	d1	黒色灰層							213	146
4854	水滴		2.7	5/12	−	−	(2.9)	3/12	15	e2e3	北壁8層ab							213	
4855	水滴		2.2	2/12	−	−	(2.4)	2/12	10	99A	表採							213	
4856	水滴		2.2	3/12	−	−	(2.2)	3/12	15	e3	検出（下層）							213	
4857	水滴		2.3	9/12	−	−	(1.4)	5/12	20	e5	褐色土層, 地山直上							213	
4858	水滴		2.5	5/12	2.7	2/12	2.7	6/12	20	d1d2	北壁3層							213	
4859	水滴		2.0	3/12	3.3	2/12	2.6	4/12	15	d3d4	北壁4層							213	
4860	水滴		2.2	5/12	−	−	(1.2)	2/12	10	b2	褐色土層							213	
4861	水滴		2.5	5/12	−	−	(2.4)	3/12	10	98	表採							213	
4862	水滴		2.2	4/12	−	−	(2.7)	4/12	20	Ⅳ H13h, Ⅳ H14h	南壁18層							213	
4863	水滴		2.2	4/12	−	−	(2.1)	6/12	20	d1	黒色灰層							213	
4864	水滴		2.2	1/12	2.8	8/12	2.7	6/12	20	Ⅳ H13i	トレンチ							213	
4865	水滴		−	−	2.6	1/12	(2.6)	6/12	20	g2	東トレンチ							213	
4866	水滴		2.2	8/12	3.0	12/12	2.7	10/12	40	98	表採							213	
4867	水滴		2.1	11/12	−	−	(2.5)	6/12	35	f2	検出							213	147
4868	水滴		2.5	10/12	2.1	12/12	2.3	11/12	35	d2d3	北壁7層							213	147
4869	水滴		2.3	1/12	−	−	(1.8)	3/12	10	d1d2	北壁5層							213	
4870	水滴		2.3	5/12	2.7	4/12	1.9	11/12	15	Ⅳ H14i	表土							213	
4871	水滴		2.0	4/12	2.8	12/12	1.9	11/12	35	Ⅳ H13f	表土							213	147
4872	水滴		2.7	5/12	2.8	3/12	3.0	5/12	115	f5	表土							213	
4873	水滴		2.2	12/12	3.0	12/12	2.7	11/12	460	Ⅳ H13g	表土							213	147
4874	水滴		−	−	−	7/12	(1.7)	4/12	170	d2d3	北壁5層							213	
4875	水滴		−	−	−	12/12	(1.2)	4/12	135	Ⅳ H15h	黒褐色土層							213	
4876	上臼		17.3	12/12	17.5	2/12	13.9	10/12	5500	d2	黒色灰層最下部, 赤褐色土中							214	147
4877	切り溝片		−	−	−	−	1.0	1/12	60	e2d2	東壁セクション							214	147
4878	切り溝片		−	−	−	−	1.1	1/12	17	Ⅳ H16h	黒褐色土層							214	147
4879	切り溝片		−	−	−	−	0.9	1/12	25	Ⅳ H15h	黒褐色土層							214	147
4880	切り溝片		−	−	−	−	1.1	1/12	15	Ⅳ H16h	黒褐色土層							214	147
4881	ミニチュア下臼		8.0	12/12	−	−	1.9	12/12	131	e2	黒色灰層下層							215	148
4882	下臼		25.5	2/12	17.4	7/12	3.7	7/12	600	d4d5	北壁2層							215	148
4883	下臼		31.1	7/12	−	−	3.8	6/12	1300	Ⅳ H15f	黒褐色土層							215	148
4884	下臼		23.7	3/12	7.4	2/12	6.7	3/12	700	d4d5	北壁2層							215	148
4885	下臼		29.2	2/12	−	−	3.2	1/12	90	Ⅳ H16f	黒褐色土層							215	
4886	下臼		28.0	1/12	−	−	3.0	1/12	65	Ⅳ H16f	黒色灰層							215	
4887	狛犬		−	−	−	−	8.3	8/12	復元	b2c2	西壁1層							216	149
4888	狛犬		−	−	−	−	−	−	復元	c3	黒色灰層上層							216	149
4889	狛犬		−	−	−	−	2.6	1/12	5	d1d2	北壁5層							216	
4890	狛犬		−	−	−	−	10.0	−	91	b2c2	北壁1層							217	149

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析№	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
4891	狛犬		−	−	−	−	4.1	−	225	e5	黒色灰層下層,褐色土混じる						217	149
4892	狛犬		−	−	−	−	1.9	−	125	c2	検出						217	
4893	狛犬		−	−	−	−	3.8	−	60	Ⅳ H14g, Ⅳ H15g	南壁187層						217	
4894	狛犬		−	−	−	−	7.9	−	37	e2	黒色灰層下層,褐色土混じる						218	
4895	狛犬		−	−	−	−	5.6	−	19	c4	黒色灰層最下層,褐色土直上						218	
4896	狛犬		−	−	−	−	6.7	−	40	Ⅳ H15f	黒褐色土層						218	
4897	狛犬		−	−	−	−	4.0	−	13	b3	黒色灰層上層						218	
4898	狛犬		−	−	−	−	3.9	−	10	Ⅳ H13i	SK02						218	
4899	狛犬		−	−	−	−	8.0	−	390	e2	黒色灰層上層						218	149
4900	狛犬		−	−	−	−	16.5	−	325	c1d2	黒褐色土層						218	149
4901	狛犬		−	−	−	−	21.0	−	202	b1	黒色灰層						218	149
4902	壷		−	−	−	−	(3.6)	1/12	40	e3d3	東壁4層			鉄釉			219	
4903	壷		15.9	1/12	−	−	(3.6)	1/12	20	e2	黒色灰層下層ベルト			鉄釉			219	
4904	壷		15.9	1/12	−	−	(6.1)	1/12	30	e2	黒色灰層下層ベルト			鉄釉			219	
4905	細首瓶		3.0	1/12	−	−	(6.5)	1/12	25	Ⅳ H15h	黒褐色土層			鉄釉			219	
4906	細首瓶		3.9	1/12	−	−	(5.4)	1/12	15	Ⅳ H14h, Ⅳ H15h	南壁41層			鉄釉			219	
4907	細首瓶		3.8	1/12	−	−	(3.0)	1/12	5	c2c3	北壁4層			鉄釉			219	
4908	細首瓶		3.2	1/12	−	−	(3.0)	1/12	10	d2c2	東壁2層			鉄釉			219	
4909	細首瓶		3.6	3/12	−	−	(7.2)	1/12	30	d3	表土			鉄釉			219	
4910	花生		5.6	4/12	−	−	(6.6)	1/12	45	c2	検出						219	
4911	花生		−	−	6.8	10/12	(4.1)	1/12	100	e3	検出（下層）						219	150
4912	花生		−	−	6.8	12/12	(10.2)	2/12	255	c3	黒色灰層下層,褐色土混じる						219	150
4913	花生		−	−	7.2	4/12	(5.1)	1/12	40	f2	表採						219	
4914	花生		−	−	4.6	12/12	(7.1)	1/12	195	d2d3	北壁8層						219	150
4915	花生		−	−	−	−	(8.5)	1/12	65	Ⅳ H16g	赤褐色土層						219	
4916	花生		−	−	6.6	12/12	(15.6)	2/12	450	d2	検出						219	150
4917	花生		−	−	5.4	12/12	(6.4)	2/12	120	e2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる			鉄釉			219	
4918	平底末広碗？		13.2	4/12	8.2	12/12	8.0	6/12	305	d2	黒色灰層下層	分②					219	
4919	平底末広碗？		10.0	2/12	−	−	(4.4)	1/12	25	b2	検出						219	
4920	第参分類		−	−	4.0	4/12	(2.0)	1/12	15	b1	黒色灰層						219	
4921	第参分類		5.6	7/12	−	−	(6.8)	1/12	80	d2c2	東壁1層						219	
4922	第参分類		5.0	6/12	15.8	3/12	9.6	5/12	280	d2	黒色灰層上層						219	
4923	第参分類		8.0	7/12	−	−	(4.8)	1/12	100	Ⅳ H15g	黒褐色土層						219	
4924	第参分類		7.0	4/12	−	−	(3.7)	1/12	55	Ⅳ H15f	173層						219	
4925	第参分類		9.6	2/12	−	−	(5.2)	1/12	25	Ⅳ H16f	黒褐色土層						219	
4926	第参分類		10.0	2/12	−	−	(2.8)	1/12	15	e2d2	東壁5層			鉄釉			219	
4927	第参分類		7.6	7/12	−	−	3.7	1/12	40	Ⅳ H16g	赤褐色土層			鉄釉			219	
4928	第参分類		12.0	2/12	−	−	(3.0)	1/12	20	e2d2	東壁5層						219	
4929	輪付き皿		−	−	9.6	12/12	(2.4)	1/12	360	e2d2	東壁4層						219	
4930	輪付き皿		12.0	6/12	12.4	6/12	2.5	1/12	260	d2	黒色灰層下層						219	
4931	燭台		11.2	1/12	−	−	(5.2)	2/12	320	d3	黒色灰層下層,褐色土混じる						219	
4932	小杯		7.0	7/12	2.8	10/12	3.0	11/12	65	Ⅳ H16g	褐色土層	分②					220	150
4933	小杯		6.2	2/12	−	−	(3.1)	2/12	10	f2	北トレンチ						220	
4934	鉄鉢形小鉢		10.1	2/12	−	−	(3.6)	1/12	20	g2	北壁5層			鉄釉			220	
4935	鉄鉢形小鉢		12.7	3/12	−	−	(4.6)	1/12	30	f2f3	北壁4層			鉄釉			220	
4936	合子		7.0	4/12	5.2	12/12	3.0	5/12	100	e2	黒色灰層上層下層	分②					220	
4937	灯明皿		9.4	3/12	4.4	9/12	2.4	4/12	70	e2	黒色灰層中			鉄釉			220	
4938	灯明皿		8.8	5/12	4.1	6/12	2.7	5/12	50	f2	北トレンチ	分②					220	150
4939	短頸壷		10.3	1/12	−	−	(11.3)	4/12	180	b2c2	西壁5層						220	
4940	四耳壷	c	−	−	−	−	(7.0)	1/12	225	d3c3	東壁3層						220	
4941	四耳壷	c	−	−	−	−	(8.4)	1/12	180	d3	黒色灰層下層,褐色土混じる						220	
4942	調理鉢		34.3	1/12	−	−	(10.0)	1/12	270	e2d2	東壁4層						220	
4943	折縁襞鉢		25.4	2/12	−	−	(4.1)	1/12	150	c3	黒色灰層下層,褐色土混じる						220	
4944	直縁襞鉢		−	−	−	−	(9.8)	1/12	130	d3	黒色灰層上層						220	
4945	折縁深皿		32.6	2/12	−	−	(7.1)	1/12	120	b1b2	北壁2層						220	
4946	折縁深皿		38.0	1/12	−	−	(3.1)	1/12	65	Ⅳ H14h	灰層上層,暗褐色砂層						220	
4947	折縁深皿		38.0	1/12	−	−	(4.6)	1/12	80	Ⅳ H13i, Ⅳ H14i	南壁26層						220	
4948	人面陶板		−	−	−	−	−	−	85	Ⅳ H13g, Ⅳ H14g	南壁91層						221	150
4949	硯		短5.9	−	長2.7	−	−	−	40	Ⅳ H16i	黒褐色土層						221	
4950	硯		短6.1	−	長6.5	−	−	−	75	f3	検出						221	151
4951	硯		−	−	−	−	−	−	15	Ⅳ H14f, Ⅳ H14g	東壁147層						221	
4952	ミニチュア天目茶碗		5.0	0/12	2.7	5/12	0.6	5/12	15	f5	黒色灰層,褐色土混じる						221	
4953	ミニチュア天目茶碗		4.2	4/12	1.8	12/12	2.6	7/12	13	c3	黒色灰層下層						221	
4954	ミニチュア天目茶碗		4.6	7/12	2.8	12/12	2.1	11/12	23	f2	黒色灰層上層						221	151
4955	ミニチュア天目茶碗		−	−	2.2	4/12	1.7	3/12	9	d1d2	北壁2層						221	
4956	ミニチュア天目茶碗		5.2	3/12	2.2	12/12	2.5	9/12	20	d2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						221	151
4957	ミニチュア天目茶碗		4.8	8/12	2.1	12/12	2.2	10/12	22	98	表採						221	151
4958	ミニチュア天目茶碗		4.6	4/12	2.1	8/12	1.6	7/12	11	d2	検出						221	
4959	ミニチュア天目茶碗		5.0	2/12	2.3	8/12	2.1	6/12	13	f3e3	東壁1層			灰釉			221	151
4960	ミニチュア天目茶碗		4.4	3/12	2.1	9/12	2.1	4/12	10	c2	検出			灰釉			221	
4961	ミニチュア天目茶碗		4.4	6/12	2.0	5/12	1.8	6/12	10	e4	黒色灰層下層,褐色が強い						221	
4962	ミニチュア天目茶碗		4.6	1/12	2.0	5/12	2.0	5/12	9	98	表採						221	
4963	ミニチュア天目茶碗		4.4	3/12	2.3	7/12	1.8	4/12	9	e2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						221	
4964	ミニチュア天目茶碗		4.2	3/12	2.0	8/12	1.9	7/12	13	d2	黒色灰層上層						221	
4965	ミニチュア天目茶碗		4.2	12/12	2.1	12/12	1.7	12/12	15	98	表採	分②					221	151
4966	ミニチュア天目茶碗		4.1	9/12	2.7	12/12	2.0	11/12	20	f2	黒色灰層最下層,赤褐色土混じる						221	151
4967	ミニチュア天目茶碗		3.8	4/12	2.0	12/12	1.8	5/12	11	99A	表採						221	
4968	ミニチュア天目茶碗		3.8	2/12	2.2	11/12	1.8	3/12	10	e2d2	東壁4層						221	
4969	ミニチュア天目茶碗		3.8	8/12	2.1	11/12	2.4	11/12	11	Ⅳ H13f	表土						221	151
4970	ミニチュア天目茶碗		3.9	8/12	2.1	12/12	1.6	9/12	15	c3	黒色灰層下層,褐色土混じる						221	
4971	ミニチュア天目茶碗		4.0	12/12	1.9	12/12	1.5	12/12	13	d2	黒色灰層下層						221	
4972	ミニチュア天目茶碗		3.9	6/12	2.0	8/12	1.3	6/12	8	c2	検出						221	
4973	ミニチュア天目茶碗		3.8	5/12	1.7	7/12	1.5	6/12	6	f2f3	北壁6層						221	
4974	ミニチュア天目茶碗		3.9	12/12	1.9	12/12	1.4	12/12	10	c2	黒色灰層下層						221	
4975	ミニチュア天目茶碗		3.8	4/12	1.9	12/12	1.5	7/12	10	e2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						221	
4976	ミニチュア天目茶碗		3.7	12/12	1.9	8/12	1.5	11/12	11	d1	北壁3層						221	151
4977	ミニチュア天目茶碗		4.0	12/12	2.1	12/12	1.5	12/12	15	b2	検出（黒色土中）						221	
4978	ミニチュア天目茶碗		3.6	9/12	1.8	12/12	1.6	10/12	12	98	表採						221	
4979	ミニチュア天目茶碗		3.9	8/12	2.0	12/12	1.4	11/12	14	c2	黒色灰層下層						221	
4980	ミニチュア天目茶碗		3.6	9/12	1.8	12/12	1.5	10/12	12	c3c4	北壁,黒色灰層						221	152
4981	ミニチュア天目茶碗		3.6	12/12	1.8	12/12	1.4	12/12	13	c1	黒色灰層下層	分②					221	152
4982	ミニチュア天目茶碗		3.4	6/12	1.7	10/12	1.4	9/12	10	e3d3	東壁5層						221	
4983	ミニチュア天目茶碗		3.5	8/12	1.7	12/12	1.5	9/12	11	Ⅳ H16g	黒褐色土層						221	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・軸		時期	その他	遺物図	写真図版
4984	ミニチュア天目茶碗		4.6	1/12	2.0	5/12	2.0	5/12	130	98	表採						221	152
4985	ミニチュア天目茶碗		4.1	12/12	2.1	12/12	2.5	12/12	220	c2d2	東壁3層						221	
4986	ミニチュア皿		4.7	2/12	3.9	3/12	1.2	2/12	5	Ⅳ H16f	黒褐色土層	分②					222	
4987	ミニチュア皿		5.2	2/12	2.8	3/12	1.3	2/12	5	Ⅳ H15f	灰層上層						222	
4988	ミニチュア皿		4.8	2/12	3.4	2/12	1.0	2/12	5	d2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる						222	
4989	ミニチュア皿		5.8	12/12	3.2	2/12	1.6	3/12	5	c1	黒色灰層下層						222	
4990	ミニチュア皿		5.2	6/12	2.4	10/12	1.4	6/12	15	c2	検出（下層）			鉄釉			222	152
4991	ミニチュア皿		5.4	4/12	2.2	7/12	1.5	6/12	10	g4g5	北壁3層			鉄釉			222	152
4992	ミニチュア皿		5.6	4/12	2.4	3/12	1.6	3/12	10	c1	黒色灰層下層			鉄釉			222	
4993	ミニチュア皿		5.2	2/12	2.0	3/12	1.7	3/12	5	d1	黒色灰層			鉄釉			222	
4994	ミニチュア皿		4.8	5/12	2.2	6/12	1.3	5/12	10	Ⅳ H14i	灰層上層			鉄釉			222	152
4995	ミニチュア皿		5.2	4/12	2.2	3/12	1.4	4/12	5	99A	表採			鉄釉			222	
4996	ミニチュア皿		5.9	2/12	2.9	3/12	2.2	3/12	10	Ⅳ H15h	黒褐色土層			鉄釉			222	
4997	ミニチュア皿		−	−	3.1	10/12	(0.9)	7/12	10	d2	黒色灰層下層, 褐色土混じる						222	
4998	ミニチュア皿		−	−	3.0	11/12	(0.9)	7/12	10	Ⅳ H15f	黒褐色土層						222	
4999	ミニチュア皿		5.0	11/12	2.9	12/12	1.2	11/12	10	d1d2	北壁7層						222	
5000	陶丸		縦2.4	−	横2.2	−	−	−	15	e2	黒色灰層下層, ベルト					黒色	222	
5001	窯道具：石製		2.3	−	2.4	−	2.0	12/12	13.4	d4	黒色灰層最下層, 褐色土混じる					アブラ小	222	
5002	陶丸		縦2.2	−	横2.2	−	−	−	28.4	e4d4	東壁5層						222	
5003	陶丸		縦2.3	−	横2.4	−	−	−	40.5	c4	黒色灰層上層						222	
5004	陶丸		縦2.1 縦2.2	−	横2.4 横2.2	−	−	−	45.5	e2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる					2つが接している	222	
5005	須恵器		つまみ径2.8	4/12	−	−	(1.3)	2/12	25	Ⅳ H9h		No.5					222	
5006	須恵器		15.0	1/12	−	−	(1.0)	2/12	5	d1	黒色灰層上層						222	
5007	須恵器		14.4	4/12	−	−	(2.9)	4/12	35	Ⅳ H14h	97層						222	
5008	須恵器		−	−	15.0	8/12	(4.2)	2/12	125	Ⅳ H16f	黒褐色土層						222	
5009	灰釉陶器		13.4	1/12	6.4	6/12	5.5	3/12	100	f3	褐色土層, 地山直上						222	
5010	灰釉陶器		13.9	2/12	−	−	(4.4)	2/12	30	f4	黒色灰層上層						222	
5011	灰釉陶器		−	−	10.0	3/12	(1.8)	2/12	50	e4	黒色灰層下層, 褐色土混じる						222	
5012	土錘		縦4.3	−	横1.6	−	孔径0.4	−	7.2	d2	検出					素焼	222	
5139	山茶碗		13.9	7/12	7.1	12/12	5.4	9/12	220	g8	褐色, 灰褐色土層			南8～10 大畑大洞 新 9型式			225	
5140	山茶碗		13.0	1/12	6.0	4/12	5.0	2/12	40	g6～9	東壁セクション33層			南8～10 大畑大洞 新 9型式			225	
5141	山茶碗		12.9	2/12	4.1	1/12	5.8	2/12	30	Ⅳ H16g	黒褐色土層			南8～10 大畑大洞 新 9型式			225	
5142	山茶碗		13.8	4/12	5.4	4/12	4.2	4/12	65	Ⅳ H16g	褐色土層			南8～10 大畑大洞 新 9型式			225	
5143	山茶碗		7.8	1/12	5.0	5/12	1.8	3/12	10	e8e9	トレンチ, 灰褐色砂層			南8～10 大畑大洞 新 9型式			225	
5144	山茶碗		14.0	2/12	6.5	12/12	5.6	5/12	190	Ⅳ H14g	整地層			南8～10 大畑大洞 新 9型式			225	
5145	山茶碗		12.2	4/12	4.5	5/12	4.2	4/12	50	c1	黒色灰層下層, 褐色土混じる			南8～10 大畑大洞 新 9型式			225	
5146	山茶碗		11.6	2/12	3.3	5/12	4.0	2/12	35	Ⅳ H12i	SX09	No.10		南8～10 大畑大洞 新 9型式			225	
5147	山茶碗		12.3	2/12	3.4	5/12	4.9	2/12	30	c3	黒色灰層上層			南8～10 大畑大洞 新 9型式			225	
5148	山茶碗		12.1	2/12	3.0	4/12	4.5	3/12	40	Ⅳ H15g	黒褐色土層			南8～10 大畑大洞 新 9型式			225	
5149	山茶碗		11.8	2/12	2.8	2/12	4.3	2/12	15	c3	黒色灰層下層			南8～10 大畑大洞 新 9型式			225	
5150	山茶碗		12.0	1/12	4.1	4/12	4.0	1/12	10	Ⅳ H15g	黒褐色土層			南8～10 大畑大洞 新 9型式			225	
5151	山茶碗		11.5	2/12	2.2	3/12	3.3	2/12	20	Ⅳ H15g	黒褐色土層			南8～10 大畑大洞 新 9型式			225	
5152	山茶碗		11.3	1/12	3.6	3/12	3.5	2/12	10	c2	検出			南8～10 大畑大洞 新 9型式			225	
5153	山茶碗		12.2	3/12	3.5	3/12	3.5	3/12	20	Ⅳ H15f	黒褐色土層			南8～10 大畑大洞 新 9型式			225	
5154	山茶碗		11.8	4/12	3.4	4/12	3.5	4/12	45	d2	黒色灰層下層			南8～10 大畑大洞 新 9型式			225	
5155	山茶碗		12.8	2/12	4.0	5/12	3.8	2/12	40	Ⅳ H14g, Ⅳ H15g	南壁160層			南8～10 大畑大洞 新 9型式			225	
5156	山茶碗		12.9	1/12	4.0	2/12	3.2	1/12	15	b2	検出			南8～10 大畑大洞 新 9型式			225	
5157	山茶碗		12.5	2/12	3.7	4/12	3.7	3/12	30	99L	Lトレンチ			南8～10 大畑大洞 新 9型式			225	
5158	山茶碗		12.9	1/12	4.2	6/12	4.2	2/12	20	e2	検出			南8～10 大畑大洞 新 9型式			225	
5159	山茶碗		12.2	3/12	3.2	12/12	4.0	7/12	75	c3	黒色灰層下層			南8～10 大畑大洞 新 9型式			225	
5160	山茶碗		11.8	1/12	3.8	5/12	3.7	2/12	15	c3	黒色灰層上層			南8～10 大畑大洞 新 9型式			225	
5161	山茶碗		12.6	2/12	3.4	3/12	3.5	2/12	35	d1d2	北壁4層			南8～10 大畑大洞 新 9型式			225	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量（g）	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉	時期	その他	遺物図	写真図版
5162	山茶碗		11.8	3/12	4.3	4/12	3.6	3/12	30	e2	検出		南8～10大畑大洞新 9型式			225	
5163	山茶碗		12.8	3/12	3.6	8/12	3.9	4/12	50	e2	黒色灰層上層メインベルト		南8～10大畑大洞新 9型式			225	
5164	山茶碗		13.0	2/12	4.3	2/12	4.0	2/12	20	Ⅳ H15h	黒褐色土層		南8～10大畑大洞新 9型式			225	
5165	山茶碗		12.6	1/12	3.7	7/12	4.1	4/12	45	d1	黒色灰層		南8～10大畑大洞新 9型式			225	
5166	山茶碗		11.8	6/12	3.4	8/12	3.5	7/12	55	d1	黒色灰層		南8～10大畑大洞新 9型式			225	
5167	山茶碗		11.5	1/12	4.2	6/12	3.4	1/12	20	Ⅳ H15g	黒褐色土層		南8～10大畑大洞新 9型式			225	
5168	山茶碗		12.6	3/12	4.2	2/12	3.5	2/12	25	d1d2	北壁4層		南8～10大畑大洞新 9型式			225	
5169	山茶碗		−	−	3.8	8/12	(2.7)	3/12	35	g3f3	東壁7層		南8～10大畑大洞新 9型式			225	
5170	山茶碗		8.1	1/12	5.5	2/12	1.2	1/12	10	98	表採		南8～10大畑大洞新 9型式			225	
5171	山茶碗		8.1	2/12	5.1	3/12	1.1	3/12	10	Ⅳ H13f	112層		南8～10大畑大洞新 9型式			225	
5172	山茶碗		8.1	1/12	5.7	3/12	1.1	3/12	10	Ⅳ H15g	黒褐色土層		南8～10大畑大洞新 9型式			225	
5173	山茶碗		12.6	4/12	4.0	5/12	3.6	4/12	50	Ⅳ H12h	SX06赤褐色土2層		南8～10大畑大洞新 9型式			225	
5174	山茶碗		12.4	12/12	4.0	12/12	3.6	12/12	110	Ⅳ H13f	222層	No. 296	南8～10大畑大洞新 9型式			225	
5175	山茶碗		12.3	8/12	4.0	12/12	4.1	8/12	125	Ⅳ H15h	135層		南8～10大畑大洞新 9型式			225	
5176	山茶碗		12.3	7/12	3.4	12/12	4.2	7/12	95	Ⅳ H16h	南北ベルト，褐色土層		南8～10大畑大洞新 9型式			225	
5177	山茶碗		13.2	3/12	4.3	4/12	4.1	3/12	45	e2d2	東壁4，5層		南8～10大畑大洞新 9型式			225	
5178	山茶碗		12.9	10/12	4.1	12/12	4.5	11/12	110	Ⅳ H15h	黒褐色土層		南8～10大畑大洞新 9型式			225	
5179	山茶碗		12.5	1/12	4.8	3/12	3.6	2/12	20	b3c3	西壁2層		南8～10大畑大洞新 9型式			225	
5180	山茶碗		11.7	1/12	3.0	2/12	3.6	2/12	25	c2	検出（下層）		南8～10大畑大洞新 9型式			225	
5181	山茶碗		11.6	2/12	4.0	5/12	3.5	2/12	45	Ⅳ H13f	表土		大洞東10形式			226	
5182	山茶碗		13.5	1/12	4.7	2/12	3.3	2/12	20	Ⅳ H16g	黒褐色土層		大洞東10形式			226	
5183	山茶碗		12.9	1/12	3.9	2/12	3.7	1/12	20	Ⅳ H14h，Ⅳ H14i	東壁150層		大洞東10形式			226	
5184	山茶碗		12.7	1/12	3.5	3/12	3.6	1/12	20	b2c2	西壁5層		大洞東10形式			226	
5185	山茶碗		12.5	2/12	4.1	3/12	3.5	2/12	25	e3e4	北壁7層		大洞東10形式			226	
5186	山茶碗		13.3	1/12	4.3	6/12	4.0	2/12	45	e2	黒色灰層		大洞東10形式			226	
5187	山茶碗		12.3	2/12	3.3	6/12	3.7	3/12	40	c1c2	北壁2層		大洞東10形式			226	
5188	山茶碗		12.0	2/12	4.3	3/12	3.8	2/12	30	Ⅳ H15h	黒褐色土層		大洞東10形式			226	
5189	山茶碗		11.9	3/12	3.8	3/12	3.8	3/12	35	d2d3	北壁7層		大洞東10形式			226	
5190	山茶碗		12.1	2/12	3.2	4/12	3.2	2/12	25	d1d2	北壁5層		大洞東10形式			226	
5191	山茶碗		11.8	2/12	2.3	1/12	3.3	2/12	20	f3	検出（下層）		大洞東10形式			226	
5192	山茶碗		12.1	1/12	3.6	5/12	3.3	1/12	30	Ⅳ H15h	表土層		大洞東10形式			226	
5193	山茶碗		13.6	3/12	4.2	1/12	4.1	2/12	40	d1	黒色灰層上層		大洞東10形式			226	
5194	山茶碗		13.8	1/12	4.4	1/12	3.6	1/12	20	Ⅳ H15f	黒褐色土層		大洞東10形式			226	
5195	山茶碗		12.7	2/12	5.0	2/12	3.7	2/12	30	e4e5	北壁3層		大洞東10形式			226	
5196	山茶碗		12.8	1/12	3.4	6/12	3.6	3/12	40	g2g3	北壁2層		大洞東10形式			226	
5197	山茶碗		12.8	3/12	3.8	5/12	3.7	3/12	30	Ⅳ H15g	黒褐色土層		大洞東10形式			226	
5198	山茶碗		12.1	2/12	3.1	5/12	3.3	2/12	20	Ⅳ H16f	黒色灰層		大洞東10形式			226	
5199	山茶碗		11.9	2/12	4.0	2/12	3.5	2/12	20	d3c3	東壁3層		大洞東10形式			226	
5200	山茶碗		11.5	1/12	3.6	5/12	3.0	3/12	25	Ⅳ H16f	黒色灰層		大洞東10形式			226	
5201	山茶碗		11.7	1/12	4.4	2/12	3.4	2/12	20	e2e3	北壁8層（a，b）		大洞東10形式			226	
5202	山茶碗		12.6	4/12	3.8	3/12	3.6	3/12	35	Ⅳ H15g	黒褐色土層		大洞東10形式			226	
5203	山茶碗		12.0	1/12	3.2	3/12	3.8	2/12	25	Ⅳ H16g	黒褐色土層		大洞東10形式			226	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・軸	時期	その他	遺物図	写真図版
5204	山茶碗		13.0	3/12	3.8	6/12	3.3	3/12	30	Ⅳ H12i	表土		大洞東10形式			226	
5205	山茶碗		12.0	1/12	3.6	3/12	3.5	2/12	15	c1	黒色灰層上層		大洞東10形式			226	
5206	山茶碗		12.0	3/12	3.8	7/12	3.6	6/12	55	Ⅳ H16h	黒褐色土層		大洞東10形式			226	
5207	山茶碗		12.7	3/12	3.6	3/12	3.5	3/12	35	Ⅳ H15g	黒褐色土層		大洞東10形式			226	
5208	山茶碗		13.0	2/12	4.3	2/12	4.0	2/12	25	Ⅳ H15h	黒褐色土層		大洞東10形式			226	
5209	山茶碗		12.7	1/12	3.6	2/12	3.5	2/12	15	e2	検出		大洞東10形式			226	
5210	山茶碗		10.7	1/12	3.3	3/12	3.3	2/12	15	e2e3	北壁8層（8b）		大洞東10形式			226	
5211	山茶碗		11.5	1/12	3.3	2/12	3.5	1/12	10	c2	検出		大洞東10形式			226	
5212	山茶碗		11.6	1/12	3.1	3/12	3.3	1/12	10	e3e4	北壁9層		大洞東10形式			226	
5213	山茶碗		11.4	3/12	2.3	6/12	3.2	5/12	35	c3	黒色灰層上層		大洞東10形式			226	
5214	山茶碗		13.4	1/12	3.6	4/12	2.8	2/12	25	Ⅳ H16g	南壁清掃		大洞東10形式			226	
5215	山茶碗		11.4	1/12	2.2	4/12	3.3	2/12	20	c3	黒色灰層下層, 褐色土混じる		大洞東10形式			226	
5216	山茶碗		12.3	2/12	3.3	2/12	3.7	2/12	20	99A	表採		大洞東10形式			226	
5217	山茶碗		12.9	1/12	3.8	2/12	6.5	2/12	15	f3	検出（下層）		大洞東10形式			226	
5218	小皿		7.2	2/12	4.0	3/12	1.1	2/12	5	98	表採		大洞東10形式			226	
5219	小皿		8.0	1/12	5.2	2/12	1.0	1/12	25	98	表採		大洞東10形式			226	
5220	小皿		7.9	6/12	6.1	10/12	1.1	8/12	5	Ⅳ H12d	SX01, G4	№247	大洞東10形式			226	
5221	小皿		8.5	9/12	6.3	10/12	1.2	9/12	40	e2	検出		大洞東10形式			226	
5222	小皿		8.5	2/12	5.2	2/12	0.7	2/12	5	d2	黒色灰層上層		大洞東10形式			226	
5223	小皿		7.9	2/12	5.0	3/12	0.7	2/12	5	g2g3	北壁3, 4層		大洞東10形式			226	
5224	小皿		7.7	1/12	4.4	5/12	0.9	3/12	5	g3f3	東壁6層		大洞東10形式			226	
5225	小皿		8.1	2/12	5.2	2/12	1.4	2/12	5	99L	Lトレンチ		大洞東10形式			226	
5226	小皿		8.0	3/12	6.0	3/12	1.2	3/12	5	Ⅳ H13f	東西トレンチ整地層		大洞東10形式			226	
5227	皿		15.0	4/12	7.0	2/12	3.7	8/12	110	Ⅳ H15h	褐色土層					227	
5228	皿		14.8	5/12	8.4	2/12	3.4	3/12	50	Ⅳ H15h	褐色土層					227	
5229	皿		13.4	1/12	5.6	1/12	3.2	1/12	15	Ⅳ H14i, Ⅳ H15i	南壁150層					227	
5230	碗		13.4	3/12	5.6	3/12	4.5	3/12	60	Ⅳ H15f	灰層上層, 西壁トレンチ					227	
5231	碗		13.9	1/12	−	−	3.7	1/12	16	Ⅳ H14f, Ⅳ H14g	東壁120層					227	
5232	碗		13.6	2/12	−	−	4.0	1/12	35	Ⅳ H15f, Ⅳ H15g	東壁64層					227	
5233	碗		13.5	2/12	−	−	2.3	1/12	11	Ⅳ H15h, Ⅳ H15i	東壁177層					227	
5234	碗		13.0	1/12	−	−	1.9	1/12	8	Ⅳ H15f	灰層上層					227	
5235	碗		11.4	2/12	2.2	2/12	3.5	2/12	15	Ⅳ H14i	表土					227	
5236	皿		8.8	5/12	5.0	5/12	1.9	4/12	20	Ⅳ H15h	褐色土層					227	
5237	皿		9.1	2/12	−	−	1.7	1/12	4	Ⅳ H15i	灰層上層					227	
5238	碗		12.3	1/12	4.8	3/12	3.8	2/12	22	Ⅳ H15g	黒褐色土層				ヒイロ	227	
5239	碗		13.0	2/12	−	−	4.7	1/12	30	Ⅳ H14f, Ⅳ H14g	東壁62層				ヒイロ	227	
5240	碗		13.6	1/12	−	−	3.6	1/12	12	Ⅳ H14f, Ⅳ H14g	東壁81層				ヒイロ	227	
5241	皿		7.4	12/12	4.6	12/12	1.9	12/12	65	f2	北壁8層				ヒイロ	227	
5242	皿		8.6	5/12	4.7	9/12	2.3	8/12	50	d3	黒色灰層下層, 褐色土混じる				ヒイロ	227	
5243	蓋		7.7	5/12	4.3	6/12	2.1	5/12	31	e2	検出				ヒイロ	227	
5244	蓋		11.8	2/12	6.4	12/12	2.7	6/12	93	d3	黒色灰層上層				ヒイロ	227	
5245	碗		14.0	1/12	−	−	4.6	1/12	14	Ⅳ H14h	灰層上層（東壁44層）					227	
5246	碗		13.7	1/12	−	−	3.4	1/12	14	Ⅳ H15h	灰層上層					227	
5247	碗		12.9	2/12	−	−	3.4	1/12	12	Ⅳ H15h, Ⅳ H15i	東壁245層					227	
5248	碗		12.8	1/12	−	−	3.5	1/12	10	Ⅳ H14h, Ⅳ H14i	東壁96層					227	
5249	碗		11.7	3/12	−	−	2.5	1/12	6	Ⅳ H14h, Ⅳ H14i	東ベルト95層					227	
5250	皿		9.0	11/12	5.1	12/12	2.1	11/12	65	e2	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる					227	
5251	皿		9.5	9/12	4.4	12/12	2.3	9/12	75	Ⅳ H12i	SX06上層					227	
5252	皿		7.9	10/12	4.6	12/12	2.4	11/12	76	e3d3	東壁5層					227	
5253	山茶碗		13.3	1/12	−	−	3.4	1/12	9	Ⅳ H15f	灰層上層, 西壁トレンチ				甜い焼成	227	
5254	山茶碗		13.8	2/12	−	−	2.9	1/12	14	Ⅳ H14f	西壁トレンチ				甜い焼成	227	
5255	小皿		−	−	5.3	12/12	1.7	4/12	90	d1d2	北壁4層		鉄釉			228	
5256	小皿		−	−	5.3	4/12	1.3	3/12	40	b3	黒色灰層上層		鉄釉			228	
5257	小皿		−	−	5.6	12/12	1.2	4/12	80	Ⅳ H15h, Ⅳ H15i	東壁20層		鉄釉			228	
5258	小皿		−	−	5.3	12/12	1.4	4/12	90	e3	黒色灰層下層, 褐色土混じる		鉄釉			228	
5259	中皿		−	−	7.8	4/12	1.1	1/12	25	Ⅳ H16i	黒褐色土層					228	
5260	中鉢		−	−	7.6	5/12	2.5	3/12	80	e3	黒色灰層下層, 赤褐色土混じる					228	
5261	中鉢		−	−	4.4	12/12	1.9	4/12	90	d1c1	東壁3層					228	
5262	中鉢		−	−	6.3	4/12	2.6	3/12	85	e2	検出					228	
5263	中鉢		−	−	6.4	10/12	2.7	4/12	115	f3e3	東壁11層					228	
5264	中鉢		−	−	5.9	5/12	2.5	3/12	100	98	表採					228	
5265	中皿		−	−	8.0	6/12	1.5	1/12	40	Ⅳ H16g	黒褐色土層					228	
5266	中鉢		−	−	7.7	2/12	3.4	1/12	65	e3d3	東壁5層					228	
5267	折縁直縁皿		−	−	13.1	6/12	2.5	1/12	100	d1c1	東壁2層					228	
5268	折縁直縁皿		−	−	13.9	6/12	3.8	1/12	230	Ⅳ H16h	黒褐色土層					228	
5269	鳥文卸皿		−	−	8.5	12/12	(1.0)	4/12	420	Ⅳ H15g	173層					229	152
5270	重ね焼き		−	−	−	−	12.4	−	915	e3	検出					230	152

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量（g）	グリッド	遺構・土層	取上・分析№	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
5271	重ね焼き		−	−	−	−	10.4	−	880	Ⅳ H13h	トレンチ						230	153
5272	重ね焼き		−	−	−	−	6.6	−	390	e3d3	東壁4層						230	153
5273	重ね焼き		−	−	−	−	7.8	−	560	c1c2	北壁4層						230	153
5274	重ね焼き		−	−	−	−	5.4	−	90	b3c3	西壁1層						230	153
5275	重ね焼き		−	−	−	−	9.2	−	255	c3	黒色灰層下層						230	153
5276	重ね焼き		−	−	−	−	6.5	−	120	c2	検出（下層）						230	154
5277	重ね焼き		−	−	−	−	8.0	−	300	e2e3	北壁8層						230	154
5278	重ね焼き		−	−	−	−	3.9	−	160	f4f5	北壁1層						230	154
5279	重ね焼き		−	−	−	−	3.4	−	165	f3	検出（下層）						230	154
5280	重ね焼き		−	−	−	−	6.3	−	285	e4d4	東壁1層						230	154
5281	重ね焼き		−	−	−	−	7.0	−	375	d2	黒色灰層上層						230	154
5282	重ね焼き		−	−	−	−	6.4	−	95	d2	黒色灰層上層						230	154
5283	重ね焼き		−	−	−	−	8.3	−	85	e2e3	黒色灰層下層						231	155
5284	重ね焼き		−	−	−	−	6.0	−	60	c3	黒色灰層上層						231	155
5285	重ね焼き		−	−	−	−	5.4	−	185	e2	検出						231	154
5286	重ね焼き		−	−	−	−	5.3	−	185	e3d3	東壁5層						231	155
5287	重ね焼き		−	−	−	−	4.6	−	170	e3	黒色灰層下層，赤褐色土混じる						231	155
5288	重ね焼き		−	−	−	−	4.2	−	150	c2	検出						231	155
5289	重ね焼き		−	−	−	−	4.2	−	105	c3	黒色灰層上層						231	155
5290	重ね焼き		−	−	−	−	6.0	−	395	d2	黒色灰層下層						231	155
5291	重ね焼き		−	−	−	−	6.5	−	375	d1	黒色灰層下層						231	156
5292	重ね焼き		−	−	−	−	6.0	−	190	e2d2	東壁3層						231	156
5293	重ね焼き		−	−	−	−	5.0	−	205	c1	黒色灰層上層						231	156
5294	重ね焼き		−	−	−	−	4.2	−	130	e4	黒色灰層上層						231	156
5295	重ね焼き		−	−	−	−	7.6	−	500	g5	表土						232	156
5296	重ね焼き		−	−	−	−	5.8	−	210	Ⅳ H15g	黒褐色土層						232	156
5297	重ね焼き		−	−	−	−	3.8	−	55	f4f5	北壁1層						232	155
5298	重ね焼き		−	−	−	−	3.1	−	50	99	表採						232	155
5299	重ね焼き		−	−	−	−	3.0	−	55	g5	表土						232	156
5300	重ね焼き		−	−	−	−	4.0	−	55	c4	黒色灰層上層						232	157
5301	重ね焼き		−	−	−	−	7.6	−	460	f4e4	東壁2層						232	157
5302	重ね焼き		−	−	−	−	4.2	−	110	d3	黒色灰層下層						232	157
5303	重ね焼き		−	−	−	−	3.8	−	60	g3f3	南壁6層						232	157
5304	重ね焼き		−	−	−	−	4.2	−	55	d3d4	北壁4層						232	157
5305	重ね焼き		−	−	−	−	4.0	−	80	e3d3	南壁5層						232	157
5306	重ね焼き		−	−	−	−	4.3	−	135	e4	表土						232	157
5307	重ね焼き		−	−	−	−	3.7	−	45	d2d3	北壁7層						232	157
5308	重ね焼き		−	−	−	−	5.8	−	186	d1c1	東壁3層	天分−64					232	158
5309	重ね焼き		−	−	−	−	8.0	−	335	f3	検出						232	158
5310	重ね焼き		−	−	−	−	3.3	−	60	g2f3	東壁6層						232	158
5311	重ね焼き		−	−	−	−	3.8	−	150	e3d3	東壁4層						232	
5312	重ね焼き		−	−	−	−	5.6	−	160	d2	黒色灰層下層，褐色土混じる						232	158
5313	重ね焼き		−	−	−	−	5.2	−	300	g3f3	東壁6層						232	158
5314	重ね焼き		−	−	−	−	7.9	−	700	d1d2	北壁7層	天分−68					232	158
5315	重ね焼き		−	−	−	−	6.4	−	255	Ⅳ H12d	褐色土層	№13					233	159
5316	重ね焼き		−	−	−	−	7.8	−	310	c2	黒色土層下層						233	158
5317	重ね焼き		−	−	−	−	4.0	−	225	f2	北トレンチ						233	159
5318	重ね焼き		−	−	−	−	12.6	−	130	d2	黒色土層上層						233	159
5319	重ね焼き		−	−	−	−	10.2	−	280	d2d3	北壁8層						233	159
5320	重ね焼き		−	−	−	−	7.2	−	150	d2	褐色土層，砂混じる						233	159
5321	重ね焼き		−	−	−	−	4.8	−	90	e5d5	東壁3層						233	159
5322	重ね焼き		−	−	−	−	5.0	−	180	f3	検出						233	160
5323	重ね焼き		−	−	−	−	4.7	−	215	d2	黒色灰層						233	160
5324	重ね焼き		−	−	−	−	5.3	−	145	d2c2	東壁4層						233	160
5325	重ね焼き		−	−	−	−	10.7	−	475	d2	黒色灰層下層						233	160
5326	重ね焼き		−	−	−	−	6.4	−	160	b2	検出						233	160
5327	重ね焼き		−	−	−	−	3.0	−	185	e4e5	北壁3層						233	161
5328	重ね焼き		−	−	−	−	4.1	−	170	f3	検出（下層）						233	161
5329	重ね焼き		−	−	−	−	4.8	−	260	c2	検出						233	160
5330	重ね焼き		−	−	−	−	3.4	−	70	Ⅳ H13h	灰層上層						233	161
5331	重ね焼き		−	−	−	−	3.8	−	70	Ⅳ H14h	灰層上層						233	161
5332	重ね焼き		−	−	−	−	3.4	−	50	f4	表土						233	161
5333	重ね焼き		−	−	−	−	3.8	−	145	e2	検出						234	162
5334	重ね焼き		−	−	−	−	3.2	−	90	e3	黒色灰層下層，赤褐色土混じる						234	162
5335	重ね焼き		−	−	−	−	2.2	−	95	b2	黒色灰層下層，褐色土混じる						234	161
5336	重ね焼き		−	−	−	−	2.0	−	30	Ⅳ H16g	黒褐色土層						234	
5337	重ね焼き		−	−	−	−	6.6	−	260	d2	黒色灰層下層						234	162
5338	重ね焼き		−	−	−	−	6.0	−	440	e2	黒色灰層上層						234	162
5339	重ね焼き		−	−	−	−	6.0	−	410	d2	黒色灰層						234	162
5340	重ね焼き		−	−	−	−	5.0	−	325	Ⅳ H16g	黒褐色土層						234	163
5341	重ね焼き		−	−	−	−	11.6	−	1450	d1d2	北壁2層	天分−66，67					234	163
5342	重ね焼き		−	−	−	−	14.6	−	1635	d4	黒色灰層下層，褐色土混じる	天分−63					234	162
5343	重ね焼き		−	−	−	−	10.0	−	700	f3	検出						234	163
5344	重ね焼き		−	−	−	−	8.4	−	855	d1	黒色灰層						234	163
5345	重ね焼き		−	−	−	−	6.4	−	500	d1c1	東壁4層						234	164
5346	重ね焼き		−	−	−	−	6.4	−	470	Ⅳ H15g	黒褐色土層						234	164
5347	重ね焼き		−	−	−	−	7.3	−	460	Ⅳ H14g，Ⅳ H14h	東壁8層						234	163
5348	重ね焼き		−	−	−	−	4.89	−	3.05	f2	検出						234	164
5349	重ね焼き		−	−	−	−	6.2	−	365	d4	黒色灰層下層，褐色土多く混じる						234	164
5350	重ね焼き		−	−	−	−	5.0	−	200	d4c4	東壁5層						234	164
5351	重ね焼き		−	−	−	−	3.0	−	120	Ⅳ H13h	トレンチ4（SY03）	№10					235	165
5352	重ね焼き		−	−	−	−	6.0	−	250	g3f3	東壁2層						235	164
5353	重ね焼き		−	−	−	−	5.0	−	210	g3f3	東壁6層						235	165
5354	重ね焼き		−	−	−	−	2.5	−	170	d2	黒色灰層上層						235	165
5355	重ね焼き		−	−	−	−	3.2	−	270	e3e4	北壁10層						235	165
5356	重ね焼き		−	−	−	−	2.5	−	180	e3	検出						235	165
5357	重ね焼き		−	−	−	−	3.4	−	240	Ⅳ H15g	灰層上層						235	
5358	重ね焼き		−	−	−	−	5.0	−	95	e3	黒色灰層下層，赤褐色土混じる						235	
5359	重ね焼き		−	−	−	−	6.4	−	155	d2	検出						235	165
5360	重ね焼き		−	−	−	−	6.8	−	340	e2	黒色灰層下層メインベルト	分②					235	165
5361	重ね焼き		−	−	−	−	6.2	−	195	Ⅳ H16g	赤褐色土層						235	166
5362	重ね焼き		−	−	−	−	4.7	−	95	f4	表土						235	165
5363	重ね焼き		−	−	−	−	5.2	−	820	Ⅳ H15g	黒褐色土層						235	166
5364	重ね焼き		−	−	−	−	5.6	−	285	c2d2	東壁3層						235	166

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・軸		時期	その他	遺物図	写真図版
5365	重ね焼き		−	−	−	−	7.0	−	384	c4	黒色灰層最下層	分-34					236	166
5366	重ね焼き		−	−	−	−	9.0	−	230	c2c3	北壁3層						236	
5367	重ね焼き		−	−	−	−	9.0	−	600	g3f3	東壁2層						236	166
5368	重ね焼き		−	−	−	−	3.8	−	175	f2	検出						236	166
5369	重ね焼き		−	−	−	−	10.2	−	1200	d2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						236	167
5370	重ね焼き		−	−	−	−	10.4	−	900	d1	黒色灰層下層,地山直上,赤褐色土混じる						236	167
5371	重ね焼き		−	−	−	−	4.2	−	45	c2	検出（下層）						236	167
5372	重ね焼き		−	−	−	−	4.8	−	60	d3	黒色灰層上層						237	166
5373	重ね焼き		−	−	−	−	5.6	−	90	e3	検出						237	167
5374	重ね焼き		−	−	−	−	3.6	−	125	d3	黒色灰層上層						237	167
5375	重ね焼き		−	−	−	−	3.2	−	30	e2	黒色灰層下層						237	167
5376	重ね焼き		−	−	−	−	2.8	−	30	d6	灰褐色土層						237	167
5377	重ね焼き		−	−	−	−	7.0	−	165	Ⅳ H15g	169層						237	168
5378	重ね焼き		−	−	−	−	7.4	−	195	d2	黒色灰層上層						237	168
5379	重ね焼き		−	−	−	−	7.2	−	215	e2e3	北壁1層						237	167
5380	重ね焼き		−	−	−	−	9.8	−	390	Ⅳ H15g	北壁167層						237	169
5381	重ね焼き		−	−	−	−	7.5	−	600	d1	北壁						237	169
5382	重ね焼き		−	−	−	−	5.4	−	220	e2	検出						237	168
5383	重ね焼き		−	−	−	−	1.8	−	85	Ⅳ H15g	黒褐色土層						237	168
5384	重ね焼き		−	−	−	−	2.8	−	65	Ⅳ H15g	黒褐色土層						237	
5385	重ね焼き		−	−	−	−	2.2	−	75	Ⅳ H15i	灰層上層						237	168
5386	重ね焼き		−	−	−	−	2.4	−	80	e3	検出						237	168
5387	重ね焼き		−	−	−	−	5.8	−	210	c3	黒色灰層上層						237	169
5388	重ね焼き		−	−	−	−	5.5	−	170	Ⅳ H15h	表土下,黒褐色土層						237	170
5389	重ね焼き		−	−	−	−	2.4	−	125	Ⅳ H16i	黒褐色土層						237	
5390	重ね焼き		−	−	−	−	10.8	−	230	Ⅳ H15g	北壁167層						238	170
5391	重ね焼き		−	−	−	−	7.8	−	215	d2	黒色灰層上層						238	170
5392	重ね焼き		−	−	−	−	6.6	−	100	e2	黒色灰層下層メインベルト						238	169
5393	重ね焼き		−	−	−	−	7.6	−	320	Ⅳ H16f	黒色灰層						238	170
5394	重ね焼き		−	−	−	−	3.6	−	195	e2d2	東壁3層						238	170
5395	重ね焼き		−	−	−	−	7.8	−	275	d4	黒色灰層上層,焼台多い						238	
5396	重ね焼き		−	−	−	−	16.4	−	710	b1b3	北壁2層						238	171
5397	重ね焼き		−	−	−	−	12.8	−	560	99A	表採						238	171
5398	重ね焼き		−	−	−	−	12.1	−	415	c1c2	北壁4層						238	169
5399	重ね焼き		−	−	−	−	9.1	−	465	e3	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						238	171
5400	重ね焼き		−	−	−	−	14.3	−	700	g2	東トレンチ						239	171
5401	重ね焼き		−	−	−	−	9.2	−	500	c3c4	北壁,黒色灰層						239	172
5402	重ね焼き		−	−	−	−	9.3	−	600	g3f3	東壁6層						239	
5403	重ね焼き		−	−	−	−	5.0	−	1000	Ⅳ H15g	黒褐色土層	№166					239	172
5404	重ね焼き		−	−	−	−	11.0	−	1600	d1	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						239	171
5405	重ね焼き		−	−	−	−	22.2	−	4900	d1d2	北壁7層						239	172
5406	匣鉢		14.7	1/12	−	−	(6.0)	1/12	140	e3d3	東壁5層						240	
5407	匣鉢		26.7	3/12	−	−	(13.9)	3/12	530	c2c3	北壁1層						240	
5408	匣鉢		19.2	1/12	−	−	(21.4)	2/12	700	e3d3	東壁5層						240	
5409	匣鉢		19.5	3/12	17.4	2/12	17.8	3/12	650	f4	黒色灰層上層	分②					240	
5410	匣鉢		15.9	12/12	15.2	12/12	10.2	12/12	1500	c1	黒色灰層最下部,褐色土直上						240	
5411	匣鉢		16.2	6/12	15.8	12/12	10.7	9/12	1400	d1c1	東壁4層						240	
5412	匣鉢		15.0	4/12	14.9	12/12	9.3	5/12	1160	98	表採						240	
5413	匣鉢		15.6	12/12	14.0	12/12	9.2	12/12	1000	c2	黒色土層下層						240	
5414	匣鉢		15.2	6/12	15.0	12/12	10.0	8/12	1095	c1	北壁26層						240	
5415	匣鉢		14.5	3/12	14.2	12/12	9.8	8/12	860	d1	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						240	
5416	匣鉢		15.7	4/12	14.0	12/12	10.2	8/12	900	d1c1	東壁4層						241	
5417	匣鉢		−	−	13.4	5/12	(9.4)	4/12	500	d1	北壁						241	
5418	匣鉢		−	−	15.2	4/12	(7.2)	1/12	460	e4e5	北壁4層						241	
5419	匣鉢		13.8	3/12	−	−	(4.9)	1/12	60	Ⅳ H15h	184層						241	
5420	匣鉢		13.2	4/12	−	−	(6.5)	4/12	194	Ⅳ H15h	褐色土層						241	
5421	匣鉢		12.4	2/12	11.4	12/12	6.3	7/12	455	d1d2	北壁7層						241	
5422	匣鉢		12.6	3/12	9.4	6/12	6.0	4/12	319	Ⅳ H15h	褐色土層						241	
5423	匣鉢		11.8	2/12	10.2	5/12	4.5	3/12	131	Ⅳ H15h	褐色土層						241	
5424	匣鉢		11.2	2/12	10.1	2/12	4.3	2/12	96	Ⅳ H15h	褐色土層						241	
5425	匣鉢		13.0	5/12	8.8	12/12	7.7	12/12	600	Ⅳ H12h	トレンチ1	№1					241	
5426	匣鉢		10.5	2/12	−	−	(5.4)	1/12	30	d1	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						241	
5427	匣鉢		9.4	9/12	8.0	12/12	6.0	11/12	320	e2d2	東壁6層						241	
5428	匣鉢		6.7	1/12	6.8	3/12	6.9	2/12	50	d3	黒色灰層						241	
5429	匣鉢		8.2	6/12	5.8	12/12	5.1	8/12	115	d3	黒色灰層下層	分②					241	
5430	匣鉢		13.1	2/12	7.0	5/12	7.2	4/12	145	d2	黒色灰層下層						241	
5431	匣鉢		18.8	3/12	9.2	3/12	9.2	3/12	340	Ⅳ H16g	黒褐色土層	分②					241	
5432	匣鉢		−	−	6.7	12/12	3.2	2/12	130	d2	黒色灰層上層						241	
5433	匣鉢蓋		16.1	5/12	7.5	10/12	3.9	7/12	245	d1d2	北壁3層						241	
5434	匣鉢		13.0	5/12	10.2	5/12	5.1	4/12	270	Ⅳ H15g	169層						242	
5435	匣鉢		13.3	5/12	11.6	4/12	9.5	5/12	390	Ⅳ H15h	黒褐色土層						242	172
5436	匣鉢		12.8	5/12	9.4	4/12	5.9	3/12	390	Ⅳ H15h	黒褐色土層	天分-62					242	173
5437	匣鉢		14.2	7/12	5.2	12/12	6.9	10/12	970	Ⅳ H16g	赤褐色土層	天分-61					242	173
5438	匣鉢		11.6	3/12	−	−	2.8	1/12	410	Ⅳ H14h	西側北トレンチ						242	
5439	匣鉢		11.4	6/12	9.8	5/12	5.4	6/12	400	Ⅳ H14h	西壁197層						242	
5440	匣鉢蓋		−	−	7.5	8/12	2.0	1/12	75	f3e3	東壁10層						242	
5441	匣鉢蓋		−	−	−	−	1.6	1/12	120	b3c3	西壁2層					文様有	242	
5442	匣鉢蓋		(15.1)	5/12	11.2	12/12	5.7	7/12	600	d2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる	天分-65					242	173
5443	匣鉢蓋		14.8	3/12	11.2	12/12	5.7	7/12	865	Ⅳ H14h	灰層上層,暗褐色砂層						242	
5444	匣鉢		16.2	1/12	8.1	12/12	3.5	7/12	355	Ⅳ H13g,Ⅳ H14g	南壁6層						242	
5445	匣鉢		17.0	1/12	14.3	3/12	10.9	2/12	280	d2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる						242	173
5446	匣鉢		18.6	4/12	−	−	1.3	1/12	380	Ⅳ H16g	赤褐色土層						242	173
5447	匣鉢		17.7	2/12	18.0	5/12	13.3	4/12	455	Ⅳ H13h	灰層上層						242	
5448	匣鉢		−	−	12.4	6/12	2.0	1/12	50	d3							242	
5449	窯道具		−	−	−	−	7.5	1/12	120	e3	表採					裏銘に付	242	173
5450	匣鉢蓋		14.1	1/12	−	−	(4.4)	1/12	55	d1d2	北壁7層						243	
5451	匣鉢蓋		14.3	3/12	8.3	3/12	3.6	3/12	85	Ⅳ H16h	黒褐色土層						243	
5452	匣鉢蓋		13.1	4/12	8.3	6/12	3.1	4/12	135	Ⅳ H16h	黒褐色土層						243	
5453	匣鉢蓋		15.1	3/12	7.2	12/12	3.9	5/12	170	Ⅳ H16i	黒褐色土層						243	
5454	匣鉢蓋		12.0	3/12	6.2	8/12	2.5	4/12	105	Ⅳ H15i	黒褐色土層						243	
5455	匣鉢蓋		10.8	10/12	6.7	12/12	2.4	11/12	160	Ⅳ H16i	黒褐色土層						243	
5456	匣鉢蓋		10.3	9/12	6.3	12/12	1.9	10/12	115	Ⅳ H15i	黒褐色土層						243	
5457	匣鉢蓋		9.0	6/12	4.7	8/12	2.5	10/12	60	Ⅳ H15h	灰層上層						243	
5458	匣鉢蓋		10.4	8/12	7.6	8/12	2.4	8/12	125	Ⅳ H15h	褐色土層						243	
5459	匣鉢蓋		10.0	6/12	6.9	12/12	2.4	8/12	130	Ⅳ H15h	褐色土層						243	
5460	匣鉢蓋		9.6	9/12	5.9	12/12	2.9	10/12	135	Ⅳ H15f	黒褐色土層						243	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
5461	匣鉢蓋		9.5	8/12	7.2	8/12	2.0	8/12	75	Ⅳ H15g	黒褐色土層						243	
5462	匣鉢蓋		9.8	5/12	6.8	9/12	1.9	6/12	110	Ⅳ H16i	表土下黒褐色土層						243	
5463	匣鉢蓋		9.0	3/12	7.2	3/12	1.9	3/12	20	d2d3	北壁7層						243	
5464	匣鉢蓋		9.8	7/12	6.2	12/12	2.8	9/12	119	Ⅳ H15h	褐色土層						243	174
5465	匣鉢蓋		9.0	11/12	6.5	12/12	2.1	11/12	100	Ⅳ H15h	褐色土層						243	174
5466	匣鉢蓋		8.9	12/12	6.8	12/12	1.8	12/12	114	Ⅳ H15h	褐色土層	№3,分②					243	174
5467	匣鉢蓋		8.0	5/12	4.8	7/12	1.8	6/12	40	Ⅳ H15g	黒褐色土層						243	
5468	窯道具		−	−	−	−	−	−	160	e2							244	
5469	窯道具		−	−	−	−	−	−	50	f2							244	
5470	窯道具		−	−	−	−	−	−	60	f2							244	
5471	窯道具		−	−	−	−	−	−	70	e2							244	
5472	窯道具		−	−	−	−	−	−	55	Ⅳ H15h	黒褐色土層						244	
5473	窯道具		−	−	−	−	−	−	60	d1d2	北壁4層						244	
5474	窯道具		−	−	−	−	−	−	150	e3e4	北壁3層						244	
5475	窯道具		−	−	−	−	−	−	35	f2	黒色灰層中						244	
5476	窯道具		−	−	−	−	−	−	30	d2	黒色灰層上層						244	
5477	窯道具		−	−	−	−	−	−	170	Ⅳ H15f	黒褐色土層						244	
5478	窯道具		−	−	−	−	−	−	70	Ⅳ H15g	黒褐色土層						244	
5479	窯道具		−	−	−	−	−	−	90	e2	黒色灰層下層メインベルト						244	
5504	天目茶碗		11.2	1/12	4.6	2/12	7.0	5/12	140	d2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる	分-1					248	
5505	天目茶碗		11.8	6/12	4.1	8/12	6.7	6/12	131	b2b3	北壁2層	分-2					248	
5506	天目茶碗		12.4	3/12	3.8	12/12	6.4	3/12	111	98	表採	分-3					248	
5507	天目茶碗		(11.2)	1/12	3.8	12/12	6.8	6/12	153	e2	黒色灰層中	分-4					248	
5508	天目茶碗		11.8	4/12	3.8	10/12	6.2	6/12	151	e2	黒色灰層中	分-6					248	
5509	緑釉小皿		11.6	3/12	5.9	12/12	2.5	7/12	105	c4	黒色灰層最下部,褐色土直上	分-12		不明			248	
5510	緑釉小皿		(11.1)	3/12	5.0	12/12	3.0	6/12	112	d1	黒色灰層上層	分-13		不明			248	
5511	緑釉小皿		100.8	1/12	4.8	12/12	2.7	6/12	58	f2	北トレンチ	分-14		不明			248	
5512	緑釉小皿		8.9	8/12	5.7	12/12	1.7	8/12	53	Ⅳ H11e		№3,分-15		不明			248	
5513	緑釉小皿		10.5	7/12	5.0	12/12	3.0	8/12	89	Ⅳ H11e		№4,分-16		不明			248	
5514	緑釉小皿		(11.4)	2/12	5.0	4/12	2.7	3/12	35	f2		分-17		不明			248	
5515	平碗		−	−	6.0	12/12	5.0	3/12	132	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる	分-95		不明			248	
5516	四耳壺		20.6	1/12	−	−	5.7	1/12	92	d2	検出	分-104					248	
5517	四耳壺		−	−	−	−	8.7	3/12	162	d4	褐色土層,地山直上	分-58					248	
5518	四耳壺		13.3	3/12	−	−	6.1	3/12	201	c4	黒色灰層最下層,褐色土直上	分-57					248	
5519	口広壺		−	−	−	−	11.6	1/12	262	f4e4	南壁2層	分-68					248	
5520	口広壺		−	−	10.1	12/12	8.2	3/12	421	e3	検出（下層）	分-69					248	
5521	卸皿D		11.6	8/12	6.7	12/12	2.4	10/12	135	e3e4	北壁1層	分②		中Ⅳ			248	175
5522	花瓶Ⅲ		−	−	8.1	9/12	6.6	8/12	255	d4	黒色灰層上層	分-26					248	
5523	灰釉天目茶碗		10.6	7/12	4.3	12/12	5.9	11/12	183	Ⅳ H14h	整地層	分②					248	
5524	天目茶碗		11.5	10/12	3.8	12/12	6.0	11/12	297	c1	黒色灰層最下部,褐色土直上	分②	天Ⅰ2+中鉢				248	175
5525	天目茶碗		12.2	5/12	3.6	12/12	6.6	9/12	215	98	表採	分②					248	175
5526	灰釉天目茶碗		12.8	11/12	4.0	12/12	5.6	11/12	312	d2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる	分②					248	175
5527	卸皿E		6.7	12/12	3.7	12/12	1.8	12/12	45	d2	検出	分②					248	175
5528	端反皿		9.9	3/12	4.9	12/12	2.9	10/12	100	Ⅳ H15h	黒褐色土層	分②					248	175
5529	片口小鉢		10.4	7/12	5.2	12/12	2.7	9/12	103	d2	黒色灰層下層	分②					248	
5530	茶入		−	−	−	−	−	−	3	d2c2	東壁1層	分-111						
5531	花瓶		−	−	−	−	6.5	1/12	23	d2	黒色灰層下層,褐色土混じる	蛍光X線分析-1						
5532	花瓶		−	−	−	−	6.7	1/12	32	d4	表土	蛍光X線分析-2						
5533	端反碗		(16.0)	1/12	−	−	3.8	1/12	16	g2	東トレンチ	蛍光X線分析-3						
5534	筒形容器		−	−	−	−	3.0	1/12	8	e3	褐色土層（黒色灰層),黒灰混じる,地山直上	蛍光X線分析-4						
5535	卸皿C		(10.0)	6/12	5.4	12/12	2.6	9/12	105	d1c1	東壁2層	分②						175
5536	卸皿B		12.3	5/12	8.5	12/12	2.9	8/12	193	e2	黒色灰層下層,赤褐色土混じる	分②						175
5537	緑釉小皿		8.7	12/12	4.6	12/12	2.3	12/12	75	Ⅳ H12h	トレンチ1	分②						175
5538	天目茶碗		12.1	6/12	4.2	6/12	6.9	6/12	175	f7	トレンチ,褐色土層						249	
5539	天目茶碗		11.2	2/12	4.3	10/12	7.0	6/12	190	f6	褐色土層,地山直上						249	
5540	天目茶碗		11.0	2/12	4.3	12/12	6.5	4/12	185	f6	褐色土層,地山直上坑						249	
5541	天目茶碗		11.5	3/12	4.3	12/12	7.0	3/12	125	e7d7	東壁2層～下						249	
5542	天目茶碗		−	−	3.9	11/12	(3.3)	2/12	80	f8	検出Ⅰ						249	
5543	丸椀		11.6	3/12	4.3	12/12	6.9	5/12	120	f6	褐色土層,地山直上						249	
5544	丸椀		11.3	5/12	5.2	12/12	7.1	6/12	160	f6	褐色土層,地山直上						249	
5545	丸椀		11.2	5/12	4.3	12/12	7.1	5/12	150	f6	褐色土層,地山直上						249	
5546	鉢		−	−	6.5	6/12	(4.1)	1/12	75	e8	検出Ⅰ						249	
5547	碗		−	−	5.1	11/12	(3.8)	1/12	80	d7	褐色2層,砂混じる						249	
5548	碗		−	−	4.0	7/12	(2.7)	1/12	50	g7	褐色土層						249	
5549	碗		−	−	3.2	12/12	(2.1)	1/12	50	d7	褐色2層,砂混じる						249	
5550	碗		10.0	3/12	−	−	(4.7)	1/12	20	g6～8,f6～8	東壁清掃						249	
5551	碗		9.4	6/12	3.5	12/12	5.1	7/12	130	f6	褐色土層,地山直上						249	
5552	碗		9.0	4/12	3.7	11/12	5.3	6/12	130	f6	褐色土層,地山直上						249	
5553	碗		12.6	6/12	4.7	12/12	5.6	5/12	150	Ⅴ H2d	灰層						249	
5554	天目茶碗		10.0	2/12	−	−	(4.4)	1/12	20	g7	褐色土層						249	
5555	鉢		−	−	6.0	2/12	(4.9)	1/12	25	d7	褐色2層,砂混じる						249	
5556	よろい茶碗		10.0	1/12	3.4	12/12	5.4	3/12	55	g7	褐色土層						249	
5557	碗		11.8	3/12	3.2	12/12	5.4	4/12	70	f6	褐色土層,地山直上						249	
5558	天目茶碗		13.0	4/12	−	−	(5.9)	4/12	90	f8	検出Ⅰ						249	
5559	碗		−	−	5.0	4/12	(3.6)	1/12	30	g7	褐色土層						249	
5560	丸碗		8.4	6/12	3.2	12/12	5.5	7/12	85	d7	褐色2層,砂混じる						249	
5561	丸碗		9.0	3/12	3.4	7/12	5.6	6/12	60	f6	褐色土層,地山直上						249	
5562	碗		−	−	3.2	12/12	(1.9)	1/12	30	g7	褐色土層,地山直上坑						249	
5563	碗		−	−	3.8	12/12	(1.9)	1/12	30	e7	褐色土層,焼台混じる						249	
5564	碗		−	−	3.3	12/12	(1.4)	1/12	25	Ⅴ H2d	灰層						249	
5565	碗		−	−	2.7	6/12	(1.7)	1/12	10	g6	褐色土層,地山直上						249	
5566	丸碗		9.0	1/12	−	−	(4.7)	1/12	10	g6	東壁,褐色土層						249	
5567	碗		−	−	3.4	12/12	(4.7)	1/12	35	Ⅴ H2d	灰層						249	
5568	皿		−	−	4.2	8/12	(2.7)	1/12	55	e7d7	東壁2層～下						249	
5569	平碗		12.2	2/12	4.0	10/12	4.2	2/12	50	e7d7	東壁2層～下						249	
5570	広東碗		11.6	1/12	5.6	12/12	6.5	2/12	125	g7	褐色土層,地山直上坑						250	
5571	広東碗		−	−	6.6	3/12	(4.8)	2/12	30	e7	表土						250	
5572	広東碗		−	−	5.6	12/12	(3.2)	1/12	105	Ⅴ H2d	灰層						250	
5573	広東碗		−	−	6.0	12/12	(2.1)	1/12	55	98	表採						250	

番号	器種	分類	口径	口縁残存率	底径	底部残存率	器高	全体残存率	重量(g)	グリッド	遺構・土層	取上・分析No.	仮分類・釉			時期	その他	遺物図	写真図版
5574	広東碗		8.6	1/12	6.0	2/12	5.4	3/12	55	e7	表土							250	
5575	筒碗		6.8	4/12	3.8	12/12	5.5	7/12	85	g6	褐色土層,地山直上							250	
5576	筒碗		7.5	4/12	3.6	1/12	5.6	5/12	70	e6d6	東壁2層							250	
5577	蓋		3.5	4/12	9.2	4/12	2.8	5/12	30	98	表採							250	
5578	端反碗		10.4	4/12	4.4	3/12	5.9	3/12	50	f7	トレンチ,褐色土層							250	
5579	端反碗		9.4	1/12	3.8	5/12	4.7	2/12	25	98	表採							250	
5580	端反碗		−	−	5.2	4/12	(3.4)	2/12	35	Ⅴ H2d	灰層							250	
5581	端反碗		11.0	2/12	−	−	(5.2)	2/12	35	g7	褐色土層							250	
5582	丸碗		10.0	4/12	4.8	6/12	5.8	6/12	95	g7	褐色土層							250	
5583	丸碗		9.8	4/12	4.0	12/12	7.3	8/12	145	Ⅴ H2d	灰層							250	
5584	筒碗		−	−	8.0	3/12	(3.8)	1/12	25	g6	褐色土層,地山直上							250	
5585	鉢		26.0	2/12	12.0	4/12	11.0	3/12	430	Ⅴ H2d	灰層							250	
5586	植木鉢		−	−	10.0	1/12	(8.6)	1/12	70	98	表採							250	
5587	植木鉢		15.6	11/12	8.4	12/12	11.1	11/12	445	g7	褐色土層							250	
5588	皿		8.0	3/12	5.2	3/12	1.3	3/12	15	f6	褐色土層,地山直上							251	
5589	皿		7.0	6/12	2.7	6/12	1.3	6/12	20	e6d6	東壁2層							251	
5590	皿		11.0	1/12	−	−	(1.8)	1/12	10	Ⅴ H2d	灰層							251	
5591	皿		−	−	6.0	12/12	(1.7)	1/12	75	Ⅴ H2d	灰層							251	
5592	皿		13.4	4/12	7.2	3/12	3.0	5/12	120	f6	褐色土層,地山直上							251	
5593	皿		13.0	4/12	−	−	(2.5)	1/12	40	f6	褐色土層,地山直上							251	
5594	皿		−	−	6.6	12/12	(2.2)	1/12	85	f6	褐色土層,地山直上							251	
5595	皿		−	−	6.4	12/12	(2.5)	2/12	125	d7	褐色2層,砂混じる							251	
5596	菊皿		13.2	5/12	7.6	6/12	3.1	5/12	70	e7d7	東壁2層～下							251	
5597	菊皿		14.0	4/12	7.5	6/12	3.0	6/12	100	f6	褐色土層,地山直上							251	
5598	菊皿		14.0	3/12	8.0	4/12	2.7	3/12	65	e7d7	東壁2層							251	
5599	菊皿		12.9	3/12	6.3	2/12	2.9	3/12	45	f6	褐色土層,地山直上							251	
5600	菊皿		13.6	2/12	7.2	5/12	3.3	3/12	55	f7	トレンチ,褐色土層							251	
5601	菊皿		13.0	1/12	7.2	12/12	2.9	1/12	80	e7d7	東壁2層～下							251	
5602	皿		−	−	5.4	6/12	(1.3)	11/12	20	d7	褐色2層,砂混じる							251	
5603	鉢		−	−	7.0	6/12	(2.7)	1/12	70	Ⅴ H2d	灰層							251	
5604	皿		−	−	−	−	(2.3)	1/12	30	e7	褐色土層,焼台混じる							251	
5605	筒碗		−	−	4.6	6/12	(2.5)	2/12	25	f6	褐色土層,地山直上							251	
5606	筒碗		−	−	7.8	6/12	(3.2)	2/12	80	d7	褐色2層,砂混じる							251	
5607	鉢		−	−	11.4	12/12	(5.2)	1/12	565	Ⅴ H2d	灰層							251	
5608	大皿		30.0	1/12	11.2	6/12	5.0	1/12	195	e8	検出Ⅰ							251	
5609	鉢		34.0	5/12	16.4	6/12	10.2	5/12	1440	f6	褐色土層,地山直上							251	
5610	餌鉢		6.2	11/12	4.7	12/12	3.3	12/12	70	f7	褐色土層							252	
5611	餌鉢		6.5	1/12	4.4	2/12	3.3	3/12	10	Ⅴ H2d	灰層							252	
5612	仏飯具		11.4	11/12	−	−	(2.5)	9/12	140	e6d6	東壁2層							252	
5613	仏飯具		−	−	4.9	12/12	(4.7)	7/12	50	g7	褐色土層							252	
5614	仏飯具		−	−	7.1	11/12	(2.9)	10/12	65	Ⅴ H2d	灰層							252	
5615	香炉		14.4	6/12	9.8	12/12	8.9	10/12	680	f7	トレンチ,褐色土層							252	
5616	鉢		34.9	3/12	16.2	4/12	18.0	4/12	990	d6	灰褐色土層							252	
5617	鉢		15.0	2/12	−	−	(7.4)	2/12	105	g7	褐色土層,地山直上坑							252	
5618	半胴甕		39.0	7/12	25.0	6/12	31.8	6/12	3770	g6	褐色土層,地山直上							252	
5619	足付灯明受		2.8	12/12	−	−	(3.0)	1/12	45	f6	褐色土層,地山直上							252	
5620	瓶		3.2	12/12	9.0	12/12	21.0	10/12	800	f6	褐色土層,地山直上							252	
5621	瓶		3.8	3/12	9.0	12/12	22.1	11/12	1260	f6	褐色土層,地山直上							252	
5622	蓋		11.4	12/12	9.0	12/12	3.7	12/12	145	Ⅴ H2d	灰層							253	
5623	蓋		8.0	8/12	−	−	2.5	9/12	40	g7	褐色土層							253	
5624	蓋		7.2	11/12	−	−	2.8	10/12	40	g7	褐色土層,地山直上坑							253	
5625	蓋		11.7	10/12	5.8	12/12	2.8	11/12	165	f7	褐色土層							253	
5626	蓋		13.5	4/12	6.2	12/12	2.9	12/12	155	d7	褐色2層,砂混じる							253	
5627	蓋		7.8	10/12	−	−	1.9	10/12	45	g6	褐色土層,地山直上							253	
5628	蓋		17.7	3/12	15.2	3/12	2.4	3/12	80	g7	褐色土層							253	
5629	蓋		16.6	5/12	5.6	3/12	3.4	4/12	135	e7	表土							253	
5630	土瓶		9.2	10/12	−	−	(4.2)	2/12	135	f6	褐色土層							253	
5631	土瓶		8.5	5/12	8.0	6/12	11.8	6/12	455	Ⅳ H10j	表土層							253	
5632	鉢		−	−	6.8	12/12	(4.2)	1/12	215	e7	灰褐色土層							253	
5633	鍋		17.4	1/12	−	−	(6.7)	1/12	95	98	表採							253	
5634	鍋		17.2	2/12	−	−	(7.6)	1/12	115	e7	表土							253	
5635	鍋		21.0	4/12	−	−	(7.8)	3/12	150	f7	表土							253	
5636	土鍋		14.2	5/12	−	−	(7.4)	1/12	160	e6	灰褐色土層							253	
5637	小壷		−	−	5.0	11/12	(5.1)	6/12	90	98	表土層							253	
5638	壷		−	−	7.3	11/12	(4.2)	6/12	185	f6	褐色土層,地山直上							253	
5639	壷		−	−	5.5	12/12	(3.1)	3/12	140	f6	褐色土層,地山直上							253	
5640	内耳土鍋		22.0	1/12	−	−	(5.1)	1/12	25	g7	褐色土層,地山直上坑							253	
5641	内耳土鍋		−	−	−	−	(3.5)	1/12	15	g6	褐色土層,地山直上							253	
5642	擂鉢		32.6	3/12	−	−	(2.1)	1/12	3350	d6	灰褐色土層							254	
5643	擂鉢		34.0	1/12	−	−	(7.0)	1/12	110	f6	褐色土層,地山直上							254	
5644	擂鉢		26.6	1/12	−	−	(5.8)	1/12	65	f7	褐色土層							254	
5645	擂鉢		24.6	1/12	−	−	(6.3)	1/12	60	Ⅴ H2d	灰層							254	
5646	擂鉢		26.4	4/12	11.0	12/12	11.0	6/12	980	f7	褐色土層	No.1						254	
5647	擂鉢		17.7	2/12	7.4	12/12	8.3	4/12	215	Ⅴ H2d	灰層							254	
5648	戸車		−	−	−	−	7.7	12/12	150	g7	褐色土層							254	
5649	セン		−	−	−	−	(8.1)	1/12	435	f7	褐色土層							254	
5650	窯道具		−	−	−	−	8.6	12/12	85	Ⅳ H2d	灰層							254	
5651	窯道具		−	−	−	−	(2.4)	4/12	25	f6	褐色土層,地山直上							254	
M-1	聖栄元寶		−	−	2.3	−	−	−	3.4	c3	黒色灰層下層,褐色土混じる								
M-2	寛永通寶		−	−	2.3	−	−	−	2.6	e3	検出								
M-3	文久永寶		−	−	2.6	−	−	−	2.9	d4	東壁								
S-1	石棒		長8.8	−	幅3.8	−	厚0.7	−	29.7	Ⅳ H15f	西壁	No.336					乾紋岩	222	
S-2	小石		−	−	−	−	−	−	−	Ⅳ H13f	SX11擂鉢中								

遺物一覧表（陶丸）

番号	器種	縦	－	横	－	－	－	重量（g）	グリッド	遺構	取上・分析No.	仮分類・軸		時期	その他	遺物図	写真図版
5013	陶丸	2.5		2.5				14.1	e5	にぶい黄褐色砂層（e5北壁3層相当）					素地	223	
5014	陶丸	2.4		2.4				13.6	e4d4	東壁5層					施釉	223	
5015	陶丸	2.3		2.4				12.4	e4d4	東壁5層					素地	223	
5016	陶丸	2.8		2.8				20.0	e4d4	東壁3層					素地	223	
5017	陶丸	2.4		2.7				15.3	e4d4	東壁3層					素地（釉付着）	223	
5018	陶丸	2.6		2.7				18.7	Ⅳ H15g	黒褐色土層					施釉（小石付着）	223	
5019	陶丸	2.5		2.4				13.9	e3e4	北壁3層					素地	223	
5020	陶丸	2.3		2.4				11.2	e3e4	北壁10層					素地	223	
5021	陶丸	2.1		2.1				9.5	e3	検出					素地	223	
5022	陶丸	2.2		2.3				11.0	e3	黒色灰層下層，赤褐色土混じる					施釉	223	
5023	陶丸	2.3		2.4				13.6	b1c1	西壁2層					施釉	223	
5024	陶丸	2.1		2.3				10.4	b2	検出					施釉（窯ゴミ付着）	223	
5025	陶丸	2.0		2.1				7.3	c2	検出					施釉	223	
5026	陶丸	2.0		2.1				8.1	d4	黒色灰層上層					施釉	223	
5027	陶丸	2.2		2.2				10.9	e3d3	東壁4層					施釉	223	
5028	陶丸	2.1		2.4				12.4	e2	黒色灰層下層，赤褐色土混じる					素地（釉付着）	223	
5029	陶丸	2.2		2.2				12.8	d3c3	東壁3層					降灰	223	
5030	陶丸	2.5		2.8				18.9	d4c4	東壁3層					降灰	223	
5031	陶丸	2.1		2.1				10.0	e6d6	東壁1層					降灰	223	
5032	陶丸	2.3		2.6				14.7	e2e3	北壁8層（a，b）					施釉	223	
5033	陶丸	2.4		2.4				10.7	Ⅳ H15g	黒褐色土層					素地	223	
5034	陶丸	2.2		2.3				11.4	Ⅳ H16h	黒褐色土層					素地	223	
5035	陶丸	2.6		2.5				16.5	e2	検出					素地（釉付着）	223	
5036	陶丸	2.2		2.2				9.8	c2	検出					施釉	223	
5037	陶丸	2.3		2.2				11.2	Ⅳ H16h	黒褐色土層					施釉	223	
5038	陶丸	2.8		2.7				21.0	d1	黒色灰層					素地（釉，窯ゴミ付着）	223	
5039	陶丸	2.0		2.2				8.5	Ⅳ H16g	黒褐色土層					素地	223	
5040	陶丸	2.2		2.4				11.5	d2	黒色灰層下層					降灰	223	
5041	陶丸	2.2		2.2				9.1	Ⅳ H13f	SX01	No.330				素地	223	
5042	陶丸	2.6		2.7				19.3	b1c1	西壁3層					施釉	223	
5043	陶丸	2.3		2.2				11.5	Ⅳ H15h	黒褐色土層					施釉	223	
5044	陶丸	2.5		2.4				11.6	d2	黒褐色土層					素地	223	
5045	陶丸	2.2		2.2				10.9	b3	表土					素地	223	
5046	陶丸	2.1		1.9				8.1	f3	検出					施釉（窯ゴミ付着）	223	
5047	陶丸	1.9		1.8				6.7	g2	東トレンチ下層					施釉	223	
5048	陶丸	2.6		2.7				18.1	c3	黒色灰層最下部，褐色土直上					施釉	223	
5049	陶丸	2.7		2.6				14.7	d2d3	北壁8層					素地	223	
5050	陶丸	2.7		2.5				16.7	Ⅳ H15g	褐色土層					素地（窯ゴミ付着）	223	
5051	陶丸	2.5		2.4				13.1	c3	黒色灰層下層，褐色土混じる					降灰（窯ゴミ付着，表面剥離）	223	
5052	陶丸	2.5		2.3				12.5	f2e2	東壁5層					施釉	223	
5053	陶丸	2.3		2.3				12.0	c2	検出（下層）					施釉（窯ゴミ付着）	223	
5054	陶丸	2.0		2.2				10.1	f2	北トレンチ下層					施釉（窯ゴミ付着，表面剥離）	223	
5055	陶丸	2.3		2.4				13.5	e5	褐色土層，地山直上					施釉（窯ゴミ付着）	223	
5056	陶丸	2.1		2.1				9.9	e3	黒色灰層下層，褐色土混じる					施釉（窯ゴミ付着，表面剥離）	223	
5057	陶丸	2.5		2.5				14.2	98	表採					素地	223	
5058	陶丸	2.7		2.8				20.4	Ⅳ H15f	黒褐色土層					素地（釉付着）	223	
5059	陶丸	2.7		2.8				18.6	98	表採					素地	223	
5060	陶丸	2.6		2.6				17.3	98	表採					素地（底部に釉付着）	223	
5061	陶丸	2.3		2.4				12.9	98	表採					素地（底部，側面に一部釉付着）	223	
5062	陶丸	2.4		2.4				13.9	f4	黒色灰層下層，赤褐色土・褐色土混じる					降灰（底部に釉付着）	223	
5063	陶丸	2.5		2.2				10.4	f3e3	東壁6層					素地	223	
5064	陶丸	2.3		2.6				12.2	98	表採					素地	223	
5065	陶丸	2.1		2.1				9.1	f3e3	東壁10層					素地（一部に灰釉，鉄釉付着）	223	
5066	陶丸	2.3		2.2				12.4	f3f4	北壁7層					素地	223	
5067	陶丸	2.2		2.2				10.5	f2	北トレンチ下層					施釉	223	
5068	陶丸	2.2		2.1				9.2	f3	検出（下層）					施釉	223	
5069	陶丸	2.8		2.8				15.6	f2	北トレンチ下層					素地	223	
5070	陶丸	2.3		2.3				12.1	d3	黒色灰層上層					施釉	223	
5071	陶丸	2.4		2.4				12.4	d2	黒色灰層下層					施釉	223	
5072	陶丸	2.2		2.1				10.8	99G	黒褐色土層					素地（鉄釉付着）	223	
5073	陶丸	1.9		2.1				8.4	99G	黒褐色土層					降灰	223	
5074	陶丸	2.4		2.5				13.8	Ⅳ H15g	黒褐色土層					降灰	223	
5075	陶丸	2.3		2.2				11.7	Ⅳ H15g	褐色土層					素地	224	
5076	陶丸	2.1		2.0				9.4	Ⅳ H15f	黒褐色土層					素地（釉付着）	224	
5077	陶丸	2.6		2.6				15.5	Ⅳ H15f	黒褐色土層					降灰	224	
5078	陶丸	2.3		2.3				12.8	Ⅳ H15f	黒褐色土層					施釉	224	
5079	陶丸	2.6		2.7				15.1	Ⅳ H15f	黒褐色土層					素地	224	
5080	陶丸	2.0		2.1				9.8	Ⅳ H15f	黒褐色土層					施釉	224	
5081	陶丸	2.2		2.3				11.1	Ⅳ H14h	黒褐色土層					素地	224	
5082	陶丸	1.9		2.0				6.7	Ⅳ H13f	黒褐色土層					素地	224	
5083	陶丸	2.2		2.3				11.7	Ⅳ H13g，Ⅳ H14g	南壁91層					降灰	224	
5084	陶丸	2.5		5.6				13.6	Ⅳ H13h，Ⅳ H14h						素地	224	
5085	陶丸	2.5		2.5				13.5	Ⅳ H13h						降灰	224	
5086	陶丸	2.6		2.6				14.3	Ⅳ H14f，Ⅳ H14g						素地	224	
5087	陶丸	2.5		2.4				14.8	d2d3	北壁8層					素地	224	
5088	陶丸	2.2		2.2				12.9	d5d6						施釉（破片付着）	224	
5089	陶丸	2.3		2.2				11.8	e3d3	東壁3層					施釉（表面剥離）	224	
5090	陶丸	2.1		2.0				10.7	g3f4						施釉（破片付着）	224	
5091	陶丸	2.3		2.3			9	14.4	f2	検出					施釉（破片付着）	224	
5092	陶丸	2.3		2.6			8	11.7	d1	黒色灰層					素地（表面剥離）	224	
5093	陶丸	2.5		2.4			11	13.8	e2	検出					施釉（窯ゴミ付着）	224	
5094	陶丸	2.1		2.2			9	10.0	e4d4	東壁3層					施釉	224	
5095	陶丸	2.1		2.1			11	10.8	d2	黒色灰層					施釉（破片，窯ゴミ付着）	224	
5096	陶丸	2.0		1.9			11	9.4	e2d2	東壁4層					施釉（破片付着）	224	
5097	陶丸	2.3		2.4			10	13.3	e4d4	東壁5層					施釉（破片付着）	224	
5098	陶丸	2.0		2.0				9.0	d1d2	北壁2層					素地	224	
5099	陶丸	2.3		2.5				12.1	f2	北トレンチ下層					素地	224	
5100	陶丸	2.3		2.5				21.2	d2	黒色灰層下層					素地（破片付着）	224	
5101	陶丸	2.1		2.1			6	5.2	c3	黒色灰層下層，褐色土混じる					素地	224	
5102	陶丸	2.3		2.5				11.7	e3d3	東壁3層					施釉	224	
5103	陶丸	2.6		2.4				15.2	c2c3	北壁4層					素地	224	
5104	陶丸	2.3		2.3			6	8.3	e2	黒色灰層下層メインベルト					素地	224	
5105	陶丸	2.0		2.1				10.3	e2	下層					施釉	224	
5106	陶丸	2.2		2.1			6	6.2	c3	黒色灰層上層					素地	224	

番号	器種	縦	－	横	－	－	－	重量（g）	グリッド	遺構	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
5107	陶丸	2.2		2.3			6	1.4	e2d2	東壁4層					施釉（表面剥離）	224	
5108	陶丸	2.6		2.0			6	9.3	f4	褐色土層，地山直上					施釉（表面剥離）	224	
5109	陶丸	2.4		2.6			6	11.4	c2	検出					素地	224	
5110	陶丸	2.0		2.1				9.7	98	表採					素地	224	
5111	陶丸	2.1		1.9				10.3	98	表採					施釉	224	
5112	陶丸	2.1		2.3			6	8.9	98	表採					素地	224	
5113	陶丸	2.1		2.4				11.4	Ⅳ H15f	黒褐色土層					施釉（表面剥離，破片付着）	224	
5114	陶丸	2.5		2.6				15.8	Ⅳ H15g	黒褐色土層					施釉	224	
5115	陶丸	2.6		2.6				19.2	Ⅳ H15g	黒褐色土層					施釉	224	
5116	陶丸	2.6		2.6				16.2	Ⅳ H15g	黒褐色土層					施釉（表面剥離，破片付着）	224	
5117	陶丸	1.9		1.9				8.1	Ⅳ H15g	褐色土層					施釉	224	
5118	陶丸	2.3		2.6				13.9	Ⅳ H16h	黒褐色土層					素地	224	
5119	陶丸	2.1		2.2			6	9.8	Ⅳ H16h	黒褐色土層					素地	224	
5120	陶丸	2.3		2.0				10.5	Ⅳ H16i	黒褐色土層					施釉（表面剥離）	224	
5121	陶丸	2.1		2.2				11.0	Ⅳ H16g	赤褐色土層					施釉	224	
5122	陶丸	2.1		2.2				11.1	99B	表採					施釉（破片付着）	224	
5123	陶丸	2.3		2.3				12.6	99B	表採					施釉（窯ゴミ付着，表面剥離）	224	
5124	陶丸	2.3		2.3				12.0	d2d3	北壁8層					施釉（鉄釉付着）	224	
5125	陶丸	2.5		2.5				16.6	e3d3	東壁4層					施釉（黒変）	224	
5126	陶丸	2.4		2.4				15.8	e3d3	東壁4層					施釉（黒変）	224	
5127	陶丸	2.4		2.5				15.7	e2e3	北壁9層					施釉（黒変）	224	
5128	陶丸	2.2		2.3				9.3	e2	黒色灰層上層					素地（一部黒変）	224	
5129	陶丸	2.6		2.5				17.7	d2	黒色灰層下層，褐色土混じる					施釉（黒変）	224	
5130	陶丸	2.3		2.5				15.8	f2	表採					施釉（黒変）	224	
5131	陶丸	2.3		2.3				13.2	d1d2	北壁7層					素地（黒）	224	
5132	陶丸	2.4		2.3				13.7	98	表採					黒	224	
5133	陶丸	2.5		2.5				16.9	d2	黒色灰層					黒（底部に釉付着）	224	
5134	陶丸	2.6		2.2				17.1	Ⅳ H15i	表土層					素地（黒変）	224	
5135	陶丸	2.1		2.6				9.2	f3f4	北壁7層					黒	224	
5136	陶丸	2.4		2.4				17.6	e2	黒色灰層下層，赤褐色土混じる					黒（破片付着）	224	
5137	陶丸	2.4		2.4				16.7	f3	検出					黒（破片付着）	224	
5138	陶丸	2.3		2.4				21.6	d1d2	北壁1層					黒（破片付着）	224	

遺物一覧表（焼台）

番号	器種	幅／口径	口縁残存率	底径	底部残存率	高さ	角度（度）	重量（g）	グリッド	遺構	取上・分析No.	仮分類・釉		時期	その他	遺物図	写真図版
5480	焼台	22.4				17.0	36	6900	c3	黒色灰層上層					小石	245	174
5481	焼台	21.2				22.4	45	7600	c2	検出（下層）					鉢	245	
5482	焼台	16.4				17.2	25	4300	d2c2	東壁3層					高台付着	245	174
5483	焼台	17.8				16.8	32	3900	d2c2	東褐色4層					高台付着	245	174
5484	焼台	20.5				18.3	31	5000	d1	褐色砂層,地山直上					高台付着	246	174
5485	焼台	14.2				16.6	45	2200	d4	表土					平碗	246	175
5486	焼台	13.4				15.4	26	1800	f3	黒色土					平碗	246	
5487	焼台	9.0				19.5	72	1300	Ⅳ H14g	検出					小石	246	
5488	焼台	12.4				12.7	22	1400	d2	黒色灰層上面					花瓶	246	
5489	焼台	12.8				11.6	18	1300	f3	検出						246	
5490	焼台	18.0				25.0	49	6100	d1d2	北壁6層					皿	246	
5491	焼台	16.0				19.0	45	3200	c1	黒色灰層下層					鉢	246	
5492	焼台	(18.2)	9/12		12/12	12.8	36	1900	Ⅳ H15h						匣鉢蓋	247	
5493	焼台	(11.2)	5/12		12/12	5.8		445	Ⅳ H14g, Ⅳ H15g	南壁133層					匣鉢蓋	247	
5494	焼台	(15.6)	12/12		12/12	18.0	10	2600	d1c1	黒色灰層,地山直上					匣鉢	247	
5495	焼台	(9.6)	12/12		12/12	15.4	30	2300	d3	黒色灰層下層					匣鉢	247	
5496	焼台	15.0				13.2	39	2600	Ⅳ H15h						円板	247	
5497	焼台	9.0				10.4	45	700	e4d4	東壁1層					花瓶	247	
5498	焼台	9.8				9.8	45	800	d4	褐色土層,地山直上					花瓶	247	
5499	焼台	6.8				5.0	33	120	f3	黒色土層					小皿	247	
5500	焼台	8.8				4.8	17	80	Ⅳ H16h	黒褐色土層					小皿	247	
5501	焼台	5.0				5.2		135	f2	黒色灰層中					水滴	247	174
5502	焼台	6.2				4.2	52	100	d4c4	東壁1層					水滴	247	
5503	焼台	5.2				5.6	50	100	f4	黒色灰層上層					茶入	247	174

報 告 書 抄 録

ふ り が な	うぐいすかまあと
書　　名	鶯窯跡
副 書 名	
巻　　次	
シ リ ー ズ 名	愛知県埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第109集
編 著 者 名	小澤一弘・伊藤秀紀・植田弥生・宇佐見守・荻野繁春・織部匡久・川添和暁・小村美代子・三澤壮太・藤根　久・山形秀樹
編 集 機 関	財団法人愛知県教育サービスセンター　愛知県埋蔵文化財センター
所　在　地	〒498-0017　愛知県海部郡弥富町前ヶ須新田字野方802-24　℡ 0567-67-4161
発行年月日	西暦　2005年８月31日

所収遺跡名（ふりがな）	所在地（ふりがな）	コード		北緯 ° ′ ″	東経 ° ′ ″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
鶯　窯（うぐいすかま）	愛知県瀬戸市（あいちけんせとし）岩屋町（いわやちょう）・鳥原町（とりはらちょう）地内（ちない）	23304	415	35度 14分 22秒	137度 8分 30秒	1998. 12. 1 ～ 2001. 3. 30	1400	東海環状自動車道建設に伴う発掘調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
鶯　窯	古窯跡	室町時代	窯体．工房跡	古瀬戸の各器種	未焼成天目茶碗．人面陶板．灰釉馬文鉢．茶臼

	年度	発掘届出	発掘許可	調査終了届	遺物発見届	埋蔵文化財保管証	埋蔵文化財認定
文書番号	平成10年度	10埋セ254・10. 10. 15	10教文61-26・10. 11. 2	11埋セ63-1・11. 3. 25	11埋セ63-2・11. 3. 25	11埋セ62-1・11. 3. 25	10教文61-26・11. 5. 18
	平成11年度	11埋セ78-7・11. 4. 1	11教文61-13・11. 4. 19	12埋セ49-11・12. 3. 30	12埋セ48-11・12. 4. 7	12埋セ48-11・12. 4. 7	11教文61-13・12. 5. 31
	平成13年度	13埋セ117・13. 10. 11	13教生36-20・13. 11. 5	13埋セ187・14. 3. 29	13埋セ187・14. 3. 29	13埋セ187・14. 3. 29	13教生36-20・14. 8. 6

要　約	窯体１基と工房跡11ヶ所、そして膨大な量の遺物が出土した。窯体は全長７m50㎝最大幅約３m床面傾斜角度50度を測り、操業回数は312回と推定。工房跡はいずれも風化花崗岩を竪穴状に刳貫いた遺構で、その中の一つから未焼成の５枚重ねの天目茶碗が13個合計65点出土した。主な出土遺物として人面陶板、灰釉馬文鉢、灰釉鉄彩七宝文八稜皿、茶臼、ミニチュア下臼等が出土した。出土遺物総点数773, 955点のうち窯より出土は632, 513点、口縁部・底部個体数は29, 486個体45, 712個体、出土遺物の総重量約22. 8tである。焼台は114, 739点を数えた。

愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第109集

鶯　窯　跡

本文篇

2005年８月31日

編集・発行　財団法人愛知県教育サービスセンター
愛知県埋蔵文化財センター

印　　刷　株式会社　ぎょうせい